

**2024年度
ILAC科目/市ヶ谷基礎科目・総合科目
200番台
講義概要（シラバス）**



法政大学

科目一覧

〔発行日：2024/5/1〕 最新版のシラバスは、法政大学Webシラバス (<https://syllabus.hosei.ac.jp/>) で確認してください。

凡例 その他属性

〈他〉：他学部公開科目	〈グ〉：グローバル・オープン科目
〈優〉：成績優秀者の他学部科目履修制度対象科目	〈実〉：実務経験のある教員による授業科目
〈S〉：サーティフィケートプログラム_SDGs	〈ア〉：サーティフィケートプログラム_アーバンデザイン
〈ダ〉：サーティフィケートプログラム_ダイバーシティ	〈未〉：サーティフィケートプログラム_未来教室
〈カ〉：サーティフィケートプログラム_カーボンニュートラル	

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(英語分野)【E1807】Intercultural Communication A [佐々木 一恵] 秋学期授業/Fall	1
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(英語分野)【E1809】Intercultural Communication D [石原 紀子] 春学期授業/Spring	2
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【E3602】Intercultural Communication E [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	4
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野)【E3603】Intercultural Communication F [ルルー 清野 プレンダン] 春学期授業/Spring	5
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5337】中国語補講3 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring	7
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5338】中国語補講3 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall	8
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5339】中国語補講3 I [渋井 君也] 春学期授業/Spring	9
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5340】中国語補講3 II [渋井 君也] 秋学期授業/Fall	10
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5343】中国語補講3 I [沈 小南] 春学期授業/Spring	11
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E5344】中国語補講3 II [沈 小南] 秋学期授業/Fall	12
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E6135】スペイン語補講3 I [若林 大我] 春学期授業/Spring	13
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【E6136】スペイン語補講3 II [若林 大我] 秋学期授業/Fall	14
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3303】フランス語3-I (インテンシブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	15
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3304】フランス語3-II (インテンシブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	16
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3313】フランス語(3) I (インテンシブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring	17
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【F3314】フランス語(3) II (インテンシブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall	18
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【F7222】朝鮮語4 B-I (視聴覚) [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	19
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【F7223】朝鮮語4 B-II (視聴覚) [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	20
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【F7224】朝鮮語5 A-I (講読) [荻野 優子] 春学期授業/Spring	21
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【F7225】朝鮮語5 A-II (講読) [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	22
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【F7226】朝鮮語5 B-I (表現法) [神谷 丹路] 春学期授業/Spring	23
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【F7227】朝鮮語5 B-II (表現法) [神谷 丹路] 秋学期授業/Fall	24

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7228】朝鮮語4C-I（コミュニケーション）〔富所 明秀〕春学期授業/Spring	25
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群〔選択〕外国語（英語・諸外国語）【F7229】朝鮮語4C-II（コミュニケーション）〔富所 明秀〕秋学期授業/Fall	26
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【P0163】Information Technology〔斎藤 明〕春学期授業/Spring	27
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【P0633】Career Development Skills〔AMINE A ABBADIE〕春学期授業/Spring	29
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群（社会分野）【P1303】Humanities A〔URBANNOVA JANA〕春学期授業/Spring	30
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群（人文分野）【P1305】Humanities B〔Richard.J.Burrows〕春学期授業/Spring	32
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群（社会分野）【P2304】Social Science A〔GAEL BESSON〕秋学期授業/Fall	33
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群（社会分野）【P2305】Social Science B〔GAEL BESSON〕春学期授業/Spring	35
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群（自然分野）【P3605】Natural Science B〔西村 直美〕春学期授業/Spring	36
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群（保健体育分野）【P5801】Health and Physical Education〔武井 敦彦〕春学期授業/Spring	37
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0102】情報処理演習Ⅱ〔吉岡 卓〕秋学期授業/Fall	39
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0104】情報処理演習Ⅱ〔吉岡 卓〕秋学期授業/Fall	40
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0106】情報処理演習Ⅱ〔吉岡 卓〕秋学期授業/Fall	41
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0108】情報処理演習Ⅱ〔吉岡 卓〕秋学期授業/Fall	42
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0110】情報処理演習Ⅱ〔中村 文隆〕秋学期授業/Fall	43
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0112】情報処理演習Ⅱ〔中村 文隆〕秋学期授業/Fall	44
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0114】情報処理演習Ⅱ〔河内谷 幸子〕秋学期授業/Fall	45
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0116】情報処理演習Ⅱ〔岡嶋 裕史〕秋学期授業/Fall	47
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0118】情報処理演習Ⅱ〔岡嶋 裕史〕秋学期授業/Fall	48
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0120】情報処理演習Ⅱ〔重定 如彦〕秋学期授業/Fall	49
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0122】情報処理演習Ⅱ〔重定 如彦〕秋学期授業/Fall	51
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0128】情報処理演習Ⅱ〔河内谷 幸子〕秋学期授業/Fall	53
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0130】情報処理演習Ⅱ〔河内谷 幸子〕秋学期授業/Fall	55
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0136】情報処理演習Ⅱ〔名児耶 厚〕秋学期授業/Fall	57
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0138】情報処理演習Ⅱ〔名児耶 厚〕秋学期授業/Fall	58
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0140】情報処理演習Ⅱ〔名児耶 厚〕秋学期授業/Fall	59
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0142】情報処理演習Ⅱ〔名児耶 厚〕秋学期授業/Fall	60
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群（自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等）【Q0144】情報処理演習Ⅱ〔星 善光〕秋学期授業/Fall	61

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0146】 情報処理演習Ⅱ [星 善光] 秋学期授業/Fall	62
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0503】 法政学の探究L B [北口 由望] 春学期授業/Spring.....	63
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_0群 (自校教育、基礎ゼミ、情報、キャリア教育関連科目等) 【Q0504】 法政学の探究L A [高柳 俊男、北口 由望] 秋学期授業/Fall	65
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1301】 日本文学と文化L A [阿部 真弓] 春学期授業/Spring	67
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1302】 日本文学と文化L B [阿部 真弓] 秋学期授業/Fall.....	68
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1303】 日本文学と文化L C [中司 由起子] 春学期授業/Spring	69
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1304】 日本文学と文化L D [中司 由起子] 秋学期授業/Fall	70
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1305】 日本文学と文化L E [伊海 孝充] 春学期授業/Spring	71
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1306】 日本文学と文化L F [伊海 孝充] 秋学期授業/Fall.....	72
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1307】 日本文学と文化L G [榎本 正樹] 春学期授業/Spring	73
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1308】 日本文学と文化L H [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall.....	75
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1309】 外国文学と文化L A [酒井 健] 春学期授業/Spring.....	77
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1310】 外国文学と文化L B [酒井 健] 秋学期授業/Fall	78
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1311】 外国文学と文化L C [日原 傳] 春学期授業/Spring.....	80
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1312】 外国文学と文化L D [日原 傳] 秋学期授業/Fall	81
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1313】 外国文学と文化L E [大崎 さやの] 春学期授業/Spring	82
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1314】 外国文学と文化L F [大崎 さやの] 秋学期授業/Fall	83
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1315】 文学と社会L A [梶 裕史] 春学期授業/Spring.....	84
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1316】 文学と社会L B [梶 裕史] 秋学期授業/Fall	86
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1319】 文学と社会L C [白戸 満喜子] 春学期授業/Spring.....	87
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1320】 文学と社会L D [白戸 満喜子] 秋学期授業/Fall	88
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1321】 文学と社会L E [中澤 忠之] 春学期授業/Spring	90
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1322】 文学と社会L F [中澤 忠之] 秋学期授業/Fall.....	91
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1323】 日本文学と文化L G [榎本 正樹] 春学期授業/Spring	92
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1324】 日本文学と文化L H [榎本 正樹] 秋学期授業/Fall.....	94
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1325】 外国文学と文化L G [小澤 央] 春学期授業/Spring.....	96
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1326】 外国文学と文化L H [小澤 央] 秋学期授業/Fall	97
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1362】 音声学L [副島 健作] 秋学期授業/Fall	98

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1381】 哲学L I [大西 正人] 春学期授業/Spring	99
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1382】 哲学L II [大西 正人] 秋学期授業/Fall	100
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1383】 哲学L I [白根 裕里枝] 春学期授業/Spring	101
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1384】 哲学L II [白根 裕里枝] 秋学期授業/Fall	102
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1391】 倫理学L I [上田 瑞季] 春学期授業/Spring	103
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1392】 倫理学L II [上田 瑞季] 秋学期授業/Fall	104
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1393】 倫理学L I [佐藤 英明] 春学期授業/Spring	105
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1394】 倫理学L II [佐藤 英明] 秋学期授業/Fall	106
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1395】 倫理学L I [杉本 隆久] 春学期授業/Spring	107
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1396】 倫理学L II [杉本 隆久] 秋学期授業/Fall	109
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1397】 倫理学L I [伊藤 直樹] 春学期授業/Spring	111
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1398】 倫理学L II [伊藤 直樹] 秋学期授業/Fall	112
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1399】 倫理学L I [田島 樹里 奈] 春学期授業/Spring	113
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1400】 倫理学L II [田島 樹里 奈] 秋学期授業/Fall	115
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1401】 倫理学L I [吉永 明弘] 春学期授業/Spring	117
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1402】 倫理学L II [吉永 明弘] 秋学期授業/Fall	118
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1411】 論理学L I [佐々木 護] 春学期授業/Spring	119
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1412】 論理学L II [佐々木 護] 秋学期授業/Fall	120
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1425】 東洋史L A [水上 香織] 春学期授業/Spring	121
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1426】 東洋史L B [水上 香織] 秋学期授業/Fall	122
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1427】 東洋史L C [長谷部 圭 彦] 春学期授業/Spring	123
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1428】 東洋史L D [長谷部 圭 彦] 秋学期授業/Fall	124
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1431】 西洋史L A [内田 康太] 春学期授業/Spring	125
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1432】 西洋史L B [皆川 卓] 秋 学期授業/Fall	126
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1433】 西洋史L A [新井 隆] 春 学期授業/Spring	128
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1434】 西洋史L B [新井 隆] 秋 学期授業/Fall	130
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1435】 西洋史L A [渡辺 知] 春 学期授業/Spring	133
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1436】 西洋史L B [内川 勇海] 秋学期授業/Fall	134

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1437】 西洋史L A [渡辺 知] 春 学期授業/Spring	135
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1438】 西洋史L B [内川 勇海] 秋学期授業/Fall	136
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1441】 日本史L I [森 朋久] 春学期授業/Spring	137
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1442】 日本史L II [森 朋久] 秋学期授業/Fall	138
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1443】 日本史L I [仁平 義孝] 春学期授業/Spring	139
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1444】 日本史L II [仁平 義孝] 秋学期授業/Fall	140
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1445】 日本史L I [貫井 裕恵] 春学期授業/Spring	141
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1446】 日本史L II [貫井 裕恵] 秋学期授業/Fall	142
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1447】 日本史L I [鈴木 多聞] 春学期授業/Spring	143
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1448】 日本史L II [鈴木 多聞] 秋学期授業/Fall	144
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1451】 宗教論L I [古澤 有峰] 春学期授業/Spring	145
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_1群 (人文分野) 【Q1452】 宗教論L II [古澤 有峰] 秋学期授業/Fall	146
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2321】 経済学L A [中平 千彦] 春学期授業/Spring	147
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2322】 経済学L B [中平 千彦] 秋学期授業/Fall	149
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2323】 経済学L A [鈴木 誠] 春 学期授業/Spring	151
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2324】 経済学L B [鈴木 誠] 秋 学期授業/Fall	153
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2325】 経済学L A [陳 文挙] 春 学期授業/Spring	155
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2326】 経済学L B [陳 文挙] 秋 学期授業/Fall	157
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2327】 経済学L A [小峯 敦] 春 学期授業/Spring	158
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2328】 経済学L B [小峯 敦] 秋 学期授業/Fall	159
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2341】 心理学L A [宇野 カオ リ] 春学期授業/Spring	160
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2342】 心理学L B [宇野 カオ リ] 秋学期授業/Fall	162
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2343】 心理学L A [宇野 カオ リ] 春学期授業/Spring	164
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2344】 心理学L B [宇野 カオ リ] 秋学期授業/Fall	166
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2351】 地理学L A [長沢 利明] 春学期授業/Spring	168
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2352】 地理学L B [長沢 利明] 秋学期授業/Fall	169
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2353】 地理学L C [片岡 義晴] 春学期授業/Spring	170
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2354】 地理学L D [片岡 義晴] 秋学期授業/Fall	171

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2357】 地理学L A [長沢 利明] 春学期授業/Spring	172
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2358】 地理学L B [長沢 利明] 秋学期授業/Fall	173
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2359】 地理学L C [前川 明彦] 春学期授業/Spring	174
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2360】 地理学L D [前川 明彦] 秋学期授業/Fall	176
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2361】 社会学L A [松下 優一] 春学期授業/Spring	177
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2362】 社会学L B [松下 優一] 秋学期授業/Fall	178
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2363】 社会学L C [徐 玄九] 春 学期授業/Spring	179
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2364】 社会学L D [徐 玄九] 秋 学期授業/Fall	181
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2372】 政治学L B [木村 正俊] 秋学期授業/Fall	182
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2382】 文化人類学L [ベル 裕 紀] 秋学期授業/Fall	183
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2384】 文化人類学L [渡辺 浩 平] 秋学期授業/Fall	185
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2386】 文化人類学L [北原 卓 也] 秋学期授業/Fall	186
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2388】 文化人類学L [長沢 利 明] 秋学期授業/Fall	187
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2390】 文化人類学L [ベル 裕 紀] 秋学期授業/Fall	188
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2392】 文化人類学L [菊池 真 理] 秋学期授業/Fall	190
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2394】 文化人類学L [渡辺 浩 平] 秋学期授業/Fall	191
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2396】 文化人類学L [廣田 龍 平] 秋学期授業/Fall	192
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2398】 文化人類学L [菊池 真 理] 秋学期授業/Fall	193
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2400】 文化人類学L [石森 大 知] 秋学期授業/Fall	194
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2401】 社会思想L A [洪 貴義] 春学期授業/Spring	195
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2402】 社会思想L B [洪 貴義] 秋学期授業/Fall	196
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2403】 社会思想L A [林 嵩文] 春学期授業/Spring	197
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2404】 社会思想L B [林 嵩文] 秋学期授業/Fall	198
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2411】 地理学L E [呉羽 正昭] 春学期授業/Spring	199
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_2群 (社会分野) 【Q2412】 地理学L F [加賀美 雅 弘] 春学期授業/Spring	200
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3201】 数学特講L A [安東 祐 希] 春学期授業/Spring	201
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3202】 数学特講L B [安東 祐 希] 秋学期授業/Fall	202
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3211】 発展数学L I [倉田 俊 彦] 春学期授業/Spring	203

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3212】 発展数学LⅡ [倉田 俊彦] 秋学期授業/Fall	204
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3213】 発展数学LⅠ [倉田 俊彦] 春学期授業/Spring	205
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3214】 発展数学LⅡ [倉田 俊彦] 秋学期授業/Fall	206
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3221】 教養物理学L A [石川 壮一] 春学期授業/Spring	207
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3222】 教養物理学L A [石川 壮一] 秋学期授業/Fall	208
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3223】 教養物理学L B [吉田 智] 春学期授業/Spring	209
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3224】 教養物理学L B [吉田 智] 秋学期授業/Fall	210
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3225】 教養物理学L A [石川 壮一] 秋学期授業/Fall	211
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3226】 教養物理学L C [井坂 政裕] 春学期授業/Spring	212
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3231】 教養生物学L A [野崎 久義] 春学期授業/Spring	213
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3232】 教養生物学L B [野崎 久義] 秋学期授業/Fall	215
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3233】 教養生物学L A [野崎 久義] 春学期授業/Spring	218
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3234】 教養生物学L B [野崎 久義] 秋学期授業/Fall	220
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3241】 教養生物学L C [町田 郁子] 春学期授業/Spring	223
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3242】 教養生物学L D [町田 郁子] 秋学期授業/Fall	225
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3243】 教養生物学L C [町田 郁子] 春学期授業/Spring	227
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3244】 教養生物学L D [町田 郁子] 秋学期授業/Fall	229
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3261】 教養化学L A [向井 知大] 春学期授業/Spring	231
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3262】 教養化学L A [中田 和秀] 秋学期授業/Fall	232
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3263】 教養化学L B [向井 知大] 春学期授業/Spring	233
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3264】 教養化学L B [西村 直美] 秋学期授業/Fall	234
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3266】 教養化学L A [中田 和秀] 春学期授業/Spring	235
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3267】 教養化学L C [中田 和秀] 春学期授業/Spring	236
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3268】 教養化学L D [中田 和秀] 秋学期授業/Fall	237
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_3群 (自然分野) 【Q3269】 教養化学L E [向井 知大] 秋学期授業/Fall	238
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【Q5451】 健康の科学L A [鈴木 康弘] 春学期授業/Spring	239
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【Q5452】 健康の科学L B [藤平 杏子] 秋学期授業/Fall	240
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【Q5453】 健康の科学L A [谷本 都栄] 春学期授業/Spring	241

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_5群 (保健体育分野) 【Q5454】 健康の科学L B [谷本 都栄] 秋学期授業/Fall	242
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0801】 入門英語 (SSI) I [大厩 諒] 春学期授業/Spring	243
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0802】 入門英語 (SSI) II [大厩 諒] 秋学期授業/Fall	244
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0803】 入門英語 (SSI) I [大厩 諒] 春学期授業/Spring	245
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0804】 入門英語 (SSI) II [大厩 諒] 秋学期授業/Fall	246
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0805】 入門英語 (SSI) I [鈴木 眞奈美] 春学期授業/Spring	247
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0806】 入門英語 (SSI) II [小川 真也] 秋学期授業/Fall	248
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0831】 入門英語 (SSI) I [鈴木 理枝] 春学期授業/Spring	249
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R0832】 入門英語 (SSI) II [鈴木 理枝] 秋学期授業/Fall	250
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2001】 English 3 I [TAMARA P ELDRIDGE] 春学期授業/Spring	251
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2002】 English 3 II [TAMARA P ELDRIDGE] 秋学期授業/Fall	253
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2003】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	255
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2004】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	258
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2005】 English 3 I [岩坪 友子] 春学期授業/Spring	261
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2006】 English 3 II [岩坪 友子] 秋学期授業/Fall	263
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2007】 English 3 I [宇野 毅] 春学期授業/Spring	265
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2008】 English 3 II [宇野 毅] 秋学期授業/Fall	266
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2009】 English 3 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	267
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2010】 English 3 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	269
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2011】 English 3 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring	271
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2012】 English 3 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall	273
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2013】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	275
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2014】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	278
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2015】 English 3 I [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	281
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2016】 English 3 II [ROBIN F WEICHERT] 秋学期授業/Fall	282
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2017】 English 3 I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	283
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2018】 English 3 II [高井 美紀子] 秋学期授業/Fall	285
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2019】 English 3 I [山崎 暁子] 春学期授業/Spring	287

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2020】 English 3 II [山崎 暁子] 秋学期授業/Fall	289
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2021】 English 3 I [TAMARA P ELDRIDGE] 春学期授業/Spring	291
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2022】 English 3 II [TAMARA P ELDRIDGE] 秋学期授業/Fall	293
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2023】 English 3 I [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring	295
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2024】 English 3 II [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	297
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2025】 English 3 I [ジョナサン・エイブル] 春学期授業/Spring	299
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2026】 English 3 II [ジョナサン・エイブル] 秋学期授業/Fall	300
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2027】 English 3 I [吉川 直澄] 春学期授業/Spring	301
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2028】 English 3 II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	303
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2029】 English 3 I [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	305
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2030】 English 3 II [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall	307
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2031】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring	309
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2032】 English 3 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall	311
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2033】 English 3 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	313
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2034】 English 3 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	314
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2035】 English 3 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	315
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2036】 English 3 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	317
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2037】 English 3 I [飛田 英伸] 春学期授業/Spring	319
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2038】 English 3 II [飛田 英伸] 秋学期授業/Fall	321
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2039】 English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	323
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2040】 English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	324
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2041】 English 3 I [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	325
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2042】 English 3 II [ROBIN F WEICHERT] 秋学期授業/Fall	326
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2043】 English 3 I [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring	327
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2044】 English 3 II [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	329
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2045】 English 3 I [吉川 直澄] 春学期授業/Spring	331
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2046】 English 3 II [吉川 直澄] 秋学期授業/Fall	333
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2047】 English 3 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring	335

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2048】 English 3 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall	336
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2049】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring	337
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2050】 English 3 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall	339
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2051】 English 3 I [利根川 真紀] 春学期授業/Spring	341
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2052】 English 3 II [利根川 真紀] 秋学期授業/Fall	342
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2053】 English 3 I [吉江 秀和] 春学期授業/Spring	343
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2054】 English 3 II [吉江 秀和] 秋学期授業/Fall	345
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2055】 English 3 I [吉田 季実子] 春学期授業/Spring	347
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2056】 English 3 II [吉田 季実子] 秋学期授業/Fall	348
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2057】 English 3 I [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring	349
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2058】 English 3 II [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall	350
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2059】 English 3 I [渡辺 英依美] 春学期授業/Spring	351
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2060】 English 3 II [渡辺 英依美] 秋学期授業/Fall	352
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2061】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	353
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2062】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	355
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2063】 English 3 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	357
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2064】 English 3 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	358
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2065】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	359
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2066】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	361
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2067】 English 3 I [MARK E FIELD] 春学期授業/Spring	363
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2068】 English 3 II [MARK E FIELD] 秋学期授業/Fall	365
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2069】 English 3 I [URBANOVA JANA] 春学期授業/Spring	367
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2070】 English 3 II [URBANOVA JANA] 秋学期授業/Fall	369
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2071】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	371
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2072】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	372
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2073】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	373
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2074】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	375
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2075】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	377

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2076】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	379
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2077】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring	381
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2078】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall	382
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2079】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring	383
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2080】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall	385
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2081】 English 3 I [ROBERT J SPIVAK] 春学期授業/Spring	387
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2082】 English 3 II [ROBERT J SPIVAK] 秋学期授業/Fall	389
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2083】 English 3 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	391
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2084】 English 3 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	392
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2085】 English 3 I [森永 豊] 春学期授業/Spring	393
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2086】 English 3 II [森永 豊] 秋学期授業/Fall	395
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2087】 English 3 I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	397
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2088】 English 3 II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	399
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2089】 English 3 I [大野 ロベルト] 春学期授業/Spring	401
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2090】 English 3 II [大野 ロベルト] 秋学期授業/Fall	402
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2091】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring	403
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2092】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall	405
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2093】 English 3 I [川野 芽生] 春学期授業/Spring	407
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2094】 English 3 II [川野 芽生] 秋学期授業/Fall	408
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2095】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	409
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2096】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	411
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2097】 English 3 I [井上 紗央里] 春学期授業/Spring	413
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2098】 English 3 II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall	414
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2099】 English 3 I [萩原 眞一] 春学期授業/Spring	415
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2100】 English 3 II [萩原 眞一] 秋学期授業/Fall	416
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2101】 English 3 I [青山 恵子] 春学期授業/Spring	418
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2102】 English 3 II [青山 恵子] 秋学期授業/Fall	419
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2103】 English 3 I [ROBERT J SPIVAK] 春学期授業/Spring	420

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2104】 English 3 II [ROBERT J SPIVAK] 秋学期授業/Fall	422
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2105】 English 3 I [RICHARD WILCOX] 春学期授業/Spring	424
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2106】 English 3 II [RICHARD WILCOX] 秋学期授業/Fall	426
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2107】 English 3 I [小田井 勝彦] 春学期授業/Spring	428
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2108】 English 3 II [小田井 勝彦] 秋学期授業/Fall	429
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2109】 English 3 I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring	430
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2110】 English 3 II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall	431
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2111】 English 3 I [森永 豊] 春学期授業/Spring	432
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2112】 English 3 II [森永 豊] 秋学期授業/Fall	434
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2113】 English 3 I [磯部 芳恵] 春学期授業/Spring	436
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2114】 English 3 II [磯部 芳恵] 秋学期授業/Fall	437
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2115】 English 3 I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	439
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2116】 English 3 II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	441
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2117】 English 3 I [佐喜真 彩] 春学期授業/Spring	443
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2118】 English 3 II [佐喜真 彩] 秋学期授業/Fall	444
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2119】 English 3 I [井上 紗央里] 春学期授業/Spring	445
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2120】 English 3 II [井上 紗央里] 秋学期授業/Fall	446
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2121】 English 3 I [MARK E FIELD] 春学期授業/Spring	447
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2122】 English 3 II [MARK E FIELD] 秋学期授業/Fall	449
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2123】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	451
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2124】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	452
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2125】 English 3 I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring	453
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2126】 English 3 II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall	455
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2127】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	457
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2128】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall	459
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2129】 English 3 I [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	461
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2130】 English 3 II [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	463
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2131】 English 3 I [Robert D. Hinton] 春学期授業/Spring	465

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2132】 English 3 II [Robert D. Hinton] 秋学期授業/Fall	466
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2133】 English 3 I [Robert Durham] 春学期授業/Spring	467
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2134】 English 3 II [Robert Durham] 秋学期授業/Fall.....	469
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2135】 English 3 I [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	471
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2136】 English 3 II [宇治谷 義英] 秋学期授業/Fall	472
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2137】 English 3 I [ELIKO M KOSAKA] 春学期授業/Spring	473
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2138】 English 3 II [ELIKO M KOSAKA] 秋学期授業/Fall	475
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2139】 English 3 I [岩下 弘史] 春学期授業/Spring	477
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2140】 English 3 II [岩下 弘史] 秋学期授業/Fall.....	479
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2141】 English 3 I [ウォルター・カズマー] 春学期授業/Spring.....	481
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2142】 English 3 II [ウォルター・カズマー] 秋学期授業/Fall	482
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2143】 English 3 I [CHIA-WEI KANG] 春学期授業/Spring	483
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2144】 English 3 II [CHIA-WEI KANG] 秋学期授業/Fall.....	485
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2145】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	487
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2146】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall.....	489
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2147】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring.....	491
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2148】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	493
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2149】 English 3 I [ジョナサン・エイブル] 春学期授業/Spring.....	495
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2150】 English 3 II [ジョナサン・エイブル] 秋学期授業/Fall	496
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2151】 English 3 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	497
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2152】 English 3 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	498
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2153】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	499
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2154】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall.....	501
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2155】 English 3 I [川澄 亜岐子] 春学期授業/Spring	503
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2156】 English 3 II [川澄 亜岐子] 秋学期授業/Fall	504
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2157】 English 3 I [川野 芽生] 春学期授業/Spring	505
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2158】 English 3 II [川野 芽生] 秋学期授業/Fall.....	506
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2159】 English 3 I [岩下 弘史] 春学期授業/Spring	507

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2160】 English 3 II [岩下 弘史] 秋学期授業/Fall	509
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2161】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	511
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2162】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	513
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2163】 English 3 I [TOBY TRAUB] 春学期授業/Spring	515
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2164】 English 3 II [TOBY TRAUB] 秋学期授業/Fall	517
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2165】 English 3 I [GENC BURCU] 春学期授業/Spring	519
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2166】 English 3 II [GENC BURCU] 秋学期授業/Fall	521
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2167】 English 3 I [STEPHEN P MCINTYRE] 春学期授業/Spring	523
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2168】 English 3 II [STEPHEN P MCINTYRE] 秋学期授業/Fall	526
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2169】 English 3 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	529
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2170】 English 3 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	530
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2171】 English 3 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	531
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2172】 English 3 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall	533
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2173】 English 3 I [田口 清一] 春学期授業/Spring	535
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2174】 English 3 II [田口 清一] 秋学期授業/Fall	536
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2175】 English 3 I [宮本 三恵子] 春学期授業/Spring	537
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2176】 English 3 II [宮本 三恵子] 秋学期授業/Fall	539
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2177】 English 3 I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	541
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2178】 English 3 II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	543
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2179】 English 3 I [岩崎 博] 春学期授業/Spring	545
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2180】 English 3 II [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	548
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2181】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	551
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2182】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	553
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2183】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	555
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2184】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	557
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2185】 English 3 I [猪俣 佳瑞美] 春学期授業/Spring	559
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2186】 English 3 II [猪俣 佳瑞美] 秋学期授業/Fall	561
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2187】 English 3 I [本間 章郎] 春学期授業/Spring	563

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2188】 English 3 II [本間 章郎] 秋学期授業/Fall	565
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2201】 英語7 [竹内 晶子] 春学期授業/Spring	567
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2202】 英語7 [竹内 晶子] 春学期授業/Spring	568
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2203】 英語7 [中和 彩子] 春学期授業/Spring	569
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2204】 英語7 [鹿子嶋 由佳] 春学期授業/Spring	570
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2205】 英語7 [衣笠 正晃] 春学期授業/Spring	572
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2206】 英語7 [宇治谷 義英] 春学期授業/Spring	573
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2207】 英語7 [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	575
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2208】 英語8 [JAMES O ESSEX] 春学期授業/Spring	576
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2209】 英語8 [LASSEGARD JAMES] 春学期授業/Spring	577
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2210】 英語8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	579
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2211】 英語8 [JAMES D SHORT] 春学期授業/Spring	580
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2212】 英語8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	582
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2213】 英語8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	583
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2214】 英語8 [ROBIN F WEICHERT] 春学期授業/Spring	584
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2215】 英語7 [竹内 晶子] 春学期授業/Spring	585
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2216】 英語8 [JAMES O ESSEX] 春学期授業/Spring	586
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2217】 英語7 [竹内 晶子] 春学期授業/Spring	587
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (英語) 【R2218】 英語8 [JAMES O ESSEX] 春学期授業/Spring	588
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2301】 英語オーラル・コミュニケーションⅠ [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring	589
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2302】 英語オーラル・コミュニケーションⅡ [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	591
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2303】 英語オーラル・コミュニケーションⅠ [ELIKO M KOSAKA] 春学期授業/Spring	593
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2304】 英語オーラル・コミュニケーションⅡ [ELIKO M KOSAKA] 秋学期授業/Fall	594
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2305】 英語オーラル・コミュニケーションⅠ [LASSEGARD JAMES] 春学期授業/Spring	596
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2306】 英語オーラル・コミュニケーションⅡ [LASSEGARD JAMES] 秋学期授業/Fall	597
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2351】 ビジネス・イングリッシュⅠ [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring	598
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2352】 ビジネス・イングリッシュⅡ [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall	599
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2381】 English Reading and Vocabulary I [ウォルター・カズマー] 春学期授業/Spring	600

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2382】 English Reading and Vocabulary II [ウォルター・カズマー] 秋学期授業/Fall.....	601
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2383】 English Reading and Vocabulary I [ERIC J RITTER] 春学期授業/Spring	602
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2384】 English Reading and Vocabulary II [ERIC J RITTER] 秋学期授業/Fall.....	603
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2391】 English Academic Writing I [PAUL K KALLENDER] 春学期授業/Spring	604
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2392】 English Academic Writing II [PAUL K KALLENDER] 秋学期授業/Fall	606
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2393】 English Academic Writing I [DANIEL G DUSZA] 春学期授業/Spring	608
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2394】 English Academic Writing II [DANIEL G DUSZA] 秋学期授業/Fall	610
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2395】 English Academic Writing I [ALAN M NICHOLLS] 春学期授業/Spring.....	612
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2396】 English Academic Writing II [ALAN M NICHOLLS] 秋学期授業/Fall	614
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2401】 英語で学ぶ社会と文化 I [田中 邦佳] 春学期授業/Spring	616
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2402】 英語で学ぶ社会と文化 II [田中 邦佳] 秋学期授業/Fall.....	618
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2403】 英語で学ぶ社会と文化 I [根本 怜奈] 春学期授業/Spring	620
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2404】 英語で学ぶ社会と文化 II [根本 怜奈] 秋学期授業/Fall.....	621
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2405】 英語で学ぶ社会と文化 I [萩原 眞一] 春学期授業/Spring	622
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2406】 英語で学ぶ社会と文化 II [萩原 眞一] 秋学期授業/Fall.....	624
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2407】 英語で学ぶ社会と文化 I [余田 剛] 春学期授業/Spring	626
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2408】 英語で学ぶ社会と文化 II [余田 剛] 秋学期授業/Fall	628
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2409】 英語で学ぶ社会と文化 I [金谷 優子] 春学期授業/Spring	630
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2410】 英語で学ぶ社会と文化 II [金谷 優子] 秋学期授業/Fall.....	632
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2411】 英語で学ぶ社会と文化 I [大曲 陽子] 春学期授業/Spring	634
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2412】 英語で学ぶ社会と文化 II [大曲 陽子] 秋学期授業/Fall.....	636
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2441】 English Presentation I [NADER Jamelea] 春学期授業/Spring.....	638
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2442】 English Presentation II [NADER Jamelea] 秋学期授業/Fall	640
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2443】 English Presentation I [JOHN REILLY] 春学期授業/Spring	642
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2444】 English Presentation II [JOHN REILLY] 秋学期授業/Fall	643
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2445】 English Presentation I [コートランド・デイビッド・スミス] 春学期授業/Spring.....	644
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2446】 English Presentation II [コートランド・デイビッド・スミス] 秋学期授業/Fall	646
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2447】 English Presentation I [DANIEL G DUSZA] 春学期授業/Spring	648

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2448】 English Presentation II [DANIEL G DUSZA] 秋学期授業/Fall	650
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2451】 英語アカデミック・リーディングⅠ [岩崎 博] 春学期授業/Spring	652
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2452】 英語アカデミック・リーディングⅡ [岩崎 博] 秋学期授業/Fall	654
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2481】 英語検定試験対策Ⅰ [妻鹿 裕子] 春学期授業/Spring	656
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2482】 英語検定試験対策Ⅱ [妻鹿 裕子] 秋学期授業/Fall.....	657
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2483】 英語検定試験対策Ⅰ [青山 恵子] 春学期授業/Spring	658
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2484】 英語検定試験対策Ⅱ [青山 恵子] 秋学期授業/Fall.....	659
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2485】 英語検定試験対策Ⅰ [小堀 洋] 春学期授業/Spring.....	660
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2486】 英語検定試験対策Ⅱ [小堀 洋] 秋学期授業/Fall	661
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2487】 英語検定試験対策Ⅰ [高橋 佳江] 春学期授業/Spring	662
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2488】 英語検定試験対策Ⅱ [高橋 佳江] 秋学期授業/Fall.....	664
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2601】 Oral Communication I [板橋 美也] 春学期授業/Spring.....	666
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2602】 Oral Communication II [板橋 美也] 秋学期授業/Fall	667
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2611】 English through Movies and Drama I [平野井 ちえ子] 春学期授業/Spring	668
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2612】 English through Movies and Drama II [平野井 ちえ子] 秋学期授業/Fall	669
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2613】 English through Movies and Drama I [舟橋 美香] 春学期授業/Spring.....	670
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2614】 English through Movies and Drama II [舟橋 美香] 秋学期授業/Fall	671
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2621】 TOEIC(R) I [平野井 ちえ子] 春学期授業/Spring.....	672
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2622】 TOEIC(R) II [平野井 ちえ子] 秋学期授業/Fall	673
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2623】 TOEIC(R) I [板橋 美也] 春学期授業/Spring.....	674
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2624】 TOEIC(R) II [板橋 美也] 秋学期授業/Fall.....	675
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2631】 英語検定試験対策Ⅰ [青山 恵子] 春学期授業/Spring	676
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2632】 英語検定試験対策Ⅱ [青山 恵子] 秋学期授業/Fall.....	677
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2641】 Business Communication I [今井 澄子] 春学期授業/Spring	678
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2642】 Business Communication II [今井 澄子] 秋学期授業/Fall	680
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2651】 ニュース英語Ⅰ [塩谷 幸子] 春学期授業/Spring	682
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2652】 ニュース英語Ⅱ [塩谷 幸子] 秋学期授業/Fall	683
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R2701】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-Ⅰ [RICHARD SHEEHAN] 春学期授業/Spring	684

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2702】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-II [RICHARD SHEEHAN] 秋学期授業/Fall.....	685
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2711】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-I [RICHARD SHEEHAN] 春学期授業/Spring	686
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2712】 Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-II [RICHARD SHEEHAN] 秋学期授業/Fall.....	687
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2721】 English for Study Abroad I [高井 美紀子] 春学期授業/Spring	688
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2723】 English for Study Abroad II [北 文美子] 春学期授業/Spring	690
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2731】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-I [戸嶋 まゆみ] 春学期授業/Spring	691
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2732】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-II [戸嶋 まゆみ] 秋学期授業/Fall	692
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2741】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-I [Kregg Johnston] 春学期授業/Spring	693
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2742】 Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-II [Kregg Johnston] 秋学期授業/Fall.....	695
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2751】 Practical English (英語検定試験対策) A-I [大和久 悌一郎] 春学期授業/Spring	697
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2752】 Practical English (英語検定試験対策) A-II [大和久 悌一郎] 秋学期授業/Fall	698
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2761】 Practical English (英語検定試験対策) B-I [折笠 真美] 春学期授業/Spring	699
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R2762】 Practical English (英語検定試験対策) B-II [折笠 真美] 秋学期授業/Fall	701
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4201】 ドイツ語3 I [D. ハイデンライヒ] 春学期授業/Spring	702
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4202】 ドイツ語3 II [D. ハイデンライヒ] 秋学期授業/Fall	703
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4205】 ドイツ語3 I [岡本 雅克] 春学期授業/Spring	704
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4206】 ドイツ語3 II [岡本 雅克] 秋学期授業/Fall.....	705
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4207】 ドイツ語3 I [外山 知子] 春学期授業/Spring	706
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4208】 ドイツ語3 II [外山 知子] 秋学期授業/Fall.....	707
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4211】 ドイツ語3 I [遠藤 浩介] 春学期授業/Spring	708
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4212】 ドイツ語3 II [遠藤 浩介] 秋学期授業/Fall.....	709
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4215】 ドイツ語3 I [保科 泰] 春学期授業/Spring	710
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4216】 ドイツ語3 II [保科 泰] 秋学期授業/Fall	711
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4217】 ドイツ語3 I [日中 鎮朗] 春学期授業/Spring	712
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4218】 ドイツ語3 II [日中 鎮朗] 秋学期授業/Fall.....	714
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4221】 ドイツ語3 I [遠藤 浩介] 春学期授業/Spring	715
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4222】 ドイツ語3 II [遠藤 浩介] 秋学期授業/Fall.....	716
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4223】 ドイツ語3 I [小野間 亮子] 春学期授業/Spring.....	717

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4224】 ドイツ語3Ⅱ [小野間 亮子] 秋学期授業/Fall	718
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4225】 ドイツ語3Ⅰ [児島 由理] 春学期授業/Spring	719
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4226】 ドイツ語3Ⅱ [児島 由理] 秋学期授業/Fall	720
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4227】 ドイツ語3Ⅰ [外山 知子] 春学期授業/Spring	721
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4228】 ドイツ語3Ⅱ [外山 知子] 秋学期授業/Fall	722
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R4241】 ドイツ語4Ⅰ [日中 鎮朗] 春学期授業/Spring	723
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R4242】 ドイツ語4Ⅱ [日中 鎮朗] 秋学期授業/Fall	725
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R4243】 ドイツ語4Ⅰ [三ツ石 祐子] 春学期授業/Spring	727
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R4244】 ドイツ語4Ⅱ [三ツ石 祐子] 秋学期授業/Fall	728
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R4245】 ドイツ語4Ⅰ [保科 泰] 春学期授業/Spring	729
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R4246】 ドイツ語4Ⅱ [保科 泰] 秋学期授業/Fall	730
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4251】 ドイツ語(3)Ⅰ [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	731
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4252】 ドイツ語(3)Ⅱ [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	732
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4261】 ドイツ語7 [林 志津江] 春学期授業/Spring	733
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4262】 ドイツ語8 [小川 敦] 春学期授業/Spring	735
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4271】 ドイツ語3-Ⅰ [伊東 直美] 春学期授業/Spring	736
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4272】 ドイツ語3-Ⅱ [伊東 直美] 秋学期授業/Fall	737
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4273】 ドイツ語3-Ⅰ [平松 英人] 春学期授業/Spring	738
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R4274】 ドイツ語3-Ⅱ [平松 英人] 秋学期授業/Fall	739
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R4281】 ドイツ語コミュニケーションⅠ [JENS OSTWALD] 春学期授業/Spring	740
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R4282】 ドイツ語コミュニケーションⅡ [JENS OSTWALD] 秋学期授業/Fall	741
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R4283】 ドイツ語表現法Ⅰ [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring	742
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語) 【R4284】 ドイツ語表現法Ⅱ [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall	743
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R4285】 ドイツ語視聴覚Ⅰ [D. ハイデンライヒ] 春学期授業/Spring	744
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R4286】 ドイツ語視聴覚Ⅱ [D. ハイデンライヒ] 秋学期授業/Fall	746
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R4293】 入門ドイツ語(SSⅠ)Ⅰ [梶谷 雄二] 春学期授業/Spring	747
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語) 【R4294】 入門ドイツ語(SSⅠ)Ⅱ [梶谷 雄二] 秋学期授業/Fall	748
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群(諸外国語分野) 【R4295】 ドイツ語の世界L A [Schmidt Ute] 春学期授業/Spring	749

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R4296】 ドイツ語の世界L B [Schmidt Ute] 秋学期授業/Fall.....	750
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R4297】 ドイツの文化と社会 L A [小川 敦] 春学期授業/Spring.....	752
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R4298】 ドイツの文化と社会 L B [小川 敦] 秋学期授業/Fall.....	753
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5201】 フランス語3 I [コリンヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring.....	754
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5202】 フランス語3 II [コリンヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall.....	755
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5203】 フランス語3 I [中村 美 緒] 春学期授業/Spring.....	756
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5204】 フランス語3 II [中村 美 緒] 秋学期授業/Fall.....	757
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5205】 フランス語3 I [稲垣 正 久] 春学期授業/Spring.....	758
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5206】 フランス語3 II [稲垣 正 久] 秋学期授業/Fall.....	759
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5207】 フランス語3 I [柴田 恵 美] 春学期授業/Spring.....	760
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5208】 フランス語3 II [柴田 恵 美] 秋学期授業/Fall.....	761
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5209】 フランス語3 I [山口 雅 敏] 春学期授業/Spring.....	762
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5210】 フランス語3 II [山口 雅 敏] 秋学期授業/Fall.....	763
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5211】 フランス語3 I [稲垣 正 久] 春学期授業/Spring.....	764
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5212】 フランス語3 II [稲垣 正 久] 秋学期授業/Fall.....	765
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5213】 フランス語3 I [西川 純 子] 春学期授業/Spring.....	766
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5214】 フランス語3 II [西川 純 子] 秋学期授業/Fall.....	767
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5215】 フランス語3 I [西川 純 子] 春学期授業/Spring.....	768
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5216】 フランス語3 II [西川 純 子] 秋学期授業/Fall.....	769
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5219】 フランス語3 I [柴田 恵 美] 春学期授業/Spring.....	770
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5220】 フランス語3 II [柴田 恵 美] 秋学期授業/Fall.....	771
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5221】 フランス語3 I [ニコラ ガ イヤール] 春学期授業/Spring.....	772
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5222】 フランス語3 II [ニコラ ガ イヤール] 秋学期授業/Fall.....	773
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5223】 フランス語3 I (インテンシ ブ) [近江屋 志穂] 春学期授業/Spring.....	774
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5224】 フランス語3 II (インテンシ ブ) [近江屋 志穂] 秋学期授業/Fall.....	775
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5243】 フランス語4 I [廣松 勲] 春学期授業/Spring.....	776
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5244】 フランス語4 II [廣松 勲] 秋学期授業/Fall.....	778
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5245】 フランス語5 I [村松 マリ=エマニュエル] 春学期授業/Spring.....	779

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5246】 フランス語5 II [村松 マリ=エマニュエル] 秋学期授業/Fall	780
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5247】 フランス語4 I [中村 美緒] 春学期授業/Spring	781
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5248】 フランス語4 II [中村 美緒] 秋学期授業/Fall	782
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5249】 フランス語4 I [岡村 民夫] 春学期授業/Spring	783
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R5250】 フランス語4 II [岡村 民夫] 秋学期授業/Fall	784
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5251】 フランス語(3)I [コリヌ ヴァリエンス] 春学期授業/Spring	785
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5252】 フランス語(3)II [コリヌ ヴァリエンス] 秋学期授業/Fall	786
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5257】 フランス語7 [岡村 民夫] 春学期授業/Spring	787
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5258】 フランス語8 [ルルー 清野 ブレンダン] 春学期授業/Spring	788
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5261】 フランス語3-I [竹本 研 史] 春学期授業/Spring	789
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5262】 フランス語3-II [竹本 研 史] 秋学期授業/Fall	790
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5263】 フランス語3-I [柴崎 秀 穂] 春学期授業/Spring	791
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R5264】 フランス語3-II [柴崎 秀 穂] 秋学期授業/Fall	792
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5271】 フランス語の世界L A [廣松 勲] 春学期授業/Spring	793
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5272】 フランス語の世界L B [廣松 勲] 秋学期授業/Fall	795
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5273】 フランス語 コミュニケーション(初級)I [ニコラ ガイヤール] 春学期授業/Spring	797
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5274】 フランス語 コミュニケーション(初級)II [ニコラ ガイヤール] 秋学期授業/Fall	798
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5279】 時事フラン ス語I [大中 一彌] 春学期授業/Spring	799
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R5280】 時事フラン ス語II [大中 一彌] 秋学期授業/Fall	801
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5291】 フランスの文化と社 会LA [石川 典子] 春学期授業/Spring	803
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5292】 フランスの文化と社 会LB [石川 典子] 秋学期授業/Fall	805
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5295】 フランス生活文化論 LA [梶谷 彩子] 春学期授業/Spring	807
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R5296】 フランス生活文化論 LB [梶谷 彩子] 秋学期授業/Fall	809
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6201】 ロシア語3I [木部 敬] 春 学期授業/Spring	810
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6202】 ロシア語3II [木部 敬] 秋 学期授業/Fall	811
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6203】 ロシア語3I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring	812
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6204】 ロシア語3II [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall	813
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6205】 ロシア語3I [小西 昌隆] 春学期授業/Spring	814

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6206】 ロシア語3Ⅱ [小西 昌隆] 秋学期授業/Fall	815
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6211】 ロシア語4Ⅰ [木部 敬] 春学期授業/Spring	816
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6212】 ロシア語4Ⅱ [木部 敬] 秋学期授業/Fall	817
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6213】 ロシア語4Ⅰ [上野 理恵] 春学期授業/Spring	818
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R6214】 ロシア語4Ⅱ [上野 理恵] 秋学期授業/Fall	819
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6215】 ロシア語5 Ⅰ [エレナ 三神] 春学期授業/Spring	820
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6216】 ロシア語5 Ⅱ [エレナ 三神] 秋学期授業/Fall	821
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6221】 ロシア語7 [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring	822
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6222】 ロシア語8 [上野 理恵] 春 学期授業/Spring	823
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6231】 ロシア語3-Ⅰ [木部 敬] 春学期授業/Spring	824
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R6232】 ロシア語3-Ⅱ [木部 敬] 秋学期授業/Fall	825
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R6241】 ロシア語の世界L A [木部 敬] 春学期授業/Spring	826
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R6242】 ロシア語の世界L B [木部 敬] 秋学期授業/Fall	827
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R6243】 ロシアの文化と社会 L A [佐藤 千登勢] 春学期授業/Spring	828
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R6244】 ロシアの文化と社会 L B [佐藤 千登勢] 秋学期授業/Fall	830
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6245】 検定のロシ ア語A [佐藤 裕子] 春学期授業/Spring	832
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R6246】 検定のロシ ア語B [佐藤 裕子] 秋学期授業/Fall	833
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7301】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学 期授業/Spring	834
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7302】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学 期授業/Fall	836
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7303】 中国語3Ⅰ [祝 振媛] 春学 期授業/Spring	838
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7304】 中国語3Ⅱ [祝 振媛] 秋学 期授業/Fall	840
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7305】 中国語3Ⅰ [劉 渴水] 春学 期授業/Spring	842
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7306】 中国語3Ⅱ [劉 渴水] 秋学 期授業/Fall	843
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7307】 中国語3Ⅰ [柴崎 公美子] 春学期授業/Spring	844
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7308】 中国語3Ⅱ [柴崎 公美子] 秋学期授業/Fall	846
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7309】 中国語3Ⅰ [李 維涛] 春学 期授業/Spring	848
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7310】 中国語3Ⅱ [李 維涛] 秋学 期授業/Fall	850
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7311】 中国語3Ⅰ [耿 函] 春学期 授業/Spring	852

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7312】 中国語3Ⅱ [耿 函] 秋学期授業/Fall	853
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7313】 中国語3Ⅰ [李 維涛] 春学期授業/Spring	854
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7314】 中国語3Ⅱ [李 維涛] 秋学期授業/Fall	856
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7315】 中国語3Ⅰ [桑島 道夫] 春学期授業/Spring	858
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7316】 中国語3Ⅱ [桑島 道夫] 秋学期授業/Fall	859
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7317】 中国語3Ⅰ [張 玉萍] 春学期授業/Spring	860
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7318】 中国語3Ⅱ [張 玉萍] 秋学期授業/Fall	861
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7319】 中国語3Ⅰ [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	862
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7320】 中国語3Ⅱ [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	863
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7321】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学期授業/Spring	864
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7322】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学期授業/Fall	866
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7323】 中国語3Ⅰ [木村 佳代子] 春学期授業/Spring	868
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7324】 中国語3Ⅱ [木村 佳代子] 秋学期授業/Fall	869
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7325】 中国語3Ⅰ [李 維涛] 春学期授業/Spring	870
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7326】 中国語3Ⅱ [李 維涛] 秋学期授業/Fall	872
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7327】 中国語3Ⅰ [葉 進] 春学期授業/Spring	874
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7328】 中国語3Ⅱ [葉 進] 秋学期授業/Fall	875
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7329】 中国語3Ⅰ [周 重雷] 春学期授業/Spring	876
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7330】 中国語3Ⅱ [周 重雷] 秋学期授業/Fall	877
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7331】 中国語3Ⅰ [張 玉萍] 春学期授業/Spring	878
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7332】 中国語3Ⅱ [張 玉萍] 秋学期授業/Fall	879
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7333】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学期授業/Spring	880
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7334】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学期授業/Fall	882
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7335】 中国語3Ⅰ [シヨウ イクテイ] 春学期授業/Spring	884
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7336】 中国語3Ⅱ [シヨウ イクテイ] 秋学期授業/Fall	885
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7337】 中国語3Ⅰ [葉 会] 春学期授業/Spring	886
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7338】 中国語3Ⅱ [葉 会] 秋学期授業/Fall	887
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7339】 中国語3Ⅰ [康 鴻音] 春学期授業/Spring	888

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7340】 中国語3Ⅱ [康 鴻音] 秋学期授業/Fall.....	889
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7341】 中国語3Ⅰ [陳 瀟瀟] 春学期授業/Spring.....	890
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7342】 中国語3Ⅱ [陳 瀟瀟] 秋学期授業/Fall.....	892
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7343】 中国語3Ⅰ [葉 会] 春学期授業/Spring.....	894
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7344】 中国語3Ⅱ [葉 会] 秋学期授業/Fall.....	895
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7345】 中国語3Ⅰ [李 維涛] 春学期授業/Spring.....	896
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7346】 中国語3Ⅱ [李 維涛] 秋学期授業/Fall.....	898
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7347】 中国語3Ⅰ [後藤 淳一] 春学期授業/Spring.....	900
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7348】 中国語3Ⅱ [後藤 淳一] 秋学期授業/Fall.....	901
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7349】 中国語3Ⅰ [劉 渴水] 春学期授業/Spring.....	902
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7350】 中国語3Ⅱ [劉 渴水] 秋学期授業/Fall.....	903
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7351】 中国語3Ⅰ [渡部 れい子] 春学期授業/Spring.....	904
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7352】 中国語3Ⅱ [渡部 れい子] 秋学期授業/Fall.....	905
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7353】 中国語3Ⅰ [三田村 圭子] 春学期授業/Spring.....	906
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7354】 中国語3Ⅱ [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall.....	907
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7355】 中国語3Ⅰ [王 安] 春学期授業/Spring.....	908
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R7356】 中国語3Ⅱ [王 安] 秋学期授業/Fall.....	910
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7371】 中国語4Ⅰ [三田村 圭子] 春学期授業/Spring.....	912
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7372】 中国語4Ⅱ [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall.....	914
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7373】 中国語4Ⅰ [葉会] 春学期授業/Spring.....	916
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7374】 中国語4Ⅱ [葉会] 秋学期授業/Fall.....	917
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7375】 中国語4Ⅰ [洪井 君也] 春学期授業/Spring.....	918
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7376】 中国語4Ⅱ [洪井 君也] 秋学期授業/Fall.....	919
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7377】 中国語4Ⅰ [余瀾] 春学期授業/Spring.....	920
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7378】 中国語4Ⅱ [余瀾] 秋学期授業/Fall.....	921
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7379】 中国語4Ⅰ [シヨウ イクテイ] 春学期授業/Spring.....	922
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7380】 中国語4Ⅱ [シヨウ イクテイ] 秋学期授業/Fall.....	923
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R7381】 中国語4Ⅰ [祝振媛] 春学期授業/Spring.....	924

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7382】中国語4Ⅱ [祝振媛] 秋学期授業/Fall	926
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7383】中国語4Ⅰ [渋谷 君也] 春学期授業/Spring	928
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7384】中国語4Ⅱ [渋谷 君也] 秋学期授業/Fall	929
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7385】中国語(3)Ⅰ [耿 函] 春学期授業/Spring	930
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7386】中国語(3)Ⅱ [耿 函] 秋学期授業/Fall	931
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7387】中国語(3)Ⅰ [耿 函] 春学期授業/Spring	932
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7388】中国語(3)Ⅱ [耿 函] 秋学期授業/Fall	933
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7391】中国語7 [張 勝蘭] 春学期授業/Spring	934
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7392】中国語8 [鈴木 靖] 春学期授業/Spring	935
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7401】中国語3-I [日原 傳] 春学期授業/Spring	936
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7402】中国語3-II [日原 傳] 秋学期授業/Fall	937
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7403】中国語3-I [大江 千晶] 春学期授業/Spring	938
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7404】中国語3-II [大江 千晶] 秋学期授業/Fall	939
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7405】中国語3-I [三田村 圭子] 春学期授業/Spring	940
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7406】中国語3-II [三田村 圭子] 秋学期授業/Fall	941
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7407】中国語3-I [葉 進] 春学期授業/Spring	942
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R7408】中国語3-II [葉 進] 秋学期授業/Fall	943
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R7413】中国語コミュニケーション初級Ⅰ [周 重雷] 春学期授業/Spring	944
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R7414】中国語コミュニケーション初級Ⅱ [周 重雷] 秋学期授業/Fall	945
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7431】中国語作文初級Ⅰ [康 鴻音] 春学期授業/Spring	946
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7432】中国語作文初級Ⅱ [康 鴻音] 秋学期授業/Fall	947
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7433】中国語視聴覚初級Ⅰ [劉 渴水] 春学期授業/Spring	948
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語(諸外国語)【R7434】中国語視聴覚初級Ⅱ [劉 渴水] 秋学期授業/Fall	949
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R7437】資格中国語初級Ⅰ [青木 正子] 春学期授業/Spring	950
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語(英語・諸外国語)【R7438】資格中国語初級Ⅱ [青木 正子] 秋学期授業/Fall	951
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7447】中国の文化と社会ⅠA [山本 律] 春学期授業/Spring	952
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野)【R7448】中国の文化と社会ⅠB [山本 律] 秋学期授業/Fall	953
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語【R8201】スペイン語3Ⅰ [若林 大我] 春学期授業/Spring	954

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8202】 スペイン語3Ⅱ [若林 大我] 秋学期授業/Fall	955
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8203】 スペイン語3Ⅰ [大貫 良史] 春学期授業/Spring	956
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8204】 スペイン語3Ⅱ [大貫 良史] 秋学期授業/Fall	957
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8207】 スペイン語3Ⅰ [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring	958
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8208】 スペイン語3Ⅱ [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall	959
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8209】 スペイン語3Ⅰ [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring	960
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8210】 スペイン語3Ⅱ [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall	961
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8211】 スペイン語3Ⅰ [コルメナロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	962
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8212】 スペイン語3Ⅱ [コルメナロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	963
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8213】 スペイン語3Ⅰ [杉下 由紀子] 春学期授業/Spring	964
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8214】 スペイン語3Ⅱ [杉下 由紀子] 秋学期授業/Fall	965
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8215】 スペイン語3Ⅰ [若林 大我] 春学期授業/Spring	966
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8216】 スペイン語3Ⅱ [若林 大我] 秋学期授業/Fall	967
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8217】 スペイン語3Ⅰ [塩崎 公靖] 春学期授業/Spring	968
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8218】 スペイン語3Ⅱ [塩崎 公靖] 秋学期授業/Fall	969
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8219】 スペイン語3Ⅰ [コルメナロメロ ロベルト] 春学期授業/Spring	970
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8220】 スペイン語3Ⅱ [コルメナロメロ ロベルト] 秋学期授業/Fall	971
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8221】 スペイン語3Ⅰ [長谷川 悦夫] 春学期授業/Spring	972
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8222】 スペイン語3Ⅱ [長谷川 悦夫] 秋学期授業/Fall	973
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8223】 スペイン語3Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	974
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8224】 スペイン語3Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	975
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8225】 スペイン語3Ⅰ [若林 大我] 春学期授業/Spring	976
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8226】 スペイン語3Ⅱ [若林 大我] 秋学期授業/Fall	977
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8227】 スペイン語3Ⅰ [敦賀 公子] 春学期授業/Spring	978
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8228】 スペイン語3Ⅱ [敦賀 公子] 秋学期授業/Fall	979
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8261】 スペイン語4Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	980
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8262】 スペイン語4Ⅱ [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	981
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8263】 スペイン語4Ⅰ [OSNO I DE SASAKUBO H] 春学期授業/Spring	982

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8264】 スペイン語4 II [OSNO I DE SASAKUBO H] 秋学期授業/Fall	983
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8265】 スペイン語4 I [宮田 絵津子] 春学期授業/Spring	984
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8266】 スペイン語4 II [宮田 絵津子] 秋学期授業/Fall	985
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8271】 スペイン語(3)I [宮田 絵 津子] 春学期授業/Spring	986
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8272】 スペイン語(3)II [宮田 絵 津子] 秋学期授業/Fall.....	987
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8273】 スペイン語(3)I [塩崎 公 靖] 春学期授業/Spring.....	988
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8274】 スペイン語(3)II [塩崎 公 靖] 秋学期授業/Fall	989
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8281】 スペイン語7 [大西 亮] 春 学期授業/Spring	990
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8282】 スペイン語8 [佐々木 直美] 春学期授業/Spring	991
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8291】 スペイン語3-I [大西 亮] 春学期授業/Spring	992
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8292】 スペイン語3-II [大西 亮] 秋学期授業/Fall.....	993
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8293】 スペイン語3-I [宮田 絵 津子] 春学期授業/Spring	994
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R8294】 スペイン語3-II [宮田 絵 津子] 秋学期授業/Fall.....	995
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R8301】 スペイン語 コミュニケーションI [瓜谷 アウロラ] 春学期授業/Spring	996
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R8302】 スペイン語 コミュニケーションII [瓜谷 アウロラ] 秋学期授業/Fall	998
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8303】 現代のスペ イン語I [大西 亮] 春学期授業/Spring	1000
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R8304】 現代のスペ イン語II [久木 正雄] 秋学期授業/Fall	1001
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R8305】 スペイン語の世界L A [大貫 良史] 春学期授業/Spring	1002
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R8306】 スペイン語の世界L B [大貫 良史] 秋学期授業/Fall.....	1003
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9201】 朝鮮語3A I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1004
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9202】 朝鮮語3A II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall.....	1006
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9203】 朝鮮語3A I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1008
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9204】 朝鮮語3A II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall.....	1010
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9205】 朝鮮語3A I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1012
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9206】 朝鮮語3A II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall.....	1014
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9221】 朝鮮語3B I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1016
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9222】 朝鮮語3B II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall.....	1017
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9223】 朝鮮語3B I [梁 禮先] 春学期授業/Spring	1018

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9224】 朝鮮語3 B II [梁 禮先] 秋学期授業/Fall.....	1019
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9225】 朝鮮語3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring.....	1020
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9226】 朝鮮語3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall.....	1021
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9227】 朝鮮語3 B I [神谷 丹路] 春学期授業/Spring.....	1022
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9228】 朝鮮語3 B II [神谷 丹路] 秋学期授業/Fall.....	1023
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9229】 朝鮮語3 B I [河合 紀子] 春学期授業/Spring.....	1024
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9230】 朝鮮語3 B II [河合 紀子] 秋学期授業/Fall.....	1025
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9231】 朝鮮語3 B I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring.....	1026
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9232】 朝鮮語3 B II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall.....	1027
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9233】 朝鮮語3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring.....	1028
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9234】 朝鮮語3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall.....	1029
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9235】 朝鮮語3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring.....	1030
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9236】 朝鮮語3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall.....	1031
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9237】 朝鮮語3 B I [富所 明秀] 春学期授業/Spring.....	1032
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9238】 朝鮮語3 B II [富所 明秀] 秋学期授業/Fall.....	1033
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9239】 朝鮮語3 B I [河合 紀子] 春学期授業/Spring.....	1034
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9240】 朝鮮語3 B II [河合 紀子] 秋学期授業/Fall.....	1035
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9241】 朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring.....	1036
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9242】 朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall.....	1038
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9243】 朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring.....	1040
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9244】 朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall.....	1042
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9245】 朝鮮語4 A I [内山 政春] 春学期授業/Spring.....	1044
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9246】 朝鮮語4 A II [内山 政春] 秋学期授業/Fall.....	1046
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9251】 朝鮮語(3) I [李 英美] 春 学期授業/Spring.....	1048
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9252】 朝鮮語(3) II [李 英美] 秋 学期授業/Fall.....	1049
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9261】 朝鮮語7 [内山 政春] 春学 期授業/Spring.....	1050
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9262】 朝鮮語8 [高柳 俊男] 春学 期授業/Spring.....	1052
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9271】 朝鮮語3-I [荻野 優子] 春学期授業/Spring.....	1054

2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9272】 朝鮮語3-II [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	1055
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9273】 朝鮮語3-I [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1056
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [必修] 諸外国語 【R9274】 朝鮮語3-II [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	1057
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9283】 朝鮮語4 B I (視聴覚) [新谷 あゆり] 春学期授業/Spring	1058
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9284】 朝鮮語4 B II (視聴覚) [新谷 あゆり] 秋学期授業/Fall	1059
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9285】 朝鮮語5 A I (講読) [荻野 優子] 春学期授業/Spring	1060
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9286】 朝鮮語5 A II (講読) [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	1061
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9287】 朝鮮語5 B I (表現法) [神谷 丹路] 春学期授業/Spring	1062
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択] 外国語 (英語・諸外国語) 【R9288】 朝鮮語5 B II (表現法) [神谷 丹路] 秋学期授業/Fall	1063
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R9289】 朝鮮の文化と社会L A [李 英美] 春学期授業/Spring	1064
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 リベラルアーツ科目_4群 (諸外国語分野) 【R9290】 朝鮮の文化と社会L B [李 英美] 秋学期授業/Fall	1065
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9291】 朝鮮語4 C I (コミュニケーション) [富所 明秀] 春学期授業/Spring	1066
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9292】 朝鮮語4 C II (コミュニケーション) [富所 明秀] 秋学期授業/Fall	1067
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9311】 朝鮮語3 B I [荻野 優子] 春学期授業/Spring	1068
2017年度以降入学者_ILAC科目_200番台 外国語科目_4群 [選択必修] 外国語 (諸外国語) 【R9312】 朝鮮語3 B II [荻野 優子] 秋学期授業/Fall	1069

HIS200LA (史学/History 200)

Intercultural Communication A 2017年度以降入学者

サブタイトル：History of Japan-U.S relations from a global perspective

佐々木 一恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The course explores topics in the history of Japan-U.S relations from a global perspective. In recent years, global history has revealed complex interactions between goods, ideas, services, finance, and people across nation states and regions. By incorporating the framework of global history, the course will aim to reexamine the relationship between Japan and the U.S. by paying special attention to the interactions of individuals with different objectives and backgrounds in the Asia-Pacific region.

【到達目標】

By the end of this course, students will be able to:

- ① Understand the historical development of Japan - U.S. relations from a global perspective.
- ② Critically read and analyze both secondary scholarship and primary historical documents on Japan-U.S. relations by incorporating the framework of global history.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class consists of lectures, class discussions, and student presentations.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	An overview of the course.
2	Whaling and the Meiji Restoration	Reading assignment: "Western Whalers in 1860s' Hakodate: How the Nantucket of the North Pacific Connected Restoration Era Japan to Global Flows"
3	The Pacific at the Crossroads 1	Reading assignment: "The Emergence of Japan on the Global Stage, 1895- 1908"
4	The Pacific at the Crossroads 2	Reading assignment: "Race, Language, and War in Two Cultures: World War II in Asia"
5	W.W.II and the Atomic Bomb	Reading assignment: "The Decision to Use the Atomic Bomb"
6	Competing Capitalism between the U.S. and Japan	Reading assignment: "Competing Capitalisms"

7	Consuming Japan in the 1980s U.S. 1	Reading assignment: "A Medium but Not a Message: The VCR and Cultural Globalization"
8	Consuming Japan in the 1980s U.S. 2	Reading assignment: "Authenticity in a Hybrid World: Sushi at the Crossroads of Cultural Globalization"
9	The Practice of Analyzing Primary Sources and a Quiz	The Assigned primary documents
10	Presentation(s): Group or Individual 1	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 1 - Immigration
11	Presentation(s): Group or Individual 2	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 2 - Diplomacy and Politics
12	Presentation(s): Group or Individual 3	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 3 - Culture
13	Presentation(s): Group or Individual 4	Theme: Japan-U.S. relations from a global perspective 4 - Economics
14	Wrap up	Summary of the course

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to read the assignments and be ready for class discussions and presentations. University guidelines suggest preparation and review should be around two hours a week for a two-credit course.

【テキスト (教科書)】

There is no textbook for this course. All course materials are available online through the course website (Hoppii - student information management system).

【参考書】

◎ Sebastian Conrad, What is Global History? (Princeton, NJ: Princeton University Press, 2017).

◎ Pedro Iacobelli, Danton Leary, Shinnosuke Takahashi, eds, Transnational Japan as History: Empire, Migration, and Social Movements (New York: Palgrave Macmillan, 2016).

◎ Robert Hellyer and Harald Fuess, The Meiji Restoration: Japan as a Global Nation (Cambridge: Cambridge University Press, 2020).

Brian McAllister Linn, Guardians of Empire: The U.S. Army and the Pacific, 1902- 1940 (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 1997).

◎ Lon Kurashige ed., Pacific America: Histories of Transoceanic Crossings (University of Hawaii Press, 2017).

◎ Andrew C. McKevitt, Consuming Japan: Popular Culture and the Globalizing of 1980s America (Chapel Hill: University of North Carolina Press, 2017).

【成績評価の方法と基準】

1. Class participation 30%
2. In-class primary document analysis quiz 10%
3. Presentation 30%
4. Primary document analysis essay 30%

Based on the grading criteria set by the instructor, students who successfully achieve 60% or more of the course goals will earn a passing grade.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

ITC devices such as laptops and tablets.

LIN200LA (言語学 / Linguistics 200)

Intercultural Communication D 2017年度以降入学者

サブタイトル：Arts-Based Learning of Equity, Diversity, and Social Activism

石原 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制

必要とされる英語能力基準は、TOEFL iBT 61以上のスコア。TOEFL® iBT 61 is required.

その他属性：〈グ〉〈ダ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

In this course, we start by discussing how arts facilitate learning, especially of current social issues related to equity, diversity, and social justice in the globalized world today. You are invited to become part of this learning community sharing your cultural and social knowledge and experience while learning from others of all majors enrolled in this course. You will experience various forms of art incorporated into social activism calling for social and ecological justice. Through this experience, you will understand social, political, and historical backgrounds associated with the given activism. Your learning will be facilitated through the modeling by the instructor as well as through peer teaching. We will also collaboratively research, discuss, and learn about non-violent peace activists from various cultures and ethnic groups in the world. This will provide you with an opportunity to consider a method and option of acting and relating to others with respect, empathy, and compassion within and across cultural borders.

【到達目標】

In this course, you will: 1) understand and appreciate artistic expressions of equity and diversity, 2) understand social activism behind artistic expressions, and 3) participate in an arts-based approach to social justice issues. You will also reflect on your own reactions to issues of equity and diversity and consider how this learning may influence your values, identities, and worldview in relation to your major field of study and career choice.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Before class you are required to work on some reading assignments. In class we study new material, complete relevant tasks in pairs or small groups, and share your discussion with the class. You are encouraged to actively participate in group work and problem-based learning (PBL). Feedback will be given orally in interaction throughout the course. Written feedback will also be provided for your writing and oral presentations within a week of your assignment submission.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Course information, getting to know each other

2	Learning language from/with art	Learning about social activism from poetry, Marshall Rosenberg
3	Poetry - 1, social activism	Developing multicultural identities through poetry, Mother Teresa
4	Poetry - 2, social activism	Appreciating poetry writing, Mahatma & Katurabai Gandhi
5	Film, social activism	Film for art and social justice, Nelson Mandela
6	Stories/Story-telling, social activism	Narratives for equity and diversity, Mairead Corrigan McGuire & Betty Williams
7	Artistic creativity in peace linguistics, social activism	Language and peace, H. H. The Dalai Lama
8	Music - 1, social activism	Social activism through music, social activist (TBA)
9	Music - 2, social activism	Social activism through music, Peter Benenson
10	Children's literature,	Art and social justice in picture books, Sister Chan Khong
11	Folk tales	Peace education via kamishibai theater, Cesar Chavez
12	Novels	Social/ecological justice through literature, Meena Keshwar Kamal
13	Documentaries	Equity and diversity in documentary films, social activist (TBA)
14	Wrap-up	Reflection and your artistic expression

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

You should complete assigned reading and/or homework ahead of time and come to class ready for discussion. Review your lesson after class and complete reflective writing when assigned.

For your presentations, develop a peer teaching session on artistic expressions of diversity or equity issues (Micro Teaching) and creative multi-media talk on a social activist of your choice (Mini-Research presentation). Prepare a presentation and discussion appealing and engaging for your peers and rehearse it to be effective.

University guidelines suggest the preparation and review time of around two hours a week for a two-credit course like this one.

【テキスト (教科書)】

Censor, Meera. (2011). Humanitarians for justice, nonviolence, and peace. San Bernadino, California.

【参考書】

Other readings will be distributed through the course website, Google Classroom. Handouts and resources related to the course content are to be provided in class or made available in Google Classroom as well.

【成績評価の方法と基準】

You will receive a formal assessment of your work at the end of the term. The grade on a late assignment may be lowered. You will be graded on:

- 1) Attendance and participation (20%)
- 2) Micro teaching and mini research presentations (50%)
- 4) Online reactive writing (16%)
- 5) Final reflection (14%)

Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. You will not be able to pass this course if you miss more than three class periods a semester except in extreme circumstances.

【学生の意見等からの気づき】

Message to the course participants:

This is a course that requires you to share your ideas, knowledge, and experiences. You will meet interesting peers from various cultures and learn from working with them as well as the instructor. Be ready to interact with different peers each time.

This course is conducted in English. Students must be competent speakers of English (native or proficient with TOEFL® iBT 81+ or equivalent). If your scores are TOEFL® iBT 81 - 100, you can take this course but be ready to make a little more thorough preparation each week.

I expect international and Japanese students of all majors to work collaboratively despite their different cultural and linguistic backgrounds. Come with an open mind and learn from each other!

【学生が準備すべき機器他】

Become familiar with the course website to download readings and post your work. You are also expected to check your university email on a daily basis to keep up with course announcements.

【その他の重要事項】

Depending on the pandemic situation and your preferences, the course delivery method may change. Please check announcements on Hoppii before the start of the course and Google Classroom during the semester.

ARs200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

Intercultural Communication E 2017年度以降入学者

サブタイトル：

コリンヌ ヴァリエンス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

In this class you will discover French culture in fashion and gastronomy. Intercultural part is also important and you will improve your knowledge about French culture.

【到達目標】

You will be able to describe a fashion show and talk about stylists as well as to recognize regional dishes and chef. You will discover and improve your knowledge about French culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

We will study documents about French fashion and French Gastronomy. For example, you will discover famous French city, Chefs and Stylists. Intercultural part is very important in this class and you will have to think about your own habits and compare with your own culture. You'll have some reports during the semester and a Final report.

I will correct your reports and provide you with online comments.

You can contact me by email and I will reply to your questions.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	Presentation	program of the semester
第2回	French region	Lyon 1 - All about the beginning of French "cinema"
第3回	gastronomy	Lyon 2 - the specificity of Lyon cuisine
第4回	Culture	Lyon 3 - what about the cultural aspects of Lyon
第5回	Fashion	Coco Chanel -
第6回	Gastronomy	Do you know "Champagne" ? how to make champagne and the symbol of this famous drink
第7回	Gastronomy	Champagne 2 - What is the Champagne gastronomy ? Champagne is not only a drink, it is a famous region of France too.
第8回	Culture	What can you visit in Champagne ?
第9回	Gastronomy	Joël Robuchon, one of the famous French chef.

第10回	Culture	Paris 1 - Paris's secrets - Museum and places you don't know in Paris
第11回	Gastronomy	Paris 2 - What do Parisien eat ? Speciality of Paris
第12回	Gastronomy and culture	The art of eating from Middle age to XIXe century
第13回	Revision	Fashion and gastronomy revisions
第14回	Review and Exam	Review and Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Preparatory study and review time for this class are 2 hours each.

【テキスト (教科書)】

dictionary -

【参考書】

辞書- a dictionary will help you to understand some French sentences or expressions

【成績評価の方法と基準】

出席と参加 -HOMEWORK : 50%.

最終試験 - FINAL EXAM : 50 %

You'll have 3 reports as homework during the semester and 1 final exam at the end of semester.

Feedback will be given on Hoppii for each assignment.

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

Questionnaires have not been conducted for subjects new this year.

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

Intercultural Communication F 2017年度以降入学者

サブタイトル：A Global History of France

ルルー 清野 ブレندان

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉〈ダ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course explores topics in the history of France from a global perspective. In recent years, global history, alongside connected history or transnational history, has revealed complex interactions between goods, ideas, people across nation-states and regions.

The aim of this course, thus, is to provide students with an overview of the History of France, not as a nation-state per se but as a part of a connected, global world. The course will principally follow the (mainly) acclaimed *France in the World - A New Global History*, edited by Patrick Boucheron and Stéphane Gerson.

【到達目標】

By the end of this course, students should be able to:

- understand and explain key concepts and ideas about the history of France in a global perspective;
- critically read and analyse academic readings on the history of France by incorporating the framework of global history;
- discuss their ideas on the history of France with others;
- deploy appropriate analytical tools to critically examine various historical materials.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course consists of lectures, class discussions, group activities, and student presentations (depending on the number of enrolled students).

All work is carried out in English in class and that includes interaction between students and from students to teacher. Students will deal with reading various historical and academic texts, looking at visual documents such as pictures and diagrams, watching videos, then they will discuss these, try to answer questions, and apply strategies to solve problems. The format of the course will be as interactive and participatory as possible, with the help of screened slides in order to explain important facts and/or concepts.

The key to success in this course is weekly preparation and review of the class content, and active participation during class discussion and group works, in order to build a common knowledge about the history of France in a global perspective.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	- Self-introductions - Overview of the syllabus - Introduction of the course: "Early stirrings in one corner of the World"
2	From one Empire to another	- Romans like the rest - The Franks choose Paris as their capital - Africa knocks at the Franks' door
3	The feudal order triumphs	- When languages did not make kingdoms - Normans in the four corners of the World - Troyes, a Talmudic capital
4	France expands	- The two Europes, and the France of Bouvines - Universitas: the "French model" - Saint Louis is born in Carthage
5	The great Monarchy of the West	- An image of the World in a library - An enslaved black man in Pamiers - Jacques Cartier and the new lands - The Empire of the French language
6	Absolute power	- Spain cedes supremacy and cocoa to France - Versailles, capital of French Europe - 1492, French-style? - Siam: a missed opportunity
7	Enlightenment Nation	- A Kingdom for an Empire - The World's a conversation - The Global Revolution - Plantations in Revolution
8	A homeland for a universal Revolution	- Many nations under one code of law - Utopian year - Paris, Revolution ground zero - Penal colonization
9	Globalization in the French style (1)	- The other free trade country - The inauguration of the Suez canal - Local revolution, global myth
10	Globalization in the French style (2)	- Measuring the world - Dreyfus, a European affair - France hosts the World
11	Modernizing in troubled times (1)	- The view from New Caledonia - Two World-changing conferences - Naturalizing
12	Modernizing in troubled times (2)	- Empire at the gates of Paris - A French New Deal - Reinventing feminism - The end of the federalist dream and the invention of Françafrique

- | | | |
|----|--|---|
| 13 | Leaving the colonial empire, entering Europe | - "The wretched of the Earth": mourn Frantz Fanon
- "A specter haunts the planet"
- The other 9/11
- Socialism and globalization |
| 14 | Today in France | - France and multiculturalism: "Black-Blanc-Beur"
- "This message comes to you from an old country"
- The return of the flag |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to read all the assignments (given in advance) and be ready for class discussions, group activities and presentations in class.

University guidelines suggest preparation and review should be around two hours a week for a two-credit course like this one.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook to be bought for this class.

However, reading and viewing assignments will be made available in the reserve section of the library and/or uploaded to the course website on Hoppii (student information management system).

【参考書】

France in the World - A New Global History, edited by Patrick Boucheron and Stéphane Gerson, Other Press, 2019.

【成績評価の方法と基準】

50% - Attendance, class participation, short tests (in class)

30% - Homework, "preparation sheets" etc. (at home)

20% - Final group presentation or report or final exam (depending on the number of enrolled students)

Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

* Regular attendance is essential in order to benefit from the interactive nature of this course. Therefore, you will not be able to pass this course if you miss more than three classes. Moreover, full score for regular attendance is only given to those students attending all classes. Each absence will result in a 10% lowering of your final grade. If you are absent for any reason, you must contact the lecturer through e-mail and explain.

【学生の意見等からの気づき】

n/a (First time the instructor is teaching this course.)

【その他の重要事項】

- The course will be given in English, therefore students are expected to have a basic knowledge of English at university level. But perfect English is NOT required to take this class (the lecturer does not use himself a perfect English). The will to develop your English skills and an interest in history and historical texts is also expected. When necessary, additional explanations (e.g. difficult terms) may be given in Japanese or other languages.

- Students being late more than 15 minutes for no valid reason will be counted as being absent!

- Depending on the number of enrolled students and on the rhythm of the class, the above schedule is subject to change.

- Please refrain from private conversations during class, but feel free to ask any questions you may have.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就～」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都～」など6項目）の説明
4	第2課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 食 <input checked="" type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」+動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工 <input checked="" type="checkbox"/> 状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无 <input checked="" type="checkbox"/> …都/也～」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好 <input checked="" type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講 3 II

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「 <input type="checkbox"/> 价 <input type="checkbox"/> 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「 <input type="checkbox"/> 送 <input type="checkbox"/> 礼 <input type="checkbox"/> 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「 <input type="checkbox"/> …了」など6項目）の説明
6	第9課	「 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 式 <input type="checkbox"/> 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「 <input type="checkbox"/> 双 <input type="checkbox"/> 工 <input type="checkbox"/> 家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「 <input type="checkbox"/> 中国人 <input type="checkbox"/> 的 <input type="checkbox"/> 称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「 <input type="checkbox"/> 随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「 <input type="checkbox"/> 理想 <input type="checkbox"/> … <input type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント（「一…就～」など6項目）の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント（「每…都～」など6項目）の説明
4	第2課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 食 <input checked="" type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント（「多/少」+動詞）など6項目の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント（「兼語“有”」など6項目）の説明
9	第4課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント（「疑問詞の不定用法」など6項目）の説明
11	第5課	「大学生的打工 <input checked="" type="checkbox"/> 状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント（「无 <input checked="" type="checkbox"/> …都/也～」など6項目）の説明
13	第6課	「集体生活的好 <input checked="" type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「 <input type="checkbox"/> 价 <input type="checkbox"/> 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「 <input type="checkbox"/> 送 <input type="checkbox"/> 礼 <input type="checkbox"/> 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「 <input type="checkbox"/> …了」など6項目）の説明
6	第9課	「 <input type="checkbox"/> 中国 <input type="checkbox"/> 式 <input type="checkbox"/> 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「 <input type="checkbox"/> 双 <input type="checkbox"/> 工 <input type="checkbox"/> 家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「 <input type="checkbox"/> 中国人 <input type="checkbox"/> 的 <input type="checkbox"/> 称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「 <input type="checkbox"/> 随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「 <input type="checkbox"/> 理想 <input type="checkbox"/> … <input type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講3 I

2017年度以降入学者

沈 小南

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を固めつつ、中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に学ぶ。

【到達目標】

中級中国語の語彙、文法、表現を習得する。読む力、聴く力を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。

「大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	導入	導入
2回目	第1課【中国菜】	（程度補語など）
3回目	第1課【中国菜】	（程度補語など）
4回目	第2課【中国的☒料】	（就、把などについて）
5回目	第2課【中国的☒料】	（就、把などについて）
6回目	第3課【中国的糕点】	（慣用句：挺+形容詞+的）
7回目	第3課【中国的糕点】	（慣用句：挺+形容詞+的）
8回目	第4課【中国的体育】	（慣用句：動詞+是+動詞）
9回目	第4課【中国的体育】	（慣用句：動詞+是+動詞）
10回目	第5課【中国的自然地理】	（比較文）
11回目	第5課【中国的自然地理】	（比較文）
12回目	第6課【中国的行政区划】	（可能補語）
13回目	第6課【中国的行政区划】	（可能補語）
14回目	筆記試験、春学期のまとめ	筆記試験、春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

【やさしく楽しい中級中国語～中国基礎知識12篇】（白帝社）

【参考書】

『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

目安として、筆記試験60%、平常点（授業への参加度）40%の2つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】

もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Written examination (40%), Oral examination (30%), in-class contribution (30%)

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語補講 3 II

2017年度以降入学者

沈 小南

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を固めつつ、中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に学ぶ。

【到達目標】

中級中国語の語彙、文法、表現を習得する。読む力、聴く力を伸ばす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1年次で習得した知識の基本固めをしながら、多様な話題について、平易な中国語を話し、書き、聞くことができるように段階を追って、練習を積み重ねていく。単語力を増やし、易しい文型を繰り返し発音、暗記することが求められる。

課題等へのフィードバックは授業時間または学習支援システムを通じて行う。

「大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。」

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	復習	復習
2回目	第7課【中国的人口 与民族】	（語気詞）
3回目	第7課【中国的人口 与民族】	（語気詞）
4回目	第8課【中国的☑言】	（慣用句：対～來說）
5回目	第8課【中国的☑言】	（慣用句：対～來說）
6回目	第9課【中国的☑史】	（慣用句：～、然後）
7回目	第9課【中国的☑史】	（慣用句：～、然後）
8回目	第10課【中国的教育】	（慣用句：只要～、就～）
9回目	第10課【中国的教育】	（慣用句：只要～、就～）
10回目	第11課【中国的宗教】	（慣用句：不論～、都～）
11回目	第11課【中国的宗教】	（慣用句：不論～、都～）
12回目	第12課【中国的☑☑】	（慣用句：不但～、也～）
13回目	第12課【中国的☑☑】	（慣用句：不但～、也～）
14回目	試験	筆記試験、秋学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

1年生の教科書をはじめ、過去の教科書をよく復習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

【やさしく楽しい中級中国語～中国基礎知識12篇】（白帝社）

【参考書】

『中国語学習ハンドブック』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

目安として、筆記試験60%、平常点（授業への参加度）40%の2つを合わせて、総合評価を出す。

【学生の意見等からの気づき】

もっと中国文化を紹介し、日中友好と相互理解を深めたい。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for students who have failed Chinese 3 before. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following
Written examination (40%), Oral examination (30%), in-class contribution (30%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語補講3 I

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までには、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在形規則動詞	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在形規則活用の復習 (テキスト：第1課)
2	直説法現在形不規則動詞	直説法現在形不規則活用の復習 (テキスト：第1課、第2課)
3	目的格代名詞	目的格代名詞の復習 (テキスト：第3課)
4	gustar型動詞 関係代名詞que	gustar型動詞の復習 関係代名詞queの用法 (テキスト：第3課)
5	直説法点過去形規則動詞 直説法点過去形不規則動詞 (1)	直説法点過去形の活用の復習 (テキスト：第4課)
6	再帰動詞 seの受け身	再帰動詞の基本用法 再帰動詞を用いた受け身表現 (テキスト：第4課)
7	直説法点過去形不規則動詞(2)	直説法点過去形不規則活用の復習 (テキスト：第5課)

8	中間試験 過去分詞 直説法現在完了形	中間試験 過去分詞の作り方と用法 直説法現在完了形の復習 (テキスト：第5課)
9	直説法線過去形	直説法線過去形の復習 点過去形と線過去形の使い分け (テキスト：第6課)
10	無人称文 感嘆文	再帰動詞および3人称複数形を用いた無人称文の作り方 感嘆文の作り方 (テキスト：第6課)
11	直説法過去完了形	直説法過去完了形の意味と用法 (テキスト：第7課)
12	ser受動態	動詞serを用いた受け身表現 (テキスト：第7課)
13	春学期の復習	期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

西川喬『基礎から学ぼう！スペイン語 中級 (Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio)』（朝日出版）、2,300円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
- Preterite past tense
- Past perfect tense

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語補講3 II

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来形 直説法過去未来形	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来形の意味と用法 直説法過去未来形の意味と用法 (テキスト：第2課、第8課)
2	不定詞 + 目的格代名詞	不定詞と目的格代名詞および再帰代名詞の連接 (テキスト：第8課)
3	進行形	現在進行形、過去進行形、未来進行形の文の作り方 (テキスト：第9課)
4	命令法	命令文の作り方 (テキスト：第9課)
5	接続法現在形規則 動詞 接続法現在形語幹母音変化動詞	接続法概念 接続法現在形の規則活用と語幹母音変化動詞 (テキスト：第10課)
6	接続法現在形の命令用法	命令文で用いられる接続法現在形 (テキスト：第10課)
7	接続法現在形不規則動詞	接続法現在形のその他の不規則活用 (テキスト：第11課)

8	中間試験 接続法現在形の用法 ①	中間試験 接続法現在形の名詞節での用法 (テキスト：第12課)
9	接続法現在形の用法 ②	接続法現在形の形容詞節での用法 (テキスト：第13課)
10	現在分詞構文	現在分詞構文の意味と用法 (テキスト：第13課)
11	接続法現在形の用法 ③	接続法現在形の副詞節での用法 (テキスト：第14課)
12	接続法過去形	接続法過去形の活用と用法 (テキスト：第14課)
13	秋学期の復習	期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組む、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

西川喬『基礎から学ぼう！スペイン語 中級 (Aprendamos los fundamentos del idioma español: Curso intermedio)』（朝日出版）、2,300円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』（小学館）をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探することができる。<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-I (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3級レベル、DELTA A1~A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 1 Vous ou tu?	直説法現在、所有形容詞、疑問文
2	Texte 1 Vous ou tu?	長文読解と問題
3	Texte 2 La bise, facile comme boujour?	非人称構文、関係代名詞、比較級と最上級
4	Texte 2 La bise, facile comme boujour?	長文読解と問題
5	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
6	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	長文読解と問題
7	Texte 4 À la bonne heure!	助動詞、複合過去、中性代名詞
8	Texte 4 À la bonne heure!	長文読解と問題
9	Texte 5 Premier avril!	代名動詞、指示代名詞
10	Texte 5 Premier avril!	長文読解と問題
11	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	単純未来、所有代名詞

12	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	長文読解と問題
13	Texte 7 Un robot venu du futur	長文と読解
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 - 初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年 (1900円+税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内容が単調にならないよう、しばしば視聴覚映像を取り入れたが、難易度が適切でないものもあった。短時間の使用であっても、資料をより吟味するようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が(「フランス語3 インテンシブ」の方が)進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-II (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・フランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験(仏検)3級～準2級レベル、DELF A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進捗は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	受動態、前置詞+関係代名詞
2	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	長文読解と問題
3	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	条件法現在、中性代名詞
4	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	長文読解と問題
5	Texte 10 Tout n'est pas perdu	疑問形容詞、関係代名詞
6	Texte 10 Tout n'est pas perdu	長文読解と問題
7	Texte 11 Un roi calculateur	大過去、条件法過去
8	Texte 11 Un roi calculateur	長文読解と問題
9	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	現在分詞、関係代名詞、強調構文

10	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	長文読解と問題
11	Texte 13 Génération manga	近接未来・近接過去、ジェロン ディフ、感嘆文
12	Texte 13 Génération manga	長文読解と問題
13	Texte 14 L'alphabet sur le bout des doigts	接続法現在、長文読解と問題
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習(宿題として指示します)を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年(1900円+税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内容が単調にならないよう、視聴覚映像や教科書以外の練習問題を取り入れた。春学期よりはそうした教材を効果的に使用することができたが、教科書が終わらなかった。学習者にとって、一冊の教科書を終えることは達成感につながるため、次年度はその点に注意したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が(「フランス語3 インテンシブ」の方が)進捗が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 (3) I (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3級レベル、DELFI A1~A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 1 Vous ou tu?	直説法現在、所有形容詞、疑問文
2	Texte 1 Vous ou tu?	長文読解と問題
3	Texte 2 La bise, facile comme bonjour?	非人称構文、関係代名詞、比較級と最上級
4	Texte 2 La bise, facile comme bonjour?	長文読解と問題
5	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
6	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	長文読解と問題
7	Texte 4 À la bonne heure!	助動詞、複合過去、中性代名詞
8	Texte 4 À la bonne heure!	長文読解と問題
9	Texte 5 Premier avril!	代名動詞、指示代名詞
10	Texte 5 Premier avril!	長文読解と問題
11	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	単純未来、所有代名詞

12	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	長文読解と問題
13	Texte 7 Un robot venu du futur	長文と読解
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 - 初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年 (1900円+税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内容が単調にならないよう、しばしば視聴覚映像を取り入れたが、難易度が適切でないものもあった。短時間の使用であっても、資料をより吟味するようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が(「フランス語3 インテンシブ」の方が)進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 (3) II (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・フランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3級～準2級レベル、DELF A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進捗は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	受動態、前置詞 + 関係代名詞
2	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	長文読解と問題
3	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	条件法現在、中性代名詞
4	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	長文読解と問題
5	Texte 10 Tout n'est pas perdu	疑問形容詞、関係代名詞
6	Texte 10 Tout n'est pas perdu	長文読解と問題
7	Texte 11 Un roi calculateur	大過去、条件法過去
8	Texte 11 Un roi calculateur	長文読解と問題
9	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	現在分詞、関係代名詞、強調構文

10	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	長文読解と問題
11	Texte 13 Génération manga	近接未来・近接過去、ジェロン ディフ、感嘆文
12	Texte 13 Génération manga	長文読解と問題
13	Texte 14 L'alphabet sur le bout des doigts	接続法現在、長文読解と問題
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 一初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年 (1900円+税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内容が単調にならないよう、視聴覚映像や教科書以外の練習問題を取り入れた。春学期よりはそうした教材を効果的に使用することができたが、教科書が終わらなかった。学習者にとって、一冊の教科書を終えることは達成感につながるため、次年度はその点に注意したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が (「フランス語3 インテンシブ」の方が) 進捗が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context. The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR. Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text. The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4 B-I (視聴覚)

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通じ、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 語彙、文型を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 サランバンのお客さんとおモニ ①② シークレットガーデン1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとおモニ ③④ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さんとおモニ ⑤⑥ シークレットガーデン2	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとおモニ ⑦⑧ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとおモニ ⑨⑩ シークレットガーデン3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	サランバンのお客さんとおモニ ⑪⑫	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとおモニ ⑬⑭ シークレットガーデン4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	中間試験	単語 暗誦

9	サランバンのお客さんとおモニ ⑮⑯ シークレットガーデン5	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとおモニ ⑰⑱ 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さんとおモニ ⑲⑳ シークレットガーデン6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さんとおモニ 最終回 シークレットガーデン7	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は各2時間を要する。

【テキスト (教科書)】

プリント配布

【参考書】

川口義一監修『耳から入る韓国語1』学研
 シークレットガーデン DVD

【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40%、テスト 60%
 単語テストが50点以下の場合単位が出ない。
 4回以上の欠席で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られればネイティブとの会話の時間を設けます。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**【Course outline and learning objectives】**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 2hours at home for assignments and quizzes.

【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4B-II (視聴覚) 2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国入学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通じ、音から理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 自己紹介 華麗なる遺産1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	華麗なる遺産4 スピーチ	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	中間試験	単語 暗唱
8	華麗なる遺産6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	歌など	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

10	華麗なる遺産7 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	華麗なる遺産8 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

スクリプト翻訳・単語暗記・音読・暗唱等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は合計4時間を要する。

【テキスト (教科書)】

プリント配布

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40%、テスト 60%
 単語テストが50点以下の場合は、単位が出ない。
 4回欠席の場合、単位が出ない。

【学生の意見等からの気づき】

留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設ける予定です。

【その他の重要事項】

2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。課題も多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 2 hours at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation, Assignments 40%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語5 A- I (講読)

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・ 授業の進め方 ・ レベルチェック ・ 自己紹介
2	「日韓の狭間での対馬の苦悩」	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
3	「江戸時代の朝鮮通詞」	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
4	「韓医学」	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
5	「書芸」	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
6	「韓国人の宗教」	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
7	「ソウルという名称」	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
8	随筆を読む(1)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説

9	随筆を読む(2)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
10	随筆を読む(3)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
11	小説を読む(1)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
12	小説を読む(2)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
13	小説を読む(3)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標 (Learning Objectives)】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語5 A- II (講読)

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・ 授業の進め方 ・ レベルチェック ・ 自己紹介
2	韓国近代文学について	・ 作家と作品紹介
3	小説を読む(1)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
4	小説を読む(2)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
5	小説を読む(3)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
6	小説を読む(4)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
7	小説を読む(5)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
8	小説を読む(6)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
9	随筆を読む(1)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説

10	随筆を読む(2)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
11	随筆を読む(3)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
12	詩を読む(1)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
13	詩を読む(2)	・ 語彙、文法 ・ 翻訳 ・ 内容理解 ・ 説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいきながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標 (Learning Objectives)】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 B- I (表現法)

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。

韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせて、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業の基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPTを作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 BTS、KPOP再燃なるか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』 韓国映画1000万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』 正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』 南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 「小1保護者10時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

11	『時事韓国語』 「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 「高齢者10人に1人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80 %.

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語5 B-II (表現法) 2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 『時事韓国語』	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック
2	11「政府、原発新設 白紙化問題」 『時事韓国語』	・自己紹介 会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	12「はじめて呼ぶお父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、 協力と統合」 『時事韓国語』	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	14「南北65年ぶり終 戦宣言」 15「気候変動とウミ ゲーム」 『時事韓国語』	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	16「日本の公衆ト イレ」 17「米朝70年の対立 に終止符」 18「監視カメラ」 19「5G先取り競争」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

8	『時事韓国語』 24「変わる採用試験 現場」 25「不動産事情、ソ ウル、地方」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就業 者の増加」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ 韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュース ロッテ5連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、 巨大な壁を打ち破っ た英雄」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソ ウル桂洞」 35「蚊を追い払う方 法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、干 しだらのカルグクス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備をしておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution:80%.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4C-I (コミュニケーション) 2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2022年度までに「朝鮮語3C-I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語1・2で学んだ文法の知識を生かして、自分の言いたいことを朝鮮語で口頭発表できるようにすることがこの授業の目的です。そのために語彙を増やし、教科書にある会話文を正確な発音で言えるようにします。

【到達目標】

まず教科書にある会話文を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業開始時に筆記と口述の小テストを実施します。それから教科書の文法事項と語句を学び、次回的小テストに備えて会話文の発音の練習を行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	理由を表す語尾①
2	第2課	形容詞・指定詞の連体形
3	第3課	動詞・存在詞の連体形
4	第4課	逆接を表す語尾
5	第5課	未来連体形
6	第1課～第5課の復習	第1課～第5課の復習
7	第6課	「～したことがある」 「～することにする」
8	第7課	理由を表す語尾②
9	第8課	婉曲を表す語尾
10	第9課	「～し始める」 「～するなり」
11	第10課	「～しましょうか」
12	第6課～第10課の復習	第6課～第10課の復習
13	期末試験	筆記試験
14	期末試験	口述試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業では毎回筆記と口述の小テストを実施しますので、必ず復習してください。

授業の復習に要する時間は40分を標準としていますが、期末試験の口述試験のための原稿作成、筆記試験の準備には別途時間を要します。

【テキスト (教科書)】

『基礎から学ぶ韓国語講座中級改訂版』木内明著、国書刊行会、2015年
※初回の授業で使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社

【成績評価の方法と基準】

小テスト 30%

期末試験 70%

※小テスト、期末試験共に口述試験だけでは緊張してしまう人もいることを考慮し、それぞれ筆記試験も実施します。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

- ・第1回の授業までにHoppiiに登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppiiはこまめにチェックしてください。
- ・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時(欠席した翌週)の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。
- ・5回の欠席で評価対象外とします。3回の遅刻で1回欠席としてカウントします。
- ・感染症などの公欠はこれに該当しません。
- ・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The purpose of this class is to make use of the knowledge of grammar learned in Korean 1 and 2 to be able to verbally present what you want to say in Korean. For that purpose, we will increase our vocabulary so that we can say the conversational sentences in the textbook with accurate pronunciation.

< Learning Objectives >

The goal is to first understand the grammar of the conversations in the textbook, then to be able to speak them with correct pronunciation and to be able to replace them with what you want to say.

< Learning activities outside of classroom >

There will be written and oral quizzes every class, so be sure to review them.

The standard time required for reviewing classes is 40 minutes, but extra time is required to prepare manuscripts for the oral examination of the final exam and to prepare for the written examination.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 30%

Final exam 70%

* Considering that some students may get nervous just by taking the oral exam for both the quiz and the final exam, we will also conduct a written exam for each.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4C-II (コミュニケーション) 2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2022年度までに「朝鮮語3C-II」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、朝鮮語1・2で学んだ文法の知識を生かして、自分の言いたいことを朝鮮語で口頭発表できるようにすることがこの授業の目的です。そのために語彙を増やし、教科書にある会話を正確な発音で言えるようにします。

【到達目標】

まず教科書にある会話を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業開始時に筆記と口述の小テストを実施します。それから教科書の文法事項と語句を学び、次回的小テストに備えて会話文の発音の練習を行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第11課	「～したらいいんだけど」 「～のために」
2	第12課	「～するとき」 「～したとき」
3	第13課	「～したと」 「～するように」
4	第14課	「～くなる」 「～すれば～するほど」
5	第15課	「～して以来」 「～なんですよ」
6	第11課～第15課の復習	復習
7	第16課	「～ように見える」「～するようだ」
8	第17課	「～なのか」 「～そうです」
9	第18課	「～してから」 「～しておく」
10	第19課	「～しろと言う」 「～すると言う」
11	第20課	「～するなりすぐ」 「～するつもりだから」
12	第16課～第20課の復習	復習
13	期末試験 筆記	期末試験 筆記
14	期末試験 口述	期末試験 口述

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業では毎回筆記と口述の小テストを実施しますので、必ず復習してください。

授業の復習に要する時間は40分を標準としていますが、期末試験の口述試験のための原稿作成、筆記試験の準備には別途時間を要します。

【テキスト (教科書)】

『基礎から学ぶ韓国語講座中級改訂版』木内明著、国書刊行会、2015年
※教科書は初回の授業で使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』、内山政春著、白水社

【成績評価の方法と基準】

小テスト 30%

期末試験 70%

※小テスト、期末試験共に口述試験だけでは緊張してしまう人もいることを考慮し、それぞれ筆記試験も実施します。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・第1回の授業までにHoppiiに登録してください、お知らせやプリントを配布しますので、Hoppiiはこまめにチェックしてください。

・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時(欠席した翌週)の授業開始前に証明書を出し追試を申し出てください。

・5回の欠席で評価対象外とします。3回の遅刻で1回欠席としてカウントします。

感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, the purpose of this class is to make use of the knowledge of grammar learned in Korean 1 and 2 to be able to verbally present what you want to say in Korean. For that purpose, we will increase our vocabulary so that we can say the conversational sentences in the textbook with accurate pronunciation.

< Learning Objectives >

The goal is to first understand the grammar of the conversations in the textbook, then to be able to speak them with correct pronunciation and to be able to replace them with what you want to say.

< Learning activities outside of classroom >

There will be written and oral quizzes every class, so be sure to review them.

The standard time required for reviewing classes is 40 minutes, but extra time is required to prepare manuscripts for the oral examination of the final exam and to prepare for the written examination.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 30%

Final exam 70%

* Considering that some students may get nervous just by taking the oral exam for both the quiz and the final exam, we will also conduct a written exam for each.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

Information Technology 2017年度以降入学者

サブタイトル：Programming in Processing

齋藤 明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

定員制

IGESS生は履修しない。No enrollment for students of IGESS.

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Processing is a computer language which provides you with a beginner-friendly graphical environment. Aiming at those who have learned basic elements of Processing in the course "Elementary Information Technology", this course teaches you mid-level elements of Processing, which enable you to develop a sufficiently large software.

【到達目標】

In the course "Elementary Information Technology", you have learned how to use various types of variables as well as basic statements such as if, while and for statements. In this course, you will learn arrays, which can store more than one values, and functions, which integrate similar codes into one component. Both are essential elements when you develop a large-scale software.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP4、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class consists of a lecture and exercises. The lecture is delivered through slides. You are required to write short programs as exercises during the class. A homework is assigned at the end of the class, which you are required to finish by the next class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Review of the basic grammar of Processing 1	You will review what you have learned in "Elementary Information Technology". We will focus on variables and conditional statements.
2	Review of the basic grammar of Processing 2	You will review what you have learned in "Elementary Information Technology". We will focus on statements performing loops.
3	Array 1	You will learn a type called an array. It will enable you to store multiple values under a common name.
4	Array 2	You will learn how to declare an array with an explicit initialization.
5	Array 3	You will learn how to declare an array without explicitly initializing it.

6	Array 4	You will learn an advanced technique on how to use an array.
7	Function 1	You will learn the basics of a function. You will see the similarities and the differences between functions in mathematics and those in programming.
8	Function 2	You will learn how to write and use functions which return a value. They are similar to the functions in a mathematical sense.
9	Function 3	You will learn how to write and use functions which do not return a value. You will understand that in a programming language, the word "function" is used in a sense broader than the counterpart in mathematics.
10	How to Use Functions	You will learn how to divide a whole program into meaningful small parts and convert them into functions.
11	Scope Rule	When you write a program, you declare a number of variables inside and outside of functions. You will learn which of them you can refer in a specific part of the program.
12	Recursion 1	You can call a function from inside of a function. Recursion is a special type of calling in which you call a function which is the same as the one you are currently in. You will learn how to use recursion.
13	Recursion 2	Many tasks in the information processing are described in a recursive manner. You will learn how to naturally convert the recursive description into a recursive function.
14	Exercises	You are required to solve various types problems on what you have learned in this course. The solutions to these problems are explained in the latter half of the class.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Homework is assigned in each class. You are required to finish it by the next class. Also the slides for the next class are available a couple of days in advance. You are required to browse them and grasp the image of the upcoming class. An estimated time for this work is 2 hours.

【テキスト (教科書)】

None.

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Your are assessed from the following points.

The quality of the exercises you submit from 1st to 13th classes : 30%

The quality of the submitted homework : 50%

The quality of the exercises you submit in the last (14th.) class
: 20%

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

None

CAR200LA (キャリア教育 / Career education 200)

Career Development Skills 2017年度以降入学者

サブタイトル：

AMINE A ABBADIE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Career development skills are critical for professional growth and success in any field. Designing modules for a career development program can help individuals enhance these skills.

Career development is a vital aspect of one's professional life. Whether you are just starting in your career or looking to make a change, there are several skills and strategies that can help you succeed.

【到達目標】

Here are some essential skills and goals to focus on for career development:

- 1- Equip students with the necessary skills to navigate their future career paths effectively.
- 2- Enhance students' understanding of the job market and employment trends.
- 3- Develop key competencies such as resume writing, interview techniques, and networking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- Lectures: Instructor-led sessions to introduce concepts and facilitate discussions.

- Activities: Individual and group activities to apply concepts learned in lectures.

All of the class activities will be conducted in English.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Orientation	Outline of the course. Introduction of instructor. Free discussion on "career" and career development Skills.
Week 2	Self-Assessment and Goal Setting	To help students understand their strengths, weaknesses, interests, and values.
Week 3	Skill Development	To assist students in identifying and developing key professional skills.
Week 4	Networking and Relationship Building	To teach effective networking strategies and relationship management.

Week 5	Resume Writing and Personal Branding	To guide students in creating impactful resumes and developing a strong personal brand.
Week 6	Job Search Strategies	To equip students with effective job search techniques.
Week 7	Interview Skills	To prepare students for job interviews.
Week 8	Negotiation and Decision Making	To improve negotiation skills and decision-making abilities.
Week 9	Career Advancement and Leadership	To assist in developing leadership skills and strategies for career advancement.
Week 10	Work-Life Balance and Wellness	To emphasize the importance of maintaining a healthy work-life balance.
Week 11	Future Trends and Adaptability	To prepare for future trends and the evolving job market.
Week 12	Career Advocacy	Learning how to effectively advocate for oneself in terms of career advancement, including asking for promotions, raises, or additional responsibilities.
Week 13	Guest Speaker	People who are active in various fields are invited to talk about their careers
Week 14	Recap	- Recap of the key points. - Encouragement to take charge of one's career development journey.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students taking this course should spend time to prepare and review the lessons before and after the course, for approximately One (1) Hour.

【テキスト (教科書)】

For this course there is not a specific textbook which will be followed, I will be using different resources like as below:

Books:

"Atomic Habits" by James Clear:

- Offers insights into building positive habits that can contribute to long-term career success.

1."Ikigai: The Japanese Secret to a Long and Happy Life" by Héctor García and Francesc Miralles:

- While not specifically focused on career development, this book explores the concept of ikigai, which can be valuable for Japanese students seeking purpose in their careers.

Online Platforms: LinkedIn Learning courses.

【参考書】

References will be introduced in class.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be decided based on the following criteria:

Participation: Active engagement in class discussions and activities: 60%

Final Project: Develop a comprehensive career action plan: 40%

Details will be explained during the first class.

Please note that students who miss 4 classes or more without justification cannot receive credit.

【学生の意見等からの気づき】

This course will be conducted for the 2nd time in 2024

ART200LA (芸術学 / Art studies 200)
Humanities A 2017年度以降入学者
 サブタイトル：Japanese Literature II.

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1
 単位数：2単位
 定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course focuses on the major literary figures and their representative works of early modern, modern and contemporary Japanese literature. The works will be discussed with regard to the circumstances and background that shaped the authors' way of thinking. The course will also include a lesson introducing two significant works of medieval literature to shed light on one of the crucial concepts in Japanese culture - transience. There will also be a lesson introducing two major women poets of Okinawa.

【到達目標】

Goals:

1. to learn about the major literary figures of pre-modern, modern and contemporary Japanese literature
2. to gain an appreciation of the depth and atmosphere of their literary works as well as the beauty of the English translations

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course is based on lectures by the instructor featuring the use of written and audio-visual materials. In addition, every student will be required to actively participate in class discussions, deliver a class presentation on a given topic, submit a short written summary of the presentation topic and an essay and complete a short written exam at the end of the semester. The topics for the presentation will be distributed at the beginning of the course.

Comments and explanation about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

This course is in principle a face-to-face course. However, the first lecture will be taught online on Zoom. Please see HOPPII for further instructions about how to join our Zoom session.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introduction to course; brief self-introduction; scheduling of presentations

2.	Transience in Japanese poetry	The concept of transience as portrayed in <i>Essays in Idleness (Tsurezuregusa)</i> , written by Buddhist priest Kenkō)the <i>waka</i> anthology <i>A Hundred Poems by a Hundred Poets (Hyakunin Isshu)</i> , compiled by Fujiwara no Teika)
3.	Haikai poetry	Transition from comic <i>haikai</i> poetry to the mastering of <i>haiku</i> ; Matsuo Bashō; Hints for appreciating and writing <i>haiku</i>
4.	Poetry of Okinawa	Two women poets of Okinawa: <i>Yoshiya Tsuru</i> and <i>Onna Nabe</i> and their <i>ryūka</i> poems
5.	Literature of the floating world	The rising merchant society during the <i>Edo</i> period; stories of the floating world (<i>ukiyo zōshi</i>); <i>Ihara Saikaku: The Life of an Amorous Man (Kōshoku Ichidai Otoko)</i> and <i>Five Women who Loved Love (Kōshoku Gonin Onna)</i>
6.	Tales of the supernatural in pre-modern literature	<i>Ueda Akinari</i> and his <i>Tales of Moonlight and Rain (Ugetsu Monogatari)</i>
7.	Tales of the supernatural in modern literature	<i>Akutagawa Ryūnosuke</i> and the influence of <i>Japanese Tales from Times Past (Konjaku Monogatari Shū)</i> ; short stories <i>In a Grove (Yabu no Naka)</i> and <i>Rashōmon</i>
8.	The world of fantasy and reality of Miyazawa Kenji	<i>Miyazawa Kenji</i> : fantasy novel <i>Milky Way Railroad (Ginga Tetsudō no Yoru)</i> , poem <i>Be not Defeated by the Rain (Ame ni mo makezu)</i>
9.	Modern novelists, Part 1	<i>Natsume Sōseki</i> : his life and literary works, particularly the novel <i>I Am a Cat (Wagahai wa Neko de aru)</i>
10.	Modern novelists, Part 2	<i>Mishima Yukio (Confessions of a Mask; Kamen no Kokuhaku)</i>
11.	Modern novelists, Part 3	<i>Tanizaki Junichirō</i> and his works <i>The Key (Kagi)</i> and <i>In Praise of Shadows (Inei Raisan)</i>
12.	Modern novelists, Part 4	Nobel Prize winner <i>Kawabata Yasunari</i> and his masterpiece <i>Snow Country (Yukiguni)</i>
13.	Contemporary literature	<i>Yoshimoto Banana</i> and <i>Haruki Murakami</i> and their representative works
14.	Course wrap up	Submit short summary of presentation and essay; final written exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please prepare a short self-introduction for the first class. In addition, each student will be asked to deliver an oral presentation on a designated topic and to submit a short written summary of the presentation and essay at the end of the semester. Students are also expected to actively engage in class discussions and to revise all of the readings done in class, as they will form the basis for the discussions and questions on the final exam. Preparatory study and review time for this class are 2 hours each. (University regulations suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.)

【テキスト（教科書）】

No textbooks will be used. Handouts and reading materials on each lesson's topic together with the specified sources will be distributed by the lecturer through HOPPIL.

【参考書】

Selected references:

Keene, Donald. *Appreciations of Japanese Culture*. Tokyo, New York & London: Kodansha International, Ltd., 1971. First paperback edition, 1981.

Keene, Donald. *World Within Walls - Japanese Literature of the Pre-Modern Era, 1600-1867*. New York: Holt, Rinehart and Winston, 1976.

Petersen, Gwen Boardman. *The Moon in the Water - Understanding Tanizaki, Kawabata and Mishima*. Honolulu: The University Press of Hawaii, 1979.

Further references related to the topic of each class will be provided by the lecturer.

【成績評価の方法と基準】

Class attendance and oral participation are expected; failure to participate in class will result in the subtraction of marks from the total. Grading criteria: oral presentation and written summary (50%); active participation in discussions, final examination and essay (50%).

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

【学生が準備すべき機器他】

Please check HOPPIL for further instructions about the course.

ARSc200LA (地域研究 (北アメリカ) / Area studies(North America) 200)

Humanities B 2017年度以降入学者

サブタイトル：US 20th Century History

Richard.J.Burrows

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Despite the rise of powers in Asia such as China & India, the US remains the pre-eminent global power and a key to understanding its prominence lies in an understanding of its rise as a superpower during the 20th century. Therefore, this course will focus on key political, economic & cultural developments during the latter half of that period, how they contributed to the rise of American power and continue to influence nations around the world, especially in Asia. Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter a new century.

【到達目標】

Through a variety of media, this course seeks to firstly, give students a thorough understanding of key events in the US from the end of World War I to the close of the century. In addition, students will be able to comprehend how those events impacted not only on the course of modern US history, but their wider effect throughout the world, especially in the Asia-Pacific region.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Regular reading assignments will be set, analyzed & discussed during the lessons, allowing students to reflect on how the US continues to influence their nations as we enter the 21st century. Furthermore, an audio-visual element will allow students to sharpen their listening skills and engage in comprehension activities.

Students will present on topics of their own choice, and after each presentation, the student will receive private feedback, in addition to a grade & constructive evaluation

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Explanation	Course Introduction
Week 2	Course Assignments	Presentation Skills
Week 3	Innovation	The Wright Brothers
Week 4	The Pacific Conflict	US in World War II
Week 5	Post-War Settlement	Bombing of Hiroshima
Week 6	Technology	Breaking the Sound Barrier
Week 7	The Fight Against Communism	The Vietnam War

Week 8	The Civil Rights Movement	Martin Luther King
Week 9	A Divided Nation	The Anti-War Movement
Week 10	Civil Unrest & Violence	The Assassination of JFK
Week 11	Watergate	The End of Nixon
Week 12	The Space Race	The Apollo Landings
Week 13	Domestic Terrorism	Oklahoma Bombing
Week 14	Course Review	The 20th Century Influence on the Present Day

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to make a presentation and submit a report on a relevant theme during the semester. In addition, regular reading assignments will be set with comprehension & vocabulary questions, which will require 4 hours each week.No more than 3 absences will be permitted. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course.

【テキスト (教科書)】

None, but students are required to download & prepare the required material before class.

【参考書】

An electronic or smart phone English dictionary, or dictionary app is required at every class

【成績評価の方法と基準】

Evaluation will be based on the following criteria:

Classwork & Participation 30%

Homework 30%

Presentation 20%

Report 20%

In principle, no more than 3 absences are permitted

【学生の意見等からの気づき】

Online access to the course materials will allow to students to both preview & review class work.

【学生が準備すべき機器他】

Since all materials will be available online, students need to either download & print the necessary file, or download and have it ready on their laptop or tablet device, before the start of each class. In addition, students need to have access to a pc in order to prepare their presentation & report

【その他の重要事項】

Please join this class if you have an interest in this topic, a desire to improve your English skills, and are willing to attend classes on a regular basis and submit all homework & other assignments on time.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

POL200LA (政治学 / Politics 200)

Social Science A

2017年度以降入学者

サブタイトル：Legal Theory

GAEL BESSON

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Legal theory is a discipline that uses tools, concepts and methods from philosophy, sociology, political science, economics and critical studies, in order to study the concepts that are central or deemed the most important to talk about Law in a general way : authority, rule, norm, obligation, and the concept of law itself.

But as a specific discipline, Legal theory's vocabulary is distinct from the Legal vocabulary, so it is therefore important to be able to understand the texts of the founders of the discipline among whom we will find Hart, Kelsen, Dworkin, Finnis, Fuller ... and be able to keep the discussion ongoing.

This class will accompany the student into one of the most fundamental branches of this discussion : how does analytical philosophy of law, and especially the tools provided by Herbert L. A. Hart's theory (1), one of the most influential positivist approaches of legal phenomenon, deal with contemporary problems such as :

- (2) the persistence of law in an era of seemingly never ending crises
- (3) the new forms of law usages by NGO and governments
- (4) the reluctance of justices to strike down arguably unconstitutional rules
- (5) the concurrence between the three branches of government
- (6) the complexities of interconnected legal systems, and the challenges posed to States, by private corporations
- (7) the way to scientifically account for injustices, especially ones rising from global warming
- (8) the role of law as a mean to avoid violence, and the stimulating challenges posed to legal positivism by jusnaturalism

【到達目標】

By the end of the course, students are expected to have acquired:

1. The skill of being able to find in library and online databases research articles
2. A firm grasp of some of the core notions of legal positivism and jusnaturalism
3. Comprehension of some of the great doctrinal debates of the discipline
4. A way to use these analytical tools to face contemporary problems

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture.

Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on a subject of their choice that will result in a little essay that will be submitted at the end of the semester.

Use of AI tools is forbidden, but feedback by the professor will be given at the beginning and the end of the class (are sources reliable, is the problematic sound, how to organize your study schedule...) in order to accompany the students in their research and homework. Mail can be written to the professor anytime if the student doesn't want to ask in front of the other students.

Course contents will vary depending on number of students presentations to be performed in class.

A final test will check if the notions are understood.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	MODULE 1 - WHAT IS LEGAL THEORY	A) General definitions B) Main themes and questions of legal theory

2	MODULE 2 - METHOD OF LEGAL THEORY	A) Intuition and the choice between a lawyer's or a societal point of view B) The importance of working on the great texts of legal philosophy.
3	MODULE 3 - HERBERT L. A. HART and research project choice	A) Biography B) Bibliography
4	MODULE 4 - SOCIAL RULES	A) The notion of "Habits" doesn't account for the persistence of law B) The internal aspect of a social rule
5	MODULE 5 - FROM SOCIAL TO LEGAL	A) The necessity of secondary rules in a "complex" legal system B) A specific social rule at the base of all legal rules : the rule of recognition
6	MODULE 6 - LEGAL RULES	A) The choice of the strict internal point of view B) Who needs to recognize the rule as a legal rule ?
7	MODULE 7 - SECONDARY RULES AND PRIMARY RULES	A) The relationship between the rule of recognition and other secondary rules. B) The difference between rules that create obligation and rules that confer power
8	MODULE 8 - THE EXISTENCE OF LAW	A) The union of primary and secondary rules B) Hart vs Kelsen conception of validity
9	MODULE 9 - THE OPEN TEXTURE OF LEGAL LANGUAGE	A) A few words on realism and their scepticism about rules B) Open texture, it's not bad to have some leeway
10	MODULE 10 - THE INTERPRETATION OF LAW	A) Wittgenstein's paradox and the distinction between to follow and to interpret B) The realist' confusion
11	Research project advice. Help with homework.	Open discussion.
12	Presentation of the final report	Group A
13	Presentation of the final report	Group B
14	Test	Final test in class to check student's knowledge and skills.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Around 2-3 hours a week. Except in exceptional circumstances and notification to the Professor, attendance to each lesson is mandatory.

【テキスト（教科書）】

None.

【参考書】

- Nicola Lacey, *A Life of H. L. A. Hart, The Nightmare and the noble dream*, Oxford UP, 2004
- Neil Maccormick, *H.L.A. Hart*, Stanford University Press, 2nd ed., 2008
- Frederick Schauer, "(Re)Taking Hart," 119 *Harv. L. Rev.* 852 (2006) (reviewing Lacey, "A Life of H. L. A. Hart")
- P.M.S. Hacker, « Hart's Philosophy of Law », in P.M.S. Hacker and J. Raz, *Law, Morality and Society. Essays in Honor of H.L.A. Hart*, Clarendon Press, Oxford, 1977, p. 1 s.
- Joseph Raz, « H.L.A. Hart (1907-1992) », *Utilitas*, vol. 5, 1993, p. 145-156
- Herbert L.A. Hart, *Leslie Green, The Concept of Law* 3rd ed, 2012, Oxford University Press.
- Hans Kelsen, *Pure Theory of Law. Translation from the Second German Edition by Max Knight, reprint by The Lawbook Exchange*, 2009.
- Martti Koskenniemi, *From Apology to Utopia: The Structure of International Legal Argument*. 2nd ed, 2006, Cambridge: Cambridge University Press.
- Jean-Yves Chérot, "Hart et le concept de droit", manuscript, 2019.

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including attendance, homework and discussion): 50%

Final test and essay: 50%

【学生の意見等からの気づき】

Course content has been reviewed and updated.

【学生が準備すべき機器他】

Pen, notebook, color pencils, eraser.

【その他の重要事項】

Students can contact the instructor at: gael.besson.77@hosei.ac.jp

In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face.

POL200LA (政治学 / Politics 200)

Social Science B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japanese Constitutional Case Law : Comparative Approach

GAEL BESSON

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The purpose of this class is to allow student to read and understand a court decision in the field of fundamentals rights.

Constitutional law is now a trans-disciplinary field that connect to every branches of law, whether it is family law, commercial law, penal law... At the core of it is the protection of fundamental rights.

But, even if one of the wonders of the Japanese legal system is to provide the texts of the great legal decisions in English, the vocabulary that the judge uses to make or justify his decision can look frightening for the non-specialist. The class will accompany the student in acquiring the tools to read and understand in English, some of the most important constitutional cases in Japan.

We will see the influence of French, German and US doctrines, and the very specific Japanese ones on Japanese constitutional law, compare with solutions in other countries, and see that, contrary to the idea that Japan is always a country of consensus, that there have been strong debates between Justice especially because some defend a very national concept of Law when the other want to promote human rights protection with the same standards as others countries do.

【到達目標】

By the end of the course, it is expected that students have acquired :

1. Specific vocabulary to be able to read legal decisions.
2. Overview of some of the most important cases in Japan.
3. A robust knowledge of the structural doctrines that ensure or limit fundamental rights protection.
4. How to write a synthesis and argumentative essay.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes consist in discussion, documents study, and lecture.

Students will be required to apply analytical frameworks they learned during class by conducting a research on a subject of their choice that will result in a little essay that will be submitted at the end of the semester.

Use of AI tools is forbidden, but feedback by the professor will be given at the beginning and the end of the class (are sources reliable, is the problematic sound, how to organize your study schedule...) in order to accompany the students in their research and homework. Mail can be written to the professor anytime if the student doesn't want to ask in front of the other students.

Course contents will vary depending on number of students presentations to be performed in class.

A final test will check if the notions are understood.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction : Judicial power in Japan	Explanation of the class, elements of the Japanese legal system, National Police reserve case ; independence of Japanese judges.
2.	Limits of judicial power I. The political problem	Sunagawa case; Tomabechi case : avoiding political issues.
3.	II. The divided society	Yonaiyama case : Justices Tanaka and Mano on the separation of powers. Infra-state pluralism theory.

4.	Access to court : I. The standing to sue	Naganuma case / Comparison with US case law.
5.	II. The mootness	Asahi case, Ienaga case, May day parade Case.
6.	Research project I	Methodology, help to choose subject and finding data.
7.	Judicial review : I. Purpose and effect	Nationality act case; Hyakuri case, Reapportionment cases. Vote at Home case.
8.	II. Application of fundamentals rights	Mitsubishi resin case
9.	III. Presumption of constitutionality	Thayer-Holmes-Franfurter and Ashibe argument.
10.	IV. Legislative and administrative discretion	Parricide cases, Pharmaceutical act case, MacLean case, Tamagushiryō case.
11.	Research project II	Feedback for the research project.
12.	Human rights protection Changes in the Japanese family structure	Art. 14 of the Japanese Constitution and the rationality test.
13.	Presentation I	Example of subjects : Woman and LGBT rights protection...
14.	Presentation II	Nature rights, workers rights ...

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

In addition to the research project to be presented in class, students will be required to prepare the class by familiarizing themselves with the documents handed out for this purpose. Around 2-3 hours a week.

Except in exceptional circumstances and notification to the Professor, attendance to each lesson is mandatory.

【テキスト (教科書)】

None. Historical and contemporary cases translations in English will be given to students.

【参考書】

- Shigenori MATSUI, The Constitution of Japan : A Contextual Analysis (Constitutional Systems of the World). 2011, Hart. ISBN 13 978-1841137926.

- Hiroshi ITOH, The Supreme Court and Benign Elite Democracy in Japan, 2020, Routledge, ISBN 13 : 978-0367602680.

- Kyoko INOUE, Macarthur's Japanese Constitution · A Linguistic and Cultural Study of Its Making, 1991, University of Chicago, ISBN-13 : 978-0226383910

【成績評価の方法と基準】

Participation in class (including homework and discussions): 50%; research project: 50% (presentation in class: 10%; written report: 40%).

【学生の意見等からの気づき】

Course content has been reviewed and updated.

【学生が準備すべき機器他】

Pen, notebook, color pencils and an eraser.

【その他の重要事項】

Students can contact the instructor at: gael.besson.77@hosei.ac.jp

In accordance with Hosei University policies, this course will be held face-to-face.

BSC200LA (基礎化学 / Basic chemistry 200)

Natural Science B

2017年度以降入学者

サブタイトル：Environmental Science

西村 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

【到達目標】

The goal of this course is for students to lean environmental problems through chemistry. The objective 1) entirely environmental problems in the world; 2) to learn them you understand basic chemistry; 3) they think about solving the imminent problems by themselves.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be tested on their knowledge of chemistry at the beginning of the course, and the contents for the first three weeks of the course will be decided, based on the test results. After that, many different environmental problems are explained each week.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Overview of the course and explanation of some terminology. Test your chemistry level.
2	Basic chemistry 1	Learning the chemical skills to study this course.
3	Basic chemistry 2	Learning the chemical skills to study this course.
4	Mini test-1	Review learning.
5	Environmental problems overview	Small topics of environmental problems.
6	Ozone holes	Stratospheric air chemistry. Especially ozone holes.
7	Air pollution	Tropospheric air chemistry and effect of air pollution on our health.
8	Greenhouse effect	Climates change
9	Greenhouse effect-DVD	Watching DVD about climates change.

10	Mini test-2	Review learning.
11	Solid, toxic, and hazardous wastes	What do we do with the wastes?
12	Water pollution and water shortage	The basic chemistry of natural water.
13	Energy and fuels	Current energy system and alternative energy sources.
14	Final test	Overall review.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

After each class, students are expected to spend time understanding each topic.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

None. Reading materials will be distributed as needed.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Class participation (20%), Weekly assignment (40%), mini-tests (20%), final examination (20%)

【学生の意見等からの気づき】

Students often say that chemistry is hard! I try to teach chemistry as clearly as possible.

【学生が準備すべき機器他】

none

【none】

none

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

Health and Physical Education 2017年度以降入学者

サブタイトル：

武井 敦彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈グ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The purpose of this course is to deepen students' understanding of the significance and role of physical activity and to foster the acquisition of essential knowledge and attitudes that contribute to the maintenance and promotion of physical, mental, and social health and self-management throughout life through lectures and practical training.

【到達目標】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. Deepen understanding of the significance and role of physical activity from various perspectives.
2. Acquire the ability to use sports activities to establish a prosperous and healthy student and social life.
3. Acquire basic knowledge and develop attitudes that contribute to self-management.
4. To acquire the ability to demonstrate leadership and solve problems through communication with others, which is considered to be extremely important for playing an active role in the real world after graduation.
5. Aim to acquire various skills that lead to the development of employment ability (ability to build relationships of trust, ability to act jointly, etc.).

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

If the Method(s) is changed, we will announce the details of any changes.

Students are expected to be in good physical condition before attending the class so that they will not have any physical or mental problems during the physical activities in the class. In addition, students are expected to follow the lecture's instructions in charge of the class regarding assignments to be done after class and preparations for the next class.

This class has comprised both lectures and practical lessons, and students are expected to learn and understand elementary health and physical education. Also, the class schedule may be changed due to COVID-19 and the university guidelines.

Due to the coronavirus pandemic, if too many students are registered for this class, we may have to choose students via random selection to avoid a large group gathering. Further details of this will be announced through Hoppii before the first lesson starts.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Introduction of the course, 1st Presentation (Lecture)
2	Physical Fitness Test 1	Implementing of the physical fitness test (Practical Lesson)
3	Physical Fitness Test 2	Review of the physical fitness test and compile a report (Lecture)
4	Learning the Warm-Ups	Learning the basic principle and implementing the proper warm-ups (Lecture & Practical Lesson)
5	Learning the Individual Sports 1	Building the relationship with classmates through badminton (Practical Lesson)
6	Learning the Individual Sports 2	Facilitating mutual understanding with classmates through badminton (Practical Lessons)
7	Strength & Conditioning 1	Learning the theory of strength and conditioning (Lecture)
8	Strength & Conditioning 2	Implementing and collecting the data of the strength and conditioning (Practical Lesson)
9	Learning the Team Sports 1	Building the relationship with classmates through the futsal (Practical Lesson)
10	Learning the Team Sports 2	Facilitating the mutual understanding with classmates through the volleyball (Practical Lesson)
11	Health & Fitness	Leaning and implementing the proper physical functional training to improve the QOL (quality of life) (Lecture & Practical Lesson)
12	Learning the Individual Sports 3	Building the relationship with classmates through table tennis (Practical Lesson)
13	Learning the Individual Sports 4	Facilitating mutual understanding with classmates through table tennis, 2nd Presentation (Practical Lesson)
14	Summarizing the Course	Overview of the course and compile a report (Lecture)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

This class's standard preparatory study and review time is 2 hours each. The purpose of this class is to understand that sports activities contribute to the promotion of physical and mental health and interpersonal relationships through lectures and practical training. Therefore, record the time spent on daily physical activity, meals, sleep time, etc., look back on the contents, and record the effects and future tasks. Also, get in the habit of looking at various sports-related information sent from TV, newspapers, the Web, etc. This work will deepen your understanding of the contents of this class.

【テキスト (教科書)】

No textbook will be used.

【参考書】

Reference books may be introduced as and if necessary.

【成績評価の方法と基準】

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

1. Participation status for activities during class / Presentation/ Reaction paper 60%.
2. Assignments / Reports 40%.

In principle, this grade evaluation method is used, and students who have difficulty in normal activities will be treated and evaluated individually.

【学生の意見等からの気づき】

1. Students are expected to communicate and interact with other students from all over the world, so this class tried to create the opportunity to enhance communication skills through sports and physical activities, including individual and team sports.
2. Students are expected to learn and implement the proper physical training (strength and conditioning). This class provided the appropriate information regarding physical training and aimed to improve the knowledge and skills of physical training based on the evidence.

【学生が準備すべき機器他】

1. Students must bring their proper sportswear and shoes for practical lessons.
2. Students must bring their own personal computer or mobile device to create and submit assignments.

【その他の重要事項】

1. The order and content of each class can be changed/modified due to the number of participants and available facilities, as well as the situation of COVID-19 and university guidelines.
2. This class is planned to be held offline (face to face); therefore, please follow the university guidelines carefully when participating in classes (e.g., sanitizing your hands before participation).
3. If students have any issues, including health, before, during, and after the class, students must inform their condition to the teacher.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 2単位

定員制 (50)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主にExcel2019 (表計算ソフト) と PowerPoint2019 (プレゼンテーションソフト) の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業ではExcelとPowerPointを使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール (一般的な文字数や図表の規則など) が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際のIDとパスワード (統合認証ID等) を必ず確認しておいてください。初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等はHoppii上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excelの利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excelの自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excelの様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excelの条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excelのソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft ExcelのIF関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPointの基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する

第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPointの図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPointに動画を挿入する場合の注意や、Windowsにおける拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPointで、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPointを用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

実習 情報リテラシ[第3版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムHoppiiにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3~4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れていない人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習Ⅱ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主にExcel2019 (表計算ソフト) と PowerPoint2019 (プレゼンテーションソフト) の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業では Excel と PowerPoint を使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール (一般的な文字数や図表の規則など) が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際のIDとパスワード (統合認証ID等) を必ず確認しておいてください。初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等はHoppii上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excel の利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excel の自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excel の様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excel の条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excel のソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft Excel のIF関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPoint の基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する

第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPoint の図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPoint に動画を挿入する場合の注意や、Windows における拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPoint で、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPoint を用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

実習 情報リテラシ[第3版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムHoppiiにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、レポート課題 (80%) を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3~4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れていない人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習I」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主にExcel2019（表計算ソフト）とPowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業ではExcelとPowerPointを使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際のIDとパスワード（統合認証ID等）を必ず確認しておいてください。初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等はHoppii上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel 導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excelの利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excelの自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excelの様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excelの条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excelのソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft ExcelのIF関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第07回	Power Point 導入	Microsoft PowerPointの基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する

第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPointの図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPointに動画を挿入する場合の注意や、Windowsにおける拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPointで、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPointを用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第3版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980円

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムHoppiiにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート課題（80%）を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3~4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れていない人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習Ⅱ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

吉岡 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

【到達目標】

本科目では、主にExcel2019（表計算ソフト）とPowerPoint2019（プレゼンテーションソフト）の操作方法を学びます。特に、表の作成と簡単な計算・オートフィル・関数の利用・最適化問題を解く・プレゼンテーション資料の作成・発表方法などが身に付きます。

授業ではExcelとPowerPointを使用する際のテクニカルな面を講義しますが、本科目の目標はあくまでも「式で表現する力をつける」事と「自らの主張をプレゼンテーションにつなげる」事です。なお、前者では論理的な思考が身に付きます。後者ではプレゼンテーション資料を作る際の様々なルール（一般的な文字数や図表の規則など）が身に付きます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

本科目は対面授業を基本とします。毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。そのため、学内パソコンにログインする際のIDとパスワード（統合認証ID等）を必ず確認しておいてください。初心者を前提として、表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、ホームページ作成の初歩、情報倫理や情報理論についての考え方を深めます。課題のフィードバックは授業中に行います。また授業資料・課題等はHoppii上にてお知らせします。詳細は初回授業時に告知しますので、初回授業は必ず出席してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	Excel導入	セルの挿入・結合・装飾などを通して、Microsoft Excelの利用方法を学習する
第02回	関数の利用	Microsoft Excelの自動計算機能を用いる
第03回	関数の応用	Microsoft Excelの様々な関数を利用する
第04回	詳細な表示形式の変更	Microsoft Excelの条件付き書式を利用する
第05回	非線形な問題を解く	Microsoft Excelのソルバーやゴールシーク機能を用いて非線形な問題を解く
第06回	条件分岐に関する関数を用いる	Microsoft ExcelのIF関数などを用いる事で、論理的思考をやしなう
第07回	Power Point導入	Microsoft PowerPointの基本操作や箇条書き・スライド装飾について学習する

第08回	図表の挿入・アニメーション設定	Microsoft PowerPointの図表利用やアニメーションの設定により、視覚的効果の得られるスライド作成を目標とする
第09回	動画の挿入・拡張子	Microsoft PowerPointに動画を挿入する場合の注意や、Windowsにおける拡張子の扱いについて学習する
第10回	マイテンプレート	Microsoft PowerPointで、自分なりのテンプレートを作成し、特色あるスライド作成を目標とする
第11回	スライドの作成	Microsoft PowerPointを用いて個別にスライドを作成し、情報発信能力の向上を目標とする
第12回	スライドの発表	第11回で作成したスライドを発表する。自らの主張を効果的に伝える手法を学習する
第13回	スライド発表時の諸注意と応用	第11回で作成したスライドをもとに、プレゼンテーションの注意点やスライド作成の応用事例を概観する
第14回	ネットワークの基礎	サーバ・クライアントの関係を概観し、コンピュータネットワークに関する理解を深める

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

実習 情報リテラシ[第3版]、重定如彦・河内谷幸子 共著、サイエンス社、1980年

【参考書】

適時指示。なお、講義で使用したスライドは授業支援システムHoppiiにアップします。

【成績評価の方法と基準】

平常点（20%）、レポート課題（80%）を総合して評価します。特に課題が出た時は必ず指定の方法で提出し、期限を守る事。3~4回ほどを予定。

【学生の意見等からの気づき】

パソコンに慣れていない人と慣れていない人が混在するため、出来るだけどちらにも興味をもってもらえるよう、授業スピードや内容に心がけるつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用します。履修決定後、参照できることを各自確認してください。

【その他の重要事項】

「情報処理演習Ⅱ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。上記【授業の進め方と方法】を良く読み、初回授業は必ず出席すること。出席が不可能な場合は、授業支援システムから連絡すること。

【Outline (in English)】

This is an introductory Information Processing course. It covers key productivity software Excel and Powerpoint with Microsoft Office 2019.

In this course, I will show you what we need to use Excel is not to solve mathematical expressions, but to make mathematical expressions.

That is, you will able to acquire logical thinking.

And also, with PowerPoint, you can easily create slideshow.

Basic keyboarding skills are strongly recommended.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 2単位

定員制 (50)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力をつけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に、ワードプロセッサと表計算ソフトの応用的な使い方、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式(情報メディア)が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自フォームへの回答を作成する。

授業資料や課題の提出、質問などはGoogle Classroomを使います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第5章 コンピューターとデータ(1)	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第2回	第5章 コンピューターとデータ(2)	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第3回	第6章 インターネットと電子メール	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組み、使う際の注意点(スパムメール、添付ファイルの危険性など)について学ぶ
第4回	第10章(4) エクセル4(練16-21)	数表からグラフを作成し、レイアウトを調整する方法について学ぶ
第5回	第10章(5) エクセル5(章1-4)	Excelについて学んだ内容を応用したスプレッドシートの作成実習を行う
第6回	第10章(6) エクセル6(章5)	特に難易度の高い章末問題5について集中的に解説する(進度により別内容もありうる)
第7回	第9章(4) ワード4(章2,4)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。
第8回	第9章(4) ワード4(章3,5)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。

第9回	第11章(1) パワーポイント(1)	パワーポイントの基本的な操作とプレゼンテーションの基本について学ぶ
第10回	第11章(2) パワーポイント(2)	応用的なパワーポイントスライドの作成実習を行う
第11回	第7章 World Wide Web	WWWの仕組みと利用方法、得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ
第12回	第8章 インターネットとメディアリテラシー	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽、フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピューターウイルス、コンピューター犯罪について学ぶ
第13回	RSA暗号	現代の暗号技術の基礎となっているRSA暗号について学ぶ
第14回	まとめと振り返り	情報処理演習ⅠとⅡを通してのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

授業中に指示します。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物(80%)と平常点(20%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。各自のノートパソコン等の持ち込みも認めます。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

中村 文隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力をつけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に、ワードプロセッサと表計算ソフトの応用的な使い方、プレゼンテーション、インターネットといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

授業の前半は説明を行い、後半は課題実施と質疑応答、の進め方を基本とする。実習のある回は前半で課題の具体的な進め方を説明し、後半で各自課題を作成しながら質問などを受け付ける。座学の回は後半で各自フォームへの回答を作成する。

授業資料や課題の提出、質問などはGoogle Classroomを使います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第5章 コンピューターとデータ(1)	デジタルとアナログ、著作権、2進数について学ぶ
第2回	第5章 コンピューターとデータ(2)	様々なデータの表現、データの圧縮について学ぶ
第3回	第6章 インターネットと電子メール	インターネットの歴史と仕組み、プロトコル、電子メールの仕組み、使う際の注意点（スパムメール、添付ファイルの危険性など）について学ぶ
第4回	第10章(4) エクセル4(練16-21)	数表からグラフを作成し、レイアウトを調整する方法について学ぶ
第5回	第10章(5) エクセル5(章1-4)	Excelについて学んだ内容を応用したスプレッドシートの作成実習を行う
第6回	第10章(6) エクセル6(章5)	特に難易度の高い章末問題5について集中的に解説する(進度により別内容もありうる)
第7回	第9章(4) ワード4(章2,4)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。
第8回	第9章(4) ワード4(章3,5)	Wordについて学んだ内容を応用した総合的な文書作成の実習を行う。実習の時間配分上、章末問題を分割して実施する。

第9回	第11章(1) パワーポイント(1)	パワーポイントの基本的な操作とプレゼンテーションの基本について学ぶ
第10回	第11章(2) パワーポイント(2)	応用的なパワーポイントスライドの作成実習を行う
第11回	第7章 World Wide Web	WWWの仕組みと利用方法、得られる情報、サーチエンジンについてその仕組みと使い方について学ぶ
第12回	第8章 インターネットとメディアリテラシー	インターネットの匿名性、詐欺、情報の真偽、フリーソフトと著作権、クラウドコンピューティング、コンピューターウイルス、コンピューター犯罪について学ぶ
第13回	RSA暗号	現代の暗号技術の基礎となっているRSA暗号について学ぶ
第14回	まとめと振り返り	情報処理演習ⅠとⅡを通してのまとめと振り返りを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入戸野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

授業中の提出物(80%)と平常点(20%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の進度に応じたフォローを心がけています

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。各自のノートパソコン等の持ち込みも認めます。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。特に1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

対面授業では、ボアソナー・ドタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲載します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。 情報倫理

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使って実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思えます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習I(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムHoppiiの「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムHoppiiの「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excelの応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用2	高度な関数
3	表計算ソフト応用3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
	(受講者のスキルによって決定します)	
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシ（サイエンス社）

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト（日経BP社）など

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・IIがセットになっている講義ですが、II期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主にExcelの関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。

okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp

<http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html>

教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話します。

【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

岡嶋 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことと、社会に出た際に利用するであろう主要アプリケーションの操作技能、応用技能を習得することです。また、将来的に新種の技術やアプリケーションが普及しても柔軟に対応できるリテラシを身につけることも目標とします。

【到達目標】

大学の講義を受講するに際して、あるいは社会人として職務に就くときに困らない程度のアプリケーション操作技能習得を目標としています。Excelの応用レベルを修了し、実務で困らない運用ができる水準に到達します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理、情報科学についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは授業中に行います。

なお、大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンラインで行います。詳細は学習支援システムで伝達します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	表計算ソフト応用1	ブックの活用
2	表計算ソフト応用2	高度な関数
3	表計算ソフト応用3	シートの分析と入力規則
4	表計算ソフト応用4	グラフの応用
5	表計算ソフト応用5	データベース機能の活用
6	表計算ソフト応用6	ピボットテーブル
7	表計算ソフト応用7	マクロによる作業の自動化
8	プレゼンテーションソフト1	スライドの基本操作
9	プレゼンテーションソフト2	プレゼンテーションの編集
10	プレゼンテーションソフト3	整列した図の作成
11	プレゼンテーションソフト4	オブジェクトの挿入
12	プレゼンテーションソフト5	スライドショーと特殊効果の追加
13	プログラミング初歩、もしくはデータベース	足し算ゲームなどの簡単なプログラミング、もしくはデータベースソフトの操作
	(受講者のスキルによって決定します)	
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストを読んで、当日実施する実技内容の手順を確認してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

複数の教科書を使いますので、初回授業で詳しく指示します。

【参考書】

実習情報リテラシ（サイエンス社）

Microsoft Excel 応用 セミナーテキスト（日経BP社）など

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験70%を合わせた成績により評価します。平常点は授業内課題への取り組み、提出物によって判定を行います。すべての講義への出席が前提です。

期末試験は主要アプリケーションの操作技能を中心にした実技試験を行い、到達度を判定します。

【学生の意見等からの気づき】

I・IIがセットになっている講義ですが、II期で急に難しくなったと感じる方が多いようです。主にExcelの関数を扱うのが原因です。対策として、この時期は問題演習の時間を多く取るなどいたしますが、受講生の方も是非復習をしてください。

【その他の重要事項】

教員に連絡が必要な場合は、以下のメールアドレスをご利用ください。

okajima@tamacc.chuo-u.ac.jp

<http://researchers.chuo-u.ac.jp/Profiles/4/0000383/profile.html>

教員は総合研究所での勤務経験を活かし、実務に即した技術を中心にお話します。

【Outline (in English)】

The aim of this lesson is to learn how to express your own information. To master the operation skills and applied skills of the main application that you will use when you get a job.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ

第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第3版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第2版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 10やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

【配分】

平常点10%、レポート70%、タッチタイピングのテスト20%

【評価基準】

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of ordinary points, 70% of reports, 20% of touch typing test
Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

重定 如彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業のテーマは、様々な情報の中から自分に必要な情報を取得し、自分なりの表現へと加工して発信する力を身につけることです。また、高校の科目「情報」の取り組みが学校によって異なるため、不足分を補充し、さらに情報科学の理論へと導いていきます。

秋学期の情報処理演習Ⅱでは、情報処理演習Ⅰで学んだ内容を元に文書作成、表計算ソフト、プレゼンテーションといった内容を学びます。

【到達目標】

情報のタイプに応じて様々な情報の表現形式（情報メディア）が存在する事を理解する。また、その上で文書作成、表計算、プレゼンテーションを用いた複合的な情報の受信、発信技術を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回の授業の前半に講義を行い、後半に一人一台のコンピュータを使った演習を行います。コンピュータを学ぶ上で、実際に手を動かすことは非常に重要です。授業では後半の演習の時間に様々な実習課題をこなすことで実践を通じて学びます。

授業は後述のテキストを使って行います。また、課題もテキストから出しますので、必ず購入して授業に持参して下さい。

資料の配布、アンケート、課題の提出などは学習支援システムを使って行います。各回の授業の冒頭で、必要に応じてアンケートの中からいくつかを取り上げてコメントを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ワードプロセッサその1	テキストエディタとワードプロセッサの基本について学ぶ ワープロと、HTMLによる文章の構造化について学ぶ
第2回	ワードプロセッサその2	段落、タブ、ルーラー、文章の検索、置換、校正について学ぶ
第3回	ワードプロセッサその3	表紙、ヘッダーとフッター、表の挿入と編集について学ぶ
第4回	ワードプロセッサその4	図形、描画キャンバスの挿入と編集について学ぶ
第5回	ワードプロセッサその5	画像、SmartArt、スクリーンショットの挿入と編集について学ぶ レポートを作成する上で必要となる機能（目次、参考文献、脚注の挿入など）について学ぶ
第6回	表計算ソフトその1	表計算ソフトウェアの概念、データの入力、セルの操作、データの種類と式、セルの修飾について学ぶ

第7回	表計算ソフトその2	セルの表示形式、カットアンドペースト、オートフィルなどによるデータのコピー、式によるデータの計算、時系列データについて学ぶ
第8回	表計算ソフトその3	式のコピーと相対参照、絶対参照、セルに名前を付ける方法、関数の基礎について学ぶ
第9回	表計算ソフトその4	条件分岐について学び、条件分岐を使った応用例として実用的な表の作成方法について学ぶ
第10回	表計算ソフトその5	グラフについて学ぶ
第11回	表計算ソフトその6	データベース機能（並べ替え、検索、フィルター）、串刺し集計、Wordへの表やグラフの貼り付け、エラー表記について学ぶ
第12回	プレゼンテーション1	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションソフトの概念、スライド作成について学ぶ
第13回	プレゼンテーション2	図形、画像、グラフなどの利用方法、画面切り替え効果について学ぶ
第14回	プレゼンテーション3	アニメーション、スライドショー、発表練習、質疑応答について学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各自授業の前後に教科書を使って予習、復習を行うこと。また、課題が出されている場合は、締め切りに間に合うように課題を行い、学習支援システムに指示に従って提出すること。なお、教科書にある、課題としなかった練習問題や章末問題も、余裕があれば行うことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「実習情報リテラシ 第3版」 重定、河内谷 著 サイエンス社
第2版の「実習情報リテラシ」は内容が古く、大学のパソコンにインストールされているWindows 10やMicrosoft Officeに対応していないので、間違えてそちらを購入しないように注意すること。

【参考書】

「キーワードで理解する最新情報リテラシー 第2版」 久野、辰巳、佐藤 監修 日経BPソフトプレス
「実習Word」 入野、重定、児玉、河内谷 著 サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

【配分】

平常点10%、レポート70%、タッチタイピングのテスト20%

【評価基準】

平常点は授業の参加態度で評価します。また、4回以上欠席した場合は成績の上限をBとします。6回以上欠席した場合は成績をEとします。

レポートは内容および表現の適切さを評価します。

タッチタイピングのテストは入力する文字の量と正確さを評価します。

【学生の意見等からの気づき】

講義の時間が長く、実習の時間を増やしてほしいとの要望があったので、実習の時間をなるべく多くとるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室で各自1台のコンピュータを用いて授業を行う。

【その他の重要事項】

情報処理演習Ⅱは春学期の情報処理演習Ⅰとセットになる科目です。情報処理演習Ⅱを受講する方は必ず春学期の情報処理演習Ⅰを受講して下さい。

【Outline (in English)】

Objectives of this class are to acquire the ability to collect necessary information from various information, and to process the collected information to original form, and to process them to other people. In Autumn, themes of this class are, word processing, spreadsheet, and presentation.

Each student is expected to prepare and review the textbook before and after the class.

If assignments are given, do them in time for the deadline, and submit them according to the instructions on the learning support system.

It is also recommended to do the exercises and end-of-chapter problems in the textbook that are not assigned, if you have time. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Distribution.

10% of ordinary points, 70% of reports, 20% of touch typing test
Evaluation Criteria

Ordinary points will be evaluated based on class participation.

If you are absent more than four times, your grade will be capped at B. If you are absent more than six times, your grade will be capped at E.

Reports will be evaluated on the appropriateness of content and expression.

The touch-typing test will be graded on the amount and accuracy of the typed text.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。特に1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

対面授業では、ボアソナー・ドタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲載します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス 情報倫理	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。
10	表計算 3	EXCEL のマクロを入門体験する。
11	表計算 4	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
12	文書作成と表計算の連携	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
13	プレゼンテーションソフト 1	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。
14	プレゼンテーションソフト 2	PowerPoint を使って発表資料を作成する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思えます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習I(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムHoppiiの「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムHoppiiの「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

河内谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「情報処理演習Ⅰ」履修者または同等の基礎力を持つ者を対象とします。この授業のねらいは、自分の持つ情報のよりよい表現方法を学ぶことです。また、将来的に新種のソフトが普及しても積極的に取り組む姿勢を身につけることも目標とします。

Word, Excel, PowerPoint, パソコンの仕組みを学びます。初心者でも Word や Excel の資格試験合格レベルまで上達できます。当科目は、専門科目の情報科目（情報学入門等）と両方履修できます。両方履修すると相乗効果で上達が期待できます。

【到達目標】

他科目のレポート作成、ゼミの資料や卒論作成、社会に出てからの書類作成、などに役立つ実践的な内容の習得が到達目標です。

文書作成ソフト Word において、レポートや卒業論文の作成に必要な技術として、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引などの機能を習得します。また、共同作業に必要な技術として、履歴・コメント・パスワード付与などの機能を習得します。

表計算ソフト Excel において、条件処理、アンケート集計に便利なピボットテーブル、連続する操作を登録するマクロ機能などを習得します。

データベースソフト ACCESS の使い方を体験します。プレゼンテーションソフト PowerPoint を利用して発表ができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習Ⅱ(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

基本的には対面授業で、対面授業科目にカウントされますが、数回オンライン授業の日があります。授業の前日には必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。特に1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システム Hoppii の「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

対面授業では、ボアソナー・ドタワー内にあるパソコン実習室で、毎回1人1台コンピュータを使って実習を行います。表計算ソフト、プレゼンテーションソフト、その他の応用ソフトの使い方などを実習します。また、コンピュータの知識や情報倫理や情報科学の理論についての考え方を深めます。

課題のフィードバックは学習支援システムに掲載します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習 秋学期ガイダンス	春学期に学んだ文書作成と表計算の内容を復習する実習を行う。 情報倫理

2	文書作成 1	文書作成ソフト Word を使って、文字スタイル、高度な検索・置換、クイックパーツ、段組み、透かしなどの機能の実習を行う。
3	文書作成 2	文書作成ソフト Word を使って、表紙付与、目次、脚注、引用文献、索引、差し込み印刷などの機能の実習を行う。
4	文書作成 3	文書作成ソフト Word を使って、文章校正、変更履歴、コメント、テンプレート、ユーザの編集制限、パスワード付与、図番の付与、画像編集などの機能の実習を行う。
5	文書作成 4	文書作成に関するこれまでのまとめ演習を行う。
6	データベースソフト	データベースソフト Access を使って、リレーショナルデータベースについて理論を学び、実習する。
7	コンピュータのしくみ IT時事問題	コンピュータの基礎知識を学ぶ。また、IT時事問題を紹介し、それについて考え、まとめる。
8	表計算 1	表計算ソフト Excel を利用して、条件処理を学ぶ。関数 IF、SUMIF、AVERAGEIF、COUNTIF などをを使った実習を行う。また条件付き書式の実習を行う。
9	表計算 2	アンケート処理を目的として、表計算ソフト Excel のピボットテーブル機能について実習する。また、効果的なグラフを書くことを目的として、Excel のグラフテンプレートについて実習する。EXCEL のマクロを入門体験する。
10	表計算 3	表計算に関するこれまでのまとめ演習を行う。
11	表計算 4	Word の差し込み印刷機能と、Excel で作成した住所録を利用して、ラベル作成およびハガキ作成を実習する。
12	文書作成と表計算の連携	プレゼンテーションソフト PowerPoint の入力、デザイン、アニメーション、スライドショーなどについて実習する。PowerPoint を使って発表資料を作成する。
13	プレゼンテーションソフト 1	
14	プレゼンテーションソフト 2	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中の指示に従って前回の授業の復習を行います。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に指示します。

【参考書】

実習 情報リテラシ[第3版]
著者：重定如彦・河内谷幸子 共著
出版：サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

学習支援システム Hoppii への提出物（100%）で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

一人一人の席をまわって個別にわからない点を指導する点に高い評価をいただきましたので、今年度も丁寧に個別指導をしていきたいと思えます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業の備えて、Word・Excel・PowerPoint・Zoom が使用できるパソコンを自宅に準備する。

【その他の重要事項】

コンピュータが苦手でも履修可能です。

この授業は秋学期科目ですが、履修するためには情報処理演習I(春学期科目)と同じタイミングで4月上旬(春学期の授業開始前)の抽選に当選する必要があります。大学HPの授業関連の項目を参照して抽選に申し込んで下さい。

授業の前日には必ず学習支援システムHoppiiの「お知らせ」を読んで、対面かオンラインかを確認して下さい。

1回目の対面授業は「持ち物」の指定があるので必ず学習支援システムHoppiiの「お知らせ」で授業内容を確認して下さい。

【Outline (in English)】

This course targets students who completed the "Information Processing Exercise I" course or has equivalent basic skills. This course teaches various techniques to express your information better and helps you acquire the attitude to proactively study future new-type software. Advanced lectures of PC internals are included in this course.

The goal of this course is to master the advanced technique of Word, Excel and PowerPoint.

It takes 2 hours to prepare/review.

You will get grades with your submissions from learning-support system "Hoppii".

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされるICT関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Webページ作成基礎	Webの基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Webページ応用知識	Webサイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

実習 情報リテラシー【第3版】、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950+税。実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題 (40%)、授業内演習と平常点 (60%)。そのため提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆が習得、理解できるよう丁寧な説明を行うことは継続し、授業内容や資料の充実を目指していきたいです。また、意見を聞く機会を広げて進捗状況の把握、調整へとつなげたいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器 (PC) を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされるICT関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Webページ作成基礎	Webの基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Webページ応用知識	Webサイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

実習 情報リテラシー【第3版】、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950+税。実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題 (40%)、授業内演習と平常点 (60%)。そのため提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆が習得、理解できるよう丁寧な説明を行うことは継続し、授業内容や資料の充実を目指していきたいと思えます。また、意見を聞く機会を広げて進捗状況の把握、調整へとつなげたいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器 (PC) を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされるICT関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Webページ作成基礎	Webの基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Webページ応用知識	Webサイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

実習 情報リテラシー[第3版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950+税。実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題 (40%)、授業内演習と平常点 (60%)。そのため提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆が習得、理解できるよう丁寧な説明を行うことは継続し、授業内容や資料の充実を目指していきたいです。また、意見を聞く機会を広げて進捗状況の把握、調整へとつなげたいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器 (PC) を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

名児耶 厚

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (50)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学での学習からその後の社会まで、必要とされるICT関連や情報技術・知識の習得を深め、さらなる情報利活用へとつなげることを目指します。PC操作の演習を中心に、情報の収集や表現・活用・分析、集計・データ処理について習得します。

【到達目標】

事務作業等を想定した一般的な情報系の知識・スキルを習得し、活用できる。さらに応用的な文書作成・調査・集計・管理などにて必要となる基盤的な技術を習得し、実践できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

PC操作の演習を中心に講義・関連説明を交えて進め、結果や成果物を提出物として求める形式となります。授業時の演習も提出物の範囲に含め、授業への参加がそのまま提出にもつながるようにします。提出や解答例の解説等のフィードバックは授業時の教卓機器による実演と合わせ、学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	説明と確認	授業の説明、準備、機材の確認
第2回	確認と復習	これまでの確認と復習
第3回	表計算の応用例	一利用例としての統計分析
第4回	書類の構成・構造	総合的な書類作成・応用
第5回	グラフや図表の利用	表計算の利用例、集計資料作成
第6回	Webページ作成基礎	Webの基本と作成実習
第7回	文書作成総合	書式に従った文書の作成
第8回	Webページ応用知識	Webサイト作成と情報発信
第9回	検索とデータ取込	表からの検索、外部データ利用
第10回	複雑な文書の作成	集計・計算等を含む文書の作成
第11回	条件分岐と判定	条件判断、結果の更新と変更
第12回	情報の蓄積と管理	データベースの基礎と体験
第13回	情報処理と文書管理	情報や文書の逐次・自動処理
第14回	まとめ・総合演習	これまでの知識に基づく総合演習

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

学習内容の多くが接続しているため、過去の内容を把握・理解しておくことが必要です。授業内での演習に続けて課題も行い、授業時に不足と感じた項目の復習をしてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

実習 情報リテラシー[第3版]、重定 如彦・河内谷 幸子、サイエンス社、¥1,950+税。実習室環境との比較、確認が必要なため、詳細は初回授業時に説明します。

【参考書】

情報処理・リテラシー関連の書籍や同類授業・講座での教科書等が広く該当します。

【成績評価の方法と基準】

各回・単元ごとに設定する課題(40%)、授業内演習と平常点(60%)。そのため提出物は授業内演習の確認と課題の両方を兼ね、それに基づき到達目標への達成状況を判断します。

【学生の意見等からの気づき】

皆が習得、理解できるよう丁寧な説明を行うことは継続し、授業内容や資料の充実を目指していきたいと思えます。また、意見を聞く機会を広げて進捗状況の把握、調整へとつなげたいと考えています。

【学生が準備すべき機器他】

情報実習室設置の情報機器(PC)を使用します。配布・提出等に学習支援システムを使います。

【Outline (in English)】

This course introduces ICT and related technologies to students taking this course. The goals of this course are to improve skills and knowledge of information literacy. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the followings: Short reports: 40% and in-class practical work and contribution: 60%.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (26)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、JavaScript、PHP を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Microsoft Excelの基礎／計算式・関数・書式	Microsoft Excelの基礎を学ぶ。Excelで利用する計算式・関数・書式を学ぶ。
第2回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excelのページレイアウトやデータツールを学ぶ。
第3回	グラフ	Microsoft Excelのグラフ作成機能を学ぶ。
第4回	外部データの処理	Microsoft Excelを用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第5回	CEATEC見学	日本を代表するテクノロジー展示会であるCEATECを見学してICT技術の最先端を学ぶ。
第6回	VBA	Microsoft Excel用Visual Basic for Application(VBA)の機能を学ぶ。
第7回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いた発表会を開催する。
第8回	アプリケーションソフトウェア③	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、統計解析に役立つRの機能を体験する。
第9回	コンピュータネットワークとセキュリティの基礎	コンピュータネットワーク及びセキュリティの基礎知識を学ぶ。
第10回	コンピュータの未来	コンピュータの進歩や未来の応用について学び、グループディスカッションを通じて理解を深める。

第11回	HTMLの基礎	HTMLを用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第12回	JavaScriptとスタイルシート	JavaScriptとスタイルシートの基礎を学ぶ。
第13回	PHPの基礎	HTML自動生成に役立つPHP言語についての基礎を学ぶ。
第14回	まとめ	講義内容をまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

【参考書】

「実習情報リテラシ [第3版]」重定如彦・河内谷幸子共著、サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

課題 (80%)、小テスト (20%) として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, JavaScript, PHP and learn about network structure too.

PRI200LA (情報学基礎 / Principles of informatics 200)

情報処理演習Ⅱ

2017年度以降入学者

星 善光

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.4

単位数：2単位

定員制 (26)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

情報処理演習Ⅰに引き続き、様々なソフトウェアや情報機器を効果的に利用できるように、身の回りに溢れる「情報」を取り扱うために必要な基礎力を習得することを目的とする。

【到達目標】

一般的な表計算ソフトウェアである Microsoft Excel を使うことができる。HTML、JavaScript、PHP を用いた Web ページを作成することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3

【授業の進め方と方法】

情報処理演習Ⅰと同様に、授業と実習の組み合わせで進めていきます。パソコンを使用した実習を行います。表計算や様々なアプリケーションソフトウェアを利用します。また、ホームページの作成、簡単なプログラム作成も行います。課題のフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Microsoft Excelの基礎／計算式・関数・書式	Microsoft Excelの基礎を学ぶ。Excelで利用する計算式・関数・書式を学ぶ。
第2回	ページレイアウト・データツール	Microsoft Excelのページレイアウトやデータツールを学ぶ。
第3回	グラフ	Microsoft Excelのグラフ作成機能を学ぶ。
第4回	外部データの処理	Microsoft Excelを用いて外部データの処理を行う方法を学ぶ。
第5回	CEATEC見学	日本を代表するテクノロジー展示会であるCEATECを見学してICT技術の最先端を学ぶ。
第6回	VBA	Microsoft Excel用Visual Basic for Application(VBA)の機能を学ぶ。
第7回	課題発表会	情報処理演習Ⅰで作成したプレゼンテーション資料を用いた発表会を開催する。
第8回	アプリケーションソフトウェア③	パソコンで利用する様々なアプリケーションソフトウェアについて学び、統計解析に役立つRの機能を体験する。
第9回	コンピュータネットワークとセキュリティの基礎	コンピュータネットワーク及びセキュリティの基礎知識を学ぶ。
第10回	コンピュータの未来	コンピュータの進歩や未来の応用について学び、グループディスカッションを通じて理解を深める。

第11回	HTMLの基礎	HTMLを用いたホームページ作成の基礎を学ぶ。
第12回	JavaScriptとスタイルシート	JavaScriptとスタイルシートの基礎を学ぶ。
第13回	PHPの基礎	HTML自動生成に役立つPHP言語についての基礎を学ぶ。
第14回	まとめ	講義内容をまとめる。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

第1回の授業の前に、ログインIDとパスワードを確認しておくこと。宿題を出すことがあります。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

適時指示します。必要に応じてプリントを配布します。また、ホームページでパワーポイント資料を閲覧できます。

【参考書】

「実習情報リテラシ [第3版]」重定如彦・河内谷幸子共著、サイエンス社

【成績評価の方法と基準】

課題 (80%)、小テスト (20%) として評価します。課題に積極的に取り組み、提出して下さい。

【学生の意見等からの気づき】

可能な限り多くの基礎的な課題を用意し、楽しみながら授業を進められるようにしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

演習室のパソコンを利用します。

【Outline (in English)】

You learn how to use various application software including Microsoft Excel, various information devices effectively. You learn about web development related languages such as HTML, JavaScript, PHP and learn about network structure too.

IDN200LA (アイデンティティ教育 / Identity studies 200)

法政学の探究 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

北口 由望

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では「大学と地域」をテーマに、法政大学の歴史と文化に焦点をあてます。法政大学はなぜ市ヶ谷にあるのか、なぜ多摩や小金井にもキャンパスがあるのか。法政大学に通う学生として抱く疑問や関心について、日本近現代史や大学史などの学問的な観点から検証します。具体的なテーマとして、大学創立の地・東京神田、市ヶ谷キャンパスとその周辺（外濠・神楽坂）の歴史と文化、鉄道と郊外型キャンパスの形成、付属校の成り立ち、北軽井沢法政大学村と岩波文化などを挙げるすることができます。法政大学の歴史を通して、日本の近現代や大学の在り方を捉え直す機会となるでしょう。

また、HOSEIミュージアムの展示コンテンツやデジタルアーカイブをはじめ、様々な資料から「法政学」を探究し、実践的な試みとして、ミュージアムでの小規模な発表会開催も検討します。

【到達目標】

1. 法政大学の歴史はもろろんのこと、日本近現代史や大学の歴史に関する基礎的な知識を得ることができます。
2. 身近なテーマを学問的な「問い」へと発展させる視野を養います。
3. 調査研究の前提となるテーマ設定の具体化や各種資料の調査方法・読解方法について学ぶことができます。
4. 演習形式が中心となるため、各学部の専門ゼミ履修への準備になります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業計画に則り、講義形式と演習形式を組み合わせて進行します。第4回ではHOSEIミュージアムで見学調査を行い、第7回では市ヶ谷キャンパスとその周辺地域を歩き、現在の大学と地域について議論します。なお、受講生は授業内で報告（1回）を行う必要があります。報告（発表）や質問、リアクションペーパー等に対するフィードバックは授業中に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	本授業の目標、スケジュール等を説明します。
第2回	法政大学の歴史－東京法学校創立から戦前期まで－	法律学校時代から戦争の時代に至るまで、法政大学の歴史を主に「地域」の観点から振り返ります。
第3回	法政大学の歴史－戦後復興から現在まで－	戦後復興から現在に至るまで、法政大学の歴史を主に「地域」の観点から振り返ります。
第4回	HOSEIミュージアムでの学び	HOSEIミュージアムを訪問し、展示内容から法政大学に関わる様々なテーマについて知見を得ます。

第5回	デジタルアーカイブの使い方を学ぶ	HOSEIミュージアムデジタルアーカイブをはじめ、各種デジタルアーカイブの使用方法和を学びます。
第6回	テーマ設定方法と報告の基礎を学ぶ	「問い」の立て方、テーマ設定の方法をはじめ、レジュメの作成やプレゼンテーション方法など、報告の基礎を学びます。
第7回	市ヶ谷キャンパスとその周辺を歩く	市ヶ谷キャンパスと、その周辺を歩き、現在の大学と地域について議論します。
第8回	法政大学草創期に関するテーマ設定と資料紹介	法政大学創立の地である東京神田や創立者の出身地について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第9回	市ヶ谷キャンパスとその周辺に関するテーマ設定と資料紹介	市ヶ谷キャンパスと、外濠や神楽坂といった周辺地域について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第10回	その他、大学ゆかりの地域に関するテーマ設定と資料紹介	多摩／小金井キャンパスや付属校、北軽井沢法政大学村など、大学ゆかりの地域について、科目担当者とともにテーマ設定を行います。
第11回	法政大学草創期をテーマとした報告	法政大学創立の地である東京神田や創立者の出身地について、受講者の報告を行います。
第12回	市ヶ谷キャンパスとその周辺をテーマとした報告	市ヶ谷キャンパス、そして外濠や神楽坂といった周辺地域について、受講者の報告を行います。
第13回	その他、大学ゆかりの地域をテーマとした報告	多摩／小金井キャンパスや付属校、北軽井沢法政大学村など、大学ゆかりの地域について、受講者の報告を行います。
第14回	映像上映と総括	HOSEIミュージアムの映像シリーズ「法政大学の歴史・文化・個性」を鑑賞し、科目担当者による総括を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前学習では、HOSEIミュージアムに展示されているコンテンツ、同デジタルアーカイブの調査や授業内で紹介された文献の読解を行います。復習では、毎回科目担当者が配布した資料とHoppiiにアップロードされた資料を読み直します。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用せず、毎回、科目担当者が資料を配布します。

【参考書】

『法政大学八十年史』（1961年）、『法政大学百年史』（1980年）、『法政大学と戦後五〇年』（2004年）、『法律学の夜明けと法政大学』（1992年）、『都市と大学－法政大学から東京を視る（増補改訂版）』（2023年）、『HOSEIミュージアム紀要』（2021年～2024年）

【成績評価の方法と基準】

平常点と授業内の報告（各50％）にて判断します。

【学生の意見等からの気づき】

学部を超えた交流の機会となるよう、受講者が自由に発言できる「場」を形成したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

報告用のPCなどの機器は科目担当者が用意します。

【その他の重要事項】

関連科目「大学を知ろう <法政学>への招待」で学んだ内容を前提としますので、同科目の既修者か、それと同等の前提知識を得てから受講してください。後者の場合、大学公式HPに掲載されている「HOSEI MUSEUM」が参考になります。

【Outline (in English)】

This course explores the history and culture of Hosei University with the theme of "Universities and the Region.". We examine questions and interests in student life from an academic perspective. Students will learn the modern and contemporary history of Japan, the history of Universities through the history of Hosei University.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review. As a practical experiment, we will also consider holding a small exhibition.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Usual performance score: 50%、Classroom presentations: 50%

IDN200LA (アイデンティティ教育 / Identity studies 200)

法政学の探究 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

高柳 俊男、北口 由望

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、「大学を知ろう〈法政学〉への招待」（旧科目名「法政学への招待」；本年度休講）をすでに受講し、法政大学が経てきた140余年の歴史と現状について一通りの理解をもつ学生を主対象にして、法政大学についてより深く考える発展科目として設置されました。

「大学を知ろう〈法政学〉への招待」における学習を前提に、本授業では、法政大学で教えた教員や、学んだ学生を具体的に取り上げます。教員の場合なら、その人物が法政大学でどういう教育研究に携わったのか、そのことで本学や社会の発展にいかんにか貢献できたか、などを追います。卒業生の場合なら、本学で何を学んだのか、あるいは学んだことをその後の本人の人生や、社会に向けてどう役立てたか、などについて探究することになるでしょう。

法政大学ゆかりの特定の人物を詳しく追うことで、「自由と進歩」の理念や、時代のフロントランナー養成を掲げる本学の歴史と現在を、より具体的に理解できるようになるはずです。

【到達目標】

本学の経てきた道を、具体的な人物に即して、実証的・実感的に把握できることを目指します。時代の大きな流れの中で、本学ゆかりのその人物が何に興味をもち、どんな活動をし、何を目指し、何に悩んだかなどを、受講生個々人の知性と感性で感じられるようにします。それを、自分の学生生活や将来像へとつなげて考える契機を得るよう努めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

科目責任者の教員2名が毎回同席し、授業をコーディネートします。講義は、毎回のテーマに最適な本学内外の講師陣（科目責任者を含む）が、分担して担当します。

授業の最後に毎回、リアクションペーパーに感想や質問を書いてもらいます。それに対する講義担当者のコメントを入れた授業通信を作成し、次週の冒頭で解説するなど、参加型・双方向型授業になるよう努めます。

対面を基本としますが、講師の都合等により他の形式で行う回が生じた場合は、事前にお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	この授業の狙いや、全体の構成について説明する。 あわせて、本学の経てきた歴史の概略を復習する。（科目責任者=高柳俊男、北口由望）

2	世界を知りつくした本学の祖 箕作麟祥	本学の前身である和仏法律学校の初代校長の箕作麟祥は、明治期の有数の啓蒙家であった。彼は、洋学を学んで、西洋の法律や歴史を日本に紹介し、日本の「民権」のために活躍した。彼の仕事を振り返って、そこから学ぶものを探りたい。（南塚信吾）
3	本学初代総理（総長）梅謙次郎	「日本民法の父」といわれる梅謙次郎は、帝国大学法科大学教授のほか、和仏法律学校の校長・初代の総理（総長）として、講義のかたわら本学の経営に尽力した。梅の50年の人生を追いながら、「清国留学生速成科」の設置など本学との関係を語ろう。（岡孝）
4	野上豊一郎と能楽研究	夏目漱石門下の英文学者で、能楽研究者でもある野上豊一郎。その名を冠する本学能楽研究所は、現在、国内外の能楽研究の拠点となっている。作品・能面・翻訳など多岐に亘る能楽研究の事績を辿りつつ、彼を魅了した能楽についても知る。（深澤希望）
5	内田百閒は「教え子」が嫌い	大正末期と昭和に二度法政大学の教壇に立った作家内田百閒。北村猛徳、大井征、中野勝義など、激動期を生きぬいた愛弟子達との師弟関係は、まさに一篇の「名作」であった。彼の作品を読み解く。（山本一生）
6	「不安の時代」を代表する思想家 三木清	西田幾多郎を中心とする「京都学派」随一の俊才とされ、昭和前期のアカデミズムとジャーナリズムの双方で幅広く活躍しながら、第2次大戦直後に悲劇的な獄死をとげた哲学者・三木清の生涯と思想を紹介・検討する。（衣笠正晃）
7	夏目漱石門下生たちに学んで作家になった椋鳩十	伊那谷出身の椋鳩十（本名：久保田彦穂）は、とくに動物物語の作者として広く知られる。初の詩集を出し、学生結婚もした法政大学時代をはじめ、戦前戦後にわたる椋の歩みを時代の中で振り返る。（高柳俊男）
8	戦争の中を生きた学友たち～久納好学を例に	終戦直前のわずか10ヶ月足らずの間に5,845名もの戦死者を出した「特攻」。その第一号となったのが、本学に学んだ学友の一人・久納好学であった。彼はなぜ「特攻」を志願したのか。その短い生涯を辿りながら、戦前戦中の本学の歴史と学友たちの生きざまを追体験してみたい。（鈴木靖）

- 9 城戸幡太郎、波多野 戦前の法政大学高等師範部教授
完治、宮原誠一、乾 城戸幡太郎、波多野完治、宮
孝～生涯学習の時代 原誠一らは、本学を舞台に教育
を切り拓いた人々 科学研究会や保育問題研究会を
組織したが、そのねらいは現場
の教員と研究者とが共同して教
育実践を研究することにあった。
キャリアデザイン学部へと引き
継がれるこの伝統を明らかにし
たい。(笹川孝一)
- 10 「女性である前にまず 日本を代表する作家野上弥生子。
人間であれ」野上弥 法政大学女子高等学校名誉校長
生子と法政大学 もつとめた弥生子は、同校の生
徒たちに「女性である前にまず
人間であれ」という言葉をのこ
した。弥生子の思想と人物像を
探るとともに、その日記に記さ
れた法政大学の逸話を紹介する。
(古俣達郎)
- 11 校舎と建築学科の礎 法政大学の幾つもの校舎を設計
を築いた建築家 大江 し、また教育者として建築学科
宏 の礎を築いた建築家・大江宏
(1913～89年)。残された建築
と資料を参照しながら、その思
想と足跡に迫る。(藤本貴子)
- 12 高度経済成長と戦 「焼け跡・闇市」の原風景から出
後思 発した日本の「戦後」は、政治的
想の変容－藤田省 安定化と経済的繁栄とともに劇
三の 的に変わって行く。そのなかで
射程 行われた戦後思想の変容について、
思想家藤田省三(1927-2003)
の議
論を中心に考察する。(趙星銀)
- 13 法政スポーツの伝統 法政スポーツは100年以上の歴史
をを探る をもつ。HOSEIミュージアム
で開催された展示「HOSEIス
ポーツの原点」をもとに、その
歴史と伝統を振り返る。(北口由
望)
- 14 学生の目と教員の目 学生として本学で学び、のちに
から見る法政大学 本学で教えるに至った方を授業
にお招きし、2つの立場から見た
法政大学について体験的に語っ
ていただき、授業全体のまとめ
とする。(根崎光男、明田川融)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の講師が授業内で言及した文献は、積極的に参照してください。また、2020年に開館したHOSEIミュージアムの展示、および同ミュージアムデジタルアーカイブ(<https://museum.hosei.ac.jp/archives/Users/Top>)には、授業で取り上げた人物や事象に関するコンテンツが豊富に含まれていますので、準備学習・復習に活用してください。

その他、授業に関連する特別展示などが学内外で開催される場合には、随時お知らせしますので、極力足を運んでみましょう。

なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特定のテキストはありません。講義担当者が適宜、プリント配付やパワーポイント提示を行います。それらを基本的に、学習支援システム上にアップします。

【参考書】

各担当教員が、その都度お知らせします。

本学の歴史を通史的にまとめた書籍には、『法政大学1880-2000：そのあゆみと展望』のほか、『法政大学参拾年史』『法政大学八十年史』『法政大学百年史』『法政大学と戦後五〇年』などがあります。図書館などで適宜参照してください。

【成績評価の方法と基準】

毎回のリアクションペーパーに反映された授業に取り組む姿勢40%、学期末のレポート60%を基準にして、総合的に評価します。受講者数によっては若干の変更があるかもしれませんが、その場合は授業の場（もしくは学習支援システム上）でお知らせします。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

なお、レポートの作成に際しては、典拠となる文献に必ず当たり、実証的な内容になるよう心がけてください。

【学生の意見等からの気づき】

学術的でありながら、同時に本学で学ぶ自分自身の生き方の参考になるような、意義深い授業を目指します。

【学生が準備すべき機器他】

とくにありません。学習支援システムを積極的に活用します。

【その他の重要事項】

上述のように、本科目は「大学を知ろう <法政学>への招待」の上位科目として設置されました。したがって従来、原則として同科目の既修者か、それと同程度の前提知識がある方を受講対象者に指定してきました。ところが本年度、この授業は開講されませんので、この前提条件をはずします。とはいえ、上記した参考書などを参照に、自分なりに基礎知識を固めるよう努めてください。

この「法政学の探究LA」を履修し、さらに学びを深めたい方には、より演習に近い少人数の科目として、「法政学の探究LB」（春学期）も用意されています。

【Outline (in English)】

This intermediate class aims to explore the history and the spirit of Hosei University, by following the achievements and personality of several specific individuals.

Please refer to the documents mentioned by the lecturer in the class. Also, please make use of the newly opened HOSEI Museum and Digital Archives for preparation and review.

Final grade will be calculated according to the following process. Reaction papers for each class 40%, and term-end report 60%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：『源氏物語』の絵画化

阿部 真弓

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

絵巻の鑑賞方法等について解説した後、院政期に作られたとされる国宝『源氏物語絵巻』について講義します。種々の源氏絵、また現代のマンガ等とも比較しながら、『源氏物語』がどのように解釈され、絵画化されてきたかを考察します。『源氏物語絵巻』を学ぶことを通し、日本の古典文学や美術に関する理解を深めます。

【到達目標】

- ①絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ②『国宝 源氏物語絵巻』の特質を理解する。
- ③平安時代の人々が『源氏物語』をどのように解釈し、イメージしたかについて理解する。
- ④現代に至るまで、『源氏物語』がどのように絵画化されてきたか、源氏絵の様相を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。授業のはじめに、学習支援システムにアップロードされた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。現代語訳を記載したプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要
第2回	絵巻とは(1)	絵巻の歴史について
第3回	絵巻とは(2)	絵巻に見られる技法、絵巻の鑑賞方法について
第4回	『源氏物語絵巻』(1)	『源氏物語絵巻』概説
第5回	『源氏物語』第一部概説	『源氏物語』第一部の解説
第6回	『源氏物語絵巻』(2)	『源氏物語絵巻』蓬生巻について
第7回	『源氏物語』第二部概説	『源氏物語』第二部の解説およびあらすじ
第8回	『源氏物語絵巻』(3)	『源氏物語絵巻』柏木巻（一）について
第9回	『源氏物語絵巻』(4)	『源氏物語絵巻』柏木巻（三）について
第10回	『源氏物語絵巻』(5)	『源氏物語絵巻』横笛巻について
第11回	『源氏物語絵巻』(6)	『源氏物語絵巻』鈴虫巻（二）について
第12回	『源氏物語絵巻』(7)	『源氏物語絵巻』御法巻について
第13回	『源氏物語絵巻』(8)	『源氏物語絵巻』の制作・伝来について
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨むようにしてください。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート（70%）、平常点（30%）によって評価します。レポートは【到達目標】①～④に照らして採点します。また平常点については、毎回、学習支援システムに提出してもらう課題によって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライドのプリントアウトにノートを取ってもらう形を継続します。学習支援システムにアップロードされた質問やコメントは、次週の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

【Outline (in English)】

This course deals with *The Tale of Genji illustrated Scrolls* (源氏物語絵巻, designated a National Treasure) and the other works (including Manga) painted *The Tale of Genji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：説話のメディア展開

阿部 真弓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

安珍・清姫伝説として知られる、道成寺にまつわる説話について講義します。絵巻や能・歌舞伎の題材として有名なこの説話が、これまで人々にどのように享受されてきたのかについて学び、日本の古典文学や古典芸能に関する理解を深めます。

【到達目標】

- ①説話文学の特質について理解する。
- ②絵巻に関する基礎的な知識を習得する。
- ③能、歌舞伎など古典芸能に関する基礎的な知識を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを使い、講義します。授業のはじめに、学習支援システムにアップロードされた受講生からの質問や意見を取り上げてフィードバックし、前回授業の振り返りを行います。現代語訳を記載したプリントを用いる等、古典文学の読解が苦手な人に配慮しつつ、授業を進めます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要
第2回	説話について	説話文学に関する解説
第3回	道成寺にまつわる説話	説話集に収められた道成寺説話
第4回	絵巻について	絵巻の鑑賞方法に関する解説
第5回	道成寺縁起絵巻(1)	『道成寺縁起絵巻』鑑賞
第6回	道成寺縁起絵巻(2)	『道成寺縁起絵巻』解説
第7回	道成寺縁起絵巻(3)	熊野信仰について
第8回	道成寺縁起絵巻(4)	『道成寺縁起絵巻』の異本について
第9回	能について	能の歴史・鑑賞の仕方に関する解説
第10回	能『道成寺』(1)	能『道成寺』を読む
第11回	能『道成寺』(2)	能『道成寺』解説
第12回	能『道成寺』(3)	能『道成寺』鑑賞
第13回	道成寺物について	日本伝統芸能における「道成寺」の解説
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
授業内容を復習し、理解した上で、次の授業に臨んでください。

【テキスト（教科書）】

適宜、プリントを配布します。

【参考書】

参考文献は授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

学期末締切のレポート（70%）、平常点（30%）によって評価します。レポートは【到達目標】①～③に照らして採点します。また平常点については、毎回、学習支援システムに提出された課題によって、授業の理解度を確認します。

【学生の意見等からの気づき】

授業に関する質問やコメントは、次以降の講義でできる限り紹介・回答し、疑問点を残さないようにしていきます。

【Outline (in English)】

This course deals with the picture scrolls *Dojoji Engi* and the Noh program *Dojoji*.

The aim of this course is to help students acquire an understanding of Japanese classical literature and art and performing arts.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end report : 70%, Short reports : 30%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中司 由起子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

かつて日本では、「変体仮名・くずし字」という文字が使われていました。本講義では、変体仮名・くずし字を正確に読み取る力を習得することを目的とします。変体仮名・くずし字は、日本文学や文化を深く理解するうえで欠かせないものです。変体仮名・くずし字がわかると、古典文学をはじめ近代の作家たちの手書き原稿や手紙を読んだり、史料・古文書を解説したりできるようになります。さまざまな作品の成立・享受の時代、作者の生きた時代へ直接にアクセスできます。初めて学ぶ学生が多いと思われませんが、基礎から丁寧に解説していきます。

【到達目標】

- ① 変体仮名・くずし字を正確に読むことができる。
- ② 変体仮名・くずし字で書かれた内容を解釈できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の講義は、講師による講義をおこなった後に、問題を解く学習をします。これを繰り返すことで、変体仮名・くずし字を覚えていきます。毎回、課題に取り組むこととし、次の講義時に答え合わせをしてフィードバックをおこないます。小テストも適宜、実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	変体仮名・くずし字を学ぶ意義や、変体仮名と字母の関係など、基本的な解説をおこないます。
2	変体仮名の基礎「あ〜こ」	「あ」行と「か」行を中心に変体仮名を学びます。
3	変体仮名の基礎「さ〜の」	「さ」行から「な」行を中心に変体仮名を学びます。
4	変体仮名の基礎「は〜も」	「は」行と「ま」行を中心に変体仮名を学びます。
5	変体仮名の基礎「ら〜ん」	「ら」行から「ん」を中心に変体仮名を学びます。
6	小テスト・『小学校唱歌集』	小テストの実施。『小学校唱歌集』を読みます。
7	百人一首	百人一首のよく知られた歌を読みます。
8	百人一首・くずし字（漢字）	百人一首・漢字のくずし字 百人一首の歌を読みます。漢字のくずし字を学びます。
9	和歌集	『古今和歌集』などの和歌を読みます。
10	小テスト・和歌集	小テストの実施。『古今和歌集』などの和歌を読みます。
11	歌物語	『伊勢物語』の有名な段を読みます。

12	物語	『源氏物語』の有名な場面を読みます。
13	物語	『源氏物語』の有名な場面を読みます。
14	まとめ・期末テスト	これまでの内容をまとめ、習得度をはかるテストを実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【準備】 次回講義で扱う問題を解きます。

【復習】 毎回、出される問題を解きます。

展覧会などに足を運び、くずし字で書かれた展示品や史料などを鑑賞、読み解いてみてください。

【テキスト（教科書）】

伊地知鐵男編『増補改訂 仮名変体集』新典社、385円。本テキストは、変体仮名を解説するための手引きとなります。必ず用意してください。

問題は、講義時に紙の資料を配布します。

【参考書】

児玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』近藤出版社、1981年（図書館の参考図書にあります）

そのほか、講義時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

課題への取り組み 20%

小テスト 30%

期末テスト 50%

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期合わせての履修を推奨します。秋学期には、より幅広い時代の作品を扱います。変体仮名の基本的な学習は、秋学期にも予定していますが、春学期の前半に集中的におこないます。受講者の興味や学習の進捗状況に合わせて、取り上げる作品を変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with Hentaigana(anomalous cursive syllabary), Kuzushi-ji(character written in a cursive style). It enhances the development of students' skill in reading of Hentaigana and Kuzushi-ji.

【Learning Objectives】

The goals of this course is to reading Hentaigana, Kuzushi-ji accurately.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Preparation: Solve the problems to be covered in the next lecture.

Review: Students will solve the problems given in each lecture.

【Grading Criteria /Policy】

Work on assignments 20%.

Short test 30%.

Final exam 50%.

LIT200LA (文学/Literature 200)

日本文学と文化LD

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中司 由起子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

かつて日本では、「変体仮名・くずし字」という文字が使われていました。本講義では、変体仮名・くずし字を正確に読み取る力を習得することを目的とします。変体仮名・くずし字は、日本文学や文化を深く理解するうえで欠かせないものです。変体仮名・くずし字がわかると、古典文学をはじめ近代の作家たちの手書き原稿・手紙等を読んだり、史料・古文書を解説したりできるようになります。さまざまな作品の成立・享受の時代、作者の生きた時代へ直接にアクセスできます。初めて学ぶ学生が多いと思われそうですが、基礎からていねいに解説していきます。

【到達目標】

- ① 変体仮名・くずし字を正確に読むことができる。
- ② 変体仮名・くずし字で書かれた内容を解釈できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の講義では、講師による講義をおこなった後に、問題を解く学習をします。これを繰り返すことで、変体仮名・くずし字を覚えていきます。毎回、課題に取り組むこととし、次の講義時に答え合わせをしてフィードバックをおこないます。小テストも適宜、実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	変体仮名・くずし字の基礎	基本的な変体仮名を学びます。
2	随筆	『枕草子』の有名な段を読みます。
3	随筆	『徒然草』の有名な段を読みます。
4	軍記物語	『平家物語』の有名な場面を読みます。
5	小テスト、軍記物語	小テストの実施。『平家物語』の有名な場面を読みます。
6	御伽草子	『一寸法師』を読みます。
7	御伽草子	『鉢かづき』を読みます。
8	仮名草子	『伊曾保物語』を読みます。
9	小テスト、草双紙	小テストの実施。草双紙の作品を読みます。
10	謡曲	『葵上』を読みます。
11	俳諧	『おくのほそ道』を読みます。
12	草双紙	草双紙の作品を読みます。
13	浄瑠璃本	『国姓爺合戦』を読みます。
14	まとめ、期末テスト	これまでの内容を振り返り、習得度をはかるテストを実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【準備】 次回講義で扱う問題を解きます。

【復習】 毎回、出される問題を解きます。

展覧会などに足を運び、くずし字で書かれた作品・史料等を鑑賞、読み解いてみてください。

【テキスト（教科書）】

伊地知鐵男編『増補改訂 仮名変体集』新典社、385円。本テキストは、変体仮名を解説するための手引きとなります。必ず用意してください。

問題は、講義時に紙の資料を配布します。

【参考書】

児玉幸多編『くずし字用例辞典 普及版』近藤出版社、1981年（図書館の参考図書にあります）

そのほか、講義時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

課題への取り組み 20%

小テスト 30%

期末テスト 50%

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期合わせての履修を推奨します。変体仮名の基本的な学習は、秋学期にも予定していますが、春学期の前半に集中的におこないます。

受講者の興味、学習の進展に合わせて、取り上げる作品を変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with Hentaigana(anomalous cursive syllabary), Kuzushi-ji(character written in a cursive style). It enhances the development of students' skill in reading of Hentaigana and Kuzushi-ji.

【Learning Objectives】

The goals of this course is to reading Hentaigana, Kuzushi-ji accurately.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Preparation: Solve the problems to be covered in the next lecture.

Review: Students will solve the problems given in each lecture.

【Grading Criteria /Policy】

Work on assignments 20%.

Short test 30%.

Final exam 50%.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊海 孝充

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、古典芸能の「能楽（能と狂言）」の基本を学んでいく。能楽は難解で敷居の高い芸能だと思われる。確かに、独特なルールが存在するが、初心者でもその世界を堪能できる視点もある。本講義では、能楽の基本的な知識を学びながら、古典文学や中世文化を下敷きにした作品を鑑賞していく。

【到達目標】

本講義では、能と狂言の基本を理解し、自分の言葉でこの芸能を説明できることを目標とする。能と言えば「幽玄」、狂言と言えば「おかし」などの固定観念で説明されることが多い。そうした既成の言葉ではなく、自身の言葉で能を形容できるようになるのが、目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面で行なう。授業は講義形式に進める。舞台芸術の授業であるため、テキストを読むだけでなく、視聴覚資料も多用する。また、受講者のほとんどが、古典芸能に馴染みがないはずである。毎回、コメントカードを配布し、それに授業内容に関する疑問点を書いてもらう。それに対する回答は、適宜授業冒頭で行なうことで、積極的に意見を出してほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	能はなぜ難しいと言われるのか？
第2回	能楽の基本	能と狂言の違い
第3回	能楽の歴史	室町時代から江戸時代まで
第4回	能楽の形式	能楽の諸要素
第5回	能《頼政》を読む①	『平家物語』と能
第6回	能《頼政》を読む②	作品を読む
第7回	狂言《棒縛》を読む	太郎冠者と次郎冠者
第8回	能《夕顔》を読む①	『伊勢物語』と能
第9回	能《夕顔》を読む②	作品を読む
第10回	狂言《千切木》を読む	わわしい女
第11回	能《紅葉狩》を読む①	鬼女伝承と能
第12回	能《紅葉狩》を読む②	作品を読む
第13回	狂言《節分》を読む	狂言が描く鬼
第14回	総括	春学期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。実際能楽堂まで行き、生の舞台を鑑賞してほしい。公演は授業内で紹介する。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

【参考書】

授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席状況及びコメントカードの評価 70%。学期末レポート 30%。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく動画を見る時間を多く作り、複数映像がある場合は、比較もおこないたい。

【Outline (in English)】

Course Outline: This course is an introduction to Noh and Kyogen.

Learning Objectives: The goal of this course is to acquire basic knowledge of Noh and Kyogen.

Learning Activities Outside of the Classroom: Students will be expected to go to see performances of Noh, Kyogen, and other classical performing arts. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on reaction papers (70%), and a term-end report (30%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊海 孝充

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、能・狂言を中心に、日本の古典芸能を取り上げる。様々な古典文学を素材とした能・狂言は人形浄瑠璃・歌舞伎といった多くの古典芸能の素材となった。これらの芸能を横断的に鑑賞し、各芸能の類似点・相違点を学んでいく。

【到達目標】

◆能・狂言・人形浄瑠璃・歌舞伎の古典芸能の基本知識を習得し、それぞれの芸能の特色を自身で分析できる。

◆古典文学と古典芸能の関係について理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面で行なうが、状況を見て判断する。授業は講義形式に進める。舞台芸術の授業であるため、テキストを読むだけでなく、視聴覚資料も多用する。また、受講者のほとんどが、古典芸能に馴染みがないはずである。毎回、コメントカードを配布し、それに授業内容に関する疑問点を書いてもらう。それに対する回答は、適宜授業冒頭で行なうことで、積極的に意見を出してほしい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	古典文学と古典芸能
第2回	世阿弥の能楽論	基本的な能の形
第3回	能《綾の鼓》	作品の読解
第4回	能《恋重荷》	《綾鼓》との比較
第5回	狂言《文荷》	狂言のパロディの方法
第6回	『平家物語』	鹿谷の陰謀と鬼界島の物語
第7回	能《俊寛》	『平家物語』との比較
第8回	人形浄瑠璃《平家女護鳥》	能《俊寛》との比較
第9回	狂言《柑子》	悲劇と言い訳
第10回	判官物について	源義経伝承概説
第11回	能《安宅》	作品の鑑賞
第12回	歌舞伎《勸進帳》	能《安宅》との比較
第13回	狂言《二人袴》	弁慶の人形について
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。現存する芸能の、生の舞台を鑑賞してほしい。公演は授業内で紹介する。

【テキスト（教科書）】

毎回プリントを配布する。

【参考書】

授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席状況及びコメントカードの評価 70%

学期末レポート 30%

【学生の意見等からの気づき】

学生たちの要望を受けて、能楽以外の古典芸能を交えて、授業を構成した。

【Outline (in English)】

Course Outline: This course introduces the classical Japanese performing arts through stories and plays about Ayanotsuzumi, Shunkan and Ataka.

Learning Objectives: The goal of this course is to acquire basic knowledge of the classical Japanese performing arts.

Learning Activities Outside of the Classroom: Students will be expected to go to see performances of Noh, Kyogen, Ningyō Jōruri, and Kabuki. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on reaction papers (70%), and a term-end report (30%).

LIT200LA (文学/Literature 200)

日本文学と文化LG

2017年度以降入学者

サブタイトル:新海誠の文学世界

榎本 正樹

開講時期:春学期授業/Spring | 曜日・時限:火3/Tue.3

単位数:2単位

その他属性:〈優〉

【授業の概要と目的(何を学ぶか)】

新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』(2016年)は、近年の日本映画空前の大ヒット作品として、多くの観客の支持と共感を得ました。国内観客動員数1,900万人を突破、興行収入250億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代3位、アジア圏では7冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えました。2019年には『天気の子』が、2022年には最新作『すずめの戸締まり』が封切られ、アニメーションという枠組みを越え、多くの観客に迎え入れられました。『すずめの戸締まり』が、ベルリン国際映画祭やゴールデン・グローブ賞など、海外の主要な映画祭にノミネートされた事実からも明らかのように、新海作品の評価は国際的なレベルにまで高まっています。

「新海誠」というアニメーション監督の名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは2000年代初頭から遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人との繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現する創作態度は、「アニメーション」という表現様式を用いた文学」と形容可能なものです。アニメーションというジャンルの枠を越えて、同時代の重要な表現者の一人として新海誠という存在をとらえ直す必要があります。

新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作のノベライズ(小説化)を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉の表現に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者の手による映画と小説を比較検討することで、映像と小説の表現レベルの違いを検証することが可能になります。

本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。国民的アニメーション作家としての地位を築きつつある、同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的に」観賞し、かつ「分析的」に解説する経験を通して、作品批評の技術を獲得します。

【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンやカットごとに解説する技術を身につけ、アニメ固有の表現方法やギミックや物語構造などについて、自分の力で読み解き、論述できる段階を目指します。関連資料を参照し、他者の意見や論考に目を通し、(時間的に可能であれば)作品のモデルとなった場所に実際に訪れてみることで、作品の背景にある文化的、社会的、民俗的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科:DP3・DP4、法学部・政治学科:DP1、法学部・国際政治学科:DP1、文学部:DP1、経営学部:DP3、国際文化学部:DP2、人間環境学部:DP2、キャリアデザイン学部:DP1

【授業の進め方と方法】

授業はプレゼンテーション(資料提示)と講義を併せた形で行います。新海誠監督作品を初期から最新作まで観賞しながら(時間的な制約から一部となります)、解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのは、シーンを構成する一つひとつの短いカットです。カットは継起的な物語を構成する最小の「部品」ですが、同時にクリエイターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。

もう一点、重要なのは、新海作品において言葉(ナレーション、モノローグ【独白】、ダイアローグ【対話】)の果たす意味です。本授業では特に言葉の要素に注目し、物語の中で作用しあう言葉が、どのようにコミュニケーションの主題を開示していくのか細かく見ていきます。

さらに新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

授業内容に関する質問は、学習支援システムの授業内掲示板またはDMで受け付けます。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】授業形態:対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
2	『遠い世界』『彼女と彼女の猫』	最初期作品を再検討する
3	『ほしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
4	『雲のむこう、約束の場所』	装置としてのSF
5	『秒速5センチメートル』	「風景」と「速度」をめぐる物語
6	『星を追う子ども』前	「物語」への接近
7	『星を追う子ども』後	「異界」への移動と帰還
8	『言の葉の庭』	映像美学を支える文学性
9	『君の名は。』前半	「入れ替わり」と「すれ違い」の趣向
10	『君の名は。』後半	「共苦」する魂のゆくえ
11	『天気の子』前半	「規範」を逸脱するということ
12	『天気の子』後半	人身御供譚としての読み解き
13	『すずめの戸締まり』前半	「移動」と「出会い」の物語
14	『すずめの戸締まり』後半	震災アニメとしての意味と意義

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

アニメーションを観たり小説を読む際に、受動的に観賞するのではなく、自分の頭で積極的に考え、客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を観たり読んだりする中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

機会があれば、作品のモデルとなった場所を訪ねてみる「聖地巡礼」に挑戦してみてください。なぜその場所が選ばれたのか、その場所がシーンの中でどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

榎本正樹『新海誠の世界 時空を超えて響きあう魂のゆくえ』(KADOKAWA、2021年)

*電子書籍もあります。

【参考書】

授業で扱う新海誠のノベライズ作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速5センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』『小説 すずめの戸締まり』とも(以下リンク参照)、角川文庫で入手可能です(電子書籍版もあります)。

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/322203001170/>

*その他の参考書・参考文献や参考サイトは別途指示します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します(100%)。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた新海監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

これまで新海作品に触れる機会がなかった学生にも、理解しやすい授業を心がけます。

可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

【その他の重要事項】

アニメーションや現代日本文学、同時代の表現に関心をもつ学生の履修を歓迎します。

履本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。X (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. In 2019, "Weathering With You" was released. Latest work "Suzume no Tojimari" was released in 2022. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints.

【Learning Objectives】

The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher Makoto Shinkai animations as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation.

【Learning activities outside of classroom】

When watching animations or reading novels, develop the habit of objectively writing and talking about the details of the story in your own words, rather than just passively watching the film or reading the novel. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one or more of Shinkai's works discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop your own argument in your own words about the work you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化LH

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代日本文学と映像表現

榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を解説を加えながら観賞し、原作小説を講読していきます。2023年に劇場公開された以下の11作品から6～7作品を選んで取りあげます。

小説（文学表現）と映画（映像表現）を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を深く読む力の獲得を目指します。

*

池井戸潤『シャイロックの子どもたち』（本木克英監督）
朝井リョウ『少女は卒業しない』（中川駿監督）
葉真中顕『ロスト・ケア』（前田哲監督）
大前栗生『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』（金子由里奈監督）
門井慶喜『銀河鉄道の父』（成島出監督）
浅田次郎『大名倒産』（前々哲監督）
川上未映子『アイスクリーム熱』（短編集『愛の夢とか』所収）映画タイトル『アイスクリームフィーバー』（千原徹也監督）
岩井俊二『キリエのうた』（同監督）
朝井リョウ『正欲』（岸善幸監督）
黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』（八嶽新之介監督）
*作品の配列は劇場公開順です。

【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンル（純文学、エンターテインメント、社会小説、ミステリ、時代小説、児童文学）の小説を読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的なアウトプットができるようになります。

加えて、個人、社会、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。原作小説を精読し、作品分析を行った後、映画の一部を解説を加えながら観賞します。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示、叙述、人物設定、構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきます。

授業内容に関する質問は、学習支援システムの授業内掲示板またはDMで受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読(1)	小説の講読・分析・考察
3	映画観賞と解説(1)	原作の映画鑑賞と解説・考察
4	原作小説の講読(2)	小説の講読・分析・考察
5	映画観賞と解説(2)	原作の映画鑑賞と解説・考察
6	原作小説の講読(3)	小説の講読・分析・考察
7	映画観賞と解説(3)	原作の映画鑑賞と解説・考察
8	原作小説の講読(4)	小説の講読・分析・考察
9	映画観賞と解説(4)	原作の映画鑑賞と解説・考察
10	原作小説の講読(5)	小説の講読・分析・考察
11	映画観賞と解説(5)	原作の映画鑑賞と解説・考察
12	原作小説の講読(6)	小説の講読・分析・考察
13	映画観賞と解説(6)	原作の映画鑑賞と解説・考察
14	秋学期授業のまとめ	秋学期授業のまとめと、レポート提出について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握したい人は、小説を読んで授業に臨んでください。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外に読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。

レポート提出のための事前準備として、対象作品を精読した上で、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で扱う予定の以下の文庫本。

- ・池井戸潤『シャイロックの子どもたち』（文春文庫）
- ・朝井リョウ『少女は卒業しない』（集英社文庫）
- ・葉真中顕『ロスト・ケア』（光文社文庫）
- ・大前栗生『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』（河出文庫）
- ・門井慶喜『銀河鉄道の父』（講談社文庫）
- ・浅田次郎『大名倒産』（文春文庫）
- ・川上未映子『アイスクリーム熱』（『愛の夢とか』講談社文庫）
- ・岩井俊二『キリエのうた』（文春文庫）
- ・朝井リョウ『正欲』（新潮文庫）
- ・黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』（講談社文庫）

【参考書】

参考書・参考文献は、教室で指示します。

必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、解説と考察を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。X (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

We read the original novel after having watched movie works that filmized as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 or 7 works in 2023.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

【Learning Objectives】

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 or 7 titles after carefully selecting from the works released in 2023.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. Our aim is to acquire the ability to read novels from the perspective of what is literature-specific expression.

【Learning activities outside of classroom】

Although the class will be conducted in a manner that can be understood without having read the original novel beforehand, it is best to read the novel in order to grasp the content of the story and the relationships between the characters. Students are encouraged to re-read and re-watch the novels and films discussed in class outside of class to deepen their understanding of the works. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one of the novels discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop a "theory" in your own words about the novel you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル:

酒井 健

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

0) 初回の授業 (4月8日月曜日2時限)にオンラインで実施 (hoppiiの「お知らせ」でズームアドレスを通知) での出席が必須です。当日提示するアンケートをもとに選抜を行います。30名が受付リミットです。

- 1) ハードな授業 = この授業は、哲学的視点からフランスの詩と評論を学んでいきます。毎回かなりの分量のリアクション・ペーパーの執筆と提出が求められます。本当に勉強したい人、能動的に授業に臨む人に最適の授業です。
- 2) 哲学的視点 = 美とは何か。近代性とは何か。さらに近代社会の特徴である有用性 (役に立つこと)、古典主義美学の基本 (調和と節度を求める理性的な表現) についても考えていきます。
- 3) 詩と絵画評論 = 具体的にはフランスの詩人ボードレールの詩と絵画評論を扱います。同時にルーヴル美術館の所蔵作品についても学んでいきます。
- 3) 春学期の概要 = パリの歴史と文化を学んでから、ボードレールの詩集『悪の華』の代表作をいくつか読み、彼の美術評論に入っていきます。
- 4) さらに目的 = 西欧現代思想の担い手ジョルジュ・バタイユのボードレール論も学んでいきます。

【到達目標】

- 1) 詩と絵画と評論文をとらえて、西欧文化の広さと深さを学ぶ。
- 2) 自分の言葉で授業内容を理解して文字で表現できるようにする。
- 3) 哲学的な見方を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- 0) 繰り返しになりますが、選抜を初回の授業 (4月8日月曜日2時限)にオンラインで実施)で行います。選抜結果は翌日ウェブ上に掲載されます。
- 1) 教材や資料は学習支援システムに載せます。授業で配布する資料もあります。
- 2) 基本的に講義形式ですが、学生の発表を歓迎します。
- 3) 授業の最後30分を使って、板書された課題についてレポートを書いて提出します。
- 4) 次回の授業で添削したレポートを返却します。優秀なレポートについては授業で紹介して、今後の勉強の指針にします。
- 5) 期末レポートの提出が求められます。その課題は最終授業で提示します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	哲学的視点から詩と美術評論を読む意義について。ボードレールの紹介。
2	パリの歴史①	フランスの首都パリについて、その生まれから学ぶ。
3	パリの歴史②	ボードレールの生きた19世紀パリの紹介。
4	『悪の華』の「白鳥」①	パリの変化。文学的背景 (ウエルギリウスの詩『アイネーイス』)、およびトロイ戦争について。
5	「白鳥」②	ボードレールにとって白鳥が意味するものを理解する。
6	「白鳥」③	この詩の主題「回想」を哲学的に考察する。
7	「白鳥」④	この詩に影響を受けたマラルメの詩とアポリネールの詩を読んで文学への考察を深める。
8	『悪の華』所収の「灯台」①	この詩で紹介される画家について。その1. ルーベンス、レオナルド、レンブラントについて。
9	「灯台」②	この詩で言及される画家について。その2. ミケランジェロ、ヴァトー、ゴヤについて。
10	評論「1855年の万国博覧会、美術」①	第1章「批評の方法」を読む。
11	評論「1855年の万国博覧会、美術」②	第2章「アングル」を読む。

12 評論「1855年の万国博覧会、美術」③

13 ボードレール論の紹介 バタイユ『文学と悪』所収の「ボードレール」を読む。

14 ボードレールと現代 今学期のまとめ。期末課題の提示。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

扱われる作品をあらかじめ読んでしっかり内容をつかんでおいてください。授業で紹介する詩と研究論文も読んでおいてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

決まった教科書はありません。資料、教材を学習支援システムおよび授業内で配布します。

【参考書】

【参考書 / References】

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書1603。

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書C164

ボードレール『ボードレール全詩集1』阿部良雄訳、ちくま文庫、1998年。

ボードレール『ボードレール批評1 — 美術批評1』阿部良雄訳、ちくま文庫、1999年。

バタイユ『文学と悪』山本功訳、ちくま学芸文庫、1998年

【成績評価の方法と基準】

上記【到達目標】の3点を評価の基本にします。

各回提出のレポート (50%)、期末のレポート (50%) により成績をだします。

【学生の意見等からの気づき】

とくにありません。

【その他の重要事項】

選抜のある授業です。最初の授業には必ず出席すること。

【Outline (in English)】

1) Hard class = In this class, you will learn French poetry and criticism from a philosophical perspective. You will be required to write and submit a considerable reaction paper each time. This class is perfect for students who really want to study and who actively participate in class.

2) Philosophical perspective = Idea of beauty, modernity, classical aesthetics, usefulness, etc.

3) Poetry and painting criticism = Specifically, we will deal with the poetry and painting criticism of French poet Baudelaire. We will also learn about works belonging to the Louvre Museum.

4) Overview of the spring semester: After learning about the history and culture of Paris, we will read some of Baudelaire's masterpieces from his collection of poems, "The Flowers of Evil," and then move on to his art criticism.

5) Further purpose: We will also study the Baudelaire theories of Georges Bataille, who is the leader of modern Western thought.

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and artistic works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work, for which they must spend at least four hours.

Final grade will be calculated according to the total score of reaction papers (50%) and final report (50%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

酒井 健

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

0) 初回の授業（9月23日月曜日2時限にオンラインで実施（hoppiiの「お知らせ」でZoomアドレスを通知）での出席が必須です。当日提示するアンケートをもとに選抜を行います。30名が受付リミットです。

1) ハードな授業 = この授業は、哲学的視点からフランスの詩と評論を学んでいきます。毎回かなりの分量のリアクション・ペーパーの執筆と提出が求められます。本当に勉強したい人、能動的に授業に臨む人に最適の授業です。

2) 哲学的視点 = 美とは何か。近代性とは何か。さらに近代社会の特徴である有用性（役に立つこと）、古典主義美学の基本（調和と節度を求める理性的な表現）についても考えていきます。

3) 詩と絵画評論 = 具体的にはフランスの詩人ボードレールの詩と絵画評論を扱います。同時にルーヴル美術館の所蔵作品についても学んでいきます。

3) 秋学期の概要 = ボードレールの詩集『パリの憂鬱』の代表作をいくつか読んでから彼の美術評論に入っていきます。

4) さらなる目的 = 西欧現代思想の担い手ヴァルター・ベンヤミンのボードレール論及びパッサージュ論も学んでいきます。

【到達目標】

- 1) 詩と絵画と評論文をとおして、西欧文化の広さと深さを学ぶ。
- 2) 自分の言葉で授業内容を理解して文字で表現できるようにする。
- 3) 哲学的な見方を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

0) 繰り返しになりますが、選抜を初回の授業で行います。選抜結果は翌日ウェブ上に掲載されます。

1) 教材や資料は学習支援システムに載せます。授業で配布する資料もあります。

2) 基本的に講義形式ですが、学生の発表を歓迎します。

3) 授業の最後30分を使って、板書された課題についてレポートを書いて提出します。

4) 次回の授業で添削したレポートを返却します。優秀なレポートについては授業で紹介して、今後の勉強の指針にします。

5) 期末レポートの提出が求められます。その課題は最終授業で提示します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	哲学的視点から詩と美術評論を読む意義について。ボードレールの紹介。
2	ボードレール『パリの憂鬱』『悪しきガラス売り』①	パリのガラス売りについて。狂気と暴力の発作。

3	「悪しきガラス売り」② 「貧乏人を殴り倒そう」	近代道徳と誠実さへの憎悪。
4	『パリの憂鬱』『狂人と美の女神ヴィーナス』	美と非理性について。
5	『パリの憂鬱』『群衆』	群衆の存在。集合的無意識について。
6	『パリの憂鬱』『旅へのいざない』	異国への夢について。
7	『パリの憂鬱』『月の恵み』	新プラトン主義と美の表現について。
8	『パリの憂鬱』『縄（なわ）』	画家マネの絵画との関係。
9	『パリの憂鬱』『この世界の外ならどこへでも』	近代社会への惜別の念。
10	評論「現代生活の画家」①	古典主義と素描画について。
11	評論「現代生活の画家」②	素描画家コンスタンタン・ギースとその子供らしさについて。
12	評論「現代生活の画家」③	絵画の現代性について。
13	ボードレール論の紹介	ベンヤミンのボードレール論とパッサージュ論を読む。
14	ボードレールと美の考え方。	今学期のまとめ。期末課題の提示。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

扱われる作品をあらかじめ読んでしっかり内容をつかんでおいてください。授業で紹介する詩と研究論文も読んでおいてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まった教科書はありません。資料、教材を学習支援システムおよび授業内で配布します。

【参考書】

【参考書 / References】

『大学生のためのレポート・論文術』小笠原喜康、講談社現代新書1603.

『論文レポートの文章作法』古郡廷治、有斐閣新書C164

ボードレール『ボードレール全詩集2』阿部良雄訳、ちくま文庫、1998年。

ボードレール『ボードレール批評2 — 美術批評2』阿部良雄訳、ちくま文庫、1999年。

ベンヤミン『近代の意味（ベンヤミン・コレクション1）』浅井健二郎編訳・久保哲司訳、ちくま学芸文庫、1995年。

【成績評価の方法と基準】

上記【到達目標】の3点を評価の基本にします。

各回提出のレポート（50%）、期末のレポート（50%）により成績をだします。

【学生の意見等からの気づき】

とくにありません。

【その他の重要事項】

選抜のある授業です。最初の授業には必ず出席すること。

【Outline (in English)】

1) Hard class = In this class, you will learn French poetry and criticism from a philosophical perspective. You will be required to write and submit a considerable reaction paper each time. This class is perfect for students who really want to study and who actively participate in class.

2) Philosophical perspective = Idea of beauty, modernity, classical aesthetics, usefulness, etc.

3) Poetry and painting criticism = Specifically, we will deal with the poetry and painting criticism of French poet Baudelaire. We will also learn about works belonging to the Louvre Museum.

4) Overview of the spring semester: After learning about the history and culture of Paris, we will read some of Baudelaire's masterpieces from his collection of poems, "The Spleen de Paris," and then move on to his art criticism.

5) Further purpose: We will also study the Baudelaire theories of Walter Benjamin, who is the leader of modern Western thought.

Through this course students are expected to get knowledge to appreciate analytically and critically literary and artistic works.

Students should read beforehand relevant works. They need also to submit an assignment after having studied each work, for which they must spend at least four hours.

Final grade will be calculated according to the total score of reaction papers (50%) and final report (50%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：漢詩を作る

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初心者に漢詩の実作を指導する授業です。最初に漢詩の中でも最も厳格な規則に基づく「近体詩」の作り方について解説します。その上で漢詩（七言絶句）の実作に挑み、「近体詩」の規則についての理解を深めます。実作の参考になるように、実作と並行して四季の風物を詠じた漢詩（歳時詩）を季節に沿って鑑賞します。

【到達目標】

- ・漢詩の読解・創作に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・近体詩の規則を理解し、それによって漢詩の実作をする。
- ・日本の古典文学の世界で大きな位置を占める「漢文学」の存在を再認識する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

開講時から3回ほどを使って、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について説明する。その後は漢詩の実作指導を中心に据える。実作の参考になるように、一回ごとに異なるテーマを設け、毎回数首の漢詩を鑑賞する。日本人の作った漢詩もできるだけ紹介したい。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩と取り組み、各自の思いを表現していったことを知ってほしい。

- ※第1回目の授業はオンラインで行ないます。
- ※第2回目以降は対面授業の予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。
- ※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行ないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	漢詩の詩形、古体詩と近体詩、歳時詩について、／梅の詩鑑賞	漢詩の歴史、さまざまな詩形、古体詩と近体詩の説明。「歳時詩」「二十四節気」／林逋「山園小梅」などを鑑賞。
第2回	近体詩の規則①／桜の詩鑑賞	正岡子規「閑子規」を例に作詩法を解説。平仄図式・押韻の説明。／藤井竹外「芳野」などを鑑賞。
第3回	近体詩の格律②／春遊の詩鑑賞	二四不同二六対、反法・粘法の説明。／杜牧「江南春」、永井荷風「墨上春遊」などを鑑賞。
第4回	近体詩の格律③／晩春の詩鑑賞／実作指導	いくつかの禁忌（下三連、孤平、冒韻、同字の重複）について。／白居易「三月三十日題慈恩寺」、呉錫麒「送春」などを鑑賞。／実作（七言一句を作る）
第5回	ほととぎすの詩鑑賞／実作指導	杜甫「子規」、嵯崎波響「聞鶯」などを鑑賞。／実作

第6回	牡丹・薔薇・石榴の詩鑑賞／実作指導	皮日休「牡丹」、石川丈山「白牡丹」、高駢「山亭夏日」、柏木如亭「石榴」などを鑑賞。／実作
第7回	山行の詩鑑賞／実作指導	王安石「鍾山」、広瀬淡窓「彦山」などを鑑賞。／実作
第8回	梅雨の詩鑑賞／実作指導	趙師秀「約客」、篠崎小竹「梅雨」などを鑑賞。／実作
第9回	蓮の花の詩鑑賞／実作指導	白居易「池上」、菅茶山「夏日雜詩」などを鑑賞。／実作
第10回	螢・蟬・蠅・蚊の詩鑑賞／実作指導	杜甫「螢火」、北條霞亭「観螢」、蘇軾「溪陰堂」、韓愈「雜詩」などを鑑賞。／実作
第11回	苦熱・避暑・昼寝の詩鑑賞／実作指導	柳宗元「夏昼偶作」、袁枚「銷夏」、野田笛浦「昌平橋納涼」などを鑑賞。／実作
第12回	夏の江村・舟行・滝の詩鑑賞／実作指導	杜甫「江村」、李白「望廬山瀑布」などを鑑賞。／実作
第13回	夕立の詩鑑賞／実作指導	蘇軾「六月二十七日、望湖樓醉書」、大窪詩仏「急雨」などを鑑賞。／実作
第14回	授業の総まとめと期末試験	筆記試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。
本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

担当者作成の資料を配布する。

【参考書】

- 石川忠久『漢詩を作る』（大修館書店）
- 石川忠久『漢詩の稽古』（大修館書店）
- 石川忠久監修『漢詩創作のための詩語集』（大修館書店）
- 鷲野正明『初めての漢詩創作』（白帝社）
- 鈴木健一編『漢文のルール』（笠間書院）
- 小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）
- 前野直彬『唐詩選』全三冊（岩波文庫）
- 村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）
- 目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）
- 山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）
- 猪口篤志『日本漢詩鑑賞辞典』（角川書店）
- 石川忠久『日本人の漢詩 風雅の過去へ』（大修館書店）
- 石川忠久『漢詩をよむ 春の詩100選』
- 同『漢詩をよむ 夏の詩100選』
- 同『漢詩をよむ 秋の詩100選』
- 同『漢詩をよむ 冬の詩100選』（以上、NHK出版）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・授業中に作って提出する漢詩の実作）50%
期末試験またはそれに代わる最終レポート 50%

【学生の意見等からの気づき】

実作指導の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to write Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Term-end examination (or Term-end report) : 50%, Short reports : 50%

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：『唐詩選画本』を読む

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

江戸時代に日本で刊行された『唐詩選画本』をテキストとして唐詩を読む。『唐詩選画本』は絵と詩の本文、その訓み下し文、日本語による解説文によって構成されている。はじめに『唐詩選画本』を含む唐詩のテキストについて概説する。以後は五言絶句から始めて徐々に長い詩に進むかたちで具体的な作品を鑑賞してゆく。「歳時詩」「辺塞詩」「閨怨詩」「唱酬詩」「詠物詩」「詠史詩」といった漢詩のテーマについても折をみて解説を加えるつもりである。なお、『唐詩選画本』の訓み下し文、解説文は「変体仮名」で記されているので、変体仮名を読む訓練にもなるであろう。

【到達目標】

- ・中国古典文学の基盤をなす考え方を知るとともに漢詩の読解に必要な基本的知識の習得を目指す。
- ・変体仮名に慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。第一回目の授業で、漢詩の歴史、さまざまな詩形、近体詩の規則について概説する。第二回目の授業では「変体仮名」について説明した上で、『唐詩選画本』の具体的な作品を鑑賞する。第三回目以降の授業は作品鑑賞が中心になる。日本の先人が中国に起源をもつ「漢詩」という定型詩をどのように読み解いていたかを具体的に知ってほしい。

※第1回目から対面授業をする予定ですが、状況によってオンライン授業に移行する可能性もあります。授業方法を変更する場合は、学習支援システムでその都度提示します。

※提出課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行いません。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	漢詩の形式について。	漢詩の形式の解説。『全唐詩』唐詩のテキストについて『三体詩』『唐詩選』『唐詩三百首』『唐詩選画本』等の説明。
第2回	鑑賞（五言絶句）	賀知章「題袁氏別業」
第3回	鑑賞（五言絶句）	駱賓王「易水送別」
第4回	鑑賞（五言絶句）	李白「静夜思」、王維「班婕妤」
第5回	鑑賞（七言絶句）	王勃「蜀中九日」
第6回	鑑賞（七言絶句）	王翰「涼州詞」
第7回	鑑賞（七言絶句）	李白「峨眉山月歌」、王昌齡「閨怨」
第8回	鑑賞（五言律詩）	杜甫「旅夜書懷」
第9回	鑑賞（五言律詩）	張謂「同王徵君洞庭有懷」
第10回	鑑賞（七言律詩）	崔顥「黃鶴樓」
第11回	鑑賞（五言古詩）	李白「子夜吳歌」
第12回	鑑賞（七言古詩）	杜甫「貧交行」
第13回	鑑賞（七言古詩）	劉廷芝「代悲白頭翁」

第14回 授業の総まとめと期 筆記試験、まとめと解説
末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

漢詩関連の書籍を読み、漢詩に親しむ。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

担当者がプリントを用意する。

【参考書】

前野直彬注解『唐詩選』全三冊（岩波文庫）

村上哲見『三体詩』全四冊（朝日文庫）

目加田誠『唐詩三百首』全三冊（平凡社）

山田勝美『中国名詩鑑賞辞典』（角川書店）

猪口篤志『日本名詩鑑賞辞典』（角川書店）

小川環樹『唐詩概説』（岩波文庫）

石川忠久『漢詩をよむ 春の詩100選』

同 『漢詩をよむ 夏の詩100選』

同 『漢詩をよむ 秋の詩100選』

同 『漢詩をよむ 冬の詩100選』（以上、NHK出版）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・授業支援システムを使って提出する課題）50%

期末試験またはそれに代わる最終レポート 50%

【学生の意見等からの気づき】

変体仮名を読む訓練の時間を多くとれるように工夫する。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to appreciate Chinese poems. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Term-end examination (or Term-end report) : 50%, Short reports : 50%

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

大崎 さやの

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：集中・その他
/intensive・other courses

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

オペラは16世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。日本では比較的馴染みが薄いオペラですが、特にイタリア・オペラはありふれた内容のものが多く、肩肘張って見るような難しいものでは決してありません。楽しみながらヨーロッパ文化の神髄であるオペラに親しんでいきましょう。

【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

オペラの誕生したルネサンスから18世紀までのオペラを講義形式で扱います。配布PDF・音声ファイルの他、視聴覚教材を用います。また毎回課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。

授業はオンデマンド方式で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
①	イントロダクション ルネサンスの舞台芸術 (1)	授業紹介 ルネサンスと宮廷音楽劇
②	ルネサンスの舞台芸術 (2)	コンメディア・デッラルテとマドリガル・コメディ
③	オペラの誕生 (1)	カメラータ・フィオレンティーナとオペラの誕生、モンテヴェルディの生涯
④	オペラの誕生 (2)	モンテヴェルディ作曲、ストリッジョ台本のオペラ
⑤	バロック・オペラ (1)	ヴェネツィア・オペラとカストラートの隆盛
⑥	バロック・オペラ (2)	モンテヴェルディ作曲、プゼネッロ台本のオペラ
⑦	バロック・オペラ (3)	ヘンデルの生涯と作品
⑧	バロック・オペラ (4)	ヘンデル作曲、ハイム台本のオペラ
⑨	オペラ・ブッフアとオペラ・セーリア (1)	アルカーディア・アカデミーとオペラ

⑩	オペラ・ブッフアとオペラ・セーリア (2)	メタステージオ台本、ヴィンチ作曲のオペラ
⑪	オペラ・セーリアの改革 (1)	グルックとカルツァビージについて
⑫	オペラ・セーリアの改革 (2)	グルック作曲、カルツァビージ台本のオペラ
⑬	オペラ・ブッフアとインテルメッツ	ベルゴレージ作曲のインテルメッツ
⑭	授業のまとめ	オペラの誕生から18世紀前半までのオペラ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

GoogleClassroomで指示します。GoogleClassroomのコードは、授業支援システム(Hoppiii)で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

GoogleClassroomで資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

GoogleClassroomで紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (期限内に提出された課題含む) (約70%)と期末試験 (定期試験中に対面実施、約30%)により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい授業をこころがけます。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器

【重要】対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能 (大学のOffice 365に入っています) を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【その他の重要事項】

本授業は受講者数を「40名」までに制限しております。選抜は抽選で行います。選抜方法については、Hoppiiの「お知らせ」で通知しますので、希望者はチェックしてください。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

Instructions will be given in class or via GoogleClassroom; GoogleClassroom codes will be given via the class support system (Hoppii). The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (70%) and the final test (30%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

大崎 さやの

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

オペラは16世紀末にイタリアで生まれた舞台芸術形式です。本講義では、イタリア・オペラの代表的な作品をとりあげ、さまざまな演出により上演された舞台を映像で鑑賞、オペラという舞台芸術の歴史を学びつつ、現代におけるあり方を考えます。外国文学と文化 Fでは、春学期の外国文学と文化 Eに引き続き、19世紀から20世紀にかけての爛熟期のイタリア・オペラを扱います。

【到達目標】

イタリアの文化と社会について理解を深めることにより、ヨーロッパの文化や社会全般に関する教養を身につけることが本講義の目標です。さまざまな興味を持つみなさんの参加を期待しています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では18世紀から20世紀にかけてのイタリア・オペラを扱います。配布PDF・音声ファイルの他、視聴覚教材を用います。また毎回課題を提出してもらいます。フィードバックは授業内で行います。授業はすべてオンデマンド方式で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
①	オペラ・ブッファ	18世紀までのオペラの簡単な歴史とオペラ・ブッファについて
②	古典派オペラ (1)	モーツァルト作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
③	古典派オペラ (2)	モーツァルト作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
④	古典派オペラ (3)	モーツァルト作曲のオペラ (3) 作品解説
⑤	古典派オペラ (4)	モーツァルト作曲のオペラ (4) 作品鑑賞
⑥	ロマン派オペラ (3)	ロッシーニ作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
⑦	ロマン派オペラ (4)	ロッシーニ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑧	ロマン派オペラ (5)	ドニゼッティ作曲のオペラ (1) 生涯と作品 作品解説
⑨	ロマン派オペラ (6)	ドニゼッティ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑩	ロマン派オペラ (7)	ヴェルディ作曲のオペラ (1) 生涯と作品
⑪	ロマン派オペラ (8)	ヴェルディ作曲のオペラ (2) 作品鑑賞
⑫	ロマン派オペラ (9)	ヴェルディ作曲のオペラ (3) 作品解説

- ⑬ 世紀末から20世紀 プッチーニ作曲のオペラ 作品にかけてのオペラ 鑑賞 (2)
- ⑭ 授業のまとめ 18世紀後半から20世紀のオペラ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

GoogleClassroomで指示します。GoogleClassroomのコードは、授業支援システム(Hoppiii)で指示します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

GoogleClassroomで資料を配布します。教科書は使用しません。

【参考書】

GoogleClassroomで紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (期限内に提出された課題含む) (70%) と期末試験 (定期試験中に対面で実施、30%) により評価します。

【学生の意見等からの気づき】

分かり易い授業を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、タブレット、スマートフォンのいずれか、インターネットに接続できる機器

【重要】 対面授業のみの場合と異なり、課題のレポートを作成し、オンラインで提出するにあたり、ワード等のワープロ機能 (大学のOffice 365に入っています) を使用します。また、授業では映像を多用しますので、オンライン授業受講の際は通信容量が多く必要となります。

【その他の重要事項】

本授業は受講者数を「40名」までに制限しております。選抜は抽選で行います。選抜方法については、Hoppiiの「お知らせ」で通知しますので、希望者はチェックしてください。

【Outline (in English)】

Opera is a performing art form born in Italy at the end of the sixteenth century. In this class, I will take up representative works of Italian opera and give a lecture on its history.

Instructions will be given in class or via GoogleClassroom; GoogleClassroom codes will be given via the class support system (Hoppii). The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Students will be graded on the basis of their normal scores (including assignments submitted on time) (about 70%) and the final test (about 30%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本文学と民俗学

梶 裕史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「民俗」（民間伝承）とは、ある地域社会、特定のコミュニティのごくふつうの人々の暮らしの中で集団的に形づくられ、時代を超えて伝えられてきた暮らしぶりや心の持ち方を指します。「地域（ローカル）」の範囲は、小さくは一つの集落、大きくは世界（グローバル）の中の日本という「地域」といったように、さまざま設定できます。この授業では世界の中の日本、という視野のもと、こうした「民間伝承」を研究対象とする「民俗学」を採り入れた日本文学研究の世界を、『万葉集』『古事記』『日本書紀』『風土記』『古今和歌集』『源氏物語』等、主として上代・中古の文学の中から事例を選んで紹介します。民俗学的な日本文学研究とは、個々の作者・作品の個性や創意、時代性を越えて、現代の私たちの心の底にまで伝わっていると考えられるような集団の心性を、残された言語表現を通じて探らうとするものである、といえるでしょう。このような性格のため、「個」（一作者や作品）の芸術性の追究といったことを期待する人には、不向きと思われる。

【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室対面を基本とする、ふつうの講義形式です。小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2～3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。気軽な質疑応答の時間や、(時々)リアクションペーパーにより感想を記す時間を十分に採り入れます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	民俗学的な日本文学研究について、概説
第2回	桜の文学と民俗（1）	季節感と古典文学との関わり、またその源流と考えられる民俗について
第3回	桜の文学と民俗（2）	前回の続きとまとめ
第4回	「女歌」の特色と源流（1）	男女の恋の贈答歌における女性の歌の特色と、その源と考えられる「歌垣」の習俗について
第5回	「女歌」の特色と源流（2）	前回の続きとまとめ
第6回	恋歌の虚構性	万葉集・額田王の蒲生野の恋歌を例に
第7回	古代女性の巫女的性格と文学（1）	古代女性の「神」に仕える役割と古典文学、歴史との関係

第8回	古代女性の巫女的性格と文学（2）	前回の続き
第9回	古代女性の巫女的性格と文学（3）	前回の続きとまとめ
第10回	「恋（こひ）」の生活と霊魂信仰（1）	「魂乞い」・名前の民俗ほか、和歌や物語から恋愛に関わる霊魂信仰（生命観）を探る
第11回	「恋（こひ）」の生活と霊魂信仰（2）	前回の続きとまとめ
第12回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（1）	昔の日本人にとっての「誕生」「成人」の意義と文学への反映
第13回	「誕生」「成人」——年齢通過儀礼と文学（2）	前回の続きとまとめ
第14回	総括として	例題を総復習し、授業の到達目標を確認する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学に高校までの授業のイメージを持たずに、現代語訳でもいいので、日頃からその世界に親しんでほしいと思います。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに掲載する資料教材をもって代えます。

【参考書】

授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験85%。授業態度（基本的なマナー）15%

【学生の意見等からの気づき】

授業教材が、欠席した時もあとで読めば凡そ分かるような、解説付きのオンデマンド対応パワーポイントであるため、復習の際に要点が掴みやすく、画像も豊富に入っているので親しみやすい、という感想が多かったです。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

"Folk" (folklore) refers to the way of life and mindset that has been collectively formed in the lives of ordinary people in a certain community or a specific community and has been passed down through the ages.

increase. The range of "region (local)" can be set in various ways, such as one village for small and Japan in the world (global) for large. In this class, from the perspective of Japan in the world, the world of Japanese literature research that incorporates "folklore" that targets such "folklore" will be discussed in "Manyoshu," "Kojiki," and "Nihonshoki." We will introduce examples mainly from the literature of the upper generation and used, such as "Fudoki", "Kokin Wakashu", and

"Genji Monogatari". Folklore Japanese literature research transcends the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works, and is the bottom of our hearts today.

Folklore Japanese literature research leaves behind a collective spirit that is thought to be transmitted to the bottom of our hearts today, transcending the individuality, creativity, and timeliness of individual authors and works. It can be said that it is an attempt to explore through the linguistic expressions that have been made. Because of this personality, it seems unsuitable for those who expect to pursue the artistry of "individuals" (one author or work).

Goal

This lecture aims at the following two goals

- ・ Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.
- ・ As the subject name indicates, students can learn an example

of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. I would like you to become familiar with the world on a daily basis, as you can use a modern translation without having the image of a class up to high school in classical literature.

Grading criteria

Final exam 85%. Others (questions, content of reaction papers sometimes asked, etc.) 15%

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本文学と民俗学

梶 裕史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ（副題）：日本文学と民俗
 梶「文学と社会LA」と同じです。ただし具体的な内容は「授業計画」に記す通り、異なります。Aよりも「民俗」(=民間伝承)の部分に重点を置いた内容になります。「文学」発生の母胎としての性格を未だによく保持しており、日本文学の「古代性」を考える上で重要なヒントになるとされる沖縄離島の祭事・信仰をクローズアップして紹介する回が多くなり、時間があればそれを材料に、伝統文化を活かした持続可能な地域形成に祭事や言語伝承が果たす役割なども考察したいと思っています。

【到達目標】

- ・一般的な文学研究に比べて、民俗学的に文学を見る方法の特色・意義を知り、視野を広げられること。
- ・科目名が示すように、人文科学と社会科学の融合領域を扱う分野に触れ、学際的なアプローチの一例を学べること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教室での対面授業を基本とする、ふつうの講義形式です。小説の構成に喩えれば、テーマに沿って2〜3回で完結する例題を並べていく「短編小説集」のような構成と思って下さい。気軽な質疑応答の時間や、(時々)リアクションペーパーにより感想を記す時間を十分に採り入れます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	日本文学の民俗学的な見方について、概説
第2回	季節行事と文学（1）	具体例として、古典文学における七夕と、七夕関連行事・民俗について
第3回	季節行事と文学（2）	日本固有のタナバタ説話について／2回のまとめ
第4回	古代文学に表現された異郷「(は)はの国」(1)	古事記の用例をめぐって、語の意味・由来、背景に考えられる民族移動・渡来の歴史など
第5回	古代文学に表現された異郷「(は)はの国」(2)	別視点：「異族結婚」が多かった時代の記憶の反映／2回のまとめ
第6回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(1)	万葉集・記紀・風土記などに見える用例（浦島伝説等）／明・暗両面性
第7回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(2)	比較事例として、沖縄・奄美等の来訪神の祭事を紹介：「ニライカナイ」の心象
第8回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(3)	明暗両面性の由来の考察（日本の「神」とは何か）—自然観・祖霊観念との関わりなど

第9回	古代文学に表現された異郷「常世（とこよ）」(4)	トコヨからの来訪者／まとめ
第10回	「貴種流離譚」(1)	神（またはそれに近い高貴な存在）がさすらう物語の類型をめぐって
第11回	「貴種流離譚」(2)	古代的な生命観・霊魂信仰や異郷意識（他界観念）との関わり／2回のまとめ
第12回	「神話」が生きる島(1)	祭事・信仰などに古代的要素が残っている日本の離島の例を紹介
第13回	「神話」が生きる島(2)	前回の続き
第14回	総括の授業と授業内試験	話してきた例題のポイントを振り返ったあと、まとめのテストを行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

古典文学と「民俗」との関連を知ることをきっかけに、地域の伝統行事を見学することなども奨励します。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

不要。学習支援システムに掲載するスライド教材をもって替えます。

【参考書】

授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験85%。その他（質問、リアクションペーパー等）15%。

【学生の意見等からの気づき】

春学期の「LA」の授業と同様、文章の説明入りのオンデマンド対応のスライド教材であるため、体調不良で教室授業に出られない場合でも自宅で自習できることへの評価のほか、伝統祭事についての豊富な動画で実感を持たたという声もありました。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【Outline (in English)】

Theme: Japanese literature and folklore

This class is same as "Literature and Society LA" by Kaji. However, the specific content is different as described in the "Class Plan". The content focuses on the "folk" (= folklore) part rather than A. A close-up introduction to the festivals and beliefs of the remote islands of Okinawa, which still retains the character of the mother of "literature" and is considered to be an important hint when considering the "ancientity" of Japanese literature. If I have more time, I would like to consider the role of festivals and linguistic tradition in the sustainable regional formation that make use of traditional culture.

Goal

This lecture aims at the following two goals

- ・ Compared to general literary research, students can broaden your horizons by learning about the characteristics and significance of folklore-based methods of viewing literature.

- ・ As the subject name indicates, students can learn an example of an interdisciplinary approach by touching on fields dealing with the integrated area of the humanities and social sciences.

Work to be done outside of class

The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. We also encourage you to visit traditional events in the area by learning about the relationship between classical literature and "folklore".

Grading criteria

Final exam 85%. Others (questions, content of reaction papers sometimes asked, etc.) 15%

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：江戸の印刷・出版物

白戸 満喜子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では江戸時代の文学作品『御存商売物』を通読します。作品を通して江戸の出版文化の多様性に触れていきます。江戸という地域・時代に暮らした人々が手にしていた、読んでいた、眼にしていた、時には聴いていたさまざまなメディアを、実際に読んだり聴いたりすることで江戸を体感します。

【到達目標】

江戸時代の特徴的な文化や慣習・感覚をテキスト『御存商売物』を通じて理解することが目標。
くずし字（変体仮名）で書かれた簡単な出版・印刷物を判読できるようになることがもう一つの目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は『御存商売物』という江戸時代の印刷・出版物を人物になぞらえた作品を通読しながら講義を行います。あわせて作品の中に登場人物として描かれている印刷・出版物を読解する演習形式を取り入れます。意匠絵本（デザイン集）・暦など、簡単な読み物の翻字（くずし字を現代仮名遣いにすること）のノウハウを解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・江戸時代の文学について ・テキスト『御存商売物』について ・外国人から見た江戸
2	テキスト『御存商売物』の解説	・日本の書物 ・江戸後期の文学作品 ・江戸の出版
3	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の紋様 ・大坂と江戸
4	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の人気小説 ・江戸の食べ物
5	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の絵画 ・江戸時代までの紙 ・江戸の流行歌
6	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・「見立（みたて）」という表現 ・小道具と物語の関係 ・絵と文の関係を読み取る
7	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の慣習 ・江戸の街並み
8	テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解	・江戸の繁華街「吉原」 ・浮世絵と鑑賞の基礎知識

- | | | |
|----|------------------------|--------------------------|
| 9 | テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解 | ・現在と異なる暦
・江戸の教養を支えた書物 |
| 10 | テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解 | ・江戸の土産物
・江戸時代の夫婦喧嘩 |
| 11 | テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解 | ・江戸の占い
・江戸のおまじない |
| 12 | テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解 | ・江戸の学問書
・江戸時代の情報伝達 |
| 13 | テキスト『御存商売物』の解説とくずし字の読解 | ・江戸時代の流行り廃り
・江戸の刑罰 |
| 14 | 授業のまとめ | ・江戸時代の豊かな出版文化 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業中に随時、レポートに関する情報を話しますので、その情報を参考にしながら江戸に関する知識を広げて下さい。

くずし字の読解に必要な資料（配布プリント）は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。くずし字読解の準備として2時間、復習に2時間、計4時間を必要とします。

【テキスト（教科書）】

授業中にプリントを配布します

【参考書】

くずし字読解のための参考文献は以下の2冊ですが、読解に必要なプリントは別途授業中に配布します。

- ・笠間影印叢刊行会『字典かな』笠間書院
- ・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】

レポート40% 筆記試験（最後の授業時に一回）40% 平常点（授業への取り組み・発言）20% として評価します。

詳細は開講時にお知らせします。

【学生の意見等からの気づき】

「高校までは学んでこなかった、非常に興味深い内容だった」という感想が寄せられています。古典文学でもなく、現在の小説とも異なる、江戸の大人の娯楽と教養を『御存商売物』という作品を通じて楽しんで下さい。

【学生が準備すべき機器他】

授業における「AIくずし字認識アプリ」の使用を推奨しています。インストール可能な機器を使用してください。

【Outline (in English)】

In this class, we read through the literary work "Gozonji-no-shobaimono" in the Edo Period. Through the work we can touch on the diversity of Edo's publishing culture. You will experience Edo by actually reading and listening to various media that people were living in in the region & the era of Edo. Sometimes you can listen the audible media.

The main goal of this course is to understand the characteristic culture, customs, and sensations of the Edo period through the textbook "Gozonji-no-shobaimono".

Another goal is to be able to read simple publications and printed matter written in cursive script (Hentaigana).

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time, and read them before class. It takes 2 hours to prepare for reading comprehension and 2 hours to review, for a total of 4 hours.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Short reports 40 %, Term-end examination 40 %, in class contribution 20 %

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル: 江戸の絵入り本で読む百人一首

白戸 満喜子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

浮世絵が添えられた絵本『錦百人一首あづま織』(国立国会図書館所蔵) <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> を受講生全員で分担し、読解・解釈をします。最近では競技としての知名度が上がってきた百人一首が、いつ、どのようにして成立し、また現在まで人々に愛されてきたのか。江戸時代の人々が楽しんだ百人一首を読み解き、和歌の解釈と描かれた歌人について学んでいきます。

【到達目標】

くずし字で書かれた和歌(ひらかなの部分とその字母)を判読し、解釈することが各受講生の目標です。

各自の担当する和歌について、1: 字母を確認しながら翻字をする、2: 解釈(意味や技法)する、という2点から考察・発表をし、『錦百人一首あづま織』という絵本の成立を理解し、和歌の知識を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

はじめは百人一首と『錦百人一首あづま織』について講義を行います。その後は受講生がそれぞれ分担する和歌についての翻字・解釈を各週で6首づつ順番に発表します。受講生はそれぞれの和歌に対する読解・解釈を準備しておき、授業内掲示板で意見交換をします。翌週の講義で翻字の正解を示し、授業内掲示板における意見のまとめをします。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 百人一首とは何か くずし字読解の方法と解釈	テキスト『錦百人一首あづま織』の発表順番決定
2	テキスト『錦百人一首あづま織』の構成について解説	テキストに関する講義
3	テキスト『錦百人一首あづま織』の読解方法	テキストの翻字・解釈の具体的な方法・内容
4	勅撰和歌集に関する講義1および受講者による発表1回目	・勅撰和歌集とは何か: 八代集 ・担当者による発表
5	勅撰和歌集に関する講義2および受講者による発表2回目	・勅撰和歌集にまつわる逸話 ・担当者による発表
6	歌合に関する講義1および受講者による発表3回目	・歌合とは何か ・担当者による発表
7	歌合に関する講義2および受講者による発表4回目	・歌合に賭けた歌人たち ・担当者による発表

8	歌道に関する講義および受講者による発表5回目	・歌道とは何か一和歌の変化 ・担当者による発表
9	百人一首の中世写本に関する講義および受講者による発表6回目	・中世における百人一首 ・担当者による発表
10	百人一首の近世写本に関する講義および受講者による発表7回目	・手で書き写された百人一首: 近世の写本 ・担当者による発表
11	百人一首版本に関する講義1および受講者による発表8回目	・印刷された百人一首 ・担当者による発表
12	百人一首版本に関する講義2および受講者による発表9回目	・浮世絵と百人一首 ・担当者による発表
13	百人一首版本に関する講義3および受講者による発表10	・百人一首とかるた ・担当者による発表
14	テキスト『錦百人一首あづま織』のまとめ	教員による全体の解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

履修者にはこちらから発表分担となる和歌を指定します。受講生は各自が分担する和歌の翻字と読解・解釈を指定日までに提出してください。分担以外の和歌については、それぞれ読解しておいてください。各自の読解に基づいて発表内容に対する意見交換をします。くずし字の読解に必要な資料(配布プリント)は毎回持参し、授業前には一読しておくこと。テキストのくずし字読解として2時間、授業で扱った和歌の字母確認・復習に2時間を毎回必要とします。

【テキスト(教科書)】

『錦百人一首あづま織』(国立国会図書館所蔵) <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227>

【参考書】

くずし字を読むための参考文献は以下の2冊ですが、読解用のプリントは教材にアップロードします。文学と社会LC既習者は同じプリントになります。

- ・笠間影印叢刊行会『字典かな』笠間書院
- ・松尾聡編『変体平仮名演習』笠間書院

【成績評価の方法と基準】

分担発表の内容30% 平常点(授業内での意見内容)40% 期末レポート30% として評価します。分担する和歌の翻字と読解・解釈の未提出、発表内容に関する意見交換がない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

「江戸時代の文字を翻字すること、内容を読み解くこと、どちらも読解きのように楽しかった」という感想が寄せられています。くずし字の読解は、昔の日本人たちと時空を越えたコミュニケーションをするようなもの。語学習得に似ているものの、ひと味異なる独特の達成感を味わって下さい。

【学生が準備すべき機器他】

授業における「AIくずし字認識アプリ」の使用を推奨しています。インストール可能な機器を使用してください。

【その他の重要事項】

関連部分があるので文学と社会LCを履修していることが望ましいものの、前向きな性格・柔軟な思考・気合などのどれかがあれば秋学期のみの履修も可能。

【Outline (in English)】

In this class, we read the original book of "Nishiki Hyakunin Isshu Azuma Ori" <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2533227> with ukiyo-e. Hyakunin Isshu has been loved by people, and recently it has gained recognition as a sport. We will read Hyakunin Isshu which was made in the Edo period, and learn about the interpretation of waka and the singer drawn. The main goal of this lesson is to read and interpret waka (the hirakana part and its character) written in cursive script. About the waka poems that each person is in charge of

1: Transliterate while checking the character

2: Interpret (meaning and technique),

We will consider and present from these two points, understand the formation of the text, and deepen our knowledge of waka.

Students will be assigned a waka poem to be shared by the instructor. Students are requested to submit the transliteration, reading comprehension, and interpretation of the waka poems that they share by the designated date. Please read each of the waka poems other than the division. We will exchange opinions on the content of the presentation based on each person's reading comprehension.

Bring the materials (distributed prints) necessary for reading the cursive script every time and read them before class. It takes 2 hours to read the text and 2 hours to check and review the waka characters used in the class.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (30%), in-class contribution (40%), and term-end examination (30%)

However, if there is no transliteration of the shared waka poem, unsubmitted reading comprehension / interpretation, and no exchange of opinions regarding the content of the presentation, it will not be evaluated.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L E

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中澤 忠之

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

小説を読むとき、私たちはどんなところを重視するでしょう。たとえば、泣けるかどうかとか、感情移入できるかどうか、とかいったところでしょうか。実際、これまで中学校や高校の現国の授業では、主人公の心情を素直に読み取るトレーニングを受けてきたはずですが。しかし、小説の書き方・読み方は一様ではありません。この講義は、小説の書き方・読み方には多様性があることを知り（夏目漱石とライトノベルを優劣関係ではなく多様性の一つとして捉えること）、それを身に付ける土台作りとなるでしょう。そのためにはまず、小説の成り立ちをおさらいすることからはじめます。そして文学史にしたがって、小説の書き方・読み方が変化し、新たな書き方・読み方の発見が文学史を豊かに形成してきたことを確認します。戦前の文学史がメインですが、最近の文学史にも積極的にふれます。マンガや映画、美術など、文学に隣接するジャンルにもしばしば言及したい。

【到達目標】

創作物を単に主観的に受容するのではなく、対象化して評価する技術と教養を身に付け、作品受容の許容範囲が広がることを目指します。文学に関心がある学生はもちろん、ポップカルチャーやサブカルチャーのジャンルに関心がある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

配布する資料をもとに講義するスタイルです。必要に応じてリアクションペーパーを書いてもらいます（3回程度）。授業中・授業後の質問やリアクションペーパーにおける有意義なコメントは授業内で紹介し、今後の授業に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第2回	現在の文学が置かれた状況	最近の文学事情を、他のジャンルとの関係から明らかにする。
第3回	文学作品の読み方	文学の仕組みを解説して、高校時代までの読み方を相対化する。
第4回	近代文学の誕生①	言文一致（いわゆる近代日本語）を中心に、近代文学が形になったプロセスを解説。 言文一致形成の全体像を確認する。
第5回	近代文学の誕生②	言文一致形成の初期（明治10から20年代）の状況を作品を参照しながら確認する。
第6回	近代文学の誕生③	言文一致形成の後期（明治30から40年代）の状況を作品を参照しながら確認する。

第7回	文学史第1期（明治20～40年の文学）	リアリズム（写実主義）は近代に確立した表現法だが、そのリアリズムが確立した時代の表現パターンを解説。
第8回	文学史第2期（大正時代の文学）	私小説がはやった時代の表現パターンを解説。文学における自己表現を問題にしたい。
第9回	文学史第3期（1920年代）①	社会が大衆化したモダニズムの時代の表現パターンを解説。
第10回	文学史第3期（1920年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第11回	文学史第4期（1930年代）①	文学表現が成熟した時代の表現パターンを解説。現代の表現とも関係させる。
第12回	文学史第4期（1930年代）②	具体的な文学作品を参照する。
第13回	現在の文学との接点	過去の文学を参照することで現代文学の読み書きにいかに応用できるのかを考察する。
第14回	まとめと試験	これまでの講義の総括。今後の現代文学の読み方についても触れる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

少しでも文学作品に触れてください。しかし闇雲に読むのではなく、ジャンルを意識しながら読むことをおすすめします。ジャンルが分からなければ、大きめの本屋に行って書棚がどういう配置になっているのか、どういう本が取まっているのかを確認してみるのもよいです。たとえば、映画をよく観る人はTSUTAYAの棚陳列がどういうジャンル区分に従っているのかよくわかってはいるはず。アイドルグループのファンは、素人目には同じように見える顔が、それぞれ個性を持ち、ジャンル分けできることを知っているはず。文学も同じです。

小説を全く読まない人は、まず『ノルウェイの森』（村上春樹）と『時をかける少女』（筒井康隆）と『涼宮ハルヒの憂鬱』（谷川流）の3冊を読み比べてみてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

随時プリントを配布します。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

最後の試験が評価の主要な対象となります。3回予定のリアクションペーパー（400字程度）も評価したい。評価の割合は最後の試験が70%、リアクションペーパーを30%とします。

【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるころではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。

【Outline (in English)】

【Course outline and Learning objectives】

This lecture aims to give techniques and cultures to read novels, using the work of modern Japanese literature.

How to write and read novels is not single. In this lecture, you can learn that diversity exists in how to write and read novels. Let's begin by reviewing the origins of the novel. And according to the history of literature, We confirm that the way of writing and reading the novel has changed.

【Learning activities outside of classroom】

Please try reading literary works for about 4 hours per week. I recommend reading while being aware of the genre. If you don't know the genre, check the shelves in the bookstore.

【Grading Criteria / Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

文学と社会 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：

中澤 忠之

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

普段何気なく読んでいる小説が、きわめて政治的で社会的なものであるということをお考えいただけるでしょうか。文学作品は、人畜無害な単なるフィクションではありません。ときに世の中の差別や偏見を生み出し助長するものであり、特定の個人や集団を傷つけるものでもあります。あるいはまた、社会秩序を乱すとして批判される過激な暴力や性表現も無視できないでしょう。もちろんその一方で、社会の差別や偏見と戦ってきた歴史も、文学にはあります。文学作品における、こういった政治的かつ社会的な側面を、本講義では取り上げます。素材は性表現と差別表現がメインです。

メディア環境が激変している昨今の事情に対応させて、取り上げる表現は文学のみならず、映画やマンガなど多岐にわたる予定です。現在進行形の話題も積極的に扱います。

【到達目標】

これまでなんとなくイメージしてきた表現の自由や表現の暴力性といった概念を、法規制や表現史を通して具体的に捉えられる教養の獲得を到達目標とします。文学に関心がある学生のみならず、法律等社会の制度設計に関心のある学生も歓迎します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

配布する資料をもとに講義するスタイルです。

必要に応じてリアクションペーパーを書いてもらいます（3回程度）。授業中・授業後の質問やリアクションペーパーにおける有意義なコメントは授業内で紹介し、今後の授業に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義の概要説明および導入。
第2回	文学が置かれた社会状況	表現規制の最近の動向を解説。
第3回	性表現・暴力表現と規制①	性・暴力表現とその規制の歴史を振り返る。
第4回	性表現・暴力表現と規制②	「わいせつ罪」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第5回	性表現・暴力表現と規制③	「青少年保護」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第6回	性表現・暴力表現と規制④	「児童ポルノ」を中心に、現代社会における性・暴力表現を考える。
第7回	性表現・暴力表現と規制⑤	ネット社会における性・暴力表現について解説する。
第8回	差別表現と規制①	差別表現とその規制の概要を解説する。
第9回	差別表現と規制②	差別の仕組みを知るために、具体的な作品を参照する。

第10回	差別表現と規制③	戦後の日本における差別の歴史を振り返る。
第11回	差別表現と規制④	差別には複数のパターンがあるので、それらを分節化して解説する。
第12回	差別表現と規制⑤	差別表現とその規制の現在。特にネット社会における差別表現（Metoo運動など）を考える。
第13回	差別表現と規制⑥	最近話題になる嫌韓・嫌中の「ヘイトスピーチ」について考察する。
第14回	まとめと試験	これまでの講義の総括。表現の自由とその規制の社会的バランスを考える。 また、補足として、著作権やプライバシーの問題から表現の社会性をも言及したい。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

まず何より活字や映像作品に触れてください。そして、表現規制の話は常時ニュースになるので、そのつど気にかけて、新聞やウェブでの議論に触れてほしい。たとえば、昨今話題になっている性表現なり差別表現に対する規制強化の動き、あるいはネット上で盛んに行われている著作物の無断コピーや二次創作等について考えてみるのもよいでしょう。

ここ数年は、美術家の性的な表現物がわいせつ罪に問われたり、また差別的なヘイトスピーチがメディアで盛んに取り扱われています。文学作品にとらわれず、こういった表現にかかわる社会的問題に注目してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

随時プリントを配布します。

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

最後の試験が評価の主要な対象となります。3回予定のリアクションペーパー（400字程度）も評価したい。評価の割合は最後の試験が70%、リアクションペーパーを30%とします。

【学生の意見等からの気づき】

基本的に口述と板書が多いので、「授業の概要を示すプリントがあればよい」という意見がありました。重要なポイントとなるところではプリントで示すことも考慮に入れようと思います。

映像を積極的に導入し、時事的な話題も取り入れました。

【Outline (in English)】

【Course outline】 【Learning objectives】

The novel has a very political and social part. Literary works are not mere fiction. They sometimes produce discrimination and prejudice of the world, and they also hurt certain individuals and groups. Or you can not ignore radical violence or sexual expression that is criticized as disturbing the social order.

On the other hand, literature also has a history of fighting social discrimination and prejudice. This lecture will cover these political and social aspects of literary works. Sexual expression and discrimination are the main material.

Our goal is to acquire a culture that allows us to understand topics such as freedom of expression and violence of expression through legal regulations and the history of expression.

【Learning activities outside of classroom】

Please spend about 4 hours per week reading literary works and watching video works. And since the topic of freedom of expression and expression regulation is always news, please contact the discussion in newspapers and the web.

【Grading Criteria /Policy】

The final report is the main subject of evaluation. I also want to evaluate the short reports (about 400 characters) for each session. The evaluation rate is 70% for the final report and 30% for short reports.

LIT200LA (文学/Literature 200)

日本文学と文化LG

2017年度以降入学者

サブタイトル：新海誠の文学世界

榎本 正樹

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

新海誠監督のアニメーション映画『君の名は。』（2016年）は、近年の日本映画空前の大ヒット作品として、多くの観客の支持と共感を得ました。国内観客動員数1,900万人を突破、興行収入250億円を超える大ヒットとなり、邦画興行収入歴代3位、アジア圏では7冠達成を記録し、日本のみならず世界各国の記録を塗り替えました。2019年には『天気の子』が、2022年には最新作『すずめの戸締まり』が封切られ、アニメーションという枠組みを越え、多くの観客に迎え入れられました。『すずめの戸締まり』が、ベルリン国際映画祭やゴールデン・グローブ賞など、海外の主要な映画祭にノミネートされた事実からも明らかのように、新海作品の評価は国際的なレベルに到っています。

「新海誠」というアニメーション監督の名前を、『君の名は。』で初めて知った人が多いかもしれませんが、新海監督のキャリアは2000年代初頭にまで遡ることができます。新海作品の根底にあるのは「言葉」に重きを置いた世界造形、言い換えれば「文学」への強い視線です。人と人との繊細なコミュニケーションを、精緻な言葉と独自の映像美学によって表現する創作態度は、「アニメーション」という表現様式を用いた文学」と形容可能なものです。アニメーションというジャンルの枠を越えて、同時代の重要な表現者の一人として新海誠という存在をとらえ直す必要があります。

新海誠は「アニメーション監督」であるとともに「小説家」でもあります。新海は自身の手で代表作のノベライズ（小説化）を手がけていますが、それらは単に映像作品を言葉の表現に置き換えたものではなく、小説作品として自立しています。同一の作者の手による映画と小説を比較検討することで、映像と小説の表現レベルの違いを検証することが可能になります。

本講義では、新海誠の初期作品から最新作まで入手可能な映像作品を参観しつつ、「新海誠の文学世界」を紐解いていきます。国民的アニメーション作家としての地位を築きつつある、同時代の先端的な表現者である新海誠の主要作品を「網羅的に」観賞し、かつ「分析的」に解説する経験を通して、作品批評の技術を獲得します。

【到達目標】

映像作品であるアニメーションをシーンやカットごとに解説する技術を身につけ、アニメ固有の表現方法やギミックや物語構造などについて、自分の力で読み解き、論述できる段階を目指します。関連資料を参照し、他者の意見や論考に目を通し、(時間的に可能であれば)作品のモデルとなった場所に実際に訪れてみることで、作品の背景にある文化的、社会的、民俗的、歴史的、地理的背景について深く学び、作品を客観的に論じる力を得ます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はプレゼンテーション（資料提示）と講義を併せた形で行います。新海誠監督作品を初期から最新作まで観賞しながら（時間的な制約から一部となります）、解説と分析を加えていきます。アニメーションで重要なのは、シーンを構成する一つひとつの短いカットです。カットは継起的な物語を構成する最小の「部品」ですが、同時にクリエイターの「世界そのものへの純粋な視線」が投影されています。

もう一点、重要なのは、新海作品において言葉（ナレーション、モノローグ【独白】、ダイアローグ【対話】）の果たす意味です。本授業では特に言葉の要素に注目し、物語の中で作用しあう言葉が、どのようにコミュニケーションの主題を開示していくのか細かく見ていきます。

さらに新海監督自身の言葉、関連資料の紹介や他の論者の考察など、作品をめぐる多様な言説を紹介する機会も設けます。

授業内容に関する質問は、学習支援システムの授業内掲示板またはDMで受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	新海誠、その人と作品について
2	『遠い世界』『彼女と彼女の猫』	最初期作品を再検討する
3	『ほしのこえ』	物理的な「距離」と精神的な「距離」
4	『雲のむこう、約束の場所』	装置としてのSF
5	『秒速5センチメートル』	「風景」と「速度」をめぐる物語ル
6	『星を追う子ども』前	「物語」への接近
7	『星を追う子ども』後	「異界」への移動と帰還
8	『言の葉の庭』	映像美学を支える文学性
9	『君の名は。』前半	「入れ替わり」と「すれ違い」の趣向
10	『君の名は。』後半	「共苦」する魂のゆくえ
11	『天気の子』前半	「規範」を逸脱するということ
12	『天気の子』後半	人身御供譚としての読み解き
13	『すずめの戸締まり』前半	「移動」と「出会い」の物語
14	『すずめの戸締まり』後半	震災アニメとしての意味と意義

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

アニメーションを観たり小説を読む際に、受動的に観賞するのではなく、自分の頭で積極的に考え、客観的に書いたり話したりする習慣をつけましょう。授業で取りあげる映像作品や小説を観たり読んだりする中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

機会があれば、作品のモデルとなった場所を訪ねてみる「聖地巡礼」に挑戦してみてください。なぜその場所が選ばれたのか、その場所がシーンの中でどのような意味を与えられているのか、体験的に学習してください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

榎本正樹『新海誠の世界 時空を超えて響きあう魂のゆくえ』（KADOKAWA、2021年）

*電子書籍もあります。

【参考書】

授業で扱う新海誠のノベライズ作品は参考書とします。必要に応じて、個人で入手してください。『小説 秒速5センチメートル』『小説 言の葉の庭』『小説 君の名は。』『小説 天気の子』『小説 すずめの戸締まり』とも（以下リンク参照）、角川文庫で入手可能です（電子書籍版もあります）。

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000146/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321510000145/>

<http://www.kadokawa.co.jp/product/321603000121/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/321903000333/>

<https://www.kadokawa.co.jp/product/322203001170/>

*その他の参考書・参考文献や参考サイトは別途指示します。

【成績評価の方法と基準】

レポートで評価します（100％）。

試験や小テストはありません。

レポートのテーマは、「授業で取りあげた新海監督作品の中から、一作品または複数の作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ作品について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で論を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを中心に採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

これまで新海作品に触れる機会がなかった学生にも、理解しやすい授業を心がけます。

可能な限り映像作品を観る機会を増やします。

【その他の重要事項】

アニメーションや現代日本文学、同時代の表現に関心をもつ学生の履修を歓迎します。

履本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。X (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

Shinkai Makoto is Japanese animation director. His animation film is highly acclaimed not only in Japan but also overseas. In 2019, "Weathering With You" was released. Latest work "Suzume no Tojimari" was released in 2022. I decode Shinkai's all animation works from various viewpoints.

【Learning Objectives】

The goal of this course is for students to acquire the skills to analytically decipher Makoto Shinkai animations as a visual works, scene by scene, and to be able to discuss in their own words the unique expression methods and narrative structure of animation.

【Learning activities outside of classroom】

When watching animations or reading novels, develop the habit of objectively writing and talking about the details of the story in your own words, rather than just passively watching the film or reading the novel. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one or more of Shinkai's works discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop your own argument in your own words about the work you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

日本文学と文化LH

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代日本文学と映像表現

榎本 正樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代日本文学を原作として映画化された作品の一部を解説を加えながら観賞し、原作小説を講読していきます。2023年に劇場公開された以下の11作品から6～7作品を選んで取りあげます。

小説（文学表現）と映画（映像表現）を比較対照し、分析を行うことで、言葉と映像それぞれのメディア固有の表現方法について考えを深めるとともに、「文学固有の表現とは何か？」という視点から小説を深く読む力の獲得を目指します。

*

池井戸潤『シャイロックの子供たち』（本木克英監督）
朝井リョウ『少女は卒業しない』（中川駿監督）
葉真中顯『ロスト・ケア』（前田哲監督）
大前栗生『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』（金子由里奈監督）
門井慶喜『銀河鉄道の父』（成島出監督）
浅田次郎『大名倒産』（前々哲監督）
川上未映子『アイスクリーム熱』（短編集『愛の夢とか』所収）映画タイトル『アイスクリームフィーバー』（千原徹也監督）
岩井俊二『キリエのうた』（同監督）
朝井リョウ『正欲』（岸善幸監督）
黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』（八嶽新之介監督）
*作品の配列は劇場公開順です。

【到達目標】

現代日本文学を代表する多様なジャンル（純文学、エンターテインメント、社会小説、ミステリ、時代小説、児童文学）の小説を読む経験を重ねることで、複雑な言語構成体としてのテキストから様々な要素を抽出し、整理し、分析し、自分の言葉で批評的なアウトプットができるようになります。

加えて、個人、社会、性、生、死、ジェンダー、家族、事件、歴史などの諸問題について思考する力を養います。言語表現と映像表現を比較対照することで、メディア固有の表現やメディア間の相互接続性についても理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式をとります。原作小説を精読し、作品分析を行った後、映画の一部を解説を加えながら観賞します。映像メディアである映画と言語メディアである小説を比較検討することによって、情報提示、叙述、人物設定、構成など、表現上の相違点を明らかにしていきます。

履修者には、現代日本文学の多様な表現世界や作品固有の表現に触れ、作品について深く思考し、考えをまとめ、批評的な言葉でアウトプットする力が求められます。小説を事前に読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきます。

授業内容に関する質問は、学習支援システムの授業内掲示板またはDMで受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	ガイダンス授業
2	原作小説の講読(1)	小説の講読・分析・考察
3	映画観賞と解説(1)	原作の映画鑑賞と解説・考察
4	原作小説の講読(2)	小説の講読・分析・考察
5	映画観賞と解説(2)	原作の映画鑑賞と解説・考察
6	原作小説の講読(3)	小説の講読・分析・考察
7	映画観賞と解説(3)	原作の映画鑑賞と解説・考察
8	原作小説の講読(4)	小説の講読・分析・考察
9	映画観賞と解説(4)	原作の映画鑑賞と解説・考察
10	原作小説の講読(5)	小説の講読・分析・考察
11	映画観賞と解説(5)	原作の映画鑑賞と解説・考察
12	原作小説の講読(6)	小説の講読・分析・考察
13	映画観賞と解説(6)	原作の映画鑑賞と解説・考察
14	秋学期授業のまとめ	秋学期授業のまとめと、レポート提出について

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に原作小説を読んでいなくても理解できる形で授業を進めていきますが、物語内容や人物関係を把握したい人は、小説を読んで授業に臨んでください。授業で取りあげた小説や映像作品は、授業外に読み直し観賞し直し、作品の理解を深めるよう努めてください。

レポート提出のための事前準備として、対象作品を精読した上で、その中で得た「気づき」をメモにとったり、疑問点や重要なポイントと思われる箇所についてまとめる作業を随時行ってください。

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業で扱う予定の以下の文庫本。
・池井戸潤『シャイロックの子供たち』（文春文庫）
・朝井リョウ『少女は卒業しない』（集英社文庫）
・葉真中顯『ロスト・ケア』（光文社文庫）
・大前栗生『ぬいぐるみとしゃべる人はやさしい』（河出文庫）
・門井慶喜『銀河鉄道の父』（講談社文庫）
・浅田次郎『大名倒産』（文春文庫）
・川上未映子『アイスクリーム熱』（『愛の夢とか』講談社文庫）
・岩井俊二『キリエのうた』（文春文庫）
・朝井リョウ『正欲』（新潮文庫）
・黒柳徹子『窓ぎわのトットちゃん』（講談社文庫）

【参考書】

参考書・参考文献は、教室で指示します。
必要な資料はプリントで配付します。

【成績評価の方法と基準】

レポートのテーマは、「授業でとりあげた小説の中から一作品を選び、作品論を展開する」というものです。授業内容を踏まえ、自分が選んだ小説について、自分で設定したテーマに基づき、自分の言葉で「論」を展開してください。

分析の鋭さ、考察の深さ、文章の正確さ、構成の巧みさなどを見て採点します。詳細は、初回のガイダンス授業時に説明します。

【学生の意見等からの気づき】

現代日本文学になじみのない学生にも分かりやすい言葉で、解説と考察を行うよう心がけます。

【その他の重要事項】

現代日本文学のみならず、映像メディアに関心をもつ学生の履修を歓迎します。

榎本のプロフィールや研究・評論活動は、サイト (<http://enmt.jp>) で確認できます。X (@enmt) での情報発信も行っていますので、履修時の参考にしてください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

We read the original novel after having watched movie works that filmized as "Contemporary Japanese literature". I select from the following 6 or 7 works in 2023.

We compare movie expression with the literature expression including the same story contents, we are analyzing peculiar expressin words and movies.

【Learning Objectives】

We will read through the original novels after watching films based on contemporary Japanese literature. We plan to highlight the following 6 or 7 titles after carefully selecting from the works released in 2023.

By comparing and analyzing literary expressions and visual expressions of the same story events, we will deepen our thoughts about specific expressions and techniques of the book and film media. Our aim is to acquire the ability to read novels from the perspective of what is literature-specific expression.

【Learning activities outside of classroom】

Although the class will be conducted in a manner that can be understood without having read the original novel beforehand, it is best to read the novel in order to grasp the content of the story and the relationships between the characters. Students are encouraged to re-read and re-watch the novels and films discussed in class outside of class to deepen their understanding of the works. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Grade will be based on reports 100%.

There will be no examinations.

The theme of the report is "Select one of the novels discussed in class and wrapping up the report". Based on the content of the class, develop a "theory" in your own words about the novel you have chosen, based on the theme you have set for yourself.

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L G

2017年度以降入学者

サブタイトル：

小澤 央

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英文学をはじめとする世界文学の重要なテーマのひとつ、ユートピア（ディストピアを含む）と関連の深い有名な19世紀以前の文学作品を、政治的・文化的文脈に位置づけながら解釈する。人文主義、植民地主義、マルクス主義、ダーウィニズムといった、今日でも重要な意義を持つ諸問題との関係で分析する。ユートピアというテーマの持つ可能性や限界についても議論する。

ユートピア文学の知識や文学解釈の基本を身につけ、英文読解力を伸ばすことが目的である。

【到達目標】

- ・ユートピアというテーマとの関係で文学史を概観できる。
- ・作品と関連する政治的・文化的問題について基本的知識を習得する。
- ・辞書や和訳を参照しながらも、ユートピア文学の抜粋を原文で読める英語力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則的に講義形式で進める。映像資料も適宜取り入れる。リアクション・ペーパーなどを提出してもらい、授業の冒頭で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ユートピアとは何か、19世紀以前のユートピア文学史の概観
第2回	人文主義とユートピア	More, <i>Utopia</i> 前半
第3回	人文主義とユートピア	More, <i>Utopia</i> 後半
第4回	植民地主義と新世界(1)	Shakespeare, <i>The Tempest</i> 前半
第5回	植民地主義と新世界(2)	Shakespeare, <i>The Tempest</i> 後半
第6回	前半の講義のまとめ	総括と補足
第7回	ダーウィニズムと機械文明(1)	Butler, <i>Erewhon</i> 前半
第8回	ダーウィニズムと機械文明(2)	Butler, <i>Erewhon</i> 後半
第9回	マルクス主義とエコロジー(1)	Morris, <i>News from Nowhere</i> 前半
第10回	マルクス主義とエコロジー(2)	Morris, <i>News from Nowhere</i> 後半
第11回	世紀末とディストピア(1)	Wells, <i>The Island of Doctor Moreau</i> 前半
第12回	世紀末とディストピア(2)	Wells, <i>The Island of Doctor Moreau</i> 後半
第13回	後半の講義のまとめ	総括と補足
第14回	期末試験と今学期のまとめ	今後の研究についての示唆

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回予め指示された資料（レジюмеなど）を読むこと、リアクション・ペーパーなどを提出することが求められる。さらに、和訳でも構わないので、授業で扱う作品をできるだけ多く自身で読み通すことが望ましい。

予習・復習は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

授業のレジюме

【参考書】

- ・授業で扱う文学作品
- ・グレゴリー・クレイズ著、『ユートピアの歴史』、巽孝之監訳、小畑拓也訳、東洋書林、2013年
- ・川端香男里著、『ユートピアの幻想』、講談社学術文庫、1993年
- ・John Carey, ed., *The Faber Book of Utopias*, Faber and Faber, 1999.
- ・Gregory Claeys, ed., *The Cambridge Companion to Utopian Literature*, Cambridge UP, 2010.

【成績評価の方法と基準】

- ・リアクション・ペーパーなどの課題、授業に取り組む姿勢、議論への貢献度：30%
- ・期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していない。

【その他の重要事項】

コロナウイルスの感染状況によって授業形態を変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

In this course, students are expected to interpret utopian literature in relation to political and cultural contexts, such as humanism, colonialism, Marxism and Darwinism. The goals of this course are to survey the history of utopian literature, learn the basics of interpretation of literature and improve English reading comprehension. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. The final grade will be calculated according to the following process: performance in class activities (30%) and term-end examination (70%).

LIT200LA (文学 / Literature 200)

外国文学と文化 L H

2017年度以降入学者

サブタイトル：

小澤 央

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英文学をはじめとする世界文学の重要なテーマのひとつ、ユートピア (ディストピアを含む) と関連の深い有名な20世紀以降の文学作品を、政治的・文化的文脈に位置づけながら解釈する。官僚主義、全体主義、帝国主義、無政府主義、ポストヒューマニズムといった、今日でも重要な意義を持つ諸問題との関係で分析する。ユートピアというテーマの持つ可能性や限界についても議論する。

ユートピア文学の知識や文学解釈の基本を身につけ、英文読解力を伸ばすことが目的である。

【到達目標】

- ・ユートピアというテーマとの関係で文学史を概観できる。
- ・作品と関連する政治的・文化的問題について基本的知識を習得する。
- ・辞書や和訳を参照しながらも、ユートピア文学の抜粋を原文で読める英語力をつける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則的に講義形式で進める。映像資料も適宜取り入れる。リアクション・ペーパーなどを提出してもらい、授業の冒頭で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ユートピアとは何か、20世紀以降のユートピア文学史の概観
第2回	官僚主義と不条理(1)	Kafka, <i>The Trial</i> 前半
第3回	官僚主義と不条理(2)	Kafka, <i>The Trial</i> 後半
第4回	全体主義と民族主義(1)	Č apek, <i>War with the Newts</i> 前半
第5回	全体主義と民族主義(2)	Č apek, <i>War with the Newts</i> 後半
第6回	前半の講義のまとめ	総括と補足
第7回	帝国主義と無人島(1)	Golding, <i>Lord of the Flies</i> 前半
第8回	帝国主義と無人島(2)	Golding, <i>Lord of the Flies</i> 後半
第9回	無政府主義とクリティカル・ユートピア(1)	Le Guin, <i>The Dispossessed</i> 前半
第10回	無政府主義とクリティカル・ユートピア(2)	Le Guin, <i>The Dispossessed</i> 後半
第11回	ポストヒューマニズムとAI(1)	Ishiguro, <i>Klara and the Sun</i> 前半
第12回	ポストヒューマニズムとAI(2)	Ishiguro, <i>Klara and the Sun</i> 後半
第13回	後半の講義のまとめ	総括と補足
第14回	期末試験と今学期のまとめ	今後の研究についての示唆

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回予め指示された資料 (レジュメなど) を読むこと、リアクション・ペーパーなどを提出することが求められる。さらに、和訳でも構わないので、授業で扱う作品をできるだけ多く自身で読み通すことが望ましい。

予習・復習は各2時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

授業のレジュメ

【参考書】

- ・授業で扱う文学作品
- ・グレゴリー・クレイブ著、『ユートピアの歴史』、巽孝之監訳、小畑拓也訳、東洋書林、2013年
- ・川端香男里著、『ユートピアの幻想』、講談社学術文庫、1993年
- ・John Carey, ed., *The Faber Book of Utopias*, Faber and Faber, 1999.
- ・Gregory Claeys, ed., *The Cambridge Companion to Utopian Literature*, Cambridge UP, 2010.

【成績評価の方法と基準】

・リアクション・ペーパーなどの課題、授業に取り組む姿勢、議論への貢献度：30%

・期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していない。

【その他の重要事項】

コロナウイルスの感染状況によって授業形態を変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

In this course, students are expected to interpret utopian literature in relation to political and cultural contexts, such as bureaucratism, totalitarianism, imperialism, anarchism and posthumanism. The goals of this course are to survey the history of utopian literature, learn the basics of interpretation of literature and improve English reading comprehension. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. The final grade will be calculated according to the following process: performance in class activities (30%) and term-end examination (70%).

LIN200LA (言語学 / Linguistics 200)

音声学Ⅰ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

副島 健作

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

「言語」は、音声の形式という表現面と意味の形式という内容面が結びついた言語記号が単位であるようなシステムであり、このシステムの解明を対象とする学問分野は「言語学」と呼ばれています。この「言語」の表現面である「音声を使ったコミュニケーション」のあらゆる側面を研究するのが音の科学、すなわち「音声学」です。音そのものがある特定のイメージを喚起する現象を「音象徴」といいます。この授業では、音象徴という現象を題材に、「音声学」をできるだけ分かりやすく解説することを目指します。

【到達目標】

1. ヒトが音声を使って話すときに何が起きているか、個々の音（子音・母音）とその連続を発音するしくみを理解する。
2. 音がどのような音響振動として現れるか、障害音、共鳴音、圧力変化などの概念から理解する。
3. 音象徴の例を通して、母音や濁音の調音と音響を理解する。
4. 身近な音象徴の例を自ら発見し、分析する方法を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まず「言語学」は言語をどういふものとして見ているかを概説し、表現面の形式である「音韻」が実質である「音声」によって実現されているという発想に慣れ、「音象徴」と呼ばれる現象の分析に入ります。具体的には、音声がある振る舞いをする時に「なぜそのような振る舞いをするのか」を、音声学で必要になる概念や道具立てを使って分析・研究・理解していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入 1	言語とは
2	導入 2	音声とは
3	優しい音、ツンツンした音	どこでどのように発音するか
4	障害音、共鳴音、圧力変化	障害音、共鳴音の物理学的な定義
5	大きな音、小さい音	聞き取ってみる 調音してみる
6	母音の調音と音響	母音の発音の仕方と「大きさのイメージ」
7	濁音と向かい合う	聞き取ってみる 調音してみる
8	濁音の調音と音響	母音の発音の仕方と「大きい」イメージ
9	その他の音象徴	音象徴の具体例の「音声学」の概念による理解
10	音象徴研究の実際	音象徴研究の例

11	音象徴・音声学とその関連分野	より広い視点から音象徴・音声学を考える
12	気になる音象徴についての発表 1	受講生が自ら音象徴について調べたことを発表 1
13	気になる音象徴についての発表 2	受講生が自ら音象徴について調べたことを発表 2
14	最終試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

音声学はスポーツと同じです。できない発音があっても、訓練すればだれでもできるようになります。発音するしくみを理解し、再現できるように努めてください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

決まったテキストを使う予定はありません。

【参考書】

川原繁人(2017)『「あ」は「い」より大きい!?』ひつじ書房

川原繁人(2018)『ビジュアル発音が』三省堂

J.C. キャットフォード, 竹林滋 ほか(訳)(2006)『実践音声学入門』大修館書店

国際音声学会(編), 竹林滋・神山孝夫(訳)(2003)『国際音声記号ガイドブック-国際音声学会案内-』大修館書店

【成績評価の方法と基準】

課題：20%

平常点：20%

発表：20%

期末試験：40%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Language is a system of linguistic symbols that combines the expressive aspect of the form of speech with the content aspect of the form of meaning. The academic field that focuses on the clarification of this system is called "linguistics". The science of sound, or phonetics, studies all aspects of communication using speech, the expressive aspect of language.

The phenomenon in which sound itself evokes a certain image is called "sound symbolism". In this class, we aim to explain phonetics as clearly as possible using the phenomenon of sound symbolism as a subject.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do the followings:

1. To understand what happens when humans speak using speech sounds, and how individual sounds (consonants and vowels) and their sequences are pronounced.
2. To understand how sounds appear as acoustic vibrations, based on concepts such as inhibitory sounds, resonant sounds, and pressure changes.
3. To understand the articulation and acoustics of vowels and murmurs through examples of sound symbols.
4. To learn how to discover and analyze examples of familiar sound symbols.

【Learning activities outside of classroom】

Phonetics is just like sports. Even if you can't pronounce something, you can learn to do it with practice. Please try to understand the mechanism of pronunciation and try to reproduce it.

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria / Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%, Assignments : 30%, in class contribution: 20%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

哲学の基本的性格と歴史と基本問題を概観します。この概観によって、教養知の原理を理解し、現代人が直面する諸問題を、広くて新しい視野から考え、解決することとします。

特にこのIの講義は、人間とは何か、その本質に迫ろうとする哲学的人間論です。新技術の開発などによってこれまで考えられもしなかった人間の新しいあり方について選択と決断を迫られる現代においてこそ、人間らしさとは何か切実に問われます。なお、日本の哲学や20世紀以降の思想にも焦点を当てます。

【到達目標】

基本的性格と歴史と基本問題の探究を通して教養知の原理としての哲学を理解できるようにします。到達目標は、受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにすることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業内で、その回の内容について問うグーグルフォーム上の小テストを行う。小テストはその採点結果が模範解答付きで次の授業までに返され、さらに次の授業で解説される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学とは？
2	プラトン(1)	「イデアの萌芽」としての人間存在
3	プラトン(2)	『饗宴』 アリストファネスの話
4	プラトン(3)	『饗宴』 ソクラテスの話
5	西田幾多郎(1)	『善の研究』 - 『知即愛』 の命題
6	西田幾多郎(2)	「主客合一」としての人間存在
7	和辻哲郎(1)	『倫理学』 - 「間柄」としての人間存在
8	和辻哲郎(2)	「矛盾の統一」としての人間存在
9	和辻哲郎(3)	『風土』 - 「風土」のうちに己を見出す人間存在
10	和辻哲郎(4)	主体としての風土
11	ブーバー(1)	『我と汝』
12	ブーバー(2)	「汝」としての世界
13	ブーバー(3)	「本質行為」としての人間
14	まとめ	ふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で取り上げられ、その一部が教材プリントとして授業内でも配布される下記の文献は、すべて岩波文庫で入手できるので、学生は、授業計画に合わせてこれらの文献を読むことが推奨される。

プラトン『饗宴』、西田幾多郎『善の研究』、和辻哲郎『倫理学』(一)、和辻哲郎『風土』、マルティン・ブーバー『我と汝・対話』

本授業の準備・復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた個所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。

復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

グーグルフォーム上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

This lecture is a philosophical human theory trying to think about human nature. In modern times where we are forced to make choices and decisions about the new way of human beings that we have never considered before, such as through the development of new technologies, something is being deeply questioned about humanness. We will also focus on Japanese philosophy and ideas after the 20th century.

The purpose of this course is for students to have the experience of actually coming into the contact with the world of thoughts in famous works and to be able to express that experience.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the total score of confirmation tests given every class (100%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

大西 正人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代から現代に到る哲学の根本問題を、古代から現代の主要学説を手がかりにしながらかだけ平明に解説します。哲学が古い常識を批判し、新しい常識をクリエートすることであることをテーマとします。西洋哲学は、万物の根源を人間の理性の力で探り、そうして捉えられた全体としての世界の中に自分を位置づけたいという人間的欲求とともに始まりました。講義では、こうした「形而上学的」な欲求が、世界を全体として非常に生き生きとした自己形成的なものとする自己形成的世界観として、現代にいたるまでの様々な知的探求の背景になっている様子を見ます。

【到達目標】

主要な哲学説の根本問題を学習することを通して常識批判としての哲学を理解することを到達目標とします。受講生が実際に名著の思想世界に触れてみる体験をし、またその体験を表現できるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式により進めます。一人の思想家ごとに、その作品を二三週間に分けて集中的に読みます。毎週授業内で、その回の内容について問うグループワーク上の小テストを行う。小テストはその採点結果が模範解答付きで次の授業までに返され、さらに次の授業で解説される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	哲学への導入
2	今西錦司	生命的自然観－自己形成的存在論の前哨として
3	その2	今西錦司『生物の世界』を読む
4	アリストテレス	自己形成的存在論としての形而上学
5	その2	アリストテレス『形而上学』を読む
6	自己形成的存在論の展開としての近代哲学	近代化の原理としての主観客観二元論
7	デカルトの近代的世界観	近代的客観二元論とは？
8	デカルト(2)	『省察』を読む
9	デカルト(3)	デカルトの機械論的自然観-「近代的分裂」の予告としての近代的客観二元論
10	「近代的分裂」の予告としての近代的客観二元論	近代哲学の分裂－合理論と経験論
11	カントとヘーゲル	カントによる近代哲学の分裂克服の試み

- 12 カントとヘーゲル(2) カントのアンチノミー論
- 13 カントとヘーゲル(3) ヘーゲルの弁証法的世界観
- 14 カントとヘーゲル(4) ヘーゲルの弁証法的世界観その2

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義で扱われる下記の文献などは事前に読むことが推奨される。今西錦司『生物の世界』、アリストテレス『形而上学』、デカルト『省察』復習として、返却された前回の小テストの模範解答をチェックし、間違えた箇所があればその点を中心にノートやプリントを振り返り、特に疑問などは次の時間に質問できるようにしておくこと。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

こちらでプリントを用意します。

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

原則、授業後に行われる上記小テストの合計点100%で評価。

【学生の意見等からの気づき】

毎回行っている前回小テストの解説を工夫し、これまでの復習や定着がより効率的にできるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

グループワーク上の小テストを受けるためのデバイス。PCが望ましい。

【その他の重要事項】

ノートをとることが大切です。

【Outline (in English)】

Western philosophy began with human desire to explore the root of all things with the power of human reason and to position himself in the whole world captured as such. In the lecture, we see how these metaphysical needs are behind various intellectual explorations up to the present age, becoming a self-organizing-world-view that the world as a whole is very vivid and self-organizing.

The purpose of this course is for students to have the experience of actually coming into the contact with the world of thoughts in famous works and to be able to express that experience.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading will be decided based on the total score of confirmation tests given every class(100%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル:

白根 裕里枝

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

哲学というと難しいという印象があるかもしれないが、何も特別のことではない。私たちは生きてゆく上で、常に様々な行為を選んで、様々な幸せを目指しているが、善く生きて幸福になるためには、よりよく、正しく考えること、つまり哲学が必要なのである。人間の尊厳は考えるということにある。誰もが、正しく考えるために、哲学を学ぶことが必要なのである。哲学はあらゆる学問の基礎である。学生は、何を学ぶにしても、哲学がその根本に関わることを知るだろう。さらには他の学問、とりわけ、今日、絶大な信頼を持ってその地位の確立されている近代科学のあり方を振り返ることで、哲学の重要性も再確認できるだろう。その上で、哲学を学ぶことで、私たちが幸せによく生きるためにはどうしたらよいかを考えてみたい。哲学とは、本来、学ぶものではなく、自分で考えるものなのだから。

【到達目標】

この授業では西洋の哲学の基礎を学ぶ。哲学は古代ギリシアに誕生した。どのような考えのもとで、哲学が生まれたのか、その後、どのような変遷を辿ったのか、そもそも哲学が問題としたことは何であるのか、古代ギリシアの源流から探りたい。

哲学 (I) では、哲学の源である古代ギリシア哲学に遡って、哲学とは何か、その根本的な特徴を捉えた上で、哲学はその他の学問や科学とはどう異なるのか、また、なぜ哲学が必要とされるのかなどを探ってみたい。学生は、まずはオーソドックスな哲学の基礎を学ぶことで、哲学のそもそもの誕生の現場を知ることができる。それは学問の誕生の場でもあるから、すべての学問を学ぶ上での基本的な見取り図を手に入れることができるだろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

今年度、この講義は、対面授業とオンライン授業を隔週で交互に行う予定です。どちらの場合も授業は基本的にプリントを用いた講義形式である。哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、オーソドックスな哲学の考え方をわかりやすく講義してゆく。補助資料によって著名な哲学者たちの言葉に直接に触れることで、理解を深めてゆきたい。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。オンラインの回は課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。課題やコメントへのフィードバックは、対面授業の初めに行う予定。

なお、教室収容定員を超過した場合は抽選を行います。人数確認のために、履修を予定している人は第一回目までに (仮) 登録をするようにしてください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	序論	足の裏に影はあるか?
2	哲学とは何か (序)	No.1, 「哲学」という語の由来
3	ギリシアにおける「哲学」の誕生1	No.2, 「哲学」という語の用例1
4	ギリシアにおける「哲学」の誕生2	No.2-2, 「哲学」という語の用例2
5	哲学の出発点1	No.3, 無知の自覚と愛知

6	哲学の出発点2	No.4, ソクラテスの死と哲学 (歴史的背景)
7	哲学の出発点3	No.5, 『ソクラテスの弁明』を読む
8	哲学の究極	補) 愛についての考察・イデア論とプラトニックラブ
9	その他の出発点1	No.6, その他の出発点1、驚き (アリストテレス)
10	その他の出発点2	No.7, その他の出発点2、懐疑、絶望… (デカルト~ヤスパーズ)
11	哲学とは何か・まとめ1	No.8, 愛の3つの対象と知への愛1
12	哲学とは何か・まとめ2	No.9, 愛の3つの対象と知への愛2
13	授業内論述試験	授業内論述試験 (学期末レポート提出)
14	まとめと解説	授業のまとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で取り上げた著作を、実際に手に取って読んでみることを。本授業の準備・復習時間、並びに毎回の課題の提出準備は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

受講者は、下記を必ず読むこと。

『哲学のすすめ』 岩崎武雄、講談社現代新書、1966年、¥ 814

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』 内山 勝利、中川 純男、ミネルヴァ書房

『哲学の歴史』 1~5、中央公論新社

『はじめて学ぶ哲学』 渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点 (40%) と、学期末試験 (レポート) (60%) によって評価する。学期末のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

★ AI については、AI を用いた記述はもちろんのこと、AI を自分の文章の添削に用いることも、疑わしい場合を含めて一切認めないので、AI を利用しないように注意すること。毎回、自分の言葉で書くこと。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさをじっくり伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインの場合は、「学習支援」を通じて、資料の配布や課題の提出などを行うので、できるだけパソコンで「学習支援」を見たり、課題を提出したりできることが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to sciences.

At the end of the course, students are expected to understand much better what philosophy is through the knowledge about the origins of Western philosophy.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report: 60%, Short reports: 40% and in-class contribution.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

哲学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

白根 裕里枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

哲学(Ⅱ)では、「Ⅲ.哲学と宗教」、「Ⅳ.哲学と幸福」について考察する。宗教という嫌いだとか怖いと思う人もいるかも知れないが、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教はどれも同じ神を信じながら、今日、様々な問題を引き起こしているのも事実である。まずは、その思想と歴史的事実をよりよく知ることが重要である。宗教の成立過程を見ることで、宗教の思索の持つ素晴らしい面や意義を知ることができ、また逆に、その問題点や危険性を知ることでもできるだろう。哲学の観点から、今日における宗教の問題を考え、哲学の意義を再考してみたい。

他方で、哲学は人間の真の幸福を探求する。幸福、つまり、善き生とは何か。われわれは誰もが幸福になりたいと願っているが、たとえば、科学だけで、あるいは、宗教によって、幸福になれるのだろうか？ 幸福になるには何よりも哲学が必要である。幸福になるための条件とは何であり、そもそも幸福とは何なのだろうか。哲学の観点から幸福について考えてみたい。

【到達目標】

西洋の文化や思想、芸術に大きな影響を与えてきたキリスト教だが、その教義の形成にはギリシア哲学が大きな影響を与えてきた。学生は、哲学との対比を通して、キリスト教やその他の宗教について、付かず離れずに見る視点を確保することができるだろう。偉大な宗教は、人間の弱さ、悔みさやとことん見つめようとする。哲学は、人間の知の可能性を可能な限り追求する。「信じる」と「知る」との緊張関係において、哲学と宗教の接点を考えてみたい。

また、幸福とは何か？ どうしたらわれわれは幸福な生を送ることができるのか？ 古代ギリシア・ローマの幸福論をみることで、私たちの幸福について考え直してみたい。幸福になるには、よく知ることがいかに大事か、真の幸福の鍵が哲学にあることが理解されるだろう。愚かさこそが、私たちの不幸の原因なのだから。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

今年度、この講義は、対面授業とオンライン授業を隔週で交互に行う予定です。どちらの場合も授業は基本的にプリントを用いた講義形式で進める。まずは、哲学と宗教の根本的相違点である知と信の問題に触れる。その上で、ユダヤ教、キリスト教、ギリシア哲学者たちの神観などについて、補助プリントなども用いて概要を把握した上で、哲学と宗教との関わりについて考えたい。また、哲学者たちの生き方をめぐるエピソードなども交えながら、幸福をめぐる哲学を考えてゆく。できるだけ、わかりやすい授業を目指す。

オンラインの回は課題の提出を重視する。課題のコメントの提出によって、自分の考えを確認する機会にもなるだろう。課題やコメントへのフィードバックは、対面授業の初めに行う予定です。なるべく哲学Ⅰから取るようにして下さい。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	序・哲学とは何か?復習	哲学と科学と宗教の関係
2	哲学と宗教の相違点	知の立場と信の立場
3	ユダヤ人とユダヤ教	旧約聖書とメソボタミア
4	キリスト教とは	キリスト教—愛の宗教
5	ギリシア哲学とキリスト教	知と信の葛藤
6	現代における宗教の存在理由	人間知性の偉大さとその限界
7	宗教心の源泉	パスカルとアウグスティヌス・自由意志と悪の問題
8	哲学と宗教	自力と他力—人間の強さと弱さについて
9	哲学と幸福 (善き生) 1	幸福論—哲学とよき生について
10	哲学と幸福 (善き生) 2	意志の弱さと選択の問題・ソクラテスのアクラシア—否定論
11	哲学と幸福 (善き生) 3	正義と幸福—ソクラテスの場合
12	哲学と幸福 (善き生) 4	独裁者の幸・不幸、カリクレス説

13 授業内論述試験 授業内論述試験 (学期末レポート提出)

14 まとめと解説 ソクラテスの後継者たち

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で触れて、興味を持った哲学者の著作を、自分で手に取って読んでみて下さい。本授業の準備・復習時間、並びに毎回の課題の提出準備は、各々2時間程度を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『講義は、下記を必ず読むこと。』

『哲学のすすめ』岩崎武雄、講談社現代新書、1966年、¥814

【参考書】

『西洋哲学史 古代・中世編—フィロソフィアの源流と伝統』

内山 勝利、中川 純男著、ミネルヴァ書房

『哲学の歴史』1～5、中央公論新社

『はじめて学ぶ哲学』渡辺二郎、ちくま学芸文庫

【成績評価の方法と基準】

毎回の課題の提出などの平常点 (40%) と、学期末試験 (レポート) (60%) によって評価する。毎回の課題を提出済みであること。学期末試験のレポートは、授業で扱った内容について自分の考えを書くという論述形式である。

★AIについては、AIを用いた記述はもちろんのこと、AIを自分の文章の添削に用いることも、疑わしい場合を含めて一切認めないので、AIを利用しないように注意すること。毎回、自分の言葉で書くこと。

【学生の意見等からの気づき】

難しそうという印象の哲学だったが、授業は分かりやすく、じっくり楽しく哲学を学ぶことができたということなので、引き続き、哲学の面白さ、素晴らしさを伝えてゆきたい。生きて行く上で、哲学をますます身近なものとしてもらいたい。対面授業の場合、授業中の私語には厳しく対処し、板書の写メ、スマホも禁止してゆく。オンラインの場合、酷似したレポートはどちらも減点の対象とする。

【学生が準備すべき機器他】

オンラインの場合は、「学習支援」を通じて、資料の配布や課題の提出などを行うので、できるだけパソコンで「学習支援」を見たり、課題を提出したりできることが望ましい。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students understand how important philosophy is, by studying the philosophical thoughts in ancient Greece and their relation to religion. And also this course introduces the philosophical theory of eudaemonics (happiness) to students taking this course.

At the end of the course students will be able to understand the difference between philosophy and religion and find in what point the clear distinction should be made between them. Students, what is more important, will be able to find the key to understanding of happiness.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end report: 60%, Short reports: 40% and in-class contribution.

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル: ビジネスと倫理

上田 瑞季

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火4/Tue.4

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、応用倫理学の一分野であるビジネス倫理学 (business ethics) を学ぶ。そのことを通じて、各学生が、人生において重大なモラル・ジレンマ、倫理的ジレンマに対峙した際に、いかに対応すべきかを検討できるようになることを目指す。

【到達目標】

- (1) ビジネスと倫理 (学) の関係を自分なりに説明できる
- (2) 同一の物事・事柄に対して、多角的に把握かつ思考することができる
- (3) 功利主義・義務論・徳倫理学のそれぞれの理論的立場から事例を説明できる
- (4) ビジネスパーソンとしての良識・思考力・判断力を養う

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- 授業形態: 対面・講義形式
- 授業の進め方: 講義+小課題 (+ディスカッション)
- フィードバック: 授業冒頭で、前回提出された小課題からいくつか取り上げる予定。
- 授業の課題: 原則として、毎回課す予定。授業で取り上げた問題に対して、小課題を提出してもらおう。思考を促し、自らの考えを言語化する能力の向上を目的とする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本授業の概要・狙い・進め方などを確認する
第2回	倫理学とは何か	倫理学の重要性、モラル・ジレンマについて考える
第3回	ビジネス倫理学の成立	ビジネス倫理学が学問として確立した背景を学ぶ
第4回	事例①: ブラックバイト・グレーバイト・闇バイト	ブラックバイト・グレーバイト・闇バイトのもつ倫理的問題について考える
第5回	事例②: 消費者主権	消費者のモラル、クレーム問題について考える
第6回	理論①: 功利主義	功利主義の概要と、その問題点を理解する
第7回	理論②: 義務論	義務論の概要と、その問題点を理解する
第8回	理論③: 徳倫理学	徳倫理学の概要と、その問題点を理解する
第9回	理論の振り返り	これまで学んだ理論の同一性と差異性について考える
第10回	応用①: 職場のプライバシー	これまで学んだ理論を用いて、職場のプライバシー問題について考える

第11回	応用②: 長時間労働と過労死・過労自殺	これまで学んだ理論を用いて、長時間労働の問題について考える
第12回	応用③: 内部告発・公益通報	これまで学んだ理論を用いて、内部告発の問題について考える
第13回	応用④: マーケティング・広告	これまで学んだ理論を用いて、マーケティングや広告における嘘・虚偽・騙しなどの問題について考える
第14回	まとめ・試験	これまでの授業を振り返り、理解を深める (授業内試験を予定)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、授業の復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特になし

【参考書】

ジョセフ・R. デジャルダン『ビジネス倫理学入門』(文京学院大学グローバル・カリキュラム研究会訳、文京学院大学総合研究所、2014年。
梅津光弘『ビジネスの倫理学』、丸善出版、2002年。
高浦康有・藤野真也(編)『理論とケースで学ぶ企業倫理入門』、白桃書房、2022年。
中谷常二(編)『ビジネス倫理学読本』、晃洋書房、2012年。
トム・L. ビーチャム&ノーマン・E. ボウイ(編)『企業倫理学』、晃洋書房、第1巻(2004年)～第4巻(2017年)。
佐藤方宣(編)『ビジネス倫理の論じ方』、ナカニシヤ出版、2009年。
田中朋弘・柘植尚則(編)『ビジネス倫理学 哲学的アプローチ』ナカニシヤ出版、2004年 など

【成績評価の方法と基準】

小課題などの平常点 (20%) + 中間レポート (40%) + 期末試験またはレポート (40%)。
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標60%以上に達した場合を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

授業コードを使って、事前に学習支援システムに登録すること。

【その他の重要事項】

倫理学L IIもあわせて受講するのが望ましいです。
学生の要望や状況により、シラバスの内容が一部前後したり変更したりする場合があります。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on business ethics, a branch of applied ethics, and learn the basic concepts of ethics. The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics, and to be able to consider how to respond when you face with a serious moral dilemma (ethical paradox or moral dilemma) in life.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：ビジネスと倫理

上田 瑞季

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、応用倫理学の一分野であるビジネス倫理学 (business ethics) を学ぶ。そのことを通じて、各学生が、人生において重大なモラル・ジレンマ、倫理的ジレンマに対峙した際に、いかに対応すべきかを検討できるようになることを目指す。

【到達目標】

- (1) ビジネスと倫理 (学) の関係を自分なりに説明することができる
- (2) 同一の物事・事柄に対して、多角的に把握かつ思考することができる
- (3) 功利主義・正義論・ケアの倫理のそれぞれの理論的立場から事例を説明できる
- (4) ビジネスパーソンとしての良識・思考力・判断力を涵養する
- (5) 自らが担い得る「責任」について哲学・倫理的に考えることができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 授業形態：対面・講義形式
- 授業の進め方：講義+小課題 (+ディスカッション)
- フィードバック：授業冒頭で、前回提出された小課題からいくつか取り上げる予定。
- 授業の課題：原則として、毎回課す予定。授業で取り上げた問題に対して、小課題を提出してもらう。思考を促し、自らの考えを言語化する能力の向上を目的とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本授業の概要・狙い・ビジネス倫理学とは何かを確認する
第2回	功利主義・義務論・徳倫理学	功利主義・義務論・徳倫理学の概要を復習する
第3回	理論①：正義論	正義論の概要と、その課題を理解する
第4回	理論②：ケアの倫理	ケアの倫理の概要と、その課題を理解する
第5回	理論③：行動倫理学	行動倫理学の概要と、その課題を理解する
第6回	理論の振り返り	これまで学んだ理論を振り返る
第7回	個人①：ブルシット・ジョブ	ブルシット・ジョブとは何かを学ぶ
第8回	個人②：働くことの意味	働くことの意味、働くとは何かについて考える
第9回	個人③：道徳的行為性と責任	哲学・倫理学における「道徳的行為者性」と「責任」の問題について学ぶ
第10回	企業①：企業の道徳的行為者性	企業に道徳的行為者性はあるのかを考える

第11回	企業②：企業の社会的責任 (CSR)	企業はいかなる社会的責任を担い得るかを考える
第12回	企業③：企業の環境責任	企業は環境に対してどこまで責任を負っているのかを考える
第13回	私たちの責任は一体どこまで及ぶのか	未来倫理・世代間倫理について考える
第14回	まとめ・試験	これまでの授業を振り返り、理解を深める (授業内試験を予定)

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回、授業の復習をすること。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

ジョセフ・R. デジャルダン『ビジネス倫理学入門』（文京学院大学グローバル・カリキュラム研究会訳）、文京学院大学総合研究所、2014年。
梅津光弘『ビジネスの倫理学』、丸善出版、2002年。
高浦康有・藤野真也（編）『理論とケースで学ぶ企業倫理入門』、白桃書房、2022年。
中谷常二（編）『ビジネス倫理学読本』、晃洋書房、2012年。
トム・L. ビーチャム&ノーマン・E. ボウイ（編）『企業倫理学』、晃洋書房、第1巻（2004年）～第4巻（2017年）。
佐藤方宣（編）『ビジネス倫理の論じ方』、ナカニシヤ出版、2009年。
田中朋弘・柘植尚則（編）『ビジネス倫理学 哲学的アプローチ』、ナカニシヤ出版、2004年。

【成績評価の方法と基準】

小課題などの平常点 (20%) + 中間レポート (40%) + 期末試験またはレポート (40%)。
この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標60%以上に達した場合を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

授業コードを使って、事前に学習支援システムに登録すること。

【その他の重要事項】

倫理学ⅡIもあわせて受講するのが望ましいです。
学生の要望や状況により、シラバスの内容が一部前後したり変更したりする場合があります。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on business ethics, a branch of applied ethics, and learn the basic concepts of ethics. The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics, and to be able to consider how to respond when you face with a serious ethical dilemma (ethical paradox or moral dilemma) in life.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の生命誕生に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自ら思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

大学の行動方針レベルが1の場合は、オンライン授業と対面授業を併用する。レベルが2となった場合は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	倫理学の基本概念	倫理学とはどのようなことを研究対象とする学問なのか、倫理学全般に関して説明する。
第2回	規範倫理学・記述倫理学・メタ倫理学	倫理学の3つのレベルについて、その概要を説明する。
第3回	バイオエシックスの誕生	1970年代に米国においてバイオエシックスが誕生した背景を解説する。
第4回	バイオエシックスの諸問題	バイオエシックスにおいて取り扱われるテーマを解説する。
第5回	倫理的価値としての生命	生命や健康は価値あるものとされているが、それはいかなる理由からかを考える。
第6回	生命の誕生と人工妊娠中絶の問題	生殖に関する生命倫理問題を考察する。
第7回	人口抑制と環境問題	生殖に関する生命倫理問題と人口問題や環境問題との関係を考察する。
第8回	「自然」とは何か	倫理問題を考えるうえで「自然」という概念がいかなる意味を持つのかを解説する。
第9回	優生思想	優秀な子孫を残し劣った子孫の出生を防止するという「優生思想」に関する問題を解説する。

第10回	社会ダーウィニズムと人種主義	優生思想と社会ダーウィニズムとの関係を解説し、ナチズムにおける位置づけを考察する。
第11回	人工授精と体外受精	具体的な生殖医療における生命倫理問題を概観する。
第12回	ウォーノック報告と自由主義	英国のウォーノック報告の基本的考え方を解説し、生命倫理学における自由主義について考察する。
第13回	凍結保存の倫理的意味	配偶子や受精卵の凍結保存の持つ意味とそれによってもたらされる倫理的問題を考察する。
第14回	まとめ ※別途期末レポートを提出	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。またプリントやノートをを用いて授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門 [第4版]』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70％） 期末レポート（30％）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning the birth of people and learn the basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:70,Term-end examination:30.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 英明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義では、おもに人の死に関わる生命倫理問題に目を向けながら、倫理学の基本的な概念を学ぶ。

【到達目標】

いま何が問われ、それに対してどのような倫理学上の立場が存在するのかを学ぶことを通して、倫理学の基本的な知識を身につけるとともに、具体的な生命倫理問題を通じて自らの思索を深めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を中心に進めるが、授業中にとりあげた問題に対して受講者自身の意見を求めることもある。原則として毎回リアクションペーパー（課題）の提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	倫理的観点から見た「人の死」	人の死とはどのようなことかをあらためて生命倫理学の視点から考察する。
第2回	脳死に関する倫理的諸問題	脳死とはどのような状態かを確認し、生命倫理学においてどのような問題を孕んでいるのかを概観する。
第3回	臓器移植と功利主義	臓器移植という医療が、功利主義的な考え方によってどのように正当化されるかを具体的に考察する。
第4回	功利主義の問題	功利主義とはどのような考え方を確認し、その問題点を明らかにする。
第5回	義務論と目的論	功利主義を義務論と対比し、義務論的な考え方について概観する。
第6回	幸福加算の可能性	「最大多数の最大幸福」を原則とする功利主義が前提とする幸福計算の可能性について考察する。
第7回	社会的コンセンサスの倫理的意味	合意形成の可能性について倫理的視点から考察する。
第8回	安楽死・尊厳死・自然死	安楽死とはどのようなことかを解説し、安楽死に関する生命倫理問題を概観する。
第9回	生命の質	安楽死容認の根拠とされる考え方を考察する。

第10回	パターナリズム	自律原理に基づく医療とは対置されるパターナリズムの内容とその問題点を明らかにする。
第11回	自己決定の問題	安楽死の根拠とされる自律原理に関わる問題を明らかにする。
第12回	「判断能力」の有無	自己決定権行使の前提となる「判断能力」について、その内容を考察するとともに、問題とされる具体的事例を考察する。
第13回	「人格」概念	人間とはいかなる存在かをパーソン論の観点から考察する。
第14回	まとめ ※別途期末レポートを提出	これまでの授業全体を振り返り、理解を深める。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回の授業内容に関するテキストの該当箇所を一読しておくこと。また授業内容について復習し、自分自身の思索を深めること。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストとして今井道夫『生命倫理学入門【第4版】』（産業図書）を使用し、他に資料を配付する。

【参考書】

授業内で提示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内小テスト（70%） 期末レポート（30%）

【学生の意見等からの気づき】

受講生からの意見を授業に反映させるために、さらにリアクションペーパーの活用を工夫すること。

【Outline (in English)】

In this lecture, we will focus on bioethical issues concerning human death and learn basic concepts of ethics.

The goals of this course are to acquire basic knowledge of ethics and to deepen your thoughts through specific bioethical issues. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Short reports:70,Term-end examination:30.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：情報倫理

杉本 隆久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。

倫理学L Iでは、情報社会における倫理的問題の中でも、特に「ネットにおけるコミュニケーション」、「メディア・リテラシー」、「情報技術とセキュリティ」、「インターネットと犯罪」「個人情報と知的財産」、「SNSと情報モラル」などインターネット社会を生きるための情報倫理に関連する諸問題を取り上げます。

【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目標とします。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。今年度は大学の授業実施方針に則り、原則対面授業を行います。なお、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7回以下）で、オンライン授業を実施する場合があります。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報と情報社会と情報倫理	授業ガイダンスを行う。また、情報と情報社会と情報倫理についての概説も行います。
第2回	情報通信社会とインターネット	情報通信社会とインターネットの進化と変遷を概観し、その中で生じてきた倫理的問題について検討します。

第3回	ネット時代のコミュニケーション	ネットにおけるコミュニケーションとマナーについて倫理的に検討します。
第4回	メディアの変遷とメディア・リテラシー	メディアの変遷とメディア・リテラシーについて倫理的に検討します。
第5回	情報技術とセキュリティ	情報セキュリティとネット被害の問題を倫理的に検討します。
第6回	インターネットと犯罪	ネット社会におけるトラブルと犯罪について倫理的に検討します。
第7回	個人情報とプライバシー	個人情報の流出と保護の問題について倫理的に検討します。
第8回	知的所有権とコンテンツ	知的財産の問題と知的財産権について倫理的に検討します。
第9回	企業と情報倫理	企業の社会的責任や企業倫理について倫理的に検討します。
第10回	科学技術と倫理	科学技術と倫理の問題や技術者倫理について検討します。
第11回	デジタルデバイスとユニバーサルデザイン	デジタルデバイドの問題とユニバーサルデザインについて倫理的に検討します。
第12回	SNSと情報モラル	ソーシャルネットワークサービス（SNS）と情報モラルについて倫理的に検討します。
第13回	情報社会とリテラシー	情報社会を生き抜くリテラシーについて倫理的に検討します。
第14回	まとめ	まとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係するプリントを配付します。

【参考書】

- ・高橋慈子他著『情報倫理—ネット時代のソーシャル・リテラシー』（技術評論社）
- ・情報教育学研究会『インターネット社会を生きるための情報倫理（改訂版）』（実務出版）
- ・勢力尚雅編著『科学技術時代の倫理学』（梓出版社）
- ・大黒彦彦『情報社会の〈哲学〉—グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、課題としてリアクションペーパーを提出してもらいます（Hoppiiを利用することを考えています）。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の2点を総合して評価します。評価の比率は、課題60%、期末レポート40%とします。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。倫理学L IIも併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline (in English)】

Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、 Short reports : 60%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：来るべき情報通信社会における倫理

杉本 隆久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

情報社会の倫理は、現代の情報社会の中で起こる具体的な倫理的問題に対して、理論的な知をさらに深め、応用していくための倫理学です。そのため、この授業では、グローバルな情報社会において生じている具体的な倫理的問題をいくつも取り上げながら、その問題に対して倫理的にどのように対応していくべきかを各学生がそれぞれの立場で考察できるようにします。

倫理学Ⅱでは、〈身体〉というパースペクティブから、特に「人工知能（AI）」、「ロボット、アンドロイド、サイボーグ」という問題を中心に、他にも「技術的特異点（テクノロジカル・シンギュラリティ）」、「2045年問題」、「Google」、「ビッグデータ」、「SNS」、「ウェアラブル」など現代を生きるための情報社会に関連する様々な倫理的問題を取り上げます。

【到達目標】

この授業では、現代に生きる私たちが、グローバルな情報社会の中で、一個の人間としてどのように生きるべきかを倫理的に考察することを目指します。その中で、様々な倫理的問題を解決する実践的・応用的な知を獲得することを目指します。また、様々な倫理的問題と対峙した際に必要となる思考力と判断力を養うことを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、講義形式の授業です。今年度は大学の授業実施方針に則り、原則対面授業を行います。なお、「オンライン授業による教育効果が高い場合」の条件に該当する授業回に限り、全授業回の半数を超えない範囲（7回以下）で、オンライン授業を実施する場合があります。

授業は講義形式で進めますが、授業内でディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうなど、積極的に授業に参加してもらうように配慮するつもりです。また、リアクションペーパーを提出してもらうなどして、受講生の考えを授業に反映させていきたいと考えています。

なお授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	情報社会と2045年問題	授業ガイダンスを行う。また、情報社会と技術的特異点の問題についての概説も行います。
第2回	技術的特異点という倫理学的問題（1）— 切迫の状況と指数関数的な爆発	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。

第3回	技術的特異点という倫理学的問題（2）— 来るべき未来と終末論	技術的特異点という倫理学的問題について検討します。
第4回	マスメディアの終焉とメディア史観	マスメディアの終焉とメディア史観について倫理的に検討します。
第5回	メディアリテラシーとメディアオロジー	メディアオロジーについて解説し、メディアオロジーの観点からメディアリテラシーを批判的に検討します。
第6回	グーグルによる「汎知」の企図と哲学の終焉	「汎知」の思想史を概観しながら、「グーグル」という問題について倫理的に検討します。
第7回	人間をつくり変える？	クローン、サイボーグ、アンドロイドをめぐる倫理的問題について検討します。
第8回	ロボットから倫理を考える（1）	ロボットをめぐる倫理的問題について検討します。
第9回	ロボットから倫理を考える（2）	ロボットにおける倫理は可能かという観点から、倫理の根拠について検討します。
第10回	身体から考える情報通信社会における倫理（1）	スピノザと身体の哲学について倫理的に検討します。
第11回	身体から考える情報通信社会における倫理（2）	ニーチェと身体の哲学について倫理的に検討します。
第12回	身体から考える情報通信社会における倫理（3）	メルロ＝ポンティと身体の哲学について倫理的に検討します。
第13回	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学	ニヒリズムと人間の終焉とポスト・ヒューマンの倫理学についてフォーコ的パースペクティブから検討します。
第14回	まとめ	まとめを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に配布した資料を読み、分からなかった部分についてはノートに抜き書きするなどして、問題意識を持った上で授業に臨んでください。

受講後は、不明点を理解できたかどうか復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にテキストは使用しません。授業のテーマに関係するプリントを配付します。

【参考書】

- ・ニック・ポストロム著『スーパーインテリジェンス 超絶AIと人類の命運』（日本経済新聞出版社）
- ・レイ・カーツワイル著『ポスト・ヒューマン誕生 コンピュータが人類の知性を超えるとき』（NHK出版）
- ・大黒岳彦著『情報社会の〈哲学〉—グーグル・ビッグデータ・人工知能』（勁草書房）
- ・ジャン＝ガブリエル・ガナシア著『そろそろ、人工知能の真実を話そう』（早川書房）
- ・三宅陽一郎著『人工知能のための哲学塾』（BNN新社）
- ・久木田水生他著『ロボットからの倫理学入門』（名古屋大学出版会）
- ・岡本裕一郎著『12歳からの現代思想』（ちくま新書）
- ・松田卓也著『2045年問題 コンピュータが人類を超える日』（廣済堂新書）
- ・松尾豊著『人工知能は人間を超えるか ディープラーニングの先にあるもの』（角川EPUB選書）
- ・弥永真生他編『ロボット・AIと法』（有斐閣）
- ・岡本裕一郎著『人工知能に哲学を教えたなら』（SB新書）

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業後に、課題としてリアクションペーパーを提出してもらいます（Hoppiiを利用することを考えています）。また期末にレポートを提出してもらいます。以上の2点を総合して評価します。評価の比率は、課題60%、期末レポート40%とします。

【学生の意見等からの気づき】

一方的な講義ではなく、ディスカッションを行ったり、受講生から意見を述べてもらうようにしていきます。またリアクションペーパーを活用することで、受講生からの意見を授業に反映させるようにします。

【学生が準備すべき機器他】

授業の変更及び伝達事項等のお知らせに関しては、Hoppii（学習支援システム）より通知します。課題や期末レポートは、学習支援システム上で提出してもらうことを考えています。毎回の授業の資料に関しても、授業開始までに学習支援システムで配信する予定です。

【その他の重要事項】

積極的・意欲的な態度で授業に臨んでもらいたいです。
倫理学L Iも併せて受講していただくことが望ましいです。

【Outline (in English)】

Ethics of information society is ethics to deepen and apply theoretical knowledge to specific ethical problems occurring in modern information society. From this reason, in this class, we will take up a variety of ethical issues arising from global information society, and consider a ethical reaction to those.

In this class, we aim to ethically consider how we, who live in the present age, should live as one person in the global information society.

Study times outside classroom is 1 hour for preparatory study and 1 hour for review.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Report : 40%、Short reports : 60%

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル:

伊藤 直樹

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということを問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きていくのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらおう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業で行う。資料を配付し、それに沿って講義をする。講義終了後、コメントカードを書いてもらう。次回の授業では、最初にそのコメントカードに対してリアクションしながら復習をして、当日の内容に入ってゆく。このパターンで授業を進める。

学期中に2度ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに: 問題設定	単位取得方法、および講義の概要についての説明; 他者という問題。なぜ「他者」が問題なのか。
第2回	デカルトの他者論 (その1)	デカルト哲学の紹介
第3回	デカルトの他者論 (その2)	デカルトの他者論 (コギト、神の存在証明)
第4回	デカルトの他者論 (その3)	それまでの議論を振り返りつつ、あらためてデカルトにおける他者の不在について考察する。
第5回	フッサールの他者論 (その1)	フッサール哲学の紹介
第6回	フッサールの他者論 (その2)	フッサールの他者論へ 間主観性・共現前という問題
第7回	フッサールの他者論 (その3)	フッサールの他者論の問題点と可能性 (自己移入論、超越論的間主観性という立論)
第8回	デイルタイの他者論 (その1)	デイルタイの思想の紹介
第9回	デイルタイの他者論 (その2)	デイルタイの解釈学
第10回	デイルタイの他者論 (その3)	デイルタイの他者論
第11回	サルトルの他者論 (その1)	サルトル哲学の紹介

第12回	サルトルの他者論 (その2)	サルトルの他者論 (対他存在について)
第13回	サルトルの他者論 (その3)	サルトルの他者論から見た人間の存在の諸相
第14回	レポートについての説明	レポートの書き方、内容について説明します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考書】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず2/3以上参加してください。

学期末のレポート (65%) と授業への積極的な貢献度 [コメントカードの記述など] (35%) によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答をします。

コメントペーパーを見ていると、4月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合があります。受講のさい、その点は注意してください。

【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (65%), and in-class contribution (35%)

PHL200LA (哲学/Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

伊藤 直樹

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義では、倫理の基底である自己と他者との関わりを学んでゆく。とくに他者とはなにかということの問題とし、他者と自己との関わりを考察してゆくことになる。

私はたった一人で生きているのではなく、私の前や隣には人がいて、その私以外の他人とともに生きているという、このあたりまえのことに、あらためて気づくためである。

【到達目標】

講義を終えた後、受講生が、上記の諸問題について自分なりに考えてゆくことができるようになることが、到達目標である。具体的には、学期末のテストにおいて、それを行なってもらおう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まず、他者論の問題設定の発生を明らかにして、そのうえで、サルトル、和辻哲郎、M・ブーバー、E・レヴィナスなどが、その問題をどのように考えているかを見てゆく。

基本的に講義形式を取るが、内容に応じて映像資料なども用いる。また、受講者からの質問、コメントをもとに、それに答えるかたちで講義内容を補足してゆく。

2回ほど「哲学対話」を取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	単位取得方法、および講義の概要についての説明
第2回	問題設定	他者という問題（デカルト、カント、フッサールの問題設定）
第3回	和辻哲郎の倫理学（その1）	和辻哲郎という人物、「面とベルソナ」について
第4回	和辻哲郎の倫理学（その2）	和辻倫理学の主要論点（個と全体、二人共同体）
第5回	和辻哲郎の倫理学（その3）	和辻倫理学の問題点
第6回	M・ブーバーの思想（その1）	ブーバーという人物、「わたし-きみ」「わたし-それ」
第7回	M・ブーバーの思想（その2）	ブーバーの人間観
第8回	M・ブーバーの思想（その3）	ブーバーの思想の問題点、E・レヴィナスによる批判
第9回	ハイデガーの他者論（その1）	ハイデガー哲学の紹介
第10回	ハイデガーの他者論（その2）	顧慮の気遣い、本来的な他者
第11回	E・レヴィナスの他者論（その1）	レヴィナス哲学の紹介
第12回	E・レヴィナスの他者論（その2）	レヴィナスの他者論（顔、他者）

第13回 アーレントの他者論 アーレントの他者論

第14回 レポートについての説明 レポートのテーマ、書き方についての説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

前回の講義内容に関して、自分なりの理解をまとめておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

内容が多岐にわたるため、特定のテキストは用いない。授業毎に、資料を配付する。

【参考文献】

参考文献等は、そのつどの講義で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

出席は、授業形態に関わらず2/3以上参加してください。

学期末のレポート（70%）と授業への積極的な貢献度〔コメントカードの記述など〕（30%）によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回コメントペーパーを書いてもらい、授業冒頭でそれに応答します。

コメントペーパーを見ていると、9月のはじめに書かれたものと最後の講義時に書いているコメントペーパーでは、ずいぶん内容が変わってきている印象をもちます。

「L」の付いている授業なので、内容は発展的で、やや高度な場合もあります。受講のさい、その点に注意してください。

【Outline (in English)】

This course deals with the relation between self and the Other. Specifically, we inquire will analyze the concept of the Other. By taking this course, students acquire an understanding of the knowledge about the significance of the Other in ethics. Students will submit comments on the class content after attending the lecture. These comments will be used to review the previous class. Final grade will be calculated according to the following process term-end report (65%), and in-class contribution (35%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：「生」と「死」を考える

田島 樹里奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生（生命、人生、生活）(life)とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業では、「幸福とは何か」を出発点としながら、人間の生/死、人格、医療（技術）に焦点を当てながら、私たち人間とはどのような存在であるかをじっくり倫理的な視点から考え直していきたい。現代では、自然界に生まれた生命に科学技術が介入することは当たり前であるが、人工授精・体外受精、デザイナーベビー、人工妊娠中絶、臓器移植、延命治療など、現代社会でよく耳にするこれらの人工的な生命操作は、自然の摂理という観点から見れば反自然的な行為と言いうる。だからと言って、私たちは簡単に善悪の判断を下すことはできない。日々の日常生活のうちには、こうした論理や合理性だけでは解決し難い問題がたくさんある。

「いのち」の問題は、私たちが生きていく中で、いずれどこかで関わる身近な問題であり、避けては通ることのできない重要な問題である。本授業では、具体的な事例や現代的な問題を取り上げながら、命（生と死）・医療・科学技術などについて、今一度考え直すきっかけを提供し、共に考えていきたい。

【到達目標】

- ① 生命、死、存在、医療、QOLなどの言葉を相互に関連づけながら思考する力を身につける。
- ② 生命倫理学の多様な価値観を学ぶことで、様々な立場の考え方を多角的に把握する力を身につける。
- ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。

本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持つことを最終的な目標としている。

(1) Acquire the ability to think about life, death, existence, medical care, QOL, and other terms while relating them to each other.

(2) By learning the various values of bioethics, students will acquire the ability to grasp the ideas of various positions from multiple perspectives.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of issues. The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking skills as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたり、リアクションペーパーなどを用いながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

- * 講義
- * 毎回、授業後にコメントシートを提出。

* 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	生命倫理学とは？ 生命に科学技術が介入することの意味
第2回	バイオエシックスの成立(1)	善く生きるとは 近代的自由の成立と人権概念
第3回	バイオエシックスの成立(2)	アメリカにおける社会的・政治的背景 社会変動と幸福感の変化
第4回	幸福とは何か	「幸福」はどのように決まるか？
第5回	功利主義(1)：幸福は計算可能か	「最大多数の最大幸福」 平等の原理は存在するか？
第6回	功利主義(2)：個人の自由と社会道徳	個人の幸福追求と社会の幸福追求 「生命の質」か「生命の尊厳」か
第7回	人間の生命と人格	エンゲルハートの人格概念 胎児に人格はあるか？
第8回	優生思想と人工妊娠中絶	優生保護法と母体保護法 人工妊娠中絶は殺人か？
第9回	中絶問題と女性の権利	中絶問題の歴史 米国で揺れ動く中絶権利
第10回	命は誰のものか	医療とバタナリズム 患者の権利と医師の義務
第11回	医療と倫理	医学者たちの人体実験
第12回	伝える義務と知る権利	医療とインフォームド・コンセント 情報開示と自己決定権
第13回	尊厳死/安楽死とは	安楽死を考える 私たちに死ぬ権利はあるのか
第14回	医療の倫理と法	医療技術の進歩と医療現場 医療事故と医療過誤

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【テキスト（教科書）】

特になし

【参考書】

H・T・エンゲルハート『バイオエシックスの基礎』東海大学出版会、1988/2005。

伏木信治『生命倫理と医療倫理：改訂4版』金芳堂、2020年。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー（60%）、期末試験またはレポート（40%）

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。（リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています）

Reaction papers for each class (60%), final exam or report (40%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

基礎から学ぶので、倫理学を受けたことのない人でも関心を持って受講することで、少しずつ理解でき、視野が広がってくると思います。また、受講者のコメントシートを紹介することで、同世代の人たちの色々な考え方を知ることができ、良い刺激になると思います。

Even if you are new to the subject of ethics, don't worry because you can gradually deepen your understanding and get used to it in each class. (Basically, this class is for first-time students)

【その他の重要事項】

受講生の希望や状況に応じて、シラバスの内容が前後したり、多少変更する場合があります。

※人数が大幅に多い場合には、受講者数を制限することがあります。その場合、本科目（Q1399）は授業コード200番台のため、上の学年から優先的に選抜します。2回目以降の受講者は履修できなくなる場合があります。

【Outline (in English)】

This course is an introduction and survey course in Bioethics. The purpose of this course is introduce students to bioethics through critical thinking contemporary issues. Through this course, students will be given not only the knowledge and comprehension of relationship between biotechnology and ethics, but also the opportunity to focus on their life and death. Students will first be introduced the history of ethics, foundational theories in bioethics, and the basic concepts and theoretical framework of bioethics.

Topics will include: what is happiness, health-care, responsibility, system of value, informed consent, death and dying, and the issue of beginning of life(on abortion, designer baby, prenatal testing etc.).

Through this course, students will be able to think carefully and to express their own views more clearly through their own positions on bioethical/ medical issues.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル:

田島 樹里奈

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、生命倫理学という応用倫理学の一分野を通じて、人間にとって生(生命、人生、生活)(life)とは何であるかを中心に、生きること・死ぬことについて考察することを目的とする。とりわけ本授業の後半では、宗教の視点から生命倫理を考察することにより、様々な宗教的思想を背景にした死生観と生命倫理観を学んでいく。そもそも宗教は生死と密接に関わり、それぞれの仕方では「あの世/この世」「現世/来世」を語ってきた。本授業ではこれら全てを網羅することはできないが、私たちが今・ここで生きることの意義や、死や死後を考察するための手掛かりとして、それぞれの宗教的思想の意義を検討していきたい。

倫理学という学問領域は、私たちの日常生活や生きること・死ぬことに直接関わる部分を含んでいる。それゆえ、本授業を通じて、受講生各自が関心を持ったテーマに対して、積極的にアプローチをすることで、それぞれの興味・関心を深めていながら、死生観や生命観を構築し、さらに倫理的な問題意識を持って学問的に掘り下げてもらいたい。

以上の観点をもって、受講生各自が本授業を通して、私たち人間とはどのような存在であるか、生きることは、死ぬとはどういうことなのかをじっくり倫理的な視点から考え直していくきっかけを提供していきたい。

【到達目標】

- ① 生命、死、人格、医学、宗教などの言葉を、自分の頭の中で相互に関連づけながら思考する力を身につける。
- ② 多様な生命の在り方や、宗教的思想を背景とした多様な価値観を学ぶことで、様々な立場から生命倫理を考える力を身につける。
- ③ 学問的な理論の構築法を学ぶことで、各自の問題意識を学問的に分析する力を身につける。

本授業では、生命倫理学について、たんなる知識を身につけるだけに終わらせることなく、複雑な現代を生きる一人の人間として、より広い視野を培い、深い思考力を持てることを最終的な目標としている。

1) Acquire the ability to think about life, death, personality, medicine, religion, and other terms while relating them to each other in one's mind.

2) To acquire the ability to think about bioethics from various perspectives by learning about various ways of life and various values based on religious thought.

(3) Learn how to construct academic theories, and acquire the ability to academically analyze their own awareness of the issues.

The ultimate goal of this class is not only to acquire knowledge of bioethics, but also to cultivate a broader perspective and deep thinking ability as an individual.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には講義形式で行なう。場合によっては、グループディスカッションをしたり、学生の皆さんに質問を投げかけたりしながら、受講者が主体的に考えられるような授業にしたい。

◆ 本授業では、多角的な視野でじっくりと物事を考える力を身につけて貰いたいと考えているため、以下のように授業を進める。

* 講義

* 毎回、授業後にコメントシートを提出。

* 適宜、授業内で学生からのコメントを紹介。

→ これらの繰り返しをすることで、同じ講義内容を聞いていても、自分とは異なる様々な意見があることを知り、少しずつ多角的な視野を得られるようになって考えている。また講義形式であっても、教員からの一方的な教えではなく、双方向性を生み出し、お互いに刺激し合い、学び合えるような授業にしていきたいと考えている。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	生命倫理学とは バイオエシックスの成立
第2回	生命の誕生と倫理(1)	日本人の生命倫理観の変化 生殖医療とは
第3回	生命の誕生と倫理(2)	生殖技術の発展と拡大 人工授精の歴史と現状
第4回	生命の誕生と生殖医療	不妊治療の実態 性教育不足による社会問題化
第5回	生殖技術の倫理(1)	代理母の在り方 出自を知る権利
第6回	生殖技術の倫理(2)	精子バンク問題とインターネット 取引
第7回	遺伝子と生命倫理(1)	再生医療とクローン技術 「全能性」とは
第8回	遺伝子と生命倫理(2)	遺伝子とDNA デザイナーベビーとは
第9回	遺伝子と生命倫理(3)	遺伝子組み換えとゲノム編集
第10回	ジェンダーと生命倫理(1)	ジェンダー概念と社会変容
第11回	ジェンダーと生命倫理(2)	性転換手術と医療倫理 自然界の性転換と人工的性転換の問題
第12回	宗教と生命倫理(1)	「宗教」とは 宗教的価値観と倫理的判断
第13回	宗教と生命倫理(2)	神道における死後観と人間観 臓器移植問題の捉え方
第14回	宗教と生命倫理(3)	ヒンドゥー教の死生観

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

毎回の授業の復習をよくすること。とくに授業内で気付いたことや疑問に思ったことは各自で調べたり掘り下げて考えてみる。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

Review each class carefully. In particular, you are expected to research and think in-depth about any questions you notice or have in the class. The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

【テキスト(教科書)】

特になし

【参考書】

伏木信治『生命倫理と医療倫理:改訂4版』金芳堂、2020年。
小松美彦、土井健司編『宗教と生命倫理』ナカニシヤ出版、2005年。

【成績評価の方法と基準】

毎授業ごとのリアクションペーパー(60%)、期末試験またはレポート(40%)

リアクションペーパーの提出をもって出席扱いとしますが、ただ提出しているだけの人は評価対象とならない場合があります。主体的に考えながら受講することを重視しています。(リアクションペーパーは、レポートのような大変なものではありません。受講して各自で考えたことを毎回書いてもらうことにより、考える力を養い、自分の考えを文字化する訓練のために行っています)

Reaction papers for each class (60%), final exam or report (40%)

Submission of reaction papers will count as attendance, but those who just submit them may not be evaluated. In this course, the emphasis is on taking the class while thinking proactively.(The reaction paper is not as hard as a report, but is designed to develop your ability to think and to train you to put your thoughts into words by asking you to write what you have thought about each time you take the course.)

【学生の意見等からの気づき】

倫理学L1から継続して受講すると理解しやすく、知識も深まります。(倫理学L2を受講した後に、次年度の倫理学L1を受講することも可能です。)

It is recommended that students take Ethics LI before taking this course for better understanding.

We do not recommend this course to those who just want to get credits. This class should be taken by anyone who is willing to learn properly as a university student.

【その他の重要事項】

受講生の希望や状況に応じて、シラバスの内容が前後したり、多少変更する場合があります。

※人数が大幅に多い場合には、受講者数を制限することがあります。その場合、本科目(Q1400)は授業コード200番台のため、上の学年から優先的に選抜します。2回目以降の受講者は履修できなくなる場合がありますので注意して下さい。

【Outline (in English)】

This course is intended to develop student's understanding of ethical issues of bioethics and medical care. Especially, this course will focus upon major bioethical issues which related to artificial insemination, genetic testing and human right. In addition, the second half of this course, we will explore various ethical problems within several religious traditions. Through comparison of bioethical perspectives on selected themes, students will be able to recognize the interconnections between bioethical issues and religious system. This course will help students to develop the ability to analyze diverse perspective and to recognize the importance of ethical considerations.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉永 明弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

倫理学の基礎知識を学び、応用倫理学の内容に親しむとともに、具体的な倫理問題について議論する。

【到達目標】

倫理学の基本的な考え方や主要な理論（功利主義、義務論、徳倫理学、社会契約論、正義論）および応用倫理学の内容を把握し、それをもとに具体的な倫理問題について議論することができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行うが、発言を求めることがある。

連絡は学習支援システムで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	倫理学を学ぶ意味	なぜ倫理学を学ぶ必要があるのかについて説明する
2	倫理学の三大理論（1） 功利主義	ミルの自由論を基軸に功利主義について説明する
3	倫理学の三大理論（2） 義務論	カントの倫理学の概要を紹介する
4	倫理学の三大理論（3） 徳倫理学	アリストテレスと現代の徳倫理学の概要を紹介する
5	倫理学と政治哲学（1） 社会契約論	ホブズ、ロック、ルソーらの社会契約論を概説する
6	倫理学と政治哲学（2） 正義論	ロールズ、ノージック、サンデルらの正義論を紹介する
7	応用倫理学（1）生命倫理学	医師・患者関係フォームドコンセントを中心に説明する
8	応用倫理学（2）生命倫理学	脳死と臓器移植、安楽死、優生思想について説明する
9	応用倫理学（3）情報倫理学	現代社会の情報をめぐる倫理について説明する
10	応用倫理学（4）ビジネス倫理学	内部告発を取りあげる
11	中間チェックテスト	ここまでの内容を確認する
12	対話型講義（1）災害時の倫理	東日本大震災の事例から災害時の倫理について議論する
13	対話型講義（2）21世紀の労働倫理	IT・AIの時代がもたらす新たな労働倫理について議論する
14	対話型講義（3）21世紀の教育	IT・AIの時代の教育のあり方について議論する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書と参考文献を読むこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

吉永明弘・寺本剛編『環境倫理学』昭和堂、2020年の第1章から第3章。

およびプリントを配布する。

【参考書】

加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1997年
新田孝彦『入門講義 倫理学の視座』世界思想社、2000年

宇都宮芳明『倫理学入門』ちくま学芸文庫、2019年

川本隆史『現代倫理学の冒険』創文社、1994年

國分功一郎『近代政治哲学』ちくま新書、2015年

児玉聡『功利と直観』勁草書房、2010年

梅津光弘『ビジネスの倫理学』丸善、2002年

【成績評価の方法と基準】

中間チェックテスト（40%）、書評レポート（60%）。

【学生の意見等からの気づき】

学生から意見がありませんでした。

【Outline (in English)】

This course deals with ethics and applied ethics. At the end of the course, students are expected to get an overview on ethics and applied ethics. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following, midterm exam:40%,book review:60%.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

倫理学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉永 明弘

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

環境倫理学の基本的文献の内容を紹介する。このなかから各自の興味のある文献を読み、レポートを書いてもらう。

【到達目標】

環境倫理学の基本的文献の内容を把握し、それをもとに現実の環境問題に対する自分なりの構えをもつことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。適宜、ディスカッションを取り入れる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	この授業の進め方を説明する
2	現代倫理学の射程	現代倫理学の基本文献を紹介する
3	欧米の環境倫理	欧米の環境倫理について紹介する
4	グローバルな環境倫理	グローバルな環境倫理について紹介する
5	ローカルな環境倫理	ローカルな環境倫理について紹介する
6	科学技術の倫理	科学技術の倫理について紹介する
7	公害と環境正義	公害と環境正義について紹介する
8	動物倫理	動物倫理について紹介する
9	生物多様性と倫理	生物多様性と倫理に関する議論を紹介する
10	気候変動と気候工学	気候変動と気候工学に関する議論を紹介する
11	中間チェックテスト	ここまでの内容を理解しているか確認する
12	場所論と風土論	場所論と風土論について紹介する
13	景観保全と観光	景観保全と観光に関する議論を紹介する
14	都市の環境倫理	都市の環境倫理の構想を紹介する

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書のなかで紹介している文献を読むこと。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

吉永明弘・寺本剛編『環境倫理学（3STEPシリーズ）』昭和堂、2020年4章から14章までの内容を扱う。

【参考書】

吉永明弘『都市の環境倫理』勁草書房、2014年

吉永明弘・福永真弓編『未来の環境倫理学』勁草書房、2018年
吉永明弘『はじめて学ぶ環境倫理』ちくまプリマー新書、2021年

【成績評価の方法と基準】

中間チェックテスト（40%）と書評レポート（60%）。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの意見がありません。

【Outline (in English)】

This course deals with environmental ethics. At the end of the course, students are expected to get an overview on ethics and applied ethics. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following, midterm exam:40%, book review:60%.

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

論理学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：論理的読解のトレーニング

佐々木 護

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

論点が明確で、筋の通った議論や文章は「論理的」だと言われます。この授業では、分野を問わず多様な文章を論理的に把握し、それを吟味検討したうえで、自分の見解を論理的に表現する訓練を行います。論理的読解力や論述力を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上で大いに役立つはずで

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 新聞記事や新書レベルの文章を読み、そこから論証構造を抽出し、内容をよく理解した上で、的確な要約を行うことができる。
- (2) 上記の文章を吟味検討し、自分の見解を論理的に展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出された答案は添削・評価のうえ、翌日に返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／論理学とは	論理学には分析論と弁証術の2つの流れがあることを理解する。
第2回	論理的説明と論証	トゥールミン・モデルなどを参照しつつ、論理的な説明には、根拠の提示が不可欠であることを理解する。
第3回	論理的読解と論証	論理的読解には、文章全体を論証と捉え、結論とそれを支える根拠を見きわめることが有効であることを理解する。
第4回	論証の構造	論証図の作成を通じて、論証構造を的確に把握する仕方を身につける。
第5回	要約の技法	文章から論証構造を取り出し、それを軸に要約する技法を身につける。
第6回	隠れた前提	論証を論理的に理解するには、隠れた前提を自覚的に取り出すことが必要な場合があることを理解する。
第7回	論証の評価（1）	論証の適切さや妥当性を評価するにあたって着目すべきポイントを理解する。
第8回	論証の評価（2）	論証を検討する仕方を実践的に身につける。

第9回	誤った論法（誤謬）	論証の誤りの代表的なパターンを理解する。
第10回	論証への反論（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する反論を作成する。
第11回	論証への反論（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第12回	文章読解と見解論述（1）	現代の社会問題に関連した文章を読み、それに対する見解論述を作成する。
第13回	文章読解と見解論述（2）	前回作成答案を基にして、発展的検討を行う。
第14回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。毎回、講義内容に関連した課題が課されます。毎回返信する資料にはよく目を通しておいてください。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006年）

【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50%）および最終回の試験の成績（50%）で評価します。

試験の評価基準については、授業中に何度か実施する課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】

「他の学生の答案を見て、意見や表現方法を学ぶことができたのが良かった」「文章を読むときにどこに気をつければよいか分かってきた」「授業を通して、少しずつ自分の文章力がついてきたと実感した」などの感想がありました。

今まで文章を書く機会の少なかった受講者の場合、最初は小論文作成に時間がかかり、難しく感じることもあるようです。しかし、書き続けるうちに徐々に慣れていきますので、その点についてあまり心配する必要はありません。

【Outline (in English)】

We call a reasonable argument as "logical". In this course, we will practice to logically read various texts regardless of the field, examine them, and express your own view logically. If you acquire the ability of logical reading and argumentation, it will be useful for your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. The grading are evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

論理学 L II

2017年度以降入学者

サブタイトル：**批判的思考のトレーニング**

佐々木 護

開講時期：**秋学期授業/Fall** | 曜日・時限：**月5/Mon.5**

単位数：**2単位**

その他属性：**〈優〉**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

批判的思考（クリティカル・シンキング）教育の一環として、複数の視点から仮説を立てたり、対立する意見も視野に入れつつ望ましい問題解決策を見出す訓練を行います。自分が自明とする考えからいったん距離を置き、異なる他者の考えにも目を向ける態度を身につけることは、みなさんが今後研究活動や社会生活を送る上で大いに役立つはずです。

【到達目標】

本授業の到達目標は以下の2点です。

- (1) 統計資料などを手がかりに仮説を立て、それに基づく解決策を提示することができる。
- (2) 与えられたテーマに関して、対立する意見も視野に入れつつ、説得力ある見解論述を展開することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業前半は講義形式ですが、後半は問題演習とその検討が中心となります。そのため、受講者には主体的な参加を求めます。また、論述力の向上を図るため、定期的に小論文を作成する回を設けます。提出された答案は添削・評価のうえ、翌日に返却・解説します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／推論の分類	演繹、帰納、仮説推量という推論の3つのタイプを概観する。
第2回	演繹と仮説推量	演繹と仮説推量の関連性と相違点を理解したうえで、新たな発想やアイデアを導く上で仮説推量が果たす意義を押さえる。
第3回	統計資料の分析と仮説推量	統計資料の分析の基本を理解し、資料からどのような仮説を立てることができるかを考える。
第4回	相関関係と因果関係	2つの現象の間に何らかの関係が認められる場合に、どんな仮説が立てられるのかを理解する。
第5回	原因分析と対策提言	ある仮説に基づくならば、どのような対策が必要かを考える。仮説が異なれば、必要な対策も大きく異なることを理解する。
第6回	価値前提	それぞれの論証がどのような価値判断や価値基準を前提としているかに注目することで、議論の争点を整理する仕方を身につける。
第7回	対策提言の評価（1）	現代の社会問題に関連した論証に対する検討を行う。
第8回	対策提言の評価（2）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。

第9回	立論・批判・異論（1）	対立する意見を視野に入れつつ、それに対する批判や異論を展開する仕方を身につける。
第10回	立論・批判・異論（2）	批判と異論の違いを見きわめる。
第11回	立論・批判・異論（3）	あるテーマに対し、立論・批判・異論から構成される小論文を作成する。
第12回	立論・批判・異論（4）	前回作成答案を基に、発展的検討を行う。
第13回	誤った二分法・両論併記	二分法が陥りがちな罠を理解する。
第14回	試験日	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。配信された資料にはよく目を通しておいてください。また、日頃から政治や経済、社会等のニュースに関心を持ち、批判的にチェックする習慣を身につけていきましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

野矢茂樹『新版・論理トレーニング』（産業図書、2006年）

【成績評価の方法と基準】

通常回の課題成績（50%）および最終回の試験の成績（50%）で評価します。試験の評価基準については、授業中に何度か実施する課題の評価基準を参考にしてください。

【学生の意見等からの気づき】

「文章の書き方などを学べたことはもちろん、毎回の授業や課題においてテーマとなる社会問題について考え文章にすることが、自分の意見を持つ大変いい機会となった」「ただ論理の立て方を学ぶだけでなく時事を用いて学ぶことができて大変勉強になった」などの感想がありました。

テーマに関連したアウトプットを繰り返す授業形式を通して、考えて書く力がアップしたと感じる受講者が多かったようです。

【Outline (in English)】

As part of the critical thinking education, we will make hypotheses from multiple perspectives, and practice to find solutions while taking into account the opposite opinion. If you learn how to think critically, you will be of great help in your future academic activities and social life. The standard preparatory study and review time for this class is 2 hours each. The grading are evaluated based on the results of regular assignments (50%) and the final exam (50%).

HIS200LA (史学/History 200)

東洋史 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

水上 香織

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、16世紀のムガル帝国の形成から、1947年にインドとパキスタンがイギリス植民地支配から独立するまでの、南アジア史について学びます。また、南アジア史の研究で利用される様々な一次史料の一部を紹介し、授業を通じて、長期的な視野において南アジア地域の社会変動について理解できるようになることを第一の目的とします。また、歴史研究における史料の収集と批判的考察の方法について知ることを第二の目的とします。

【到達目標】

- ・16世紀から20世紀半ばまでの南アジア史に関する基礎知識を獲得すること。
- ・様々な一次史料の存在について知り、「歴史を研究すること」の難しさと面白さに関して理解を深めること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式の対面授業を行います。学習支援システムを通じて授業中にみなさんからの質問や感想を共有し、随時フィードバックを行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	南アジア地域とは	地理的・歴史的背景
第2回	ムガル帝国の形成と発展	16～17世紀
第3回	ムガル帝国の衰退と地方政権の台頭	17～18世紀
第4回	イギリス東インド会社のインド進出	17～18世紀
第5回	イギリスによるインド支配と植民地経済	18世紀～第一次世界大戦
第6回	社会・宗教改革運動の展開	19世紀半ば～第一次世界大戦
第7回	民族独立運動の展開	19世紀末～1917年
第8回	大衆的民族主義の出現と諸問題	1917年～1930年代
第9回	第一次世界大戦後の社会と文化	1920年代～1930年代
第10回	工業の発展と農村社会の変容	第一次世界大戦～1947年
第11回	インド・パキスタン分離独立への道	1930年代～1947年
第12回	一次史料を見てみよう(1)	公文書館と行政文書
第13回	一次史料を見てみよう(2)	回想録、手紙、新聞雑誌、その他様々な史料
第14回	まとめ	授業内容の振り返りおよび質問への回答

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。特に授業後には、授業プリントやノートを読み直して、復習をしましょう。また、疑問点や興味を持った点について、授業中に紹介する参考文献などを利用して調べるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

辛島昇（編）『南アジア史3 南インド』山川出版社、2007年。
小谷汪之（編）『南アジア史2 中世・近世』山川出版社、2007年。
スミット・サルカール『新しいインド近代史——下からの歴史の試み』（長崎暢子・白田雅之・中里成章・粟屋利江訳）I・II巻、研文出版、1993年。
ティルトンカール・ロイ『インド経済史——古代から現代まで』（水島司訳）名古屋大学出版会、2019年。
内藤雅雄・中村平治（編）『南アジアの歴史——複合的社会的歴史と文化』有斐閣、2006年。
長崎暢子（編）『南アジア史4 近代・現代』山川出版社、2019年。
その他、授業中に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業における質問や感想の提出：30%
期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から新規開講される授業なので、まだ記載すべきことがあります。

【学生が準備すべき機器他】

授業中に学習支援システムを利用してオンラインで質問や感想を集める予定なので、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンなど、インターネットに接続できる機器を持参してください。また、授業中に学習支援システムにアクセスできるように、第1回授業前にこの授業の仮登録を行ってください。

【Outline (in English)】

・ This course covers the history of South Asia from the formation of the Mughal Empire in the 16th century to the independence of India and Pakistan from British colonial rule in 1947. This course also introduces some of the various primary historical sources explored in the study of South Asian history.

・ By the end of the course, students are expected to understand social change in the South Asian region from a long-term perspective, recognise the existence of a variety of primary historical sources and develop an understanding of the complexity and fascination inherent in the process of historical research.

・ Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. In particular, students are encouraged to re-read and review their notes and distributed handouts after each class. Students are also encouraged to use the references provided in class to research any questions or points of interest.

・ The overall class grade is determined on the basis of the following items: final exam 70%, in-class contribution 30%.

HIS200LA (史学/History 200)

東洋史 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

水上 香織

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1947年のインド・パキスタン分離独立から現在に至るまでの南アジア史について、特にインド、パキスタン、バングラデシュに焦点をあてながら学びます。これらの国家の社会的特徴や、これらの国家間にまたがる宗教やカースト、ジェンダー、言語の問題について、歴史的な背景を踏まえたうえで理解できるようになることを目的とします。

【到達目標】

・20世紀半ばから現在に至るまでの南アジア史について、特にインド、パキスタン、バングラデシュを中心としつつ基礎知識を獲得する。
・現代南アジアの諸問題について、歴史的な背景を踏まえたうえで理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式の対面授業を行います。学習支援システムを通じてみなさんからの質問や感想を共有し、随時フィードバックを行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イギリス植民地支配からの独立	イギリス植民地期～1947年
第2回	分離独立に伴う人々の移動と混乱	インド・パキスタン領域間の移動、移動者の証言
第3回	独立後のインド(1)	政治・社会
第4回	独立後のインド(2)	経済政策の変遷
第5回	パキスタン(1)	政治・外交
第6回	パキスタン(2)	経済・社会
第7回	バングラデシュ(1)	東パキスタンからの独立と独立後の社会
第8回	バングラデシュ(2)	開発と産業
第9回	宗教をめぐる諸問題とその歴史的背景	南アジアの多様な宗教、マイノリティ、宗教間対立
第10回	カーストとトライブをめぐる諸問題とその歴史的背景	差別の実態、差別への抵抗
第11回	ジェンダーをめぐる諸問題とその歴史的背景	社会改革運動、女性運動
第12回	言語をめぐる諸問題とその歴史的背景	南アジアの多様な言語、言語別州再編の動き
第13回	現代インド・パキスタン関係	映画を題材に、インドとパキスタンの宗教や政治の問題について考える
第14回	まとめ	授業内容の振り返りおよび質問への回答

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。特に授業後には、授業プリントやノートを読み直して、復習をしましょう。また、疑問点や興味を持った点について、授業中に紹介する参考文献などを活用して調べるようにしましょう。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。

【参考書】

大橋正明、村山真弓（編著）『バングラデシュを知るための60章』、明石書店、2009年。
黒崎卓、子島進、山根聡『現代パキスタン分析——民族・国民・国家』岩波書店、2004年。
ティルタンカル・ロイ『インド経済史——古代から現代まで』（水島司訳）名古屋大学出版会、2019年。
内藤雅雄・中村平治（編）『南アジアの歴史——複合的社会的歴史と文化』有斐閣、2006年。
長崎暢子（編）『南アジア史4 近代・現代』山川出版社、2019年。
その他、授業中に随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業における質問や感想の提出：30%

期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から新規開設される授業なので、まだ記載すべきことがあります。

【学生が準備すべき機器他】

授業中にオンラインで質問や感想を集める予定なので、インターネットに接続できる機器（スマートフォン、タブレット、パソコンなど）を持参してください。
また、授業中に学習支援システムにアクセスできるように、第1回授業前にこの授業の仮登録を行ってください。

【Outline (in English)】

・This course covers the history of South Asia from the partition of India and Pakistan in 1947 to contemporary times, with a particular focus on India, Pakistan and Bangladesh.

・By the end of the course, students are expected to understand present-day South Asian issues within the broader framework of historical context.

・Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. In particular, students are encouraged to re-read and review their notes and distributed handouts after each class. Students are also encouraged to use the references provided in class to research any questions or points of interest.

・The overall class grade is determined on the basis of the following items: final exam 70%, in-class contribution 30%.

HIS200LA (史学/History 200)

東洋史LC

2017年度以降入学者

サブタイトル：イスラーム史1

長谷部 圭彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本科目では、イスラームが誕生した7世紀から、オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼす15世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。また、イスラームの教義や戒律などについても解説する。受講者が、当該地域への理解を深めつつ、他の地域との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】

本科目の目標は、受講者が、15世紀までの「中東・イスラーム地域」の歴史と、イスラームの教義に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎週質問用紙を配布するので、質問や意見を記入してほしい。それには翌週、可能な限り回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講義概要	講義の目的、成績評価方法等を確認する。
第2回	預言者ムハンマド	ムハンマドの生涯を概観する。
第3回	六信五行	イスラームの信仰箇条と行為義務を概観する。
第4回	聖典『クルアーン』	イスラームの聖典を概観する。
第5回	スンナ派とシーア派	イスラームの宗派を概観する。
第6回	ウマイヤ朝とアッバース朝	7世紀から8世紀までのイスラーム地域を概観する。
第7回	シャリーアとフィクフ	イスラームの法と法学を概観する。
第8回	ウラマーとマドラサ	イスラームの法の担い手とその養成方法を概観する。
第9回	マムルークとイクター制	9世紀から11世紀までのイスラーム地域を概観する。
第10回	スーフィーと聖者	イスラームの神秘主義と聖者を概観する。
第11回	スンナ派の時代	12世紀のイスラーム地域を概観する。
第12回	モンゴルの時代	13世紀のイスラーム地域を概観する。
第13回	オスマン朝とティムール朝	14世紀から15世紀までのイスラーム地域を概観する。
第14回	イスラームの普及	アフリカ、インド、東南アジア、中国へのイスラームの普及を概観する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配付する。

【参考書】

大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002年。
東長靖『イスラームのとらえ方』山川出版社、1996年。
屋形禎亮・佐藤次高『西アジア』上巻、朝日新聞社、1993年。

【成績評価の方法と基準】

70%: 期末試験

30%: 平常点

【学生の意見等からの気づき】

2023年度の受講生アンケートの結果は以下のとおり（抜粋）。

・リアベの質問に丁寧に答えてくださって嬉しかった。高校時代日本史選択だったので世界史にはあまり触れていなかったのですが、説明がわかりやすく日本史選択の人にも配慮した授業だったので受けてよかったです。少しペースが早いのでメモするのが大変でした。

・言葉遣いやエアコンの温度調節、プリントの配布などの先生の気遣いがありがたい。授業内容がかなり深く踏み込んでくるので、少し聞き流すと全くわからなくなるのが、少し辛いです。

以上を踏まえ、これまでの授業方法を維持しつつ、ややゆっくり話すこととする。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「東洋史LD（イスラーム史2）」も受講することが望ましい。

【Outline (in English)】

We survey a history of Islamic area from 7th to 15th century and review the Islamic technical terms. We aim to understand the area and to compare and connect it with another. Before / after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 70%; reaction paper: 30%.

HIS200LA (史学/History 200)

東洋史LD

2017年度以降入学者

サブタイトル：イスラーム史2

長谷部 圭彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本科目では、オスマン・サファヴィー・ムガルの三王朝が並び立った16世紀から現代までの「中東・イスラーム地域」の歴史を概観する。とくに、この地域の大部分を支配したオスマン帝国（1300頃～1922）に焦点をあてる。受講者が、オスマン帝国への理解を深めつつ、他の政治体との比較や連関ができるようになることを目的とする。

【到達目標】

本科目の目標は、受講者が、オスマン帝国の歴史に関する基礎的な知識を習得し、それを論理的に表現できるようになることである。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行う。毎週質問用紙を配布するので、質問や意見を記入してほしい。それには翌週、可能な限り回答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講義概要	講義の目的、成績評価方法等を確認する。
第2回	オスマン史の全体像	オスマン史の時代区分（形成、拡張、変容、刷新、崩壊）を紹介する。
第3回	形成の時代1—戦士集団から君侯国へ	13世紀から15世紀中葉までのオスマン史を概観する。
第4回	形成の時代2—コンスタンティノーブルの征服	コンスタンティノーブルの征服を概観する。
第5回	拡張の時代1—世界帝国への道	15世紀中葉から16世紀前半までのオスマン史を概観する。
第6回	拡張の時代2—スレイマンの時代	16世紀中葉のオスマン史を概観する。
第7回	拡張の時代3—支配組織の確立	16世紀の支配組織を概観する。
第8回	変容の時代1—兵制と税制の変容	16世紀後半から17世紀前半までのオスマン史を概観する。
第9回	変容の時代2—対外関係の変容	17世紀後半から18世紀までのオスマン史を概観する。
第10回	刷新の時代1—改革の序章	19世紀前半のオスマン史を概観する。
第11回	刷新の時代2—二つのナショナリズム	オスマン帝国のナショナリズムを概観する。
第12回	刷新の時代3—社会秩序の変容	19世紀中葉のオスマン史を概観する。
第13回	崩壊の時代1—専制と革命	19世紀後半から20世紀初頭までのオスマン史を概観する。
第14回	崩壊の時代2—帝国の終焉	20世紀前半のオスマン史を概観する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。
準備学習：レジュメに記載されている参考文献を読むこと。
復習：講義内容を、自身の専門と比較したり関連付けたりすること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。レジュメおよび資料を配布する。

【参考書】

新井政美『トルコ近現代史』みすず書房、2001年。
大塚和夫他編『岩波イスラーム辞典』岩波書店、2002年。
小笠原弘幸『オスマン帝国』中央公論新社、2018年。
鈴木董『オスマン帝国』講談社、1992年。
鈴木董『オスマン帝国の解体』筑摩書房、2000年。
永田雄三編『トルコ史』山川出版社、2023年。
永田雄三・羽田正『成熟のイスラーム社会』中央公論社、1998年。
林佳世子『オスマン帝国の時代』山川出版社、1997年。
林佳世子『オスマン帝国500年の平和』講談社、2008年。

【成績評価の方法と基準】

70%: 期末試験

30%: 平常点

【学生の意見等からの気づき】

2023年度の受講生アンケートの結果は以下のとおり（抜粋）。
・自分では普段触れられないような文化や歴史、考え方に触れることができた。
・授業のスピードは早いですが、板書がとても丁寧なのでついていくことができた。
・分かりやすく、面白い内容なので授業を受けるのを毎回楽しみにしていました。
・教授の熱意をとっても感じ、春秋通して受講した甲斐があったと感じる教科だった。間違いなく一番楽しみにしている教科だった。
以上を踏まえ、これまでの授業方法を維持することとする。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「東洋史LC（イスラーム史1）」も受講することが望ましい。

【Outline (in English)】

We survey a history of the Ottoman Empire. We aim to understand it and to compare and connect it with another political body. Before / after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 70%; reaction paper: 30%.

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

内田 康太

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

古代地中海世界に成立した諸国家のうち、アテナイ民主政とローマ共和政の国制について概説する。個々に独立した分析だけではなく、両者の比較という方法でそれぞれの特質を把握することにより、歴史研究における比較史の有用性も学ぶ。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下のとおり。
 ・アテナイ民主政とローマ共和政の国制について基礎的知識を習得する。
 ・両者の国制について、類似点と相違点を説明できる。
 ・両者の国制を比較することの意義を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行うが、授業時間内に質疑応答の機会を設ける。さらに、授業終了後に毎回リアクションペーパーを提出してもらうことで、受講生の理解度、関心事項、疑問点等を確認しながら授業を進めていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	国制について考える
第2回	アテナイ民主政の歴史	アテナイ民主政の誕生から終焉まで
第3回	アテナイ民主政の国制（1）	参政権
第4回	アテナイ民主政の国制（2）	投票
第5回	アテナイ民主政の国制（3）	民会
第6回	アテナイ民主政の国制（4）	役人・公職者
第7回	アテナイ民主政の国制（5）	裁判
第8回	ローマ共和政の歴史	ローマ共和政の誕生から終焉まで
第9回	ローマ共和政の国制（1）	参政権
第10回	ローマ共和政の国制（2）	投票
第11回	ローマ共和政の国制（3）	民会
第12回	ローマ共和政の国制（4）	役人・公職者
第13回	ローマ共和政の国制（5）	裁判
第14回	試験・まとめと解説	到達度の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。参考書として挙げた書籍などを用いて、自主的に学習することが求められる。

【テキスト（教科書）】

特になし。担当教員が作成したレジュメ・資料を配布する。

【参考書】

橋場弦『古代ギリシアの民主政』、岩波新書、2022年。
 島田誠『世界史リブレット3 古代ローマの市民社会』、山川出版社、1997年。

【成績評価の方法と基準】

期末の筆記試験（80%）
 リアクションペーパーや質問等、授業への積極的参加度（20%）

【学生の意見等からの気づき】

受講生の理解を助けるために、図表や図像資料などをより積極的に活用する。また、リアクションペーパーを利用した質疑応答も継続し、可能な限り受講生の関心に沿ったかたちで授業を進める。

【Outline (in English)】

Course outline: This course outlines the constitution of the Athenian democracy and the Roman republic. Not only analyzing them individually but also comparing each other to identify their characteristics, it also helps students learn the usefulness of comparative history.

Learning Objectives: The followings are the goals of this course.

- Students are able to acquire fundamental knowledge concerning the constitution of the Athenian democracy and the Roman republic.
- Students are able to explain similarities and differences between them.
- Students are able to understand the significance of comparing them each other.

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. They are required to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves.

Grading Criteria: Grading will be decided based on term-end examination (80%) and in-class contribution (20%).

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

皆川 卓

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

800年以上ものあいだ西中欧を統合していた「神聖ローマ帝国」の仕組みとその発展を学びます。神聖ローマ帝国は帝国を構成する群小国が皇帝の権威に依存しつつ、人々の生活に必要な実際の政治を行っていくという、奇妙な政治構造をしていました。そのため皇帝は人々を精神的に満たす文化をカトリック教会やルネサンス都市から得、群小国がそれを使って人々の納得を得つつ、実際の政治を行っていました。本講義では最初に神聖ローマ帝国の概要を紹介したあと、こうした社会からどのような技術や価値観、美意識や生まれ、独創的なアイデアが考え出され、遺産として後代の世界に伝えられたかを学びます。

【到達目標】

本授業の目的は、近代国民国家という形にならなかった神聖ローマ帝国という政治的共同体を、当時の歴史的文脈の中において考察し、時代の制約の中で生み出された効果と限界を分析的に理解することです。そこから先に何を学べるかは、受講者の積極的な取り組み次第です。中学歴史分野や高校世界史で学んだことの意味をより批判的に理解できるよう、授業の中に多くのヒントを示しておきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドとプリントによる系統的なスタイルでの講義形式を中心にを行います。単元の終了毎（原則として対面ですが、オンライン回にせざるを得ない場合はその都度）に、オンライン掲示による小テストを実施し、到達度を測ります。対面による質問は随時受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	神聖ローマ帝国の遺産	世界史の難問「神聖ローマ帝国」が、現在の社会を支える多くの遺産を残していることを紹介するとともに、その過去及び現在の評価を論じ、両者の間にあるギャップと問題の所在を把握します。
2	神聖ローマ帝国の成り立ち（1）－統率を欠いた巨大帝国	中世の中欧に出現し、キリスト教による世界支配を掲げた権威と武力の集団が、社会の発展を捉えた地方政権に分裂すると共に、それらが新たな危機に直面するまでを紹介しします。
3	神聖ローマ帝国の成り立ち（2）－協力する体制の発展	帝国から誕生した大小の地方政権が、共同の課題を解決するために結束し、それを維持するための制度を作り出していく過程を説明します。

4	神聖ローマ帝国の成り立ち（3）－滅んだものと受け継がれたもの	帝国を構成する地方政権が国家としての成熟を果たし、それを支える近代思想を受け入れたことを見届けた神聖ローマ帝国が、役割を終えて消えていく過程と、その遺産を論じます。
5	ルネサンス文化と帝国の文明化	親分子分関係から地方政権の連合として再出発した15～16世紀の神聖ローマ帝国が、その絆となる価値としてルネサンス文化を受け入れ、活用する過程を紹介しします。
6	宗派対立と三十年戦争	ルネサンスの根底にある「神」の解釈を巡って神聖ローマの構成国が二つに分断され、激しい宗教戦争を引き起こす過程を論じ、それがいかなる結果をもたらしたのかを考えます。
7	皇帝と領邦君主のバロック戦略	回復した平和を維持するため、宗派を超越した価値観が求められる中、帝国の統治者たちが「バロック文化」を取り入れ、人々を「紀律化」していく経緯を説明します。
8	領邦君主の神聖ローマ帝国	神聖ローマ帝国を支えた地方政権の中で、もっとも重要な役割を果たした「領邦君主」の領国統治の仕組みを、代表的な領国について紹介しします。
9	ドイツ文化のまほろば－帝国自由都市の世界	政治勢力としては小さいものの、神聖ローマの統治のアイデアや経済力、文化を供給した自治都市「帝国自由都市」の発展と、帝国におけるその役割を論じます。
10	ウィーンを支えるイタリア人	皇帝の領国オーストリアとイタリアは、近代の経緯で今でもわだかまりが残るほど緊張を伴う関係ですが、実は帝国を支える上で非常に深い協力関係にあった事実が焦点を当てます。
11	裁かれる国－神聖ローマ帝国の裁判所	神聖ローマの領邦君主や帝国自由都市は、それぞれ国としての性格を持つ一方、皇帝を担いだ平和共同体としての性格も持っていました。その平和と権利を支えた帝国裁判所の活動を紹介します。
12	帝国と科学－グレゴリウス暦の導入を巡って	他の西欧諸国と同様、近世の神聖ローマ帝国も宗教教義と経験合理主義の綱引きの場でした。西欧各国を悩ました暦の導入を巡る論争の行方に、帝国における「科学」の誕生を読み取ります。
13	教育の帝国	中世神聖ローマのアルプス以北の地域は、イタリアやフランスに遠く及ばない教育後進国でした。それが近世に急速に挽回し、教育先進国と呼ばれるまでに成長した経緯とその背景を分析しします。
14	まとめ－神聖ローマ帝国と国家連合のヨーロッパが生まれるもの	近世の神聖ローマ帝国が、集権化する同時期の周辺諸国とは正反対の方法で、同水準の生活と秩序を人々に保証したこと、それは歴史の中でどう評価されるかを、第1回の問題提起を振り返りながらまとめます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・事前に配布されるプリントは必ず授業前に読み、大まかな内容は頭に入れておきます（毎回1時間）。
- ・授業前に参考書やネットを通じて、始めて知る言葉、名前しか知らない言葉について一通り調べ、プリントにメモをします（毎回1時間）。
- ・授業終了後、授業中に分からなかった点について、自分で調べたり教員に質問します（適宜必要時に）。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。（配布プリントがその機能を担います）

【参考書】

- ・草光俊雄・甚野尚志編著『ヨーロッパの歴史Ⅰ－ヨーロッパ史の視点と方法』放送大学教育振興会 2015
- ・成瀬治・山田欣吾・木村靖二編『ドイツ史〈1〉先史～1648年（山川世界歴史大系）』山川出版社 1997
- ・成瀬治・山田欣吾・木村靖二編『ドイツ史〈2〉1648～1890年（山川世界歴史大系）』山川出版社 1996
- ・斎藤寛海編『イタリア史〈2〉中世・近世（山川世界歴史大系）』山川出版社 2021
- ・三佐川亮宏『オットー大帝－辺境の戦士から「神聖ローマ帝国」樹立者』中央公論新社 2023
- ・池谷文夫『神聖ローマ帝国－ドイツ王が支配した帝国』刀水書房 2019
- ・ピーター・H・ウィルソン『神聖ローマ帝国 1495-1806』岩波書店 2005
- ・江村洋『中世最後の騎士－皇帝マクシミリアン1世伝』中央公論社 1989
- ・アルブレヒト・デューラー（前川誠郎訳）『自伝と書簡』岩波書店 2009
- ・ペーター・ブリックレ（服部良久訳）『ドイツの臣民』ミネルヴァ書房 1990
- ・河野淳『ハプスブルクとオスマン帝国－歴史を変えた〈政治〉の発明』講談社 2010
- ・永田諒一『宗教改革の真実－カトリックとプロテスタントの社会史』講談社 2004
- ・ヴェロニカ・C・ウェッジウッド（瀬原義生訳）『ドイツ三十年戦争』刀水書房 2003
- ・エンゲルハルト・ヴァイゲル（三島憲一他訳）『啓蒙の都市周遊』岩波書店 1997
- ・マックス・フォン・バーン（飯塚信雄他訳）『ドイツ十八世紀の文化と社会』三修社 1997
- ・W・H・ブリュフォード（上西川原章訳）『十八世紀のドイツ－ゲテ時代の社会的背景』三修社 1981
- ・今野元『フランス革命と神聖ローマ帝国の試煉－大宰相ダールベルクの帝国愛国主義』岩波書店 2019

【成績評価の方法と基準】

- ・評価は平常点（20%）、単元毎の小テスト（30%）、期末レポート（50%）を総合して評価します。
- ・神聖ローマ帝国の発展を系統的に説明することができ【第1評価プロセス：単元毎の小テスト30%に照応】、授業で学んだ知識を用いて、自分なりに神聖ローマ帝国の歴史をヨーロッパ史の中に批判的に位置づけ、その影響について論じることができること【第2評価プロセス：期末レポート50%に対応】、が基準となります。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

(Course outline) We learn about the structure and development of the Holy Roman Empire, which unified Western and Central Europe for over 800 years. The Holy Roman Empire had a strange political structure in which the small countries that made up the empire relied on the authority of the emperor while carrying out the actual politics necessary for people's lives. Therefore, the emperor obtained a culture that satisfied the people spiritually from the Catholic church and Renaissance cities, and the small countries used it to gain the consent of the people and carry out actual politics. In this lecture, we will first introduce an overview of the Holy Roman Empire, and then learn what kind of technology, values, aesthetic sense, origin, and original ideas were devised from this society and passed on to future generations as a historical heritage.

(Learning Objectives) The purpose of this class is to examine the political community of the Holy Roman Empire, which did not take the form of a modern nation-state, in the historical context of the time, and to analyze the effects and limitations produced within the constraints of the time. It's about understanding. What you learn from there will depend on your active efforts. We will provide many hints in class to help you more critically understand the meaning of what you have learned in junior high school history and high school world history.

(Learning activities outside of classroom)

- ・Be sure to read the handouts distributed in advance before class and keep the general content in mind (1 hour each time).
- ・Before class, I will research all the words I am learning for the first time and words I only know by name using reference books and the internet, and I will make notes on a handout (for 1 hour each time).
- ・After class, students will research on their own or ask questions to the instructor about points they did not understand during class (as appropriate).

(Grading Criteria/Policy)

- ・Evaluation will be based on the average score (20%), quizzes for each unit (30%), and final report (50%).
- ・Be able to systematically explain the development of the Holy Roman Empire [1st evaluation process: corresponds to the 30% quiz for each unit], and use the knowledge learned in class to explain the history of the Holy Roman Empire and European history in one's own way. The standard is to be able to critically position and discuss its impact [second evaluation process: corresponds to 50% of the term report].

HIS200LA (史学/History 200)		第4回	浮き彫りになる太平洋の全体像と探検航海 (I)	西洋世界における探検航海の意味 ようやく太平洋横断が可能になった西洋世界が数々の探検航海を通じて、さらに明確な太平洋像を作り上げていったことを抑えます。
西洋史 L A		第5回	浮き彫りになる太平洋の全体像と探検航海 (II)	西洋世界による太平洋の把握 クックによる科学的知見を求める探検航海を画期として、西洋世界の太平洋認識がアンヴィヴァレント(二律背反的)に変容していく様子を概観します。
サブタイトル：西洋世界による太平洋認識		第6回	強まる西洋と太平洋世界のつながり (I)	捕鯨船、貿易、キリスト教伝道 探検航海後に登場した捕鯨船や貿易、キリスト教伝道が進展するにつれて、西洋から見た太平洋世界には、羨望と侮蔑が入り混じっていたことを理解します。
新井 隆		第7回	強まる西洋と太平洋世界のつながり (II)	太平洋における資本主義の拡大と海のグローバル化 西洋が太平洋世界と関わる中で形成されたヒトやモノの動きは、確かに双方の世界の結びつきを強めました。しかし、その裏には前者による後者の搾取という側面があったことを改めて確認します。
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火5/Tue.5 単位数：2単位		第8回	西洋諸国による太平洋の分割	拡大する植民地化の波と太平洋世界 19世紀末から20世紀はじめにかけて、欧米列強は世界各地で植民地獲得競争に明け暮れ、その波は太平洋世界をも飲み込んでいきました。ここでは、欧米諸国による本格的な太平洋進出が現地社会の在り方を大きく変容させたことを理解します。
その他属性：〈優〉		第9回	南洋をまなざす日本の眼	日本と太平洋の関わり 植民地支配の潮流が世界を覆う中で、日本は国際連盟のC式委任統治領として南洋群島を支配下に置くことになります。ここでは、欧米諸国の太平洋認識にも触れつつ、日本の認識にも太平洋に対する羨望と侮蔑が入り混じっていた様子を確認します。
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】		第10回	軍事衝突の舞台となった太平洋	太平洋における日米の相剋 欧米列強や日本が太平洋にも勢力を伸張させる中で、やがて軍事的対立を深めていく過程を太平洋認識との関わりで理解します。
19世紀末から20世紀前半にかけて、欧米列強による植民地獲得競争が激化し、アフリカやアジアなど世界各地に欧米列強や日本が勢力を拡大させていきました。さらに、植民地支配の流れは、太平洋の島々にも押し寄せていきました。欧米諸国や日本と太平洋世界の関わりには、植民地化以前にも、探検航海や捕鯨船、貿易商人、宣教師などによるものがあり、時代を経ながら羨望と侮蔑が入り混じっていったのです。本授業では、これら太平洋の島々に対する欧米諸国や日本の認識について、俯瞰的な視野で学習していきます。		第11回	太平洋に対する列強諸国の軍事的まなざしの系譜 (I)	植民地支配・戦争・冷戦をくぐった太平洋の島々 第二次世界大戦後の太平洋(ミクロネシア)では、アメリカが国際連合下の戦略信託統治領として、同地域を管轄していました。ここでは、太平洋の島々が日米を中心とする各国から軍事的な要衝として認識されてきたことの歴史的系譜を掴みます。
【到達目標】				
太平洋世界に対する欧米諸国や日本の認識の変遷について、歴史的な背景を踏まえながら自らの理解が深まることを目標とします。西洋や日本の「他者」に対するイメージは、しばしば羨望と侮蔑が入り混じるものでしたが、そうした他者認識の方法は太平洋の島々に対しても顕著なものでした。この授業では、太平洋に関する映像や図像などに注目することで、西洋世界の他者認識の変遷が掴めるようになることを目指します。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1				
【授業の進め方と方法】				
本授業は、基本的に講義形式にて進めていきます。また、内容理解の確認とフィードバックのために、適宜ワークシートを配布するので、各自授業内容のポイントを振り返りながら気づいた点や気になった点を書き込んで提出してもらいます。ワークシートの記載内容は、授業のフィードバックに活用すると同時に、期末レポート作成の際に参照可とするので、各自その点を踏まえた上で取り組むこと。				
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】				
あり/Yes				
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】				
なし/No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
第1回	オリエンテーション	本授業の概要説明ならびに簡単なアイスブレイク		
第2回	西洋と太平洋の邂逅 (I)	「開かれた海」における人の移動と西洋による太平洋イメージの登場 接触以前における太平洋世界の概要に触れながら、西洋側の太平洋世界に対するイメージがはじめは曖昧なかつしか持っていなかったことを確認します。		
第3回	西洋と太平洋の邂逅 (II)	徐々に浮かび上がる太平洋に対する西洋のまなざし 大航海時代をきっかけに太平洋と関わりを持つようになった西洋世界が数々の航海を通して、この大洋の概要を掴もうとしたことを理解します。		

- 第12回 太平洋に対する列強諸国の軍事的まなごしの系譜 (II) 核実験の場と化した太平洋と映画の表象
戦後アメリカやフランス、イギリスなどが太平洋の島々で多くの核実験を実施しました。その影響は実際の被害だけでなく、映像作品などを通じた太平洋認識にも及ぶものであったことを理解します。
- 第13回 南国の楽園としての太平洋イメージ (I) 観光化される太平洋
欧米諸国による太平洋イメージの系譜を眺めてみると、憧憬・羨望と侮蔑が隣り合わせになって登場してきます。そうした認識は植民地化や戦争を通じて醸成されるとともに、観光化によってさらに強化されているということを確認します。
- 第14回 南国の楽園としての太平洋イメージ (II) 南国の楽園としてのハワイ・グアム
太平洋の観光化には、しばしば「南国の楽園」という他者イメージが強く作用しています。ここではハワイやグアムの事例を取り上げながら、特に日米による太平洋認識の一端を確認します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。参考書の欄にあげた文献や授業中に紹介した文献などを自主的に読み、授業で取り上げるテーマについての理解を深めましょう。

【テキスト（教科書）】

山中速人『世界史リブレット 64 ヨーロッパからみた太平洋』山川出版社、2004年 税別729円

【参考書】

- 石川榮吉『日本人のオセアニア発見』平凡社、1992年 5,600円
石森大知・丹羽典生編著『エリア・スタディーズ176 太平洋諸島の歴史を知るための60章—日本とのかかわり』明石書店、2019年 税別2,000円
印東道子編著『エリア・スタディーズ51 ミクロネシアを知るための60章【第2版】』明石書店、2015年 税別2,000円
春日直樹編『太平洋世界叢書2 オセアニア・ポストコロニアル』国際書院、2002年 税別2,800円
金澤周作監修・藤井崇ほか編著『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020年 税別3,200円
ジェームズ・クック（増田義郎訳）『クック 太平洋探検1～6』岩波文庫、2004～2005年 税別各800円
小山哲ほか編著『大学で学ぶ西洋史[近現代]』ミネルヴァ書房、2011年 税別2,800円
佐藤幸男編『太平洋世界叢書1 世界史のなかの太平洋』国際書院、1998年 税別2,800円
塩田光喜『太平洋文明航海記—キャプテン・クックから米中の制海権をめぐる争いまで』明石書店、2014年 税別2,200円
エティエンヌ・タイユミット（増田義郎監修、中村健一訳）『知の再発見双書33 太平洋探検史—幻の大陸を求めて』創元社、1993年 1,359円
瀧田佳子編『変貌するアメリカ太平洋世界6 太平洋世界の文化とアメリカ—多文化主義・土着・ジェンダー』彩流社、2005年 税別3,800円
中山京子編著『エリア・スタディーズ105 グアム・サイパン・マリアナ諸島を知るための54章』明石書店、2012年 税別2,000円
増田義郎『太平洋—開かれた海の歴史』集英社新書、2004年 税別700円
矢口祐人『ハワイの歴史と文化—悲劇と誇りのモザイクの中で』中公新書、2002年 税別840円
—『憧れのハワイ—日本人のハワイ観』中央公論新社、2011年 税別2,000円
山内昌之・古田元夫編『日本イメージの交錯—アジア太平洋のトボス』東京大学出版会、1997年 税別1,800円
山口誠『グアムと日本人—戦争を埋立てた楽園』岩波新書、2007年 税別740円

山中速人『イメージの「楽園」—観光ハワイの文化史』筑摩書房、1992年 税別1,359円
—『ハワイ』岩波新書、1993年 税別620円
吉岡政徳・石森大知編著『エリア・スタディーズ82 南太平洋を知るための58章』明石書店、2010年 税別2,000円

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は、平常点（毎回のワークシートの提出状況・記述状況、受講態度）30%ならびに期末レポート70%の割合で、(1) 毎回の授業に積極的に参加しているかどうか (2) 太平洋をめぐる欧米諸国や日本の認識について関心と理解が深められているかどうかを判断します。

【学生の意見等からの気づき】

写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すとともに、ワークシートのやり取りによるフィードバックを実施しています。

【その他の重要事項】

本授業は西洋史LBとの関わりが大きいので、関心のある学生は西洋史LBの受講も勧めます。

【Outline (in English)】

授業概要 (Course outline)

From the end of the 19th century to the early 20th century, the race to acquire colonies by Western powers intensified, and Western powers and Japan expanded their power in Africa, Asia, and other parts of the world. The involvement of Western nations and Japan with the Pacific world, even before colonization, was through exploratory voyages, whaling ships, traders, and missionaries, and over the ages, envy and contempt were mixed. This course aims to help students acquire a bird's-eye view of Western and Japanese perceptions of these Pacific islands.

到達目標 (Learning Objectives)

The goal of this course is to deepen our understanding of the change in Western and Japanese perceptions toward the Pacific world in the context of historical background. Western and Japanese images of the "other" have often been a mixture of envy and contempt, and this way of perceiving the other has also been evident in the Pacific islands. At the end of the course, students are expected to grasp a part of the change in the Western world's perception of the "other."

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students are required to dedicate a minimum of three hours to comprehend the course material. Students are advised to read the reference materials listed in the reference section and other literature provided in class to deepen their understanding of the topics covered.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)

Your final grade in the class will be determined by a combination of your term-end report (70%) and your in-class contribution, which includes the submission and description of worksheets at each session, as well as your course attitude (30%).

HIS200LA (史学/History 200)		第4回	西洋諸国による太平洋進出の論理	列強による世界分割の論理と太平洋の地域形成 19世紀末から20世紀はじめにかけて、欧米列強は世界各地で植民地獲得競争に明け暮れ、太平洋地域でも各国の勢力争いが繰り広げられました。ここでは欧米諸国や日本が太平洋に各々の勢力を伸張させたねらいを押さえながら、太平洋の地域形成の流れを確認します。
西洋史 L B				
サブタイトル：西洋世界と太平洋地域形成		第5回	アメリカによる太平洋進出の論理 (I)	マニフェスト・デスティニー (明白なる天命) と西漸運動の拡大 アメリカ合衆国の領土拡大と密接な関わりを持っていたマニフェスト・デスティニーが太平洋への進出にもつながっていったことを確認します。
新井 隆		第6回	アメリカによる太平洋進出の論理 (II)	太平洋におけるアメリカの覇権拡大の端緒 19世紀末の米西戦争やハワイ王国の転覆・併合を通して、海外領土の獲得に踏み切っていくアメリカ合衆国の太平洋との関わりについて、軍事的政治的な観点を踏まえて理解します。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火5/Tue.5 単位数：2単位		第7回	日本による太平洋進出の論理 (I)	日本のミクロネシア占領と南洋群島 日本は第一次世界大戦を契機にミクロネシア地域を軍事占領し、のちに「南洋群島」として支配下に置きます。ここでは、日本が南洋群島として同地域を規定していく過程を概観します。
その他属性：〈優〉		第8回	日本による太平洋進出の論理 (II)	日本の南洋群島支配と太平洋地域形成 植民地支配の潮流が世界を覆う中で、日本は国際連盟のC委委任統治領として南洋群島を支配下に置くことになります。ここでは、日米の政治的な緊張関係の醸成が太平洋の地域形成に与えた影響を理解します。
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】		第9回	日米の軍事的相剋と太平洋地域形成の変容	太平洋における日米の軍事的なせめぎ合い 日米が互いに太平洋に勢力を伸張させる中で、やがて軍事的対立を深めていく過程を太平洋地域形成との関わりで理解します。
19世紀末から20世紀前半にかけて、欧米列強による植民地獲得競争が激化し、アフリカやアジアなど世界各地に欧米列強や日本が勢力を拡大させていきました。その結果生じた列強間の対立はやがて二度の世界大戦につながり、太平洋の島々にも植民地支配と戦争が大きな影響を与えることになりました。本授業ではこれらの歴史的背景を踏まえた上で、太平洋の地域形成について、特に19-20世紀における日米との関わりを中心に学習します。		第10回	戦後太平洋世界における地域形成 (I)	戦後の信託統治領としての太平洋 第二次世界大戦後の太平洋 (ミクロネシア) では、アメリカが国際連合下の戦略的信託統治領として、同地域を管轄していました。ここでは、冷戦対立が深まる戦後世界における太平洋地域形成について理解を深めます。
【到達目標】		第11回	戦後太平洋世界における地域形成 (II)	冷戦下における太平洋の島々と核実験 戦後アメリカやフランス、イギリスなどが太平洋の島々で多くの核実験を実施しました。その影響について、戦後における太平洋地域形成との関わりで理解します。
19-20世紀における太平洋地域形成の流れについて、歴史的な背景を踏まえながら、自らの理解が深まることを目標とします。現在太平洋に関する名称については、オセアニアやミクロネシア、ポリネシア、メラネシアなどいくつかの呼称が用いられています。これらの呼び名が用いられるようになった背景には、欧米諸国や日本による植民地支配や戦争の影響が色濃く見られます。この授業では、太平洋をめぐる各国の相剋の事例をいくつか取り上げながら、太平洋地域形成の流れが掴めるようになることを目指します。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1				
【授業の進め方と方法】				
本授業は、基本的に講義形式にて進めていきます。また、内容理解の確認とフィードバックのために、適宜ワークシートを配布するので、各自授業内容のポイントを振り返りながら気づいた点や疑問点を書き込んで提出してもらいます。ワークシートの記載内容は、授業のフィードバックに活用すると同時に、期末レポート作成の際に参照可とするので、各自その点を踏まえた上で取り組むこと。				
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】 あり/Yes				
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし/No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
第1回	オリエンテーション	本授業の概要説明ならびに簡単なアイスブレイク		
第2回	西洋と太平洋の関わり (I)	西洋世界の太平洋認識のはじまり 大航海時代からクックらによる探検航海の進展までを通じて、西洋世界が太平洋を認識するようになり、関わりを深めていく過程を概観します。		
第3回	西洋と太平洋の関わり (II)	西洋世界による太平洋像の把握 数々の探検航海により太平洋の全体像を把握していった西洋世界が捕鯨船、貿易、キリスト教伝道、植民地化などを通じて、一つの地域として太平洋を認識していく過程を抑えます。		

- 第12回 太平洋島嶼国の「独立」と地域形成 (I) 太平洋における脱植民地化の進展と課題 (マイクロ・ステートとMIRAB経済)
1970年代から90年代にかけて、太平洋地域でも脱植民地化の流れが進み、「独立」を達成する国も登場してきます。しかし、「独立」後も同地域は大国の強い影響にさらされていきます。ここでは、主に第二次世界大戦後におけるアメリカと太平洋島嶼国・地域との関係構築の変遷を追いながら、太平洋地域形成における問題点を確認します。
- 第13回 太平洋島嶼国の「独立」と地域形成 (II) 軍事化・観光化された「南国の楽園」
太平洋の島々では、しばしば「南国の楽園」という他者イメージが強く作用することで観光化が進んだり、主に米軍による島の軍事化が推進されたりしてきました。ここではハワイやグアムの事例を取り上げながら、太平洋地域における軍事化・観光化と地域形成のつながりを理解します。
- 第14回 太平洋をめぐる地域形成の系譜とオセアニア・オリエンタリズム 太平洋を語る主体とは
太平洋をめぐるものでは、これまでも欧米諸国や日本から様々な名称で呼ばれてきました。ここでは、太平洋をめぐる呼称の裏に、植民地支配や戦争など様々な歴史的背景が絡んでいたことを改めて確認するとともに、そうした呼称の主体が太平洋の地域形成と密接に関わっていたことを理解します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。参考書の欄にあげた文献や授業中に紹介した文献などを自主的に読み、授業で取り上げるテーマについての理解を深めましょう。

【テキスト (教科書)】

特に指定しません。

【参考書】

- ・麻田貞雄『兩大戦間の日米関係—海軍と政策決定過程』東京大学出版会、1993年 定価7,828円
- ・麻田貞雄編・訳『マハン海上権力論集』講談社学術文庫、2010年 税別920円
- ※同書は『アメリカ古典文庫 8 アルフレッド・T・マハン』研究社出版、1977年をもとに「解説」などの加筆修正を行い、再編集されたものである
- ・浅野豊美編『南洋群島と帝国・国際秩序』慈学社出版、2007年 税別6,000円
- ・ロニー・アレキサンダー『大きな夢と小さな島々—太平洋島嶼国の非核化にみる新しい安全保障観』国際書院、1992年 3,200円
- ・池上大祐『アメリカの太平洋戦略と国際信託統治—米國務省の戦後構想 1942~1947』法律文化社、2014年 税別3,700円
- ・石森大知・丹羽典生編著『エリア・スタディーズ176 太平洋諸島の歴史を知るための60章—日本とのかかわり』明石書店、2019年 税別2,000円
- ・今泉裕美子「日本の軍政期南洋群島統治(1914-22)」『国際関係学研究』(17) (別冊)、1990年
- 「日本軍による支配の実態と民衆の抵抗—ミクロネシア」『歴史評論』(508)、1992年
- 「南洋群島委任統治政策の形成」大江志乃夫・浅田喬二ほか編『岩波講座 近代日本と植民地4 統合と支配の論理』岩波書店、1993年
- 「太平洋の「地域」形成と日本—日本の南洋群島統治から考える」大津透・桜井英治・藤井謙二ほか編『岩波講座 日本歴史 第20巻 地域論 (テーマ巻1)』岩波書店、2014年

- ・印東道子編著『エリア・スタディーズ51 ミクロネシアを知るための60章【第2版】』明石書店、2015年 税別2,000円
- ・遠藤泰生・油井大三郎編『変貌するアメリカ太平洋世界1 太平洋世界の中のアメリカ—対立から共生へ』彩流社、2004年 税別3,800円
- ・大庭三枝『アジア太平洋地域形成への道程—境界国家日豪のアイデンティティ模索と地域主義』ミネルヴァ書房、2004年 税別6,000円
- ・春日直樹編『太平洋世界叢書2 オセアニア・ポストコロニアル』国際書院、2002年 税別2,800円
- ・春日直樹編『オセアニア・オリエンタリズム』世界思想社、1999年 税別3,500円
- ・金澤周作監修・藤井崇ほか編著『論点・西洋史学』ミネルヴァ書房、2020年 税別3,200円
- ・キース・L・カマチョ (西村明・町泰樹訳)『戦禍を記念する—グアム・サイパンの歴史と記憶』岩波書店、2016年 税別5,400円
- ・紀平英作・油井大三郎編著『シリーズ・アメリカ研究の越境 第5巻 グローバリゼーションと帝国』ミネルヴァ書房、2006年 税別3,500円
- ・ジェームズ・クック (増田義郎訳)『クック 太平洋探検1~6』岩波文庫、2004~2005年 税別各800円
- ・熊谷圭知・塩田光喜編『マタンギ・パシフィック—太平洋島嶼国の政治・社会変動』アジア経済研究所、1994年 4,800円
- ・小林泉『アメリカ極秘文書と信託統治の終焉—ソロモン報告・ミクロネシアの独立』東信堂、1994年 定価3,811円
- ・小山哲ほか編著『大学で学ぶ西洋史[近現代]』ミネルヴァ書房、2011年 税別2,800円
- ・酒井一臣『近代日本外交とアジア太平洋秩序』昭和堂、2009年 税別4,700円
- ・佐藤幸男編『太平洋世界叢書1 世界史のなかの太平洋』国際書院、1998年 税別2,800円
- ・塩田光喜編『海洋島嶼国家の原像と変貌』アジア経済研究所、1997年 定価4,738円
- ・塩田光喜『太平洋文明航海記—キャプテン・クックから米中の制海権をめぐる争いまで』明石書店、2014年 税別2,200円
- ・清水昭俊・吉岡政徳編『オセアニア3 近代に生きる』東京大学出版会、1993年 3,090円
- ・エティエンヌ・タイユミット (増田義郎監修、中村健一訳)『知の再発見双書33 太平洋探検史—幻の大陸を求めて』創元社、1993年 税別1,359円
- ・高橋章『アメリカ帝国主義成立史の研究』名古屋大学出版会、1999年 税別5,800円
- ・田所昌幸・阿川尚之編『海洋国家としてのアメリカ—パクス・アメリカーナへの道』千倉書房、2013年 税別3,400円
- ・等松春夫『日本帝国と委任統治—南洋群島をめぐる国際政治1914-1947』名古屋大学出版会、2011年 税別6,000円
- ・長島怜央『アメリカとグアム—植民地主義、レイシズム、先住民』有信堂高文社、2015年 税別6,000円
- ・中野聡『歴史経験としてのアメリカ帝国—米比関係史の群像』岩波書店、2007年 税別3,500円
- ・原貴美恵『サンフランシスコ平和条約の盲点—アジア太平洋地域の冷戦と「戦後未解決の諸問題」』溪水社、2005年 税別3,500円
- ・藤原帰一『デモクラシーの帝国—アメリカ・戦争・現代世界』岩波新書、2002年 税別740円
- ・古矢旬『アメリカニズム—「普遍国家」のナショナリズム』東京大学出版会、2002年 5,800円
- 『アメリカ 過去と現在の間』岩波新書、2004年 税別740円
- ・古矢旬・山田史郎編著『シリーズ・アメリカ研究の越境 第2巻 権力と暴力』ミネルヴァ書房、2007年 税別3,500円
- ・ジョン・C・ベリー (北太平洋国際関係史研究会訳)『西へ! —アメリカ人の太平洋開拓史』PHP研究所、1998年 3,780円
- ・増田義郎『太平洋—開かれた海の歴史』集英社新書、2004年 税別700円
- ・松島泰勝『ミクロネシア—小さな島々の自立への挑戦』早稲田大学出版部、2007年
- ・矢崎幸生『ミクロネシア信託統治の研究』御茶の水書房、1999年 8,000円
- ・矢野暢『「南進」の系譜：日本の南洋史観』千倉書房、2009年 (新版) 税別5,000円
- ※初版は、『「南進」の系譜』1975年ならびに『日本の南洋史観』1979年として、いずれも中公新書から出版されている

- ・山中速人『世界史リブレット64 ヨーロッパからみた太平洋』山川出版社、2004年 税別729円
- ・山本吉宣編『変貌するアメリカ太平洋世界3 アジア太平洋の安全保障とアメリカ』彩流社、2005年 税別3,800円
- ・油井大三郎『好戦の共和国アメリカー戦争の記憶をたどる』岩波新書、2008年 税別780円
- ・渡辺昭夫『アジア・太平洋の国際関係と日本』東京大学出版会、1992年 定価3,708円

【成績評価の方法と基準】

成績評価の方法と基準は、平常点（毎回のワークシートの提出状況・記述状況、受講態度）30%ならびに期末レポート70%の割合で、(1) 毎回の授業に積極的に参加しているかどうか (2) 欧米諸国や日本との歴史的な関わりを踏まえつつ、太平洋地域形成の変容について各自の関心と理解が深められているかどうかを判断します。

【学生の意見等からの気づき】

写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すとともに、ワークシートのやり取りによるフィードバックを実施しています。

【その他の重要事項】

本授業は西洋史LAとの関わりが深いため、同授業も受講しておく、より理解が深まります。

【Outline (in English)】

授業概要 (Course outline)

From the end of the 19th century to the early 20th century, Western powers and Japan intensified their efforts to acquire colonies and expand their influence in Africa, Asia, and other parts of the world. As a result, the conflict between the powers eventually led to two world wars, and colonial rule and warfare had a major impact on the Pacific islands. Based on these historical backgrounds, this course aims to help students examine Japan and the US relationship in the 19th and 20th centuries, and how it has impacted the formation of the Pacific Ocean region.

到達目標 (Learning Objectives)

The course aims to provide historical context and a deepened understanding of the formation of the Pacific region in the 19th and 20th centuries. Currently, the Pacific Ocean is commonly referred to by several names including Oceania, Micronesia, Polynesia, and Melanesia. The use of these names has strong ties to colonial rule and wars waged by Western countries and Japan. By discussing several examples of conflicts among countries over the Pacific Ocean, students are expected to understand the formation of the Pacific region.

授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students are expected to dedicate two hours to understanding the course content. Students are advised to enhance their comprehension of the subjects covered in the course by reading the recommended literature cited in the reference section and other course materials.

成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policies)

Your final grade for the course will be determined by your performance in two areas: a term-end report worth 70% and in-class contribution, which includes submission and description of worksheets at each session, and course attitude, worth 30%.

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 知

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

16世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を行います。リアクションペーパー等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業内容の紹介	16世紀から19世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第2回	16世紀のイギリス1	バラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第3回	16世紀のイギリス2	16世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第4回	イギリス帝国の形成1	15世紀末からの初期の海外進出から17世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第5回	イギリス帝国の形成2	17世紀ヘゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第6回	イギリス帝国の形成3	17世紀末からのフランスとの対立の中18世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。
第7回	イギリス商業革命1	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。

第8回	イギリス商業革命2	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第9回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第10回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第11回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第12回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第13回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第14回	試験・まとめと解説	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に変更しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点20%、学期末の試験80%）。

【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline (in English)】

< Course outline >

British History from the 16th century to the 19th century

In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary British history
- 2) Students are able to understand British history in view of its interaction with the rest of the world.
- 3) Students are able to learn diverse perspectives in history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination: 80%

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：古代アテナイの法と社会—殺人訴訟を中心に—

内川 勇海

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

都市国家アテナイでは、紀元前6世紀末から前4世紀後半まで、高度に発達した民主政の下で人々が生活していた。民主政アテナイにおいては様々な行政制度が精緻に整備され、司法制度も例外ではなかった。本講義では、アテナイ民主政の成立と発展を概観したのち、アテナイの司法制度、特に殺人訴訟の事例に注目することで、当時の司法制度運用の実態と、殺人事件への人々の対応について考察する。その際、法制度の枠に留まらず、当時の倫理規範や宗教観念が、殺人訴訟に対してどのような影響を与えたのかという点についても論じる。

【到達目標】

古代アテナイ民主政の仕組みを理解するとともに、アテナイで行われた殺人訴訟の事例の検討を通じて、アテナイの司法制度の運用実態に関する知見を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリントを用いて講義形式で進める。必要に応じて授業内で質問やリアクションペーパーの記入を求めることもある。質問は主なものを取り上げ、次回授業でコメントする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本講義の目的と概要について説明する。
第2回	アテナイ民主政の成立と発展①	アテナイの司法制度を理解するための前提として、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第3回	アテナイ民主政の成立と発展②	第2回に引き続き、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第4回	アテナイ司法制度概観①	アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第5回	アテナイ司法制度概観②	第4回に引き続き、アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第6回	アテナイ殺人法概観①	古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第7回	アテナイ殺人法概観②	第6回に引き続き、古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第8回	アテナイの殺人訴訟①—有意思殺人・殺意を有する傷害・毒殺・放火	アレイオス・バゴス評議会で裁かれた殺人事件について説明する。

第9回	アテナイの殺人訴訟②—無意志殺人・殺人計画・在留外人、外国人、奴隷の殺害	パッラディオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第10回	アテナイの殺人訴訟③—合法殺人	デルフィニオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第11回	アテナイの殺人訴訟④—国外追放中の殺人犯が犯した別の殺人に対する訴訟	ブレアトスの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第12回	アテナイの殺人訴訟⑤—犯人不明、動物、無生物による殺人	ブリュタネイオンで裁かれた殺人事件について説明する。
第13回	アテナイの殺人訴訟⑥—特殊事例	民衆法廷で裁かれた殺人事件、および殺人に関連した罪について説明する。
第14回	全体のまとめ	半年間の講義を振り返り、全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。必要に応じて参考書や配布プリントを読み、予習・復習を行うこと。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

『民主主義の源流』、橋場弦、講談社学術文庫、2016年
『古代ギリシアの民主政』、橋場弦、岩波新書、2022年
他の文献は授業内で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点50% * 毎授業後のリアクションペーパーの内容によって評価する。
最終レポート50%

【学生の意見等からの気づき】

図像資料の提供を増やす。適宜休憩をはさむ。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、授業中のパソコンやタブレットの使用は可能。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

< Course outline > After overviewing the development of ancient Athenian democracy, we will focus on Athenian legal system and how it works. In particular, homicide trials will be discussed in detail.

< Learning objectives > Students are able to understand ancient Athenian legal system and how it works.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50%
Final report: 50%

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 知

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

16世紀以降、イギリス人は積極的に海外に進出し、一大帝国を築くに至ります。近年のイギリス史研究では帝国の存在がイギリスの歴史を強く規定してきたことを強調する傾向にあります。また、イギリス帝国への関心はその経済的側面に留まらず、文化や社会のあり方にまで広がっています。この授業では、こうしたイギリス帝国の多様なあり方を見ていくこととします。

【到達目標】

ただ、過去の事実の確認にとどまらず、それがなぜ起きたのか、また、過去の出来事が現在のイギリスの社会といかに関係するのか、あるいは、イギリスの動向が世界のその他の地域の動向といかに密接に結びついているのかといった点に力点を置きつつ、歴史学における多様なものの捉え方をあわせて提示できればと希望します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を行います。リアクションペーパー等でのコメント、質問は随時授業内で紹介し、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業内容の紹介	16世紀から19世紀にかけてのイギリスの歴史の流れを概観します。
第2回	16世紀のイギリス1	バラ戦争や宗教改革、ウェールズとの合同を通じて国家統合が進む過程を説明します。
第3回	16世紀のイギリス2	16世紀のイギリス経済が停滞していたこと、それに伴って浮浪者問題など社会が混乱していたことを説明します。
第4回	イギリス帝国の形成1	15世紀末からの初期の海外進出から17世紀初頭の海外進出が軌道に乗るまでの過程を説明します。
第5回	イギリス帝国の形成2	17世紀ヘゲモニー国家として繁栄したオランダと対立する中、航海法体制を確立する過程を説明します。
第6回	イギリス帝国の形成3	17世紀末からのフランスとの対立の中18世紀中頃に第一帝国を完成させる過程を説明します。
第7回	イギリス商業革命1	イギリス帝国の形成がイギリスの経済にどのような影響を与えたのか貿易面に焦点をあて説明します。

第8回	イギリス商業革命2	イギリス帝国の形成が貿易に留まらず、経済全般に影響を与え、結果、産業革命をもたらした過程を説明します。
第9回	イギリス生活革命	イギリス帝国の形成がイギリスの生活文化に与えた影響について説明します。
第10回	砂糖と西インド諸島	イギリス商業革命、イギリス生活革命で重要な役割を果たしたのが砂糖ですが、その生産を行っていた西インド諸島がその結果低開発の道を進むことになったことを説明します。
第11回	大西洋黒人奴隷貿易	イギリスは植民地経営に必要な労働力を獲得する手段として大西洋黒人奴隷貿易を盛んに行いました。この貿易がイギリス帝国およびアフリカに与えた影響について説明します。
第12回	13 植民地の独立	13 植民地の独立の過程と独立がイギリスに与えた影響について説明します。
第13回	産業革命と帝国	産業革命の展開と帝国が果たした役割について説明します。
第14回	試験・まとめと解説	第一イギリス帝国の形成がイギリスの内外に与えた影響について総括します

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の前に前回のノートを読み返して下さい。
また、紹介する参考文献を積極的に読むようにして下さい。
本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に変更しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業の区切りにリアクションペーパー等を書いて頂き、この提出をもって平常点とします。これら平常点と学期末の試験の総合評価とします（平常点20%、学期末の試験80%）。

【学生の意見等からの気づき】

視覚教材を積極的に活用したいと思います。

【Outline (in English)】

< Course outline >

British History from the 16th century to the 19th century

In this lecture, the formation of the British Empire and the influence of the empire on Britain and her dependencies will be discussed.

< Learning objectives >

- 1) Students are able to acquire basic knowledge about modern and contemporary British history
- 2) Students are able to understand British history in view of its interaction with the rest of the world.
- 3) Students are able to learn diverse perspectives in history.

< Learning activities outside of classroom >

Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books and learn by themselves.

< Grading policy >

Class participation and assignments: 20% Final examination: 80%

HIS200LA (史学/History 200)

西洋史 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：古代アテナイの法と社会—殺人訴訟を中心に—

内川 勇海

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

都市国家アテナイでは、紀元前6世紀末から前4世紀後半まで、高度に発達した民主政の下で人々が生活していた。民主政アテナイにおいては様々な行政制度が精緻に整備され、司法制度も例外ではなかった。本講義では、アテナイ民主政の成立と発展を概観したのち、アテナイの司法制度、特に殺人訴訟の事例に注目することで、当時の司法制度運用の実態と、殺人事件への人々の対応について考察する。その際、法制度の枠に留まらず、当時の倫理規範や宗教観念が、殺人訴訟に対してどのような影響を与えたのかという点についても論じる。

【到達目標】

古代アテナイ民主政の仕組みを理解するとともに、アテナイで行われた殺人訴訟の事例の検討を通じて、アテナイの司法制度の運用実態に関する知見を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリントを用いて講義形式で進める。必要に応じて授業内で質問やリアクションペーパーの記入を求めることもある。質問は主なものを取り上げ、次回授業でコメントする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	本講義の目的と概要について説明する。
第2回	アテナイ民主政の成立と発展①	アテナイの司法制度を理解するための前提として、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第3回	アテナイ民主政の成立と発展②	第2回に引き続き、アテナイ民主政の成立と発展について説明する。
第4回	アテナイ司法制度概観①	アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第5回	アテナイ司法制度概観②	第4回に引き続き、アテナイの法律と裁判制度について説明する。
第6回	アテナイ殺人法概観①	古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第7回	アテナイ殺人法概観②	第6回に引き続き、古代アテナイの殺人関連の法律や訴訟手続について説明する。
第8回	アテナイの殺人訴訟①—有意思殺人・殺意を有する傷害・毒殺・放火	アレイオス・バゴス評議会で裁かれた殺人事件について説明する。

第9回	アテナイの殺人訴訟②—無意志殺人・殺人計画・在留外人、外国人、奴隷の殺害	パッラディオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第10回	アテナイの殺人訴訟③—合法殺人	デルフィニオンの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第11回	アテナイの殺人訴訟④—国外追放中の殺人犯が犯した別の殺人に対する訴訟	ブレアトスの神域で裁かれた殺人事件について説明する。
第12回	アテナイの殺人訴訟⑤—犯人不明、動物、無生物による殺人	ブリュタネイオンで裁かれた殺人事件について説明する。
第13回	アテナイの殺人訴訟⑥—特殊事例	民衆法廷で裁かれた殺人事件、および殺人に関連した罪について説明する。
第14回	全体のまとめ	半年間の講義を振り返り、全体のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。必要に応じて参考書や配布プリントを読み、予習・復習を行うこと。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

【参考書】

『民主主義の源流』、橋場弦、講談社学術文庫、2016年
『古代ギリシアの民主政』、橋場弦、岩波新書、2022年
他の文献は授業内で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 50 % *出席の他、リアクションペーパーの内容によって評価する。
最終レポート 50 %

【学生の意見等からの気づき】

図像資料の提供を増やす。適宜休憩をはさむ。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、授業中のパソコンやタブレットの使用は可能。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

< Course outline > After overviewing the development of ancient Athenian democracy, we will focus on Athenian legal system and how it works. In particular, homicide trials will be discussed in detail.

< Learning objectives > Students are able to understand ancient Athenian legal system and how it works.

< Learning activities outside of classroom > Students have to spend at least two hours on preparation for and review of each class respectively. They are expected to read relevant books, such as those listed in the reference section, and learn by themselves. They also have to work on assignments given by the instructor.

< Grading policy > Class participation and assignments: 50%
Final report: 50%

HIS200LA (史学/History 200)

日本史L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：日本の耕地と集落（村）の史的展開

日本の歴史のうち、日本の原風景、伝統的な景観であり、主に耕地と集落で成り立つ、村（ムラ）の歴史について、各時代の政治と経済を背景としながら、通史的に学習することができる。特に、現在の市町村の基盤となる村が成立する、近世・近代が重点となる。耕地と集落は、棚田に代表されるように、人間と自然との共同作品で、文化的景観として近年注目されている。世界的に優良なその景観は、世界遺産の選定項目となり、日本でも優良な景観は、文化財保護法、農林水産業の重要文化的景観に選定されており、文化財としての意義がある。授業では前提として、日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）を読み、その重要性を理解するとともに、耕地や集落が文化財としてどのような意義があるのかを学ぶことができる。（学問分野：日本史、日本地域史、日本村落史、環境歴史学、文化財学）

【到達目標】

日本史研究の基礎資料である歴史資料（古文書）や耕地と集落の文化財的な意義を踏まえ、日本の農林水産業の地域基礎単位である村（ムラ）に関する通史的な学習を通じ、教科書的な理解を越え日本史に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、対面授業の講義形式で行う。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業の場および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は主として適宜配信または配布した資料により、シラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	日本史における耕地と集落の意義 日本史研究の基礎
第2回	日本史学入門	歴史資料の提示、解説、歴史資料の内容解説、背景
第3回	文化財保護法と耕地と集落	文化財・重要文化的景観からみた村（耕地と集落）
第4回	弥生・古墳時代の村	縄文・弥生移行期、弥生・古墳時代の耕地と集落
第5回	古代の政治と経済	古代の村と領主支配との関係
第6回	古代の村	古代の開発、条里と村、荘園と村、初期武士団の村
第7回	中世の政治と経済	中世の村と領主支配との関係
第8回	中世の村	村の景観、惣村と在家、開発と経営、近世の村との関係
第9回	近世の村の景観	村の基本構成要素、様々な村のかたち

第10回	近世の村の機能	村で作成される様々な文書、ムラの運営
第11回	幕藩領主の農政と近世の村（1）	近世中期までの領主財政と年貢収奪
第12回	幕藩領主の農政と近世の村（2）	吉宗政権の年貢増徴策と新田開発、土地政策
第13回	近代の村	地租改正、戸長制、大区小区制、地方三新法、地方改良運動と村
第14回	現代の村	農地改革、昭和の市町村合併と村、高度成長下の耕地と集落

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

〈1〉準備学習：あらかじめ配信または配布した資料を一読、一覧しておくこと。各授業の時代背景を、日本史年表で調べておくことが望ましい。

〈2〉復習：日本各地の地名が出てくるので、馴染みがない地名は地名辞典などで調べておくこと。授業内レポートに備えて、授業の内容を各回まとめておくこと。

〈3〉本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。適宜配信・配布した資料に沿って授業を行う。

【参考書】

〈1〉『村の語る日本の歴史 古代・中世編』、『村の語る日本の歴史 近世編①』、『村の語る日本の歴史 近世編②』木村礎著（1983年 そしえて）

〈2〉『日本の農業150年 1850～2000年』暉峻衆三編著（2003年 有斐閣）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート・リアクションペーパー 30%）と期末レポート（70%）で、評価を決める。

授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末レポートは課題に対する豊富な内容に応じて評価する。

リアクションペーパーは、履修者の手書きとする。

【学生の意見等からの気づき】

オンデマンド授業資料（音声付属）を利用する場合は、形式的になる説明部分に関しては、口頭で追加の情報資源を伝える予定である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the historical explores the features of the Japanese village society from the perspective of people's life and an abundant historical and geographic image.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the historical features of the Japanese village society.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%、Short class reports : 30%.

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

森 朋久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：江戸時代転換期における政治・経済・社会
日本の江戸時代の歴史のうち、おもに転換期となる享保改革期から田沼政治期の政治・経済・社会（農村・都市）について、地域環境の変化に留意しながら学ぶことができる。具体的には、最近の成果を取り入れながら、一般的に知られているこの時期の諸事象と諸政策が歴史上どのような意義をもつのかを理解することを学習・教育目標とする。また、江戸時代における地域の諸相や地域基礎単位であり、町人や武家の生業生活の場である「都市」および農民の生産生活の場である「村」に注目しながら、日本近世史を学ぶことができる。（学問分野：日本近世史、日本地域史、日本都市史、日本都市近郊農村史）

【到達目標】

江戸時代研究の重要な情報資源である近世文書や江戸時代の政治（幕政・藩政）・経済・社会（都市江戸および江戸近郊・周辺農村）に関する学習などを通じ、教科書的な理解を越え当該期に対する新たな歴史観と問題意識を形成することを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、対面授業の講義形式で行うことを基本とする。なお、変更が生じた場合は、速やかに対面授業の場および学習支援システムの「お知らせ」機能を用いて連絡する。各回の授業は、主として資料の配信または配付によりシラバス通りに進める。授業内レポート提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。昨年、大河ドラマの主演となった、徳川家康、その妻子（築山殿・松平信康など）も話題とする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の内容と進め方についての説明
第2回	吉宗政権の成立	家康～吉宗の時代推移と地域 吉宗政権の性格
第3回	行政機構の改革と法令の整備	老中制度及び勘定所機構の整備 法令集の編さん
第4回	享保改革期の農政	農政の特徴
第5回	都市政策の前提	都市江戸の成立と河川 武家屋敷の展開
第6回	都市政策の展開	江戸の防火政策 経済政策 風俗・出版統制
第7回	田沼政権の成立	家重政権時代の意次 意次権力の拡大
第8回	通貨制度の改革	江戸時代の通貨の特徴 田沼政権発行の貨幣
第9回	間接税の導入	百姓一揆と財政窮乏策 株仲間の役割

第10回	幕政と藩政（1）	幕府の銅貿易と秋田藩の産銅政策
第11回	幕政と藩政（2）	幕府の通貨政策と秋田藩の銭鑄造
第12回	江戸近郊の地域史	江戸の青物市場 江戸近郊農村における野菜生産と下肥流通
第13回	江戸周辺の地域史	利根川の歴史と流域住民の共生
第14回	日本通史、地域史における享保改革・田沼政治期の意義	享保改革・田沼政治期はなぜ転換期と呼ばれるのか、江戸と近郊・周辺地域との関係は如何なるものなのかを、総体的に考えていきます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

常にノートを整理し、配信または配布した資料などを改めて読みなおすなど、次回に備えるようにしてもらいたい。なお、本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは指定しない。適宜資料を配信・配布する。

【参考書】

- 〈1〉『幕藩体制の展開と動揺 上（日本歴史大系10）』井上光貞ほか著（山川出版社）
〈2〉『大江戸歴史の風景』加藤貴編著（山川出版社）
その他、参考となる文献は、講義の中で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小レポート・リアクションペーパー 30%）と期末レポート（70%）で、評価を決める。授業内レポートは授業内容の理解度に応じて、また期末レポートは課題に対する豊富な内容に応じて評価する。
リアクションペーパーは、履修者の手書きとする。

【学生の意見等からの気づき】

授業で利用する資料を、対面授業教室のみではなく、オンラインでの配布を求める意見があり、これを実行する予定である。
関東に関わる歴史事象の紹介が昨年度好評だったので、今年度も引き続きこれを行う予定である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course deals with the historical explores the administration, the economy and the society of Japan in the early modern period including the social system of Edo and its surrounding areas.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to understand the economy and the society of Japan in the early modern period.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%、Short class reports : 30%、

HIS200LA (史学/History 200)

日本史L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉時代の幕府政治史を概観する。幕府内部で繰り返された内紛と、幕府の政治意志決定のあり方を中心に、関連する史料を読みながら検討していく。

【到達目標】

鎌倉幕府政治史の流れを理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配布するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。

学期内（2回の予定）と学期末にレポートを提出してもらう。レポートはすべて期限内に提出することを必須とする。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明。
2	源頼朝執政期の幕府政治(1)	寿永2年10月宣旨、文治勅許など。
3	源頼朝執政期の幕府政治(2)	頼朝上洛、建久7年の政変、頼朝執政期の評定など。
4	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治(1)	比企氏事件、頼家・実朝期の評定など。
5	将軍源頼家・実朝、北条政子期の幕府政治(2)	和田合戦、承久の乱、政子期の評定など。
6	執権北条泰時・経時期の幕府政治(1)	伊賀氏事件、宇津宮辻子幕府移転など。
7	執権北条泰時・経時期の幕府政治(2)	評定、御成敗式目など。
8	執権北条泰時・経時期の幕府政治(3)	経時の訴訟制度改革など。
9	執権北条時頼・長時期の幕府政治(1)	寛元の政変、宝治合戦など。
10	執権北条時頼・長時期の幕府政治(2)	引付設置、得宗時頼など。
11	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治(1)	引付廃止・再設置、寄合、二月騒動など。
12	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治(2)	霜月騒動、平禅門の乱など。
13	得宗北条時宗・貞時・高時期の幕府政治(3)	貞時の訴訟制度改革、貞時・高時期の評定・寄合など。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。

本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配布する。

【参考書】

本郷恵子『京・鎌倉 ふたつの王権』（小学館、2008年）

川合 康『源平の内乱と公武政権』（吉川弘文館、2009年）

小林一岳『元寇と南北朝の動乱』（吉川弘文館、2009年）

近藤成一『鎌倉幕府と朝廷』（岩波新書、2016年）

その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期内および学期末のレポートで総合評価する（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies political history of the Kamakura Shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

2 mid-term reports and 1 term-end report:100%

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

仁平 義孝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

鎌倉幕府の基本法である御成敗式目を読む。その内容は多岐にわたるが、ここでは犯罪や訴訟手続きに関する条文を読み、鎌倉幕府法の特徴を考えていく。

【到達目標】

鎌倉幕府法の特徴を理解し、史料に基づく検証方法を学ぶことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は講義形式で行う。講義資料を学習支援システムにて配布するので、受講生は各自でプリントアウトして受講すること。

学期内（2回の予定）と学期末にレポートを提出してもらう。レポートはすべて期限内に提出することを必須とする。学期内に課すレポートについては、最終授業で解説する。

質問は授業終了後や、学習支援システムの掲示板などで受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	御成敗式目について (1)	御成敗式目制定の目的などの解説。
2	御成敗式目について (2)	御成敗式目の条文構成などの解説。
3	御成敗式目第9条	謀叛の罪について。
4	御成敗式目第10条	殺害・刃傷の罪について。
5	御成敗式目第11条	夫の罪科の妻への縁坐について。
6	御成敗式目第21・24条	離婚・再婚と女性所領について。
7	御成敗式目第12条	悪口の罪について。
8	御成敗式目第13・14条	殴人の罪および地頭代の罪について。
9	御成敗式目第15条	謀書の罪について。
10	御成敗式目第33条	強盗・窃盗・放火の罪について。
11	御成敗式目第34条	密懐の罪について。
12	御成敗式目第51条	問状狼藉について。
13	御成敗式目第35条	召文違背の罪について。
14	まとめ	授業内容のまとめと学期内レポートの解説。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

参考書や授業時に紹介する文献を読む。

本授業の準備・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

なし。講義資料を学習支援システムにて配布する。

【参考書】

『中世政治社会思想 上』（日本思想大系21、岩波書店、1972年）

笠松宏至編『中世を考える 法と訴訟』（吉川弘文館、1992年）

水林彪・大津透・新田一郎・大藤修編『法社会史』（新体系日本史2、山川出版社、2001年）

佐藤雄基『御成敗式目』（中公新書、2023年）

その他、授業時に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

学期内および学期末のレポートで総合評価する（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

講義資料のわかりにくい表現を改める。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course studies law of the Kamakura shogunate.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquisition of the study method of the Kamakura era.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria/Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following

2 mid-term reports and 1 term-end report:100%

HIS200LA (史学/History 200)

日本史L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本中世社会をまなぶ1

貫井 裕恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ「世界の記憶」に採択されている国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を学びます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいかに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。*日本史L IIもあわせて受講することを強く推奨します。

【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて、日本中世社会への理解を深める。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を味わう。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・文化財のもつ多様な価値とさまざまな見方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。
- ・国際社会において日本の歴史文化や文化財の魅力を説明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。

毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに回答するかたちで復習を行います。

授業期間内に、任意の美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の目的と課題、評価方法などの説明
2	歴史学の流れと日本中世史	歴史学の発展と、そのなかでの日本中世史研究の大きな流れを学ぶ
3	中世社会と東寺	日本中世社会の構造と、そのなかでの東寺の位置づけなど、本授業のおおまかな流れや前提となる知識を学ぶ
4	東寺百合文書について	東寺百合文書の特徴と採択されているユネスコ「世界の記憶」について学ぶ
5	寺院組織	東寺をはじめとする中世寺院の組織と構造を学ぶ
6	史料管理（アーカイブズ）	中世寺院における史料管理のありかたを学ぶ

7	芸能	能・狂言の淵源となった、中世寺院周辺で行われた様々な芸能を学ぶ
8	喫茶文化	中世寺院における僧侶や民間における喫茶文化を学ぶ
9	寺誌・縁起	寺院における歴史叙述のありかたを学ぶ
10	絵巻	『弘法大師行状絵巻』など寺院における絵巻作成の背景や利用方法などを学ぶ
11	荘園の構造・荘園絵図の世界	中世荘園制社会について学び、荘園絵図も紹介しつつ、中世社会の諸問題を学ぶ
12	文化財を守り伝える	文化財が現代まで守り伝えられてきた意義を学ぶ
13	現代社会と歴史学研究	現代社会において歴史学を学ぶ意義を学び、受講者と討論する
14	まとめ	受講者の質疑応答とレポート内容の報告会および講評、本講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

【参考書】

- ・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003年
- ・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998年

【成績評価の方法と基準】

レポート60%、平常点40%で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

- ・日本史L IIもあわせて受講することを強く推奨します。
- ・日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。
- ・高校で日本史を学んでいなくても、受講に支障はありません。
- ・日本の歴史と文化、文化財の魅力を自分の言葉で海外に発信できるようにしましょう。

【Outline (in English)】

【Course outline】 The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】 The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】 You spend 2hours preparing and reviewing each class. 【Grading Criteria/Policy】 You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本中世社会をまなぶ2

貫井 裕恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ユネスコ世界記憶遺産に採択された国宝「東寺百合文書」をおもな題材として、歴史を学ぶための基本的な考え方を習得し、史料読解の方法を身につけます。「東寺百合文書」は寺院社会のみならず、朝廷・公家・武家・民衆といったあらゆる階層の人々のすがたをいまに伝える貴重な文書群です。「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深めましょう。*日本史ⅡIもあわせて受講することを強く推奨します。同授業の発展的内容になります。

【到達目標】

- ・「東寺百合文書」を通じて日本中世社会への理解を深める。
- ・歴史研究における論理展開の発想と、文献に基づく議論構築の手法を学ぶ。
- ・歴史史料から歴史像を浮かび上がらせる醍醐味を味わう。
- ・文化財のもつ多様な価値と読み解き方を学ぶ。
- ・くずし字に親しみ、解読できるようになる。
- ・国際社会において日本の歴史文化や文化財の魅力を説明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に対面授業で実施しますが、大学の方針に従い、適宜柔軟に対応します。学習支援システムを通じてお知らせします。毎回の講義ごとに、レビューシート（リアクションペーパー）の提出を求めます。次の授業で、レビューシートに寄せられた疑問や質問、気づきに回答するかたちで復習を行います。授業期間内に、任意の美術館・博物館へ見学に行ってください、感想の提出を求めます。上記のレビューシート同様に、授業内で共有します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	本授業の概要や評価方法を知る
2	歴史学と日本中世史	日本における歴史学の流れと、中世史の歩みを学ぶ
3	寺院史料論	中世寺院における史料（聖教・古文書等）とその社会について学ぶ
4	寺院史料と東寺百合文書	中世寺院における史料群の形成と伝来を概観し、東寺百合文書の特徴を探る
5	中世寺院・東寺の誕生	古代から鎌倉初期に至る東寺の歴史を学ぶ
6	鎌倉幕府と東寺	建久年間の文覚上人による東寺復興事業や蒙古襲来をとりあげながら、寺院と武家の関わりを学ぶ

7	本末相論	鎌倉中～末期における東大寺・醍醐寺の本末相論との関わりにより焦点をあてながら、同時期の東寺の宗教環境を学ぶ
8	アーカイブズの形成と伝来	中世寺院における文書・聖教群の形成と管理のありかたを学ぶ
9	東寺領荘園の展開	鎌倉末期から南北朝期にかけて拡充した東寺領荘園とその展開を学ぶ
10	東寺の伽藍修造事業	東寺大勧進職が推進した室町期における修造事業について学ぶ
11	弘法大師信仰の展開	東寺御影堂を中心に展開した弘法大師信仰とその社会的意義を学ぶ
12	寺院の芸能	古典芸能に通じる、室町期に発達した寺院における芸能について学ぶ
13	応仁・文明の乱	応仁・文明の乱という大乱に際して、人びとがどのように対応したのかを学ぶ
14	まとめ	現代社会において歴史学研究成果の果たす役割を学ぶ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・使用テキストは事前に予習しておく。（各回2時間程度。予習の仕方については教場で説明します。）
- ・プリントやノートをを用いた復習を行う。（各回2時間程度。復習の仕方については教場で説明します。）
- ・本授業の最終にレポートをまとめて提出する。（テーマや執筆方法については、教場でお伝えします。）

【テキスト（教科書）】

適宜配布します。

【参考書】

- ・佐藤進一『新版 古文書学入門』法政大学出版局、2003年
 - ・京都府立総合資料館編『東寺百合文書にみる日本の中世』京都新聞出版センター、1998年
- このほか、授業の進行状況に応じてお伝えします。

【成績評価の方法と基準】

レポート60%、平常点40%で評価する。ただし、平常点には、毎回提出を求めるレビューシートでの意見・感想の内容を含む。

【学生の意見等からの気づき】

毎回提出を求めているレビューシートに基づき、次回の授業の冒頭でレビューシートの内容を紹介しながら復習を行い、授業内容のフォローアップを実施する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし

【その他の重要事項】

- ・日本史ⅡIもあわせて受講することを強く推奨します。
- ・日本の古代・中世に関心のある方はもちろん、日本の文化、美術館や博物館、文化財に興味を抱く学生の履修をとくにお待ちしております。
- ・高校で日本史を学んでいなくても、受講に支障はありません。
- ・日本の歴史と文化、文化財の魅力を自分の言葉で海外に発信できるようにしましょう。

【Outline (in English)】

【Course outline】 The Outline of this class is learning of the medieval history of Japan. 【Learning Objectives】 The aim of this course is to help students acquire the necessary skills and knowledge needed to understand the medieval history of Japan. 【Learning activities outside of classroom】 You spend 2hours preparing and reviewing each class. 【Grading Criteria /Policy】 You need to hand over review sheets each class and reports last class.

HIS200LA (史学/History 200)

日本史L I

2017年度以降入学者

サブタイトル:

鈴木 多聞

開講時期:春学期授業/Spring | 曜日・時限:土2/Sat.2

単位数:2単位

その他属性:〈優〉

【授業の概要と目的(何を学ぶか)】

本講義は日本近代史(政治史、社会史)に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本近代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科:DP3・DP4、法学部・政治学科:DP1、法学部・国際政治学科:DP1、文学部:DP1、経営学部:DP3、国際文化学部:DP2、人間環境学部:DP2、キャリアデザイン学部:DP1

【授業の進め方と方法】

講義においては、双方向的なやりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更については、本講義の開始日に説明する。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】授業形態:対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本近代史を考える	日本近代史の見方や解釈について、先行研究の論点を整理し、考察を深める。
2	空襲と国民	空襲の残した爪痕について「戦後」も含めて考察する。
3	日本近代史の中の病気	「流感」やその他の病気が、日本近代史に与えた社会的影響について考える。
4	明治憲法と戦前の日本	いわゆる明治憲法体制の形成と崩壊について考える。
5	皇族と戦前の日本	皇族たちの近代史について考える。
6	第一次世界大戦と日本	近年の研究動向をふまえ、100年以上前の戦争の記憶について考える。
7	皇族と三種の神器	三種の神器や賢所、宮中の制度などについて考える。
8	満洲事変と日本外交	「満洲事変」が日本の国内政治をどのように変容させたのかについて考える。
9	戦争と捕虜	「捕虜」「俘虜」などの定義などについて考える。
10	二・二六事件と陸軍	二・二六事件とその思想的背景について考える。

11	日独伊三国同盟と重臣	いわゆる「三国同盟」について、当時の史料を読みながら、この問題について考察を深める。また、同盟理論についても考察を深める。
12	「アジア・太平洋戦争」の時代	戦前の朝鮮・台湾・アジアとの関係について考える。
13	シベリア抑留と日ソ関係	近衛文隆や宇野宗佑、三波春夫など、多くの人が抑留されました。抑留中に歌われた音楽やナヴォイ劇場にまつわる言説についても取り上げます。
14	原爆投下について考える	原爆投下についての論争などについて整理し「戦後」の問題も考える。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(各回のコメント)30%
簡単な小レポート(複数回)50%
テスト 20%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 50%

Class participation (weekly comments) 30%

Final test 20%

HIS200LA (史学/History 200)

日本史Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 多聞

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は日本現代史（政治史）に関する知識を身につけるとともに、歴史学、政治学の基礎的概念を理解することを目的としています。史料やデータを正確に解釈し、全体像をバランスよく把握する能力は、現代社会を生きていく上でも重要です。

【到達目標】

日本現代史に関する基礎的な知識を習得し、簡単な文章を書けるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義においては、双方向的なやりとりを重視する。課題の中で優秀な小レポートについては、その都度、授業内において取り上げ、講評を行う。また、授業の最後に寄せられたコメントについても、次週の授業において取り上げる。新型コロナウイルスの感染拡大の状況によっては、内容に若干の変更を伴うこともある。オンライン、対面授業等などの実施予定にともなう、各回の授業計画の変更については、本講義の開始日に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本現代史について考える	「戦前」と「戦後」について考えます。
2	老病死の「終戦史」	「病気」「身体」といった要因が政治に与えた影響を考える。
3	日露戦争と鈴木貫太郎	近年の研究動向をふまえ、日露戦争のインパクトについて考える。
4	真珠湾攻撃と日米戦争	2021年の80周年にあたってのメディアや記憶について考える。
5	新憲法の制定過程	日本国憲法の制定過程について概観します。
6	東条英機と「東京裁判」	国際政治の文脈から「東京裁判」を考えます。
7	昭和天皇と平沼騏一郎	平沼騏一郎とその政治グループの位置づけについて考えます。
8	55年体制の成立と岸信介	岸信介とその政治グループの位置づけについて考えます。
9	占領政策の転換と吉田茂	吉田茂とその政治グループの位置づけについて考えます。
10	風化する戦争体験と「五感」	五感を歴史学の文脈で語ることは難しいです。空襲警報の音や、戦争における「匂い」などについて考えます。

11	政治とシンボル	「国家」「陸軍」「海軍」は見えなくても、シンボルは目に見えます。国旗、軍旗、軍艦、日本刀、石碑、いろいろなものについて考えてみたいと思います。
12	日中国交正常化と高度成長	戦後の日中・日台関係について概観します。
13	冷戦の終結と日米関係	日米関係を長期的視点から考察します。
14	21世紀の日本外交相互理解に向けて	日本の内政と外交がどのような関連性を持っているのかを理解します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

開講時に指示する。

【参考書】

開講時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点（各回のコメント）30%

小レポート（複数回）50%

テスト20%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course will help students understand modern Japanese history, especially political and social history. Students will also gain a general understanding of the disciplines of history and political science. The ability to analyze historical materials and data to obtain a balanced view of a topic is a critical skill for modern life.

(Learning Objectives) Students will acquire a basic understanding of modern Japanese history while also learning how to write short essays.

(Learning activities outside of classroom)

Preparation time: 2 hours per class

Review time: 2 hours per class

(Grading Criteria /Policy)

Short reports 50%

Class participation (weekly comments) 30%

Final test 20%

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

宗教論 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

古澤 有峰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

グローバルな視点から、宗教の社会貢献や中立性、利他等について再考する。

【到達目標】

国際社会の中の宗教をめぐる課題や問題点（宗教の社会貢献や公共における宗教的中立性など）について、具体例の検証などを通じて学習・理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	「宗教」を取り巻く諸問題について、国際社会の中の宗教という観点から再考する
2	理論編	宗教・中立・公共性—講義理解のための“理論入門”
3	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（1）	赤十字の思想と実践を例に
4	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（2）	阪神大震災を例に
5	国際社会の中の宗教 ①災害支援は誰のためか（3）	東日本大震災を例に
6	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（1）	中絶論争を例に
7	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（2）	臓器移植を例に
8	国際社会の中の宗教 ②あなたのからだは誰のものか（3）	終末期医療を例に
9	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（1）	心のケア、その課題と問題点
10	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（2）	スピリチュアルケアの功罪：理念と実際
11	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（3）	スピリチュアルケアの功罪：歴史的背景

12	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（4）	スピリチュアルケアの功罪：中立性をめぐって
13	国際社会の中の宗教 ③心と魂のケアは何のためか（5）	音楽と癒しを例に
14	まとめ	全体を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が40%、最終レポートが60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course deals with religions' contributions, neutrality, and altruism towards society from a global standpoint. (Learning Objectives) The goals of this course are deep learning and understanding of issues and problems surrounding religion in the international community (such as the contribution of religion to society and religious neutrality in the public sphere) through examination of specific examples. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to make an effort to understand the contents of the class using the handouts, notes, and reference books provided, and to ask questions if there are any points that are not clear. (Grading Criteria /Policies) Grading will be decided based on the initial and mid-term reports(40%) and term-end report (60%).

PHL200LA (哲学 / Philosophy 200)

宗教論 L II

2017年度以降入学者

サブタイトル：

古澤 有峰

開講時期：秋学期授業 / Fall | 曜日・時限：木4 / Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ジェンダーの視点からキリスト教と宗教を捉えなおす。

【到達目標】

理論と実際の両方を検証する事を通じて、ジェンダーとキリスト教および宗教をめぐる問題や課題について学習・理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。教科書は使用せず、配布資料に沿って授業を進めていく。初回レポートおよび中間レポートの提出を求める。コメントに対するフィードバックは資料配信によって行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面 / face to face

回	テーマ	内容
1	導入	ジェンダーの視点からキリスト教と宗教を捉えなおす
2	基礎知識編	ジェンダーの視点からキリスト教における「聖書」「神」を再考する
3	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ (1)	世界における宗教の歴史的動向と、キリスト教における性的マイノリティ
4	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ (2)	ジェンダーの定義と歴史的背景
5	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた性的マイノリティ (3)	ライフヒストリーから考える
6	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理 (1)	キリスト教の体系化の歴史と中絶論争
7	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理 (2)	脳死・臓器移植・生殖医療・再生医療
8	ジェンダーとキリスト教・宗教からみた生命倫理 (3)	看取り・終末期医療
9	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (1)	心と魂のケア、その課題と問題点
10	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (2)	スピリチュアルケアの功罪：理念と実際

11	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (3)	スピリチュアルケアの功罪：歴史的背景
12	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (4)	スピリチュアルケアの功罪：中立性をめぐって
13	ジェンダーとキリスト教・宗教からみたスピリチュアルケア (5)	音楽と癒しを例に
14	まとめ	全体を振り返る

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。配布資料やノート、指示される参考書を使って授業内容をよく理解するよう努め、わからない点があれば質問すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しない。

【参考書】

授業で適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度が40%、最終レポートが60%。前者は初回レポートと中間レポートの内容、後者は上記「到達目標」がどの程度達成されているかによって評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の興味関心や理解度に配慮した授業を心がける。

【Outline (in English)】

(Course outline) This course deals with Christianity and religion from the perspective of gender. (Learning Objectives) The goals of this course are deepen learning and understanding of issues and problems surrounding Christianity and religion from the perspective of gender through examination of specific examples. (Learning activities outside of classroom) Students will be expected to make an effort to understand the contents of the class using the handouts, notes, and reference books provided, and to ask questions if there are any points that are not clear. (Grading Criteria /Policies) Grading will be decided based on the initial and mid-term reports(40%) and term-end report (60%).

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル: ミクロ経済学・マクロ経済学の要点を速習する

中平 千彦

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 2単位

その他属性: 〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この講義は、春学期開講『経済学LA』(担当:中平)です。この講義で学んだ内容は、秋学期開講『経済学LB』(担当:中平)に接続されます。

春学期開講『経済学LA』では、大学基礎レベルの「ミクロ(マイクロ)経済学」と「マクロ経済学」を担当教員がコンパクトに解説し、受講生にそれらを速習してもらうことを目指します。

受講生の皆さんは、「経済学」に対してどのような印象を持っているでしょうか? 経済学は、我々の形成する社会で観察される、経済主体の活動や相互依存関係によって導かれた多様な経済問題を分析し、その中に存在する経済法則を究明することによって、望ましい社会的経済厚生を研究する学問です。あるいは、希少性を有する財・サービスの最適な選択と配分を、相互に競合する目的を考慮しながら決定し、また、その決定を行うための方法を研究する学問です。

【到達目標】

・ミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学の理論的基礎を説明できるようになる。

・ミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学に関する基本的問題を、社会的科学的に思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

経済理論を大別すると、「ミクロ(マイクロ)経済学」と「マクロ経済学」の2つになります。「ミクロ(マイクロ)経済学」は、個々の経済主体における最適化された行動を前提に、市場における経済主体間の相互関係、資源配分と所得配分の決定における市場機構の役割などを分析する、あるいは、いくつかの代表的な公理に依拠した最適化行動に基づき、個から市場、そして経済全体へとアプローチする研究分野です。一方、「マクロ経済学」は、消費者部門における消費、企業部門における投資と生産物供給、政府部門における財政支出と貨幣供給、貿易バランス、そして、それらの相互連関によって決定される国民所得、インフレーションと失業、景気変動などに着目し、経済全体についての集計変数における均衡水準と決定経路を分析する研究分野です。これらの2分野は相互補完的な関係にあります。例えば、「ミクロ(マイクロ)経済学」において、個々の経済主体の最適な行動がマクロ経済にいかなる影響を与えるかを分析するには、「マクロ経済学」の理論が必要となります。また、「現代マクロ経済学」にとって「マクロ経済学のミクロ(マイクロ)的基礎」は不可欠な要素となっています。

この講義では「ミクロ(マイクロ)経済学」と「マクロ経済学」の基礎理論を学びますが、講義時間に余裕があれば、「ミクロ(マイクロ)経済学」の理論と現実との関係、また、マクロ経済学や公共政策学のミクロ(マイクロ)的基礎などのトピックも採り入れたいと思っています。

我々には、講義回数14回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よくミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力します。また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	経済学の基本問題と経済システム	経済学の基本問題と市場の仕組み、経済システム

第02回	消費者と生産者の行動 (I)	選好と効用関数、需要関数
第03回	消費者と生産者の行動 (II)	生産技術と費用関数(1)
第04回	消費者と生産者の行動 (III)	生産技術と費用関数(2)、供給関数
第05回	市場均衡 (I)	完全競争市場と調整過程、余剰と比較静学
第06回	市場均衡 (II)	部分均衡と一般均衡、独占市場と独占的競争市場
第07回	経済厚生	市場の失敗、パレート効率性、厚生経済学の基本定理
第08回	国民所得分析の基礎	SNA、マクロ経済指標
第09回	消費関数	消費と消費関数
第10回	投資関数	投資と投資関数
第11回	有効需要と乗数理論	有効需要の原理、乗数効果
第12回	IS・LM曲線と総需要曲線・総供給曲線	IS曲線・LM曲線および総需要曲線・総供給曲線による経済分析
第13回	インフレ需要曲線	インフレ需要曲線による経済分析
第14回	インフレ供給曲線	インフレ供給曲線による経済分析

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
- ・受講後に講義ノートとテキストによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト (教科書)】

- ・塩澤修平(著)(2011)『基礎コース 経済学(第2版)』新世社。

【参考書】

- ・浅田統一郎(著)(2022)『マクロ経済学基礎講義(第4版)』中央経済社。
- ・浅田統一郎(著)(2017)『ミクロ経済学の基礎(第2版)』中央経済社。
- ・アセモグル,ダロン/レイブソン,デヴィッド/リスト,ジョン(著),岩本康志(監訳),岩本千晴(訳)(2020)『入門経済学』東洋経済新報社。
- ・井堀利宏(著)(2021)『入門経済学(第4版)』新世社。
- ・ステイグリッツ,ジョセフ・E./ウォルシュ,カール・E.(著),薮下史郎/秋山太郎/巖川靖浩/大阿久博/木立力/宮田亮/清野一治(訳)(2012)『ステイグリッツ入門経済学(第4版)』東洋経済新報社。
- ・福岡正夫(著)(2008)『ゼミナール経済学入門(第4版)』日本経済新聞出版社。
- ・マンキュー, N. グレゴリー(著),足立英之/石川城太/小川英治/地主敏樹/中馬宏之/柳川隆(訳)(2019)『マンキュー入門経済学(第3版)』東洋経済新報社。
- ・Bade, Robin and Michael Parkin (2022) *Foundation of Economics* (9th ed.)(global edition, pap.), Pearson.
- ・Hirshleifer, Jack, Amihai Glazer and David Hirshleifer (2005) *Price Theory and Applications: Decisions, Markets, and Information* (7th ed.)(pap.), Cambridge Univ. Press.
- ・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien (2018) *Essentials of Economics* (6th ed.), Pearson.
- ・Hubbard, R. Glenn and Anthony Patrick O'Brien (2022) *Economics* (8th ed., Global Edition), Pearson.
- ・Krugman, Paul and Robin Wells (2023) *Essentials of Economics* (6th ed., International Edition), Macmillan Learning.
- ・Landsburg, Steven E (2024) *Price Theory and Applications* (10th ed.)(pap.), World Scientific Publishing.
- ・Sloman, John and Dean Garratt (2023) *Essentials of Economics* (9th ed.)(paper), Pearson Education Limited.

【成績評価の方法と基準】

- ・[定期試験点(90%) + 平常点(10%) = 総合点(100%)]の評点配分で成績が決定されます。
- ・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
- ・公式行事の参加や疾病などによるやむを得ない欠席は、原則として出席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

- ・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】

- ・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】

- ・出席確認を行いますので注意してください。
- ・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。

・本講義の趣旨は、アカデミックな経済学の基礎理論を平易に解説することですが、公務員、国税専門官、公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士、ファイナンシャル・プランナーなどの、各種資格・就職試験で経済学を受験科目として選択する受講生にも配慮した解説を行います。

【オフィス・アワー】

・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

【関連科目】

・秋学期のリベラルアーツ科目『経済学LB』(担当：中平)、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline (in English)】

【Course outline】

* This course is designed to provide the student with an opportunity to understand the basic theory of microeconomics and macroeconomics. Generally, economic theory broadly divided into two parts - microeconomics and macroeconomics. Microeconomics focuses on decision making at the individual level, while macroeconomics studies the economy as a whole.

* This course is a comprehensive guide on how to get started with microeconomics and macroeconomics.

【Learning Objectives】

* Through this course, the students will be able to:

- explain the basic theories of microeconomics and macroeconomics;
- think and express basic issues of economics from the aspect of social science.

【Learning activities outside of classroom】

* Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.

* Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

【Grading Criteria/Policy】

*Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100%).

*Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.

*Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル: 応用経済学としての観光経済学を学ぶ

中平 千彦

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 2単位

その他属性: 〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本講義では、応用経済学の一分野としての「観光経済学」を学びます。観光経済学のトピックの中で、特に基本的フレームワークを形成する主要な項目を、ミクロ(マイクロ)経済学とマクロ経済学の理論に立脚して理解することを目指します。

【到達目標】

・観光経済学の基礎的事項を説明できるようになる。
・観光経済学に関する基本的問題をミクロ(マイクロ)・マクロ経済学理論に基づいて思考・表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

観光経済学は、経済学理論に基づき、また、経済学の関連領域に属する学問を包含し、広義の観光活動を分析する、応用経済学の一種と位置付けられるものです。さらに、現代における広義の観光経済学は、観光客の支出決定、観光市場の構造、観光行動における意思決定、観光企業間の連携、観光による外貨発生効果と範囲、観光資源の貢献可能性、観光政策などを包括的に研究する分野となっています。

本講義では、観光の現状と課題、観光統計、投資理論、消費理論、消費者行動と観光、観光需要、観光サービス供給、観光市場の機能、観光市場の失敗、経済成長と観光、世界遺産と観光、我が国の観光と課題などの項目を学びます。なお、必要に応じて、公共経済学などの知識を補充し、学習内容の拡充を試みます。

我々には、講義回数14回という厳しい時間制約が課されていますが、担当教員は、受講生諸氏が要領よく観光経済学の基礎項目を学ぶことができるよう努力します。また、この講義が、受講生各位における将来の発展的学習・研究に役立つものとなることを願っています。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	観光の現状と課題、SNAと観光統計(1)	観光のもたらす課題、SNAの概念と観光統計
第02回	SNAと観光統計(2)	SNAの基本構造、サテライト勘定の意義と分類
第03回	観光市場の機能	市場需要曲線と市場供給曲線、市場均衡と市場調整、観光財・サービスの価格決定メカニズム
第04回	消費理論と観光(1)	消費と消費関数、消費関数における短期と長期
第05回	消費理論と観光(2)	消費決定の仮説、観光消費の性質
第06回	投資理論と観光(1)	投資と投資の決定要因、限界効率と投資判断
第07回	投資理論と観光(2)	投資の限界効率表と投資量の決定
第08回	消費者行動と観光(1)	消費者行動と需要曲線、観光サービスの対象と選択
第09回	消費者行動と観光(2)、観光需要	観光需要と弾力性、観光需要の実際
第10回	観光サービス供給	観光サービス供給、観光市場の構造
第11回	観光市場の失敗	市場の失敗と観光分析

第12回	公共財とコモンプール財	公共財、コモンプール財と資源の過剰利用
第13回	観光成長と観光	インバウンド市場とアウトバウンド市場、観光発展の将来
第14回	世界遺産とエコツーリズム、観光の課題と将来	世界遺産の基礎知識、エコツーリズムの事例と課題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
・受講後に講義ノートとテキストによって講義内容を復習してください。また、必要に応じて予習を行ってください。

【テキスト (教科書)】

・中平千彦/数田雅弘(編著)『観光経済学の基礎講義』九州大学出版会、2017年。

【参考書】

・M.T.シンクレア/M.スタブラー(著)、小沢健市(監訳)(2001)『観光の経済学』学文社。
・ジェームズ・マック(著)、瀧口/藤井(監訳)(2005)『観光経済学入門』日本評論社。
・ステイブ・J. ページ(著)、木谷/松下/図師(訳)(2001)『交通と観光の経済学』日本経済評論社。
・A.ブル(著)、諸江/吉岡/菊池/小沢/原田/池田/和久井(訳)(1998)『旅行・観光の経済学』文化書房博文社。
・山内/山本/山崎/川口(編)(2022)『観光経済学:理論とデータで学ぶ』斐婁閣。
・Bull, Adrian (1995) *The Economics of Travel and Tourism* (2nd revised ed.), Longman.
・Dwyer, Larry, Forsyth, Peter, and Wayne Dwyer (2020) *Tourism Economics and Policy* (2nd ed.), Channel View Books.
・Hall, C. Michael and Allan M. Williams (2019) *Tourism and Innovation* (2nd ed.), Routledge.
・Stabler, Mike J., Papatheodorou, Andreas., and M. Thea Sinclair (2009), *The Economics of Tourism* (2nd ed.), Routledge.
・Sullivan, Charlotte (ed.)(2016) *Leisure and Tourism Economics*, Willford Press.
・Tribe, John (2020) *The Economics of Recreation, Leisure and Tourism* (6th ed.), Routledge.
・Vanhove, Norbert (2022) *The Economics of Tourism Destinations* (4th ed.), Routledge.
・Chen, Yong (2021) *Economics of Tourism and Hospitality: A Micro Approach*, Routledge.

【成績評価の方法と基準】

・[定期試験点(90%) + 平常点(10%) = 総合点(100%)] の評点配分で成績が決定されます。
・単位認定には規定数以上の出席が必要です。
・公式行事の参加や疾病などによるやむを得ない欠席は、原則として出席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

・受講生による講義アンケートの結果は、講義内容を改善するための参考資料とします。

【学生が準備すべき機器他】

・特別な指定はありません。

【その他の重要事項】

・出席確認を行いますので注意してください。
・テキストは購入し、参考文献の購入は、必要性に応じて判断してください。

【オフィス・アワー】

・講義終了後、または、相談により個別の日程を設定。

【関連科目】

・春学期のリベラルアーツ科目『経済学LA』(担当: 中平)、また、リベラルアーツ科目、あるいは各学部で開講されている科目で、経済学、統計学に関わるもの。

【Outline (in English)】

【Course outline】

*The aim of the course is to provide students with an opportunity to gain and enhance the knowledge of tourism economics. Namely, this course is designed to provide a basic understanding of the scientific approaches to economics of tourism, particularly in the field of economic theory.

*In this course, you will learn how the microeconomics and macroeconomics are applied to the analysis of tourism.

[Learning Objectives]

- * Through this course, the students will be able to:
 - explain the fundamental problems of tourism economics;
 - think and express basic issues of tourism economics from the aspect of microeconomics and macroeconomics.

[Learning activities outside of classroom]

- * Students will have normally 2 hours of preparation and review for each class.
- * Students are expected to prepare for a class and to review what was learned in each class by the textbook or the lecture note as necessary.

[Grading Criteria/Policy]

- *Final examination(90%) + Active Participation(10%) = Evaluation Score(100%).
- *Students must meet the minimum attendance requirements to get course credits.
- *Absence due to unavoidable circumstances is regarded as equivalent to attendance in general.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 誠

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈未〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は金融をこれまで学んだことのない学生向けに、経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。春学期の授業では、経済学における金融の意味と金融で利用される言葉やその意味、さらに計算方法などを身に着け、生活の上で、金融のリテラシーを身に着けることを目指す。

【到達目標】

この授業では、金融リテラシーを身に着けるために、1、歴史的な金融の発展、2、身近な金融活動の発見、3、金融の意義と意味、4、自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにでも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。春学期の目標は、一般の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事を読んで、理解できる水準への到達である。

ただし、金融は奥が深く、春学期の授業はその入り口に立ったに過ぎない、さらに、一歩踏み出した議論は、秋学期に行いたいと考えているので、履修する学生には春と秋の履修を勧めたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

昨年度に続き、対面による授業として実施する。ただし、履修生の皆さんには資料を配信し、各自で理解を深めてもらうように配慮する。なお、配布する資料は教科書と合致しない部分がある。理解する目的は同じであっても、履修する皆さんにとって理解のしやすい方法で、あるいは、理解できる段階から説明することを心掛けて作成しているためである。また、皆さんには出席に代えた「クイズ」を出して、重要な点の理解を図るようにしたいと考えている。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業内容の紹介、歴史的な経済活動の発展	本授業の進め方、評価についての解説、人類の経済活動の発展と経済行動における工夫や発明
2	身近にみる金融商品や金融活動	日ごろの生活で利用される金融商品や金融活動について詳しく学ぶ
3	金融取引と必要な知識	銀行における取引について考える、また、その際に必要とされる知識について学ぶ
4	評価する、価値を測る（第1章、第2章）	金融活動において、将来の価値や現在の価値を測ることが重要となる。その方法を学ぶ
5	企業における金融取引、債券と株式の発行と投資	企業が発行する債券と株式について学ぶ。特にその違いについて理解を深める。

6	債券の評価（第3章）	債券の価格をどのように求めるか、その方法を学ぶ
7	債券投資の理論（第10章）	債券を運用する際の基礎となるデュレーションについて意味と計算方法を学ぶ。
8	債券投資の理論（第10章） 続き	債券ポートフォリオのデュレーションとイミュニゼーションについて学ぶ
9	中間テスト	第1講から第8講までの内容の理解を確認する。
10	確率変数の基礎知識（第11章）とポートフォリオ理論（第12章）	期待値や標準偏差など統計値の計算方法を確認する。ポートフォリオ理論の導入を図る。
11	投資理論（第12章と第13章）	2資産からなる危険資産によるポートフォリオを構築する。ポートフォリオ理論を発展させCAPMについて学習する
12	コーポレートファイナンス①（第7章）	企業の資金調達について検討する。
13	コーポレートファイナンス②（第7章）	企業の資金調達におけるモジリアニ=ミラーの定理（MM理論）を学習する。
14	期末試験	Hoppi上でこれまで学習した範囲の試験を行う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。特に力を入れてほしいのは、復習と日ごろの生活での習慣である。復習はしっかりと自分の頭で考えたり、計算をしてほしい。目で見て理解しただけでは利用することはできない。日々の生活では、ニュースを見る、新聞を読む、30分でも日々の生活で経済事象を知ることが、授業を受ける上で大きなきっかけとなる。

【テキスト（教科書）】

手嶋宣之著「基本から本格的に学ぶ人のためのファイナンス入門」ダイヤモンド社

ISBN:978-4-478-01630-5

【参考書】

必要に応じて授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は次の3つの項目に基づいて行う。1、各回の授業に付随するクイズ（20%）、2、第8回に実施する中間テスト（40%）、3、第15回に実施する期末テスト（40%）である。中間試験と期末試験は授業期間内で行う。また、各回のクイズはHoppi上で提示される。なお、クイズは毎回実施するとは限らない。成績評価は以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね90%以上、A:優れた成績であるもの、概ね80%以上、B:秀でた成績である者、概ね70%以上、C:平均的な水準である者、概ね60%以上、D:基準に満たない者。

【学生の意見等からの気づき】

資料配布だけでは関心が希薄となりがちであるので、必要に応じてオンデマンド映像を作成して、要点を理解できるようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。ただし、中間と期末試験の際にはスマホの計算機能は利用できないので注意。

【その他の重要事項】

新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることが望ましい。

なお、本授業の講師はファイナンスの実務経験を通算20余年有している。うち、10年は米国ニューヨークで勤務し、ノーベル経済学受賞者との共同研究、米国著名大学大学院修了（MBA）している。実務経験を授業に反映させる予定である。

【Outline (in English)】

This class focuses on finance in economics for students who have never studied finance before. As a university student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time without touching finance. In the spring semester class, students will learn the meaning of finance in economics, the words used in finance, their meanings, and calculation methods, and aim to acquire financial literacy in their daily lives.

A "Finance" is indispensable in daily transactions. In the class, we study theories and systems related to financial transactions, but it is also very important to learn about the relationship between finance and the economy through daily news and newspaper reports. I hope that students will pay attention to financial information outside of class hours.

Grading for students will consist of two parts: 80% will be based on mid-term and final exams. 80% will be based on mid-term and final exams, and 20% will be based on class participation and quizzes/assignments. A grade of "S" is given to students who have achieved 90% or more in all grades, "A" is given to students who have achieved 80% or more, "B" is given to students who have achieved 70% or more, and "C" is given to students who have exceeded the minimum passing grade. Students who fail the course will receive a grade of "D". This evaluation method is in accordance with the Hosei University evaluation standards.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 誠

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉〈未〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は主として金融の「入門レベル（経済学LA）」を学んだ学生向けに、広く、深く金融を学習することを目的としている。したがって、金融システム、金融制度など幅広く経済学における金融に焦点を当てた授業を行う。大学生として、卒業後の社会人として、金融に触れずに過ごすことは困難である。しっかりと金融知識を身に付けてほしい。

【到達目標】

この授業では、金融リテラシーを身に着けるために、1、歴史的な金融の発展、2、身近な金融活動の発見、3、金融の意義と意味、4、自ら金融取引を確認する、ことを学ぶ。金融の知識は不要と考える人もいだろう、しかし、卒業後、家を購入する、保険に入る、ローンを組む、年金資産運用するなど、金融知識がすぐにでも必要となってくる。必要な時に備えて、今、これらの知識を準備する。秋学期の目標は、経済専門の新聞に書かれている経済面の金融に関する記事が読んで、記事の内容が概ね理解できることを目標としたい。経済専門紙の記事を完璧に理解できる水準は金融業界に身を置かない限り、困難である。本講座は、入門レベル（経済学LA）を経て、金融基礎知識を固める初級レベルの水準に達することを目標に掲げたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として対面で授業を実施する。ただし、感染状況によりオンライン（オンデマンド）で実施する場合もある。対面授業ではあるが、履修生の皆さんには資料をHoppii経由で配信し授業で教科書とともに使用する予定である。ファイナンスは自分で理解する上で問題を解くことが重要である。そこで、授業内容により学習後にクイズ（試験ではない）を行い、理解を深めるようにしたい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	利子率、将来価値、現在価値（第1章）	単利と複利、現在価値・将来価値を計算する、複利利回りの種類を知る。今学期から参加した学生にも理解しやすいように経済学LAの内容を一部復習する。
2	債券入門（第2章）、債券分析の基礎（第3章）①	最終利回り、債券投資のリスクについて学ぶ。（経済学LAの復習、一部あり）
3	債券分析の基礎（第3章）②	デュレーション分析、イールドカーブ分析、債券の投資方法について学習する。
4	ポートフォリオ理論入門①（第8章）	経済学LAにおいてファイナンスで利用する基礎統計学は学習しているので、その前提で2つの危険資産によるポートフォリオを作成する。

5	ポートフォリオ理論入門②（第8章）	安全資産を組み入れた場合のドミナントな組み合わせを考える。CAPMの導出を行う。（一部経済学LAの復習あり）
6	株式入門（第4章）①	株式とは、株式発行市場、流通市場、配当割引モデルの紹介
7	株式入門（第4章）②	配当割引モデル応用、株価評価の指標、
8	中間試験	これまでに学習した内容をテストする。60分間。
9	デリバティブズ	先渡し取引、先物取引の市場、取引の仕組み、価格の計算方法と利用について学習する
10	先物入門（第5章）	先物取引の仕組みと裁定取引を学習する。
11	オプション入門①（第6章）	オプションの基本的な仕組みと性質の紹介、オプション市場、オプション取引の仕組みを学習する。
12	オプション入門②（第6章）	オプションを用いた投資戦略、バイノミアル（二項価格評価）モデルによるオプション価値の推定する。
13	効率的市場仮説（第11章）	市場モデルとCAPMの類似点と相違点を整理する。
14	期末試験	市場の効率性について学習する。学習した範囲（第1回から第13回まで）の試験を行う。授業内で実施する。60分間

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。春学期より少しだけレベルが上がった内容となるので、授業の資料を読む前に関連する該当箇所を読んでおくと、理解の助けとなる。さらに、授業後に、もう一度同じ箇所を読み直すことで理解が深まる。また、必要な計算は必ず手を動かしてやってほしい。資料やテキストを読んでいても、自分の力にはならない。また、日常的に新聞やニュースに触れて、金融に関する言葉を利用する場面を知ってほしい。

【テキスト（教科書）】

岸本直樹、池田正幸「入門・証券投資論」有斐閣ブックス、ISBN:978-4-641-18447-3

【参考書】

手嶋宜之「ファイナンス入門」ダイヤモンド社、ISBN:978-4-478-01630-5
大村敬一・俊野雅司「証券論」有斐閣、ISBN:978-4-461-16427-7

【成績評価の方法と基準】

成績評価は次の3つの項目に基づいて行う。

- 1、授業における貢献などの平常点と授業に関連したクイズ（試験ではない）（20%）、
- 2、第8回に実施する中間テスト（40%）、
- 3、第15回に実施する期末テスト（40%）である。

中間試験と期末試験は原則教室で実施する予定であるが、感染状況によりHoppii上で行う場合もある。実施予告の指示に従って受験してほしい。

成績評価は法政大学の基準に従って行う。概ね、以下の通りである。S:特に優れた成績である者、概ね90%以上、A:優れた成績であるもの、概ね80%以上、B:秀でた成績である者、概ね70%以上、C:平均的な水準である者、概ね60%以上、D:基準に満たない者。

【学生の意見等からの気づき】

経済学LB(秋学期)は経済学LA同様、対面授業の予定となっている。対面授業ではあるが、スライドで利用する資料等はHoppii上に掲示（授業開始から1週間のみダウンロード可）する予定である。

【学生が準備すべき機器他】

関数電卓があるとよい。ない場合にはスマートフォンに付帯されている計算機能（関数電卓）を利用するとよい。ただし、中間・期末試験においてスマホの計算機能を利用することはできないので、留意してほしい。

【その他の重要事項】

配布する資料は指定した教科書を理解しやすくするために作成したものである。資料だけでは、教科書の内容を理解することは不可能であるので、必ず、指定した教科書を用意してほしい。ただし、参考図書はその限りではない。また、新聞やニュースを通して、日々、経済や金融の情報に触れることがファイナンスの理解の早道でもある。なお、本授業の講師はファイナンスの実務経験を通算20余年有している。うち、10年は米国ニューヨークで勤務し、ノーベル経済学受賞者との共同研究、米国著名大学大学院修了（MBA）している。実務経験を授業に反映させる予定である。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to provide a broad and deep study of finance for students who have studied finance at an introductory level (Economics LA). Therefore, the class will focus on finance in economics, including financial systems and financial institutions. As a undergraduate student and a member of society after graduation, it is difficult to spend time to finance. I would recommend you to acquire a financial literacy for your life.

A "Finance" is indispensable in daily transactions. In the class, we study theories and systems related to financial transactions, but it is also very important to learn about the relationship between finance and the economy through daily news and newspaper reports. I hope that students will pay attention to financial information outside of class hours.

Grading for students will consist of two parts: 80% will be based on mid-term and final exams. 80% will be based on mid-term and final exams, and 20% will be based on class participation and quizzes/assignments. A grade of "S" is given to students who have achieved 90% or more in all grades, "A" is given to students who have achieved 80% or more, "B" is given to students who have achieved 70% or more, and "C" is given to students who have exceeded the minimum passing grade. Students who fail the course will receive a grade of "D". This evaluation method is in accordance with the Hosei University evaluation standards.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：東アジア経済学入門

陳 文學

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

21世紀はアジアの時代であり、中国やアジア新興国の台頭によって東アジア地域の存在感は増している。東アジア経済の動向は世界政治経済、安全保障、資源エネルギー等に大きな影響を与えている。本講義は東アジア経済の発展に焦点を合わせ、経済発展の歴史、過程、経験と教訓等について経済学の基礎原理やリベラルアーツの視点から研究する。また、新型コロナウイルス感染症の拡大によって東アジア地域経済、そして世界経済が一変しており、東アジア経済を分析することを通じて学生諸君の地域的突発問題や危機管理に対する分析力を向上させる。

【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について立体的な視点から考察する力が必要になる。当該授業を聴講して、学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。また、中国武漢で発生した新型コロナウイルスによる東アジア地域の経済社会の混乱に対してどう対応すればよいかを考える機会も提供し、危機対応型思考力を鍛えることもできる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 大学の授業計画に従って対面式で開講する。ただし、新型コロナウイルスの感染状況により一時的にオンライン（Zoom方式）開講の可能性もあるが、その場合、事前に学習支援システム（Hoppii）内で知らせる。
2. 一回の講義で基本的に1つの話題を中心に議論、展開、検証、まとめる。
3. 情報時代のニーズに応えるために図表や統計資料、事例分析を多く用いる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業紹介	東アジア経済入門基礎、講義概要、成績評価等説明
2	現代経済社会の仕組み	家計、企業、政府；資本、労働、技術進歩；市場の原理；経済成長と経済発展の原動力分析
3	東アジア経済近代化の始まり	商業とシルクロード、産業革命、国際貿易と植民地の歴史、アヘン戦争
4	日中近代工業化の歴史比較研究	清王朝近代化の失敗と日本明治維新ならびに日本近代化成功の比較分析
5	国際貿易とグローバル化の形成	アダム・スミスの絶対優位性仮説とリカードの比較優位性仮説の検証
6	農業の発展と人口問題	マルサスの人口論と「マルサスの罠」

7	中間進捗状況確認	前半復習、「機会費用」と人口問題の両面性
8	農業の発展と様々な制約	「豊作貧乏」現象と需要の価格弾力性
9	東アジア地域の工業化と労働移動	都市化とインフォーマル部門、スラム街の形成
10	東アジア地域の工業化と国際化	「輸入代替」政策の失敗から「輸出振興」政策の成功まで
11	東アジア地域の産業移転	ベティ・クラークの法則と「雁行形態」、「世界の工場」の形成と産業空洞化
12	経済成長と所得格差	クズネツの「逆U字仮説」から「エレファントカーブ」まで
13	さまざまな格差と計測	ジニ係数の計算を通じて地域間経済格差を考える
14	まとめ：東アジア地域経済統合の行方は	半期の復習、まとめ、期末レポート作成要領説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。講義内容に応じて宿題として課題レポートを完成する。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

なし。

【参考書】

『アジア経済とは何か—躍進のダイナミズムと日本の活路』、後藤健太（著）、中公新書。
『アジア経済論』、小林尚朗、山本博史、矢野修一、春日尚雄（著、編集）、文真堂。
『東アジアの論理—日中韓の歴史から読み解く』、岡本隆司（著）、中公新書。

【成績評価の方法と基準】

1. 授業参加状況
 2. リアクションペーパーや課題の提出状況
 3. 期末レポートの完成状況
- 等によって総合的に評価する。詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

【学生の意見等からの気づき】

1. 学生皆さんの関心事、質問等についてよく聞く、確認する。
2. 課題や質問に対してできるだけ早く対応する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

ただし、オンライン（Zoom方式）授業の場合はZoom視聴、Hoppii上の課題、レポート、メール等のやり取りに必要な通信機器（パソコンなど）の用意が必要。

【その他の重要事項】

秋期『経済学LB：中国経済入門』の継続履修を勧める。

【Outline (in English)】

The 21st century is said to be the age of Asia. The rapid growth of China and some other developing countries of Asia has increased the presence of the East-Asia in the world. The economy of East-Asia has been greatly affecting the world's politics and economy, security, and resources energy for these years.

This lecture focuses on the development of East-Asia economy, aims at studying the history, process, experiences and teachings of the economic development in this region from the viewpoints of basic theory of economics and Liberal Arts.

【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing regional economy about its variability and complexity in east-Asia from various viewpoints.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/ reviewing to understand the course content.

【Grading Criteria / Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

- 1, in-class contribution (30%)
- 2, Reaction paper or homework (40%)
- 3, Term-end report (30%)

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル: 中国経済入門

陳 文學

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水3/Wed.3

単位数: 2単位

その他属性: 〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国の経済規模は2010年に日本に追い付き、追い越し、アメリカに次ぐ世界第2位に上り詰めた。2022年に中国のGDPは日本の約4倍に拡大し、アメリカの5分の4までに迫っていた。本講義では前期授業で学習した東アジア経済発展の基礎を元に、計画経済期から市場経済移行期まで中国経済の発展を研究し、失敗の教訓と成功の要因を明らかにする。その上、「新常态」(ニューノーマル)にある現在の中国経済について事例研究等を通じて考察し、中国経済発展の未来像について考える。

【到達目標】

現在、国際関係における一国主義やアンチグローバル的な考え方が強まる中、東アジア地域の多様性、複雑性、可能性について、特に世界第2位の経済規模を持つ中国の経済動向について立体的な視点から考察することによって学生諸君の考察力、思考力、分析力を高めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

1, 大学の授業計画に従って対面式で開講する。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によって一時的にオンライン (Zoom方式) 開講の可能性もある。その場合は学習支援システム (Hoppii) 内で事前に知らせる。

2, 一回の講義で基本的に1つの話題を中心に議論、検証、まとめる。

3, 情報時代のニーズに応えるため、事例や図表、統計を多く用いる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

回	テーマ	内容
1	授業紹介	中国経済の基礎、講義概要、中国最新経済情報、成績評価等
2	近代中国革命運動①	アヘン戦争から太平天国、日清戦争、辛亥革命、日中戦争、国共内戦
3	近代中国革命運動②	中国共産党の誕生、武力闘争から政権の奪取、中国人民共和国の樹立
4	朝鮮戦争と社会主義国家建設	戦後処理と冷戦、朝鮮戦争と日中両国に与える影響: ソ連の対中援助と「朝鮮特需」
5	計画経済期の中国経済と政治	大躍進、人民公社と文化大革命: 経済建設から政治闘争へ
6	計画経済の行き詰まりと改革開放の始まり	農村地域の「下剋上」と郷鎮企業の発展: 「世界工場」礎の形成
7	中国の経済発展戦略研究	鄧小平氏の「先富論」と成長と格差: 先発地域と後発地域との格差拡大問題
8	中間進捗状況確認	前半の復習: 「効率」か「平等」か = 「共同富裕」ができるのか

9	企業改革と工業の発展	世界最大白物家電メーカーハイアール (Haier) 社の事例研究
10	対外開放: 国際貿易と外資導入	日本企業の中国進出と日中貿易
11	情報技術革新とネットビジネスの興隆	ネット通販巨人アリババの事例、BATH (百度、アリババ、 Tencent、華為) 研究
12	中国の「新経済」とニュービジネス: S級B級論	経済のサービス化、デジタル化、スマホ決済、シェア経済、EV、自動運転など
13	これからの中国、東アジア、そして世界	「新冷戦」、米中貿易戦争、デカップリング、世界経済の先行き
14	復習とまとめ	中国経済再考、期末レポート作成要領

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

指定参考書、配布資料等を参考し、予習復習を行う。講義内容に応じて課題、宿題もあり、期末にはレポートの提出がある。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

指定なし

【参考書】

『現代中国経済』(新版)、丸川知雄、有斐閣アルマ。
『幸福な監視国家・中国』、梶谷懐・高口康太、NHK出版新書。
『中国S級B級論—発展途上と最先端が混在する国』、高口康太・伊藤聖他著、さくら舎。

【成績評価の方法と基準】

1, 授業参加状況;
2, リアクションペーパーや課題の提出状況;
3, 期末レポートの完成状況
等によって総合的に評価する。詳しくは、初回の授業時に確認、説明する。

【学生の意見等からの気づき】

1, 学生皆さんの関心事、意見などをよく聞く、確認する。
2, 課題や質問等に対してできるだけ早く対応する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。
ただし、オンライン (Zoom方式) 授業の場合はZoom視聴、Hoppii上の課題、レポート、メール等のやり取りに必要な通信機器 (パソコンなど) の用意が必要。

【その他の重要事項】

1, 前期の『経済学LA: 東アジア経済入門』とセットにして履修してほしいが、必要条件ではない。
2, 中国経済の話題が中心だが、政治、歴史、文化、社会、企業経営等の話もあり、興味があればぜひ履修していただきたい。

【Outline (in English)】

This lecture aims at clearing up the success factors and lessons of failure by studying the development of China economy of the period transforming from the planned economy to the market economy, based on the basic knowledge about the development of the East-Asia economy, which students learned in the first semester. Furthermore, this lecture will examine the current China economy, so-called new-normal economy through case-study and consider the future image of China economy.

【Learning Objectives】

This lecture will help to improve students' ability of analyzing China economy about its variability and complexity from various viewpoints.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, you should be expected to spend four hours in preparing/ reviewing to understand the course content.

【Grading Criteria / Policy】

You overall grade in the class will be decided based on the following:

- 1, in-class contribution (30%)
- 2, Reaction paper or homework (40%)
- 3, Term-end report (30%)

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：経済学の歴史から現代をみる

小峯 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学Lでは「経済学的思考とは何か」という一点に集中し、歴史的・思想的・理論的・政策的という多角的な視点からこの問題に接近する。前期LAでは「経済学の歴史から現代をみる」を取り上げる。過去から現在にかけて、世の中には経済問題が溢れている。同時に、その原因や解決策を模索する学問的営みも多い。この授業では、経済学の立場や経済の観点から、この問題をどのように考えられてきたか／考えるべきかを学ぶ。

【到達目標】

「経済学的思考とは何か」という問題に、自分なりの回答を導き出せることを、この授業の究極的な目標とする。その題材として、本授業では、「経済学の歴史から現代をみる」に関して、過去や現在の経済学者・経済思想家がどのような前提・発想・解決策を提示していたのか、ある程度の理解を深めることを目標としたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の章立てに沿って進む。適宜、映像教材を用いて理解を進める。基本的には過去から現在へと説明が進むが、学生の注意を喚起するために、現在の話題（授業料無償化問題、環境と脱成長、LGBTQなど）を含めて説明を補う。適宜、簡単なクイズを授業内に行い（あるいは授業の小さな課題として出し）、理解の助けとする。典型的な質問に対しては、次回冒頭で回答する場合がある。学生の希望によって、グループ討議や発表タイムを混ぜても良い。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション～経済学的思考とは何か	授業のルール説明、教科書や参考書の紹介
2	全体の概観～経済学の歴史から現代の経済問題を扱う	なぜ経済問題の把握に、経済学の歴史が必要か（教科書・第1章）
3	経済の発見（1）～古代から中世へ	プラトン、アリストテレス、ポリス社会（教科書・第2章）
4	経済の発見（2）～古代から中世へ	トマス・アクイナス、利子と利潤、市場の発展（教科書・第2章）
5	近代とは何か（1）～民主主義から資本主義へ	価格革命、商業革命、農業革命、産業革命（教科書・第3章）
6	近代とは何か（2）～民主主義から資本主義へ	社会契約説の三巨人、ホッブズ、ロック、ルソー（教科書・第3章）
7	なぜ商業や農業が重要なのか～富の再発見	重商主義、重農主義（教科書・第4章）

8	経済学の生誕～スミスの登場	共感、利己心、そしてアダム・スミス、見えざる手（教科書・第5章）
9	経済論争の時代～マルサスとリカード	経済論争と現代、物価・為替・分業・協業（教科書・第6章）
10	社会改良と経済学～ミルの苦悩と挑戦	古典派経済学の完成と現実、ジェンダー、植民地（教科書・第7章）
11	社会主義の勃興～マルクスとエンゲルス	経済学批判、唯物史観、疎外、剰余価値（教科書・第9章）
12	19世紀後半の消費者革命	限界革命、効用、欲望、一般均衡（教科書・第10章）
13	20世紀前半のケインズ革命	失業、雇用、効率と公平（教科書・第12章）
14	孤高の経済学者	ヴェブレン、シュンペーター、ガルブレイス、（教科書・第13章）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
・簡単なリアクションペーパーを授業内に（または授業の課題として、学習支援システムを通じて）提出します。

【テキスト（教科書）】

・小峯敦（2021）『経済学史』ミネルヴァ書房。
<https://www.minervashobo.co.jp/book/b573123.html>

【参考書】

・小峯敦編（2010）『福祉の経済思想家たち【増補改訂版】』ナカニシヤ出版。
<https://www.nakanishiya.co.jp/book/b134734.html>
・小峯敦編（2020）『戦争と平和の経済思想』晃洋書房。
<https://www.koyoshobo.co.jp/book/b506947.html>

【成績評価の方法と基準】

(1) 平常点：40％
(2) 期末試験：60％
(1) 平常点は、リアクションペーパーの内容および提出回数、グループ討議への参加度合い等によって定める。
(2) 期末試験に関しては、マークセンス（択一式）8割、記述式2割を標準として、理解度チェックテストとする。自筆メモ（A4オモテ1枚）を持ち込み可能とする。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーの解析を行い（テキストマイニングによって、匿名処理し、単語の出現頻度や共起関係を図表にする）、学生の理解度把握に努める。また、優れたコメント、代表的な質問などについて、機会をもうけて授業中に匿名で公表し、他の学生がどのような意見・質問・コメントを持っているのか、披露することもある。

【学生が準備すべき機器他】

資料をダウンロードできる機器があれば良い。また、レポート作成にはパソコンの使用が便利である。

【その他の重要事項】

「経済学的思考とは何か」という問題を考えるため、社会科学系だけでなく、人文系・自然科学系を学ぶ多くの学生に受講してほしい。思想・歴史・理論・政策と幅広く網羅するために、教職課程の学生にも有用であろう。教科書・参考書が重なるため、経済学LA・経済学LBをセットで受講すると便利であり、さらに理解が広がる。

【Outline (in English)】

In Economics L, we will concentrate on a single point, "What is economic thought?". We will also approach this question from multiple perspectives: historical, ideological, theoretical, and policy. In the second semester, we will take up "Current Problems in the Light of the History of Economic Thought." From the past to the present, the world is full of economic issues. At the same time, there are many academic endeavors that search for their causes and solutions. In this class, students will learn how this issue has been/should be considered from the standpoint of economics and the economy.

ECN200LA (経済学 / Economics 200)

経済学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：戦争と平和の経済思想

小峯 敦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

経済学Lでは「経済学的思考とは何か」という一点に集中し、歴史的・思想的・理論的・政策的という多角的な視点からこの問題に接近する。後期LBでは「戦争と平和の経済思想」を取り上げる。過去から現在にかけて、世の中には戦争・紛争が溢れている。同時に、その原因や解決策を模索する学問的営みも多い。この授業では、経済学の立場や経済の観点から、この問題をどのように考えられてきたか/考えるべきかを学ぶ。

【到達目標】

「経済学的思考とは何か」という問題に、自分なりの回答を導き出せることを、この授業の究極的な目標とする。その題材として、本授業では、「戦争と平和」に関して、過去や現在の経済学者・経済思想家がどのような前提・発想・解決策を提示していたのか、ある程度理解を深めることを目標としたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の章立てに沿って進む。適宜、映像教材を用いて理解を進める。基本的には過去から現在へと説明が進むが、学生の注意を喚起するために、現在の話題（露ウ戦争、パレスチナ紛争）を含めて説明を補う。適宜、簡単なクイズを授業内に行い（あるいは授業の小さな課題として出し）、理解の助けとする。典型的な質問に対しては、次回冒頭で回答する場合がある。学生の希望によって、グループ討議や発表タイムを混ぜても良い。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション～経済学的思考とは何か	授業のルール説明、教科書や参考書の紹介
2	全体の概観～経済学の歴史から戦争と平和を扱う	経済学の浸透は国際紛争の軽減に貢献しうるか（教科書・序章）
3	近代国家と戦争	重商主義、主権国家、経済学の生成（教科書・第1章）
4	アダム・スミスにおける国防と経済	『国富論』、商業の発展、自由の確立（教科書・第2章）
5	古典派経済学と戦争～リカード、マルサス、ミル	平和的な分業（比較生産費説）、植民地経営（人口問題）、黒人問題
6	エッジワースの契約モデルと戦争	限界革命による経済学の左心、価格交渉（教科書・第3章）
7	ヴェブレンの平和連盟構想	アメリカ異端派の現状分析、国際連盟の誕生（教科書・第4章）
8	戦後構想における経済助言者の役割（1）	ケインズ～ベヴァリッジ体制とは何か、伝記的アプローチ（教科書・第5章）

9	戦後構想における経済助言者の役割（2）	福祉国家の誕生、連邦主義、国際連合の誕生（教科書・第5章）
10	ミュルダールにおける戦争と平和（1）	福祉国家から福祉社会へ、累積的因果関係、南北問題（教科書・第6章）
11	ミュルダールにおける戦争と平和（2）	スウェーデンモデルとは何か、国際平和研究所（教科書・第6章）
12	冷戦期以降の戦争と経済思想	シュエマツハー、ガルブレイス、ボールディング（教科書・第7章）
13	帝国主義・総力戦と日本の経済学者	石橋湛山、新渡戸稲造（教科書・第8章）
14	全体のまとめ～経済学の歴史から戦争と平和を扱う	経済学の浸透は国際紛争の軽減に貢献しうるか（教科書・終章）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。
・簡単なリアクションペーパーを授業内に（または授業の課題として、学習支援システムを通じて）提出します。

【テキスト（教科書）】

小峯敦編（2020）『戦争と平和の経済思想』晃洋書房。
<https://www.koyoshobo.co.jp/book/b506947.html>

【参考書】

・小峯敦編（2024）『福祉の経済思想家たち【増補三訂版】』ナカニシヤ出版。
<https://www.nakanishiya.co.jp/book/b134734.html>
・小峯敦（2021）『経済学史』ミネルヴァ書房。
<https://www.minervashobo.co.jp/book/b573123.html>

【成績評価の方法と基準】

(1) 平常点：40％
(2) 期末試験：60％
(1) 平常点は、リアクションペーパーの内容および提出回数、グループ討議への参加度合い等によって定める。
(2) 期末試験に関しては、マークセンス（択一式）8割、記述式2割を標準として、理解度チェックテストとする。自筆メモ（A4オモテ1枚）を持ち込み可能とする。

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーの解析を行い（テキストマイニングによって、匿名処理し、単語の出現頻度や共起関係を図表にする）、学生の理解度把握に努める。また、優れたコメント、代表的な質問などについて、機会をもうけて授業中に匿名で公表し、他の学生がどのような意見・質問・コメントを持っているのか、披露することもある。

【学生が準備すべき機器他】

資料をダウンロードできる機器があれば良い。また、レポート作成にはパソコンの使用が便利である。

【その他の重要事項】

「経済学的思考とは何か」という問題を考えるため、社会科学系だけでなく、人文系・自然科学系を学ぶ多くの学生に受講してほしい。思想・歴史・理論・政策と幅広く網羅するために、教職課程の学生にも有用であろう。教科書・参考書が重なるため、経済学LA・経済学LBをセットで受講すると便利であり、さらに理解が広がる。

【Outline (in English)】

In Economics L, we will concentrate on a single point, "What is economic thought?". We will also approach this question from multiple perspectives: historical, ideological, theoretical, and policy. In the second semester, we will take up "War and Peace in the History of Economic Thought". From the past to the present, the world is full of wars and conflicts. At the same time, there are many academic endeavors that search for their causes and solutions. In this class, students will learn how this issue has been/should be considered from the standpoint of economics and the economy.

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。本授業で初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分や周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学LAでは「自分のレジリエンスを高める」、心理学LBでは「自分の主観的ウェルビーイング（幸福感）を高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

土曜日1時限の授業となりますが、1学期中、全14回の授業回のうち、半分の7回をオンライン授業とします。土曜日の受講が困難な方もいると思いますが、学習環境について最大限の配慮を行います。毎授業のリアクションペーパーや課題の提出、およびフィードバックについては、全てGoogleクラスルームで行っていきます。オンラインでの動画視聴および課題提出等の期間として、毎回1週間を設けます（合理的配慮を希望する学生はその限りではありません）。詳しくは第1回授業のガイダンスでお伝えします（このシラバスにある各回の授業形態は、現時点ではあくまでも予定ですが、ガイダンスは必ずオンラインで行いますので、土曜日の受講を迷っている方はまずガイダンスに出席してみてください）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業概要 授業の進め方と方法
第2回	レジリエンスとは何か	レジリエンス研究の歴史 認知心理学、発達心理学ほか
第3回	「ABC分析」で自分を知る（1）「自分を知る」とはどういうことか？	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第1章〕
第4回	「ABC分析」で自分を知る（2）「自分を知る」とどのようなよいことがあるか？	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第1章〕

第5回	「ABC分析」で自分を知る（3）「自分を知る」と「他人を知る」こと	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第1章〕
第6回	「思考のワナ」から抜け出す	学習心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第2章〕
第7回	「氷山思考」を探り当てる	深層心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第3章〕
第8回	中間レポート講評	第2回～第7回授業の振り返り
第9回	自分の「思い込み」に挑む（1）「思い込み」の利点と弊害	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第4章〕
第10回	自分の「思い込み」に挑む（2）「思い込み」は個性か？	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第4章〕
第11回	未来の「シナリオ」を書き直す	臨床心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第5章〕
第12回	一瞬で心を静める	マインドフルネス 〔テキスト レジリエンスワーク 第6章〕
第13回	窮地で自分の思考に反論する	総合 〔テキスト レジリエンスワーク 第7章〕
第14回	期末試験説明	第9回～第13回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『折れない心のつくりかた：はじめてのレジリエンスワークブック』（滝本繁著、宇野カオリ監修、すばる舎、2016年）
<https://www.subarusya.jp/book/b251379.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート25%、期末試験（オープンブック。オンラインで提出可）25%、授業に関係するアクティビティ50%
中間レポート・期末試験共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚している」「ネガティブだと生きづらい」として、深い悩みを抱えていることがリアクションペーパーを通して分かりました。進化論上、人間はネガティブになる傾向があることが指摘されています。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのかが分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。

・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は加点方式です。
・授業動画を見逃してしまった、諸事情により課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。学期中に応じられる限りで、授業動画の再視聴期間や、課題の再提出期間を設けます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course Outline）】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. No prerequisites, no prior knowledge of psychology is needed. Students who have previously taken Psychology I / II are still eligible for this course.

【到達目標 (Learning Objectives)】

What is "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), Final exam (Open book. It can be submitted online) (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。本授業で初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分や周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学LAでは「自分のレジリエンスを高める」、心理学LBでは「自分の主観的ウェルビーイング（幸福感）を高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

土曜日1時限の授業となりますが、1学期中、全14回の授業回のうち、半分の7回をオンライン授業とします。土曜日の受講が困難な方もいると思いますが、学習環境について最大限の配慮を行います。毎授業のリアクションペーパーや課題の提出、およびフィードバックについては、全てGoogleクラスルームで行っていきます。オンラインでの動画視聴および課題提出等の期間として、毎回1週間を設けます（合理的配慮を希望する学生はその限りではありません）。詳しくは第1回授業のガイダンスでお伝えします（このシラバスにある各回の授業形態は、現時点ではあくまでも予定ですが、ガイダンスは必ずオンラインで行いますので、土曜日の受講を迷っている方はまずガイダンスに出席してみてください）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業概要、授業の進め方と方法
第2回	ウェルビーイング (Well-Being) とは何か	ポジティブ心理学/ウェルビーイング研究の歴史 (臨床心理学、社会心理学、文化心理学ほか)
第3回	ポジティブ心理学/ウェルビーイング研究で解明されたこと	「こころの健康」を理解しよう
第4回	(ネガティブな感情も大切にしながら) ポジティブな感情を増やそう	「こころの健康」を高めよう 第1回

第5回	エンゲージメントを高めよう	「こころの健康」を高めよう 第2回
第6回	良好な人間関係を築こう	「こころの健康」を高めよう 第3回
第7回	人生の意味を創造しよう	「こころの健康」を高めよう 第4回
第8回	達成感を味わおう	「こころの健康」を高めよう 第5回
第9回	中間レポート講評	第3回～第8回授業の振り返り
第10回	活力を高めよう	「こころの健康」を高めよう 第6回
第11回	幸福感を高めよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第1回
第12回	「心理資本」を豊かにしよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第2回
第13回	「徳性の強み」で自分も世の中もよくしよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第3回
第14回	期末試験説明	第10回～第13回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポジティブ心理学入門：「よい生き方」を科学的に考える方法』（クリストファー・ピーターソン著、宇野カオリ訳、春秋社、2012年）
<https://www.shunjusha.co.jp/book/9784393365205.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート25%、期末試験（オープンブック。オンラインで提出可）25%、授業に関係するアクティビティ50%
中間レポート・期末試験共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚している」「ネガティブだと生きづらい」として、深い悩みを抱えていることがリアクションペーパーを通して分かりました。進化論上、人間はネガティブになる傾向があることが指摘されています。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのかが分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。

・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は加点方式です。
・授業動画を見逃してしまった、諸事情により課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。学期中に応じられる限りで、授業動画の再視聴期間や、課題の再提出期間を設けます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course Outline）】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. No prerequisites, no prior knowledge of psychology is needed. Students who have previously taken Psychology I / II are still eligible for this course.

【到達目標 (Learning Objectives)】

What is "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), Final exam (Open book. It can be submitted online) (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。本授業で初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分や周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学LAでは「自分のレジリエンスを高める」、心理学LBでは「自分の主観的ウェルビーイング（幸福感）を高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

土曜日2時限の授業となりますが、1学期中、全14回の授業回のうち、半分の7回をオンライン授業とします。土曜日の受講が困難な方もいると思いますが、学習環境について最大限の配慮を行います。毎授業のリアクションペーパーや課題の提出、およびフィードバックについては、全てGoogleクラスルームで行っていきます。オンラインでの動画視聴および課題提出等の期間として、毎回1週間を設けます（合理的配慮を希望する学生はその限りではありません）。詳しくは第1回授業のガイダンスでお伝えします（このシラバスにある各回の授業形態は、現時点ではあくまでも予定ですが、ガイダンスは必ずオンラインで行いますので、土曜日の受講を迷っている方はまずガイダンスに出席してみてください）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業概要 授業の進め方と方法
第2回	レジリエンスとは何か	レジリエンス研究の歴史 認知心理学、発達心理学ほか
第3回	「ABC分析」で自分を知る（1）「自分を知る」とはどういうことか？	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第1章〕
第4回	「ABC分析」で自分を知る（2）「自分を知る」とどのようなよいことがあるか？	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第1章〕

第5回	「ABC分析」で自分を知る（3）「自分を知る」と「他人を知る」こと	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第1章〕
第6回	「思考のワナ」から抜け出す	学習心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第2章〕
第7回	「氷山思考」を探り当てる	深層心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第3章〕
第8回	中間レポート講評	第2回～第7回授業の振り返り
第9回	自分の「思い込み」に挑む（1）「思い込み」の利点と弊害	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第4章〕
第10回	自分の「思い込み」に挑む（2）「思い込み」は個性か？	認知行動療法ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第4章〕
第11回	未来の「シナリオ」を書き直す	臨床心理学ほか 〔テキスト レジリエンスワーク 第5章〕
第12回	一瞬で心を静める	マインドフルネス 〔テキスト レジリエンスワーク 第6章〕
第13回	窮地で自分の思考に反論する	総合 〔テキスト レジリエンスワーク 第7章〕
第14回	期末試験説明	第9回～第13回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『折れない心のつくりかた：はじめてのレジリエンスワークブック』（滝本繁著、宇野カオリ監修、すばる舎、2016年）
<https://www.subarusya.jp/book/b251379.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート25%、期末試験（オープンブック。オンラインで提出可）25%、授業に関係するアクティビティ50%
中間レポート・期末試験共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

- < 授業内容について >
- ・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
- ・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚している」「ネガティブだと生きづらい」として、深い悩みを抱えていることがリアクションペーパーを通して分かりました。進化論上、人間はネガティブになる傾向があることが指摘されています。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのか分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。
- ・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。
- < 授業形式について >
- ・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は加点方式です。
- ・授業動画を見逃してしまった、諸事情により課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。学期中に応じられる限りで、授業動画の再視聴期間や、課題の再提出期間を設けます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course Outline）】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. No prerequisites, no prior knowledge of psychology is needed. Students who have previously taken Psychology I / II are still eligible for this course.

【到達目標 (Learning Objectives)】

What is "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), Final exam (Open book. It can be submitted online) (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

PSY200LA (心理学 / Psychology 200)

心理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

宇野 カオリ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

心理学の科学的手法に基づく知見や方法論を、現代の成熟社会に生きる私たちが抱える諸問題の解決に向けてどのように活用できるのか。この課題を念頭に置き、自らの体験や実践を通して、心理学の各理論や発見を押さえられるような授業を展開します。本授業で初めて心理学を学ぶという学生も歓迎します（基礎心理学の知識は、本授業の受講条件としては必須ではありません）。

【到達目標】

「心」は目には見えないものでありながら、「心が壊れる」「心が折れる」というような言い方をします。果たして「心」とは何か？そして、「心」を扱う心理学とはどのような学問なのか？これらの問いに答えるための具体的な手掛かりを得るとともに、人間の健全な心の働きや発達を様々な切り口から捉えることのできる能力を身につけること、また、心理学的な視点で、自分や周りの人々のことを考えられるようになることを本授業の到達目標とします。具体的には、心理学LAでは「自分のレジリエンスを高める」、心理学LBでは「自分の主観的ウェルビーイング（幸福感）を高める」という具体目標を掲げます。通年で受講することで、両目標に対して統合的な効果が得られることが期待されます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

土曜日2時限の授業となりますが、1学期中、全14回の授業回のうち、半分の7回をオンライン授業とします。土曜日の受講が困難な方もいると思いますが、学習環境について最大限の配慮を行います。毎授業のリアクションペーパーや課題の提出、およびフィードバックについては、全てGoogleクラスルームで行っていきます。オンラインでの動画視聴および課題提出等の期間として、毎回1週間を設けます（合理的配慮を希望する学生はその限りではありません）。詳しくは第1回授業のガイダンスでお伝えします（このシラバスにある各回の授業形態は、現時点ではあくまでも予定ですが、ガイダンスは必ずオンラインで行いますので、土曜日の受講を迷っている方はまずガイダンスに出席してみてください）。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業概要、授業の進め方と方法
第2回	ウェルビーイング (Well-Being) とは何か	ポジティブ心理学/ウェルビーイング研究の歴史 (臨床心理学、社会心理学、文化心理学ほか)
第3回	ポジティブ心理学/ウェルビーイング研究で解明されたこと	「こころの健康」を理解しよう
第4回	(ネガティブな感情も大切にしながら) ポジティブな感情を増やそう	「こころの健康」を高めよう 第1回

第5回	エンゲージメントを高めよう	「こころの健康」を高めよう 第2回
第6回	良好な人間関係を築こう	「こころの健康」を高めよう 第3回
第7回	人生の意味を創造しよう	「こころの健康」を高めよう 第4回
第8回	達成感を味わおう	「こころの健康」を高めよう 第5回
第9回	中間レポート講評	第3回～第8回授業の振り返り
第10回	活力を高めよう	「こころの健康」を高めよう 第6回
第11回	幸福感を高めよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第1回
第12回	「心理資本」を豊かにしよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第2回
第13回	「徳性の強み」で自分も世の中もよくしよう (ポジティブ心理学介入)	「こころの健康」を支援しよう 第3回
第14回	期末試験説明	第10回～第13回授業の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱うテーマについて、授業を離れても日常的に意識して過ごしてみることをお勧めします。本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準としますが、各自でペース調整をしてください。

【テキスト（教科書）】

『ポジティブ心理学入門：「よい生き方」を科学的に考える方法』（クリストファー・ピーターソン著、宇野カオリ訳、春秋社、2012年）
<https://www.shunjusha.co.jp/book/9784393365205.html>

【参考書】

特に指定しませんが、テーマに応じて有益と思われる書籍は授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

中間レポート25%、期末試験（オープンブック。オンラインで提出可）25%、授業に関係するアクティビティ50%
中間レポート・期末試験共に、暗記による知識ではなく、理解度を確認するものとなります。授業に関係するアクティビティの具体的な内容を含め、成績評価に関する詳細についてはガイダンスで説明します。

【学生の意見等からの気づき】

< 授業内容について >

・授業に関する意見のなかで、最も励みとなったのは、「これからの人生を生きていく上でとても為になる」という言葉でした。
・かなり多くの方が、「自分はネガティブだと自覚している」「ネガティブだと生きづらい」として、深い悩みを抱えていることがリアクションペーパーを通して分かりました。進化論上、人間はネガティブになる傾向があることが指摘されています。「授業を通して、自分がなぜネガティブなのかが分かって救われた」との声が非常に多く寄せられました。

・総じて、毎回の授業内容について、リアクションペーパーでしっかりと自分の考えを述べたり、自己内省をして授業から学び取ったことを書いてくれたりした方がほとんどでした。

< 授業形式について >

・本授業は加点方式か、それとも減点方式か、という質問が、学期を通して寄せられましたが、本授業は加点方式です。
・授業動画を見逃してしまった、諸事情により課題が期日までに提出できなかった、という方も少なくありません。学期中に応じられる限りで、授業動画の再視聴期間や、課題の再提出期間を設けます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course Outline）】

Is there any way to apply the findings and methodologies in psychological science when working towards solving various issues in our society? With such a question in mind, students are expected to understand and articulate key concepts and findings in psychology through your own experiences and practices. No prerequisites, no prior knowledge of psychology is needed. Students who have previously taken Psychology I / II are still eligible for this course.

【到達目標 (Learning Objectives)】

What is "mind"? Psychology is the scientific study of the mind and behavior, according to APA (American Psychological Association). The general goals of this course are to provide certain clues to respond to these questions, to acquire the ability to understand from various perspectives how a healthy human mind functions and develops, and to be able to give compassion to yourself and to others from a psychological perspective. In the spring semester, the classes are specifically designed to "build your resilience" and the fall semester to "promote your well-being," respectively. The year-long endeavor should have an integrated effect on both specific goals.

【授業時間外の学習 (Learning Activities Outside of Classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be around two hours before and after each class meeting.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (25%), Final exam (Open book. It can be submitted online) (25%), and class-related activities (50%). More details will be explained in the first lecture of each semester.

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

地理学の基本的な研究方法、考え方、方法論などについて学ぶ。さまざまなテーマを取り上げてそれを考えていく。特に環境問題に重点を置いて、授業を進めていく。

【到達目標】

さまざまなテーマと話題を取り上げながら、地理学の方法論や考え方を学び、身につけることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業では、毎回プリントを配布して講義をおこなう。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業内容の説明、成績評価の方法などを解説する。
2	文化・生態・環境	地理学と生態・環境問題との関係について解説する。
3	都市の生態環境①	都市の生態環境の特色について解説する。
4	都市の生態環境②	都市の生態環境の特色について解説する。
5	都市の生態環境③	都市の生態環境の特色について解説する。
6	日本の野生動物相①	日本の野生動物相の特色について解説する。
7	日本の野生動物相②	日本の野生動物相の特色について解説する。
8	日本の植生①	日本の植生の特色について解説する。
9	日本の植生②	日本の植生の特色について解説する。
10	生業条件と生態環境	生業経済と生態環境との関係について解説する。
11	森林問題①	都市の森林問題、里山林の問題などについて解説する。
12	森林問題②	都市の森林問題について解説する。
13	調査とレポート	フィールドワークの方法について解説する。
14	全体的な補足	全体的な補足をおこなう。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

準備学習および復習を自宅でおこなうことががぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

特にありません。授業内で必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

随時、授業内で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業内試験(100%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

アンケート調査結果などを参照し、授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【Outline (in English)】

(Outline) This course introduces general theories of cultural geography to students taking this course.

(Goal) The goal of this course is to understand of general theories on cultural geography.

(Learning activities outside of classroom) Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

(Grading criteria/policy) Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination:100%.

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地理学の基本的な考え方、研究方法などを学ぶために、さまざまな話題を取り上げ、解説をおこなう。特に環境問題に重点を置いて講義をおこなう。

【到達目標】

地理学的な物の見方とは、どういうことをいっているのか、あるいはその視点・立脚点とはどのようなものか、などなどを身につけることが到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回異なったテーマを取り上げる。プリントを配布し、それをテキストとして用いながら授業を進めていく。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などについて解説する。
2	文化・生態・環境	授業を構成する文化・生態・環境の三つのキーワードについて解説する。
3	焼畑農業	焼畑農業の持つ諸課題について解説する。
4	農業の起源と赤米①	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
5	農業の起源と赤米②	日本における農業の起源と赤米の問題について解説する。
6	海辺の環境①	海辺の環境の特色について解説する。
7	海辺の環境②	海辺の環境の特色について解説する。
8	海辺の環境③	海辺の環境の特色について解説する。
9	海辺の環境④	海辺の環境の特色について解説する。
10	海辺の環境⑤	海辺の環境と漁業問題について解説する。
11	森林問題	森林問題、里山林の環境的特性などについて解説する。
12	調査とレポート	フィールドワークの方法などについて解説する。
13	まとめ	全体的なまとめをおこない、総括する。
14	補足	補足的なテーマを適宜選んで取り上げる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での予習・復習をおこなうことが望ましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定はありません。必要に応じて、授業内でプリントを配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業内試験(100%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

地理学の基本から学びますので、高校時代に地理を選択していなかった学生も遠慮なく履修してください。

【Outline (in English)】

(Outline) This course introduces general theories of cultural geography to students talking this course.

(Goal) The goal of this course is to understand of general theories on cultural geography.

(Learning activities outside of classroom) Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

(Grading criteria/policy) Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination:100%.

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

片岡 義晴

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

現代世界、とりわけ低開発諸国・地域の地域問題について学んでいきます。

【到達目標】

食料、人口、貧困問題などを手がかりにして、現代世界の地域・社会問題を学んでいきます。低開発諸国、地域のそれら問題は先進諸国との関係性の中で生じており、授業を通して先進諸国と低開発諸国、諸地域の関係を理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

「発展」から取り残されている地域・国を事例にして、現代世界の地域・社会問題を考えていきます。主としてアジア諸地域を例に挙げて、「発展」の仕組みを、その「裏側」から考えていくつもりです。取り扱うテーマは世界の食料、人口、貧困にかかわる諸問題です。それらの出来事は個別に存在するわけではなく、相互に関連し、問題を複雑化させています。したがって結論や解決策を単純に、かつ安易に見いだすことなどできるはずがありません。現実の「構造」（＝仕組み）を知ることができるようになっていきたいと思えます。

【課題等に対するフィードバック方法】

授業の初めに、前回までの授業で提出されたりアクションペーパーからいくつかの疑問点などを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【授業の方法】

講義形式で授業していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	世界の食糧問題(1)	先進国と途上国の食料自給率
第2回	世界の食糧問題(2)	食糧輸出国と輸入国
第3回	世界の食糧問題(3)	農業生産性の向上－「緑の革命」－
第4回	世界の人口(1)－人口の趨勢－	人口爆発とその後－70億人突破－
第5回	世界の人口(2)－二つの人口論－	マルサスとマルクス
第6回	世界の人口(3)－死亡率・出生率変化の検討－	死亡率の急減と出生率低下の緩慢さ
第7回	世界の人口(4)	人口問題と人権
第8回	貧困と援助・協力(1)	世界の貧困－先進国、途上国それぞれに貧困－
第9回	貧困と援助・協力(2)	衛生問題－乳児死亡率の地域差と女性の権利－
第10回	貧困と援助協力(3)	教育の不平等－教育と識字率－
第11回	貧困と援助協力(4)	グローバル・ディアスポラ－難民・移民問題の検討－

第12回 貧困と援助協力(5) ODAと日本、世界の児童労働

第13回 貧困と飢饉 飢饉発生 of 構造的要素

第14回 まとめ まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

「食料」「人口」「貧困」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、さらにそれら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えようとして下さい。時間をとって机に向かうことも重要ですが、それら問題を普段から意識することがより重要です。

なお、本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。資料プリントを配布します。場合によってはPowerPointを使用します。

【参考書】

西川 潤 (2008) 『データブック 食料』、同『データブック 人口』、同『データブック 貧困』 いずれも岩波ブックレット。その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験100%で成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度、慣れないPowerPointを使って授業したためか、教材提示の順番が前後してわかりにくいという意見がありました。またPowerPointに誤字脱字が散見されるとの意見も頂戴しました。これらは改善しなければならぬと痛感しています。

2023年度、PowerPointによる教材を作成し直しましたが、誤字脱字が未だ多く、多くのご指摘を頂きました。反省しきりです。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

【Course Outline】 This course is aimed at broadening students' basic knowledge of the current factors of underdeveloped countries and regions. It has three focuses: 1) food problems, 2) population problems, 3) poverty problems in underdeveloped countries and regions.

【Learning Objectives】 The goal of this course is to help students understand the structural relationships (political and economic relationships) between developed countries and underdeveloped countries and regions.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria / Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100%).

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

片岡 義晴

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本の地域問題に関して、様々な問題群、その構造的要因について学んでいきます。具体的には第一次～第五次全国総合開発計画に代表される地域開発政策、同時期に生じた公害問題、地域格差等を指標として検討していきます。

【到達目標】

明治期以降の日本の地域性形過程を振り返った上で、日本の高度経済成長期における全国総合開発計画に代表される地域開発政策、公害問題、地域格差等を手がかりにして、日本の地域問題の構造的要因に迫っていきます。多くの場合、それら問題は地域開発政策に代表される政治、経済に関わる要因に規定されています。授業を通して、日本の地域問題は構造的であることが理解できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の進め方】

国籍の如何に関わらず、日本居住者は日本のことを「知っている」と思い込んでいます。しかし現代日本の地域・社会問題を「知っている」「理解している」人がどれくらい居るでしょうか。地域居住者の「権利」を侵害するような問題は、いつの時代も、どの地域でも発生していますし、発生するように「仕組み」されているといわなければなりません。具体例を挙げ、日本の「裏側」から日本の地域・社会問題に迫っていきましょう。

【課題等に対するフィードバック方法】

授業の初めに、前回までの授業で提出されたアクションペーパーからいくつか疑問点等を取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【授業の方法】

講義形式で授業していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本の地域性(1)	「裏日本」の形成
第2回	日本の地域性(2)	「裏日本」の役割
第3回	日本のディアスポラ	移民送出国から外国人労働者問題へ
第4回	地域格差とその指標(1)	戦後日本の高度経済成長の内実
第5回	地域格差とその指標(2)	経済格差と指標
第6回	様々な地域格差	様々な地域格差－女性、高齢者、若者、外国人等－
第7回	日本の地域開発(1)	地域開発前史
第8回	日本の地域開発(2)	全国総合開発計画（全総、新全総、三全総、四全総、グランドデザイン）
第9回	地域経済の実態	経済の地域間相互依存

第10回	公害と地域(1)	イタイイタイ病と神岡鉱山
第11回	公害と地域(2)	イタイイタイ病訴訟
第12回	公害と地域(3)	水俣病の「発見」とチッソ
第13回	公害と地域(4)	水俣病訴訟
第14回	まとめ	まとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

日本の「地域問題」「社会問題」に関わる報道に目を向けて下さい。それら問題は「なぜ」生じているか、それら問題が私たちと如何に関連しているのか、それを考えて下さい。それら問題は「身近」に存在しています。それら問題について普段から関心を持って下さい。

なお、本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業時に資料プリントを配布します。

【参考書】

政野淳子（2013）『四大公害病』中公新書
その他は授業時に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末試験100%で成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

2022年度、慣れないPowerPointによる教材を使って授業したためか、教材提示の順番が前後してわかりにくいという意見がありました。またPowerPointに誤字脱字が散見されるとの意見も頂戴しました。

以上を踏まえて2023年度のPowerPointによる教材を再構成しましたが、誤字脱字も未だ多く、改善の余地を数多く残しています。授業中、気づいたことがあればアクションペーパーなどでご指摘ください。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is to help students acquire the regional problems in Japan. It has two main focuses; 1) regional development policies in Japan's high economic growth, 2) as a result environmental pollution problems and regional disparities in Japan.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to help students understand the structural factors (political and economic factors) of regional problems during the period of Japan's high economic growth.

【Learning activities outside of classroom】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on Term-end examination (100%).

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまなテーマを毎回ひとつずつ取り上げ、解説していく。全体を通して地理学的な物の見方や考え方を学ぶ。

【到達目標】

授業を通し、地理学的な物の見方と考え方をつかんでいくことがのぞましい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、プリントを配布して授業を進めていくことにする。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方、おおまかな計画について解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本的なテーマである三つのキーワードについて解説する。
3	都市の生態環境（1）	都市の生態環境の特色をとらえるため、タンポポの生態について注目してみる。
4	都市の生態環境（2）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
5	都市の生態環境（3）	都市の生態環境の特色をとらえるため、河川環境について考えてみる。
6	日本の野生動物相（1）	日本の野生動物の特色について解説する。
7	日本の野生動物（2）	日本の野生動物、とくにオオカミについて注目してみる。
8	日本の植生（1）	日本の植生のうち、特に落葉広葉樹林帯について解説する。
9	日本の植生（2）	日本の植生のうち、特に照葉樹林帯について解説する。
10	補足（1）	全体的な補足をおこなう。
11	補足（2）	全体的な補足をおこなう。
12	調査とレポート	地理学的な調査方法と成果のまとめ方について解説する。
13	まとめ（1）	全体のまとめと総括をおこなう。
14	まとめ（2）	全体のまとめと総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での予習と復習をおこなうことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

授業時間内に適宜、紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験の成績(100%)によって評価をおこなう。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの要望を極力取り入れて授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

(Outline) This course introduces general theories of cultural geography to students taking this course.

(Goal) The goal of this course is to understand of general theories on cultural geography.

(Learning activities outside of classroom) Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

(Grading criteria/policy) Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination :100%.

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

授業では毎回ひとつずつ異なったテーマを取り上げて解説する。

【到達目標】

全体を通して地理学的な物の見方と考え方を学んでいく。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では、毎回、プリントを配布して解説をおこなう。

課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	プロローグ	授業の進め方や注意事項などを解説する。
2	文化・生態・環境	授業の基本テーマであるこの三つのキーワードについて解説する。
3	日本の焼畑農業	日本の農業問題、特に焼畑農業について解説する。
4	稲作農業と赤米（1）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題を解説する。
5	稲作農業と赤米（2）	日本の稲作農業、特に赤米をめぐる諸問題解説する。
6	生業条件と資源	生業条件と資源環境の問題について注目する。
7	海岸の環境（1）	海をめぐる環境問題について解説する。
8	海岸の環境（2）	海をめぐる環境問題について解説する。
9	海岸の環境（3）	海をめぐる環境問題について解説する。
10	海岸の環境（4）	海をめぐる環境問題について解説する。
11	里山の環境	里山環境と人間生活の歴史について解説する。
12	補足	全体の補足をおこなう。
13	調査とレポート	地理学的な調査方法とそのまとめ方について解説する。
14	まとめ・試験	全体的なまとめと試験をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での予習と復習をおこなうことがのがましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特になし。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

試験のみによって成績評価をおこなう。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの要望は極力取り入れ、授業内容の改善につとめる。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

(Outline) This course introduces general theories of cultural geography to students talking this course.

(Goal) The goal of this course is to understand of general theories on cultural geography.

(Learning activities outside of classroom) Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

(Grading criteria/Policy) Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination:100%.

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：グローバル社会を考える地理学

前川 明彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義は世界や日本の身近な課題を地理学をとおして発見や問題意識の醸成などを旨とするを目的にしています。そして、秋学期のLDでそうした課題の解決方法の一端を共に考えるという方向を考えている。具体的には世界や日本の格差や生成AIなどの進化などによる社会的課題を身近なところから一緒に地理学で考えます。これは、学生自身が課題や問題意識を考え、多様なものの考え方ができることを目的としています。

【到達目標】

身近な問題や課題を論理的に自らみつけ分析することを目標としたい。さらに、その背景や要因などを多様な考え方や地理学的思考やロジックで考え、解決の方向性に応用できることを目指したい。グローバル化の深化は身近な社会が格差・分断、また不寛容になりつつあります。こうした背景には、競争社会でゆとりがなくなってきた世界や日本が見えてきます。また、生成AIの急激な進展など今後のAI時代において皆さんはどうすべきでしょうか。問題の解決には知識だけでなく自分の目でみつけ、考えるという必要性が突きつけられている気がします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は対面授業の予定である。近年、世界や日本は様々な課題が顕在化、表面化した。こうしたマクロ的な課題や問題を学際的、地理学的視点から考えていきます。この授業が自分のプラスになるかは自分次第かもしれません。一方的な授業ではなく、基本的には「動画映像+講義+GD・GD」になりますが、毎回のALは無理かもしれません。なお、教材等は授業支援システムなどで指示しますので、注意してください。生成AIは大学の方針に準拠して使用可、うまくできるように。ほか添付ファイルなどを参考にしてください

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	地域とは、グローバルとは何かを身近なことから考える
2	グローバル化と産業	コロナで顕在化した世界や日本の課題を概観してみよう。21世紀
3	21世紀のボーダレス化と地域社会	大量生産社会と経済成長をUNIQLOから考えよう。21世紀社会の変貌MATANA・国際分業・市場
4	世界から遅れた日本	先進国か 様々な分野で遅れ始め、安い日本に気がつきにくい日本社会
5	世界の課題を日本から見る 1	若者の格差・貧困と地域社会 ブラックバイト・闇バイト

7	世界の課題を日本から見る 2	子ども・女性の格差・貧困と連鎖 社会的弱者
8	世界の課題を日本から見る 3	雇用という地域格差と都市・若い女性はなぜ大都市へ 少子高齢化日本
9	グローバル化と産業の課題 1	AI/第4次産業革命と格差社会・立地や仕事が変わることに気がついてますか
10	グローバル化と産業の課題 2	データやデータの重要性に気がついてますか。WHAT? AI/MATSUKO
11	グローバル化と産業の課題 3	内向き社会と多様な消費
12	グローバル化と産業の課題 4	環境か経済か カーボンニュートラルで産業が生まれるか
13	グローバル化と産業の課題 5	分断と共生 世界各国の分断やウクライナ問題などから考えてみよう
14	まとめと解説	世界や日本の課題を自ら考え、解決方向性を&最終Rの説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

近年、世界は大きく変わってきていることに気がついていますが。普段から何事にも興味・関心を持ち、最初の一步を踏み出してください。内外のことを特定のネットサイトだけでなく新聞、TV、ネットなどで調べ知識化し、自ら問題を考え応用できるようにしてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的になし

【参考書】

授業時や支援システム等に指示

【成績評価の方法と基準】

原則的には、中間・期末レポート（80%）授業での平常点（コメント、GD等）20%を考えています。

【学生の意見等からの気づき】

中間Rの簡易的都心の街歩きは好評でした。都心を楽しんでください。また、コミュニケーションの重要性や多様性を知るためのGD/GWも楽しんでくれたようです。対面授業ですから、授業を居場所としてコミュニティの重要性をフル活用するためにもGD・GWなどを試みたいと思います。そして、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてみてください。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システム等や映像を多用するため、これらや事前、事後に関連性のある情報、資料等を各自調べるなど活用してもらいたい。ほかの科目でも予想されるが、WEB授業等に係るものは用意されたほうが・・・生成AIに関しては大学の方針に準拠して使用し、習熟してみてください。

【その他の重要事項】

秋学期の地理学LDと合わせて受講することを勧めたい。通年ではなくとも構わないが、先に春学期のLCでの問題意識や問題の発見を基礎や理論を理解し、秋学期のLDで知識の応用を目指し、課題解決型講義の方向をともに目指したい。学生の授業アシスタントも予定していますので相談してみてください。

どちらも、毎回は無理ですが簡単なGD/GWを考えています。多様な考え方や視野の広がりなどを期待していますので、出会いも含めてみんなで楽しみましょう。教材等は支援システムを利用しますので習熟してください。場合により、Googleclassroomを開設する場合があります。添付ファイル参考

【Outline (in English)】

Course outline: This course is to discover familiar issues in the world and Japan through geography, and to foster an awareness of these issues.

Learning objectives: The goal is to be able to find issues logically from familiar things, to think about the background and factors of the issues in a diverse context, and to apply this to the direction of solutions.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 70% Contribution to class:
30%

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：**都市・地域再生を考える地理学**

前川 明彦

開講時期：**秋学期授業/Fall** | 曜日・時限：**水3/Wed.3**

単位数：**2単位**

その他属性：**〈優〉**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

講義では、地域の課題解決の方向性を考えます。具体的には、グローバル化などによって衰退する日本を地域再生論やコミュニティデザインなど地理学の視点を中心に考えます。解決策モデル等を紹介しながら、その糸口や方法論を地理学ロジックで学びます。そこから学生自身が多様性のある社会の実現を模索、検討できることを目的としています。対面形式中心ですのでインプット型の学ぶではなく、むしろ地理学を材料に、アクティブに一緒に考えることを目指します。

【到達目標】

秋学期には春の問題意識や地域的課題を解決方向へと踏み出した。このため、街づくり、地域再生を主なテーマとし、学生が、地域社会に関連するコミュニティデザインやソーシャルビジネスなどから、多様性のある様々な問題解決の方向性を示せることを到達目標とした。そして、学生が自らの考えをもち行動し、将来的には世界の地域社会を解決する一員になることを到達目標にしている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業の利点を如何にいかすかが問われます。地域再生を軸とした解決方法の事例紹介だけでなくオンデマンドでも十分かもしれません。多様な意見や価値観の認識、コミュニケーションスキル等のためにも皆さんと考えていきたいと思います。初めての受講でも心配ありません。教材等は授業支援システムを使う予定です。進め方の基本は「映像+講義+GDなど」を考えています。授業アシスタントの人も予定していますので、不安な場合は相談してみてください。なお、生成AIは使用可。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	AIの判断する2050の日本・TOKYOか地方 四国や能登はなくなる？
2	日本の課題再考	人口減少の深刻な意味 TOKYOでもバス・タクシーが足りない 都心だけが残る社会
3	課題再考2	ITSは 移住とリモートワーク・ワー
4	解決の方向1	DXは ケーション 問題 ビックデータ・オープンデータ の可視化 RESAS・GISでマーケティング
5	解決の方向2	具体 工夫をする地域社会 ソーシ
6	都市再生1	人 化と人 AKIBAというコミュニティと
7	都市再生2	場の重要性 イタリア、シエナとコミュニ
		ティ

8	都市再生3	失敗から学ぶ コンパクト・スーパースィティの試み
9	地域再生1	ハロウィンなどイベントとコミュニティ
10	地域再生2	情報発信と人を呼ぶとは
11	地域再生3	関係人口と地域へのかかわり かた コミュニティ再考
12	地域再生4	新たな試み 仮想空間の地域再生
13	地域再生5	再開発ビジネスの限界
14	試験 まとめと解説	今後の日本を考える 能登や東日本の災害から何を学んだのか、復興ができたのか

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ネットやニュースなどから多様な考え方を学んでください。問題をどう解決するかは、さまざまな方法があり、必ずしも1つの方法が正解ではありません。日本はどんどん世界から遅れ始めていることに気が付いていますか。将来の自分が想像できますか、自ら考え、行動する意欲を常に持ち、失敗を恐れずむしろ失敗から学び、前向きになる自分を想像してください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

基本的にはないが使用する場合は、授業時に指示

【参考書】

授業時に指示

【成績評価の方法と基準】

中間・期末のレポート試験（80%）、授業での平常点（20%）で総合的に評価する予定でいる。状況により変更の場合などもあり得るかもしれません。

【学生の意見等からの気づき】

コロナ下で、学生は孤独感や孤立感、ストレス等からコミュニケーションの重要性が問われた気がします。今年も対面中心を予定していますから、授業を居場所として、コミュニティの重要性をフルに発揮していきたいと思います。むしろ、授業でたくさんの知り合いを、違う学年や他学部から増やし、ネットワークを広げてください。今期も前向きに考えてやってみましょう。中間Rの街歩きは楽しんだみたいですので、今年も行います。

【学生が準備すべき機器他】

スマホよりはパソコン使用を慣れてください。このため、この授業以外のためにも大学からの貸し出しなどは積極的に申し込んでください。授業支援システム等をかなり利用するので仕様の仕方等に習熟してほしい。また、生成AIに関しては大学の方針に準拠して使用し、習熟してみてください。

【その他の重要事項】

授業開始日までに、内容の詳細や要点をまとめて授業支援システムに上げておきたいと思います。必ず確認してください。(仮登録すれば見れるようになります) 大学デビューのつもりで新たな柔軟な思考を持ちたいなどの人、1人でも参加したい人も歓迎します。対面授業形式の利点や今後の将来に活かすためにGD・GWなどもします。多様性を考えたり、視野の相違などが目的ですが知り合いを創るためにも楽しみましょう。授業アシスタントの人を予定していますので、1年生などはさまざまな相談をしてみてください。楽かどうかは皆さん次第です。能登半島の災害や世界的課題を考えると、知識だけではなく自ら考え行動することが必要な気がします。

【Outline (in English)】

Course outline: The lecture will consider the direction of solutions to local issues.

Learning objectives: We would like to make it an attainable goal for students to be able to indicate the direction of various problem solving with diversity from community design and social business related to the local community.

Learning activities outside of classroom: Total is 4 hours

Grading Criteria: Term-end exam: 70% Contribution to class: 30%

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：文化の社会学

松下 優一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

[Learning Objectives] By the end of the course, students should be able to do the followings:

- understand key concepts in cultural theory and fundamental approaches of the sociology of culture.
- analyze artworks(artists, cultural production/distribution/reception, and so on) in its social context.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy] Grading will be decided based on Term-end report(50%) and Short reports(50%).

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、文化を社会的な観点から分析・考察するための理論や方法について学ぶ。まずは文化社会学のオーソドックスな概念について具体的に应用しながら理解を深め、そのうえで現代文化を成り立たせている諸条件にかんする主要な研究について学んでいく。これにより、文化を社会学するのに役立つ基本的な視座・着眼点の獲得を目指す。

【到達目標】

・文化を社会的に考察するのに役立つ理論、基本的な着眼点や問題設定などについて理解できる。

・作品（あるいは作家の営み、生産・流通・受容のメカニズムなど）の具体的な特徴を捉え、その社会的文脈性を考察することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に配布資料を用いて講義形式で進める。毎回のテーマに関するリアクションペーパーないし課題の提出を課す。提出物へのフィードバックは、次回授業の冒頭やまとめの回でいくつかピックアップする形で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	文化社会学へのイントロダクション
第2回	遊戯	井上俊『遊びの社会学』を中心に
第3回	欲望	作田啓一『個人主義の運命』を中心に
第4回	記号	R・バルト「神話作用」を中心に
第5回	表象とイデオロギー	マルクス主義的アプローチの系譜
第6回	文化テキストの分析 (1)	『君の名は。』を取り上げ、分析・考察を試みる
第7回	文化テキストの分析 (2)	『シン・ゴジラ』を取り上げ、分析・考察を試みる
第8回	文化テキストの分析 (3)	『この世界の片隅に』を取り上げ、分析・考察を試みる
第9回	文化テキストの分析 (4)	『コンビニ人間』を取り上げ、分析・考察を試みる
第10回	メディア文化	ベンヤミン「複製技術時代の芸術作品」を中心に
第11回	文化と卓越化	ブルデュー『ディスタンクシオン』および『芸術の規則』について
第12回	受容と流用	カルチュラルスタディーズの展開
第13回	コンヴァージェンス・カルチャー	参加型文化の時代
第14回	まとめ	授業の振り返りと補足、および課題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。課題に取り組むとともに、授業で紹介するテキストや作品を熟読・鑑賞し、自分なりに理解を深めてください。

【テキスト（教科書）】

特に指定しない。

【参考書】

- ・井上俊/長谷正文編『文化社会学入門』（ミネルヴァ書房、2010年）
- ・粟谷佳司/太田健二編『表現文化の社会学入門』（ミネルヴァ書房、2019年）

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（50%）+期末レポート（50%）
記述の具体性・独自性・妥当性などにより評価する。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の反応を見る限り概ね好評であった。今後も研鑽を重ねたい。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course introduces students to the key concepts in sociology of culture and to the ways of thinking about culture in the contemporary world.

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代社会論

松下 優一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

- understand basic approaches and theoretical arguments of contemporary social theories.

- think about social issues (cultural phenomena and so on) in contemporary context.

[Learning activities outside of classroom]

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on Term-end report (50%) and Short reports (50%) .

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、様々な現代社会論を学ぶ。現代日本社会に生起する諸々の現象・問題について、歴史的・構造的な視点をもって、分析・記述・考察するための社会学的視野の獲得を目指す。

【到達目標】

・基本的な現代社会の理論について理解し、具体的な事象に応用し、考察できる。

・現代社会において生起する具体的な事象を取り上げ、その背景・帰結を含めて分析・考察できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に配布資料を用いた講義形式で進める。毎回リアクションペーパーあるいは課題の提出を課す。フィードバックは、次回授業冒頭やまとめの回にて、いくつかの答案をピックアップする形で行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要説明、初回アンケートほか
第2回	リスク社会論	ベックのリスク社会論の要点と応用
第3回	消費社会論	ボードリヤールの記号消費論の要点と応用
第4回	格差社会論	〈格差〉から考える現代社会
第5回	監視社会論	管理/監視の技術から考える現代社会
第6回	情報社会論	情報技術と社会の関係をどう捉えるか
第7回	再帰的近代化論	ギデンズのモダニティ論を中心に
第8回	現代社会とノスタルジア	『ALWAYS三丁目の夕日』から考える
第9回	コンプライアンス社会	フラット化する文化と社会
第10回	ポスト・トゥルース	陰謀論の時代?
第11回	排除型社会	J・ヤングの著作を中心に
第12回	平成の社会と文化	平成とはいかなる時代だったのか
第13回	アフター・コロナ	コロナ禍から考える現代日本社会
第14回	まとめ	授業の振り返りと補足

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。各回のテーマに沿った具体的事例の収集、考察、まとめに取り組んでください。

【テキスト (教科書)】

特に使用しない。

【参考書】

本田由紀編『現代社会論—社会学で探る私たちの生き方』(有斐閣、2015年)

【成績評価の方法と基準】

授業内課題 (50%) + 期末レポート (50%)。

記述の具体性・妥当性・独自性を基準に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

「聞いたことのない理論や現象、考え方を少なからず知ることができた」「現代社会の成り立ちや背景を知ることによって現状がより論理的に考えることの面白さには気づかされました」(受講生のコメントより)。具体的な現象と理論を慎重かつダイナミックに架橋するような、社会学的思考を育む授業を目指したい。

【Outline (in English)】**[Course outline]**

This course introduces students to the key concepts of contemporary social theories and to the ways of thinking about current social changes.

[Learning Objectives]

By the end of the course, students should be able to do the followings:

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル: 政治と社会における「問題の発見」

徐 玄九

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

授業では政治と社会に関わる様々な事例を取り上げながら、政治と社会を動かしている原理を理解するとともに隠れている問題の発見に努める。できるだけ具体的な事例を取り上げながら基本的な概念や理論を学び、これらをもとに社会や政治、広くは時代の問題に気づき、その意味を理解し、その解決に向けて考える力を付けることを目指す。問題解決能力は問題を発見する能力とそれを解決する能力に区分できる。問題解決能力の中心は「問題の発見」にある。診断ができなければ治療することもできない医者のように、多くの領域において「問題解決」の主題は「問題の発見」である。この「問題の発見」こそが創造的な問題解決の出発点である。

【到達目標】

- ・基本的な概念や理論を論理的に発表、論述することができる。
- ・具体的な社会現象を複数の概念や理論を駆使して論理的に説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能な限り双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的で身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料 (PDF ファイル) は Hoppii で配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックは Hoppii を通じて行う予定である。
- ・討論の時間を設ける。討論は論点を予め整理したうえで、数人の受講生を担当教員が指名し、自分の主張と根拠 (前提) を提示する形式で行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要および受講時の注意点、成績評価の方法
2	基礎概念の理解	C.W・ミルズ『社会学的想像力』を手がかりに社会学の基礎概念を学ぶ
3	「問題の発見」	政治と社会における「問題の発見」の練習として「宝くじ」の歴史と機能、昔話「ウサギとカメの競争」を手がかりにルールや制度が不公平な側面を内包していることを確認する。
4	政策決定と利益	「問題の発見」の実践として、薬害事件を扱ったドキュメンタリー映画『薬に病むークロロキン網膜症』(小池征人監督、1980)の一部視聴と解説

5	社会的暴力と個人の身体	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「社会的失明の時代」の一部講読と討論
6	スティグマと社会的統制	社会的スティグマを学ぶための予備的考察として、芥川龍之介「桃太郎」、H・S・ベッカー『アウトサイダーズ』の一部講読
7	スティグマの政治社会学	E・ゴフマン『スティグマの社会学』とS・フェデリーチ『キャリアバンと魔女』の一部講読と討論
8	差別と偏見について	ドキュメンタリー映画『人間の街一大阪・被差別部落』(小池征人監督、1986年)の一部視聴と解説
9	差別と解放について	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「人間の場所」の一部講読と討論
10	感情と法の関係について	M・ヌスバウム『感情と法』(第2章「嫌悪感と私たちの動物的身体」)の一部講読
11	感情の政治社会学の理解	M・ホルクハイマー、T・アドルノ『啓蒙の弁証法』(「V 反ユダヤ主義の諸要素」)の一部講読と討論
12	個人の選択と社会的選別について	国鉄分割民営化の過程で労働者たちの置かれた状況を描いたドキュメンタリー映画『日本鉄道員物語1987』(小池征人監督、1987)の一部視聴と解説
13	権力と自由の関係について	前回の授業内容の理解を深めるために市村弘正「選択と選別の間」の一部講読
14	期末テストおよび総括	期末テスト (60分)、講評・まとめ (40分)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用せず、配布資料 (レジュメ、参考文献の抜粋) を用いる。

【参考書】

- ・市村弘正・杉田敦 (2005)『社会の喪失』中公新書。
- ・杉田敦 (2009)『政治への想像力』岩波書店。
- ・マーサ・ヌスバウム (2010)『感情と法—現代アメリカ社会の政治的リベラリズム』(河野哲也監訳) 慶應義塾大学出版会。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト (50%)、リアクションペーパー課題 (30%)、平常点 (質疑応答や討論への参加: 20%)

詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点: 以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点: 以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点: 授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点: 不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

12~15点: 授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5~11点: 不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1~4点: 最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】
(Course outline)

In the class, students take up various cases related to politics and society and try to understand the principles that drive politics and society and discover hidden problems. Through these efforts, we aim to become more aware of social, political and, more broadly, contemporary issues, understand their meaning, and develop the ability to think about solutions. Problem solving ability can be divided into the ability to discover a problem and the ability to solve it. The center of problem-solving ability lies in "finding a problem.". In many areas, the subject of "problem solving" is "finding a problem," as in a doctor who cannot be treated without being diagnosed. This "discovery of problems" is the starting point for creative problem solving.

(Learning Objectives)

· You can discover the principles and problems that drive politics and society.

· You can logically present and describe problems you find in your own words. (Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson.

· Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance. · 2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature.

(Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (30%) and participation in biweekly group discussions (20%).

SOC200LA (社会学 / Sociology 200)

社会学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル: 国家と市民の役割

徐 玄九

開講時期: 秋学期授業 / Fall | 曜日・時限: 月1 / Mon.1

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国家の本質、機能、市民の役割などについて学ぶ。具体的には、マックス・ウェーバーによって定義された支配と服従、国家などの概念を手掛かりに、歴史上登場した国家論の変遷と共に「市民」や政治制度の「民主主義」に関する理論を取り上げる。これらを通して受講者自らの「国家」と「市民」、「民主主義」に関する見解と比較してみることで、自らの考え方を少しでも明瞭にすることが目的である。

【到達目標】

- ・国家論の変遷を歴史的な文脈で説明できる。
- ・市民の自由と権利の意義と限界を受講生の経験を踏まえて具体的に説明できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ・対面授業で実施する。可能なかぎり双方向的な授業を心がける。とくに、テーマごとの関連性を重視しながら、具体的に身近なものから抽象的なものへと話題を進める。理解を深めるために、絵画や詩、映像資料などの教材も取り入れて視覚的な理解も図る。
- ・授業資料 (PDF ファイル) は Hoppii で配布する。
- ・リアクションペーパー課題の提出を求める予定であり、課題等のフィードバックは Hoppii を通じて行う予定である。
- ・討論の時間を設ける。討論は論点を予め整理したうえで、数人の受講生を担当教員が指名し、自分の主張と根拠 (前提) を提示する形式で行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要および受講時の注意点、成績評価の方法
2	基礎概念の理解	マックス・ウェーバー『職業としての政治』を手がかりに基礎概念を学ぶ
3	統治術の変化	「誰が統治すべきか」から「如何に統治すべきか」へ
4	国家主義国家論	トマス・ホブズ『リヴァイアサン』の一部講読
5	自由主義国家論 (政治的な側面から)	ジョン・ロック『統治二論』の一部講読と討論
6	自由と平等をめぐるルソーの立場	ルソー『人間不平等起源論』、『社会契約論』の一部講読
7	自由主義国家論 (経済的な側面から)	アダム・スミス『道徳感情論』と『国富論』の一部講読と討論
8	階級国家論、国家消滅論	カール・マルクス『共産党宣言』の一部講読
9	メディアとナショナリズム	ベネディクト・アンダーソン『想像の共同体』の一講読
10	全体主義について	ハンナ・アーレント、丸山眞男、藤田省三の分析を学ぶ

11	大衆社会論	オルテガ・イ・ガセット『大衆の反逆』、エリック・フロム『自由からの逃走』の一部講読と討論
12	民主主義について	杉田敦『デモクラシーの論じ方』、同『境界線の政治学』の一部講読
13	市民の役割について	宇野重規『〈私〉時代のデモクラシー』の一部講読と討論
14	期末テストおよび総括	期末テスト (60分)、講評・まとめ (40分)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用せず、配布資料 (レジュメ、参考文献の抜粋) を用いる。

【参考書】

マックス・ウェーバー (1919 = 2018) 野口雅弘訳「仕事としての政治」『仕事としての学問・仕事としての政治』講談社。
・加藤秀治郎・岩渕美克 (2013)『政治社会学 第5版』一藝社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト (50%)、リアクションペーパー課題 (30%)、平常点 (質疑応答や討論への参加: 20%)
詳細な評価基準は以下の通りである。

〈期末テスト〉

40-50点: 以下の条件を満たしたうえで到達目標を達成できたと認められる場合

30-39点: 以下の条件を満たしたうえで、明確な論点の提示、論理的な論述がなされている場合

10-29点: 授業内容の理解、概念の正しい使用が認められている場合

1-9点: 不十分ながら最低限の理解と論点が提示されている場合

〈リアクションペーパー課題〉

12~15点: 授業内容の十分な理解が認められ、自分の意見が自分の言葉で論理的に述べられている場合

5~11点: 不十分ながら授業内容を理解していると認められる場合

1~4点: 最低限の理解は認められる場合

【学生の意見等からの気づき】

- ・質疑応答の時間を増やす。
- ・アクティブラーニングの時間を増やす。

【Outline (in English)】

(Course outline)

Learn about the nature, function, and role of the nation. Specifically, this paper takes up the theory on "democracy" of "citizen" and political system as well as the transition of state theory which has appeared in history, taking into consideration the concepts of rule, obedience and nation defined by Max Weber. The purpose of this study is to clarify the students' views by comparing them with their own views on "nation," "citizen," and "democracy". (Learning Objectives)

- ・ The basic concepts of political sociology can be logically presented and discussed in one's own words.

- ・ The transition of the theory of nation in modern times can be understood in the historical context.

- ・ To enhance sociological understanding of political conflicts.

(Learning activities outside of classroom)

Since materials such as resumes and reference materials are distributed in advance, grasp the content of the lesson as a preparatory lesson and review it after the lesson. ・ Two hours of advanced study: study concepts and read textbooks and references in advance. ・ 2 hours of post-course learning: Organize notes, look up textbooks, and read related literature. (Grading Criteria /Policy)

Final exams (50%), preparation and review tasks (30%) and participation in biweekly group discussions (20%).

POL200LA (政治学 / Politics 200)

政治学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：音楽と政治：ボブ・ディランを中心に

木村 正俊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テーマ：ボブ・ディランと政治

ボブ・ディランとUS政治の関係について考察する。

ボブ・ディランとUS政治の関係について考察することによって現代政治に関する見方を養うことを目指します。

【到達目標】

WW I 以降のUSの政治と社会についての基本的知識を得ること。

音楽を通して政治について考えるようになること。

ボブ・ディランの信仰を考察することによって、ユダヤ教とキリスト教についての基本的な知識を得ることと、宗教と政治の関係について理解すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。

交通事情や天候その他の理由でオンライン（Zoom）のみの授業になる時があります。

ただし初回はオンラインのみで授業を行います。

授業の初めに、前回授業時の個別質問に対する回答や、前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
# 1	Intro.	講義の概要とやり方について
# 2	戦間期のフォークミュージック	フォークミュージックと政治の交錯
# 3	本当のフォークミュージックの追求	ローマックス親子とレッド・ベリ
# 4	プロテスト・フォークミュージックの登場	ウディ・ガスリーを中心に
# 5	マッカーシズムとフォーク・リヴァイバル	ピート・シガーを中心に
# 6	古くて奇妙なアメリカ	ハリー・スミスとコラーージュの政治学
# 7	ボブ・ディランの登場	プロテスト・フォークミュージックの政治学
# 8	1965年	USのニュー・レフトとボブ・ディラン
# 9	ピート・ジェネレーション	文学による政治の変容
# 10	カウンターカルチャー	カウンターカルチャーの時代とその後
# 11	The Basement Tapes	Bob Dylan の「古くて奇妙なアメリカ」あるいは「見えない共和国」

# 12	Slow Train Coming	Bob Dylan の改宗とUSの政治と社会
# 13	Things Have Changed.	終末論とUSの政治と社会
#14	Outro.	秋学期の講義のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回配布するプリントを授業の前に目を通し、授業後に復習する。紹介された参考文献を読む。

本授業の準備学習・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布する。

【参考書】

湯浅学『ボブ・ディラン ロックの精霊』（岩波新書、2013年）

北中中和『ボブ・ディラン』（新潮新書、2023年）

他の文献・音源・映像は、必要に応じて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業の内容に関するレポートのみで評価。

小レポート 20%、期末レポート 80%

出席は当然であるが、欠席に由来する不利益に関しては何の対応もしません。

【学生の意見等からの気づき】

ポピュラー・ミュージックやロックについての授業ではないことに注意してください。

洋楽についての知識がなくてもかまいませんが、興味・関心を持っていることは必要です。

授業時間外の質問はメールで対応します。

必要であれば個別にZOOMによるミーティングを行います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる機器。

映像・音楽を視聴できる機器。

【その他の重要事項】

ボブ・ディランや「洋楽」についての知識がなくても受講可能です。政治や音楽に関する基本的知識は学生によって差があるので、すべてを授業で提供できません。そこでわからないことや知らないことは教員に尋ねる、あるいは、自分で文献やネットで調べるようにしてください。

大学における講義、シラバスの内容、予習・復習に2時間を要することなどに関して興味のある人は、佐藤郁哉『大学改革の迷走』（ちくま新書、2019年）を参照してください。

【Outline (in English)】

Theme: Bob Dylan and Politics

【Course outline】

This course deals with the political world of Bob Dylan.

【Learning Objectives】

The fundamental aim of this course is to acquire lens through which contemporary politics can be viewed by considering the political world of Bob Dylan.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

To acquire basic knowledge of politics and society of the United States since the Second World War

To acquire basic knowledge of Judaism and Christianity and to understand relationships between politics and religion by considering the religious belief of Bob Dylan.

【Learning activities outside of classroom】

Read the prints distributed each time before class and review after class.

Read references.

Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to short reports(20%) and term-end report(80%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

ベル 裕紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。

【到達目標】

学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回アクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。

また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期の研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと80年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。
第二回	贈与と交換の政治経済	D. グレーバーや小田亮の贈与をめぐる議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。
第三回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。

第四回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第五回	技術と産業の人類学	企業は労働力とモノやサービスの流通の結節点であり、様々な技術が折り重なった複合体として捉えることができる。この授業では人類学における産業および技術の研究を概観しながら、ネットワークとしての産業を捉える視点を提示する。
第六回	機械の人類学	人類学における科学技術社会論、特にアクターネットワーク理論で著名なラトゥールの「純化」と「翻訳」「媒介」をめぐる議論を参照しながら、自然と人間と機械をめぐる近代的な認識論について理解を深める。その上で動く道具としての機械と製品のオーサーシップに関する議論を参照しながら、機械をめぐる人類学的な研究を概観していく。
第七回	都市人類学	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
第八回	国民国家とナショナリズム	A. ゲルナーやB. アンダーソンなどの国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
第九回	グローバル化の人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
第十回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十一回	人権と人類学	1945年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在をH. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形で労働力移入政策を取ることが一般的である。この講義ではその特徴と、それの下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね2時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%、毎回のリアクションペーパー42%、授業への参加度8%で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。必要に応じて授業の冒頭に学生の回答を紹介し、応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらおうつもりである。

【Outline (in English)】

【Outline and Goal】

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：宗教人類学

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけん不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。

世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第2回	宗教人類学	宗教的なものについて
第3回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第4回	アニミズム	アニミズムと自然
第5回	シャーマニズム	自と他
第6回	身体①	儀礼とインタラクション
第7回	身体②	儀礼と認識の変容
第8回	生と死	境界づける
第9回	呪物	モノから考える
第10回	医療	癒しと宗教的なもの
第11回	経済	資本主義と宗教的なもの
第12回	政治	国家と宗教的なもの
第13回	コスモポリティクス	開発と宗教的なもの
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習のための参考書・文献・資料情報を充実させる。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

北原 卓也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は、文化人類学で扱われる現在の我々の生活に密接な医療、スポーツ、観光といったトピックについて考える。また、オセアニアという地域に焦点をあて、地域から文化的な事象をみていく。普段、何気なく接している事柄を新たな視点から捉えられるようになることを目指す。

【到達目標】

本講義の到達目標は下記の通り。

- (1)文化人類学で扱われるトピックについて理解する。
- (2)他者の文化との比較から自身の「あたりまえ」を認識し言語化する。
- (3)自身の「あたりまえ」にとらわれない新たな視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は、以下の授業計画に基づき対面とオンラインを組み合わせて行います。配布するレジュメに沿って講義を行い、扱うトピックによってディスカッションを行うことがあります。また、映像を視聴することで理解を深める場合もあります。毎回授業後にはコメントシートの提出していただきます。提出されたコメントシートは次回授業の冒頭でいくつか紹介します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方や目的について確認した後、担当教員の研究フィールドの紹介や文化人類学という学問分野について説明する
2	医療	医療を文化の視点から捉えられるようになる
3	スポーツ	スポーツを文化の視点から捉えられるようになる
4	観光	文化現象としての観光を理解する
5	贈与	贈与という行為について身近な事例と世界の事例を比較しながら理解する
6	開発	開発と文化をめぐる諸問題について考察する視点を獲得
7	中間のまとめ	これまでの講義の理解度を確認するため課題に取り組む
8	オセアニアの人類学	オセアニアの地理と歴史について概観し、各地域の文化の背景を理解する

9	オセアニアの人類学	身体変工についてポリネシア地域で見られるタトゥー文化の事例から理解する
10	オセアニアの人類学	オセアニアからの移民について理解する
11	オセアニアの人類学	ニュージーランドの映画の事例から、文化の表象について理解する
12	オセアニアの人類学	祝祭についてトンガ王国の戴冠式の事例から理解する
13	オセアニアの人類学	これまでの授業を踏まえてオセアニア出身のゲストスピーカーから話を聞く
14	まとめと確認（試験）	今期のまとめとして教場試験を行います

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の準備として、指定する文献や配布するプリントまたは映像作品に目を通しておくこと。授業後は配布するレジュメを復習し、内容をきちんと理解しておくこと。1回の授業につき、準備・復習は各3時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。必要に応じてレジュメや資料を配布します。

【参考書】

『よくわかる文化人類学』、綾部恒雄・桑山敬己（編）、ミネルヴァ書房、2010年。
『オセアニア史』山本真鳥（編）、山川出版会、2000年。
『オセアニアの人類学-海外移住・民主化・伝統の政治』須藤健一、風響社、2008年。
『太平洋諸島の歴史を知るための60章-日本とのかかわり』石森大地・丹羽典生（編）、明石書店、2019年。

【成績評価の方法と基準】

中間のまとめ：30%、期末試験（またはレポート）：40%、平常点（コメントシート）：30%
2/3以上の出席で評価対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

他の履修生のコメントシートが気になるという声があったので、復習を兼ねて毎回授業の冒頭に前回のコメントシートの内容を振り返る時間を設ける。

【Outline (in English)】

This course introduce the concept of Cultural Anthropology and its research method as tools to understand different cultures. The goal of this course are:

- (1) to understand the topics of Cultural Anthropology
- (2) to compare cultures and explain differences between your culture and other culture
- (3) to gain the new point of view

Before/after each class meeting, students will be expected to spend three hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term exam (30%), term-end examination or report (40%), and in-class contribution through comment sheets you should submit after each class(30%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

長沢 利明

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文化人類学の基礎について学ぶ。人間と文化との関係の構造的な理解をめざし、さまざまなテーマからそれを見ていく。

【到達目標】

文化人類学のもっとも基本的な研究課題としての「人間と文化との関係」を、さまざまな具体的なテーマを提示しながら、考えていく。特に、文化の変容面・動態的側面に注目しつつ、生態環境・生活空間・儀礼構造・民間信仰・民族問題などの諸側面から、この問題を検討して試みることにする。この作業を通じて、文化人類学的な物の考え方や研究方法、分析視角などを学んでいくことにし、極力わかりやすい形で、それを講義して試みたい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回ひとつずつ基本テーマを取り上げ、それに関する詳細情報やデータ類を提示しつつ、解説と検討をおこなう。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	プロローグ	受講にあたっての注意事項、授業の全体計画などについて解説。
②	焼畑と植生 I	日本の焼畑農業の実態を長野県秋山郷を例に解説する。
③	焼畑と植生 II	日本の焼畑農業の実態を山梨県奈良田を例に解説する。
④	住居と生活空間	住居と居住空間の多様性、その文化的拜啓などについて学ぶ。
⑤	年中行事の構造	日本の年中行事の特色を、その構造分析の側面から開設する。
⑥	民間信仰と文化変容	宗教人類学および日本の民間信仰の特性について学ぶ。
⑦	台湾の社会と民族問題	台湾における多民族社会の実情と問題点について学ぶ。
⑧	アミ族の社会変化	母系制社会の変容の実態をアミ族を例に解説する。
⑨	ブヌン族の社会変化	父系制社会の変容の実態をブヌン則を例に解説する。
⑩	東京のイスラム	日本におけるイスラム教徒の実情を、タタール人社会を例に解説する。
⑪	沖縄文化の特色	沖縄の固有文化の特色とその国際性について学ぶ。
⑫	冬季フィールドワーク解説	冬休みのフィールドワークとレポート作成について解説。

- ⑬ 文化人類学の将来 全体の補足解説として、これからの文化人類学研究の課題・方向性を述べる。
- ⑭ 秋学期授業のまとめ 秋学期授業の全体的な総括をおこなう。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

自宅での復習をおこない、配布されたプリント資料などを通読し、整理しておくこと。教員への質問事項なども用意しておくことがのぞましい。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は特に使用せず、そのかわりに毎回、教室でプリント資料を配布する。それが、いわばテキストがわりとなる。

【参考書】

必要な文献資料や読んでおくべき参考書類は、授業時間内に適宜紹介していく。

【成績評価の方法と基準】

学期末授業時間内試験によって成績評価をおこなう（100％）。

【学生の意見等からの気づき】

授業改善アンケート結果を尊重し、極力受講者からの要望を取り入れ、つねに授業内容の改善につとめていく。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

Course outline: about general theory of cultural anthropology, basic problems on cross cultural and environmental facts.

Learning objectives: We will consider the "relationship between humans and culture" as the most fundamental research question of cultural anthropology, presenting a variety of specific themes.

Learning activities outside of classroom: The standard preparation and review time for this class is 2 hours each.

Grading criteria/policies: You overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 100%.

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学 L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

ベル 裕紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々が生きる社会を特徴づける、近代という時代が生み出した政治システムとしての国民国家や人権イデオロギー、労働集約型の産業、統治技法としての人口の管理、あるいはケアと教育のための全制的施設といったテーマについて、様々な対象を取り上げて、人類学的な研究を参照しながら考えていく。それを通じて現代社会についてのみならず、人類学的な社会の見方についてより深い理解に到達することを目的とする。

【到達目標】

学生は、授業で取り上げた人類学的な考え方や理論を理解するのみならず、様々な事象について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができるようになる。また、そうした学習を通じて、現代社会に対する理解も今まで以上に深めることになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義を基本とするが、受講者の積極的な参加を期待する。授業後に毎回アクションペーパーの提出を課し、次の回の冒頭で可能な限り紹介し、授業内容に反映させる。

また授業に臨むにあたり、比較的短い文章を読んでもくるなどの予習課題を課す。受講者には積極的な発言を期待する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	人類学の射程	人類学は「未開社会」と呼ばれた国家を持たない社会を含む、非西欧社会を対象として発展してきた。しかし、これら古典期の研究は、近代国家や西欧との接触の事実を捨象した形で「伝統」や「文化」を抽出し、それらを本質化してきたと80年代以降、鋭く批判されてきた。現在の人類学は、こうした批判の上に存在する。こうした人類学の歴史を踏まえつつ、同時代を眼差す視点を提示する。
第二回	贈与と交換の政治経済	D. グレーバーや小田亮の贈与をめぐる議論を手掛かりに、シェアリングや贈与、市場交換、再分配というモノやサービスの流通を「負い目」という観点から捉えなおす。
第三回	暴力の人類学	暴力や戦争を扱った人類学的な研究を取りあげ、集団の境界や関係について、考察を深めていく。

第四回	ことばと政治	言語および発話行為と政治に着目した人類学的な研究の展開を概観し、理解を深める。
第五回	技術と産業の人類学	企業は労働力とモノやサービスの流通の結節点であり、様々な技術が折り重なった複合体として捉えることができる。この授業では人類学における産業および技術の研究を概観しながら、ネットワークとしての産業を捉える視点を提示する。
第六回	機械の人類学	人類学における科学技術社会論、特にアクターネットワーク理論で著名なラトゥールの「純化」と「翻訳」「媒介」をめぐる議論を参照しながら、自然と人間と機械をめぐる近代的な認識論について理解を深める。その上で動く道具としての機械と製品のオーナーシップに関する議論を参照しながら、機械をめぐる人類学的な研究を概観していく。
第七回	都市人類学	都市人類学において発展したネットワーク論や都市における集団形成の意味とその形式について学習する。
第八回	国民国家とナショナリズム	A. ゲルナーやB. アンダーソンなどの国民国家をめぐる代表的な議論を学習する。
第九回	グローバル化の人類学	人類学のみならず、社会科学におけるグローバル化の理論を概観した上で、グローバル化という現象を政治人類学の文脈に沿って理解する。
第十回	社会運動論と人類学	人類学における社会運動研究を概観し、集合的アイデンティティの形成、生活と運動との乖離、「歴史性」といったトピックを学習する。
第十一回	人権と人類学	1945年以降の人類学における人権の捉え方を通時的に把握した上で、近年の人権に関する議論について学習する。
第十二回	難民の人類学	難民という存在をH. アーレントを手がかりに、国民国家を基本とした国際秩序の枠組みの中で捉えた上で、人類学的な難民研究を紹介する。
第十三回	移住労働の人類学	第十回に引き続き、移住をテーマに学習する。東アジアでは、移民がホスト社会に定着し、永住につながるような受け入れ方ではなく、在留期間と活動に制限を加え、定着しないような形で労働力移入政策を取るものが一般的である。この講義ではその特徴と、それの下での移住労働者たちの活動について紹介する。
第十四回	文化と権利	文化と権利という視点から、グローバル化、多文化主義、アイデンティティ、人権といった、これまで授業で取り扱ってきた問題を捉え直す。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題を通じた復習と、翌週の授業の準備に概ね2時間程度の時間をかけるものとする。また、それに加えて授業内で紹介する参考文献を、各自の関心に応じて読みこみ、理解と思考を深めることが望ましい。

【テキスト（教科書）】

なし。毎回の授業で、事前に学習支援システムを通じて講義レジュメを配布する。

【参考書】

授業時間内に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート50%、毎回のリアクションペーパー42%、授業への参加度8%で評価する。

【学生の意見等からの気づき】

毎回の授業の内容に関する課題を出す。必要に応じて授業の冒頭に学生の回答を紹介し、応答を行うことで、学生の理解を深めていく。

【学生が準備すべき機器他】

提出物は学習支援システムを通じて提出してもらおうつもりである。

【Outline (in English)】

【Outline and Goal】

This course introduce students several anthropological perspectives on modern society, such as Nation-states as a political system, human rights as a modern ideology, population control as technology of governance, and total institutions for educations and health care. Students should understand modern societies as well as anthropological perspectives on societies in general, through this course.

【Requirements】

Students are expected to study about 2 hours for a week for preparation and review of classes. Each students will submit written comments on contents of each lectures(45%) and be expected to oral comments on class(5%), as well. The final writing assignment is also required for confirm students achieve the goal of this course(50%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：死と喪の人類学

菊池 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人は死をどのようなものと捉え、それにいかに向き合ってきたか。どのように死者を悼み、新たな関係性に置かれた自分を生きようとしてきたか。本授業では、死と悲嘆・喪に関する人類学的研究を概観しながら主要な理論や概念について学ぶとともに、世界の諸地域に見られる、死の観念、喪失の儀礼、喪の様式の多様性を把握する。また、現代社会における死や看取りのあり方、追悼・哀悼をめぐる諸問題について、人類学的な視点から考える力を養う。死別の経験が、生き遺った者の甦生へ至る萌芽を宿していることを学ぶ。

【到達目標】

- ・死や悲嘆・喪をめぐる人々の多様な実践について、人類学的に理解することができる。
- ・現代社会における死や悲嘆・喪に関する問題について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義を基本とするが、トピックによってはグループディスカッションを取り入れる場合もある。
- ・必要に応じて映像資料なども用いながら、理解を深める。
- ・毎回の授業後には、リアクションペーパーの提出をしていただく。提出されたリアクションペーパーは、次回授業の冒頭でいくつか紹介しながら、フィードバックを行う。
- ・授業に臨む前に、事前に指示した課題文献を読むなど、予習課題を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業概要などの確認、担当教員の研究フィールドの紹介
第2回	死と喪の人類学説史 I（～1980年代）	デュルケム的な構造機能主義を反映した、初期の人類学的研究
第3回	死と喪の人類学説史 II（1990年代～）	個人的な経験としての死別、既存の宗教的・文化的な喪の方法が適用し難い死、生者による死者への応答としての喪
第4回	死の観念	世界各地の様々な死の観念
第5回	喪失の儀礼	世界各地の様々な葬送・埋葬の儀礼
第6回	悲嘆と喪	死者を悼むこと
第7回	中間のまとめ	前半の講義の理解度の確認を兼ねて、関連する民族誌を読み解く課題に取り組む
第8回	現代社会における死	自然災害や紛争などによる大量死や、脳死、孤独死など
第9回	看取り・死とケア	看取りと死をめぐるケアの実践・文化

第10回	(エスノ・) ナショナル	国家や共同体による追悼実践的な追悼実践
第11回	人々の哀悼実践	哀悼の政治学から離れた日々の哀悼実践
第12回	異形の死と向き合う	遺体が見つからないような、既存の喪の方法を用いることが困難な死(者)とどう向き合うか
第13回	文化人類学者と死の経験	R.ロサルドなど人類学者自身の死の経験と研究との関係
第14回	まとめ	授業内容のふり返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習：事前に指示された課題文献を読み、理解したことや疑問点などをまとめる。
- ・復習：授業内で紹介する参考文献を各自の関心に応じて読み進めながら、授業の理解を深める。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・特に指定しない。
- ・原則、事前に講義レジュメを配布する。
- ・必要に応じて、関連する文献を紹介し、学習支援システムを通じて資料を配布する。

【参考書】

授業内で適宜紹介するが、参考になるものを以下に挙げる。

- ・内堀基光、山下晋司1986『死の人類学』弘文堂。
- ・北村毅2009『死者たちの戦後誌—沖縄戦跡をめぐる人々の記憶』御茶の水書房。
- ・川村邦光2013『弔い論』青弓社。
- ・デヴィッド・サドナウ1992『病院でつくられる死』岩田啓靖・志村哲郎・山田富秋（共訳）せりか書房。
- ・野田正彰1992『喪の途上にて』岩波書店。
- ・P.メトカーフ、R.ハンティントン1996『死の儀礼：葬送習俗の人類学的研究 [第二版]』池上良正、池上富美子（訳）未來社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40%）：リアクションペーパー、出席状況、中間のまとめの課題、ディスカッションへの参加度等。
 学期末レポート（60%）：未提出の場合、原則E評価とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

- ・講義レジュメ・関連資料の配布、課題等の提出は、学習支援システムを通じて行う予定。
- ・初回授業はオンライン形式とし、「リアルタイム配信型」で行う予定。

【その他の重要事項】

- ・学期末レポートが未提出の場合、原則E判定とする。
- ・初回授業はオンライン形式とし、「リアルタイム配信型」で行う予定。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しない。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は、授業内もしくは学習支援システムで周知する。

【Outline (in English)】

The aim of this course introduces the Anthropology of Death, Mourning and Burial. The goal of this course is to learn anthropological theories and concepts about death, and the rituals of mourning and the forms of burial. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final report: 60%(in case of no submission would be E grade), in class contribution:40%.

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：

渡辺 浩平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

世界には私たちにはいっけん不思議に思える多様な宗教実践がある。この授業では、世界各地の多様な宗教実践の事例や、宗教実践を理解するための概念を紹介しながら、「宗教的なもの」について人類学的に考察する。また、私たちの日常生活の様々な側面から宗教を考える。それらを通じて、多様な宗教実践と自身の日常的な体験の間の連続性をとらえる。

【到達目標】

宗教人類学の基本的な視座を習得し、宗教実践の多様性と類似性をとらえる方法を身につける。

世界各地の事例を知り、別の生き方の可能性を想像する力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。学習支援システムを利用して資料を配布する。毎回の授業でリアクションペーパーの提出を課す。毎回の授業のはじめに、リアクションペーパーのコメントや質問等に応答する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と評価方法について説明
第2回	宗教人類学	宗教的なものについて
第3回	呪術	日常生活と呪術の密接なつながり
第4回	アニミズム	アニミズムと自然
第5回	シャーマニズム	自と他
第6回	身体①	儀礼とインタラクション
第7回	身体②	儀礼と認識の変容
第8回	生と死	境界づける
第9回	呪物	モノから考える
第10回	医療	癒しと宗教的なもの
第11回	経済	資本主義と宗教的なもの
第12回	政治	国家と宗教的なもの
第13回	コスモポリティクス	開発と宗教的なもの
第14回	総括	授業のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で取り上げられる事例の詳細を調べることで理解を深める。

人類学の概念を用いて身の回りの出来事を解釈する。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

特に定めない。授業内で資料を配布する。

【参考書】

毎回の授業で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題（40%）と期末レポート（60%）をもとに評価する。60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習のための参考書・文献・資料情報を充実させる。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【その他の重要事項】

授業計画は、受講生の関心に応じて変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

There is a wide variety of religious practices that seem strange to us at first glance. This course aims to help students understand the continuity between various religious practices and daily experiences. This course discusses "the religious" from an anthropological perspective, introducing examples of diverse religious practices and concepts for understanding religious practices. At the end of the course, students are expected to acquire a fundamental perspective of anthropology of religion. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours reading reference materials. Grading will be decided based on the term-end report (60%) and in-class contribution (short reports) (40%).

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：妖怪・怪異と存在論的転回

廣田 龍平

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、現代の文化人類学において重要な潮流の一つである、いわゆる「存在論的転回」について、妖怪・怪異や幽霊などの非日常的な存在と人間との関係性をとおして学んでいきます。私たちが生きる現代社会は、自然と文化、知識と信念、合理性と非合理性など、物事にさまざまな区分をすることによって成り立っていますが、世界には、そのような区分とは大きく違ったかたちで自分たちの環境を生きている人々の社会もあります（アニミズムなど）。この授業では、日本に限らず、妖怪や幽霊など現代社会では実在しないとされるものの事例をとおして、世界のさまざまな生き方を学んでいきます。

【到達目標】

現代の文化人類学で展開しているさまざまな理論や概念を学ぶことにより、異文化のみならず自文化についても基礎的なレベルから理解する方法を身につける。さらに、妖怪や幽霊など、実在しないとされる対象がどのように扱われているのかを学ぶことにより、大衆文化の表象や身近な経験について、文化人類学的な側面から表現できるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業は、パワーポイントのスライド資料にもとづく講義形式で実施する。各回授業ごとにテーマを設定し、必要に応じて映像資料なども交えながら関連する方法論と事例を解説していく。

毎回、授業終了後に短いコメントをHoppiiに提出してもらう。コメントは、次回授業の冒頭でいくつかを取り上げてフィードバックをおこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	日本の妖怪研究史①	1970年代までの妖怪研究について学ぶ。
2	日本の妖怪研究史②	1980年代から2020年代までの妖怪研究について学ぶ。
3	アニミズムと化ける動物たち	異類婚姻譚や妖狐譚など、生き物が人間に変身する話を、アニミズム理論を用い、世界的な視野から理解する。
4	トーテミズムと動物の祖先	オーストラリア先住民にとっての、人間と人間以外の存在との関係のあり方を学ぶ。
5	アナロジズムと万物照応の世界	古代・中世のヨーロッパや日本などの社会で、権力が古いや怪異と結びついていた実態を説明する。
6	自然と文化からハイブリッドへ	文化人類学の基礎にある「自然と文化」という二分法の成り立ちや、それに対する批判を解説する。
7	アクターネットワーク理論	存在論的転回にとって重要な理論を学ぶ。
8	科学と俗信と民俗学	アクターネットワーク理論などを用い、科学と俗信の関係や、俗信を研究してきた民俗学的実践を理解する。

9	都市伝説と学校の怪談	20世紀後半の日本やアメリカの都市社会における妖怪や怪異の展開を学ぶ。
10	ネットロアとクリーピーバスタ	21世紀、インターネットの時代におけるグローバルな妖怪や怪異のあり方を学ぶ。
11	比較妖怪学	これまでの授業を踏まえ、日本の妖怪を中心として、国外の怪物や妖精と比較する人類学的視点を説明する。
12	心霊主義と超常現象	近現代の妖怪・怪異を支えてきた思想が非近代的なものとのように違うのかを理解する。
13	合理性と非合理性、文明と未開、自己と他者	妖怪を語るとき使われる合理性と非合理性という二分法を考え直していく。
14	全体のまとめ	存在論的転回と妖怪の関係についてまとめる。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業では見られない考え方が多く登場するので、授業外でも、まずは自分がどのように世界を認識していたのかを考え、授業中に紹介した事例に加えて、聞いたことのある神話伝説や妖怪・怪異などと比べることをとおして、これまで知らなかった世界の認識方法や生き方を理解すること。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用しません。毎回の授業に関連する文献を紹介するので、各自の関心に合わせて読み進めてください。

【参考書】

フィリップ・デスコラ 2020年『自然と文化を越えて』水声社
ブリュノ・ラトゥール 2019年『社会的なものを組み直す』法政大学出版局
マイケル・デラン・フォスター 2017年『日本妖怪考』森話社
香川雅信 2022年『日本妖怪史』河出書房新社
廣田龍平 2023年『〈怪奇的で不思議なもの〉の人類学』青土社

【成績評価の方法と基準】

毎回提出するレポート（60%）
期末レポート（40%）

【学生の意見等からの気づき】

概念や理論を中心とした、抽象的な解説が多くなり、難易度が高くなっていったため、もう少し具体的事例を増やした講義内容にする。

【Outline (in English)】

This course introduces the ontological turn in cultural anthropology to students taking this course. In doing so, this course takes cases primarily from relationships of human with nonhuman beings around the world, especially with ghosts and mysterious beings in Japan (so-called *yōkai*).

By the end of the course, students should be able to do the followings:

-A. Understanding other cultures by applying concepts and theories of contemporary anthropology.

-B. Explaining various representations of nonhuman beings in popular culture as well as your personal experiences through anthropological concepts.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end paper: 40%, Short reports : 60%

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：死と喪の人類学

菊池 真理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人は死をどのようなものと捉え、それにいかに向き合ってきたか。どのように死者を悼み、新たな関係性に置かれた自分を生きようとしてきたか。本授業では、死と悲嘆・喪に関する人類学的研究を概観しながら主要な理論や概念について学ぶとともに、世界の諸地域に見られる、死の観念、喪失の儀礼、喪の様式の多様性を把握する。また、現代社会における死や看取りのあり方、追悼・哀悼をめぐる諸問題について、人類学的な視点から考える力を養う。死別の経験が、生き遺った者の甦生へ至る萌芽を宿していることを学ぶ。

【到達目標】

- ・死や悲嘆・喪をめぐる人々の多様な実践について、人類学的に理解することができる。
- ・現代社会における死や悲嘆・喪に関する問題について、人類学的な考え方や概念を用いて説明することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・講義を基本とするが、トピックによってはグループディスカッションを取り入れる場合もある。
- ・必要に応じて映像資料なども用いながら、理解を深める。
- ・毎回の授業後には、リアクションペーパーの提出をしていただく。提出されたリアクションペーパーは、次回授業の冒頭でいくつか紹介しながら、フィードバックを行う。
- ・授業に臨む前に、事前に指示した課題文献を読むなど、予習課題を求める。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業概要などの確認、担当教員の研究フィールドの紹介
第2回	死と喪の人類学説史 I（～1980年代）	デュルケム的な構造機能主義を反映した、初期の人類学的研究
第3回	死と喪の人類学説史 II（1990年代～）	個人的な経験としての死別、既存の宗教的・文化的な喪の方法が適用し難い死、生者による死者への応答としての喪
第4回	死の観念	世界各地の様々な死の観念
第5回	喪失の儀礼	世界各地の様々な葬送・埋葬の儀礼
第6回	悲嘆と喪	死者を悼むこと
第7回	中間のまとめ	前半の講義の理解度の確認を兼ねて、関連する民族誌を読み解く課題に取り組む
第8回	現代社会における死	自然災害や紛争などによる大量死や、脳死、孤独死など
第9回	看取り・死とケア	看取りと死をめぐるケアの実践・文化

第10回	(エスノ・) ナショナル	国家や共同体による追悼実践的な追悼実践
第11回	人々の哀悼実践	哀悼の政治学から離れた日々の哀悼実践
第12回	異形の死と向き合う	遺体が見つからないような、既存の喪の方法を用いることが困難な死(者)とどう向き合うか
第13回	文化人類学者と死の経験	R.ロサルドなど人類学者自身の死の経験と研究との関係
第14回	まとめ	授業内容のふり返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習：事前に指示された課題文献を読み、理解したことや疑問点などをまとめる。
- ・復習：授業内で紹介する参考文献を各自の関心に応じて読み進めながら、授業の理解を深める。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

- ・特に指定しない。
- ・原則、事前に講義レジュメを配布する。
- ・必要に応じて、関連する文献を紹介し、学習支援システムを通じて資料を配布する。

【参考書】

授業内で適宜紹介するが、参考になるものを以下に挙げる。

- ・内堀基光、山下晋司1986『死の人類学』弘文堂。
- ・北村毅2009『死者たちの戦後誌—沖縄戦跡をめぐる人々の記憶』御茶の水書房。
- ・川村邦光2013『弔い論』青弓社。
- ・デヴィッド・サドナウ1992『病院でつくられる死』岩田啓靖・志村哲郎・山田富秋（共訳）せりか書房。
- ・野田正彰1992『喪の途上にて』岩波書店。
- ・P.メトカーフ、R.ハンティントン1996『死の儀礼：葬送習俗の人類学的研究 [第二版]』池上良正、池上富美子（訳）未來社。

【成績評価の方法と基準】

平常点（40%）：リアクションペーパー、出席状況、中間のまとめの課題、ディスカッションへの参加度等。

学期末レポート（60%）：未提出の場合、原則E評価とする。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

- ・講義レジュメ・関連資料の配布、課題等の提出は、学習支援システムを通じて行う予定。
- ・初回授業はオンライン形式とし、「リアルタイム配信型」で行う予定。

【その他の重要事項】

- ・学期末レポートが未提出の場合、原則E判定とする。
- ・初回授業はオンライン形式とし、「リアルタイム配信型」で行う予定。
- ・対面をオンラインで同時配信するハイフレックス型授業は実施しない。
- ・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は、授業内もしくは学習支援システムで周知する。

【Outline (in English)】

The aim of this course introduces the Anthropology of Death, Mourning and Burial. The goal of this course is to learn anthropological theories and concepts about death, and the rituals of mourning and the forms of burial. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final report: 60%(in case of no submission would be E grade), in class contribution:40%.

CUA200LA (文化人類学・民俗学 / Cultural anthropology 200)

文化人類学L

2017年度以降入学者

サブタイトル：開発と文化の人類学

石森 大知

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：集中・その他/intensive・other courses

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、開発人類学、すなわち開発援助および国際協力のテーマを文化人類学の視点から取り上げる。現在、世界の各地で、2015年に国連で定められた「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けたさまざまな取り組みが実施され、その成果や有効性に関する調査・研究も進んでいる。21世紀において人類に課せられた課題は数多くあるが、貧困撲滅、健康向上（国際保健）、環境問題などへの対処は重要である。本授業では、これらの同時代的なグローバル・イシューを通して、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について考察する。

【到達目標】

- ・文化人類学、とくに開発人類学の専門的な概念や理論を習得する。
- ・ものごとを相対的に捉えることによって得られる他者理解の洞察力を身に付ける。
- ・同時代的なグローバル・イシューを理解するとともに、開発とローカルな社会・文化・環境の持続的共存関係について自らの視点から考察・検討を行う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・本授業は「フルオンデマンド型/資料・教材コンテンツ配布型授業(全14回)」です。履修生のみなさんには主に学習支援システムを通して配信される授業レジュメや動画等の資料を用いた学習を行います。

・授業の理解度や平常の取り組みを評価するため、基本的に毎回、授業コメントや質問・疑問を求めるリアクションペーパーを課します。

・リアクションペーパー等における興味深いコメントや質問等を授業内で取り上げ、全体に対してフィードバックを行うとともに、さらなる議論に活かします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：オンライン/online

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要、成績評価方法の説明
第2回	開発概念と関連理論①	開発の誕生
第3回	開発概念と関連理論②	社会開発への転換
第4回	開発援助とODA, そして人類学者	開発援助とのかかわり方
第5回	貧困撲滅の取り組み①	貧しい／豊かとは何か
第6回	貧困撲滅の取り組み②	マイクロファイナンス
第7回	健康な生活①	プライマリヘルスケア
第8回	健康な生活②	感染症対策とDOTS

第9回 森林開発と環境問題 近代化と環境破壊①

第10回 森林開発と環境問題 ソロモン諸島の植林事業②

第11回 温暖化と環境言説① ツバルの「海面上昇」

第12回 温暖化と環境言説② ツバルの浸水被害と海岸浸食

第13回 観光開発と自然環境 エコツーリズムを考える

第14回 総括 授業のまとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

・授業内で紹介する文化人類学や開発人類学の関連文献を読み、授業の理解を深める。

・図書館などで関連文献を調べ、自らの興味関心を広げる。

・本授業の準備学修・復習時間は各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

教科書はとくに指定せず、必要に応じて関連資料を配布する。

【参考書】

授業中に適宜紹介するが、以下のものを挙げておく。

信田敏宏ほか編『グローバル支援の人類学—変貌するNGO・市民活動の現場から』昭和堂、2017年。

佐藤寛・藤掛洋子編『開発援助と人類学—冷戦・蜜月・パートナーシップ』明石書店、2011年。

佐藤寛『開発援助の社会学』世界思想社、2005年。

青柳まちこ編『開発の文化人類学』古今書院、2000年。

【成績評価の方法と基準】

学期末レポート:40%、平常点（リアクションペーパー、出席状況等）:60%として総合的に評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする（ただし、平常点だけでは合格とはなりません。学期末レポートを提出しなかった場合、E評価になります）。

【学生の意見等からの気づき】

文字や音声などの情報だけではなく、できるだけ多くの写真や映像資料を用いることで授業内容の理解を促すようにする。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】

・学期末レポートを提出しなかった場合、E評価になります。

・シラバス内容や授業計画に変更が生じた場合は授業内もしくは学習支援システムで周知します。

【Outline (in English)】

[Course Outline]

This course introduces the fundamentals of development anthropology, which seeks to apply anthropological perspectives to the multidisciplinary field of development studies. The aims of the course are to provide a basic knowledge of development anthropology and to understand the impact of development on local culture, environment and society.

[Learning Objectives]

At the end of the course, students will have an understanding of global issues and their own opinions on the sustainable coexistence of development and local societies, cultures and environments.

[Learning Activities Outside of Classroom]

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

[Grading Criteria/Policy]

Grading will be decided based on term-end report (40%) and in class contribution (60%).

SOS200LA (その他の社会科学 / Social science 200)

社会思想 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学びます。日本と朝鮮半島(南北)の近現代史の諸関係から生み出され、この3ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在です。この授業では3ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかた、その詩や文学、映画や音楽、芸能などの作品世界を学びます。

【到達目標】

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる
 テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる
 テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたこの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業の講義形態で授業を行います。受講生は各授業とも疑問、コメントなどのリアクションをする必要があり、それに対して授業時に応答していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、学ぶ内容、学ぶ方法、成績評価の方法などについてガイダンスを行います
2	導入	在日朝鮮人という存在
3	発生	日本の近代と在日朝鮮人の発生
4	定着化	定着化と二世の誕生
5	運動	さまざまな運動
6	コミュニティ	朝鮮人コミュニティの変容
7	強制動員	戦時下の在日朝鮮人
8	戦後	占領政策
9	帰国	帰国運動
10	二世 (1)	二世たちの挑戦
11	二世 (2)	転換期の思想と文化
12	グローバル化 (1)	多民族化する日本社会
13	グローバル化 (2)	国民の論理を超えて
14	まとめ	在日朝鮮人と日本の進む道

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各回ごとに指定するテキスト数十ページを事前に読んでおくことと授業の理解の助けになります。本授業の準備学習・復習時間は、各1～2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業中に説明します。

【参考書】

授業中に説明します。

【成績評価の方法と基準】

授業後に提出するリアクションペーパー10回分を平常点として50%の成績評価を行います。
 各ペーパーの評価基準としては、各回の授業ごとに、主題を理解し、その内容を自らの言葉によって解釈し、表現していることとします。さらに学期末の期末レポートを残りの50パーセントとし、合計100%として成績評価を行います。期末レポートの評価基準としては、授業内容を正確に理解し、それを自分の言葉で表現できていることとします。
 いずれにしても、リアクションペーパーと期末レポート両者を提出する必要があります。

【学生の意見等からの気づき】

授業の中で、他の受講生の疑問、質問、コメントなどが紹介されることで授業の理解が深まるので、このような相乗効果が起こるよう、授業中に実践していきます。

【Outline (in English)】

This course introduces the history and cultures of the Korean residents in Japan to students taking this course. They are also called Korean minority in Japan or ZAINICHI in Japanese. The aim of this course is to guide students acquire an understanding of the modern history of ZAINICHI Koreans and a variety of their identities ,poetry,literature,movies,music,and some other cultural works.

SOS200LA (その他の社会科学 / Social science 200)

社会思想 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

洪 貴義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では在日朝鮮人の歴史と文化を学ぶことを目的とする。日本と朝鮮半島（南北）の近現代史の諸関係から生み出され、この3ヶ国のはざまにあって日本で存在しているコリアンが在日朝鮮人という存在である。この授業では3ヶ国の近現代史をふまえながら、在日朝鮮人のアイデンティティーのありかたを様々な社会思想と連関させて学ぶことを目的としている。

【到達目標】

テキストや講義を通して日本や朝鮮半島の近現代史を理解することができる。

テキストや講義を通して在日朝鮮人に対する正確な理解を持つことができる。

テキストや講義を通して考えたことをコメントやレポートに表現することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行う。各回の授業を進めるごとに毎回コメントを提出してもらい、それに対して授業の中でフィードバックしていく。（基本的には対面授業だが、特別な事情が生じた場合のみオンライン授業を行うこともある。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の概要と目的、進め方、受講の仕方、成績評価の方法などについて説明
2	導入（1）	在日朝鮮人という存在
3	導入（2）	歴史的背景
4	在日3世のカフカ（1）	新しい在日論
5	在日3世のカフカ（2）	日本人との共通平面
6	白楽晴（ベク・ナクチョン）を読む	知恵の時代のために（1）
7	白楽晴を読む（2）	知恵の時代のために（2）
8	ベネディクト・アンダーソン（1）	「想像の共同体」とは何か（1）
9	ベネディクト・アンダーソン（2）	「想像の共同体」とは何か（2）
10	カナファアー二の小説を巡って	ガッサン・カナファアー二『太陽の男たち』について
11	ピエール・クラストルを読む（1）	『国家に抗する社会』とは何か（1）
12	ピエール・クラストルを読む（2）	『国家に抗する社会』とは何か（2）

13 マルクスを読む（1） 生産様式と交換様式について（1）

14 マルクスを読む（2） 生産様式と交換様式について（2）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。具体的には準備学習としてテキストの指定した箇所を事前に読んでおくこと、また復習としては講義内容を振り返り、参考文献を読み進めるなどのできる。

【テキスト（教科書）】

第1回のガイダンス時に説明する。

【参考書】

その他の参考資料については授業中に指定、配布する。

【成績評価の方法と基準】

各授業後に提出してもらった授業レビューシート10回分を（50%）とし、

さらに期末レポート1回分を（50%）とし、合わせて100パーセントとして成績評価を行う。この両者を提出することで成績評価を行う。評価の基準としては授業内容を正確に理解していること、その理解内容を自分の言葉で表現できていることとする。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This class aims to learn about the history and culture of Koreans in Japan. In this class, students will learn about the identity of Koreans in Japan and the world of works such as poetry, literature, movies, music, and performing arts, based on the modern history of Korea and Japan relation.

The standard time for preparation and review for taking classes is two hours each. Specifically, it is possible to read the specified parts of the text in advance as preparation study, and to review the lecture contents and read the reference materials as review.

Grades will be evaluated based on 10 comments (50%) submitted after each class, plus one final report (50%).

SOS200LA (その他の社会科学 / Social science 200)

社会思想 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：平和はどうすれば実現できるのか

林 嵩文

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、18世紀ドイツの哲学者イマヌエル・カントの著作『永遠平和のために』を丹念に読解することを目指します。この著作は国際平和論の古典としてよく知られていますが、その内容は平和論だけに尽きるものではありません。カントはこの著作で、自由とは何か、国家とは何か、法とは何か、政治と道徳の関係をどうあるべきかといった原理的な問題に対する独自の解答を提示しています。そのロジックを紐解いていくと同時に批判的に思考していくことがこの授業の目的です。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りです。

- (1) 抽象的な思想体系を具体的な事例に適用して説明できるようになる。
- (2) 特定の著作の背景をなしている思想史的議論の蓄積を知ることによって、社会思想・政治思想の全体の流れを説明できるようになる。
- (3) 授業で得た知識を用いて、国際平和にまつわる様々な問題を分析し、それらに対する自分の立場を説明・表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。ただし、毎回コメントカードを提出していたでき、その次の授業でそのコメントについてのレスポンスを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義全体の概要および成績評価についての説明
第2回	『永遠平和のために』の背景	時代背景とカント哲学の概要
第3回	『永遠平和のために』第1章①	平和とは何か、他国の併合の禁止
第4回	『永遠平和のために』第1章②	常備軍廃止、戦時国債発行の禁止
第5回	『永遠平和のために』第1章③	内政不干渉、戦争における卑劣な行為の禁止
第6回	『永遠平和のために』第2章①	カントにおける共和主義
第7回	『永遠平和のために』第2章②	国際法の基礎としての「平和連合」
第8回	『永遠平和のために』第2章③	世界市民法と植民地主義
第9回	『永遠平和のために』補説	カントの歴史観
第10回	『永遠平和のために』付録1①	道徳とは何か
第11回	『永遠平和のために』付録1②	道徳にかなった政治はいかなるものか

第12回 『永遠平和のために』 法の公表性と抵抗権の否定
付録2①

第13回 『永遠平和のために』 法の公表性と戦争の権利
付録2②

第14回 まとめと課題説明 講義全体のまとめとレポート課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習・復習については、(1)教科書の指定した範囲を熟読し、(2)毎回の講義後にその内容についてコメントカードを執筆・提出すること。

【テキスト（教科書）】

カント『永遠平和のために』宇都宮芳明訳（改版）、岩波書店（岩波文庫）、2009年。

【参考書】

講義内で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（受講態度とコメントカード、30%）と期末課題（レポート、70%）で成績を評価します。なお、講義内での不要な私語がなされる場合、期末課題の提出を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用するための情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレット）を準備してください。

【その他の重要事項】

授業に関連する質問は、授業後もしくは初回授業で案内するメールアドレスで受け付けます。

【Outline (in English)】

The course aims to read critically "Zum ewigen Frieden", written by Immanuel Kant. Students will get clues to think about central issues of society and politics, for example freedom, state, right, and the relation of politics and moral.

SOS200LA (その他の社会科学 / Social science 200)

社会思想 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：人民主権とは何か

林 嵩文

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、18世紀フランスの哲学者ジャン＝ジャック・ルソーの著作『社会契約論』を丹念に読解することを目指します。この著作は人民主権論あるいは民主主義論の古典としてよく知られていますが、その内容は単なる政治制度論ではありません。ルソーはこの著作で、独自の人間観を前提としたうえで、その人間同士が「正しい」秩序を作り上げるためにはどのような仕掛けが必要なのかを徹底的に考察しています。そのロジックを紐解いていくと同時に批判的に思考していくことがこの授業の目的です。

【到達目標】

この授業の到達目標は以下の通りです。

- (1) 抽象的な思想体系を具体的な事例に適用して説明できるようになる。
- (2) 特定の著作の背景をなしている思想史的議論の蓄積を知ること、社会思想・政治思想の全体の流れを説明できるようになる。
- (3) 授業で得た知識を用いて、人民主権の制度化にまつわる様々な問題を分析し、それらに対する自分の立場を説明・表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。ただし、毎回コメントカードを提出していたとき、その次の授業でそのコメントについてのレスポンスを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義全体の概要および成績評価についての説明
第2回	『社会契約論』の背景	時代背景とルソーの思想の概要
第3回	『社会契約論』 1.1～1.6	社会契約の概念
第4回	『社会契約論』 1.7～1.9	社会契約のメリット
第5回	『社会契約論』 2.1～2.6	一般意志、主権、法の概念
第6回	『社会契約論』 2.7	「立法者」とは何か
第7回	『社会契約論』 2.8～2.12	法律の種類と人民の性質
第8回	『社会契約論』 3.1～3.3	政府の概念
第9回	『社会契約論』 3.4～3.10	政府の種類とその良し悪しを決める基準
第10回	『社会契約論』 3.11～3.18	主権を維持する手段、および代表制の否定
第11回	『社会契約論』 4.1～4.3	投票について
第12回	『社会契約論』 4.4～4.7	共和政ローマとルソーの政治思想

第13回 『社会契約論』 4.8 社会の基礎としての「市民宗教」

第14回 まとめと課題説明 講義全体のまとめとレポート課題の説明

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。予習・復習については、(1) 教科書の指定した範囲を熟読し、(2) 毎回の講義後にその内容についてコメントカードを執筆・提出すること。

【テキスト（教科書）】

ルソー 『社会契約論』 桑原武夫・前川貞次郎訳、岩波書店（岩波文庫）、1954年。

【参考書】

講義内で随時紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加（受講態度とコメントカード、30%）と期末課題（レポート、70%）で成績を評価します。なお、講義内での不要な私語がなされる場合、期末課題の提出を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【学生が準備すべき機器他】

授業支援システムを利用するための情報機器（パソコン、スマートフォン、タブレット）を準備してください。

【その他の重要事項】

授業に関連する質問は、授業後もしくは初回授業で案内するメールアドレスで受け付けます。

【Outline (in English)】

The course aims to read critically "Du contract social", written by Jean-Jacques Rousseau. Students will get clues to think about central issues of society and politics, for example freedom, citizen, popular sovereignty, representation.

GEO200LA (地理学/Geography 200)

地理学LE

2017年度以降入学者

サブタイトル:

呉羽 正昭

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 2単位

その他属性: <優>

【授業の概要と目的(何を学ぶか)】

受講生は、観光・ツーリズムに関する地理学の一般的概念を学びます。観光地理学を理解するために必要な諸概念(観光・ツーリズムの概念や構造など)、さまざまな地域スケールでツーリズムに関する特徴について理解します。また、ツーリズムの時間的・地域的展開みられる諸特徴と問題点、将来の課題について、日本における具体的な地域事例とともに理解します。

【到達目標】

この授業は、観光の概念および観光地理学の方法論を習得すること、環境と観光・ツーリズムとの関係について、日本におけるツーリズムの地域的特徴について理解することを目標とします。ツーリズムやさらにそれを取り巻く生活・文化に関する地域的特色の理解を通じて、広い視野で現代社会を主体的に考察する視点を獲得することを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP3、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式です。理解を深めてもらうために、リアクションペーパーを活用します。準備学習のまとめに使用するとともに、意見・質問の記入も含めて講義内容に関する課題をまとめてもらい、不明点を次回以降の講義で説明することを通じて理解度を確認していきます。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義テーマの概説
第2回	観光・ツーリズムの概念 —観光やツーリズムとは何か?	観光やツーリズムとは何かを解説します
第3回	観光・ツーリズムの構造 —観光・ツーリズムの要素と構造	観光・ツーリズムの要素や構造を解説します
第4回	観光地理学の概念 —概念および方法論	観光地理学の概念および方法論を解説します
第5回	観光地域の変容プロセス —モデルの解説	モデルに基づいて観光地域の変容プロセスを解説します
第6回	観光・ツーリズムの変遷 —古代~マストゥーリズム時代~新しいツーリズムの出現	ツーリズムの変遷について解説します
第7回	エコツーリズムの発展プロセス	エコツーリズムの発展プロセスを解説します
第8回	エコツーリズムの特徴と展望 —西表島や屋久島などにおけるエコツーリズム	西表島や屋久島などの事例をもとにエコツーリズムの特徴や課題を解説します

第9回	日本の避暑ツーリズムの地域的展開	避暑の地域的展開に関して解説します
第10回	日本の湯治・温泉ツーリズムの地域的展開	湯治・温泉ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第11回	日本のルーラル・ツーリズムの地域的展開	ルーラル・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第12回	日本のスキー・ツーリズムの地域的展開 —明治期~高度経済成長期	明治期から高度経済成長期までのスキー・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第13回	日本のスキー・ツーリズムの地域的展開 —バブル期以降	バブル期以降のスキー・ツーリズムの地域的展開に関して解説します
第14回	まとめ	全体のまとめと総括をします

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

ほぼ毎回、次回講義のトピックに関する課題を出すので、既存文献やインターネットなどで自ら予習して準備します。また、講義中に示された参考文献等で講義内容の理解を深めます。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

教科書は使用しません。授業中の説明で使用する図表が印刷された資料を配布します。参考文献は講義の中でトピックに応じて随時紹介します。

【参考書】

岡本伸之編 2001『観光学入門』有斐閣。
溝尾良隆編 2009『観光学の基礎』原書房。
(財)日本交通公社編 2004『観光読本第2版』東洋経済新報社。
真板昭夫・石森秀三・海津ゆりえ編 2011『エコツーリズムを学ぶ人のために』世界思想社。
ピアス, D. 著, 内藤嘉昭訳 2001『現代観光地理学』明石書店。
江口信清・藤巻正己編 2011『観光研究レファレンスデータベース』ナカニシヤ出版。
呉羽正昭 2017『スキーリゾートの発展プロセス: 日本とオーストラリアの比較研究』二宮書店。
矢ヶ崎典隆・山下清海・加賀美雅弘編 2018『グローバリゼーション 縮小する世界』朝倉書店。

【成績評価の方法と基準】

この講義の目標に達したかどうかを期末試験と平常点で評価します。期末試験の評価割合は全体の60%で、毎時間の講義内容の理解度を問うミニレポートや次回の講義内容に関する課題等の記載内容を合わせて平常点(全体の40%)とします。

【学生の意見等からの気づき】

パワーポイントのスライド進行の速さについて注意します。

【Outline (in English)】

Students can study basic concept of geography related to tourism. Students can understand various concepts necessary for understanding geography of tourism (concepts and structures of tourism and sightseeing, etc.) and features related to tourism on various regional scales. In addition, Students learn various features, problems and future challenges of tourism that encompasses it, while understanding specific regional examples in Japan.

At the end of the course, students are expected to understand the methodology of tourism geography and the regional characteristics of tourism in Japan.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination: 60% and Short reports: 40%.

GEO200LA (地理学 / Geography 200)

地理学 L F

2017年度以降入学者

サブタイトル：ヨーロッパを食と景観から考える

加賀美 雅弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講義はヨーロッパという地域の特徴を食と景観に着目して考察する。前半は、ヨーロッパの食が自然環境と社会によって規定されてきたことを、いくつかの食材に着目して検討し、社会の格差について考える。後半は、ヨーロッパの景観に着目して、民族と社会の関係について検討する。

【到達目標】

食と景観に着目し、歴史的、空間的に形成されてきたヨーロッパの社会の格差や階層を理解することによって、ヨーロッパという地域を地理学的な視点から理解することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は講義形式で行われる。基本的にはパワーポイントを使用し、配布プリントとあわせて講義内容の理解をはかる。また、毎時間に課すリアクションペーパーで学習内容の理解度を確認し、その総括を次の授業で解説する。また、出された質問に対する回答も行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の全体像および進め方を説明する。
第2回	世界の食の地域差	自然・文化・社会と食の関係を考える。
第3回	ヨーロッパの食の地域差	自然と社会と食の関係を考える。
第4回	ヨーロッパにおける貧困層と食(1)	社会的弱者をトウモロコシから考える。
第5回	ヨーロッパにおける貧困層と食(2)	社会的弱者をジャガイモから考える。
第6回	ヨーロッパにおける富裕層と食(1)	都市の社会的強者を砂糖とコーヒーから考える。
第7回	ヨーロッパにおける富裕層と食(2)	都市の社会的強者をミネラルウォーターから考える。
第8回	中間まとめ（試験を含む）	授業内容を整理し、ヨーロッパの食と自然・社会についての理解を確認する。
第9回	ヨーロッパの国家と景観	国民・民族アイデンティティについて考える。
第10回	ヨーロッパの都市の景観	都市における景観の機能について考える。
第11回	ヨーロッパにおける外国人の景観	増加する外国人の景観について考える。
第12回	ヨーロッパにおいて見えない人々	景観を示さないロマについて考える。
第13回	ヨーロッパの社会格差と景観	ロマ差別と日本の差別を考える。

第14回 最終まとめ（試験を含む） 授業内容を整理し、ヨーロッパの景観と民族、社会についての理解を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習として、テキストを読んで内容を整理しておく。復習として、授業で学んだ内容をテキストを読み直してまとめる作業を行う。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『食で読み解くヨーロッパ—地理研究の現場から』 加賀美雅弘著、朝倉書店、3000円

【参考書】

『国境で読み解くヨーロッパ—境界の地理紀行』 加賀美雅弘著、朝倉書店、3000円

【成績評価の方法と基準】

第8回の中間まとめに実施する試験33%、第14回の最終まとめに実施する試験：33%、授業中に課すリアクションペーパーの内容：34%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で行うリアクションペーパーに授業に関する質問や意見を記載することによって、その内容をできるだけ次の授業に反映させる。

【Outline (in English)】

This lecture examines the characteristics of Europe by focusing on food and landscape. In the first half, we will examine the fact that European food has been determined by the natural environment and society, focusing on some ingredients, and consider social disparities. In the second half, we will focus on the landscape of Europe and examine the relationship between ethnicity and society. The goal of the course is to understand the disparities and hierarchies of European society that have been historically and spatially formed. Your overall grade in the class will be decided based on the following, examinations taken in the 8th class (33%) and in the last class (33%), and reaction paper in every class (34%)

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

数学特講 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

安東 祐希

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

線型代数学－大人のための鶴亀算その1

線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。データサイエンスにおいても重要な役割を持つ。

線型代数学を標語的にはツルカメ算の一般化と表現できる。鶴と亀あわせて10匹いて足は全部で26本、それぞれ何匹いるのか、というあの鶴亀算である。全部亀だったら足が40本のはずで…などと考えば小学生でもできる。

次に、頭が二つで足は五本、翼が二つの竜Aがいたとして、鶴と亀と竜Aをあわせて頭は9、足は25、翼は8だったらどうか。これも中学生なら連立一次方程式を解いてそれぞれ何匹いるかわかる。では、竜Bは頭三つ、足八本、翼四つとして、鶴と亀と竜Bをあわせて頭は17、足は48、翼は20の場合は。さっきと同じことだ、と思うかもしれないが、違うのである。さっきより少々難しい。何がどう違うのか、どのように解くことができるのか、線型代数学を学ぶと、図形的な把握のもとに理解することができる。

この春期授業では、線型代数の基本的な道具である行列と行列式に関し、計算方法を学んでゆく。

【到達目標】

- ・行列の定義を理解し、行列演算に関する計算ができる。
- ・行列式の定義を理解し、行列式に関する計算ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	線型代数の第一歩	鶴亀算
第2回	ベクトルとは	数ベクトルの定義と演算
第3回	ベクトルと図形	一次結合の図形的解釈
第4回	行列とは	行列の定義と演算
第5回	行列演算の性質	線型性
第6回	行列の意味するもの	線型写像と表現行列
第7回	行列演算の再考	線型写像の合成写像

第8回	行列の逆演算	逆行列の定義
第9回	簡単な行列式	低次の行列式
第10回	行列式の性質	多重線型性、交代性、正規性
第11回	行列式の性質再考	行列式の一意性
第12回	一般の行列式	行列式の定義の拡張
第13回	行列式計算の実際	行展開、列展開
第14回	半期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は4時間である。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。

・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980年、新装版2018年
 ・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999年、新装版2010年
 ・H.アントン [山下純一 訳]『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980年、新装版2020年

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60%）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

【その他の重要事項】

秋期科目「数学特講LB」の予備知識となる内容を含む。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially matrices and determinants.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to do calculations on matrices and determinants.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria/Policies】

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

数学特講 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

安東 祐希

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

線型代数学－大人のための鶴亀算その2

線型（形）代数学の基礎を学ぶ。線型代数学は、微分積分学と並び、数学の基礎を成し、社会科学などを含めて様々な分野で応用されている。データサイエンスにおいても重要な役割を持つ。

線型代数学を標語的にはツルカメ算の一般化と表現できる。鶴と亀あわせて10匹いて足は全部で26本、それぞれ何匹いるのか、というあの鶴亀算である。全部亀だったら足が40本のはずで…などと考えば小学生でもできる。

次に、頭が二つで足は五本、翼が二つの竜Aがいたとして、鶴と亀と竜Aをあわせて頭は9、足は25、翼は8だったらどうか。これも中学生なら連立一次方程式を解いてそれぞれ何匹いるかわかる。では、竜Bは頭三つ、足八本、翼四つとして、鶴と亀と竜Bをあわせて頭は17、足は48、翼は20の場合は。さっきと同じことだ、と思うかもしれないが、違うのである。さっきより少々難しい。何がどう違うのか、どのように解くことができるのか、線型代数学を学ぶと、図形的な把握のもとに理解することができる。

この秋期授業では、連立一次方程式の線型代数による一般的解法や、線型空間の理論を学んでゆく。

【到達目標】

- ・階数の定義を理解し、連立一次方程式を一般に解くことができる。
- ・線型写像の定義を理解し、固有値・固有ベクトルを計算できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、授業中にいくつかの例題を解く。例題を考える際、わからない点などは積極的に質問してほしい。なお、内容を理解するためには、自ら問題練習に取り組むことが重要である。また、授業のはじめには前回の復習問題を解く時間があり、その解答は解説に従って自己添削のうえ、授業内レポートとして提出をする。（「課題」である授業内レポートは、次の授業時間に個別返却することで「フィードバック」する。）

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	鶴亀算再考	クラメールの方法
第2回	正方行列の分析	余因子行列の定義
第3回	逆行列の計算	余因子行列の性質
第4回	余因子行列再考	行列式の展開の応用
第5回	行列の基本変形	階段行列
第6回	基本変形再考	基本変形と連立一次方程式
第7回	基本変形の応用	連立一次方程式の解法

第8回	行列の階数とは	階数と基本変形
第9回	階数再考	階数と一次独立性
第10回	基本変形の行列表現	基本行列
第11回	逆行列再考	基本変形と逆行列
第12回	線型写像の構造	次元定理
第13回	線型写像を見やすく	固有値・固有ベクトル
第14回	半期のまとめ	総復習の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

演習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。なお、予復習時間の標準は4時間である。

【テキスト（教科書）】

指定しない。例題などは印刷したものを授業中に配布する。

【参考書】

線型代数（線形代数）に関する書籍は実に沢山あり、おそらくそのいずれもが本授業の参考となるものと思う。次の三つはそれらの中の例である。

- ・松坂和夫『線型代数入門』（岩波書店）1980年、新装版2018年
- ・川久保勝夫『線形代数学』（日本評論社）1999年、新装版2010年
- ・H. アントン [山下純一 訳]『アントンのやさしい線型代数』（現代数学社）1980年、新装版2020年

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（60%）において、また、演習問題への取り組み具合を授業内レポート（40%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

質問に答える時間をより多くとれるようにしたい。

【その他の重要事項】

春期科目「数学特講L A」で扱う内容を既知として授業を進める。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This course deals with basic concepts and tools of linear algebra, especially linear equations and linear mappings.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students should be able to solve linear equations and eigenvalue problems.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to do exercises with many sheets of paper. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria/Policies】

Final grade will be calculated according to the following process:

Term-end examination (60%) and quizzes in class (40%).

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学 L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が1変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	微分の導入1	導関数と曲線の傾き
第03回	微分の導入2	直線によるグラフの近似
第04回	微分の導入3	ニュートン法
第05回	関数の形式と微分1	合成関数の微分
第06回	関数の形式と微分2	陰関数と微分
第07回	関数の形式と微分3	媒介変数表示と微分
第08回	高階導関数1	2階導関数と曲線のしなり
第09回	高階導関数2	放物線によるグラフの近似
第10回	高階導関数3	マクローリン展開
第11回	高階導関数4	社会科学への応用例
第12回	積分1	積分と微分の関係
第13回	積分2	積分と面積の関係
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学I・II」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	空間の数学1	空間ベクトルの基礎
第03回	空間の数学2	2変数の1次式と平面
第04回	偏微分1	偏微分とその意味
第05回	偏微分2	偏導関数の計算
第06回	偏微分3	全微分と接平面
第07回	偏微分4	社会科学での活用事例
第08回	極値の計算1	2階偏導関数
第09回	極値の計算2	2変数関数の極値計算
第10回	極値の計算3	公務員試験の問題例
第11回	極値の計算4	制約条件付きの極値問題
第12回	データサイエンスへの応用例1	データの傾向を学習して予想する
第13回	データサイエンスへの応用例2	4次元データを見える化する
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。(計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。) 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。(資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。)

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験(30%)において、また、平常点(10%)と共に演習問題への取り組み具合を課題提出(60%)において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学L I

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（1変数関数の微積分）～

さまざまな社会現象が1変数関数で表現され、それらをより深く分析する手段が微分と積分である。微積分は、数理解析を行うための基本的かつ重要な道具であり、応用も極めて広い。

【到達目標】

いろいろな微分法を用いて、導関数を求めることができる。さらに微分を用いて、関数のさまざまな性質（グラフの形など）を調べることができる。積分の定義を理解し、不定積分や定積分の計算ができる。さらに積分を用いて、面積・体積・長さを求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	微分の導入1	導関数と曲線の傾き
第03回	微分の導入2	直線によるグラフの近似
第04回	微分の導入3	ニュートン法
第05回	関数の形式と微分1	合成関数の微分
第06回	関数の形式と微分2	陰関数と微分
第07回	関数の形式と微分3	媒介変数表示と微分
第08回	高階導関数1	2階導関数と曲線のしなり
第09回	高階導関数2	放物線によるグラフの近似
第10回	高階導関数3	マクローリン展開
第11回	高階導関数4	社会科学への応用例
第12回	積分1	積分と微分の関係
第13回	積分2	積分と面積の関係
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。（計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。）本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。（資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。）

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験（30%）において、また、平常点（10%）と共に演習問題への取り組み具合を課題提出（60%）において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学I・II」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of single variable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of single variable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives.

[Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

MAT200LA (数学 / Mathematics 200)

発展数学Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：

倉田 俊彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

～ 社会科学に必要不可欠な数学（2変数関数の微分）～

社会現象を解析するために、複数の量の変化を調べる必要がでてくる。その際の基本的な道具が多変数関数であり、多変数関数の性質をより深く知るための手段が偏微分である。ここでは特に2変数関数を扱うが、この授業で学んだ内容は、多くの社会現象を網羅するはずである。

【到達目標】

与えられた2変数関数に対して、そのグラフの概形を理解できる。偏導関数の基本的な計算ができる。さらに、偏微分を用いて、グラフの正確な形を把握し、極値を求めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

例題を解くことを交えながら内容の説明を進める。授業中も説明を聞くだけでなく、自ら問題を解いてみるのが求められる。課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第01回	導入	授業概要の説明
第02回	空間の数学1	空間ベクトルの基礎
第03回	空間の数学2	2変数の1次式と平面
第04回	偏微分1	偏微分とその意味
第05回	偏微分2	偏導関数の計算
第06回	偏微分3	全微分と接平面
第07回	偏微分4	社会科学での活用事例
第08回	極値の計算1	2階偏導関数
第09回	極値の計算2	2変数関数の極値計算
第10回	極値の計算3	公務員試験の問題例
第11回	極値の計算4	制約条件付きの極値問題
第12回	データサイエンスへの応用例1	データの傾向を学習して予想する
第13回	データサイエンスへの応用例2	4次元データを見える化する
第14回	試験・まとめと解説	課題等に関する総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

練習問題を十分に解くこと。その際、失敗しても良いので、紙に書きながら考えること。(計算ミスなどは誰でもよくある話ですので、気にする必要は全くありません。分からない時は、むしろ、自分の弱点を一步改善する良い機会だと思って、気軽に相談頂けたらと思います。) 本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

指定しない。印刷した資料を授業で配布する。(資料配付等は授業支援システムからも入手できるようにします。)

【参考書】

微積分学を主題とした数多くの書籍が出版されているので、説明が自分に合っていると思うものを利用するとよい。

【成績評価の方法と基準】

到達目標に関する問題の解決能力を期末試験(30%)において、また、平常点(10%)と共に演習問題への取り組み具合を課題提出(60%)において評価する。

【学生の意見等からの気づき】

紹介した応用例は専門科目の中でも扱われる機会がある様子です。履修者にとって、その後の学習で得ができるような内容を充実させていきたいと思います。

【その他の重要事項】

「基礎数学Ⅰ・Ⅱ」で取り扱う内容について、おおよその理解があると履修に有益である。

【Outline (in English)】

[Course outline] This course deals with basic concepts and tools of mathematics especially from a viewpoint of multivariable functions.

[Learning objectives] At the end of this course, students should be able to obtain basic knowledge concerning differentiation and integration of multivariable functions with respect to their applications to answer various problems appearing in our lives. [Learning activities outside of classroom] Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for each class meeting.

[Grading criteria/policy] Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 30%, Class contribution 10%, Short reports 60%.

PHY200LA (物理学/Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 社一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようにになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基礎法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）（その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 社一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのように変わっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基本法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習をしておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けないが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
- （その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	講義全体について紹介する。
第2回	万有引力：ガリレオ研究	ガリレオ・ガリレイの研究について紹介する。
第3回	万有引力：ケプラーの研究	ヨハネス・ケプラーの研究について紹介する。
第4回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第5回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第6回	宇宙：太陽系	第5回に関連して、地球を含めた太陽系の天体について紹介する。
第7回	宇宙：アポロ計画	アポロ計画を中心に、当時の宇宙開発について紹介する。
第8回	宇宙：スペースシャトルと国際宇宙ステーション	スペースシャトル、更には国際宇宙ステーションを含めた現在の宇宙開発について紹介する。
第9回	宇宙：冥王星探査	冥王星・エッジワースカイパーベルト天体探査について紹介する。
第10回	宇宙：彗星・小惑星探査	地球上の生命はどこから来たのか。小惑星・彗星探査等について紹介する。
第11回	ラジウム：原子核	原子核について簡単に紹介する。
第12回	ラジウム：マリ・キュリーの研究	マリ・キュリーたちの研究について紹介する。

第13回 ラジウム：ラジウム 狂詩曲 ラジウム発見による当時の騒動、社会に与えた影響について紹介する。

第14回 ラジウム：原子核の 応用について マリ・キュリーが目指した応用等について紹介する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておく必要があります。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題 (70%) と期末レポート (30%) で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特になしでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA (物理学/Physics 200)

教養物理学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

吉田 智

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

様々な物理学的な発見はどのようにしてなされてきたのか。物理学上の幾つかの事柄について、歴史的な経緯を踏まえつつ紹介する。また、内容の理解を深めると共に、他の分野に与えた影響についても紹介したい。最新の研究も合わせて紹介する予定である。

【到達目標】

単に結果のみでなく、そこに至るプロセスや社会への影響等を学ぶことによって、様々な現象に対して自分自身で判断する能力を身に付けることができるようにすることを目標としている。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドと共に、資料を配付する講義形式で行います。難しい数式はできるだけ避け、時にはビデオ・実験装置を使用する予定です。随時最新の話題を取り入れながら、物理の基礎知識がなくても理解してもらえるように進めていきます。適宜、授業内での課題や質問に対する解説も行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	講義全体について紹介する。
第2回	万有引力：ガリレオ研究	ガリレオ・ガリレイの研究について紹介する。
第3回	万有引力：ケプラーの研究	ヨハネス・ケプラーの研究について紹介する。
第4回	万有引力：万有引力の法則	万有引力の法則、それに付随してキャベンディッシュの研究についても紹介する。
第5回	万有引力：万有引力の証明	ハレー彗星や惑星の運動について紹介する。
第6回	宇宙：太陽系	第5回に関連して、地球を含めた太陽系の天体について紹介する。
第7回	宇宙：アポロ計画	アポロ計画を中心に、当時の宇宙開発について紹介する。
第8回	宇宙：スペースシャトルと国際宇宙ステーション	スペースシャトル、更には国際宇宙ステーションを含めた現在の宇宙開発について紹介する。
第9回	宇宙：冥王星探査	冥王星・エッジワースカイパーベルト天体探査について紹介する。
第10回	宇宙：彗星・小惑星探査	地球上の生命はどこから来たのか。小惑星・彗星探査等について紹介する。
第11回	ラジウム：原子核	原子核について簡単に紹介する。
第12回	ラジウム：マリ・キュリーの研究	マリ・キュリーたちの研究について紹介する。
第13回	ラジウム：ラジウム狂詩曲	ラジウム発見による当時の騒動について紹介する。

第14回 ラジウム：原子核の マリ・キュリーが目指した応用
応用について 等について紹介する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回以降の講義内容の理解を助けるためにも、内容を復習しておくことが必要です。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教科書は使用せず、資料を配布します。

【参考書】

授業内で適宜紹介する予定です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムを利用した、各回の課題(70%)と期末レポート(30%)で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

改善アンケートの記載は特ではありませんでしたが、授業内容の質問には授業内や「学習支援システム」を使用して対応したいと思います。

【Outline (in English)】

This course introduces the gravitation, the universe, and the radium with historical episodes. In this course, goals are not only to deepen the knowledge about physics but also to acquire the ability to judge various scientific phenomena by yourself. After each class, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Grading will be decided based on term-end examination (30%), and short examinations in every class (70%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：宇宙と地球

石川 社一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

サブタイトルを「宇宙と地球」とする。

我々が住んでいる地球という惑星がどのような存在であるのか、地球を含む宇宙に関する理解がどのように進んでいるのか、地球と宇宙との関りがどのようにになっているのか、というようなテーマについて、物理学の視点から理解を深める。

【到達目標】

- ・最近の観測により得られた宇宙や地球に関する知見への理解を深める。
- ・自然現象を基本法則から理解する態度を身につけ、基本法則の応用力を養う。
- ・宇宙の中における地球の位置付けについて理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・学習支援システムで配布する資料を用いて講義を行う。
- ・適時、理解度を確認するための課題を出題する。
- ・課題等の提出・フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	各回の講義概要について
第2回	世界観の変遷	我々の住む世界（宇宙）に関する理解の歴史について
第3回	我々の住む地球(1)	地球の形と大きさ、表面（大気圏、海）の概要
第4回	我々の住む地球(2)	地球の内部構造を調べる方法とその結果わかったこと
第5回	我々の住む地球(3)	大気圏外、オーロラ、地球に対する太陽の影響
第6回	色々な天体	地上から観測できる天体の種類とその階層性について
第7回	天体の光	天体の光の観測から何がわかるか
第8回	宇宙観の広がり	宇宙はどこまで広がっているか
第9回	星の一生と元素合成(1)	恒星の誕生、星の中で行われている元素合成
第10回	星の一生と元素合成(2)	恒星の死、超新星爆発、中性子星、パルサー、ブラックホール
第11回	太陽系(1)	太陽系のあらまし
第12回	太陽系(2)	太陽系の誕生（太陽、地球の誕生）、太陽系外惑星の探査
第13回	太陽系(3)	誕生後の地球で起こったこと
第14回	宇宙の謎	現代の宇宙の謎である暗黒物質、暗黒エネルギー

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・毎回、学習支援システムで提示する講義資料を用いて講義内容の予習と復習しておくこと。また、別途提示する小テスト問題を解いておくこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは特に設けませんが、講義資料は学習支援システムを用いて提示する。

【参考書】

- ・「物理学入門」大西直毅著（東京大学出版会、1996）
- ・「物理学への招待」大槻義彦著（培風館、1989）
- ・シップマン・自然科学入門「新物理学」（増補改訂版）J. T. Shipman 著、勝守寛監訳（学術図書出版社、2002）
（その他、必要に応じて授業中に紹介する。）

【成績評価の方法と基準】

期末試験、平常点（演習問題を含む）を総合して評価する。配分は、平常点を30%、期末試験の結果を70%とする

【学生の意見等からの気づき】

予習・復習のための参考資料や課題をもう少し充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料配布・課題提出等のために学習支援システムを利用する。

【Outline (in English)】

This class introduces physics point of view to understand various phenomena about the earth and the universe.

The goals of this course are to have a deeper understanding of the universe and the earth as well as relations between them, and to have an attitude to understand natural phenomena from the fundamental laws.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend totally four hours to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (70%) and in class contribution including short reports (30%).

PHY200LA (物理学 / Physics 200)

教養物理学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：**放射線の性質と利用**

井坂 政裕

開講時期：**春学期授業/Spring** | 曜日・時限：**金5/Fri.5**

単位数：**2単位**

その他属性：**〈優〉**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

放射線は我々の身近に存在している。自然界では、宇宙から降り注いでいる放射線のほか、地殻や大気、さらには食品中にも放射線を出す物質がごく微量ながら含まれている。また、放射線は、社会において広く利用されている。例えば医学では、放射線の性質を利用したがんの治療などが代表例である。他にも様々なところで放射線は利用されており、放射線を理解することは、現代の科学技術を理解する上でも非常に重要である。一方、放射線と聞くと、人体への影響を心配するかも知れない。人体にどのような影響があり、どのようにコントロールすれば良いのか。それを理解するためにも、放射線の性質を科学的に理解することが重要である。本授業を通して、学生は、現代物理学の知見に基づいて放射線を理解するとともに、社会での利用例について、放射線の性質と関連付けて理解する。

【到達目標】

- ・放射線がどのような性質を持つのか、その発生原理とともに理解できる。
- ・原子炉や加速器の原理を理解することができる。
- ・放射線の利用例について、放射線の性質と関連付けて理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを使用した講義形式で行う。この授業は原則として対面授業として実施するが、初回授業はリアルタイムオンライン授業として実施する。各回の授業内容に関して、学習支援システム上で選択式問題による小テストを実施する。最終授業で、13回までの講義内容のまとめや復習だけでなく、授業内で実施した小テストに対する講評や解説も行う。講義では、高校で物理を履修していなくても理解できるよう平易に説明する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	序章	放射線とは何かを説明するとともに、授業内容の概観を示す。
第2回	物理学の基礎知識 (1)～力学～	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、力学の基礎について解説する。
第3回	物理学の基礎知識 (2)～光～	放射線を学ぶ上で必要な物理学の基礎知識として、光の性質について解説する。
第4回	原子の構造	原子がどのような構造を持つのか解説する。
第5回	原子核	原子核の性質や構造について解説する。
第6回	放射性崩壊	原子核の崩壊について解説する。

第7回	特殊相対論と質量エネルギー	放射線を学ぶ上で必要な知識として特殊相対論の概略を紹介するとともに、質量エネルギーについて解説する。
第8回	X線の発生	これまでの内容を踏まえ、X線の発生原理を解説する。
第9回	放射線と物質に当たると何が起る？ (1)～荷電粒子線～	主に荷電粒子線と物質の相互作用について説明する。
第10回	放射線と物質に当たると何が起る？ (2)～X線～	主にX線と物質の相互作用について説明する。
第11回	放射線と物質に当たると何が起る？ (3)～中性子線～	主に中性子と物質の相互作用について解説する。
第12回	原子炉	原子炉の原理や原子炉内で起こる核反応について説明する。
第13回	加速器	加速器について紹介するとともに、その原理や利用例を説明する。
第14回	社会における放射線	放射線の人体への影響や放射線の検出方法などを説明するとともに、放射線の社会における利用についても紹介する。また、全体のまとめや、これまでの実施した小テストの講評と解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・身の回りの自然現象や科学・技術に関連するニュースに関心を持つこと。
- ・授業内容と関連する自然現象や科学技術などの具体例が何か考えること。
- ・配布資料などをもとに、各回の学習内容の復習を行うこと。
- ・本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しない。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末レポート(約50%)と小テスト(約50%)により評価する。毎回の授業内容に関して、小テストを学習支援システム上で実施する。期末レポートは、授業内容に関する課題を出題する。期末試験は実施しない。

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい説明を心がけます。

【Outline (in English)】

Course outline: This course introduces basic knowledge of the radiation physics. It also helps students acquire understand how to use the radiation and the related techniques in the modern society.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to do the following:

- ・ Explain properties of radiation and radiation sources
- ・ Explain the principle and utilization of nuclear reactor and accelerator

Learning activities outside of classroom: Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Grading Criteria/Policy: Grading will be decided based on mini-exam in each class meeting (50%) and term-end report (50%).

BIO200LA (その他の総合生物・生物学/Biology 200)

教養生物学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル:異なる細胞が合体して真核細胞が誕生し、さらに進化する

野崎 久義

開講時期:春学期授業/Spring | 曜日・時限:月4/Mon.4
単位数:2単位

その他属性:〈優〉

【授業の概要と目的(何を学ぶか)】

バクテリアからヒトまで「生物」とよく言うが、両者の細胞構造は基本的に異なり、バクテリアではミトコンドリアが細胞中に入らない。更に植物はヒトのような動物とは異なり、細胞の中に光合成を行う葉緑体をもつ。この授業では、このような「真核細胞」内のオルガネラが「細胞内共生」という異なる生物の合体で誕生し、多様化していることへの理解を目的とする。このためには現在地球上に存在する生物の多様性と細胞内部の構造と遺伝物質DNAの存在状態を理解する必要がある。また、オルガネラ(ミトコンドリアと葉緑体)が持つ独自のDNAとその遺伝様式を理解する。自分の体を構成する細胞に10-20億年前のバクテリアの「細胞内共生」という歴史がある。さらにそのバクテリアの末裔が現在でも細胞内のオルガネラとして生きていて、顕微鏡で観察することができ、オルガネラのDNAを系統解析することでその生い立ちを辿ることができることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の研究内容も紹介する。

【到達目標】

地球上に存在する多様な生物が細胞内のオルガネラのどのような基本的特徴でどのように分類されるか、オルガネラのミトコンドリアと葉緑体が「細胞内共生」で誕生したことがどのようにして分かるか、ミトコンドリアと葉緑体はどのような様式で遺伝するか、オルガネラのDNAをどのように系統解析してそれらの起源が探れるかを理解する。ミトコンドリアと葉緑体の細胞内共生による誕生は10-20億年前と言われているが、それから現在に至るまでに更なる細胞内共生が起きて細胞が大きく進化・多様化していること、現在でも新しい細胞内共生が起きていて生物の細胞が刻々と進化していることも理解する。生命の最小単位である細胞について、その多様性と進化史的について、理解を深める。また、現在地球上の生物のDNA・ゲノム情報はインターネットを通じて無償で入手することができ、これらの情報にアクセスする手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科:DP3・DP4、法学部・政治学科:DP1、法学部・国際政治学科:DP1、文学部:DP1、経営学部:DP3、国際文化学部:DP2、人間環境学部:DP2、キャリアデザイン学部:DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト(対面)の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。毎回の講義内容が積み重なって新しい講義が理解できるように進めるので、復習をよくやって下さい。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態:対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生物学における基本的な3学説の紹介	細胞説、遺伝学説、進化学説についてそれらの基本と歴史を解説する。
2	細胞の基本的な特徴と多様性および進化	生物の多様性と進化を細胞の基本的な特徴から解説する。

3	生物全体の多様性と分類	生物と呼ばれているものの多様性と大まかな分類の概要と歴史を解説する。
4	細胞内共生説:異なる起源の細胞が合体して新たな細胞が誕生する	異なる起源の細胞が合体して我々ヒトのような生物の細胞(真核細胞)が誕生したという「細胞内共生説」について解説する。
5	細胞内共生による動物や植物の細胞の起源	動物や植物の細胞内に存在するミトコンドリアと葉緑体は太古(10-20億年前)に起きた細胞内共生に起源すると考えられている。これらを解説する。
6	細胞内に残存する太古の細胞内共生の構造的痕跡	細胞内共生を細胞内の構造から理解する。
7	細胞内共生の証拠としてのオルガネラ(ミトコンドリアと葉緑体)DNA	オルガネラ(ミトコンドリアと葉緑体)のDNAについて解説する。
8	ミトコンドリアと葉緑体のDNAの遺伝	メンデルの法則とは異なるミトコンドリアと葉緑体のDNAの遺伝様式について解説する。
9	オルガネラの起源をDNAから探る	オルガネラの起源のDNAからの推定について説明する。
10	細胞内共生したオルガネラの起源の生物のDNAは宿主細胞(ホスト)に奪われてゆく	細胞内共生の結果誕生したオルガネラのDNAはホストの核に移動してゆく「細胞内共生遺伝子水平伝達」という現象があり、これを説明し、系統解析から理解してもらう。
11	くり返して起きた細胞内共生	植物細胞で見られる葉緑体の2回目の細胞内共生は「二次共生」といい、その結果誕生した「二次植物」について解説する。
12	ミドリムシは昔紅かった	単細胞生物のミドリムシが昔は紅かったという仮説を細胞内共生から解説します。
13	現在でも進行する細胞内共生1:他人の細胞内で生きる細菌	オルガネラではないが、動植物(真核生物)の細胞内に住み着いているバクテリア「細胞内共生細菌」について紹介する。
14	現在でも進行する細胞内共生2:ホスト側からの捕獲	光合成する植物細胞を食べることで自分の体に入れて光合成させる単細胞生物や海産動物を紹介いたします。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

【テキスト(教科書)】

特定の教科書は使用しない。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行う(100%)。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となる。

【学生の意見等からの気づき】

板書の文字を大きくして下さい、講義の進行が速くてついていけないとの意見が目立ったので、なるべく大きな文字で書いてゆっくりと講義は進行する予定である。従って、シラバスに記載した内容全部が講義で実施できない場合がある。また、学生も講義についていけるようにしっかりと復習をして欲しい。

講義中の私語が原因で講義の習得が妨害されるので、注意して欲しいとの意見がかなりあった。こちらも注意するが、学生自身が自覚を持って講義に臨んで欲しい。

講義内容が理解できない場合や質問は講義中、講義の前後に直接野崎に問いかけて下さい。後から「わからない」とレポートで書かれても困ります。

【学生が準備すべき機器他】

特になが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム・遺伝子情報に直接アクセスしやすいです。

【その他の重要事項】

本講義は理科、特に生物学の最新の知識と方法論を体験した文系の若手を育成することを目的としています。高校レベルの生物学の知識を前提としていますので、現在までに生物学を学習・習得したことのない場合は事前に高校生物の「細胞、遺伝、進化、DNA、タンパク質」等を自分で予習する必要があります。

授業中の私語は他の学生の受講を阻害するので厳禁である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Although we often speak of "organisms" from bacteria to humans, their cellular structures are fundamentally different: bacteria do not have mitochondria in their cells. Furthermore, unlike animals such as humans, plants have chloroplasts in their cells. The purpose of this lecture is to understand that these intracellular organelles originate from "ancient endosymbiosis", which was established by the union of different organisms from 1 to 2 billion years ago. For this purpose, it is necessary to understand the diversity of organisms that currently exist on the earth, as well as the morphology inside the cell and the state and distribution of the genetic material DNA. We will also understand the unique DNA and mode of inheritance of the organelles. The cells that make up our own bodies have a history of "intracellular symbiosis" with bacteria from 1 to 2 billion years ago. Furthermore, the students should understand that the descendants of those bacteria still live as organelles in our cells, which can be observed under a microscope, and that the origin of the organelles can be traced by phylogenetic analysis of their DNA. From time to time, we will also introduce results of Nozaki's original research.

【Learning Objectives】

To understand how the diversity of organisms on earth can be classified by the basic characteristics of their intracellular organelles, how the mitochondria and chloroplasts of organelles came into being in "intracellular symbiosis," what mode of inheritance mitochondria and chloroplasts have, and how the DNA of organelles can be phylogenetically analyzed to find their origin. The students will also understand that further intracellular symbiosis has occurred since then and that cells have evolved and diversified greatly, and that new intracellular symbiosis is still occurring and the cells of living organisms are evolving moment by moment. Students will deepen their understanding of the cell, the smallest unit of life, and its diversity and evolutionary history. In addition, DNA and genome information on living organisms on the earth is currently available free of charge via the Internet, and students will learn about methods for obtaining this information and conducting phylogenetic analysis.

【Learning activities outside of classroom】 The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 12-14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 12-14 assignments is 120-140 points.

BIO200LA (その他の総合生物・生物学/Biology 200)

教養生物学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：メス・オスと老死の起源を緑藻ボルボックスの仲間
で理解する

野崎 久義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々ヒトの一生は両親にあたる「メスとオス」の出会いに始まり、成長の後また両親と同じようなことを繰り返すが、成長した個体はやがて「老死」という運命を迎える。しかし、生物全体を見渡せば単純な体制をした単細胞生物等では分裂で増殖するので「老死」もなければ「メスとオスの差異」も存在しない。従って、生命が誕生した初期では「老死」もなければ「メスとオス」の差異も存在しない単細胞の段階があり、多細胞生物に進化する段階で両者が出現したと考えられる。これらの進化を探るのには真核生物が誕生した10-20億年前の状況を調査する必要があるとも考えられるが、これは不可能である。しかし、緑藻類のボルボックスの仲間（ボルボックス系列）は単細胞性のものから「老死」と「メスとオス」を持つ複雑な体制をしたものまで様々な進化段階の生物が現存しているため、現存の生物の比較でこれらの進化が研究できる。そのために、これらの生物を採集して培養株を確立し、最先端の生物学的手法を用いた研究が進んでいる。この授業では、このような「老死」と「メスとオス」に関連する多様性と進化を緑藻類のボルボックス系列に着目して理解することを目的とする。このためには自然界に生育するボルボックスの仲間をどのように採集して培養株とするか、ボルボックス系列の生物がどの様なものかを理解する必要がある。また、老死とメス・オスの進化は「多細胞化」に関連しており、ボルボックス系列を用いた多細胞化に関連する研究も紹介する。ヒトの様な多細胞の動物が進化した10億年以上も昔の我々の祖先が「老死」も「メスとオス」もないものであったというという歴史があるが、直接的に探れない。しかし、ボルボックスの仲間を用いた研究からこの歴史が推測できることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の緑藻ボルボックスの仲間の研究内容も紹介する。

【到達目標】

ヒトの一生で避けることのできない重大な2つの過程、「メスとオスの出会い」と「老死」が太古の祖先の多細胞生物に進化する段階で獲得されたものであり、これらを持たない単細胞生物が現存することを理解する。さらに、性（sex）進化と多細胞化の研究のモデル生物群である緑藻ボルボックスの仲間（ボルボックス系列）に焦点をあててこれらの2つの進化に関連する研究内容を紹介するが、基本的にボルボックス系列がどの様な生物であるか、さらにこれらの生物のフィールドでの採集と実験室における培養株の確立の方法も理解する。また、ボルボックス系列の代表的な種的全ゲノム情報は公開されているので、ゲノム情報はインターネットを通じて無償で調査することができる。従って、着目する生物に目的の遺伝子があるかどうか検索する基本的な手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。毎回の講義内容が積み重なって新しい講義が理解できるように進めるので、復習をよくやって下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メスとオスの出会いと老死	メスとオスの出会いと老死、それらの存在意義を解説する。
2	ヒトの一生と生活環境	ヒトの生活環境を理解して、後から学習するクラミドモナスやボルボックスと比較する材料とします。
3	メスとオスの差も老死もない単細胞生物	メスとオスの差も老死もない単細胞生物であるクラミドモナスを解説する。
4	メスとオスの差と老死が認められる多細胞生物ボルボックス	ボルボックスにおけるメスとオスの差と老死を解説する。ここで性（sex）と雌雄は異なるものであることも理解してもらいます。
5	性進化と多細胞化研究のモデル生物群ボルボックス系列、世界最小の多細胞生物“シアワセモ”	ボルボックス系列の生物がどの様なものかについて解説する。また、世界最小の多細胞生物シアワセモも紹介します。
6	多細胞化と老死の不一致、“永遠の命”を得た多細胞生物ボルボックス	ボルボックス系列を用いて多細胞化と老死の進化は一致しないことを解説する。また、老死細胞を決定する遺伝子を失ったボルボックスの突然変異体を紹介します。
7	性（sex）と雌雄性	性（sex）と雌雄性（メスとオスに分化すること）は異なる概念であることをボルボックス系列を用いて説明する。
8	メスとオスの未分化な生物からメスとオスの明瞭な生物への進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”	ボルボックスの仲間における雌雄性の進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”の発見の経緯をについて解説する。ボルボックス系列におけるフィールド調査と培養株の確立についても紹介します。
9	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性進化	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性と性進化の研究を解説する。
10	熱帯に未知なるボルボックス系列を求め	熱帯、特にタイとアフリカにおけるボルボックス系列のフィールド調査とその研究成果を解説します。
11	再び相模湖・津久井湖に戻る	3種類の性表現型をもつ生物種（トリオシー）について、神奈川県相模湖・津久井湖における藻類のトリオシー種の発見の経緯について解説する。
12	全ゲノム解読による性進化の研究（I）	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読による性進化、メス・オスの未分化な同型配偶からメス・オスの明瞭な生物への進化の研究成果について解説する。
13	全ゲノム解読による性進化の研究（II）	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読による性進化、特に雌雄異株から雌雄同株・トリオシーへの進化の研究成果について解説する。

- 14 赤の女王仮説と性が知られていなかった原生生物における性の発見
- 性に関する有名な仮説「赤の女王仮説」とこれまで「性」がないと思われていた原生生物のエリ鞭毛虫（2013年）と単細胞紅藻（2022年）で「性」の存在が明らかになった研究とその進化的重要性を解説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。

【参考書】

参考書等は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行う（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となる。

【学生の意見等からの気づき】

板書の文字を大きくして下さい、講義の進行が速くてついていけないとの意見が目立ったので、なるべく大きな文字で書いてゆっくりと講義は進行する予定である。従って、シラバスに記載した内容全部が講義で実施できない場合がある。また、学生も講義についていけるようにしっかりと復習をして欲しい。

講義中の私語が原因で講義の習得が妨害されるので、注意して欲しいとの意見がかなりあった。こちらも注意するが、学生自身が自覚を持って講義に臨んで欲しい。

講義内容が理解できない場合や質問は講義中、講義の前後に直接野崎に問いかけて下さい。後から「わからない」とレポートで書かれても困ります。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム情報の探索が実際に自分で行える。

【その他の重要事項】

本講義は理科、特に生物学の最新の知識と方法論を体験した文系の若手を育成することを目的としています。高校レベルの生物学の知識を前提としていますので、現在までに生物学を学習・習得したことのない場合は事前に高校生物の「細胞分裂、生殖、染色体、遺伝子、DNA、タンパク質」等を自分で予習する必要があります。

授業中の私語は他の学生の受講を阻害するので厳禁である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The life of a human being begins with the encounter between the "male" and "female," which are the parents, and after growing up, the human being repeats the same process as the parents, but the grown individual eventually meets the fate of "aging death." However, if we look at all living organisms, we find that single-celled organisms, which have a simple structure, multiply by division, so there is no "aging death" and no "male and female differentiation". Therefore, it is thought that in the early stages of life, there was a unicellular stage in which there was neither aging death or male and female differentiation, and that both appeared during the evolution of multicellular organisms. One could argue that exploring these evolutionary processes would require investigating conditions 1 to 2 billion years ago, when eukaryotes emerged, but this is not possible. However, since there are extant organisms of various evolutionary stages in the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), ranging from unicellular ones to complex multicellular bodies with "aging death" and "male and female genders," these evolutions can be studied by comparing the extant organisms. To this end, research is progressing by collecting these organisms from natural fields, establishing culture strains, and using cutting-age biological techniques. The aim of this class is to understand such diversity and evolution related to "aging death" and "sex" by focusing on members of the volvocine lineage. For this purpose, it is necessary to understand how to collect naturally growing members of volvocine species and what kind of organisms the volvocine species are. In addition, the evolution of "aging death" and "male and female genders" is related to "multicellularity," and studies related to multicellularity using the volvocine species will also be presented. The history of our ancestors more than a billion years ago, when multicellular organisms evolved, is that they had neither "aging death" nor "male and female differentiation," but this cannot be directly explored. However, we hope you will understand that this history can be inferred from studies using organisms belonging to the volvocine lineage. From time to time, we will also introduce related studies by Nozaki's group.

【Learning Objectives】

We will understand that two critical processes that cannot be avoided in the human life span, "female-male encounter" and "old age and death," were acquired during the evolution of our ancient ancestors into multicellular organisms, and that unicellular organisms without these processes exist today. In addition, we will focus on the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), which is a model organism group for the study of sex evolution and multicellularity, and introduce research related to these two evolutionary events, but we will also explain what the volvocine lineage is basically like, and how to collect these organisms in the field and establish laboratory cultures. The course will also provide an understanding of the field collection of these organisms and how to establish culture strains in the laboratory. In addition, the genome information of representative species of the volvocine lineage is publicly available, and genome information can be researched free of charge via the Internet. Therefore, students will also learn basic methods to search for the presence of target genes in the organisms of interest.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 12-14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 12-14 assignments is 120-140 points.

BIO200LA (その他の総合生物・生物学/Biology 200)

教養生物学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：**異なる細胞が合体して真核細胞が誕生し、さらに進化する**

野崎 久義

開講時期：**春学期授業/Spring** | 曜日・時限：**月5/Mon.5**
 単位数：**2単位**

その他属性：**<優>**

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

バクテリアからヒトまで「生物」とよく言うが、両者の細胞構造は基本的に異なり、バクテリアではミトコンドリアが細胞中になく、更に植物はヒトのような動物とは異なり、細胞の中に光合成を行う葉緑体をもつ。この授業では、このような「真核細胞」内のオルガネラが「細胞内共生」という異なる生物の合体で誕生し、多様化していること、その理解を目的とする。このためには現在地球上に存在する生物の多様性と細胞内部の構造と遺伝物質DNAの存在状態を理解する必要がある。また、オルガネラ（ミトコンドリアと葉緑体）が持つ独自のDNAとその遺伝様式を理解する。自分の体を構成する細胞に10-20億年前のバクテリアの「細胞内共生」という歴史がある。さらにそのバクテリアの末裔が現在でも細胞内のオルガネラとして生きていて、顕微鏡で観察することができ、オルガネラのDNAを系統解析することでその生い立ちを辿ることができることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の研究内容も紹介する。

【到達目標】

地球上に存在する多様な生物が細胞内のオルガネラのどのような基本的特徴でどのように分類されるか、オルガネラのミトコンドリアと葉緑体が「細胞内共生」で誕生したことがどのようにして分かるか、ミトコンドリアと葉緑体はどのような様式で遺伝するか、オルガネラのDNAをどのように系統解析してそれらの起源が探れるかを理解する。ミトコンドリアと葉緑体の細胞内共生による誕生は10-20億年前と言われているが、それから現在に至るまでに更なる細胞内共生が起きて細胞が大きく進化・多様化していること、現在でも新しい細胞内共生が起きていて生物の細胞が刻々と進化していることも理解する。生命の最小単位である細胞について、その多様性と進化史的について、理解を深める。また、現在地球上の生物のDNA・ゲノム情報はインターネットを通じて無償で入手することができ、これらの情報にアクセスする手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。毎回の講義内容が積み重なって新しい講義が理解できるように進めるので、復習をよくやって下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	生物学における基本的な3学説の紹介	細胞説、遺伝学説、進化学説についてそれらの基本と歴史を解説する。
2	細胞の基本的な特徴と多様性および進化	生物の多様性と進化を細胞の基本的な特徴から解説する。

3	生物全体の多様性と分類	生物と呼ばれているものの多様性と大まかな分類の概要と歴史を解説する。
4	細胞内共生説: 異なる起源の細胞が合体して新たな細胞が誕生する	異なる起源の細胞が合体して我々ヒトのような生物の細胞(真核細胞)が誕生したという「細胞内共生説」について解説する。
5	細胞内共生による動物や植物の細胞の起源	動物や植物の細胞内に存在するミトコンドリアと葉緑体は太古(10-20億年前)に起きた細胞内共生に起源すると考えられている。これらを解説する。
6	細胞内に残存する太古の細胞内共生の構造的痕跡	細胞内共生を細胞内の構造から理解する。
7	細胞内共生の証拠としてのオルガネラ(ミトコンドリアと葉緑体) DNA	オルガネラ(ミトコンドリアと葉緑体)のDNAについて解説する。
8	ミトコンドリアと葉緑体のDNAの遺伝	メンデルの法則とは異なるミトコンドリアと葉緑体のDNAの遺伝様式について解説する。
9	オルガネラの起源をDNAから探る	オルガネラの起源のDNAからの推定について説明する。
10	細胞内共生したオルガネラの起源の生物のDNAは宿主細胞(ホスト)に奪われてゆく	細胞内共生の結果誕生したオルガネラのDNAはホストの核に移動してゆく「細胞内共生遺伝子水平伝達」という現象があり、これを説明し、系統解析から理解してもらう。
11	くり返して起きた細胞内共生	植物細胞で見られる葉緑体の2回目の細胞内共生は「二次共生」といい、その結果誕生した「二次植物」について解説する。
12	ミドリムシは昔紅かった	単細胞生物のミドリムシが昔は紅かったという仮説を細胞内共生から解説します。
13	現在でも進行する細胞内共生1: 他人の細胞内で生きる細菌	オルガネラではないが、動植物(真核生物)の細胞内に住み着いているバクテリア「細胞内共生細菌」について紹介する。
14	現在でも進行する細胞内共生2: ホスト側からの捕獲	光合成する植物細胞を食べることで自分の体に入れて光合成させる単細胞生物や海産動物を紹介いたします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。

【参考書】

参考書は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行う(100%)。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となる。

【学生の意見等からの気づき】

板書の文字を大きくして下さい、講義の進行が速くてついていけないとの意見が目立ったので、なるべく大きな文字で書いてゆっくりと講義は進行する予定である。従って、シラバスに記載した内容全部が講義で実施できない場合がある。また、学生も講義についていけるようにしっかりと復習をして欲しい。

講義中の私語が原因で講義の習得が妨害されるので、注意して欲しいとの意見がかなりあった。こちらも注意するが、学生自身が自覚を持って講義に臨んで欲しい。

講義内容が理解できない場合や質問は講義中、講義の前後に直接野崎に問いかけて下さい。後から「わからない」とレポートで書かれても困ります。

【学生が準備すべき機器他】

特になが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム・遺伝子情報に直接アクセスしやすいです。

【その他の重要事項】

本講義は理科、特に生物学の最新の知識と方法論を体験した文系の若手を育成することを目的としています。高校レベルの生物学の知識を前提としていますので、現在までに生物学を学習・習得したことのない場合は事前に高校生物の「細胞、遺伝、進化、DNA、タンパク質」等を自分で予習する必要があります。

授業中の私語は他の学生の受講を阻害するので厳禁である。。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Although we often speak of "organisms" from bacteria to humans, their cellular structures are fundamentally different: bacteria do not have mitochondria in their cells. Furthermore, unlike animals such as humans, plants have chloroplasts in their cells. The purpose of this lecture is to understand that these intracellular organelles originate from "ancient endosymbiosis", which was established by the union of different organisms from 1 to 2 billion years ago. For this purpose, it is necessary to understand the diversity of organisms that currently exist on the earth, as well as the morphology inside the cell and the state and distribution of the genetic material DNA. We will also understand the unique DNA and mode of inheritance of the organelles. The cells that make up our own bodies have a history of "intracellular symbiosis" with bacteria from 1 to 2 billion years ago. Furthermore, the students should understand that the descendants of those bacteria still live as organelles in our cells, which can be observed under a microscope, and that the origin of the organelles can be traced by phylogenetic analysis of their DNA. From time to time, we will also introduce results of Nozaki's original research.

【Learning Objectives】

To understand how the diversity of organisms on earth can be classified by the basic characteristics of their intracellular organelles, how the mitochondria and chloroplasts of organelles came into being in "intracellular symbiosis," what mode of inheritance mitochondria and chloroplasts have, and how the DNA of organelles can be phylogenetically analyzed to find their origin. The students will also understand that further intracellular symbiosis has occurred since then and that cells have evolved and diversified greatly, and that new intracellular symbiosis is still occurring and the cells of living organisms are evolving moment by moment. Students will deepen their understanding of the cell, the smallest unit of life, and its diversity and evolutionary history. In addition, DNA and genome information on living organisms on the earth is currently available free of charge via the Internet, and students will learn about methods for obtaining this information and conducting phylogenetic analysis.

【Learning activities outside of classroom】 The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 12-14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 12-14 assignments is 120-140 points.

BIO200LA (その他の総合生物・生物学/Biology 200)

教養生物学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：メス・オスと老死の起源を緑藻ボルボックスの仲間て理解する

野崎 久義

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

我々ヒトの一生は両親にあたる「メスとオス」の出会いに始まり、成長の後また両親と同じようなことを繰り返すが、成長した個体はやがて「老死」という運命を迎える。しかし、生物全体を見渡せば単純な体制をした単細胞生物等では分裂で増殖するので「老死」もなければ「メスとオスの差異」も存在しない。従って、生命が誕生した初期では「老死」もなければ「メスとオス」の差異も存在しない単細胞の段階があり、多細胞生物に進化する段階で両者が出現したと考えられる。これらの進化を探るのには真核生物が誕生した10-20億年前の状況を調査する必要があるとも考えられるが、これは不可能である。しかし、緑藻類のボルボックスの仲間（ボルボックス系列）は単細胞性のものから「老死」と「メスとオス」を持つ複雑な体制をしたものまで様々な進化段階の生物が現存しているため、現存の生物の比較でこれらの進化が研究できる。そのために、これらの生物を採集して培養株を確立し、最先端の生物学的手法を用いた研究が進んでいる。この授業では、このような「老死」と「メスとオス」に関連する多様性と進化を緑藻類のボルボックス系列に着目して理解することを目的とする。このためには自然界に生育するボルボックスの仲間をどのように採集して培養株とするか、ボルボックス系列の生物がどの様なものかを理解する必要がある。また、老死とメス・オスの進化は「多細胞化」に関連しており、ボルボックス系列を用いた多細胞化に関連する研究も紹介する。ヒトの様な多細胞の動物が進化した10億年以上も昔の我々の祖先が「老死」も「メスとオス」もないものであったというという歴史があるが、直接的に探れない。しかし、ボルボックスの仲間を用いた研究からこの歴史が推測できることを理解してもらいたい。随時、関連する野崎の緑藻ボルボックスの仲間の研究内容も紹介する。

【到達目標】

ヒトの一生で避けることのできない重大な2つの過程、「メスとオスの出会い」と「老死」が太古の祖先の多細胞生物に進化する段階で獲得されたものであり、これらを持たない単細胞生物が現存することを理解する。さらに、性（sex）進化と多細胞化の研究のモデル生物群である緑藻ボルボックスの仲間（ボルボックス系列）に焦点をあててこれらの2つの進化に関連する研究内容を紹介するが、基本的にボルボックス系列がどの様な生物であるか、さらにこれらの生物のフィールドでの採集と実験室における培養株の確立の方法も理解する。また、ボルボックス系列の代表的な種の全ゲノム情報は公開されているので、ゲノム情報はインターネットを通じて無償で調査することができる。従って、着目する生物に目的の遺伝子があるかどうか検索する基本的な手法についても学ぶ。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に講義室でオンサイト（対面）の授業を進める。随時、質疑応答を行い、学生諸君が積極的に授業に参加できるようにする。授業の最後に課題を出し、授業内容理解の向上を目指す。課題と同時に授業に関する質問やコメントの提出を求める。

課題、質問、コメント等に対するフィードバックは次回の授業で行う。毎回の講義内容が積み重なって新しい講義が理解できるように進めるので、復習をよくやって下さい。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	メスとオスの出会いと老死	メスとオスの出会いと老死、それらの存在意義を解説する。
2	ヒトの一生と生活環境	ヒトの生活環境を理解して、後から学習するクラミドモナスやボルボックスと比較する材料とします。
3	メスとオスの差も老死もない単細胞生物	メスとオスの差も老死もない単細胞生物であるクラミドモナスを解説する。
4	メスとオスの差と老死が認められる多細胞生物ボルボックス	ボルボックスにおけるメスとオスの差と老死を解説する。ここで性（sex）と雌雄は異なるものであることも理解してもらいます。
5	性進化と多細胞化研究のモデル生物群ボルボックス系列、世界最小の多細胞生物“シアワセモ”	ボルボックス系列の生物がどの様なものかについて解説する。また、世界最小の多細胞生物シアワセモも紹介します。
6	多細胞化と老死の不一致、“永遠の命”を得た多細胞生物ボルボックス	ボルボックス系列を用いて多細胞化と老死の進化は一致しないことを解説する。また、老死細胞を決定する遺伝子を失ったボルボックスの突然変異体を紹介します。
7	性（sex）と雌雄性	性（sex）と雌雄性（メスとオスに分化すること）は異なる概念であることをボルボックス系列を用いて説明する。
8	メスとオスの未分化な生物からメスとオスの明瞭な生物への進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”	ボルボックスの仲間における雌雄性の進化の鍵遺伝子“OTOKOGI”の発見の経緯をについて解説する。ボルボックス系列におけるフィールド調査と培養株の確立についても紹介します。
9	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性進化	琵琶湖のフィールド調査から始まったボルボックスの性の多様性と性進化の研究を解説する。
10	熱帯に未知なるボルボックス系列を求め	熱帯、特にタイとアフリカにおけるボルボックス系列のフィールド調査とその研究成果を解説します。
11	再び相模湖・津久井湖に戻る	3種類の性表現型をもつ生物種（トリオシー）について、神奈川県相模湖・津久井湖における藻類のトリオシー種の発見の経緯について解説する。
12	全ゲノム解読による性進化の研究（I）	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読による性進化、メス・オスの未分化な同型配偶からメス・オスの明瞭な生物への進化の研究成果について解説する。
13	全ゲノム解読による性進化の研究（II）	緑藻ボルボックス系列を用いた全ゲノム解読による性進化、特に雌雄異株から雌雄同株・トリオシーへの進化の研究成果について解説する。

- 14 赤の女王仮説と性が知られていなかった原生生物における性の発見
- 性に関する有名な仮説「赤の女王仮説」とこれまで「性」がないと思われていた原生生物のエリ鞭毛虫（2013年）と単細胞紅藻（2022年）で「性」の存在が明らかになった研究とその進化的重要性を解説します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で使う資料を学習支援システムの教材欄に事前に提示するので、十分予習すること。授業内で示した課題は、授業内容を十分復習して間違えの無いように解答すること。予習復習には1回の授業につき4時間以上かけて下さい。

【テキスト（教科書）】

特定の教科書は使用しない。

【参考書】

参考書等は必要に応じて学習支援システムを通じて提示します。

【成績評価の方法と基準】

授業中に課題を出します。10-13回の課題の評価点で成績評価を行う（100%）。1回の課題は10点満点とし、10-13回分を合計して120-140点満点で評価点となる。

【学生の意見等からの気づき】

板書の文字を大きくして下さい、講義の進行が速くてついていけないとの意見が目立ったので、なるべく大きな文字で書いてゆっくりと講義は進行する予定である。従って、シラバスに記載した内容全部が講義で実施できない場合がある。また、学生も講義についていけるようにしっかりと復習をして欲しい。

講義中の私語が原因で講義の習得が妨害されるので、注意して欲しいとの意見がかなりあった。こちらも注意するが、学生自身が自覚を持って講義に臨んで欲しい。

講義内容が理解できない場合や質問は講義中、講義の前後に直接野崎に問いかけて下さい。後から「わからない」とレポートで書かれても困ります。

【学生が準備すべき機器他】

特にないが、インターネットが可能なPCがあるとゲノム情報の探索が実際に自分で行える。

【その他の重要事項】

本講義は理科、特に生物学の最新の知識と方法論を体験した文系の若手を育成することを目的としています。高校レベルの生物学の知識を前提としていますので、現在までに生物学を学習・習得したことのない場合は事前に高校生物の「細胞分裂、生殖、染色体、遺伝子、DNA、タンパク質」等を自分で予習する必要があります。

授業中の私語は他の学生の受講を阻害するので厳禁である。

【Outline (in English)】

【Course outline】

The life of a human being begins with the encounter between the "male" and "female," which are the parents, and after growing up, the human being repeats the same process as the parents, but the grown individual eventually meets the fate of "aging death." However, if we look at all living organisms, we find that single-celled organisms, which have a simple structure, multiply by division, so there is no "aging death" and no "male and female differentiation". Therefore, it is thought that in the early stages of life, there was a unicellular stage in which there was neither aging death or male and female differentiation, and that both appeared during the evolution of multicellular organisms. One could argue that exploring these evolutionary processes would require investigating conditions 1 to 2 billion years ago, when eukaryotes emerged, but this is not possible. However, since there are extant organisms of various evolutionary stages in the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), ranging from unicellular ones to complex multicellular bodies with "aging death" and "male and female genders," these evolutions can be studied by comparing the extant organisms. To this end, research is progressing by collecting these organisms from natural fields, establishing culture strains, and using cutting-age biological techniques. The aim of this class is to understand such diversity and evolution related to "aging death" and "sex" by focusing on members of the volvocine lineage. For this purpose, it is necessary to understand how to collect naturally growing members of volvocine species and what kind of organisms the volvocine species are. In addition, the evolution of "aging death" and "male and female genders" is related to "multicellularity," and studies related to multicellularity using the volvocine species will also be presented. The history of our ancestors more than a billion years ago, when multicellular organisms evolved, is that they had neither "aging death" nor "male and female differentiation," but this cannot be directly explored. However, we hope you will understand that this history can be inferred from studies using organisms belonging to the volvocine lineage. From time to time, we will also introduce related studies by Nozaki's group.

【Learning Objectives】

We will understand that two critical processes that cannot be avoided in the human life span, "female-male encounter" and "old age and death," were acquired during the evolution of our ancient ancestors into multicellular organisms, and that unicellular organisms without these processes exist today. In addition, we will focus on the green algal group "volvocine lineage" (Volvox and its related species), which is a model organism group for the study of sex evolution and multicellularity, and introduce research related to these two evolutionary events, but we will also explain what the volvocine lineage is basically like, and how to collect these organisms in the field and establish laboratory cultures. The course will also provide an understanding of the field collection of these organisms and how to establish culture strains in the laboratory. In addition, the genome information of representative species of the volvocine lineage is publicly available, and genome information can be researched free of charge via the Internet. Therefore, students will also learn basic methods to search for the presence of target genes in the organisms of interest.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is 2 hours each. Materials to be used in class will be presented in the "Teaching Materials" section of the Learning Support System in advance, so students are expected to prepare well in advance. Students are expected to review the contents of the class and answer the assignments given in the class without making mistakes. Please spend at least 4 hours per class on preparation and review.

【Grading Criteria /Policy】

An assignment/inquiry will be given after each class, and grading will be based on the evaluation score of 12-14 assignments, each assignment is worth 10 points, and the total score for 12-14 assignments is 120-140 points.

BIO200LA (その他の総合生物・生物学/Biology 200)

教養生物学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『命とはなにか?』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにかからできているのか?」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか?」、「なぜ病気になるのか?」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】

生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第2回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。
第3回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。

第4回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつDNAとはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第5回	命をつくる細胞の一生とは？	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第6回	命の誕生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第7回	命の要、タンパク質とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第8回	命を支える細胞膜の機能とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第9回	命を守るしくみとは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第10回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第11回	命に手を加えるとは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第12回	命を操作する技術とは？	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第13回	命とはなにか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第14回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に実施する小テスト2回（50%）および期末試験（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon. Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire the knowledge necessary to understand life phenomena, to have your own ideas about the significance of life, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA (その他の総合生物・生物学 / Biology 200)

教養生物学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『人間とはなにものか?』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか?」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか?」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】

ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第2回	多種多様な生物とは?	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。
第3回	生態系の中のヒトとは?	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりについて概説します。

第4回	生物と地球環境のつながりとは?	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第5回	生物、そしてヒトの起源とは?	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第6回	進化学とは?	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第7回	行動の進化とは?	生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたのかについて概説します。
第8回	生物の行動にみられる特徴とは?	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第9回	種の存続とは?	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第10回	ヒトによる動物の家畜化とは?	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第11回	ヒトの動物観とは?	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第12回	ヒトの食とは?	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第13回	人間とはなにものか?	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第14回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に実施する小テスト2回（50%）および期末試験（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things. Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire knowledge about biodiversity, to develop your own ideas about how humans should live, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA (その他の総合生物・生物学/Biology 200)

教養生物学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『命とはなにか?』という問いをテーマに掲げて、生物学の立場から生物に共通する生命機能に対する理解を深め、命について考えることを目的として展開します。地球上に存在する多種多様な生物は、すべて細胞から構成されており、生物の遺伝形質は細胞内に収納されている遺伝子によって決定されています。この、細胞・遺伝子について学ぶことによって、「生命はなにかからできているのか?」、「命はどのようにしてこの世に誕生するのか?」、「なぜ病気になるのか?」などの問いに対する答えを見つけていきます。また、この非常に複雑で精巧な生命のしくみに手を加える技術が近年急速に発展していますが、再生医療等の分野へどのように応用されているのか、またどのような倫理的課題をもたらしているのかについても考えます。

【到達目標】

生命現象を理解する上で必要とされる知識を会得し、命のしくみについて理解を深めるとともに、命というものの存在意義について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第2回	命ある生物とは？	命ある生物とはどんな特徴をもつのか、そしてその生物を対象とする生物学とはどんな学問なのかについて概説します。
第3回	命の材料とは？	生物体はどんな物質からできているのか、そして生命の最小単位である細胞とはなにかについて概説します。

第4回	命の設計図とは？	生命活動を営むための情報をもつDNAとはどのような働きをしているのかについて、その構造および複製のしくみ、また遺伝情報に基づいてタンパク質が作られるしくみを概説します。
第5回	命をつくる細胞の一生とは？	細胞の分裂や分化のしくみ、また細胞死やがん化について概説します。
第6回	命の誕生とは？	命はどのようにして誕生するのかについて、ひとつの受精卵から個体が形成されるまでの過程を、細胞の分裂・分化に着目しながら概説します。
第7回	命の要、タンパク質とは？	生体内において様々な役割を担うタンパク質の構造や機能について概説します。
第8回	命を支える細胞膜の機能とは？	生命活動に欠かせない細胞の機能について、細胞膜に発現している種々のタンパク質の働きに着目して概説します。
第9回	命を守るしくみとは？	体内に侵入した異物に対する防御のシステムについて概説します。
第10回	命のしくみを利用した新しい医療とは？	細胞・遺伝子を扱う技術を用いた新たな治療法である再生医療について概説します。
第11回	命に手を加えるとは？	生命科学分野の技術発展がもたらす倫理的課題について、歴史的背景とともに、実験動物の扱いや、遺伝子・幹細胞に関する技術などを例にあげながら概説します。
第12回	命を操作する技術とは？	細胞・遺伝子を利用した研究の実情について概説します。
第13回	命とはなにか？	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第14回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に実施する小テスト2回（50%）および期末試験（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the basis of biological science, focusing on the principle of life. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the mechanism of life phenomenon. Lectures will also discuss current technologies related to cells and genes.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire the knowledge necessary to understand life phenomena, to have your own ideas about the significance of life, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

BIO200LA (その他の総合生物・生物学 / Biology 200)

教養生物学 L D

2017年度以降入学者

サブタイトル：

町田 郁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、『人間とはなにものか?』という問いをテーマに掲げて、地球上に存在する多種多様な生物の関係性について理解を深め、その中でヒトの特徴について生物学の立場から考えることを目的として展開します。地球上に生息するすべての生物は、自らを取り巻く環境と相互作用することにより生命活動を営んでおり、私たちヒトも例外ではありません。自分自身を知るためにも、まずは自分がどのような環境でどのようなものに囲まれて生きているのかを知る必要があるでしょう。「どうして地球上にはたくさんの種類の生物がいるのか?」、「ヒトと他の動物にはどんな共通点・相違点があるのか?」などの問いに対する答えを探りながら、ヒト（皆さん自身）が地球環境の中で他の生物と共生していくとはどのようなことなのかについて様々な側面から考えます。

【到達目標】

ヒトを含めた地球上の多種多様な生物に関する知識を会得し、生物と周囲の環境との関係性について理解を深めるとともに、ヒト（自分自身）のあり方について自分なりの考えを持てるようになることを目標とします。

また、頭の中で理解した事柄や自身の考えを、自分の言葉として発信して人に伝える力を高めることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は、対面です。ただし、初回を含めて一部オンライン授業となります。

授業は、パワーポイント資料やビデオ映像等を用いた講義形式で行います。

授業は、生物学初学者でも理解できるように展開します。

課題等の提出・フィードバックは、授業時間内もしくは「学習支援システム」にて行う予定です。

授業に関する種々の連絡事項は「学習支援システム」の『お知らせ』に掲示しますので、随時ご確認ください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についてのガイダンスおよび授業のテーマに関する導入。
第2回	多種多様な生物とは?	地球上にはどれほどの種の生物が存在し、どのような特徴をもつのかについて、動物の分類方法を学びながら概説します。
第3回	生態系の中のヒトとは?	地球上の多くの生物がどのような関係性の上に存在しているのかについて、ヒトの関わりをふりながら概説します。

第4回	生物と地球環境のつながりとは?	ヒトを含めた全ての生物を構成している物質とは何なのか、またそれらの物質と地球環境とはどのような関わりをもつのかについて概説します。
第5回	生物、そしてヒトの起源とは?	地球上に生命が誕生した背景、そして生物の進化とヒトの誕生について概説します。
第6回	進化学とは?	ヒトはどのようにして生物の進化の謎をひも解いてきたのかについて、進化学分野の研究手法等を概説します。
第7回	行動の進化とは?	生物の行動と進化の関係について、また進化論がヒトの社会にどのような影響を及ぼしてきたかについて概説します。
第8回	生物の行動にみられる特徴とは?	ヒトを含めた生物の様々な行動が引き起こされるしくみや意味について概説します。
第9回	種の存続とは?	生物のオスとメスの特性、また種の存続に際しヒトを含む様々な生物の配偶者選びにはどのような特徴があるのかについて概説します。
第10回	ヒトによる動物の家畜化とは?	地球上に存在する動物の中で、ヒトの管理下で生きる家畜化された動物に着目し、ヒトと動物の関わりについて概説します。
第11回	ヒトの動物観とは?	ヒトは他の動物をどのように見てきたのか、そしてヒトと他の動物の共生とはどのようなことなのかについて概説します。
第12回	ヒトの食とは?	自然界にある「食う・食われる」という関係の中で、現代のヒトは他の生物をどのように食しているのか、命を食べるとはどのようなことなのかについて概説します。
第13回	人間とはなにものか?	授業で扱った各回の内容を振り返り、個々の事柄の結びつきを考えながら整理し直すことによって、本授業のテーマに対する考察を深めます。
第14回	授業のまとめ・試験	最終回に授業のまとめをして、試験を実施します。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

授業は、基礎的な事項からスタートして土台を作り上げてゆくことにより、徐々に複雑な内容の理解が可能となるように構成されています。そのため、毎回の授業内容をしっかり復習して、不明点をなくした状態で翌週の授業に臨むようにしてください。また、新聞等で日々とりあげられる生物学に関する事柄をチェックすることにより、授業で学ぶ内容をより深く理解するように心がけてください。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。

【参考書】

必要に応じてお知らせします。

【成績評価の方法と基準】

授業時に実施する小テスト2回（50%）および期末試験（50%）。

【学生の意見等からの気づき】

生物学に関する事柄を、できるだけ身近に感じられるように、理解しやすく整理して教えるように努めます。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course introduces the basis of biological science, focusing on biodiversity. The aim of this course is to help students acquire an understanding of the characteristics of human beings compared to other living things. Lectures will also discuss harmonious symbiosis of nature and humans from many points of view.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to acquire knowledge about biodiversity, to develop your own ideas about how humans should live, and to improve your ability to communicate what you have learned and your own ideas to others.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

(Grading Criteria /Policy)

The final grade will be determined as follows: Short tests to be submitted in class (50%) and term-end exam (50%).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル: エネルギーの化学

向井 知大

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

物質の変化には、エネルギーの出入りが伴います。社会や生命はこれらを上手に利用することで活動しています。エネルギーを題材にして身の回りの現象や物質について理解を深め、現在の我々の生活を支えている技術に対する興味を持って下さい。

【到達目標】

エネルギーについて原子核や電子の振る舞いをもとに理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。エネルギー問題に関する近年の話題について、自分なりの考察ができるようになることを目標にして下さい。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文のpdfファイルを授業支援システムにアップロードする予定です。

高校などにおける理系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。

授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義計画と概要についての説明。
第2回	エネルギーの基礎	エネルギーの定義やエネルギー変換についての概説。
第3回	電子の発見	ふたつの原子を結びつける電子の働きについて。
第4回	電子と電気	電磁誘導と発電機の仕組みについて。
第5回	同位体と原子の壊変	原子核の壊変と放射線について。
第6回	原子力発電	核分裂連鎖反応について。
第7回	原子爆弾と核融合	ウラン濃縮や臨界について。
第8回	光と電子のエネルギー	電磁波の性質と光量子仮説について。
第9回	化学結合のエネルギー	化学結合が形成されるしくみと、物質の持つエネルギーについて。
第10回	有機化合物	炭素原子を含む化学物質の構造。
第11回	エネルギー物質	燃焼によって発生するエネルギーと、爆薬の化学構造、爆発事故について。
第12回	燃料電池	水素分子と酸素分子から得られるエネルギーについて。
第13回	元素の循環	物質変化に伴うエネルギーの吸収と放出について。
第14回	まとめ	これまでの内容の復習。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やWeb検索などで調査してみてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

使用しません。授業毎に資料を配布します。

【参考書】

使用しません。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題を出题します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

化学の学習に不安を持つ学生のために、高校の学習範囲を予備知識として必要としない内容を心掛けています。また、高校で理系科目を多く履修した人も気づきが得られるように、なるべく身の回りの現象を題材にしています。今年度は、学生自身の手を動かす機会を増やすように考えています。

【Outline (in English)】

This course introduces fundamental principles of familiar natural phenomena. The goals of this course are to understand about energy and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

中田 和秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論（化学結合論、熱力学、結合エネルギー等）を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第2回	物質とは？	物質の基本単位である分子について学習する。
第3回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第4回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。
第5回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。
第6回	石油（1）	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第7回	石油（2）	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第8回	天然ガス	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。

第9回	その他の化石燃料	オイルサンドやオイルシェール等、その他の化石燃料について性質や用途を学習する。
第10回	水素経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第11回	水素経済社会（2）	水素を利用する社会システム（水素経済社会）について、その長所と短所を学習する。
第12回	メタノール経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第13回	メタノール経済社会（2）	メタノールを利用する社会システム（メタノール経済社会）について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協Webサイトににて購入することができます。

書名：新版 エネルギーの科学（第2版）

著者名：安井伸郎

出版社：三共出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：メタノールエコノミー：CO₂をエネルギーに変える逆転の発想

著者名：G.A. オラー, A. ゲッペルト, G.K.S. ブラカーシュ

訳者名：小林四郎, 齋藤彰久, 西村晃尚

出版者名：化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンデマンド授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

基盤科目（100番台）の「入門化学A・B」、および、リベラルアーツ科目（200番台）の「教養化学LC・LD」も担当しております。合わせての履修をご検討いただければ幸いです。

【Outline (in English)】

In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture. Students should read the textbook as early as possible before a class and are encouraged advanced reading on the basis of their own interest after a class. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学LB

2017年度以降入学者

サブタイトル：環境の科学

向井 知大

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

環境問題の解決には、その原因となる材料や燃料の使用規制が提案されます。しかし、現在の我々の豊かな生活は、これらに支えられている側面もあります。この授業では、現在の生活を支える科学技術に対する理解を深め、環境問題の原因とその解決のために必要な科学技術について学んでいきます。

【到達目標】

自然現象や環境問題について原子や分子のレベルで理解し、科学的な思考で物事を説明する能力を高めることを目標とします。また、自然科学そのものに対する興味関心を高めることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料は授業支援システムで配布する予定です。高校などにおける自然科学系科目の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講義概要、授業の進め方など	この講義の概要と、これからの授業の進め方、注意点等について説明します。
第2回	日本の過去の公害事例	明治から現代までの環境問題について。
第3回	化学の基礎	原子の結合と、有機化合物の構造、性質について。
第4回	触媒	化学反応を促進する触媒の原理について。
第5回	排ガスの清浄化	汚染物質を分解する仕組みについて。
第6回	触媒の活用	優れた機能を持つ材料や燃料、肥料などを作るための触媒について。
第7回	温室効果ガス	二酸化炭素やその他気体の温室効果のメカニズムについて。
第8回	二酸化炭素の利用	二酸化炭素の回収とその利用について。
第9回	高分子	天然の高分子と人工高分子について。
第10回	海洋プラスチック問題	プラスチックごみやマイクロプラスチックの問題点について。
第11回	バイオプラスチック	自然界で分解されやすいプラスチックの構造と機能について。
第12回	原子力発電	核分裂反応で生じる放射性物質について。

第13回 放射線と生体 放射線の種類や生体に及ぼす影響について。

第14回 まとめ 全般的な振り返りを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やweb検索などで調査してみてください。本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に使いません、毎週資料を学習支援システム上で配布します。

【参考書】

気になるキーワードを図書館やWebで検索してみてください。必要に応じて授業内で紹介することも可能です。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題とまとめを出題します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更につきアンケートを実施していません

【Outline (in English)】

This course introduces the principles of the science and technology that support our current life. By the end of the course, students should be able to understand the causes of environmental issues and the scientific technologies necessary to resolve them.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学LB

2017年度以降入学者

サブタイトル：環境問題を考えるための化学

西村 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

地球が直面している環境問題はとて深刻だと報道されています。これらの環境問題について皆さんはどのくらい知識がありますか？例えば地球温暖化問題に関して「二酸化炭素の排出を削減しましょう」ということはほとんどの人が知っていることだと思います。では、温暖化を引き起こしていると言われる温室効果ガスには二酸化炭素以外にどのようなガスがあるか知っている人はどのくらいいるでしょうか？空気中には約78%窒素ガスが存在しますが、なぜ窒素ガスは温室効果ガスではないのでしょうか？この授業では環境問題を題材として化学を使って深く掘り下げていくことを試みます。一緒に楽しく学んでいきましょう。

【到達目標】

最終的には現在地球が直面している問題点を理解してもらい、その解決策を探るために必要な知識としての化学を理解してもらうことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

昨年度はハイフレックス授業でしたが、今年度は人数が多ければ抽選を行って、全員対面で行う予定です。

授業は丁寧に進めていきます。毎回の授業中に出席確認を兼ねた課題を課します。この内容が成績に一番影響しますので、真剣に取り組んでください。

理解が及ばないことは課題の中に質問として記入してください。いただいた質問を受講生全員と授業中に共有して、皆で理解を深めていきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
No.1	イントロダクション	授業全体の説明をします。特に成績評価の基準を説明します。
No.2	化学基礎1	これからの講義に必要な化学の基礎を集中学習
No.3	化学基礎2	これからの講義に必要な化学の基礎を集中学習
No.4	小テスト	これまでの学習を振り返る。試験範囲は化学基礎1,2,3。
No.5	世界の環境問題	昨年度までにいただいた質問の中で次週からの授業中に話す予定が無いけれども、皆さんにとって有益であろうと思ったトピックを取り上げます。
No.6	プラネタリーバウンダリー	プラネタリーバウンダリーの考え方はSDGsより化学的です。この考えを紹介します。
No.7	オゾン層破壊	オゾン層とは何か。オゾン層破壊のメカニズムについて学びます。

No.8	大気汚染	大気汚染全般と酸性雨について。さらにその汚染物質の人体への影響についても学びます。
No.9	温室効果ガス	温室効果ガスとは何かについて学習した後、温室効果ガスの気候変動に及ぼす影響について
No.10	小テスト	これまでの学習を振り返る。試験範囲は世界の環境問題から温室効果ガスまで。
No.11	ゴミ問題から土壌汚染まで	なぜゴミの分別が必要なのか。環境を破壊するゴミ問題に関して。
No.12	水質汚染と水質浄化	汚染水に含まれる化学物質の種類と水質浄化法について。
No.13	エネルギー	現行の発電をメインに説明し、新エネルギー等も学習する。さらに、私たちの未来について。
No.14	テスト	最終テスト 試験範囲は化学基礎を含む全授業範囲です。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習する必要はありません。授業後に興味を持った内容を自分で調べて学習した内容の理解を深めてもらいたいと思っています。この復習に2時間程度充てることが望ましいです。

【テキスト（教科書）】

ありません。必要に応じて資料となるPDFファイルをHoppiiにUPします。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

毎週の課題(60%)、2回の小テスト(20%)、最終テスト(20%)を総合的に評価します。テストには紙類の持ち込みは可とします。特に出欠はとりませんが、課題は授業中に話しますから出席していないと課題の内容がわからなくなります。

【学生の意見等からの気づき】

「私たち文系なので、わかりやすく教えてください」とコメントいただくので、わかりやすく、急がずに授業を進めていきます。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

この授業は昨年度はハイフレックスで行いましたが、管理が難しかったため、今年度は希望者が多かった場合、抽選を行う予定です。

【Outline (in English)】

One of the most pressing issues the Earth is facing is environmental problems. Such environmental problems are universal issues, so all the people on the earth should cooperate to solve these problems. At the beginning of this course, each environmental problem will be focused from the chemical viewpoint. Then, the students with different backgrounds will delve into the matters. The ultimate goal of this course is that we think about these problems deeply by sharing possible solutions with each other.

You don't need to prepare for the class, but I hope students deepen their understanding of what they have learned by doing their own research on topics of interest to them after class. It is advisable to devote about 2 hours to this review.

Weekly assignments (50%), tests (30%), and class attitude (20%) will be evaluated comprehensively.

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：エネルギーの科学

中田 和秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

近年、現代文明の成長や持続性への関心から、各種エネルギー資源について注目が集まっています。それらの話題を理解するためには、科学的な考察が必要不可欠です。本授業では、現代文明が大きく依存している化石燃料について利用の実態を学習し、それらが枯渇の危機に瀕していることを理解します。また、新たなエネルギー社会構築の可能性について議論します。これらの話題を化学の視点から理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

本授業では、化石燃料である石炭、石油、天然ガスについて、その構造、性質、燃焼反応、燃焼熱等について学習します。また、新しいエネルギー社会として提唱されている水素経済社会やメタノール経済社会について学習します。これらの話題を的確に理解するために必要な化学理論（化学結合論、熱力学、結合エネルギー等）を合わせて習得することが到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業計画と学習の仕方について講義する。
第2回	物質とは？	物質の基本単位である分子について学習する。
第3回	化学反応	物質の変化、すなわち、化学反応について学習する。
第4回	反応熱・エネルギー	化学反応にともなって反応系から出入りする反応熱について学習する。また、その他のエネルギー形態についても解説する。
第5回	石炭	現代文明で大きな役割を演じている石炭の性質や用途について学習する。
第6回	石油（1）	現代文明で大きな役割を演じている石油の性質や精製について学習する。
第7回	石油（2）	現代文明で大きな役割を演じている石油の用途について学習する。
第8回	天然ガス	現代文明で大きな役割を演じている天然ガスの性質や用途について学習する。

第9回	その他の化石燃料	オイルサンドやオイルシェール等、その他の化石燃料について性質や用途を学習する。
第10回	水素経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補である水素について、性質や用途を学習する。
第11回	水素経済社会（2）	水素を利用する社会システム（水素経済社会）について、その長所と短所を学習する。
第12回	メタノール経済社会（1）	将来のエネルギー資源の候補であるメタノールおよびジメチルエーテルについて、性質や用途を学習する。
第13回	メタノール経済社会（2）	メタノールを利用する社会システム（メタノール経済社会）について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。できるだけ早い段階で、教科書を通読して学習に臨んでください。各回終了後は、発展的な読書を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト（教科書）】

下記書籍を教科書として使用しますので、各自購入してください。教科書は、法政大学生協Webサイトにて購入することができます。

書名：新版 エネルギーの科学（第2版）

著者名：安井伸郎

出版社：三共出版

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：メタノールエコノミー：CO₂をエネルギーに変える逆転の発想

著者名：G.A. オラー, A. ゲッペルト, G.K.S. ブラカーシュ

訳者名：小林四郎, 齋藤彰久, 西村晃尚

出版者名：化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験（教科書、プリント、およびノート持ち込み可）により評価します。（100%）

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンデマンド授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

基盤科目（100番台）の「入門化学A・B」、および、リベラルアーツ科目（200番台）の「教養化学LC・LD」も担当しております。合わせての履修をご検討いただければ幸いです。

【Outline (in English)】

In recent years, various kinds of energy resources are attracting attention in connection with the interest in the growth and sustainability of modern civilization. To understand such topics, natural sciences play crucial roles. In this lecture, the actual state of use of fossil fuels on which modern civilization largely depend will be discussed to understand that such the fuels are on the crisis of exhaustion. In addition, some ideas that may bring sustainable civilization will be presented. Understanding chemistry fundamental to such topics is the aim of this lecture. Students should read the textbook as early as possible before a class and are encouraged advanced reading on the basis of their own interest after a class. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学 L C

2017年度以降入学者

サブタイトル：細菌の化学

中田 和秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国で発生した新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) は、2020年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため有効な治療法は確立されていません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会はCOVID-19から大きな影響を受けています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する種々の有機化合物についてご紹介します。それらが集合して構成される生体の最小単位である細胞について学習し、細菌や細菌によって引き起こされる疾病について学びます。ウイルスが増殖する舞台である細胞について化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるように配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第2回	原子	原子を構成する素粒子や原子が結合して生成する分子について解説し、原子に関する理解を深める。
第3回	化学結合論	原子がどのようなルールによって結合し分子を形成するかを学習する。
第4回	多重結合	化学結合論に基づいて形成される様々な化学結合の種類について学習する。
第5回	生体を構成する有機化合物	生体を構成するタンパク質、脂質、糖質、および、核酸について学習する。
第6回	分子の立体構造	種々の化学結合がなす角度と結合距離について学習し、分子の立体構造について理解を深める。

第7回	分子の立体構造と物質の性質 (1)	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第8回	分子の立体構造と物質の性質 (2)	物質の性質が分子の立体構造によって決まることを、いくつかの例を通して学習する。
第9回	生体分子の立体構造 (1)	タンパク質の立体構造について学習する。
第10回	生体分子の立体構造 (2)	脂質や糖質の立体構造について学習する。
第11回	生体分子の立体構造 (3)	核酸の立体構造について学習する。
第12回	細胞	生物とウイルスの違いや生体の基本単位である細胞について学習する。
第13回	細菌	細菌の種類や細菌によって引き起こされる疾病について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。授業終了後、各自の興味関心に基づいた発展的な読書や調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト (教科書)】

使用しません。

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名：ヴォート生化学

著者名：Donald Voet, Judith G.Voet

訳者名：田宮信雄ほか

出版者名：東京化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験 (教科書、プリント、およびノート持ち込み可) により評価します。(100%)

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

秋学期に開講される「教養化学LD」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective treatment has not yet been established. This situation brings severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, various organic compounds that comprise living organisms will be presented. Then, students will learn about the cell that is the minimum unit of the living organisms, and bacteria and its related diseases. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of cell that is the place of multiplication of virus from the viewpoint of chemistry. Students are encouraged advanced learning after a class using relevant books and the internet on the basis of their own interest. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学LD

2017年度以降入学者

サブタイトル: ウイルスの化学

中田 和秀

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火5/Tue.5

単位数: 2単位

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国で発生した新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) は、2020年に入って急速に世界中に拡散し、世界各国で感染者数を増加させています。このウイルスの感染によって引き起こされる症状は深刻である一方、新規に発生したウイルスであるため有効な治療法は確立されていません。そのため、我々の生活様式から企業の経済活動にいたるまで、現代社会はCOVID-19から大きな影響を受けています。したがって、今、ウイルスや関連する事項について学習することは、将来の社会を担う学生にとって最も重要なテーマであるといえます。本授業では、まず、生体を構成する最小単位である細胞がどのような活動をおこなっているかを学習します。次に、ウイルスがその細胞に侵入して増殖するメカニズムなどを学習します。ウイルスの性質や活動について化学的に理解することが本授業の目的です。

【到達目標】

我々の生命活動の舞台である細胞、我々に病気をもたらす細菌やウイルスについて、種類、構造、性質、および、活動について化学的に理解することを目標とします。なお、これまで化学を学習したことが無い学生でも授業を理解することができるように配慮します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP3、国際文化学部: DP2、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は、板書や資料のプロジェクターによるスクリーンへの投影を行いながら、講義形式で進めます。漫然と板書をノートに写すのではなく、自分で調べたことなどを書き加え、わかりやすくまとめてください。ノートは、ルーズリーフではなく、綴じたノートを購入して使用してください。また、化学の知識が無くても授業を理解できるように配慮いたします。時々、練習問題や宿題を課しますので、それらを通してより理解が深まることでしょう。課題内容については、次回の講義にて解説などのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	講義計画と学習の仕方について解説する。
第2回	化学結合論と分子の立体構造	化学結合論によって原子同士がつながって分子が生成すること、および、分子の立体構造によって物質の性質が決まることを学習する。
第3回	生体を構成する有機化合物	生体を構成する種々の有機化合物について学習し、それらの分子構造について理解を深める。
第4回	遺伝情報の発現 (1)	生物の遺伝子DNAをRNAに転写する過程について学習する。
第5回	遺伝情報の発現 (2)	mRNAが持つ遺伝情報をタンパク質に翻訳する過程について学習する。
第6回	遺伝情報の発現 (3)	細胞分裂の際に行われる遺伝子DNAの複製について学習する。
第7回	生化学の研究手法	生化学を学習する際の研究手法について学習する。

第8回	ウイルスの構造	種々のウイルスについて基本的な構造を理解する。
第9回	λファージ	λファージの生活環について学習する。
第10回	HIV	ヒト免疫不全ウイルス (HIV) の生活環について学習する。
第11回	インフルエンザウイルス	インフルエンザウイルスの構造や増殖過程について学習する。
第12回	新型コロナウイルス	新型コロナウイルスについて最新の研究成果を学習する。
第13回	ウイルス治療薬	ウイルス治療薬開発の概要について学習する。
第14回	まとめ	本授業のまとめを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、各2時間を標準とします。授業終了後、各自の興味関心に基づいた発展的な読書や調査を行うと共に、指示にしたがって課題作成を行ってください。

【テキスト (教科書)】

使用しません。

【参考書】

参考書として下記書籍を推薦します。他の参考書については授業中に適宜紹介します。

書名: ヴォート生化学

著者名: Donald Voet, Judith G. Voet

訳者名: 田宮信雄 ほか

出版者名: 東京化学同人

【成績評価の方法と基準】

成績は、期末試験 (教科書、プリント、およびノート持ち込み可) により評価します。(100%)

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の授業内容について概ね好評であったので今年度も同様に授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

状況に応じてオンライン授業を行うことがありますので、PCやタブレット端末等、オンライン授業に必要な機器を準備しておく必要があります。

【その他の重要事項】

春学期に開講される「教養化学LC」を合わせて受講することをお勧めします。

【Outline (in English)】

The new-type coronavirus (SARS-CoV-2) originated in China had rapidly spread worldwide last year to increase the number of infected patients in every country. While the symptoms generated from this virus are serious, an effective treatment has not yet been established. This situation brings severe influence to many things such as our lifestyles and economic activities of industries. Therefore, learning about virus and its related things is one of the most important subjects for university students who will lead the next generation. In this lecture, students will learn the processes of expression and transmission of genetic information that is fundamental for living organisms, and then that of multiplication of viruses utilizing such the processes of the host cell. The purpose of this lecture is to understand the properties and activities of viruses from the viewpoint of chemistry. Students are encouraged advanced learning after a class using relevant books and the internet on the basis of their own interest. The study time will be more than two hours. The overall grade in the class will be decided based on the term-end examination (100 %).

CHM200LA (その他の化学 / Chemistry 200)

教養化学LE

2017年度以降入学者

サブタイトル：薬の科学

向井 知大

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：2単位

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

薬の開発は人類の寿命を大きく伸ばし、医学の発展に大きく寄与してきました。この授業では、薬とはどのようなものか、人体にどのような働きをするのか、薬はどのように開発されるか、など、薬の原理について有機化学を用いて紹介していきます。

【到達目標】

薬の働きについての学習を通して、タンパク質や低分子有機化合物の構造式を身近なものにし、有機化合物の性質を左右する構造的特徴について理解することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP2、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

資料をプロジェクトで投影して解説していきます。投影する資料と簡単な解説文を授業支援システムにアップロードする予定です。高校などにおける自然科学系科目(理系科目)の履修の有無にかかわらず理解できるように進めます。

授業毎に出題する正誤問題や質問について、次回授業冒頭で解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	講義計画と概要、学習方法について説明。
第2回	薬の歴史	古代から現代までの薬、薬を作ることができるようになったきっかけについて。
第3回	有機化学の基礎	有機化合物の構造や性質について。
第4回	DNAとタンパク質	アミノ酸の化学構造と、タンパク質やDNAの立体構造について。
第5回	酵素と代謝	タンパク質や炭水化物などを分解する酵素について。
第6回	栄養の化学	食品に含まれる栄養素が体内でどのように変化し、働くかについて。
第7回	生活習慣病の薬	糖尿病や脂質異常症の薬について。
第8回	抗炎症薬①	非ステロイド薬とステロイド薬の作用機序について。
第9回	抗炎症剤②	花粉症などアレルギーの薬、抗ヒスタミン薬の分子設計と、副作用改善について。
第10回	化学療法薬と抗生物質	病原細菌に強く作用する薬と、その作用機序について。
第11回	抗ウイルス薬	インフルエンザやエイズ、新型コロナウイルスの特徴と、その薬について。

第12回	がんの薬	様々な抗がん薬の働きと、副作用を軽減する試みについて。
第13回	うつの薬と危険ドラッグ	脳で働く生体物質や薬の働きについて。
第14回	まとめ	これまでの内容の復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

講義の内容に関連すると考えられる現象や用語について、各自が興味を持って書籍やweb検索などで調査してみてください。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しません。授業で使用する資料を授業支援システムで配布します。

【参考書】

使用しません。

【成績評価の方法と基準】

学習支援システムに毎回5問程度の正誤問題と簡単なまとめを出題します。この成績を平常点とします(配分40%)。期末試験の結果(配分60%)と平常点をあわせて成績評価します。

【学生の意見等からの気づき】

高校で化学を履修していることを前提にはしていません。しかし、薬の理解には化学だけでなく理系全般の幅広い知識を必要とするため、難しく感じる内容も含まれると思います。そのため、発展的な内容を話す場合は、最低限理解して欲しい内容とはっきり区別するようにしています。また、高校で理系科目を多く履修した人も気づきを得られるように、服用する機会の多い薬や、最近認可された薬も題材にしています。質問は学習支援システムでも受け付けていますが、授業中にも時間を取るようにする予定です。

【Outline (in English)】

Pharmaceutics has extended the human lifespan and has greatly contributed to the development of medical science. This course introduces the basic principles of medical supplies using organic chemistry.

The goals of this course are to understand about organic compounds and to improve your scientific literacy.

Your required study time is at least two hours for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the usual performance score (40%) and term-end examination (60%).

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

健康の科学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

鈴木 康弘

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、スポーツトレーニングの基本原則を紹介した上で、各種体力要因の意味やこれらを効果的に高めるためのトレーニング方法について幅広く学習し、実際の生活で活用できるようにすることを目的とします。効率的かつ効果的なトレーニングにより体力を向上させることは、アスリートばかりではなく、一般人にとっても、生涯にわたって健康で活動的な生活を過ごす上で重要なことを解説し、具体的なトレーニング内容についても紹介します。

【到達目標】

- 1) 体力トレーニングを実施する上での基本原則を理解する
- 2) 体力向上および健康増進のための合理的なトレーニング法やその効果の機序を理解する

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は講義科目です。この授業では、授業中に提供された知識・情報を単に記憶する・理解するだけでなく、個々人のスポーツ・運動実践場面における適用方法などについて考察することを最も重視します。そのため、共通の学習テーマの下での数回の授業が終了するごとに個人の考え・意見をまとめたミニレポートを提出してもらい、そのレポートを評価の一部とします。

なお、ミニレポート等に対する講評やフィードバックは、次回授業時に行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要説明
第2回	健康とトレーニング①	トレーニングの常識・非常識
第3回	健康とトレーニング②	トレーニングとは何なのか？
第4回	健康とトレーニング③	トレーニングの原則
第5回	科学的トレーニング①	科学的トレーニングとは何なのか？
第6回	科学的トレーニング②	トレーニングに関する研究の作法 - 対照実験の有用性と限界-
第7回	科学的トレーニング③	アスリートに有用な科学的トレーニングとは
第8回	中間まとめ	健康とトレーニング、科学的トレーニングについて考える
第9回	補助トレーニング①	専門トレーニングと補助トレーニング
第10回	補助トレーニング②	様々な補助トレーニング法

- 第11回 補助トレーニング③ 筋力を増大させるトレーニング法
- 第12回 補助トレーニング④ スピードとパワーを増大させるトレーニング法
- 第13回 補助トレーニング⑤ 持久力とは何なのか？
- 第14回 補助トレーニング⑥ 持久力を増大させるトレーニング法

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- 1) 毎回の授業で提示する課題に取り組んでから授業にのぞむこと。
 - 2) 各授業で配布する資料内容を次回までに復習してくる こと。
 - 3) シラバスに記載の内容を毎回予習してくる こと。
- なお、本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

特に指定しません。

必要に応じて資料を配付します。

【参考書】

体力トレーニング論. 高松薫. 杏林書院

アスリート・コーチ・トレーナーのためのトレーニング科学. 山本正喜. 市村出版.

【成績評価の方法と基準】

- 1) 授業への参画状況（授業ごとのリアクションペーパーなどで評価）：50%

毎回授業内容に関する簡易レポート（A4用紙1枚）の提出を求め、授業ごとに評価を行います。

- 2) 課題・ミニレポートの内容：30%

- 3) 学習態度：20%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

This course aims to introduce the fundamental principles of sports training, extensively covering the meaning of various physical fitness factors and effective training methods to enhance them, with the goal of enabling students to apply these principles in their daily lives. Enhancing physical fitness through efficient and effective training is crucial not only for athletes but also for the general population to lead a healthy and active lifestyle throughout their lives. This course will explain the importance of this aspect and also provide specific training content.

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

健康の科学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

藤平 杏子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「健康の科学LB」では、「生涯にわたる健康づくり」を主要テーマとして学習する。本授業を通して、健康長寿に必要な食事・運動・休養・社会参加に関する基礎的な事項を理解できるようにする。

【到達目標】

1. 健康の維持・増進に興味を持ち、健康づくりに関する基礎的な知識を習得する。
2. 本授業で学習したことを自身や家族の健康づくりに役立てる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スライドを用いた講義を中心に各テーマの学習を進める。毎回の授業終了時に、テーマに関する自身の考えや意見・質問などをまとめた小レポートの提出を求める。授業の初めに、前回の授業で提出された小レポートからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行う。適宜、グループディスカッションを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	本授業の内容や進め方についてのオリエンテーション
2	日本の健康問題	日本の医療や健康に関わる背景、生活習慣病
3	生活習慣病の概要	生活習慣病の予防、日本で行われているヘルスプロモーション
4	肥満とメタボリックシンドローム	肥満の定義とメタボリックシンドロームの概論
5	高血圧	高血圧の診断、要因と予防法
6	糖尿病と脂質異常症	糖尿病、脂質異常症の診断、要因と予防法
7	骨や歯の疾患	骨粗鬆症や歯周病などの要因と予防法
8	メンタルヘルス	ストレスの捉え方、鬱と対処法
9	健康づくりのための食事	エネルギー収支、健康づくりに必要な食事方法
10	健康づくりのための運動	健康づくりに必要な運動方法、身体活動基準
11	健康づくりのための休養	健康づくりに必要な休養方法、睡眠、ストレスへの対処
12	健康づくりのための社会参加	健康づくりに必要な人との関わり
13	生涯にわたる健康づくり	年代別の健康問題、予防法
14	まとめ	ディスカッション、授業全体の総括

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

本授業では教科書を使用しない。授業に必要なスライドは適宜、配布もしくは配信する。

【参考書】

授業の中で参考になる図書等は紹介するが、購入が必須ではない。

【成績評価の方法と基準】

毎回の授業終了時に小レポートの提出を求める。小レポートの内容と提出状況で成績評価の5割、最終レポートの内容と提出状況が残りの5割とする。小レポートおよび最終レポートの内容は、知識の習得状況と日常生活への応用について考えられているかを鑑みて評価する。

【学生の意見等からの気づき】

授業やディスカッションを通して自身や家族の健康について見直すきっかけとなった、という授業改善アンケート結果から、学生の生活に関わるトピックを授業時間内に取り上げ、課題学習に使用する予定である。

【Outline (in English)】

【Course Outlin】 The main theme of this course is "lifelong health promotion". By taking this course, students will be able to understand the basic issues related to diet, exercise, rest, and social participation necessary for healthy longevity.

【Learning Objectives】 By the end of this course, students should be able to: 1. Develop an interest in the maintenance and promotion of health and acquire basic knowledge about health promotion. 2. To be able to use what they have learned in this class to improve the health of themselves and their families.

【Learning activities outside of classroom】 Students are expected to follow the lecturer's instructions regarding assignments to be done after class and preparation for the next class. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours each.

【Grading Criteria/Policy】 In this course, students will be asked to submit a short report at the end of each class. The content and submission status of the small report will account for 50% of the grade, and the content and submission status of the final report will account for the remaining 50%. The content of the short report and the final report will be evaluated in view of knowledge acquisition and consideration of its application to daily life.

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

健康の科学 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

人生100年時代を迎え人々の生き方が多様化する中で、身体的な健康だけでなく、生きがいや人間の尊厳をも含めたホリスティック・ヘルス（包括的健康）の視点が重要になってきている。本講義では、バイオ・サイコ・ソーシャル・ヘルスに関わる様々なトピックスから個人の健康や社会の健康について考え、ウェルネスの確立に向けて自ら実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・健康の概念や健康観の変遷から、健康とは何かについて理解を深める。
- ・包括的健康の視点から、自己の生活の質や地域の課題について考える。
- ・個人及び社会におけるウェルネスの確立に向けて主体的に行動できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第2回	健康観・健康概念の多様化	世界における健康観・健康概念がどのように多様化してきたかについて理解を深める。
第3回	日本における健康観の変遷	日本における健康観・健康概念の変遷について、時代背景を踏まえて理解を深める。
第4回	ホリスティック・ヘルスとは	ホリスティック・ヘルスの視点から現代人の心身の健康について考える。
第5回	心身の健康とストレス特性	自己の身体的・精神的・社会的ストレス度を測り、ストレス特性を知る。
第6回	ストレスマネジメント	自己のストレス特性に応じたストレス対処、セルフマネジメントについて学ぶ。
第7回	ストレスマネジメント実践編	日常生活で実践しやすいストレスマネジメントの方法を学ぶ。

第8回	日本人の生活と健康	我が国の健康政策から日本人の生活と健康課題について理解を深める。
第9回	0次予防とは	0次予防、健康のための環境づくりの考え方について学ぶ。
第10回	健康のための環境づくり	健康のための環境づくりの先進事例から地域の課題について考える。
第11回	ライフサイクルと健康	ライフサイクル、各ライフステージにおける健康課題について理解を深める。
第12回	ライフスタイルと健康	ライフコース、ライフスタイルの多様化とワークライフバランスについて考える。
第13回	人生100年時代をどう生きるか	超高齢社会におけるウェルビーイングについて考える。
第14回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各2時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト（教科書）】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点（ワークシート、リアクションペーパー）70%
- ・期末レポート30%

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

With the 100-Year Life, a life-course has become increasingly dynamic and diversified. Regarding the quality of individual lives, not only physical health but also perspective of holistic health including "ikigai" and human dignity is becoming an important concept. Health Sciences for ways of living is based on the biopsychosocial model, which posits that biological, psychological and social well-being are interactively.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

- 1.Introduce students to the field of Health Sciences of body, mind, and spirit
- 2.Provide a basic understanding of the theory and specific issues of biopsychosocial health
- 3.Encourage students to practice for health promotion in their life and community

【Learning activities outside of classroom】

- 1.Get information on current health issues from newspapers and news
- 2.Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 70%
- ・ Year-end report 30%

HSS200LA (健康・スポーツ科学 / Health/Sports science 200)

健康の科学 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

谷本 都栄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

健康はいきいきと生きていくための資源であり、自ら健康をコントロールし、改善していくことは重要なライフスキルである。本講義では、ヘルスプロモーションの視点から、栄養・運動・休養に関わる基礎的知識、健康的な生活習慣や環境づくりについて学び、各自の生活における意識の向上、具体的な実践に結びつけていくことを目指す。

【到達目標】

- ・栄養・運動・休養に関わる基礎的知識を身に付け、自己の生活習慣を見直す。
- ・健康的なライフスタイルを意識して、学んだことを日々の生活に活かす。
- ・個人や社会のウェルビーイングについて考え、行動する機会をつくる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP3、国際文化学部：DP3、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・オリジナルテキストや各種資料を用いて、身近な題材を交え分かり易く解説する。
- ・セルフチェックや時事的な問題を取り上げ、具体的に考えられるようにする。
- ・毎回のワークシートやリアクションペーパーにより、随時フィードバックしていく。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要、授業の進め方
第2回	生活習慣・健康度チェック	チェックシートにより自己の生活習慣や健康度を確認する。
第3回	健康的なウエイトコントロール	適正体重やボディイメージを知り、健康的なウエイトコントロールについて学ぶ。
第4回	エネルギー必要量と摂取量	エネルギー必要量と摂取量を算出してエネルギー収支を確認する。
第5回	食生活のセルフチェック	食事バランスガイドにより食生活を振り返り、改善点を意識する。
第6回	生活習慣病の予防	メタボリックシンドローム、生活習慣病とその予防について学ぶ。
第7回	食と健康	スポーツ栄養、食の安全やサプリメント等のトピックから、食と健康について考える。

第8回	運動・スポーツの意義と役割	現代社会における運動・スポーツの重要性について理解を深める。
第9回	運動・スポーツによるトレーニング効果	人間の身体の特徴、運動・スポーツによるトレーニング効果について学ぶ。
第10回	適切な運動量と運動内容	適切な運動量と運動内容を知り、運動習慣の改善点を意識する。
第11回	生体リズムと健康	生体リズムと健康の関係について理解を深める。
第12回	日本人の生活と健康	経済格差と健康、企業の健康経営など時事的なトピックから、日本人の生活と健康について考える。
第13回	ウェルエイジング	加齢による心身の変化を知り、老いをどう生きるかについて考える。
第14回	まとめ	全体の振り返りと総括

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・本授業の準備・復習時間は、関連する記事や文献を読む、学んだことを実践する等、各2時間を標準とする。
- ・レポート課題は、複数の文献を読み込み、授業で学んだ知識も含めて総合的に論じるための準備が必要である。

【テキスト (教科書)】

- ・毎回オリジナルプリントを使用する。

【参考書】

- ・適宜テーマに関連する文献等を紹介する。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点 (ワークシート、リアクションペーパー) 70%
- ・期末レポート 30%

【学生の意見等からの気づき】

- ・各種資料を用いるなどして具体的に把握できるようにする。
- ・ワークシートにより各自が考えながら取り組めるようにする。
- ・リアクションペーパーを活用し、インタラクティブな授業になるよう工夫する。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Health promotion is the process of enabling people to increase control over, and to improve, their health. It moves beyond a focus on individual behaviour towards a wide range of social and environmental interventions. (WHO) To maintain a healthy body and mind is an essential life skill improving a quality of life. Developing healthy habits are needed not only to keep your life long but enhance your happiness and vitality.

【Learning Objectives】

The program has the following objectives.

1. Provide students the foundational knowledge and skills required for healthy lifestyle
2. Encourage students to practice for health promotion in their life

【Learning activities outside of classroom】

1. Get information on current health issues from newspapers and news
2. Read books related to what you learned in class

【Grading Criteria /Policy】

- ・ Normal points (worksheets, reaction paper) 70%
- ・ Year-end report 30

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SS1) I

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 1	基本3時制
第3回	Chapter 2	進行形
第4回	Chapter 3	完了形
第5回	Chapter 4	受動態
第6回	Chapter 5	使役
第7回	Chapter 6	5文型
第8回	Chapter 7	文の種類
第9回	Chapter 8	不定詞
第10回	Chapter 9	動名詞
第11回	Chapter 10	分詞
第12回	Chapter 11	句と節
第13回	Chapter 12	前置詞
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習をして授業に参加すること。

適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) 石井隆之他著、成美堂、2090円

【参考書】

英和辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 80%

授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 20%
遅刻は厳禁とする。

また、小テストでの不正も厳禁である。

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

オンライン授業で使用するPCもしくはタブレット端末

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (80%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (20%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SS1) II

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明
第2回	Chapter 13	接続詞
第3回	Chapter 14	話法
第4回	Chapter 15	関係代名詞
第5回	Chapter 16	関係副詞
第6回	Chapter 17	助動詞
第7回	Chapter 18	仮定法
第8回	Chapter 19	冠詞と名詞
第9回	Chapter 20	代名詞
第10回	Chapter 21	形容詞と副詞
第11回	Chapter 22	比較
第12回	Chapter 23	否定
第13回	Chapter 24	特殊構文
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習をして授業に参加すること。

適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) 石井隆之他著、成美堂、2090円

【参考書】

英和辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 80%

授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 20%
遅刻は厳禁とする。

また、小テストでの不正も厳禁である。

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

オンライン授業で使用するPCもしくはタブレット端末

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (80%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (20%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SS1) I

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 1	基本3時制
第3回	Chapter 2	進行形
第4回	Chapter 3	完了形
第5回	Chapter 4	受動態
第6回	Chapter 5	使役
第7回	Chapter 6	5文型
第8回	Chapter 7	文の種類
第9回	Chapter 8	不定詞
第10回	Chapter 9	動名詞
第11回	Chapter 10	分詞
第12回	Chapter 11	句と節
第13回	Chapter 12	前置詞
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習をして授業に参加すること。

適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) 石井隆之他著、成美堂、2090円

【参考書】

英和辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 80%

授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 20%
遅刻は厳禁とする。

また、小テストでの不正も厳禁である。

欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

オンライン授業で使用するPCもしくはタブレット端末

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (80%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (20%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SS1) II

2017年度以降入学者

大 概 諒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英文法の基本を学ぶことを中心とし、基礎的なリーディングやリスニングも行いながら、総合的な英語力の向上を目指す。

【到達目標】

1. テキストの英文法を学び、関連する練習問題を解くことにより、文法力を高めることを目指す。
2. テキストの英文を読解し、練習問題を解くことにより、英文の読解力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの問題を解くことを通して、語彙力を高めることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。文法のポイントを確認後、練習問題を解く。適宜小テストを実施するので、復習をしっかりとすることが望まれる。テキストで扱われた文法事項を用いて簡単な英作文を作成する課題も適宜実施する。課題の提出やフィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明
第2回	Chapter 13	接続詞
第3回	Chapter 14	話法
第4回	Chapter 15	関係代名詞
第5回	Chapter 16	関係副詞
第6回	Chapter 17	助動詞
第7回	Chapter 18	仮定法
第8回	Chapter 19	冠詞と名詞
第9回	Chapter 20	代名詞
第10回	Chapter 21	形容詞と副詞
第11回	Chapter 22	比較
第12回	Chapter 23	否定
第13回	Chapter 24	特殊構文
第14回	学期末試験	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習をして授業に参加すること。
適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Access to Simple English (『英文法基礎力マスター』) 石井隆之他著、成美堂、2090円

【参考書】

英和辞書（電子辞書でも紙媒体でも可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験 80 %
授業態度・授業内に課した課題や小テストを含む平常点 20 %
遅刻は厳禁とする。
また、小テストでの不正も厳禁である。
欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

受講者の理解度に即した授業運営を心がけ、丁寧に解説します。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム
オンライン授業で使用するPCもしくはタブレット端末

【その他の重要事項】

授業に関する連絡は、学習支援システムを通じておこないます。適宜チェックするようにしてください。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is learning the grammar point, reading the sentence, explaining the sentence, and answering some questions. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Improve grammatical skill
2. Improve reading skill
3. Improve listening skill
4. Increase vocabulary.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (80%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (20%).

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) I

2017年度以降入学者

鈴木 眞奈美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は5つあります。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行う練習、3) 英語で自分の考えを表現する練習、4) 統合的な英語学習、5) 英語学習を通して自らの人生を振り返り、将来について考察すること。

【到達目標】

この授業では、以下の目標到達を目指します。1) 基本的英語文法の習得、2) 英語で日常会話を行うこと、3) 英語で話したり、書いたりして自分の考えを表現できること、4) 英語のスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを統合的に学習すること、5) 英語学習を通して自らの人生を振り返り将来について考察すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業では、身近な題材を用いて基本的英語文法を学習しながら、英語で表現(スピーキング・ライティング)する練習を行います。このためペアワークやグループワークを通じて共同学習を行います。授業は日本語で行いますが、徐々に英語でコミュニケーションする機会を増やしていきますので、積極的な授業の参加が求められます。授業ではより良い学習環境の構築・楽しく英語を学習することを目指します。また課題へのフィードバックは授業内、あるいは各個人の提出課題にフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の紹介 担当教員の紹介 自己紹介の準備
2	スピーキング：自己紹介 ライティング・スピーキング：今学期の目標設定	英語で自己紹介をします。 今学期の目標を英語で設定し、発表します。
3	品詞について (1)	英語の品詞とくに名詞、動詞、形容詞、副詞について学習します。
4	品詞について (2)、5 W 1 H	品詞の復習 疑問詞を使った疑問文
5	文型について (第1、2文型)	第1文型、第2文型の学習 (be, become, feelを用いた文の学習)
6	プレゼンテーション準備	効果的なプレゼンテーションに関して学習します。 プレゼンテーションの準備をします。
7	プレゼンテーション (1)	プレゼンテーションをします。
8	プレゼンテーション (2)	プレゼンテーションをします。

9	プレゼンテーション (3)	プレゼンテーションをします。
10	プレゼンテーション (4)	プレゼンテーションをします。
11	プレゼンテーション (5)	プレゼンテーションをします。
12	文型について (第3文型・第4文型)	第1文型、第2文型の復習 第3文型、第4文型の学習 (give, teach, tell, send, show, buyを用いた文の学習)
13	文型について (第5文型)	第1～第4文型の復習 第5文型の学習 (call, name, makeを用いた文の学習)
14	全体の復習 リフレクション	今学期の復習をします。 今学期の学習を振り返り、夏休期中、来学期の目標を設定します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業外では以下の学習が求められます。

- 1) 課題を行い、提出期限に提出すること
 - 2) 英語番組を定期的に視聴すること
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

適宜資料を配布します。

【参考書】

英和辞典、和英辞典

【成績評価の方法と基準】

平常点 (20%)、課題 (10%)、プレゼンテーション (30%)、期末テスト (40%)

*各学期欠席4回以上の場合は、原則として単位修得は認められません。またプレゼンテーションを行わなかった場合、定期試験を受けなかった場合も単位修得は認められません。

【学生の意見等からの気づき】

適宜みなさんの御希望を伺いながら授業を進めていきたいと思えます。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii, Zoom, WORD, PowerPointを使用します。

【その他の重要事項】

- 1) 積極的に授業に参加することが求められます。
- 2) マナーを守り、協力して授業に参加することが求められます。
- 3) 課題の提出期限を遵守することが求められます。
- 4) 授業に欠席する場合は、担当教員に必ず連絡することが必要です。
- 5) 受講希望者は、必ず最初のオンラインの授業に参加して下さい。

【Outline (in English)】

[Course outline] You will learn English to achieve these five goals: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to learn English holistically and 5) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning Objectives] You will try to achieve these five goals in this English class: 1) to acquire basic English grammar; 2) to have daily conversation in English; 3) to express your thoughts through speaking and writing in English; 4) to learn English holistically and 5) to reflect on your life and plan for your future career through learning English.

[Learning activities outside of classroom] You are expected: 1) to do assignments, submit them, and meet the deadline; 2) to watch or listen to an English program regularly/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria/Policy] class participation (20%), assignments (10%), presentation (30%), and final examination (40%)
*If you have four absences per semester without permission, do not make a presentation, or do not take a term examination, you cannot receive a credit for this course.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SS1) II

2017年度以降入学者

小川 真也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

テキストの英文を読み、練習問題を解くことで、英語の語彙力、読解力、表現力を身につけ、学習した語彙・文法を活用して少し長めの英語を書く能力を身につける。

【到達目標】

受講生は次の項目を身につけることを目標とする。

- ①基本的な英語の語彙・文法を身につける。
- ②平易な英文を読む能力を身につける。
- ③上記の語彙・文法を用いて、英語で表現する能力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1回の授業で1つのunitを扱う。受講生は最初にリーディング・パートを訳読し、単語・熟語・文法のチェックし、文法・語彙を身につけ、英文を読む能力を身につける。その後、ライティングの練習問題を解答し、英語で表現する能力を身につける。unitごとに小テストを実施する。教科書の練習問題のほかに英作文の課題を実施する。フィードバックとして教員が課題を添削して返却する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の実施方法の説明、必要があれば選抜
2	Unit 1	Orange Clothing 【動詞の用法】 シチリア産オレンジの意外な活用法
3	Unit 2	A Reasonable Dream... 【文の主語】 パラリンピックの誕生
4	Unit 3	Japan's Popular Wave 【時制】 世界の北斎、街角に現る
5	Unit 4	Color Matters 【形容詞・副詞】 「いいね！」の親指が表すもの
6	Unit 5	Business, Not Bullets 【名詞】 アフガン駐留米兵のある思いつき
7	Unit 6	Spices for Life! 【冠詞・数量詞】 カレーを食べて、人生にスパイスを!
8	Unit 7	Plastic Planet 【分詞】 バリ島の姉妹が地球を救う
9	Unit 8	London Coffee and Lazy Men 【関係詞】 “コーヒー中毒”は怠け者を産む?
10	Unit 9	Jacque's Lung 【比較】 海洋探検家ジャック・クストーの夢

11	Unit 10	Disease vs. Hunger 【助動詞】 マラリアとの闘いは終わらない
12	Unit 11	May We Have a Catalog, Please? 【仮定法】 あなたの赤ちゃん選んでみませんか
13	Unit 12	Bright Little Lights 【接続詞】 メキシコの小さな村を照らす神秘
14	期末テスト	まとめと期末テスト、解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。1回の授業で1つのunitを扱います。知らない単語・熟語等はあらかじめ辞書を用いて調べて、授業に参加してください。unit終了翌週には小テストを実施しますので、授業後は復習をしてください。

【テキスト (教科書)】

Writing Key: English Grammar and Usage for Better Writing (北尾泰幸・Anthony Allan 著、金星堂、2019年)

【参考書】

英和辞書、和英辞書

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100満点とし、60点以上が合格となる。期末テスト50%、小テスト30%、授業での発表10%、課題10%欠席が4回以上の場合、原則として単位習得を認めない。遅刻は2回で欠席1回に換算する。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】

大会等で欠席する場合、必ず所定の用紙を提出してください。提出がない場合、欠席となります。当該授業は履修人数が設定されています。人数が超過した場合、選抜になりますので、初回授業に出席してください。大会等で出席できない場合、予め連絡をお願いします。

【Outline (in English)】

One of the main objectives in this course is improvement of reading skill and growth of students' vocabulary by reading English articles. The other objective is development of writing skill in English by translating Japanese sentences into English.

This class has three learning objectives.

First, students are expected to acquire the basic knowledge of English grammar, words and phrases which are necessary to read English.

Second, students are expected to acquire the ability to understand middle-length English articles by themselves.

Third, students are expected to acquire the basic faculty to write in English by the knowledge above.

Students will work on one unit in one class hour. First, they will read an article and confirm what they have and haven't understood. Next, students will answer the translation questions to develop their English expression. After finishing a unit, students will take a quiz. Besides the textbook, students will write a short essay, which will be returned after the instructor corrects.

The final evaluating score between 60% and 100% will be awarded. Percentages of evaluation are Presentation (Reading and Translating) 10%, Quizzes 30%, Final exam 50%, and Writing 10%. Credits will not be given to those who have missed 4 class hours or its equivalent in being late. When being late for thirty minutes is considered as one absence. Being late two times will be counted as one absence.

As for learning activities outside of classroom, students have to prepare and review for at least one hour. Students have to read articles and consult dictionaries about unknown words and phrases before class. After finishing a unit, students have to reread the article and review what you didn't understand for quizzes.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SS1) I

2017年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、英語の基礎力に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力を身につけ、社会で使用できる実践力を身につけることを目的としています。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

- (1) 基礎文法力を身につける
- (2) 基礎読解力を身につける
- (3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。ペアワーク中心に進めます。英語が苦手な学生が、英語をまず好きになってもらうように双方向の楽しい授業を心がけます。授業内での課題、発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・自己紹介ゲーム	授業内容、授業の進め方、成績のつけ方、出欠について説明する。自己紹介ゲームをする。
2	Unit 1 ① Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 日常生活で使用される英語表現を身につける
3	Unit 1 ② Pleased to Meet You! At a party	Parts of Speech 通訳演習・発表
4	Unit 2 ① By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 日常生活で使用される英語表現を身につける
5	Unit 2 ② By Air or Surface Mail?	The Constituent Parts of Sentences 通訳演習・発表
6	Unit 3 ① What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 日常会話で使用される英語表現を身につける。
7	Unit 3 ② What's the Trouble?	Sentence Patterns ① 通訳演習・発表
8	Unit 4 ① Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 日常生活で使用される英語表現を身につける
9	Unit 4 ② Why? Tell Me the Reason.	Sentence Patterns ② 通訳演習・発表
10	Unit 5 ① We're Sorry for the Inconvenience	Tense ① 日常生活で使用される英語表現を身につける

11	Unit 5 ② We're Sorry for the Inconvenience	Tense ② 通訳演習・発表
12	Unit 6 ① I haven't had an Opportunity	Progressive Form/Perfect Tense ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
13	Unit 6 ② I haven't had an Opportunity	Progressive Form/Perfect Tense ② 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CDを聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト (教科書)】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

履修者に応じて、授業内で必要な場合は、参考書を指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50%

平常点：50% (授業への参加度、態度、発表、小テスト)

評価の基準

- (1) 基礎文法力、語彙力が身につけているか
 - (2) リスニング力が身につけているか
 - (3) 読解力が身につけているか
- 欠席4回以上で、単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。また、英語が苦手な学生に対して、楽しい授業を心掛ける。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basic English

- (1) Acquire basic grammar skills
- (2) Acquire basic reading comprehension
- (3) Acquire listening skills and daily English conversation Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50%(Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

- (1) Understanding the contents
- (2) Acquire the daily English Conversation
- (3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe100LA (英語 / English language education 100)

入門英語(SSI) II

2017年度以降入学者

鈴木 理枝

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制 (48)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に続き、この授業では、基礎的な英語に自信のない学生を対象にしています。基礎文法力、語彙力、リスニング力を身につけ、社会で使用できる実践力を身につけます。発表中心の授業になります。

【到達目標】

総合的な英語基礎力を身につける。

- (1) 基礎文法力を身につける
- (2) 基礎読解力を身につける
- (3) リスニング力、日常会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形式は、テキストを中心に演習授業になります。各学生は予習をして授業に臨むことを原則とします。文法の解説、語彙力、リスニング力向上のための訓練を行い、実践力を身につけていきます。発表後、毎回アドバイスする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション・Unit 7 ① Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
2	Unit 7 ② Sightseeing in Kamakura	Passive Voice/Active Voice ② 通訳演習・発表
3	Unit 8 ① You should ask Koji	Auxiliary Verbs ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
4	Unit 8 ② You should ask Koji	Auxiliary Verbs ② 通訳演習・発表
5	Unit 9 ① Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
6	Unit 9 ② Are you busy tomorrow morning?	Infinitives ② 通訳演習・発表
7	Unit 10 ① I'd like to check in.	Participles ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
8	Unit 10 ② I'd like to check in.	Participles ② 通訳演習・発表
9	Unit 11 ① Have you tried looking online?	Gerunds ① 日常生活で使用される英語表現を身につける

10	Unit 11 ② Have you tried looking on line?	Gerunds ② 通訳演習・発表
11	Unit 12 ① I'd like a smaller one	Comparatives ① 日常生活で使用される英語表現を身につける
12	Unit 13 ② Are you ready to order?	Relative Pronouns 日常生活で使用される英語表現を身につける
13	Unit 14 Walk eight blocks, and you'll see it on your right	Relative Adverbs 通訳演習・発表
14	期末試験	まとめ・期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

準備学習：分からない語彙、訳があれば辞書を引き予習しておくこと。CDを聞き、発音を確認しておくこと。練習問題を予習しておくこと。

復習：授業内で習得した内容について、復習して下さい。

【テキスト (教科書)】

『Building English Essentials』「伝えるための英語力」Toshio Kimura, Rie Suzuki, Yoshie Isobe, Rie Owaku, Reika Kokufukata, 南雲堂、2017, 980円+税、ISBN978-4-523-17836-1

【参考書】

学生のレベルや状況を鑑みて、授業内で指定する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験：50%

平常点：50% (授業への参加度、態度、発表、小テスト)

評価の基準

- (1) 基礎文法力、語彙力が身につけているか
 - (2) リスニング力が身につけているか
 - (3) 読解力が身につけているか
- 欠席4回以上で単位取得不可。

【学生の意見等からの気づき】

発表中心の双方向の授業に対して、学生からの高評価をもらい、今後も英語力と同時に積極性を身につける授業を展開していく。

【Outline (in English)】

This class is for students who are not confident in their basic English proficiency. Acquire basic grammar, vocabulary, and listening skills, and acquire practical skills that can be used in society.

Goal: Acquire comprehensive basis English

- (1) Acquire basic grammar skills
- (2) Acquire basic reading comprehension
- (3) Acquire listening skills and daily conversation skills

Preparatory learning

For vocabulary and translations that you do not understand, look up the dictionary and prepare. Listen to the CD and check the pronunciation. Do text exercises.

Review

Review that what you learned in class.

Grading Criteria/Policy

Final exam: 50%

Normal point: 50% (Participation in class, attitude, presentation)

Grade evaluation criteria

- (1) Understanding the contents
- (2) Acquire the daily English Conversation
- (3) Acquire listening skills and interpretation

Credits can not be earned if absent 4 times or more.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication. The four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Class orientation/self-introductions/news and views	Spring Break catch-up/News Headlines/Discussion
Week 2	Conversation Strategies	Follow-up questions
Week 3	Dictogloss	Travel/Culture
Week 4	News Article	Transparent Toilets in Tokyo
Week 5	Video Report	Something New for 30 Days
Week 6	News and Views	News Headlines Presentations
Week 7	Mid-term Presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Probability
Week 9	Dictogloss	Clean Plate Campaign
Week 10	News Article	Reversal of Aging Process
Week 11	Video Report	How Much Sleep Do We Need
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Activities to review previous material
Week 14	Final Project/Presentation presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

There will be no textbook for this class. I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None will be used.

【成績評価の方法と基準】

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (20%)

Final presentation (20%)

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

【None】

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy, and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research, and actively participate.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs II

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break	Summer break
	Discussions/News and Views	catch-up/News Headlines/Discussion
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors
Week 3	Dictogloss	Stress Factor/Unconscious Bias
Week 4	News Article	Eco-Anxiety/Global Warming
Week 5	Video Report	Starbucks Diversity
Week 6	News and Views	News Headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Social Media
Week 10	Video Report	Social Media Influencers
Week 11	Video Report	Social Media Influencers
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final Project/presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None required.

【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (15%)

Final presentation (25%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本（人・移動・日本）：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information to a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in modern world and particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 3	Economic migrants.	People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students own research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Homework: Reading and reading diary.

Week 4	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from textbook. Discussion: write down some ideas about travel in the world today and how this has connected Japan and the rest of the world. Share your ideas in pairs. Homework: read articles on issues related to the ease of travel for some and the difficulty in traveling for those such as refugees.	Week 10	Writing Essays Continued.	Making your essays into a presentation. You will write your essays and then turn them into a presentation. Essays hand written and submitted. Homework: Reading and reading diary.
Week 5	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading and reading diary.	Week 11	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.
Week 6	Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. Italian man’s death in Japanese immigration custody. (Kurdish refugees from Turkey) For refugees: travel can provide Freedom and Safety, but at a cost. Look at videos and News articles about Kurdish and other refugees in Japan. Write down some notes regarding this situation, and share them in discussions with 3 or 4 students. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading and reading diary.
Week 7	Multinational Corporations and their International Staff	Multinational Corporations and their International Staff Unit 3 Love Sells Cars Tiziana Alamprese (Italian), Marketing Director, Fiat Chrysler Japan Homework: Reading and reading diary.	Week 13	Presentations on Essay Topic	Present the content of your essays as a 10 slide by 20 second (pechakucha) presentation. Homework: Prepare a Presentation on a place you know well / Reading and reading diary. Remember bring your reading diary for the final class.
Week 8	Unit 3 Continued: Corporate responsibility?	Corporate Greed: Fiat Chrysler corruption scandal. Discuss the issue of corporate social responsibility and making a profit from the text. Read additional material provided and write down 2 or 3 sentences reflecting on these readings. Homework: Reading and reading diary.	Week 14	Final Presentations and Reflections	Student presentations continued. Students to bring their reading diaries to class and discuss the books and news articles they have been reading during the semester. Feedback from students regarding the unit.
Week 9	Essay Writing/ Research Activity	Thinking about issues in the world and Japan today. Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants come to Japan (or why do Japanese move abroad?) Homework: Reading and reading diary.	<p>【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.</p> <p>【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,</p> <p>【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.</p>		

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, do reading homework, prepare one presentation, and complete writing assignments.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 20%
2. Essay Writing Work Sheets and in-Class Essay 30 %
3. Essay Topic Presentation 30%
4. -Choosing a Reading and Completing a Book or books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading diary on all reading during the semester. 20%

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本（人・移動・日本）：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Essays from last semester will be returned. Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Munga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension /Your Opinions. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 4	Translation of ideas.	Presentations and discussion What works of fiction or art have been translated or adapted from Japanese content and become famous abroad? Share the information that you have researched in groups of 4 and take time discussing them. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.

Lesson 5	Translation task	The students to translate some sentences and the others to comment whether they agree on the Japanese translation. Check each other's translations in groups of 4. Homework: Reading and reading diary. Upper class or corporate migrants, global elites are able to travel freely around the world. Mitsui Japanese corporations in the world. Environmental and social impacts? Discuss how corporations in a globalized world impact different regions of the world. Homework: Challenge to find two articles. one that is positive one that is critical about the same corporation and the impact it has on the environment.	Lesson 13	Student Presentations on Essays	Student Presentations on Essay Topics
Lesson 6	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.	Lesson 14	Final lesson reflection on the term.	Student presentations continued. Students to bring their reading diaries to class and discuss the books and news articles they have been reading during the semester. Feedback from students regarding the unit.
Lesson 7	Unit 6 Think global act local.	Globalization has allowed for greater movement of goods and services, communication than ever before. It has also enabled more movement of people than ever, BUT there has also been an increase in the restrictions on the movement of migrants and refugees. Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 8	Think Global Act Local: Global Conflict and You	How does global conflict affect you where you live right now? What can you do regarding global conflicts such as the war between Ukraine/ Russia or the Israel/Palestine conflict?			
Lesson 9	Essay Writing/ Research Activity	Thinking about issues in the world and Japan today. Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants come to Japan (or why do Japanese move abroad?) Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 10	Writing Essays Continued.	Making your essays into a presentation. You will write your essays and then turn them into a presentation. Essays hand written and submitted. Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 11	Architecture and Migrant Workers	Unit 8: Build a Happy Life! from Text book pages 54 - 57			
Lesson 12	Build a Happy Life continued.	Life of an European Architect in Japan			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations.

Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals

Alice Gordenker & John Rucynski

Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)

Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin

*Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, do reading homework, prepare one presentation, and complete writing assignments.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 20%
2. Essay Writing Work Sheets and in-Class Essay 30 %
3. Essay Topic Presentation 30%
4. -Choosing a Reading and Completing a Book or books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading diary on all reading during the semester. 20%

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で考える社会と文化の動向

岩坪 友子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次に習得した英語4技能の総合的な向上を目的として、社会・文化の動向を考察する英文とそれに関連したリスニングも含む各種練習問題に取り組み、学期末にはプレゼンテーションを行います。批判的思考力を鍛えながら、幅広い問題意識・理解力・表現力・継続的学習習慣を身につけていくことを目指します。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や英語で要約・コメントできる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3)教材に関連したトピックについて、情報収集・多面的考察を行い、自分の知識や意見を論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる
- (4)自分の知識や意見を、英語で聞き手に伝わりやすく表現し、他の人の説明や意見に質問やコメントができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では教科書に沿って（語彙・リスニングを含む）各種問題・英文の内容確認・意見交換や音読練習を行います。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体および各パラグラフの構成・要旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。また、英文を論理的な文章のモデルとして意識することで、使う目線から便利な語彙や構文などを参考にして論理的な表現方法を身につけることを目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して、リスニング力と読解力の向上に役立てるとともに、スピーキングや音読のモデルとして音読練習に活用し、内容を理解した上での自然で明瞭な発話を目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約・説明・意見交換や音読練習を行います。予習・復習や理解・考察などについて、口頭や小テスト、期末テスト等で確認します。質問や小テスト等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。必要に応じて補助教材を活用することがあります。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 1 The Arts: Multisensory Art 導入	授業の概要説明。ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
2	Multisensory Art 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
3	Unit 2 Identity: Personality and Inner Growth 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換

4	Personality and Inner Growth 理解 と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
5	Unit 3 Nature and Humanity: The Subterranean World 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
6	The Subterranean World 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
7	Unit 4 Achievement: Elements of Genius 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
8	Elements of Genius 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
9	Unit 5 Careers: Sports Medicine 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
10	Sports Medicine 理 解と考察。プレゼン テーション・リハー サル導入	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
11	Unit 6 Culture: Cultural Awareness 導入。プ レゼンテーション・ リハーサル導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
12	Cultural Awareness 理解と考 察。プレゼンテー ション・リハーサル 導入	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
13	期末テスト。プレゼ ンテーション・リ ハーサルと春学期の 復習	春学期末テスト。プレゼンテーションの準備・練習・アドバイス。春学期の総復習
14	プレゼンテーション。 春学期のまとめ	発表・質疑応答・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

※予習→授業→復習を基本のセットとし、準備学習して積極的に授業に臨み、復習で理解を深め定着させ、苦手克服・実力向上を目指すとともに、発展的な自習の意欲・習慣の構築を目指します

①予習：(1)テキストの問題を解き、根拠も準備(2)文章の主旨を把握。未知の語句は文脈から類推し、続いて辞書で確認(3)文章構成を意識して、パラグラフごとの要約(1~2文程度)を日本語と英語で練習(4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習
②復習：(1)テキストを再読。復習用資料を活用し重要表現は書いたり声に出して定着(2)ダウンロード音声(テキストを見ながら/見ないで)リピート/シャドーイング(3)テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う/書く(4)主題についての自分の意見を言う/書く(5)書籍やウェブサイト等で関連情報を収集し視野を広げる

③プレゼンテーション準備：プレゼン用資料を参考に少しずつ準備、原稿を指示に沿って期限内に提出、リハーサル・推敲する

※指示されたリスニング教材：(1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く(2)スクリプトを見て細部の確認しながら繰り返し聞く(3)音読練習

【テキスト（教科書）】

Andrew E. Bennett, *Reading Fusion 3* 南雲堂、2,640円(本体2,400円+税) ※必要に応じてその他の教材や資料を活用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点（毎回の授業への取り組み・課題・小テストなど）50%、期末テスト25%、プレゼンテーション25%の割合で、上記到達目標(1)(2)(3)(4)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックで英語力を鍛え楽しかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください

【その他の重要事項】

授業の連絡事項・課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【Outline (in English)】

The aim of this course is to further develop students' English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2, integrating the four skills of reading, writing, speaking and listening. The course is designed to help students to read essays on a wide range of issues and listen to short talks and conversations on a variety of related topics, thinking critically about the important issues in the world today and developing the ability to effectively express and exchange their own thoughts and opinions. Students will give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

The goals are to develop the abilities to read, summarize and comment on the essays, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's thoughts and opinions on various topics in speech and writing. Completing assignments (preparation for the class, including reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (50%), final examination (25%), final presentation (25%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語で考える社会と文化の動向

岩坪 友子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月3/Mon.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次および春学期に習得した英語4技能の総合的な向上を目的として、社会・文化の動向を考察する英文とそれに関連したリスニングも含む各種練習問題に取り組み、学期末にはプレゼンテーションを行います。批判的思考力を鍛えながら、幅広い問題意識・理解力・表現力・継続的学習習慣を身につけていくことを目指します。

【到達目標】

- (1)教材レベルの英語の文章について、構成・内容を理解し、日本語や英語で要約・コメントできる
- (2)教材レベルの英語の音声聞いて内容を理解できるとともに、伝わりやすいイントネーションで発音・音読できる
- (3)教材に関連したトピックについて、情報収集・多面的考察を行い、自分の知識や意見を論理的なパラグラフ構成の英語で書くことができる
- (4)自分の知識や意見を、英語で聞き手に伝わりやすく表現し、他の人の説明や意見に質問やコメントができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

予習を前提として、授業では教科書に沿って(語彙・リスニングを含む)各種問題・英文の内容確認・意見交換や音読練習を行います。リーディングでは批判的思考も意識しつつ全体および各パラグラフの構成・要旨の把握を主眼とし、必要に応じて細部の確認も行います。また、英文を論理的な文章のモデルとして意識することで、使う目線から便利な語彙や構文などを参考にして論理的な表現方法を身につけることを目指します。付属音声は、単語の強勢・抑揚・間の取り方に留意して、リスニング力と読解力の向上に役立てるとともに、スピーキングや音読のモデルとして音読練習に活用し、内容を理解した上での自然で明瞭な発話を目指します。ペア・グループ・クラス全体で、日本語や英語での要約・説明・意見交換や音読練習を行います。予習・復習や理解・考察などについて、口頭や小テスト、期末テスト等で確認します。質問や小テスト等へのフィードバックやアドバイスを授業内で行います。必要に応じて補助教材を活用することがあります。学期末プレゼンテーションは指示に沿って原稿を期日までに提出し、リハーサル・推敲を経て実施します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7 Lifestyles: Living off the Grid 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
2	Living off the Grid 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
3	Unit 8 The Performing Arts: The Actor's Craft 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
4	The Actor's Craft 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題

5	Unit 9 Conservation: Eco-Packaging 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
6	Eco-packaging 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
7	Unit 10 Business Trends: Pop-up Shops 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
8	Pop-up Shops 理解と考察	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
9	Unit 11 Growing Up: Screen Time 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
10	Screen Time 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル 導入	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
11	Unit 12 Wealth and Giving: The World of the Super Rich 導入。プレゼンテーション・リハーサル 導入	ウォームアップ・語彙・大意把握・意見交換
12	The World of the Super Rich 理解と考察。プレゼンテーション・リハーサル 導入	要約・精読・意見交換。リスニングほか練習問題
13	期末テスト。プレゼンテーション・リハーサル。秋学期の復習	秋学期末テスト。プレゼンテーションの準備・練習・アドバイス。秋学期の総復習
14	プレゼンテーション。秋学期のまとめ	発表・質疑応答・意見交換・講評。学期の振り返りと今後の展望

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

※予習→授業→復習を基本のセットとし、準備学習して積極的に授業に臨み、復習で理解を深め定着させ、苦手克服・実力向上を目指すとともに、発展的な自習の意欲・習慣の構築を目指します

①予習: (1)テキストの問題を解き、根拠も準備 (2)文章の主旨を把握。未知の語句は文脈から類推し、続いて辞書で確認 (3)文章構成を意識して、パラグラフごとの要約 (1~2文程度) を日本語と英語で練習 (4)ダウンロード音声の区切り・抑揚などに留意して音読練習
②復習: (1)テキストを再読。復習用資料を活用し重要表現は書いたり声に出して定着 (2)ダウンロード音声を (テキストを見ながら/見ないで) リピート/シャドーイング (3)テキストで使われているキーワードや表現を使って内容の要約を言う/書く (4)主題についての自分の意見を言う/書く (5)書籍やウェブサイト等で関連情報を収集し視野を広げる

③プレゼンテーション準備: プレゼン用資料を参考に少しずつ準備、原稿を指示に沿って期限内に提出、リハーサル・推敲する

※指示されたリスニング教材: (1)スクリプトなしで大意の把握を目指して聞く (2)スクリプトを見て細部の確認しながら繰り返し聞く (3)音読練習

【テキスト (教科書)】

Andrew E. Bennett 著、*Reading Fusion 3* 南雲堂、2,640円 (本体2,400円+税) ※必要に応じてその他の教材や資料を使用する際は配布または指示します

【参考書】

随時授業中に紹介・指示します

【成績評価の方法と基準】

平常点 (毎回の授業への取り組み・課題・小テストなど) 50%、期末テスト 25%、プレゼンテーション 25%の割合で、上記到達目標 (1)(2)(3)(4)の達成度に照らして評価します。※欠席が3回を超過すると原則として単位取得の資格を失いますので注意してください

【学生の意見等からの気づき】

多様なトピックで英語力を鍛え楽しかったなどの声が聞かれましたので、みなさんの取り組み・成長をサポートできるよう内容・手法の充実を図りたいと思います

【学生が準備すべき機器他】

辞書を持参してください

【その他の重要事項】

授業の連絡事項や課題・資料配布などに学習支援システムを使います。各自の大学メール・アカウントとともに、こまめにチェックしてください

【Outline (in English)】

The aim of this course is to further develop students' English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2, integrating the four skills of reading, writing, speaking and listening. The course is designed to help students to read essays on a wide range of issues and listen to short talks and conversations on a variety of related topics, thinking critically about the important issues in the world today and developing the ability to effectively express and exchange their own thoughts and opinions. Students will give a short presentation, integrating skills and knowledge acquired during the course and developing their confidence in English communication.

The goals are to develop the abilities to read, summarize and comment on the essays, grasp the main points of spoken materials, read aloud effectively, and communicate one's thoughts and opinions on various topics in speech and writing. Completing assignments (preparation for the class, including reading the text, listening to a recording and answering questions) before each class meeting is essential. Students are expected to spend at least one hour per week preparing for and reviewing each class.

Grading criteria: active class participation, assignments and quizzes (50%), final examination (25%), final presentation (25%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの文化と社会：Aspects of the British Society

宇野 毅

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
- ・併せて、英語の4技能の実際的な向上

【到達目標】

- ・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に理解したとは言えないであろう。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいただけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・授業範囲を予め予習しておくこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction Chapter 1 Britain and Europe (前半)	イギリスとヨーロッパ 本文の理解と文化的背景の解説
第2回	Chapter 1 Britain and Europe (後半)	イギリスのEU離脱 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第3回	Chapter 2 The Memories of Empire (前半)	大英帝国の繁栄 本文の理解と文化的背景の解説
第4回	Chapter 2 The Memories of Empire (後半)	大英帝国の名残 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第5回	Chapter 3 Who Are the British? (前半)	イギリス人とは？ 本文の理解と文化的背景の解説
第6回	Chapter 3 Who Are the British? (後半)	スコットランドや北アイルランドの歴史的推移 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第7回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (前半)	イギリスの経営 本文の理解と文化的背景の解説
第8回	Chapter 4 British Business and the Strange Case of Doctor Death (後半)	経営の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第9回	Chapter 5 The Salaryman (前半)	イギリスのサラリーマン事情 本文の理解と文化的背景の解説

第10回	Chapter 5 The Salaryman (後半)	日英労働比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第11回	Chapter 6 The Worship of the Individual (前半)	イギリスの個人主義 本文の理解と文化的背景の解説
第12回	Chapter 6 The Worship of the Individual (後半)	個人主義の日英比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第13回	Chapter 7 The Battle for the Schools (前半)	イギリスの教育 本文の理解と文化的背景の解説
第14回	Chapter 7 The Battle for the Schools (後半)	日英教育比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。次回の範囲を必ず予習すること。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて【最低でも】2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』（金星堂）

【参考書】

授業開講時に教室で指示する

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等70点・平常点30点（計100点）で、60点以上を合格基準として評価する。
- ・原則として、欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・Course outline : Improvement of the English 4 skills
- ・Learning Objectives : Perfect understanding of English Language and culture
- ・Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students are expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one and a half hours for each class meeting.
- ・Grading Criteria /Policy : Final grade will be calculated according to the following process : term-end examination (70%), Mid-term reports (30%), and in-class contributions

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの文化と社会：Aspects of the British Society

宇野 毅

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

- ・現代英語の総合的学力向上
- ・平易な英文を読んで、背後にある文化的な事柄を的確に理解する。
- ・併せて、英語の4技能の実際的な向上

【到達目標】

- ・平易な英文で書かれたイギリス文化に関する文章を読み、併せて現代イギリス社会の理解に努める。英語が解っても、その背後にある文化の理解なくしては、本当に英語を理解したとは言えないであろう。
- ・本講義では、英語を通してその背後にある社会や文化を修得して、グローバルな異文化の世界に対応できるようになることが、究極的な到達目標といえるであろう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・受講生諸君は、必ず予習をして忘れずに辞書を持参する事。次週の学習範囲の予習が毎週の宿題である。出席は極めて重要であるが、教室にいるだけでは出席にはならないので、注意が必要である。
- ・授業範囲を予め予習しておくこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (前半)	イギリス政治 本文の理解と文化的背景の解説
第2回	Chapter 8 Is British Politics Based on Cricket? (後半)	日英政治比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第3回	Chapter 9 Changing Fashions (前半)	イギリスのファッション 本文の理解と文化的背景の解説
第4回	Chapter 9 Changing Fashions (後半)	日英ファッション比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第5回	Chapter 10 The Changing Media (前半)	イギリスのメディア 本文の理解と文化的背景の解説
第6回	Chapter 10 The Changing Media (後半)	日英メディア比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第7回	Chapter 11 The British Discover Food (前半)	イギリスの食事情 本文の理解と文化的背景の解説
第8回	Chapter 11 The British Discover Food (後半)	日英食文化比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ

第9回	Chapter 12 Cars with Personality (前半)	イギリスの車事情 本文の理解と文化的背景の解説
第10回	Chapter 12 Cars with Personality (後半)	日英車事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第11回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (前半)	イギリスのガーデニング 本文の理解と文化的背景の解説
第12回	Chapter 13 The Love Affair with Gardens (後半)	日英ガーデニング事情比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ
第13回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (前半)	イギリスの田園 本文の理解と文化的背景の解説
第14回	Chapter 14 The Battle for the Countryside (後半)	日英田園比較 本文の理解と文化的背景の解説 まとめ 試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・授業出席には、必ず予習が必須である。テキストの次回範囲を必ず予習すること。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、【最低でも】2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

The View from the Brits『生まれ変わるイギリス』（金星堂）

【参考書】

授業開講時に教室で指示する

【成績評価の方法と基準】

- ・期末試験等70点・平常点30点（計100点）で、60点以上を合格基準として評価する。
- ・原則として、欠席が4回以上の場合は、単位修得を認めない事になっている。

【学生の意見等からの気づき】

- ・真面目にきちんと努力した人が報われる。

【Outline (in English)】

- ・ Course outline : Improvement of the English 4 skills
- ・ Learning Objectives : Perfect understanding of English Language and culture
- ・ Learning activities outside of classroom : Before each class meeting, students are expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one and a half hours for each class meeting.
- ・ Grading Criteria /Policy : Final grade will be calculated according to the following process : term-end examination (70%), Mid-term reports (30%), and in-class contributions

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語文学を通して学ぶ英語圏の文化と社会

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、英語で書かれた文学作品を題材に英語圏の文化と社会について学びながら英語力を向上させます。授業では数多くの英語の文学テキストの抜粋を読み、それらを基にした映画なども視聴します。ある程度のまとまりのある小説を1回の授業内で読むには、英語の速読の力が欠かせません。本授業では、文章の内容を予測し、流れに乗って英文を読むスキルを鍛えることにより、英語の速読力の向上を目指します。また、読解だけではなく、ライティング課題やプレゼンテーション、ディスカッションを通じて英語での発信力の向上も目指します。扱う小説は子供向けのものから鋭く社会を風刺したものまで様々です。これらの作品を英語で読み、プレゼンテーションやディスカッションを通して作品が生み出された文化的背景、その価値や意義を考えることにより、異文化である英米圏の文化や社会への理解を高めながら英語力をつけることが、本授業の目的です。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ①内容を予測し、流れに乗って英文を読む速読力。
- ②クラスの仲間と協力してリスニングや要約などの難しい課題に取り組む問題解決能力。
- ③読んだ作品に対する疑問点などを英語で表現し、クラスで共有しあって様々な人の考え方に触れるコミュニケーション能力、柔軟性。
- ④英語の映画を日本語字幕と英語字幕の両方で鑑賞し、おおよその表現を理解できるリスニング力、表現力。
- ⑤英語プレゼンテーションを通じて英語で発信し、英語で質疑応答をするための基本的な英語コミュニケーション能力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。学生は英語の朗読音声の速さに合わせて英文エッセイを読み、自分の担当箇所を発表します。発表の内容は、日本語訳や解釈などです。授業内で終わらなかった課題は、授業支援システムを通じて課題として出題し、システムを通じてフィードバックを行います。本授業では、学期末の筆記試験は行いません。従って、授業内での担当箇所の発表が成績評価において大きな割合を占めることを意識し、しっかりと責任を持って授業に臨んでください。授業支援システムを通じて提出する課題もまた、成績評価において大きな割合を占めますのでしっかりと取り組んでください。プレゼンテーションでは発表者だけではなくクラス全員が参加して英語でディスカッションを行うアクティブ・ラーニングを行います。プレゼンテーションやディスカッションにおける授業貢献も大きく評価しますので、積極的に参加してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4月15日	オリエンテーション	授業の方針説明、重要事項説明
4月22日	Unit1: The Happy Prince	英文リーディング

5月13日	Unit2: Charlie and the Chocolate Factory	英文リーディング
5月20日	Unit3: Dubliners - "Eveline"	英文リーディング
5月27日	Unit4: Alice's Adventures in Wonderland	英文リーディング
6月3日	Unit5: Animal Farm	英文リーディング
6月10日	Unit6: The Loneliness of the Long-Distance Runner	英文リーディング
6月17日	プレゼンテーション	発表のグループ、テーマ決め準備
6月24日	プレゼンテーション①	学生による英語プレゼンテーション
7月1日	プレゼンテーション②	学生による英語プレゼンテーション
7月8日	プレゼンテーション③	学生による英語プレゼンテーション
7月13日 (補講日)	映画視聴	英語の映画視聴及びディスカッション
7月15日	映画視聴	英語の映画視聴及びディスカッション
7月22日	Review	春学期の学習の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前学習は、シラバス記載のテキスト学習範囲に簡単に目を通し、その日に読む小説のあらすじなどをインターネットなどで調べて把握しておいてください。リーディングの本文を全部読んでおく必要はありませんが、本文の横の語註に目を通して、本文の内容を予測するようにしてください。事後学習としては、英文ライティングの課題を授業支援システムを通じて出すことがあります。プレゼンテーションの準備は余裕を持って取り組んでください。学期末にはレポートの課題を出します。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】 CLIL Literature (CLIL英語で学ぶ文学)

【著者】 笹島茂、上杉裕子、山口裕美、掘秀暢

【出版社】 三修社

【出版年】 2023年

【参考書】

オスカー・ワイルド『幸福な王子／柘榴の家』小尾美佐訳、光文社古典新訳文庫、2017年。

ロアルド・ダール『チョコレート工場の秘密』柳瀬尚紀訳、新評論、2005年。

ジェイムズ・ジョイス『ダブリナーズ』柳瀬尚紀訳、新潮文庫、2009年。
ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』河合祥一郎訳、角川文庫、2010年。

ジョージ・オーウェル『動物農場 新訳版』山形浩生訳、ハヤカワepi文庫、2017年。

アラン・シリトー『長距離走者の孤独』丸谷才一、河野一郎訳、新潮文庫、1973年。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の内訳は以下の通りです。

授業内での発表や課題：40%

プレゼンテーション：30%

学期末レポート：30%

上記を合計して100点満点で評価し60点以上で単位取得となります。考慮すべき理由のない欠席が4回を超えると成績評価の対象外となります。

考慮すべき理由とは、①部活動の試合、②病欠です。

①②ともに、大学の発行する公欠証明、感染症り患による配慮願いの書類、または、病院の受診証明（病院の領収証、診断書等）がある場合にのみ、公欠と認めます。

上記を伴わない場合は公欠とはなりません。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。

公共交通機関の遅延証明がある場合は、考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

前年度はプレゼンテーションの準備にしっかりと時間を配分できたのが良かったので、本年度もプレゼンテーションに日程の余裕のあるスケジュールを組んでいます。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業はオンラインで行いますので、パソコン環境が必要です。基本的に授業は対面で行いますが、事情によりZoom授業に変更することもあります。その場合は、授業支援システムを通じて授業前までに連絡しますので、授業前には授業支援システムを確認してください。

また、授業にはかならず辞書を持参してください。電子辞書が望ましいですが、ない場合にのみ、スマートフォンの辞書の使用を認めます。

【その他の重要事項】

欠席の連絡をメールで送ることは、特別な場合を除いて原則禁止にします。欠席は、後日、欠席事情の公式証明の提出があった場合にのみ公欠とします。

【Outline (in English)】

Students in this class will improve 4 skills in English, learning cultures and societies of English speaking world using several pieces of English literature as material. Students read several extracts from famous works of English literature, and watch some movies based on these works. Rapid reading skills are indispensable for reading and understanding a coherent story written in English within a class period. In this course, students will read a story in rhythm with a voice reading from the audio book, foreseeing how the story will develop, which is an essential skill for rapid reading. In addition to reading, students will work on various activities to improve their ability to express their own ideas in English, such as writing assignments, presentation and discussion. Considering the backgrounds, values and importance of these literary works from English speaking world will enhance students' cross-cultural understanding as well as their English skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process; presentation (30%), term-end report (30%), and assignments and in-class contribution (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語文学を通して学ぶ英語圏の文化と社会

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、英語で書かれた文学作品を題材に英語圏の文化と社会について学びながら英語力を向上させます。授業では数多くの英語の文学テキストの抜粋を読み、それらを基にした映画なども視聴します。ある程度のまとまりのある小説を1回の授業内で読むには、英語の速読の力が欠かせません。本授業では、文章の内容を予測し、流れに乗って英文を読むスキルを鍛えることにより、英語の速読力の向上を目指します。また、読解だけではなく、ライティング課題やプレゼンテーション、ディスカッションを通じて英語での発信力の向上も目指します。扱う小説は子供向けのものから鋭く社会を風刺したものまで様々です。これらの作品を英語で読み、プレゼンテーションやディスカッションを通して作品が生み出された文化的背景、その価値や意義を考えることにより、異文化である英米圏の文化や社会への理解を高めながら英語力をつけることが、本授業の目的です。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ①内容を予測し、流れに乗って英文を読む速読力。
- ②クラスの仲間と協力してリスニングや要約などの難しい課題に取り組む問題解決能力。
- ③読んだ作品に対する疑問点などを英語で表現し、クラスで共有しあって様々な人の考え方に触れるコミュニケーション能力、柔軟性。
- ④英語の映画を日本語字幕と英語字幕の両方で鑑賞し、おおよその表現を理解できるリスニング力、表現力。
- ⑤英語プレゼンテーションを通じて英語で発信し、英語で質疑応答をするための基本的な英語コミュニケーション能力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。学生は英語の朗読音声の速さに合わせて英文エッセイを読み、自分の担当箇所を発表します。発表の内容は、日本語訳や解釈などです。授業内で終わらなかった課題は、授業支援システムを通じて課題として出題し、システムを通じてフィードバックを行います。本授業では、学期末の筆記試験は行いません。従って、授業内での担当箇所の発表が成績評価において大きな割合を占めることを意識し、しっかりと責任を持って授業に臨んでください。授業支援システムを通じて提出する課題もまた、成績評価において大きな割合を占めますのでしっかりと取り組んでください。プレゼンテーションでは発表者だけではなくクラス全員が参加して英語でディスカッションを行うアクティブ・ラーニングを行います。プレゼンテーションやディスカッションにおける授業貢献も大きく評価しますので、積極的に参加してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
9月23日	Unit7: Anne of Green Gables	英語リスニング 英文リーディング
9月30日	Unit8: Finn Family Moomintroll	英語リスニング 英文リーディング

10月7日	Unit9: Breakfast at Tiffany's	英語リスニング 英文リーディング
10月14日	Unit10: Macbeth	英語リスニング 英文リーディング
10月21日	Unit10: A Christmas Carol	英語リスニング 英文リーディング
10月28日	Unit12: The Bell Jar	英語リスニング 英文リーディング
11月11日	プレゼンテーション準備	発表のグループ、テーマ決め
11月18日	プレゼンテーション①	学生による英語プレゼンテーション
11月25日	プレゼンテーション②	学生による英語プレゼンテーション
12月2日	プレゼンテーション③	学生による英語プレゼンテーション
12月9日	映画視聴①	英語の映画視聴 及びディスカッション
12月16日	映画視聴②	英語の映画視聴 及びディスカッション
12月23日	映画視聴③	英語の映画視聴 及びディスカッション
1月20日	Review	秋学期の学習の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前学習は、シラバス記載のテキスト学習範囲に簡単に目を通し、その日に読む小説のあらすじなどをインターネットなどで調べて把握しておいてください。リーディングの本文を全部読んでおく必要はありませんが、本文の横の語註に目を通して、本文の内容を予測するようにしてください。事後学習としては、英文ライティングの課題を授業支援システムを通じて出すことがあります。プレゼンテーションの準備は余裕を持って取り組んでください。学期末にはレポートの課題を出します。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】CLIL Literature (CLIL英語で学ぶ文学)

【著者】笹島茂、上杉裕子、山口裕美、掘秀暢

【出版社】三修社

【出版年】2023年

【参考書】

ルーシー・モード・モンゴメリ『赤毛のアン—赤毛のアン・シリーズ1』村岡花子訳、新潮文庫、2008年。

トーマス・ヤムソン『新装版 たのしいムーミン一家』山室静訳、講談社青い鳥文庫、2014年。

トルーマン・カポーティ『ティファニーで朝食を』村上春樹訳、新潮文庫、2008年。

ウィリアム・シェイクスピア『新訳マクベス』河合祥一郎訳、角川文庫、2009年。

チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』村岡花子訳、新潮文庫、2011年。

シルヴィア・プラス『バル・ジャー』青柳祐美子訳、河出書房新社、2004年。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の内訳は以下の通りです。

授業内での発表や課題：40%

プレゼンテーション：30%

学期末レポート：30%

上記を合計して100点満点で評価し60点以上で単位取得となります。考慮すべき理由のない欠席が4回を超えると成績評価の対象外となります。

考慮すべき理由とは、①部活動の試合、②病欠です。

①②ともに、大学の発行する公欠証明、感染症り患による配慮願いの書類、または、病院の受診証明（病院の領収証、診断書等）がある場合にのみ、公欠と認めます。

上記を伴わない場合は公欠とはなりません。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。

公共交通機関の遅延証明がある場合は、考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

前年度はプレゼンテーションの準備にしっかりと時間を配分できたのが良かったので、本年度もプレゼンテーションに日程の余裕のあるスケジュールを組んでいます。

【学生が準備すべき機器他】

基本的に授業は対面で行いますが、事情によりZoom授業に変更することもありますので、パソコン環境が必要です。その場合は、授業支援システムを通じて授業前までに連絡しますので、授業前には授業支援システムを確認してください。

また、授業にはかならず辞書を持参してください。電子辞書が望ましいですが、ない場合にのみ、スマートフォンの辞書の使用を認めます。

【その他の重要事項】

欠席の連絡をメールで送ることは、特別な場合を除いて原則禁止にします。欠席は、後日、欠席事情の公式証明の提出があった場合にのみ公欠とします。

【Outline (in English)】

Students in this class will improve 4 skills in English, learning cultures and societies of English speaking world using several pieces of English literature as material. Students read several extracts from famous works of English literature, and watch some movies based on these works. Rapid reading skills are indispensable for reading and understanding a coherent story written in English within a class period. In this course, students will read a story in rhythm with a voice reading from the audio book, foreseeing how the story will develop, which is an essential skill for rapid reading. In addition to reading, students will work on various activities to improve their ability to express their own ideas in English, such as writing assignments, presentation and discussion. Considering the backgrounds, values and importance of these literary works from English speaking world will enhance students' cross-cultural understanding as well as their English skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process; presentation (30%), term-end report (30%), and assignments and in-class contribution (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: グローバル化した世界における日本: Japan in a Globalized World

山崎 暁子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月3/Mon.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

NHKのインタビュー番組を題材とするテキストから、"Sustainable businesses"に関連する3つのインタビューを扱う予定。番組を視聴して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題し、授業ではペアワークやグループをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明
第2回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (1)	読解、スピーキング
第3回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (2)	前半のリスニング、スピーキング

第4回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (3)	後半のリスニング、スピーキング
第5回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (4)	ライティング、発表
第6回	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (1)	読解、スピーキング
第7回	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (2)	前半のリスニング、スピーキング
第8回	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (3)	後半のリスニング、スピーキング
第9回	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (4)	ライティング、発表
第10回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (1)	読解、スピーキング
第11回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (2)	前半のリスニング、スピーキング
第12回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (3)	後半のリスニング、スピーキング
第13回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (4)	パラグラフの構造
第14回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (4)	ライティング、発表 (期末試験・解説)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト (教科書)】

Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk (金星堂、2021年、2600円+税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、予習10%、課題30%、期末試験40%
欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。
また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read a short article or watched an interview and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：グローバル化した世界における日本：Japan in a Globalized World

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

NHKのインタビュー番組を題材とするテキストから、"People and society"に関連する3つのインタビューを扱う予定。番組を視聴して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題し、授業ではペアワークやグループをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する。 プレゼンテーション導入
第2回	Voice 5: French Refugee Integration (1)	読解、スピーキング
第3回	Voice 5: French Refugee Integration (2)	前半のリスニング、スピーキング
第4回	Voice 5: French Refugee Integration (3)	後半のリスニング、スピーキング
第5回	Voice 5: French Refugee Integration (4)	ライティング、発表
第6回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (1)	読解、スピーキング

第7回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (2)	前半のリスニング、スピーキング
第8回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (3)	後半のリスニング、スピーキング
第9回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (4)	ライティング、発表
第10回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (1)	読解、スピーキング
第11回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (2)	前半のリスニング、スピーキング
第12回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (3)	後半のリスニング、スピーキング
第13回	短編小説を読む	読解
第14回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (4)	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk (金星堂、2021年、2600円＋税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、予習10%、課題30%、期末試験40%
欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。
また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

【Learning objectives】

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read a short article or watched an interview and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading criteria/Policy】

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相（近代社会における移民と労働）：
Current Affairs (Migration and Work in the Modern World)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading, and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee-related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular, they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 3	Economic migrants.	People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students own research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Homework: Reading and reading diary.

Week 4	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from textbook. Discussion: write down some ideas about travel in the world today and how this has connected Japan and the rest of the world. Share your ideas in pairs. Homework: read articles on issues related to the ease of travel for some and the difficulty in traveling for those such as refugees.	Week 10	Writing Essays Continued.	Making your essays into a presentation. You will write your essays and then turn them into a presentation. Essays hand written and submitted. Homework: Reading and reading diary.
Week 5	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading and reading diary.	Week 11	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.
Week 6	Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. Italian man’s death in Japanese immigration custody. (Kurdish refugees from Turkey) For refugees: travel can provide Freedom and Safety, but at a cost. Look at videos and News articles about Kurdish and other refugees in Japan. Write down some notes regarding this situation, and share them in discussions with 3 or 4 students. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading and reading diary.
Week 7	Multinational Corporations and their International Staff	Multinational Corporations and their International Staff Unit 3 Love Sells Cars Tiziana Alamprese (Italian), Marketing Director, Fiat Chrysler Japan Homework: Reading and reading diary.	Week 13	Presentations on Essay Topic	Present the content of your essays as a 10 slide by 20 second (pechakucha) presentation. Homework: Prepare a Presentation on a place you know well / Reading and reading diary. Remember bring your reading diary for the final class.
Week 8	Unit 3 Continued: Corporate responsibility?	Corporate Greed: Fiat Chrysler corruption scandal. Discuss the issue of corporate social responsibility and making a profit from the text. Read additional material provided and write down 2 or 3 sentences reflecting on these readings. Homework: Reading and reading diary.	Week 14	Final Presentations and Reflections	Student presentations continued. Students to bring their reading diaries to class and discuss the books and news articles they have been reading during the semester. Feedback from students regarding the unit.
Week 9	Essay Writing/ Research Activity	Thinking about issues in the world and Japan today. Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants come to Japan (or why do Japanese move abroad?) Homework: Reading and reading diary.			【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. 【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550, 【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor’s Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, do reading homework, prepare one presentation, and complete writing assignments.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 20%
2. Essay Writing Work Sheets and in-Class Essay 30 %
3. Essay Topic Presentation 30%
4. -Choosing a Reading and Completing a Book or books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading diary on all reading during the semester. 20%

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

【Outline (in English)】

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and the influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相（近代社会における移民と労働）：
Current Affairs (Migration and Work in the Modern World)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening, and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge, and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee-related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Essays from last semester will be returned. Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Munga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension /Your Opinions. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 4	Translation of ideas.	Presentations and discussion What works of fiction or art have been translated or adapted from Japanese content and become famous abroad? Share the information that you have researched in groups of 4 and take time discussing them. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.

Lesson 5	Translation task	The students to translate some sentences and the others to comment whether they agree on the Japanese translation. Check each other's translations in groups of 4. Homework: Reading and reading diary. Upper class or corporate migrants, global elites are able to travel freely around the world. Mitsui Japanese corporations in the world. Environmental and social impacts? Discuss how corporations in a globalized world impact different regions of the world. Homework: Challenge to find two articles. one that is positive one that is critical about the same corporation and the impact it has on the environment.	Lesson 13	Student Presentations on Essays	Student Presentations on Essay Topics
Lesson 6	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.	Lesson 14	Final lesson reflection on the term.	Student presentations continued. Students to bring their reading diaries to class and discuss the books and news articles they have been reading during the semester. Feedback from students regarding the unit.
Lesson 7	Unit 6 Think global act local.	Globalization has allowed for greater movement of goods and services, communication than ever before. It has also enabled more movement of people than ever, BUT there has also been an increase in the restrictions on the movement of migrants and refugees. Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 8	Think Global Act Local: Global Conflict and You	How does global conflict affect you where you live right now? What can you do regarding global conflicts such as the war between Ukrain/ Russia or the Israel/Palestine conflict?			
Lesson 9	Essay Writing/ Research Activity	Thinking about issues in the world and Japan today. Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants come to Japan (or why do Japanese move abroad?) Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 10	Writing Essays Continued.	Making your essays into a presentation. You will write your essays and then turn them into a presentation. Essays hand written and submitted. Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 11	Architecture and Migrant Workers	Unit 8: Build a Happy Life! from Text book pages 54 - 57			
Lesson 12	Build a Happy Life continued.	Life of an European Architect in Japan			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations.

Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals

Alice Gordenker & John Rucynski

Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)

Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin

*Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, do reading homework, prepare one presentation, and complete writing assignments.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 20%

2. Essay Writing Work Sheets and in-Class Essay 30 %

3. Essay Topic Presentation 30%

4. -Choosing a Reading and Completing a Book or books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading diary on all reading during the semester. 20%

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Mediascape of the English-Speaking World

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds on skills gained from English 1&2 and aims at further enhancing students' English language proficiency (including reading, listening, writing, and speaking skills) to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss own ideas.

【到達目標】

The course's aim is to further develop linguistic skills (including reading, listening, writing, and speaking skills) that students have acquired in previous English language courses. Students will read texts on current affairs and listen to real-world people present ideas about various issues, and they will improve their English fluency by engaging with and actively discussing these contents. Students will learn new key vocabulary, phrases, and grammar structures that they then shall actively employ to articulate own thoughts both verbally and in writing. Students shall also become proficient in identifying sources and accessing authentic English language content, and in examining information critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach. Video presentations will be used, and importance will be given to listening and reading tasks to introduce themes, vocabulary and structures, but the main focus lies on production, i.e. spoken communication and written reflection. Students will work individually, and with a partner and in small groups. They will rehearse dialogues, give small-group and individual presentations, and write short compositions. Exercises will be done in class and as homework. There will be several short quizzes during the semester. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Overview of the course, explanation of course requirements
2	Making a Difference	Collocations to describe giving help, inspiring dreams
3	Making a Difference	Talking about present actions, Reading - Food rescue mission
4	Making a Difference	Presentation Skills - Helping your audience visualize, Writing about someone who has made a difference in your life
5	Short presentations	Students prepare and deliver short presentations related to the topics covered in the first four weeks.
6	Transportation Solutions	Transportation collocations - An unusual commute
7	Transportation Solutions	Will and might - Grammar Review, Reading - Unique Commutes
8	Transportation Solutions	Presentation Skills - Signposting, Writing - Reflecting on the impact of transportation on daily life
9	Short Presentations Session 2	Students prepare and deliver short presentations related to the topics covered in weeks 6-8.
10	Clear Communication	Communication collocations, talking about communication preferences

11	Clear Communication	Grammar Review: Verb patterns with -ing and infinitive, Reading - Talk Nerdy to Me
12	Clear Communication	Presentation Skills - Engaging with your audience, Writing about a topic of interest
13	Review	Review of key concepts and language points
14	Final Examination and Review	Comprehensive examination covering material from Term 1, Feedback and discussion about progress

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. — University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke, Paul Dummett, Lewis Lansford, Helen Stephenson. Keynote 3 Student Book, Cengage Learning. 978-1-305-96505-8

【参考書】

Students are encouraged to make active use of Hosei library resources, get free subscriptions for English language newspapers (Wall Street Journal or Financial Times), and explore English language databases, electronic and print journals available through Hosei library.

<https://opac.lib.hosei.ac.jp>

<https://partner.wsj.com/enter-redemption-code/HOSEYB2TAKRR>

<http://ft.com/hosei>

Nonpaywalled online news/journalism:

<https://www.bbc.com>

<https://edition.cnn.com>

<https://www.npr.org>

<https://www.aljazeera.com>

<https://www.democracynow.org>

<https://jacobin.com>

Free online dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities and homework (30%), quizzes (30%), and presentations (40%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course is taught by the instructor for the first time. Changes in some of the course contents and the pacing of contents may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

【学生が準備すべき機器他】

Students should check Hoppii for Google Classroom codes.

【その他の重要事項】

The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course's aim is to further develop linguistic skills that students have acquired in previous English language courses. Students will read texts on current affairs and listen to real-world people present ideas about various issues, and they will improve their English fluency by engaging with and actively discussing these contents. Students will learn new key vocabulary, phrases, and grammar structures that they then shall actively employ to articulate own thoughts both verbally and in writing. Students shall also become proficient in identifying sources and accessing authentic English language content, and in examining information critically.

Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (30%), quizzes (30%), and presentations (40%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Mediascape of the English-Speaking World

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds on skills gained from English 1&2 and aims at further enhancing students' English language proficiency (including reading, listening, writing, and speaking skills) to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss own ideas.

【到達目標】

The course's aim is to further develop linguistic skills (including reading, listening, writing, and speaking skills) that students have acquired in previous English language courses. Students will read texts on current affairs and listen to real-world people present ideas about various issues, and they will improve their English fluency by engaging with and actively discussing these contents. Students will learn new key vocabulary, phrases, and grammar structures that they then shall actively employ to articulate own thoughts both verbally and in writing. Students shall also become proficient in identifying sources and accessing authentic English language content, and in examining information critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach. Video presentations will be used, and importance will be given to listening and reading tasks to introduce themes, vocabulary and structures, but the main focus lies on production, i.e. spoken communication and written reflection. Students will work individually, and with a partner and in small groups. They will rehearse dialogues, give small-group and individual presentations, and write short compositions. Exercises will be done in class and as homework. There will be several short quizzes during the semester. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductory session	Recap of Term 1, Overview of Term 2, Introduction to new units
2	Identity	Vocabulary: Identity-related words, talking about ongoing actions and events
3	Identity	Grammar Review: Present perfect progressive, Reading - Global Migration: Where is Home?
4	Identity	Presentation Skills - Using stories to personalize your message, Writing about factors that contribute to one's identity
5	Short presentations	Students prepare and deliver short presentations related to the topics covered in the first four weeks.
6	Designing the Web	Vocabulary: Website features, comparing products and services, Speaking: Making decisions based on user reviews
7	Designing the Web	Grammar Review: Comparatives and superlatives, verb patterns with -ing and infinitive, Reading - Website design on a giant scale
8	Designing the Web	Presentation Skills - Asking the audience questions, Writing a review of your cell phone

9	Short Presentations Session 2	Students prepare and deliver short presentations related to the topics covered in weeks 6-8.
10	Community Builders	Vocabulary: Words for talking about communities, Talking about how places have changed
11	Community Builders	Grammar Review: The passive voice, Reading - Barefoot College
12	Community Builders	Presentation Skills - Ending with a hope for the future, Writing a letter about improving your neighborhood
13	Review	Review of key concepts and language points
14	Final Examination and Review	Comprehensive examination covering material from Term 2, Feedback and discussion about progress

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. — University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke, Paul Dummett, Lewis Lansford, Helen Stephenson. Keynote 3 Student Book, Cengage Learning. 978-1-305-96505-8

【参考書】

Students are encouraged to make active use of Hosei library resources, get free subscriptions for English language newspapers (Wall Street Journal or Financial Times), and explore English language databases, electronic and print journals available through Hosei library.

<https://opac.lib.hosei.ac.jp>

<https://partner.wsj.com/enter-redemption-code/HOSEYB2TAKRR>

<http://ft.com/hosei>

Nonpaywalled online news/journalism:

<https://www.bbc.com>

<https://edition.cnn.com>

<https://www.npr.org>

<https://www.aljazeera.com>

<https://www.democracynow.org>

Free online dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities and homework (30%), quizzes (30%), and presentations (40%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course is taught by the instructor for the first time. Changes in some of the course contents and the pacing of contents may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

【学生が準備すべき機器他】

Students should check Hoppii for Google Classroom codes.

【その他の重要事項】

The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims at improving students' overall ability to access various contents and to communicate in English. Students will learn to express themselves idiomatically in a range of situations regularly encountered in everyday and academic life. They will acquire speaking and writing skills in order to become able to describe experiences and events and give reasons and explanations for opinions and plans. In class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting. Grading will be based on participation in class activities and homework (30%), quizzes (30%), and presentations (40%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語文学を通して学ぶ英語圏の文化と社会

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、英語で書かれた文学作品を題材に英語圏の文化と社会について学びながら英語力を向上させます。授業では数多くの英語の文学テキストの抜粋を読み、それらを基にした映画なども視聴します。ある程度のまとまりのある小説を1回の授業内で読むには、英語の速読の力が欠かせません。本授業では、文章の内容を予測し、流れに乗って英文を読むスキルを鍛えることにより、英語の速読力の向上を目指します。また、読解だけではなく、ライティング課題やプレゼンテーション、ディスカッションを通じて英語での発信力の向上も目指します。扱う小説は子供向けのものから鋭く社会を風刺したものまで様々です。これらの作品を英語で読み、プレゼンテーションやディスカッションを通して作品が生み出された文化的背景、その価値や意義を考えることにより、異文化である英米圏の文化や社会への理解を高めながら英語力をつけることが、本授業の目的です。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ①内容を予測し、流れに乗って英文を読む速読力。
- ②クラスの仲間と協力してリスニングや要約などの難しい課題に取り組む問題解決能力。
- ③読んだ作品に対する疑問点などを英語で表現し、クラスで共有しあって様々な人の考え方に触れるコミュニケーション能力、柔軟性。
- ④英語の映画を日本語字幕と英語字幕の両方で鑑賞し、おおよその表現を理解できるリスニング力、表現力。
- ⑤英語プレゼンテーションを通じて英語で発信し、英語で質疑応答をするための基本的な英語コミュニケーション能力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。学生は英語の朗読音声の速さに合わせて英文エッセイを読み、自分の担当箇所を発表します。発表の内容は、日本語訳や解釈などです。授業内で終わらなかった課題は、授業支援システムを通じて課題として出題し、システムを通じてフィードバックを行います。本授業では、学期末の筆記試験は行いません。従って、授業内での担当箇所の発表が成績評価において大きな割合を占めることを意識し、しっかりと責任を持って授業に臨んでください。授業支援システムを通じて提出する課題もまた、成績評価において大きな割合を占めますのでしっかりと取り組んでください。プレゼンテーションでは発表者だけではなくクラス全員が参加して英語でディスカッションを行うアクティブ・ラーニングを行います。プレゼンテーションやディスカッションにおける授業貢献も大きく評価しますので、積極的に参加してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4月15日	オリエンテーション	授業の方針説明、重要事項説明
4月22日	Unit1: The Happy Prince	英文リーディング

5月13日	Unit2: Charlie and the Chocolate Factory	英文リーディング
5月20日	Unit3: Dubliners - "Eveline"	英文リーディング
5月27日	Unit4: Alice's Adventures in Wonderland	英文リーディング
6月3日	Unit5: Animal Farm	英文リーディング
6月10日	Unit6: The Loneliness of the Long-Distance Runner	英文リーディング
6月17日	プレゼンテーション準備	発表のグループ、テーマ決め
6月24日	プレゼンテーション①	学生による英語プレゼンテーション
7月1日	プレゼンテーション②	学生による英語プレゼンテーション
7月8日	プレゼンテーション③	学生による英語プレゼンテーション
7月13日 (補講日)	映画視聴	英語の映画視聴及びディスカッション
7月15日	映画視聴	英語の映画視聴及びディスカッション
7月22日	Review	春学期の学習の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前学習は、シラバス記載のテキスト学習範囲に簡単に目を通し、その日に読む小説のあらすじなどをインターネットなどで調べて把握しておいてください。リーディングの本文を全部読んでおく必要はありませんが、本文の横の語註に目を通して、本文の内容を予測するようにしてください。事後学習としては、英文ライティングの課題を授業支援システムを通じて出すことがあります。プレゼンテーションの準備は余裕を持って取り組んでください。学期末にはレポートの課題を出します。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】CLIL Literature (CLIL英語で学ぶ文学)

【著者】笹島茂、上杉裕子、山口裕美、掘秀暢

【出版社】三修社

【出版年】2023年

【参考書】

オスカー・ワイルド『幸福な王子／柘榴の家』小尾美佐訳、光文社古典新訳文庫、2017年。

ロアルド・ダール『チョコレート工場の秘密』柳瀬尚紀訳、新評論、2005年。

ジェイムズ・ジョイス『ダブリナーズ』柳瀬尚紀訳、新潮文庫、2009年。
ルイス・キャロル『不思議の国のアリス』河合祥一郎訳、角川文庫、2010年。

ジョージ・オーウェル『動物農場 新訳版』山形浩生訳、ハヤカワepi文庫、2017年。

アラン・シリトー『長距離走者の孤独』丸谷才一、河野一郎訳、新潮文庫、1973年。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の内訳は以下の通りです。

授業内での発表や課題：40%

プレゼンテーション：30%

学期末レポート：30%

上記を合計して100点満点で評価し60点以上で単位取得となります。考慮すべき理由のない欠席が4回を超えると成績評価の対象外となります。

考慮すべき理由とは、①部活動の試合、②病欠です。

①②ともに、大学の発行する公欠証明、感染症り患による配慮願いの書類、または、病院の受診証明（病院の領収証、診断書等）がある場合にのみ、公欠と認めます。

上記を伴わない場合は公欠とはなりません。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。

公共交通機関の遅延証明がある場合は、考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

前年度はプレゼンテーションの準備にしっかりと時間を配分できたのが良かったので、本年度もプレゼンテーションに日程の余裕のあるスケジュールを組んでいます。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業はオンラインで行いますので、パソコン環境が必要です。基本的に授業は対面で行いますが、事情によりZoom授業に変更することもあります。その場合は、授業支援システムを通じて授業前までに連絡しますので、授業前には授業支援システムを確認してください。

また、授業にはかならず辞書を持参してください。電子辞書が望ましいですが、ない場合にのみ、スマートフォンの辞書の使用を認めます。

【その他の重要事項】

欠席の連絡をメールで送ることは、特別な場合を除いて原則禁止にします。欠席は、後日、欠席事情の公式証明の提出があった場合にのみ公欠とします。

【Outline (in English)】

Students in this class will improve 4 skills in English, learning cultures and societies of English speaking world using several pieces of English literature as material. Students read several extracts from famous works of English literature, and watch some movies based on these works. Rapid reading skills are indispensable for reading and understanding a coherent story written in English within a class period. In this course, students will read a story in rhythm with a voice reading from the audio book, foreseeing how the story will develop, which is an essential skill for rapid reading. In addition to reading, students will work on various activities to improve their ability to express their own ideas in English, such as writing assignments, presentation and discussion. Considering the backgrounds, values and importance of these literary works from English speaking world will enhance students' cross-cultural understanding as well as their English skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process; presentation (30%), term-end report (30%), and assignments and in-class contribution (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語文学を通して学ぶ英語圏の文化と社会

高井 美紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、英語で書かれた文学作品を題材に英語圏の文化と社会について学びながら英語力を向上させます。授業では数多くの英語の文学テキストの抜粋を読み、それらを基にした映画なども視聴します。ある程度のまとまりのある小説を1回の授業内で読むには、英語の速読の力が欠かせません。本授業では、文章の内容を予測し、流れに乗って英文を読むスキルを鍛えることにより、英語の速読力の向上を目指します。また、読解だけではなく、ライティング課題やプレゼンテーション、ディスカッションを通じて英語での発信力の向上も目指します。扱う小説は子供向けのものから鋭く社会を風刺したものまで様々です。これらの作品を英語で読み、プレゼンテーションやディスカッションを通して作品が生み出された文化的背景、その価値や意義を考えることにより、異文化である英米圏の文化や社会への理解を高めながら英語力をつけることが、本授業の目的です。

【到達目標】

本授業を通して学生は以下の能力を身に着けます。

- ①内容を予測し、流れに乗って英文を読む速読力。
- ②クラスの仲間と協力してリスニングや要約などの難しい課題に取り組む問題解決能力。
- ③読んだ作品に対する疑問点などを英語で表現し、クラスで共有しあって様々な人の考え方に触れるコミュニケーション能力、柔軟性。
- ④英語の映画を日本語字幕と英語字幕の両方で鑑賞し、おおよその表現を理解できるリスニング力、表現力。
- ⑤英語プレゼンテーションを通じて英語で発信し、英語で質疑応答をするための基本的な英語コミュニケーション能力。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。学生は英語の朗読音声の速さに合わせて英文エッセイを読み、自分の担当箇所を発表します。発表の内容は、日本語訳や解釈などです。授業内で終わらなかった課題は、授業支援システムを通じて課題として出題し、システムを通じてフィードバックを行います。本授業では、学期末の筆記試験は行いません。従って、授業内での担当箇所の発表が成績評価において大きな割合を占めることを意識し、しっかりと責任を持って授業に臨んでください。授業支援システムを通じて提出する課題もまた、成績評価において大きな割合を占めますのでしっかりと取り組んでください。プレゼンテーションでは発表者だけではなくクラス全員が参加して英語でディスカッションを行うアクティブ・ラーニングを行います。プレゼンテーションやディスカッションにおける授業貢献も大きく評価しますので、積極的に参加してください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
9月23日	Unit7: Anne of Green Gables	英語リスニング 英文リーディング
9月30日	Unit8: Finn Family Moomintroll	英語リスニング 英文リーディング

10月7日	Unit9: Breakfast at Tiffany's	英語リスニング 英文リーディング
10月14日	Unit10: Macbeth	英語リスニング 英文リーディング
10月21日	Unit10: A Christmas Carol	英語リスニング 英文リーディング
10月28日	Unit12: The Bell Jar	英語リスニング 英文リーディング
11月11日	プレゼンテーション準備	発表のグループ、テーマ決め
11月18日	プレゼンテーション①	学生による英語プレゼンテーション
11月25日	プレゼンテーション②	学生による英語プレゼンテーション
12月2日	プレゼンテーション③	学生による英語プレゼンテーション
12月9日	映画視聴①	英語の映画視聴 及びディスカッション
12月16日	映画視聴②	英語の映画視聴 及びディスカッション
12月23日	映画視聴③	英語の映画視聴 及びディスカッション
1月20日	Review	秋学期の学習の振り返り

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前学習は、シラバス記載のテキスト学習範囲に簡単に目を通し、その日に読む小説のあらすじなどをインターネットなどで調べて把握しておいてください。リーディングの本文を全部読んでおく必要はありませんが、本文の横の語註に目を通して、本文の内容を予測するようにしてください。事後学習としては、英文ライティングの課題を授業支援システムを通じて出すことがあります。プレゼンテーションの準備は余裕を持って取り組んでください。学期末にはレポートの課題を出します。

【テキスト（教科書）】

【教科書名】CLIL Literature (CLIL英語で学ぶ文学)

【著者】笹島茂、上杉裕子、山口裕美、掘秀暢

【出版社】三修社

【出版年】2023年

【参考書】

ルーシー・モード・モンゴメリ『赤毛のアン—赤毛のアン・シリーズ1』村岡花子訳、新潮文庫、2008年。

トーマス・ヤムソン『新装版 たのしいムーミン一家』山室静訳、講談社青い鳥文庫、2014年。

トルーマン・カポーティ『ティファニーで朝食を』村上春樹訳、新潮文庫、2008年。

ウィリアム・シェイクスピア『新訳マクベス』河合祥一郎訳、角川文庫、2009年。

チャールズ・ディケンズ『クリスマス・キャロル』村岡花子訳、新潮文庫、2011年。

シルヴィア・プラス『バル・ジャー』青柳祐美子訳、河出書房新社、2004年。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の内訳は以下の通りです。

授業内での発表や課題：40%

プレゼンテーション：30%

学期末レポート：30%

上記を合計して100点満点で評価し60点以上で単位取得となります。考慮すべき理由のない欠席が4回を超えると成績評価の対象外となります。

考慮すべき理由とは、①部活動の試合、②病欠です。

①②ともに、大学の発行する公欠証明、感染症り患による配慮願いの書類、または、病院の受診証明（病院の領収証、診断書等）がある場合にのみ、公欠と認めます。

上記を伴わない場合は公欠とはなりません。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。

公共交通機関の遅延証明がある場合は、考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

前年度はプレゼンテーションの準備にしっかりと時間を配分できたのが良かったので、本年度もプレゼンテーションに日程の余裕のあるスケジュールを組んでいます。

【学生が準備すべき機器他】

基本的に授業は対面で行いますが、事情によりZoom授業に変更することもありますので、パソコン環境が必要です。その場合は、授業支援システムを通じて授業前までに連絡しますので、授業前には授業支援システムを確認してください。

また、授業にはかならず辞書を持参してください。電子辞書が望ましいですが、ない場合にのみ、スマートフォンの辞書の使用を認めます。

【その他の重要事項】

欠席の連絡をメールで送ることは、特別な場合を除いて原則禁止にします。欠席は、後日、欠席事情の公式証明の提出があった場合にのみ公欠とします。

【Outline (in English)】

Students in this class will improve 4 skills in English, learning cultures and societies of English speaking world using several pieces of English literature as material. Students read several extracts from famous works of English literature, and watch some movies based on these works. Rapid reading skills are indispensable for reading and understanding a coherent story written in English within a class period. In this course, students will read a story in rhythm with a voice reading from the audio book, foreseeing how the story will develop, which is an essential skill for rapid reading. In addition to reading, students will work on various activities to improve their ability to express their own ideas in English, such as writing assignments, presentation and discussion. Considering the backgrounds, values and importance of these literary works from English speaking world will enhance students' cross-cultural understanding as well as their English skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process; presentation (30%), term-end report (30%), and assignments and in-class contribution (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: グローバル化した世界における日本: Japan in a Globalized World

山崎 暁子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

NHKのインタビュー番組を題材とするテキストから、"Sustainable businesses"に関連する3つのインタビューを扱う予定。番組を視聴して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題し、授業ではペアワークやグループをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について説明
第2回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (1)	読解、スピーキング
第3回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (2)	前半のリスニング、スピーキング

第4回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (3)	後半のリスニング、スピーキング
第5回	Voice 1: Ride-Hailing Innovation: Creating Jobs Through Technology (4)	ライティング、発表
第6回	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (1)	読解、スピーキング
第7回	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (2)	前半のリスニング、スピーキング
第8回	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (3)	後半のリスニング、スピーキング
第9回	Voice 9: Helping the Socially Vulnerable (4)	ライティング、発表
第10回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (1)	読解、スピーキング
第11回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (2)	前半のリスニング、スピーキング
第12回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (3)	後半のリスニング、スピーキング
第13回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (4)	パラグラフの構造
第14回	Voice 11: Knitting the Future by Hand (4)	ライティング、発表 (期末試験・解説)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト (教科書)】

Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk (金星堂、2021年、2600円+税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、予習10%、課題30%、期末試験40%
欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。
また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

[Learning objectives]

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

[Learning activities outside of classroom]

Before each class meeting, students will be expected to have read a short article or watched an interview and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

[Grading criteria/Policy]

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：グローバル化した世界における日本：Japan in a Globalized World

山崎 暁子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で学んだ、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに発展させる。また、この4技能を総合的に駆使して、あるテーマについて英語で情報を得る能力、その情報を批判的に考察して自分の意見を英語で発信する能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読解することができる。
- ・自然なスピードの英語を聴き、必要な情報を得ることができる。
- ・英語で自分の意見を述べるとともに、他人の意見に対して適切に反応し質問することができる。
- ・文法的に正確で、形式の整った英語のパラグラフを書くことができる。
- ・現代の世界について学ぶことを通して、日本に対する客観的な視点を獲得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

NHKのインタビュー番組を題材とするテキストから、"People and society"に関連する3つのインタビューを扱う予定。番組を視聴して現代の世界について学び、日本と世界の関係について考察する。学習支援システムのテスト機能で、定期的に予習問題を出題し、授業ではペアワークやグループをおこなう。

予習テストや課題は、学習支援システムから出題・フィードバックする。

対面授業を基本とするが、必要に応じてオンライン授業の回を設ける可能性がある。授業形態を変更する場合は事前に学習支援システムから通知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の進め方と成績評価について確認する。 プレゼンテーション導入
第2回	Voice 5: French Refugee Integration (1)	読解、スピーキング
第3回	Voice 5: French Refugee Integration (2)	前半のリスニング、スピーキング
第4回	Voice 5: French Refugee Integration (3)	後半のリスニング、スピーキング
第5回	Voice 5: French Refugee Integration (4)	ライティング、発表
第6回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (1)	読解、スピーキング

第7回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (2)	前半のリスニング、スピーキング
第8回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (3)	後半のリスニング、スピーキング
第9回	Voice 10: The Danish Recipe for Happiness (4)	ライティング、発表
第10回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (1)	読解、スピーキング
第11回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (2)	前半のリスニング、スピーキング
第12回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (3)	後半のリスニング、スピーキング
第13回	短編小説を読む	読解
第14回	Voice 14: Uncovering Our Hidden Biases (4)	ライティング、発表（期末試験・解説）

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

- ・テキストの動画を繰り返し視聴する。
- ・学習支援システムのテスト機能で出題される問題に解答する。
- ・学習支援システムから出題される課題を期限までに提出する。

【テキスト（教科書）】

Inspiring Voices: 15 Interviews from NHK Direct Talk (金星堂、2021年、2600円＋税)

【参考書】

授業で指示する。辞書は必ず授業に持参すること。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、予習10%、課題30%、期末試験40%
欠席が4回以上の場合、原則として単位修得の資格を失う。遅刻・早退は減点の対象になる。

【学生の意見等からの気づき】

引き続きグループワークを取り入れ、タイムリーなフィードバックを心がける。

【学生が準備すべき機器他】

連絡や予習問題・課題の出題に学習支援システムを使用し、グループワークにGoogle Documentを使用する。
また、必要に応じてZoomを使う可能性がある。Zoomになった際は、受講環境により、ヘッドセットが必要となる場合がある。

【その他の重要事項】

テキストは必ず買うこと。
学習支援システムに掲載する情報は、大学から付与されたメールアドレスに届く。個別の連絡をする場合もあるので、メールを随時チェックすること。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will further develop their English proficiency drawing on what they have learned in English 1 (reading, listening, and summarizing) and English 2 (speaking and writing).

【Learning objectives】

Students will improve their ability to learn about important issues from English sources, to think critically about them, and to express their own thoughts and opinions in English. Specifically, they will have chance to observe Japan in the global context.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read a short article or watched an interview and submitted an online test to check the understanding. They will also be given writing and speaking assignments during the semester. The required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading criteria/Policy】

Grading will be decided based on in-class contribution (20%), preparation (10%), writing assignments & presentations (30%) and final test (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Class Orientation/self-introductions	Getting to know you/news headlines handout
Week 2	Conversation Strategies	Follow-up Questions
Week 3	Dictogloss	Travel/Culture
Week 4	News Article	Transparent Toilets in Tokyo
Week 5	Video Report	Something New for 30 Days
Week 6	News and Views	News headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Probability
Week 9	Dictogloss	Clean Plate Campaign
Week 10	News Article	Reversal of Aging Process
Week 11	Video Report	How Much Sleep Do We Need
Week 12	News and Views	News Headlines/presentations
Week 13	Review and Follow-up	Activities to review previous material
Week 14	Final Presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

There will be no textbook for this class. I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None will be used.

【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (20%)

Final presentation (20%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy, and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research, and actively participate.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs II

TAMARA P ELDRIDGE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to consolidate basic communication skills in English and to further foster critical thinking skills, learning to summarize ideas and generate arguments in English independently. Activities will be balanced across the 4 skills designed to improve both the receptive and productive skills in discussing course topics, centering around contemporary and current issues.

【到達目標】

The goal of this course is to focus on developing learners' four language skills of reading, writing, listening and speaking for general communication-the four foundational skills of language learning and will be a combination of both content-based as well as task-based activities, with a focus on specific information through communicative and cognitive processes. In addition, the course aims to improve learners' fluency with English; learners' ability to engage in meaningful communicative interaction, and also further learners' knowledge of the formal aspects of the English language, such as vocabulary, grammar and pronunciation. At the same time, learners will engage with a variety of content topics and themes, developing their ability to discuss issues and think critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

It will be discussion based and in-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it is student centered.

Students are expected to be active participants in class discussion and activities. I expect that our class sessions will consist of active discussion, debate, critique, and exploration. For this format to be successful, it is critical that students read and think about the weekly readings before coming to class sessions. Follow-up discussions to each reading/research assigned will be done in the following class and students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

This is an online class, and all weeks will be taught on ZOOM. Please see HOPPII, the university's Learning Management System for details.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer Break Discussion/News and Views	Summer break catch up/News Headlines discussions
Week 2	Conversation Strategies	Solicitors
Week 3	Dictogloss	Stress Factor
Week 4	News Article	Eco-anxiety/Global Warming
Week 5	Video Report	Starbucks Diversity
Week 6	News and Views	News Headlines/presentations
Week 7	Mid-term project/presentations	Pre-assigned group presentations
Week 8	Conversation Strategies	Expressing Opinions
Week 9	Dictogloss	Social Media
Week 10	Video Report	Social Media Influencers
Week 11	Video Report	Social Media Influencers
Week 12	News and Views	News Headlines/Presentations
Week 13	Review and Follow-up	Exercises reviewing previous material
Week 14	Final Project/Presentations	Pre-assigned group presentations

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Preparation, review and assignments are required. There will be readings(news articles), reports and research for class discussions. Students are expected to complete weekly reading assignments to be ready for class discussions. Approximately 1-2 hours a week will be needed for preparation, review and follow-up.

【テキスト（教科書）】

I will be using news reports/articles/dictations-which will lead into class discussions.

【参考書】

None required.

【成績評価の方法と基準】

Discussion, debates, participation, and attendance (60%)

Mid-term presentation (15%)

Final presentation (25%)

"In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

English-English Dictionary

Computer with camera/mic

Headset

ZOOM

【その他の重要事項】

None

【Outline (in English)】

This class will be discussion based. In-class activities will mostly have an emphasis on discussion and listening, with reading and writing being done at home prior to the following class. I will also be doing dictoglosses which is an intensive listening which will help to facilitate your listening, vocabulary, accuracy and discussion skills. I want to make this class as interactive as possible, so it will mostly be student-centered, but teacher-facilitated.

There will be presentations, news discussions, debates, dictations, topic-based video reports and dictoglosses. These activities will be done in pair and small-groups and based on the materials provided by the instructor or student generated. Homework assignments must be done before class begins. In order to succeed in the class, please prepare well for class, do homework/research and actively participate.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14. Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The homework listening recordings can be streamed or downloaded from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/>. Students will have to create a yahoo.com email address, join the group, and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2 Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the Real World.

ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking. Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.

11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational
Japan Times
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II 2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the Real World.

ジョナサン・エイブル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills, reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class will be conducted online. All scheduled classes will be held on Zoom. Assignments will be conducted mostly through Google Classrooms. Details will be posted on the HOPPII class management system in due course.

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is constant.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.
8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.

9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.
11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills, reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Introduction to British life & culture

吉川 直澄

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1とEnglish 2で身につけた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド(資料型)を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から(匿名で)実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス/課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第1回課題を提示します。
第2回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示: コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレイカー」となるのか学習します。

第3回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示: ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第4回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第5回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第6回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示: イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
第7回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ(『黒執事』・『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグラウンドセース』)の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
第8回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 日英のイディオムを比較します。
第9回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 現国王チャールズ三世の母、エリザベス二世の文化的アイコンとしての役割と今後のイギリス王室のあり方について考えます。
第10回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示: シェイクスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェイクスピアの意義について調べてみましょう。
第11回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine:アイヌ、私の声』(2020)と共に考察します。
第12回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示: 英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』(A Silent Voice)をアメリカ映画Coda(2022)と比較しながら考察します。
第13回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示: これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
第14回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014年, 1800円, ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題の提出(30%)と学期末に行う文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価します。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が4回以上ある方、未提出課題が5回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Introduction to British life & culture

吉川 直澄

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1とEnglish 2で身につけた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、EU離脱以降のイギリスを巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章のある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド(資料型)を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもら回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から(匿名で)実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	学期末レポート課題のフィードバックと第1回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第1回レポート課題を指示します。
第2回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。

第3回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第4回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示: ビートルズについて調べてみましょう。
第5回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第6回	The Establishment: The Boys in Blue	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、オーウェン・ジョーンズの著作 The Establishment (2015) の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』(2000)を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第7回	The Establishment: Scrounging off the State	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』(2019)を鑑賞します。
第8回	The Establishment: Foreword to the Paperback Edition	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として移民問題を扱った2つのイギリス映画『ベッカムに恋して』(2002)と『エンパイア・オブ・ライト』(2022)を鑑賞します。
第9回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第10回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 階級制度について学びます。
第11回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第12回	Film as a complex site of cultural representation	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第13回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書のまとめと第13回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第14回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト(教科書)】

春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】

Owen, Jones. *The Establishment*, London: Penguin (2015).
Oakland, John. *British Civilization an Introduction*, Routledge (2020).ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(30%)と学期末に実施する文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価を行います。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートを提出していれば、問題はないと思いますが、欠席が4回以上ある場合、5回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位習得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Post-Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)
English 3 I 2017年度以降入学者
 サブタイトル：英語圏の文化と社会：アメリカから見た世界の事情
 大曲 陽子
 開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4
 単位数：1単位
 その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ2024年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混迷の中にある世界情勢を、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能の学習を通してナマのニュース英語を理解し、アメリカから見た世界を理解していく。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に付けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に付けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自DefinitionとExamplesを完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布のAnswer sheetに解答してHoppiiを通して締め切り日までに提出する。2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時はHoppiiを通して指定の締め切り日までに提出し、それはHoppiiを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	時事問題プリント教材
2	Unit 1 Seven Decades of Service	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
3	Unit 1 Seven Decades of Service	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題

4	Unit 2 Seeking safety in Numbers	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
5	Unit 2 Seeking safety in Numbers	Unit 1 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
6	Unit 3 Keeping to the Sidelines	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
7	Unit 3 Keeping to the Sidelines	Unit 2 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
8	Unit 4 Protected by Love	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
9	Unit 4 Protected by Love	Unit 3 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
10	Unit 5 Victory in the Kitchen	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
11	Unit 5 Victory in the Kitchen	Unit 4 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
12	Unit 6 Controversial Debt Relief	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
13	Unit 6 Controversial Debt Relief	Unit 5 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
14	これまでのまとめと 期末試験	これまでのまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
 授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかり聞いてディクテーションを行う。テキストのDefinitionをしっかり調べ完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples部分は採点し返却される。

対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト（教科書）】

CNN ビデオで見る世界のニュース（25）
朝日出版社 2420円（税込）

【参考書】

特になし
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド型授業時 課題提出 10% . . .

Examples は採点する。1点×10問=10点

(Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●小テスト 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定 . . . 毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：アメリカから見た世界の事情

大曲 陽子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNN International シリーズ2024年版を教材として、経済不況や震災、ウクライナ情勢といった世界的な混乱の中にある世界情勢を、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキングの4技能の学習を通してナマのニュース英語を理解し、アメリカから見た世界を理解していく。

6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

【到達目標】

タイムリーなトピックを取り上げ、リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング学習を通して、英語資格試験のためではなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人々と対等に渡り合える英語力、批判的な視点の持ち方を身に付けていく。高い英語力だけでなく、社会的教養を身に付けることも目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業動画を配信するオンデマンド型）とする。

ほぼ2回の授業で1つのUnitを学習する。1回目の授業では授業動画を視聴し、各自DefinitionとExamplesを完成させ、かつニュースの音声聞いてディクテーションして空欄を埋め、配布のAnswer sheetに解答してHoppiiを通して締め切り日までに提出する。2回目の授業（対面）では、全員がニューススクリプトを完成させていることを前提に内容理解を行い、内容に関連したプリント教材を学習する。

Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。

適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。

課題等に対するフィードバック方法

毎週課題の提出があるので、オンラインの時はHoppiiを通して指定の締め切り日までに提出し、それはHoppiiを通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時に返却される。小テストは採点返却される。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Warming Up	時事問題プリント教材
2	Unit 7 Controversial Debt Relief	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
3	Unit 7 Controversial Debt Relief	スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題

4	Unit 8 For People On the Go	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
5	Unit 8 For People On the Go	Unit 7 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
6	Unit 9 Creative Thinking	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
7	Unit 9 Creative Thinking	Unit 8 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
8	Unit 10 India Joins the Club	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
9	Unit 10 India Joins the Club	Unit 9 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
10	Unit 11 Radical Calls for Action	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
11	Unit 11 Radical Calls for Action	Unit 10 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
12	Unit 12 Goofy Gadgets	オンデマンド型 授業動画を視聴する。事前にWords&Phrases, ニューススクリプトを完成させてから授業動画を視聴する。 Examplesの課題を提出する。
13	Unit 12 Goofy Gadgets	Unit 11 語彙小テスト スクリプト、ニュース内容を確認の上、ニュースの内容にあわせた記事などを読み、グループワークで意見をまとめる。 内容のTF問題
14	これまでのまとめと 期末試験	これまでのまとめと期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画を配信するオンデマンド型授業では、授業動画を視聴し、ニュース音声をしっかりと聞いてディクテーションを行う。テキストのDefinitionをしっかりと調べて完成させ、指定の締め切り日までに提出する。Examples部分は採点し返却される。

対面授業の際にはニューススクリプトが完成されていることを前提として内容理解の授業を行うので未知の語彙などがあれば調べておく。オンラインの週の学習時間をしっかり取って行う。

【テキスト (教科書)】

CNN ビデオで見る世界のニュース (25)
朝日出版社 2420円 (税込)

【参考書】

特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Examples
は採点する。1点×10問=10点 (Answer
Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)
●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が
全て記載されている (空欄の内容全て解答している)、及び毎回指定
された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出
席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

Unit に関連したプリント教材を配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声
をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。

担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用する
か、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understand-
ing the international situation, an environmental problem,
natural disasters, culture
and so on through CNN original English.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency,
critical thinking and social skills through listeing, reading ,
writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to spend
one hour to understand the course content and have read the
relevant chapter and completed the assignments.

【 Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the
following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

term-end examination 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
- 2) 発表（プレゼンテーション練習）
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs
Week 4	TED Talk about protecting vultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?
Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations and discussions.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionaryも必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることのできる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる

2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける

3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）

2) 発表（プレゼンテーション練習）

3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review

Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature
Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting
Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Topic: Reading and presenting a book (English/American/World literature); Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music affects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 (Book presentation)
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、**English-English dictionary**も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行いません。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行いません。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	家族①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3回目	家族②	Lesson 12: Good Question
4回目	家族③	関連資料、ディスカッション
5回目	銃規制①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6回目	銃規制②	<i>The Japan Times</i> 記事
7回目	銃規制③	関連資料、ライティング
8回目	新聞・雑誌記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9回目	食生活、健康①	Lesson 2: A Spreading Problem
10回目	食生活、健康②	TED ビデオクリップとスクリプト
11回目	記事のプレゼンテーション(1-8)	クラスメートへのフィードバック（プレゼン方法と記事内容）
12回目	記事のプレゼンテーション(9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13回目	記事のプレゼンテーション(18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ
14回目	食生活、健康③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35%）、課題提出と毎週の小テスト（35%）、プレゼンテーション関連（30%）。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and magazines and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35%), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2回目	裁判制度①	Lesson 14: And Justice for All
3回目	裁判制度②	<i>The New York Times</i> 記事
4回目	裁判制度③	関連資料、ディスカッション
5回目	ブック・パッセージ	パッセージの提出、内容確認、プレゼン練習
6回目	移民、人種、ホリデイ①	Lesson 3: Juneteenth
7回目	移民、人種、ホリデイ②	Lesson 7: Illegal
8回目	移民、人種、ホリデイ③	関連資料、ライティング
9回目	ブック・プレゼンテーション(1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10回目	ブック・プレゼンテーション(9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11回目	ブック・プレゼンテーション(18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ
12回目	環境問題、地域的多様性①	Lesson 6: A New York State of Mind

13回目 環境問題、地域的多様性② TED ビデオクリップとスクリプト

14回目 環境問題、地域的多様性③ 関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35%）、課題提出と毎週の小テスト（35%）、プレゼンテーション関連（30%）。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35%), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 日本独自の文化: Japanese unique culture

吉江 秀和

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本の文化に関するさまざまなトピックを扱った『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1とEnglish 2で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し読み聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらい作業してもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	ガチャと量の奇妙な関係
3	Chapter 2	日本の食品サンプルとお箸が海外で人気
4	Chapter 3	浴衣と着物の決定的な違いは何?

5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
7	プレゼンテーション	Chapter 1~Chapter 3に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 4	ご祝儀袋についているあのマークを英語で説明できますか? 家紋と着物がかかえる裏事情
9	Chapter 5	国が違えばムシの事情も変わります
10	Chapter 6	
11	Chapter 7	日本と西洋、それぞれの犬猫事情
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 4~Chapter 7に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

堀口 誠信/ランス キタ『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』開文社出版、2022年、1,900円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み (20%)とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング (40%)、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が4回以上の場合には原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください (欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります)。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください (主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです)。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Exploring Japanese Culture through English”, which consists of 15 topics about Japan culture, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 日本独自の文化: Japanese unique culture

吉江 秀和

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本の文化に関するさまざまなトピックを扱った『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1とEnglish 2で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し読み聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらって作業してもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8	土用の丑の日に赤や緑のウナギはいかが?
2	Chapter 9	笹の葉さらさら・・・は日本だけ
3	Chapter 10	月見に欠かせないススキは英語で何と言う?
4	Chapter 11	七五三と称して3回も祝ってもらえる日本の子供

5	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
6	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
7	プレゼンテーション	Chapter 8~Chapter 11に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 12	日本の成人式はどこが独特なのか説明できますか?
9	Chapter 13	クリスマス・バレンタインデー・ハロウィンの仕掛け人
10	Chapter 14	日本の宗教と儒教の「道」
11	Chapter 15	日本語話者の人口は以外にも世界で第〇位
12	英文講読	日本に関する英文の講読、リスニング
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 12~Chapter 15に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

堀口誠信/ランス キタ『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』開文社出版、2022年、1,900円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み (20%)とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング (40%)、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が4回以上の場合には原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください (欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多い場合はその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります)。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください (主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです)。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Exploring Japanese Culture through English”, which consists of 15 topics about Japan culture, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語で日本文化を考える: Thinking Japanese
Culture in English

飛田 英伸

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月4/Mon.4
単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本の文化について英語でディスカッションすることを通して、「読む、聞く、話す、書く」の4つの技能を向上させるとともに、グローバルな視点から日本の文化を捉え、自らの意見を発信できるようにする。

【到達目標】

- ・数分程度のプレゼンテーションを英語でできるようになる。
- ・簡単な表現を用いて英語でやり取りができるようになる。
- ・論理的でわかりやすい英語の文章を書けるようになる。
- ・コロケーションを意識した言葉の選択ができるようになる。
- ・複数のパラグラフから成る文章の構造を理解できるようになる。
- ・複雑な構造の文を理解できるようになる。
- ・ネイティブの発話スピードに慣れ、おおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・英語での情報収集ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

【毎回の授業】

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではスピーキングとリーディングを中心に行う。

2回目の授業ではリスニングとライティングを中心に行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

また、毎回数人ずつ最終授業でのプレゼンテーションに向けた発表(構想発表と中間発表)をしてもらう。

【プレゼンテーションと期末レポート】

最終授業で1人ずつプレゼンテーションをしてもらう。

そのための準備として、毎回の授業で数人ずつ構想発表と中間発表を行う。

また、学期末にプレゼンテーションの原稿をレポートとしてまとめ、提出してもらう。

課題へのフィードバックを学習支援システムを通して行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の説明、自己紹介
2	Unit 1: The Eyes Of Manga Characters	スピーキング、リーディング、構想発表
3	Unit 1: The Eyes Of Manga Characters	リスニング、ライティング、構想発表
4	Unit 2: Japanese Rituals and food for the Gods	スピーキング、リーディング、構想発表

5	Unit 2: Japanese Rituals and food for the Gods	リスニング、ライティング、構想発表
6	Unit 3: Animation in Japan	スピーキング、リーディング、構想発表
7	Unit 3: Animation in Japan	リスニング、ライティング、構想発表
8	Unit 4: Popular Fiction and Changing Ways of Reading	スピーキング、リーディング、中間発表
9	Unit 4: Popular Fiction and Changing Ways of Reading	リスニング、ライティング、中間発表
10	Unit 5: Japanese Cuisine Goes Global	スピーキング、リーディング、中間発表
11	Unit 5: Japanese Cuisine Goes Global	リスニング、ライティング、中間発表
12	Unit 6: The Development of Relationships Between Humans and Animals	スピーキング、リーディング、中間発表
13	Unit 6: The Development of Relationships Between Humans and Animals	リスニング、ライティング、中間発表
14	プレゼンテーション	最終発表 (1人ずつ)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

[予習]

1. リーディングの文章を読み、問題に答え、学習支援システムを通して提出する。(1回目の授業前)

2. リスニングの音声聞き、問題に答え、学習支援システムを通して提出する。(2回目の授業前)

3. プレゼンテーションの準備をする。(定期)

[復習]

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

2. リスニングの音声聞き直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Japanese Popular Culture in English: Discussions and Critical Thinking (Robert Sheridan 他、南雲堂、2023年、2,530円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末レポート25%

プレゼンテーション25%

平常点(予習、作文、受講態度)50%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックはできません。

【学生が準備すべき機器他】

辞書(電子辞書可)。

プレゼンテーションではパワーポイントを使用する。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの部分的な使用(例えば、英語での言い方を調べる)は禁止しないが、使用した場合はどこに用いたのかを必ず申告すること。また、その結果が信用できるものなのかを必ず検証し、検証の過程と結果についても申告すること。

レポートや作文をすべて生成AIによって作成することは禁止する。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用が疑われる場合は能力を測定するための試験を実施する。

【Outline (in English)】

Through discussing Japanese Popular culture in English, students will deepen their understanding about Japanese culture in a global context, while improving their skills to communicate in English.

The goals of this course are to acquire skills for expressing ideas in English and improve ability for getting information in English.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end essay (25%), presentations (25%), and in class contribution including assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語で日本文化を考える: Thinking Japanese Culture in English

飛田 英伸

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4
単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本の文化について英語でディスカッションすることを通して、「読む、聞く、話す、書く」の4つの技能を向上させるとともに、グローバルな視点から日本の文化を捉え、自らの意見を発信できるようにする。

【到達目標】

- ・数分程度のプレゼンテーションを英語でできるようになる。
- ・簡単な表現を用いて英語でやり取りができるようになる。
- ・論理的でわかりやすい英語の文章を書けるようになる。
- ・コロケーションを意識した言葉の選択ができるようになる。
- ・複数のパラグラフから成る文章の構造を理解できるようになる。
- ・複雑な構造の文を理解できるようになる。
- ・ネイティブの発話スピードに慣れ、おおまかに聞き取ることができるようになる。
- ・英語での情報収集ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業はすべて対面で行う予定。

【毎回の授業】

1つのユニットを2回の授業で進める。

1回目の授業ではスピーキングとリーディングを中心に行う。

2回目の授業ではリスニングとライティングを中心に行う。

いずれの授業でも英語で発言したり、グループワークをしたりする機会を多く設ける。

また、毎回数人ずつ最終授業でのプレゼンテーションに向けた発表(構想発表と中間発表)をしてもらう。

【プレゼンテーションと期末レポート】

最終授業で1人ずつプレゼンテーションをしてもらう。

そのための準備として、毎回の授業で数人ずつ構想発表と中間発表を行う。

また、学期末にプレゼンテーションの原稿をレポートとしてまとめ、提出してもらう。

課題へのフィードバックを学習支援システムを通して行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	春学期の復習
2	Unit 7: Changing Forms of Celebrity in Japan	スピーキング、リーディング、構想発表
3	Unit 7: Changing Forms of Celebrity in Japan	リスニング、ライティング、構想発表
4	Unit 8: Popular Culture and Food	スピーキング、リーディング、構想発表
5	Unit 8: Popular Culture and Food	リスニング、ライティング、構想発表

6	Unit 9: Cats and their Powerful Influence on Japanese Culture	スピーキング、リーディング、構想発表
7	Unit 9: Cats and their Powerful Influence on Japanese Culture	リスニング、ライティング、構想発表
8	Unit 10: Language and Japanese Media	スピーキング、リーディング、中間発表
9	Unit 10: Language and Japanese Media	リスニング、ライティング、中間発表
10	Unit 11: Human Rights and Japanese Pop Culture	スピーキング、リーディング、中間発表
11	Unit 11: Human Rights and Japanese Pop Culture	リスニング、ライティング、中間発表
12	Unit 12: Cuteness	スピーキング、リーディング、中間発表
13	Unit 12: Cuteness	リスニング、ライティング、中間発表
14	プレゼンテーション	最終発表 (1人ずつ)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

【予習】

1. リーディングの文章を読み、問題に答え、学習支援システムを通して提出する。(1回目の授業前)

2. リスニングの音声聞き、問題に答え、学習支援システムを通して提出する。(2回目の授業前)

3. プレゼンテーションの準備をする。(定期)

【復習】

1. テキストの内容、語彙・文法事項を確認する。

2. リスニングの音声聞き直す。

3. 作文の添削を確認する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Japanese Popular Culture in English: Discussions and Critical Thinking (Robert Sheridan 他、南雲堂、2023年、2,530円)

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

期末レポート25%

プレゼンテーション25%

平常点 (予習、作文、受講態度) 50%

欠席が4回以上の場合は、原則として単位取得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックはできません。

【学生が準備すべき機器他】

辞書 (電子辞書可)。

プレゼンテーションではパワーポイントを使用する。

学習支援システムを使用する。スマホ、ノートパソコン、タブレット等、授業中に学習支援システムに接続できる機器の持参を奨励する。

【その他の重要事項】

生成AIの部分的な使用 (例えば、英語での言い方を調べる) は禁止しないが、使用した場合はどこに用いたのかを必ず申告すること。また、その結果が信用できるものなのかを必ず検証し、検証の過程と結果についても申告すること。

レポートや作文をすべて生成AIによって作成することは禁止する。生成AIが作成したものを自らの成果としてそのまま提出した場合は単位の取得を認めない。また、使用が疑われる場合は能力を測定するための試験を実施する。

【Outline (in English)】

Through discussing Japanese Popular culture in English, students will deepen their understanding about Japanese culture in a global context, while improving their skills to communicate in English.

The goals of this course are to acquire skills for expressing ideas in English and improve ability for getting information in English.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend an hour to complete the required assignments.

Grading will be decided based on a term-end essay (25%), presentations (25%), and in class contribution including assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で考える日本の論点: Japan's Dilemmas and Solutions

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今日の日本の論点に関する記事を通して現代日本に関する表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

テキストを辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からはhoppiiを通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1の小テストとChapter2の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	UChapter3&4	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4の小テストとChapter5の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5の小テストとChapter6の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところが適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

“Japan’s Dilemmas and Solutions - 15 Topics You Need to Consider”

『考えよう日本の論点15』

James M.Vardaman 鎌田明子 岡田大樹 小林亮一郎編著

音羽書房鶴見書店

2023年発行

2000円+税

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

授業中の問題演習等30%

各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本の論点: Japan's Dilemmas and Solutions

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストを通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppel を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Chapter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところが適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

“Japan’s Dilemmas and Solutions - 15 Topics You Need to Consider”

『考えよう日本の論点15』

James M.Vardaman 鎌田明子 岡田大樹 小林亮一郎編著

音羽書房鶴見書店

2023年発行

2000円+税

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs and English-language News Media

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds on skills gained from English 1&2 and aims at further enhancing students' English language proficiency (including reading, listening, writing, and speaking skills) to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss own ideas.

【到達目標】

The course's aim is to further develop linguistic skills (including reading, listening, writing, and speaking skills) that students have acquired in previous English language courses. Students will read texts on current affairs and listen to real-world people present ideas about various issues, and they will improve their English fluency by engaging with and actively discussing these contents. Students will learn new key vocabulary, phrases, and grammar structures that they then shall actively employ to articulate own thoughts both verbally and in writing. Students shall also become proficient in identifying sources and accessing authentic English language content, and in examining information critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach. Video presentations will be used, and importance will be given to listening and reading tasks to introduce themes, vocabulary and structures, but the main focus lies on production, i.e. spoken communication and written reflection. Students will work individually, and with a partner and in small groups. They will rehearse dialogues, give small-group and individual presentations, and write short compositions. Exercises will be done in class and as homework. There will be several short quizzes during the semester. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	Overview of the course, explanation of course requirements
2	Making a Difference	Collocations to describe giving help, inspiring dreams
3	Making a Difference	Talking about present actions, Reading - Food rescue mission
4	Making a Difference	Presentation Skills - Helping your audience visualize, Writing about someone who has made a difference in your life
5	Short presentations	Students prepare and deliver short presentations related to the topics covered in the first four weeks.
6	Transportation Solutions	Transportation collocations - An unusual commute
7	Transportation Solutions	Will and might - Grammar Review, Reading - Unique Commutes
8	Transportation Solutions	Presentation Skills - Signposting, Writing - Reflecting on the impact of transportation on daily life
9	Short Presentations Session 2	Students prepare and deliver short presentations related to the topics covered in weeks 6-8.
10	Clear Communication	Communication collocations, talking about communication preferences

11	Clear Communication	Grammar Review: Verb patterns with -ing and infinitive, Reading - Talk Nerdy to Me
12	Clear Communication	Presentation Skills - Engaging with your audience, Writing about a topic of interest
13	Review	Review of key concepts and language points
14	Final Examination and Review	Comprehensive examination covering material from Term 1, Feedback and discussion about progress

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. — University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke, Paul Dummett, Lewis Lansford, Helen Stephenson. Keynote 3 Student Book, Cengage Learning. 978-1-305-96505-8

【参考書】

Students are encouraged to make active use of Hosei library resources, get free subscriptions for English language newspapers (Wall Street Journal or Financial Times), and explore English language databases, electronic and print journals available through Hosei library.

<https://opac.lib.hosei.ac.jp>

<https://partner.wsj.com/enter-redemption-code/HOSEYB2TAKRR>

<http://ft.com/hosei>

Nonpaywalled online news/journalism:

<https://www.bbc.com>

<https://edition.cnn.com>

<https://www.npr.org>

<https://www.aljazeera.com>

<https://www.democracynow.org>

<https://jacobin.com>

Free online dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities and homework (30%), quizzes (30%), and presentations (40%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course is taught by the instructor for the first time. Changes in some of the course contents and the pacing of contents may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

【学生が準備すべき機器他】

Students should check Hoppii for Google Classroom codes.

【その他の重要事項】

The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course's aim is to further develop linguistic skills that students have acquired in previous English language courses. Students will read texts on current affairs and listen to real-world people present ideas about various issues, and they will improve their English fluency by engaging with and actively discussing these contents. Students will learn new key vocabulary, phrases, and grammar structures that they then shall actively employ to articulate own thoughts both verbally and in writing. Students shall also become proficient in identifying sources and accessing authentic English language content, and in examining information critically.

Outside of class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading will be based on participation in class activities and homework (30%), quizzes (30%), and presentations (40%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Affairs and English-Language News Media

ROBIN F WEICHERT

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3 builds on skills gained from English 1&2 and aims at further enhancing students' English language proficiency (including reading, listening, writing, and speaking skills) to enable them to access and work with authentic language materials, and articulate, efficiently communicate, and discuss own ideas.

【到達目標】

The course's aim is to further develop linguistic skills (including reading, listening, writing, and speaking skills) that students have acquired in previous English language courses. Students will read texts on current affairs and listen to real-world people present ideas about various issues, and they will improve their English fluency by engaging with and actively discussing these contents. Students will learn new key vocabulary, phrases, and grammar structures that they then shall actively employ to articulate own thoughts both verbally and in writing. Students shall also become proficient in identifying sources and accessing authentic English language content, and in examining information critically.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course takes a learner-centered approach. Video presentations will be used, and importance will be given to listening and reading tasks to introduce themes, vocabulary and structures, but the main focus lies on production, i.e. spoken communication and written reflection. Students will work individually, and with a partner and in small groups. They will rehearse dialogues, give small-group and individual presentations, and write short compositions. Exercises will be done in class and as homework. There will be several short quizzes during the semester. Feedback on presentations, assignments and quizzes will be provided at the beginning or the end of each class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductory session	Recap of Term 1, Overview of Term 2, Introduction to new units
2	Identity	Vocabulary: Identity-related words, talking about ongoing actions and events
3	Identity	Grammar Review: Present perfect progressive, Reading - Global Migration: Where is Home?
4	Identity	Presentation Skills - Using stories to personalize your message, Writing about factors that contribute to one's identity
5	Short presentations	Students prepare and deliver short presentations related to the topics covered in the first four weeks.
6	Designing the Web	Vocabulary: Website features, comparing products and services, Speaking: Making decisions based on user reviews
7	Designing the Web	Grammar Review: Comparatives and superlatives, verb patterns with -ing and infinitive, Reading - Website design on a giant scale
8	Designing the Web	Presentation Skills - Asking the audience questions, Writing a review of your cell phone

9	Short Presentations Session 2	Students prepare and deliver short presentations related to the topics covered in weeks 6-8.
10	Community Builders	Vocabulary: Words for talking about communities, Talking about how places have changed
11	Community Builders	Grammar Review: The passive voice, Reading - Barefoot College
12	Community Builders	Presentation Skills - Ending with a hope for the future, Writing a letter about improving your neighborhood
13	Review	Review of key concepts and language points
14	Final Examination and Review	Comprehensive examination covering material from Term 2, Feedback and discussion about progress

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. — University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

David Bohlke, Paul Dummett, Lewis Lansford, Helen Stephenson. Keynote 3 Student Book, Cengage Learning. 978-1-305-96505-8

【参考書】

Students are encouraged to make active use of Hosei library resources, get free subscriptions for English language newspapers (Wall Street Journal or Financial Times), and explore English language databases, electronic and print journals available through Hosei library.

<https://opac.lib.hosei.ac.jp>

<https://partner.wsj.com/enter-redemption-code/HOSEYB2TAKRR>

<http://ft.com/hosei>

Nonpaywalled online news/journalism:

<https://www.bbc.com>

<https://edition.cnn.com>

<https://www.npr.org>

<https://www.aljazeera.com>

<https://www.democracynow.org>

Free online dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities and homework (30%), quizzes (30%), and presentations (40%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course is taught by the instructor for the first time. Changes in some of the course contents and the pacing of contents may occur depending on students' abilities. The instructor is always happy to receive feedback from students.

【学生が準備すべき機器他】

Students should check Hoppii for Google Classroom codes.

【その他の重要事項】

The instructor may modify some of the course topics and the pacing of contents according to students' needs and interests.

【Outline (in English)】

This course is designed for students to practice and develop listening, speaking, reading, and writing skills. Students will study texts of diverse content, articulate own ideas and give short presentations.

The course aims at improving students' overall ability to access various contents and to communicate in English. Students will learn to express themselves idiomatically in a range of situations regularly encountered in everyday and academic life. They will acquire speaking and writing skills in order to become able to describe experiences and events and give reasons and explanations for opinions and plans. In class, students are expected to review lessons and vocabulary, prepare short presentations, and complete writing assignments. The required study time is at least one hour for each class meeting. Grading will be based on participation in class activities and homework (30%), quizzes (30%), and presentations (40%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Introductions HW/L1	Getting started
2	2. Tips on effective presentations HW/L2	Presentation DVD. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
3	3. Choose presentation topics HW/L3	Scheduling presentations. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
4	4. Japan's territorial disputes HW/L4	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
5	5. Nuclear power issue HW/L5	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
6	6. Climate change HW/L6	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
7	7. Women's rights HW/L7	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
8	8. Aging society HW/L8	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
9	9. Refugee problem HW/L9	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
10	10. Immigration/migration HW/L10	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
11	11. Problems of EU HW/L11	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
12	12. Threats to world peace/N. Korea issue HW/L12	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
13	Threats to world peace/Nuclear weapons. HW/None	Student presentations and discussion. Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills
14	Review	Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick. They can also download these files from their email accounts or dropbox.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：International Relations/Global Issues

コートランド・デイビッド・スミス

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Welcome to this class. This course will integrate all language skill areas; listening and reading will be used to familiarize students with the content of global issue topics, speaking and writing will be employed to enable students to organize content, their ideas and opinions and communicate these to other members of the class; providing the basis for discussion and debate during class sessions.

【到達目標】

The goal of this course is to enable students to learn about various social and cultural practices from around the world. Students should be able to contextualize their own culture within diverse cultural frameworks. Through the use of various authentic materials offered in English, students should learn how to think critically about the important issues that surround them today, and develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions. Furthermore, this course should enable students to further develop their English proficiency by drawing on the skills they have learned in English 1&2. To achieve this goal, all four language skills of reading, writing, speaking and listening will be integrated into the curriculum.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Weekly listening homework will be assigned. This involves listening to a recording, and completing a transcript of its content. In class, students will review the listening assignments, do a pair-work dictation exercise and briefly review vocabulary and grammatical structures contained therein, and ask and answer questions relating to the assignment. Grammatical accuracy, vocabulary expansion, improvement of fluency and pronunciation are the objectives of homework assignments.

Students will perform multimedia presentations individually or in groups on a variety of global issues topics. The content of these presentations will provide the basis for subsequent debate and discussion. The focus of these presentations will be finding solutions to the problems or conflicts presented. Students viewing presentations will be required to complete an information form, noting the key points included in each presentation. Selected members of the class will also evaluate the presentations, providing written feedback to presenters so they may improve their delivery technique. Instructor will also provide feedback to students in class and by email.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	1. Summer vacation/choose presentation topics HW/L13	Getting started. Students choose topics and schedule their presentations.
2	2. Japan/China relations HW/L14	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
3	3. Food safety/GMO foods HW/L15	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
4	4. US military in Japan HW/L16	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
5	5. Religious extremism HW/L17	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
6	6. Globalization/free trade HW/L18	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
7	7. Death penalty HW/L19	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
8	8. Japan economic problems/debt HW/L20	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
9	9. Illegal drugs/legalization HW/L21	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
10	10. Smartphones/social networking dangers-health and mental illness risk HW/L22	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
11	11. Globalization/social and economic inequality HW/L23	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
12	12. Cultural/linguistic uniformity vs diversity HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
13	13. Automation/robotization and structural unemployment HW/none	Review homework, writing activity, vocabulary and grammar practice/drills.
14	14. Review/summary	Finish the term. Review and evaluation.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcription sheet. In addition, students will research a variety of topics and selected students will prepare and perform multimedia presentations on a similar topic each week. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook for this class. Instructor will distribute handouts for listening homework each week.

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:

www.bbc.co.uk/learningenglish/ www.ted.com www.npr.com
www.rt.com/documentary and English Wikipedia. The homework listening recordings can be streamed or downloaded from <http://groups.yahoo.com/group/aief56/> Students will have to create a yahoo.com email address, join the group, and download the mp3 recordings from 'files' labeled 'NT2 Listening'.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on three criteria: Class participation, 25%; Presentations, 50%; Tests, quizzes, written work, 25%. Unexplained/unjustified absences exceeding three class sessions may disqualify students from obtaining credit for the course. Lateness exceeding 15 minutes without justification will count as one-third absence.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【Outline (in English)】

Most class activities will consist of reading and writing, grammar drills, delivering presentations and discussion.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Introduction to British life & culture

吉川 直澄

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 1とEnglish 2で身につけた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈の中で相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、いくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画や英語吹き替え版のアニメ映画を視聴し、顕著で大きな文化的な差異、微妙で小さな差異に注目し、可能であれば質疑応答を行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語吹き替え版の日本製アニメを見ながら、異文化コミュニケーションにおいて、起こり得る問題への解決のヒントを学ぶことができる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド（資料型）を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から（匿名で）実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス／課題の提示	授業テーマの確認と授業方法の説明を行い、第1回課題を提示します。
第2回	Unit 1. A Fortunate Accident	前回のフィードバック・課題レポートの指示：コミュニケーションにおいてどんなことが「アイス・ブレイカー」となるのか学習します。

第3回	Unit 2. Britain's Best Ride	前回のフィードバック・課題レポートの指示：ロンドン名物の旧式ダブルデッカー「ルートマスター」について調べてみましょう。
第4回	Unit 3. The Meaning of Bond	前回のフィードバック・課題レポートの指示：文化的アイコンとしてのジェイムズ・ボンドの役割を考えます。
第5回	Unit 4. The Changing High Street	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英の商店街の盛衰を比較します。チャリティーショップについて調べてみましょう。
第6回	Unit 5. Mild and Cloudy with a Chance of Rain	前回のフィードバック・課題レポートの指示：イギリスの天気に関するステレオタイプを考察します。
第7回	マンガ・アニメの中のイギリス	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の理解と分析、英訳されたコンテンツ（『黒執事』・『魔法使いの嫁』・『絢爛たるグラウンドセース』）の中で描かれるイギリス像を考察します。但しインターネット上のコンテンツの状況により教材を変更せざる得ない場合があります。
第8回	Unit 6. Expressive Expressions	前回のフィードバック・課題レポートの指示：日英のイディオムを比較します。
第9回	Unit 7. A Woman of Some Importance	前回のフィードバック・課題レポートの指示：現国王チャールズ三世の母、エリザベス二世の文化的アイコンとしての役割と今後のイギリス王室のあり方について考えます。
第10回	Unit 8. Shakespeare Lives On	前回のフィードバック・課題レポートの指示：シェークスピアが英語の日常表現に与えた影響について、さらに現代の文化産業としてのシェークスピアの意義について調べてみましょう。
第11回	マンガとマイノリティ	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語資料の精読と理解、マイノリティの生活史を描いたマンガ『ゴールデンカムイ』を取り上げ、アイヌ工芸作家の貝沢徹氏の大英博物館「マンガ展」のためのこの作品の推薦文とドキュメンタリー映画『Future is Mine:アイヌ、私の声』（2020）と共に考察します。
第12回	アニメとシンパシーとエンパシー	前回のフィードバック・課題レポートの指示：英語吹き替え版のアニメーション映画『聲の形』（A Silent Voice）をアメリカ映画Coda（2022）と比較しながら考察します。
第13回	復習課題と学期末課題レポートの説明	前回のフィードバック・課題レポートの指示：これまでの課題の復習・まとめを行い、学期末レポート課題の説明をします。
第14回	学期末文法・語彙確認テスト／学期末レポートの提示／まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示し、提出期限をお知らせします。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト（教科書）】

Realise Britain, Colin Joyce, 金星堂, 2014年, 1800円, ISBN978-4-7647-3982-6.

【参考書】

Nicole Coolidge Rousmaiere, (2019) Manga マンガ, London: Thames & Hudson. ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題の提出(30%)と学期末に行う文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価します。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートの提出期限は翌週の授業日までとします。総合評価には授業への出席・積極的な参加と貢献も含まれます。授業の欠席が4回以上ある方、未提出課題が5回以上になった方は原則として単位習得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【学生が準備すべき機器他】

この授業は「学習支援システム」を使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Manga' and 'Anime'.
4. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Introduction to British life & culture

吉川 直澄

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 1とEnglish 2で身につけた読む、書く、聞く、話すという四技能の英語運用能力を用いて、English 3では、国際語としての英語を通じて、世界の多様な文化を理解・尊重し、自らの文化を世界的な文脈のなかで相対化する能力や多様なテーマの英語資料を理解し、批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を学習目標とします。本授業では、こうした作業を行いながら、EU離脱以降のイギリスを巡るいくつかのキーワードを探求し、日本とイギリスの現代社会における文化的アイコンと政治・経済の関係について考えてみようと思います。教科書に加えて論文の抜粋を読み、イギリス映画を視聴し、可能であれば質疑応答・ディスカッションを行うことで、上記の技能を向上させることを目指します。

【到達目標】

受講生は、英語の文章を、構文・語彙を理解して正確に読めるようになる。英語の文章をある程度の速度を持って読み、目的とする情報を読み取ることができるようになる。専門知識を要さない英米映画であれば、字幕なしでも重要な情報を聞き取り、それなりに楽しむことができるようになる。英語のリスニングに慣れ、リスニング学習の習慣を身につけることができる。文法的に正確で、形式の整った英文パラグラフを書けるようになる。英語である程度まとまった自分の意見を表明できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は指示や課題を「学習支援システム」で配信するオンデマンド(資料型)を使用しつつ、対面授業を行う予定です。基本的には、教科書を使用する課題演習を行います。また、英語文献・資料等の抜粋を読む回とインターネット等で調べて論評してもらう回があります。学期末には、1つのテーマについてレポートを提出してもらいます。課題の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行います。フィードバックは提出された課題レポートの中から(匿名で)実例を挙げ、問題点を指摘し、全体に対して行います。各授業では、授業の前半は教科書、後半はDVDを使用した演習を行う予定です。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	学期末レポート課題のフィードバックと第1回レポート課題の指示	春学期の学期末レポート課題の全体に対するフィードバックを行い、問題点があれば指摘し、解説します。第1回レポート課題を指示します。
第2回	Unit 9. British Food: Better Than Awful	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代のイギリスの食文化について学びます。日本の食文化と比較した時、何が見えてくるでしょうか。

第3回	Unit 10. A Complicated Country	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリスの正式の国名や国歌について学びます。
第4回	Unit 11. The Quite Fab Four	前回のフィードバック・レポート課題の指示: ビートルズについて調べてみましょう。
第5回	Unit 12. A Vulgar Custom	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 現代イギリスの若者文化と入れ墨の普及について考えます。
第6回	The Establishment: The Boys in Blue	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、オーウェン・ジョーンズの著作 The Establishment (2015) の抜粋を読み、炭鉱労働者ストライキを背景とするイギリス映画『リトル・ダンサー』(2000)を鑑賞し、警察とエスタブリッシュメントの関係を考察します。
第7回	The Establishment: Scrounging off the State	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として公共サービス民営化やゼロ時間契約を描いたイギリス映画『家族を想うとき』(2019)を鑑賞します。
第8回	The Establishment: Foreword to the Paperback Edition	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 精読、引き続きオーウェン・ジョーンズの著作の抜粋を読みます。資料として移民問題を扱った2つのイギリス映画『ベッカムに恋して』(2002)と『エンパイア・オブ・ライト』(2022)を鑑賞します。
第9回	Unit 13. The "Invention" of Sport	前回のフィードバック・レポート課題の指示: イギリス発祥のスポーツについて調べてみましょう。
第10回	Unit 14 Changing Classes	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 階級制度について学びます。
第11回	Unit 15 The Little Plane That "Won" the War	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 文化的アイコンとしてのスピットファイアについて考察します。バトルオブブリテンについて調べてみましょう。
第12回	Film as a complex site of cultural representation	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書でこれまで議論されてきた様々な論点と本講義で取り上げたイギリス映画との関連性について考察します。
第13回	復習とまとめ、学期末レポート課題の説明	前回のフィードバック・レポート課題の指示: 教科書のまとめと第13回レポート課題の指示、それから学期末レポート課題の説明をします。
第14回	学期末文法・語彙確認テスト/学期末レポートの提示/まとめと解説	学期末文法・語彙確認テストを実施し、学期末レポート課題を提示します。提出期限を指示します。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

予習と復習。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。教科書を何度も音読すること。教科書と同様に英語のプリントもよく予習しておいてください。英語の専用ノートを作成し、表現や語彙を書き出し必ず例文も記入しておいてください。

【テキスト(教科書)】

春学期のテキストを引き続き使用します。

【参考書】

Owen, Jones. *The Establishment*, London: Penguin (2015).
Oakland, John. *British Civilization an Introduction*, Routledge (2020).ただし購入する必要はありません。

【成績評価の方法と基準】

全13回の課題レポートの提出(45%)、三段階評価する学期末レポート課題(30%)と学期末に実施する文法・語彙確認テスト(25%)を総合して評価を行います。成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。毎回の課題レポートを提出していれば、問題はないと思いますが、欠席が4回以上ある場合、5回以上未提出課題がある場合は、原則として、単位習得の資格を失います。勿論、秋学期の学習内容を総括する学期末レポート課題の提出もお忘れなく。

【学生の意見等からの気づき】

学生の皆さんの期待に沿えるように努力します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The aims of this course are:

1. To encourage students to further develop their English proficiency by drawing on what they have learned in English 1 and English 2.
2. To train students to learn how to think critically by examining closely various authentic materials offered in English, and thus to develop the ability to effectively express their own thoughts and opinions.
3. To introduce students to the connections between cultural icons and their social, economic and political context, focusing on specific keywords like 'Post-Brexit' and 'the Establishment'.
4. To help students to get access to interpretations of contemporary social and cultural issues and events through training their skills in linguistic and cultural competencies as well as stimulating the imagination.
5. To provide students with an opportunity to participate in discussion, improving their presentational skills on a group or individual basis.

(Learning Objective)

By the end of the course, students will be able to:

- acquire their basic skills and strategies for reading passages with accuracy.
- improve their reading speed and accuracy.
- develop their listening skills for watching most of popular American and British movies without subtitles.
- reinforce their writing skills for organizing thoughts and opinions logically.

(Learning activities outside of classroom)

Students are expected to:

- spend at least one hour doing preparation and review of every course content.
- extend vocabulary more effectively by making their own vocabulary notebook.

(Grading Criteria/Policy)

Final grade will be calculated according to the following process:

13 weekly class assignments: 45%, final term assignment (Essay): 30%, and final term test: 25%.

Students will not be able to pass this course if they miss submitting more than 4 weekly class assignments except in extreme circumstances.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit後も英語はEUの重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBCなどの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Starting Off, Watching the News Moving On
3	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Moving On
4	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Starting Off, Watching the News
5	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Moving On
6	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Starting Off, Watching the News
7	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Starting Off, Watching the News

9	Review of the exam Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Review of the exam Moving On
10	Unit 6: Return of the Red Kites	Starting Off, Watching the News
11	Unit 6: Return of the Red Kites	Moving On
12	Unit 7: All Cars to Be Electric	Starting Off, Watching the News
13	Unit 7: All Cars to Be Electric	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25%

中間試験 35%

期末試験 40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria / Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25%

Mid-semester examination 35%

Final examination 40%

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit後も英語はEUの重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBCなどの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Starting Off, Watching the News
3	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Moving On
4	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Starting Off, Watching the News
5	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Moving On
6	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Starting Off, Watching the News
7	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 11: School Laptops for All	Starting Off, Watching the News
9	Review of the exam	Review of the exam
	Unit 11: School Laptops for All	Moving On

10	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Starting Off, Watching the News
11	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Moving On
12	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Starting Off, Watching the News
13	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25%

中間試験 35%

期末試験 40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25%

Mid-semester examination 35%

Final examination 40%

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることができる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
- 2) 発表（プレゼンテーション練習）
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous

Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs
Week 4	TED Talk about protecting vultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?
Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations and discussions.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、English-English dictionaryも必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今まで皆さんが学んできた英語の「聞く」「読む」「書く」「話す」という4技能の能力をレベルアップすることによって、国際環境における知識の獲得や、各自の意見を英語で述べることのできる自信を身に付けることを目指します。

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

- 1) 様々なトピックに関するリーディング、リスニング、スピーキングやライティングの練習を通じて、自分の意見を英語で自在に表現できる
- 2) 発表の練習を通じて、プレゼンテーションスキルや英語能力を身に付ける
- 3) ディスカッション、ペアワーク、グループワークなどで英語のコミュニケーション能力や自由考察を高める

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group&pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1) ペアワーク、会話、グループワーク、グループディスカッション（スピーキング練習）
- 2) 発表（プレゼンテーション練習）
- 3) リーディング、リスニング、ライティング、自由考察の練習
課題に対する説明やコメント等は授業の最後に行います。そこでは受講生からの質問も受け付けます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review

Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature
Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting
Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Topic: Reading and presenting a book (English/American/World literature); Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music affects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 (Book presentation)
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
その他の参考書については授業中に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

積極的な授業への参加が期待される。また、発表、宿題、最終テストなどを勘案して成績を評価する。なお、4回以上欠席した場合は、原則として単位の取得を認めない。

Students are expected to actively participate in class, prepare short presentations, complete writing assignments and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

(In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course)

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course. (特になし)

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- 指定の教科書
- 授業内容を見返すためのノート
- 辞書／電子辞書

(英和・和英辞典の他に、**English-English dictionary**も必要。【参考書】に記載されたホームページをご参考ください。)

【その他の重要事項】

授業を登録した学生の英語レベルに応じて実際の授業内容はシラバスの内容と異なることもある。

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行いません。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行いません。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。効果的なプレゼンテーションになるよう工夫したり、根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明
2回目	家族①	<i>The New York Times</i> ビデオクリップとスクリプト
3回目	家族②	Lesson 12: Good Question
4回目	家族③	関連資料、ディスカッション
5回目	銃規制①	Lesson 11: "Don't Shoot"
6回目	銃規制②	<i>The Japan Times</i> 記事
7回目	銃規制③	関連資料、ライティング
8回目	新聞・雑誌記事	各自が探した記事の提出、内容確認、プレゼン準備
9回目	食生活、健康①	Lesson 2: A Spreading Problem
10回目	食生活、健康②	TED ビデオクリップとスクリプト
11回目	記事のプレゼンテーション(1-8)	クラスメートへのフィードバック（プレゼン方法と記事内容）
12回目	記事のプレゼンテーション(9-17)	振り返り、クラスメートへのフィードバック
13回目	記事のプレゼンテーション(18-24)	クラスメートへのフィードバック、効果的な英語プレゼンのまとめ
14回目	食生活、健康③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、各自が関心のある記事を探して読み、提出課題を作成します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（35%）、課題提出と毎週の小テスト（35%）、プレゼンテーション関連（30%）。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったので、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will search independently for an interesting article on a current topic in American life found in English newspapers and magazines and then will give a presentation on it. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35%), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカの文化と社会から考える

利根川 真紀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4技能の英語運用能力を用いて、アメリカ文化や社会について書かれたり話されたりした情報を理解し、様々な角度から考察し、また自らの意見を発信する練習を行ないます。さらに、雑誌や新聞の記事やビデオクリップなどのインターネット上の情報を利用することにより、身の回りにある教科書でない英語にもなるべく多く触れるようにしていきます。

【到達目標】

- 1 アクセントや発音にも注意を払いつつ、語彙力を高める
- 2 英語で発信された情報を理解する
- 3 自分の意見を英語で表現できるようにする
- 4 アメリカ文化・社会についての知識を身につける

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

パワーポイントを適宜利用し、予習してわからなかった部分の解説をするほか、ペアワークやグループワークも取り入れて、内容理解の確認や英語表現の練習を行ないます。英語の発音やアクセントにも注意を払うことによって、リスニングやスピーキングの力も同時につけていきます。根拠を示して意見を述べるライティングの力もつけていきます。なお、春学期の終わりに詳しく説明しますが、夏休み中に洋書を一冊読んでおいてください。秋学期の授業で、読んだ本について各自がプレゼンテーションを行ないます。授業の初めに、前回授業で提出された小テストにフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	イントロダクション	授業内容・進め方の説明、効果的なプレゼンテーションの準備
2回目	裁判制度 ①	Lesson 14: And Justice for All
3回目	裁判制度 ②	The New York Times 記事
4回目	裁判制度 ③	関連資料、ディスカッション
5回目	ブック・パッセージ	パッセージの提出、内容確認、プレゼン練習
6回目	移民、人種、ホリデイ ①	Lesson 3: Juneteenth
7回目	移民、人種、ホリデイ ②	Lesson 7: Illegal
8回目	移民、人種、ホリデイ ③	関連資料、ライティング
9回目	ブック・プレゼンテーション(1~8)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとクラスメートへのレスポンス
10回目	ブック・プレゼンテーション(9~17)	振り返り、夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス
11回目	ブック・プレゼンテーション(18~24)	夏休みに読んだ洋書のプレゼンとレスポンス、効果的なプレゼンのまとめ
12回目	環境問題、地域的多様性 ①	Lesson 6: A New York State of Mind

13回目	環境問題、地域的多様性 ②	TED ビデオクリップとスクリプト
14回目	環境問題、地域的多様性 ③	関連資料、リスニング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業は予習を前提に進みますので、予習として、本文を少なくとも3回は音読し、わからない単語は調べ、段落ごとに1行程度に要約し、練習問題を解きます。また、各レッスン（記事）から内容的に一番印象に残る1文、英語として一番難しい1文をそれぞれ選んでから、授業に出席するようにします。復習に関しては、翌週の授業開始時のチェックに備えて取り組みます。プレゼンテーションに向けて、クラスメートが選んだパッセージにもすべて目を通して課題を提出します。

【テキスト（教科書）】

『U.S.A. Update (いま、アメリカを読む)』、Jim Knudsen 著、南雲堂

【参考書】

辞書等は初回の授業で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み (35%)、課題提出と毎週の小テスト (35%)、プレゼンテーション関連 (30%)。欠席が4回以上になると、原則として単位修得の資格を失います。遅刻・早退は減点の対象とします。

【学生の意見等からの気づき】

授業開始時の復習チェックにより語彙が定着したという意見が多かったため、続ける予定です。

【Outline (in English)】

This course aims to introduce various aspects of American society and its culture while using and improving 4 skills of English, reading, writing, listening and speaking. Through pair work practices and group activities, the course will help students to expand their active vocabulary and get used to expressing their opinions in written and spoken English and responding to others. In addition to studying the textbook, students will also familiarize themselves with authentic materials offered in English. Besides, each student will give a 5-minute presentation on an English book of his or her own choice. Students' required study time for each class meeting is at least one hour. Grading will be based on class participation (35%), assignments & weekly quizzes (35%), presentations (30%). In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for students to receive an academic credit for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 日本独自の文化: Japanese unique culture

吉江 秀和

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本の文化に関するさまざまなトピックを扱った『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1とEnglish 2で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し読み聞いたり音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらい作業してもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	予習のやり方や授業の進め方など、授業を受けるうえでの注意点の説明をします。
2	Chapter 1	ガチャと畳の奇妙な関係
3	Chapter 2	日本の食品サンプルとお箸が海外で人気
4	Chapter 3	浴衣と着物の決定的な違いは何?

5	英文講読①	日本に関する英文の講読、リスニング①
6	英文講読②	日本に関する英文の講読、リスニング②
7	プレゼンテーション	Chapter 1~Chapter 3に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 4	ご祝儀袋についているあのマークを英語で説明できますか? 家紋と着物がかかえる裏事情
9	Chapter 5	国が違えばムシの事情も変わります
10	Chapter 6	
11	Chapter 7	日本と西洋、それぞれの犬猫事情
12	英文講読③	日本に関する英文の講読、リスニング③
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 4~Chapter 7に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

堀口 誠信/ランス キタ『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』開文社出版、2022年、1,900円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み (20%)とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング (40%)、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が4回以上の場合には原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください (欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多くなればその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります)。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かったりするものを用意してください (主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです)。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Exploring Japanese Culture through English”, which consists of 15 topics about Japan culture, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 日本独自の文化: Japanese unique culture

吉江 秀和

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本の文化に関するさまざまなトピックを扱った『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』を中心とした英文の精読と、内容に関連する問題を解くことで、English 1とEnglish 2で学んだ、「読む」「書く」「聞く」「話す」の4技能の能力を包括的に高めていきます。その際に、構文を意識したより正確な英文読解力を身につけていくことを軸とし、その読解で得た情報を批判的に考察し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英語で発信する土台を構築していきます。

【到達目標】

テキストなどの読解や問題を通じて以下のことを目標とする。

- ①英文を読む際に構文を意識して一文ずつ丁寧に読むことを身につける。
- ②英文を確実に理解するための語彙や表現を覚えて、文法事項の理解を深める。
- ③テキストなどの英文を繰り返し読み音読したりすることにより、英語のリスニング力やスピーキング力を鍛えていく。
- ④テキストの問題を活用しながら、トピックに関する自分の意見を英語で書く力を鍛えていく。
- ⑤自分の意見を英語で他者に伝え、聞き手はその意見を聞き取る能力をつけていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』を事前に精読し、その内容に関連するテキストの問題を解いてきてもらいます。その際に、文章理解の正確性を高めるために構文を意識してもらい作業してもらいます。授業では、構文や英文内容理解の確認とともに、テキストの問題の答え合わせを指名しながらおこないます。テキスト内容の解説・確認の終了後、説明した内容を中心に作成した確認テストをおこないます。また、授業内で扱ってきたトピックから選択し、テキストの問題を活用しながら自分の意見を英文でまとめたものでプレゼンテーションをおこないます。聞き手には、各発表者の発言の聞き取りをおこないます。

授業の進め方などについての質問や意見を学期内で数回配布するリアクションペーパーに書いてもらい、回収後にそれらのコメントへの返答をおこないます。各チャプターの確認テスト等のフィードバックはテスト返却時におこないます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 8	土用の丑の日に赤や緑のウナギはいかが?
2	Chapter 9	笹の葉さらさら・・・は日本だけ
3	Chapter 10	月見に欠かせないススキは英語で何と言う?
4	Chapter 11	七五三と称して3回も祝ってもらえる日本の子供

5	英文講読①	日本に関する英文の講読、リスニング①
6	英文講読②	日本に関する英文の講読、リスニング②
7	プレゼンテーション	Chapter 8~Chapter 11に関連するトピックによるプレゼンテーション
8	Chapter 12	日本の成人式はどこが独特なのか説明できますか?
9	Chapter 13	クリスマス・バレンタインデー・ハロウィンの仕掛け人
10	Chapter 14	日本の宗教と儒教の「道」
11	Chapter 15	日本語話者の人口は以外にも世界で第〇位
12	英文講読③	日本に関する英文の講読、リスニング③
13	期末試験・まとめ	これまで学習してきた内容を期末試験で確認します。試験・まとめと解説
14	プレゼンテーション	Chapter 12~Chapter 15に関連するトピックによるプレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

必ず予習をおこなってください。予習のやり方については最初の授業で説明します。英文を単に訳すのではなく構文の読み取りを意識しておこない、授業中に発問された際に、できる限りスムーズに答えられるように準備をしてきてください。また、授業内では単なる英語に関する発問だけでなく、テキスト内容に関する追加的な発問もおこないますので、内容に関連する用語や背景などを自分で調べてきてください。授業中におこなうプレゼンテーションのためにもテキストの英文のリスニングや音読を普段からおこなうことを心がけてください。

英文や言及していることについて予習の段階でわからないところがあるのは仕方ありませんが、それらも解決の糸口だけでも見つけられるように努力をしてください。その予習の状況も踏まえて平常点が付けられます。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

堀口誠信/ランス キタ『英語でニッポン再発見 Exploring Japanese Culture through English』開文社出版、2022年、1,900円+税

【参考書】

必要な際には授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

確認テストや予習の状況などで判断する授業への取り組み (20%)とライティングおよび記述したものを基にしたプレゼンテーションとそのリスニング (40%)、そして期末試験 (40%) から総合的に評価。欠席が4回以上の場合には原則として単位取得資格を失うため、欠席回数に注意してください (欠席回数が4回に満たなくても欠席回数が多い場合はその分、授業への取り組みの評価に影響します。また、予習が不十分であったり、授業への取り組みが芳しくなかったりする場合は、授業への出席とみなさない可能性があります)。また、期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失いますので注意願います。

【学生の意見等からの気づき】

構文や日本語訳などの確認についてはできる限り時間をかけておこなっていきます。

テキストの内容を理解するために、テキスト以外のものを参照する必要がある場合もあります。その際には、できる限りの情報を提示します。

予習をしてきていない学生の答えを待つと時間のロスが発生するため、そのような場合には当該学生の平常点を減点します。

【学生が準備すべき機器他】

辞書を必ず持参してください。その際には、インターネット辞書にあるような単語の意味を拾うだけのものではなく、例文が示されていたり、その単語がどのような文型や構文で使われるものなのかが分かっていたりするものを用意してください (主要な動詞がどの文型をとるのかが示されている『ジーニアス英和辞典』が望ましいです)。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期の両方を通年科目として履修することが望ましいです。

【Outline (in English)】

Through reading stories and doing exercises in the textbook “Exploring Japanese Culture through English”, which consists of 15 topics about Japan culture, students study how to read the sentences correctly, how to think about the topics critically and how to express their own opinions. When students read the sentences, they try to analyse sentence structures as precisely as possible. After completing each chapter, students have an achievement test on reading comprehension, English compositions and analysing the sentences in the chapter. During this term, students will have one or two presentations on the topics in the textbook. At the end of the course, students will be expected to improve their proficiency in reading, composition, speaking and listening, and to have a wider vocabulary of English. Students will be expected to spend at least 1 hour to prepare and review lessons. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end exam 40%, presentation and dictation 40%, exams for each unit and in-class contribution, 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本の論点: Japan's Dilemmas and Solutions

吉田 季実子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

今日の日本の論点に関する記事を通して現代日本に関する表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

テキストを辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からはhoppiiを通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	授業の進め方や評価についての説明
2	Chapter1	Chapter1の語彙と精読
3	Chapter1	精読の続きと章末の問題
4	Chapter1&2	Chapter1の小テストとChapter2の語彙と精読
5	Chapter2	精読の続きと章末の問題
6	Chapter2&3	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
7	Chapter3	精読の続きと章末の問題
8	Chapter3&4	Chapter2の小テストとChapter3の語彙と精読
9	Chapter4	精読の続きと章末の問題
10	Chapter4&5	Chapter4の小テストとChapter5の語彙と精読
11	Chapter5	精読の続きと章末の問題
12	Chapter5&6	Chapter5の小テストとChapter6の語彙と精読
13	Chapter6	精読の続きと章末の問題
14	Chapter6	Chapter6の小テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところが適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

“Japan’s Dilemmas and Solutions - 15 Topics You Need to Consider”

『考えよう日本の論点15』

James M.Vardaman 鎌田明子 岡田大樹 小林亮一郎編著

音羽書房鶴見書店

2023年発行

2000円+税

【参考書】

指定なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト70%

授業中の問題演習等30%

各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students' views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本の論点: Japan's Dilemmas and Solutions

吉田 季実子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストを通して現代日本に関しての表現を学び、同時に英語の技能（Writing, Reading, Listening, Speaking）を伸ばすことを目標とする。

【到達目標】

英字紙の記事を辞書を引きながら精読し、内容を日本語で要約できるようにする。

現代日本の諸相に関する語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って語彙の確認と精読を行う。また章末の問題でリスニング、ライティングについても確認を行う。

精読や英文解釈については毎回授業内で都度確認、説明を行うので必ず予習をすること。

課題に関しても小テストとは別に提出を必要とする

フィードバックは授業内に行う

なお、感染症拡大の状況によってはオンライン授業、あるいはハイブリッド形式での授業とする可能性もあるので担当教員からは hoppel を通して随時連絡する予定

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter7	Chapter7 の語彙と精読
2	Chapter7	精読の続きと章末の問題
3	Chapter7&8	Chapter7 の小テストと Chapter8 の語彙と精読
4	Chapter8	精読の続きと章末の問題
5	chapter8&9	Chapter8 の小テストと Chapter9 の語彙と精読
6	Chapter9	精読の続きと章末の問題
7	Chapter9&10	Chapter9 の小テストと Chapter10 の語彙と精読
8	Chapter10	精読の続きと章末の問題
9	chapter10&11	Chapter10 の小テストと Chapter11 の語彙と精読
10	Chapter11	精読の続きと章末の問題
11	Chapter11&12	Chapter11 の小テストと Chapter12 の語彙と精読
12	Chapter12	精読の続きと章末の問題
13	Chapter12&13	Chapter12 の小テストと Chapter13 の語彙と精読
14	Chapter13	精読の続きと章末の問題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教材の予習のところが適宜指示に従って解き、新出単語の確認をすること。

小テストに向けての復習をすること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

“Japan’s Dilemmas and Solutions - 15 Topics You Need to Consider”

『考えよう日本の論点15』

James M.Vardaman 鎌田明子 岡田大樹 小林亮一郎編著

音羽書房鶴見書店

2023年発行

2000円+税

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

小テスト 70%

授業中の問題演習等 30%

各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

空調音響照明などの授業環境への配慮をする

題材に関連する事柄を適宜紹介する

【学生が準備すべき機器他】

辞書、オンライン授業実施時は対応機材

【Outline (in English)】

In this course, we will learn skills through text. The interesting topics will give you information about Japanese culture.

The goal of this course are to read, listen to, and summarize English articles, and speak and write the students’ views on the issues.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Short test 70%, in class contribution 15%, assignments 15%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む世界のニュース：World News in English

大和久 悌一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用い、読解・リスニング・ライティング・スピーキングの4技能の習熟を行う。またそれを通して海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

【到達目標】

- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語で自分の考えを表現できるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、テキストのリーディング・リスニングと、英語での質疑応答やディスカッションを行う。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	ガイダンス	授業の進め方等の確認。
第二回	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（リーディング及びリスニング）
第三回	Chapter 1	Chapter 1 Washoku on the rise 和食が人気に（テキストの問題解答、文法事項の確認）
第四回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッションistaに（テキストのリーディング及びリスニング）
第五回	Chapter 2	Chapter 2 Female android helps men become fashionistas 女性型アンドロイドが男性をファッションistaに（テキストの問題解答、文法事項の確認）

第六回 Chapter 3

Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（テキストのリーディング及びリスニング）

第七回 Chapter 3

Chapter 3 Quarter of high schoolers net-dependent: study 高校生の4分の1がネット依存（テキストの問題解答、文法事項の確認）

第八回 Chapter 4

Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（テキストのリーディング及びリスニング）

第九回 Chapter 4

Chapter 4 Japan local products 日本の地産品を世界へ（テキストの英作文問題解答）

第十回 Chapter 5

Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（テキストのリーディング及びリスニング）

第十一回 Chapter 5

Chapter 5 Hachiko finally reunited with master ついに飼い主に会えたハチ公（テキストについての英文要旨作成）

第十二回 Chapter 6

Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者のですり（テキストのリーディング及びリスニング）

第十三回 Chapter 6

Chapter 6 Hi-tech handrail aims to ease passage for the elderly 高齢者のですり（テキストについてのディスカッション）

第十四回 まとめ

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、講読を終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald著『NTV News24 English 一日レテNews24 Englishで考える日本事情』英宝社、2017年

【参考書】

例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）
英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）など）

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、期末試験40%で評価します。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion): 60%, Term-end exam : 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)
English 3 II 2017年度以降入学者
 サブタイトル：英語で読む世界のニュース：World News in English
 大和久 悌一郎
 開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5
 単位数：1単位
 その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語読解は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語読解能力の習得を目的として、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、ニュースを素材とした教科書を用い、読解・リスニング・ライティング・スピーキングの4技能の習熟を進める。またこれらを通して海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実を進めていきたい。

【到達目標】

- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる文法事項の基礎を理解する。
- ・TOEICレベルのリーディングで用いられる語彙の基礎を身につける。
- ・英語時事ニュースの要旨を把握できる、基礎力を身につける。
- ・英語で自分の考えを表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

日本のニュースについて英語で発信されたテキストを用いて、テキストのリーディング・リスニングと、英語での質疑応答やディスカッションを行う。基本的にテキスト1章分を2回の授業で扱う。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	Chapter 7	Chapter 7 26-year-old designs Honda's new sports car 26歳がスポーツカーをデザイン (テキストのリーディング及びリスニング)
第二回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト (テキストのリーディング及びリスニング)
第三回	Chapter 8	Chapter 8 Flight attendants compete to be Master of Hospitality 客室乗務員のおもてなしコンテスト (テキストの英作文問題解答)
第四回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット (テキストのリーディング及びリスニング)

第五回	Chapter 9	Chapter 9 Japan unveils rescue robot 日本の災害救助ロボット (テキストの英作文問題解答)
第六回	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会 (テキストのリーディング及びリスニング)
第七回	Chapter 10	Chapter 10 Japanese tea ceremony celebrates peace at UN 国連でお茶会 (テキストについてのディスカッション)
第八回	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト (テキストのリーディング及びリスニング)
第九回	Chapter 11	Chapter 11 Nation's workers to undergo stress tests 全国の労働者にストレステスト (テキストについてのグループ・ディスカッション)
第十回	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表 (テキストのリーディング及びリスニング)
第十一回	Chapter 12	Chapter 12 New high-rise to tower over 都心に新構想のビルの発表 (テキストについてのグループ・ディスカッション)
第十二回	Chapter 13	Chapter 13 Historic festival kicks off In Nagasaki 長崎のおくんち、始まる (テキストについてのグループ・ディスカッション)
第十三回	Chapter 14	Chapter 14 UN Women opens Japan office 国連女性事務所を東京に開設 (テキストについてのグループ・ディスカッション)
第十四回	まとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキスト内にある英文に事前に目を通し、知らない語彙等はあらかじめ調べておくこと。リスニング、リーディングを終えた後は、授業内で指定された語彙、表現等を復習しておき、後のパラグラフライティングで活用すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

津田晶子、金志佳代子、Kelly MacDonald著『NTV News24 English 一日テレNews24 Englishで考える日本事情』英宝社、2017年

【参考書】

例文の多い英和・和英辞典（『ジーニアス英和・和英辞典』（大修館）など）
 英英辞典（『ロングマン現代英英辞典』（OUP）など）

【成績評価の方法と基準】

平常点（出席・予習・小テスト等）60%、学期末試験40%で評価します。30分を過ぎた場合は遅刻とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting.
 [Learning activities outside of classroom] reading and listening textbook before and after class. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60%, Term-end exam : 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit後も英語はEUの重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBCなどの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Starting Off, Watching the News
3	Unit 1: An Award for an Unsung Hero	Moving On
4	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Starting Off, Watching the News
5	Unit 2: Treasures of the Society of Antiquaries	Moving On
6	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Starting Off, Watching the News
7	Unit 3: Changing Careers in the Pandemic	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Starting Off, Watching the News

9	Review of the exam Unit 4: The Climate Change Threat to Heritage Sites	Review of the exam Moving On
10	Unit 6: Return of the Red Kites	Starting Off, Watching the News
11	Unit 6: Return of the Red Kites	Moving On
12	Unit 7: All Cars to Be Electric	Starting Off, Watching the News
13	Unit 7: All Cars to Be Electric	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25%

中間試験 35%

期末試験 40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria / Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25%

Mid-semester examination 35%

Final examination 40%

More than 3 absences will result in failure of the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代のイギリス文化と社会

渡辺 英依美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は、英語の四技能を磨くと共に、現代のイギリス文化と社会についてニュースを通して学ぶことにある。なお、Brexit後も英語はEUの重要な公用語のままであり、その基盤を成しているのはイギリス英語である。教科書に加えて、BBCなどの映像メディアも使用する。

【到達目標】

この授業を履修することにより、以下の技能の獲得が期待される。

- (1) 四技能にわたる総合的な英語の運用力を身につける。
- (2) 現代イギリス文化と社会について理解する。
- (3) 英語資料を批判的に読解・分析し、自分の意見を英語で述べる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

[授業の進め方と方法]

反転授業を行うので学生は必ず事前に英文テキストを予習が必須となる。授業では各自の英文解釈を確認し、さらに理解を深める。各学生は毎週授業で発表を求められる。この授業では狭義の読解を超えて、自ら英語で発信する力も育成する。各課題や中間テストの結果は翌週の授業で講評する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Guidance	Outlining course content
2	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Starting Off, Watching the News
3	Unit 8: Mend More and Buy Less: London Repair Shops	Moving On
4	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Starting Off, Watching the News
5	Unit 9: Swimming to Cure Dementia	Moving On
6	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Starting Off, Watching the News
7	Unit 10: A Special Pop-up Shop on Carnaby Street	Moving On
8	Mid-semester Examination	Mid-semester exam
	Unit 11: School Laptops for All	Starting Off, Watching the News
9	Review of the exam	Review of the exam
	Unit 11: School Laptops for All	Moving On

10	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Starting Off, Watching the News
11	Unit 12: A New Nuclear Power Station	Moving On
12	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Starting Off, Watching the News
13	Unit 14: Cardiff, the First Carbon Neutral City in Wales	Moving On
14	Summary and Final Exam	Review and final examination

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習が必須。個々の単語を理解するだけでなく、構文・論旨を正確に把握し、設問等にも答えられるよう準備しておくこと。本授業の予復習は1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

Knowles, T., Tanaka, M., Nakamura M., & Moue, S. (2022). *British News Update 4*. Kinseido.

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の発表・課題の提出 25%

中間試験 35%

期末試験 40%

欠席が4回以上の場合、原則として単位を修得できない。

【学生の意見等からの気づき】

アクティブラーニングとグループワークが好評のため、積極的に取り入れる。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Students will learn social and cultural issues of the United Kingdom (UK), while developing English communication skills of reading, writing, speaking and listening. Video clips will be used in addition to written materials. Based on a flipped learning model, students will prepare for each chapter prior to attending the class.

【Learning Objectives】

By the end of the course, students will be able to:

- (1) Enhance the four skills of reading, writing, speaking and listening.
- (2) Understand the social and cultural issues of present-day UK.
- (3) Critically read and analyze English texts and present their thoughts and opinions on related issues in English.

【Learning activities outside of classroom】

Students are required to prepare for each class so that they can actively participate in class discussions. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Evaluation will be based on the following criteria:

Class participation/assignments 25%

Mid-semester examination 35%

Final examination 40%

More than 3 absences will result in failure of the course.

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200)</p> <p>English 3 I 2017年度以降入学者</p> <p>サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World</p> <p>猪俣 佳瑞美</p> <p>開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 月4/Mon.4 単位数: 1単位</p> <p>その他属性:</p>	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12	<p>Unit 2 Studying in a Café vs. Home</p> <p>Unit 3 Gakuran vs. Blazer</p> <p>Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies</p> <p>Unit 5 24/7 Convenience Stores</p> <p>Unit 6 Japanese Era Names</p> <p>Unit 7 Point Cards</p> <p>Unit 8 Disaster Volunteers</p> <p>Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad</p> <p>Unit 10 Studying English Abroad</p> <p>プレゼンテーション準備と確認</p>	<p>学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。</p> <p>高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。</p> <p>成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。</p> <p>コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。</p> <p>「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。</p> <p>購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。</p> <p>自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。</p> <p>「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるように、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。</p> <p>「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するならば、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。</p> <p>13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。</p>									
<p>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】</p> <p>English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。</p>												
<p>【到達目標】</p> <p>講義の到達目標は、以下である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。 												
<p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】</p> <p>各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1</p>												
<p>【授業の進め方と方法】</p> <p>各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。</p>												
<p>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】</p> <p>あり / Yes</p>												
<p>【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】</p> <p>なし / No</p>												
<p>【授業計画】 授業形態: 対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone</td> <td>若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など	2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
回	テーマ	内容										
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など										
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。										

- | | | |
|----|----------------------------|---|
| 13 | プレゼンテーション
1 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。 |
| 14 | プレゼンテーション
2
小テストとまとめ | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)	3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II			
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World			
猪俣 佳瑞美			
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 月4/Mon.4	4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位			
その他属性:			
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】	5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			
【到達目標】	6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
講義の到達目標は、以下である。			
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。	7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1	8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
【授業の進め方と方法】	9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。			
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】	10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
あり/Yes			
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】			
なし/No			
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face	11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
回 テーマ 内容			
1 秋学期スタートにあたって			各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
2 Unit 11 More Foreign Visitors	12	プレゼンテーション 1	

- | | | |
|----|----------------|--|
| 13 | プレゼンテーション
2 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。 |
| 14 | 小テストとまとめ | 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Technology and the world of tomorrow

青山 恵子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月5/Mon.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。技術革新がどのような社会変革をもたらす可能性があるのかについて学び考えていきます。

【到達目標】

1. 音読が適切にできるようになること
2. テキストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての解説と意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方:

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/ Chapter 1: Universal Basic Income #1	1.Orientation オリエンテーション 2.Reading the first paragraph of Chapter 1
2	Chapter 1: Universal Basic Income #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
3	Chapter 2: Farms Without Land #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
4	Chapter 2: Farms Without Land #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
5	Chapter 3: Facial Recognition #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
6	Chapter 3: Facial Recognition #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
7	How to use English-Japanese dictionary and English-English dictionaries	1.Learn how to use dictionaries 2.Paragraph reading 3.Comprehension Check

8	Chapter 4: Automated Transportation #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
9	Chapter 4: Automated Transportation #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
10	Chapter 5: Machine Learning #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
11	Chapter 5: Machine Learning #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
12	Chapter 6: Where the Fish Grow #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
13	Chapter 6: Where the Fish Grow #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
14	Review & Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

1 Weekly reading, listening or writing home assignments

2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト (教科書)】

James M. Vardaman, Considering Tomorrow: 15 Changes to Prepare for (『変わりゆく世界: 明日の世界を考える15のトピック』, 音羽書房鶴見書店, 2022年) ¥ 1,900 + 税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (Both English-Japanese dictionary and English-English dictionary are necessary)

【Outline (in English)】

This is a content-based English learning class focusing on potential social changes caused by technological developments. Students will also develop reading, listening, speaking and writing skills. The goal is for students to be able to read aloud fluently and to write a well-organized paragraph about their own opinions. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Technology and the world of tomorrow

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

技術革新がどのような社会変革をもたらす可能性があるのかについて学び考えます。English 3 Iに引き続き「英語を読み聞く」「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。

【到達目標】

- 1 音読が適切にできるようになること
- 2 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
- 3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようにすること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/ Chapter 9: Endless Education: Learning for a Lifetime #1	1 Explaining the course of this semester 2 Reading and listening practices
2	Chapter 9: Endless Education: Learning for a Lifetime #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
3	Chapter 10: Drones that Patrol, Deliver, and Teach #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
4	Chapter 10: Drones that Patrol, Deliver, and Teach #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
5	Chapter 11: Energy Transition #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
6	Chapter 11: Energy Transition #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges

7	Presenting your ideas	1.Presentation in English 2.Feedback on your presentations
8	Chapter 12: Artificial Intelligence: Decision Making by Human s and the Competition #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
9	Chapter 12: Artificial Intelligence: Decision Making by Human s and the Competition #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
10	Chapter 13: Oceans of Plastic #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
11	Chapter 13: Oceans of Plastic #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
12	Chapter 14: Active Participation #1	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
13	Chapter 14: Active Participation #2	1.Paragraph reading 2.Comprehension Check 3.Listening Challenges
14	Review & Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Considering Tomorrow: 15 Changes to Prepare for (『変わりゆく世界：明日の世界を考える15のトピック』, 音羽書房鶴見書店, 2022年) ¥ 1,900 + 税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (Both English-Japanese dictionary and English-English dictionary are necessary)

【Outline (in English)】

This English course is designed to improve the four skills of reading, listening, speaking and writing while learning about potential social changes caused by cutting-edge technological developments. The goal is for students to be able to read aloud fluently, to accurately listen to discussions on a given topic and to write well-structured paragraphs expressing their own opinions on the topic. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World

猪俣 佳瑞美

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月5/Mon.5
単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。

【到達目標】

講義の到達目標は、以下である。

- ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。
- ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。
- ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。
- ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。
- ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。

3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。
4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。
5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。
6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。
7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。
8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。
10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。
11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するならば、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。
12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。

- | | | |
|----|----------------------------|---|
| 13 | プレゼンテーション
1 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。 |
| 14 | プレゼンテーション
2
小テストとまとめ | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)	3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II			
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World			
猪俣 佳瑞美			
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 月5/Mon.5	4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位			
その他属性:			
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】	5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			
【到達目標】	6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しんでいる「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
講義の到達目標は、以下である。			
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。	7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1	8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
【授業の進め方と方法】	9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。			
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】	10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
あり/Yes			
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】			
なし/No			
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face	11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
回 テーマ 内容			
1 秋学期スタートにあたって			
			各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
2 Unit 11 More Foreign Visitors	12	プレゼンテーション 1	

- | | | |
|----|----------------|--|
| 13 | プレゼンテーション
2 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。 |
| 14 | 小テストとまとめ | 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相：Exploring Current Affairs through TED Talks

MARK E FIELD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

【到達目標】

Student will listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the TED Talk themes, discuss, write papers, and time permitting make presentations synthesizing their views on the content studied.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Introduction:	Explanation of the course topics and classroom methods
2回	Making a Difference: Listening practice using DVD video	Inspiring Dreams and talking about ways to help others
3回	Making a Difference: Helping your audience visualize	TED Talk: A Life Lesson from a Volunteer Firefighter
4回	Making a Difference: Reading on Food Rescue Missions	Speaking activity about people who make a difference, Writing assignment about "Someone who has made a difference in your life"
5回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "How I Can Make a Difference"
6回	Trends: Listening practice using DVD video	Analyzing Trends and talking about trends
7回	Trends: Commenting on Visuals	TED Talk: How to Start a Movement
8回	Trends: Reading on Identifying Trends	Talking about Consumer Trends, Writing assignment on Making Predictions
9回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "Current Trend"
10回	Improving Lives: Listening practice using DVD video	Analyzing Healthcare and talking about cause and effect
11回	Improving Lives: Opening with Interesting Facts	TED Talk: My Simple Invention, Designed to Keep My Grandfather Safe
12回	Improving Lives: Reading on the Challenges of Alzheimer's	Speaking activity about Innovative Healthcare Solutions
13回	Review Session	Comprehensive Review of Vocabulary & Skills
14回	Final Examination	Examination based on content, vocabulary, and skills Students should have mastered during the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to do some weekly pre-class textbook preparation, and post-class follow-up study with the My Keynote Online website, complete two medium length writing assignments, and prepare and make short individual presentations.

【テキスト（教科書）】

Keynote 3 Student Book and Online Workbook, Cengage Learning, Japan. ISBN: 978-1-337-10412-8

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to every class session, but should always ask the instructor about the meaning of words first before looking in their dictionaries.

【参考書】

Keynote 3 Online Workbook
Material Posted on HOPPII

【成績評価の方法と基準】

40% Ongoing Evaluation (Participation, Discussions, Homework, etc.)

20% Short Presentations

40% Final Examination

NOTE: Class attendance is a course requirement. Students who are absent for more than three classes per semester will not receive credit for this course. Students' attendance and tardiness will also affect their final grade in the course.

【学生の意見等からの気づき】

No data is currently available since this is the first year the instructor has taught this course. Students are always welcome to make comments and suggestions to improve the class anytime.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相：Exploring Current Affairs through TED Talks

MARK E FIELD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

【到達目標】

Student will listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the TED Talk themes, discuss, write papers, and time permitting make presentations synthesizing their views on the content studied.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Getting Reacquainted:	Talking about recent experiences and future goals
2回	Identity: Listening practice using DVD video	Living abroad and words to talk about your identity
3回	Identity: Using stories to personalize your message	TED Talk: Where is Home?
4回	Identity: Reading on Global Migration	Speaking activity about ongoing activities and event, Writing assignment about factors that contribute to your Identity
5回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "Describing people or places"
6回	Clear Communication: Listening practice using DVD video	Explaining Communication Styles
7回	Clear Communication: Engaging Your Audience	TED Talk: Talk Nerdy to Me
8回	Clear Communication: Reading on Communication in the Digital Age	Talking about communication methods, Writing assignment on how you would run a company
9回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "Communication and Leadership"
10回	Wellbeing: Listening practice using DVD video	Analyzing and describing your ideal lifestyle
11回	Wellbeing: Using Humor	TED Talk: How to Succeed? Get More Sleep!
12回	Wellbeing Unit 12 Reading on Achieving Work-life Balance	Speaking activity: Debate on work-life balance
13回	Review Session	Comprehensive Review of Vocabulary & Skills
14回	Final Examination	Examination based on content, vocabulary, and skills Students should have mastered during the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to do some weekly pre-class textbook preparation, and post-class follow-up study with the My Keynote Online website, complete two medium length writing assignments, and prepare and make short individual presentations.

【テキスト（教科書）】

Keynote 3 Student Book and Online Workbook, Cengage Learning, Japan. ISBN: 978-1-337-10412-8

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to every class session, but should always ask the instructor about the meaning of words first before looking in their dictionaries.

【参考書】

Keynote 3 Online Workbook
Material Posted on HOPPII

【成績評価の方法と基準】

40% Ongoing Evaluation (Participation, Discussions, Homework, etc.)

20% Short Presentations

40% Final Examination

NOTE: Class attendance is a course requirement. Students who are absent for more than three classes per semester will not receive credit for this course. Students' attendance and tardiness will also affect their final grade in the course.

【学生の意見等からの気づき】

No data is currently available since this is the first year the instructor has taught this course. Students are always welcome to make comments and suggestions to improve the class anytime.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

【Outline (in English)】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group & pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parroting. They will be given the opportunity to converse on a variety of topics related to each unit and to present their own ideas. There will also be regular listening and reading exercises, as well as writing assignments based on the topics discussed in class.

Comments, feedback, explanations about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Getting to know each other
Week 2	Protecting the environment - Introduction to the topic	Listening and speaking exercise: talking about the environment; Grammar explanation and practice: present simple and present continuous
Week 3	Endangered animals	Reading with comprehension; Learning new vocabulary; Writing summary of the paragraphs
Week 4	TED Talk about protecting vultures; Group activity	Watching video (TED Talk); Vocabulary review; Group activity: Which animal to save?

Week 5	Key points for expressing one's opinion in speaking and writing	Key points for effective discussion; Learning how to express and write one's opinion logically
Week 6	Family connections	Listening and speaking exercise: talking about family; Grammar used when talking about future plans
Week 7	Importance of genealogy	Reading exercise: A passion for genealogy; Learning new vocabulary; Writing a short essay on changing perceptions
Week 8	TED Talk and discussion about interconnectedness	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the meaning of interconnectedness
Week 9	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting; Explaining requirements for presentation No. 2
Week 10	Inspiring people	Listening and speaking exercise: talking about world's famous and inspirational people; Grammar explanation and practice: reported speech
Week 11	Your role model	Reading about inspiration; Learning new vocabulary; Writing about an inspiring person
Week 12	TED Talk and discussion about the importance of pursuing one's dreams	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of pursuing one's dreams
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 on the chosen topic
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a song

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare presentations, complete writing assignments and homework and pass the final test.

- Active participation in class: 20%

- Writing assignments, homework and tests: 40%

- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook

● Dictionary (online English-English dictionary will be introduced and used in class)

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【その他の重要事項】

The content of lessons may differ from the syllabus depending on the needs and language level of the students taking this class.

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Speaking English in the Global World

URBANOVA JANA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course focuses on enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge in discussions, group & pair work and through delivering presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be conducted entirely in English. Students will develop speaking skills by participating in a variety of activities, such as pair & group work, delivering a presentation and practicing parroting. They will be given the opportunity to converse on a variety of topics related to each unit and to present their own ideas. There will also be regular listening and reading exercises, as well as writing assignments based on the topics discussed in class.

Comments, feedback, explanations about assignments and answers to questions from students are given at the end of each class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Explanation of course requirements, tasks and goals; Review of the main points studied in the spring semester
Week 2	Global stories	Listening and speaking exercise: talking about books; Grammar: defining relative clauses
Week 3	Different literary genres	Reading about different books, Writing exercise: writing a book review
Week 4	TED Talk and discussion about global literature	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of literature
Week 5	Presentation No. 1	Students' presentations No. 1: parroting

Week 6	Key points on giving effective presentations	Explaining requirements for presentation No. 2; Topic: Reading and presenting a book (English/American/World literature); Instructions on how to prepare and give an effective presentation
Week 7	Music genres - introduction	Listening and speaking: talking about music and different genres; Grammar explanation and practice: countable and uncountable nouns
Week 8	Effects of music on human brain	Reading about how music affects our brain; Learning new vocabulary; Pair activity: interview about musical preferences
Week 9	TED Talk and discussion about the importance of music	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Discussion about the importance of music
Week 10	Design - important features: shapes and colours	Listening and speaking: talking about design and its features; Grammar explanation and practice: prepositions and adverbs of place
Week 11	Symbols of a city	Reading about Chicago flag; Learning new vocabulary, Homework: exercises from workbook
Week 12	TED Talk and group activity: the importance of good design and communication	Watching video (TED Talk); Vocabulary in context; Group activity: designing and promoting a flag
Week 13	Presentation No. 2	Students' presentations No. 2 (Book presentation)
Week 14	Course wrap up	Final test; Students' feedback; Let's enjoy a poem

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, preparation for presentations.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

David Bohlke and Eunice Yeates: Keynote 2A:Combo Split, Cengage Learning, 2018. ISBN-13: 978-1-337-10894-2

【参考書】

English to English dictionary:
<https://dictionary.cambridge.org/>
Further references will be provided by the instructor during the class.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, prepare presentations, complete writing assignments and homework and pass the final test.

- Active participation in class: 20%
- Writing assignments, homework and tests: 40%
- Presentations: 40%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

There are no student comments that would require major changes to the course.

The instructor is always happy to receive feedback on how to make learning more enjoyable and effective.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook
- Dictionary (online English-English dictionary will be introduced and used in class)
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

【その他の重要事項】

The content of lessons may differ from the syllabus depending on the needs and language level of the students taking this class.

【Outline (in English)】

Enhancing English language proficiency (four skills - listening, speaking, reading and writing) in order to actively communicate and gain knowledge in the international environment.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Through Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchie's	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Through Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200)</p> <p>English 3 I 2017年度以降入学者</p> <p>サブタイトル：Consumption and Culture in the English Speaking World: Part I</p> <p>GENC BURCU</p> <p>開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金3/Fri.3 単位数：1単位</p> <p>その他属性：</p>	4	<p>Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles</p> <p>A quiz will be given in this class to test student knowledge on the topic so far. This will be followed by a discussion on aspects which need more clarification.</p>															
	5	<p>Reading Content 2: Spectacular Object and Ecological Crisis</p> <p>Quiz results will be revealed with correct answers. Following this, second reading article will be covered with an additional emphasis on the already-learned aspects of consumerism.</p>															
<p>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the English speaking world.</p>	6	<p>Reading Content 2: Spectacular Objects and Ecological Crisis of Fashion</p> <p>Class debate will be done on a given question by drawing ideas and examples from the main reading content assigned for the class.</p>															
<p>【到達目標】 In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help them improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.</p>	7	<p>Group Presentations Round 1</p> <p>Class will start with presentations. Following this, students will discuss what “monotzukuri” is to develop an in-depth understanding of the reading article. Finally, the article will be summarized.</p>															
<p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p>	8	<p>Reading Content 2: Spectacular Objects and Ecological Crisis of Wrong “Monotzukuri”</p> <p>A written homework will be assigned on the main topic of discussion.</p>															
<p>【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, and prepare for pair or group discussions. Feedback will be mostly provided during class. Written feedback might also be provided when it is deemed necessary.</p>	9	<p>Reading Content 3: Consumption and Art</p> <p>To prepare for the second round of group presentations, consumption and Art relation will be discussed. Following this, students will start reading the assigned article and watch some related content to develop deeper perspective on the subject.</p>															
<p>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes</p>	10	<p>Group Presentations Round 2</p> <p>Class will start with presentations. Following this, last article will be covered with a class discussion on the main topic.</p>															
<p>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No</p>	11	<p>Reading Content 4: Spectacular Objects in Art and Art Learning</p> <p>Some important terminologies will also be introduced.</p>															
<p>【授業計画】 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Course orientation</td> <td>Getting to know each other;</td> </tr> <tr> <td></td> <td>Introduction to the notion of consumerism as understood in the English speaking world</td> <td>student introductions & class guidelines.</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles</td> <td>To warm up, students will make some discussion on the main topic of the class. They will start reading the assigned article. Important terms and will be introduced and explained.</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles</td> <td>Topic will be analyzed in greater detail. Students will be provided useful tips and supportive questions to understand the subject in focus.</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	Course orientation	Getting to know each other;		Introduction to the notion of consumerism as understood in the English speaking world	student introductions & class guidelines.	2	Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the class. They will start reading the assigned article. Important terms and will be introduced and explained.	3	Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles	Topic will be analyzed in greater detail. Students will be provided useful tips and supportive questions to understand the subject in focus.	12	<p>Reading Content 4: Spectacular Objects in Art and Art Learning</p> <p>Reading content will be analyzed in greater detail. Students will be provided useful tips and supportive questions to understand the subject in focus. Students will be also reminded that there will be a written quiz in the following class.</p>
回	テーマ	内容															
1	Course orientation	Getting to know each other;															
	Introduction to the notion of consumerism as understood in the English speaking world	student introductions & class guidelines.															
2	Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the class. They will start reading the assigned article. Important terms and will be introduced and explained.															
3	Reading Content 1: Consumption and Creating Spectacles	Topic will be analyzed in greater detail. Students will be provided useful tips and supportive questions to understand the subject in focus.															
	13	<p>Group Presentations Round 3</p> <p>Last group of presenters will complete their presentations. Following this, main topic of the course will be summarized as a discussion session.</p>															
		<p>A Final Review and Discussion on Consumerism</p>															

14 Final Exam Final exam of the semester
will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required. All materials will be provided by the professor.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural and social concerns of the English speaking world.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Consumption and Culture in the English Speaking World: Part II

GENC BURCU

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is the second part of “Consumption and Culture in the English Speaking World.” The aim of the course is to continue assisting students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on cultural and social content popularly discussed in the West.

【到達目標】

In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help them improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, and prepare for pair or group discussions. Feedback will be mostly provided during class. Written feedback might also be provided when it is deemed necessary.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation Discussion Session on the Main Subject	Syllabus introduction & class guidelines.
2	Reading Content 1: Consumption and History	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the class. They will start reading the assigned article.
3	Reading Content 1: Consumption and History	Open-book quiz will be conducted for a deeper analysis of the subject. This will be followed by a class discussion to share ideas and develop understanding.
4	Reading Content 2: History of Architecture and Le Corbusier	New reading material will be covered. Some visuals will be provided for understanding and discussion.

5	Reading Content 2: Consumption of Architecture and “Gemütlich”	A new idea will be introduced to students to deepen perspective regarding architectural forms. Students will be supported with appropriate visual for the purpose.
6	Reading Content 2: Message-Saturated Spatial Forms and Urban Architecture	To prepare for the first round of group presentations, another important aspect will be discussed in relation to the previous class contents and forms commonly observed around us.
7	Reading Content 2: Consumption of Architecture and “Free Plan”	Last important aspect of the article will be discussed. Unforeseen limits of “Free Plan” and reasons behind Le Corbusier’s choice will be the main focus of discussion.
8	Group Presentations Round 1	Class will be spared for mini-presentations. Debate questions will be assigned for the presenters.
9	Reading Content 3: Historical Figures and Biography Publications	Assigned article will be read and examined by means of the questions provided by the teacher. Students will work in pairs first.
10	Reading Content 3: Biography Reading and Consuming the Past	An open-book quiz question will be given to students so that they can map out their ideas on the subject. This will be helpful for the discussion which will follow subsequently in a debate style.
11	Group Presentations Round 2	Class will be spared for mini-presentations. Debate questions will be assigned for presenters.
12	Reading Content 3: History and Narrativization	Students will understand the importance of narrative constructed in autobiography in this class.
13	Group Presentations Round 3 A Final Review and Discussion on Consumerism	Last mini-presentation session will be held. Following this, main topic of the course will be summarized.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No textbook is required. All materials will be provided by the professor.

【参考書】

Students are required to consult dictionaries and other materials provided by the professor to complete their weekly course preparations.

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with the contemporary cultural and social concerns of the English speaking world.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International English Communication

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.]	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第3回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第4回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第5回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第6回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talks, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第7回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第8回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第9回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第10回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第11回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第12回	News or TED Talk video #5, part 2./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Review & practice (for the Exam) of topics studied and discussed during the Spring semester.
第13回	SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.	SPEAKING Exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.
第14回	Discussion of correct Exam answers...and of students' plans for the Summer Break.	Students will find out exam answers; and will be invited to discuss (in English) their plans for the Summer Break.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

{+ MAYBE... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.)

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：International English Communication

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] ”How was your Summer Break?”[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第4回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第5回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第6回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第7回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第8回	”The Seven W's”: (Questions about Who...? /What...? /When...? /Where...? /Why...? /Which...? /How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about ”the Seven W's”.
第9回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.
第10回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第11回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.

- 第12回 Discussing answers to the Christmas exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans. Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
- 第13回 SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall semester. Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
- 第14回 "How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans. Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo (+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.)

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【—】

—

【Outline (in English)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: News from the English-Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力 (reading, listening, writing, speaking) を用いて、国際語としての英語を学びます。英語圏で報道されるニュースの記事を読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期はとくに、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 英語で書かれたニュース記事を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Getting to know your newspaper	世界の英字新聞
3	The structure of a newspaper (1)	英字新聞の構成
4	The structure of a newspaper (2)	ニュースのカテゴリ
5	News story structure	ニュースの要約
6	Headlines (1)	見出しを調べる
7	Headlines (2)	見出しの法則を知る
8	What make a story news? (1)	ニュースになる話題、ならない話題
9	What make a story news? (2)	話題のカテゴリー
10	Writing a news story (1)	ニュース記事を書く
11	Writing a news story (2)	ニュース記事を編集する
12	News Point (1)	時間の分析
13	News Point (2)	ニュースの要点
14	Wrap-up and quiz	学期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業は予習を前提に進めます。準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。詳細は、初回授業で説明します。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

英語で書かれたニュース記事を読み、要約することを中心に、授業の内容に合わせた課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。詳細は初回授業で説明します。

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 70%

(小テスト20%、授業中の活動への参加20%、提出物30%)

- 学期末課題 30%

* 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークやペアワークなどのアクティブラーニングが好評だったため、今年度も積極的に取り入れていきたいと思います。このほか、幅広い話題のニュースの記事を取り上げるので、社会の動きに敏感になったという感想がありました。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various news stories reported in the English-speaking world. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop critical thinking skills by taking part in activities in class. In the spring semester, students will study the structures of English newspapers.

Through the course, students will be able to:

- catch the main ideas of news articles
- express their opinions in English about topics mentioned in the article
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson.

Preparation is designed to take one hour approximately. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activities 20%, assignment and submission 30%, final assignment 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：News from the English-Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて、国際語としての英語を学びます。英語圏で報道されるニュースの記事を読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。秋学期は、春学期に学んだことを踏まえたうえで、メディアやそれを取り巻く環境についても広く学びます。

【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、英語で要点を説明したり、自分の意見を論理的な文章でまとめたりすることができるようになる。
2. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。
3. メディアの特性を理解し、ニュース記事を批判的に分析できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Media bias (1)	バイアスとは何か？
3	Media bias (2)	新聞記事に見るバイアス：写真の場合
4	Media bias (3)	新聞記事に見るバイアス：文字テキストの場合
5	Opinion articles (1)	「意見記事」を探す
6	Opinion articles (2)	社説を読む
7	Opinion articles (3)	レビュー記事を読む
8	Electronic media (1)	メディアによるニュース記事の違いを分析する
9	Journalist's job (1)	ジャーナリズムの仕事について知る
10	Journalist's job (2)	ジャーナリズムを取り巻く環境について調べる
11	Journalist's job (3)	ジャーナリズムに関するテキストの鑑賞
12	Writing an opinion article (1)	レビュー記事を書く
13	Writing an opinion article (2)	レビュー記事を編集する
14	Review & Quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

英語で書かれたニュース記事を読み、要約することを中心に、授業の内容に合わせた課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。詳細は初回授業で説明します。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 70%
- (小テスト20%、授業中の活動への参加20%、提出物30%)
- 学期末課題 30%
- * 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークやペアワークなどのアクティブラーニングが好評だったため、今年度も積極的に取り入れていきたいと思います。このほか、幅広い話題のニュースの記事を取り上げるので、社会の動きに敏感になったという感想がありました。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various news stories reported in the English-speaking world. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop their critical thinking skills by taking part in class activities. In the fall semester, the course will cover the features of various medium and journalistic jobs.

In this course students will learn to:

- grasp the main ideas of news articles
- express their opinions about news stories in English
- understand the audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each week's lesson. Preparation is designed to take approximately one hour. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activity 30%, assignment and submission 10%, final assignment 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues: Culture, Environment and Politics

RICHARD WILCOX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In Person Class.

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts;
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics; Topic: Speed dating	GR Discussion; Written Test on Textbook
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
6	Describing things; Topic: Stress	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
7	Ecology; Topic: Listening and taking note_	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
8	Problems and Solutions; Topic: Fast food	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
9	Comparisons; Topic: Shopping trends	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
11	Group organization; Topic: Student choice	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
12	Presentations; Topic: Course related topics	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups) Student Q & A
13	Choice of test topics	GR Discussion; Written Test on Textbook
14	Student peer review and feedback	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

The teacher will respond to questions in class from students or by email. I will check your reports, papers or projects to help you to write better quality work.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Current Issues: Culture, Environment and Politics

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women's empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts "From Paragraph to Essay"

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read "Fukushima" DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch "Fukushima" (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch "Fukushima" (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch "Fukushima" (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts: Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト（教科書）】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest.

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：Aspects of the English-Speaking World: Authentic Texts and TedTalks

ROBERT J SPIVAK

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3は、英語1と2で得たスキルと知識を基に、さまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。そのためにこのコースでは、学生は英語を使って、さまざまな観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。また時事トピックを通じて時事問題を学び、さまざまな情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Students will read authentic texts and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will read a passage from a newspaper/magazine article or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by reading, listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the reading selections and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
2	Interdisciplinary. Unit 1A: Inspired Leadership / Magazine-style article	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Understanding references. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement
3	Interdisciplinary. Unit 1B: How to Start a Movement	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
4	Conservation. Unit 2A: Trouble for the Air Plants / Scientific article	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
5	Conservation. Unit 2B: Conserving the Canopy	Understanding main ideas and key details. Recognizing purpose. Recognizing supporting evidence. Inferring reasons. Synthesizing information.
6	Health / innovations. Unit 3A: Big Problems, Simple Solutions. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
7	Health / innovations. Unit 3B. A Warm Embrace that Saves Lives.	Understanding main ideas and key details. Identifying solutions. Visualizing a process. Predicting solutions. Synthesizing information. Interpreting a statement.
8	Sociology / technology. Unit 4A: Is Gaming Good for You? Research report.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
9	Sociology / Technology. Unit 4B: Gaming Can Make a Better World.	Understanding main ideas and key details. Summarizing. Recognizing tone and message. Inferring statements. Reflecting on own experience. Evaluating information
10	Psychology / Education. Unit 5A: Engaging Learners.	Getting the main ideas. Understanding key details. Identifying supporting ideas with evidence. Finding similarities and differences. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.

11	Psychology / Education. Unit 5B: The Key to Success? Grit.	Understanding main ideas. Understanding overall message. Understanding terms. Summarizing the talk. Evaluating information. Synthesizing information. Reflecting on own experienCe.
12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Making inferences. Getting meaning from context.
13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Summarizing. Recognizing purpose.
14	Final Test. Summarizing text / talks from media in small groups.	Summarizing. Giving opinions. Synthesizing information. Evaluating information. Reflecting on own experience.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to do at least two hours per week of homework. Taste will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cenage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable.

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	2	Food/Health. Unit 6A: Food Revolution. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Identifying problems and solutions. Understanding infographics. Getting meaning from context. Applying information. Reflecting on own experience.
English 3 II 2017年度以降入学者	3	Food/Health. Unit 6B: Teach Every Child About Food.	Understanding main ideas and key details. Inferring meaning. Evaluating information. Reflecting on own experience.
サブタイトル: 英語圏の文化と社会: Aspects of the English Speaking World: Authentic Texts and TedTalks	4	Behavior/Psychology. Unit 7A. Power Poses. Research Report.	Getting the main ideas and details. Recognizing text structure. Getting meaning from context. Analyzing statements. Reflecting on own experience.
ROBERT J SPIVAK	5	Behavior/Psychology. Unit 7B: Your Body Language Shapes Who You Are.	Understanding main ideas and key details. Recognizing sequence. Identifying purpose. Summarizing. Reflecting on own experience. Inferring statements. Reasoning ideas.
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 水4/Wed.4 単位数: 1単位	6	Energy/Engineering. Unit 8A: Kite Power. News Report.	Getting the main ideas. Scanning for specific information. Making comparisons. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion. Reflecting on possible solutions.
その他属性:	7	Energy/Engineering. Unit 8B: How I Harnessed the Wind,	Understanding main ideas. Visualizing a process. Understanding causes and effects. Inferring meaning. Synthesizing information.
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】	8	Engineering/Art. Unit 9A: Thinking in Pictures. Biographical article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on possibilities.
英語3-IIは、春学期に開講された英語3-Iの続きです。英語3は、英語1と2で習得したスキルと知識を基に、英語を使ってさまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。このコースでは英語を使って、あらゆる観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。またさまざまな時事問題を学び、情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的な英語スキルを訓練します。	9	Engineering/Art. Unit 9B: Deep Sea Diving in a Wheelchair.	Understanding main ideas and key details. Recognizing tone and message. Inferring meaning. Comparing information.
【到達目標】	10	Statistics/Economics. Unit 10A: Information is Beautiful. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding infographics. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on own experience.
Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks. Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective. Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.	11	Statistics/Economics. Unit 10B: The Beauty of Data Visualization.	Understanding main ideas and key details. Analyzing information. Reflecting on own experience. Interpreting a speaker's statement.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】	12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			
【授業の進め方と方法】			
As a warm up activity, students will read a brief passage or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the text or Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization. Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the texts and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied.			
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 あり / Yes			
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No			
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face			
回 テーマ 内容			
1 Introduction		Introduction to the course. Review of Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.	

13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
14	Final Test. Summarizing text/talks from media in small groups.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to do at least two hours per week of homework. Taste will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の国々のこれまでとこれから / The Past and Future of Countries

小田井 勝彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、様々な国々の歴史と現状を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まず教科書のWarm Upに取り組み、授業で扱う内容に関する基礎知識を学びます。そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、リスニングエクササイズ、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。

授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明。
2	Chapter 1 Colonialism < Warm Upと読解>	Chapter 1のWarm Upと本文の前半を読解します。
3	Chapter 1 Colonialism < 読 解とExercise >	Chapter 1の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
4	Chapter 2 Postcolonialism < Warm Upと読解>	Chapter 2のWarm Upと本文の前半を読解します。
5	Chapter 2 Postcolonialism < 読解とExercise >	Chapter 2の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
6	Chapter 3 Neocolonialism < Warm Upと読解>	Chapter 3のWarm Upと本文の前半を読解します。
7	Chapter 3 Neocolonialism < 読解とExercise >	Chapter 3の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。

8	中間テストと解説	unit 1～3を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
9	Chapter 4 The UK < Warm Upと読解 >	Chapter 4のWarm Upと本文の前半を読解します。
10	Chapter 4 The UK < 読解とExercise >	Chapter 4の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
11	Chapter 5 Ireland < Warm Upと読解 >	Chapter 5のWarm Upと本文の前半を読解します。
12	Chapter 5 Ireland < 読解とExercise >	Chapter 5の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	unit 4～5を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでくる。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JA Kusaka, Jesse Elam, Dax Thomas『グローバル・マインドへの道』（松柏社、2022）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。
4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

[Learning Objectives]

1. Students can read English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for reading English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の国々のこれまでとこれから / The Past and Future of Countries

小田井 勝彦

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、現代社会の様々なテーマを扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。英語で書く練習も行います。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まず教科書のWarm Upに取り組み、授業で扱う内容に関する基礎知識を学びます。そして本文を1文1文日本語に直し、英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、リスニングエクササイズ、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。

授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 6 Nigeria < Warm Up と読解 >	Chapter 6 の Warm Up と本文の前半を読解します。
2	Chapter 6 Nigeria < 読解と Exercise >	Chapter 6 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
3	Chapter 7 South Africa < Warm Up と読解 >	Chapter 7 の Warm Up と本文の前半を読解します
4	Chapter 7 South Africa < 読解と Exercise >	Chapter 7 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
5	Chapter 8 New Zealand < Warm Up と読解 >	Chapter 8 の Warm Up と本文の前半を読解します
6	Chapter 8 New Zealand < 読解と Exercise >	Chapter 8 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。

7	中間テストと解説	unit 6～8 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないません。
8	Chapter 9 Australia < Warm Up と読解 >	Chapter 9 の Warm Up と本文の前半を読解します
9	Chapter 9 Australia < 読解と Exercise >	Chapter 9 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
10	Chapter 10 Singapore < Warm Up と読解 >	Chapter 10 の Warm Up と本文の前半を読解します
11	Chapter 10 Singapore < 読解と Exercise >	Chapter 10 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
12	Chapter 11 India < Warm Up と読解 >	Chapter 11 の Warm Up と本文の前半を読解します
13	Chapter 11 India < 読解と Exercise >	Chapter 11 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
14	期末テストと解説	unit 9～11 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでくる。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JA Kusaka, Jesse Elam, Dax Thomas『グローバル・マインドへの道』（松柏社、2022）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。
4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

[Learning Objectives]

1. Students can read English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for reading English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 洋楽鑑賞と英語圏の文化: English Songs and Cultures of the English-Speaking World

森永 豊

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水4/Wed.4
単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

名曲やポップスなど、親しみやすい英語の歌を題材にして、洋楽を鑑賞しながら英詞の訳と解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力(四技能)を伸ばすことが目標となる。

またこの授業では、歌を通して英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	英語の歌1 (Here Comes the Sun - The Beatles)	・小テスト(予備日) ・歌詞を文に再構成する
3	英語の歌1 (Here Comes the Sun - The Beatles)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題1(授業内) ・単語練習1

4	英語の歌1 (Here Comes the Sun - The Beatles) 英語の歌2 (Little Blue - Jacob Collier)	・歌詞の解釈 ・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌2 (Little Blue - Jacob Collier)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2(以降、授業外) ・単語練習2
6	英語の歌2 (Little Blue - Jacob Collier) 英語の歌3 (Baby - Justin Bieber)	・歌詞の解釈 ・歌詞を文に再構成する
7	英語の歌3 (Baby - Justin Bieber)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌3 (Baby - Justin Bieber)	・歌詞の解釈
9	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業(スクリプトとスライド作成) ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業(スクリプトとスライド作成) ・単語テスト
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業(スクリプトとスライド作成、発表練習) ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
13	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番3 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提に進める。各曲はGoogle Classroom上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト(教科書)】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500—大学生のためのトピック別必修英単語—』、金星堂、2013年、1800円(税別)(以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>)
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン(共著)、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円(税込)
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円(税別)

【成績評価の方法と基準】

・プレゼンテーション課題(自分で英語の歌を選択して、授業を参考にした方法でこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。) 35%
授業内のパフォーマンス(主に歌詞から文を再構成して、和訳して読解する作業) 35%
・ディクテーション課題 20%
・単語テスト 10%
欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30分以上の遅刻は欠席と見なし、3回の遅刻は欠席1回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持つてくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 35%
- Dictation assignments 20%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：洋楽鑑賞と英語圏の文化：English Songs and Cultures of the English-Speaking World

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい英語の歌を題材にして、洋楽を鑑賞しながら英詞の訳と解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。

またこの授業では、歌を通して英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きつと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	英語の歌1 (What Was I Made For? - Billie Eilish)	・小テスト（予備日） ・歌詞を文に再構成する
3	英語の歌1 (What Was I Made For? - Billie Eilish)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1

4	英語の歌1 (What Was I Made For? - Billie Eilish) 英語の歌2 (Accidentally in Love - Counting Crows)	・歌詞の解釈 ・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌2 (Accidentally in Love - Counting Crows)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌2 (Accidentally in Love - Counting Crows) 英語の歌3 (Somebody Else - The 1975)	・歌詞の解釈 ・歌詞を文に再構成する
7	英語の歌3 (Somebody Else - The 1975)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌3 (Somebody Else - The 1975)	・歌詞の解釈
9	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・単語テスト
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
13	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番3 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各曲はGoogle Classroom上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500—大学生のためのトピック別必修英単語—』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・プレゼンテーション課題（自分で英語の歌を選択して、授業を参考にした方法でこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
- ・授業内のパフォーマンス（主に歌詞から文を再構成して、和訳して読解する作業）35%
- ・ディクテーション課題20%
- ・単語テスト10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30分以上の遅刻は欠席と見なし、3回の遅刻は欠席1回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールはGoogle Classroomである。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザはFirefox、Google Chrome、Safariを推奨。Internet Explorerは非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 35%
- Dictation assignments 20%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中で日本文化はどうとらえられているか

今井 澄子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水4/Wed.4
単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1および2で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル(Writing, Presentation)を身につける
- ・Oxford English Dictionaryをデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後DVD視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行う。よって、学内PCによる辞書検索、Writing、Presentationが課される。これら課題のうち、リスニング、プレゼンテーション、DVDおよび英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿Writingは添削指導、終了後にスライド、Speaking音声(単語の発音、アクセント、イントネーション)、元にしたOEDデータベース等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	世界の日本文化受容 OED採録の日本語	授業内容や課題の説明 データベースOED利用案内
第2回	世界の中の日本文化 (Office) Long-Established Business	(Listening小テスト1) Unit 1 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第3回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Uniforms and Identity	(Listening小テスト2) Unit 2 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第4回	世界の中の日本文化 (Department Store) Volunteer Work and Helping Others	(Listening小テスト3) Unit 3 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第5回	世界の中の日本文化 (Airport) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening小テスト4) Unit 4 DVD視聴 Short Reading Comment writing

第6回	世界の中の日本文化 (Bank) Japanese Tableware	(Listening小テスト5) Unit 5 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第7回	世界の中の日本文化 (Duty-free Shop) Homemakers of Japan	(Listening小テスト6) Unit 6 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第8回	世界の中の日本文化 (Travel) Voice Actors	(Listening小テスト7) Unit 7 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第9回	日本社会と文化 (Rent-a-Car) Approaches to the Japanese History	(Listening小テスト8) Reading Essay R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第10回	日本文化の背景 (Fitness Center) 日本文学作品の英語 訳	(Listening小テスト9) Reading Essay 英語版冒頭部分を読み、原作日 本語と比較
第11回	日本文化の背景 (Job Training) Lonely Planet	(Listening小テスト10) Reading Essay 3 Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japanの 記事
第12回	Writing試験	Presentationの原稿Writing
第13回	Presentation試験	OEDにある日本語の英語説明
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声はWebストリーミングで視聴可能。PartIとIIがあるが、テキストにはIIのスク립トしかないためIについてはDictation用の冊子を配布する。授業ではDictationと要所の説明を行い、スク립トの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してくとよい。Readingは速読用の比較的易しいものからWeb上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、WritingやPresentationに用いるOxford English Dictionaryを調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中にWriting、Presentationが行えず、試験未受験扱いとなる。Listening小テストは準備の必要なし。

【テキスト (教科書)】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartIのDictation用スク립トはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂
Reading教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J. Davies. Japanese Culture: The Religious and Philosophical Foundations. 2016.

<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.co.uk/>

<https://edition.cnn.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、平常点40%。平常点は授業参加度10%、リスニング小テスト平均点10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題10%が原則。よって、評価点は試験60点、平常点40点の合計100点で、60%以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも0点となる。学期末のPresentation、原稿作成Writingは授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席4回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

OEDの中にある日本語由来の単語を調べ、英文原稿を作ってプレゼンテーションをするが、データをどう使ってWritingをしたらよいかわからないという意見があった。Writingサンプルを提示し、OEDの記述の読み込みや解釈など個別に相談にのるので心配はならない。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。

【Outline (in English)】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams—writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中で日本史の事象はどうとらえられているか

今井 澄子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水4/Wed.4
単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1および2で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル(Writing, Presentation)を身につける
- ・英文資料を読み込み、英語小論文を作成できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後DVD視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。日本歴史の世界での受容をテーマとするため、二種類の英文資料を調べて英語小論文を作成する。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVDおよび英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿Writingは添削指導、終了後にスライド、Speaking音声(単語の発音、アクセント、イントネーション)、元にしたOEDデータ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	世界の中の日本文化 (Business Trip)	(Listening小テスト1) Unit 8 DVD視聴 Seafood-Japanese Short Reading Cuisine Comment writing *()内はListening小テストテーマ
第2回	世界の中の日本文化 (Vacation)	(Listening小テスト2) Unit 9 DVD視聴 Japanized Foreign Short Reading Dishes Comment writing
第3回	世界の中の日本文化 (Pay)	(Listening小テスト3) Unit10DVD視聴 Bag-Culture Short Reading Comment writing
第4回	世界の中の日本文化 (Exhibition)	(Listening小テスト4) Unit11DVD視聴 Senior Citizens Short Reading [Medical Checkups] Comment writing
第5回	世界の中の日本文化 (Shopping)	(Listening小テスト5) Unit12DVD視聴 Money Short Reading Comment writing

第6回	世界の中の日本文化 (Hospital)	(Listening小テスト6) Unit13DVD視聴 Zodiac Short Reading Comment writing
第7回	日本人とは何か (Train Station)	(Listening小テスト7) Reading Essay 1 What is a Japanese? R. Pulvers. Delighting in Culturesの記事
第8回	現代日本に残るサムライ	(Listening小テスト8) Reading Essay 2 -ム (Presentation) Samurai Spirit Wall Street Journalの記事
第9回	Inbound Japan (Lecture)	(Listening小テスト9) Reading Essay 3 英語で説明する日本史 日本史の主要事項について説明する英文読解
第10回	Outbound Japan (Contract)	(Listening小テスト10) Reading Essay 4 英文世界史に登場する日本史 英語で書かれた世界史の中の日本についての記述を読む
第11回	日本語を英語にする方法	英語における外来語表記 外来語+言い換え 引用元表記のしかた MLAまたはAPAによるレファレンス
第12回	Writing試験	Presentationの原稿Writing
第13回	Presentation試験	日本史の事象を英語で説明
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声はWebストリーミングで視聴可能。PartIとIIがあるが、テキストにはIIのスク립トしかないためIについてはDictation用の冊子を配布する。授業ではDictationと要所の説明を行い、スク립トの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してけるとよい。Readingは速読用の比較的易しいものからWeb上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、WritingやPresentationに用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中にWriting、Presentationが行えず、試験未受験扱いとなる。Listening小テストは準備の必要なし。

【テキスト (教科書)】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartIのDictation用スク립トはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂

Reading教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.

<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.co.uk/>

<https://edition.cnn.com/>

Vardaman, James M. Japanese History in Simple English. 2015.

Hashiba, Yuzuru et al. World History for High School. 2019.

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、平常点40%。平常点は授業参加度10%、リスニング小テスト平均点10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題10%が原則。よって、評価点は試験60点、平常点40点の合計100点で、60%以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも0点となる。学期末のPresentation、原稿作成Writingは授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席4回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

日本史について英語で説明したほとんど、世界史教科書の英語版を使って「日本史の事象が世界史文脈ではどう扱われているか」について英文原稿を作成する。なぜか「朝鮮の話を書きたい」「カンボジアのことを書く」などの希望があったが、テーマが違うので了承いたしかねる。今年度は2種類の英文データの読解とそこから書く内容をどう作るかについて事前準備を増やし、混乱しないようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書

【Outline (in English)】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams—writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本文学

大野 口ベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある言語を「モノにする」ためには、その言語で書かれた小説を読むことも有効な手段である。だがそこに「ハードルの高さ」がつきまとうことは否定できない。そこでこの授業では、受講生にとって身近な、日本の有名作家によって書かれた日本文学の名作を、英語に翻訳された形で読むことに挑戦する。原典との比較などを行うのではなく、あくまで英語で書かれた小説としてテキストと格闘することになるが、そこに描かれる文化がまぎれもなく日本のそれであるという事実は、テキストを読み解くうえで大きなモチベーションとなるはずである。春学期には、いくつかの作品を読み通したのち、各自の推薦する作家について英語でプレゼンテーションを行う。

【到達目標】

小説を構成する多彩な文章を読みとくことで高度な読解能力を身につける。英語の資料を用いた講義を通じて、日本文学に関する知識を深化させる。小説や作家の魅力を言語化し、他者に伝える力にも磨きをかける。そして当然ながら、翻訳という行為についての実践的な知識を獲得する。学期を通じて、読む・書く・話す・聞く能力を、可能なかぎりバランスよく涵養する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが2となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業では最低でも1回、担当箇所の音読と翻訳をしてもらう。進捗を確認するための小テストを適宜実施する。学期末には授業のテーマに沿った発表を個人で、英語で行う。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方や評価基準について説明し、自己紹介を行う。
2	Soseki	夏目漱石「夢十夜」を読み、漱石について講義する。
3	Akutagawa (1)	芥川龍之介「藪の中」を読む。
4	Akutagawa (2)	引き続き「藪の中」を読み、ディスカッションを行う。
5	Akutagawa (3)	引き続き「藪の中」を読み、芥川について講義する。
6	Kajii (1)	梶井基次郎「檸檬」を読み、ディスカッションを行う。
7	Kajii (2)	引き続き「檸檬」を読み、梶井について講義する。
8	Kafu (1)	永井荷風「牡丹の客」を読み、ディスカッションを行う。
9	Kafu (2)	引き続き「牡丹の客」を読み、荷風について講義する。
10	Tanizaki (1)	谷崎潤一郎「刺青」を読む。

11	Tanizaki (2)	引き続き「刺青」を読み、ディスカッションを行う。
12	Tanizaki (3)	引き続き「刺青」を読み、谷崎について講義する。
13	Presentation	個別プレゼンテーションを行う。
14	Review	講評および学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のテキストを事前に丁寧に読み、とくに担当箇所については厳密に解釈しておく。復習を怠らず、日頃から英語の文献を積極的に読む習慣をつける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

【参考書】

授業中に折に触れて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

発表40%、小テスト30%、平常点30%

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。欠席回数が4回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

【学生の意見等からの気づき】

英文での精読は体力を要するので、適宜アクティビティなどを挟んで緊張をほぐしたい。

【Outline (in English)】

This course invites students to read famous Japanese stories from the Taisho and Showa periods in English translation.

The goal of this course is to give students the opportunity of close-reading, bearing in mind how aspects of Japanese culture is rendered in English Language. Students will also present about their favorite author to the rest of the class.

The standard preparation and review time for this class is one hour per week.

Grading criteria is as follows: 40% Presentation, 30% Quiz, 30% Class Participation. Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で読む日本文学

大野 ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ある言語を「モノにする」ためには、その言語で書かれた小説を読むことも有効な手段である。だがそこに「ハードルの高さ」がつきまとうことは否定できない。そこでこの授業では、受講生にとって身近な、日本の有名作家によって書かれた日本文学の名作を、英語に翻訳された形で読むことに挑戦する。原典との比較などを行うのではなく、あくまで英語で書かれた小説としてテキストと格闘することになるが、そこに描かれる文化がまぎれもなく日本のそれであるという事実は、テキストを読み解くうえで大きなモチベーションとなるはずである。秋学期には、いくつかの作品を読み通したのち、各自の関心ある作家について英語でレポートを仕上げる。

【到達目標】

小説を構成する多彩な文章を読みとくことで高度な読解能力を身につける。英語の資料を用いた講義を通じて、日本文学に関する知識を深化させる。小説や作家の魅力を言語化し、他者に伝える力にも磨きをかける。そして当然ながら、翻訳という行為についての実践的な知識を獲得する。学期を通じて、読む・書く・話す・聞く能力を、可能なかぎりバランスよく涵養する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

対面授業を行う。ただし大学の行動方針レベルが2となった場合には、この授業は原則としてオンラインで行う。詳細は学習支援システムで伝達する。毎回の授業では最低でも1回、担当箇所の音読と翻訳をしてもらう。進捗を確認するための小テストを適宜実施する。学期末には授業のテーマに沿った英文レポートを仕上げ、提出する。毎週、授業内にフィードバックの時間を設ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業の進め方について説明し、前期をふりかえる。
2	Kawabata (1)	川端康成「水月」を読む。
3	Kawabata (2)	引き続き「水月」を読み、ディスカッションを行う。
4	Kawabata (3)	引き続き「水月」を読み、川端について講義する。
5	Dazai (1)	太宰治「メロイクリスマス」を読む。
6	Dazai (2)	引き続き「メロイクリスマス」を読み、ディスカッションを行う。
7	Dazai (3)	引き続き「メロイクリスマス」を読み、太宰について講義する。
8	Nakajima (1)	中島敦「名人伝」を読む。
9	Nakajima (2)	引き続き「名人伝」を読み、中島について講義する。
10	Miyazawa (1)	宮沢賢治「なめとこ山の熊」を読む。

11	Miyazawa (2)	引き続き「なめとこ山の熊」を読み、ディスカッションを行う。
12	Miyazawa (3)	引き続き「なめとこ山の熊」を読み、宮沢について講義する。
13	Presentation	各自のレポートの内容についてミニ・プレゼンを行う。
14	Review	講評および学期のまとめを行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のテキストを事前に丁寧に読み、とくに担当箇所については厳密に解釈しておく。復習を怠らず、日頃から英語の文献を積極的に読む習慣をつける。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

使用しない。資料は必要に応じて教員が配布する。

【参考書】

授業中に折に触れて紹介する。

【成績評価の方法と基準】

レポート40%、小テスト30%、平常点30%
成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。欠席回数が4回以上の受講者は、原則として単位を認定しない。

【学生の意見等からの気づき】

英文での精読は体力を要するので、適宜アクティビティなどを挟んで緊張をほぐしたい。

【Outline (in English)】

This course invites students to read famous Japanese stories from the Taisho and Showa periods in English translation.

The goal of this course is to give students the opportunity of close-reading, bearing in mind how aspects of Japanese culture is rendered in English Language. Students will also write a paper on their favorite author.

The standard preparation and review time for this class is one hour per week.

Grading criteria is as follows: 40% Paper, 30% Quiz, 30% Class Participation. Based on the grading criteria set by the instructor, students that successfully achieve 60% or more of course goals will be able to earn a passing grade for the course.

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200)</p> <p>English 3 I 2017年度以降入学者</p> <p>サブタイトル：English in global contexts</p> <p>TOBY TRAUB</p> <p>開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金3/Fri.3 単位数：1単位</p> <p>その他属性：</p>	4	<p>The Way we Live Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>									
<p>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 Learning English for communicating in a global society.</p> <p>【到達目標】 This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.</p> <p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p>	5	<p>Unit 2 Technology: Friend or Foe Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>									
<p>【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz scores.</p> <p>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes</p> <p>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 あり / Yes</p>	6	<p>Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>									
<p>【授業計画】 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Course orientation</td> <td>Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions</td> <td>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities	2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..	7	<p>Protests and dissent Research report/ mini- Presentations Connecting the dots Love and Loss Death</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>
回	テーマ	内容										
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines. handout discussion activities										
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..										
<table border="1"> <tbody> <tr> <td>3</td> <td>Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment</td> <td>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</td> </tr> </tbody> </table>	3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	8	<p>Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>						
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.										
	9	<p>Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions</p>	<p>Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.</p>									

10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【学生が準備すべき機器他】 Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary. Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	【その他の重要事項】 This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course. This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz	【Outline (in English)】 This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson	
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment and/or study for a quiz every week in preparation for class. This writing assignment will usually require research.

Students should expect to spend at least two hours on homework/studying outside of class, on average. Some weeks will be more, and some weeks will be less.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, presentations:70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	4	Human Compassion	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
English 3 II		Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
サブタイトル：English in global contexts		writing assignment	Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
TOBY TRAUB			
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金3/Fri.3			
単位数：1単位			
その他属性：			
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】	5	Is telling lies bad?	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Learning English for communicating in a global society.		Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
【到達目標】		writing assignment	Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.			
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】	6	Immigration good, or bad?	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1		Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
【授業の進め方と方法】		writing assignment	Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz scores.	7	How neighborhoods happen.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】		Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
あり / Yes			Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			
あり / Yes			
【授業計画】 授業形態：対面/face to face	8	Rules versus freedom	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
回 テーマ 内容		Presentation topics due.	Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
1 Welcome back		Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
2 Homelessness			
Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions			
3 Art and War	9	Japan surveillance state.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions		Outline of presentations due.	Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
big writing assignment		Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok. 【その他の重要事項】 This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course. 【Outline (in English)】 This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz	
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.	
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

Students will spend a bare minimum of two hours a week homework outside of class, some weeks will be more, and some will be less.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class.

However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, presentations:70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語ドラマを観る

川野 芽生

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金3/Fri.3

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Amazon Prime オリジナルドラマ“Good Omens”を通して英語を学び、同時に英語圏の社会と文化、歴史、宗教に対する理解を深める。英語のリーディングとリスニングを通じて社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語のライティングとスピーキングを通じて自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英語での会話を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高め、イデオロムやコロケーションを学ぶ。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期は、シーズン1の後半、エピソード4～6を扱う。一回の授業で1エピソードの4分の1 (約15分) を扱う。学生は予習として、スクリプトブックの当該エピソードを読んでくる。授業ではまず一度、ドラマのそのエピソードを英語音声、字幕なしで視聴し、リスニングに挑戦する。次に、英語音声、英語字幕で視聴し、内容の把握に努める。続いて、学生を順次指名してスクリプトブックの台詞を訳し、文法や語彙、イデオロムの説明をする。その後、英語音声、日本語字幕でドラマを視聴し、文化的背景などについて解説する。1エピソードごとにリアクションペーパーを提出してもらい、授業内でフィードバックを行う。最終的に、英語でエッセイを書いて提出する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容と進め方についての説明、諸注意
2	Episode 1「天使と悪魔」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に
3	Episode 1「天使と悪魔」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
4	Episode 1「天使と悪魔」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
5	Episode 1「天使と悪魔」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
6	Episode 5「予言書」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に

7	Episode 5「予言書」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
8	Episode 5「予言書」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
9	Episode 5「予言書」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
10	Episode 6「不和」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に
11	Episode 6「不和」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
12	Episode 6「不和」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
13	Episode 6「不和」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
14	ディスカッション	これまでの内容を踏まえてディスカッション、意見発表

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。スクリプトブックのうちその回で扱うエピソードを、あらかじめ辞書を引き、文法を調べて読んでくること。ノートに日本語訳を用意し、授業中に淀みなく答えられるように準備しておくこと。わからない点は、辞書や文法書を調べた上で、なおわからないことは質問できるように用意しておくこと。ディスカッションの回までに、Unitのライティング問題に取り組むこと。

【テキスト (教科書)】

Neil Gaiman「The Quite Nice and Fairly Accurate Good Omens Script Book」(Headline Book Publishing, 2020) 2890円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業参加 70 %
リアクションペーパー 10 %
最終レポート 20 %

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生が発言しやすい雰囲気を心がける。必ず予習してくることを求め、学生がその場で和訳を試みるなどして他の学生の時間を奪うことのないように、予習してきていない学生は注意の上で次回に回す。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching Amazon Prime original drama “Good Omens”.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Read a script book in English.
- Improve listening and reading comprehension.
- Enrich their vocabulary.
- Learn about culture, society, history and religion in the world.
- Express their opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read a relevant chapter from the script book. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: in-class contribution (70%), reaction paper (10%), and term-end report (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ドラマを観る

川野 芽生

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Amazon Primeオリジナルドラマ“Good Omens”を通して英語を学び、同時に英語圏の社会と文化、歴史、宗教に対する理解を深める。英語のリーディングとリスニングを通じて社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語のライティングとスピーキングを通じて自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英語での会話を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高め、イデオロムやコロケーションを学ぶ。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期は、シーズン1の後半、エピソード4～6を扱う。一回の授業で1エピソードの4分の1（約15分）を扱う。学生は予習として、スクリプトブックの当該エピソードを読んでくる。授業ではまず一度、ドラマのそのエピソードを英語音声、字幕なしで視聴し、リスニングに挑戦する。次に、英語音声、英語字幕で視聴し、内容の把握に努める。続いて、学生を順次指名してスクリプトブックの台詞を訳し、文法や語彙、イデオロムの説明をする。その後、英語音声、日本語字幕でドラマを視聴し、文化的背景などについて解説する。1エピソードごとにリアクションペーパーを提出してもらい、授業内でフィードバックを行う。最終的に、英語でエッセイを書いて提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容と進め方についての説明、諸注意
2	Episode 4「遊びの時間」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に
3	Episode 4「遊びの時間」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
4	Episode 4「遊びの時間」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
5	Episode 4「遊びの時間」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
6	Episode 5「世界は私に懸かっている」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に

7	Episode 5「世界は私に懸かっている」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
8	Episode 5「世界は私に懸かっている」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
9	Episode 5「世界は私に懸かっている」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
10	Episode 6「二つの顔」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に
11	Episode 6「二つの顔」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
12	Episode 6「二つの顔」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
13	Episode 6「二つの顔」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
14	ディスカッション	これまでの内容を踏まえてディスカッション、意見発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。スクリプトブックのうちその回で扱うエピソードを、あらかじめ辞書を引き、文法を調べて読んでくること。ノートに日本語訳を用意し、授業中に読みなく答えられるように準備しておくこと。わからない点は、辞書や文法書を調べた上で、なおわからないことは質問できるように用意しておくこと。ディスカッションの回までに、Unitのライティング問題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

Neil Gaiman「The Quite Nice and Fairly Accurate Good Omens Script Book」(Headline Book Publishing, 2020) 2890円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業参加 70%
リアクションペーパー 10%
最終レポート 20%

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生が発言しやすい雰囲気を心がける。必ず予習してくることを求め、学生がその場で和訳を試みるなどして他の学生の時間を奪うことのないように、予習してきていない学生は注意の上で次回に回す。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching Amazon Prime original drama “Good Omens”.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Read a script book in English.
- Improve listening and reading comprehension.
- Enrich their vocabulary.
- Learn about culture, society, history and religion in the world.
- Express their opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read a relevant chapter from the script book. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: in-class contribution (70%), reaction paper (10%), and term-end report (20%).

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200)</p> <p>English 3 I 2017年度以降入学者</p> <p>サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World</p> <p>猪俣 佳瑞美</p> <p>開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 金3/Fri.3 単位数: 1単位</p> <p>その他属性:</p>	3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。									
<p>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】</p> <p>English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。</p> <p>【到達目標】</p> <p>講義の到達目標は、以下である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 ・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 ・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 ・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。 	4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。									
<p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】</p> <p>各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1</p>	5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。									
<p>【授業の進め方と方法】</p> <p>各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。</p>	6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。									
<p>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 あり / Yes</p> <p>【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No</p>	7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。									
<p>【授業計画】 授業形態: 対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone</td> <td>若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など	2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。	8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。
回	テーマ	内容										
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など										
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。										
	9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。									
	10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。									
	11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するならば、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。									
	12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。									

- | | | |
|----|----------------------------|---|
| 13 | プレゼンテーション
1 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。 |
| 14 | プレゼンテーション
2
小テストとまとめ | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)	3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II			
サブタイトル: 身近なテーマで考える世界の中の日本: Japan in the World			
猪俣 佳瑞美			
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 金3/Fri.3	4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位			
その他属性:			
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】	5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			
【到達目標】	6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
講義の到達目標は、以下である。			
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。	7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1	8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
【授業の進め方と方法】	9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。			
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】	10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
あり/Yes			
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】			
なし/No			
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face	11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
回 テーマ 内容			
1 秋学期スタートにあたって			各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
2 Unit 11 More Foreign Visitors	12	プレゼンテーション 1	

- | | | |
|----|----------------|--|
| 13 | プレゼンテーション
2 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。 |
| 14 | 小テストとまとめ | 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：イギリスのニュース

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストで紹介されている海外のニュースを使用し、ニュース記事のリーディングを通して英語の読解力を強化し国際社会への理解を深めることを目標とします。またテキスト内のディクテーションの演習を毎回実施しリスニング力と語彙力を強化していきます。受講者同士の英語での会話練習や英作文を通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることも目標とします。

【到達目標】

1. 海外のニュースを使用して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. ニュースのスキプトの読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態 講義と演習形式。テキストの演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。テキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システム(Hoppi)から出題します。フィードバックは授業内での解説や学習支援システム、E-mailを使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明
2	Unit 1 ① Unit 1 ②	リスニング テキストP6 Summaryのリスニング テキストP1-6の解説、提出課題の確認
3	Unit 2 ①	Unit 2 News Storyのディクテーション、テキストP7-12 解説前半
4	Unit 2 ②	テキストP7-12の解説後半、P12 Summaryのリスニング、提出課題の確認
5	Unit 3 ①	Unit 3 News Storyのディクテーション、テキストP13-18 解説前半
6	Unit 3 ②	テキストP13-18の解説後半、P18 Summaryのリスニング、提出課題の確認
7	Unit 4 ①	Unit4 News Storyのディクテーション、テキストP19-24 解説前半
8	Unit 4 ②	テキストP19-24の解説後半、P24 Summaryのリスニング、提出課題の確認

9	Unit 5 ①	Unit5 News Storyのディクテーション、テキストP25-30 解説前半
10	Unit 5 ②	テキストP25-30の解説後半、P30 Summaryのリスニング、提出課題の確認
11	Unit 6 ①	Unit6 News Storyのディクテーション、テキストP31-36 解説前半
12	Unit 6 ②	テキストP31-36の解説後半、P36 Summaryのリスニング、提出課題の確認
13	Unit 7	Unit7 News Storyのディクテーション、テキスト解説、P37-42 Summaryのリスニング、提出課題の確認
14	期末試験とまとめ	第1回から13回までの授業内容を試験範囲とします。春学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストにニュース映像閲覧用のパスワードとURLが記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、News Storyの英文を読んでください。受講者が予習をしていることを前提にスキプトのディクテーション、内容解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の演習問題の解答を課題として学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

British News Update 6 (金星堂 2024) Timothy Knowles / 田中みんね / 中村美帆子 / 馬上紗矢香 編著 ¥2,800 (+ Tax) ISBN 978-4-7647-4191-1

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験50%、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、授業支援システムの課題提出）50%で評価します。欠席が4回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールで連絡をお願いします。メールを送る際は法政のメールアドレスを使用し「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を本文に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：イギリスのニュース

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストで紹介されている海外のニュースを使用し、ニュース記事のリーディングを通して英語の読解力を強化し国際社会への理解を深めることを目標とします。またテキスト内のディクテーションの演習を毎回実施しリスニング力と語彙力を強化していきます。受講者同士の英語での会話練習や英作文を通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることも目標とします。

【到達目標】

1. 海外のニュースを使用して英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. ニュースのスキプトの読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態 講義と演習形式で実施。テキストの演習問題を使用して、語彙の確認、リスニング練習を行います。その後ニュースの内容を受講者全員で確認します。テキストの内容理解の問題を提出課題として学習支援システムから出題します。フィードバックは授業内での解説や授業支援システム (Hoppii)、E-mailを使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション Unit 8 ①	授業の進め方の説明 Unit 8 Building Language, News Story リスニング
2	Unit 8 ② Unit 9 ①	Unit 8 News Story, Summary 解説, 演習問題 Unit 9 Building Language, News Story リスニング
3	Unit 9 ②	Unit 9 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題
4	Unit 10 ①	Unit 10 Building Language, News Story リスニング
5	Unit 10 ② Unit 11 ①	Unit 10 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題 Unit 11 Building Language, News Story リスニング
6	Unit 11 ②	Unit 12 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題
7	Unit 12 ①	Unit 12 Building Language, News Story リスニング, 解説
8	Unit 12 ② Unit 13 ①	Unit 12 Summary 解説, 演習問題 Unit 13 Building Language, News Story リスニング
9	Unit 13 ②	Unit 13 News Story 解説, Summary 解説, 演習問題

10	Unit 14 ①	Unit 14 Building Language, News Story リスニング, 解説前半
11	Unit 14 ②	Unit 14 News Story 解説 後半, Summary 解説, 演習問題
12	Unit 15 ①	Unit 15 Building Language, News Story リスニング, 解説前半
13	Unit 15 ②	Unit 15 News Story 解説 後半, Summary 解説, 演習問題
14	期末試験とまとめ	第1回から13回までの授業内容を試験範囲とします。秋学期全体のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストにニュース映像閲覧用のパスワードとURLが記載されているので、それを使用して事前にニュース映像を見て、News Storyの英文を読んできて下さい。受講者が予習をしていることを前提にスキプトのディクテーション、内容解説、演習問題の答え合わせなどを進めていきます。各ユニットの内容理解の演習問題の解答を課題として学習支援システムから提出してもらいます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

British News Update 6 (金星堂 2024) Timothy Knowles / 田中みんね / 中村美帆子 / 馬上紗矢香 編著 ¥2,800 (+ Tax) ISBN 978-4-7647-4191-1

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験50%、平常点（予習、授業内での発言等の貢献度、学習支援システムの課題提出）50%で評価します。欠席が4回以上になった受講生は原則として単位取得の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英作文や会話で自分の意見をアウトプットできる機会を増やしていきます。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【その他の重要事項】

学習支援システムの授業ページに教員のメールアドレスを掲載するので連絡や質問がある場合はメールでご連絡をお願いします。メールを送る際は法政のメールアドレスを使用し「授業曜日、時限、学籍番号、氏名」を本文に明記してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through watching and reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 50%, In-class contribution and Assignment submissions: 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 現代イギリスの文化と社会

萩原 眞一

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は4技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)の学習を中心にを行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3分程度のBBC(英国放送協会)の映像ニュースから15本精選され、それぞれにUnderstanding CheckやMaking a Summaryなどの設問が付けられた総合英語教材を使用します。毎回授業中にDVDを視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Upの設問を活用してスピーキングの能力を養成します。また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が100点満点に換算した成績評価の基準点において60点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Unit 1 "Paying Respects to the Queen"[国民に愛された女王の葬儀]①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第2回	Unit 1 "Paying Respects to the Queen"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第3回	Unit 2 "The London Olympic Park Today"[オリンピックの遺産を未来へ]①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第4回	Unit 2 "The London Olympic Park Today"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第5回	Unit 3 "Prescriptions for Healthy Food"[野菜の処方箋!?]①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第6回	Unit 3 "Prescriptions for Healthy Food"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第7回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第8回	Unit 4 "Nurses on Strike"[看護師たちのストライキ]①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第9回	Unit 4 "Nurses on Strike"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第10回	Unit 5 "Sustainable Antarctic Cruises"[南極クルーズで科学研究に貢献!?]①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第11回	Unit 5 "Sustainable Antarctic Cruises"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第12回	Unit 6 "The Wheelchair Rugby League World Cup"[車いすラグビーのワールドカップ]①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第13回	Unit 6 "The Wheelchair Rugby League World Cup"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第14回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

Timothy Knowles他編著『British News Update 6—映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース6』(金星堂、2024年) 2800円(税別)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

中間試験(45点)と期末試験(45点)を実施し、学期末に課す英語小エッセー(10点)を勘案した上で、100点満点に換算した基準点を割り出し、60点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器(パソコン、スマホ、iPad等)

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代イギリスの文化と社会

萩原 真一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は4技能（リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング）の学習を中心にを行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3分程度のBBC（英国放送協会）の映像ニュースから15本精選され、それぞれにUnderstanding CheckやMaking a Summaryなどの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中にDVDを視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Upの設問を活用してスピーキングの能力を養成します。また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が100点満点に換算した成績評価の基準点において60点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Unit 7 "Rescue of an Ancient Tavern"	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、[中世の建築物の存続はいかに] ① す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第2回	Unit 7 "Rescue of an Ancient Tavern"	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。②
第3回	Unit 8 "A New Treatment for Alzheimer's"	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、[アルツハイマー病の新薬が登場!] ① す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第4回	Unit 8 "A New Treatment for Alzheimer's"	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。②
第5回	Unit 9 "Liverpool's Slavery Heritage"	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、[真の歴史を見据える都市リヴァプール] ① す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第6回	Unit 9 "Liverpool's Slavery Heritage" ②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第7回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第8回	Unit 10 "New Businesses in Sunderland"[起業で目指すサンダーランドの町おこし] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第9回	Unit 10 "New Businesses in Sunderland"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第10回	Unit 11 "Brexit: How Do We Feel Now?"[EU離脱後の市民の葛藤] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第11回	Unit 11 "Brexit: How Do We Feel Now?"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第12回	Unit 12 "Genomes of All Life in the British Isles"[すべての生物のゲノム解析を!] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、す。語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第13回	Unit 12 "Genomes of All Life in the British Isles"②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第14回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Timothy Knowles他編著『British News Update 6—映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース6』（金星堂、2024年）2800円（税別）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

中間試験（45点）と期末試験（45点）を実施し、学期末に課す英語小エッセー（10点）を勘案した上で、100点満点に換算した基準点を割り出し、60点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器（パソコン、スマホ、iPad等）

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Global Issues and Japan

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業の目的は「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことにあります (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。現在の日本が直面する様々な課題と将来の展望について学び考えます。

【到達目標】

1. 音読が適切にできるようになること
2. テキストの内容を正確に理解し英語で要約できるようになること
3. 授業で学んだトピックについての解説と意見を英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction / Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 #1	1. Orientation オリエンテーション 2. Reading the first paragraph of Chapter 2
2	Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
3	Impact of Lowering the Age of "Adulthood" 成人年齢 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
4	Gender Equality 男女格差 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading
5	Gender Equality 男女格差 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
6	Gender Equality 男女格差 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice

7	Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading
8	Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
9	Freedom of Speech and Its Implications 言論の自由とその影響 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
10	Should Nuclear Power Dependency 原発依存 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading
11	Should Nuclear Power Dependency 原発依存 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
12	digitalization and Should Nuclear Power Dependency 原発依存 #3	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
13	Should Nuclear Power Dependency 原発依存 #4	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
14	Review & Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト（教科書）】

James M. Vardaman, Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider (『考えよう日本の論点15』, 音羽書房鶴見書店, 2023年) ¥2,000+税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (春学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I hope your enthusiastic participation will make this course exciting. みなさんの積極的な授業参加が授業の質を高めてくれたと実感しています。本年度の授業もそうあることを期待しています。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This is a content-based English learning class focusing on social issues in Japan from a global perspective. Students will also develop reading, listening, speaking and writing skills. The goal is for students to be able to read aloud fluently and to write a well-organized paragraph about their own opinions. You will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Global Issues and Japan

青山 恵子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日本が直面する課題をグローバルな視点から学び考えます。English 3 Iに引き続き「英語を読み聞く」を「英語で考え発信する」へと発展させていくことを目的とします (learning four skills of reading, listening, speaking and writing)。

【到達目標】

- 1 音読が適切にできるようになること
- 2 学んだトピックについての意見のやりとりを正確に聞き取ることができるようになること
- 3 学んだトピックについての解説と意見を論理的に英語で表現できるようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing:

- (1) Reading: paragraph reading
- (2) Listening: listening to mini-talks and global news
- (3) Writing: summary and paragraph writing
- (4) Speaking: preparation for presentation

Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です。授業毎に課題やリアクションペーパーに対するフィードバックを行います)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Fertility Decline and Initiatives 少子化対策 #1	1 Explaining the course of this semester 2 Reading and listening practices
2	Fertility Decline and Initiatives 少子化対策 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
3	Fertility Decline and Initiatives 少子化対策 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
4	Digitization and Public Administration デジタル化と行政 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Reading aloud practice
5	Digitization and Public Administration デジタル化と行政 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
6	Digitization and Public Administration デジタル化と行政 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice

7	Foreign Technical Intern Trainees 外国人技能実習生 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Reading aloud practice
8	Foreign Technical Intern Trainees 外国人技能実習生 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
9	Foreign Technical Intern Trainees 外国人技能実習生 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
10	Refugee Status 難民認定 #1	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Reading aloud practice
11	Refugee Status 難民認定 #2	Understanding issue: 1.Paragraph reading 2.Comprehension Check
12	Refugee Status 難民認定 #3	Exercise: 1.Structure Practice 2.Listening Challenge 3.Reading aloud practice
13	Refugee Status 難民認定 #4	Reading more about refugee issues
14	Review & Test	Final Test 学期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業 1 回あたり 1 時間を標準とします)

- 1 Weekly reading, listening, or writing home assignments
- 2 Weekly reading aloud and speaking practicing

【テキスト (教科書)】

James M. Vardaman, Japan's Dilemmas and Solutions: 15 Topics You Need to Consider (『考えよう日本の論点15』, 音羽書房鶴見書店, 2023年) ¥ 2,000 + 税

【参考書】

Provided during sessions

【成績評価の方法と基準】

Final test (40%)

Home assignment (30%)

In-class contribution (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed (秋学期欠席が 4 回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

Your classmates' encouragement will keep you motivated. 語学学習は継続が重要です。互いに励ましあいながらさらなるレベルアップを目指しましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii(学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

This English course is designed to improve the four skills of reading, listening, speaking and writing while learning about Japan in the international community. The goal is for students to be able to read aloud fluently, to accurately listen to discussions on a given topic and to write well-structured paragraphs expressing their own opinions on the topic. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (40%), the home assignment (30%) and the in-class contribution (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：Aspects of the English-Speaking World: Authentic Texts and TedTalks

ROBERT J SPIVAK

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

英語3は、英語1と2で得たスキルと知識を基に、さまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。そのためにこのコースでは、学生は英語を使って、さまざまな観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。また時事トピックを通じて時事問題を学び、さまざまな情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的英語スキルを訓練します。

【到達目標】

Students will read authentic texts and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will read a passage from a newspaper/magazine article or watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by reading, listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the reading selections and TED Talk themes, discuss, write papers, and make presentations synthesizing their views on the content studied.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
2	Introduction to the course. Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Understanding references. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
3	Interdisciplinary. Unit 1B: How to Start a Movement	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
4	Conservation. Unit 2A: Trouble for the Air Plants / Scientific article	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.
5	Conservation. Unit 2B: Conserving the Canopy	Understanding main ideas and key details. Recognizing purpose. Recognizing supporting evidence. Inferring reasons. Synthesizing information.
6	Health / innovations. Unit 3A: Big Problems, Simple Solutions. Magazine-style article.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
7	Health / innovations. Unit 3B: A Warm Embrace that Saves Lives.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding visuals. Making inferences. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion.
8	Sociology / technology. Unit 4A: Is Gaming Good for You? Research report.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
9	Sociology / Technology. Unit 4B: Gaming Can Make a Better World.	Getting the main ideas. Understanding key details. Analyzing pros and cons. Understanding data. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.
10	Psychology / Education. Unit 5A: Engaging Learners.	Getting the main ideas. Understanding key details. Understanding supporting ideas with evidence. Finding similarities and differences. Getting meaning from context. Inferring reasons. Reflecting on own experience.

11	Psychology / Education. Unit 5B: The Key to Success? Grit.	Understanding main ideas. Understanding overall message. Understanding terms. Summarizing the talk. Evaluating information. Synthesizing information. Reflecting on own experienCe.
12	Theme chosen by class. Newspaper Article.	Getting the main ideas. Identifying supporting ideas. Making inferences. Getting meaning from context.
13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Summarizing. Recognizing purpose.
14	Final Test. Summarizing text / talks from media in small groups.	Summarizing. Giving opinions. Synthesizing information. Evaluating information. Reflecting on own experience.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to do at least two hours per week of homework. Taste will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cengage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200)</p> <p>English 3 II 2017年度以降入学者</p> <p>サブタイトル：英語圏の文化と社会：Aspects of the English-Speaking World: Authentic Texts and TedTalks</p> <p>ROBERT J SPIVAK</p> <p>開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：水5/Wed.5 単位数：1単位</p> <p>その他属性：</p>	<p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>12</p>	<p>Food/Health. Unit 6A: Food Revolution. Magazine-style article.</p> <p>Food/Health. Unit 6B: Teach Every Child About Food.</p> <p>Behavior/Psychology. Unit 7A. Power Poses. Research Report.</p> <p>Behavior/Psychology. Unit 7B: Your Body Language Shapes Who You Are.</p> <p>Energy/Engineering. Unit 8A: Kite Power. News Report</p> <p>Energy/Engineering. Unit 8B: How I Harnessed the Wind,</p> <p>Engineering/Art. Unit 9A: Thinking in Pictures. Biographical article.</p> <p>Engineering/Art. Unit 9B: Deep Sea Diving in a Wheelchair.</p> <p>Statistics/Economics. Unit 10A: Information is Beautiful. Magazine-style article.</p> <p>Statistics/Economics. Unit 10B: The Beauty of Data Visualization.</p> <p>Theme chosen by class. Newspaper Article.</p>	<p>Getting the main ideas. Identifying problems and solutions. Understanding infographics. Getting meaning from context. Applying information. Reflecting on own experience.</p> <p>Understanding main ideas and key details. Inferring meaning. Evaluating information. Reflecting on own experience.</p> <p>Getting the main ideas and details. Recognizing text structure. Getting meaning from context. Analyzing statements. Reflecting on own experience.</p> <p>Understanding main ideas and key details. Recognizing sequence. Identifying purpose. Summarizing. Reflecting on own experience. Inferring statements. Reasoning ideas.</p> <p>Getting the main ideas. Scanning for specific information. Making comparisons. Getting meaning from context. Evaluating and justifying an opinion. Reflecting on possible solutions.</p> <p>Understanding main ideas. Visualizing a process. Understanding causes and effects. Inferring meaning. Synthesizing information.</p> <p>Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on possibilities.</p> <p>Understanding main ideas and key details. Recognizing tone and message. Inferring meaning. Comparing information.</p> <p>Getting the main ideas. Understanding infographics. Getting meaning from context. Inferring meaning in statements. Reflecting on own experience.</p> <p>Understanding main ideas and key details. Analyzing information. Reflecting on own experience. Interpreting a speaker's statement.</p> <p>Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.</p>									
<p>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】</p> <p>英語3-IIは、春学期に開講された英語3-Iの続きです。英語3は、英語1と2で習得したスキルと知識を基に、英語を使ってさまざまなトピックについて考え、意見を交換する機会を学生に提供することを目的としています。このコースでは英語を使って、あらゆる観点からテクノロジー、エンターテインメント、デザインの新しい展開について学びます。またさまざまな時事問題を学び、情報を取り入れて意見を交換します。さらに上記を達成するために必要な基本的な英語スキルを訓練します。</p>	<p>【到達目標】</p> <p>Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks. Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective. Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.</p>	<p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】</p> <p>各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p>	<p>【授業の進め方と方法】</p> <p>Student will read and listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks. Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective. Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.</p>	<p>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes</p>	<p>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No</p>	<p>【授業計画】 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Introduction</td> <td>Introduction to the course. Review of Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	Introduction	Introduction to the course. Review of Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.
回	テーマ	内容										
1	Introduction	Introduction to the course. Review of Media sources. Writing summaries. Giving opinions. TedTalks.										

13	Theme chosen by class. TedTalk.	Understanding main ideas and key details. Identifying tone and attitude. Evaluating information. Reflecting on own experience. Synthesizing information
14	Final Test. Summarizing text/talks from media in small groups.	Getting the main ideas. Understanding key details. Scanning for information. Getting meaning from context. Reasoning solutions. Interpreting a writer's statement.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to do at least two hours per week of homework. Taste will include exercises from the textbook, reading summarizing newspaper and magazine articles, watching TedTalks and summarizing the content.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Level 2. Robin Longshaw, Laurie Blass, Mari Vargo, Eunice Yeates, Ingrid Wisniewska, Jessica Williams

National Geographic Learning/Cenage.

ISBN: 9781305265707, ¥ 3,388.

【参考書】

English Dictionary

【成績評価の方法と基準】

Attendance/Participation: 25

Presentation: 25

Homework (written summaries): 25

Final Test: 25

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

I will be communicating with students through Hosei's LMS "Hoppii."

【Outline (in English)】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan and the World: Global Communication

RICHARD WILCOX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women’s empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts “From Paragraph to Essay”

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: Physical fitness	Orientation; English Conversation Practice (ECP) Handouts; Text Unit 1
2	Asking questions; Topic: Blood types	Graded Reader (GR); ECP Handouts; Text Unit 2
3	Giving opinion; Topic: Dreams	GR; ECP Handouts; Text Unit 3
4	Debating topics: Topic: Speed dating	GR; ECP Handouts; Unit 4
5	Narratives; Topic: Pets in Japan	GR Discussion; Written Test on Textbook
6	Describing things; Topic: Stress	Return test results; GR 2; ECP Handouts: Unit 5
7	Ecology; Topic: Listening and taking notes	GR 2; ECP Handouts: Unit 6
8	Problems and Solutions: Topic: Fast food	DVD: Queen of the Sun (30 min.); Discussion
9	Comparisons: Topic: Shopping trends	Queen of the Sun (30 - 60 min.); Discussion
10	Discussions; Topic: Women and work	GR 2; ECP Handouts; Unit 7
11	Group organization; Topic: Student choice	GR 2; ECP Handouts; Unit 8
12	Presentations; Topic: Course related topics	GR 2 Discussion (students hand in final GR reports); ECP Handouts; Text Unit 9
13	Choice of test topics	Return GR reports; Prepare Informal Group Presentation
14	Student peer review and feedback	Informal Group Presentations (Individuals present in small groups)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト (教科書)】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%;

Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjustment to length of devotion to various topics based on student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. As noted above, students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Japan and the World: Global Communication

RICHARD WILCOX

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

【到達目標】

Media and Culture: Communicating In English To Explain Japan To The World

Students will find this course useful for building their English and academic abilities and broadening their understanding of the world. Topics may include: media and culture; women’s empowerment in social and economic life; career goals; modern Japanese culture and subcultures; nature and environment; human health, nutrition and exercise; global economic development and international relations. Students will use graded reader books, journals, a textbook and practical English conversation handouts to improve their communication skills. Tests will include written and oral types and informal and power point presentation formats.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Textbook, English Conversation Practice handouts, Written assignments and tests, Journals, Graded Readers, Viewing educational DVDs; Teacher explanations

Handouts:

English Conversation Practice

Excerpts “From Paragraph to Essay”

Research Proposal Outline

Designing Research: Surveys

Designing a Survey Outline

Analyzing Data Outline

Describing Graphs

DVD Discussion Outline

Internet Search Techniques

Speech Outline

Audience Q & A Outline

Presentation Slides

Powerpoint Outline

Presentation Delivery

Presentation Evaluation Form

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Self Introduction; Topic: The Internet	Journal; ECP Handouts; Text Unit 9 Women and Work
2	Asking questions; Topic: Kawaii	Journal; ECP Handouts; Text Unit 10 The Internet
3	Giving opinion; Topic: Dressing Casually	Journal; ECP Handouts; Text Unit 11 Kawaii
4	Debating topics: Topic: World happiness	18. ECP Handouts; Unit 12; Homework: Read “Fukushima” DVD transcript; Write report for pages 1 - 4
5	Listening and taking notes 1; Topic: Environment	Watch “Fukushima” (20 min); Discussion; Homework: Write report 5 - 8
6	Observing and taking notes; Topic: Technology	Watch “Fukushima” (21 - 40 min); Discussion; Write report 9 - 11
7	Summarizing Opinions; Topic: Energy issues	Watch “Fukushima” (41 - 60); Discussion; Hand in Fukushima reports
8	Narratives; Topic: The right to die	Journal; ECP Handouts: Unit 13 Same Sex Marriage
9	Describing things; Topic: Pet cloning	Journal; ECP Handouts; Unit 14 World Happiness
10	Choice of test topics	Hand in Journals; Written Test on Textbook
11	Problems and Solutions / Comparisons; Topic: Lecture on powerpoint techniques	Return journals and test results; Prepare Final Individual Powerpoint Presentations
12	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 1) Student Q & A
13	Powerpoint presentations	Power Point Presentations (Group 2) Student Q & A
14	Course Review	Course Review

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Pre-reading of assignments; completion of textbook homework assignments; preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

No more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【テキスト (教科書)】

Life Topics (Advanced)

【参考書】

Wilcox Handouts

Google Scholar

Wikipedia

【成績評価の方法と基準】

Participation 20%; Written assignments 10%; 2 Written Tests 30%; Informal Group Presentation 20%; Final Individual Powerpoint Presentation 20%; Students should be aware that no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed otherwise they will fail the course.

【学生の意見等からの気づき】

Adjust lessons according to student interest

【学生が準備すべき機器他】

Bring textbook and notebook and clear folder to keep handouts in class; laptop computers are recommended.

【その他の重要事項】

Please arrive at class on time and attend regularly. Students who are often late or absent will suffer lowering of grades and possibility of class failure.

【Outline (in English)】

1. Giving students opportunity to practice and develop their communication skills including speaking, reading, writing, listening and presentation;
2. To improve reading comprehension via Graded Readers, textbook units and news articles;
3. To foster student understanding of current issues that relate to using English about Japan and the World;
4. To develop a critical approach toward the development of presentation of student research and opinions through speaking, writing and presentation techniques.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の国々のこれまでとこれから / The Past and Future of Countries

小田井 勝彦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸張し、様々な国々の歴史と現状を扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まず教科書のWarm Upに取り組み、授業で扱う内容に関する基礎知識を学びます。そして本文を英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、リスニングエクササイズ、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。

授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の進め方、教科書、評価方法などについて説明。
2	Chapter 1 Colonialism < Warm Up と読解 >	Chapter 1のWarm Upと本文の前半を読解します。
3	Chapter 1 Colonialism < 読解とExercise >	Chapter 1の本文後半とComprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
4	Chapter 2 Postcolonialism < Warm Up と読解 >	Chapter 2のWarm Upと本文の前半を読解します。
5	Chapter 2 Postcolonialism < 読解とExercise >	Chapter 2の本文後半とComprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
6	Chapter 3 Neocolonialism < Warm Up と読解 >	Chapter 3のWarm Upと本文の前半を読解します。
7	Chapter 3 Neocolonialism < 読解とExercise >	Chapter 3の本文後半とComprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。

8	中間テストと解説	unit 1~3を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。
9	Chapter 4 The UK < Warm Up と読解 >	Chapter 4のWarm Upと本文の前半を読解します。
10	Chapter 4 The UK < 読解とExercise >	Chapter 4の本文後半とComprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
11	Chapter 5 Ireland < Warm Up と読解 >	Chapter 5のWarm Upと本文の前半を読解します。
12	Chapter 5 Ireland < 読解とExercise >	Chapter 5の本文後半とComprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Studyを行ないます。
13	総復習	これまでの総復習をします
14	期末テストと解説	unit 4~5を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでくる。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

JA Kusaka, Jesse Elam, Dax Thomas『グローバル・マインドへの道』（松柏社、2022）

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

[Learning Objectives]

1. Students can read English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for reading English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

[Learning activities outside of classroom]

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria / Policy]

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル:世界の国々のこれまでとこれから / The Past and Future of Countries

小田井 勝彦

開講時期:秋学期授業/Fall | 曜日・時限:水5/Wed.5
単位数:1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、1年次に習得した四技能の英語運用能力をさらに伸ばし、現代社会の様々なテーマを扱った文章や会話の読解・聴解をすることで、現代社会についての理解を深めて批判的に分析した上で、英語で意見を発信する能力の涵養を目指します。英語で書く練習も行います。

【到達目標】

- ・英語でのコミュニケーションに必要な語彙・文法を習得する。
- ・社会問題など高度な内容のディスカッションに必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・情報収集に必要な英語のリーディング能力を身につける
- ・私たちが生きる現代社会について理解し、正しい批評態度で英語での発信ができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科:DP3・DP4、法学部・政治学科:DP1、文学部:DP1、経営学部:DP1

【授業の進め方と方法】

2回で1章のペースで進めていきます。まず教科書のWarm Upに取り組み、授業で扱う内容に関する基礎知識を学びます。そして本文を1文1文日本語に直し、英文の構造をしっかりと確認しながら、読解を進めます。そして本文の読解後、教科書の練習問題を通じて、内容理解を深め、語彙の定着、リスニングエクササイズ、話題に関して自分の意見を書くライティングを行ないます。

授業中に回収したライティングや中間テストは採点后講評または返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態:対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 6 Nigeria < Warm Up と読解 >	Chapter 6 の Warm Up と本文の前半を読解します。
2	Chapter 6 Nigeria < 読解と Exercise >	Chapter 6 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
3	Chapter 7 South Africa < Warm Up と読解 >	Chapter 7 の Warm Up と本文の前半を読解します
4	Chapter 7 South Africa < 読解と Exercise >	Chapter 7 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
5	Chapter 8 New Zealand < Warm Up と読解 >	Chapter 8 の Warm Up と本文の前半を読解します
6	Chapter 8 New Zealand < 読解と Exercise >	Chapter 8 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。

7	中間テストと解説	unit 6~8 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないません。
8	Chapter 9 Australia < Warm Up と読解 >	Chapter 9 の Warm Up と本文の前半を読解します
9	Chapter 9 Australia < 読解と Exercise >	Chapter 9 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
10	Chapter 10 Singapore < Warm Up と読解 >	Chapter 10 の Warm Up と本文の前半を読解します
11	Chapter 10 Singapore < 読解と Exercise >	Chapter 10 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
12	Chapter 11 India < Warm Up と読解 >	Chapter 11 の Warm Up と本文の前半を読解します
13	Chapter 11 India < 読解と Exercise >	Chapter 11 の本文後半と Comprehension Questions, Vocabulary, Listening, Further Study を行ないます。
14	期末テストと解説	unit 9~11 を試験範囲とし、試験およびまとめ、解説を行ないます。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に、知らない語彙について辞書を引き、教科書の本文を読んでくる。授業後は、間違えに気付いた箇所について確認し、語彙を覚える。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

JA Kusaka, Jesse Elam, Dax Thomas『グローバル・マインドへの道』(松柏社、2022)

【参考書】

各自『ジーニアス英和辞典』など学習用英和辞典を用意して下さい(電子辞書も可)

【成績評価の方法と基準】

中間テスト40%、期末テスト40%、平常点20%で評価します。
4回以上欠席した場合には、原則として単位認定を行ないません。

【学生の意見等からの気づき】

単調にならないよう様々なアクティビティを行いたいと思います

【Outline (in English)】

This class is aimed at improving English skills acquired in freshmen's courses. Students will read articles and listen to conversations about various aspects of modern society. Through these language activities, students will deepen their understanding of our society and learn to express their opinions critically.

【Learning Objectives】

1. Students can read English passages accurately
2. Students can master necessary vocabularies and expressions for reading English passages.
3. Student understand English grammar.
4. Students get the knowledge about a variety of social problems.

【Learning activities outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria / Policy】

- ・ mid-term test 40%
- ・ term test 40%
- ・ activities in class 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。本授業では、「4技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	ガイダンス
第2項	発音練習	発音練習
第3講	Chapter 1 The Jomon Period	縄文時代について
第4講	Chapter 2 The Yayoi Period	弥生時代について
第5講	Chapter 3 The Tumulus Period	古墳時代について
第6講	Chapter 4, 5 The Asuka Period 1,2	飛鳥時代について
第7講	Chapter 6 The Nara Period	奈良時代について
第8講	Chapter 7 The Heian Period	平安時代について
第9講	Chapter 8 The End of the Heian Period and the Rise of the Bushi	平安時代の終焉
第10講	プレゼンテーション1	プレゼンテーション1
第11講	プレゼンテーション2	プレゼンテーション2
第12講	プレゼンテーション3	プレゼンテーション3
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

The General History of Japan 五十嵐昭人著 南雲堂 2016年 ISBN 978-4-523-17824-8

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業のための準備・予習等(20%)、グループ・プレゼンテーション(30%)、提出物(10%)、ペーパーテスト(40%)の総合点で評価します。尚、欠席が4回以上になった物は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と一人1分程度かつ原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 30%, Reports: 10%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中での日本の歴史

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この講座では、日本の歴史について知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。本授業では、すべて網羅した総合的な学習を目標としています。「4技能」（英語を読み、聞き、書き、話す）の学習を行います。

【到達目標】

日本についてより深く知り、日本のことを英語でアウトプットする力を伸ばすトレーニングを行います。簡単な文章を理解し、英語でアウトプットできることが目的です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを読み、得た知識の発表を個人及びグループで行います。グループ・ワーク及びグループ・プレゼンテーションを行い、アウトプットのトレーニングをします。課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	ガイダンス
第2項	発音練習	発音練習
第3講	Chapter 9,10 The Kamakura Period	鎌倉時代について
第4講	Chapter 11,12 The Muromachi Period	室町時代について
第5講	Chapter 13, 14 The Azuchi-Momoyama Period	安土桃山時代について
第6講	Chapter 15,16 The Edo Period 1,2	江戸時代について
第7講	Chapter 17,18 The Edo Period 3,4	江戸時代について
第8講	Chapter 19,20 The Meiji Period 1,2	明治時代について
第9講	Chapter 21 The Meiji Period	明治時代の終焉
第10講	プレゼンテーション4	プレゼンテーション4
第11講	プレゼンテーション5	プレゼンテーション5
第12講	プレゼンテーション6	プレゼンテーション6
復習	復習	復習
総括	総括	総括

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

○予習及びグループ学習のための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、グループ発表のための計画をし、グループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

○本授業の準備・復習時間は、1時間を標準とします

【テキスト（教科書）】

The General History of Japan 五十嵐昭人著 南雲堂 2016年 ISBN 978-4-523-17824-8

【参考書】

辞書等

【成績評価の方法と基準】

授業のための準備・予習等(20%)、グループ・プレゼンテーション(30%)、提出物(10%)、ペーパーテスト(40%)の総合点で評価します。尚、欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

クラス人数が比較的多い場合は、一人一人の発言の機会が少ないという意見がでます。積極的な参加をしてもらえるような采配をするつもりです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

プレゼンテーションでは、グループ性と一人1分程度かつ原稿なしでの英語での発言が求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students ability in English reading and outputting about Japanese history. It is going to be quite important for university students nowadays to improve their English reading and outputting skills in order to function in the future global society. I hope that this course will help guide you to a new 'you' with efficient English skills.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to know well about Japanese History through English.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 20%, Presentations: 30%, Reports: 10%, Term-end examination: 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：洋楽鑑賞と英語圏の文化：English Songs and Cultures of the English-Speaking World

森永 豊

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい英語の歌を題材にして、洋楽を鑑賞しながら英詞の訳と解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。

またこの授業では、歌を通して英語の奥行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	英語の歌1 (Here Comes the Sun - The Beatles)	・小テスト（予備日） ・歌詞を文に再構成する
3	英語の歌1 (Here Comes the Sun - The Beatles)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1

4	英語の歌1 (Here Comes the Sun - The Beatles) 英語の歌2 (Little Blue - Jacob Collier)	・歌詞の解釈 ・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌2 (Little Blue - Jacob Collier)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌2 (Little Blue - Jacob Collier) 英語の歌3 (Baby - Justin Bieber)	・歌詞の解釈 ・歌詞を文に再構成する
7	英語の歌3 (Baby - Justin Bieber)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌3 (Baby - Justin Bieber)	・歌詞の解釈
9	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・単語テスト
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
13	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番3 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提に進める。各曲はGoogle Classroom上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 —大学生のためのトピック別必修英単語—』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード英語類語活用辞典』、オックスフォード大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

・プレゼンテーション課題（自分で英語の歌を選択して、授業を参考にした方法でこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
授業内のパフォーマンス（主に歌詞から文を再構成して、和訳して読解する作業）35%
・ディクテーション課題20%
・単語テスト10%
欠席が4回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30分以上の遅刻は欠席と見なし、3回の遅刻は欠席1回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールは **Google Classroom** である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは **Firefox**、**Google Chrome**、**Safari** を推奨。**Internet Explorer** は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持つてくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 35%
- Dictation assignments 20%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：洋楽鑑賞と英語圏の文化：English Songs and Cultures of the English-Speaking World

森永 豊

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

名曲やポップスなど、親しみやすい英語の歌を題材にして、洋楽を鑑賞しながら英詞の訳と解釈をする。曲に対して抱く自分のストーリーを英語で表現する。概して、総合的な英語力（四技能）を伸ばすことが目標となる。

またこの授業では、歌を通して英語の興行きを感じることができる。もしも音楽が好きならば、英語の歌をじっくり鑑賞する機会にもなる。きっと意味がわからないまま耳に入ってくる英語の明るい曲も、歌詞を読解してみるとそこに意外な暗さがある。授業で取り上げる各曲の深い鑑賞を通じて、海の向こうにも同じ人生があり、あなたの人生によく似た苦楽があることが実感できるはずだ。

【到達目標】

- ・英語の歌詞を聞き取ることができる
- ・英語の歌詞から文章を再構成し、和訳を与えることができる。
- ・シンガロングの発想に基づいて、曲のストーリーを描くことができる。
- ・簡単な曲の場合、リズムに乗せて正しい英語の発音で歌うことができる。
- ・正しい英語の発音を身につけ、カタカナ英語から離れた英語らしいアクセントとリスニングで自分のアイデアを話せる。
- ・英語で質疑応答ができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションを聞き取ることができる。
- ・他の学生のプレゼンテーションの内容について英語で質問ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

最大授業3回で英語の歌一曲に取り組む。学期の最後にプレゼンテーションを行う。それに向けてスクリプトやスライド資料を作成する。その作成方法についての講義、添削指導は、授業内およびGoogle Classroomというクラス管理システム上で個別に行う。隔回でディクテーションを行い、授業内で正解を公表し、フレーズや構文指導を行う。成績はGoogle Classroomで個別に公表する。ディクテーションとは表現力と構文知識を高め、英語を正確に聞き取って綴る能力を高めるトレーニングである。

授業ではネットの音声素材を利用する。またパソコンなどから、Googleや講師が作成したウェブアプリケーションを使う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業概要の説明	・授業の概要と進め方 ・成績評価の基準についての説明 ・小テスト
2	英語の歌1 (What Was I Made For? - Billie Eilish)	・小テスト（予備日） ・歌詞を文に再構成する
3	英語の歌1 (What Was I Made For? - Billie Eilish)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題1（授業内） ・単語練習1

4	英語の歌1 (What Was I Made For? - Billie Eilish) 英語の歌2 (Accidentally in Love - Counting Crows)	・歌詞の解釈 ・歌詞を文に再構成する
5	英語の歌2 (Accidentally in Love - Counting Crows)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題2（以降、授業外） ・単語練習2
6	英語の歌2 (Accidentally in Love - Counting Crows) 英語の歌3 (Somebody Else - The 1975)	・歌詞の解釈 ・歌詞を文に再構成する
7	英語の歌3 (Somebody Else - The 1975)	・文に再構成した歌詞の和訳 ・ディクテーション課題3 ・単語練習3
8	英語の歌3 (Somebody Else - The 1975)	・歌詞の解釈
9	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの方法と心構え ・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・ディクテーション課題4
10	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成） ・単語テスト
11	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーションの準備作業（スクリプトとスライド作成、発表練習） ・ディクテーション課題5
12	プレゼンテーション課題	・スクリプト・スライドの提出 ・プレゼンテーション本番1 ・英語での質疑応答
13	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番2 ・英語での質疑応答
14	プレゼンテーション課題	・プレゼンテーション本番3 ・英語での質疑応答 ・投票用紙提出

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。各授業はあらかじめ指定した英語の曲の予習、あるいは宿題の取り組みを前提にして進める。各曲はGoogle Classroom上にアップロードされているリンクから聴くことができる。プレゼンテーションに向けてスクリプトやパワーポイントの作成、予行演習を行う。学期中に語彙テストを行うので単語やフレーズの暗記も必要になる。

【テキスト（教科書）】

なし

【参考書】

- ・『LINKS 1500 —大学生のためのトピック別必修英単語—』、金星堂、2013年、1800円（税別）（以下のURLで無料にてダウンロードできる音声ファイルが付属している。<http://www.kinsei-do.co.jp/download/3963>）
- ・綿貫陽、マーク・ピーターセン（共著）、『表現のための実践ロイヤル英文法』、旺文社、2011年、1944円（税込）
- ・『Oxford Learner's Thesaurus オックスフォード 英語類語活用辞典』、オックスフォード 大学出版局、2008年、4700円（税別）

【成績評価の方法と基準】

- ・プレゼンテーション課題（自分で英語の歌を選択して、授業を参考にした方法でこれを解釈する。解釈した結果を英語で表現する。）35%
- ・授業内のパフォーマンス（主に歌詞から文を再構成して、和訳して読解する作業）35%
- ・ディクテーション課題20%
- ・単語テスト10%

欠席が 4 回以上になった者は原則として単位取得の資格を失う。30 分以上の遅刻は欠席と見なし、3 回の遅刻は欠席 1 回とカウントする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進め方については、定期的かつ高い頻度で学生からのフィードバックを行う。

【学生が準備すべき機器他】

授業ではネットで配信されるテキストの音声素材を利用する。本授業で必要となるオンラインツールは Google Classroom である。その他に講師が作るウェブアプリケーションを利用する。パソコン、タブレット、スマホから受講可能。またウェブブラウザは Firefox、Google Chrome、Safari を推奨。Internet Explorer は非推奨。

【その他の重要事項】

辞書を必ず持ってくる。

【Outline (in English)】

The learning material in the class is songs with English lyrics. You will listen to them carefully, translate their lyrics and interpret the songs. Since any good pop tunes have some depth (e.g. bright tunes actually have dark or philosophical themes.), throughout this class you will be experiencing the culture and life of individuals in the English-speaking world.

Objectives

- Ability to listen to English lyrics of the songs
- Ability to reconstruct them into sentences and to translate them
- Ability to interpret the songs
- Ability to sing easy ones with appropriate English pronunciation
- Ability to make a presentation with correct English pronunciation
- Ability to raise a question in English
- Ability to give an answer to a question of your classmates in English
- Ability to understand a presentation of your classmates

Self-study

Self-study before and after a class takes an hour in total. Each song contains lyrics (of course!); you are required to reconstruct them into sentences and to translate them. Also, you are asked to interpret the song and to dig deep into it in terms of your (imagined or real) story. Preparation for your presentation includes writing a script, creating visual aids, and doing a rehearsal. Taking a vocabulary test during a semester is mandatory.

Methods of grading

- Presentation assignments 35%
- Performances in a class 35%
- Dictation assignments 20%
- Vocabulary test 10%

(You will fail the class with more than 3 absences. Being more than 30 min. late for a class amounts to an absence. Being late three times amounts to an absence.)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：Aspects of the English-Speaking World

磯部 芳恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

【到達目標】

The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Exercises will be done both in class and as homework. There will be a quiz at the end of the semester.

The first language of the classroom is English.

Classroom methods include:

1. The textbook includes various activities
2. short lectures and explanations by the teacher
3. pair and group discussions
4. presentations
5. feedback in class

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introductions	Student introductions Course outline Getting started: reading an article
2	Unit 1 Baseball in Japan	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Unit 1 Baseball in Japan Try this, one more time!	Summary Discussion
4	Unit 2 Restaurant Robot	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
5	Unit 2 Restaurant Robot Try this, one more time!	Summary Discussion

6	Unit 3 Keeping Food Fresh	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
7	Unit 3 Keeping Food Fresh Try this, one more time!	Summary Discussion
8	Unit 4 The Metaverse	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Unit 4 The Metaverse Try this, one more time!	Summary Discussion
10	Unit 5 Lionfish Problem	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	Unit 5 Lionfish Problem Try this, one more time!	Summary Discussion
12	Review	Unit 1-5 Vocabulary
13	Presentation	Presentation Unit 1-5
14	Wrap up and feedback	End of term review and Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and prepare and perform presentations on a similar topic at the end of the semester. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

CNN 10 Vol.12 – Student News – <2024年>（朝日出版社）

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
<http://www.bbc.co.uk/learningenglish>
<https://learningenglish.voanews.com/>
<https://www.newsinlevels.com/>
<https://breakingnewsenglish.com>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities(30%), homework(20%), tests(40%), and a presentation(10%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slide to class on a memory stick.

【Outline (in English)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語圏の文化と社会：Aspects of the English-Speaking World

磯部 芳恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Therefore they will acquire four skills, reading, listening, speaking and writing skills.

【到達目標】

The first goal of this course is to enable students to learn about various cultural aspects from around the world. The second goal is for students to develop discussion and critical thinking skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Exercises will be done both in class and as homework. There will be a quiz at the end of the semester.

The first language of the classroom is English.

Classroom methods include:

1. The textbook includes various activities
2. short lectures and explanations by the teacher
3. pair and group discussions
4. presentations
5. feedback in class

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Reading an article	Breaking News English Vocabulary Summary Discussion
2	Unit 6 Successful Football Player	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
3	Unit 6 Successful Football Player Try this, too!	Summary Discussion
4	Unit 7 Bringing Back Oysters to Hong Kong	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion

5	Unit 7 Bringing Back Oysters to Hong Kong Try this, one more time!	Summary Discussion
6	Unit 8 To Qatar by Bicycle	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
7	Unit 8 To Qatar by Bicycle Try this, one more time! Try this, one more time!	Summary Try this, one more time!
8	Unit 9 Food for the Food Bank	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
9	Unit 9 Food for the Food Bank Try this, too!	Summary Discussion
10	Unit 10 Big Ben Restoration	Vocabulary Transcript Completion and Summary Discussion
11	Unit 10 Big Ben Restoration Try this, too!	Summary Discussion
12	Review	Unit 6-10 Vocabulary, expressions
13	Presentation	Choose a topic from Unit 6-10 and give a presentation
14	Wrap up and feed back	End of the term review and Q & A

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do listening homework, which involves completing a transcript exercise. In addition, students will research a variety of topics and prepare and perform presentations on a similar topic at the end of the semester. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

CNN 10 Vol.12 – Student News – <2024年>（朝日出版社）2200円。

【参考書】

Students will use online information resources to research and prepare presentations. These include:
<http://www.bbc.co.uk/learningenglish>
<https://learningenglish.voanews.com/>
<https://www.newslevels.com/>
<https://breakingnewsenglish.com>

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on participation in class activities(30%), homework(20%), tests(40%), and a presentation(10%).
 In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

リアクションペーパーを活用して、活用できるものは授業で紹介する。

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring their presentation slides to class on a memory stick.

【Outline (in English)】

This course builds upon skills on knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with opportunities to have critical thinking skills and express their opinions on different topics in English, using the textbook and authentic materials.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures, while building their communication skills in all aspects. Furthermore they will learn to give a presentation.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中で日本文化はどうとらえられているか

今井 澄子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1および2で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル(Writing, Presentation)を身につける
- ・Oxford English Dictionaryをデータベースとして使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後DVD視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。日本文化の世界での受容をテーマとするため、Oxford English Dictionary見出し語となった日本語を調べ、英語プレゼンテーションを行う。よって、学内PCによる辞書検索、Writing、Presentationが課される。これら課題のうち、リスニング、プレゼンテーション、DVDおよび英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿Writingは添削指導、終了後にスライド、Speaking音声(単語の発音、アクセント、イントネーション)、元にしたOEDデータベース等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	世界の日本文化受容 OED採録の日本語	授業内容や課題の説明 データベースOED利用案内
第2回	世界の中の日本文化 (Office) Long-Established Business	(Listening小テスト1) Unit 1 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第3回	世界の中の日本文化 (Restaurant) Uniforms and Identity	(Listening小テスト2) Unit 2 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第4回	世界の中の日本文化 (Department Store) Volunteer Work and Helping Others	(Listening小テスト3) Unit 3 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第5回	世界の中の日本文化 (Airport) High-Tech Living [Automobiles]	(Listening小テスト4) Unit 4 DVD視聴 Short Reading Comment writing

第6回	世界の中の日本文化 (Bank) Japanese Tableware	(Listening小テスト5) Unit 5 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第7回	世界の中の日本文化 (Duty-free Shop) Homemakers of Japan	(Listening小テスト6) Unit 6 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第8回	世界の中の日本文化 (Travel) Voice Actors	(Listening小テスト7) Unit 7 DVD視聴 Short Reading Comment writing
第9回	日本社会と文化 (Rent-a-Car) Approaches to the Japanese History	(Listening小テスト8) Reading Essay R.J.Davis. Japanese Culture の記事
第10回	日本文化の背景 (Fitness Center) 日本文学作品の英語 訳	(Listening小テスト9) Reading Essay 英語版冒頭部分を読み、原作日 本語と比較
第11回	日本文化の背景 (Job Training) Lonely Planet	(Listening小テスト10) Reading Essay 3 Ch.Rawthorn. Japan: Understand Japanの 記事
第12回	Writing試験	Presentationの原稿Writing
第13回	Presentation試験	OEDにある日本語の英語説明
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声はWebストリーミングで視聴可能。PartIとIIがあるが、テキストにはIIのスク립トしかないためIについてはDictation用の冊子を配布する。授業ではDictationと要所の説明を行い、スク립トの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してくとよい。Readingは速読用の比較的易しいものからWeb上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、WritingやPresentationに用いるOxford English Dictionaryを調べた資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中にWriting、Presentationが行えず、試験未受験扱いとなる。Listening小テストは準備の必要なし。

【テキスト (教科書)】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartIのDictation用スク립トはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂
Reading教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J. Davies. Japanese Culture: The Religious and Philosophical Foundations. 2016.

<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.co.uk/>

<https://edition.cnn.com/>

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、平常点40%。平常点は授業参加度10%、リスニング小テスト平均点10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題10%が原則。よって、評価点は試験60点、平常点40点の合計100点で、60%以上の得点で合格。授業初めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも0点となる。学期末のPresentation、原稿作成Writingは授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席4回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

OEDの中にある日本語由来の単語を調べ、英文原稿を作ってプレゼンテーションをするが、データをどう使ってWritingをしたらよいかわからないという意見があった。Writingサンプルを提示し、OEDの記述の読み込みや解釈など個別に相談にのるので心配はならない。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。

【Outline (in English)】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams—writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界の中で日本史の事象はどうとらえられているか

今井 澄子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水5/Wed.5
単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1および2で習得した英語運用能力である読む、書く、聴く、話すの四技能を使い、国際語である英語を通じて日本文化を世界的文脈の中で相対化し、英語資料を理解して批判的に分析したうえで英語による意見の発信ができる能力を養成する。

【到達目標】

- ・英語資料により世界における日本文化受容について理解を持つ
- ・日本文化に関する一般の英文を読み、コメントを英語で書く
- ・日本文化に関するアカデミックな英文を精読し、読解力を上げる
- ・日本に関する語彙の知識により英語の聴解力を上げる
- ・大学レベルのアカデミック・スキル(Writing, Presentation)を身につける
- ・英文資料を読み込み、英語小論文を作成できるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業始めにリスニング小テスト、その後DVD視聴または英文読解、学習内容に関するコメントを英語で書いて提出、添削して返却する。DVD視聴のないときは英文読解を行い、音読・日本語訳等が課される。日本歴史の世界での受容をテーマとするため、二種類の英文資料を調べて英語小論文を作成する。これら課題のうち、リスニング、ディクテーション、DVDおよび英文理解に関わる課題は授業内で解答する。プレゼンテーション原稿Writingは添削指導、終了後にスライド、Speaking音声(単語の発音、アクセント、イントネーション)、元にしたOEDデータ等について、各自にコメントしてフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	世界の中の日本文化 (Business Trip)	(Listening小テスト1) Unit 8 DVD視聴 Seafood-Japanese Short Reading Cuisine Comment writing *()内はListening小テストテーマ
第2回	世界の中の日本文化 (Vacation)	(Listening小テスト2) Unit 9 DVD視聴 Japanized Foreign Short Reading Dishes Comment writing
第3回	世界の中の日本文化 (Pay)	(Listening小テスト3) Unit10DVD視聴 Bag-Culture Short Reading Comment writing
第4回	世界の中の日本文化 (Exhibition)	(Listening小テスト4) Unit11DVD視聴 Senior Citizens Short Reading [Medical Checkups] Comment writing
第5回	世界の中の日本文化 (Shopping)	(Listening小テスト5) Unit12DVD視聴 Money Short Reading Comment writing

第6回	世界の中の日本文化 (Hospital)	(Listening小テスト6) Unit13DVD視聴 Zodiac Short Reading Comment writing
第7回	日本人とは何か (Train Station)	(Listening小テスト7) Reading Essay 1 What is a Japanese? R. Pulvers. Delighting in Culturesの記事
第8回	現代日本に残るサムライ	(Listening小テスト8) Reading Essay 2 Wall Street Journalの記事
第9回	Inbound Japan (Lecture)	(Listening小テスト9) Reading Essay 3 英語で説明する日本史 日本史の主要事項について説明する英文読解
第10回	Outbound Japan (Contract)	(Listening小テスト10) Reading Essay 4 英文世界史に登場する日本史 英語で書かれた世界史の中の日本についての記述を読む
第11回	日本語を英語にする方法	英語における外来語表記 外来語+言い換え 引用元表記のしかた MLAまたはAPAによるレファレンス
第12回	Writing試験	Presentationの原稿Writing
第13回	Presentation試験	日本史の事象を英語で説明
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

テキストの音声はWebストリーミングで視聴可能。PartIとIIがあるが、テキストにはIIのスク립トしかないためIについてはDictation用の冊子を配布する。授業ではDictationと要所の説明を行い、スク립トの和訳も一部取り入れるため、より理解するには予め目を通してけるとよい。Readingは速読用の比較的易しいものからWeb上の記事、学術文などさまざまなものを用意する。内容や英文の質の高度なものを扱うときは、自宅での十分な予習が必要。また、WritingやPresentationに用いる資料は期日までに必ず準備する。準備できていないと授業中にWriting、Presentationが行えず、試験未受験扱いとなる。Listening小テストは準備の必要なし。

【テキスト (教科書)】

Discovering Cool Japan (2019). 成美堂 (PartIのDictation用スク립トはコピー冊子を配布)

Listening Promoter for the TOEIC® Test. 成美堂

Reading教材はコピーを配布。

【参考書】

Oxford English Dictionary.

R.J.Davies & Osamu Ikeno. The Japanese Mind: Understanding Contemporary Japanese Culture. 2002.

<https://blogs.wsj.com/japanrealtime/>

<https://www.japantimes.co.jp/>

<https://www.bbc.co.uk/>

<https://edition.cnn.com/>

Vardaman, James M. Japanese History in Simple English. 2015.

Hashiba, Yuzuru et al. World History for High School. 2019.

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、平常点40%。平常点は授業参加度10%、リスニング小テスト平均点10%、Writing・Presentation・Speaking10%、その他授業内での課題10%が原則。よって、評価点は試験60点、平常点40点の合計100点で、60%以上の得点で合格。授業初めのリビング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、リスニング小テストも0点となる。学期末のPresentation、原稿作成Writingは授業内試験として扱い、単位取得に必須。このほか授業中の課題を遂行しない、あらかじめ割り当てられた担当課題があるのに無断欠席などは評価点がマイナスされる。授業では全員が担当をこなすため出席状況の良いことが必須で、欠席4回以上の者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

日本史について英語で説明したほとんど、世界史教科書の英語版を使って「日本史の事象が世界史文脈ではどう扱われているか」について英文原稿を作成する。なぜか「朝鮮の話を書きたい」「カンボジアのことを書く」などの希望があったが、テーマが違うので了承いたしかねる。今年度は2種類の英文データの読解とそこから書く内容をどう作るかについて事前準備を増やし、混乱しないようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書

【Outline (in English)】

This class aims to provide students with further opportunities to improve their English proficiency acquired in English 1 and 2 classes. Students will read, write, hear and speak about various topics of Japan, especially Japanese culture in the world in English in order fully to have an academic skill. The spring semester focuses on understanding how Japan and Japanese culture are recognized, accepted, or sometimes criticized in the world. The various reading and listening materials can give students a lot of information, and based on these, they try to write a comment or speak his/her opinion in English. To see the acceptance of Japanese culture, students will look into an entry of Japanese words in Oxford English Dictionary. Analyzing the definition and quotations of these words contributes to students' understanding Japanese culture. Concerning the class procedure, students take a listening test at the beginning, try to read a short English passage and write a comment after watching DVD. They also read an English essay on the background of Japanese culture and characteristics in class. It is essential for students to take three kinds of exams—writing, presentation, and final reading & listening. The required study time is at least one hour for each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student's overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, writing & presentation score 10%, and in class contribution 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英米の映画にみる文化と社会

佐喜真 彩

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English3では、English1とEnglish2で学んだ読む、聞く、書く、話すという英語の4技能を深めます。

本授業では、主に映画を題材にしたテキストを使って、4技能をバランス良く伸ばすことを念頭に置きつつ、英語圏の文化と言語知識を学びます。

【到達目標】

- ・英語で書かれた映画の紹介文やあらすじの要点を正確に把握できること
- ・映画の中で、比較的ゆっくり話される会話を聞き取ることができること
- ・映画の魅力を英語で発表できること (口頭および作文)

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

(授業の進め方) 基本的には教科書『Hollywood English』にそって進めながら、適宜テキスト以外の記事の読解、ペア (グループ) ワーク、英作文を取り入れます。
(フィードバック方法) リアクションペーパーに書かれた質問はすべて次の授業で取り上げて回答します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明、ウォームアップ、席決め
2	Unit1-1 Cloud Atlas	リーディング1、語彙・表現学習
3	Unit1-2 Cloud Atlas	ビデオタスク、リーディング2
4	Unit2-1 The Dark Knight Rises	リーディング1、語彙・表現学習
5	Unit2-2 The Dark Knight Rises	ビデオタスク、リーディング2、英作文
6	Unit3-1 Another Earth	リーディング1、語彙・表現学習
7	Unit3-2 Another Earth	ビデオタスク、リーディング2
8	Unit4-1 The Amazing Spider-Man	リーディング1、語彙・表現学習
9	Unit4-2 The Amazing Spider-Man	ビデオタスク、リーディング2、英作文
10	Unit5-1 Harry Potter and the Deathly Hollows: Part2	リーディング1、語彙・表現学習

11	Unit5-2 Harry Potter and the Deathly Hollows: Part2	ビデオタスク、リーディング2
12	Unit6-1 The Social Network	リーディング1、語彙・表現学習
13	Unit6-2 The Social Network	ビデオタスク、リーディング2、英作文
14	試験とまとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。
・(予習) 授業内で示された課題に取り組んでください。
・(復習) テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト (教科書)】

Jonh S. Lander, Hollywood English, 朝日出版社, 2022年, ¥1980 (税込)

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点 (予習課題、授業態度) : 20%
 - ・小テスト+英作文: 30%
 - ・期末試験: 50%
- 合計100%として評価します。

【学生の意見等からの気づき】

- ・積極的な授業参加を促すために、毎回ペア (グループ) ワークを取り入れます。
- ・単語や表現は知っているが聞き取ることができないという課題を持つ学生が多いので、聞き取りのコツやシャドーイングを使った反復練習の仕方を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・辞書を必ず持参してください。
- ・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

In this class, students will learn about the culture and language knowledge of English-speaking countries mainly through texts based on British and American films.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- able to accurately grasp the gist of movie summaries,
- able to understand conversations spoken relatively slowly in movies,
- able to present the appeal of movies

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Quizzes + Assignments : 30%, in class contribution: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英米の映画にみる文化と社会

佐喜真 彩

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English3では、English1とEnglish2で学んだ読む、聞く、書く、話すという英語の4技能を深めます。本授業では、主に映画を題材にしたテキストを使って、4技能をバランス良く伸ばすことを念頭に置きつつ、英語圏の文化と言語知識を学びます。

【到達目標】

- ・英語で書かれた映画の紹介文やあらすじの要点を正確に把握できること
- ・映画の中で、比較的ゆっくり話される会話を聞き取ることができること
- ・映画の魅力を英語で発表できること(口頭および作文)

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

(授業の進め方) 基本的には教科書『Hollywood English』にそって進めながら、適宜テキスト以外の記事の読解、ペア(グループ)ワーク、英作文を取り入れます。

(フィードバック方法) リアクションペーパーに書かれた質問はすべて次回の授業で取り上げて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の説明、ウォームアップ、席決め
2	Unit7-1 Skyfall	リーディング1、語彙・表現学習
3	Unit7-2 Skyfall	ビデオタスク、リーディング2
4	Unit8-1 Lincoln	リーディング1、語彙・表現学習
5	Unit8-2 Lincoln	ビデオタスク、リーディング2、英作文
6	Unit9-1 Ruby Sparks	リーディング1、語彙・表現学習
7	Unit9-2 Ruby Sparks	ビデオタスク、リーディング2
8	Unit10-1 The Hobbit: An Unexpected Journey	リーディング1、語彙・表現学習
9	Unit10-2 The Hobbit: An Unexpected Journey	ビデオタスク、リーディング2、英作文
10	Unit11-1 Argo	リーディング1、語彙・表現学習
11	Unit11-2 Argo	ビデオタスク、リーディング2
12	Unit12-1 The Tree of Life	リーディング1、語彙・表現学習
13	Unit12-2 The Tree of Life	ビデオタスク、リーディング2、英作文
14	試験とまとめ	試験とまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

- ・(予習) 授業内で示された課題に取り組んでください。
- ・(復習) テキストの映像を繰り返し視聴してください。

【テキスト（教科書）】

Jonh S. Lander, Hollywood English、朝日出版社、2022年、¥1980(税込)

【参考書】

必要に応じて適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- ・平常点(予習課題、授業態度): 20%
 - ・小テスト+英作文: 30%
 - ・期末試験: 50%
- 合計100%として評価します。

【学生の意見等からの気づき】

- ・積極的な授業参加を促すために、毎回ペア(グループ)ワークを取り入れます。
- ・単語や表現は知っているが聞き取ることができないという課題を持つ学生が多いので、聞き取りのコツやシャドーイングを使った反復練習の仕方を伝えます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・辞書を必ず持参してください。
- ・課題提出や配布資料のデータの共有等のために学習支援システムを使用します。

【Outline (in English)】

In this class, students will learn about the culture and language knowledge of English-speaking countries mainly through texts based on British and American films.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- able to accurately grasp the gist of movie summaries,
- able to understand conversations spoken relatively slowly in movies,
- able to present the appeal of movies

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、Quizzes + Assignments : 30%、in class contribution: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：ビジネスケースから学ぶ日本のグローバル化

井上 紗央里

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国内企業のグローバル化に着目した英文記事の読解を通して、国内、国際社会への日本の取り組みの理解を深めることを目標とします。またテキスト内のディクテーションの演習を毎回実施しリスニング力と語彙力を強化していきます。受講者同士の英語での会話練習や、英作文を通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることも目標とします。

【到達目標】

1. ディクテーションやシャドーイングを通じて英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 英文記事の読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 日本の社会、特に国内企業のグローバル化への取り組みについての理解を深め、自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキスト Global Leadership (金星堂) を使用し、テキスト内の演習問題、英文読解、リスニングのディクテーション、リアクションペーパーの作成を行います。春学期はテキストの奇数 Unit を使用します。授業では予習箇所について学生を指名し発言を求めます。各ユニットごとにテキスト内の演習問題を授業内課題として出題します。フィードバックは授業内での解説や授業支援システム (Hoppii) 、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、Case 1 ①	授業の説明、Unit 1 のプレ授業、 プレ授業 受講生同士での簡単な自己紹介
2	Case 1 ②	Case 1 の Reading, Listening, Assignment
3	Case 3 ①	Case 3 の vocabulary, Reading 前半
4	Case 3 ②, Case 5 ①	Case 3 の Reading 後半, Listening, Assignment, Case 5 の Vocabulary, Reading 前半
5	Case 5 ②	Case 5 の Reading 後半, Listening, Assignment
6	Case 7 ①	Case 7 の vocabulary, Reading 前半
7	Case 7 ②, Case 9 ①	Case 7 の Reading 後半, Listening, Assignment, Case 9 の Vocabulary, Reading 前半
8	Case 9 ②	Case 9 の Reading 後半, Listening, Assignment
9	Case 11 ①	Case 11 の vocabulary, Reading 前半
10	Case 11 ②, Case 13 ①	Case 11 の Reading 後半, Listening, Assignment, Case 13 の Vocabulary, Reading 前半

11	Case 13 ②	Case 12 の Reading 後半, Listening, Assignment
12	Case 15 ①	Case 15 の Vocabulary, Reading 前半
13	Case 15 ②	Case 15 の Reading 後半, Listening, Assignment
14	最終試験とまとめ	第1回から第13回までの授業を試験範囲として最終試験を実施。全体のまとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に指定したテキストの演習問題を解き、Reading の英文を読んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Global Leadership - 2nd Revised Edition, Case Studies of Business Leaders in Japan 「ビジネスケースで学ぶグローバル人材の条件 [改訂第2版]」著者 中谷安男 / Ryan Smithers (金星堂 2022) 1900円 (+税) ISBN: 978-4-7647-4154-6

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

授業内試験 50%、平常点（予習、授業内での発言などの貢献度、課題提出）50%で評価します。欠席回数が4回を超えた学生は単位認定の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英語で自分の意見をアウトプットする時間を多く作りたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：ビジネスケースから学ぶ日本のグローバル化

井上 紗央里

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

国内企業のグローバル化に着目した英文記事の読解を通して、国内、国際社会への日本の取り組みの理解を深めることを目標とします。またテキスト内のディクテーションの演習を毎回実施しリスニング力と語彙力を強化していきます。受講者同士の英語での会話練習や、英作文を通して自分の意見を英語でアウトプットできるようになることも目標とします。

【到達目標】

1. ディクテーションやシャドーイングを通じて英語の音声に慣れリスニング力を強化する。
2. 英文記事の読解を通して英語の文法、語彙を強化する。
3. 日本の社会、特に国内企業のグローバル化への取り組みについての理解を深め、自分の意見を英語でアウトプットできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキスト Global Leadership (金星堂) を使用し、テキスト内の演習問題、英文読解、リスニングのディクテーション、リアクションペーパーの作成を行います。秋学期はテキストの偶数 Unit を使用します。授業では予習箇所について学生を指名し発言を求めます。各ユニットごとにテキスト内の演習問題を授業内課題として出題します。フィードバックは授業内での解説や授業支援システム (Hoppii)、E-mail を使用して行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション、Case 2 ①	授業の説明、Unit 2 のプレ授業、プレ授業 受講生同士での簡単な自己紹介
2	Case 2 ②	Case 2 の Reading, Listening, Assignment
3	Case 4 ①	Case 4 の vocabulary, Reading 前半
4	Case 4 ②	Case 4 の Reading 後半, Listening, Assignment
5	Case 6 ①	Case 6 の vocabulary, Reading 前半
6	Case 6 ②	Case 6 の Reading 後半, Listening, Assignment
7	Case 8 ①	Case 8 の vocabulary, Reading 前半
8	Case 8 ②	Case 8 の Reading 後半, Listening, Assignment
9	Case 10 ①	Case 10 の vocabulary, Reading 前半
10	Case 10 ②	Case 10 の Reading 後半, Listening, Assignment
11	Case 12 ①	Case 12 の vocabulary, Reading 前半

12	Case 12 ② Case 14 ①	Case 12 の Reading 後半, Listening, Assignment. Case 14 の Vocabulary, Reading 前半
13	Case 14 ②	Case 14 の Reading 後半, Listening, Assignment
14	最終試験とまとめ	第1回から第13回までの授業を試験範囲として最終試験を実施。全体のまとめ。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

事前に指定したテキストの演習問題を解き、Reading の英文を読んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

Global Leadership - 2nd Revised Edition, Case Studies of Business Leaders in Japan 「ビジネスケースで学ぶグローバル人材の条件 [改訂第2版]」著者 中谷安男 / Ryan Smithers (金星堂 2022) 1900円 (+税) ISBN: 978-4-7647-4154-6

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

授業内試験 50%、平常点（予習、授業内での発言などの貢献度、課題提出）50%で評価します。欠席回数が4回を超えた場合単位認定の資格を失います。遅刻、早退も減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

英語で意見をアウトプットする機会を増やしたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

授業連絡、課題の出題、フィードバック等はすべて学習支援システムを通じて行います。課題提出の際にPC、タブレットPC、スマートフォン等インターネットに接続できるデバイスが必要です。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve students' reading, writing, and listening skills through reading current affairs in English. At the end of the course, participants are expected to acquire basic English skills and enlarge knowledge of current events. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting. Your overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination (50%), In-class contribution and assignment submissions (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相：Exploring Current Affairs through TED Talks

MARK E FIELD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

【到達目標】

Student will listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the TED Talk themes, discuss, write papers, and time permitting make presentations synthesizing their views on the content studied.

Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Introduction:	Explanation of the course topics and classroom methods
2回	Making a Difference:	Inspiring Dreams and talking about ways to help others
3回	Listening practice using DVD video Making a Difference:	TED Talk: A Life Lesson from a Volunteer Firefighter
4回	Helping your audience visualize Making a Difference:	Speaking activity about people who make a difference, Writing assignment about "Someone who has made a difference in your life"
5回	Reading on Food Rescue Missions Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "How I Can Make a Difference"
6回	Analyzing Trends: Listening practice using DVD video	Analyzing Trends and talking about trends
7回	Trends: Commenting on Visuals	TED Talk: How to Start a Movement
8回	Trends: Reading on Identifying Trends	Talking about Consumer Trends, Writing assignment on Making Predictions
9回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "Current Trend"
10回	Improving Lives: Listening practice using DVD video	Analyzing Healthcare and talking about cause and effect
11回	Improving Lives: Opening with Interesting Facts	TED Talk: My Simple Invention, Designed to Keep My Grandfather Safe
12回	Improving Lives: Reading on the Challenges of Alzheimer's	Speaking activity about Innovative Healthcare Solutions
13回	Review Session	Comprehensive Review of Vocabulary & Skills
14回	Final Examination	Examination based on content, vocabulary, and skills Students should have mastered during the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to do some weekly pre-class textbook preparation, and post-class follow-up study with the My Keynote Online website, complete two medium length writing assignments, and prepare and make short individual presentations.

【テキスト（教科書）】

Keynote 3 Student Book and Online Workbook, Cengage Learning, Japan. ISBN: 978-1-337-10412-8

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to every class session, but should always ask the instructor about the meaning of words first before looking in their dictionaries.

【参考書】

Keynote 3 Online Workbook
Material Posted on HOPPII

【成績評価の方法と基準】

40% Ongoing Evaluation (Participation, Discussions, Homework, etc.)

20% Short Presentations

40% Final Examination

NOTE: Class attendance is a course requirement. Students who are absent for more than three classes per semester will not receive credit for this course. Students' attendance and tardiness will also affect their final grade in the course.

【学生の意見等からの気づき】

No data is currently available since this is the first year the instructor has taught this course. Students are always welcome to make comments and suggestions to improve the class anytime.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

【Outline (in English)】

English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：現代の諸相：Exploring Current Affairs through TED Talks

MARK E FIELD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

【到達目標】

Student will listen to real-world people talk about live changing topics. Then they will develop their speaking confidence with model conversations and speaking tasks.

Students will learn key words, phrases, and grammar structures as they build language and visual literacy skills with real-life information. So they can express their own opinions speaking and in writing, including how to examine content from a critical-thinking perspective.

Students will not only learn about new real-world events, which continue to impact our lives, but also reflect and apply that knowledge while improving themselves and their English skills.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

As a warm up activity, students will watch a brief segment of a TED Talk and then answer a basic question about the situation described. Vocabulary used in the Talk will be explored followed by listening and speaking activities that expand on the theme. Different target language objectives will be emphasized during each class. For example, when an English text is read, the emphasis will not only be placed on building vocabulary and comprehension, but also classifying facts and opinions and reflecting on content to develop critical thinking. Video presentations will be used to develop vocabulary in context and as basis to inspire spoken communication, and finally written reflection and personalization.

Instructional opportunities will be provided for students to develop their own ideas and expand on the TED Talk themes, discuss, write papers, and time permitting make presentations synthesizing their views on the content studied.

Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Getting Reacquainted: Identity:	Talking about recent experiences and future goals
2回	Listening practice using DVD video	Living abroad and words to talk about your identity
3回	Identity: Using stories to personalize your message	TED Talk: Where is Home?
4回	Identity: Reading on Global Migration	Speaking activity about ongoing activities and event, Writing assignment about factors that contribute to your Identity
5回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "Describing people or places"
6回	Clear Communication: Listening practice using DVD video	Explaining Communication Styles
7回	Clear Communication: Engaging Your Audience	TED Talk: Talk Nerdy to Me
8回	Clear Communication: Reading on Communication in the Digital Age	Talking about communication methods, Writing assignment on how you would run a company
9回	Short Presentations:	Students will prepare and give short presentations on "Communication and Leadership"
10回	Wellbeing: Listening practice using DVD video	Analyzing and describing your ideal lifestyle
11回	Wellbeing: Using Humor	TED Talk: How to Succeed? Get More Sleep!
12回	Wellbeing Unit 12 Reading on Achieving Work-life Balance	Speaking activity: Debate on work-life balance
13回	Review Session	Comprehensive Review of Vocabulary & Skills
14回	Final Examination	Examination based on content, vocabulary, and skills Students should have mastered during the semester.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. Students will be expected to do some weekly pre-class textbook preparation, and post-class follow-up study with the My Keynote Online website, complete two medium length writing assignments, and prepare and make short individual presentations.

【テキスト（教科書）】

Keynote 3 Student Book and Online Workbook, Cengage Learning, Japan. ISBN: 978-1-337-10412-8

Students should bring an English-Japanese/Japanese-English dictionary (paper or electronic) to every class session, but should always ask the instructor about the meaning of words first before looking in their dictionaries.

【参考書】

Keynote 3 Online Workbook
Material Posted on HOPPII

【成績評価の方法と基準】

40% Ongoing Evaluation (Participation, Discussions, Homework, etc.)

20% Short Presentations

40% Final Examination

NOTE: Class attendance is a course requirement. Students who are absent for more than three classes per semester will not receive credit for this course. Students' attendance and tardiness will also affect their final grade in the course.

【学生の意見等からの気づき】

No data is currently available since this is the first year the instructor has taught this course. Students are always welcome to make comments and suggestions to improve the class anytime.

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary.

【Outline (in English)】

English 3-II is a continuation of the English 3-I held the spring semester. In general, English 3 builds upon the skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics using authentic English. To that end, in this course students will spend time using English to learn about new developments in Technology, Entertainment and Design from a number of diverse perspectives.

Students will learn about Current Affairs through various current topics and will incorporate a variety of information about which they will express their opinions. In addition, students will practice the fundamental English skills that are necessary to accomplish the above.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Through Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchie's	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II 2017年度以降入学者

サブタイトル：English Through Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：21st Century developments in the fields of Science, Culture, & Business

Kregg Johnston

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 1 Embrace stress	Vocabulary and listening development Introduction of Response Journals (RJ)
Week 2	Reading: The stressed-out generation TED talks: How to make stress your friend	Involving the audience Gerund/infinitives
Week 3	Quiz chapter 1 Chapter 2 Media influences	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: Superheros as role models TED talks: How movies teach manhood	Relative clauses Effect of Media Knowing your audience
Week 5	Quiz chapter 2 Ch 3 Development	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: The economics of happiness TED talks: Global population growth	Describing goals and ambitions Adding points to an explanation Present perfect simple/continuous

Week 7	Quiz chapter 3 Presentation: Favorite fictional character/Wealth distribution in a country	Presentations on Favorite fictional character/Wealth distribution in a country
Week 8	Ch 4 Secrets & lies	Vocabulary and listening development
Week 9	Reading: Lies we need to tell TED talks: How to spot a liar	Collocations Giving examples Modals of deduction & speculation
Week 10	Quiz chapter 4 Ch 5 To the edge	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Magic man TED talks: How I held my breath for 17 minutes	Time expressions Stating challenges and successes Explaining technical words
Week 12	Quiz chapter 5 Ch 6 Money matters	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Giving something back TED talks: Giving away wealth	Collocations Listening for main ideas Phrasal verbs Authenticity
Week 14	Quiz chapter 6 Presentation: Explaining a significant achievement	Presentation: Explain your most significant achievement

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト（教科書）】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】

www.vocabularysize.com
https://quizlet.com/KreggJ/folders
https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/

【成績評価の方法と基準】

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on expressing opinions on topics covered in writing and orally .

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course.

Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：21st Century developments in the fields of Science, Culture, & Business

Kregg Johnston

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To develop students' ability to think critically and express their own thoughts and opinions on current issues and topics observed in the English speaking world

【到達目標】

Students will further develop their English communication proficiency by integrating the four skills of reading, writing, speaking, and listening in the communication tasks undertaken during the course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course will utilize pair work and group work for discussion activities. There will also be regular presentations made by students on topics covered throughout the course.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Chapter 7 Medical frontiers	Vocabulary and listening development
Week 2	Reading: Just press print TED talks: Problem of prosthetic limbs	Modals of probability Signpost language Body movement & gestures
Week 3	Quiz chapter 7 Chapter 8 Life decisions	Vocabulary and listening development
Week 4	Reading: The defining decade TED talks: Why the 30's is not the new 20's	Future perfect/future perfect progressive Listing for opinions Describing milestones
Week 5	Quiz chapter 8 Ch 9 Technology & innovation	Vocabulary and listening development
Week 6	Reading: Drones TED talks: Robots that can fly and cooperate	Clues from context 1st & 2nd conditional Referring to visuals Debating
Week 7	Quiz chapter 9 Presentation: Robotic surgery: for or against	Presentations whether robotic surgery should be allowed
Week 8	Ch 10 Connections	Vocabulary and listening development

Week 9	Reading: The lost art of listening TED talks: 5 ways to listen better	Reported speech Identifying cause & effect Summarizing with acronyms
Week 10	Quiz chapter 10 Ch 11 Life in the slow lane	Vocabulary and listening development
Week 11	Reading: Your brain on nature TED talks: Cloudy w/ a chance of joy	Articles & quantifiers Repeating main ideas Showing enthusiasm
Week 12	Quiz chapter 11 Ch 12 Make yourself heard	Vocabulary and listening development
Week 13	Reading: Whistle blowers TED talks: Dare to disagree	3rd & mixed conditionals Listen for stressed words Using pauses
Week 14	Quiz chapter 12 Presentation: A vacation spot where people can slow down and enjoy nature	Presentation on a place where people can slow down and enjoy nature

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト（教科書）】

Dummett, Stephenson, Lansford; Keynote 4, Cengage Learning, ISBN: 978-1-305-96505-5

【参考書】

www.vocabularysize.com

<https://quizlet.com/KreggJ/folders>

<https://owl.english.purdue.edu/owl/section/1/>

【成績評価の方法と基準】

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

* Students must attend class regularly in order to pass. Excessive absences and tardiness will result in failure of the course

In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on expressing opinions on topics covered in writing and orally .

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course.

Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

【Outline (in English)】

Course outline:

This course deals with the development English communication in written and spoken forms as it relates to aspects of the English speaking world.

Learning Objectives:

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Further develop knowledge and skills gained in English 1 & 2 classes.
- Develop critical thinking skills on important current issues.
- More effectively integrate usage of the four skill areas (reading, listening, speaking, and writing) in a variety of English communication situations

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to have completed the assigned homework exercises after each class meeting and review before each in-class quiz given. Your study time will be more than four hours for a class.

Grading Criteria:

Homework 10%

Writing 15%

Class participation 15%

Quizzes/Tests 50%

Speech/Presentation 10%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International English Communication

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor.

Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.]	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第3回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第4回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第5回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第6回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第7回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第8回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第9回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第10回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第11回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第12回	News or TED Talk video #5, part 2./ Review of Exam topics studied and discussed during the Spring semester.	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Review for the Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第13回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第14回	Students will be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to each class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.)

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

[-]

—

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：International English Communication

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	*[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第4回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第5回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第6回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第7回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第8回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? /When...? /Where...? /Why...? /Which...? /How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第9回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.
第10回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第11回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.

- 第12回 Discussing answers to the Christmas exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans. Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
- 第13回 SPEAKING exam, re: topics studied and discussed during the Fall semester. Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
- 第14回 "How was your OhShoGatsu?" + Students will be asked to speak about their Winter Break plans. Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to every class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo (+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.)

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【-】

—

【Outline (in English)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界から見た日本, 日本から見た世界

宇治谷 義英

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4
単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について)リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	授業の説明, ウォームアップ.
2	"Soil to build new US airbase on Okinawa 'contains remains of war dead'" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
3	"The Guardian view on the Tokyo Olympics: must the show go on?" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.

4	"Banning same-sex marriage is unconstitutional, says Japanese court" (<i>The Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
5	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
6	"A Sports Event Shouldn't Be a Superspreader. Cancel the Olympics." (<i>The New York Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
7	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
8	"Japan Is Shaken After a Detainee, Wasting Away, Dies Alone in Her Cell" (<i>The New York Times</i>) (2) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
9	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
10	"Opinion: Naomi Osaka's silence speaks volumes" (<i>The Washington Post</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
11	"Why Asia, the Pandemic Champion, Remains Miles Away From the Finish Line" (<i>The New York Times</i>) (1) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
12	"Why Asia, the Pandemic Champion, Remains Miles Away From the Finish Line" (<i>The New York Times</i>) (2) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
13	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

扱う記事の入手方法 (URL等) は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聞き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界から見た日本, 日本から見た世界

宇治谷 義英

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、春学期に続いて、英米のニュースメディアにおける日本についての情報を読み、聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について) リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	"Replacing Suga as prime minister will do little to resolve Japan's political crisis" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
2	"In Japan's anime universe, 'Belle' seeks to rewrite script on female power" (<i>The Washington Post</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.

3	"Japan's ruling party appoints 'Mr status quo' Fumio Kishida as next leader" (<i>The Financial Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
4	"Back from the brink: how Japan became a surprise Covid success story" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
5	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
6	"As Japan's yakuza mob weakens, former gangsters struggle to find a role outside crime" (<i>The Washington Post</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
7	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
8	"Japan election: rightwing populists sweep vote in Osaka" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
9	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
10	"Last rites rights of condemned around the world" (<i>BBC</i>) (1) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
11	"Last rites rights of condemned around the world" (<i>BBC</i>) (2) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
12	"Why it costs 37 cents to make Japan's bullet trains run on time" (<i>The Financial Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
13	学生によるプレゼン	学生による発表. ニュース英語のリスニング.
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

扱う記事の入手方法（URL等）は前週までに指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』（東京：研究社，1999），および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表に対するフィードバックにも重点を置きたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聞き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how Japan is viewed from outside through US or UK media and try to express their own opinion in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Through Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introductions, explanations	Information about the course and survey questions
Week 2	The Beginning of Undercover Boss - 7-11	Research 20 interesting facts about 7-11 - group discussion
Week 3	Roto Rooter	Review the Roto Rooter website and a comparable Japanese company - present findings
Week 4	CSI Commerce	Writing about shopping/buying habits
Week 5	Herschend Entertainment	Writing about a favorite entertainment venue
Week 6	Waste Management	Report about an ecological issue
Week 7	Loehman's	Fashion report
Week 8	Menchie's	Writing about favorite fast food outlet

Week 9	Alfred Angelo	Unique wedding customs in the world
Week 10	Hudson Group	Design dream vacation
Week 11	Cinnabon	Report about women in business
Week 12	Mohecan Sun	Minority group report
Week 13	Dutch Brother's Coffee	Coffee facts and figures
Week 14	Utah Jazz	Report about a sport

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II 2017年度以降入学者

サブタイトル：English Through Reality TV

Robert D. Hinton

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture and society.

【到達目標】

The goal of this course is to increase fluency, accuracy and confidence in the areas of speaking, listening, reading and writing. Students will also learn about the inner workings of American businesses and companies from the viewpoint of the workers and their CEOs and how those businesses impact American culture and society.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

At the beginning of each class, feedback will be given in the form of written comments on assignments. Each week, students will see "real life" business dealings by way of "Undercover Boss", an American reality show. As they watch, students will complete a listening comprehension worksheet and take notes about different aspects of the company, the workers and the CEO. After each program, students will participate in discussions and do activities related to that specific episode. This class incorporates Active Learning and task based activities.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Summer	An interactive communication activity
Week 2	Baha Fresh	Write a restaurant review/critique
Week 3	Stella and Dot	Discussion of retail outlets
Week 4	Maaco	Discussion of on-line shopping and websites
Week 5	Family Dollar	Dealing with customer service/employee complaints
Week 6	Retro Fitness	Discussion about exercise and health
Week 7	CEO/Owner presentation planning	Group work for CEO or owner presentation
Week 8	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions

Week 9	Student PowerPoint presentations	Student presentations and note taking sessions
Week 10	Popeye's Louisiana Kitchen	Share research findings of fast food retail outlets - small group discussion
Week 11	Build A Bear	Recalling childhood memories
Week 12	Peavey Electronics	Discussion of Robotics and the future
Week 13	Clean Harbors	Ecology quiz and group brainstorming
Week 14	Club Med	Partner interview sheet - "dream vacation"

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Each week, students will be asked to prepare for the upcoming class. This will include activities such as: researching a specific topic, brainstorming, writing a report and/or preparing for discussions and presentations.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

No text will be used in this course.

【参考書】

None.

【成績評価の方法と基準】

Weekly homework (40%), classroom participation (40%), and presentations (20%). No more than three absences will be permitted.

【学生の意見等からの気づき】

The instructor appreciates student feedback and alters materials and procedures based on that feedback.

【Outline (in English)】

This course will allow students to play an active role in language learning including activities focused on listening, speaking, reading and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：International English Communication

Robert Durham

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events.]	Introduction vocabulary; & 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.
第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English.	How to say your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.

第3回	Using the Future tense in English, to explain your Golden Week plans.	Active English spoken expressions, re: Golden Week future plans. News video/TED video #2.
第4回	Actively explaining your Golden Week activities, in spoken English.	Actively speaking about Golden Week, in spoken English, using the Past Tense. News video/TED Talk #2 (continued).
第5回	"How are you?"	Pairwork will be used to practice many, various ways to reply dynamically in English, to questions such as "How's it going?" News video/TED Talk #3, part 1.
第6回	Expressing your opinions about Current Affairs News videos/TED Talk #3 part 2, in active, dynamic spoken English.	Pair practice: speaking your opinions about News videos/TED Talks, in active English.
第7回	Video documentary or News clips, with questions about it.	Students will learn how to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic.
第8回	News or TED Talk video #4, part 1.	Pair practice in spoken English, to explain student opinions about the topics raised by the video.
第9回	News or TED Talk video #4, part 2.	Explaining, in spoken English, student opinions about the topics in the video.
第10回	Use of many different English adjectives, to explain opinions and comments.	Students will explain their opinions about many current topics to classmates, in smooth, Modern English.
第11回	News or TED Talk video #5, part 1.	Students will watch the News or TED video clip...and will be asked to discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English.
第12回	News or TED Talk video #5, part 2./ Preparation & practice, for Exam (topics studied and discussed during the Spring semester).	Students will watch the News or TED video clip; will be asked to answer questions about it; and will then discuss (& give opinions about) that video, in smooth, spoken English./ Prep & practice for Speaking exam.
第13回	Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Spring semester.	Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Spring semester.
第14回	Students might be asked to speak about their Summer Break plans.	Students will speak about their future Summer Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams spoken replies (approximately 25%); in-class performance (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

* IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.*

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to every class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

{+ MAYBE... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.}

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【-】

—

【Outline (in English)】

This is a Spring semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：International English Communication

Robert Durham

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

【到達目標】

Students will learn about cultures & social practices from around the English-speaking world; and will also learn how to better explain Japanese culture to English-speaking people in this Global Society. Students will have to learn how to think critically [in-depth] about important Global Issues; and will have to effectively express their own thoughts and opinions in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be challenged to integrate their skills in English listening, speaking, reading, & writing in an advanced manner, via exposure to authentic English materials such as English News videos & audio, and inspirational video/audio talks (including TED Talks). Students will then be required to practice their English communication skills Online, via pair practice conversations with their classmates & professor. Feedback will be given to students by spoken word, in Real Time, in classes; sometimes via e-mail messages; and also via class Grade.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	*[All SCHEDULE items are tentative...& might change, depending on class level(s); student abilities; & recent world events/Pandemic issues.] "How was your Summer Break?"[Discussing Summer events in smooth, Modern English, using the English Past tense.] News video #1/TED Talk video #1.	Summer Past Tense practice and vocabulary (a range of adjectives); with 'EQ' responses thereto. Students will be asked to express English opinions, re: News video and/or TED Talk #1.

第2回	News or TED video #1, part 2: asking students to express active opinions in English. Students will introduce themselves to each other in modern English, via Online video/audio 'chat'.	How to write and speak your own opinions, in English...and how to EXPLAIN them.
第3回	Asking & answering about subway/train directions, in English.	Students will learn and practice how to reply to requests for subway/train directions, in spoken English.
第4回	Hallowe'en, part 1: what are Hallowe'en customs; and in what countries has Hallowe'en traditionally been celebrated? [Using the FUTURE Tense, in English.]	Students will be asked to investigate, write down, and discuss Hallowe'en traditions, in English, using the FUTURE Tense.
第5回	Hallowe'en, part 2: Using 'would' & 'will'.	Students will pair-practice correct use of 'would' + past tense, & 'will' + future tense, to describe possible Hallowe'en costumes & activities.
第6回	News video/TED video #2. Expressing your opinions about Current Affairs News videos, in English.	News/TED Talk #2: students will be asked to say their views/opinions, in active, dynamic spoken English.
第7回	News video/TED Talk #2 (continued), with questions about it.	Students will continue to speak their opinions (in English) to classmates, about a Current Affairs topic/TED Talk.
第8回	"The Seven W's": (Questions about Who...? /What...? /When...? /Where...? /Why...? /Which...? /How...?)	Students will learn how to verbally ask others, and to reply in smooth English, to questions about "the Seven W's".
第9回	Thanksgiving customs (& discussion in English), re: Thanksgiving customs in the U.S.A./Canada.	Students will be asked to suss out traditional Thanksgiving customs in the U.S. & Canada...& to explain them in spoken English.
第10回	Thanksgiving (continued); and possibly a video/audio exercise about Thanksgiving.	Students may be asked to answer questions about a video/audio exercise about Thanksgiving...and to pair-practice in spoken English, five things that they are thankful for.
第11回	What are your plans for Christmas and OhShoGatsu? Also: English video/song exercise about Christmas.	Pair practice: students will be asked to write down & then practice verbally (in English) their Future plans for Christmas/ OhShoGatsu.

- 第12回 Discussing answers to the Christmas exercise...and to Christmas/OhShoGatsu plans. Students will answer video/song questions; and will actively speak about Christmas/OhShoGatsu plans, using polite FUTURE Tense English.
- 第13回 Speaking exam, re: topics studied and discussed during the Fall semester. Speaking exam. Students will be asked to reply, in smooth spoken English, to questions about the topics that we learned & practiced in the Fall semester.
- 第14回 "How was your OhShoGatsu?" + Students might be asked to speak about their Winter Break plans. Students will speak about their recent OhShoGatsu activities...and about their future Winter Break plans.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Please do homework well before the deadline [NOT "ichiyazukke"]; please learn to wake up early, and to arrive in class ON TIME [not late]; and please keep a weekly notebook/binder for this class, using pen.

University guidelines suggest preparation and review are around four hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

A textbook might be chosen, depending on students' levels & requirements. Also, some handouts will be distributed to students. In addition, some News videos & TED Talks may be assigned as in-class or at-home viewing (with questions about those videos).

【参考書】

—

【成績評価の方法と基準】

Tentatively, grading may depend on in-class responses (approximately 25%); speaking exams and spoken replies (approximately 25%); attendance/on-time arrival (approximately 15%); class participation/motivation (20%); and homework (15%).

IMPORTANT: A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE LATE IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE.

【学生の意見等からの気づき】

—

【学生が準備すべき機器他】

Please bring to every class: a notebook/binder; a black pen; a red pen; an English-Japanese/Japanese-English dictionary [paper or electronic]; an English language LARGE namecard; and a daily planner/schedule book [a 'techo', in Nihongo].

{+ MAYBE.... IF we might need to switch to 'ONLINE Learning': please make sure that you have a modern computer, with a KEYBOARD; fast HOME Wi-Fi (NOT cafe Internet); FREE downloads of Skype & Zoom; a computer microphone; AND headphones/earphones. [Cameras might not be used, to protect privacy...and to save Internet Bandwidth/speed.]

Please prepare your computer/ FAST HOME Wi-Fi/ headphones/ microphone/ FREE Skype account/ FREE Zoom account/FREE 'Romaji' gmail account; & please test them WELL, long before we meet.

Please set up your FREE gmail address with a 'Romaji' name such as 'KenTanaka@gmail.com', so that we can use Google Classroom. [Yes, you CAN set up a SECOND, free, 'Romaji' gmail address: it's easy.]

Please e-mail your teacher, LONG before our class starts, at TonyDur2020@gmail.com.)

【その他の重要事項】

If you're sick/ have a fever/ coughing/ sneezing: please STAY HOME & recover. (Please DON'T bring Cold/ Influenza/ Covid viruses to class.)

Manners: whenever anyone coughs/ sneezes: that person should cover nose/mouth, to protect other people from virus spread.

Please participate ACTIVELY in class; and please speak together with your classmates, using lots of 'small talk' & good 'EQ' ['kokoro no chinoshisu'].

If you're not sure about how to answer, please speak up and GUESS...instead of reflexively answering "I don't know".

* A MAXIMUM OF THREE ABSENCES IS ALLOWED...& ONE 'LATE' IS EQUIVALENT TO HALF AN ABSENCE. MORE THAN THREE ABSENCES MAY RESULT IN FAILURE TO OBTAIN COURSE CREDIT.*

【Outline (in English)】

This is a Fall semester English course for Second Year students who have chosen English as their main Second Language. This class will assist students to further develop their English proficiency, by shifting to more content-based English-learning.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語で考える現代社会

宇治谷 義英

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、教材に収録された英米のニュース記事を読み、またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に収録された記事の精読、練習問題、そして別途ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について)リアクションペーパーに書かれた質問は全て次の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	授業の説明, ウォームアップ, ニュース英語のリスニング.
2	Chapter 1, No Phones, No Apps, No Likes	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
3	Chapter 1, No Phones, No Apps, No Likesの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
4	Chapter 2, Disappearing Languages	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
5	Chapter 2, Disappearing Languagesの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
6	Chapter 3, Can We Communicate with Animals?	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
7	Chapter 3, Can We Communicate with Animals?の続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
8	これまでの確認、議論	議論と確認テスト

9	Chapter 4, Escape from Burnout	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
10	Chapter 4, Escape from Burnoutの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
11	Chapter 5, Bringing Middle Eastern Beer to New York	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
12	Chapter 5, Bringing Middle Eastern Beer to New Yorkの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
13	Chapter 6, The Runner Who Took a Stand	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Stories of the World We Live In (『クオリティペーパーで読む私たちが生きる世界』), 堀江恭子他編, 金星堂, 2024年.

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』(東京: 研究社, 1999), および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聞き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語で考える現代社会

宇治谷 義英

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力を更に深めます。またこれら4技能を総合的に駆使し、あるテーマについて英語で情報を得、その情報を批判的に考察し、さらに自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では、春学期に続いて、教材に収録された英米のニュース記事を読み、またニュース動画を見て聴くことを通して上記の力を伸ばしていきます。

【到達目標】

- ・複雑に見える英語の正確な読解ができること。
- ・英文記事全体の要旨を正確に把握できること。
- ・ニュースの英語が聞き取れるようになること。
- ・正確な英語で作文が出来るようになること。
- ・英語でニュース記事について発表そして質疑応答が出来るようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に収録された記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について)リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Chapter 6, The Runner Who Took a Standの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
2	Chapter 7, Reshaping the Values of Beauty	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
3	Chapter 7, Reshaping the Values of Beautyの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
4	Chapter 8, A Social Media Minefield: Hijab Removal Case in School	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
5	Chapter 8, A Social Media Minefield: Hijab Removal Case in Schoolの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
6	Chapter 9, A Boy's Selfless Wish	記事の精読. ニュース英語のリスニング.

7	Chapter 9, A Boy's Selfless Wishの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
8	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
9	Chapter 10, In Search of Freedom	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
10	Chapter 10, In Search of Freedomの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
11	Chapter 11, Global Warming Solutions from the Past	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
12	Chapter 11, Global Warming Solutions from the Pastの続き	練習問題. ニュース英語のリスニング.
13	Chapter 12, Hidden Network Inside the Forests	記事の精読. ニュース英語のリスニング.
14	これまでのまとめ、Chapter 13-15の概要と達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Stories of the World We Live In (『クオリティペーパーで読む私たちが生きる世界』), 堀江恭子他編, 金星堂, 2024年.

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』(東京: 研究社, 1999), および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発表についてフィードバックをおこないたいと思います。ニュース英語のリスニングを苦手とする学生が多いので内容と同時に聴き取りのコツを説明します。

【Outline (in English)】

In this course, students learn how the world is going through reading UK or US media, and try to express their opinions on various world issues in English.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English Speaking Countries in the Precarious Age of Pandemic and Technology

ELIKO M KOSAKA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CNNニュースを用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。
更に英語発音を上達させ、パラグラフやエッセイライティングについての基礎を補強し、さらに多様なスタイルについて学ぶ。

【到達目標】

役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①各Unitで使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②ニュースの英語を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ニュース内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、複数のパラグラフからなる短いレポートを書き、口頭発表等を行う。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めて行く。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回目	オリエンテーション	①音読と発音の指導 ②CNN Unit 1 ③Words and Phrases to Study ④Examples ⑤Blanks to Fill in ⑥Reading Comprehension
第2回目	Unit 1, cont.	①Judgments to Make ②Vocabulary exercise ③Paragraph writing 指導
第3回目	Unit 2	①単語テスト ②音読 ③Paragraph writing workshop ④Start Unit 2: Words and phrases to study
第4回目	Unit 2, cont.	①Examples ②Blanks to Fill in ③Reading Comprehension ④Vocabulary exercises
第5回目	Unit 3	①Judgements to Make ②Vocabulary exercises ③Paragraph writing exercise ④Start Unit 3 Words and phrases to study

第6回目 Unit 3, cont.

- ①単語テスト
- ②音読
- ③Examples
- ④Blanks to Fill in
- ⑤Reading Comprehension
- ⑥Paragraph writing workshop

第7回目 中間試験

第8回目 Unit 4

- まとめと解説
- ①Start Unit 2: Words and phrases to study
 - ②Examples
 - ③Blanks to Fill in
 - ④Reading Comprehension

第9回目 Unit 4, cont.

- ①Vocabulary exercises
- ②Paragraph writing exercise
- ③Judgements to make

第10回目 Unit 5

- ①音読
- ②単語テスト
- ③Paragraph writing workshop
- ④Start Unit 5: Word and phrases to study

第11回目 Unit 5, cont.

- ①Examples
- ②Blanks to Fill in
- ③Reading Comprehension
- ④Vocabulary exercises
- ⑤Judgements to make

第12回目 Unit 6

- ①Start Unit 6: Word and phrases to study
- ②Examples
- ③Blanks to Fill in
- ④Reading Comprehension

第13回目 Unit 6, cont.

- ①音読
- ②単語テスト
- ③Vocabulary exercises
- ④Judgements to make
- ⑤Paragraph writing exercise

第14回目 期末試験

まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書『CNN:ビデオで見る世界のニュース23』English for the Global Age with CNN, Vol 23.

著者関西大学CNN英語研究会

出版者：朝日出版社

出版年2022年

価格：1900円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加20%、中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%

Active class participation 20%, Midterm and Finals 20%, Homework 20%, Quizzes 20%, recitations and group work 20%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the CNN textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger foundation for understanding and using vocabulary, and strengthen the learner's skills in critical reading and writing. Once this is established, the learner will be given the opportunity to learn a few different writing styles.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Active class participation 20%, Midterm and Finals 20%, Homework 20%, Quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: English Speaking Countries in the Precarious Age of Pandemic and Technology

ELIKO M KOSAKA

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

CNNニュースを用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。

更に英語発音を上達させ、パラグラフやエッセイライティングについての基礎を補強し、さらに多様なスタイルについて学ぶ。

【到達目標】

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。
ディプロマポリシー

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- ①各Unitで使用される難解な語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②ニュースの英語を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ニュース内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、複数のパラグラフからなる短いレポートを書き、口頭発表等を行う。
- ④予習をしていることを前提に授業を進めて行く。
- ⑤授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	CNN Unit 7	① Words and Phrases to Study ② Examples ③ Blanks to Fill in ④ Reading Comprehension
第2回目	Unit 7, cont.	① Judgments to Make ② Vocabulary exercise ③ Paragraph writing exercise
第3回目	Unit 8	① 単語テスト ② 音読 ③ Paragraph writing workshop ④ Start Unit 8: Words and phrases to study
第4回目	Unit 8, cont.	① Examples ② Blanks to Fill in ③ Reading Comprehension ④ Vocabulary exercises
第5回目	Unit 9	① Judgments to Make ② Vocabulary exercises ③ Paragraph writing exercise ④ Start Unit 9 Words and phrases to study

第6回目 Unit 9, cont.

- ① 単語テスト
- ② 音読
- ③ Examples
- ④ Blanks to Fill in
- ⑤ Reading Comprehension
- ⑥ Paragraph writing workshop

第7回目 中間試験

第8回目 Unit 10

- まとめと解説
- ① Start Unit 10: Words and phrases to study
 - ② Examples
 - ③ Blanks to Fill in
 - ④ Reading Comprehension

第9回目 Unit 10, cont.

第10回目 Unit 11

- ① Vocabulary exercises
- ② Paragraph writing exercise
- ③ Judgements to make

- ① 音読
- ② 単語テスト
- ③ Paragraph writing workshop
- ④ Start Unit 11: Word and phrases to study

第11回目 Unit 11, cont.

第12回目 Unit 12

- ① Examples
- ② Blanks to Fill in
- ③ Reading Comprehension
- ④ Vocabulary exercises
- ⑤ Judgements to make

- ① Start Unit 12: Word and phrases to study
- ② Examples
- ③ Blanks to Fill in
- ④ Reading Comprehension

第13回目 Unit 12, cont.

- ① 音読
- ② 単語テスト
- ③ Vocabulary exercises
- ④ Judgements to make
- ⑤ Paragraph writing exercise

第14回目 期末試験

まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

教科書『CNN:ビデオで見る世界のニュース23』English for the Global Age with CNN, Vol 23.

著者 関西大学CNN英語研究会

出版者: 朝日出版社

出版年 2022年

価格: 1900円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加20%、中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%

Active participation 20%, Midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Outline in English: Using the CNN textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger foundation for understanding and using vocabulary, and strengthen the learner's skills in critical reading and writing. Once this is established, the learner will be given the opportunity to learn a few different writing styles.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Active Participation 20%, Midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: Global Issues

岩下 弘史

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに向上させていきます。これら4技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に世界情勢について英語で書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
 - ・読解解説(指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要)
 - ・読んだテキストのリスニング(ディクテーション含む)
 - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント(場合によってはスピーキング)
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	Unit1-1	Unit1前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
3	Unit1-2	Unit1後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
4	Unit2-1	Unit2前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)

5	Unit2-2	Unit2後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
6	Unit3-1	Unit3前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
7	Unit3-2	Unit3後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
8	Unit4-1	Unit4前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
9	Unit4-2	Unit4後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
10	Unit5-1	Unit5前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
11	Unit5-2	Unit5後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
12	Unit6-1	Unit6前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
13	Unit6-2	Unit6後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
14	まとめ(期末試験)	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト(教科書)】

『15章版: ニュースメディアの英語—2024年度版—』(朝日出版社、2024年)

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」(大修館)

他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です(初回の授業で説明します)。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など) 35%

期末試験 65%

公欠を除いて4回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない45分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand global issues through reading some English news on them. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about them.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: Global Issues

岩下 弘史

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに向上させていきます。これら4技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に世界情勢について英語で書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業は基本的には以下の手順で進めます。

- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
 - ・読解解説(指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です)
 - ・読んだテキストのリスニング(ディクテーション含む)
 - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント(場合によってはスピーキング)
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	Unit7-1	Unit7前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
3	Unit7-2	Unit7後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
4	Unit8-1	Unit8前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)

5	Unit8-2	Unit8後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
6	Unit9-1	Unit9前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
7	Unit9-2	Unit9後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
8	Unit10-1	Unit10前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
9	Unit10-2	Unit10後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
10	Unit11-1	Unit11前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
11	Unit11-2	Unit11後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
12	Unit12-1	Unit12前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
13	Unit12-2	Unit12後半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング(スピーキング)
14	まとめ(期末試験)	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト(教科書)】

『15章版: ニュースメディアの英語—2024年度版—』(朝日出版社、2024年)

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」(大修館)

他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です(初回の授業で説明します)。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など) 35%

期末試験 65%

公欠を除いて4回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない45分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand global issues through reading some English news on them. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about them.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Exploring the world through critical issues

ウォルター・カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

To expand on skills gained in English 1 or 2

【到達目標】

Students will gain additional skills in reading, writing, listening, and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Reading skills- skimming, scanning, and summarizing

Writing- structuring paragraphs

Speaking- giving speeches and presentations

Listening- listening for gist and details

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction of syllabus	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Community values I	Community values Teaching tips I	Examining social values for societies. Exploring cultural bonds. class activities
Community values II	Community rules Teaching tips II	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts. time flow, use of variety
Community values III	Why some communities collapse teaching tips 3	Discussion of taboos and social misdeeds
Responsible tourism I	Tourism barbs and unintended consequences	Discuss tourism negatives and positive outcomes
Responsible tourism II	Value brought by tourism	Tourism effects on our lives in both positive and negative ways.
Responsible tourism III	Rise of ecotourism and fair trade	Tourist initiatives to improve local lifestyles
World heritage I	Looking at historical buildings and the events they show	Why are these buildings important for remembering history?
World heritage II	Protecting our cultural artifacts	How buildings are preserved and design shows our history
World heritage III	Zoning and how it affects heritage buildings	Zoning code- the balance between modern life and showing our historical roots

Engineered food I	Science and side effects	Science and its end goals and how they might ruin our health
Engineered food II	Health influences of diet	Researching food sources and why variety is important
Engineered food III	Benefits of science engineered food	How radiation and mutations shape our diet
Summary	summary of course themes	Discuss various course themes

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Prepare for teaching lessons by submitting lesson plan 1 week before.

Review reading for further discussion.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Issues that matter - Kinseido

ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】

N/a

【成績評価の方法と基準】

Class participation 70%

Homework 30%

In principle, no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Additional time given for take home quizzes.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, writing instrument, paper

【その他の重要事項】

email

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

or

kasmersensei@gmail.com

【Outline (in English)】

Students will improve their English in 4 skill areas (writing, reading, listening, and speaking).

Students will particularly focus on discussions and short essay writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Exploring the world through critical issues

ウォルター・カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

To expand on skills gained in English 1 or 2

【到達目標】

Students will gain additional skills in reading, writing, listening, and speaking.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Reading skills- skimming, scanning, and summarizing

Writing- structuring paragraphs

Speaking- giving speeches and presentations

Listening- listening for gist and details

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Introduction of syllabus	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food	Food and politics	How do we combat global food changes? class activities
Food II	Food and politics	Positives and negatives of climate change with food time flow, use of variety
Recycling	Recycling	Recycling- reducing waste class work vs. homework
recycling II	recycling government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
waste inequality	waste and its effects on society	Look at how inequalities affect waste
whistle blowing	Blowing whistles	whistle blowing vs leaking
Whistle blowing II	Government security	Look at government security and other related problems
Protesting	Looking at protests and effects on society	Social issues with government and laws
Protesting II	Are all protests the same?	Explore types of protests
Breaking the law I	Handling legal issues	Where do laws come from?
Breaking the law II	Changing laws	Discuss which is better: protesting or suing
Fake news I	Dealing with fake information	Handling media

Summary Summary of course Discussion of course themes themes

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Review reading for further discussion

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Issues that matter - Kinseido

ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】

N/a

【成績評価の方法と基準】

Class participation 70%

Homework 30%

In principle, no more than 3 absences (or 4 absences for Academic English for the Department of Global Politics) per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Allow more time for take home quizzes to be completed.

【学生が準備すべき機器他】

PC or smartphone, paper, writing instrument

【その他の重要事項】

email

kasmersensei@gmail.com

or

walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will improve discussion and short essay writing skills.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Different Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 is a 4-skills required course for 2nd-year students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

【到達目標】

The goals of the course are for students to:

- 1.Acquire and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
- 2.Deepen knowledge of vocabulary and common expressions
- 3.Develop speaking skills and practice new expressions through output activities
- 4.Learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
- 5.Familiarize themselves with how to express effectively through writing activities and assignments
- 6.Become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course instructor will create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students are able to voice their perspectives and attempt to comprehend those of others without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. In group discussions, students are expected to listen to each other and talk with them. While presenting their topics, students should use audiovisual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback during in-class discussions. Students will get graded rubrics for presentations and essays, along with comments from the teacher.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Course Orientation/Unit 2	Course Orientation/Unit 2
Lesson 2	Unit 2 Family Connections	Reading “Genealogy,” Discussions

Lesson 3	Unit 2 Family Connections	Ted Talk: “The World’s Largest Family Reunion,” Presentation Skills
Lesson 4	Unit 3 Global Stories	Unit 3 Global Stories: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 3 Global Stories	Reading “Top Picks,” Discussions
Lesson 6	Unit 3 Global Stories	Ted Talk: “My Year Reading A Book From Every Country,” Presentation Skills
Lesson 7	Presentation Task 1	Presentation Task 1
Lesson 8	Unit 4 Music	Unit 4 Music: Listening and Speaking
Lesson 9	Unit 4 Music	Reading “Music And The Brain,” Discussions
Lesson 10	Unit 4 Music	Ted Talk: “Why I Take The Piano On The Road ... And In The Air,” Presentation Skills
Lesson 11	Unit 6 Inspiration	Unit 6 Inspiration: Listening and Speaking
Lesson 12	Unit 6 Inspiration	Reading “Inspiring Lives,” Discussions
Lesson 13	Unit 6 Inspiration	Ted Talk: “How A Boy Became An Artist,” Presentation Skills
Lesson 14	Presentation Task 2/ Final Task	Presentation Task 2/ Final Task

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Cengage’s Keynote Book 2
Title: Keynote 2 (Student book)
Publisher: Cengage Learning
ISBN: 978-1-305-96504-1
Price: ¥ 3,185

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%

Four Quizzes: 40% (10% each),

Two presentations: 24% (12% each)

One Final Task: 16%

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 3 is a 4-skills required course for 2nd-year students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：Perspectives on Different Topics

CHIA-WEI KANG

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 is a 4-skills required course for 2nd-year students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

【到達目標】

The goals of the course are for students to:

- 1.Acquire and apply strategic listening skills to aid listening comprehension
- 2.Deepen knowledge of vocabulary and common expressions
- 3.Develop speaking skills and practice new expressions through output activities
- 4.Learn how to use skimming and scanning to identify main ideas and supporting details
- 5.Familiarize themselves with how to express effectively through writing activities and assignments
- 6.Become better independent language learners

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The course instructor will create a “safe” learning environment for students. “Safe” means that students are able to voice their perspectives and attempt to comprehend those of others without feeling judged. The overall class vibe is informal. Students participate in various activities involving reading, writing, listening, and speaking. In group discussions, students are expected to listen to each other and talk with them. While presenting their topics, students should use audiovisual aids.

Regarding the feedback on class assignments, the instructor will give oral feedback during in-class discussions. Students will get graded rubrics for presentations and essays, along with comments from the teacher.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Course Orientation/Unit 7 Ethical Choices	Course Orientation/Unit 7 Ethical Choices: Listening and Speaking
Lesson 2	Unit 7 Ethical Choices	Reading “Leather from a Lab,” Discussions
Lesson 3	Unit 7 Ethical Choices	Ted Talk: “Leather and Meat Without Killing Animals,” Presentation Skills

Lesson 4	Unit 8 Better Cities	Unit 8 Better Cities: Listening and Speaking
Lesson 5	Unit 8 Better Cities	Reading “Connecting Citizens,” Discussions
Lesson 6	Unit 8 Better Cities	Ted Talk: “It’s Our City. Let’s Fix It,” Presentation Skills
Lesson 7	Presentation Task 1	Presentation Task 1
Lesson 8	Unit 9 Giving	Unit 9 Giving: Listening and Speaking
Lesson 9	Unit 9 Giving	Reading “Donation Revolution,” Discussions
Lesson 10	Unit 9 Giving	University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.
Lesson 11	Unit 11 Nature	Unit 11 Nature: Listening and Speaking
Lesson 12	Unit 11 Nature	Reading “The Miracle of Pollen,” Discussions
Lesson 13	Unit 11 Nature	Ted Talk: “The Hidden Beauty of Pollination,” Presentation Skills
Lesson 14	Presentation Task 2/ Final Task	Presentation Task 2/ Final Task

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review are around one hour a week for a one-credit course; as a result, students are expected to work on homework assignments (listening, reading, and writing) and prepare for vocabulary quizzes, discussions, and presentations.

【テキスト（教科書）】

Cengage’s Keynote Book 2
Title: Keynote 2 (Student book)
Publisher: Cengage Learning
ISBN: 978-1-305-96504-1
Price: ¥ 3,185

【参考書】

Bring your dictionary to class. (Either paper or electronic dictionary is acceptable.)

【成績評価の方法と基準】

Students will be assessed based on the following criteria:

Class participation: 20%
Four Quizzes: 40% (10% each),
Two Presentations 24% (12% each)
One Final Task: 16%

Attendance policy: In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

The course has not received any comments from the previous term.

【学生が準備すべき機器他】

Students are required to use slides (e.g., PowerPoint, Google Slides) for their presentations and to submit written assignments using word-processing software (e.g., Word, Google Doc). Some important information will be distributed via HOPPII.

【Outline (in English)】

English 3 is a 4-skills required course for 2nd-year students. The course materials and activities are meant to help students learn about many cultural and social practices from different parts of the world and try to understand their society in the context of other cultures. By reading and listening to different themes and topics in English, students can learn how to think critically about current events and how to express their thoughts and opinions through discussions, presentations, and writing.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 1: Japan: Unusual Rental Universe	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 1: Japan: Unusual Rental Universe	読解及び問題演習
第4回	Unit 2: Is Coffee the Secret to a Longer Life?	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 2: Is Coffee the Secret to a Longer Life?	読解及び問題演習
第6回	Unit 3: Lost in Translation	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 3: Lost in Translation	読解及び問題演習

第8回	Unit 4: Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Year	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 4: Lack of Sleep Costs Americans Billions of Dollars Each Year	読解及び問題演習
第10回	Unit 5: Your Smartphone is Making You a Workplace Slacker	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 5: Your Smartphone is Making You a Workplace Slacker	読解及び問題演習
第12回	Unit 6: Do Happy People Live Long	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 6: Do Happy People Live Long	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 4 (CBS ニュースブレイク 4)
熊井信弘他著 成美堂 2019年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦勞している受講生の方が少なくないのに気づかれます。普段からストーリーミング映像の配信を利用して、授業で扱ったニュースの聞き取りをするよう促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進度と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 7: Selling Charity	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 7: Selling Charity	読解及び問題演習
第4回	Unit 8: The Power of Music	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 8: The Power of Music	読解及び問題演習
第6回	Unit 9: A Stitch in Time	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 9: A Stitch in Time	読解及び問題演習

第8回	Unit 10: How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 10: How Microfibers in Clothes are Polluting Our Oceans	読解及び問題演習
第10回	Unit 11: True Meaning of Christmas Found in Family's Magical Reunion	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 11: True Meaning of Christmas Found in Family's Magical Reunion	読解及び問題演習
第12回	Unit 12: The Joy of Cleaning	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 12: The Joy of Cleaning	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 4 (CBS ニュースブレイク 4)
熊井信弘他著 成美堂 2019年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦労している受講生の方が少なくないのに気づかされます。普段からストリーミング映像の配信を利用して、授業で扱ったニュースの聞き取りをするよう促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics range from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, students will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	5	Unit 2: Fragile Forests	Writing assignment feedback will be provided to the students in group work. They will start reading the supplemental article prepared and provided by the teacher.
English 3 I			
サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business I			
GENC BURCU			
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金4/Fri.4 単位数：1単位 その他属性：	6	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	First group will deliver their presentations. Following this, the supplemental article distributed in the previous class will be explored in more depth. In the remaining time, students will start the discussion of unit 3 ideas. Second group will deliver their presentations. This will be followed by an analytical reading and discussion of the unit's reading passage. There will be an emphasis on the key vocabulary. Last group will deliver their presentations. Following this, listening content of the unit will be watched to practice note-taking and answer the questions. An additional reading material similar to the unit topic will be provided to the students by the teacher. A supplemental reading article will be distributed to the students as an assignment. Additional reading article will be explored in depth with an emphasis on key vocabulary in this class.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on socioeconomic and popular science content widely discussed in the English speaking world.	7	Group Presentations Unit 3: Bright ideas	Students will start the class with a group discussion on unit 5 ideas. Students will start with the reading passage of the unit through an overall discussion. Reading passage of the unit will be explored in depth. Key vocabulary will be emphasized.
【到達目標】 In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide them with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.	8	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	Students will start the class with a group discussion on unit 5 ideas. Students will start with the reading passage of the unit through an overall discussion. Reading passage of the unit will be explored in depth. Key vocabulary will be emphasized.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1	9	Unit 3: Bright Ideas	Students will start the class with a group discussion on unit 5 ideas. Students will start with the reading passage of the unit through an overall discussion. Reading passage of the unit will be explored in depth. Key vocabulary will be emphasized.
【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually conducted in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.	10	Unit 5: Engaging Learners	Students will start the class with a short revision of the reading passage to warm up to the writing assignment. Then, they will be provided with the necessary instructions. They will also practice some in-class writing.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes	11	Unit 5: Engaging Learners	
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No	12	Unit 5: Engaging Learners	
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			
回	テーマ	内容	
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.	
2	Unit 2: Fragile Forests	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.	
3	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.	
4	Unit 2: Fragile Forests	Listening exercises will be completed and a writing assignment will be given to students.	

- | | | |
|----|---------------------------|--|
| 13 | Unit 5: Engaging Learners | Listening exercises will be completed by practicing note-taking method, which is followed by a group discussion.
Writing feedback will be provided by group work. The teacher will take an active role by joining the groups and covering some important points on the board. |
| 14 | Final Exam | Final exam of the semester will be conducted |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840

Additional articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor.

【学生が準備すべき機器他】

No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities.

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science topics which hold importance in the English speaking world.

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200)</p> <p>English 3 II 2017年度以降入学者</p> <p>サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II</p> <p>GENC BURCU</p> <p>開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金4/Fri.4 単位数：1単位</p> <p>その他属性：</p>	5	<p>Unit 6: Food for Life Food Businesses and Social Media</p>	<p>Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. This will be followed by a writing assignment instructions on the topic.</p>															
<p>【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 This is the second part of the course, “English Speaking World: From Science to Business” aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on popular science and business related content widely discussed in the English speaking world.</p>	6	<p>Group Presentations Unit 7: Body Signs Power Poses and Leadership</p>	<p>First group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a group work on the main ideas of unit 7 and reading of the unit’s passage.</p>															
<p>【到達目標】 In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.</p>	7	<p>Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication in Business Context</p>	<p>Second group of presenters will deliver their presentations. Reading questions will be answered, and listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups.</p>															
<p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1</p>	8	<p>Group Presentations Unit 7: Body Signs</p>	<p>Last group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a feedback session conducted in groups. The teacher will take an active role and join each group for discussion, which will be followed by general class discussion on important points shared on the board. The teacher will distribute a supplemental article on a relevant topic as an assignment.</p>															
<p>【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.</p>	9	<p>Unit 7: Body Signs Branding Strategies and Language</p>	<p>Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. They will work in groups.</p>															
<p>【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes</p>	10	<p>Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas</p>	<p>To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.</p>															
<p>【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No</p>	11	<p>Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas</p>	<p>Students will explore the reading passage in depth with an emphasis on key vocabulary.</p>															
<p>【授業計画】 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Course orientation</td> <td>introductions & class guidelines.</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 6: Food for Life Food Revolution</td> <td>To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 6: Food for Life Food Revolution</td> <td>Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food</td> <td>Listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Following this, students will be distributed a supplemental article prepared by the teacher.</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	Course orientation	introductions & class guidelines.	2	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.	3	Unit 6: Food for Life Food Revolution	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.	4	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Following this, students will be distributed a supplemental article prepared by the teacher.	12	<p>Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future</p>	<p>This will be followed by an in-class writing task on a relevant topic. In this way, students will both practice writing their ideas in an organized way but also expand their ideas on the main topic. Listening exercises of the unit will be completed by practicing note-taking in groups. This will be followed by a class discussion on the topic as well as the answers. Additional speaking questions will be provided to encourage students.</p>
回	テーマ	内容																
1	Course orientation	introductions & class guidelines.																
2	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.																
3	Unit 6: Food for Life Food Revolution	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.																
4	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Following this, students will be distributed a supplemental article prepared by the teacher.																

13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Students will work in groups to improve their writings. The teacher will take an active role and join the groups. This will be followed by a general discussion on some important points. Finally, some significant topics will be revised before the final exam. The teacher will provide handouts.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://www.theguardian.com/international>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science concerns of the English speaking world.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the Real World.

ジョナサン・エイブル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects. All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	Class methods and familiarisation with types of material.
2	A Place in the World 1	Global Perspectives.
3	A Place in the World 2	How Japan is Viewed Abroad.
4	Tradition 1	How History Informs our Present.
5	Tradition 2	Tradition Across the English Speaking World.
6	Popular Culture 1	The Fast Pace of Fashion.
7	Popular Culture 2	How Japanese Popular Culture Influences Others
8	Presentation Preparation	Topics, Groups and Ideas.
9	Presentations	Group Presentations In Class.
10	Media 1	Where We Get our News.

11	Media 2	Advertising and Commercial Communication.
12	Media 3	Movies and TV. How Entertainment Works.
13	Hello and Goodbye.	How We Meet and Take Our Leave.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interviews.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text Previews and Preparation for Presentations in class will be expected. The task will be set each week as required. (本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。) University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See references.

【参考書】

NHK/NHK Educational

Japan Times

BBC News

British Council online resources (Word on the Street et al.)

Channel 4 News (UK)

CNN

Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%

Presentation 15%

Class Participation 30%

Final Interview Test 30%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II 2017年度以降入学者

サブタイトル：English for the Real World.

ジョナサン・エイブル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

【到達目標】

Students will read, write, hear and speak about topics relevant to their lives, studies and futures. The main sources will be in British English, but cultures across the world - not only Anglophone - will be included in the sources used.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This class will be conducted online. All scheduled classes will be held on Zoom. Assignments will be conducted mostly through Google Classrooms. Details will be posted on the HOPPII class management system in due course.

In each class reading and listening materials will be the starting point for discussion and information processing. In alternate weeks a writing exercise will be included with an emphasis on accurate self-expression. This work will be returned individually with corrections and comments.

There will also be a group presentation exercise which will focus on cooperative communication and public speaking.

Writing exercises will be graded and returned face to face. Feedback on class participation and achievement is provided throughout.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction to Part II	Review and Look Forward.
2	Language.	How Languages Feed Each Other in a Globalising World.
3	Art.	Historical and Modern Views of Japanese Visual Art.
4	Performance.	How Japanese Performing Arts Influence the Worlds of Theatre and Dance.
5	Film.	Cross-cultural Storytelling.
6	Food 1.	What we Eat and Why.
7	Food 2.	Where and How we Eat.

8	Presentation Preparation.	Topics Groups and Planning.
9	Presentation.	Group Presentations in Class.
10	Travel.	From Commuters to Tourists.
11	Transport.	How Mobility Shapes Social Behaviour.
12	Social issues 1.	Ageing and Booming Populations
13	Social Issues 2.	Crime and Punishment.
14	Final Examination.	Self-assessment and Interview.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Text reading and review and presentation preparation will be required. Tasks will be set each week as appropriate.(本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。)University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Materials will be provided. See References.

【参考書】

NHK/NHK Educational.
Japan Times.
BBC News
British Council online resources (Word on the Street et al.)
Channel 4 News (UK)
CNN
Newspapers, Magazines and Periodicals as relevant.

【成績評価の方法と基準】

Writing 25%
Presentation 15%
Class Participation 30%
Final Interview Test 30%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【Outline (in English)】

English 3 builds upon skills and knowledge gained from English 1 and 2 and aims to provide students with further opportunities to think critically and express their opinions on a variety of topics in English. In part II we will continue this journey through intercultural exploration.

Students will learn about aspects of culture and society across cultures with Japan at the centre, exchanging ideas and opinions while building their communication skills in all aspects.

All four skills reading, writing, listening and speaking will be covered.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

ホームレスの支援策、ワクチン配布の世界的不平等、ビジネスと学校教育のつながり方などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit3前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit3後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit6前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit6後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション (グループ1)
8	テキストUnit8前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit8後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit9前半	リスニング、リーディング

11	テキストUnit9後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション (グループ2)
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト (教科書)】

CBS NewsBreak 6, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2023年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験(あるいはレポート)の成績(40%)、プレゼンテーション(20%)、授業参加度(40%)とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習することをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

コロナ禍における教育や連帯感や就職活動の在り方、ユニークな日本の自動販売機などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit10前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit10後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit12前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit12後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキストUnit13前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit13後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit14前半	リスニング、リーディング

11	テキストUnit14後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2023年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験(あるいはレポート)の成績(40%)、プレゼンテーション(20%)、授業参加度(40%)とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKSで知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで練り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く-を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

【第一部】

第2週 Topic: Interdisciplinary

第5週 Topic: Business/ Leadership

第8週 Topic: Life Science

第11週 Topic: Sociology/ Fashion

【第二部】

第3週：TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週：TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週：TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週：TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【第三部】：各Unitテストと自己表現 第4,7,10,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第4週	Review Unit 1	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第6週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第7週	Review Unit 2	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第10週	Review Unit 3	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第11週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process

第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第13週	Review Unit 4	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第14週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、**checksheet**に記入しておく。

復習：**checksheet**に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、プリント配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および **unit quiz**）40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

[Overall Objectives]

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:

Class participation: 40% (Class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKSで知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様に本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

[第一部] 第2週 Topic: Architecture and Design 第5週 Topic: Conservation/ Engineering 第8週 Topic: Visual Arts/ Sociology
[第二部] 第3週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un- expected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja 第6週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja 第9週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to_to?language=ja

[第三部]: 各Unitテストと自己表現 第4,7,10,11,12,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第2週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第7週	Unit 7: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第10週	Unit 9: REview	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第11週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	期末テスト	Final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスク립トを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheetに記入しておく。復習：checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、参考資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

【Overall Objectives】

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 40% (class activities + Unit quizzes) /
assignment : 30 % / Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：News from the English-Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて、国際語としての英語を学びます。英語圏で報道されるニュースの記事を読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。春学期はとくに、自分の意見を英語でわかりやすく伝えたり、相手の意見を理解したりすることを目指します。

【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、要点を英語で説明できるようになる。
2. 英語で書かれたニュース記事を読み、自分の意見や考えを英語で説明できるようになる。
3. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Getting to know your newspaper	世界の英字新聞
3	The structure of a newspaper (1)	英字新聞の構成
4	The structure of a newspaper (2)	ニュースのカテゴリ
5	News story structure	ニュースの要約
6	Headlines (1)	見出しを調べる
7	Headlines (2)	見出しの法則を知る
8	What make a story news? (1)	ニュースになる話題、ならない話題
9	What make a story news? (2)	話題のカテゴリ
10	Writing a news story (1)	ニュース記事を書く
11	Writing a news story (2)	ニュース記事を編集する
12	News Point (1)	時間の分析
13	News Point (2)	ニュースの要点
14	Wrap-up and quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

英語で書かれたニュース記事を読み、要約することを中心に、授業の内容に合わせた課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。詳細は初回授業で説明します。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 70%
- (小テスト20%、授業中の活動への参加20%、提出物30%)
- 学期末課題 30%
- * 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークやペアワークなどのアクティブラーニングが好評だったため、今年度も積極的に取り入れていきたいと思います。このほか、幅広い話題のニュースの記事を取り上げるので、社会の動きに敏感になったという感想がありました。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various news stories reported in the English-speaking world. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop critical thinking skills by taking part in activities in class. In the spring semester, students will study the structures of English newspapers.

Through the course, students will be able to:

- catch the main ideas of news articles
- express their opinions in English about topics mentioned in the article
- understand the points of audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each lesson. Preparation is designed to take one hour approximately. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activities 20%, assignment and submission 30%, final assignment 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：News from the English-Speaking World

川澄 亜岐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、1年次に習得した4つの英語の運用能力（reading, listening, writing, speaking）を用いて、国際語としての英語を学びます。英語圏で報道されるニュースの記事を読むことを通して、世界の文化を理解し、尊重する態度とともに、自文化を相対化し、批判的に分析する力を養います。秋学期は、春学期に学んだことを踏まえたうえで、メディアやそれを取り巻く環境についても広く学びます。

【到達目標】

1. 英語で書かれたニュース記事を読み、英語で要点を説明したり、自分の意見を論理的な文章でまとめたりすることができるようになる。
2. ニュース形式の教材を視聴し、要点を正確に理解できるようになる。
3. メディアの特性を理解し、ニュース記事を批判的に分析できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、講義とグループまたはペアワークを組み合わせて対面形式で行います。提出されたリアクションペーパーや課題は、個別または全体にフィードバックする方法を採ります。授業中に課題を取り組む際は、個別指導の時間をとります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction	授業についての説明
2	Media bias (1)	バイアスとは何か？
3	Media bias (2)	新聞記事に見るバイアス：写真の場合
4	Media bias (3)	新聞記事に見るバイアス：文字テキストの場合
5	Opinion articles (1)	「意見記事」を探す
6	Opinion articles (2)	社説を読む
7	Opinion articles (3)	レビュー記事を読む
8	Electronic media (1)	メディアによるニュース記事の違いを分析する
9	Journalist's job (1)	ジャーナリズムの仕事について知る
10	Journalist's job (2)	ジャーナリズムを取り巻く環境について調べる
11	Journalist's job (3)	ジャーナリズムに関するテキストの鑑賞
12	Writing an opinion article (1)	レビュー記事を書く
13	Writing an opinion article (2)	レビュー記事を編集する
14	Review & Quiz	学期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

英語で書かれたニュース記事を読み、要約することを中心に、授業の内容に合わせた課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。詳細は初回授業で説明します。

【テキスト（教科書）】

テキストは使用しません。授業中に資料を配布します。

【参考書】

適宜、授業の中で紹介します。

【成績評価の方法と基準】

- 平常点 70%
- (小テスト20%、授業中の活動への参加20%、提出物30%)
- 学期末課題 30%
- * 4回以上欠席した場合、原則として単位の取得が認められません。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークやペアワークなどのアクティブラーニングが好評だったため、今年度も積極的に取り入れていきたいと思います。このほか、幅広い話題のニュースの記事を取り上げるので、社会の動きに敏感になったという感想がありました。

【Outline (in English)】

In this course, students will read various news stories reported in the English-speaking world. They will be encouraged to express their opinions in English and share them with other students. They will develop their critical thinking skills by taking part in class activities. In the fall semester, the course will cover the features of various medium and journalistic jobs.

In this course students will learn to:

- grasp the main ideas of news articles
- express their opinions about news stories in English
- understand the audiovisual materials

Students need to prepare in advance for each week's lesson. Preparation is designed to take approximately one hour. In addition to preparation, students will be given assignments to review.

Evaluation will be based on Hosei University grading criteria, as follows:

Quiz 20%, participation in class activity 30%, assignment and submission 10%, final assignment 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英語ドラマを観る

川野 芽生

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Amazon Prime オリジナルドラマ“Good Omens”を通して英語を学び、同時に英語圏の社会と文化、歴史、宗教に対する理解を深める。英語のリーディングとリスニングを通じて社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語のライティングとスピーキングを通じて自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英語での会話を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高め、イデオロムやコロケーションを学ぶ。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期は、シーズン1の後半、エピソード4～6を扱う。一回の授業で1エピソードの4分の1 (約15分) を扱う。学生は予習として、スクリプトブックの当該エピソードを読んでくる。授業ではまず一度、ドラマのそのエピソードを英語音声、字幕なしで視聴し、リスニングに挑戦する。次に、英語音声、英語字幕で視聴し、内容の把握に努める。続いて、学生を順次指名してスクリプトブックの台詞を訳し、文法や語彙、イデオロムの説明をする。その後、英語音声、日本語字幕でドラマを視聴し、文化的背景などについて解説する。1エピソードごとにリアクションペーパーを提出してもらい、授業内でフィードバックを行う。最終的に、英語でエッセイを書いて提出する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容と進め方についての説明、諸注意
2	Episode 1「天使と悪魔」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に
3	Episode 1「天使と悪魔」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
4	Episode 1「天使と悪魔」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
5	Episode 1「天使と悪魔」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
6	Episode 5「予言書」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に

7	Episode 5「予言書」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
8	Episode 5「予言書」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
9	Episode 5「予言書」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
10	Episode 6「不和」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に
11	Episode 6「不和」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
12	Episode 6「不和」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
13	Episode 6「不和」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
14	ディスカッション	これまでの内容を踏まえてディスカッション、意見発表

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。スクリプトブックのうちその回で扱うエピソードを、あらかじめ辞書を引き、文法を調べて読んでくること。ノートに日本語訳を用意し、授業中に淀みなく答えられるように準備しておくこと。わからない点は、辞書や文法書を調べた上で、なおわからないことは質問できるように用意しておくこと。ディスカッションの回までに、Unitのライティング問題に取り組むこと。

【テキスト (教科書)】

Neil Gaiman「The Quite Nice and Fairly Accurate Good Omens Script Book」(Headline Book Publishing, 2020) 2890円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業参加 70 %
リアクションペーパー 10 %
最終レポート 20 %

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生が発言しやすい雰囲気を心がける。必ず予習してくることを求め、学生がその場で和訳を試みるなどして他の学生の時間を奪うことのないように、予習してきていない学生は注意の上で次回に回す。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching Amazon Prime original drama “Good Omens”.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Read a script book in English.
- Improve listening and reading comprehension.
- Enrich their vocabulary.
- Learn about culture, society, history and religion in the world.
- Express their opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read a relevant chapter from the script book. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: in-class contribution (70%), reaction paper (10%), and term-end report (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ドラマを観る

川野 芽生

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Amazon Prime オリジナルドラマ“Good Omens”を通して英語を学び、同時に英語圏の社会と文化、歴史、宗教に対する理解を深める。英語のリーディングとリスニングを通じて社会問題と文化・芸術に触れ、教養と思考力を養う。社会の多様性を理解し、自分の意見を持つことができるようになる。英語のライティングとスピーキングを通じて自分の考えを表現することができるようになる。英語の四技能を伸ばし、英語で情報を取り入れるとともにみずから発信できるようになる。

【到達目標】

- ・英語の文章を正確に読み取ることができるようになる。
- ・英語での会話を聞き取り、意味を掴むことができるようになる。
- ・語彙力を高め、イデオロムやコロケーションを学ぶ。
- ・芸術・文化や社会問題に対する理解を深める。
- ・英語で自分の考えを表現することができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期は、シーズン1の後半、エピソード4～6を扱う。一回の授業で1エピソードの4分の1（約15分）を扱う。学生は予習として、スクリプトブックの当該エピソードを読んでくる。授業ではまず一度、ドラマのそのエピソードを英語音声、字幕なしで視聴し、リスニングに挑戦する。次に、英語音声、英語字幕で視聴し、内容の把握に努める。続いて、学生を順次指名してスクリプトブックの台詞を訳し、文法や語彙、イデオロムの説明をする。その後、英語音声、日本語字幕でドラマを視聴し、文化的背景などについて解説する。1エピソードごとにリアクションペーパーを提出してもらい、授業内でフィードバックを行う。最終的に、英語でエッセイを書いて提出する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容と進め方についての説明、諸注意
2	Episode 4「遊びの時間」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に
3	Episode 4「遊びの時間」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
4	Episode 4「遊びの時間」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
5	Episode 4「遊びの時間」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
6	Episode 5「世界は私に懸かっている」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に

7	Episode 5「世界は私に懸かっている」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
8	Episode 5「世界は私に懸かっている」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
9	Episode 5「世界は私に懸かっている」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
10	Episode 6「二つの顔」1/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文法や語彙の説明を中心に
11	Episode 6「二つの顔」2/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——宗教的背景を中心に
12	Episode 6「二つの顔」3/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——社会的背景を中心に
13	Episode 6「二つの顔」4/4	ドラマ視聴とスクリプトブックの読解、解説——文化的背景を中心に
14	ディスカッション	これまでの内容を踏まえてディスカッション、意見発表

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。スクリプトブックのうちその回で扱うエピソードを、あらかじめ辞書を引き、文法を調べて読んでくること。ノートに日本語訳を用意し、授業中に読みなく答えられるように準備しておくこと。わからない点は、辞書や文法書を調べた上で、なおわからないことは質問できるように用意しておくこと。ディスカッションの回までに、Unitのライティング問題に取り組むこと。

【テキスト（教科書）】

Neil Gaiman「The Quite Nice and Fairly Accurate Good Omens Script Book」(Headline Book Publishing, 2020) 2890円

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

授業参加 70%
リアクションペーパー 10%
最終レポート 20%

4回以上欠席した者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

学生が発言しやすい雰囲気を心がける。必ず予習してくることを求め、学生がその場で和訳を試みるなどして他の学生の時間を奪うことのないように、予習してきていない学生は注意の上で次回に回す。

【Outline (in English)】

In this course students will learn about cultures and societies in English-speaking countries through watching Amazon Prime original drama “Good Omens”.

By the end of the course, students should be able to do the followings:

- Read a script book in English.
- Improve listening and reading comprehension.
- Enrich their vocabulary.
- Learn about culture, society, history and religion in the world.
- Express their opinions in English.

Before each class meeting, students will be expected to have read a relevant chapter from the script book. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process: in-class contribution (70%), reaction paper (10%), and term-end report (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界から見た日本

岩下 弘史

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに向上させていきます。これら4技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に日本について書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- 授業は基本的には以下の手順で進めます。
- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
 - ・読解解説(指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です)
 - ・読んだテキストのリスニング(ディクテーション含む)
 - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント(場合によってはスピーキング)
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	日本の英語教育についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
3	日本の英語教育についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
4	日本のコロナ対策についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)

5	日本のコロナ対策についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
6	東京五輪についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
7	東京五輪についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
8	日本のポップカルチャーについてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
9	日本のポップカルチャーについてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
10	日本経済についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
11	日本経済についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
12	日本の外交政策についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
13	日本の外交政策についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング(スピーキング)
14	まとめ(期末試験)	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト(教科書)】

日本に関連するニュース記事を配布しますので、教科書はありません。

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」(大修館)
他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です(初回の授業で説明します)。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など) 35%
期末試験 65%
公欠を除いて4回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない45分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand Japan through reading some English news on it. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about it.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 世界から見た日本

岩下 弘史

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English 3では、English1とEnglish2で学んだ読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の能力をさらに向上させていきます。これら4技能を総合的に駆使し、英語で書かれたある主題についてテーマについて正しく理解し、それを批判的に考察したうえで自分の意見を英語で発信していく能力を養成します。

本授業では特に日本について書かれたニュース記事を読み、関連する音声を聴き、それについての適切なまとめや自らの意見を発信できることを目指します。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに親しむ。
- ・テキスト内に出てきた単語をしっかりと暗記しボキャブラリーを増やす。
- ・辞書を使いながら英文の構造をしっかりと理解して読めるようになる。
- ・リスニング学習を通して英語の音、リズム、イントネーションに親しむ。
- ・文法的に正確な英文を書くことができるようになる。
- ・ニュース記事に関して自らの意見を発信できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- 授業は基本的には以下の手順で進めます。
- ・前回の授業のリアクションペーパーに関するコメント
 - ・読解解説(指名して英文を音読し訳読をしてもらうので予習が必要です)
 - ・読んだテキストのリスニング(ディクテーション含む)
 - ・リアクションペーパーに学んだニュースの内容等について英語でコメント (場合によってはスピーキング)
- ただし、理解度や進度によっては授業内容を柔軟に変更します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	具体的な授業の進め方について説明します。
2	『鬼滅の刃』についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
3	『鬼滅の刃』についてのニュース②	ニュース前後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
4	福島原発についてのニュース①	Unit8 前半部分の解説とリスニング練習、テキストの内容についてのライティング (スピーキング)

5	福島原発についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
6	日本の社会問題についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
7	日本の社会問題についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
8	日本のエネルギー問題についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
9	日本のエネルギー問題についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
10	天皇家に関するニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
11	天皇家に関するニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
12	村上春樹についてのニュース①	ニュース前半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
13	村上春樹についてのニュース②	ニュース後半部分の解説とリスニング練習、ならびにその内容についてのライティング (スピーキング)
14	まとめ (期末試験)	試験範囲、詳しい内容については授業内で説明します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
詳しくはガイダンス時に説明しますが、精読してくることは必須です。分量は決して多くないですがその分辞書を引いて構造にも気を配り日本語訳を作ってきてください。リスニングの練習を行うことも求められます。

【テキスト (教科書)】

日本に関連するニュース記事を配布しますので、教科書はありません。

【参考書】

「ジーニアス英和辞典」(大修館)
他の辞書でも構いませんが、このレベルのものは必要です (初回の授業で説明します)。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業態度や予習状況、出席、リアクションペーパーの内容など) 35%
期末試験 65%
公欠を除いて4回以上の欠席があった場合は、ガイドラインに基づき原則として単位を認定しません。また、特段の理由のない45分以上の遅刻や早退は欠席扱いとします。

【学生の意見等からの気づき】

スクリーンや板書の文字の大きさには注意したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムで諸々の連絡をします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help the students to understand Japan through reading some English news on it. The students are also expected to develop the ability to speak and write their opinions about it.

The goal of this course for students is to acquire basic academic skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Their study time will be more than four hours for a class.

Their overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 65%, In-class contribution: 35%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- be able to write summaries in an organized and logical manner.
- be able to give presentations on topics of their choice.
- be able to further develop four skills.
- be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Invention Needed: The Sillier the Better	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 2: Artisan from Abroad Protects Tradition	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 3: World Traveler, Starting by Accident	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 4: International Volunteers Help Children in Need	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 5: Public Servant Goes Private	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 6: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 7: Building Playgrounds in Disaster-Hit Communities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶNHK 英語ニュースが伝える日本6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based course and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- be able to write summaries in an organized and logical manner.
- be able to give presentations on topics of their choice.
- be able to further develop four skills.
- be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 9: Tech for Pets Takes Off	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 10: Hairdressers Given a Shot at Independence	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 11: Japanese Tradition Reinvented to Help Global Farming	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 12: Green Tea Shochu Hits the Spot with overseas Connoisseurs	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 13: Looking to the Future in 'Jeans Town'	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 14: A Recollection of Courage	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 15: Indoor Farms Sprouting Up in Cities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶNHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)		4	The Way we Live Current	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout.
English 3 I			Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion.
サブタイトル：English in global contexts			big writing assignment	Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
TOBY TRAUB				
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5				
単位数：1単位				
その他属性：				
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】				
Learning English for communicating in a global society.				
【到達目標】				
This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1				
【授業の進め方と方法】				
Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback will be obtained through quiz scores.				
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes				
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 あり / Yes				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.	5	
2	Unit 1: Getting to Know Each Other Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	handout discussion activities Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..	6	Unit 2 Political Refugees Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment
3	Unit 1 Environmental Issues Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	7	Protests and dissent Research report/mini-Presentations Connecting the dots Love and Loss Death
			8	Music and Art Unit 3: Global thinking Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions
			9	Unit 3: Seize the day Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions

10	Unit 3: Swim against the stream. Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	【学生の意見等からの気づき】 Not applicable 【学生が準備すべき機器他】 Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK). Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary. Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok.
11	Unit 4: What will your verse be? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	【その他の重要事項】 This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course. This syllabus is subject to revision, and likely will change based on the students' needs, and topics will be based on relevant social issues of the moment.
12	The road less traveled. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment. Tips for the Quiz	【Outline (in English)】 This is a content based course with the objective of helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of the world with an emphasis on American social, political, and popular culture.
13	Meritocracy and Theocracy Quiz Song lesson	Quiz Song lesson	
14	Wrap-up	Go over quiz Speaking activity	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete a writing assignment and/or study for a quiz every week in preparation for class. This writing assignment will usually require research.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, this is not at all realistic for a language course, and, at times, you will need to spend considerably more time.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, presentations:70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	4	Human Compassion Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.
English 3 II 2017年度以降入学者			
サブタイトル：English in global contexts			
TOBY TRAUB			
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5			
単位数：1単位			
その他属性：			
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 Learning English for communicating in a global society.	5	Is telling lies bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
【到達目標】 This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will also practice writing paragraphs and short essays.			
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1	6	Immigration good, or bad? Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions writing assignment	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills of reading, writing, listening and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion by briefly writing their opinions, and then participate in discussions, usually in pairs. Reading comprehension will be checked, and new vocabulary will be reviewed after matching activities. Feedback is obtained through quiz grades.			
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes	7	How neighborhoods happen. Introduce big presentation. Create teams. Go over expectations.	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 あり / Yes			
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			
回 テーマ 内容			
1 Welcome back What I did over summer break. Recent happenings in the news. Research and writing assignment.	8	Rules versus freedom Presentation topics due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Listening activity Homework: Conversation preparation writing assignment.
2 Homelessness Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment..			
3 Art and War Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions big writing assignment Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	9	Japan surveillance state. Outline of presentations due. Current Events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.

10	Fabulous Japan Draft of words of presentations due. Current events/Writing skills/Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	or other AI tools on an assignment will result in a zero for the assignment and possible disciplinary action by the university. Plagiarism is never ok. 【その他の重要事項】 This is a challenging course, but you will learn a lot, and improve your English a lot. Because the course is challenging, you will have a proud sense of accomplishment when you have finished the course. 【Outline (in English)】 This is a content based course aimed at helping students improve their confidence and skills in overall English communication as well as to increase their knowledge of American culture.
11	Christmas and holidays. 5 Powerpoints due Christmas/holiday comprehension skill building activity.Reading skills/discussions	Check homework, engage in discussion of prepared homework topic. Handout. Read article, check comprehension, prepare for in-class discussion. Discussion Textbook activities Homework: Conversation preparation writing assignment.	
12	Presentation Day.	Tips for the Quiz	
13	Song lesson My Winter break Pandemics	Song lesson Discussion activity. No homework except to study for big quiz.	
14	Big quiz	Quiz Games Puzzle	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Preparations will include, but are not limited to a writing assignment almost every week, study for quizzes, prepare for presentation, and etc.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. However, this is not at all realistic for a language course, and, at times, you will need to spend considerably more time.

【テキスト（教科書）】

There is no textbook. Handouts will be given in class. However, ALL students will be required to buy a subscription to an online reading software. This should cost roughly about 2,750 yen for a whole year, unless the bookstore increases the price. I will tell you the details on the first day of class

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 30%

Quizzes, writing assignments, presentations:70%

Departmental guidelines state that more than three absences will result in automatic failure of the course.

Obviously, when you are absent, it will hurt your class participation grade.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【学生が準備すべき機器他】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

Translation software is strictly forbidden. You may use your phone in class ONLY for a dictionary app. Or, on a rare occasion, they could be used for purposes related to the class, only with the express permission I recommend using a dedicated electronic dictionary.

Chatgpt or other AI tools may not be used. ANY use of Chatgpt

LANe200LA (英語 / English language education 200)	5	Unit 2: Fragile Forests	Writing assignment feedback will be provided to the students in group work. They will start reading the supplemental article prepared and provided by the teacher.
English 3 I			
サブタイトル: English Speaking World: From Science to Business I			
GENC BURCU	6	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	First group will deliver their presentations. Following this, the supplemental article distributed in the previous class will be explored in more depth. In the remaining time, students will start the discussion of unit 3 ideas. Second group will deliver their presentations. This will be followed by an analytical reading and discussion of the unit's reading passage. There will be an emphasis on the key vocabulary.
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 金5/Fri.5 単位数: 1単位 その他属性:			
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 This is a course aiming to assist students in becoming fluent English speakers by sharing their ideas on socioeconomic and popular science content widely discussed in the English speaking world.	7	Group Presentations Unit 3: Bright ideas	Last group will deliver their presentations. Following this, listening content of the unit will be watched to practice note-taking and answer the questions. An additional reading material similar to the unit topic will be provided to the students by the teacher. A supplemental reading article will be distributed to the students as an assignment. Additional reading article will be explored in depth with an emphasis on key vocabulary in this class.
【到達目標】 In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide them with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.	8	Group Presentations Unit 3: Bright Ideas	Students will start the class with a group discussion on unit 5 ideas. Students will start with the reading passage of the unit through an overall discussion. Reading passage of the unit will be explored in depth. Key vocabulary will be emphasized.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1	9	Unit 3: Bright Ideas	Students will start the class with a short revision of the reading passage to warm up to the writing assignment. Then, they will be provided with the necessary instructions. They will also practice some in-class writing.
【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. They will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually conducted in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.	10	Unit 5: Engaging Learners	
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 あり / Yes			
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No			
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face			
回	テーマ	内容	
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.	
2	Unit 2: Fragile Forests	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.	11
3	Unit 2: Fragile Forests	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.	12
4	Unit 2: Fragile Forests	Listening exercises will be completed and a writing assignment will be given to students.	

- | | | |
|----|---------------------------|--|
| 13 | Unit 5: Engaging Learners | Listening exercises will be completed by practicing note-taking method, which is followed by a group discussion.
Writing feedback will be provided by group work. The teacher will take an active role by joining the groups and covering some important points on the board. |
| 14 | Final Exam | Final exam of the semester will be conducted |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams. ¥ 2840

Additional articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://news.google.com/news/>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Students would like to build up more vocabulary. This will be achieved through additional articles whose vocabulary level is slightly higher than the textbook provided by the instructor.

【学生が準備すべき機器他】

No need for equipment preparation. However, students might be occasionally asked to bring their laptops, or notepads to the class for some activities.

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science topics which hold importance in the English speaking world.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	5	Unit 6: Food for Life Food Businesses and Social Media	Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. This will be followed by a writing assignment instructions on the topic.
English 3 II			
サブタイトル：English Speaking World: From Science to Business II			
GENC BURCU			
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金5/Fri.5 単位数：1単位	6	Group Presentations Unit 7: Body Signs Power Poses and Leadership	First group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a group work on the main ideas of unit 7 and reading of the unit's passage.
その他属性：	7	Group Presentations Unit 7: Body Signs Non-verbal Communication in Business Context	Second group of presenters will deliver their presentations. Reading questions will be answered, and listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups.
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】 This is the second part of the course, "English Speaking World: From Science to Business" aiming to continue helping students to gain fluency in English and express their ideas on popular science and business related content widely discussed in the English speaking world.	8	Group Presentations Unit 7: Body Signs	Last group of presenters will deliver their presentations. This will be followed by a feedback session conducted in groups. The teacher will take an active role and join each group for discussion, which will be followed by general class discussion on important points shared on the board. The teacher will distribute a supplemental article on a relevant topic as an assignment.
【到達目標】 In this course, students will read a variety of content-based articles, and readings will be supplemented with listening exercises to help students improve their fluency in English. The classes are designed for pair and group discussions to provide the students with a friendly environment to express themselves in English. Students will also be required to complete some writing tasks such as paragraphs and short essays to express their ideas in a more organized way.	9	Unit 7: Body Signs Branding Strategies and Language	Students will explore the supplemental article in more depth with an emphasis on the key vocabulary. They will work in groups.
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1	10	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.
【授業の進め方と方法】 Students will participate in a variety of activities that involve all four skills, but with a special emphasis on reading and speaking. Students will be asked to read short articles, prepare for discussion, usually in pairs or groups. Feedback for the assignments will be provided in the classroom. Online feedback might also be provided for students when necessary.	11	Unit 8: Energy Builders Innovative Ideas	Students will explore the reading passage in depth with an emphasis on key vocabulary. This will be followed by an in-class writing task on a relevant topic. In this way, students will both practice writing their ideas in an organized way but also expand their ideas on the main topic.
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】 あり / Yes	12	Unit 8: Energy Builders Engineers of the Future	Listening exercises of the unit will be completed by practicing note-taking in groups. This will be followed by a class discussion on the topic as well as the answers. Additional speaking questions will be provided to encourage students.
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】 なし / No			
【授業計画】 授業形態：対面/face to face			
回	テーマ	内容	
1	Course orientation	introductions & class guidelines.	
2	Unit 6: Food for Life Food Revolution	To warm up, students will make some discussion on the main topic of the unit. They will start reading the assigned article.	
3	Unit 6: Food for Life Food Revolution	Students will be provided with some tips to read more analytically: understanding main ideas. Developing their opinions on the topic by responding to the article.	
4	Unit 6: Food for Life Teaching Children about Food	Listening exercises will be completed by practicing note-taking in groups. Following this, students will be distributed a supplemental article prepared by the teacher.	

13	Unit 8: Energy Builders Harnessing the Wind	Students will work in groups to improve their writings. The teacher will take an active role and join the groups. This will be followed by a general discussion on some important points. Finally, some significant topics will be revised before the final exam. The teacher will provide handouts.
14	Final Exam	Final exam of the semester will be conducted

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to complete assignments every week in preparation for discussion. The assignments might require research.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

21st Century Reading: Creative thinking and reading with TED talks 2, Cengage Publishing and written by Laurie Blass, and Jessica Williams (The same textbook from part I). ¥ 2840
Additional newspaper articles will also be provided by the instructor in class.

【参考書】

These resources might be useful for extra reading practice, and for completing some of the homework assignments.

<https://japantoday.com/>

<https://www.japantimes.co.jp/news/>

<https://www.yahoo.com/news/>

<http://www.bbc.com/news>

<https://www.theguardian.com/international>

【成績評価の方法と基準】

Class participation: 20%

Group Presentation: 30%

Writing assignments: 10%

Final Exam: 40%

More than 3 absences will result in automatic failure of the course.

【学生の意見等からの気づき】

Not applicable

【Outline (in English)】

In this course, students will improve their confidence and skills in overall English communication while familiarizing themselves with contemporary socioeconomic and popular science concerns of the English speaking world.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本（人・移動・日本）：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5
単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information to a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in modern world and particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Introduction	Thinking about work, migration, and movement in Japan through English language media. Introduce yourself, and mention one thing that you think of when you hear the word "economic migrant". Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Week 2	Economic Migrants in Sales and Marketing	Unit 1 Sales Can Be Like Acting Complete exercises in the textbook. Watch the video of the Tommy Lee Jones interview. Write down some impressions that you have of famous Hollywood stars like Tommy Lee Jones who appear in commercials in Japan. Share these ideas in discussions in pairs. Homework: Reading and reading diary.
Week 3	Economic migrants.	People like David White (from Unit One) can be classified as economic migrants however they are usually not referred to as such. Others who migrate for work are called economic migrants and may be even considered to be a "social problem". Based on materials in class and students own research, discuss the various types of "economic migrants" living and working in Japan. Homework: Reading and reading diary.

Week 4	Air Travel Tourism: A world that is open and accessible?	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey) Exercises from textbook. Discussion: write down some ideas about travel in the world today and how this has connected Japan and the rest of the world. Share your ideas in pairs. Homework: read articles on issues related to the ease of travel for some and the difficulty in traveling for those such as refugees.	Week 10	Writing Essays Continued.	Making your essays into a presentation. You will write your essays and then turn them into a presentation. Essays hand written and submitted. Homework: Reading and reading diary.
Week 5	Unit 2 Travel Opens Up the World (Turkey)	Exercises from the textbook. Continued. Homework: Reading and reading diary.	Week 11	Unit 5: Migrant Workers in the Service Sector	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Exercises from the textbook: Providing good service and marketing. Homework: Reading and reading diary.
Week 6	Air Travel Passports, Refugees, and Immigration Detention	Many of the migrant workers introduced in the textbook are from “Western” countries such as Italy or the UK. But migrants and refugees can face problems with immigration control. Italian man’s death in Japanese immigration custody. (Kurdish refugees from Turkey) For refugees: travel can provide Freedom and Safety, but at a cost. Look at videos and News articles about Kurdish and other refugees in Japan. Write down some notes regarding this situation, and share them in discussions with 3 or 4 students. Homework: Reading and reading diary.	Week 12	Unit 5: Migrants Workers Exploitation in Japan	Migrants working in the service and other sectors of the economy(Unit 5 Textbook) Continued Reading task: Article about technical trainees working in Japan. Homework: Reading and reading diary.
Week 7	Multinational Corporations and their International Staff	Multinational Corporations and their International Staff Unit 3 Love Sells Cars Tiziana Alamprese (Italian), Marketing Director, Fiat Chrysler Japan Homework: Reading and reading diary.	Week 13	Presentations on Essay Topic	Present the content of your essays as a 10 slide by 20 second (pechakucha) presentation. Homework: Prepare a Presentation on a place you know well / Reading and reading diary. Remember bring your reading diary for the final class.
Week 8	Unit 3 Continued: Corporate responsibility?	Corporate Greed: Fiat Chrysler corruption scandal. Discuss the issue of corporate social responsibility and making a profit from the text. Read additional material provided and write down 2 or 3 sentences reflecting on these readings. Homework: Reading and reading diary.	Week 14	Final Presentations and Reflections	Student presentations continued. Students to bring their reading diaries to class and discuss the books and news articles they have been reading during the semester. Feedback from students regarding the unit.
Week 9	Essay Writing/ Research Activity	Thinking about issues in the world and Japan today. Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants come to Japan (or why do Japanese move abroad?) Homework: Reading and reading diary.	<p>【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】 Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations. Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.</p> <p>【テキスト（教科書）】 Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals Alice Gordenker & John Rucynski Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,</p> <p>【参考書】 Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from) Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin *Search “Penguin reader” on the library search. English to English dictionary: https://dictionary.cambridge.org/ 英文ライティング虎の巻【改訂版】 Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon. Neumann, D. J. (2016). "A Professor’s Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.</p>		

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, do reading homework, prepare one presentation, and complete writing assignments.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 20%
2. Essay Writing Work Sheets and in-Class Essay 30%
3. Essay Topic Presentation 30%
4. -Choosing a Reading and Completing a Book or books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading diary on all reading during the semester. 20%

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

- Textbook.
- Additional resources for writing (dictionaries etc).
- Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.
- Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester. The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. They are also expected to have access to a computer and the internet for homework and assessment submission. Paper submission will generally not be accepted.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：世界の中の日本（人・移動・日本）：Japan in the World (People, Movement, and Japan)

STEPHEN P MCINTYRE

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 II builds upon the various English language skills and knowledge gained in English 3 I.

Through reading, listening and discussion, students will develop their English proficiency. They will practice effectively expressing their opinions, knowledge and experience both verbally and in writing. Students will participate in pair and group discussions, and present information within a group. This class focuses in particular on issues relating to migration and work in the modern world, particularly in Japan. Students will be encouraged to think critically about issues related to migrants, work, and the movement and influence of language, ideas, goods, and services across borders.

The teacher reserves the right to make changes in the syllabus when necessary to better meet the needs of students.

【到達目標】

This course's aim is to further develop the four language skills (listening, speaking, reading and writing) that students acquired in previous courses. The course will expand on these abilities by placing special emphasis on active communication and discussion on a variety of topics related to current issues. There will be a particular focus on migration, work, and refugee related issues. Students will be encouraged to develop critical thinking and to share their opinions and knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will be based on themes emerging from the textbook and expanded on with additional material provided by the teacher related to migration, work, and the movement of people, and of ideas, products, and companies. Students are expected to participate in class discussions and complete exercises during class. In particular they will be required to engage with topics, conduct their own research, and present this to their peers in class discussions, and through presentations. Students will also be instructed on academic essay writing for the purpose of writing on a specific topic with correct referencing. Regular feedback will be given to students during class on their discussions and on completed exercises. Some written feedback will also be provided online via the online learning system on their written work. Feedback on final presentations and essays will be provided mainly in written form through the online learning system (Hoppi).

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Lesson 1	Introductions	Essays from last semester will be returned. Course syllabus explained. Introduce yourself. Tell the class about something interesting or fun that you did while you were on summer vacation (study, student association activities, hobbies etc.) Choose a "graded reader" from the list handed out in class. You will be given samples of the different levels of readers so you can decide what level is suitable for your current level of reading. Homework: Go to Hosei University library and find the book you have chosen to read, borrow it, and bring it to next class. Start reading the book! You will also start a reading diary. Write down the books and articles that you have read (including those in class!) in your reading diary.
Lesson 2	The migration of ideas through translation.	Textbook Unit 4 Translating is more than words. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 3	The migration of ideas through translation (continued)	Focusing on the translation of Japanese Munga and Anime into English Speaking Practice: Exploring different interests Reading Passage: Why Learn Japanese. Reading Comprehension /Your Opinions. Homework: Reading and reading diary.
Lesson 4	Translation of ideas.	Presentations and discussion What works of fiction or art have been translated or adapted from Japanese content and become famous abroad? Share the information that you have researched in groups of 4 and take time discussing them. Homework: Practice reading articles shown in class. Also go and find a TV program that you think might be fun in English and watch it in English. Reading and reading diary.

Lesson 5	Translation task	The students to translate some sentences and the others to comment whether they agree on the Japanese translation. Check each other's translations in groups of 4. Homework: Reading and reading diary. Upper class or corporate migrants, global elites are able to travel freely around the world. Mitsui Japanese corporations in the world. Environmental and social impacts? Discuss how corporations in a globalized world impact different regions of the world. Homework: Challenge to find two articles. one that is positive one that is critical about the same corporation and the impact it has on the environment.	Lesson 13	Student Presentations on Essays	Student Presentations on Essay Topics
Lesson 6	Textbook- Unit 6: Toast Your Success!	Japanese Companies selling products overseas Homework: Reading and reading diary.	Lesson 14	Final lesson reflection on the term.	Student presentations continued. Students to bring their reading diaries to class and discuss the books and news articles they have been reading during the semester. Feedback from students regarding the unit.
Lesson 7	Unit 6 Think global act local.	Globalization has allowed for greater movement of goods and services, communication than ever before. It has also enabled more movement of people than ever, BUT there has also been an increase in the restrictions on the movement of migrants and refugees. Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 8	Think Global Act Local: Global Conflict and You	How does global conflict affect you where you live right now? What can you do regarding global conflicts such as the war between Ukraine/ Russia or the Israel/Palestine conflict?			
Lesson 9	Essay Writing/ Research Activity	Thinking about issues in the world and Japan today. Economic migrants/ refugees: why do people move between countries? Why do migrants come to Japan (or why do Japanese move abroad?) Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 10	Writing Essays Continued.	Making your essays into a presentation. You will write your essays and then turn them into a presentation. Essays hand written and submitted. Homework: Reading and reading diary.			
Lesson 11	Architecture and Migrant Workers	Unit 8: Build a Happy Life! from Text book pages 54 - 57			
Lesson 12	Build a Happy Life continued.	Life of an European Architect in Japan			

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Class preparation, vocabulary review, homework, and preparation for presentations.

Set aside time to read the books that you have chosen and fill out your reading diary.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Working in Japan: Video Interviews with 14 Professionals

Alice Gordenker & John Rucynski

Cengage Learning, pp128 with DVD, ¥2550,

【参考書】

Penguin readers (There are hundreds of books in the library from level Easystart to Level 6 for students to choose from)

Publisher: Harmondsworth, Middlesex, England : Penguin

*Search "Penguin reader" on the library search.

English to English dictionary:

<https://dictionary.cambridge.org/>

英文ライティング虎の巻【改訂版】

Strunk Jr., W., & White, E. B. (1999). "The Elements of Style, Fourth Edition" (4th ed.). Allyn and Bacon.

Neumann, D. J. (2016). "A Professor's Guide to Writing Essays: The No-Nonsense Plan for Better Writing". Jacob Neumann.

【成績評価の方法と基準】

Students are expected to actively participate in class, complete various comprehension and writing tasks, do reading homework, prepare one presentation, and complete writing assignments.

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

Students are assessed based on the following criteria:

1. In-class reading and listening comprehension, discussions, and writing exercises (preparation for writing task). 20%
2. Essay Writing Work Sheets and in-Class Essay 30 %
3. Essay Topic Presentation 30%

4. -Choosing a Reading and Completing a Book or books of the students choosing during the semester, reading the book, and keeping a reading diary on all reading during the semester. 20%

【学生の意見等からの気づき】

Assessment tasks have been altered and the structure of the course has been changed to assist student learning.

More reading has been introduced to encourage students to learn more vocabulary through homework and to benefit from reading material appropriate to individual ability.

【学生が準備すべき機器他】

● Textbook.

● Additional resources for writing (dictionaries etc).

● Students should also prepare a notepad and pencil/pen to write notes, instructions, writing assignments, etc. when requested.

● Students are expected to have access to a computer and the Internet for homework and assessment submission. It would be beneficial for students to bring smartphones, iPads, or Laptops to the class for ease of searching for and sharing information. (Let your instructor know if this is difficult.)

【その他の重要事項】

Class attendance is a course requirement. Students are allowed no more than three absences in the semester (however circumstances of students will be taken into consideration and work outside of class will be assigned to students who cannot avoid being absent more than 3 times). The instructor reserves the right to modify this course syllabus whenever necessary. Students are expected to purchase and bring the textbook to each class. Students are also expected to have access to a computer and the Internet. Students are strongly advised to bring pens, notebooks, and an A4-sized folder to store printouts handed out during class.

【Outline (in English)】

The purpose English 3 is to further develop student's English proficiency in this course and to provide participants with an active approach to increasing their speaking, listening, reading and writing skills.

This course is for second year students with a strong desire to communicate in English in countries that support English as a native or foreign language.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

CBS で配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習をすることをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1 と English 2 で学んだことをベースとして、英語の 4 技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

ホームレスの支援策、ワクチン配布の世界的不平等、ビジネスと学校教育のつながり方などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各 Unit がニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキスト Unit 3 前半	リスニング、リーディング
3	テキスト Unit 3 後半	リーディング、ライティング
4	テキスト Unit 6 前半	リスニング、リーディング
5	テキスト Unit 6 後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション (グループ 1)
8	テキスト Unit 8 前半	リスニング、リーディング
9	テキスト Unit 8 後半	リーディング、ライティング
10	テキスト Unit 9 前半	リスニング、リーディング

11	テキスト Unit 9 後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション (グループ 2)
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて 1 時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web 動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト (教科書)】

CBS NewsBreak 6, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2023 年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (あるいはレポート) の成績 (40%)、プレゼンテーション (20%)、授業参加度 (40%) とから総合的に評価する。欠席が 4 回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は 3 回に達するごとに 1 回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから 30 分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：メディアを通して見る現代アメリカの文化と社会

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

CBSで配信されたニュースを素材として扱ったテキストを主教材とし、アメリカを主とした現代の様々な諸問題を扱いながら、英語の情報を的確に理解・分析し、問題点を考察した上で自らの意見を発信する力を身に着けることを目指し、インプットとアウトプットのバランスを取りながら英語の総合的な語学の学習することをテーマとする。

【到達目標】

1) 英語の運用能力

English 1とEnglish2で学んだことをベースとして、英語の4技能をさらに向上させる。

2) 文化理解

コロナ禍における教育や連帯感や就職活動の在り方、ユニークな日本の自動販売機などに関する、現代社会の様々な問題について見聞を広め、独自の分析ができる。

3) 分からないことを調べる姿勢

さらなる語学力獲得と文化理解につなげるために、自分の分からないことがあれば謙虚に、意欲的に、辞書や辞典や本やインターネットなどを調べながら、自力で情報を理解しようとする姿勢を身に付ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは、各Unitがニュースのスク립トと内容把握を目的とした問題から成っている。スク립トは、ある程度のまとまりで一人ずつあてて基本的には逐語訳をもらい、確認が必要な場合はこちらから質問をし、問題もあてて答えてもらう形式で進めていく。その為受講者は各授業で進む全ての範囲を予習しておく必要がある。内容理解の後、英文のある箇所を別の易しい英文に言い換える作業も行う。また、テキストで扱ったテーマに基づいて、プレゼンテーションを行う。さらに、テキストには欠けている政治問題について扱った記事等を準備し、演習を行う予定である。予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明
2	テキストUnit10前半	リスニング、リーディング
3	テキストUnit10後半	リーディング、ライティング
4	テキストUnit12前半	リスニング、リーディング
5	テキストUnit12後半	リーディング、ライティング
6	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
7	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ1）
8	テキストUnit13前半	リスニング、リーディング
9	テキストUnit13後半	リーディング、ライティング
10	テキストUnit14前半	リスニング、リーディング

11	テキストUnit14後半	リーディング、ライティング
12	政治問題に触れる	新聞記事等を使った演習
13	プレゼンテーション	テキストの内容をテーマとしたプレゼンテーション（グループ2）
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。授業前に必ずテキストの予習をしてください。テキスト中のスク립トは、Web動画を各自で観て穴埋めをして完成させたいうえで、分からない単語などを調べてしっかり読み、また、問題は、あらかじめ指定された箇所を解いてくること。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 6, Nobuhiro Kumai 他著, (成美堂, 2023年), ¥2,600 + tax

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

期末試験(あるいはレポート)の成績(40%)、プレゼンテーション(20%)、授業参加度(40%)とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。

【学生の意見等からの気づき】

授業外学習の時間を少しでも増やしてもらえよう、復習や予習についてより具体的に働きかけるよう心がけます。

【Outline (in English)】

・ This course aims to improve students' four core English language skills – reading, writing, listening, and speaking – using a textbook made up of news stories drawn from CBS News shows that feature various current topics, especially in the US. Students will develop their abilities to accurately understand the information, think critically about the important current issues, and effectively express their ideas. The goals of this course are also to help students cultivate their understanding of various aspects of the world and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

・ Before each class meeting, students will be expected to have watched the relevant news, read its transcript, and answered the questions in the textbook. Required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Final grade will be decided based on term-end examination (40%), presentation (20%), and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKSで知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで練り上げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く-を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

【第一部】

第2週 Topic: Interdisciplinary

第5週 Topic: Business/ Leadership

第8週 Topic: Life Science

第11週 Topic: Sociology/ Fashion

【第二部】

第3週：TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days
https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週：TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower
https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週：TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments
https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週：TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New
https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【第三部】：各Unitテストと自己表現 第4,7,10,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一週	Introduction	What is TED?
第二週	Unit 1: Life Changes	Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第4週	Review Unit 1	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 2: Team Power	Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第6週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Academic Skills: Understanding stages in a process, ...ets.
第7週	Review Unit 2	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/ referents
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第10週	Review Unit 3	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第11週	Unit 4: What We Wear	Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process

第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Academic Skills: Recognizing point of view
第13週	Review Unit 4	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第14週	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスクリプトを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、**checksheet**に記入しておく。

復習：**checksheet**に記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、プリント配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および**checksheet**の提出）40%、小テスト30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

教室内の換気、温度調節等にも気を配り、より快適な学習環境を心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

授業には必ず辞書を持参すること。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the student's ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

[Overall Objectives]

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：TED TALKSで知る現代社会：英語四技能を学ぶ

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期同様に本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部では、学習事項の確認テストを行い、各トピックについて更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現します。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

[第一部] 第2週 Topic: Architecture and Design 第5週 Topic: Conservation/ Engineering 第8週 Topic: Visual Arts/ Sociology
[第二部] 第3週: TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Un- expected Places https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja 第6週: TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja 第9週: TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ... https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to_to?language=ja

[第三部]: 各Unitテストと自己表現 第4,7,10,11,12,13週

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業進行、テキスト、評価方法についての説明
第2週	Unit6: Building Solutions	Topic:Architecture and Design Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED TALK by Iwan Baan Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第5週	Unit 7: Roads to Fame	Topic:Communication/ Sociology Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED TALK by Kevin Allocca
第7週	Unit 7: Review	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第8週	Unit 9: Community Voices	Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Academic Skills: Understanding main ideas and key details/making predictions,...etc.
第10週	Unit 9: REview	Review Test Research & Presentation Checksheet 回収
第11週	Your favorite TED talk	Finding your own favorite TED talk
第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	期末テスト	Final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED Talkをインターネット上で聞き、また、テキスト巻末のスク립トを参照し、理解しにくかった語彙、表現、文章などを特定し、checksheetに記入しておく。復習：checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED Talk 関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、参考資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com/>

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く持ちます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

【Overall Objectives】

To help students

- increase vocabulary
- improve their reading/listening comprehension skills
- understand speeches without translating into Japanese
- identify main ideas
- clarify the structure of a speech
- develop global and cross-cultural awareness
- develop creative and critical thinking skills
- effectively express their opinions on current issues

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【Grading Criteria /Policy】

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 40% (class activities + Unit quizzes) /
assignment : 30 % / Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: イギリスの歴史と伝統 (British History and Tradition)

田口 清一

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金 5/Fri.5

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English3では、English1とEnglish2で身に付けた英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)を更に深めることを目的とする、また、この4技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】

- * 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら、批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようになる。
- * 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

各Chapterにおいて、本文の読解、リスニング、ライティング(センテンス・レベル)、スピーキングはテキストに沿って行ない、ライティング(補充問題とパラグラフ・レベル)に関しては別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識(一般教養)が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、毎回の課題に対し、授業(対面又はオンライン)での解説によってフィードバックを行う。最終回には春学期全体の講評も行う。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	年間の授業についての説明
第2回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(可算と不可算)
第3回	英語の論理と考え方	名詞を中心とした論理(冠詞と限定詞)
第4回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第5回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第6回	Chapter1(ケルト時代のイギリス)③ Chapter2(ローマ時代のイギリス)①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第7回	Chapter2(ローマ時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング

第8回	Chapter2(ローマ時代のイギリス)③	リスニング、ライティング
第9回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第10回	Chapter3(アングロ・サクソン時代のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第11回	Chapter3(アングロ・サクソン時代イギリス)③ Chapter4(ノルマン人による征服)①	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
第12回	Chapter4(ノルマン人による征服)②	読解、リスニング、スピーキング
第13回	chapter4(ノルマン人による征服)③	リスニング、ライティング
第14回	学期末の課題 学期末の講評	パラグラフレベルのライティング 春学期の課題の総評とまとめ

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文演習においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べる。問題演習(ライティング)においては必ず自分の解答を用意して臨み、解説によって自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。

尚、予習・復習に必要な時間は個人差があると思われるが、本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト(教科書)】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を最低一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」のみで評価する。具体的には、毎回の課題提出40%、その出来60%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。

尚、原則として、未提出の課題と欠席が4回以上ある場合は、単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も広い観点からの英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

【Learning Objectives】

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

【Learning Activities Outside of Classroom】

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

【Grading Criteria】

Each student's final grade will be decided, based on his or her submissions of the required assignments(40%) and their results(60%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：イギリスの歴史と伝統 (British History and Tradition)

田口 清一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English3では、English1とEnglish2で身に付けた英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)を更に深めることを目的とする。また、この4技能を有機的に関連させながら、知的内容を英語で理解し、英語で発信する能力を高めていく。

【到達目標】

- * 知的内容を持った英文を文法的に正確に読解できるようにする。
- * 英文の内容と文脈を常に考えながら、批判的に読む習慣を身に付ける。
- * 日々の英語学習においてリスニングを習慣化し、英語の耳を養う。
- * 文法的に正確できちんとした英語の体を成すセンテンスとパラグラフが書けるようになる。
- * 知的内容を持った意見を英語で発表できるようにする。
- * 英語の根本的論理を理解し、「日本語モード」ではなく「英語モード」で英語を捉えられるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各Chapterにおいて、本文の読解、リスニング、ライティング(センテンス・レベル)、スピーキングはテキストに沿って行い、ライティング(補充問題とパラグラフ・レベル)は別途課題を提示する。読解に関しては、語彙・文法・背景知識(一般教養)が三位一体となった精読を行い、テーマであるイギリスの歴史や文化に対する認識を深めていく。4技能全てにおいて、無味乾燥な「暗記語学」ではなく、「知的に考える語学」というものを実践する。

課題の提示と提出は「学習支援システム」を通して行い、毎回の課題に対し、授業(対面又はオンライン)での解説によってフィードバックを行う。最終回には年間を通しての総評も行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	日本語と英語の相違	文圧縮(名詞構文)
第2回	日本語と英語の相違	人称代名詞
第3回	Chapter5(中世のイギリス)①	読解、リスニング、スピーキング
第4回	Chapter5(中世のイギリス)②	読解、リスニング、スピーキング
第5回	Chapter5(中世のイギリス)③	ライティング 読解、リスニング、スピーキング
	Chapter6(キリスト教の到来)①	
第6回	Chapter6(キリスト教の到来)②	読解、リスニング、スピーキング
第7回	Chapter6(キリスト教の到来)③	リスニング、ライティング
第8回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)①	読解、リスニング、スピーキング
第9回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)②	読解、リスニング、スピーキング

第10回	Chapter7(教会・国家・修道院の解体)③	リスニング、ライティング 読解、リスニング、スピーキング
	Chapter8(産業革命)①	
第11回	Chapter8(産業革命)②	読解、リスニング、スピーキング
第12回	Chapter8(産業革命)③	リスニング、ライティング
第13回	年間の仕上げ	Writing an Essay
第14回	今年度の総括	年間の課題に対する総評とまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各回の授業と課題に対するしっかりした予習・復習が必須である。本文読解においては、リスニングを行った後に必ず英文を数回音読した上で精読すること。その際に辞書を調べる場合には用例も含めて必ずその項目を全て読むこと。また、文法・構文的にあやふやな場合には必ず文法書を調べること。問題演習(ライティング)においては必ず自分の解答を用意して臨み、解説によって自ら添削すること。各回の授業のポイントは必ず次回までに復習しておくこと。

尚、予習・復習に必要な時間は個人差があると思われるが、本授業の準備学習・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Facets of Britain(珠玉の英国) 朝日出版社

【参考書】

特に指定はしないが、必ず文法書(体系的にある程度詳しく記述されたもの)を一冊は備え、予習・復習の際や自分で英文を読み書きする際には、辞書だけではなく必ず文法書も参照することが重要である。

【成績評価の方法と基準】

期末試験は行わず、「平常点」のみで評価する。具体的には、毎回の課題提出40%、その出来60%で評価する。課題に取り組む際に、【到達目標】に掲げた項目をどの程度意識して行っているかを重視する。秋学期は春学期からの習熟度も考慮に入れる。

尚、原則として、未提出の課題と欠席が4回以上ある場合は、単位修得の資格を失うものとする。

【学生の意見等からの気づき】

英語の背景として重要なイギリスの歴史や文化に関する知識が身に付けられて良かったという意見があったので、今年度も幅広い観点から英語力を高められるような授業にしたい。

【その他の重要事項】

年間を通してのレベル・アップを目指すので、春学期・秋学期を通しての履修を原則とする。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The main purpose of English3 is to improve the four skills of reading, writing, listening and speaking acquired in English1 and English2. Furthermore, with these four skills connected organically, the ability to understand and express intellectual content in English will be cultivated.

【Learning Objectives】

The final objective of this course is to understand English in the English modes of thinking, not in the Japanese ones.

【Learning Activities Outside of Classroom】

Students will be expected to spend at least an hour in preparing for and reviewing each class.

【Grading Criteria】

Each student's final grade will be decided, based on his or her submissions of the required assignments(40%) and their results(60%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英字新聞や洋画を使って学ぶ

宮本 三恵子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

English1と2で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の4技能をさらに身に付けることを目的の一つとします。その際、「英語圏の文化と社会」も理解するための材料として英字新聞、映画、音楽が役立つでしょう。

【到達目標】

英字新聞では英語の文章を構文・語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。

映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し、自分で使えるようにしましょう。

英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。主に英語のプロテストソングを使って文化と社会を学びます。自分の考えを英語で表現したり、書いたりもできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

英字新聞ではヘッドラインを読み取ることから始めて徐々に本文の文章にも触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学びます。

映画では、自分で選んだ映画を観て聞き取りの練習などします。映画についての報告などもします。その中で覚えた英語の会話を実際に使ってみます。字幕についても考えてみます。

音楽は指定された曲を使って各自聞き取りの練習をします。脚韻についても学びます。いくつかの日本語訳をみて考察します。

映画や音楽の背景から文化・社会についても考察します。

これらに関連して課題を出すので、報告を提出してもらいます。フィードバックとして次の授業で解説をします。提出の中から参考になる解答例を挙げたり、間違えやすい例を挙げます。理解できない場合、同じような問題を出してさらに解説するので、身につくまで頑張りましょう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。この
第2回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を学びます。
第3回	映画を観る。	選んだ映画についての情報を調べて報告してもらいます。
第4回	音楽を聴く。	歌詞を検索して書きます。単語調べなどもします。曲は "Imagine" の予定です。
第5回	英字新聞を読む。	紙の英字新聞全体をながめた感想を書きます。
第6回	映画を観る。	映画のあらすじや内容について英語で書いてみます。
第7回	音楽を聴く。	歌詞の背景も調べ、脚韻についても調べます。

第8回	英字新聞を読む。	理解できるヘッドラインを選んで解説します。
第9回	映画を観る。	聞き取りに適切なシーンを選んで聞き取りの報告をします。
第10回	音楽を聴く。	歌詞の日本語訳について調べ、考察します。
第11回	英字新聞を読む。	別のヘッドラインを選んで解説し、本文も読んでみます。
第12回	映画を観る。	日本語字幕について考察し、言語や文化の違いなどを学びます。
第13回	音楽を聴く。	歌詞の日本語訳2つ以上を選んで比較します。英語と日本語の違いを通して文化の違いなども学びます。
第14回	英字新聞を読む。	ヘッドラインを選んで解説し、ニュースの内容について本文を読んで、ニュースから文化や社会について考察します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各自用意した紙の英字新聞全体をながめて授業で出す課題の問題に備えてください。

選んだ映画を観て、聞き取りの練習をしたり字幕の書き取りなどして課題の準備をしてください。

授業で扱う曲を聴いて聞き取りしたり歌詞を書き取って課題に備えてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

紙の英字新聞を各自用意してもらいます。ネット上の英字新聞も活用します。

学習する映画を各自選びます。英語字幕・日本語字幕両方出るものを。英和・和英・国語辞書を積極的に使しましょう。

【参考書】

本やネットで調べて解答する場合があります。各自で本を探したり、ネットで検索したりしましょう。

【成績評価の方法と基準】

平常点100%のうち60%以上で合格です。

平常点の内容は、授業中の課題に対しての提出です。

大学の欠欠に関するルール: 欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認められません。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

紙の英字新聞 (駅の売店やコンビニで売ってます)。

映画のビデオやDVD, レンタルも利用しましょう。

英語字幕・日本語字幕両方でならネットで観てもいいでしょう。

【その他の重要事項】

質問などは、メールでもいいです。

miekamimi@ybb.ne.jp (PCメール)

必ず件名に学科と名前を。

【Outline (in English)】

Course outline:

The aim of English 3 is to further develop students' English proficiency which they acquired in English 1 (reading and listening) and English 2 (speaking and writing).

Learning Objectives:

Thinking "Culture and Society," the students in this class will be able to read English newspapers, watch the movies(in English), and listen to the English music.

Learning activities outside of classroom:

The students should read through English newspapers which they bought, watch the movies in English they selected and listen to the music which is specified. They also should look up English words in a dictionary.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy:

The students pass at 60 % of 100 % of normal points.

The content of the normal point is the submission for the assignment.

All submissions are a condition of credit.

I accept up to 3 times of non-submission, but if you do not submit, be sure to write the reason in the next task and do the unsubmitted part.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル: 英字新聞や洋画を使って学ぶ

宮本 三恵子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金5/Fri.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的(何を学ぶか)】

English 1と2で学んだ「読む、書く、聴く、話す」という英語の4技能をさらに身に付けることを目的の一つとします。その際、「英語圏の文化と社会」も学ぶための材料として、英字新聞、映画、音楽などが役立つでしょう。

春学期で学んだことを基礎にさらに発展させます。

【到達目標】

英字新聞では英語の文章を構文や語彙を理解して正確に読解できるようにしましょう。映画では英会話のせりふが聞き取れるように努力し自分で使えるようにもしましょう。英語の歌でもリスニングの努力をして意味をつかめるようにしましょう。

脚韻が把握できるようにもなります。

主に英語のプロテストソングを使って文化・社会を学びます。

自分の考えを英語で表現したり書いたりできるようにしましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

英字新聞では春学期でヘッドラインの特徴を学び読み取ることを学んだので、本文の文章により多く触れていきます。そのために必要な文法的特徴も学んでいきます。

映画では春学期と同様、自分で選んだ映画を使って聴き取り力をより高めていきます。映画の背景も調べて文化・社会も学びます。原作もあれば比較などもします。

日本語字幕についても考察し、言語の違いなども学びます。

音楽は指定された曲を使って聴き取り力をより高め、背景なども調べて文化・社会を学びます。脚韻の理解もいっそう深めます。いろいろな日本語訳を調べて言語の違いなども学びます。

これらに関連して課題を出していくので、報告を提出してもらいます。

フィードバックとして次の授業で解説をします。

提出の中から参考になる解答例を挙げたり、間違えやすい例をあげます。

習得できない場合、同じような問題を出してさらに解説するので、身に付くまで

頑張りましょう。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業のテーマと授業の進め方を説明します。
第2回	英字新聞について学ぶ。	英字新聞の種類や特徴を復習します。
第3回	映画を観る。	映画についての情報を報告します。英語や字幕についても。
第4回	音楽を聴く。	指定された曲の歌詞を調べて書きます。単語や脚韻なども調べます。曲は未定です。

第5回	英字新聞を読む。	春学期で学んだheadlineの特徴を復習し本文も読んでみます。
第6回	映画を観る。	映画のあらすじや内容について英語で書いてみます。
第7回	音楽を聴く。	曲の背景を調べて当時の社会状況や文化を考察します。
第8回	英字新聞を読む。	通信社について学び、2種類の新聞の記事を比較します。
第9回	映画を観る。	シーンを選んで聴き取りの勉強をして字幕についても考察します。
第10回	音楽を聴く。	歌詞の日本語訳2つ以上を選んで比較し、言語の違いなどを学びます。
第11回	英字新聞を読む。	同じニュースで2種類以上の英字新聞のヘッドラインを比較します。
第12回	映画を観る。	映画のテーマをもとに、英米の文化・社会を考察します。シーンの聴き取りもします。
第13回	音楽を聴く。	アーティストについて調べたり、今まで学んだことをまとめ、改めて聴き取りをしてみます。
第14回	英字新聞を読む。	同じニュースでヘッドラインの比較および本文も比較します。ニュースから文化・社会を考察します。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

各自用意した紙の英字新聞全体をながめて、課題の報告の準備をしてくださいます。

選んだ映画を観て聴き取りしたり、字幕の書き取りなどで課題に備えてください。

指定された曲を聴いて、聴き取りしたり歌詞の書き取りなどして課題に備えてください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト(教科書)】

紙の英字新聞を各自用意してもらいます。ネット上の英字新聞も活用します。

映画を選んでおきます。英語字幕・日本語字幕両方でものを。

吹き替え版があるものはいっそう便利。

英和・和英・国語辞書を積極的に使いましょう。

【参考書】

本やネットで調べて解答する場合があります。

各自で本を探したり、ネットで検索したりしましょう。

【成績評価の方法と基準】

平常点100%のうち60%以上で合格です。

平常点の内容は、授業中の課題に対しての提出です。

大学の欠欠に関するルール: 欠席が4回以上の場合原則として単位修得は

認められません。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

紙の英字新聞(駅の売店やコンビニなどで買えます)。

映画のビデオやDVD, レンタルも利用しましょう。

英語字幕・日本語字幕両方でならネットで観てもいいでしょう。

【その他の重要事項】

質問などは課題内に書くか、メールでもいいです。

miekamimi@ybb.ne.jp(PCメール)

必ず件名に学科と名前を。

【Outline (in English)】

Course outline:

The aim of English 3 is to further develop students' English proficiency which they acquired in English 1 (reading and listening) and English 2 (speaking and writing).

Learning Objectives:

Thinking "Culture and Society,"the students in this class will be able to read English newspapers,watch movies(in English)and listen to English music.

Learning activities outside of classroom:

The students should read through English newspapers which they bought,watch the movies in English they selected and listen to the English music which is specified. They should also look up English words in a dictionary.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy:

The students pass at 60 % of 100 % of normal points.

The content of the normal point is the submission for the assignment.

All submissions are a condition of credit.

I accept up to 3 times of non-submission, but if you do not submit, be sure to write the reason in the next task and do the unsubmitted part.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- be able to write summaries in an organized and logical manner.
- be able to give presentations on topics of their choice.
- be able to further develop four skills.
- be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 1: Invention Needed: The Sillier the Better	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 2: Artisan from Abroad Protects Tradition	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 3: World Traveler, Starting by Accident	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 4: International Volunteers Help Children in Need	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 5: Public Servant Goes Private	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 6: Hiroshima Hibakusha Determined to Share Story	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 7: Building Playgrounds in Disaster-Hit Communities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newslines 6 - 映像で学ぶNHK 英語ニュースが伝える日本6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based course and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：英語ニュースで日本を知る

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

English 3 builds on skills and knowledge learned in English 1 and English 2 and is designed to further develop students' English proficiency. This content-based course utilizes authentic materials to deepen the understanding of current issues surrounding Japan and the world and to critically analyze those issues from local and global perspectives. The objective of the course is to help students reinforce four skills to communicate effectively in the English language through individual and group work. The course will provide students with an opportunity to (1) read and discuss various topics in a pair/group, (2) give presentations, and (3) develop academic writing skills. Furthermore, this course will also aim to reinforce vocabulary learning through class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- be able to critically analyze issues from local and global perspectives.
- be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- be able to write summaries in an organized and logical manner.
- be able to give presentations on topics of their choice.
- be able to further develop four skills.
- be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the contents of the textbook. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and assignments will be given in class.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	Unit 8: Climate Change Activist Comes of Age	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
3	Unit 9: Tech for Pets Takes Off	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
4	Unit 10: Hairdressers Given a Shot at Independence	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing

5	Unit 11: Japanese Tradition Reinvented to Help Global Farming	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
6	Unit 12: Green Tea Shochu Hits the Spot with overseas Connoisseurs	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
7	Unit 13: Looking to the Future in 'Jeans Town'	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
8	Unit 14: A Recollection of Courage	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
9	Unit 15: Indoor Farms Sprouting Up in Cities	Vocabulary, News Watching, Dictation, Discussion & Writing
10	Project (Prepare for Presentation 1)	Research and Search for Articles
11	Project (Prepare for Presentation 2)	Prepare for Slides and Scripts
12	Project (Prepare for Presentation 3)	Rehearse Presentation Speech
13	Group Presentation	Presentation
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are required to do homework, do writing/listening assignments, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Tatsuroh Yamazaki & Stella M. Yamazaki (2023). NHK Newline 6 - 映像で学ぶNHK 英語ニュースが伝える日本 6. KINSEIDO. ISBN: 978-4-7647-4170-6 (¥2400 + 税)

【参考書】

Additional materials used in class will be posted on Google Classroom.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります（遅刻3回で1回の欠席になります）。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼン等のグループワークは授業内で準備時間を設けます。

【学生が準備すべき機器他】

辞書（電子または紙媒体）を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧はGoogle Classroomを使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為（例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること）など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

English 3 is content-based and aims to help students further develop their four English skills required to communicate effectively in the English language. The course will provide students with an opportunity to critically look at current issues surrounding Japan and the world, share ideas and opinions through discussions and presentations, and to reinforce vocabulary learning through class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class. Grading will be based on the following criteria: Active Participation (15%); Quizzes and Homework (30%); Presentation (15%); Final Exam (40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本の今を考える

岩崎 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本あるいは日米比較を扱うエッセイ、ニュース・ストーリー、ニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本を表象する様々な情報を批判的に受容することによって、日本的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聞き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

①リーディング

テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。

②スピーキング

エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。

③ライティング

学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセイを作成する。

④リスニング

テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようになるために、シャドーイングという音声学習を行う。

⑤フィードバック

リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業説明の後、各自英語で自己紹介する

2	Unit 1 Study Abroad 「批判的思考」(critical thinking)における「価値」(value)の意義を学ぶ	海外留学に関するエッセイを読み、相手を説得させるためにはどのようなvalueを提示すべきか、その戦略を考察する。リスニングでは[θ]と[ð]の発音の仕方を習得する。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。前回授業で扱った内容について数人の学生が自分の意見を英語で発表する。原発をめぐる賛否の意見を読み、意見を支える事実の重要性を学習する。リスニングでは[θ]と[ð]の発音の仕方を習得する。日本語のサ行ザ行による代用をやめ正しい音を発音できるようにする。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。
3	Unit 2 Nuclear Power 「事実」(fact)と「意見」(opinion)を区別することを学ぶ	前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。移民推進を支持する文章と、それに寄せられたコメントを読み、信念と偏見が具体的にどう違うのかを考察する。リスニングでは[f]と[v]の発音の仕方を習得する。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。
4	Unit 3 Immigration 「信念」(belief)と「偏見」(prejudice)の違いを理解する	前回授業で扱った内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。日本の学童が教室の掃除をする姿を伝えるニュース映像を見る
5		ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。解答・解説の際、聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。シャドーイングを実践する。再度映像を見る。ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアの相手に英語で質問をする。ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。
6	Unit 4 Social Safety Net 自分の意見の正当性を主張するためには、その「理由」(reason)とそれに説得力を与える「証拠」(evidence)が重要であることを理解する	前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。セイフティーネットを支持するエッセイを読み、その理由が客観的なevidenceによって裏付けられているか考察する。リスニングでは破裂音[p][t][k]の発音の仕方を習得する。破裂音に伴う息の強さが日本語と比較して桁違いに強いことをよく理解し、発音の際強い息を出せるように練習する。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。

- | | | | | | |
|----|---|---|---|--|--|
| 7 | <p>Unit 5 Global Warming
「評価を下すための基準」(criteria for evaluation)を示すことの重要性を学ぶ</p> | <p>前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。
エッセイ内で地球温暖化解決のため政府が行うべき政策の「基準」を提示されているが、その妥当性を考察する。
リスニングでは [s] [z] の発音の仕方を習得する。日本語の [ス][ズ] の音とは息の強さにおいて全く異なることを認識し、強く長く息を吐き出して発音できるようにする。
シャドーイングを実践する。</p> | 12 | <p>日系を含めたアジア系アメリカ人に対する襲撃が増加しているニュース映像を見る。</p> | <p>アメリカでは未だに人種間の対立や人種差別が存在し、コロナなどの危機的な状況になると、差別が顕在化することを知る。
ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。
解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。
[h] の発音の仕方を習得する。息の強さにおいて日本語の [ハ] 行の音とは全く異なることに留意する。
シャドーイングを実践する。
再度映像を見る。</p> |
| 8 | <p>ナキウサギの絶滅危機を通して地球温暖化を伝えるニュース映像を見る</p> | <p>前回授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。
ニュース映像を見て、温暖化に伴い多くの野生動物が絶滅の危機に瀕していることを直視する。
ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。
解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。
シャドーイングを実践する。
再度映像を見る。
ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアの相手に英語で質問をする。
ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。</p> | 13 | <p>Unit 6 Women in the Workplace
意見を述べる際にその論拠として必要なのは、趣旨と「関連性を持つ」(relevant) 事実であり、「関連性のない」(irrelevant) 事実には言及すべきではないことを学ぶ</p> | <p>ある会社のジェンダー平等の指針を示す文書を読み、その指針の全てが文書の趣旨と適切な関連性を有していることを確認する。
リスニングでは [æ] [ʌ] [ə] の発音の仕方を習得する。合わせてアクセントと発音の関係を学ぶ。
シャドーイングを実践する。
テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。</p> |
| 9 | <p>自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (1)
エッセイの構造を学ぶ</p> | <p>前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。
4パラグラフからなるエッセイの構造を学習する。
各パラグラフの役割と構成を学ぶ。
エッセイプラン表の作成法を学ぶ。</p> | 14 | <p>提出したエッセイのフィードバック</p> | <p>添削しコメントを添えてエッセイを返却する。
添削・コメントというフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。
また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。</p> |
| 10 | <p>自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (2)
辞書の活用法を学ぶ</p> | <p>作成したエッセイプラン表の内容をペアの相手に説明し、相手からフィードバックをもらいプラン表を完成させる。
英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・ディクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効なそれぞれの辞書を使う意義と活用法を徹底的に学習する。
授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に引いて見る。</p> | <p>【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間は必要。
リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。
リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。
記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。
春学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。</p> | | |
| 11 | <p>自分の意見を主張する英文エッセイの書き方を学ぶ (3)
論理的な展開を理解する</p> | <p>論理的な誤りを含むエッセイの例を複数読んで、どう訂正すれば論理的に正しい展開になるのか考察する。
特に、導入の主張と各パラグラフのトピックの論理的整合性、また各パラグラフのトピックとその支持文の関連性の重要性を学ぶ。</p> | <p>【テキスト（教科書）】
Michael Hood, 『Think Smart—Critical Thinking in the Critical Times』、金星堂</p> <p>【参考書】
特に無し。</p> <p>【成績評価の方法と基準】
授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。
一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。
4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。
原則的に遅刻は認めない。
オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。</p> <p>【学生の意見等からの気づき】
アウトプットの比重を高めたい。</p> | | |

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をする、スマホを操作し続けるなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：日本の今を考える

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

日本あるいは日米比較を扱うエッセイ、ニュース・ストーリー、ニュース映像を教材に使い、読み、聴き、話し、書くという4技能を総合的に身につけることを目標とする。英文エッセイを読み、ニュース映像を聴くことによって読解力とリスニング能力を高める。教材の内容を理解したうえで、自分の意見を口頭で、そして文章で表現することによって、発話能力と書く技術を身につける。日本を表象する様々な情報を批判的に受容することによって、日本的なものに対する自分の立場を明らかにして自らの考えを発信できるようにしたい。

【到達目標】

基本的な英語ニュース・ストーリーが聴き取れるようになる。
英語らしい発音ができるようになる。
パラグラフ・リーディングができるようになる。
自分の考えを英語で口頭で表現できるようになる。
4パラグラフからなるエッセイを作成し、自分の考えを論理的に表現できるようになる。
英和辞典が適切に使えるようになる。
英語の文章作成にあたり、必要な辞書を使いこなすことができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ①リーディング
テキストのエッセイのパラグラフ構造に注目してパラグラフ・リーディングする。学生は理解した内容を口頭で発表する。
- ②スピーキング
エッセイの内容を理解した後、他の学生と英語で意見を交換し、授業後の意見をまとめ、翌週にそれを口頭で発表する。
- ③ライティング
学期中に一度、学習した内容から好きなトピックを選び、4パラグラフから成るエッセイを作成する。
- ④リスニング
テキストの音声教材またはニュース映像を用いてリスニングを行う。英語の音声上の特徴を理解し、自分で英語らしい発音ができるようにするために、シャドーイングという音声学習を行う。
- ⑤フィードバック
リーディングに関しては授業中に口頭でコメント・評価をする。口頭による発表とエッセイに関しては、提出されたペーパーを添削し、コメントを添えて返却する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	映像ニュースを見る	ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。 解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。 [h]の発音の仕方を習得する。息の強さにおいて日本語の[h]行の音とは全く異なることに留意する。 シャドーイングを実践する。再度映像を見る。
2	Unit 7 School Saturdays	ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアの相手に英語で質問をする。 ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。 土曜日に授業を行うべきかどうか、賛成意見と反対意見の双方主張を支持する証拠の強さを評価する。 リスニングでは[l] [ɜ] [tʃ] [dʒ]の発音の仕方を習得する。 発音に際し強く長く息を吐き出せるよう努力する。 シャドーイングを実践する。 テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。
3	Unit 8 Food Labeling	「一般化」(generalizations)と「思い込み」(assumptions)を避ける
4	Unit 10 Merit Based Pay	論理的に妥当性のある「推論」を引き出す重要性を学ぶ
5	Unit 11 American Military Bases in Japan	問題を単純化することによる「論理的誤り」(logical fallacies)を避ける

- 6 ニュース映像を見る 原爆の生みの親オッペンハイマーを描く映画を通して、現代の核問題を考える 前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。広島と長崎を一瞬にして焦土に変えた原爆の実験に成功したあの日から、世界がどのように変わってしまったのか、実際の映像と映画「オッペンハイマー」からの映像を見ながら考察する。ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。シャドーイングを実践する。再度映像を見る。ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアの相手に英語で質問をする。ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。
- 7 **Unit 12 Taxes**
小さな原因から極端な結果を導き出す「陥りやすい誤った帰結」(slippery slope fallacy)を考える 前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。税率引き上げをめぐる論争を読み、双方の主張に論理的な説得力があるか、それとも「陥りやすい誤った帰結」になっているのかを考察する。リスニングでは [ou] の発音の仕方を習得する。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。
- 8 **Unit 13 Living Together Before Marriage**
「感情へ訴えかけること」(the ad hominem)の危なさを学ぶ 前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。カップルが結婚前に同居すべきか同居すべきでないかをめぐる問題を論じるエッセイを読む。「感情へ訴えかけること」をせずに、類似と対比によって問題点を浮き彫りにする手法を学ぶ。リスニングでは [j] の発音の仕方を習得する。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。
- 9 **Unit 14 Animal Rights**
相手の意見を極端に誇張して解釈する「論点のすり替え」(creating a snowman)を学ぶ 前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。動物の権利を訴えるデモ取材した記事を読み、デモ参加者の主張とデモに反感を抱く双方の理由の中に「論理のすり替え」を含め、様々な論理的誤りが含まれていることを理解する。リスニングでは母音に伴う反り舌を習得する。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。
- 10 行き過ぎたダイエットを伝えるニュース映像を見る 前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。ニュース映像を見て、極端なダイエットが少年の間でも流行していることを知り、ダイエットの危険性とともにもその背景と考察する。リスニングでは様々なリンキングを学習し、発音できるようにする。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。
- 11 因果を論じる英文エッセイの書き方を学ぶ 前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。4パラグラフからなる因果を論じるエッセイの構造を学習する。各パラグラフの役割と構成を復習する。エッセイプラン表の作成法を復習する。英和・和英辞典、シソーラス、コロケーション・デイクショナリー、ネット上の辞書など、英語を書く際に有効なそれぞれの辞書を使う意義と活用法を徹底的に復習する。授業中に、ネット上で使えるシソーラスなどの辞書を実際に引いて見る。つなぎの言葉の有効性を確認する。
- 12 人間の餌やりがクマを殺すことを伝えるニュース映像を見る 作成したエッセイプラン表の内容をペアの相手に説明し、相手からフィードバックをもらいプラン表を完成させる。ニュース映像を見て、野生動物に餌をやるのが瞬時に動物の本性を歪め、如何に危険な生き物を生み出してしまうのかを考察する。ニュース映像を見て大まかな内容を理解した上で、スクリプトの穴埋めを行う。解答・解説の際聞き取りにくい音や英語特有の音に注意を向け発音を練習する。シャドーイングを実践する。再度映像を見る。ニュースの各パラグラフの内容に関して、ペアの相手に英語で質問をする。ニュースが伝える内容に関して批判的に英語で議論する。前回の授業で取り上げた内容に関するコメントを数人の学生が英語で発表する。オリンピック開催を求める嘆願書を読み、その理由の中に含まれるレッド・ヘリングの効果と限界を考察する。リスニングでは吸収される音と脱落する音を学ぶ。シャドーイングを実践する。テキストで学んだ内容についてペアを組んで英語で話し合う。
- 13 **Unit 15 Hosting Olympics**
論点から注意をそらすことによって誤った結論に導く論法レッド・ヘリングを学ぶ。

- 14 提出したエッセイの フィードバック 添削しコメントを添えてエッセイを返却する。
添削・コメントというフィードバックから、学生はエッセイライティングの技法を学び直す。また、添削・コメントを参考にエッセイを書き直し再度提出する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。ただし、エッセイ作成には最低で8時間が必要。

リスニングで聴いた教材のシャドーイングの復習を行い、次の授業でその成果を披露する。

リーディング教材の指定箇所を読んで意味を理解できるようにしておく。辞書を引いて単語の定義を決定する場合、何故その定義がふさわしいのか、その根拠を説明できるように準備する。

記事を読み終わったら、それに関する意見を英語で発表できるように準備する。

秋学期に一度4パラグラフからなるエッセイを作成する。

【テキスト（教科書）】

Michael Hood、『Think Smart—Critical Thinking in the Critical Times』、金星堂

【参考書】

特に無し。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、レポート・スピーチ・試験60パーセントの比率で評価する。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まる。

一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていく。

4回以上欠席した場合は、原則として単位修得を認めない。

原則的に遅刻は認めない。

オンライン授業では課題の提出をもって出席とする。

【学生の意見等からの気づき】

ペアワークによる演習を増やす。

【その他の重要事項】

この授業は演習中心なので、出席を重視しています。遅刻・欠席に関しては厳しく対処します。また、授業中私語をするなど、常識的におかしいと思われる行為は慎んで下さい。必ず英和・和英辞書を持参して下さい。教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

This course is to help students improve their skills of reading, listening, speaking, and writing. In order to acquire better listening and speaking skills, participants learn distinctive sounds of English and are expected to be able to pronounce them correctly. Participants are required to make presentations about what they have read or heard in class. Regarding writing, participants learn the basic structure of the academic essay and how to make an essay composed of four paragraphs on what they have read or heard in class by making good use of various kinds of dictionaries useful for writing good English.

Students are expected to spend one hour completing assignments before the class and reviewing what they have learn after the class.

Final grade will be decided based on class-participation 40 % and essays/term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 1: What's for Lunch? In Japanese Schools	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 1: What's for Lunch? In Japanese Schools	読解及び問題演習
第4回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	読解及び問題演習

第6回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	読解及び問題演習
第8回	Unit 4: The Shoes That Grows	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 4: The Shoes That Grows	読解及び問題演習
第10回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	読解及び問題演習
第12回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 3 (CBS ニュースブレイク 3)
熊井信弘他著 成美堂 2017年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦労している受講生の方が少なくないのに気づかされます。普段からストリーミング映像の配信を利用して、授業で扱ったニュースの聞き取りをするよう促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics range from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, students will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	読解及び問題演習
第4回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	読解及び問題演習

第6回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	読解及び問題演習
第8回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	読解及び問題演習
第10回	Unit 11: Daddy Duty	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 11: Daddy Duty	読解及び問題演習
第12回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 3 (CBS ニュースブレイク 3)
熊井信弘他著 成美堂 2017年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦勞している受講生の方が少なくないのに気づかれます。普段からストーリーミング映像の配信を利用して、授業で扱ったニュースの聞き取りをするよう促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)	3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。									
English 3 I 2017年度以降入学者	4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。									
サブタイトル: 身近なテーマから英語で発信	5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。									
猪俣 佳瑞美	6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。									
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 金4/Fri.4	7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。									
単位数: 1単位	8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。									
その他属性:	9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。									
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】	10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるように、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。									
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。	11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するならば、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。									
【到達目標】	12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。									
講義の到達目標は、以下である。												
<ul style="list-style-type: none"> 各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。 												
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】												
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1												
【授業の進め方と方法】												
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。												
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes												
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No												
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone</td> <td>若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など	2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
回	テーマ	内容										
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など										
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批評的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。										

— 555 —

- | | | |
|----|----------------------------|---|
| 13 | プレゼンテーション
1 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。 |
| 14 | プレゼンテーション
2
小テストとまとめ | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)	3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II			
サブタイトル：身近なテーマから英語で発信			
猪俣 佳瑞美			
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：金4/Fri.4	4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数：1単位			
その他属性：			
【授業の概要と目的（何を学ぶか）】	5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能（英語を読み、聞き、書き、話す力）の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、各トピックを国内に存在する身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。			
【到達目標】	6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しまれている「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
講義の到達目標は、以下である。			
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。			
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。			
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。			
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。			
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。	7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】			
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1	8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
【授業の進め方と方法】	9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。			
【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】	10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
あり / Yes			
【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】			
なし / No			
【授業計画】 授業形態：対面/face to face	11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
回 テーマ 内容			
1 秋学期スタートにあたって			各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
2 Unit 11 More Foreign Visitors	12	プレゼンテーション 1	

- | | | |
|----|----------------|--|
| 13 | プレゼンテーション
2 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。 |
| 14 | 小テストとまとめ | 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)	3	Unit 2 Studying in a Café vs. Home	学習を効率的に行う場所として「自宅」と「カフェ」を比較する。テーマに関する意見を英語で聞き、情報を整理した上で、各自の経験や意見をペアやグループで英語で発表する。									
English 3 I 2017年度以降入学者	4	Unit 3 Gakuran vs. Blazer	高校の制服デザインについて考える。代表的なものとして「学ラン」と「ブレザー」を取り上げるが、現代社会における多様性という面からも、制服に求められる社会的役割を各自が考え、英語で意見をまとめる演習を行う。									
サブタイトル: 身近なテーマから英語で発信	5	Unit 4 Coming-of-Age Ceremonies	成人式の必要性について考える。また、海外には日本の「成人式」に該当する行事は無いため、その概要や存在意義を英語で説明できるようにする。最後に、各自の成人式に対する意見交換を英語で行う。									
猪俣 佳瑞美	6	Unit 5 24/7 Convenience Stores	コンビニの24時間営業について考える。各学生が24時間営業に「賛成」なのか「反対」なのか、各自の立場を明確にした上で、ペアやグループに分かれ、理論的に意見を述べる練習を行う。									
開講時期: 春学期授業/Spring 曜日・時限: 金5/Fri.5	7	Unit 6 Japanese Era Names	「元号」について考える。2019年5月に導入された新元号「令和」。元号が変わる時を体験した学生同士だからこそ可能な、元号の必要性や意義に関する意見を英語で交換したい。また世界でも珍しい「元号」の英語による説明方法も取り上げる。									
単位数: 1単位	8	Unit 7 Point Cards	購入した額によって与えられる「ポイント」や「ポイントカード」について考える。このサービスを受ける側からだけでなく、与える側からも考察し、存在意義を考えたい。身近なトピックであることから、各自が実体験を踏まえ、わかりやすく自分の考えを英語で相手に伝える練習を行う。									
その他属性:	9	Unit 8 Disaster Volunteers	自然災害時のボランティアについて考える。特に「ボランティア」と「報酬」に関する英文を読んだ上で、各自の考えを論理的にまとめ、説得力ある意見にする練習を行う。									
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】	10	Unit 9 Domestic Trip vs. Abroad	「旅行」をテーマに取り上げる。「国内旅行」と「海外旅行」を比較し、10万円あったら「国内」「海外」どちらを旅行したいか英語で意見を述べ合う。各自、その理由を明確にできるよう、具体的な旅行案も考えた上で授業に参加してほしい。									
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。	11	Unit 10 Studying English Abroad	「留学」をテーマに取り上げる。最近、人気の高いアジア諸国への留学に関する英文を読んだ上で、各自が、語学留学するならば、どこの国へ行きたいか、その理由などを明確にした上で、意見交換を行う。									
【到達目標】	12	プレゼンテーション準備と確認	13、14回めの講義で行うプレゼンテーションに関する説明を行い、各自で準備を進める。									
講義の到達目標は、以下である。												
<ul style="list-style-type: none"> 各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。 ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。 英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。 特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。 英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。 												
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】												
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1												
【授業の進め方と方法】												
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。												
【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes												
【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No												
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション</td> <td>授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone</td> <td>若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など	2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。			
回	テーマ	内容										
1	オリエンテーション	授業の目的、内容、進め方の説明 自己紹介など										
2	Unit 1 Shared Housing vs. Living Alone	若者の暮らし方を「一人暮らし」と「シェアハウス」を比べることで考える。リーディング素材を使用し、命題に対して批判的な思考を組み立てる方法を学び、意見を日本語で確認した上で、英語にする演習及び、意見をペアやグループで発表。										

- | | | |
|----|----------------------------|---|
| 13 | プレゼンテーション
1 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。 |
| 14 | プレゼンテーション
2
小テストとまとめ | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。春学期に扱った語彙を中心とする小テストも実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)	3	Unit 12 New Year's Eve Fireworks	「年越しイベントとしての花火大会」の実施を考える。日本では、夏に行われる花火大会だが、海外では大晦日のイベントとして人気が高い。その理由を考えながら、日本文化として花火大会が持つ意味を英語で伝える練習も行う。
English 3 II			
サブタイトル: 身近なテーマから英語で発信			
猪俣 佳瑞美			
開講時期: 秋学期授業/Fall 曜日・時限: 金5/Fri.5	4	Unit 13 April Fools'Day in Japan	「エイプリルフール」について考える。海外と日本のエイプリルフールを比較し、日本人の傾向を述べた英文を読んだ上で、各自がエイプリルフールに関して考えていることを英語でまとめ、意見交換を行う。
単位数: 1単位			
その他属性:			
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】	5	Unit 14 Summer-Vacation Assignments	「夏休みの宿題」について考える。日本の小中学校における夏休みの宿題に関する英文を読んだ上で、各自が自身の体験を踏まえ、その功罪を客観的に分析し、英語での意見交換を行う。
English1,2での学びを踏まえ、4技能(英語を読み、聞き、書き、話す力)の向上を目的とする。現代社会における若者文化や科学技術などを取り上げ、英語で読み・聞くことで背景知識をインプットし、各命題を批判的に分析しながら、自らの意見を英語でまとめ発信する練習を行う。この授業では特に、現代社会に存在する様々な事柄を身近な問題として捉え直し、他学生と意見交換を繰り返すことで、英語コミュニケーション能力の向上を目指す。	6	Unit 15 Halloween Is Best!	日本で楽しんでいる「外国のお祭り」について考える。特に昨今、広く浸透し、時に問題点も指摘されているハロウィーンを取り上げ、各自の意見を理論的にまとめ、意見交換を行う。
【到達目標】	7	Unit 16 Valentine's Day in Japan	「日本のバレンタインデー」について考える。海外との習慣の違いなどを踏まえた英文を読んだ上で、日本独自に発展したバレンタインデーを英語で説明できるよう練習を行う。最後には、各自のバレンタインデーに対する見解を英語で述べ合う。
講義の到達目標は、以下である。	8	Unit 17 Smartphone Lock Screens	「スマートフォンのロック」及び「ロック解除方法」について考える。日常で行っている行為を英語で表現するために必要な語彙を増やし、個人情報を守るために必要だと考えていることを英語で伝える練習を行う。
・各トピックでよく使用される語彙や表現を活用できるようになる。	9	Unit 18 YouTube vs. Normal TV	「テレビ番組」と「YouTube」について考える。2つのメディアを比較した英文を読んだ上で、各自がそれぞれのメディアに対して感じていることを述べ合い、それぞれのメディアをどのように利用しているのか情報交換を行う。
・ある程度の速さで話される英語を正確に聞き取れるようになる。	10	Unit 19 Internet vs. Bricks-and-Mortar	「買い物」について考える。特にオンラインショップと実店舗を比較した英文を読んだ上で、各自が買い物をするときに重視していることや注意していることなど、身近な内容をわかりやすく英語で説明する練習を行う。
・英語の語順で英文読解を行い、情報を整理できるようになる。	11	Unit 20 Translation Software	「翻訳ソフト」について考える。英語の宿題に翻訳ソフトを使用すべきか否かを取り上げた英文を読んだ上で、各自が立場を明らかにした上で、賛成または反対の意見を客観的に述べ、議論を行う。
・特定のテーマについて相応しい語彙を選び、文法的に正しい文を作ることができるようになる。	12	プレゼンテーション 1	各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する1回目。全学生がリスナーとして、フォームを利用してコメントする。
・英語のリズムやイントネーションを意識したプレゼンテーションができるようになる。			
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】			
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1			
【授業の進め方と方法】			
各Unitを1回の講義で行う。そのため、各学生による事前学習を前提に講義を進める。前半では、語彙や表現を含めた英文読解の理解度チェックとリスニング演習を行う。後半では、日本語でまとめたトピックに関する意見を英語で伝える英作文練習に取り組む。最後にペアまたはグループで英語による意見交換など、スピーキング練習を実施する。リスニング練習や、日本語で伝えたいことを英語にする活動などにおいて、講師は実践的且つ具体的なフィードバックを行い、各学生のスキルアップに取り組む。学期中にクラス全体に対して意見を発表するプレゼンテーションを全学生が行う機会を設ける。演習形式で進めるため、学生の積極的な参加を期待する。大学の行動方針レベルが2となった場合、この授業は原則としてオンデマンド授業で行う。詳細は学習支援システムで伝達する。			
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】			
あり / Yes			
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】			
なし / No			
【授業計画】 授業形態: 対面/face to face			
回 テーマ 内容			
1 秋学期スタートにあたって			
			夏休みにあったことを英語で話す 秋学期の講義進め方確認 次講義の事前学習範囲の確認
2 Unit 11 More Foreign Visitors			インバウンドについて考える。日本を訪れる外国人観光客に関する英文を読んだ上で、東京オリンピックも踏まえ、各学生が感じていることを英語でまとめ、意見交換する。

- | | | |
|----|----------------|--|
| 13 | プレゼンテーション
2 | 各学生が今までに講義で扱ったトピックから1つを選び、クラス全体に発表する2回目。 |
| 14 | 小テストとまとめ | 秋学期に扱った語彙などを中心とする小テストを実施。学びを総括する。 |

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。University guidelines suggest preparation and review are around 4

hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

準備学習を前提に進めるため、学生は必ずシラバスに指定されたUnitを事前に読み、問題を解き、英文を作った上で授業に参加すること。

Listening Dictation問題は講義内で行うので予習不要。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とするが、それ以上必要な場合が多いと考えられるため、あくまでも「標準」とする。

準備学習を行ってきたか否かは、授業内で確認し平常点として評価の対象とする。

準備学習に変更が出た場合には、その都度クラス内で指示する。

【テキスト（教科書）】

英語で考え、英語で発信する 2 Two Sides to Every Discussion
2

Jonathan Lynch / 委文 光太郎 著

成美堂 2020年 1,900円（税込2,090円）

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

平常点40% 発表40% 小テスト20% 遅刻は厳禁。授業開始時刻から30分を過ぎた場合は欠席扱い。公欠を除き、4回以上欠席した場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英語コミュニケーション能力向上には、シンプルに考えること、教室内で積極的に英語を使うこと、間違えを恐れないことが、大切です。クラス内の様々な学生と英語で話す機会を楽しんでください。

【Outline (in English)】

This is a course designed to help students communicate effectively in public settings. The course focuses on the development of oral skills that prepare nonnative speakers of English to present ideas by giving speeches, while interacting with other students, leading group discussions, and improving through self and peer evaluation. Additionally, writing skills will be practiced with a short essay. Students are required to work outside class on assignments (reading, writing, vocabulary and short reports, etc.) given regularly in class. They are expected to spend more than one hour per week on preparation and review for each class. Grades will be based on the following criteria: participation and performance in classroom activities (40%), final presentation (40%) and short reports (20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 1: What's for Lunch? In Japanese Schools	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 1: What's for Lunch? In Japanese Schools	読解及び問題演習
第4回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 2: BYOB: California Bans Single-Use Plastic Bags	読解及び問題演習

第6回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 3: How a Dog Can Improve Your Health	読解及び問題演習
第8回	Unit 4: The Shoes That Grows	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 4: The Shoes That Grows	読解及び問題演習
第10回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 5: Cat Library Offers Purrfect Solution to Stress	読解及び問題演習
第12回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 6: The Evolution of Comic Books in the Digital Age	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 3 (CBS ニュースブレイク 3)
熊井信弘他著 成美堂 2017年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト (50%)、英作文 (15%)、発表 (15%)、小テスト (20%) から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦労している受講生の方が少なくないのに気づかされます。普段からストリーミング映像の配信を利用して、授業で扱ったニュースの聞き取りをするよう促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English 3 II

2017年度以降入学者

サブタイトル：アメリカ社会

本間 章郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ニュースを通して、アメリカ社会について学びます。

English 3では、English 1とEnglish 2に引き続いて、読む、書く、聞く、話すという英語の4技能の運用能力を、課題を通して深めることを目的とします。特に、まとまった量の英文の内容を的確に理解し、書く、あるいは話すという形で自分の考えをわかりやすく表現してもらえればと思います。同時に、ニュース英語を題材にした英語の4技能の練習を通して、アメリカに対して理解を深めていきます。

【到達目標】

授業の到達目標としては、英語の4技能の運用能力の向上を目指して次の4つの目標を意識してもらいたいと思います。

- (1) ある程度の分量の英文を読んで、内容を適切に理解する。
- (2) 英文を聞いて、内容を理解し、重要な単語を聞き取る。
- (3) わかりやすく自分の考えをまとめた英文を書く。
- (4) 自分の考えを相手にわかりやすく英語で伝える。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って授業を進めていきます。基本的に教科書の練習問題を通して、内容理解、及びリスニングの練習をおこないます。教科書に関連したテーマを設定し、発表をおこない、英作文を提出してもらいます。提出した英作文は、内容を確認の上、適宜、返却します。また、数回、小テストをおこないます。小テストはリスニング、あるいは語彙の理解などを問う問題になります。授業の進捗と受講者の教科書の内容への理解に応じて、授業の中で教科書以外のニュース英語を取り上げます。また、小テスト等は、適宜、受講者に返却します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の説明	授業の目標と進め方の説明
第2回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	リスニング及び内容理解
第3回	Unit 7: Can Drinking Soda Make You Age Faster?	読解及び問題演習
第4回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	リスニング及び内容理解
第5回	Unit 8: What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search	読解及び問題演習

第6回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	リスニング及び内容理解
第7回	Unit 9: Is Sitting the New Smoking?	読解及び問題演習
第8回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	リスニング及び内容理解
第9回	Unit 10: Matcha Madness Sparks New Tea Craze	読解及び問題演習
第10回	Unit 11: Daddy Duty	リスニング及び内容理解
第11回	Unit 11: Daddy Duty	読解及び問題演習
第12回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	リスニング及び内容理解
第13回	Unit 12: One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again	読解及び問題演習
第14回	試験・まとめと解説	授業の内容の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の終わりに、次の授業で前もってやっておいてほしい内容を指示します。スマートフォンなどで映像が見れるので、該当する箇所の英文の内容を聞いて、教科書を読み、問題演習などを自宅で済ませて授業に臨んでください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

CBS NewsBreak 3 (CBS ニュースブレイク 3)
熊井信弘他著 成美堂 2017年 2400円

【参考書】

参考書は特にありません。

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト（50%）、英作文（15%）、発表（15%）、小テスト（20%）から成績を評価します。主に到達目標の(1)と(2)を毎回の授業と小テスト、および学期末テストから、(3)を英作文から、(4)を発表から判断します。

なお、各学期の欠席が4回以上になった場合は、原則として単位修得を認めないので注意してください。

オンライン授業の場合も、授業の始めに点呼によって出席を確認します。但し、授業中、問題を当てて名前を呼んでも何の応答もない場合、あるいは課題などの提出がない場合は欠席1回となります。

【学生の意見等からの気づき】

授業では英語の聞き取りに時間を掛けて進めていますが、学期末試験では聞き取りに苦勞している受講生の方が少なくないのに気づかれます。普段からストーリーミング映像の配信を利用して、授業で扱ったニュースの聞き取りをするよう促したいと思います。

【Outline (in English)】

(Course outline)

In this course, students will be introduced to various social and cultural issues of contemporary America through CBS news. The topics ranges from business trends to lifestyle issues, which help students understand American society better. I know many students are interested in some aspects of America such as Walt Disney World in Florida or American Major League Baseball. But CBS news can help students realize various aspects of American society. Through various topics of news reports, student will find common issues such as ecology, gender equality or health and know how American people feel about them. I hope students can compare it with Japanese society and have a deeper understanding of it. And watching the news reports, students can improve their listening. The news videos are useful to get the gist of them. Then by reading the news reports of the textbook, students can grasp the details of them and broaden their vocabularies. On topics related with the news reports, students will make a short speech or express their own opinions in writing. I hope students can improve English skills and get a better sense of American society.

(Learning Objectives)

The goals of this course are to comprehend news in English properly, express your own opinion and improve English writing & listening.

(Learning activities outside of classroom)

Before each class meeting, students will be expected to have reviewed and read the relevant unit(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

(Grading Criteria /Policies)

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, writing : 15%, speaking: 15%. quizzes: 20%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

竹内 晶子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、文法・語彙・構文をしっかりおさえながら、アメリカのみならず世界各地で読まれている **The New York Times** の実際の記事を読んでいます。「日本人学生向けに易しく書き直された英語文章」ではない本当の「生の英語」に慣れ親しむばかりでなく、整形、結婚、宗教など、現代社会の様々な問題への理解も深めていきます。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに慣れ、記事概要を容易に把握できるようにになる。
- ・構文把握に慣れ、複雑な内容の長文を的確に理解できるようにになる。
- ・現代社会の様々な問題をめぐる議論を英語で理解し、またその問題に関する自分の意見を英語で発信できるようにになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を和訳してノートに書く→学習支援システム上の予習テストに回答する→授業に出席する→学習支援システム上の復習テストに回答する、という流れで毎週の学習を行います。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	Unit 4 (1) Older Women, Too,	reading
3	Unit 4 (2) Older Women, Too,	reading and listening
4	Unit 5 (1) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading
5	Unit 5 (2) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and listening
6	Unit 5 (3) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and critical thinking exercise
7	Unit 7 (1) Culture or Chromosomes?	reading
8	Unit 7 (2) Culture or Chromosomes?	reading and listening

9	Unit 8 (1) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading
10	Unit 8 (2) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading and listening
11	Unit 10 (1) Holiday Wars: Merry Whatever	reading
12	Unit 10 (2) Holiday Wars: Merry Whatever	reading and listening
13	Choose your favorite New York Times Article!	reading and presentation
14	まとめ	final exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書の指定テキスト全訳をノートに書き、予習テストに期限内に回答することが必須の予習です。あてられたその場で辞書をひいたり訳を作ったりしている際は、予習をしてこなかったとみなします。授業後は復習テストに期限内に回答すること。大学設置基準に鑑みて、準備・復習時間は毎週一時間以上が標準となります。

【テキスト (教科書)】

喜多留女・細川祐子『World Graffiti ニューヨークタイムズで世界を知る』英宝社、2006年。

【参考書】

『リーダーズ・リーダーズプラス英和辞典』研究社。

【成績評価の方法と基準】

予習テスト：20%

復習テスト：20%

授業内活動への参加：30%

期末テスト:30%

【学生の意見等からの気づき】

文化的背景を丁寧に説明します。

【学生が準備すべき機器他】

予習テスト・復習テストには学習支援システムを用います。

【その他の重要事項】

原則として、四回以上の欠席をした場合、単位修得の権利を失います。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

In this course, students will read various articles from The New York Times, on such controversial social issues as immigrants, plastic surgery, marriage, and religion.

【Learning Objectives】

Students will learn different views on several pressing issues in the contemporary American society, and will also learn to read English newspaper articles with more ease.

【Learning Activities outside of Classroom】

Students are required to read the assigned articles before each class with the use of dictionaries. Almost every week, there are small tests to check the students' preparation as well as their comprehension of the previous class.

【Grading Criteria/Policy】

Students who miss more than 3 classes won't get a credit.

weekly preparatory exam : 20%

weekly review exam : 20%

active class participation : 30%

final exam:30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

竹内 晶子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、文法・語彙・構文をしっかりとおさえながら、アメリカのみならず世界各地で読まれている **The New York Times** の実際の記事を読んでいます。「日本人学生向けに易しく書き直された英語文章」ではない本当の「生の英語」に慣れ親しむばかりでなく、整形、結婚、宗教など、現代社会の様々な問題への理解も深めていきます。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに慣れ、記事概要を容易に把握できるようにになる。
- ・構文把握に慣れ、複雑な内容の長文を的確に理解できるようにになる。
- ・現代社会の様々な問題をめぐる議論を英語で理解し、またその問題に関する自分の意見を英語で発信できるようにになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を和訳してノートに書く → 学習支援システム上の予習テストに回答する → 授業に出席する → 学習支援システム上の復習テストに回答する、という流れで毎週の学習を行います。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	Unit 4 (1) Older Women, Too,	reading
3	Unit 4 (2) Older Women, Too,	reading and listening
4	Unit 5 (1) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading
5	Unit 5 (2) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and listening
6	Unit 5 (3) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and critical thinking exercise
7	Unit 7 (1) Culture or Chromosomes?	reading
8	Unit 7 (2) Culture or Chromosomes?	reading and listening

9	Unit 8 (1) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading
10	Unit 8 (2) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading and listening
11	Unit 10 (1) Holiday Wars: Merry Whatever	reading
12	Unit 10 (2) Holiday Wars: Merry Whatever	reading and listening
13	Choose your favorite New York Times Article!	reading and presentation
14	まとめ	final exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書の指定テキスト全訳をノートに書き、予習テストに期限内に回答することが必須の予習です。あてられたその場で辞書をひいたり訳を作ったりしている際は、予習をしてこなかったとみなします。授業後は復習テストに期限内に回答すること。大学設置基準に鑑みて、準備・復習時間は毎週一時間以上が標準となります。

【テキスト (教科書)】

喜多留女・細川祐子『World Graffiti ニューヨークタイムズで世界を知る』英宝社、2006年。

【参考書】

『リーダーズ・リーダーズプラス英和辞典』研究社。

【成績評価の方法と基準】

予習テスト：20%
復習テスト：20%
授業内活動への参加：30%
期末テスト:30%

【学生の意見等からの気づき】

文化的背景を丁寧に説明します。

【学生が準備すべき機器他】

予習テスト・復習テストには学習支援システムを用います。

【その他の重要事項】

原則として、四回以上の欠席をした場合、単位修得の権利を失います。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

In this course, students will read various articles from The New York Times, on such controversial social issues as immigrants, plastic surgery, marriage, and religion.

【Learning Objectives】

Students will learn different views on several pressing issues in the contemporary American society, and will also learn to read English newspaper articles with more ease.

【Learning Activities outside of Classroom】

Students are required to read the assigned articles before each class with the use of dictionaries. Almost every week, there are small tests to check the students' preparation as well as their comprehension of the previous class.

【Grading Criteria/Policy】

Students who miss more than 3 classes won't get a credit.

weekly preparatory exam : 20%
weekly review exam : 20%
active class participation : 30%
final exam:30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

中和 彩子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

異文化コミュニケーションに関わるさまざまな知識や考え方を学びながら、SAに必要な英語力、とくに「読む力」をつける。

【到達目標】

1. 英文を、一語ごとに立ち止まることなく、意味のかたまり(句や節)を意識しながら一定の速度で読むことができる。(フレーズ・リーディングの習得。)
2. パラグラフの構造・構成を意識して長文を正確に読み、内容を的確につかむことができる。(パラグラフ・リーディングの習得。)
3. 読んで理解できる英文を、聴解できる。
4. 読んで理解できた英文を、日本語・英語の両方で要約できる。
5. 異文化コミュニケーションへの理解を深めることを通じて、SA先でコミュニケーションを円滑に行うための心構えができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書本文の内容の理解を深め、本文に出てきた英語表現を身につけることを目的として、本文・練習問題に関するグループワークや質疑応答を行う。

各授業の最後に、理解を確認する小テストを実施し、翌週フィードバックを行う。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション/ Unit 1	授業について。SAに向けての英語・各国文化事情などの勉強について。『英語リスニング・ハンドブック』などを利用しての日常的な自習について。/ Intercultural Communication in Today's World
2	Unit 2	English for Intercultural Communication
3	Unit 3	Important Features of Human Communication
4	Unit 4	The Concept of Culture
5	Unit 5	Language and Thought
6	Unit 6/Unit 7	Communication Styles/ Human Psychology and Communication
7	復習・復習試験(1)	前半：これまでの復習、補足。後半：復習試験(Unit 2~5)。
8	Unit 8	Speech Acts across Cultures
9	Unit 9	Stereotypes and Intercultural Communication
10	Unit 10	Cultural Accommodation in Intercultural Communication
11	Unit 11	Intercultural Communication in Higher Education
12	Unit 12	Study Abroad and Intercultural Adaptation

- 13 復習・復習試験(2) 前半：復習、補足。後半：復習試験(Unit 8~12)
- 14 Unit 13、補足
前半：Intercultural Competence for the Future / 後半：SAに向けての補足

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

- 準備学習は必須である。最低限、
- (1)本文を読み、不明点を洗い出す
 - (2)本文の音声(教科書に付属のCD)を用いて、聴解・朗読ができるようにする
 - (3)練習問題を解くことが必要。

付属のCDのナレーションは、アメリカ(Unit 1,5,9,13)、イギリス(Unit 2,6,10)、カナダ(Unit 3, 7, 11)、オーストラリア(Unit 4, 8, 12)の4か国のネイティブスピーカーが担当している。予習の際に活用し、各SA先で使われる英語の違いに親しんだり、自分のSA先の英語に耳を慣らしたりしてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト(教科書)】

Troy McConachy、古家聡、櫻井千佳子共著、『Intercultural Communication for English Language Learners in Japan (英語学習者のための異文化コミュニケーション)』南雲堂。

【参考書】

大学〜一般向けの英和および英英辞書、各1点以上。

いずれも各自の好みで選んで構わないが、用例を豊富に載せているものを1点は使用すること。

毎回の授業にも持参のこと。

【成績評価の方法と基準】

平常点(小テスト計20%、レポート5%)25%、および復習試験2回計75%の総合評価。

4回以上欠席の場合、単位を与えない。

遅刻や授業態度の不良については、頻度や程度に応じて、総合点から減点する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

・ペア/グループワークを効果的に取り入れ、学生同士で学び合えるようにすることが重要である。

【学生が準備すべき機器他】

・毎回、端末デバイス(PC,タブレット等)とイヤホンを持参してください。授業内で実施する小テスト、リスニング等に使用します。
・「オンライン実施」の授業は、Zoomを利用します。大学の教室で受講する際は、ハウリング防止のためヘッドセットを持参してください。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of English 7 is to further develop students' reading ability in preparation for their SA programs in English-speaking countries. Students will also be introduced to various academic approaches to intercultural communication, thereby conceiving their own ideas about how to communicate with people from different cultures.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to acquire the skills and attitudes mentioned above, mainly through practicing phrase reading, paragraph reading, summarizing and commenting on the reading passage of each unit.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to prepare for each class meeting by reading the passage and working on the accompanying exercises.

Grading Policies: Grading will be decided based on short review tests (20%), a short report (5%), and the mid-term and end-term exams (75%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

鹿子嶋 由佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、日常生活や現代社会の様々なトピックについての英文を素早く正確に読む力を養います。授業内でのリーディングの練習の他に、SA英語圏留学の際に生かせるように、情報収集と意見を述べることに必要な語彙力の向上を目指します。

【到達目標】

1. テキスト内の英文を素早く正確に読解することが出来るようになる。
2. 既習事項を踏まえ、テキスト以外の様々なトピックについての英文を可能な限り速く読み、内容を正確に把握出来るようになる。
3. テキスト内の語彙や表現を理解し、情報収集や表現をする際に使えるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では1回につき1つのChapterを進めていきます。1つのChapterは、「Pre-reading Preparation」「Vocabulary」「Reading Analysis」「Information Organization」「Short Summary」「Critical Thinking」で構成されています。流れとして、まずは予習範囲である「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の確認を行います。次に、Appendix 1にある「Full Passage」を読み、その後、「Reading Analysis」に沿って段落ごとに理解を深めます。授業後は、授業で学習したことの確認とリーディングスキルの向上のための復習をしてください。授業中には、素早く正確に読解できるようになることを目指しますので、リーディングにかかった時間を記録していきます。学期中には学習進捗状況を確認するために、小テストを行います。また、リスニング・ハンドブックで紹介されているサイトを使った課題を出します。各課題のフィードバックは、授業中に各受講生または全体に向けて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の理解、アクティビティー
2	Chapter 1: The Birth-Order Myth	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
3	Chapter 2: My Husband, the Outsider	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
4	Chapter 3: Hop, Skip ... and Software?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
5	Chapter 4: Highs and Lows in Self-Esteem	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
6	Chapter 5: Who Lives Longer?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。

7	Chapter 6: Are Gifted Children Born or Made?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。小テストで学習進捗度を把握する。
8	Chapter 7: Students Dig into Sustainable Farming at Vermont College	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
9	Chapter 8: Wilder Places for Wild Things	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
10	Chapter 9: Antarctica: Whose Continent Is It Anyway?	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
11	Chapter 10: Matters of Life and Death	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
12	Chapter 11: Switched at Birth: Women Learn the Truth 56 Years Later	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。小テストで学習進捗度を把握する。
13	Chapter 12: Saving Her Sister's Life	予習の確認と読解を行う。語彙、文法、そして読解の際のポイントを学習する。
14	まとめ・期末テスト	リーディングや語彙に関するテストを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。受講生は、予習として授業前に「Pre-reading Preparation」と「Vocabulary」の解答を行います。授業後には、既習Chapterの語彙、文法、読み方のポイントを復習し、音読も行いましょう。

【テキスト (教科書)】

テキスト名：Reading Dynamics - Skills for Academic Success
 編著者：山科美和子/横山三鶴/沖野泰子
 出版社：Cengage Learning
 出版年：2016年
 価格：2200円+税
 ISBN: 9784863122871

【参考書】

特になし

【成績評価の方法と基準】

1. 平常点30% (授業中の活動・小テスト)
2. 課題20% (リーディング、「リスニング・ハンドブック」)
3. 期末試験50%
 - ・欠席回数が4回以上の場合は、原則として単位取得資格を失います。
 - ・3回の遅刻 (授業開始時刻から10分を超える場合) で1回の欠席とします。
 - ・遅刻や欠席に関して、証明できるもの (交通機関の遅延証明書等) がある場合は必ず担当者に渡してください。
 - ・授業に関係のない私語、携帯電話の使用、居眠り、教科書・辞書の不携帯は減点対象となります。

【学生の意見等からの気づき】

受講生の学習状況をみながら、基礎的な事項から応用的な事項まで確認していきます。

【学生が準備すべき機器他】

- ・授業に関する連絡は授業支援システムを使用します。
- ・テキストの音声はダウンロード形式 (無料) です。テキストの7ページに案内がありますので、テキスト購入後にダウンロードをしてください。
- ・「リスニング・ハンドブック」をいつでも参照できるようにしておきましょう。

【その他の重要事項】

授業に関する質問がある場合、授業前後に教室にて受け付けます。メールで質問する場合は、授業支援システムにて、この授業の「お知らせ」を参照してください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The aim of this course is to help students acquire skills for reading accurately and fluently based on several daily and modern social topics in English. It also enhances students' vocabulary knowledge needed to gather information and express their ideas. It will help students prepare for assignments when studying abroad.

< Learning Objectives >

1. Students will be able to read passages quickly and accurately in the textbook.
2. Based on what students learned, they will be able to read and understand passages on several topics at an advanced level outside of the textbook.
3. Students will be able to understand all the vocabulary and expressions in the textbook, and use them when they gather information or express their ideas.

< Learning activities outside of classroom >

In this course, students should prepare for class and review what they have learned in one hour. Before class, students have to answer "Pre-reading Preparation" and "Vocabulary" in the textbook. After class, students have to review the vocabulary, grammar, and reading tips they learned, and practice reading the passage they read in the classroom out loud.

< Grading Criteria/Policy >

1. Class activities (small tests and writing assignments) 30%
 2. Assignments (Reading and "Listening Handbook") 20%
 3. Final test 50%
- Students will fail the course if they are absent four times or more during the entire unit.
 - If a student is late three times, it is counted as one absence.
 - Students should show proof of their delay and absence.
 - Students who talk in class, use a phone, doze/sleep, or come to class without the textbook will get a black mark.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

衣笠 正晃

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英語圏SA留学での授業履修に求められるレベルの英語力を「読む力」を中心に身につけることを目的として、現代社会の諸問題を取り上げた英文エッセイ (論説文) を読み進めます。

【到達目標】

- まとまった量の英文を限られた時間のなかで読み、構成を踏まえつつ内容情報を正確に整理・把握する力を身につける。
- 多様な話題についての英文を通じて、英語圏をはじめとする世界の情勢を理解するとともに、日本について語るために必要な知識や視点を身につける。
- 情報収集や意見表明、さらに議論のために必要な、大学生にふさわしいレベルの英語語彙・表現を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では、英文を逐語的に日本語に置き換えるのではなく、英語のままでその論旨・内容を把握することに重点を置きます。毎回の授業の主な構成は以下の通りです。

- 前回の復習とその回の予習の確認 (小テスト/口頭)。
- テキストの параグラフごとの内容、重要表現の確認 (担当者はアトラダムに指名します)。
- 授業内容の理解の確認・練習問題 (小テスト/口頭)、書き取り。
- 授業内容についての討議、リアクションシートへの (感想・質問の) 記入。

なお必要に応じてテキストを補完するためのプリントを配付・使用することがあります。またリアクションシートのコメント・質問には授業や学習支援システムでフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業計画の説明+ Who's the Fairest of Them All? (Chapter 1)前半の講読
2	美意識の多様性	Who's the Fairest of Them All? (Chapter 1)後半の講読
3	スポーツにおける倫理	It's All a Part of the Game (Chapter 3)の講読
4	コミュニケーションの多様性	Go Whistle! (Chapter 5)の講読
5	ソーシャルメディアと自己満足	Creator or Created? (Chapter 7)の講読
6	移植医療の問題点	The Man With a Pig's Heart (Chapter 8)の講読
7	中間試験+環境破壊	筆記による試験+ Bad Air (Chapter 10)の講読
8	マーケティングと広告	Marketing Mistakes (Chapter 11)の講読
9	貧困対策とその課題	The High Price of Poverty (Chapter 13)の講読
10	教育における費用対効果	The Cost of Learning (Chapter 15)の講読
11	対外援助の効果	Help or Hindrance (Chapter 16)の講読
12	相反する権利の主張	It's My Right (Chapter 18)の講読

- | | | |
|----|------------|--|
| 13 | ソフトパワーとは何か | Anime, Disney, Democracy (Chapter 20)の講読 |
| 14 | 学期末試験とまとめ | 筆記による試験+学期授業内容の振り返り |

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各回とも次のとおり。

- 指定された箇所の子習。まずトピック・語彙問題を解き、Readingの文章全体を時間を測って読み、大意を把握する。つぎに内容確認問題を解く。再度テキストを読み、理解できなかった語句・表現を調べ、要約問題に答える。最後にもう一度確認のため通読する。(大意把握、細部確認、再確認と、都合最低3回はテキストを読む)。また内容理解に必要な情報を自主的に収集する。
- 発音・イントネーションの確認。テキストの音声ファイルを利用して音読練習をおこない、語句のアクセントを確認する。またニュースサイト等を利用したリスニング練習をおこなう。
- 授業を終えた個所の復習。テキストを再度読み、内容と理解度を確認する。
- パラグラフライティングなどを含む課題については、期日までに作成・提出する。
なお本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Anthony Sellickほか (著)、Grand Tour-New Discoveries (新たな時代への冒険) (成美堂、2024年) 本体2,000円
※このほか必要に応じてプリントを配付・使用します。

【参考書】

参考書・辞書については、随時授業中に紹介します。英英辞典が必要となります。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業参加度、課題、小テストなどによる。50%)、試験 (中間および期末。50%) をあわせて評価します。評価にあたっては下記の各点に注目します。

- 英文をスピーディーに読むなかで、その構造・論旨を正確に把握できているか。
 - 現代の国際社会における諸問題とその背景についての知識・関心を深めているか。
 - 情報収集や意見表明、議論に欠かせない、一定レベルの語彙が習得できているか。
- 欠席が学期中4回以上となった場合は原則として単位修得の資格を失います。なお遅刻3回を欠席1回としてカウントします。

【学生の意見等からの気づき】

履修者が自主的に課題に取り組めるよう、予習についての指導や、質問を受けての問題共有や解説を一層充実させたい。

【学生が準備すべき機器他】

資料の配付や提出物の回収、授業に関する連絡など、学期を通じて学習支援システムを利用します。

【その他の重要事項】

- 初回授業までに教科書を購入し、持参してください。
- 出席者の状況に合わせて、進度や読む文章の順序を変えたり、文章を差し替えたりすることがあります。
- 初回授業で授業履修にあたって守るべき事柄を説明しますので、かならず遵守してください。

【Outline (in English)】

This course is intended to provide students with the minimal academic English (especially reading) skills needed during their study abroad, through reading essays on various trends shaping the modern world. The goals are to attain a high-intermediate to high level of reading comprehension, to obtain basic knowledge on global social issues, and to acquire university-level vocabulary. Students are expected to come to each class meeting well prepared by completing the required assignments; the required study time is at least one hour per class. The overall grade will be decided based on class participation (50%) and regular examinations (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

宇治谷 義英

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

最新の英米の新聞記事・論説から、英語圏で起きていること、そして英語圏から見た日本を含むアジアを読み解く。

【到達目標】

(1)ただ事実を報じた記事ではなく、論説などの英文を正確に読み、筆者の意見を把握すること、(2)それに対して自分で論評を加えられるようになること、(3)英語圏のメディアがアジアをどのように見ているかを知っておくこと。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

担当教員の選んだニュース記事の精読、学生による特定のトピックについての発表、英語作文、ニュース英語のリスニング練習という内容で進めていきます。

(フィードバック方法について)リアクションペーパーに書かれた質問は全て次回の授業で取り上げて回答、コメントはクラス全体で共有します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロ	ウォームアップを含めて授業の内容説明、ニュース英語のリスニング。
2	"The Guardian view on lifting lockdown: we need cohesion, not division" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
3	"Brewers furious at 'nanny state' plan to put calorie count on beer in pubs" (<i>The Times</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
4	"The Guardian view on football's failed super league: hit back hard" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
5	学生によるプレゼン	プレゼン、英語ニュースのリスニング。

6	"Church to consider removing or altering slavery monuments" (<i>The Observer</i>) (1) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
7	これまでの確認、議論	議論と確認テスト
8	"The Guardian view on declining birthrates: there may be trouble ahead" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
9	学生によるプレゼン	プレゼン、英語ニュースのリスニング。
10	"The Guardian view on inflation: the revival that's nothing like the 1970s" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
11	"The Guardian view on the super-rich: a billion reasons for a wealthy tax" (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
12	"Being the Queen sure has its ups and downs..." (<i>The Guardian</i>) (記事名は過年度扱ったものを参考に挙げている)	記事の精読、ニュース英語のリスニング。
13	学生によるプレゼン	プレゼン、英語ニュースのリスニング。
14	まとめと達成度の確認	受講生とディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

講読では、辞書とネットを駆使して不明な単語、表現を下調べして準備しておくこと。発表は、資料の準備、そして必ずリハーサルをしておくこと。課題作文では与えられたトピックについて英語でまとめて提出します。毎回課題提出が必須です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

使用する記事は新しいものをその都度指示します。

【参考書】

『リーダーズ英和辞典』(東京：研究社、1999)、および専門用語についてはネットでの検索が役に立ちます。

【成績評価の方法と基準】

課題を含む平常点(20%)と試験(80%)から総合的に評価します。あらかじめ割り当てられた発表の準備を怠った場合、正当な理由なく発表日に欠席するなどした場合は不合格となります。病気などのやむを得ない事情を除いて、原則として全授業出席及び課題提出する必要があります。

病欠も含めた欠席回数が4回を数えた時点で単位取得の資格を失います。未予習での出席は欠席扱いとし、授業中に雑談など受講の意志が見られない者もその場で退席を指示し、その日は欠席扱いとします。遅刻は授業開始の合図から20分以内に入室した者だけ認めますが、2回の遅刻につき1回の欠席と見なします。朝の交通機関にはしばしば遅れが出ます。電車の遅延は20分以上遅れが出た場合のみ考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

学生が英語および記事内容を身近に感じられるよう丁寧な説明を心がけます。

【Outline (in English)】

In this course, students will learn what is happening outside Japan and how Japan is regarded from the outside through the latest articles of UK or US news media.

The goal of this course is to acquire the above-mentioned knowledge and ability to discuss it.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end exam: 80%, assignments: 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 7

2017年度以降入学者

田中 邦佳

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火4/Tue.4

単位数: 1 単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

様々なテーマの英文記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容をコンパクトにまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- 一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ある程度まとまった量の英文の内容をコンパクトにして説明する
- 様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として毎回の授業で1つの記事というペースを進めることを目標とします。記事毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方と評価の方法の説明をします。
第2回	Is it in your blood?	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第3回	An unpunished crime	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第4回	Extensive reading Q & A with Julian Bamford	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第5回	Money matters	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第6回	Is netspeak harming the English language?	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第7回	試験・まとめと解説 (中間)	試験・まとめと解説
第8回	Language and the world	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第9回	Population crisis	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第10回	The greatest show on earth	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第11回	Consumer beware: advertising techniques	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。

第12回	For an effective interview	単語の意味、文法構造を意識しつつ記事の内容をまとめる。
第13回	まとめ方を考察する	記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。
第14回	試験・まとめと解説 (期末)	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト (教科書)】

・ Essential Reading Second Edition Level 3, ゴフ クリス/マカボイ ジャッキー/マイルズ スコット, マクミラン ランゲージハウス. (¥2,600円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(70%)

平常点および課題 (30%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 30%, Exam 70%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES O ESSEX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このコースでは、中級から上級のリーディングスキルの基礎をしつかりと学びます。様々な興味深い物語や記事を読みながら、流暢な読解力と理解力の向上を目指す。また、予測力と主旨の理解力も引き続き伸ばします。また、文法や語彙の新たな特徴への認識を高めるなど、言語の細部に焦点を当てることで、読解力を養います。

【到達目標】

The primary aim of this course is to prepare you for extended study abroad in a university in an English speaking country. Students will receive training and experience in critical reading skills to analyze, synthesize and evaluate articles from sources such as periodicals and newspapers. The texts will be chosen to cover issues important to many students. Students may also do extensive reading appropriate for their level. In addition to reading, students will also engage in written and spoken activities/assignments.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The professor will provide a mix of lecture-style and workshop classes. Feedback will be provided face-to-face, through Hoppii or LessonAccess.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Course Introduction and LessonAccess explanation	Illuminating the Morning Star
第2回	Unit 1	Unit 2
第3回	Unit 3	From Old English to Hashtags
第4回	Unit 4	The Theatre of Slumber
第5回	Unit 5	A New Dawn in Human History
第6回	Unit 6	Seeing is Perceiving
第7回	Mid-Term Test	Beyond an Algorithm
第8回	Unit 7	Mid-Term Tests
第9回	Unit 8	All Roads Lead to X
第10回	Unit 9	Dilemma in a Nutshell
第11回	Unit 10	Site Sight Unseen
第12回	Unit 11	Fertile Grounds, Barren Solutions
第13回	Unit 12	Phantom Frequencies
第14回	Final Test	Collections of Recollections
		Final Test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Immersive Reading - Read, Reflect, and Discover: Book 1

Michael Dyer

ISBN 978-88-7598-018-3

Only available from Amazon: <https://www.amazon.co.jp/-/en/dp/B0CSD6KJN1>**【参考書】**www.lessonaccess.com**【成績評価の方法と基準】**

Participation: 10%

Weekly unit vocabulary quizzes, textbook review quizzes, reading comprehension extension quizzes taken online in LessonAccess: 60%

Mid-Term Test: 15%

Final Test: 15%

【学生の意見等からの気づき】

From this year, the class has been overhauled following student feedback. The textbook and material are not only more appropriate, but more conducive to helping students meet the aims and goals of the class.

【学生が準備すべき機器他】

Notebook and pen for class notes

【Outline (in English)】

The course will provide a strong foundation in intermediate and advanced reading skills. The course will seek to increase students' reading fluency and comprehension while reading a variety of interesting stories and articles. The skills of prediction and the comprehension of main ideas will continue to be developed. A focus on language details will also help to develop reading skills, such as raising awareness of new features of grammar and vocabulary.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions about various topics that will be expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then prepare spoken and written responses in the target language of English.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment. As a result of studying this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the semester.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated at every class session.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Self introductions, explanation of the course and required study methods

2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives
3	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign or domestic travel
4	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of a country that interests you
5	Country Presentations	Students in groups give presentations about a foreign country
6	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
7	Writing Assignment	Students write a short essay on a topic that interests them
8	Unit 5: Beliefs and controversial phenomena	Discussion about things that people believe in strongly
9	Unit 6: Ads and Commercials	Discussions about the ways advertisements and the media affects our lives
10	Unit 7: The News	Discussion of sources of information about the world
11	Unit 8: Study Abroad	Discussion of the challenges and benefits of living overseas
12	Unit 10: Education	Discussion and debate on the importance and role of education in society
13	Final Presentations	Students give presentations on topics related to education and society
14	Course Wrap up	Feedback on the semester

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advanced learning. Students will be called upon in each class and are expected to respond actively.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and vocabulary from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and think about other students' opinions afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing information and general knowledge.

【テキスト（教科書）】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2019. ISBN: 978-4-9902962-6-1 price 2500 yen

【参考書】

Students should have a good English & Japanese dictionary (paper or digital) that they bring to every class.

【成績評価の方法と基準】

Classroom participation: 30% Group presentations: 30% Written assignments and quizzes: 40%

【学生の意見等からの気づき】

This is the first year that the instructor will teach this course.

【学生が準備すべき機器他】

Students will need access to a computer to prepare assignments and to make slides for presentations. The professor will have a computer available for students to use when they give presentations in class.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to make changes in the course syllabus when deemed necessary.

【Outline (in English)】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for overseas study in an English-speaking country in the fall semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' ability to communicate effectively in an all English-speaking academic and social environment.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.
9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.

10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト (教科書)】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on assignments and class participation (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES D SHORT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is for second year students who have strong motivation to improve their speaking and writing skills in preparation for studying abroad in an English-speaking country in the subsequent semester. Through extensive discussion and writing practice it will enhance students' abilities to function effectively in an all English-speaking academic and social environment.

【到達目標】

Building upon English language competencies acquired during the first year of study, the goal of this course is to enable students to become responsible international students who are capable of unsupervised independent learning in an all-English environment.

As a result of studying this this course students will gain enhanced abilities to:

1. Approach issues systematically in order to understand them clearly.
2. Conduct meaningful research in order to deepen understanding.
3. Produce appropriate and considered oral and written responses in English in relation to these issues.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. Instruction by the teacher will be conducted as much as possible in English.
2. Classroom activities and discussions will generally be based on readings and exercises from the course textbook. Students are expected to use English to participate in classroom discussions and group activities.
3. Special emphasis will be placed upon developing listening and note-taking skills, as well as discussion and presentation skills necessary for successful completion of the students' study abroad programs in the next semester.
4. Students will receive feedback and comments on classroom activities and written assignments directly from the teacher throughout the term.
5. Timekeeping, participation in classroom activities, and submission of written assignments are very important and will be evaluated.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Class Orientation	Explanation of the course and required study methods
2	Discussion Book Two Unit 1: Technology	Describing the ways that new technology affects our lives

3	Unit 1: Communication, education, medicine, transportation, entertainment	Presentations about technological advancements in particular areas
4	Unit 2: Travel	Describing personal experiences about foreign and domestic travel
5	Unit 2: Traveling on guided tours	Role-play debate: Guided tours vs. traveling independently
6	Unit 3: Culture	Investigating aspects of the culture of an unknown country
7	Written Assignment 1	Write a 1 page essay about aspects of the culture of an unknown country that interests you
8	Unit 4: Volunteering	Discussion about the advantages and disadvantages of volunteering
9	Unit 4: Japanese volunteerism	Presentations about the activities of a Japanese volunteer organization
10	Unit 5: Beliefs	Discussion about things that people believe in strongly
11	Unit 5: Mysterious phenomena	Presentations about a mysterious phenomenon
12	Unit 6: Ads and Commercials	Discussion about the ways that commercials affect our lives
13	Unit 7: The News	Discussion about sources of information about the world
14	Written Assignment 2	Write a 2 page essay describing a recent news event and your opinions about it

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around 1 hour a week for a one-credit course.

1. Be sure to read the class materials beforehand for advance learning. Students will be called upon in each class and are expected to be prepared.
2. Each week students should prepare for the next class by reading written materials, completing assigned homework, reviewing notes and materials from previous classes.
3. When participating in a discussion, students should summarize their thoughts beforehand and mull over other students' opinions and indications afterwards in order to deepen their thinking.
4. Students are expected to find and analyze information from various forms of English media independently as a means of increasing their vocabulary and general knowledge.

【テキスト (教科書)】

“The English Course Discussion Book Two”, Gary Ireland and Max Woolerton, Kabushikigaisha The English Company, 2019. ISBN: 978-4-9902962-6-1; price 2500 yen.

【参考書】

Students are recommended to have an electronic English-Japanese dictionary.

【成績評価の方法と基準】

Assessment will consist of classroom participation (40%), group presentations (30%), and 2 written assignments (30%).

**Class attendance is a course requirement.

Students are allowed no more than three absences in the semester.

【学生の意見等からの気づき】

In consideration of student responses in the class evaluation, more emphasis will be placed upon the preparation and creation of the first written assignment in class 7.

【その他の重要事項】

The instructor reserves the right to modify this course syllabus if necessary.

【Outline (in English)】

In order to prepare second year students for their extended period of study in an English-speaking country in the subsequent semester, this course aims to enhance students' abilities to understand and analyze a variety of materials in English and form sophisticated opinions around them which are expressed both orally and in writing. The course will be run as an ongoing, varied discussion, from time to time facilitated by the students themselves. The instructor will introduce a variety of issues and discussion topics, in relation to which students will have discussions and then produce considered oral and written responses in the target language of English.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.
9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.

10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト (教科書)】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on class participation and assignments (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.
9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.

10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト (教科書)】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghuldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on class participation and assignments (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

ROBIN F WEICHERT

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

【到達目標】

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In the course, students complete a series of tasks that guide them to effective essay writing in a step-by-step manner. Students will first work on recognizing and identifying key writing structures from model paragraphs and essays. They then manipulate the structures in short and manageable tasks, and finally apply them to their own writing. Students will work individually, with a partner and with a group. Students are expected to submit one full-length essay based on their work by the end of the term. Feedback will be given individually and to the whole class online and in the classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction.	What is "process writing"?
2	Pre-writing	Gathering and organizing ideas.
3	The structure of a paragraph.	Parts of a paragraph, topic sentences.
4	The development of a paragraph.	Paragraph support & concluding sentences, peer editing.
5	Descriptive paragraphs.	Organizing and writing descriptive paragraphs, connecting words.
6	Opinion paragraphs.	Expressing opinion and arguments, transition words.
7	Comparison/Contrast Paragraphs.	Comparing and contrasting, writing about advantages and disadvantages of a topic.
8	Problem/Solution paragraphs.	Using real conditionals, writing a two-paragraph paper.
9	The structure of an essay.	Formatting an essay, writing a thesis statement.

10	Outlining an essay.	Writing an outline.
11	Introductions and conclusions.	The purpose of an introduction/ a conclusion
12	Unity and coherence.	Editing an essay for unity.
13	Peer-editing the final essay.	Revising, rewriting, proofreading.
14	Semester review.	Essay submission.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

For this course, students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments.

【テキスト (教科書)】

Dorothy E. Zemach, Lisa A. Ghulldu. Writing Essays: From Paragraph to Essay (Student Book). Macmillan Education.

【参考書】

英文ライティング虎の巻【改訂版】

George Davidson (ed.) Roget's Thesaurus of English Words and Phrases (Penguin Reference). Penguin UK.

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on assignments and class participation (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

none in particular

【Outline (in English)】

Practice writing essays in English. Learn a process approach to writing academic texts, from single paragraphs to longer assignments.

The course provides students with essential tools and procedures for essay writing. Students learn to analyze and write the types of paragraphs that commonly occur in academic contexts. They gain an understanding of how to organize the paragraph coherently and use appropriate vocabulary, grammar, and transitional devices in the paragraph body. By acquiring a set of strategies of how to develop a thesis, organize an outline, and write effective introductions and conclusions, students will eventually become competent in writing longer essays on assigned topics and in test situations.

Students are expected to check notes and review previous exercises in the textbook, as well as complete writing assignments. University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be based on assignments and quizzes (50%), and on a final essay (50%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

竹内 晶子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、文法・語彙・構文をしっかりとおさえながら、アメリカのみならず世界各地で読まれている **The New York Times** の実際の記事を読んでいます。「日本人学生向けに易しく書き直された英語文章」ではない本当の「生の英語」に慣れ親しむばかりでなく、整形、結婚、宗教など、現代社会の様々な問題への理解も深めています。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに慣れ、記事概要を容易に把握できるようにになる。
- ・構文把握に慣れ、複雑な内容の長文を的確に理解できるようにになる。
- ・現代社会の様々な問題をめぐる議論を英語で理解し、またその問題に関する自分の意見を英語で発信できるようにになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を和訳してノートに書く→学習支援システム上の予習テストに回答する→授業に出席する→学習支援システム上の復習テストに回答する、という流れで毎週の学習を行います。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	Unit 4 (1) Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret	reading
3	Unit 4 (2) Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret	reading and listening
4	Unit 5 (1) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading
5	Unit 5 (2) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and listening
6	Unit 5 (3) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and critical thinking exercise
7	Unit 7 (1) Culture or Chromosomes?	reading
8	Unit 7 (2) Culture or Chromosomes?	reading and listening

9	Unit 8 (1) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading
10	Unit 8 (2) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading and listening
11	Unit 10 (1) Holiday Wars: Merry Whatever	reading
12	Unit 10 (2) Holiday Wars: Merry Whatever	reading and listening
13	Choose your favorite New York Times Article!	reading and presentation
14	まとめ	final exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の指定テキスト全訳をノートに書き、予習テストに期限内に回答することが必須の予習です。あてられたその場で辞書をひいたり訳を作ったりしている際は、予習をしてこなかったとみなします。授業後は復習テストに期限内に回答すること。大学設置基準に鑑みて、準備・復習時間は毎週一時間以上が標準となります。

【テキスト（教科書）】

喜多留女・細川祐子『World Graffiti ニューヨークタイムズで世界を知る』英宝社、2006年。

【参考書】

『リーダーズ・リーダーズプラス英和辞典』研究社。

【成績評価の方法と基準】

予習テスト：20%

復習テスト：20%

授業内活動への参加：30%

期末テスト:30%

【学生の意見等からの気づき】

文化的背景を丁寧に説明します。

【学生が準備すべき機器他】

予習テスト・復習テストには学習支援システムを用います。

【その他の重要事項】

原則として、四回以上の欠席をした場合、単位修得の権利を失います。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

In this course, students will read various articles from The New York Times, on such controversial social issues as immigrants, plastic surgery, marriage, and religion.

【Learning Objectives】

Students will learn different views on several pressing issues in the contemporary American society, and will also learn to read English newspaper articles with more ease.

【Learning Activities outside of Classroom】

Students are required to read the assigned articles before each class with the use of dictionaries. Almost every week, there are small tests to check the students' preparation as well as their comprehension of the previous class.

【Grading Criteria/Policy】

Students who miss more than 3 classes won't get a credit.

weekly preparatory exam : 20%

weekly review exam : 20%

active class participation : 30%

final exam:30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES O ESSEX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土3/Sat.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このコースでは、中級から上級のリーディングスキルの基礎をしつかりと学びます。様々な興味深い物語や記事を読みながら、流暢な読解力と理解力の向上を目指す。また、予測力と主旨の理解力も引き続き伸ばします。また、文法や語彙の新たな特徴への認識を高めるなど、言語の細部に焦点を当てることで、読解力を養います。

【到達目標】

The primary aim of this course is to prepare you for extended study abroad in a university in an English speaking country. Students will receive training and experience in critical reading skills to analyze, synthesize and evaluate articles from sources such as periodicals and newspapers. The texts will be chosen to cover issues important to many students. Students may also do extensive reading appropriate for their level. In addition to reading, students will also engage in written and spoken activities/assignments.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The professor will provide a mix of lecture-style and workshop classes. Feedback will be provided face-to-face, through Hoppii or LessonAccess.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Course Introduction and LessonAccess explanation	Illuminating the Morning Star
第2回	Unit 1	Unit 2
第3回	Unit 3	From Old English to Hashtags
第4回	Unit 4	The Theatre of Slumber
第5回	Unit 5	A New Dawn in Human History
第6回	Unit 6	Seeing is Perceiving
第7回	Mid-Term Test	Beyond an Algorithm
第8回	Unit 7	Mid-Term Tests
第9回	Unit 8	All Roads Lead to X
第10回	Unit 9	Dilemma in a Nutshell
第11回	Unit 10	Site Sight Unseen
第12回	Unit 11	Fertile Grounds, Barren Solutions
第13回	Unit 12	Phantom Frequencies
第14回	Final Test	Collections of Recollections
		Final Test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Immersive Reading - Read, Reflect, and Discover: Book 1

Michael Dyer

ISBN 978-88-7598-018-3

Only available from Amazon: <https://www.amazon.co.jp/-/en/dp/B0CSD6KJN1>**【参考書】**www.lessonaccess.com**【成績評価の方法と基準】**

Participation: 10%

Weekly unit vocabulary quizzes, textbook review quizzes, reading comprehension extension quizzes taken online in LessonAccess: 60%

Mid-Term Test: 15%

Final Test: 15%

【学生の意見等からの気づき】

From this year, the class has been overhauled following student feedback. The textbook and material are not only more appropriate, but more conducive to helping students meet the aims and goals of the class.

【学生が準備すべき機器他】

Notebook and pen for class notes

【Outline (in English)】

The course will provide a strong foundation in intermediate and advanced reading skills. The course will seek to increase students' reading fluency and comprehension while reading a variety of interesting stories and articles. The skills of prediction and the comprehension of main ideas will continue to be developed. A focus on language details will also help to develop reading skills, such as raising awareness of new features of grammar and vocabulary.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語7

2017年度以降入学者

竹内 晶子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、文法・語彙・構文をしっかりおさえながら、アメリカのみならず世界各地で読まれている **The New York Times** の実際の記事を読んでいます。「日本人学生向けに易しく書き直された英語文章」ではない本当の「生の英語」に慣れ親しむばかりでなく、整形、結婚、宗教など、現代社会の様々な問題への理解も深めています。

【到達目標】

- ・英語ニュース記事のスタイルに慣れ、記事概要を容易に把握できるようにになる。
- ・構文把握に慣れ、複雑な内容の長文を的確に理解できるようにになる。
- ・現代社会の様々な問題をめぐる議論を英語で理解し、またその問題に関する自分の意見を英語で発信できるようにになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を和訳してノートに書く→学習支援システム上の予習テストに回答する→授業に出席する→学習支援システム上の復習テストに回答する、という流れで毎週の学習を行います。授業内ではアトランダムに訳をあて、内容理解とともに構文把握を確認していきます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業紹介
2	Unit 4 (1) Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret	reading
3	Unit 4 (2) Older Women, Too, Struggle with a Dangerous Secret	reading and listening
4	Unit 5 (1) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading
5	Unit 5 (2) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and listening
6	Unit 5 (3) A Lovelier You, with Off-the-Shelf Parts	reading and critical thinking exercise
7	Unit 7 (1) Culture or Chromosomes?	reading
8	Unit 7 (2) Culture or Chromosomes?	reading and listening

9	Unit 8 (1) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading
10	Unit 8 (2) For Better or Worse: Marriage's Stormy Future	reading and listening
11	Unit 10 (1) Holiday Wars: Merry Whatever	reading
12	Unit 10 (2) Holiday Wars: Merry Whatever	reading and listening
13	Choose your favorite New York Times Article!	reading and presentation
14	まとめ	final exam

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書の指定テキスト全訳をノートに書き、予習テストに期限内に回答することが必須の予習です。あてられたその場で辞書をひいたり訳を作ったりしている際は、予習をしてこなかったとみなします。授業後は復習テストに期限内に回答すること。大学設置基準に鑑みて、準備・復習時間は毎週一時間以上が標準となります。

【テキスト（教科書）】

喜多留女・細川祐子『World Graffiti ニューヨークタイムズで世界を知る』英宝社、2006年。

【参考書】

『リーダーズ・リーダーズプラス英和辞典』研究社。

【成績評価の方法と基準】

予習テスト：20%

復習テスト：20%

授業内活動への参加：30%

期末テスト:30%

【学生の意見等からの気づき】

文化的背景を丁寧に説明します。

【学生が準備すべき機器他】

予習テスト・復習テストには学習支援システムを用います。

【その他の重要事項】

原則として、四回以上の欠席をした場合、単位修得の権利を失います。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

In this course, students will read various articles from The New York Times, on such controversial social issues as immigrants, plastic surgery, marriage, and religion.

【Learning Objectives】

Students will learn different views on several pressing issues in the contemporary American society, and will also learn to read English newspaper articles with more ease.

【Learning Activities outside of Classroom】

Students are required to read the assigned articles before each class with the use of dictionaries. Almost every week, there are small tests to check the students' preparation as well as their comprehension of the previous class.

【Grading Criteria/Policy】

Students who miss more than 3 classes won't get a credit.

weekly preparatory exam : 20%

weekly review exam : 20%

active class participation : 30%

final exam:30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語 8

2017年度以降入学者

JAMES O ESSEX

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土4/Sat.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

このコースでは、中級から上級のリーディングスキルの基礎をしつかりと学びます。様々な興味深い物語や記事を読みながら、流暢な読解力と理解力の向上を目指す。また、予測力と主旨の理解力も引き続き伸ばします。また、文法や語彙の新たな特徴への認識を高めるなど、言語の細部に焦点を当てることで、読解力を養います。

【到達目標】

The primary aim of this course is to prepare you for extended study abroad in a university in an English speaking country. Students will receive training and experience in critical reading skills to analyze, synthesize and evaluate articles from sources such as periodicals and newspapers. The texts will be chosen to cover issues important to many students. Students may also do extensive reading appropriate for their level. In addition to reading, students will also engage in written and spoken activities/assignments.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The professor will provide a mix of lecture-style and workshop classes. Feedback will be provided face-to-face, through Hoppii or LessonAccess.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Course Introduction and LessonAccess explanation	Illuminating the Morning Star
第2回	Unit 1	Unit 2
第3回	Unit 3	From Old English to Hashtags
第4回	Unit 4	The Theatre of Slumber
第5回	Unit 5	A New Dawn in Human History
第6回	Unit 6	Seeing is Perceiving
第7回	Mid-Term Test	Beyond an Algorithm
第8回	Unit 7	Mid-Term Tests
第9回	Unit 8	All Roads Lead to X
第10回	Unit 9	Dilemma in a Nutshell
第11回	Unit 10	Site Sight Unseen
第12回	Unit 11	Fertile Grounds, Barren Solutions
第13回	Unit 12	Phantom Frequencies
第14回	Final Test	Collections of Recollections
		Final Test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Immersive Reading - Read, Reflect, and Discover: Book 1

Michael Dyer

ISBN 978-88-7598-018-3

Only available from Amazon: <https://www.amazon.co.jp/-/en/dp/B0CSD6KJN1>**【参考書】**www.lessonaccess.com**【成績評価の方法と基準】**

Participation: 10%

Weekly unit vocabulary quizzes, textbook review quizzes, reading comprehension extension quizzes taken online in LessonAccess: 60%

Mid-Term Test: 15%

Final Test: 15%

【学生の意見等からの気づき】

From this year, the class has been overhauled following student feedback. The textbook and material are not only more appropriate, but more conducive to helping students meet the aims and goals of the class.

【学生が準備すべき機器他】

Notebook and pen for class notes

【Outline (in English)】

The course will provide a strong foundation in intermediate and advanced reading skills. The course will seek to increase students' reading fluency and comprehension while reading a variety of interesting stories and articles. The skills of prediction and the comprehension of main ideas will continue to be developed. A focus on language details will also help to develop reading skills, such as raising awareness of new features of grammar and vocabulary.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション I 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and use of rhythm and intonation to assist oral communication.

【到達目標】

Students will practice the skills needed to make effective use of their voices to achieve more natural communication. Students will also practice speaking in "ideas" rather than words. The course will use TED Talks, BBC videos, generative AI and online English training applications and current news articles to enable students to become more effective and proficient in English.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. We will also practice speaking by making online presentations

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Outline of course, grading criteria and class policies. Access Google Classroom
2	Unit 1: Technology	Introduction of technology Generative applications; Practice A++ to encourage longer speaking.
3	Technology	Discussions of Technology: Building on Original statements (BOOST)
4	Technology: Reading	BBC Articles - Transport systems. Practice different questions Yes/No/Key/Or
5	Technology: Presentation skills	TED Talk: Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills

6	Unit 3: Culture	Introduction of Culture related Vocabulary; Oral Practice A++.
7	Culture	Theme Discussions. Build on Original Statement. Introduce Ballad
8	Culture: Research a country	Theme-related topic study. Negative Questions and TAG questions. Prepare a short presentation on main elements of culture
9	Culture:	Presentation Skills: Present about another culture using presentation aids.
10	Unit 5: Beliefs	Introduce key vocabulary for Belief systems. Discuss beliefs and culture.
11	Beliefs	Practice pronunciation Listening and Shadowing. Prepare a short presentation. Continue Ballad
12	Beliefs	Make a short presentation about beliefs
13	Presentation	Make small Group Ballad presentation.
14	Review and Recap	Watch a TED Presentation and evaluate for Academic or Social Style.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Class preparation; There will be some short worksheet assignments designed to test the students' understanding of the ideas presented in the major themes of the course.

Students will be required to work in small groups to prepare a short presentation of a Ballad.

Students will be required to complete weekly assignments to practice English and increase their ability.

【テキスト (教科書)】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp >. Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 890 to access The Study Centre.

【参考書】

To be issued during semester.

【成績評価の方法と基準】

In-Class Worksheets 30%

Small Group Presentation: 12%

Group/Pair/Class Participation 10%

Online Unit Tests: 12%

On-Line Tasks/Exercises:12%

Word Puzzle: 10%

Online practice: 14%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

2022: Change of textbook from previous years.

2023: Use of generative AI applications in development of a presentation outline.

2024: Added weekly on-line practice (Duolingo)

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. (Smartphones are only acceptable in unusual situations.) Students will be required to know their Hosei Gmail account details. Students may use voice recognition and generative AI software.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students can download “Classroom” from the Google Web site. Students will be required to join the subject using “Classroom”.

The Classroom Code for this subject will be advised via the university Hoppii system.

【Outline (in English)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills from a pre-intermediate level.

Students will be encouraged to discuss contemporary issues related to current world events and future changes in technology and society. Additional activities will include pronunciation and the use of rhythm and intonation to assist oral communication.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション 2017年度以降入学者
II

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students ability for person to person communication and presentation skills.

The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including: alternative meat products, transport technology and climate change.

【到達目標】

The goal of this course is to further enhance students' oral communication skills. Students will practice making both formal and informal presentations. Students will practice using punctuation to join and separate ideas and using gestures to emphasize ideas. Students will practice techniques to increase eye contact during online presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The level of the material should suit students at a pre-intermediate level.

Students will be able to practice and develop their speaking skills using A++, BOOST and Yes/No/Key/Or techniques. Students will practice listening using Shadowing. Students will gain critical thinking skills through comparison of different articles on the same topic. Students will also practice presentation skills including gesture, voice control, eye contact, using notes and timing of presentation.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction & Review	Welcome New Students. Review Semester 1, Ground rules, Study Centre.
2	Unit 7: The News	Introduction of Theme-Vocabulary; Oral Practice A++, Boost.
3	The News	Shadowing. Prepare a TV News presentation.

4	TED Talk - Julian Treasure	Small group presentation of Task from week 3. Analysis and Discussion of Presentation Skills.
5	The News	TED Talk: How to make people WANT to listen. Worksheet
6	Unit 9: Ecotourism	Introduction of Theme-related Vocabulary; Oral Practice A++ and Boost.
7	Ecotourism	Shadowing with Text Famous speech preparation.
8	Ecotourism	Presentation or Debate about Eco-Tourism. Famous speech Preparation
9	Academic style	Video Presentation TMWM. Analysis and Discussion; Presentation Skills
10	Unit 11: Environment	Introduction of Theme-related Vocabulary; Oral Practice A++, Boost
11	Environment	Environmental issues Discussions and Shadowing
12	Environment	BBC Articles - Soil and Water. Analyze video. Worksheet.
13	Famous speech Presentation	Presentation: Famous speech.
14	TED Talk - How not to be ignorant.	Video Presentation Analysis and Discussion; Presentation Skills

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Class preparation; There will be some short worksheet assignments designed to test the students' understanding of the ideas presented in the major themes of the course.

Students will be required to work in small groups to prepare a short presentation of a Ballad.

Students will be required to complete short weekly online assignments to practice English and increase their ability.

【テキスト (教科書)】

The English Course "Discussion Book Two" Gary Ireland and Max Woolerton. Available from < store.theenglishcompany.jp > . Look in the カタログ and search for DB2. A CD is not required but you might like it to practice. If you purchase a book second-hand, you will need to pay The English Company ¥ 890 to access The Study Centre.

【参考書】

To be advised during course.

【成績評価の方法と基準】

Writing a presentation outline: 10%

In-Class Worksheets: 20%

Presentations: 12%

Pair/Group Participation: 10%

On-Line Tests: 12%

On-Line Tasks/Exercises: 12%

Word Puzzle: 10%

On-line English practice assignments: 14%

In principle, no more than 3 absences are allowed in order to gain a Credit grade.

【学生の意見等からの気づき】

2023: Introduced generative AI to create a presentation outline.

2024: Introduced on-line English practice

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. (Smartphones are only acceptable in unusual situations). Students will be required to know their Hosei Gmail account details and check it every day. Students may use voice recognition software. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Students can download "Classroom" from the Google Web site. The Classroom Code for this subject will be advised via the university Hoppii system.

【Outline (in English)】

This is an elective course that will provide students with the opportunity to develop their oral communication skills. The course will develop students' ability for person-to-person communication and presentation skills.

The course will use TED Talks and Academic presentations to compare and contrast the different styles of presentations. Students will be required to make short presentations on a variety of topics including alternative meat products, transport technology and climate change.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション 2017年度以降入学者
I

ELIKO M KOSAKA

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 金4/Fri.4

単位数: 1単位

レベル2,3

定員制 (24)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

教科書の各ユニットで紹介される会話内容を用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。更に英語発音を向上させ、会話に役立てる語彙やフレーズを理解し、使いこなすためのアクティビティを通して、練習する。

【到達目標】

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

①各Unitで使用される語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。

②英語の会話内容を効果的に聞き取り、内容を把握する。

③ダイアログ内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、口頭発表等を行う。

④授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回目	オリエンテーション	①オリエンテーション, ②Unit 1(dialogue and drills)
第2回目	Unit 1, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第3回目	Unit 2	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 2 (dialogue and drills)
第4回目	Unit 2, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第5回目	Unit 3	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 3 (dialogue and drills)
第6回目	Unit 3, continued	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise

第7回目	Unit 4	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 4 (dialogue and drills)
第8回目	Mid-term exam	1). mid-term exam 2). summary and feedback
第9回目	Unit 4, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第10回目	Unit 5	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 5 (dialogue and drills)
第11回目	Unit 5, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第12回目	Unit 6	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 6 (dialogue and drills)
第13回目	Unit 6, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第14回目	Final Exam	1). Final exam 2). summary and feedback

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

著書: CitiPals in New York: New Edition of Survival English
著者: Mary Tadokoro
出版者: 朝日出版社
出版年: 2018年 第5刷発行
I S B N : 978-4-255-15492-3

【参考書】

授業時に伝える。

【成績評価の方法と基準】

【評価方法】 積極的な参加 20%, 中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%

Active participation 20%, midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the "CitiPals in New York" textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger command of vocabulary necessary to engage in effective conversation and foster the learner's ability to become more flexible and adaptable to various social settings. This will enable the learner to flexibly and comfortably converse in a diverse range of social settings and situations.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Active participation 20%, midterm and Finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション 2017年度以降入学者
II

ELIKO M KOSAKA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

教科書の各ユニットで紹介される会話内容を用いて、リスニング力、語彙力、読解力を向上させることを目的とする。更に英語発音を向上させ、会話に役立てる語彙やフレーズを理解し、使いこなすためのアクティビティを通して、練習する。

【到達目標】

①役に立つような英語運用能力を習得することが出来る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法

- ①各Unitで使用される語彙の用法などを確認し、その語彙を用いた例文などを口頭・文章で表現する。
- ②英語の会話内容を効果的に聞き取り、内容を把握する。
- ③ダイアログ内容の要約・あるいは自分の意見をまとめ、口頭発表等を行う。
- ④授業内で指示された課題のフィードバックは、課題提出後におこなう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回目	Unit 8	①ガイダンス ②Unit 8 Airport (dialogue and drills)
第2回目	Unit 8, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第3回目	Unit 9	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 9 (dialogue and drills)
第4回目	Unit 9, continued	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第5回目	Unit 10	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 10 (dialogue and drills)

第6回目	Unit 10, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第7回目	Unit 11	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 11 (dialogue and drills)
第8回目	Mid-term exam	① 中間試験 ② まとめと解説
第9回目	Unit 11, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第10回目	Unit 12	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 12 (dialogue and drills)
第11回目	Unit 12, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第12回目	Unit 13	①Vocab quiz(単語テスト) and recitation (音読) ②Unit 13 (dialogue and drills)
第13回目	Unit 13, continued.	①Vocabulary & grammar exercises ②Recitation exercise ③Conversation/discussion/debate exercise
第14回目	Final Exam	① 期末試験 ② まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】
著書：CitiPals in New York: New Edition of Survival English
著者：Mary Tadokoro
出版者：朝日出版社
出版年：2018年 第5刷発行
I S B N : 978-4-255-15492-3

【参考書】
授業時に提示する

【成績評価の方法と基準】
【評価方法】 積極的な参加 20%, 中間試験・期末試験20%、提出課題20%、小テスト20%、音読・グループライティング20%
Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%
In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
学生と教員がお互いに協調して、有意義な授業時間を実現するために積極的かつ生産的にコミュニケーションを取ることが肝心である。

【Outline (in English)】

Using the "CitiPals in New York" textbook as a base point, the aim of the course is to improve the learner's pronunciation through various in-class exercises, establish a stronger command of vocabulary necessary to engage in effective conversation and foster the learner's ability to become more flexible and adaptable to various social settings. This will enable the learner to flexibly and comfortably converse in a diverse range of social settings and situations.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Active participation 20%, midterm and finals 20%, homework 20%, quizzes 20%, recitations and group work 20%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション I 2017年度以降入学者

LASSEGARD JAMES

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Learning practical English for communicating in a global society and in international business.

【到達目標】

Although emphasis is on oral communication, students will practice and improve proficiency in all four language skills. Students will be able to comfortably express themselves clearly in discussions and during presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be given entirely in English and in principal all class sessions will be face to face. Students will participate in a variety of activities that encourage listening and speaking English. These activities include dialogues, pair and group discussions, and presentations given by students on various topics of interest.

Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online. Students may also correspond with the instructor using e-mail.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course orientation	Getting to know each other; student introductions & class guidelines.
2	Unit 1: People and Events	Dialogue & textbook activities: grammar explanation. Pair & group work. Instructions on writing a short paragraph.
3	Unit 1 Video: Role models	Video Worksheet activities. Discussion and pair work. Reading homework.
4	Unit 2: Holidays and Festivals	Grammar review. Discussion. Review writing tips.
5	Unit 2: Celebrations	Video. Instructions on preparing for and giving presentations.
6	Unit 3: Trends and entertainment	Grammar review. Reading and discussion in small groups.
7	Unit 3: Trends pt. 2	Video content and worksheet: A hotel manager. Discussion. Quiz on Units 1-3.

8	Unit 4: Identity & Personality	Lecture: Describing people and their characteristics. Grammar review. Writing assignment.
9	Unit 4: Identity & Personality Pt. 2	Writing review. Video & worksheet Discussion
10	Student Presentations	Students will give short presentations in pairs/groups on topics from the previous 4 chapters.
11	Unit 5: Future Plans	Reading comprehension and vocabulary practice. Dialogue practice and writing.
12	Unit 5: Future Plans Pt.2	Students perform dialogues in class. Discussion about future goals and plans. Presentation preparations.
13	Unit 6: Changes & Life experiences	Reading and vocabulary review. Student give mini-presentations on topics TBA.
14	Unit 6 Changes & Life Experiences pt 2	Final quiz on Units 4-6. Course wrap up.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are expected to complete homework assignments prior to the next class session. Approximately 1 to 2 hours of homework is required of students every week.

【テキスト (教科書)】

Speak Your Mind Level 2 (MacMillan publishing)
Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students should have a notebook and/or loose sheets of paper to take notes and to hand in homework.

【参考書】

References: Always bring a dictionary to class (paper or electronic OK).

【成績評価の方法と基準】

Student Presentations: 60%
Quizzes, and other speaking and written assignments: 20%
Class Participation: 20%

【学生の意見等からの気づき】

Instructor will provide more online feedback when necessary for students.

【その他の重要事項】

Students are allowed up to 3 unexcused absences per semester. Students who are absent for a presentation day must provide documentation for their absence, such as a COVID certificate from their faculty.

Arriving late to class twice = one absence (except for a good reason, such as illness or late trains)

【Outline (in English)】

This course is designed to develop language skills necessary for students to express themselves in English. The emphasis is on oral communication, and we will practice listening and speaking skills. Students will make several presentations throughout the semester. Students may also be required to write paragraphs and short essays.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語オーラル・コミュニケーション 2017年度以降入学者
Ⅱ

LASSEGARD JAMES

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

This course is designed to develop practical oral communication skills for students to express themselves in English in a globalized world and workplace.

【到達目標】

Students will improve their ability to express themselves in English in order to participate effectively in discussion and will learn how to give presentations and are engaging and informative.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This course will be given entirely in English and face to face. Students will participate in a variety of activities, but emphasis will be on listening and speaking. These activities include dialogues, pair and group discussions, and presentations based on short reading or audio-visual materials. Students are expected to come to class prepared by doing the assigned reading and other homework.

Feedback on students' performance will be given in class, as well as through written assignments in class and online the University LMS. Students may also correspond with the instructor using e-mail or visit during office hours.

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 7: Work and Careers	Course introduction; Review of grammar using summer vacation reports. Reading and discussion on working lives.
2	Unit 7: Work & Careers Pt.2	Instructions and Practice in writing a resume or CV.
3	Unit 8: Hobbies and Pastimes	Video & Worksheet activities and discussion. Research assignment.
4	Unit 8 Pt. 2	Students report on research on holidays and celebrations in various countries.
5	Unit 9: Housing and Living arrangements	Reading assignment and discussion on types of housing. Next Presentation instruction.
6	Unit 9: Housing Pt. 2	Students give presentations on a city or country.

7	Unit 10: Health & Wellbeing	Feedback on presentations. Reading and discussion on study habits and work-life balance. Writing assignment
8	Unit 10: Wellbeing Pt. 2	Writing assignment due. Video content & worksheet. Discussion.
9	Unit 11: Recycling and the Environment	Lecture and discussion. Vocabulary practice. Pairwork: writing dialogues.
10	Unit 11: Environment Pt. 2	Students perform dialogue in class. Review tips on giving effective presentations.
11	Unit 12: Social Groups	Textbook Reading activities. Reading, Discussion in pair and groups
12	Unit 12 Social groups and Networking.	Video worksheet and supplemental activities; final essay assignment due and vocabulary review.
13	Student Presentations	Quiz on Units 9-12. Student presentations
14	Class wrap up—End of year celebration	Return all presentation feedback. Discussion

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

Students are expected to prepare by reading ahead in the textbook, looking up unfamiliar vocabulary, and completing other activities assigned in class.

Approximately 1-2 hours of weekly homework are required of students in this class.

【テキスト（教科書）】

Speak Your Mind level 2 (MacMillan)

Other handouts and materials related to course content will be distributed in class. Students must have a notebook/binder and/or loose sheets of paper.

【参考書】

Always bring a dictionary to class (paper or electronic dictionaries are acceptable).

【成績評価の方法と基準】

Student Presentations: 60%

Quizzes and other speaking activities: 20%

Class participation: 20%

In principle, students are allowed no more than 3 unexcused absences during the semester. Two late notices are treated as one absence (unless for a good reason—such as train delays, etc. Students who are absent on a presentation day must provide documentation, such as a COVID19 certificate.

【学生の意見等からの気づき】

Instructor will provide students with more detailed online feedback through the Hoppii system when necessary. Students are free to join this class just for the fall semester, but they must have access to and be able to use the textbook in class.

【学生が準備すべき機器他】

Students should have access to a computer to prepare their Power Point slides for presentations. Students may use the instructor's computer to give their presentation if they wish.

【Outline (in English)】

While some attention will be given to all four skills, the emphasis is on oral communication, and we spend considerable classroom time practicing listening and speaking skills. Students will engage in classroom discussions, dialogue practice, and give short presentations on topics of interest.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュ I 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate

clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

【到達目標】

Students will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course	Review syllabus and textbook Introduction
2	Unit 1: Pleased to meet you (1-6)	Introducing people Pages 7-10
3	Unit 1: Pleased to meet you (7-12)	Introducing people Pages 10-13
4	Unit 2: Who do you work for? (1-6)	Describing companies Pages 15-18
5	Unit 2: Who do you work for? (7-12)	Describing companies Pages 18-21
6	Unit 3: What do you do? (1-6)	Describing occupations Pages 23-25
7	Unit 3: What do you do? (7-12)	Describing occupations Pages 26-29
8	Unit 4: Can I leave a message (1-6)	Phone conversations Pages 31-34
9	Unit 4: Unit 4: Can I leave a message (7-12)	Phone conversations Pages 34-36
10	Unit 5: It's tough managing my time (1-6)	Describing time and schedules Pages 39-42
11	Unit 5: It's tough managing my time (7-12)	Describing time and schedules Pages 42-46

12	Unit 6 What do you call that thing? (1-6)	Talking about difficult words Pages 49-51
13	Unit 6 What do you call that thing? (7-12)	Talking about difficult words Pages 52-55
14	Student Pair Speaking Exams	Final Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】

Students will be given supplemental material from time to time to increase their knowledge.

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline (in English)】

This course will help students improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ビジネス・イングリッシュⅡ 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (24)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The business skills learned, along with more general English language instruction received, will help students to communicate

clearly and effectively in both global business environments and within Japanese companies that conduct international business.

【到達目標】

Student will gain confidence to share information in English while conducting business.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include pair work, group work and discussions. Some written homework will be assigned. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course	Review syllabus and textbook Introduction
2	Unit 7: How much is that in Korean Won? (1-6)	Talking about money Pages 57-59
3	Unit 7: How much is that in Korean Won? (7-12)	Talking about money Pages 59-62
4	Unit 8: You need to download a form (1-6)	Giving instructions Pages 65-67
5	Unit 8: You need to download a form (7-12)	Giving instructions Pages 68-72
6	Unit 9: Do you like Indonesian food? (1-6)	Describing food Pages 75-77
7	Unit 9: Do you like Indonesian food?(7-12)	Describing food Pages 77-81
8	Unit 10: Do you have the sales figures? (1-6)	Working with large numbers Pages 83-86
9	Unit 10: Do you have the sales figures? (7-12)	Working with large numbers Pages 86-91

10	Unit 11: Make sure you keep all receipts (1-6)	Giving advice / Business trips Pages 93-95
11	Unit 11: Make sure you keep all receipts (7-12)	Giving advice / Business trips Pages 96-99
12	Unit 12 When's the trade fair? (1-6)	Describing future plans Pages 101-103
13	Unit 12 When's the trade fair? (7-12)	Describing future plans Pages 103-108
14	Student Pair Speaking Examinations	Final Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Communication Spotlight: Business 2 (Alastair Graham-Marr / ABAX ELT Publishers)

【参考書】

Students will be given supplemental material from time to time to increase their knowledge of business topics.

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on a pair-speaking exam (75%) and class participation (25%). In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student feedback on class activities is encouraged.

【Outline (in English)】

This course will help students to improve their English communications skills for business and to develop a better understanding of international business practices.

LANe200LA (英語 / English language education 200)
English Reading and Vocabulary 2017年度以降入学者
 I

ウォルター・カズマー

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル4

定員制 (36)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will also acquire ability to handle discussions about some text topics related to economic, political, and current events related issues

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension, taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or in feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
I	Introduction of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
I	Sustainable communities	Examining social goals for societies. Exploring cultural bonds.
I	Sustainable communities	Deepening understanding of social boundaries and possible conflicts.
II	Dilemmas for a responsible tourist I	How tourism affects our lives in both positive and negative ways.
II	Dilemmas for a responsible tourist II	Ponder tourism negatives and positive outcomes

Protecting our world cultural artifacts heritage

How buildings are preserved and design shows our history

I Looking at historical buildings and the events they show

Why are these buildings important for remembering history?

II Engineered food and possible consequences

Quiz 1
Researching food sources and why variety is important

I Scientists develop strains and their goals

Science and its end goals and how they might ruin our health

II Corruption and its problems

Looking at corporate problems and how difficult they are to solve

I Witness to government waste

Trying to eliminate waste

II Bad laws

Examining when do you have an obligation to protest

I Well meaning laws

Quiz 2
Researching laws that don't cover all circumstances

II Taking a look at useful words learned

Reviewing useful vocabulary and its parameters

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Some reading and vocabulary review. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Issues that matter - Kinseido
 ISBN 9784764740617 or 1921082018006

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 70%
 Homework 30%
 For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

N/A

【学生が準備すべき機器他】

English to English dictionary or web dictionary, paper, smartphone or PC

【その他の重要事項】

Contact email
 kasmersensei@gmail.com
 or
 walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using 4 skill areas (speaking, listening, reading, and writing). Discussion and short essay writing skills will be focused on.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Reading and Vocabulary 2017年度以降入学者
II

ウォルター・カズマー

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル4

定員制 (36)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

【到達目標】

Students will read and learn 5-10 new vocabulary items per class.

Students will acquire discussion skills to handle discussions about economic, political, and current events topics.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Skimming, scanning, reading for detail, reading for deep comprehension,

taking dictations with cloze exercises, and role-plays based on new vocabulary.

Feedback will be given in Google classroom comments, via email or feedback sessions in Zoom classes.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Introduction	Present basic goals of course with examples.	Cover syllabus and basic ground rules for regular classes and tests.
Food politics	Food politics	How do we get our food?
Food politics II	Sourcing our food	Positives and negatives of climate change on food sourcing
Food inequality I	Food and its effects on society	Look at how inequalities affect our food
Recycling II	recycling and government regulation	Show and discuss government regulations that try to reduce waste
Recycling II	Covering aspects of structure and use of waste	Looking at waste usage
Blowing whistles II	Whistle blowing vs leaking	How whistle blowing affects us
Blowing whistles II	Consequences of leaking	Government actions vs leaking
Protesting II	Protesting	Reasons why people protest

Protesting II	Handling protests	Why people protest and how governments handle it
Fake news II	Where does fake news come from?	Talking about fake vs real news
Fake news II	Social media and fake news	Why social media is full of it
review of unit questions I	Review course of unit themes	Discussions of unit themes
review of unit issues and Summary	Review course of unit themes	Discuss course related themes.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Prepare presentation material and review vocabulary lists. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Issues that matter- Kinseido
ISBN 978-4-7647-4061-7

【参考書】

N/A

【成績評価の方法と基準】

Class participation 70%
Homework 30%

For all English courses on Ichigaya campus, the guideline is as follows: "In principle, no more than 3 absences per term are allowed."

【学生の意見等からの気づき】

Require more use of English by students

【学生が準備すべき機器他】

English to English dictionary or web dictionary, paper, writing instrument

【その他の重要事項】

Contact email
kasmersensei@gmail.com
or
walter.kasmer.y4@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will learn English using four skill areas (listening, speaking, writing, and reading). Students will focus on improving discussion and short essay writing.

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200) English Reading and Vocabulary I 2017年度以降入学者 ERIC J RITTER 開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：水3/Wed.3 単位数：1単位 レベル4 定員制 (36) 必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE. その他属性：〈グ〉〈優〉</p> <p>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.</p> <p>【到達目標】 1. Students will understand and utilize the writing process of planning, writing, and re-writing. 2. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article. 3. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.</p> <p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1</p> <p>【授業の進め方と方法】 This will be an online class so students should be prepared to use Zoom. Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.</p> <p>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 あり / Yes</p> <p>【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No</p> <p>【授業計画】 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Unit 1</td> <td>Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Unit 2</td> <td>Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Unit 3</td> <td>Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Unit 4</td> <td>Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	Unit 1	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion	2	Unit 2	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion	3	Unit 3	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion	4	Unit 4	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.	5	Unit 5	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.
	回	テーマ	内容															
	1	Unit 1	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion															
	2	Unit 2	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion															
	3	Unit 3	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion															
	4	Unit 4	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension.															
	6	Unit 6	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion Feedback															
	7	Midterm																
	8	Unit 7	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion															
	9	Unit 8	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion															
	10	Unit 9	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion															
	11	Unit 10	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion															
	12	Unit 11	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion															
	13	Unit 12	Learn new vocabulary. Reading story. Homework: prepare for final exam.															
14	Final exam	feedback																

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】
 University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles.

【テキスト (教科書)】
 Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】
 Book and Quizlet should be studied.

【成績評価の方法と基準】
 50% quizzes and exams
 25% writing exercises using new words
 25% effort and participation
 No more than 3 absences or missed assignments are allowed.

【学生の意見等からの気づき】
 No feedback

【学生が準備すべき機器他】
 Internet enabled device to participate in class with Zoom. Students should also be familiar with Google classroom and Hoppii.

【Outline (in English)】
 Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA (英語 / English language education 200)
English Reading and Vocabulary 2017年度以降入学者
 II
 ERIC J RITTER
 開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3
 単位数：1単位
 レベル4
 定員制 (36)
 必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.
 その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

【到達目標】

1. They will learn to understand the gist, details of short articles they read and summarize a magazine article.
2. Students will improve their reading speed and increase their vocabulary knowledge.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will learn new vocabulary from textbook and reinforce it via discussion and readings. Feedback will be given in class and via Google classroom.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unit 13	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
2	Unit 14	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
3	Unit 15	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
4	Unit 16	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
5	Unit 17	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion

6	Unit 18	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
7	Unit 19	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
8	Midterm Exam	Feedback
9	Unit 20	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
10	Unit 21	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
11	Unit 22	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
12	Unit 23	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
13	Unit 24	Learn new vocabulary. Reading story. Answer Reading Comprehension. Group Discussion
14	Final Exam	Review

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hour a week for a two-credit class for a 2 hour class and 1 hour a week for a 1 hour class. Students will study vocabulary on Quizlet and read articles for homework before class.

【テキスト (教科書)】

Paul Nation: 4000 Essentials Words Book 4 (2nd edition). Perfect Paperback

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

50% quizzes and exams
 25% writing exercises using new words
 25% effort and participation
 In principle, no more than 3 absences are allowed.
 Feedback will be given in class and via Google classroom.

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Students will improve their reading skills and vocabulary knowledge. Each lesson will be divided into learning new vocabulary and then practicing it via pair and group work. The vocabulary will be used in the readings that follow.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing I 2017年度以降入学者

PAUL K KALLENDER

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This is a pre-intermediate course focused on writing skills but also containing reading, aimed at using a CLIL approach toward building key basic writing skills, including the ability to write paragraphs and articles on topics using correct grammar and logical narrative structure. There will also be some chance to discuss the topics written about in the class.

【到達目標】

Students are expected to advance both their writing skills and also their reading skills, particularly however extra emphasis will be placed on writing skills.

Students are expected to

1. Improve their basic grammar
2. Develop the ability to write increasingly complex sentences
3. Understand and improve their ability to write paragraphs
4. Understand how to combine paragraphs to form coherent narratives
5. Improve not only their vocabulary but also cultural knowledge

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each week students will read a topic, answer vocabulary questions on it, write sentences on the topic, study several grammar points, practice those grammar points, and write short paragraphs on the topic. There will also be chances to talk about each week's topic.

The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Introduction and general outline of the course: Special days	Skills: The sentence, capitalization; writing about holidays.
Class 2	Birthdays around the world:	Skills: The paragraph; writing about your birthday.
Class 3	Places 1	Skills: Adjectives; writing about a city.

Class 4	Places 2	Skills: Comparative & superlative adjectives; writing about Japan.
Class 5	Health 1	Skills: Using when; writing about sleep habits.
Class 6	Health 2	Skills: Adverbs; writing about laughing.
Class 7	Customs 1	Skills: Countable & uncountable nouns; writing about a special day.
Class 8	Customs 2 Mid-Term Writing Test	Prepositions and prepositional phrases; writing about a meal. Mid-Term Writing Test
Class 9	Food 1	Skills: Instructions; writing about favorite food.
Class 10	Food 2	Skills: The pronouns it and then; writing about a favorite drink.
Class 11	Inventors & their Inventions 1	Skills: Using as...as...; writing about technology.
Class 12	Inventors & their Inventions 2	Skills: Using too and very
Class 13	Amazing People 1	Skills: Questions and Prepositions; writing about a classmate.
Class 14	Amazing People 2 End-of-Term Writing Test	Skills: Writing about someone's life, different ways of expressing time. End-of-Term Writing Test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students are expected to review and learn any unfamiliar vocabulary or grammar covered in the class and to preview vocabulary and grammar for the upcoming lesson. In particular, students are to review their paragraph writing assignments and prepare for the mid-term and end-of-term formal writing tasks so that their grammar, syntax, and narrative structure are at the appropriate level.

【テキスト (教科書)】

Required Textbook:

Milada Broukal, Weaving It Together 1 (Fourth Edition), Cengage Learning. ISBN 978-1-305-25164-9

【参考書】

Supplied by the Instructor

【成績評価の方法と基準】

Mid-Semester Exam: 25%

This will be a timed writing exercise submitted to Hoppi

Final Exam: 25%

This will be a timed writing exercise submitted to Hoppi

In-Class Performance: 50%

This will be a textbook completion check and review

***Students please note: No more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready.
2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer.
3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.

【その他の重要事項】

1. Please address me as Mr. Kallender

2. Please always state your first name, family name, class name, and period name.

For Example:

Dear Mr. Kallender,

My name is Taro Suzuki.

I am a student in (Writing)(7)A

I could not attend today / cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever.

I will bring a medical certificate next week.

【Outline (in English)】

Building on the English language skills acquired in prior required courses, students will work on developing the type of language skills they will need to begin to write steadily more advanced, grammatically correct sentences and small (5 paragraph, 700-word) articles.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		Class 3	Food 1	READING 1 Live a Little: Eat Potatoes! WRITING 1 SKILLS The Topic Sentence PRACTICE Writing about food or drink
English Academic Writing II 2017年度以降入学者		Class 4	Food 2	READING 2 Bugs, Rats, and Other Tasty Dishes WRITING 2 SKILLS Supporting Sentences Concluding Sentences PRACTICE Writing about a special food
PAUL K KALLENDER		Class 5	Celebrations and Special Days 1	SKILLS Supporting Sentences Concluding Sentences PRACTICE Writing about a special food
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：火2/Tue.2		Class 6	Celebrations and Special Days 2	READING 2 Celebrating a Fifteenth Birthday WRITING 2 SKILLS Main and Dependent Clauses Writing a Dependent Clause with before or after PRACTICE Writing about a celebration
単位数：1単位		Class 7	Amazing People 1	READING 1 Barrington Irving's Dream to Fly WRITING 1 SKILLS Unity Irrelevant Sentences PRACTICE Writing about the qualities of a person or a pet
レベル4		Class 8	Amazing People 2	Writing Test 1 READING 2 The Fearless Fiennes WRITING 2 SKILLS Introducing Examples PRACTICE Writing about a person
定員制 (24)		Class 9	Nature Attacks! 1	Lightning WRITING 1 SKILLS Writing a Narrative Paragraph with Time Words The Comma (,) with Time and Place Expressions PRACTICE Writing about a frightening experience
必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.		Class 10	Nature Attacks! 2	READING 2 Chasing Storms WRITING 2 SKILLS Introducing Reasons with because PRACTICE Writing about dangerous weather
履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.				
その他属性：〈グ〉〈優〉				
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】				
Moving on from the first semester this course continues to use the same CLIL approach toward building key basic writing skills, including the ability to write paragraphs and articles on topics using correct grammar and logical narrative structure. There will also be some chance to discuss the topics written about in the class.				
【到達目標】				
Building on the English language skills acquired in prior required courses, students will work on developing the type of language skills they will need to begin to write steadily more advanced, grammatically correct sentences and small (5 paragraph, 700-word) articles.				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1				
【授業の進め方と方法】				
Each week students will read a topic, answer vocabulary questions on it, write sentences on the topic, study several grammar points, practice those grammar points, and write short paragraphs on the topic. There will also be chances to talk about each week's topic.				
The instructor will check the completion of student work, especially writing, in class. The instructor will give verbal feedback and make corrections to student work during each class. If the students have any difficulties, they may contact the instructor via the email address provided.				
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 あり / Yes				
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
Class 1	Course	READING 1 Introduction and Topic: Your Personality Right Brain, Left Brain SKILLS The Paragraph Capitalization Rules The Title		
Class 2	Your Personality 2	READING 1 Right Brain, Left Brain SKILLS The Paragraph Capitalization Rules The Title		

Class 11 Inventions 1	READING 1 The GoPro Camera WRITING 1 SKILLS Introducing Effects with so and therefore PRACTICE Writing about an invention	This class consists of the filling in of many sentences of writing, offering sustained writing practice. Students are expected to complete all assigned tasks demonstrating an understanding of the grammar and syntax being practiced while writing complete sentences. There are two textbook inspections, one during the mid-term, and one during the end-of-term test. Other criteria 10% ***Students please note: No more than 3 absences per term are allowed.
Class 12 Inventions 2	READING 2 What's in a Name? WRITING 2 SKILLS Writing Business Letters PRACTICE Writing a business letter	【学生の意見等からの気づき】 No changes 【学生が準備すべき機器他】 1. Each student should bring a B5 notebook, sharp pencil, and eraser, and have an electronic dictionary ready. 2. The instructor will explain vocabulary upon request if another student does not know the answer. 3. The use of smartphones for social media, etc. not related to the academic work in the class is strictly prohibited.
Class 13 Customs and Traditions 1	READING 1 Flowers, Dishes, and Dresses WRITING 1 SKILLS Comparing and Contrasting 1 Showing Contrast with however 1 Showing Similarity with similarly and likewise PRACTICE Writing about wedding customs	【その他の重要事項】 1. Please address me as Mr. Kallender 2. Please always state your first name, family name, class name, and period name. For Example: Dear Mr. Kallender, My name is Taro Suzuki. I am a student in (Writing)(7) B I could not attend today / cannot attend tomorrow (etc.) because of a fever. I will bring a medical certificate next week.
Class 14 Customs and Traditions 2	Writing Test 2 READING 2 What's in a Name? WRITING 2 SKILLS Writing Business Letters PRACTICE Writing a business letter	【Outline (in English)】 Building on the English language skills acquired in prior required courses, students will work on developing the type of language skills they will need to begin to write steadily more advanced, grammatically correct sentences and small (5 paragraph, 700-word) articles.

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should
 be around an hour a week for a one-credit course.
 University guidelines suggest preparation and review should
 be around an hour a week for a one-credit course. This is a
 one-credit course. Each class has a pre-reading assignment for
 homework and students are expected to discuss their answers
 in the following class. Students should make a note of unknown
 words or expressions in a B-5 notebook.

【テキスト（教科書）】

Milada Broukal, Weaving It Together 2, 4th Edition,
 センテージ ラーニング株式会社
 ISBN: 978-1-305-25165-6

【参考書】

Will be supplied by the instructor

【成績評価の方法と基準】

Mid-Semester Exam 20%

This is a practical writing class. Students are expected to
 complete, in class, an initial timed writing test comprising of
 a composition of one or several paragraphs, in which they are
 expected to demonstrate their understanding of the grammar
 and syntax taught. This will be a timed writing exercise
 submitted to Hoppi

Final Exam 20%

Students are expected to complete, in class, an initial timed
 writing test comprising a composition of at least three
 paragraphs, in which they are expected to demonstrate their
 understanding of the grammar and syntax taught.

In-Class Performance 50%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing I 2017年度以降入学者

DANIEL G DUSZA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring, and ordering paragraphs in clear, communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph essays on subjects of their choice collaboratively, in virtual teams, and individually.

【到達目標】

This course aims to introduce students to the elements of academic essays to perform successfully in any English-speaking university where academic writing is essential for success. Students will be able to communicate thoughts, opinions, and knowledge in written format to an academic audience. This introductory course will cover note-taking, short reports, summarising, paragraph and essay development, and working in various settings. These settings include collaborative writing, using AI as a writing partner, and writing with academics from other cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English and will cover units from selected textbooks. Published open-source articles are used for analysis and case studies. Communicative approaches will be used because collaboration is essential in achieving academic writing success. Students will discuss and read assigned and individual materials to gather and communicate knowledge. Collaborative writing will be necessary in most of the course. Collaborative partners are not restricted to students in the class but include outside sources, Internet services, and AI. Therefore, academic integrity is an underlying foundation of this writing course. Students will be provided with feedback through the writing process, and engaging with that feedback will be the key to success in this course and the future.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1 Introduction	Overview of the course and introductions	Overview of Academic Writing I subject and explaining rules for assignment submissions and how the best assignments will be selected.
Week-2	Collaborative Writing - Descriptive Essay	Students will write a descriptive essay about self, peer, teacher, and person they admire. Requires Introduction, Descriptions, and Summaries.

Week-3	Collaborative Writing - Process Essay	Students will work together on talking about a process.
Week-4	Collaborative Narrative Essay	Students interview a partner about a story in their life. The narrative form is used.
Week-5	Collaborative Descriptive Essay	Students will use multiple sources to find descriptors about a chosen issue or item to make a descriptive essay.
Week-6	5 Paragraph Essay (Summative Grade 30%)	Students use the information they have written so far to create and submit a 5-paragraph essay.
Week-7	Topic-Based Essays-1 about advertising, competition, or aging	Information gathering and comparing results and ideas.
Week-8	Topic-Based Essays-2 about advertising, competition, or aging	Information gathering and comparing results and ideas. Focus on transitions and conjunctions.
Week-9	Topic-Based Essays-3 about technology, research, and disinformation	Critical thinking, forming arguments, and communicating debates. AI will be used as a writing partner.
Week-10	Topic-Based Essays-4 about technology, research, disinformation	Critical thinking, forming arguments, and communicating debates. AI will be used as a writing partner.
Week-11	Self-Directed Learning-1	Students will collaborate in submitting independent writing assignment based on the 5 paragraph in a tech-integrated writing assignment.
Week-12	Self-Directed Learning-2	Students will collaborate in submitting independent writing assignment based on the 5 paragraph in a tech-integrated writing assignment.
Week-13	Self-Directed Learning-3	Students will collaborate in submitting independent writing assignments based on the five paragraphs in a tech-integrated writing assignment.
Week-14	Final Essay (20%)	Students choose from a limited list of essay genre based on the learning outcomes of each lesson. Students will submit two short essays in their selected styles (10% each).

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Since this is a one-credit course, university guidelines suggest an hour of preparation each week. Students will use this time to prepare for each lesson, where they will be required to share, discuss, and write what they have learned before and during the class. Any work not completed in class will need to be finished beyond the classroom. There are a total of three minor assignments and one major assignment at the end of the course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is required to be purchased as readings will be provided in the syllabus.

【参考書】

- In focus-1. Browne, C., Culligan, B., & Phillips, J. (2024). Kinseido Publishing.
- How to write a lot: a practical guide to productive academic writing. Paul J. Silvia (2019)

【成績評価の方法と基準】

Preparation 10%
Classwork and Participation 20%
Note Taking and Reporting 20%

Collaborative Essays (3) 30%

Final Essay 20%

In principle, no more than three(3) absences per semester are allowed if they do not impact negatively on collaboration or participation.

Late submissions of assignments will be penalized 10% each day late.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork and homework on time.

time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(90% and Above)

A(89~80%)

B(79~70%)

C(69~60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59% and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a portable device for connecting with the internet and Google Classroom. If a student has extenuating circumstances, please discuss them with the instructor. Devices must be able to connect with the internet, Google Docs, and upload to Google Classroom. These Apps should be installed prior to the start of class. Students will be sent a reminder with instructions before the first lesson.

【その他の重要事項】

Four classes will held asynchronously, particularly for submitting final essays. On that note, any signs of breaches of originality or integrity will be detected and need to be justified and corrected. Delays will incur the late submission penalty of 10% for each day.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills. The course provides practice in writing, structuring, and ordering paragraphs in clear, communicative English. Students will compose short 2-paragraph to 5-paragraph essays on subjects of their choice collaboratively, in virtual teams, and individually.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing II 2017年度以降入学者

DANIEL G DUSZA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills further. The course provides practice in writing, structuring, and ordering paragraphs in clear, communicative English. Students will compose annotated bibliographies, short essays, and reports and practice reviewing published academic works.

【到達目標】

This course aims to develop students' skills and practice using the elements of academic essays to produce academic literature where academic writing is essential for success. Students will be able to communicate thoughts, opinions, and knowledge in written format to an Academic audience. This introductory course will further develop note-taking, short reports, summarising, paragraph and essay development, and working in various settings. These settings include collaborative writing, using AI as a writing partner, and writing with academics from other cultures.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English and will cover units from selected textbooks. Published open-source articles are used for analysis and case studies. Communicative approaches will be used because collaboration is essential in achieving academic writing success. Students will discuss and read assigned and individual materials to gather and communicate knowledge. Collaborative writing will be necessary in most of the course. Collaborative partners are not restricted to students in the class but include outside sources, Internet services, and AI. Therefore, academic integrity is an underlying foundation of this writing course. Students will be provided with feedback through the writing process, and engaging with that feedback will be the key to success in this course and the future.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1	Orientation II	Write a narrative, opinion, and integrated (with research and AI) essay about your partner's summer vacation.
Week-2	Input/output Bibliographies	Reading blogs, reviews, summaries, and abstracts and taking notes in teams
Week-3	Input/output Bibliographies	Reading blogs, reviews, summaries, and abstracts and taking notes and writing meaningful summaries and reviews in collaborative teams

Week-4	Input/output Bibliographies	Reading blogs, reviews, summaries, and abstracts and taking notes and collaboratively writing meaningful summaries and reviews
Week-5	Input/output Bibliographies	Reading blogs, reviews, summaries, and abstracts and taking notes and collaboratively writing meaningful summaries and reviews
Week-6	Annotated Bibliography Submission (30%)	Using the writings from previous weeks, collect three items for assessment.
Week-7	Writing Summaries and Reviews 1	Read a review and recognize the author's voice and article details.
Week-8	Writing Summaries and Reviews 2	Working in teams, write a collaborative review about 2 or 3 books in a report form
Week-9	Writing Summaries and Reviews 3	Independent writing about an academic paper or report.
Week-10	Academic Writing - 1	Using a relevant style, write a 300-500 word essay about a global issue topic.
Week-11	Academic Writing - 2	Using a relevant style, write a 300-500 word essay about a global issue topic.
Week-12	Academic Writing - 3	Using a relevant style, write a 300-500 word essay about a global issue topic.
Week-13	Final Essay Draft	Brainstorm, organize information, plan, draft, and review.
Week-14	Final Essay (20%)	Submit a report by the deadline or early for additional feedback.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Since this is a one-credit course, university guidelines suggest an hour of preparation each week. Students will use this time to prepare for each lesson, where they will be required to share, discuss, and write what they have learned before and during the class. Any work not completed in class must be finished beyond the classroom. There are three minor assignments and one major assignment at the end of the course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is required to be purchased as readings will be provided in the syllabus.

【参考書】

1. In focus-2. Browne, C., Culligan, B., & Phillips, J. (2024). Kinseido Publishing.
2. Academic writing for graduate students: Essential tasks and skills (Vol. 1). Swales, J. M., & Feak, C. B. (2004). Ann Arbor, MI: University of Michigan Press.

【成績評価の方法と基準】

Preparation 10%
Classwork and Participation 20%
Note Taking and Reporting 20%
Collaborative Essays (3) 30%
Final Essay 20%

In principle, no more than three(3) absences per semester are allowed if they do not impact negatively on collaboration or participation.

Late submissions of assignments will be penalized 10% each day late.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork and homework on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)
S(90% and Above)

A(89~80%)

B(79~70%)

C(69~60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59% and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a portable device for connecting with the internet and Google Classroom. If a student has extenuating circumstances, please discuss them with the instructor. Devices must be able to connect with the internet, Google Docs, and upload to Google Classroom. These Apps should be installed prior to the start of class. Students will be sent a reminder with instructions before the first lesson.

【その他の重要事項】

Four classes will held asynchronously, particularly for submitting final essays. On that note, any signs of breaches of originality or integrity will be detected and need to be justified and corrected. Delays will incur the late submission penalty of 10% for each day.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

The primary objective of this class is to develop basic paragraph writing skills further. The course provides practice in writing, structuring, and ordering paragraphs in clear, communicative English. Students will compose annotated bibliographies, short essays, and reports and practice reviewing published academic works.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing I 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) and appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

【到達目標】

The student will be able to prepare a paragraph with the basic structure of a topic sentence (with Main Idea), supporting ideas and detail sentences.

Students will be able to communicate his/her thoughts, in written format, to an Academic audience. The course will cover paragraph development, grammar structures for different paragraph styles and paragraph organization.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will work in pairs or groups to develop paragraphs. In-class worksheets and homework assignments will check the student's understanding of the different paragraph styles. Videos of Academic presentations will be used to compare the similarities between written and oral presentations. All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction	Introductions Course overview Assessment Classroom Management
2.	Process Writing. Generative A.I.	Six Steps of Academic Writing. Using outlines. Using Generative A.I.
3.	Getting ready to write	Choosing a Topic Brainstorming Editing Describing a photograph

4.	Paragraph structure	Topic Sentence Supporting sentences Concluding sentence TOEIC Test 1
5.	Paragraph Development. Peer editing	Styles of support Detail, Explanation, Example. Give constructive feedback using on-line sharing.
6.	Descriptive Writing	Using Adjectives: describing people and places.
7.	Descriptive Paragraphs	Describing a process using connectors. Keeping ideas connected and in order
8.	TOEIC Test 2 Opinion Paragraphs.	Introduce opinion v.s. fact. Modal Auxiliary Verbs.
9.	Opinion Paragraphs	Convincing the reader. Causal Adverbs. Checking Punctuation.
10.	Compare and Contrast Paragraphs.	Comparative Structures.
11.	Advantages / Disadvantages.	Block vs. Point by Point organization. Trend Verbs.
12.	Problem / Solution Paragraphs.	Using Conditional Structures.
13.	Present a paragraph.	Identify the key features of a paragraph.
14.	Presentation Worksheet 2	Summarize paragraphs, Review Worksheet units 1 to 7. Wrap up.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Homework assignments writing different styles of paragraphs. Pre-reading of Text.

Worksheets related to Text.

All assignments are written in digital format and submitted via Google Classroom.

To assist in providing feedback, Google Docs format is preferred.

【テキスト (教科書)】

"Writing Essays: From Paragraph to Essay" by Dorothy E Zemach and Lisa A Ghulldu MACMILLAN Writing Series.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Homework writing Assignments:30%

Worksheet Assignments: 20%

Pair and Group Participation: 10%

Presentation: 10%

TOEIC Tests: 20%

Word Puzzles:10%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

2023: Incorporated use of AI text generators.

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are only acceptable in unusual situations. Students will be required to know their Hoesi Gmail account details and check it daily. Students may use voice recognition software and will use Generative Artificial Intelligence applications. Google Docs is the required format for submitting written assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Please download Google Classroom to your device before our first class. The "Course Code" will be advised via the Hoppii LMS.

【Outline (in English)】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. Among the methods used will be sharing & discussing your own work with class members, in pairs or small groups. This course will emphasize "Academic Writing as a Process." Students will learn the structure of Academic paragraphs, different paragraph styles (Opinion, comparison, description) appropriate formatting techniques and correct use of punctuation.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Academic Writing II 2017年度以降入学者

ALAN M NICHOLLS

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will enable the student to acquire and develop ACADEMIC ESSAY writing skills. This course will emphasize "writing as a process".

Students will learn the structure of Academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

【到達目標】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills for interview situations and written English tests (TOEIC/IELTS/TOFEL) where candidates have a limited time to prepare an essay. A final assignment will be a document suitable for submission as an academic essay. Students will use Generative Artificial Intelligence to generate an essay and then decompose the essay into its component parts.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Among the methods used will be sharing & discussing one's work with class members in pair work and small groups. Students will also practice using peer editing with online documents. In a final presentation, the student will demonstrate their understanding of the features of an academic essay.

All assignments will be distributed, submitted and returned to students digitally via Google Classroom. Written assignments will be returned with detailed comments on how students can improve their writing skills.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Introduction and review of Spring 2024.	Introduction Course Overview Assessment Classroom Management
2.	Thesis Statements	Greet New students. Voice recognition and Generative AI software. Introduce Thesis statements.

3.	Writing to communicate opinions or new ideas.	Prepare an Introduction with a Thesis.
4.	Using software to create an essay outline.	Introduction, body paragraphs, conclusion. The Waffle Puzzle
5.	Prepare and check Essay outline	Checking an Outline.
6.	Introduce the TOEIC Part 3 Writing Test.	TOEIC Writing test: What is it? What do examiners look for?
7.	Attempt the TOEIC Writing Test Part 3.	Attempt the TOEIC Test 3? Agree or Disagree? Prepare an outline with supporting ideas. Write an Essay.
8.	Cohesion in Essays	Linking the Body Paragraphs. Check everything is connected to the Thesis.
9.	Unity in Essays	Words and Expressions to connect ideas in Paragraphs.
10.	Introduce The TOEFL tests.	What is in the TOEFL Test? What do examiners want to see? Worksheet.
11.	TOEFL Test - In-class practice.	Take the TOEFL Test in-class. Review and discuss weak points.
12.	Introduce The TOEIC Writing Test.	The IELTS Test. - What is it? What are examiners looking for? Trend Verbs.
13.	The IELTS Test In Class practice.	What is the IELTS test? How to achieve a good score. Worksheet.
14.	Using citations for advanced writing.	Using Citations and Templates in Advanced Essays and Research documents.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around 2 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course.

Homework assignments will be set. There will also be short Worksheets based on material presented during lessons and the Text.

【テキスト (教科書)】

"Writing Essays from Paragraph to Essay" by D.E. Zemach and Lisa A Ghulldu, MACMILLIAN Writing Series.

【参考書】

To be advised

【成績評価の方法と基準】

Written Homework assignments: 30%

Classroom Worksheets: 20%

Pair and Group Participation: 20%

Writing Tests: 20%

Waffle Puzzle: 10%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

A device (Laptop or Tablet) that supports word processor software. Smartphones are only acceptable in unusual situations. Students will be required to know their Hoesi Gmail account details and check it daily. Students may use voice recognition software and will use Generative A.I. software. Google Docs is the preferred format for submitting assignments.

【その他の重要事項】

We will use Google “Classroom” to send, submit and record all assignments. Please download "Google Classroom" to your laptop or tablet at the start of semester. The Course Code will be advised via the Hoppii LMS announcements.

【Outline (in English)】

This course will enable the student to acquire and develop academic writing skills. This course will emphasize "writing as a process.

Students will learn the structure of academic ESSAYS using different paragraph styles and appropriate formatting techniques. Students will learn cohesion and unity in an essay and the use of essay outlines. Finally, students will prepare and present an academic style Essay.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- 一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- 様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。各適宜、グループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明をします。
第2回	A Life Without Plastic	記事を講読します。 プラなし生活を始めよう (前半)
第3回	A Life Without Plastic	記事を講読します。 プラなし生活を始めよう (後半)
第4回	Rwanda Is Winning War on Plastic Bags	記事を講読します。 ルワンダ発：ビニール袋は使えません (前半)

第5回 Rwanda Is Winning War on Plastic Bags

ルワンダ発：ビニール袋は使えません (後半)

記事を講読します。

第6回 An Epidemic of Overweight Africans

ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇 (前半)

記事を講読します。

第7回 An Epidemic of Overweight Africans

ケニア発：食糧難の国で肥満率が急上昇 (後半)

記事を講読します。

第8回 試験・まとめと解説 (中間)

第9回 West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside

タイ発：危険なりサイクル (前半)

記事を講読します。

第10回 West's Toxic E-Waste Despoils Thai Countryside

タイ発：危険なりサイクル (後半)

記事を講読します。

第11回 College Cheating, A Global Business

宿題はゴーストライターにお任せ (前半)

記事を講読します。

第12回 College Cheating, A Global Business

宿題はゴーストライターにお任せ (後半)

記事を講読します。

第13回 まとめ方を考察する

試験・まとめと解説 (期末)

記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。

第14回 試験・まとめと解説 (期末)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでくる必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト (教科書)】

・ニューヨークタイムズ世界見聞, 喜多留女/Keith Wesley ADAMS 編注, 英宝社. (2,100円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題 (20%)

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達するごとに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【その他の重要事項】

受講希望者が多数の場合、初回の授業時に選抜を行う可能性があります。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 20%, Exam 80%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ 2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

田中 邦佳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ニューヨークタイムズ紙の記事の読解をします。授業のテーマの1つ目は、難解な英文になると把握が難しくなる文の主部・述部など英語のセンテンスの文法的構造を理解することです。2つ目のテーマは、パラグラフ全体の内容を日本語にまとめて説明することです。1文ずつの内容の把握だけではなく、より長い単位で記事の内容を把握し、他の人に説明できるようになることが授業の目標となります。

【到達目標】

- ・一文が長い英文や複雑な構造の英文を読解する
- ・ある程度まとまった量の英文の内容を人に伝わるような日本語で説明する
- ・様々な分野で用いられる英語の語彙を増やす

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストは目安として2～3回の授業で1章分というペースで進めることを目標とします。1章毎に内容確認の小テストを実施する予定です。特に難解な文については解説を行います。一字一句全て訳していくようなことはしません。可能であればグループワークを行い、参加者が自ら語彙・フレーズ・文法について確認し、パラグラフの要旨のまとめ方、提示された課題について考察します。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。授業計画は授業の展開によって若干、変更する可能性があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction	授業の進め方、評価についての説明をします。
第2回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera	記事を読みます。
第3回	In China, Daydreaming Students Are Caught on Camera	記事を読みます。

第4回 Last Chance Travel' As the World Changes
失われゆく土地を指す旅 (前半)

記事を読みます。

第5回 Last Chance Travel' As the World Changes
失われゆく土地を指す旅 (後半)

記事を読みます。

第6回 Chinese Babies, Born Into Canadian Citizenship
カナダ発：出生地主義の土地に妊婦殺到 (前半)

記事を読みます。

第7回 Chinese Babies, Born Into Canadian Citizenship
カナダ発：出生地主義の土地に妊婦殺到 (後半)

記事を読みます。

第8回 試験・まとめと解説 (中間)

試験・まとめと解説

第9回 Human Contact Is Now a Luxury Good
タブレットの中で猫を飼う (前半)

記事を読みます。

第10回 Human Contact Is Now a Luxury Good
タブレットの中で猫を飼う (後半)

記事を読みます。

第11回 With Cloning, Pet Owners in China Need Never Say Goodbye
中国発：あなたのペット、クローンで蘇ります (前半)

記事を読みます。

第12回 With Cloning, Pet Owners in China Need Never Say Goodbye
中国発：あなたのペット、クローンで蘇ります (後半)

記事を読みます。

第13回 まとめ方を考察する

記事の内容をシンプルにまとめる方法を考察する。

第14回 試験・まとめと解説 (期末)

試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。具体的には、授業の前に予習として記事を読んでおく必要があります。わからない単語や表現があれば辞書などで調べることが必要です。また、記事で扱われている内容について馴染みがなければその分野について調べる必要があります。記事の内容について把握し、他の授業参加者と議論できる程度の予習が必要です。

【テキスト (教科書)】

・ニューヨークタイムズ世界見聞、喜多留女/Keith Wesley ADAMS 編注、英宝社。(2,100円+税)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

以下の配分で評価する。

試験(80%)

平常点および課題（20%）

欠席回数が通算4回に達した者は原則として単位取得の資格を失う。授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。遅刻の回数が3回に達することに1回の欠席とする。未予習で出席した場合、私語など授業に積極的に参加する姿勢がみられない場合、その日を欠席と同等の扱いとする。

【学生の意見等からの気づき】

単純な英文の読解からは達成感が得られにくいことがわかりました。英文の意味の把握を課題にするだけでなく、特に重点的に考えるべき項目を明示的に提示しようと考えています。

【Outline (in English)】

Course outline: The aim of this course is to help students improve skills for English reading comprehension and for summarizing the contents of paragraphs.

Learning Objectives: At the end of the course, students are expected to understand the contents and intentions of English articles and briefly explain contents of articles.

Learning activities outside of classroom: University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading Criteria /Policy: Class Assignments 60%, Final Assignment (exam) 40%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

根本 怜奈

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapter が3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 1	Going Viral
第3回	Chapter 2	Tourist Traps
第4回	Chapter 3	Deal Me In
第5回	Chapter 1 ~ Chapter 3 のまとめ	Chapter 1 ~ Chapter 3 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第6回	Chapter 4	Full Contact
第7回	Chapter 5	Fake News
第8回	Chapter 6	Dead as a Dodo
第9回	Chapter 7	It's a Dry Heat
第10回	Chapter 4 ~ Chapter 7 のまとめ	Chapter 4 ~ Chapter 7 の中のいずれかについて、ライティング
第11回	Chapter 8	Man's Best Friend
第12回	Chapter 9	The Wild West
第13回	Chapter 10	Man versus Beast
第14回	学期末課題	期末課題の提出と期末のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各Chapterの英文について、必ず予習をすること。適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000円 (税別))
配布プリントで授業を行うことがある。
英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。
授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内に出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各Chapterの本文は900words程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson.

Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル: 社会と文化の諸相を知る

根本 怜奈

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木2/Thu.2

単位数: 1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

現代社会の日常生活に関わる、「ネット文化」・「メディア」・「自然環境」・「テクノロジー」などをトピックとした英文を読み、英語の読解力を身につける。テキストで扱われているトピックについて、自分の意見や考えをまとめ、基本的な英語で表現する。

【到達目標】

1. テキストの英文を読解し、関連する練習問題を解くことにより、英文の読解力、語彙力を高めることを目指す。
2. テキストの練習問題を通して、文法力を高めることを目指す。
3. テキストのリスニング問題を通して、リスニング力を高めることを目指す。
4. テキストの英文について自身の考えや意見をまとめ、基本的な英語で表現する力を身につけることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進める。英文を読んだ後に、テキストの練習問題を通して全体の内容を確認し、英文についての理解を深める。適宜小テストを実施するので、予習と復習をしっかりとすることが望まれる。Chapterが3つか4つ終わるごとに、ライティング演習を行う。自分が興味を持ったトピックについて基本的な英語でライティングし、提出する。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定である。適宜授業内でもフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要と方法の説明 必要であれば、受講者の選抜をする
第2回	Chapter 11	A Perfect World
第3回	Chapter 12	Modern Frankenstein
第4回	Chapter 13	Tinted Lenses
第5回	Chapter 11 ~ Chapter 13 のまとめ	Chapter 11 ~ Chapter 13 の中のいずれかについて、ライティングと授業内発表
第6回	Chapter 14	Get Well Soon
第7回	Chapter 15	The Need for Speed
第8回	Chapter 16	Time Travel
第9回	Chapter 17	The Great Unknown
第10回	Chapter 14 ~ Chapter 17 のまとめ	Chapter 14 ~ Chapter 17 の中のいずれかについて、ライティング
第11回	Chapter 18	The Endgame
第12回	Chapter 19	Heads Up
第13回	Chapter 20	Destination Mars
第14回	学期末課題	期末課題の提出と期末のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各Chapterの英文について、必ず予習をすること。適宜小テストを実施するので、復習もしっかりすること。語彙ノートを作成し、単語・熟語の定着を目指す。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

Getting Ready to Change the World (『グローバル時代を生き抜く変革への視点』) (François de Soete 他著、成美堂、2,000円 (税別)) 配布プリントで授業を行うことがある。英和・和英辞書を持参すること。

【参考書】

英和・和英辞書 (電子辞書でも紙媒体でも可)

【成績評価の方法と基準】

期末課題 (50%)、授業態度・授業内に課した課題 (ライティング課題の提出を重視) や小テストと各回のコメントを含む平常点 (50%) によって総合的に評価する。

4回以上欠席した場合は、成績評価の対象にならない。

授業開始から30分以上の遅刻は欠席となる。遅刻2回は欠席1回分としてカウントする。

スマートフォンの不適切な使用や居眠りなど、授業中の不適切な態度によっては、減点もしくは程度により、出席していても出席と認めない場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

英作文のクラス内発表を通して、クラスメイトの意見や発表の仕方を参考にしよう促す。英作文や小テストなどの課題において、テキスト内ですでに出てきた語彙や表現の使用・応用を呼びかけることで予習・復習の時間をしっかりとるよう促す。授業内でのスマートフォンの使用は原則教員が使用を許可した場合のみとする。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システム

【その他の重要事項】

授業形態のオンラインか対面かは、状況に応じて変わる可能性があります。その際は、予め「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示します。また、授業の初回にて、授業日用の課題や宿題についての詳細な「授業計画」を「学習支援システム」の「お知らせ」に掲示するので、必ず初回の授業時に確認をしてください。オンライン授業を取り入れている分、自分で計画的に予習や復習、課題を行う必要があります。各Chapterの本文は900words程で、それを基本的に自力で読み解きます。課題の締め切りや提出条件を守ること、自主的な学習への姿勢が求められます。その点を考慮した上で受講を決めてください。受講者数に応じて選抜を行う可能性があります。受講を希望する場合は、必ず初回の授業の指示に従い、「学習支援システム」の「課題」ページから必要な課題を提出してください。春学期の初回の授業時に所定の課題が提出されない場合は、原則受講できません。

【Outline (in English)】

This course is held based on the textbook. The flow of the class is reading the sentence, explaining the sentence, answering some questions and making comments about the sentence. Mini test is held to review every lesson. Some of the objectives of the course are:

1. Increase vocabulary
2. Improve grammatical skill
3. Improve listening skill
4. Learn to express your own opinions.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook and completed the required assignment. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Final grading will be decided based on the following:

Term-end examination (50%),

Class participation including in-class attitude, assignment, and mini test (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

萩原 真一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにし、さらに向上させることを目標とします。

授業は4技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)の学習を中心にを行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3分程度のBBC(英国放送協会)の映像ニュースから15本精選され、それぞれにUnderstanding CheckやMaking a Summaryなどの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中にDVDを視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Upの設問を活用してスピーキングの能力を養成します。

また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が100点満点に換算した成績評価の基準点において60点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Unit 1 "Paying Respects to the Queen"[国民に愛された女王の葬儀] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第2回	Unit 1 "Paying Respects to the Queen" ②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第3回	Unit 2 "The London Olympic Park Today"[オリンピックの遺産を未来へ] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第4回	Unit 2 "The London Olympic Park Today" ②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第5回	Unit 3 "Prescriptions for Healthy Food"[野菜の処方箋!?] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第6回	Unit 3 "Prescriptions for Healthy Food" ②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第7回	中間的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。
第8回	Unit 4 "Nurses on Strike"[看護師たちのストライキ] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第9回	Unit 4 "Nurses on Strike" ②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第10回	Unit 5 "Sustainable Antarctic Cruises"[南極クルーズで科学研究に貢献!?] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第11回	Unit 5 "Sustainable Antarctic Cruises" ②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第12回	Unit 6 "The Wheelchair Rugby League World Cup"[車いすラグビーのワールドカップ] ①	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第13回	Unit 6 "The Wheelchair Rugby League World Cup" ②	内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第14回	全体的な総括・試験	主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

Timothy Knowles 他編著『British News Update 6—映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース6』(金星堂、2024) 2800円(税別)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

中間試験(45点)と期末試験(45点)を実施し、学期末に課す英語小エッセー(10点)を勘案した上で、100点満点に換算した基準点を割り出し、60点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器(パソコン、スマホ、iPad等)

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ 2017年度以降入学者

サブタイトル：社会と文化の諸相を知る

萩原 眞一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

大学生として必要とされる標準的な英語力を堅固なものにしながら、さらに向上させることを目標とします。

授業は4技能 (リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング) の学習を中心にを行います。春学期と秋学期のリーディング、リスニングおよびスピーキングの教科書としては、3分程度のBBC (英国放送協会) の映像ニュースから15本精選され、それぞれにUnderstanding CheckやMaking a Summaryなどの設問が付けられた形式のものを使用します。毎回授業中にDVDを視聴してもらい、母語話者が自然に話す英語に数多く触れてもらうことによって、リーディングとリスニングの能力の向上を図ります。適宜、Follow Upの設問を活用してスピーキングの能力を養成します。

また、春学期・秋学期を通じて、人文科学系の論文を書く上で役立つ表現法を習得してもらい、ライティングの能力の涵養も目指します。

【到達目標】

学生が教科書の英文記事および付属問題を容易に聴解できること。学生が教科書の英文記事を、パラグラフと文の構造に留意しながら、正確に読解できること。最終的には学生が100点満点に換算した成績評価の基準点において60点以上を獲得できること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎授業、講義と演習を繰り返します。適宜、課題を出して遂行度を点検し、必要に応じて指導します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Unit 7 "Rescue of an Ancient Tavern"	DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、[中世の建築物の存続はいかに] ①
第2回	Unit 7 "Rescue of an Ancient Tavern"	② 内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。
第3回	Unit 8 "A New Treatment for Alzheimer's"	[アルツハイマー病の新薬が登場] ① DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。
第4回	Unit 8 "A New Treatment for Alzheimer's"	② 内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第5回 Unit 9 "Liverpool's Slavery Heritage" [真の歴史を見据える都市リヴァプール]

①

第6回 Unit 9 "Liverpool's Slavery Heritage" ② 内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第7回 中間的な総括・試験 主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。

第8回 Unit 10 "New Businesses in Sunderland" [起業で目指すサンダーランドの町おこし] ① DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第9回 Unit 10 "New Businesses in Sunderland" ② 内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第10回 Unit 11 "Brexit: How Do We Feel Now?" [EU離脱後の市民の葛藤] ① DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第11回 Unit 11 "Brexit: How Do We Feel Now?" ② 内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第12回 Unit 12 "Genomes of All Life in the British Isles" [すべての生物のゲノムの解析を!] ① DVDを活用してNews Storyの聴解と読解を確実なものとし、語彙変化とアクセントを確認し単語力の増強を図ります。

第13回 Unit 12 "Genomes of All Life in the British Isles" ② 内容理解と文法力をチェックする演習問題を解きます。英語で書き話す練習を行います。

第14回 全体的な総括・試験 主に教科書に準拠した試験を実施し、聴解力・読解力・文法力・語彙力・作文力の到達度を測定します。まとめと解説を行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

次回に行われる授業範囲を予習してください。授業中に強調した重要事項は必ず復習してください。適宜、課題を出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Timothy Knowles他編著『British News Update 6—映像で学ぶイギリス公共放送の最新ニュース6』(金星堂、2024年) 2800円 (税別)

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

中間試験 (45点) と期末試験 (45点) を実施し、学期末に課す英語小エッセー (10点) を勘案した上で、100点満点に換算した基準点を割り出し、60点以上を獲得した場合、合格とします。小エッセーに関しては初回授業などで説明します。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

直近の授業アンケートを踏まえながら、分かりやすい授業を行なうよう心がけます。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムを利用するための機器 (パソコン、スマホ、iPad等)

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to encourage participants to develop their reading, listening, and speaking abilities by use of the interesting news given by the British Broadcasting Corporation. Participants can view the videos accessible online, gain an insight into the life and culture of Britain, and speak on various subject matters. This course also aims to improve participants' academic writing skill they will be asked to acquire as undergraduates.

By the end of the course, participants are expected to view the videos easily, comprehend the text accurately, and write in English their short essays in clear paragraphs.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Grading will be decided based on mid-term examination (45%), term-end examination (45%), and short essay (10%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

余田 剛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】

この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的技能を身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The Japan News, Newsweek, The Guardian を扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約してもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。

予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明 (選抜試験を行う場合もある。選抜を行う場合は選択必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。)
2	リスニング演習 + 記事1の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan Newsのアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読

3	リスニング演習 + 記事1の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan Newsのアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読
4	リスニング演習 + 記事1の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan Newsのアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読
5	リスニング演習 + 記事1の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Japan Newsのアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読
6	リスニング演習 + 記事2の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweekのアメリカに関する記事の序論部講読
7	リスニング演習 + 記事2の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweekのアメリカに関する記事の本論前半部講読
8	リスニング演習 + 記事2の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweekのアメリカに関する記事の本論後半部講読
9	リスニング演習 + 記事2の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweekのアメリカに関する記事の結論部講読
10	リスニング演習 + 記事3の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardianのイギリスに関する記事の序論部講読
11	リスニング演習 + 記事3の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardianのイギリスに関する記事の本論前半部講読
12	リスニング演習 + 記事3の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardianのイギリスに関する記事の本論後半部講読
13	リスニング演習 + 記事3の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardianのイギリスに関する記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかりと読んでくること。

【テキスト (教科書)】

資料を配布する。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験の成績 (60%) と平常点 (40%) とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習時間において、週30分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中であて際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたと思います。

【Outline (in English)】

· This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed. The aim of this course is to help students improve English reading and listening skills, deepen the knowledge about political and other aspects of modern society in various countries, and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

· Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant paragraphs from the designated articles. Required study time is at least one hour for each class meeting.

· Final grade will be decided based on term-end examination (60%) and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

余田 剛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

英米の新聞、雑誌、テレビのニュースなどのメディアの英語に触れながら、英語の語学の学習をすることをテーマとする。法学部国際政治学科生への推奨科目であるため、政治問題を中心的に扱うが、趣旨に賛同できる場合は他学部・他学科の学生も歓迎する。

【到達目標】

この授業では、政治情勢をはじめとし、その他、世界各国における現代社会の様々な問題についての基礎知識を獲得し、より多くの一般的な語彙・語法とさらに高校レベルまでではなかなか出てこないような英語圏でよく使われる口語などの表現方法を覚え、使っているようで意外と有効に使えていない辞書の引き方やその他資料の集め方に関する基本的なスキルを身につけ、ニュースの概要をつかめる程の基本的なリスニング力を獲得し、そして今後につなげることを考えると最も大事な点であるが、辞書やその他必要な情報源を粘り強くそして適切に参照しながら、文字と音声によるより複雑な情報も自力で丁寧に理解しようとする、あらゆる分野の専門的研究を行う際に重要であると思われる態度を身につけることができることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Newsweek, The Guardian, The New York Timesを扱う予定であるが、最新の記事をその都度選ぶため、授業計画に記した、メディアの種類、順番、記事の内容については変わる可能性がある。精読を重視するため進み方は遅い。授業では、1パラグラフ程のまとまりで区切り、担当者に訳読、あるいは、要約をしてもらい、その後、確認が必要な場合は語彙、語法、フレーズなどについてこちらから質問をする。そのため受講者は十分予習をしておく必要がある。また、授業内の一定時間を用いて、ニュースなどの音声教材を使ったリスニングの演習を行う。

予習を課題とし、問題や訳し方の解答や解説をフィードバックとして口頭で示す。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容の概要を説明 (選抜試験を行う場合もある。選抜を行う場合は選択必修科目として履修する国際政治学科生を優先します。)
2	リスニング演習 + 記事1の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweekのアジアあるいは中東に関する記事の序論部講読

3	リスニング演習 + 記事1の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweekのアジアあるいは中東に関する記事の本論前半部講読
4	リスニング演習 + 記事1の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweekのアジアあるいは中東に関する記事の本論後半部講読
5	リスニング演習 + 記事1の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + Newsweekのアジアあるいは中東に関する記事の結論部講読
6	リスニング演習 + 記事2の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardianのイギリスに関する記事の序論部講読
7	リスニング演習 + 記事2の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardianのイギリスに関する記事の本論前半部講読
8	リスニング演習 + 記事2の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardianのイギリスに関する記事の本論後半部講読
9	リスニング演習 + 記事2の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The Guardianのイギリスに関する記事の結論部講読
10	リスニング演習 + 記事3の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Timesのアメリカに関する記事の序論部講読
11	リスニング演習 + 記事3の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Timesのアメリカに関する記事の本論前半部講読
12	リスニング演習 + 記事3の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Timesのアメリカに関する記事の本論後半部講読
13	リスニング演習 + 記事3の講読	CNNなどメディアのニュースを題材としたリスニング問題演習 + The New York Timesのアメリカに関する記事の結論部講読
14	試験	授業で扱った内容を範囲とした授業内試験あるいはレポート、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。辞書を使って記事をしっかりと読んでくること。

【テキスト (教科書)】

資料を配布する。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

試験の成績 (60%) と平常点 (40%) とから総合的に評価する。欠席が4回に達した者は単位取得の資格を失う。遅刻は3回に達するごとに1回の欠席とカウントする。また、授業開始のチャイムから30分以降の遅刻は欠席と見なす。午前中の授業でもあることから、交通機関の遅れに注意し、時間には余裕を持って来ること。

【学生の意見等からの気づき】

授業時間外の学習時間において、週30分未満の割合が平均に比べ高く、予習のどこがどのように不十分であるかを授業中あてた際一人一人に具体的に指示したり、リスニングが自習できるような教材やインターネットのサイトを紹介することで、自習時間を増やす働きかけを心掛けたいと思います。

【Outline (in English)】

· This course teaches English using newspaper articles, magazine stories, and television programs, etc. The main thematic focus is on political issues, because this is a recommended course for the Law Faculty's Department of Global Politics. However, other students who are interested in these issues are also welcomed. The aim of this course is to help students improve English reading and listening skills, deepen the knowledge about political and other aspects of modern society in various countries, and acquire the habit of showing a diligent attitude toward more complex written or spoken information while trying to deal with what seems difficult for them to understand by referring to dictionaries or other necessary sources.

· Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant paragraphs from the designated articles. Required study time is at least one hour for each class meeting.

· Final grade will be decided based on term-end examination (60%) and in-class contribution (40%). In principle, four and more absences will not be permitted per semester to receive academic credit for the course. Students 30 minutes or more late will be considered absent. If they will come late three times, they will be considered absent one time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化 I 2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り広げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書くを総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして文化、また人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会、そして文化について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部: Lesson Aでは、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部: Lesson Bでは、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、第3部として、第1部、第2部で学習した事柄をまとめ、更にリサーチを進め、TED talkに関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

[第1部]

第2週 Topic: Interdisciplinary

第5週 Topic: Business/ Leadership

第8週 Topic: Life Science

第11週 Topic: Sociology/ Fashion

[第2部]

第3週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第6週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第9週 : TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第12週 : TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

[第3部]

第4週 : TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

第7週 : TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

第10週 : TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

第13週 : TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	What is TED?
第2週	Unit 1: Life Changes	Lesson A Topic:Interdisciplinary Reading Skills: Understanding sequence words,... etc.
第3週	Unit 1: Life Changes	TED TALK by Matt Cutts Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,...etc.
第4週	Unit 1: Life Changes	Check sheet summarizing and stating opinions
第5週	Unit 2: Team Power	Lesson A Topic:Business Leadership Reading Skills: Identifying main ideas in paragraphs,...etc.
第6週	Unit 2: Team Power	TED TALK by Tom Wujec Lesson B Academic Skills: Understanding stages in a process, ...etc.
第7週	Unit 2: Team Power	Check sheet summarizing and stating opinions
第8週	Unit 3: Ocean Wonders	Lesson A Topic: Life Science Reading Skills: Identifying purpose/referents
第9週	Unit 3: Ocean Wonders	TED TALK by David Gallo Lesson B Academic Skills:Understanding main ideas and key details,... etc.
第10週	Unit 3: Ocean Wonders	Check sheet summarizing and stating opinions

第11週	Unit 4: What We Wear	Lesson A Topic:Sociology/ Fashion Reading Skills: Making connections/ Understanding a process	・ develop creative and critical thinking skills ・ effectively express their opinions on current issues [Learning activities outside of classroom] Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.
第12週	Unit 4: What We Wear	TED TALK by Jessi Arrington Lesson B Academic Skills: Recognizing point of view	University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria /Policy] Grading criteria for this course will be based on the following: Class participation: 40% (Class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%
第13週	Unit 4: What We Wear	Check sheet summarizing and stating opinions	In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.
第14週	final test	final test	

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED talkについての予備知識を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheetに記入しておく。

復習：扱ったTED talkの要約をし、checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED talk関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。以下が授業で扱うTED talkです。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Matt Cutts : Try Something New for 30 days

https://www.ted.com/talks/matt_cutts_try_something_new_for_30_days?language=ja

TED TALK by Tom Wujec : Build a Tower

https://www.ted.com/talks/tom_wujec_build_a_tower?language=ja

TED TALK by David Gallo: Underwater Astonishments

https://www.ted.com/talks/david_gallo_shows_underwater_astonishments/transcript

TED TALK by Jessi Arrington : Wearing Nothing New

https://www.ted.com/talks/jessi_arrington_wearing_nothing_new?language=ja

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、配布資料

【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

英語を用いる場をなるべく多く設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Hoppii.

[Overall Objectives]

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand English sentences without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a paragraph
- ・ develop global and cross-cultural awareness

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語で学ぶ社会と文化Ⅱ

2017年度以降入学者

サブタイトル：マスメディアで読む世界情勢

金谷 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期同様本授業では、TED TALKSのプレゼンテーションで繰り上げられた種々の独創的なアイデアに触れつつ、英語の4技能：読み、聴き、話し、書く—を総合的に身につけることを目標とします。グローバル化によって、ヒトやモノがますます流動的になっていくなか、世界中で様々な人々が独自の視点で現代社会を捉えて、自らの置かれた社会、そして人生と取り組んでいることを知ることは非常に重要です。本授業では、TED TALKSの英語のプレゼンテーションを聞き、理解を試みることによって英語コミュニケーションについての基本的な事柄の習得を目指す一方で、それぞれのプレゼンテーションの論理の組み立て方、独創性、着眼点について確認しつつ、受講者自らが現代社会について自分なりの考察を進めてゆくことを促します。

【到達目標】

- ・まとまった長さの英文の論理展開を正確に把握すること
- ・複雑な構文や語句を理解すること
- ・英文パラグラフの構造を読解を通じて学び、その知識を生かして、みずから論理的な文章が書けるようになること
- ・英語の音声を聴いて、必要な情報を得ること
- ・さまざまな意見を英語で理解し、それに対する自分の考えを英語で表現すること
- ・沢山の人の独自の考えを聞いて、世界のありようについて自分なりの見解を持つようになること

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各トピックについてそれぞれを3部構成とします。第1部では、扱われたトピックについての基礎知識、読解についての重要な技術(Reading Skills)について学びます。第2部では、実際にTED TALKの発表を聴き、またそのscriptを読んで、プレゼンテーションの概要や詳しい内容についての理解がなされたかを確認します。また、セメスター終盤には、第3部として、学習したトピックをひとつ選び、更にリサーチを進め、TEDでの発表に関する自分の考えを英語で表現する場を設けます。

受講者は第1部から第3部を通しての学習事項をチェックシートに書き、トピック毎に提出し、フィードバックを受けます。

【第1部】

第2週 Topic: Architecture and Design

第5週 Topic: Communication/ Sociology

第8週 Topic: Visual Arts/ Sociology

【第2部】

第3週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

第6週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

第9週 : TED TALK by Candy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【第3部】

第4週 : TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

第7週 : TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral
https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

第10週 : TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

第11週~13週 : Your favorite TED Talk

<https://www.ted.com/>

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1週	Introduction	授業の進め方についての説明 目標の確認
第2週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Topic:Architecture and Design Lesson A Reading Skills: Organizing supporting details,... etc.
第3週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Lesson B: Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第4週	Unit6: Building Solutions	TED Talk by Iwan Baan Expressing ideas on the topic
第5週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Topic:Communication/ Sociology Lesson A Reading Skills: Scanning for numbers,...etc.
第6週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Lesson B Academic Skills: Understanding main ideas,summarizing ideas using a concept map,...etc.
第7週	Unit 7: Roads to Fame	TED Talk by Kevin Allocca Expressing ideas on the topic
第8週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson A Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第9週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Lesson B Topic:Visual Arts / Sociology Reading Skills: Understanding a paragraph's purpose
第10週	Unit 9: Community Voices	TED TALK by Candy Chang Expressing ideas on the topic
第11週	Your favorite TED talk	Finding your favorite TED talk.

第12週	Your favorite TED talk	The Summary of the talk
第13週	Your favorite TED talk	Your own idea on the talk
第14週	期末テスト	final test

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

準備学習：学生は、各Unitで扱うTED talkについての予備知識（テキストに記載）を得るためにテキストを予習し、知らなかった語彙、表現、難しい文章などを特定し、checksheetに記入しておく。

復習：扱ったTED talkの要約をし、checksheetに記入した事項を習得することができたか、確認する。

宿題：授業で扱ったTED talk関連で、適宜、授業時に示される課題を提出する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。以下が授業で扱うTED talkです。予習復習する際に聴いて下さい。

TED TALK by Iwan Baan : Ingenious Homes in Unexpected Places

https://www.ted.com/talks/iwan_baan_ingenious_homes_in_unexpected_places?language=ja

TED TALK by Kevin Allocca: Why Videos Go Viral

https://www.ted.com/talks/kevin_allocca_why_videos_go_viral?language=ja

TED TALK by Cindy Chang: Before I die, I want to ...

https://www.ted.com/talks/candy_chang_before_i_die_i_want_to?language=ja

【テキスト（教科書）】

TED TALKS 21st Century Reading 1 (Cengage Learning), ISBN 978-1-305-26459-5

その他、資料配布

【参考書】

<https://www.ted.com>

その他、授業中に適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

評価基準：授業参加度（授業内での発言および unit quiz）40%、課題30%、期末テスト30%

4回以上の欠席で単位取得資格は失われます。3回遅刻あるいは早退すると、1回欠席としてカウントされます。30分以上の遅刻は欠席とみなされます。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく多く英語を使う場を設けます。

【Outline (in English)】

This course is designed to increase the students' ability to develop their overall English Language skills while learning about specific topics of TED Talks. Students are expected to improve their reading/listening skills as well as to broaden their understanding of current issues.

* This course will be conducted using Hoppii.

[Overall Objectives]

To help students

- ・ increase vocabulary
- ・ improve their reading/listening comprehension skills
- ・ understand English sentences without translating into Japanese
- ・ identify main ideas
- ・ clarify the structure of a paragraph
- ・ develop global and cross-cultural awareness
- ・ develop creative and critical thinking skills
- ・ effectively express their opinions on current issues

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to participate in the class fully prepared, having completed the vocabulary preview, listening, reading or writing tasks assigned the previous week.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

[Grading Criteria /Policy]

Grading criteria for this course will be based on the following:
Class participation: 40% (Class activities + Unit quizzes) / assignment : 30 % / Final test: 30%

In principle, no more than 3 absences will be permitted per semester for the student to receive academic credit in the course.

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200)</p> <p>英語で学ぶ社会と文化 I 2017年度以降入学者</p> <p>サブタイトル：社会と文化の諸相を知る</p> <p>大曲 陽子</p> <p>開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3 単位数：1単位 レベル2,3 定員制 (36) その他属性：〈優〉</p>	<p>2</p>	<p>Chapter 2 Fan Fiction, Cosplay, and Rock Balancing The World's Most Unusual Hobbies</p>	<p>授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Question for Understanding Part 1</p>						
<p>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、 構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、 今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多 岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的 とする。 6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。</p>	<p>3</p>	<p>Chapter 2 Fan Fiction, Cosplay, and Rock Balancing The World's Most Unusual Hobbies</p>	<p>本文内容の確認 テキスト後半 Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。 授業動画配信オンデマンド型</p>						
<p>【到達目標】 タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要と する情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リー ディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけ でなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人 たちと対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけ でなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教 養などを身に着けることも目指す。</p>	<p>4</p>	<p>Chapter 3 It's All a Part of the Game The Ethics of Sport</p>	<p>Chapter 2 語彙小テスト Useful Words Question for Understanding Part 1</p>						
<p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国 際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部 ：DP1</p>	<p>5</p>	<p>Chapter 3 It's All a Part of the Game The Ethics of Sport</p>	<p>本文内容の確認 テキスト後半 Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。 授業動画配信オンデマンド型</p>						
<p>【授業の進め方と方法】 本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業（授業 動画を配信するオンデマンド型）とする。 ほぼ2回の授業で1つのChapterを学習する。1回目の授業（授業動 画配信オンデマンド型）では先ず宿題として授業当該日前までに各 自記事を読んでTF内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画 を配信するオンデマンド 授業を視聴して、指定の締め切り日までに Hoppiiを通して課題を提出する。2回目の授業（対面）では、全員 が内容に目を通して自分の考えをまとめる。</p>	<p>6</p>	<p>Chapter 4 I'm Bored How Boredom Can Be Good for Us</p>	<p>Useful Words Question for Understanding Part 1</p>						
<p>Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。 授業で取り上げるChapterは以下の6つとする Chapter 2, 3, 4, 7, 9, 10 前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、 後半の授業ではexerciseを解きながら精読する。 適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。 課題等に対するフィードバック方法 毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時は Hoppiiを通して指定の締め切り日までに提出し、それはHoppiiを 通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時 に返却される。 小テストは採点返却される。</p>	<p>7</p>	<p>Chapter 4 I'm Bored How Boredom Can Be Good for Us</p>	<p>本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 3 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。 授業動画配信オンデマンド型</p>						
<p>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】 あり / Yes</p>	<p>8</p>	<p>Chapter 7 Creator or Created? Social Media and Narcissism</p>	<p>Useful Words Question for Understanding Part 1</p>						
<p>【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】 なし / No</p>	<p>9</p>	<p>Chapter 7 Creator or Created? Social Media and Narcissism</p>	<p>本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 4 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。 授業動画配信オンデマンド型</p>						
<p>【授業計画】 授業形態：対面/face to face</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>テーマ</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>ガイダンス 履修者の決定</td> <td>ここで履修者を決定するので、 履修希望者は必ず初回アンケー トに回答してLMSを通して提出 すること。</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	ガイダンス 履修者の決定	ここで履修者を決定するので、 履修希望者は必ず初回アンケー トに回答してLMSを通して提出 すること。	<p>10</p>	<p>Chapter 9 Not Just a Flu Shot How Vaccines Have Changed Our Lives ?</p>	<p>Useful Words Question for Understanding Part 1</p>
回	テーマ	内容							
1	ガイダンス 履修者の決定	ここで履修者を決定するので、 履修希望者は必ず初回アンケー トに回答してLMSを通して提出 すること。							
	<p>11</p>	<p>Chapter 9 Not Just a Flu Shot How Vaccines Have Changed Our Lives ?</p>	<p>本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 7 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。 授業動画配信オンデマンド型</p>						
	<p>12</p>	<p>Chapter 10 Bad Air The Hidden Dangers of Air Pollution</p>	<p>Useful Words Question for Understanding Part 1</p>						
	<p>13</p>	<p>Chapter 10 Bad Air The Hidden Dangers of Air Pollution</p>	<p>本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 9 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。</p>						

14 これまでのまとめと これまでのまとめ
 期末試験 期末試験

term-end examination 50%

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 /University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

授業動画配信オンデマンド授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各 Chapter の Useful Words を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿ったTF問題に真剣に取り組む。(Useful Words, TFは採点する。)本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容を大まかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解に関しての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

Grand Tour New Discoveries 新たな時代への冒険
 Anthony Sellick 他著
 成美堂 2200円（税込み）

【参考書】

特になし。
 辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1点×10問＝10点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。
 課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声スマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。
 担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

classroom quiz 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)		2	Chapter 12 Bought and Sold Who Owns Life ?	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Question for Understanding Part 1
英語で学ぶ社会と文化Ⅱ 2017年度以降入学者		3	Chapter 12 Bought and Sold Who Owns Life ?	本文内容の確認 テキスト後半 Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。 授業動画配信オンデマンド型
サブタイトル：社会と文化の諸相を知る		4	Chapter 13 The High Price of Poverty What is the Poverty Premium ?	Useful Words Question for Understanding Part 1
大曲 陽子		5	Chapter 13 The High Price of Poverty What is the Poverty Premium ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 12 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月3/Mon.3		6	Chapter 15 The Cost of Learning What Is Education Worth ?	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Question for Understanding Part 1
単位数：1単位		7	Chapter 15 The Cost of Learning What Is Education Worth ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 13 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
レベル2,3		8	Chapter 17 How to Change the World ? Peaceful Protest	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Question for Understanding Part 1
定員制 (36)		9	Chapter 17 How to Change the World ? Peaceful Protest	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 15 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
その他属性：〈優〉		10	Chapter 18 It's My Right How Do We Balance Competing Rights ?	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Question for Understanding Part 1
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】		11	Chapter 18 It's My Right How Do We Balance Competing Rights ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 17 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
複数のパラグラフから成る記事を題材として、パラグラフの構造や、 構文や文法などの知識を強化することを目的とする。それと同時に、 今社会を取り巻くメディアと娯楽、環境保護問題や文化、などの多 岐にわたるトピックを通して世界情勢への理解を深めることを目的 とする。		12	Chapter 20 Anime, Disney, and Democracy What Is Soft Power ?	授業動画配信オンデマンド型 Useful Words Question for Understanding Part 1
6回のオンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。		13	Chapter 20 Anime, Disney, and Democracy What Is Soft Power ?	本文内容の確認 テキスト後半 Chapter 18 語彙小テスト Question for Understanding Part 2, プリント教材、Over to You 主にグループワークで行う。
【到達目標】				
タイムリーなトピックを取り上げ、速読、精読などを通して、必要と する情報を効果的に読み取るスキルを学習する。リスニング、リー ディング、ライティング学習を通して、英語資格試験などのためだけ でなく、変化する社会情勢を的確に把握し、異なる意見を持つ人 たちと対等に渡り合える英語力を身に付けていく。高い英語力だけ でなく、批判的な視点の持ち方、自分の意見の持ち方及び歴史や教 養などを身に着けることも目指す。				
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針 に明示された学習成果との関連)】				
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学 部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国 際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部 ：DP1				
【授業の進め方と方法】				
本授業は全14回中8回を対面型授業、6回をオンライン授業 (授業 動画を配信するオンデマンド型) とする。				
ほぼ2回の授業で1つのChapterを学習する。1回目の授業 (授業動 画配信オンデマンド型) では先ず宿題として授業当該日前までに各 自記事を読んでTF内容問題に取り組み準備する。その後、授業動画 を配信するオンデマンド授業を視聴して、指定の締め切り日までに Hoppiiを通して課題を提出する。2回目の授業 (対面) では、全員 が内容に目を通していることを前提に問題演習を行い、教員が配布 する記事を読んで自分の考えをまとめる。				
Unit 一つ終了ごとに語彙の小テストを行う。				
授業で取り上げるChapterは以下の6つとする				
Chapter 12, 13, 15, 17, 18, 20				
前半は速読を中心に大意をつかむためのリーディングスキルを学び、 後半の授業ではexerciseを解きながら精読する。				
適時グループワークを行い意見をまとめる課題がある。				
課題等に対するフィードバック方法				
毎週課題の提出があるので、授業動画配信オンデマンド型の時は Hoppiiを通して指定の締め切り日までに提出し、それはHoppiiを 通して返却される。対面授業の課題はその都度提出し、次回授業時 に返却される。				
小テストは採点返却される。				
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】				
あり / Yes				
【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】				
なし / No				
【授業計画】 授業形態：対面/face to face				
回	テーマ	内容		
1	Warming Up	ここで履修者を決定する時事問 題プリント教材		

14	これまでのまとめと 期末試験	Unit 20 語彙小テスト これまでのまとめ 期末試験
----	-------------------	------------------------------------

classroom quiz 30%
term-end examination 50%

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
授業動画配信オンデマンド授業時には各自本文テキストを十分に読み込む。各 Chapter の Useful Words を必ず学習し、語彙の確認を徹底する。本文内容に沿ったTF問題に真剣に取り組む。(Useful Words, TFは採点する。)本文を読み込む際、未知の語彙があれば調べておく。対面授業時では、内容をだまかにわかっていることを前提として授業を行い、内容理解に関しての課題をこなすので、オンライン授業の学習時間をきちんと確保した上で対面授業に臨むこと。

【テキスト（教科書）】

Grand Tour New Discoveries 新たな時代への冒険
Anthony Sellick 他著
成美堂 2200円（税込み）

【参考書】

特になし。
辞書必携

【成績評価の方法と基準】

授業課題の提出

●授業動画配信オンデマンド授業時 課題提出 10%・・・Key Vocabulary 及び True or False は採点する。1点×10問＝10点 (Answer Sheet の空欄が全て解答されていることを条件とする)

●対面時 授業内課題提出 10%

●対面時小テスト 10点×5回分 50点 30%

●期末試験 50%

*欠席4回以上で、単位の修得は認められない。

*オンライン授業の出欠規定・・・毎回 Answer Sheet の回答欄が全て記載されている（空欄の内容全て解答している）、及び毎回指定された課題提出締め切り日までに必ず提出されていて、その回を「出席」とする。

【学生の意見等からの気づき】

トピックに関連したプリントを配布する。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマートフォン使用。

課題にリスニングが含まれるので、教科書のQRコードから音声をスマートフォンにダウンロードして聞くことになる。

【その他の重要事項】

欠席は3回までとする。

オンライン授業は授業動画を配信するオンデマンド型とする。
担当教員に質問などの連絡がある場合は、LMS の質問を利用するか、または以下のアドレスにメールで連絡をください。

yohko.ohmagari.3n@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

The aim of this course is help students acquire an understanding the international situation, an environmental problem, natural disasters, culture and so on through the essays.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire high English proficiency, critical thinking and social skills through listening, reading, writing and speaking.

【Learning activities and outside of classroom】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Before each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content and have read the relevant chapter and completed the assignments.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

submission assignments 10%

class contribution 10%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement. You will have many opportunities to express your thoughts in a concise and logical manner. You will try various ways to make your opinions more persuasive.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentations using easy editing software on your phone or PC to share with the class. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation	An explanation of the class requirements. We will get to know each other.
2	First presentation: "How to..."	Teach us how to do something better. Look at examples. Generate ideas and select topics.
3	Developing your work	Show your ideas and make an outline. Basic presentation structure.
4	Developing your work	Revise and practise. Body language and gestures -examples and practise.
5	Final practise	Combine all the elements and review your speech. Make changes after feedback from classmates and teacher.
6	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
7	Second presentation: SWOT analysis	A SWOT analysis. What is it? Look at examples. Generate ideas and select topics
8	Developing your work:	A SWOT analysis. Show your first research and organise. Voicework - how to vary your voice to make your words have more impact.
9	Developing your work:	Show us your presentation draft and practise. Turn your draft into notecards. Asking and answering questions during a presentation.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates.
11	Third Presentation: Pechakucha	What is a pechakucha presentation? Explanation and examples. Topic planning.
12	Developing your work:	Practise. Speaking to time limits and on the spot transitions.
13	Final practise	Review and practise.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class.

University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト (教科書)】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the Pechakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students wanted more time to prepare presentations.

【学生が準備すべき機器他】

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

We will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline (in English)】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II 2017年度以降入学者

NADER Jamelea

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course will help students to improve their ability to make presentations in English. Students will increase their confidence in English communication through researching, talking, reading, writing and presenting about a variety of personal, academic, business and cultural topics. Students will choose their presentation topics according to their own interests. Students will focus in particular on developing and explaining their topics in a clear and engaging manner. Students will make three presentations of about 5-10 minutes.

【到達目標】

You will become a better presenter. You will improve your ability to communicate in front of a group, including topic selection, generating ideas, organising, collecting supporting information, visual communication, consideration of your voice, and movement.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

In this class, you will work in pairs, small groups and individually. You will research and collect information for your topics outside of class. You will organize and arrange your ideas, and prepare visual materials (using PowerPoint or poster paper) to accompany your presentation. Preparation is vital to participate fully and get the most from class time. In class, you will explain your research and ideas. This will enable you to become familiar with your topic and less reliant on a script. Additionally, you will have chances to find the points of interest that need more development, and the places in your work that need further re-thinking and reorganisation. You will also practise a number of important academic skills through listening and note-taking of your own and classmates' topics. These include identifying the key points, re-organising ideas, summarising and reconstructing partner's talks from your notes as well as giving critical feedback. You may be asked to prepare discussion questions related to your topic, and of course, must be ready to answer questions from the audience about your own work. Teacher feedback will be given in the class and online as necessary. Please come to class ready to participate actively and positively. You may sometimes record your presentation using easy editing software on your phone or PC to share with the class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation and a review of the Spring Semester. First presentation: "Inspired by a movie"	A cultural or social theme picked from a movie For example. "The Lego Movie" - a comparison of the education systems of Denmark and Japan. The role of propaganda in Vietnam War movies "The Devil wears Prada" - Karoshi - is work /life balance really possible? Discussing ideas and topic selection.
2	Developing your work	Sharing research. Making outlines and considering some rhetorical techniques such as the rule of 3 and repetition.
3	Developing your work	Sharing research. Using rhetorical techniques. Review of voice techniques.
4	Final practise	Making discussion questions. Practise and make changes after feedback from classmates and teacher.
5	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
6	Second presentation: Something I've learned that you should know	What knowledge have you gained in your university life that you think other people would benefit from knowing? generating ideas
7	Developing your work	Considering different narratives styles. Sharing ideas.
8	Developing your work	Sharing your ideas and using props in a speech.
9	Final practise	Practise your speech using a prop.
10	Presentation	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.
11	Third Presentation: A persuasive speech	A speech about something you feel strongly about. Make us believe how correct and important your opinion is.
12	Developing your work:	Adding passion and emotion to your words. Speaking with your whole body - examples and practise.
13	Final practise	Looking again at body language and voice.
14	Presentation & Semester review	Perform your presentation. Watch and review classmates. Self evaluation.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to find their own research materials, write presentations and prepare visual materials including Keynote or PowerPoint slides. Students will be asked to watch some speeches and share their impressions in class. University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course

【テキスト (教科書)】

The above may change. Activities may change according to class size, students' interests and abilities. There is no textbook.

【参考書】

Recommended places to watch presentation examples are; the peckakucha, TED and Jack Petchey Foundation websites.

【成績評価の方法と基準】

In-class performance* and participation 25%

Presentations 45%

Self evaluation 10%

Outside class preparation 20%

*Please remember university policy permits a maximum of 3 absences per semester.

【学生の意見等からの気づき】

Students requested more computer presentations.

【学生が準備すべき機器他】

The classes will be conducted face-to-face. If, however, there is a need to conduct one or more classes online, students will require access to zoom.

We will use Google Classroom for all class information, assignments and so on. You will need to use colour pens, large poster paper, slide making software such as PowerPoint or Keynote. You will need to access your smartphone, tablet, or PC to watch presentation examples and do quick research in class. You will need an English dictionary.

【その他の重要事項】

Please come to class ready to participate actively and positively.

【Outline (in English)】

Make your speeches and presentations better.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I 2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will be able to prepare and make effective presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course	Review syllabus and textbook Introduction
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give Self introduction
3	Unit 1 A good friend (Pages 8-11)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 1 A good friend (Pages 12-15)	- Organizing ideas - Adding impact techniques
5	Unit 1 A good friend (Pages 16-17)	- Developing presentation techniques
6	Unit 1 A good friend (Pages 18-19)	Presentation "A good friend"
7	Unit 2 A favorite place (Pages 20-23)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 2 A favorite place (Pages 24-27)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 2 A favorite place (Pages 28-29)	- Developing presentation techniques
10	Unit 2 A favorite place (Pages 30-31)	Presentation - "My Favorite Place"
11	Unit 3 A prized Possession (Pages 32-37)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas

12	Unit 3 A prized possession (Pages 38-41)	- Adding impact - Developing presentation
13	Unit 3 A prized possession (Pages 42-42)	Presentation - "My Prized Possession"
14	Make-up Presentations / Course Review	Finalize spring semester course

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

Students will be evaluated on two components:

- Presentations - 75% (Unit 1, 2 and 3 presentations are required.)
- Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【Outline (in English)】

Students will develop confidence in their public speaking abilities.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II

2017年度以降入学者

JOHN REILLY

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course teaches presentation skills through watching presentations, learning presentation techniques and making presentations on different topics.

【到達目標】

Students will be able to prepare and make effective presentations.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Class activities will include individual work, group work and discussions. Students will be required to prepare presentation material outside of classes. Students will compare class assignment answers in pairs or small groups after which the instructor will provide the correct answers.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Introduction	Review syllabus and textbook.
2	Getting ready (Pages 2-7)	Give self introduction presentation
3	Unit 4 A memorable experience (Pages 44-47)	- Exploring the topic - Focusing on language
4	Unit 4 A memorable experience (Pages 48-51)	- Organizing ideas - Adding impact
5	Unit 4 A memorable experience (Pages 52-53)	- Developing presentation techniques
6	Unit 4 A memorable experience (Pages 54-55)	Presentation: "My Memorable Experience"
7	Unit 5 I'll show you how (Pages 56-59)	- Exploring the topic - Focusing on language
8	Unit 5 I'll show you how (Pages 61-63)	- Organizing ideas - Adding impact
9	Unit 5 I'll show you how (Pages 64-65)	- Developing presentation

10	Unit 5 I'll show you how (Pages 66-67)	Presentation: "How to _____"
11	Unit 6 Screen magic (Pages 68-73)	- Exploring the topic - Focusing on language - Organizing ideas
12	Unit 6 Screen magic (Pages 73-77)	- Adding impact - Developing presentation techniques
13	Unit 6 Screen magic (Pages 78-79)	Presentation: "Movie or TV Show Review"
14	Make-up Presentations / Course Review	Finalize fall semester course

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students will be expected to prepare for classes by reviewing the next pages in the textbook and completing some assignments.

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Present Yourself 1 Experiences, Second Edition (Steven Gershon, Cambridge University Press)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

- Presentations - 75% (Unit 4, 5 and 6 presentations are required.)
- Class participation - 25%

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Student input and feedback is encouraged.

【Outline (in English)】

Students will develop confidence in their public speaking abilities.

LANe200LA (英語 / English language education 200)		2	2. Text pgs. 13-14, 15-17, 18-22 HW/informative speech (pg. 17) with visuals, posture, eye contact, gestures	Watch sample presentation DVD.	
English Presentation I 2017年度以降入学者		3	3. Performance of informative speech HW/text pgs. 23-24, 28-29	Speech performance and feedback.	
コートランド・デイビッド・スミス		4	4. Text pgs. 30-38 HW/demonstration speech (pg. 38) with visuals, posture, eye contact, gestures, voice inflection	Demonstration speech.	
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月3/Mon.3 単位数：1単位 レベル4 定員制 (24) 必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE. その他属性：〈グ〉〈優〉		5	5. Performance of demonstration speech HW/text pgs. 39-46	Student speech performances.	
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.		6	6. Text pgs. 47-48, pgs. 51-55 HW/country comparison (pgs. 49 & 56)	Prepare for country comparison speech.	
【到達目標】 This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.		7	7. Performance of country comparison HW/pgs. 57-59	Student speeches.	
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1		8	8. Text pgs. 60-67 HW/speech introduction (pg. 67)	Focus on speech introduction.	
【授業の進め方と方法】 The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email. Instructor will provide feedback during class or by email		9	9. Performance of speech introduction HW/text pgs. 68-72	Speech introduction performances.	
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 なし / No		10	10. Text pgs. 73-85 HW/speech body (pg. 86)	Focus on speech body.	
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No		11	11. Performance of speech body HW/text pgs. 87-94 conclusion (pg. 95)	Student performances of speech body.	
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		12	12. Presentation of conclusion HW/final presentation (pg. 99 steps 1,2,3)	Focus on speech conclusion.	
回	テーマ	内容			
1	1. Introductions	Talk about spring break. HW/text pgs. 4-12	Getting started.		
			13	Final presentations HW/None	Prepare and perform final presentations
			14	Final presentations	End of term evaluation
				【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.	
				【テキスト (教科書)】 Speaking of Speech Level 2 Charles LeBeau MacMillan Education ISBN978-4-7773-6515-9 C3082	
				【参考書】 Students will use online resources to research and prepare their presentations.	
				【成績評価の方法と基準】 Presentations (50%) Class participation (40%) Final presentation (10%)	

*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason—serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

<p>LANe200LA (英語 / English language education 200)</p> <p>English Presentation II 2017年度以降入学者</p> <p>コートランド・デイビッド・スミス</p> <p>開講時期：秋学期授業/Fall 曜日・時限：月3/Mon.3 単位数：1単位 レベル4 定員制 (24)</p> <p>必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.</p> <p>その他属性：〈グ〉〈優〉</p> <p>【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 This course is designed primarily to improve students' presentation skills and thereby to develop their integrative English language proficiency. In spring the goal is to acquire basic presentations skills, including how to organize a presentation, supporting arguments with evidence, effective use of visual aids, and aspects of delivery such as eye contact or gesture. In the fall semester, students will focus on persuasive/argumentative presentations on topics of contemporary concern. Students base their presentations on the basic patterns taught and learn to speak from notes. The class is conducted in English.</p> <p>【到達目標】 The goal of this course is to enable students to make effective presentations on a variety of topics. Students will learn to confidently deliver multimedia informative/descriptive speeches, as well as comparative, demonstrative and argumentative/persuasive presentations. Students will also learn to evaluate the quality and content of others' presentations, to take notes on presentation content, and to provide detailed feedback to help presenters to improve their presentation technique.</p> <p>【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1</p> <p>【授業の進め方と方法】 The content of the class will consist of practicing presentation techniques and delivering presentations. If time permits, there will be some discussion of the presentation topics. The fall semester of this course will concentrate on the preparation and delivery of persuasive, argumentative and rhetorical speeches. Student assignments will be reviewed during class time or submitted to instructor for evaluation by email. Instructor will provide feedback during class or by email.</p> <p>【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 なし / No</p> <p>【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし / No</p> <p>【授業計画】 授業形態：対面/face to face</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">回</th> <th style="text-align: left;">テーマ</th> <th style="text-align: left;">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation</td> <td>Warm up presentation.</td> </tr> </tbody> </table>	回	テーマ	内容	1	1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation	Warm up presentation.	<table border="0" style="width: 100%;"> <tbody> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 65%;">2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2</td> <td style="width: 30%;">Students deliver their summer vacation presentations.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3</td> <td>3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1</td> <td>Read background information and answer questions.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">4</td> <td>4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2</td> <td>Delivery of speeches.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td>5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2</td> <td>Read background information and answer questions.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td>6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2</td> <td>Delivery of student speeches.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">7</td> <td>7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3</td> <td>Read background information and answer questions.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td>8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2</td> <td>Delivery of student speeches.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">9</td> <td>9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4</td> <td>Read background information and answer questions.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">10</td> <td>10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2</td> <td>Delivery of student speeches.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">11</td> <td>11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5</td> <td>Read background information and answer questions.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">12</td> <td>12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2</td> <td>Delivery of student speeches.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13</td> <td>13. Complete handout reading HW/prepare final presentations</td> <td>Prepare for final presentations.</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">14</td> <td>14. Final presentation</td> <td>Final performance, summary and evaluation.</td> </tr> </tbody> </table> <p>【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 University guidelines suggest preparation and review are around 4 hours a week for a two-credit course and around an hour a week for a one-credit course. Students will research and prepare their presentations before scheduled classes.</p> <p>【テキスト (教科書)】 Speaking of Speech Level 2 Charles LeBeau MacMillan Education ISBN978-4-7773-6515-9 C3082</p> <p>【参考書】 Students will make use of a variety of online resources in the research and preparation of their speeches.</p> <p>【成績評価の方法と基準】 Presentations (50%) Class participation (40%) Final presentation (10%)</p>	2	2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2	Students deliver their summer vacation presentations.	3	3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1	Read background information and answer questions.	4	4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2	Delivery of speeches.	5	5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2	Read background information and answer questions.	6	6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.	7	7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3	Read background information and answer questions.	8	8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.	9	9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4	Read background information and answer questions.	10	10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.	11	11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5	Read background information and answer questions.	12	12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.	13	13. Complete handout reading HW/prepare final presentations	Prepare for final presentations.	14	14. Final presentation	Final performance, summary and evaluation.
回	テーマ	内容																																												
1	1. Summer vacation HW/prepare speech on summer vacation	Warm up presentation.																																												
2	2. Presentations on summer vacation HW/read handout parts 1&2	Students deliver their summer vacation presentations.																																												
3	3. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 1	Read background information and answer questions.																																												
4	4. Presentations on topic 1 and discussion HW/read handout parts 1&2	Delivery of speeches.																																												
5	5. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 2	Read background information and answer questions.																																												
6	6. Presentations on topic 2 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.																																												
7	7. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 3	Read background information and answer questions.																																												
8	8. Presentations on topic 3 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.																																												
9	9. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 4	Read background information and answer questions.																																												
10	10. Presentations on topic 4 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.																																												
11	11. Complete handout reading HW/prepare presentation on topic 5	Read background information and answer questions.																																												
12	12. Presentations on topic 5 HW/read handout parts 1&2	Delivery of student speeches.																																												
13	13. Complete handout reading HW/prepare final presentations	Prepare for final presentations.																																												
14	14. Final presentation	Final performance, summary and evaluation.																																												

*Students will be expected to attend a minimum of 80% of all classes in order to get credit for this course. This means that you can be absent no more than three times.

Three late arrivals are counted as one absence (up to 29 min.). More than 45 minutes late without a good reason will be counted as absent. Students who are absent or late for a good reason—serious train delays, injury, illness, etc. should provide some evidence to instructor.

【学生の意見等からの気づき】

None.

【学生が準備すべき機器他】

None.

【その他の重要事項】

Contact Email: smith.courtland.sc@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

Students will prepare and deliver presentations during class time.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation I 2017年度以降入学者

DANIEL G DUSZA

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will learn various types of presentations and be given guidelines to create individual presentations and analyze one another's presentations.

Production skills include structure, organization, use of color and design, and how to discuss data in tables and graphs.

【到達目標】

This class aims to equip learners with the confidence and basic ability to deliver effective presentations in English. Students will be able to present various genre of information from personal to technical, pictorial to statistical, and describe graphs and tables. This course will help learners become familiar with a number of presentation types and build confidence speaking in front of others. By the end of this course, students will have been introduced to delivering collaborative, group, and individual presentations of posters, web pages, and presentation slides. Through these various forms of presentation, students will develop their ability to listen to and judge presentations and provide feedback to peers."

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English and will cover units from selected textbooks, and use published open source articles for analysis and case studies. In general, communicative approaches will be used, because collaboration is essential in achieving presentation success. Students will use discussions, reading of assigned, and individual materials to gather and communicate knowledge through presentations. Collaborative presentation is essential in most of the course. Collaborative partners are not restricted to students in the class but include outside sources, Internet sources, and AI. Therefore, academic integrity is an underlying foundation in this course. Students will be provided with feedback throughout the presentation preparation process, and engaging with that feedback will be the key to success in this course, and the future.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1	Orientation - Introduc- tion	Presenting ideas to others for sharing and building knowledge
Week-2	Collaboration-1	Group Presentation on a selected issue
Week-3	Individual presentation to small groups 10%	Students present their collaborative presentation to other groups. Report what they learned

Week-4	Collaborative presentation-2	Make a group presentation considering visuals and colors
Week-5	Individual presentation to small groups 10%	Students present their collaborative presentation to other groups. Report what they learned
Week-6	Poster Presentation	Collaborate on poster project.
Week-7	Present Poster to small groups (10%)	Make a virtual poster and present. Report on other groups' works
Week-8	Poster Presentation	Collaborate on a poster project.
Week-9	Present Poster using Augmented reality (10%)	Make a virtual poster and present. Report on other groups works.
Week-10	Presenting Data	Learn how to present various kinds of graphs for business.
Week-11	Presenting Class Data	Students will present a student survey completed in class.
Week-12	Main Group Presentation Prep	Presentation about presentation. Choosing 5 points from Susan Weinschenk's presentation book.
Week-13	Main Group Presentation Practice	Practice presenting in their group.
Week-14	Live Group Presentation (20%)	each group will present before the class. Reflections will be graded with the presentation

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Since this is a one-credit course, university guidelines suggest an hour of preparation each week. Students will use this time to prepare for each lesson, where they will be required to share, discuss, and write what they have learned before and during the class. Any work not completed in class will need to be finished beyond the classroom. There are a total of three minor assignments and one major assignment at the end of the course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is required to be purchased as readings will be provided in the syllabus.

【参考書】

Weinschenk, S. (2012). 100 things every presenter needs to know about people. New Riders

【成績評価の方法と基準】

Preparation 10%
Classwork and Participation 20%
Note Taking and Reporting 20%
Collaborative Essays (3) 30%
Final Essay 20%

In principle, no more than three(3) absences per semester are allowed if they do not impact negatively on collaboration or participation.

Late submissions of assignments will be penalized 10% each day late.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork and homework on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(90% and Above)

A(89~80%)

B(79~70%)

C(69~60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59% and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a portable device for connecting with the internet and Google Classroom. If a student has extenuating circumstances, please discuss them with the instructor. Devices must be able to connect with the internet, Google Docs, and upload to Google Classroom. These Apps should be installed prior to the start of class. Students will be sent a reminder with instructions before the first lesson.

【その他の重要事項】

Up to four classes may be held online, and these two could be asynchronous due to the nature of presenting with technology. On that note, any signs of breaches of originality or integrity will be detected and need to be justified and corrected. Delays will incur a late submission penalty of 10% for each day.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will learn various types of presentations and be given guidelines to create individual presentations and analyze one another's presentations.

Production skills include structure, organization, use of color and design, and how to discuss data in tables and graphs.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English Presentation II 2017年度以降入学者

DANIEL G DUSZA

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

レベル4

定員制 (24)

必要とされる英語能力基準は、TOEFL® ITP 430以上、または他の英語能力試験の同等以上のスコア。TOEFL® ITP 430 or other equivalent English score are required. / GBP・SCOPE生は履修しない。No enrollment for students of GBP・SCOPE.

その他属性：〈グ〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Students will practice and deliver various types of presentations and be given guidelines that they will use in creating their own presentations and analyze one another's presentations. In the second term, presentations will also include technology and other forms of presentation that extend the skills students developed in the first semester.

Production skills include structure, organization, use of color and design, and how to discuss data in tables and graphs.

Presentation skills include delivery, signposting, strategies for memorizing, engaging the audience, and how to conduct a discussion and Q&A.

【到達目標】

This course further develops the skills learned in the first semester. The course aims to develop learners' confidence and professional ability to deliver effective presentations in English. Students will be able to present various information genres, from personal to technical, pictorial to statistical, and describe graphs and tables. By the end of this course, students will have gained experience in delivering collaborative, group, and individual presentations of posters, web pages, presentation slides, and posters synchronously and asynchronously to small and large audiences. Through these various forms of presentation, students will perfect their ability to listen to and judge presentations and provide feedback to peers.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Classes will be conducted in English and will cover units from selected textbooks, and use published open source articles for analysis and case studies. In general, communicative approaches will be used because collaboration is essential in achieving presentation success. Students will use discussions, reading of assigned, and individual materials to gather and communicate knowledge through presentations. Collaborative presentation is essential in most of the course. Collaborative partners are not restricted to students in the class but include outside sources, Internet sources, and AI. Therefore, academic integrity is an underlying foundation in this course. Students will be provided feedback throughout the presentation preparation process, and engaging with that feedback will be the key to success in this course and the future.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week-1	Overview and Introduction	Review syllabi and what we have learned so far.
	Review of Semester-1	

Week-2	Collaborative Project Part-1	Making a Promotional Presentation Elements of Marketing
Week-3	Collaborative Project Part-2	Using AI for graphics and information
Week-4	Collaborative Project Part-3	How to reference borrowed content.
Week-5	Collaborative Project Part-4 10%	VR/Prerecorded presentation
Week-6	Global Issues Descriptive Presentation-1	Collaborative presentation about a global issue.
Week-7	Global Issues Descriptive Presentation (10%)	Students present to small groups and report what they have learned
Week-8	Global Issues Statistical Presentation-2	Collaborative presentation about a global issue.
Week-9	Global Issues Statistical Presentation (10%)	Students present to small groups and report what they have learned.
Week-10	Global Issues Debate Presentation-3	Collaborative presentation about a global issue.
Week-11	Global Issues Debate Presentation (10%)	Students present to small groups and report what they have learned.
Week-12	Making people interact during your presentation	Study about presentation psychology. (Weinschenk)
Week-13	Incorporate psychology into a premade presentation	Small Preparation for final presentation.
Week-14	Final Presentation and review (20%)	Students present and interact with each presentation, then write and submit a review for assessment.

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Since this is a one-credit course, university guidelines suggest an hour of preparation each week. Students will use this time to prepare for each lesson, where they will be required to share, discuss, and write what they have learned before and during the class. Any work not completed in class will need to be finished beyond the classroom. There are a total of three minor assignments and one major assignment at the end of the course.

【テキスト (教科書)】

No textbook is required to be purchased as readings will be provided in the syllabus.

【参考書】

1. Presentation Zen: Simple ideas on presentation design and delivery. Reynolds, G. (2011). New Riders.
2. Slide:ology - The art and science of creating great presentations. Duarte, N. (2008). Sebastapol: O'Reilly Media.

【成績評価の方法と基準】

Preparation 10%
Classwork and Participation 20%
Note Taking and Reporting 20%
Collaborative Essays (3) 30%
Final Essay 20%

In principle, no more than three(3) absences per semester are allowed if they do not impact negatively on collaboration or participation.

Late submissions of assignments will be penalized 10% each day late.

You can expect a satisfactory grade if you complete all the classwork and homework on time.

Passing Grade Thresholds (Credit is awarded)

S(90% and Above)

A(89~80%)

B(79~70%)

C(69~60%)

Non-passing Grades (no credit awarded)

D(59% and below)

E(Incomplete)

【学生の意見等からの気づき】

None

【学生が準備すべき機器他】

Students should bring a portable device for connecting with the internet and Google Classroom. If a student has extenuating circumstances, please discuss them with the instructor. Devices must be able to connect with the internet, Google Docs, and upload to Google Classroom. These Apps should be installed prior to the start of class. Students will be sent a reminder with instructions before the first lesson.

【その他の重要事項】

Up to four classes may be held online, and these two could be asynchronous due to the nature of presenting with technology. On that note, any signs of breaches of originality or integrity will be detected and need to be justified and corrected. Delays will incur a late submission penalty of 10% for each day.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

Students will practice and deliver various types of presentations and be given guidelines that they will use in creating their own presentations and analyze one another's presentations. In the second term, presentations will also include technology and other forms of presentation that extend the skills students developed in the first semester.

Production skills include structure, organization, use of color and design, and how to discuss data in tables and graphs.

Presentation skills include delivery, signposting, strategies for memorizing, engaging the audience, and how to conduct a discussion and Q&A.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語アカデミック・リーディング 2017年度以降入学者
I

岩崎 博

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

論理的な英文を読む喜びを感じることを目指します。その目標達成のために、パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みを実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う興味深いエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

【到達目標】

パラグラフリーディングの技術を習得する。
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
コンテキストを正しく捉える力を養う。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
辞書が活用できるようになる。
英語の論文を効率的に読み解くことができるようになる。
クリティカル・リーディングの重要性を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習を中心に授業を行います。各パラグラフの内容を詳細に考察しますので、授業はかなりゆっくりと進んでいきます。一回の授業で扱うのはテキスト1ページほどです。授業では、学生がパラグラフの和訳、要約、または内容の説明を行い、それについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。フィードバックに関しては、学生が発表するたびに教師がコメントを出し、さらにそのコメントについてクラスで話し合います。学期末試験の答案に解説・コメントをつけて返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	授業に関する説明の後、パラグラフの構造について理解します。
2	Session 1 What a Painting Can Tell Us 本エッセイの展望	筆者は絵画に隠された物語を読み解いていきます。筆者は絵の中にどんな物語を読み込むのでしょうか？ このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。

3	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフを理解し、トピックセンテンスを見つける	パラグラフが主題文、指示文、結論文から成ることを理解し、実際の英文の中でその構造を確認します。これを理解した上で、トピックセンテンスを見つけ、それが何故トピックセンテンスなのか、自分の言葉で説明します。
4	Session 1 What a Painting Can Tell Us パラグラフリーディングの実践	トピックセンテンスと支持文の関連性を考え、それを自分の言葉で表現します。 What a Painting Can Tell Us に関して自分の意見を発表し、クラスで話し合います。
5	Session 2 Split-Brain Research 本エッセイの展望	右脳・左脳の機能の違いを世に知らしめた、有名な事例を紹介する論文を読みます。右脳と左脳の機能の違いに、言語がどのように関わっているのでしょうか？ このエッセイでは、学生はパラグラフのトピックに留意しつつ英文和訳を行います。実験の模様を図解するイラストを参照しながら、実験の手順を記述する文章を正確に読む練習をします。
6	Session 2 Split-Brain Research イラストを頼りに実験の記述を読む	図と英語の記述を対応させることによって、視覚情報が左右の脳にどのように伝わるのかを理解します。
7	Session 2 Split-Brain Research イラストと記述を照応させる	実験の結果に関する記述が、具体的に実験の何を指し示すのかを理解します。抽象的な記述を具体的に理解し説明する読みを実践します。
8	Session 2 Split-Brain Research 記述内容を具体的に読む	ある文が意味をなすということ、文脈を理解することには他ならないことを学習します。また、言語が左右の脳の機能の違いにどんな影響を及ぼしているのか理解します。
9	Session 2 Split-Brain Research 文脈をたどる	Split-Brain Research に関する意見を発表し、クラスで話し合います。 Session 9 では、言語の変化生成に関する仮説を扱う論文を読みます。言語は原初の形を痕跡として残しつつ絶えず変化し続けること、人間には言語を生み出す普遍的能力があることを学びます。子供は言語の生成・変化にどんな形で関わってきたのでしょうか？ このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。
10	Session 9 On Speaking on Speaking 本エッセイの展望	言語が絶えず変化していることを学びます。パラグラフにおける旧情報と新情報を識別し、パラグラフ間のつながりを考察します。
11	Session 9 On Speaking on Speaking 言語の生成変化	

12	Session 9 On Speaking on Speaking 言語の生成変化(様態・担い手)	言語はどのように変化するのか、また誰がそれを担うのかを学びます。 トピックセンテンスの言い換えの文から、パラグラフ全体の主張をより具体的に理解できることを学びます。 itの指示内容を識別する方法を学習します。
13	Session 9 On Speaking on Speaking のまとめ 春学期学習内容の総括	On Speaking on Speaking について各自の意見を発表します。 春学期に学習した内容で重要な箇所を振り返り、教師が学生からの質問に答えます。
14	学期末試験・解答	学期末試験を行います。試験後、解答・解説を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 予習は、テキストの指定箇所（1ページほど）を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。
 復習は、授業で扱った内容を確認し理解した上で、最低5回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるように準備します。

【テキスト（教科書）】

『The Universe of English』東京大学英語教室編（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、試験60パーセントの比率で評価します。
 授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。
 一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていきます。
 4回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。
 オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

【学生の意見等からの気づき】

できるだけ学生の発表を中心にして、授業を進行していきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

教師と学生の対話を通して、適度に楽しくて為になる双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it.
 The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them.
 Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class.
 The final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語アカデミック・リーディング 2017年度以降入学者
II

岩崎 博

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

論理的な英文を読む喜びを感じることを目指します。その目標達成のために、パラグラフの論理的な構造に目を向け、その趣旨を的確につかむことによって、英文を正確に読みこなす能力を養います。授業では、トピックセンテンスを中心に、パラグラフの内容を理解する読みを実践します。美術、科学、文化、言語、環境、歴史など様々な分野を扱う興味深いエッセイを読み解くことによって、新しい視点、刺激的な世界観に触れてください。

【到達目標】

パラグラフリーディングの技術を習得する。
パラグラフの内容を正確に理解し、それを口頭で表現できるようになる。
パラグラフのトピックとそれを詳述する細部との関係を理解する。
コンテキストを正しく捉える力を養う。
抽象的な表現を具体的に理解する読み方を身につける。
辞書が活用できるようになる。
英語の論文を効率的に読み解くことができるようになる。
クリティカル・リーディングの重要性を理解する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

演習を中心に授業を行います。各パラグラフの内容を詳細に考察しますので、授業はかなりゆっくりと進んでいきます。一回の授業で扱うのはテキスト1ページほどです。授業では、学生がパラグラフの和訳、要約、または内容の説明を行い、それについてみんなで話し合います。不明な点や問題点があれば、全員で話し合い、できるだけ自分たちの力で解決していきます。また、各論文を読み終わった後、それに関する意見を発表しクラス全体で議論します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	授業の説明	パラグラフの構造を理解します。
2	Session 17 Ecology 本エッセイの展望	エコロジーの入門書のエッセイを読みます。コンパクトながら、エコロジーの定義から始まり、生物圏の区分、食物連鎖、生物濃縮、生態遷移などに言及し、エコロジーの最も重要な分野をわかりやすく解説しています。また、生態学的知識を吸収することによって、現在我々を取り巻く環境問題を考えたいと思っています。
3	Session 17 Ecology 概念を定義するタイプのパラグラフ	エコロジーという概念の定義を行うパラグラフを読み、エコロジーとは何なのかを考察します。

4	Session 17 Ecology 抽象と具体	エコロジーという概念 (抽象) とそれが示す具体像の間を行き来しつつ、エコロジーに対する理解を深めます。
5	Session 17 Ecology エコロジーが扱う領域の外観	生態系・食物連鎖・生物濃縮・生体遷移とは何か、具体例を通して学びます。
6	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land 本エッセイの展望	ディズニーランドの人気の理由を論じるエッセイを読みます。混沌とするアメリカ社会においてディズニーランドがどんな価値観を体現し、どんな役割を果たしているのか考察します。このエッセイでは、学生は各パラグラフの内容を要約します。
7	ession 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランド人気の理由	ディズニーランドの人気を支える倫理観、歴史観、哲学を考察します。
8	Session 11 Disneyland: America's Sacred Land ディズニーランドの神話的意義	ディズニーランドが単なるテーマパークにとどまらず、旧約聖書に登場する「約束の土地」であるという筆者の主張を考察します。
9	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 本エッセイの展望	コロンブスが歴史上の偉人から、アメリカを侵略し破壊した悪人に評価が変わった理由を考察する論文を読みます。どうしてコロンブスは英雄から世紀の大悪人になってしまったのか、果たしてコロンブスを糾弾する者たちの真の意図とは何か? 歴史とは何かを考えさせる実にスリリングなエッセイです。このセッションでは、学生は各パラグラフの内容を自分の言葉で説明していきます。
10	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy クロノジカルな記述の視点	歴史的記述における視点の重要性考えます。主格関係と目的格関係を表す前置詞ofの用法を学び、名詞句の中に主語+述部動詞、あるいは主語+述部動詞+目的語と似た構造が存在することを学習します。
11	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 歴史とは何か	コロンブスの評価が英雄から人類最悪の男に凋落した理由として筆者が援用する歴史観について考察します。筆者が提示した理論を「アメリカ発見」の歴史に当てはめると何が読みとれるのか考えます。
12	Session 18 Columbus: From Hero to Fall Guy 反コロンブス神話とは	コロンブス以前のアメリカが理想郷として描き出されている現状の背後に隠された意図を考えます。
13	SSession 18 Columbus: From Hero to Fall Guy コロンブスとは何なのか	コロンブスが「歴史的コマ」として、現代の政治ゲームの中でどのように利用されているか、具体的記述の中で理解します。「発見」された側がコロンブスを世紀の大悪人だと糾弾する本当の理由が明かされます。クラス全体でエッセイの問題点を指摘し、その内容を批判的に論じます。

14 試験日 秋学期試験を行う。まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習は、テキストの指定箇所（1ページほど）を読み、パラグラフごとに簡単なメモを作成し、それを見ながら内容の要約・説明ができるようにします。特にトピックセンテンスと論証部分の関係性を自分の言葉で説明できるように準備します。

復習は、授業で扱った内容を確認し理解した上で、最低5回は読み返します。各エッセイを読み終えた後、自分の意見を発表できるように準備します。

【テキスト（教科書）】

東京大学英語教室編『The Universe of English』（東京大学出版会）

【参考書】

なし。

【成績評価の方法と基準】

授業参加40パーセント、試験60パーセントの比率で評価します。授業参加点は事前に指示された課題の発表の回数によって決まります。

一度休むごとに平常点から2点ずつ引いていきます。

4回以上欠席の場合は、原則として単位修得を認めません。

オンライン授業では、課題の提出を持って出席とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生が話し合っって問題を解決する機会を増やします。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を持っている人は電子辞書を持参してください。

【その他の重要事項】

できるだけ教師と学生の対話を通して、知的に楽しくて為になる、双方向の授業を目指したいと思っています。みなさんの積極的な参加、質問、発言を期待しています。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve reading skills by understanding the basic logical structure of a paragraph in academic essays. Students will learn what kinds of connection a topic sentence and its supporting details make in each paragraph and describe what they have understood about it.

The goal of this course is for students to be able to read and understand academic articles correctly, and also to be able to express their critical views on them.

Students are expected to spend one hour reading assigned paragraphs of an article before the class and reviewing what they have learned after the class.

The final grade will be decided based on class-participation 40 % and term-end examination 60 %.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEICの頻出テーマを扱ったテキストを使用し、語彙、英語表現、文法を学びながら総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語 (Englishes) の発音に慣れます
- ・英語の文章を速く正確に読む力をつけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの各unitはlisteningとreadingの二つのパートから成り立っています。一回の授業で一つのパートを扱います。前半はlisteningです。語彙の確認をしてからlistening問題に取り組みます。ペアあるいはグループで答え合わせをし、その後クラス全体で間違えた箇所を確認しながら、英語表現、文法の確認をします。後半はreadingです。問題にチャレンジした後、ペアあるいはグループで答え合わせをし、クラス全体で内容の確認を行います。小テストに対するフィードバックは授業当日に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 1 Eating Out (listening)	Vocabulary, Useful Expression
3	Unit 1 Eating Out (reading)	Grammar
4	Unit 2 Travel (listening)	Vocabulary, Useful Expression
5	Unit 2 Travel (reading)	Grammar
6	Unit 3 Amusement (listening)	Vocabulary, Useful Expression
7	Unit 3 Amusement (reading)	Grammar
8	Unit 4 Meetings (listening)	Vocabulary, Useful Expression
9	Unit 4 Meetings (reading)	Grammar
10	Unit 5 Personnel (listening)	Vocabulary, Useful Expression
11	Unit 5 Personnel (reading)	Grammar
12	Unit 6 Shopping (listening)	Vocabulary, Useful Expression
13	Unit 6 Shopping (reading)	Grammar
14	学期末試験	試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後にテキスト・演習問題の復習をし、質問がある場合は次回授業にお願いします。本授業の復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『一歩上を目指す TOEIC LISTENING AND READING TEST: Level 4』（朝日出版社）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト35%、小テスト35%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

基礎的な英語力がつくように、文法事項の説明を丁寧にするように心がけました。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

Hoppiiを使用します。

【Outline (in English)】

Course Outline

The purpose of this class is to help students develop their listening and reading skills for TOEIC.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies such as skimming and scanning.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to review what was covered in the previous lesson. Study time will be two hours for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 35%
2. Reports 35%
3. Classroom Participation 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

妻鹿 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

TOEICの頻出テーマを扱ったテキストを使用し、語彙、英語表現、文法を学びながら総合的な英語力の向上を目指します。

【到達目標】

- ・語彙力を増やします
- ・様々な英語 (Englishes) の発音に慣れます
- ・英語の文章を速く正確に読む力をつけます

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの各unitはlisteningとreadingの二つのパートから成り立っています。一回の授業で一つのパートを扱います。前半はlisteningです。語彙の確認をしてからlistening問題に取り組みます。ペアあるいはグループで答え合わせをし、その後クラス全体で間違えた箇所を確認しながら、英語表現、文法を確認をします。後半はreadingです。問題にチャレンジした後、ペアあるいはグループで答え合わせをし、クラス全体で内容の確認を行います。小テストに対するフィードバックは授業当日に行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容・成績評価等に関する説明
2	Unit 7 Advertisement (listening)	Vocabulary, Useful Expression
3	Unit 7 Advertisement (reading)	Grammar
4	Unit 8 Daily Life (listening)	Vocabulary, Useful Expression
5	Unit 8 Daily Life (reading)	Grammar
6	Unit 9 Office Work (listening)	Vocabulary, Useful Expression
7	Unit 9 Office Work (reading)	Grammar
8	Unit 10 Business (listening)	Vocabulary, Useful Expression
9	Unit 10 Business (reading)	Grammar
10	Unit 11 Traffic (listening)	Vocabulary, Useful Expression
11	Unit 11 Traffic (reading)	Grammar
12	Unit 12 Finance and Banking (listening)	Vocabulary, Useful Expression

13 Unit 12 Finance and Banking (reading)

14 学期末試験 試験と解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業後にテキスト・演習問題の復習をし、質問がある場合は次回授業にお願いします。本授業の復習時間は1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『一歩上を目指す TOEIC LISTENING AND READING TEST: Level 4』（朝日出版社）

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

テスト35%、小テスト35%、平常点30%で評価します。遅刻は授業開始時刻から30分までとし、遅刻三回で欠席とみなします。各学期欠席が四回以上の場合は、原則として単位取得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

基礎的な英語力がつくように、文法事項の説明を丁寧にするように心がけました。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【その他の重要事項】

Hoppiiを使用します。

【Outline (in English)】

Course Outline

The purpose of this class is to help students develop their listening and reading skills for TOEIC.

Learning Objectives

Students will build up their vocabulary, learn the pronunciation features of English, and acquire reading strategies such as skimming and scanning.

Learning Activities Outside of Classroom

Students will be expected to review what was covered in the previous lesson. Study time will be two hours for each class.

Grading Criteria/Policy

The final grade will be based on the following criteria:

1. Final Exam 35%
2. Reports 35%
3. Classroom Participation 30%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検準1級とTOEFLの演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加え、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to talk about basic topics
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(この授業の形態は演習です)

- 1.Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
- 2.Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検とTOEFLのテスト形式の紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading & Listening practice to identify your weak points (弱点の確認)
3回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Reading practice 2.Listening practice
4回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1.Learning Paragraph Structure 2.Paragraph reading practice 3.Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice 3.Paragraph reading practice
6回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice 3.Paragraph reading practice

7回	Eiken: Essay Writing	1.Learning basic writing structures and analyzing model essays 2.Writing an essay 3.Peer Editing
8回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1.Rewriting your draft
9回	Introduction to TOEFL Test	1.Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL について) 2.Reading practice 3.Listening practice
10回	TOEFL: Intensive Reading Training	1.Paragraph reading practice 2.Summarizing passages
11回	TOEFL:Reading and Listening Practice	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
12回	TOEFL: Intensive Listening Training	1.Overlapping and shadowing practice 2.Listening exercises 3.Mini-presentation
13回	TOEFL: Listening and speaking Training	1.Overlapping and shadowing practice 2.Mini-presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1.Weekly reading and listening home assignments
- 2.Writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and TOEFL tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水3/Wed.3

単位数: 1単位

レベル3,4

定員制 (36)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検準1級・1級とIELTSの演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加え、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to give a mini-presentation on a given topic
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing.(この授業の形態は演習です)

- 1.Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
- 2.Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検とIELTSのテスト形式の紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading & Listening practice to identify your weak points (弱点の確認)
3回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
4回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training #1	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice
6回	Eiken: Intensive Listening Training #2	1.Listening practice 2.Reading rapidly practice

7回	Introduction to IELTS	1.Explanation of the basic format of IELTS (IELTSについて) 2.Reading practice 3.Listening practice
8回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Reading practice 2.Listening practice
9回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice 3.Reading practice
10回	IELTS Writing: Writing an Essay for Task 2 (1)	1.Learning basic writing structures and analyzing model essays 2.Writing an essay
11回	IELTS Writing: Writing an Essay for Task 2 (2)	1.Peer editing 2.Feedback 3.Rewriting your draft
12回	IELTS: Intensive Listening practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice
13回	IELTS: Listening Training and presentation	1.Overlapping and shadowing 2.mini-presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and IELTS tests. Students will practice paragraph reading, effective listening and speaking and well-organized writing skills. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test600点以上を目指すし、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミス进行分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。

【到達目標】

- ・ TOEIC Listening & Reading Testを受験し、600点以上をとる。
- ・ TOEIC 受験に向けた学習の中で自分の苦手进行分析することができる。
- ・ 苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

第2回から第13回授業において単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や長文読解問題などを解き、解説を行います。各自、解説・フィードバックを受けてテキストの復習をし、単語の暗記を行ってください。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。自己目標を定める。
2	Unit 1	Vocabulary quiz < Listening part> Restaurant
3	Unit 1 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Restaurant
4	Unit 2	Vocabulary quiz < Listening part> Department Store
5	Unit 2 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Department Store Unit 1 & 2 Test
6	Unit 3	Vocabulary quiz < Listening part> Train Station
7	Unit 3 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Train Station
8	Unit 4	Vocabulary quiz < Listening part> Transportation

9	Unit 4 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Transportation Unit 3 & 4 Test
10	Unit 5	Vocabulary quiz < Listening part> Post Office
11	Unit 5 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Post Office
12	Unit 6	< Listening part> Bank
13	Unit 6 cont.	< Reading part> Bank Unit 5 & 6 Test
14	Final	期末試験を実施する

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

第2回から第11回授業で単語クイズを行います。予習をして授業に参加してください。授業で間違った箇所を分析し、復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』(石井隆之他著)成美堂

【参考書】

辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%), 単語テスト (20%), 期末試験 (50%)
原則として、学期期間中に4回以上欠席した場合は単位習得を認めません。

遅刻は授業開始時刻から30分までとし、30分以上の遅刻は欠席とします。

遅刻2回で欠席1回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【Outline (in English)】

【授業の概要(Course outline)】This course is for students who aim to achieve 600+ points on TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標(Learning Objectives)】 There are three goals for this course. 1) Achieve 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2)Analyze your own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your weaknesses.

【授業時間外の学習(Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準(Grading Criteria /Policy)】 Class Participation (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), Final Exam (50%)

In principle, no more than four absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered up to 30 minutes after the class starts, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

小堀 洋

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEIC Listening & Reading Test600点以上を目指し、主にリーディングとリスニングの解答テクニックの習得を目標とします。また、600点の取得に必要な語彙力と文法の基礎知識を学び、実践力を養うことを目標とします。この授業では予習よりも復習が大切です。反復学習を行う中で自分のミス进行分析し、解決のアプローチを探す訓練をします。春学期の「英語検定試験対策Ⅰ」受講による自身の到達度を確認し、より効果的な学習プランを立てましょう。

【到達目標】

- ・TOEIC Listening & Reading Testを受験し、600点以上をとる。
- ・TOEIC受験に向けた学習の中で自分の苦手进行分析することができる。
- ・苦手に対して、解決のアプローチを考え実行することができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

第2回から第13回授業において単語テストを行います。テキストに沿って、リスニング問題や読解問題などを解き、解説を行います。各自、解説・フィードバックを受けてテキストの復習をし、単語の暗記を行ってください。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introduction/Goal Setting	授業の進め方の紹介を行う。受講者は自分の前期到達度を確認し、後期の自己目標を立てる。
2	Unit 7	Vocabulary quiz < Listening part> Airport
3	Unit 7 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Airport
4	Unit 8	Vocabulary quiz < Listening part> Hotel
5	Unit 8 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Hotel Unit 7 & 8 Test
6	Unit 9	Vocabulary quiz < Listening part> Hospital
7	Unit 9 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Hospital
8	Unit 10	Vocabulary quiz < Listening part> Events and Performances

9	Unit 10 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> Events and Performances Unit 9 & 10 Test
10	Unit 11	Vocabulary quiz < Listening part> College
11	Unit 11 cont.	Vocabulary quiz < Reading part> College < Listening part> Office
12	Unit 12	< Reading part> Office
13	Unit 12 cont.	Unit 11 & 12 Test
14	Final	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

第2回から第13回までは毎回授業で単語テストを行います。予習をして授業に参加すること。授業で間違った箇所を分析し、復習してください。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

教科書：『ALL-ROUND TRAINING FOR THE TOEIC L&R Test』（石井隆之他著）成美堂

【参考書】

辞書を持参してください。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), 期末試験 (50%)
原則として、学期期間中に4回以上欠席した場合は単位習得を認めません。

遅刻は授業開始時刻から30分までとし、30分以上の遅刻は欠席とします。

遅刻2回で欠席1回とみなします。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline (in English)】

【授業の概要(Course outline)】 This course is for students who aim to achieve 600+ points on TOEIC Listening & Reading Test. The course provides students the vocabulary and grammatical lessons. Students are expected to review their mistakes and improve their weaknesses.

【到達目標(Learning Objectives)】 There are three goals for this course. 1) Archive 600+ points at TOEIC Listening & Reading Test. 2)Analyze your own mistakes and weaknesses. 3) Come up with a solution to improve your weaknesses.

【授業時間外の学習(Learning activities outside of the classroom)】 University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【成績評価の方法と基準(Grading Criteria /Policy)】 Class Participation (30%), Weekly Vocabulary Quiz (20%), Final Exam (50%)

In principle, no more than four absences per semester are allowed.

Late arrivals are considered up to 30 minutes after the class starts, and late arrivals of 30 minutes or more are considered absent.

Two late arrivals will be counted as one absence.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

TOEIC(R)650点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低1回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。

この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】

英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650点を目標にしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書 (電子辞書可)、授業用ノートを必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。

対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス Arts \$ Amusement 1	授業の進み方を詳しく説明していく 初回は受講者数が不確定であるため(オンライン授業です)
2	文法説明 第1課 Arts % Amusement 2	TOEIC(R)で必要とする基礎的文法の説明
3	第1課 Arts % Amusement 2	リスニング 音の脱落
4	第1課 Arts % Amusement 3	リーディング 名詞・代名詞
5	第2課 Lunch & Parties 1	第1課小テスト リスニング 子音と母音の連結1
6	第2課 Lunch & Parties 2	リーディング 形容詞&冠詞
7	第3課 Medicine & Health 1	第2課小テスト リスニング 子音と母音の連結2

8	第3課 Medicine & Health 2	リーディング 副詞
9	第4課 Traffic & Travel 1	第3課小テスト リスニング 音の混合
10	第4課 Traffic & Travel 2	リーディング 比較
11	第5課 Ordering & Shipping 1	第4課小テスト リスニング t音の変化
12	第5課 Ordering & Shipping 2	リーディング 動詞&時制
13	第6課 Factories & Production 1	第5課小テスト リスニング いろいろな数字に慣れよう
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。 まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。リスニング (教科書付属のCDその他) NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェックなど行ってください。

【テキスト (教科書)】

TOEIC L&R TESTへのニューアプローチ 一改訂版ー
大須賀直子・塚野壽一・山本厚子著
2019年 成美堂
2000円
ISBN978-4-7919-7189-3

【参考書】

学校語彙で学ぶTOEICテスト[単語集]
成美堂 (1700円)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%
小テスト 10%
レポート課題・発言点 20%
平常点 10%
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。
遅刻は3回で欠席1回に換算される。
各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。
平常授業が行われる場合は、シラバスに記入されている方法にて評価を行う予定です。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【Outline (in English)】

Course outline
The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, students who are absent more than 4 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

高橋 佳江

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

レベル2,3

定員制 (36)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

TOEIC(R)650点を目標として、文法事項、リスニングを中心として学んでいく。従って、予習することが前提となるが、復習に重点を置いてもらいたい。特に、リスニングは毎日自宅学習すること。自分で勉強計画を立て、成果がわかるよう、最低1回は受験して、勉強計画を修正する。また、その結果をレポートにまとめる。そのためには、できれば通年受講が望ましい。

この授業を受講する学生は、必ず第一回目の授業に出席すること。

【到達目標】

英語の文法力・読解力・聴解力を鍛え、TOEIC650点台の英単語を目標にしていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回自発的に発言してもらい、また、こちらからも、適宜、発表を求める。従って、毎回必ず予習することを前提として、復習に重点をおいてもらいたい。教科書のほかに辞書(電子辞書可)、授業用ノートを必ず持ってくる。また、授業用ノートのほかに、自宅学習用の単語帳、練習帳を用意すること。

対面授業の際はその都度フィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期に引き続き授業を進めていく 初回は受講者数が不確定であるため(オンライン授業です)
2	第6課 Factories & Production 2	リーディング 未来表現など
3	第7課 Reserach & Development 1	第6課小テスト リスニング 英語とカタカナ表記との発音の違いを認識しよう。
4	第7課 Reserach & Development 2	リーディング 主語と動詞の呼応、時制の一致
5	第8課 Computer & Technology 1	第7課小テスト リスニング トピックが何なのかを把握しよう！
6	第8課 Computer & Technology 2	リーディング 能動態&受動態
7	第9課 Employment & Promotion 1	第8課単語テスト リスニング 会話や説明文の状況・場所・人間関係を把握しよう！

8	第9課 Emplooyment & Promotion 2	リーディング 不定詞&動名詞
9	第10課 Advertisements & Personnel1	第9課単語テスト リスニング 場面をイメージしよう！
10	第10課 Advertisements & Personne 2	リーディング 分詞
11	第11課 Telephone & Messages 1	第10課小テスト リスニング 英語の藩士の展開の特徴を知ろう
12	第11課 Telephone & Messages 2	リーディング 助動詞
13	第12課 Banking & Finance 1	第11課小テスト リスニング すべての語句を聞き取ろうとしない
14	授業時試験	授業で学んだことを試験する。 まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
リスニング (教科書付属のCDその他)

NHK語学講座・単語帳作成・単語・熟語のチェック等など行ってください。

【テキスト (教科書)】

TOEIC L&R TESTへのニューアプローチ 一改訂版—
大須賀直子・塚野壽一・山本厚子著
2019年 成美堂
2000円
ISBN978-4-7919-7189-3

【参考書】

学校語彙で学ぶTOEICテスト[単語集]
成美堂 (1700円)

【成績評価の方法と基準】

期末試験 60%
小テスト 10%
レポート課題・発言点 20%
平常点 10%
欠席する場合は、必ず諸届けを提出すること。
遅刻は3回で欠席1回に換算される。
各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

オンライン時でも連絡を密に取りたいです。

【その他の重要事項】

秋学期のみ登録予定の学生も、教科書は春学期に購入すること

【Outline (in English)】

Course outline
The aim of this course is to acquire the reading and listening skills for the TOEIC L&R Test. Students will learn the basic knowledge of vocabulary and grammar which is necessary for the TOEIC TEST.

Learning Objectives

This course will focus on grammar and listening skills with the goal of achieving a TOEIC(R) score of 650. Therefore, students are expected to prepare for the course, but are also expected to place emphasis on reviewing. In particular, students are expected to study listening at home every day. Students are expected to make their own study plans and take at least one exam to see the results and revise their study plans. Also, write a report on the results. For this purpose, it is desirable to take this class throughout the year if possible.

Students who take this class must attend the first class.

Learning activities outside of classroom

The standard preparation and review time for this class is one hour.

Please use the NHK language course, make a vocabulary book, check words and phrases, etc.

Grading Criteria/Policy

Final exam 60%

Quiz: 10%.

Report assignment and remarks: 20%.

Ordinary points 10%.

If you are going to be absent, you must submit a report of your absence.

Three tardies will count as one absence.

In principle, students who are absent more than 4 times per semester will not be allowed to earn credits.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Oral Communication I 2017年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この科目では、「ソーシャルメディア」「ビジネス」「ストーリー」にまつわるトピックについて、楽しみながら英語で聞き、読み、話す練習をし、それぞれの授業の終わりには、その日のトピックについて自信を持って英語で話せるようになることを目指します。(ソーシャルメディアやビジネスについての知識は必要ありません。)

【到達目標】

日常生活やビジネスで役立つ英語の表現をおぼえ、スピーキング力を向上させることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回、その日のトピックについて、まずはリスニングとリーディングを通して主要な語彙や言い回しに慣れ親しみます (=インプット)。その後、音読やリテリング (自分の言葉で説明する) などのアクティビティを通してインプットした表現を定着させ、最終的に自分が考えた内容を英語で自信を持って話せるようにします (=アウトプット)。これらを、随時ペアワークによって行います。

課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第2回	Unit 1 What is important to you?	SNSで自分の大切なものを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第3回	Unit 2 My morning routine	動画サイトでモーニングルーティンを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第4回	Unit 3 Your recommended restaurant	グルメサイトでおすすめのレストランを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第5回	Unit 4 The best film ever	映画レビューサイトでお気に入りの映画を紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第6回	Unit 5 What is a true friend?	Q&Aサイトで悩み相談に答える、という設定で英語を話す練習をします。
第7回	Unit 6 The best pizza in town	新メニュー開発に向けてユニークなピザを紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第8回	Unit 7 An ideal private tour plan	ニーズに合わせたツアープランを企画する、という設定で英語を話す練習をします。
第9回	Unit 8 Useful apps for your smartphone	あったらいいなと思うアプリの機能をプレゼンする、という設定で英語を話す練習をします。

第10回	Unit 9 A proposal for new flavors	データをもとにヒット商品の新しい味を提案する、という設定で英語を話す練習をします。
第11回	Unit 10 A great figure in the business world	ビジネス界の偉人を紹介する、という設定で英語を話す練習をします。
第12回	Unit 11 Cheese for Uncle David	クスツと笑える小噺を英語で話す練習をします。
第13回	Unit 12 The baby sitter	英語でストーリーの展開を予測して伝える練習をします。
第14回	期末試験とまとめ	授業でおぼえた表現を用いた試験を行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回のUnitで解説したポイントをよく復習して、期末試験でどのUnitのテーマでも自信をもって話せるように声に出して練習してください。予習や宿題は、それぞれのUnitの内容に応じて適宜指示します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Speaking Steps『スピーキング・ステップ~英語を話すための3ステップ~』(金星堂)

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。欠席4回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【Outline (in English)】

In this course, students listen to, read and speak English on various enjoyable topics regarding 'social media', 'business' and 'stories' so that they can speak confidently about a specific topic in English by the end of each class. The goal of this course is learning useful expressions for daily life and business and improving speaking skills in English. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Oral Communication II

2017年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この科目では、様々な架空の設定やトピックで英語を楽しく話すアクティビティを行うことで、日常会話で役立つ英語表現に慣れ親しみ、様々なトピックについて英語で自信をもって話せるようになることを目指します。

【到達目標】

日常生活や旅行で役立つ英語の表現をおぼえ、スピーキング力を向上させることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

それぞれの回のテーマに沿った架空の設定で英会話を行えるような、様々なアクティビティをペアワークやグループワークを取り入れながら行います。その際、随所で簡単なライティングを取り入れながら日常会話や旅行で使える便利な表現をおぼえることで、様々なトピックについて自信をもって英語で話せるようにします。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方についての説明。
第2回	Unit 1 You and your classmates	自己紹介・他己紹介に関連した英会話の練習をします。
第3回	Unit 2 You, going out to eat	外食に関連した英会話の練習をします。
第4回	Unit 3 You, shopping	買い物に関連した英会話の練習をします。
第5回	Unit 4 You, out on the town	街での外出に関連した英会話の練習をします。
第6回	Unit 5 You, planning a trip	旅行の計画に関連した英会話の練習をします。
第7回	Unit 6 You, hotel guest	ホテル滞在に関連した英会話の練習をします。
第8回	Unit 7 You, world traveler	海外旅行に関連した英会話の練習をします。
第9回	Unit 8 You, living with others	ホームステイやシェアハウスに関連した英会話の練習をします。
第10回	Unit 9 You, job hunting	就職活動に関連した英会話の練習をします。
第11回	Unit 10 You, giving good advice	誰かに助言をする際の英会話の練習をします。
第12回	Unit 11 You, solving world problems	世界の諸問題に関連した英会話の練習をします。
第13回	Unit 12 You, inventor for the future	画期的な発明に関連した英会話の練習をします。

第14回 期末試験とまとめ 授業でおぼえた表現を用いた試験を行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回のUnitで解説したポイントをよく復習して、期末試験でどのUnitのテーマでも自信をもって話せるように声に出して練習してください。予習や宿題は、それぞれのUnitの内容に応じて適宜指示します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Starting off with role play and discussion『これからの英語コミュニケーション講座』（南雲堂）

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組みの積極度(50%)と期末試験(50%)から総合的に評価します。欠席4回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

英語を楽しんでいただけて、うれしいです。

【学生が準備すべき機器他】

教科書に書き込んだ内容を写真に撮ってHoppii「課題」に提出してもらうことがあるので、スマホまたはタブレットがあるとよいですが、ない場合はご相談ください。

【その他の重要事項】

前学期のOral Communication Iを取っていなくても受講可能です。

【Outline (in English)】

In this course, students speak English in various role-plays in imaginary situations and discussions on enjoyable topics so that they can familiarize themselves with useful daily life expressions in English and speak confidently about various topics in English. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)
English through Movies and Drama I 2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4
 単位数：1単位
 定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

テキスト *Integrated Skills Through Movies* により、映画について書かれたエッセイを精読し、映画に出てくる表現が身につくよう練習します。

【到達目標】

1. 楽しみながら英語を読む習慣を身につけます。
2. 映画の内容について理解を深めます。
3. エッセイに出てくる語句や文法の知識を正確に身につけます。
4. 映画に出てくる表現を身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

1. 映画の中で注目すべき英語表現を理解します。
 2. 単語や文法を確認しながら各課のエッセイを精読します。
 3. 映画の見どころを解説します。
 4. エッセイ理解のための練習問題と、1で学んだ表現をより深く理解するための練習問題に取り組みます。
- 授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
 あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
 なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。(受講を希望する人は、必ず初回授業に出席してください。)
第2回	Chapter 1: Finding Mr. Right	<i>Bridget Jones's Diary</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第3回	Chapter 2: Email: A Communication Revolution	<i>You've Got M@il</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第4回	Chapter 3: Love and Courage	<i>Titanic</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第5回	Chapter 4: Working Women and The American Dream	<i>Working Girl</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第6回	Chapter 5: The Communication of Love	<i>I am Sam</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第7回	Chapter 6: Over the Rainbow	<i>The Majestic</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第8回	Chapter 7: Figuring Life Out	<i>Cast Away</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第9回	Chapter 8: Who am I?	<i>Bicentennial Man</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。

第10回	Chapter 10: The Price of Fame	<i>The Bodyguard</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第11回	Chapter 11: Hollywood Laughs at Hollywood	<i>America's Sweethearts</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第12回	Chapter 12: Getting Rid of the Politicians	<i>Dave</i> に関するエッセイを精読し、映画の中の英語表現を学びます。
第13回	復習と春学期末テスト	春学期に学んだエッセイと映画の中のフレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	筆記試験のフィードバックと秋学期授業 (English through Movies & Drama I) の予告	筆記試験を返却して徹底解説し個別のフィードバックも行います。秋学期の課題映画 <i>Notting Hill II</i> の予告について解説します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストのエッセイ読解と各練習問題は、予習を前提として授業を進めます。本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。その他に各映画を自主的に鑑賞することが望ましいです。

【テキスト (教科書)】

Integrated Skills Through Movies (Asahi Press)

【参考書】

特に指定しません。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

「映画を楽しみながら英語を学べてよかった」、「知っているはずの文法項目でも、抜けていたところに気づけてよかった」などと、好評でした。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoomでも動画共有を行うので、使用機器 (PC利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoomでは顔出し参加と静逸な環境での参加をお願いしています。その他、教材・資料の配布や課題提出のため、Hoppiiも利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

You will be expected to read intensively essays in *Integrated Skills Through Movies* and to practice key phrases in movies. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the class materials. Grading will be decided based on active participation(50%) and final exam(50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English through Movies and Drama II 2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火4/Tue.4

単位数: 1単位

定員制 (20)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Notting Hill により口語表現を学びます。この作品はいわゆるロマンティックコメディですが、日常会話に応用し易い比較的平易な表現を豊富に含んでいます。また、登場人物の台詞からイギリス英語とアメリカ英語の違いも学びます。

【到達目標】

1. 口語表現に親しみ、応用できるよう習得する。
2. Authenticな英語に対するリスニング力を向上させる。
3. イギリス英語とアメリカ英語の違いを学ぶ。
4. シナリオを読むことに慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

このテキストの各ユニットは、プレタスク (語句や表現の予備知識を習得する)、聴き取り、表現練習、イギリス英語とアメリカ英語の比較、映画本編のスク립ト等から構成されています。プレタスク、聴き取り、表現練習などのタスクから取り組み、英米語の比較を経て、スク립トの一部を読みます。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の概要を説明します。最初の授業にも必ず出席してください。
第2回	Unit 1: William's Notting Hill & 'She'	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第3回	Unit 2: Surreal, But Nice	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第4回	Unit 3: A Goddess Is A Movie Star	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第5回	Unit 4: Birthday Party	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第6回	Unit 5: A Date With Anna	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第7回	Unit 1 ~ Unit 5 の復習	Unit 1 ~ Unit 5 で学んだ口語表現を復習します。

第8回	Unit 6: She's Gone	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第9回	Unit 7: She's Back	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第10回	Unit 8: Rude Awakening -Ain't No Sunshine	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第11回	Unit 9: Like Me Again	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→発音のポイント→シナリオ・ポイント講義
第12回	Unit 10: The Right Decision -The Meaning of My Life Is She	テキストのプレタスク→聴き取り→表現練習→イギリス英語とアメリカ英語の比較→シナリオ・ポイント講義
第13回	復習と秋学期末試験	<i>Notting Hill</i> で学んだ英語表現について復習と筆記試験を行います。
第14回	筆記試験のフィードバックと学習アドバイス	筆記試験を返却して徹底解説し個別のフィードバックも行います。英語学習に適した映画についての講義を行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキスト前半の練習問題は予習を前提に進めます。本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Notting Hill ー映画総合教材『ノッティング・ヒルの恋人』新装版 (松柏社)

【参考書】

特に指定しません。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

以前*Love Actually* を使用しましたが、映画好きの受講者が多く、楽しい授業となりました。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoomでも動画共有を行うので、使用機器 (PC利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoomでは顔出し参加と静逸な環境での参加をお願いしています。その他、教材・資料の配布や課題提出のため、Hoppiiも利用します。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

You will be expected to learn and practice vocabularies and phrases in the movie *Notting Hill*, understanding the content. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the class materials. Grading will be decided based on active participation(50%) and final exam(50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)
English through Movies and Drama I 2017年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4
 単位数：1単位
 定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ヒュー・グラント主演のイギリスのコメディ映画『アバウト・ア・ボーイ』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、CDでスクリプトを聞き、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現を学び、スクリプトの音源のCDを聞き、リスニング能力を向上させ、内容については、テキストで問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書のスクリプトの英文を読み、各エクササイズに答えてもらいます。予習を前提にした授業を行う。授業では、映画を見る前のエクササイズの後、映画を見て、教科書の問題を解き、スクリプトを読むことで、理解を深める。課題やレポートは、Hoppiiから提出してもらい、採点あるいは、コメントをつけて、Hoppiiからフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
 なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
 なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	<オンデマンド授業 : Hoppii の第1回目授業のフォルダ内の教材で学習し、課題提出で出席扱いとする>オリエンテーション。	テキストの説明と、どこを予習すべきかなどを説明。また、学習支援システム (ホッピー) にアップされている Youtube の予告編を見て、どんな映画か想像する。テキストを手配しておく。
2	<オンデマンド授業 : Hoppii の第2回目授業のフォルダ内の教材で学習し、課題提出で出席扱いとする> Unit 1 A Boy and a Man 以降、教科書があるという前提で授業する。	ふたりの男子。テキストの予習復習をする。
3	<Zoom 授業予定 : 情報はHoppii の第3回授業フォルダに情報を置くか、お知らせ発信する。> Unit 2 Will joins SPAT	ウィルSPATに入会。テキストの予習復習をする。
4	Unit 3 You Need a Backup	支えが要るんだ。テキストの予習復習をする。
5	Unit 4 Will and Marcus Become Mates	ウィルとマーカスの奇妙な友情。テキストの予習復習をする。

6	Unit 5 Marcus's Fashion Makeover	マーカスを変身させよう。テキストの予習復習をする。
7	Unit 6 Will's First Real Christmas	初めての本物のクリスマス。テキストの予習復習をする
8	Unit 7 The Boys Get Crushes	ふたりが同時に恋をした。テキストの予習復習をする。
9	Unit 8 Lies, Half-truths & Honesty	「ウソ」と「半端なホント」と「ホントのホント」。テキストの予習復習をする。
10	Unit 9 Marcus's Gift to Mum	お母さんへの贈り物。テキストの予習復習をする。
11	Unit 10 No Man Is an Island	人は孤島ではない。テキストの予習復習をする。
12	Unit 1-10 復習 (Unit 9までしか見られない可能性があります。)	日本語字幕で、Unit 1 から、最後まで、一気に見て復習する。時間的にUnit 10まで行かない場合は、翌週に、Unit 10 だけ日本語字幕で見る。
13	Unit 10(?) & Unit 1-5	もし第12回に日本語字幕で最後まで見られなかった場合は、Unit 10を日本語字幕で見てから、映画の前半のUnit 1-5を、英語字幕で復習する。テキストの「チャंक」を学ぶ。
14	Unit 6 - Unit 10	英語字幕で、映画の後半を復習する。テキストの「チャंक」を学ぶ。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、テキストの問題を解き、辞書を引きながらスクリプトに目を通して、注を読んでおく。

【テキスト (教科書)】

Peter Hedges/ Chris Weitz & Paul Weitz, 神谷久美子、Kim R.Kanel『About a Boy』松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を50%、学期末のレポートを50%で採点する。課題未提出、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

学生は楽しんでいましたようです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called About a Boy, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.
 Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50% and the final paper 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English through Movies and Drama II 2017年度以降入学者

舟橋 美香

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 1単位

定員制 (20)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

リチャード・カーティスが脚本でアカデミー賞にノミネートされた、マイク・ニューウェル監督、ヒュー・グラント、アンディ・マクドウェル主演のイギリスのラブコメディ映画『Four Weddings and a Funeral』を見て、そのスクリプトと問題の載ったテキストを使い、映画を見てから、テキストでスクリプトを読み、問題を解くことで、英語の表現を学び、語彙能力をアップし、リスニング能力の向上を目指す。

【到達目標】

映画を見て、英語特有の表現を学び、リスニング能力を向上させ、内容については、スクリプトを読み、テキストで問題を解くことで、理解を深めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

予習を前提にした授業を行う。各章のスクリプトと問題をあらかじめ予習している状態で、映画を見る前にやる教科書のエクササイズを解いてから、CDで映画のスクリプトを聴きながら、テキストのスクリプトの部分を読む。その後、各週の映画を見て、問題を解いて理解を深める。なお、最初の課題レポートと、最後の学期末レポート課題は、Hoppiiに提出していただきます。フィードバックは、Hoppiiから行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	テキストのどこを予習すべきかを含めた授業の説明。また、Hoppiiにアップされている映画のトレーラー (Youtube)を見て、どんな映画か想像しておく。テキストを手配しておく。
2	Week 1 Prologue	Wedding 1。テキストの予習復習をする。
3	Week 2 Reception	披露宴。テキストの予習復習をする。
4	Week 3 After the reception	披露宴後。テキストの予習復習をする。
5	Week 4 Wedding 2	2つ目の結婚式。テキストの予習復習をする。
6	Week 5 Reception	2つ目の結婚式の披露宴。テキストの予習復習をする。
7	Week 6 A Day Off	休日。テキストの予習復習をする。
8	Week 7 Wedding 3	3つ目の結婚式。テキストの予習復習をする。
9	Week 8 Funeral	葬式。テキストの予習復習をする。
10	Week 9 Wedding 4 (1)	4つ目の結婚式の前半。テキストの予習復習をする。

11	Week 10 Wedding 4 (2)	4つ目の結婚式の後半 & Epilogue。テキストの予習復習をする。
12	映画の冒頭から、なるべく最後の方まで、Week 1-9 復習。	日本語字幕付きで、Week 1から9を通して見て復習する。テキストの予習復習をする。
13	Week 10 & Week 1-5 復習	日本語字幕で、Week 10を見たあと、英語字幕付きで、映画の前半のWeek 1-5を通して見て復習する。テキストの予習復習をする。
14	映画の後半、Week 6-10 を通して見る。	英語の字幕で、映画の後半を復習する。また、テキストの最初から最後まで復習しておく。授業の後、学期末レポートを書いてもらい、ホッピーで提出してもらいます。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。テキストの予習復習をする。予習として、辞書を引きながら、テキストのスクリプトに目を通して、各課の問題を解いておく。

【テキスト (教科書)】

Richard Curtis ed. & notes by Tomoko Otani, 『Four Wedding and a Funeral』 松柏社

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

各時間の発表、授業への貢献度を含めた平常点を50%、学期末のレポートを50%で採点する。各課題未提出、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

学生は楽しんでいましたようです。

【学生が準備すべき機器他】

辞書

【Outline (in English)】

Develop English skills through watching a film called *Four Weddings and a Funeral*, and learn English expressions and what's going on in the film using its textbook.

Study textbook, through reading each script and solving questions for each week, using a dictionary before and after each class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. The grade is given from the total of class activity 50% and the final paper 50%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) I

2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「TOEIC®って何？」という入門レベルの話題から出発しますが、秋学期授業終了時には、TOEIC®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるように、春学期から出題内容・言語スキルを系統的に学んでいきます。

【到達目標】

TOEIC®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

主として、後述のcore textに沿った授業ですが、単なるTOEIC®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進捗を見計らって、e-learningによる個別問題演習も行います。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	春学期・秋学期の概要とレベルの説明。
第2回	Unit 1: Travel (名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第3回	Unit 2: Dining Out (形容詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第4回	Unit 3: Media (副詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第5回	Unit 4: Entertainment (時制を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第6回	Unit 1~4	復習のためのポイント講義と問題演習
第7回	Unit 5: Purchasing (主語と動詞の一致を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第8回	Unit 6: Clients (能動態・受動態を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第9回	Unit 7: Recruiting (動名詞・不定詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第10回	Unit 8: Personnel (現在分詞・過去分詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第11回	Unit 5~8	復習のためのポイント講義と問題演習
第12回	Interview	個別の面接試験で、テキスト学習の定着度を確認しアドバイスをを行います。
第13回	復習と春学期末テスト	春学期に学んだ単語・フレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	春学期の総括	期末テストを返却して解説します。秋学期授業の予告、夏季休暇中の勉強のしかたなどを説明し、個別指導を行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

下記Core textや関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。秋学期12月のTOEIC®本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Score Booster for the TOEIC® L&R Test Intermediate (金星堂)
そのほか、プリント教材

【参考書】

URL (例)

<http://heathrow.com/><https://www.experia.co.uk/><https://www.ox.ac.uk/gazette/> など。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (40%)、Interview (20%)、期末テスト (40%)から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

通年履修者の多くが、目標スコアを達成できたようです。少人数クラスならではのコミュニケーションが効果的だったのではと自負しています。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom授業では、使用機器 (PC利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom授業では顔出し参加と静逸な環境での参加をお願いしています。また、大学でリアルタイム型オンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

We will start with the introductory topic, 'What it is like the TOEIC® test?' Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC® scores. We will learn such knowledge and skills systematically from the spring semester. By the end of the course, students should get familiar with the testing types. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the core material. Grading will be decided based on active participations(60%) and final exams(40%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) II

2017年度以降入学者

平野井 ちえ子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火5/Tue.5

単位数: 1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性: 〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期の学習を踏まえて、秋学期はとくにビジネスシーンを意識した内容に取り組みます。秋学期終了時には、TOEIC®で問われる分野知識・言語スキルを一通り網羅できるよう、系統的に学んでいきます。

【到達目標】

TOEIC®の概要を理解しスコアを伸ばすことが目的であることは言うまでもありませんが、その場限りの丸暗記や戦略本位の勉強でなく、いかに長期的視野に立って実用英語の力を養うか、を念頭に授業を運営していきます。12月のTOEIC®本試は全員に受験していただく予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

主として、後述のcore textに沿った授業ですが、単なるTOEIC®形式の問題演習だけでなく、言語知識・スキルが定着しやすいよう、身近な英語リソースの紹介を行いながら、クラス授業を展開します。進捗を見計らって、実践力を養う一斉小テストも行います。授業内で随時フィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	春学期の学習内容の復習、秋学期の学習計画の説明などを行います。
第2回	Unit 9: Advertising (代名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第3回	Unit 10: Meetings (比較を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第4回	Unit 11: Finance (前置詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第5回	Unit 8~11	復習のためのポイント講義と問題演習
第6回	Unit 12: Offices (接続詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第7回	問題演習 (1)	パート別に制限時間を設けての問題演習
第8回	問題演習 (2)	パート別に制限時間を設けての問題演習
第9回	Unit 13: Daily Life (前置詞と接続詞の遣いを学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第10回	Unit 14: Sales & Marketing (関係代名詞を学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。

第11回	Unit 15: Events (語彙の結びつきを学ぶ)	テキストによるTOEIC®形式の問題演習と、文法・表現・海外事情などの解説。
第12回	Interview	個別の面接試験で、テキスト学習の定着度を確認しアドバイスをを行います。
第13回	復習と秋学期末テスト	秋学期に学んだ単語・フレーズについて復習と筆記試験を行います。
第14回	秋学期の総括	期末テストを返却して解説します。 12月のTOEIC®スコアレポート提出後、学生本人の希望に応じて個別指導を行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

下記Core textや関連配布プリントの予習を前提として授業を進めます。12月のTOEIC®本試に向けて、各自自分の学習計画を立てるよう心掛けてください。本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Score Booster for the TOEIC® L&R Test Intermediate (金星堂)
そのほか、プリント教材

【参考書】

『公式 TOEIC Listening & Reading 問題集 10』(Educational Testing Service)

URL (例)

<http://heathrow.com/>

<https://www.expedia.co.uk/>

<https://www.ox.ac.uk/gazette/> など。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (30%)、Interview (20%)、期末テスト(30%)、12月TOEIC®本試のスコア (20%)から総合的に評価します。合計4回以上の欠席があった場合、単位の取得はできません。

【学生の意見等からの気づき】

履修者の多くが、目標スコアを達成できたようです。少人数クラスならではのコミュニケーションが効果的だったのではと自負しています。

【学生が準備すべき機器他】

CALL(BT0309)教室での授業ですが、リアルタイムオンライン授業の回もあります。Zoom授業では、使用機器 (PC利用のこと) とネットワークの安定性を事前に御確認ください。円滑な授業展開のため、Zoom授業では顔出し参加と静逸な環境での参加をお願いしています。また、大学でリアルタイムオンライン授業を受ける際には、マイク付きのヘッドセットが必要です。

【その他の重要事項】

CALL教室では飲食厳禁です。皆で利用する機器や教材を大切に扱ってください。

【Outline (in English)】

Our final goal for a series of 'TOEIC(R)I・II' is to acquire knowledge and skills required for improving TOEIC® scores. We will continue to learn such knowledge and skills systematically. Especially in the fall semester, we will focus on a variety of business situations. By the end of the course, students should reach their target score in the TOEIC® testing. Before/after each class, you will be expected to spend two hours to learn the core material. Grading will be decided based on active participations(30%), interview(20%), final exam(30%) and TOEIC® score(20%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) I

2017年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、TOEICに初めて挑戦する人もスコアを上げたい人も、TOEICのための学習を通して、ビジネス英語だけでなく、日常生活で役立つ英語力 (特にリスニングとリーディング) を身につけていきます。

【到達目標】

TOEICスコア500～600点取得できる程度の英語力を身につけると同時に、日常で役立つ英語の表現をおぼえ、リスニングとリーディングの基礎力をつけていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回教科書を1unitずつ学習していきます。各unitでTOEIC全パートの問題形式の解法ポイントを押しさえながら演習を行うと同時に、日本人にとって聞き取りにくいリスニングのポイントや見落としがちな文法事項を解説します。また、ビジネスや日常生活の様々な分野に関する英語に触れることで、TOEICだけでなく日常生活で役立つ表現をおぼえていきます。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEICの概要
第2回	Unit 1 Restaurants	代名詞の聞き取り、人称代名詞
第3回	Unit 2 Entertainment	機能語の聞き取り、不定代名詞
第4回	Unit 3 Business	短縮形の聞き取り、現在・過去の時制
第5回	Unit 4 The Office	つながる音の聞き取り、現在完了
第6回	Unit 5 Telephone	音の脱落、前置詞 (時・時間)
第7回	Unit 6 Letters & E-mails	音の脱落、前置詞 (位置・場所)
第8回	Unit 7 Health	音の連結、数量形容詞
第9回	Unit 8 The Bank & The Post Office	音の連結、自動詞と他動詞
第10回	Unit 9 New Products	音の連結と脱落、接尾辞と品詞-形容詞
第11回	Unit 10 Travel	短い対話文の聞き取り、接尾辞と品詞-副詞
第12回	Unit 11 Daily Life	長い対話文の聞き取り、分詞構文
第13回	Unit 12 Job Applications	長い文章の聞き取り、比較
第14回	期末試験とまとめ	授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。試験結果に応じてフィードバックを行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Best Practice for the TOEIC L&R Test: Intermediate (成美堂)

*同タイトルのBasicまたはAdvancedと間違えないように気を付けてください。

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み (50%) と期末試験 (50%) から総合的に評価します。欠席4回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

時間配分に気を付けます。

【Outline (in English)】

In this course, whether they are new to TOEIC or want to improve their score, through learning for TOEIC, students will acquire not only business English, but also English skills (especially listening and speaking skills) that will be useful in everyday life. The aim of this course is for students to acquire English language skills to the extent that they can obtain a TOEIC score of 500-600 points. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

TOEIC(R) II

2017年度以降入学者

板橋 美也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

Intermediate

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業では、TOEICに初めて挑戦する人もスコアを上げたい人も、TOEICのための学習を通して、ビジネス英語だけでなく、日常生活で役立つ英語力（特にリスニングとリーディング）を身につけていきます。

【到達目標】

TOEICスコア500～600点取得できる程度の英語力を身につけると同時に、日常で役立つ英語の表現をおぼえ、リスニングとリーディングの基礎力をつけていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回教科書を1unitずつ学習していきます。各unitでTOEIC全パートの問題形式の解法ポイントを押さえながら演習を行うと同時に、日本人にとって聞き取りにくいリスニングのポイントや見落としがちな文法事項を解説します。また、ビジネスや日常生活の様々な分野に関する英語に触れることで、TOEICだけでなく日常生活で役立つ表現をおぼえていきます。課題提出後の授業、または学習支援システムにおいて、提出された課題からいくつかポイントを取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の内容、進め方、TOEICの概要
第2回	Unit 1 Sightseeing / Guided Tour	「主語」と「述語動詞」を探そう
第3回	Unit 2 Restaurant	「人称」と「単数」か「複数」か、を考えよう
第4回	Unit 3 Hotel / Service	「現在形」か「現在進行形」か。「過去形」か「現在完了形」か。
第5回	Unit 4 Employment	「自動詞」と「他動詞」を使い分けよう
第6回	Unit 5 Entertainment	「現在分詞」も「過去分詞」も形容詞の働きをする
第7回	Unit 6 Shopping / Purchases	「文の要素」を思い出そう
第8回	Unit 7 Sports / Health	「基本5文型」と「第2文型」、「第3文型」の見分け方
第9回	Unit 8 Doctor's Office / Pharmacy	接続詞の種類と接続詞ではない「接続副詞」
第10回	Unit 9 Hobbies / Art	接続詞 vs 前置詞のよくあるパターンと関連語句
第11回	Unit 10 Education / Schools	「関係代名詞」と「関係副詞」
第12回	Unit 11 Technology / Office Supplies	「比較級」と「最上級」
第13回	Unit 12 Transportation	「仮定法」と「倒置」のケース

第14回 期末試験とまとめ 授業で勉強した内容に基づいた試験を行います。試験結果に応じてフィードバックを行います。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週、授業で学んだ内容をよく復習してください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト（教科書）】

Progressive Strategy for the TOEIC L&R Test (成美堂)

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

授業への取り組み（50%）と期末試験（50%）から総合的に評価します。欠席4回で単位取得資格を失いますが、その回数に至らなくても、欠席回数が多くなればその分授業への取り組みの評価に影響します。期末試験を受けない場合も、単位取得資格を失います。

【学生の意見等からの気づき】

時間配分に気をつけます。

【その他の重要事項】

春学期のTOEIC Iを受講していなくても、受講できます。

【Outline (in English)】

In this course, whether they are new to TOEIC or want to improve their score, through learning for TOEIC, students will acquire not only business English, but also English skills (especially listening and speaking skills) that will be useful in everyday life. The aim of this course is for students to acquire English language skills to the extent that they can obtain a TOEIC score of 500-600 points. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Grades will be decided based on participation (50%) and the final exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策 I

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (20)

2018年度までに「英検準備 I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検準1級と TOEFL の演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加え、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interviews and lectures
- 3.Be able to talk about basic topics
- 4.Be able to write a multi-paragraph essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です)

- 1.Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
- 2.Explaining basic formats of two certificate tests and practicing (英検と TOEFL のテスト形式の紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1 Explanation of the course 2 Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1 Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2 Reading & Listening practice to identify your weak points (弱点の確認)
3回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Reading practice 2 Listening practice
4回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1 Learning Paragraph Structure 2 Paragraph reading practice 2 Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training	1 Overlapping 2 Prosodic shadowing 3 Contents shadowing
6回	Eiken: Reading and Listening Practice	1 Overlapping and shadowing 2 Listening practice 3 Paragraph reading practice

7回	Eiken: Essay Writing	1 Learning basic writing structures and analyzing model essays 2 Writing an essay 3.Peer editing
8回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1.Writing your draft 2.Feedback
9回	Introduction to TOEFL Test	1 Explanation of the basic format of TOEFL (TOEFL について) 2 Reading practice 3 Listening practice
10回	TOEFL: Intensive Reading Training	1 Paragraph reading practice 2 Summarizing passages
11回	TOEFL: Reading and Listening practice	1 Reviewing paragraph structure 2 Paragraph reading practice 3.Listening practice
12回	TOEFL: Intensive Listening Training	1 Overlapping and shadowing practice 2 Listening exercises
13回	TOEFL: Listening and speaking Training	1 Overlapping and shadowing practice 2 Mini-presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1.Weekly reading or listening home assignments
- 2.Writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and TOEFL tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

英語検定試験対策Ⅱ

2017年度以降入学者

青山 恵子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (20)

2018年度までに「英検準備Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは英検とIELTSの演習を行いながら「スピーキング・リスニング・リーディング・ライティング」の4つの能力強化を目指します。英語検定試験受験予定者に加え、英語の継続学習希望者の受講も歓迎します。

【到達目標】

- 1.Be able to read texts on a variety of topics with accuracy
- 2.Be able to understand main points of interview and lectures
- 3.Be able to give a mini-presentation on a given topic
- 4.Be able to write a multi-paragraphs essay with a basic structure

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

Students participate in practical activities including the four skills of reading, listening, speaking and writing. Feedback for assignments and reaction papers will be given in each class. (この授業の形態は演習です)

- 1.Clarifying objectives and goals (学習動機の明確化とゴール設定)
- 2.Explaining basic formats of three certificate tests and practicing (英検とIELTSのテスト形式の紹介と演習)
- 3.Feedback for assignments and reaction papers (課題やリアクションペーパーに対するフィードバック)

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	Course Orientation	1.Explanation of the course 2.Clarifying objectives and goals
2回	Introduction to Eiken	1.Explanation of the basic format of Eiken (英検について) 2.Reading & Listening practice to identify your weak points (弱点の確認)
3回	Eiken: Paragraph Reading Trainig	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
4回	Eiken: Reading and Listening Practice	1.Paragraph reading practice 2.Listening practice
5回	Eiken: Intensive Listening Training #1	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice
6回	Eiken: Intensive Listening Training #2	1.Listening practice 2.Reading rapidly practice
7回	Eiken: Essay Writing	1.Learning basic writing structures and analyzing model essays 2.Writing an essay

8回	Eiken: Essay Writing and Feedback	1.Peer editing 2.Feedback 3.Rewriting your draft
9回	Introduction to IELTS	1.Explanation of the basic format of IELTS(IELTSについて) 2.Reading practice 3.Listening practice
10回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Reading practice 2.Listening practice
11回	IELTS: Reading and Listening Practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening practice 3.Reading practice
12回	IELTS: Intensive Listening practice	1.Overlapping and shadowing 2.Listening exercises
13回	IELTS: Listening Training and presentation	1.Overlapping and shadowing 2.mini-presentation
14回	Review and Test	Review and test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review are around an hour a week for a one-credit course (本授業の準備学習・復習時間は合わせて授業1回あたり1時間を標準とします)

- 1 Weekly speaking home assignments (Online News in Levels listening or TED watching for mini-presentation)
- 2 Weekly reading or writing home assignments

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided. (プリントを配布します)

【参考書】

You will be provided a list of references. (授業中に指示します)

【成績評価の方法と基準】

Final test (50%)

Home assignment (20%)

In-class contribution, including mini-presentation (30%)

In principle, no more than 3 absences per semester are allowed. (各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない)

【学生の意見等からの気づき】

I'm going to increase the opportunities for communication in the classroom.

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii (学習支援システム)

Electric dictionary (English-English dictionary is necessary)

【Outline (in English)】

The course is for students who would like to improve their English skills through preparation for STEP Eiken and IELTS tests. The goal of this course is to develop skills in paragraph reading, effective listening and speaking, and well-structured writing. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class. The overall grade of the course will be determined by the final examination (50%), the home assignment (20%) and the contribution made in class (30%). In principle, no more than 3 absences per semester are allowed.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Business Communication I 2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】

英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現やEメール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC® Listening/Readingのみならず、TOEIC® Speaking/Writingにも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業始めにListening小テストを毎回行う。メイン教材としては、まずTOEIC®実問題によりビジネス英語に慣れ、その後にビジネスDVD視聴、英文書類、Eメール作成と添削指導を行う。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Academic English	Business Communicationに必要とBusiness English
第2回	TOEIC® Listening Test	TOEIC®のListening問題を一回分(100問)解き、答え合わせを行う
第3回	Listening 1 TOEIC® Grammar 問題1	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる1 (文法)
第4回	Listening 2 TOEIC® Grammar 問題2	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる2 (語彙)
第5回	Listening 3 TOEIC® Reading 問題1	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる1 (単一文書単語補充)
第6回	Listening 4 TOEIC® Reading 問題2	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる2 (単一文書読解)
第7回	Listening 5 TOEIC® Reading 問題3	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる3 (複数文書の関連付け)

第8回	Listening 6 TOEIC® Reading 問題4	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる4 (図表・伝票を含む複数文書)
第9回	Listening 7 英文帳票作成	英語音声聴解 Leave Request Domestic/Oversea Travel Form
第10回	Listening 8 社内文書作成	英語音声聴解 Interoffice Memo Notice
第11回	Listening 9 社交文書作成1	英語音声聴解 ビジネスDVD視聴①会合
第12回	Listening 10 社交文書作成2	英語音声聴解 ビジネスDVD視聴②業務連絡
第13回	就職活動文書作成	履歴書作成 応募カバーレター 紹介状・推薦状
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.
和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書で単語を引きながら読み、問題の答えを考えておくことが必要。

【テキスト (教科書)】

TOEIC®問題、Listening問題、英文レター・メール等のWriting問題、ビジネスシーンを収録したDVDのDictation問題は、すべてプリントを配布する。

【参考書】

授業に必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、平常点40%。平常点は授業参加度10%、リスニング小テスト平均点10%、課題等20%を原則とする。よって、評価点は試験60点、平常点40点の合計100点とし、60%以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも0点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

ビジネスで使う英語という難しい印象を受けるかもしれないが、実際にはTOEIC問題の中のビジネス関連部分を解きながら自然に慣れていくことができるので心配はいらない。字幕付きのビジネスシーンを採録したDVDもあるので、これらを見て直感的に理解することもできる。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。英文メール&レターWritingを行う際、備付PCのない教室が割り当てられた場合は各自のモバイルPCを持ち込むことになる。PCの都合がつかない学生にはPC貸与を受けるなど方策をとるので、PCの有無で受講を控える必要はない。なお、授業で扱うTOEIC実問題が難しいと不安な場合は、Hoppiiに解説パワーポイントスライドをアップするので予習に活用していただきたい。

【その他の重要事項】

受講希望者は初回授業に出席し、ガイダンスを受けること。

【Outline (in English)】

This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC[®], and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student’s overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, and in class contribution 30%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Business Communication II 2017年度以降入学者

今井 澄子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国際ビジネスで使われる英語を学ぶことで、人間関係、および、取引関係を築く上で必要とされるコミュニケーションの取り方を音声、文書の両面で習得する。

【到達目標】

英語で行われる国際ビジネス場面の話題について大まかな理解をもち、口頭および文書でコミュニケーションできるようにする。また、企業内の書類、商業通信文について英和ともに知識を習得し、英語でビジネスをする力を身に着ける。具体的には、基本的なビジネス英語の聴解や読解ができ、英語による口頭表現やEメール、英文レターなど自ら発信する文章を書くことができるようになる。これにより、TOEIC® Listening/ReadingのみならずTOEIC® Speaking/Writingにも対応できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業始めにListening小テストを毎回行う。メイン教材としては、まずTOEIC®実問題によりビジネス英語に慣れ、その後にビジネスDVD視聴、英文書類、Eメール作成と添削指導を行う。このほか小テスト、課題はすべて授業内での解答解説などの方法でフィードバックする。なお、春学期とは別の問題を使って授業を進めるため、秋学期からの履修も可能で不利は一切ない。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Business EnglishとTOEIC®等各種資格試験	Business Communicationに必要な英語とTOEIC®, ビジネス英語検定試験等について解説する
第2回	TOEIC® Listening Test	TOEIC®のListening問題を一回分(100問)解き、答え合わせを行う
第3回	Listening 1 TOEIC® Grammar 問題1	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる1(文法)
第4回	Listening 2 TOEIC® Grammar 問題2	英語音声聴解 文法問題を解きながらビジネス英語に慣れる2(語彙)
第5回	Listening 3 TOEIC® Reading 問題1	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる1(単一文書単語補充)
第6回	Listening 4 TOEIC® Reading 問題2	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる2(単一文書読解)
第7回	Listening 5 TOEIC® Reading 問題3	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる3(複数文書の関連付け)

第8回	Listening 6 TOEIC® Reading 問題4	英語音声聴解 読解問題を和訳・解答しながら英語文書に慣れる4(図表・伝票を含む複数文書)
第9回	Listening 7 英文帳票作成	英語音声聴解 Cash Advanced Payment, Expense Report, Cash Payment Request
第10回	Listening 8 貿易書類作成	英語音声聴解 Packing List, Invoice
第11回	Listening 9 転職・売込	英語音声聴解 ビジネスDVD視聴①転職
第12回	Listening 10 会議英語	英語音声聴解 ビジネスDVD視聴②会議・プレゼンテーション
第13回	価格交渉と取引成立	ビジネスDVD視聴③交渉
第14回	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

和訳担当を割り当てられたときは、必ず自宅で辞書で単語を調べながら読み、問題の答えを考えておくことが必要。

【テキスト (教科書)】

TOEIC®問題、Listening問題、英文レター・メール等のWriting問題、ビジネスシーンを収録したDVDのDictation問題は、すべてプリントを配布する。

【参考書】

授業に必要なプリントを配布するため、特に参考書は指定しない。

【成績評価の方法と基準】

期末試験60%、平常点40%。平常点は授業参加度10%、リスニング小テスト平均点10%、課題等20%を原則とする。よって、評価点は試験60点、平常点40点の合計100点とし、60%以上の得点で合格。授業始めのリスニング小テスト終了後は遅刻と認めず欠席とし、小テストも0点となる。割り当てられた課題を遂行しない、担当のある日に無断欠席などは課題点がマイナスになり、たいへん不利になる。欠席が4回以上になった者は原則として単位修得の資格を失う。

【学生の意見等からの気づき】

ビジネスで使う英語という難しい印象を受けるかもしれないが、実際にはTOEIC問題の中のビジネス関連部分を解きながら自然に慣れていくことができるので心配はいらない。字幕付きのビジネスシーンを採録したDVDもあるので、これらを見て直感的に理解することもできる。

【学生が準備すべき機器他】

英和辞書。英文メール&レターWritingを行う際、備付PCのない教室が割り当てられた場合は各自のモバイルPCを持ち込むことになる。PCの都合がつかない学生にはPC貸与を受けるなど方策をとるので、PCの有無で受講を控える必要はない。なお、授業で扱うTOEIC実問題が難しいと不安な場合は、Hoppiiに解説パワーポイントスライドをアップするので予習に活用していただきたい。

【その他の重要事項】

受講希望者は初回授業に出席し、ガイダンスを受けること。

【Outline (in English)】

This class develops communication skills in both spoken and written English needed to succeed in international business and enlarge knowledge of the international business world. At the beginning of every class, students take a short exam of dictation of English sentences frequently used in a business correspondence. There are twenty chapters and the chapter themes follow the real trading process such as Inquiry, Quotations, Offers, Discounts, Orders, Contracts, Opening L/C, Insurance, Shipment, Customs Clearance, Drafts, and so on, and students can have a knowledge of international business flow. Additionally, the main part of class has two phases: listening and reading of business related materials in TOEIC[®], and writing business letters and e-mails. The former activity enables students to imagine a business scene and know the basic format of various documents and English expression used in a business world, and based on these knowledge, they try the latter activity — business correspondence. Beginning from writing formats such as “Leave Request,” “Cash-advanced Request,” “Expense Report,” and documents used in import/export, the final step is writing a business letter with a company letterhead and sending/receiving a business e-mail. All these writings are proofread and returned to students. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant part from the text. However, they need not to prepare for the listening-mini test and all the writing tasks are performed only in class. Every student’s overall grade in the class will be decided based on the following: Term-end examination 60%, mini-listening test average score 10%, and in class contribution 30%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ニュース英語 I

2017年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。特に、シャドーイングの訓練を中心にリーディング・リスニング・スピーキング技能を高めていく。

シャドーイングのトレーニングを通して1) 音声知覚力の向上 2) 発音・発話の流暢さ 3) 読解力の速さ・正確さが獲得できる。シャドーイングは効果の高さから注目を浴びている学習活動だが、聞こえてくる音声を正確に聴き取り、再生し意味を理解しようとするため、認知的には非常に負荷の高い活動でもある。しかし、メタ認知活動モデルを使った独自の方法を利用することにより、無理なくマスターできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

ペア/グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型 (= 協働学習) の授業を行う。シャドーイングのパフォーマンスチェックや英作文のドラフトチェックなどもグループやペアで行う。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。使用するCALL (コンピュータ支援の語学学習) 教室の特性を活かして、様々な学習ツール (グループワーク機能、音声&文字チャット、音声録音など) を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。洋楽、洋画、TOEICの問題等も副教材として積極的に活用する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第2回	Unit 1: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第3回	Unit 1: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第4回	Unit 2: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第5回	Unit 2: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第6回	Unit 3: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第7回	Unit 3: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第8回	Unit 4: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第9回	Unit 4: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第10回	Unit 5: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing

第11回	Unit 5: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第12回	Unit 6: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第13回	プレゼンテーション	口頭発表とクラスメートによる評価
第14回	期末試験 (筆記)	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて60分程度を標準とする。
・テキストの予習と英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業である。予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかるので十分な準備が必要である。

【テキスト (教科書)】

Elevate your English with Shadowing (三修社, 2024)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (筆記) 50% + プレゼンテーション 20% + 提出課題 20% + 平常点 10% によって評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上を合格点とする。

欠席が4回以上になった場合は単位修得の資格を失う (ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く)。遅刻・早退3回で欠席1回の扱いとする。授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の退席は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

少人数だったが、熱意のある学生が多く、自ら課題を課して学習する積極的な姿勢が見受けられた。

【学生が準備すべき機器他】

学内ネットワークを利用するので、受講生はIDとパスワードを確認しておく必要がある。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。再履修クラスとして受講することも可能。

【その他の重要事項】

コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。教科書は初回授業までに購入しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint.

The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading / shadowing practice. Shadowing is a language learning technique in which you listen to a model and repeat what you hear with as little delay as possible. The main benefits of this training are 1) improved speech perception, 2) fluency in pronunciation and speech, and 3) enhanced speed and accuracy in reading comprehension.

This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.

- ・ Students will learn to read and listen efficiently.
- ・ Students will develop critical reading and thinking skills.
- ・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and shadowing at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

ニュース英語Ⅱ

2017年度以降入学者

塩谷 幸子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

世界を取り巻く様々な状況を英語で正確に理解して、それを批判的に読み解き、その上で自国の社会や文化についても客観的かつ多面的な視点で捉えることのできる教養豊かな国際人を養成する。

【到達目標】

ニュース英語を正確に読み取る力、聴き取る力を養う。特に、シャドーイングの訓練を中心にリーディング・リスニング・スピーキング技能を高めていく。

シャドーイングのトレーニングを通して1) 音声知覚力の向上
2) 発音・発話の流暢さ 3) 読解力の速さ・正確さが獲得できる。シャドーイングは効果の高さから注目を浴びている学習活動だが、聞こえてくる音声を正確に聴き取り、再生し意味を理解しようとするため、認知的には非常に負荷の高い活動でもある。しかし、メタ認知活動モデルを使った独自の方法を利用することにより、無理なくマスターできるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

ペア/グループワークを多用し、主体的に、対話的に、そしてより深く学び合う参加型 (=協働学習) の授業を行う。シャドーイングのパフォーマンスチェックや英作文のドラフトチェックなどもグループやペアで行う。提出課題に対しては、個別またはクラス全体のフィードバックを行う。使用するCALL (コンピュータ支援の語学学習) 教室の特性を活かして、様々な学習ツール (グループワーク機能、音声&文字チャット、音声録音など) を利用しながらクラスメートと共に効率よく学習する。洋楽、洋画、TOEICの問題等も副教材として積極的に活用する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業方針の説明・プレテスト
第2回	Unit 7: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第3回	Unit 7: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第4回	Unit 8: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第5回	Unit 8: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第6回	Unit 9: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第7回	Unit 9: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第8回	Unit 10: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第9回	Unit 10: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第10回	Unit 11: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing

第11回	Unit 11: Fill in the Blanks	Let's Try Shadowing Again / Comprehension
第12回	Unit 12: Warm-up	First Listening / Let's Try Shadowing
第13回	プレゼンテーション	口頭発表とクラスメートによる評価
第14回	期末試験 (筆記)	まとめ & ポストテスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて60分程度を標準とする。
・テキストの予習と英文のチャンク分け、音読練習を続けることによって、自律的な学習習慣を身につけて欲しい。
・ペア・ワークやグループ・ワークを頻繁に行う参加型の授業である。予習を怠ると授業に参加できないばかりか、他の受講生にも迷惑がかかるので十分な準備が必要である。

【テキスト (教科書)】

Elevate your English with Shadowing (三修社, 2024)

【参考書】

Grammar in Use Intermediate, 3rd Edition (Cambridge U. P., 2010)

Practical English Usage (Oxford U. P., 2005)

その他の参考書や参考サイトについては授業時に適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験 (筆記) 50% + プレゼンテーション 20% + 提出課題 20% + 平常点 10% によって評価する。成績評価は100点満点とし、60点以上を合格点とする。

欠席が4回以上になった場合は単位修得の資格を失う (ただし、忌引きや登校停止を必要とする流行性疾患は除く)。遅刻・早退3回で欠席1回の扱いとする。授業開始後30分以上の遅刻、および授業終了30分以前の退席は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

少人数だったが、熱意のある学生が多く、自ら課題を課して学習する積極的な姿勢が見受けられた。

【学生が準備すべき機器他】

学内ネットワークを利用するので、受講生はIDとパスワードを確認しておく必要がある。資料配布や課題提出には、大学の授業支援システムだけでなく、担当教員の授業ページも利用する。再履修クラスとして受講することも可能。

【その他の重要事項】

コンピュータを利用して授業を行うが、機器類の使い方については授業時に詳しく説明するので、パソコン操作が苦手な学生でも問題なく受講できる。
教科書は初回授業までに購入しておくことが望ましい。

【Outline (in English)】

This course is designed to nurture well-educated global citizens who can accurately understand various situations surrounding the world today and also grasp the society and culture of their own countries from an objective and multifaceted viewpoint.

The main focus of this class is to improve students' reading speed and accuracy through phrase reading and oral reading / shadowing practice. Shadowing is a language learning technique in which you listen to a model and repeat what you hear with as little delay as possible. The main benefits of this training are 1) improved speech perception, 2) fluency in pronunciation and speech, and 3) enhanced speed and accuracy in reading comprehension.

This course will cover a wide range of significant issues confronting the world today. It expects students to gain an increased critical understanding of them in order to become responsible global citizens.

- ・ Students will learn to read and listen efficiently.
- ・ Students will develop critical reading and thinking skills.
- ・ Students will acquire knowledge and skills to become autonomous learners of English.

Students are required to practice phrase reading and shadowing at least for 60 minutes a week outside of class.

Grading Criteria: Final Exam (50%) + Presentation (20%) + Assignments (20%) + Participation (10%)

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (オーラル・コミ ユニケーション) A-I 2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students listening, speaking and writing skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident English communicators.

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of English speaking situations that they may encounter when living or studying abroad, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing, in a coherent and concise fashion.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other and to prepare a short speech on a given topic. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Explanation of class rules & objectives and self-introductions
Class 2	Textbook unit 1 Extreme Sports	Formulating and supporting opinions
Class 3	Textbook unit 1 Extreme Sports	Group discussion Team vs. Individual Sports
Class 4	Textbook unit 2 Identity Theft	Asking for and giving advice
Class 5	Textbook unit 2 Identity Theft	Group discussion How to avoid identity theft
Class 6	Writing Workshop	Writing clear and concise sentences
Class 7	Unit 3 Space Exploration	Making and confirming predictions
Class 8	Unit 3 Space Exploration	Group discussion Future of space tourism
Class 9	Unit 4 Being Persuasive	Using logical and emotional appeals
Class 10	Unit 4 Being Persuasive	Group discussion Comparative advertising
Class 11	Individual speech (3-5 min)	What makes you different from other people? or What makes Japan different from other countries?

Class 12 Individual speech (3-5 min) What makes you different from other people? or What makes Japan different from other countries?

Class 13 Final exam review Vocabulary & listening practice

Class 14 Final exam units 1-4 Exam & Summary

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

NorthStar 3 Listening & Speaking 4th edition (Pearson) ISBN 978-0-13-404981-6 (¥3,564)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities

40%-Outside assignments*

30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

*Assignment 1—Keep a weekly journal of English activities being done outside of class (at least one activity per week)

*Assignment 2—Prepare a 3-5 speech on

a. What makes you different from other people? or,

b. What makes Japan different from other countries?

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading and writing assignments with the aim of improving their written communication skills.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-II 2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students listening, speaking and writing skills through a series of in-class activities and outside assignments to allow them to become more competent and confident English communicators

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of English speaking situations that they may encounter when living or studying abroad, as well as express their ideas and opinions, both verbally and in writing in a coherent and concise fashion.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

The class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will be required to share and support their opinions with each other and to prepare a short speech on a given topic. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Explanation of class rules & objectives and student interviews
Class 2	Unit 5 Careers	Using follow-up questions to extend conversations
Class 3	Unit 5 Careers	Job interview role play
Class 4	Unit 6 Tourism	Considering all sides of an issue
Class 5	Unit 6 Tourism	Design a tour campaign for a local Japanese site
Class 6	Writing workshop	Writing a paragraph with topic and supporting sentences
Class 7	Unit 7 Restorative Justice	Creating a persuasive argument
Class 8	Unit 7 Restorative Justice	Group discussion Pros & cons of restorative justice
Class 9	Unit 8 Climate change	Analyzing & explaining (presenting) data
Class 10	Unit 8 Climate change	Group discussion Ways to address climate change

Class 11 Individual speech (3-5 min) What would you like to change about yourself? or What would you like to change about Japan?

Class 12 Individual speech (3-5 min) What would you like to change about yourself? or What would you like to change about Japan?

Class 13 Final exam review Vocabulary and listening practice

Class 14 Final exam (units 4-8) Exam & Summary

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

NorthStar 3 Listening & Speaking 4th edition (Pearson)
ISBN 978-0-13-404981-6 (¥3,564)

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities

40%-Outside assignments*

30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

*Assignment 1 — Keep a weekly journal of English activities being done outside of class (at least one activity per week)

*Assignment 2 — Prepare a 3-5 min speech on

a. What would you like to change about yourself? or,

b. What would you like to change about Japan?

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading and writing assignments with the aim of improving their written communication skills.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (オーラル・コミ ユニケーション) B- I 2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students' understanding and use of business phrases and terms to become more proficient when using English at work.

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of business situations they may encounter when working with English-speaking people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Course goals Expectations of students Introductions
Class 2	Unit 1 Careers	Business phone calls
Class 3	Unit 1 Careers	You Juice case study
Class 4	Unit 2 Companies	Describing companies
Class 5	Unit 2 Companies	Dino Conti case study
Class 6	Unit 3 Selling	Negotiating
Class 7	Unit 3 Selling	Negotiation role play
Class 8	Unit 4 Great Ideas	Conducting a successful meeting
Class 9	Unit 4 Great Ideas	PB Technologies role play
Class 10	Unit 5 Stress	Participating in discussions
Class 11	Unit 5 Stress	Davies-Miller case study
Class 12	Unit 6 Entertaining	Socializing, greetings & small talk
Class 13	Final exam review	Listening & vocabulary exercises
Class 14	Final exam units 1-6	Exam & Summary

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Pre-Intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)
ISBN: 978-1-4082-3737-6

【参考書】

None

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities
40%-Outside assignments
30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading assignments.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (オーラル・コミ ユニケーション) B-II 2017年度以降入学者

RICHARD SHEEHAN

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This course is designed to improve students understanding and use of business phrases and terms to become more proficient when using English at work.

【到達目標】

Students should be able to communicate in a variety of business situations they may encounter when working with English-speaking people.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

This will be a real-time class at the Ichigaya campus. Each class will incorporate short lectures supplemented by textbook exercises, class discussions and group activities. Students will receive feedback and comments on homework assignments and in class activities throughout the term either in person or through email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Class 1	Class overview	Course goals Expectations of students Introductions
Class 2	Unit 7 New Business	Economic terms
Class 3	Unit 7 New Business	Shimizu Cycle case study
Class 4	Unit 8 Marketing	Marketing framework
Class 5	Unit 8 Marketing	Bicycle Light case study
Class 6	Unit 9 Planning	Interrupting and clarifying
Class 7	Unit 9 Planning	Planning role play
Class 8	Unit 10 Managing People	Socializing and entertaining
Class 9	Unit 10 Managing People	Wendy Peterson case study (part 1)
Class 10	Unit 11 Conflict	Addressing the root causes of conflict
Class 11	Unit 11 Conflict	Wendy Peterson case study (part 2)
Class 12	Unit 12 Products	Describing and presenting a product
Class 13	Final exam review	Listening & vocabulary practice
Class 14	Final exam units 7-12	Exam & Summary

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Pre-Intermediate Market Leader 3rd edition (Pearson)
ISBN: 978-1-4082-3737-6

【参考書】

none

【成績評価の方法と基準】

30%-Classroom activities
40%-Outside assignments
30%-Final exam

In principle, no more than 3 absences per term are allowed

【学生の意見等からの気づき】

None

【Outline (in English)】

Classes will integrate short lectures with listening exercises and group speaking activities with the aim of improving oral communication skills. Students will also be expected to complete outside reading assignments.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English for Study Abroad I 2017年度以降入学者

高井 美紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は英語圏への留学のための準備講座です。学生は本授業で、海外留学の準備から帰国後の対応に至る一連の流れを理解し、さまざまなシチュエーションで求められる語彙や英語表現を習得します。授業はリスニングとスピーキング中心で、シャドーイングやリピティング、ロールプレイングなど実際に口を動かして英語を喋る様々なアクティヴィティも行います。本授業では、特にアウトプットの練習に力を入れ、学生が実践的に使える英語力を獲得することを目指します。

【到達目標】

本授業を通じて学生は以下の能力を身に着けます。

- ①海外留学の場面で必要とされる必須**Vocabulary**。
- ②海外留学における様々な場面で必要になる基本的な会話表現
- ③シャドーイングを通して、英語のリズムや抑揚を身に着ける。
- ④ロールプレイを通して、フレーズを暗記する。
- ⑤上記で習った表現を、様々な場面に相応しい表現に応用する応用力。
- ⑥細かい間違いを気にせずに、自分の伝えたいことを表願しようとする意欲。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行います。リスニングを中心にして、ロールプレイングやシャドーイングなどのアクティヴィティを数多く取り入れられます。これらアクティヴィティの参加は、平常点として大きく評価されます。また、毎回の授業の最後に学習の定着をはかるための**Review Quiz**を行います。この**Review Quiz**は本授業の成績評価の主体となるものです。また、課題として出題される**Extra Exercises**も成績評価の対象となります。これらの**Quiz**や**Exercises**のフィードバックは週週の授業または授業支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
4月9日	オリエンテーション	授業の方針説明、重要事項説明 導入授業
4月23日	Chapter1: Choosing the Destination Chapter1: Choosing the Destination Chapter2: On the Plane	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz1, 2
5月7日	Chapter3: Airport Arrival Procedures	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz3
5月14	Chapter4: Meeting the Host Family	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz4

5月21日	Chapter5: Sharing Japanese Culture	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz5
5月28日	Chapter6: Taking the Bus	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz6
6月4日	Chapter7: Orientation	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz7
6月11日	Chapter8: Making Phone Calls&Texting	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz8
6月18日	Chapter9: Seeking Medical Care	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz9
6月25日	Chapter10	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz10
7月2日	Chapter11: Giving Presentations	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz11
7月6日 (補講日)	Chapter12: Hosting an Online Meeting	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz12
7月9日	Chapter13: Encountering New Food Habits	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 1Review Quiz13
7月16日	Chapter14: Airport Departure Procedures Chapter15: Keeping in Touch	リスニング、シャドーイング、ロールプレイ、ディクテーション、 Review Quiz14,15

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

事前学習は特に必要ありませんが、**Extra Exercises**を事後学習の課題として出すことがあります。この課題に関しては、授業支援システムの課題ボックスを通じて提出とフィードバックを行います。

【テキスト (教科書)】

【教科書名】 Across Borders: Prepareing for Study Abroad

【著者】 辻和成、辻勢都、田平真澄

【出版社】 三修社

【価格】 2200円

【参考書】

特に指定しません。

【成績評価の方法と基準】

成績評価の内訳は以下の通りです。

平常点 (ロールプレイyシャドーイングなどの授業貢献) :30%

Review Quizの合計点：40%

課題：30%

上記を合計して100点満点で評価し60点以上で単位取得となります。考慮すべき理由のない欠席が4回を超えると成績評価の対象外となります。

考慮すべき理由とは、①部活動の試合、②病欠です。

①②ともに、大学の発行する公欠証明、感染症り患による配慮願いの書類、または、病院の受診証明 (病院の領収証、診断書等)がある場合のみ、公欠と認めます。

上記を伴わない場合は公欠とはなりません。

授業開始から10分以上遅れた場合は遅刻となり、遅刻2回で1欠席となります。

公共交通機関の遅延証明がある場合は、考慮します。

【学生の意見等からの気づき】

オールトレーニングをたくさん取り入れてほしいという意見を採用し、昨年度からロールプレイングやプレゼンテーションを授業の中心にしました。本年度もこの方針を継続する予定です。さらに本年度は、学習の定着を確実にし、授業に緊張感を持たせるために、毎回の授業の最後にReview Quizを行うことにしました。

【学生が準備すべき機器他】

初回の授業はオンラインで行いますので、パソコン環境が必要です。基本的に授業は対面で行いますが、事情によりZoom授業に変更することもあります。その場合は、授業支援システムを通じて授業前までに連絡しますので、授業前には授業支援システムを確認してください。

また、授業にはかならず辞書を持参してください。電子辞書が望ましいですが、ない場合にのみ、スマートフォンの辞書の使用を認めます。

【その他の重要事項】

欠席の連絡をメールで送ることは、特別な場合を除いて原則禁止にします。欠席は、後日、欠席事情の公式証明の提出があった場合にのみ公欠とします。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students acquire English skills necessary for studying abroad. Students in this course will learn vocabulary and expressions required in various situations related to studying abroad from a preparing period to a period after returning home. Listening practice and speaking practice are the focus of each lesson, and students will work on oral activities such as shadowing, repeating and role-playing. At the end of this course, students are expected to acquire practical communication skills in English.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Final grade will be calculated according to the following process; Review Quizzes (40%), assignments (30%), and in-class contribution (30%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

English for Study Abroad II 2017年度以降入学者

北 文美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

さまざまなトピックの英文を読むことで、国内外の時局をより広い視野から見直し、英語の読解力ならびに語彙力の向上をはかります。それぞれの内容について英語で自分の意見を述べるができるよう、語学力に加えて、思考力ならびに批判力を涵養します。

【到達目標】

速読による多読を基本とし、大意を捉えて内容を咀嚼する思考力、批判能力を養います。また、さまざまな文章を読むことのできる語彙力を身につけます。また、各自の意見を適切にまとめることができるよう表現力も養います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業ではテキストの内容の把握に加えて、テキスト内の単語・慣用語彙などの類義語、類似表現を確認し、読解力の向上とともに、語彙力ならびに表現力の拡充をはかります。また、読んだ内容の理解を深めるため、それぞれのテーマについて英語で内容をまとめる練習をします。また、英文を書く上で必要なスキルを、各自が実際に英文を書き、教室でフィードバックします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業の進め方の解説
2	言語と文化（1）	異文化理解
3	言語と文化（2）	文化の衝突
4	言語と文化（3）	英語公用語化
5	社会と環境（1）	環境破壊
6	社会と環境（2）	民族差別
7	中間試験 まとめ	これまで履修したテキスト及び解説から出題
8	経済と社会（1）	南北問題
9	経済と社会（2）	国際紛争
10	経済と社会（3）	児童労働
11	技術と人間（1）	臓器移植
12	技術と人間（2）	遺伝子組み換え
13	技術と人間（3）	インターネット中毒
14	学期末試験、まとめ	履修したテキストと解説から出題

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週テキストの英文を読み、わからない単語・表現がある場合には必ず事前に辞書を使って調べておくようにしてください。授業の復習・予習に一時間以上必要です。

【テキスト（教科書）】

適宜プリントを使用します。

【参考書】

その都度紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点、課題の提出 25%

試験（中間・期末） 75%

この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。尚、欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めない。

【学生の意見等からの気づき】

英作文の例を紹介します。

【Outline (in English)】

(Course Outline)

This course aims to improve reading and writing skills in English, and to prepare students to develop critical thinking skills through widely ranged texts.

(Learning Objectives)

By the end of the semester, students are expected to deepen their understanding about the command of the English language.

(Learning activities outside of classroom)

Students must read the course material before each class, and spend more than one hour preparing for each lesson.

(Grading Criteria/Policy)

Assignments 25% Mid-term and Final Exams 75%

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-I 2017年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。現代社会では、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文に接し、コミュニケーションの道具として英語を使いこなすことが必要だと考えられます。本講義では、比較的平易な英語で書かれたテキストや動画を用い、実際に使われることを想定したロール・プレイングを行うことでアウトプットできるようにしていきます。

【到達目標】

大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解でき、英語で発信する基礎力をつけることです。また、プレゼンテーション(グループ・プレゼンテーションを含む)に慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

○最初は、テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたり話したりする作業およびロール・プレイングが中心となります。自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。

○課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第2講	Unit 1 Friends	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第3講	Unit 2 Hobbies	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第4講	Unit 3 Commuting	関連動画の観賞及び内容の確認と発音練習
第5講	Unit 4 Fashion	内容の理解、要約、意見のまとめ(1)
第6講	Unit 5 Personality	内容の理解、要約、意見のまとめ(2)
第7講	Unit 6 Sleep	内容の理解、要約、意見のまとめ(3)
第8講	Unit 7 Travel	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのプランニング(1)
第9講	Unit 8 Diets	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのプランニング(2)
第10講	Unit 9 Money	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのリハーサル(1)

第11講	Unit 10 E-books	内容の理解、要約、意見のまとめとグループ学習もしくはプレゼンテーションのリハーサル(2)
第12講	プレゼンテーション	プレゼンテーション

復習	全体の復習	全体の復習
総括	総括	全体の総括

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習及びプレゼンテーションのための時間が必要です。具体的には、テキストを読んで、内容を日本語と英語でまとめておくことと、プレゼンテーション等発表の計画をし、必要であればグループで集まり、発表の内容を考え、発表の練習をすることです。

【テキスト (教科書)】

Companion to English Communication, Esther Waer 他著、南雲堂、2021年、ISBN 978-4-523-17924-5

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の教場練習への参加程度(80%)、プレゼンテーション(20%)を全て考慮し、評価します。ペーパーテストを行う予定はありません。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていたいただきたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

1. 授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、グループ発表の場合はグループ性と一人1分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

【Outline (in English)】**【Course Outline】**

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities through reading the articles about business and everyday life.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to read English texts efficiently (to get information from written things without any problems).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 40%, Presentations: 30%, Reports: 30%, No term-end examinations

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) A-II 2017年度以降入学者

戸嶋 まゆみ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

実社会で用いられている英語を読んで理解し、発信できるようにすることが到達目標となります。現代社会では、インターネット時代に必要かつ基本的な知識を得られるような英文に接し、コミュニケーションの道具として英語を使いこなすことが必要だと考えられます。本講義では、比較的平易な英語で書かれたテキストや動画を用い、実際に使われることを想定したロール・プレイングを行うことでアウトプットできるようにしていきます。

【到達目標】

大学生として抑えておきたいグローバルな知識を含んだ英文が理解でき、英語で発信する基礎力をつけることです。また、プレゼンテーション(グループ・プレゼンテーションを含む)に慣れることも目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

The goal of this course is to use English texts efficiently (to get information from written things without any problems and to give appropriate presentations).

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

○最初は、テキストを読み、書かれている英語を理解し、その英文について英語で説明し、意見を述べたり書いたり話したりする作業およびロール・プレイングが中心となります。自分の意見を英語で述べる練習もします。中盤以降は、グループで学習し、発表ができるように学んでいきます。授業時の指示は、状況に応じて、日本語と英語で行います。

○課題等に対するフィードバックは、授業時に口頭あるいはプリント等を用いて行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1講	ガイダンス	授業に関するガイダンス
第2講	Unit 11 Online Friends	文法理解のスキル(1)
第3講	Unit 12 Productivity	文法理解のスキル(2)
第4講	Unit 13 Pets	ライティングのスキル(1)
第5講	Unit 14 Made by Hand	動画鑑賞とスピーチ
第6講	Unit 15 Writing	動画鑑賞とスピーチ原稿
第7講	Unit 16 Food Culture	スピーチ原稿作成方法
第8講	Unit 17 Stress	スピーチ題材の選択
第9講	Unit 18 Ghosts	動画鑑賞とプレゼンテーション(1)

第10講	Unit 19 Housing	動画鑑賞とプレゼンテーション(2)
第11講	Unit 20 Gender Equality	ライティング(2)
第12講	Unit 11-20の復習	スピーチ、プレゼンテーション、ライティングの復習
第13講	全体の復習	全体の復習
第14講	総括	全体の総括

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト(教科書)】

Companion to English Communication, Esther Waer 他著、南雲堂、2021年、ISBN 978-4-523-17924-5

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の教場練習への参加程度(80%)、プレゼンテーション(20%)を全て考慮し、評価します。ペーパーテストを行う予定はありません。各学期欠席が4回以上の場合は、原則として単位修得を認めません。

【学生の意見等からの気づき】

プレゼンテーションは楽しいが準備が大変だったという意見があります。しかし、必ず人生において役に立ちます。一人一度以上はプレゼンテーションの機会を設けてありますので、ぜひみなさんには頑張っていたいただきたいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

毎回、テキスト、ノート、辞書類を持参して下さい。また、授業の進行に伴って、あらかじめ映画や動画の視聴を求められることがあります。内容については、教場指示とします。

【その他の重要事項】

授業時以外の時間の学習が必要です。また、プレゼンテーションでは、グループ発表の場合はグループ性と一人1分以上の英語を原稿なしで話すことが求められます。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The target of this course will be to improve students reading and outputting ability in English. Especially it is going to be essentially important for Japanese university students to strongly improve their English skills in order to successfully function in the future as the members of the society of the internet era. I hope that this course will help guide all of my class students to get used to joining in group working activities through reading the articles about business and everyday life.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to read English texts efficiently (to get information from written things without any problems).

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each.

【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

In-class contribution: 80%, Presentations: 20%, No term-end examinations

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-I 2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

Business communication skills: to develop the skills necessary for effective communication for a variety of common business or workplace situations.

【到達目標】

This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Language functions such as Meeting people, Telephoning, Explaining company performance and Describing products & services will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. Practice test questions from the TOEIC test will also be covered in this course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also discuss business practices and cultural differences in business settings at the end of each unit. Some brief written assignments will also be given.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Unit 1 Meeting people: Listening & expressions/vocabulary	Ice breakers and introduction to course; level assessment; Meeting people, Listening to introductions & developing conversations
Week 2	Unit 1 Meeting people: listening comp, role play & discussion	talking about companies, ending conversations, gestures TOEIC : Listening-Photos
Week 3	Unit 2 Telephoning: listening & speaking	U1 Quiz Calling contacts, making calls, leaving messages
Week 4	Unit 2 Telephoning: listening, role play, discussion	Voicemail messages, taking messages, switchboard role-play, discussion: business communication TOEIC : Listening-Question & Response

Week 5	Unit 3 Schedules & appointments: listening & speaking	U2 Quiz Talk about schedules, numbers, making appointments
Week 6	Unit 3 Schedules & appointments: listening, role play, discussion	Presenting figures, describing graphs and numbers TOEIC : Listening-Short conversations
Week 7	Unit 4 Company performance: listening & speaking	Unit 3 quiz Presenting figures, describing graphs and numbers
Week 8	Unit 4 Company performance: listening, role play, discussion	Comparing information, Presenting graphs& tables, Discussing working conditions TOEIC : Listening-short talks
Week 9	Review: units 1-4 & role play/discussion	Discussion / role play: making small talk & telephoning
Week 10	Unit 5 Products & services: listening & speaking	Product features, asking about products, company activities, company services
Week 11	Unit 5 Products & services: listening, role play, discussion	Visiting a client, Q&A about products, Discuss working abroad TOEIC: Reading-Complete sentences
Week 12	Unit 6 Business Decisions: listening & speaking	Unit 5 quiz Company history, Cause-effect, Business decisions
Week 13	Unit 6 Business Decisions: listening, role play, discussion	Explaining business decisions, Discuss franchise to operate, Decision making styles
Week 14	Quiz Units 1-6 Course review	Review: units 1-6 Quiz: units 1-6

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

【テキスト (教科書)】

Business Venture 2, Student Book, Barnard & Cady; Oxford University Press
ISBN 9780194578189

【参考書】

Business Venture 2, Student Book, Barnard & Cady; Oxford University Press
ISBN 9780194578189

<http://www.better-english.com/vocabulary.htm>

<https://quizlet.com/KreggJ>

<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Course grades will be based on the following components:
Quizzes-65%

Homework from textbook or handouts-20%

Participation-15%

In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on communication skills & situational English

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course.

Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

【その他の重要事項】

Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.

【Outline (in English)】

Develop spoken and written competence in a variety of business situations and on a variety of business topics

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (ビジネス・コミュニケーション) B-II 2017年度以降入学者

Kregg Johnston

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

The goal of the course is to develop the student's English communication skills for a variety of situations encountered in business.

【到達目標】

This course aims to develop the student's vocabulary and ability to discuss key business concepts and engage in realistic problem solving discussions. Language functions such as Dealing with problems, Checking progress, Checking progress, and Meetings and discussions will be covered in the course. Special emphasis will be placed on vocabulary, listening and speaking skills. Practice test questions from the TOEIC test will also be covered in this course.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Students will study business communication skills and practice these by engaging in pair work, group work, and discussion/problem solving activities. Students will also discuss business practices and cultural differences in business settings at the end of each unit. Some brief written assignments will also be given.

Feedback on submitted assignments and quizzes will be given at the beginning of the following class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Week 1	Course Introduction & Unit 7 Complaints & problems: Listening & speaking/ vocabulary	Ice breakers and introduction to course; level assessment Unit 7 Complaints & problems: Listen to complaints, Make complaints
Week 2	Unit 7 Complaints & problems listening comp, role play & discussion	Making complaints, Offering solutions, Discussion: emotion at work TOEIC: Reading-Incomplete sentences
Week 3	Unit 8 Checking progress: listening & speaking	U7 Quiz Listening to travel arrangements, asking about progress, giving updates
Week 4	Unit 8 Checking progress: listening, role play, discussion	Giving project updates, explaining project plans, switchboard role-play, Discussion: company hiring procedures TOEIC : Reading-Text completion

Week 5	Unit 9 Future prospects: listening & speaking	U8 Quiz Forecasting, Predicting trends, Spontaneous decisions
Week 6	Unit 9 Future prospects: listening, role play, discussion	Financial advice, Predicting the future, Financial advice & investing, Cultural viewpoint on money TOEIC : Reading-Comprehension Unit 9 quiz
Week 7	Unit 9 quiz Review: units 7-9 & role play/ discussion	Role play & discussion: Investment in the stock market, Predicting change, Discussing performance and investment strategy
Week 8	Unit 10 Regulations & advice: listening & speaking	Job requirements, Rules for traveling, Company regulations TOEIC : Speaking-Describing pictures
Week 9	Unit 10 Regulations & advice: listening, role play, discussion	Flight advice, Giving advice, Cultural mistakes abroad
Week 10	Unit 11 Meetings & discussions: listening & speaking	U10 Quiz Suggestions, Discussing ideas, Selecting shopping mall tenants TOEIC : Speaking-Responding to questions
Week 11	Unit 11 Meetings & discussions: listening & speaking	Company discussion of website, Discuss business case, Negotiation styles
Week 12	Unit 12 Speaking in public: listening & speaking	Unit 11 quiz Giving a presentation, Structure of presentations, Ending a presentation TOEIC : Speaking-propose solution & express opinion
Week 13	Unit 12 Speaking in public: listening, role play, discussion	Speeches for different occasions, End of course speech, Ways of entertaining clients
Week 14	Quiz Units 7-12 Course review Units 7-12	Quiz Units 7-12 Course review Units 7-12

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

Students should prepare for the class by completing the assigned exercises in the textbook & completing and submitting assignments posted in Google Classroom. Students should check Google classroom every week to confirm the assigned exercises.

Students should prepare for quizzes by reviewing exercises in the textbook and what we have covered in class.

All writing assignments will be given and collected in Google Classroom

【テキスト (教科書)】

Business Venture 2, Student Book, Barnard & Cady; Oxford University Press
ISBN 9780194578189

【参考書】

Business Venture 2, Student Book, Barnard & Cady; Oxford University Press

ISBN 9780194578189

<http://www.better-english.com/vocabulary.htm>

<https://quizlet.com/KreggJ>

<https://www.memrise.com/>

【成績評価の方法と基準】

Course grades will be based on the following components:

Quizzes-65%

Homework from textbook or handouts-20%

Participation-15%

In principle, no more than three absences per term are allowed.

【学生の意見等からの気づき】

Increased emphasis on communication skills and situational English

【学生が準備すべき機器他】

Students should purchase the textbook

Students should join Google Classroom for this course.

Information for joining the Google Classroom for this course will be posted on HOPII(学習支援システム)

【その他の重要事項】

Students may take this course in either Spring semester, Fall semester, or both.

【Outline (in English)】

Develop spoken and written competence in a variety of business situations and on a variety of business topics

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (英語検定試験対策) A- I 2017年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を育む基準の一つがTOEIC(R)のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。

【到達目標】

語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト1章分を、2回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回で質疑応答についてのアンケートを行い、次の授業回で回答する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 1	Unit 1 Daily Life [基本5文型] (精読、内容理解)
3	Unit 1	Unit 1 Daily Life [基本5文型] (再読、リスニング、質疑応答)
4	Unit 2	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities [品詞] (精読、内容理解)
5	Unit 2	Unit 2 Eating Out & Leisure Activities [品詞] (再読、リスニング、質疑応答)
6	Unit 3	Unit 3 Cooking & Purchasing [名詞・主語と動詞の一致] (精読、内容理解)
7	Unit 3	Unit 3 Cooking & Purchasing [名詞・主語と動詞の一致] (再読、リスニング、質疑応答)
8	Unit 4	Unit 4 Traffic & Travel [形容詞・副詞] (精読、内容理解)
9	Unit 4	Unit 4 Traffic & Travel [形容詞・副詞] (再読、リスニング、質疑応答)

10	Unit 5	Unit 5 Advertising & ICT [時制] (精読、内容理解)
11	Unit 5	Unit 5 Advertising & ICT [時制] (再読、リスニング、質疑応答)
12	Unit 6	Unit 6 Production & Logistics [接続詞・前置詞] (精読、内容理解)
13	Unit 6	Unit 6 Production & Logistics [接続詞・前置詞] (再読、リスニング、質疑応答)
14	Unit 7	Unit 7 Business & Economics [助動詞] (精読、内容理解)

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邊晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC® テスト コアをつかんで完全攻略』金星堂、2015年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、期末試験40%で評価します。30分以上の遅刻は欠席とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。Ⅱ (秋学期) のみを履修する場合でも、そのⅡに対応するⅠの科目の4月の春学期第1回目の授業に出席し、受講許可を得て9月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] Reading and listening textbook before and after class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60%, Term-end exam : 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (英語検定試験対策) A-II 2017年度以降入学者

大和久 悌一郎

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

国際社会の中で、専門的な学問領域のみならず、一般的な時事問題・日常生活においても英語運用能力は、現在、重要になってきている。そうした社会の中で用いられている英語に対応するために必要な英語運用能力を育む基準の一つがTOEIC(R)のスコアであり、本授業ではいわゆる英語資格試験のスコアアップを目指して、語彙力や文法の理解をより確実に身につけるとともに、海外の社会のあり方についての理解も深めながら、英語運用能力の充実に努めることを目指したい。

【到達目標】

語彙力を増やし、社会問題や時事問題に関する英文に対応できるだけの読解力とリスニング能力を身につける。また日常生活の中でも必要とされる表現や文章を得ることで、英語によるコミュニケーション能力の向上をはかる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを用いて、リーディング及びリスニングの練習をおこなう。テキスト1章分を、2回の授業で扱うこととする。また補助資料として、適宜プリントで、時事問題やエッセイ、短編小説など、英語の新聞雑誌記事を読むこととする。毎回出欠の確認をする。授業にあたっては該当ページについての予習をおこなうこと。各回で質疑応答についてのアンケートを行い、次の授業回で回答する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業の目的、方針、進め方について説明する。
2	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel [受動態] (精読、リスニング、内容理解)
3	Unit 8	Unit 8 Employment & Personnel [受動態] (再読、質疑応答)
4	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence [分詞・分詞構文] (精読、リスニング、内容理解)
5	Unit 9	Unit 9 Office Work & Correspondence [分詞・分詞構文] (再読、質疑応答)
6	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment [不定詞・動名詞] (精読、リスニング、内容理解)
7	Unit 10	Unit 10 Health & the Environment [不定詞・動名詞] (再読、質疑応答)
8	Unit 11	Unit 11 Finance & Banking [代名詞・関係詞] (精読、リスニング、内容理解)

9	Unit 11	Unit 11 Finance & Banking [代名詞・関係詞] (再読、質疑応答)
10	Unit 12	Unit 12 Law & Administration [比較構文] (精読、リスニング、内容理解)
11	Unit 12	Unit 12 Law & Administration [比較構文] (再読、質疑応答)
12	Review Test 1	Review Test 1を解く。リスニング問題とその解説。
13	Review Test 1	Review Test 1を解く。長文読解問題とその解説。
14	Review Test 2	Review Test 2を解く。リスニングと長文読解問題、その解説。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に該当ページについての予習をおこなうこと。また単語、熟語、慣例表現については復習しておくこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

安丸雅子、砂川典子、秋好礼子、十時康、渡邊晶子、Andrew Zitzmann 著『TOEIC® テスト コアをつかんで完全攻略』、金星堂、2015年

【参考書】

授業内で適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・予習・小テスト等) 60%、学期末試験40%で評価します。アンケートについて、期限を過ぎた場合は遅刻とみなし、また3回の遅刻は1回の欠席とみなします。4回以上の欠席者は成績評価の対象から外すので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【その他の重要事項】

春学期、秋学期で連続して履修することが原則となります。II (秋学期) のみを履修する場合でも、そのIIに対応するIの科目の4月の春学期第1回目の授業に出席し、受講許可を得て9月に履修登録を行ってください。定員を超える場合、選抜を行うことがあります。その際には、春学期に受講許可を得た人を優先します。

【Outline (in English)】

[Learning Objectives] To develop abilities to read, listen to, speak, and write in English in every day life, such as reading newspapers, listening to and discussing news broadcasting. [Learning activities outside of classroom] Reading and listening textbook before and after class. University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course. [Grading Criteria/Policy] Activities in class (attendance, question, and discussion) : 60%, Term-end exam : 40%.

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (英語検定試験対策) B-I 2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This TOEFL test preparation course is designed for students to further improve their academic English proficiency and become familiar with the TOEFL ITP and TOEFL iBT test structure and test items. This course aims to help students through TOEFL practices (1) strengthen their four skills (reading, listening, speaking, and writing skills) as well as vocabulary and grammar skills, and (2) acquire knowledge about academic subjects necessary for the TOEFL test. The course will also encourage students to work collaboratively with other classmates through in-class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- be able to become familiar with TOEFL test procedure and test items.
- be able to gain knowledge about academic subjects needed for TOEFL tests.
- be able to learn and use test-taking strategies.
- be able to strengthen English proficiency to take TOEFL tests.
- be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the TOEFL test items. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and homework will be given in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction, Self-Introduction
2	TOEFL ITP Reading 1 (American History)	Unit 1 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
3	TOEFL ITP Listening 1 (Section 1 - Part A)	Unit 2 - Short Conversation, Vocabulary, Grammar
4	TOEFL ITP Reading 2 (Natural Science)	Unit 3 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar

5	TOEFL ITP Listening 2 (Section 1 - Part B)	Unit 4 - Long Conversation, Vocabulary, Grammar
6	TOEFL ITP Reading 3 (American Culture)	Unit 5 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
7	TOEFL ITP Listening 3 (Section 1 - Part C)	Unit 6 - Talk, Vocabulary, Grammar
8	TOEFL ITP Reading 4 (Economics)	Unit 7 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
9	TOEFL ITP Listening 4 (Section 1 - Part B)	Unit 8 - Long Conversation, Vocabulary, Grammar
10	TOEFL ITP Reading 5 (American History)	Unit 9 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
11	TOEFL ITP Listening 5 (Section 1 - Part C)	Unit 10 - Lecture, Vocabulary, Grammar
12	TOEFL ITP Reading 6 (Natural Science)	Unit 11 - Reading Passage, Vocabulary, Grammar
13	TOEFL ITP Listening 6 (Section 1 - Part C)	Unit 12 - Lecture, Vocabulary, Grammar
14	Review / Final Exam	Review & Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to try TOEFL practices (reading, listening, speaking, and writing), learn vocabulary, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Mark D. Stafford & Chizuko Tsumatori (2010). Power-up Trainer for the TOEFL ITP. Cengage Learning. ISBN: 9784863124172 (¥2300 + 税)

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (10%); Quizzes & Homework (40%); Final Exam (50%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります (遅刻3回で1回の欠席になります)。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

辞書 (電子または紙媒体) を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。様々な不正行為 (例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること) など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

This TOEFL test preparation course aims to help students further improve their academic English proficiency and acquire knowledge about academic subjects necessary to take TOEFL ITP and TOEFL iBT tests. The course will also encourage students to work collaboratively with other classmates through in-class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class.

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (10%); Quizzes & Homework (40%); Final Exam (50%).

LANe200LA (英語 / English language education 200)

Practical English (英語検定試験対策) B-II 2017年度以降入学者

折笠 真美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

定員制 (25)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

This TOEFL test preparation course is designed for students to further improve their academic English proficiency and become familiar with the TOEFL ITP and TOEFL iBT test structure and test items. This course aims to help students through TOEFL practices (1) strengthen their four skills (reading, listening, speaking, and writing skills) as well as vocabulary and grammar skills, and (2) acquire knowledge about academic subjects necessary for the TOEFL test. The course will also encourage students to work collaboratively with other classmates through in-class activities.

【到達目標】

By the end of the course, students will:

- be able to become familiar with TOEFL test procedure and test items.
- be able to gain knowledge about academic subjects needed for TOEFL tests.
- be able to learn and use test-taking strategies.
- be able to strengthen English proficiency to take TOEFL tests.
- be able to articulate their ideas and opinions about different topics, both in speech and writing.
- be able to learn about plagiarism and how to avoid it.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

Each class will have reading, listening, oral and written activities (individual, pair and group work) as well as a short lecture on the TOEFL test items. Homework will be given regularly. Your attendance and active participation in class is essential. Feedback on class activities and homework will be given in class.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Course Overview	Introduction
2	TOEFL iBT - Reading 1	Reading Passages, Vocabulary, Grammar
3	TOEFL iBT - Listening 1	Conversation, Discussion, Lecture
4	TOEFL iBT - Speaking 1	Independent & Integrated Speaking 1
5	TOEFL iBT - Speaking 2	Integrated Speaking 2
6	TOEFL iBT - Writing 1	Independent Writing
7	TOEFL iBT - Writing 2	Integrated Writing
8	TOEFL iBT - Reading 2	Reading Passages, Vocabulary, Grammar

9	TOEFL iBT - Listening 2	Conversation, Discussion, Lecture
10	TOEFL iBT - Speaking 3	Independent & Integrated Speaking
11	TOEFL iBT - Writing 3	Independent & Integrated Writing
12	Review 1	Reading Passage, Conversation, Discussion, Lecture
13	Review 2	Independent & Integrated Speaking, Independent & Integrated Writing
14	Summary / Final Exam	Summary & Exam

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

Students are required to try TOEFL practices (reading, listening, speaking, and writing), learn vocabulary, and review and prepare for classes.

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。/University guidelines suggest preparation and review should be around an hour a week for a one-credit course.

【テキスト (教科書)】

Materials will be provided by the instructor.

【参考書】

TBA

【成績評価の方法と基準】

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (10%); Quizzes & Homework (40%); Final Exam (50%).

遅刻は30分までで、それ以降は欠席扱いとなります (遅刻3回で1回の欠席になります)。4回以上欠席した場合は、単位の認定をしません。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

辞書 (電子または紙媒体) を必ず持参してください。携帯電話を用いることは不可。

課題提出や資料閲覧は Google Classroom を使用する予定です。

【その他の重要事項】

Academic Honesty (学問的誠実性) を遵守してください。

様々な不正行為 (例えば、【Plagiarism 剽窃】 - 出典元を適切に引用せず使用すること) など、防止について授業内でも説明します。

【Outline (in English)】

This TOEFL test preparation course aims to help students further improve their academic English proficiency and acquire knowledge about academic subjects necessary to take TOEFL ITP and TOEFL iBT tests. The course will also encourage students to work collaboratively with other classmates through in-class activities.

For class preparation and review, there will be required assignments including writing and vocabulary learning outside of class.

Grading will be based on the following criteria: Active Participation (10%); Quizzes & Homework (40%); Final Exam (50%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 I

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の名言名句や文学作品を用いて、テキストを的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とします。ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。

【到達目標】

- ドイツ語で書かれた文章を読んで理解できる。
- 名言名句や文学作品に対する関心や理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを読み、授業内容を確認する。
2	諺 (1)	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
3	諺 (2)	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
4	諺 (3)	ドイツ語の諺を読み、文法を確認し、意味と使い方を理解する。
5	諺物語 (1)	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
6	諺物語 (2)	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
7	諺物語 (3)	ドイツ語の諺についての物語を読み、内容を正確に理解する。
8	寓話 (1)	ドイツ語の寓話 (教訓を含んだ短い文章)を読み、修辞や思想を探る。
9	寓話 (2)	ドイツ語の寓話 (教訓を含んだ短い文章)を読み、修辞や思想を探る。
10	寓話 (3)	ドイツ語の寓話 (教訓を含んだ短い文章)を読み、修辞や思想を探る。
11	歌謡曲 (1)	ドイツ語の Schlager を聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
12	歌謡曲 (2)	ドイツ語の Schlager を聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
13	歌謡曲 (3)	ドイツ語の Schlager を聴き読み、ドイツ語特有の音声変化やリズムに慣れ親しむ。
14	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で扱われたムビーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。」

【テキスト (教科書)】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%

学期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppi学習支援システムを利用するので、情報機器 (パソコン、プリンター)などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、wifiを利用して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to enable students to accurately grasp the text and accurately understand the content using German quotes and literary works. For students who have learned basic German grammar.

- Can read and understand texts written in German.
- Deepen interest and understanding of quotes and literary works.

Homework/review.

The total standard time for preparation and review for this class is 1 hour.

Normal score: 50%

Semester final exam: (50%)

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

ドイツ語の名言名句や文学作品を用いて、テキストを的確に把握して、内容を正確に理解できるようになることを目的とします。ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。

【到達目標】

- ドイツ語で書かれた文章を読んで理解できる。
- 名言名句や文学作品に対する関心や理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	シラバスを読み、授業内容を確認する。
2	物語詩（1）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、和訳する。
3	物語詩（2）	ドイツ語の物語詩（バラード）を読み、内容を正確に理解する。
4	物語詩（3）	ドイツ語の物語詩（バラード）のアニメと曲を視聴し、ドイツ語特有の音声変換やリズムに慣れ親しむ。
5	メルヘン（1）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
6	メルヘン（2）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
7	メルヘン（3）	ドイツ語のメルヘンを読み、ストーリーを追いながら全体の展開を把握する。
8	絵本（1）	アニメ化された絵本を視聴し、内容を理解する。
9	絵本（2）	原作を読み、和訳する。
10	絵本（3）	Nacherzählung(リライトしたもの)を和訳する。
11	映画の台詞（1）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
12	映画の台詞（2）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
13	映画の台詞（3）	映画の台詞を読み、本物の対話を覚える。
14	試験・まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で扱われたムビーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。」

【テキスト（教科書）】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%

学期末試験：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppii学習支援システムを利用するので、情報機器（パソコン、プリンター）などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、wifiを利用して下さい。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to enable students to accurately grasp the text and accurately understand the content using German quotes and literary works. For students who have learned basic German grammar.

○ Can read and understand written in German.

○ Deepen interest and understanding of quotes and literary works.

Homework, review.

The total standard time for preparation and review for this class is 1 hour.

Normal score: 50%

Semester final exam: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は15課からなり、各課とも文法、会話文、練習問題、読章から構成されている。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組むと同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	あいさつ表現
2	Lektion 1 自己紹介	動詞の位置
3	読章	Deutschland (ドイツ)
4	Lektion 2 私の家族	所有冠詞
5	読章	Familienbild (家族像)
6	Lektion 3 私の趣味	不規則動詞
7	読章	Deutsch (ドイツ語)
8	Lektion 4 キーボードゲーム	前置詞
9	Lektion 4 読章	Souvenirs aus Deutschland (ドイツのお土産)
10	Lektion 5 健康	人称代名詞、分離・非分離動詞
11	読章	Das Gesundheitswesen in Deutschland (ドイツの健康保険制度)
12	Lektion 6 買い物	話法の助動詞、命令形
13	読章	Einkaufen in Deutschland (ドイツの買い物)
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきコミュニケーション〉 コミュニカティブ版—マルチメディア—』(朝日出版社) ISBN9784255253909 ¥2600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoomで接続可能なデバイス。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, Usual performance score: 30%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

岡本 雅克

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、初級よりワンランク上の読解の技術を身につけると同時に、さまざまなドイツ事情について学習することを目的とする。

【到達目標】

初級で学んだ文法を復習しながら、より複雑な文章表現に慣れることによって、読解力を伸ばすことが、この授業の到達目標である。また、さまざまなドイツ事情に関する文章を読むことによって、ドイツやドイツ語圏の国々に興味を持つきっかけとなることを期待する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。文法をもう一度確認しながら、練習問題に取り組みると同時に、会話文やドイツ事情に関する文章を読む。なおフィードバックは「学習支援システム」を通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 ミュンヘン	前置詞
2	読章	München (ミュンヘン)
3	Lektion 8 休暇の後	現在完了形、過去形
4	読章	Urlaubstage in Deutschland und Japan (ドイツと日本の有給休暇)
5	資料配付	アットマークについて
6	Lektion 9 食事	定冠詞類、副文
7	読章	Knigge im Alltag in Deutschland (ドイツの日常のマナー)
8	Lektion 10 クリスマス	比較級と最上級、再帰表現
9	読章	Weihnachten in Deutschland (ドイツのクリスマス)
10	Lektion 11 ファッション	形容詞の格変化
11	読章	Mode in Deutschland? (ドイツのファッション?)
12	Lektion 12 私の夢	接続法第2式、zu不定詞句
13	読章	Studium in Deutschland (ドイツの大学での勉強)
14	試験	まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

清野智昭、時田伊津子、牛山さおり『ドイツ語の時間〈ときめきミュンヘン〉 コミュニカティブ版—マルチメディア—』(朝日出版社) ISBN9784255253909 ¥2600

【参考書】

その都度指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験の得点を70%、平常点を30%の合計で評価する。平常点は、授業中に練習問題や和訳等にしっかり取り組むこと、あるいは、与えられた課題について予習をしてきた形跡が認められることを標準とする。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【学生が準備すべき機器他】

授業がオンラインに転換になった場合、Zoomで接続可能なデバイス。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook on reading and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and English.

At the end of the course, students are expected to improve reading comprehension while reviewing grammar.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 70%, Usual performance score: 30%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 I

2017年度以降入学者

外山 知子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

【到達目標】

1年生で学習した文法事項、未学習の文法事項を復習したり新たに学んだりしながら、いろいろなタイプのドイツ語の文章を自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoomによるオンラインになる回もあるのも、「各回の授業形態」を見なさい。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」をチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 4/8	復習をかねての課題。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。教科書を持ってこること。
2 4/15	Lektion 1 Brot Wurst DöKebab	Lektion 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
3 4/22	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題。
4 5/13	Lektion 2 Herr Böse und Herr Streit	Lektion 2 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
5 5/20	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題
6 5/27	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第2式について学ぶ。
7 6/3	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題
8 6/10	Lektion 4 Der süße Brei	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
9 6/17	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題。
10 6/24	Lektion 5 Wiener Kaffehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了について学ぶ。
11 7/1	Lektion 5 の続き。	Lektion 5 の練習問題。
12 7/8	これまでの文法の補足。	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。
13 7/15	重要な事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 7/22 試験・まとめと解説。試験と春学期のまとめをする。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業での指示に従うこと。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

耕平耕平/畠山 寛/高本敬之著『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章』同学社 4版2021年 2000円(税別) 初回から持ってくる。

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として3分の2以上を必要とする。配慮される場合には[その他の重要事項]を参照のこと。基本的には期末試験+小テスト72%、授業参加度(宿題、課題をふくむ平常点)28%の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

緊張感を持って遅刻せず、積極的な授業参加を歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

Zoomができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに真剣に参加しよう。

公欠届、診断書などはきちんと提出すること。コロナに関しては大学の指示に従いなさい。体調不良と書くだけでなく、症状も書くこと。教科書と独和辞典(電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない)を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって、少しずれることがある。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も経ってから申告しても配慮対象にならない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination(72%)and in-class cotribution(28%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

外山 知子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツ文化を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】

ドイツ語のいろいろなタイプの文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoomによるオンラインになる回もある。各回の授業形態を見なさい。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」をチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	9/23 導入、ドイツ語の感覚を取り戻す。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。 教科書と辞書を持ってくること。
2	9/30 Lektion 6 Abschlussprüfung Verdammst heißhier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形 (2)、zu 不定詞、過去分詞の用法について学ぶ。
3	10/7 Lektion 6 の続き。	Lektio 6 の練習問題。
4	10/14 Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。
5	10/21 Lektion 7 の続き。	Lektio 7 の練習問題。
6	10/28 Lektion 8 Geshichte der Gstarbeiter	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu 不定詞 (2) について学ぶ。
7	11/11 Lektion 8 の続き。	Lektio 8 の練習問題。
8	11/18 Lektion 9 Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。
9	11/25 Lektion 9 の続き。	Lektio 9 の練習問題。
10	12/2 プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。
11	12/9 プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れたり、文法事項の補足説明などをする。	引き続き、学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。

12 12/16 さらに難しいテキストを讀む。 なかなか授業で触れることのないタイプのドイツ語を読む。

13 12/23 重要事項の補足。 特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 12/20 試験・まとめと補 試験と秋学期のまとめをする。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前回学んだことの復習とテキストの予習。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

萩原耕平/ 畠山寛/ 高本敬之著 『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章』 同友社 4版2021年 2000円 (税別)

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として3分の2以上を必要とする。配慮される場合には【その他の重要事項】を参照のこと。具体的には授業中に話す。基本的には期末試験72%、授業参加度 (宿題、課題をふくむ平常点) 28%の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を歓迎します。遅刻と出席には気をつけましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しよう。

公欠届、診断書などはきちんとその都度すぐに提出すること。コロナに関しては大学の指示に従いなさい。

教科書と電波のつながらない独和辞典 (電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない) を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって少しづれることがある。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も縦から申告しても配慮対象にならない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process
Term-end examination(72%)and in-class cotribution(28%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は2つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは1年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。
- 1) 本文の音読の練習をした後、受講生に訳していただきます。
- 2) 各課の終わりに文法練習と聞き取り練習を行います。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをします。また前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方について
第2回	Kapitel 1 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第3回	Kapitel 1 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第4回	Kapitel 1	文法練習と聞き取り練習
第5回	Kapitel 2 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第6回	Kapitel 2 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第7回	Kapitel 2	文法練習と聞き取り練習
第8回	Kapitel 3 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第9回	Kapitel 3 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第10回	Kapitel 3	文法練習と聞き取り練習
第11回	Kapitel 4 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第12回	Kapitel 4 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第13回	Kapitel 4	文法練習と聞き取り練習
第14回	前期のまとめ	試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習：音読の練習をして単語帳を作成する。また設問の予習をすること。

復習：本文をあらためて音読する。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Ute Schmidt / Mechthild Duppel-Takayama / 三ツ石祐子 / 和泉雅人 (2022年) 『現代ドイツを学ぶための10章 [改訂版]』三修社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003) 『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

授業への積極的な参加・予習の具合：40%

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoomを使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to improve German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and learn intermediate grammar.

(Learning Objectives)

The goals of this course are (A) to get intermediate German language skills and (B) to obtain knowledge about German culture. At the end of course, students should be able to understand simple texts on topics about Germany.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は2つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは1年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。

- 1) 本文の音読の練習をした後、受講生に訳していただきます。
 - 2) 各課の終わりに文法練習と聞き取り練習を行います。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをします前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	前期の復習
第2回	Kapitel 5 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第3回	Kapitel 5 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第4回	Kapitel 5	文法練習と聞き取り練習
第5回	Kapitel 6 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第6回	Kapitel 6 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第7回	Kapitel 6	文法練習と聞き取り練習
第8回	Kapitel 7 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第9回	Kapitel 7 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第10回	Kapitel 7	文法練習と聞き取り練習
第11回	Kapitel 8 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第12回	Kapitel 8 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第13回	Kapitel 8	文法練習と聞き取り練習
第14回	後期のまとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習：音読の練習をし、構文解析を行う。また設問の予習をすること。
復習：本文をあらためて音読する。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Ute Schmidt / Mechthild Duppel-Takayama / 三ツ石祐子 / 和泉雅人 (2022年) 『現代ドイツを学ぶための10章 [改訂版]』三修社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003) 『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

授業への積極的な参加・予習の具合：40%

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoomを使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to improve German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and learn intermediate grammar.

(Learning Objectives)

The goals of this course are (A) to get intermediate German language skills and (B) to obtain knowledge about German culture. At the end of course, students should be able to understand simple texts on topics about Germany.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 I

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次に学んだ発音や文法事項の復習および中級レベルの文法知識を学ぶとともに、ドイツ語圏の文化に関する様々な文章を読むことで、他文化圏に関する理解を深める。

【到達目標】

学んだ文法知識を単に暗記するのではなく、それを作文や読解作業の際に運用できるようになる。例えば、ドイツ語で書かれた文の構文を文法的に正確に自分で説明できるようになることなどがこの授業での到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。文法の復習を行う回と、約200ワード程度の文章を精読する回とを交互に分けて授業を進めていく予定である。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方に関する説明 発音のチェック
第2回	Lektion 1(文法)	人称代名詞と動詞の人称変化
第3回	Lektion 1(文法)	Thema 1 自己紹介の仕方
第4回	Lektion 2(文法)	名詞の性、数、格 定冠詞、不定冠詞、冠詞の格変化
第5回	Lektion 2(読解)	Thema 2 ドイツ語圏の地理
第6回	Lektion 3(文法)	不規則変化動詞、命令形、人称代名詞の格変化
第7回	Lektion 3(読解)	Thema 3 食べ物・スイーツ
第8回	Lektion 4(文法)	定冠詞類、不定冠詞類
第9回	Lektion 4(文法)	前置詞
第10回	Lektion 4(読解)	Thema 4 産業
第11回	Lektion 5(文法)	話法の助動詞、接続詞
第12回	Lektion 5(読解)	Thema 5 旅行
第13回	Lektion1~5の復習	テスト前の最終確認
第14回	最終試験	テストと春学期の振り返り

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

『ミニマムドイツ語・レーゼン』熊谷哲哉・大喜祐太著、朝日出版社、2023年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社)
独和辞書

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、和訳、音読のチェックなどを含む平常点50%と最終試験50%を総合的に判断する

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞書と1年次に使った教科書を持参してくること。

【その他の重要事項】

授業の進捗は、クラスの状況によって一部変更する可能性もある。

【Outline (in English)】

In addition to reviewing the pronunciation and grammar learned in the first year and learning intermediatelevel grammar, students will develop their understanding of other cultures by reading a variety of texts about German cultures.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次に学んだ発音や文法事項の復習および中級レベルの文法知識を学ぶとともに、ドイツ語圏の文化に関する様々な文章を読むことで、他文化圏に関する理解を深める。

【到達目標】

学んだ文法知識を単に暗記するのではなく、それを作文や読解作業の際に運用できるようになる。例えば、ドイツ語で書かれた文の構文を文法的に正確に自分で説明できるようになることなどがこの授業での到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。文法の復習を行う回と、約200ワード程度の文章を精読する回とを交互に分けて授業を進めていく予定である。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	春学期の復習 授業の進め方に関する説明
第2回	Lektion6(文法)	分離動詞・非分離動詞、zu不定詞、再帰代名詞
第3回	Lektion6(読解)	Thema 6 教育制度
第4回	Lektion7(文法)	過去形、現在完了形
第5回	Lektion7(読解)	Thema 7 歴史
第6回	Lektion8(文法)	形容詞、序数
第7回	Lektion8(読解)	Thema 8 哲学
第8回	Lektion9(文法)	受動態
第9回	Lektion9(文法)	関係代名詞
第10回	Lektion9(読解)	Thema 9 サッカー
第11回	Lektion10(文法)	接続法 I・II式
第12回	Lektion10(読解)	Thema 10 文学
第13回	Lektion6～10の復習	テスト前の最終確認
第14回	最終試験	テストと一年間の振り返り

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

『ミニマムドイツ語・レーゼン』熊谷哲哉・大喜祐太著、朝日出版社、2023年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社)
独和辞書

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、和訳、音読のチェックなどを含む平常点50%と最終試験50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞書と1年次に使った教科書を持参してくること。

【その他の重要事項】

授業の進度は、クラスの状況によって一部変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In addition to reviewing the pronunciation and grammar learned in the first year and learning intermediate-level grammar, students will develop their understanding of other cultures by reading a variety of texts about German cultures.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。

学期末にはドイツの文化や社会に関連したビデオを用いて、応用練習をします。

【到達目標】

ドイツ語の文法の確認ができます。
ドイツ語で日常的な表現を身につけます。
ドイツの生活・習慣・習俗・社会制度について知ることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法説明等は講義形式になりますが、毎回、担当を決めて訳読します。

回ごとのトピックや表現方法を取り上げながら、授業を進めます。映画や映像教材を使って、それを授業で見ることで、聞き取る能力をつけます。

これらと並行して、ドイツの歴史や文化に触れる視聴覚資料を利用していきます。

また、適宜、確認小テストを行う。
課題、また確認小テストのフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ーオンラインによるイントロダクションー	ーオンラインによるイントロダクションを行い、授業の進め方などの説明、およびLektion1を行うー
第2回	Lektion1 相手について知る	動詞の位置と練習問題
第3回	Lektion2 Meine Familie 家族の紹介	名詞の性のまとめ
第4回	Lektion2 Meine Familie 家族の持ち物	所有冠詞と練習問題
第5回	Lektion3 Meine Hobbys 趣味について語る	不規則動詞のまとめ
第6回	Lektion3 Meine Hobbys ドイツ人の趣味	確認小テストと質問
第7回	Lektion4 Zum Chiemsee ドイツの名所	これまでの学習部分の文法的、解釈的確認と質問対応
第8回	Lektion4 Zum Chiemsee ドイツの名所	いくつかのテーマに従って、ドイツ語の表現を学ぶ
第9回	Lektion4 Zum Chiemsee 交通機関について	名詞の複数形と練習問題
第10回	Lektion5 Gesundheit ドイツの保険・医療制度	
第11回	Lektion5 Gesundheit ドイツと日本の医療の比較	
第12回	Lektion6 Einkaufen 買い物の表現	
第13回	Lektion6 Einkaufen ドイツの文化と社会に関連したビデオ学習 質問対応	
第14回	Lektion6 Einkaufen 春学期で学んだ表現の振り返りと期末試験・まとめと解説	

第8回 Lektion4 Zum Chiemsee 名詞の3格について

第9回 Lektion4 Zum Chiemsee 前置詞と練習問題

第10回 Lektion5 Gesundheit 分離・非分離動詞のまとめ

第11回 Lektion5 Gesundheit 時刻の表現と練習問題

第12回 Lektion6 Einkaufen 話法の助動詞のまとめ

第13回 Lektion6 Einkaufen 買い物の表現

第14回 Lektion6 Einkaufen 春学期で学んだ表現の振り返りと期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき合わせて1時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト (教科書)】

ドイツ語の時間<ときめきミュンヘン> 清野智明他著 朝日出版社

【参考書】

必要場合は授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価手法について(期末試験について)

成績配分は期末試験50%、平常点(これまでの確認テスト、課題履行、授業への積極的参加を含む)50%です。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語文法・表現についてわかりやすい丁寧な説明を継続します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業になった場合の必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

Course outline: German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to:

- confirm German grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the way of German lives, manners and customs of Germany and the social systems.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、 Short tests, an assignment and
in-class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の基本文法をひと通り学習した学生が対象です。春学期に学習したことを確実にし、基本文法を確認しながら語彙を増やし、ドイツ語表現を学ぶことがこの授業の目標です。学期末にはドイツの社会と文化に関連したビデオを用いて、ドイツ語の表現を豊かにします。

【到達目標】

ドイツ語の文法の確認ができます。
ドイツの生活・習慣・習俗・社会制度について知ることができます。
日常生活についてドイツ語での表現法を身につけることができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1年時に学んだ文法事項を確認しながら、別角度で文法体系を見直します。

毎回、担当者を決めて本文と Lesetext を訳読し、解説を加えます。

また、適宜、確認小テストを行う。

課題、また確認小テストのフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション ミュンヘン 大都市の生活	シラバスの説明 3・4格支配の前置詞の文章
第2回	ミュンヘン 文化と芸術	並列接続詞を使った文を学ぶ
第3回	Nach dem Urlaub ドイツの休暇制度	定冠詞類のまとめ
第4回	Nach dem Urlaub ドイツ人の休暇の過ごし方	過去形を使った文を学ぶ
第5回	Essen und Trinken ドイツの食習慣 テーブルマナーの比較	現在完了形の表現を学ぶ副文を使った表現を学ぶ
第6回	Weihnachten ドイツのクリスマス	比較級と最上級を学ぶ
第7回	Weihnachten クリスマスの祝い	再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ
第8回	Mode ドイツのファッション 日本・ドイツ・イタリアのモードの比較	形容詞の格変化のまとめ天候の表現を学ぶ
第9回	Mein Wunsch 願望や仮定の表現	接続法第2式を使った文例を学ぶ
第10回	Mein Wunsch 留学生の生活 夢を語る表現	zu不定詞を学ぶ esの用法を学ぶ

第11回	ドイツの学校制度・社会制度	ビデオとそのスクリプトを用いた学習でドイツの社会や学校について知る
第12回	ドイツのクリスマス・EU	ビデオとそのスクリプトを用いた学習でドイツの慣習やEUについて知る
第13回	ドイツの生活・学生生活	これまでの学習の内容や文法知識の定着を確実なものにする
第14回	秋学期の総復習と期末試験、まとめと解説	文法や表現方法の要点確認と期末試験 まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき合わせて1時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。

次回に行く章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストの毎回のテーマに関心を持ち、関連する本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト (教科書)】

ドイツ語の時間くときめきミュンヘン > 清野智明他著 朝日出版社

【参考書】

必要があれば適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50%

平常点 (訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加) 50%

【学生の意見等からの気づき】

わかりやすい丁寧な説明を継続します。

ドイツについて新しい発見ができるように構成します。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

【Outline (in English)】

【Course outline】 German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions through reading and is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to:

- confirm German grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the way of German lives, manners and customs of Germany and the social systems.

【Learning activities outside of classroom】 Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%, Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は2つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは1年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。

- 1) 本文の音読の練習をした後、受講生に訳していただきます。
 - 2) 各課の終わりに文法練習と聞き取り練習を行います。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをします前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	前期の復習
第2回	Kapitel 5 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第3回	Kapitel 5 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第4回	Kapitel 5	文法練習と聞き取り練習
第5回	Kapitel 6 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第6回	Kapitel 6 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第7回	Kapitel 6	文法練習と聞き取り練習
第8回	Kapitel 7 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第9回	Kapitel 7 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第10回	Kapitel 7	文法練習と聞き取り練習
第11回	Kapitel 8 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第12回	Kapitel 8 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第13回	Kapitel 8	文法練習と聞き取り練習
第14回	後期のまとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習：音読の練習をし、構文解析を行う。また設問の予習をすること。
復習：本文をあらためて音読する。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Ute Schmidt / Mechthild Duppel-Takayama / 三ツ石祐子 / 和泉雅人 (2022年) 『現代ドイツを学ぶための10章 [改訂版]』三修社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003) 『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

授業への積極的な参加・予習の具合：40%

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoomを使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to improve German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and learn intermediate grammar.

(Learning Objectives)

The goals of this course are (A) to get intermediate German language skills and (B) to obtain knowledge about German culture. At the end of course, students should be able to understand simple texts on topics about Germany.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

遠藤 浩介

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業の目的は2つあります。ひとつはドイツについて書かれた文章を読み、ドイツ語の読解力をつけるとともにドイツ文化への理解を深めます。もうひとつは1年生で習った基礎文法を復習しつつ中級文法を勉強し、中級レベルのドイツ語能力を身につけます。

【到達目標】

- ・中級ドイツ語文法を習得し、中級程度のドイツ語の文章を読むための読解力を身につける。
- ・ドイツの文化を知るための背景知識を得て、日本と比較しながら考える視座を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

・授業は教科書にそって行います。各課ごとに次の要領で進めます。

- 1) 本文の音読の練習をした後、受講生に訳していただきます。
 - 2) 各課の終わりに文法練習と聞き取り練習を行います。
- ・授業中に課題をこなす場合には、必要に応じてグループワークやペアワークを取り入れます。
- ・課題は授業中に答え合わせをします前回の授業で提出されたリアクションペーパーからいくつか取り上げ、全体に対してフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	前期の復習
第2回	Kapitel 5 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第3回	Kapitel 5 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第4回	Kapitel 5	文法練習と聞き取り練習
第5回	Kapitel 6 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第6回	Kapitel 6 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第7回	Kapitel 6	文法練習と聞き取り練習
第8回	Kapitel 7 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第9回	Kapitel 7 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第10回	Kapitel 7	文法練習と聞き取り練習
第11回	Kapitel 8 (Lesetext 1)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第12回	Kapitel 8 (Lesetext 2)	音読と構文解析 / 内容把握と日本語訳
第13回	Kapitel 8	文法練習と聞き取り練習
第14回	後期のまとめ	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習：音読の練習をし、構文解析を行う。また設問の予習をすること。
復習：本文をあらためて音読する。

※本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Ute Schmidt / Mechthild Duppel-Takayama / 三ツ石祐子 / 和泉雅人 (2022年) 『現代ドイツを学ぶための10章 [改訂版]』三修社。

【参考書】

授業時には独和辞典と一年生のときにもちいた文法の教科書を必ず持ってくる。また、文法の教科書の代わりに以下の本を勧めます。中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧 (2003) 『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

授業への積極的な参加・予習の具合：40%

以上を踏まえ、総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

学生の理解度を確認しながら授業を進めます。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス授業に転換した際には、Zoomを使用します。

【Outline (in English)】

(Course outline)

This course has two goals. The first is to improve German language skills acquired during the first year and to develop an understanding of German culture. The other is to review basis grammar and learn intermediate grammar.

(Learning Objectives)

The goals of this course are (A) to get intermediate German language skills and (B) to obtain knowledge about German culture. At the end of course, students should be able to understand simple texts on topics about Germany.

(Learning activities outside of classroom)

Students will be expected to have completed the required assignments before each class meeting. Your study time will be more than an hour for a class.

(Grading Criteria /Policy)

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (60%), and in-class contribution (40%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。

日常生活に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

【到達目標】

これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。

ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

読解、作文および会話の練習を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。

履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答・読解テキストの和訳を行い、その都度教員が確認する。

宿題を課した場合は次週の授業で解答を行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 0 Selbstvorstellung	ドイツ語で自己紹介する
第2回	Lektion 1 Geographie und Klima	「地理と気候」に関するテキストを読む、冠詞(類)の格変化・基数と序数を学ぶ
第3回	Lektion 2 Essen und Trinken	「食生活」に関するテキストを読む
第4回	Lektion 2 Essen und Trinken	前置詞の格支配・前置詞を含む熟語を学ぶ
第5回	Lektion 3 Deutsche Sprache	「ドイツ語という言語」に関するテキストを読む、名詞の複数形・複数形に関する注意を学ぶ
第6回	Lektion 4 Studium in Deutschland	「ドイツの大学」に関するテキストを読む
第7回	Lektion 4 Studium in Deutschland	話法の助動詞・不定代名詞manを学ぶ
第8回	Lektion 5 Feiertage, Urlaub und Freizeitaktivitäten	「祝日と休暇」に関するテキストを読む
第9回	Lektion 5 Feiertage, Urlaub und Freizeitaktivitäten	形容詞の格変化・形容詞の名詞化を学ぶ
第10回	Lektion 6 Innere Sicherheit in Deutschland	「ドイツの治安事情」に関するテキストを読む
第11回	Lektion 6 Innere Sicherheit in Deutschland	比較表現・「最も…なもののひとつ」を学ぶ

第12回	Lektion 7 Schulsystem Deutschlands	「教育制度」に関するテキストを読む
第13回	Lektion 7 Schulsystem Deutschlands	分離動詞と非分離動詞・再帰代名詞と再帰動詞を学ぶ
第14回	試験・まとめ	春学期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各章の読解テキストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。予習を授業中に行うことは一切認めない。

また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。

本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 Siegfried Kohlhammer・斎藤太郎著、朝日出版社 (2018年刊行)

【参考書】

『携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社(2003年刊行)

【成績評価の方法と基準】

授業(読解・文法練習問題・会話練習・作文)への取り組み40%と学期末試験60%を総合的に判断する。

なお成績評価の対象となるためには原則として授業実施回数3分の2以上の出席を必要とする。

【学生の意見等からの気づき】

基本的な語彙が定着するよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

紙の辞書あるいは電子辞書を持参すること。

教務システムやZoomに接続可能なデバイスを用意すること。

【Outline (in English)】

The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.

The goals of this course are to be able to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is about one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

小野間 亮子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級文法の復習を行いつつ、辞書を使って多彩なテーマに関する文章が読める力を養成する。
日常会話に必要な語彙の定着を図り、ドイツ語による表現の方法を学ぶ。

【到達目標】

これまで学んできた初級ドイツ語よりも複雑かつ自然な表現を習得することができる。
ドイツ語圏の生活や文化に関する基本的な知識を身に付けることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

読解および作文を通じて、総合的なドイツ語力の向上を図る。
履修生は授業時間内にドイツ語の発音・練習問題の解答・読解テキストの和訳を行い、その都度教員が確認する。
宿題を課した場合は次週の授業で解答を行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Lektion 8 Politisches System Deutschlands	「政治制度」に関するテキストを読む
第2回	Lektion 8 Politisches System Deutschlands	受動態・zu不定句を学ぶ
第3回	Lektion 9 Deutsche Geschichte im Ueberblick	「ドイツの歴史概観」に関するテキストを読む
第4回	Lektion 9 Deutsche Geschichte im Ueberblick	過去の表現を学ぶ
第5回	Lektion 10 Deutschland als Musikland	「音楽の国ドイツ」に関するテキストを読む
第6回	Lektion 10 Deutschland als Musikland	副文 (従属文) の語順を学ぶ
第7回	Lektion 11 Religioese Landschaft in Deutschland	「ドイツの宗教事情」に関するテキストを読む
第8回	Lektion 11 Religioese Landschaft in Deutschland	関係代名詞を学ぶ
第9回	Lektion 12 Die Teilung Deutschlands	「二つのドイツ」に関するテキストを読む

第10回 Lektion 12 Die
Teilung
Deutschlands

分詞の用法・冠飾句を学ぶ

第11回 Lektion 13 EU und
Deutschland

「EUとドイツ」に関するテキストを読む

第12回 Lektion 13 EU und
Deutschland

接続法第2式を学ぶ

第13回 Lektion 14
Auslaender,
Fluechtlinge,
Migranten in
Deutschland

「ドイツの外国人、難民、移民」に関するテキストを読む
接続法第1式を学ぶ

第14回 試験・まとめ

秋学期に学んだ内容を確認する

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

各章の読解テキストについては、予習を行った上で授業に臨むこと。
予習を授業中に行うことは一切認めない。
また、練習問題やドイツ語作文の宿題を課す場合がある。
本授業の準備・復習時間は合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 Siegfried Kohlhammer・斎藤太郎著、朝日出版社 (2018年刊行)

【参考書】

『必携ドイツ文法総まとめ (改訂版)』中野悠爾・平尾浩三・朝倉巧著、白水社 (2003年刊行)

【成績評価の方法と基準】

授業 (読解・文法練習問題・会話練習・作文) への取り組み40% 期末試験60%を総合的に判断する。
なお成績評価の対象となるためには原則として授業実施回数3分の2以上の出席を必要とする。

【学生の意見等からの気づき】

基本的な語彙が定着するよう工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

紙の辞書か電子辞書を持参すること。
教務システムやZoomに接続可能なデバイスを用意すること。

【Outline (in English)】

The main aim of this course is the development of the students' language skills needed to communicate spontaneously and fluently by their German speaking, listening, reading and writing.

The goals of this course are to be able to deepen the knowledge and understanding of the contemporary German culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the textbook.

Your required study time is about one hour for each class meeting.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination:60%

Class attendance and attitude in Class:40%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

児島 由理

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

文法事項の確認・補足をしながら、ドイツ語力のステップアップを目指す。

様々な文法問題・読解練習・作文練習、ペアワークやグループワークを行うことで、ドイツ語を使う力を身につける。

【到達目標】

これまでのドイツ語の基礎知識をもとに、文法を復習し、表現や語彙の幅を広げる。

ドイツ文化に関するテキストを読み、ドイツ語を総合的に学ぶとともにドイツ文化について幅広い知識を得る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

教科書は文法事項の復習と練習問題、読解、作文がバランスよく配置されています。受講者の積極的な参加が望まれます。宿題は次の授業で確認します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	ガイダンス、挨拶、自己紹介、ドイツ語の発音の復習
第2回	Lektion 1	人称代名詞と動詞の人称変化、ドイツ語の語順、疑問詞と疑問文
第3回	Lektion 1	自己紹介の練習 (会話、作文)
第4回	Lektion 1	小テスト、復習
第5回	Lektion 2	名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞、冠詞の格変化
第6回	Lektion 2	ドイツ語圏の地理 (テキスト読解)、独作文
第7回	Lektion 3	動詞の人称変化 (不規則変化)、命令形、人称代名詞の格変化
第8回	Lektion 3	食べ物・スイーツ (テキスト読解)、独作文
第9回	Lektion 2・3	小テスト、復習
第10回	Lektion 4	不定冠詞類、定冠詞類、前置詞 (1)
第11回	Lektion 4	ドイツの産業 (テキスト読解)、独作文
第12回	Lektion 5	前置詞 (2)、話法の助動詞、接続詞
第13回	Lektion 5	旅行 (テキスト読解)、独作文
第14回	Lektion 4・5	小テスト、復習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎回の授業の復習、課題学習を必ず行うこと。

【テキスト (教科書)】

熊谷哲哉・大喜祐太『ミニマムドイツ語・レーゼン』朝日出版社、2023年、2420円 (税込)

【参考書】

1年時に使用した教科書、独和辞典

【成績評価の方法と基準】

3回の小テスト: 50%、平常点 (授業への参加度、宿題・課題等): 50%

【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけでなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

【学生が準備すべき機器他】

感染症の状況によりオンライン授業を実施する場合があります。自宅Zoomに接続して授業を受けることができる環境を準備してください。

【その他の重要事項】

独和辞典を必ず持参してください。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve German language skills while reviewing and supplementing grammar items.

Students practice speaking and reading and perform pair work and group work to improve their ability to use German language.

They can expand the range of expressions and vocabulary based on the basic knowledge of German so far and develop practical communication skills in German.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

The standard preparation and review time for this class is one hour in total. Be sure to review and study the assignments for each class.

Grading criteria: Final exam: 40%, normal points (class participation, homework, assignments, etc.): 60%.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 II

2017年度以降入学者

児島 由理

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

文法事項の確認・補足をしながら、ドイツ語力のステップアップを目指す。

様々な文法問題・読解練習・作文練習、ペアワークやグループワークを行うことで、ドイツ語を使う力を身につける。

【到達目標】

これまでのドイツ語の基礎知識をもとに、文法を復習し、表現や語彙の幅を広げる。

ドイツ文化に関するテキストを読み、ドイツ語を総合的に学ぶとともにドイツ文化について幅広い知識を得る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書は文法事項の復習と練習問題、読解、作文がバランスよく配置されています。受講者の積極的な参加が望まれます。宿題は次の授業で確認します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	ガイダンス
	Lektion 6	分離動詞と非分離動詞、zu不定詞、再帰動詞
第2回	Lektion 6	ドイツの教育制度 (テキスト読解)、独作文
第3回	Lektion 7	動詞の三基本形、過去形、現在完了形
第4回	Lektion 7	ベルリンの歴史 (テキスト読解)、独作文
第5回	Lektion 6・7	小テスト、復習
第6回	Lektion 8	形容詞、序数
第7回	Lektion 8	ドイツの哲学 (テキスト読解)、独作文
第8回	Lektion 9	受動態、関係代名詞
第9回	Lektion 9	ドイツのサッカー (テキスト読解)、独作文
第10回	Lektion 8・9	小テスト、復習
第11回	Lektion 10	接続法
第12回	Lektion 10	ドイツの文学 (テキスト読解)
第13回	Lektion 10	独作文
第14回	Lektion 10	小テスト、復習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。宿題は必ずやってくる。

【テキスト (教科書)】

熊谷哲哉・大喜祐太『ミニマムドイツ語・レーゼン』朝日出版社、2023年、2420円 (税込)

【参考書】

1年次に使用した教科書、独和辞典

【成績評価の方法と基準】

3回の小テスト：50%、平常点 (授業参加度、宿題・課題等)：50%

【学生の意見等からの気づき】

外国語を学ぶことは、コミュニケーションの手段や技術を習得するだけでなく、それを通じて自分たちとは違う文化や社会について知り、それを理解する能力を身につけることです。

たしかに、大学で学んだからといって将来ドイツ語を使う職業に就くとは限りませんし、授業だけの学習量ではドイツ語が自由自在に操れるようにはなりません。

しかし、この授業に参加する皆さんは、ドイツ語の授業を通じて、今まで知らなかった新鮮で奥の深い世界がそこに広がっていることを知るでしょう。その世界をどのくらい知ろうとするかは皆さん次第です。ドイツ語は、他者理解・異文化理解へとつながる窓口なのです。

【学生が準備すべき機器他】

感染症の状況によりオンライン授業を実施する場合があります。自宅 Zoom に接続して授業を受けることができる環境を準備してください。

【その他の重要事項】

独和辞典を必ず持参すること。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to improve German language skills while reviewing and supplementing grammar items.

Students practice speaking and reading and perform pair work and group work to improve their ability to use German language.

They can expand the range of expressions and vocabulary based on the basic knowledge of German so far and develop practical communication skills in German.

All participants are required to attend continuously. They are also required to bring a dictionary and do their homework/prep work before attending.

The standard preparation and review time for this class is one hour in total. Be sure to review and study the assignments for each class.

Grading criteria: Final exam: 40%, normal points (class participation, homework, assignments, etc.): 60%.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3 I

2017年度以降入学者

外山 知子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツの文化を学びながら異文化理解を深める。

【到達目標】

1年生で学習した文法事項、未学習の文法事項を復習したり新たに学んだりしながら、いろいろなタイプのドイツ語の文章を自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoomによるオンラインになる回もあるので、「各回の授業形態」を見なさい。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」をチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 4/13	復習をかねての課題。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聴いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。教科書を持ってくること。
2 4/20	Lektion 1 Brot Wurst DöKebab	Lektion 1 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
3 4/27	Lektion 1 の続き。	Lektion 1 の練習問題。
4 5/11	Lektion 2 Herr Böse und Herr Streit	Lektion 2 のテキストを読み、不規則変化する動詞、形容詞の語尾変化、形容詞の名詞化について学ぶ。
5 5/18	Lektion 2 の続き。	Lektion 2 の練習問題
6 5/25	Lektion 3 Berlin-Eine wunderbare Stadt	Lektion 3 のテキストを読み、再帰動詞、分離動詞、接続法第2式について学ぶ。
7 6/1	Lektion 3 の続き。	Lektion 3 の練習問題
8 6/8	Lektion 4 Der süße Brei	Lektion 4 のテキストを読み、指示代名詞、命令形について学ぶ。
9 6/15	Lektion 4 の続き。	Lektion 4 の練習問題。
10 6/22	Lektion 5 Wiener Kaffehauskultur	Lektion 5 のテキストを読み、関係代名詞、現在完了について学ぶ。
11 6/29	Lektion 5 の続き。	Lektion 5 の練習問題。
12 7/6	これまでの文法の補足。	これまで学んだことの他に重要な文法事項について学ぶ。
13 7/13	重要な事項の補足	特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 7/20 試験・まとめと解説。試験と春学期のまとめをする。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業での指示に従うこと。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

耕平耕平/畠山 寛/高本敬之著『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章』同学社 4版2021年 2000円(税別)
初回から持ってくること。

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として3分の2以上を必要とする。配慮される場合には[その他の重要事項]を参照のこと。基本的には期末試験+小テスト72%、授業参加度(宿題、課題をふくむ平常点)28%の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

緊張感を持って遅刻せず、積極的な授業参加を歓迎します。

【学生が準備すべき機器他】

Zoomができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに真剣に参加しよう。

公欠届、診断書などはきちんと提出すること。コロナに関しては大学の指示に従いなさい。体調不良と書くだけでなく、症状も書くこと。教科書と独和辞典(電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない)を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって、少しずれることがある。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も経ってから申告しても配慮対象にならない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process Term-end examination(72%)and in-class cotribution(28%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3Ⅱ

2017年度以降入学者

外山 知子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の向上を目指し、ドイツ文化を素材として異文化理解を深める。

【到達目標】

ドイツ語のいろいろなタイプの文章が自分で楽しみながら読めるようになる。それにとどまらず語彙を増やし、構造を理解しながらドイツ語の総合力を高める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業形態は対面だが、Zoomによるオンラインになる回もあるの、「各回の授業形態」を見なさい。

学習支援システムに「お知らせ」をよく載せるので、常にチェックすること。特に初回の前は早めに「お知らせ」をチェックしなさい。さまざまなタイプのドイツ語で書かれた文章を味わいながら読む。各課ごとの練習問題を通して総合力を高める。

下の「その他の重要事項」を初回の授業の前によく読みなさい。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1 9/21	導入、ドイツ語の感覚を取り戻す。	授業の進め方、勉強の仕方、勉強に役立つ情報などを聞いた後、感覚を取り戻すためにドイツ語に触れる。 教科書と辞書を持ってくること。
2 9/28	Lektion 6 Abschlussprüfung Verdammt heißhier unten!	Lektion 6 のテキストを読み、現在完了形 (2)、zu不定詞、過去分詞の用法について学ぶ。
3 10/5	Lektion 6 の続き。	Lektio 6 の練習問題。
4 10/12	Lektion 7 Kurze Geschichte der Sonntagsruhe	Lektion 7 のテキストを読み、話法の助動詞、受動文について学ぶ。
5 10/19	Lektion 7 の続き。	Lektio 7 の練習問題。
6 10/26	Lektion 8 Geschichte der Gastarbeiter	Lektion 8 のテキストを読み、形容詞の比較表現、zu不定詞 (2) について学ぶ。
7 11/9	Lektion 8 の続き。	Lektio 8 の練習問題。
8 11/16	Lektion 9 Vom deutschen Stil	Lektion 9 のテキストを読み、定冠詞類、不定冠詞類、現在分詞の用法について学ぶ。
9 11/23	Lektion 9 の続き。	Lektio 9 の練習問題。
10 11/30	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れる。	学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。
11 12/7	プリントなどで教科書以外のドイツ語に触れたり、文法事項の補足説明などをする。	引き続き、学生の希望と実力に応じた内容のテキストを読む。

12 12/14 さらに難しいテキストを読む。なかなか授業で触れることのないタイプのドイツ語を読む。

13 12/21 重要事項の補足。特に重要な事項を詳しく学ぶ。

14 1/21 試験・まとめと補 試験と秋学期のまとめをする。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前回学んだことの復習とテキストの予習。

本文の講読は全体を予習した方が、練習問題は解きやすい。

学んだことはなるべくその日のうちに復習しよう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

萩原耕平 / 畠山寛 / 高本敬之著 『ドイツ語トライアングル やさしい中級テキスト9章』 同文社 4版2021年 2000円 (税別)

【参考書】

本郷建治著『ドイツ文法の要点』三修社

中島悠爾他著『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

出席は原則として3分の2以上を必要とする。配慮される場合には【その他の重要事項】を参照のこと。具体的には授業中に話す。基本的には期末試験72%、授業参加度 (宿題、課題をふくむ平常点) 28%の割合で総合評価する。遅刻3回で欠席1回にカウントされる。

【学生の意見等からの気づき】

積極的な授業参加を歓迎します。遅刻と出席には気をつけましょう。

【学生が準備すべき機器他】

Zoom ができる機器。なるべく画面の大きいもの。なければスマートフォンでもかまわない。周囲がうるさければヘッドセット。

【その他の重要事項】

楽しく、まじめに勉強しよう。

公欠届、診断書などはきちんとその都度すぐに提出すること。コロナに関しては大学の指示に従いなさい。

教科書と電波のつながらない独和辞典 (電波の入る機器を辞書代わりに使うことは許可しない) を毎回手元に置き、使用すること。

対面とオンラインを何回目にやるかは授業の進度によって少しづれることがある。学習支援システムの「お知らせ」にいつも気をつけていなさい。

休んだときは授業の前か終了後すぐに理由を連絡すること。正当な理由とみなされた場合にのみ配慮される。何日も縦から申告しても配慮対象にならない。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve in German and the mutual understanding of other cultures.

The goal is for students to improve in German and the understanding of a different culture.

Before each class meeting, students will be expected to have read the next chapter from the text.

Students will be expected have completed the required assignments after each class meeting.

Final grade will be calculated according to the following process
Term-end examination(72%)and in-class cotribution(28%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 4 I

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次にドイツ語1、2を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくためにさまざまなシチュエーションのなかで必要な表現を学ぶことを目的とします。またドイツの若者の日常や関心などを会話表現を通して学びます。

【到達目標】

初級文法の知識を確実なものとしてすることができます。日常のさまざまなシチュエーションで使われる表現、使える会話表現を身につけることができます。ドイツの各州の特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストをともに読み進めていきます。各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。教科書に沿って期末に確認テストを行います。1年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。

課題のフィードバックを行う。訳読を行うにあたっては、精読 (close reading) ・解釈力の養成・文法的知識の向上をめざします。

第1回はオンラインで行います。Hoppii を見てください。なお、定員は30名とする。30名を超えた場合には選抜を行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション Kapitel 1 シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州	授業の進め方、 訳読と文法的説明を行う
第2回	Kapitel 1 シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州	文法的解説:完了形 課題・読解を行う
第3回	Kapitel 2 Hamburg	テキストの Kapitel 1 表現を学ぶ この章の練習問題で内容確認と 表現の練習・まとめ
第4回	Kapitel 2 受動形	Kapitel 2 訳読と受動形 の文法的説明を行う
第5回	Kapitel 2 ハンブルクの産業と メディア	テキストの Kapitel 2 の読解を行う テキストの Kapitel 4 の表現を学ぶ
第6回	Kapitel 4 文法のまとめ：過去 形のまとめと確認	表現の方法について知識を定着 させる

第7回	Kapitel 4 Bremen	Kapitel 4 の文法的説明を行う 訳読の解説
第8回	Kapitel 4 動詞の人称変化	テキストの読解を行う この章の練習問題で内容確認と 表現の練習
第9回	Kapitel 4 この章のまとめと確認	プレーメンの文化と歴史
第10回	Kapitel 6 関係代名詞の用法	Kapitel 6 の文法的説明を行う 練習問題で表現の練習・まとめ
第11回	Kapitel 6 Brandenburg について	テキストの Kapitel 6 の読解を行う
第12回	Kapitel 6 に関連したビデオ学習 Kapitel 6	テキストの Kapitel 6 ポツダム会談、ヤルタ会談を中心としたドイツについて学ぶ 第二次世界大戦とポツダム
第13回	第二次世界大戦やその時代のドイツに関連したビデオを用いた学習	Kapitel 6 の読解と文法的説明を行う。 zu 不定詞の表現を学ぶ。 ドイツの歴史・政治をビデオを用いて、より深く知る
第14回	期末試験、解説とまとめ	これまでに学んだ読解と文法的説明の振り返り 期末試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、1回につき合わせて1時間以上を標準とします。

授業で習った知識を確実にするためにも、復習を行います。次回に行う章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みておきます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストに描かれている事柄 (例えば、各州の環境問題や歴史など) などに関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読むとより興味をもって授業に臨め、理解も深めることができます。

【テキスト (教科書)】

『ドイツ ところ変われば』 (Deutschland nach der Wende)

R.Luscher 松本嘉久 著

朝日出版社

【参考書】

とくにありませんが、毎回、独和辞典で調べる習慣は大事です。また、テキストに描かれている事柄などに関して書かれた本を読むことも重要です。

【成績評価の方法と基準】

成績評価手法について
成績配分は期末試験50%、平常点 (確認テストの点数の累積、課題、授業への積極的な参加を含む) 50%です。

【学生の意見等からの気づき】

ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な解説で説明しています。

また、ドイツの文化や歴史も学べるということで、ビデオも取り入れてゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器として Zoom で接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読 (close reading) ・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。第1回はオンラインで行う。Hoppii を見てください。

【Outline (in English)】

Course outline: German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions on various topics through reading and with audio-visual aids and helps students to develop reading and listening skills.

It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to:

- confirm German elementary grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the history, events, the chief distinctive feature, culture, manners and customs of German states.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 4 II

2017年度以降入学者

日中 鎮朗

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木2/Thu.2

単位数: 1単位

定員制 (30)

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に学んだことを踏まえて、1年次にドイツ語1、2を学習した学生が文法事項や構文上の学習知識を確実なものとし、さらに高めていくために、ドイツの州の特色を通して、ドイツという国やさまざまな表現を身につけていくことを目的とします。

【到達目標】

初級文法の知識を確実なものとするができます。
ドイツ語によるさまざまな表現方法や構文を学ぶことができます。
ドイツの各州の特色、歴史、出来事、慣習を学ぶことができます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

テキストをともに読み進めていきます。
各回ごとにテキストを担当者を決めて訳読してもらい、そこに使われている文法事項を解説します。

適宜、確認テストを行います。

1年次の文法知識の復習を兼ねながら丁寧にわかりやすく説明します。

訳読を行うにあたっては、精読 (close reading) ・解釈力の養成・文法的知識の向上をめざします。

なお、定員は30名とするが、30名を超えた場合には、継続性の観点から春学期受講生を優先し、枠があればそれに応じて選抜する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Introduction 授業の方法 Kapitel 7	Introduction 授業についての説明 成績評価の説明 Kapitel 7
第2回	Kapitel 7 Berlin	Kapitel 7の訳読の解説を行う。
第3回	Kapitel 7 訳読 このKapitelのまとめと確認	Kapitel 7 zu不定詞について学ぶ。 練習問題で確認と応用
第4回	Kapitel 9 Nordrhein- Westfalenについて	Kapitel9の訳読と文法的説明を行う
第5回	Kapitel 9 ケルンについて	Kapitel 9 ライン地方の産業とケルンの大聖堂 テキストの読解を行う Kapitel11 再帰名詞の表現の説明を行う
第6回	Kapitel11の訳読確認	kapitel11に従って、表現の方法について知識を定着させる
第7回	Kapitel 11 ゲーテとシラー	Kapitel 11 ドイツの古典文化とワイマール

第8回	Kapitel 11 ワイマール共和国	Kapitel 11 ドイツの戦後
第9回	Kapitel 16 Bayern を学ぶ	Kapitel 16 のテキストの表現の説明を行う 練習問題で確認と応用
第10回	Kapitel 16 接続法の人称変化と意味を学ぶ	Kapitel 16 訳読の解説と テキストの文法的説明を行う
第11回	Kapitel 16 バイエルンの産業	Kapitel 16 ジーメンスやBMWなどドイツの工業について テキストの表現を学ぶ
第12回	Kapitel 16 ドイツ語の戦後についてのビデオ学習 Kapitel 16 Bayern州 接続法の表現	Kapitel 16 第二次大戦後のベルリン分割やドイツの統一について Kapitel 16 接続法
第13回	第二次世界大戦時のドイツの政治・ホロコースト、そこから得られる学びをビデオを通して確認する	ドイツの歴史について、より深く知り、またそこから得られた知識の内容理解を確認する。
第14回	期末試験、解説とまとめ	表現と文法事項を中心とした振り返り 期末試験、解説とまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
授業で習った知識を確実にするために復習をします。

次回に行く章や文章のわからない単語、語句を調べ、自分で訳を試みます。

自分の訳と授業での訳との違いの理由を確かめ、正確な理解に努めます。

テキストに描かれている事柄に関心を持ち、そうした時事的な事柄に関して書かれた本を読み、より興味をもって授業に臨み、理解を深めます。

【テキスト (教科書)】

『ドイツ ころろ変われば』(Deutschland nach der Wende)

R.Luscher 松本嘉久 著

朝日出版社

【参考書】

とくにありませんが、ドイツの芸術、産業、文化、政治、経済についても学ぶことになるので、関心のある領域があれば、その分野の参考書を読むことは重要である。

【成績評価の方法と基準】

学期末に試験を行います。

期末試験 50%

平常点 (訳読などの課題発表・確認テストの成績累計、授業への積極的取組・参加) 50%

【学生の意見等からの気づき】

ドイツやドイツ語の知識がついた、説明がわかりやすいというコメントなので、今後も丁寧な説明に努めたい。

また、ドイツの文化や歴史について学べるということなので、ビデオ学習も取り入れてゆく。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業やハイフレックス型授業の場合必要な機器としてZoomで接続可能なデバイスを準備してください。

【その他の重要事項】

春学期・秋学期合わせての履修を推奨します。

授業の進め方にも記載したが、訳読を行うにあたっては、精読 (close reading) ・解釈力の養成・文法的知識の向上が必要となる。

【Outline (in English)】

Course outline: German for Ichigaya Liberal Arts Center (ILAC) Program.

This course provides advanced German expressions on various topics through reading the text on Germany and helps students to develop reading and listening skills.

It is open to the students who completed German 1 and German 2 in the ILAC Program.

Learning Objectives: By the end of the course, students should be able to:

- confirm German elementary grammar.
- learn expressions of daily German conversation.
- know about the history, events, the chief distinctive feature, culture, manners and customs of German states.

Learning activities outside of classroom: Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter(s) from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading criteria: : Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Term-end examination: 50%、 Short tests, an assignment and in-class contribution: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語4 I

2017年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、秋学期の「ドイツ語4-II」と併せて、中級レベルのドイツ語文法および表現を着実に身に付けることを目指します。

1年次で学習した文法事項の確認をしながらドイツ語の文章を読むことによって、文法力の強化、構文・テキストを的確に把握する読解力や語彙力、またビデオを用いて聴解力のレベルアップを図ります。

使用する教科書とビデオはドイツ語圏の文化を理解するために重要で興味深いテーマを扱っているため、1年が終わる頃には、ドイツ語圏の社会や文化、そこに住む人々のものの考え方や日常生活などに関する知識と理解が深まっていることでしょう。

【到達目標】

- ・小数や序数を使った表現ができる
- ・人称代名詞の格変化ができる
- ・話法の助動詞を使った表現ができる
- ・形容詞の強・弱・混合の格変化ができる
- ・形容詞と副詞の比較表現ができる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・決められた量のテキストを、辞書を引いて日本語に訳してきてもらい、それを授業で確認します。
- ・パートナー練習やグループワークを通じて、文法知識の定着を図ります。
- ・音読の練習を行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては、その場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	Lektion 0	Selbstvorstellung
02	Lektion 1	Geographie und Klima
03	Video : Winter in Deutschland	ドイツの冬
04	Lektion 2	Essen und Trinken
05	Video : Wurst / Bier	ドイツと言えば?ソーセージ/ビール!
06	Lektion 3	Deutsche Sprache
07	Lektion 4	Studium in Deutschland
08	Lektion 5	Feiertage, Urlaub und Freizeitaktivitäten
09	Video : Urlaub	ドイツの休暇
10	Video : Wandern	ドイツ人の好きなハイキング
11	Lektion 6	Innere Sicherheit in Deutschland
12	Lektion 7	Schulsystem Deutschlands
13	Video : Schule	ギムナジウムでの授業

14 春学期の振り返り 学期末試験、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。
・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト (教科書)】

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 Siegfried Kohlhammer/斎藤太郎 共著、朝日出版、2021年、第5刷、¥2300+税

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等) 50%と期末試験50%を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書 (特に自宅での学習で) を強く薦めます。

【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。

・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course, together with German 4-II in the autumn semester, aims to provide students with a steadily increasing command of intermediate-level German grammar and expression.

By reading German texts while checking the grammar studied in the first year, the course aims to strengthen grammar skills, reading comprehension and vocabulary skills to accurately grasp the syntax and text, and to improve listening comprehension skills using videos.

The textbooks and videos cover important and interesting topics for understanding German-speaking cultures, so that by the end of the year you will have a greater knowledge and understanding of German-speaking societies and cultures, the way of thinking and daily life of the people living there, and much more.

【Learning Objectives】

Can use decimals and ordinal numbers.

Can use personal pronouns with case changes.

Can express using modal auxiliaries in speech.

Can use strong, weak and mixed case changes of adjectives.

Can express comparative adjectives and adverbs.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

【Grading Criteria/Policy】

A comprehensive evaluation is made by combining 50% of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) and 50% of the final examination.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語4Ⅱ

2017年度以降入学者

三ツ石 祐子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期の「ドイツ語4-I」の後続授業という位置づけです。春学期に学習したことを踏まえ、引き続き中級レベルのドイツ語文法および表現を着実に身に付けることを目指します。

ドイツ語とドイツ語圏の文化に関する知識と理解力を深めることを通じて、日本をはじめ、他の文化圏に対しての理解も深めます。

【到達目標】

- ・受動表現が使えるようになる
- ・過去の表現ができるようになる
- ・副文 (従属文) が使えるようになる
- ・副文 (関係文) が使えるようになる
- ・分詞の用法を理解することで冠飾句が使えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・決められた量のテキストを、辞書を引いて日本語に訳してきてもらい、それを授業で確認します。
- ・パートナー練習やグループワークを通じて、文法知識の定着を図ります。
- ・音読の練習を行います。
- ・授業内で行われたアウトプットに対しては、その場でコメントします。
- ・提出物などのフィードバックは適宜全体と、必要に応じて各自に向けて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
01	これまでの振り返り	春学期の復習
02	Lektion 8	Politisches System Deutschlands
03	Lektion 8 文法	受動態、zu不定詞句
04	Lektion 9	Deutsche Geschichte im Überblick
05	Lektion 9 文法	過去の表現
06	Lektion 10	Deutschland als Musikland
07	Lektion 10 文法	副文 (従属文)
08	Lektion 11	Religiöse Landschaft in Deutschland
09	Lektion 11 文法	(不) 定関係代名詞
10	Lektion 12	Die Teilung Deutschlands
11	Lektion 12 文法	分詞の用法、冠飾句
12	Lektion 13	EU und Deutschland
13	Lektion 13 文法	接続法第二式
14	秋学期の振り返り	学期末試験、まとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
 ・毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。必ず音読の練習もしてください。
 ・授業外でも積極的にドイツ語に触れるようにして下さい。

【テキスト (教科書)】

『知りたいドイツ語～読みながらステップアップ～』 Siegfried Kohlhammer/斎藤太郎 共著、朝日出版、2021年、第5刷、¥2300+税

【参考書】

必要に応じて指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席・パートナー練習やグループワークなどを含めた授業への積極的参加・課題等) 50%と期末試験50%を合わせ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典。紙媒体の辞書 (特に自宅での学習で) を強く薦めます。

【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は、クラスの状況により変更されることがあります。

・質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先でも随時受け付けます。

メールアドレス：yuko.mitsuishi.2x@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course is positioned as a follow-up to German 4-I in the spring semester. The aim is to build on what has been learned in the spring semester and to continue to steadily acquire intermediate-level German grammar and expressions.

By deepening their knowledge and understanding of the German language and the cultures of German-speaking countries, students will also deepen their understanding of Japan and other cultural areas.

【Learning Objectives】

Can use passive expressions.

Able to use expressions in the past.

Able to use sub-sentences (subordinate sentences).

Be able to use adverbial sentences (relational sentences).

To be able to use adverbial clauses by understanding the use of participles.

【Learning activities outside of classroom】

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The preparation and review assignments will be given for each class.

Please make sure to practice reading aloud and try to be actively exposed to German outside of class.

【Grading Criteria/Policy】

A comprehensive evaluation is made by combining 50% of normal marks (attendance, active participation in class including partner practice and group work, assignments, etc.) and 50% of the final examination.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語4 I

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

200ワード程度のドイツ語の文章を精読しながら、1年次に学習した文法事項の確認と中級レベルのドイツ語に必要な読解力や語彙力の向上を目指す。

【到達目標】

一つ目は、授業で学んだ文法知識や辞書などを手掛かりに、ドイツ語で書かれた文章の構文を正確に把握する精読のスキルを身につける。二つ目は、構文を意識しながら正確な発音で音読をするスキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。

ドイツ語のテキストの読解が授業の中心になる。読解にあたっては、毎回担当者を決めて、事前に訳文を準備してもらう。自分で作成した訳文については文法事項や構文などを簡単に説明できるような準備をしておくこと。また、音読のチェックも毎回行うので、音声ファイルなどを使って予習をするようにしておくこと。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	授業の進め方 自己紹介 初級文法の復習
第2回	Lektion 1 東ドイツを思い出しながら	文法の復習：過去形、完了形
第3回	Lektion 1 東ドイツを思い出しながら	テキストの精読および音読
第4回	Lektion 2 「壁」の向こう側には西ベルリンがあった	文法の復習：分離動詞
第5回	Lektion 2 「壁」の向こう側には西ベルリンがあった	テキストの精読および音読
第6回	Lektion 3 そのとき「壁」が開いた	文法の復習：前置詞
第7回	Lektion 3 そのとき「壁」が開いた	テキストの精読および音読
第8回	Lektion 4 欧州の和解と平和	文法の復習：関係代名詞
第9回	Lektion 4 欧州の和解と平和	テキストの精読および音読
第10回	Lektion 5 戦後の経済復興	文法の復習：不定関係代名詞
第11回	Lektion 5 戦後の経済復興	テキストの精読および音読
第12回	Lektion 6 未来への課題	文法の復習: zu 不定詞

第13回 Lektion 6 未来への課題 テキストの精読および音読

第14回 最終試験 テストと春学期学んだことの総復習を行う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

『「壁」を壊す メルケル独首相スピーチ』、村瀬民子著、白水社、2022年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社) 独和辞典

【成績評価の方法と基準】

授業への参加態度、和訳課題、音読のチェックなどを含む平常点50%と期末テスト50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典を持参すること。

【その他の重要事項】

授業の内容や順序は、クラスの状態によって一部変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

Through close reading of German texts of approximately 200 words, the course aims to confirm the grammatical points learned in the first year and to review reading comprehension and vocabulary skills necessary for intermediate level German.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語4Ⅱ

2017年度以降入学者

保科 泰

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

200ワード程度のドイツ語の文章を精読しながら、1年次に学習した文法事項の確認と中級レベルのドイツ語に必要な読解力や語彙力の向上を目指す。

【到達目標】

一つ目は、授業で学んだ文法知識や辞書などを手掛かりに、ドイツ語で書かれた文章の構文を正確に把握する精読のスキルを身につける。二つ目は、構文を意識しながら正確な発音で音読をするスキルを身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は対面形式で行う。

ドイツ語のテキストの読解が授業の中心になる。読解にあたっては、毎回担当者を決めて、事前に訳文を準備してもらう。自分で作成した訳文については文法事項や構文などを簡単に説明できるような準備をしておくこと。また、音読のチェックも毎回行うので、音声ファイルなどを使って予習をするようにしておくこと。フィードバックは学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	春学期の振り返り 授業の進め方の説明
第2回	Lektion 7 グローバルに行動する	文法の復習: 形容詞の比較級、最上級
第3回	Lektion7 グローバルに行動する	テキストの精読および音読
第4回	Lektion8 AIの可能性	文法の復習: 接続法Ⅱ式
第5回	Lektion8 AIの可能性	テキストの精読および音読
第6回	Lektion9 ゆっくり考え、正しく行動しよう	文法の復習: 受動態、形容詞の名詞化
第7回	Lektion9 ゆっくり考え、行動しよう	テキストの精読および音読
第8回	Lektion10 心の中にある「壁」	文法の復習: 動詞nennenの使い方、現在分詞
第9回	Lektion10 心の中にある「壁」	テキストの精読および音読
第10回	Lektion11「壁」の向こう側にあるもの	文法の復習: 語の省略、勧誘の表現
第11回	Lektion11「壁」の向こう側にあるもの	テキストの精読および音読
第12回	Lektion12 終わりなくして始まりはない	文法の復習: 動詞の名詞化、二重否定
第13回	Lektion12 終わりなくして始まりはない	テキストの精読および音読

第14回 最終試験

試験および一年間のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

『「壁」を壊す メルケル独首相スピーチ』、村瀬民子著、白水社、2022年

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社) 独和辞典

【成績評価の方法と基準】

授業への参加態度、和訳課題、音読のチェックなどを含む平常点50%と期末テスト50%を総合的に判断する。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

独和辞典を持参すること。

【その他の重要事項】

授業の内容や順序は、クラスの状況によって一部変更する可能性がある。

【Outline (in English)】

Through close reading of German texts of approximately 200 words, the course aims to confirm the grammatical points learned in the first year and to review reading comprehension and vocabulary skills necessary for intermediate level German.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語(3) I

2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	オリエンテーション
第2回	文法・語彙復習	一年生の時に学んだドイツ語の復習
第3回	復習：簡単な会話	挨拶など・簡単な会話の復習・練習
第4回	簡単な自己紹介	簡単な自己紹介を言えるように。疑問文の練習
第5回	自己紹介	自己紹介を言える、書ける、読めるように。疑問文の練習
第6回	買い物	チラシを読む、買い物に必要な会話を習得する
第7回	食べ物・飲み物	食べ物・飲み物についての読書
第8回	旅行のドイツ語I レストラン	メニューとレストランでの小会話
第9回	旅行のドイツ語II ホテル	ホテルについての情報、予約 Webページを読む
第10回	旅行のドイツ語III 道を尋ねる	道を尋ねる会話
第11回	旅行のドイツ語IV 交通機関	航空券、切符の購入など
第12回	旅行のドイツ語V 観光案内	観光案内 簡単な会話、情報を読む
第13回	復習	語彙・文法・読解方法の復習
第14回	纏め・総復習および 予備日	学期の纏め

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

配布資料

【参考書】

独和辞典 (詳細は一回目の授業時に話します)

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点 (授業参加度、宿題) 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語(3) II

2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水1/Wed.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

読解力と文法の強化

ドイツの習慣や文化について書かれたテキストを通して、文法の強化と読解力を身につけます。また、ドイツの文化についても触れることで、総合的なドイツの理解を深めます。

【到達目標】

文法の理解と、読解力をつけることで基礎的なドイツ語を使えるようにします。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語の読解と文法の復習および強化。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習	今まで学んだドイツ語の復習
第2回	童話 I	グリム童話を読む
第3回	童話 II	文法の解説
第4回	環境問題 テーマ1	環境問題についての資料を読む
第5回	環境問題 テーマ2	環境問題についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第6回	ドイツの政治・社会 について I	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第7回	ドイツの政治・社会 について II	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第8回	ドイツの政治・社会 について III	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第9回	ドイツの政治・社会 について IV	ドイツの政治・社会についての資料を読んで文法上の問題点を解説
第10回	ドイツ憲法について	ドイツ憲法についての簡単な文を読む
第11回	ドイツ憲法	ドイツ憲法を部分的に読み解く
第12回	復習：語彙・文法	語彙・文法の復習・練習
第13回	復習：読解方法	復習：文を読み解く方法
第14回	纏め・総復習および 予備日	2年間のドイツ語の勉強の纏め

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

宿題・復習。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

配布資料

【参考書】

独和辞典 (詳細は一回目の授業時に話します)

【成績評価の方法と基準】

以下の割合を目安として総合的に評価する

小テスト 70%

平常点 (授業参加度、宿題) 30%

【学生の意見等からの気づき】

教科書に沿った授業の進め方ではなく、受講生にあわせて配布プリントを活用する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【その他の重要事項】

学生の興味や理解度に順じてプログラムを変更することもあります

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (vocabulary expansion and grammar review, readings and conversation)

Learning Objectives:

Students will strengthen their grammar and reading comprehension skills and deepen their overall understanding of German culture and society.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy:

Short tests: 70%, homework & in-class contribution 30%.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語7

2017年度以降入学者

林 志津江

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

前年度の「ドイツ語1 (SA)」～「ドイツ語4 (SA)」の後続授業という位置付けです。SAドイツ語圏での留学に対する事前準備として、ドイツ語とドイツ語圏の多様性に触れながら、ドイツ語圏の滞在に必要なドイツ語運用能力の獲得とさらなる向上を目指します。

【到達目標】

第一の目標は、ドイツ語の文章を文法に即し分析的に読む能力の向上です。これが一定のレベルに達しないうちはSA先大学のドイツ語での授業についていけず、楽しいはずの日常も苦痛となってしまいかもしれません。

第二の目標は、大学生の知的な会話にふさわしい、抽象的なトピックに関する語彙を増やし、話題にふさわしいコメントをドイツ語で発する能力の獲得です。

第三の目標は、地域ごと異なる社会制度や文化慣習を、言語の特性と関連づけて理解できる能力の獲得です。SA先であるドイツ・リューネブルクとそれまつわるの文化や社会に関する言説を知的に理解し楽しめれば、SAはより充実した体験になるはずだからです。

以上を通じて、留学地での生活に適応するために必要な能力と心構えをしっかりと身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキスト読解と、そのテキストに即した問いと答えをドイツ語で作文する作業を軸に進めます。並行して前年度「ドイツ語1」「ドイツ語3」で使用した教科書を用い、ドイツ語の初級文法の基礎固めを行います。初級文法の知識を固めドイツ語圏とヨーロッパについての知識を増やしなが、SA先大学での授業の準備と積極的なドイツ語での発信を目指すとともに、活気ある授業とより良い理解にも配慮します。

・LMSとして、Hoppiiのほか、Google Classroomをツールとして使用します。

・連絡手段として、学期を通じ法政Gメールをチェックしてください。
・授業内で行われたアウトプットに対しては授業の場でコメントします。提出物のフィードバックは適宜全体と各自に向けて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業全般について、1年次の復習をまじえ教科書と既習事項の確認
2	ヨーロッパの真ん中で (1)	(文法の補足) 接続法 (1) 法 (Mode) の考え方、直説法・命令法・接続法の違い、接続法第II式の用法
3	ヨーロッパの真ん中で (2)	(文法の補足) 接続法 (2) 接続法第II式の用法、「引用する」の意味について
4	ドイツ語を話す (1)	ドイツ語を話す地域・様々な方言と多様な表現 (文法の補足) 定関係代名詞 (1) 複文を徹底的に理解する

5	ドイツ語を話す (2)	「ドイツ語」の成立の背景にあったもの (文法の補足) 定関係代名詞 (2) 複文を徹底的に理解する
6	教会と信仰1 — クリスマスを祝う	「アドヴェント」と「聖夜」、ドイツ語圏各地の祝い方
7	教会と信仰2 — さまざまな風習	ドイツ語圏の信仰分布、大晦日の日、イースターと謝肉祭
8	教育と学校制度	義務教育で身に付けるもの、「自分で選択する」という自覚
9	"Bildung"という価値	大学あるいは職業教育という選択、大学は何のため?
10	働き方と住まい	働くのは何のため? 人間関係と住まいの関係、くつろいだ気持ちを表すドイツ語
11	働き方・休み方	自由な時間を謳歌する権利、有給休暇を消化する義務
12	買い物と流通事情	「スーパーマーケット」ではないマーケット? "Bio"ってなに?
13	食事と食文化	さまざまな食べ物・さまざまなドイツ語、「ドイツ (語圏) の食べ物」と言えば?
14	まとめ	学期末最終試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。毎授業ごと、予習・復習の課題を出します。ドイツ語の文・テキストはどれも必ず音読をし、授業外でも積極的にドイツ語に触れられるようチャレンジして下さい。

【テキスト (教科書)】

・"Dreimal Deutsch" (Klett, 2000/2005/2009/2021/2022/2023)
・立教大学ドイツ語教育研究室編『シュトラーセ・ノイ・Ver3.』(朝日出版社、2017年)

【参考書】

中島悠爾ほか著『必携ドイツ文法総まとめ』(白水社、2003年)
清野智昭『ドイツ語のしくみ<新版>』(白水社、2014年)

【成績評価の方法と基準】

・授業への積極的な参加 (外部試験の受験結果含) および提出課題 (40%)

・学期末試験 (60%)

以上の成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

学生からは逐次ヒアリングを行い、相互の意志の疎通につとめます。

【学生が準備すべき機器他】

・独和辞典は必携です。紙媒体の辞書 (特に自宅での学習で) を強く薦めます。

・WiFiが利用可能なデジタルガジェット (できればPCないしタブレット、スマートフォン)

【その他の重要事項】

・授業の順序や内容の一部は変更されることがあります。

・受講者には「ドイツ語技能検定試験 (公益財団法人ドイツ語学文学振興会主催)」や「ドイツ政府公認ドイツ語能力検定試験 (Goethe Zertifikat)」あるいは「オーストリア政府公認ドイツ語能力検定試験 (ÖSD)」の受験を強く推奨します。特に「ドイツ語技能検定試験」の3級には積極的にチャレンジしてください。Goethe Zertifikatについては割引料金適応が適用されるので、受験希望者はぜひ担当者に知らせて下さい。受験結果は上記「成績評価の方法と基準」のうち「授業への積極的な参加」に加算されます (2024年7月25日までに担当者に通知されたものに限る)。

[Outline (in English)]

German course for the intermediate levels (nearly A1. completed), exclusively for Participants of SA-Program in Germany (Leuphana Universität-Lüneburg) in the next semester held by the faculty of Intercultural Communication/Hosei University. This course introduces elementary Grammar and vocabulary with reading Text in German. The aim of this course is to get basic knowledge of the German language and German speaking world, especially ability of reading and composition for general topics to talk about.

[Learning Objectives]

- To develop an understanding of a wide range of topics relating to life, culture and society in German-speaking countries and to express and explain these in German.
- Able to express their own opinions and take part in discussions on abstract topics in German.
- Able to write texts of a certain length in German.

[Work to be done outside of class (preparation, etc.)]

- The standard preparation and revision time for this course is at least one hour each.
- There are prescribed preparation and review tasks.
- Assignments outside of class time will be given on a case-by-case basis.
- In addition to the above, please read the newspaper (daily) or listen to the news as much as possible. It is advisable to make effective use of the internet and social networking sites for German-speaking media.

[Grading criteria]

The course will be judged on the basis of a combination of 70% of ordinary marks (active participation and contribution to the class, presentations, submitted assignments) and 30% of end-of-term assignments (tests).

On the basis of this grading system, students who have achieved at least 60% of the objectives of this course will be considered to have passed the course.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語8

2017年度以降入学者

小川 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の表現を実際に使うことで、これまでに習得したドイツ語初級文法を復習します。ビデオ撮影を用いてグループや個人での発表練習や会話練習を行います。

【到達目標】

これまでに学んだ文法の知識を生かしながら、自らドイツ語で表現できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法の復習をし、実際に活用 (作文) し、スクリプトを作成、発音の練習を行い、提出物を作成します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業内容の説明、文法や語彙の簡単な復習
第2回	プロジェクト① 自己紹介と趣味を語る-1	文法項目の復習をしながらテーマにあわせた作文を、会話の練習を行う
第3回	プロジェクト① 自己紹介と趣味を語る-2	前週の文法項目とテーマに沿って、ビデオ撮影のためのスクリプト作成を開始します
第4回	プロジェクト① 自己紹介と趣味を語る-3	完成したスクリプトから発音練習、ビデオ撮影の練習を行います。
第5回	プロジェクト① 自己紹介と趣味を語る-4	発音の練習の後、実際にビデオ撮影、アップロードを行います。
第6回	プロジェクト② 好きな本や映画、または場所について語る-1	文法項目の復習をしながらテーマにあわせた作文を、会話の練習を行う
第7回	プロジェクト② 好きな本や映画、または場所について語る-2	前週の文法項目とテーマに沿って、ビデオ撮影のためのスクリプト作成を開始します
第8回	プロジェクト② 好きな本や映画、または場所について語る-3	完成したスクリプトから発音練習、ビデオ撮影の練習を行います。動画に用いる題材を用意します。
第9回	プロジェクト② 好きな本や映画、または場所について語る-4	発音の練習の後、実際にビデオ撮影、動画の編集を経てアップロードを行います。
第10回	プロジェクト③ (グループ) -1 学内または大学の周辺を紹介	まず、グループを作ります。その後、文法項目の復習をしながらテーマにあわせた作文を、会話の練習を行います。
第11回	プロジェクト③ (グループ) -2 学内または大学の周辺を紹介	前週の文法項目とテーマに沿って、ビデオ撮影のためのスクリプト作成を開始します
第12回	プロジェクト③ (グループ) -3 学内または大学の周辺を紹介	完成したスクリプトから発音練習、ビデオ撮影の練習を行います。動画に用いる題材を用意します。

第13回	プロジェクト③ (グループ) -4 学内または大学の周辺を紹介	発音の練習の後、実際にビデオ撮影、動画の編集を経てアップロードを行います。
第14回	授業のまとめ	これまでの授業をふりかえり、まとめを行います

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間とします。ただし、動画作成のためのコンテンツ準備や動画編集で授業時間外でさらに時間を要することもあります。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しません。授業資料はLMS等でその都度配布します。必要に応じて1年次に用いた教科書を参照してください。

【参考書】

- ・1回生で用いたドイツ語文法の教科書
- ・中島・平尾・朝倉 (2003年) 『必携ドイツ文法総まとめ』白水社

【成績評価の方法と基準】

授業への積極的な参加30%、3回の動画撮影70%とします。

【学生の意見等からの気づき】

受講者が自ら発言しやすい授業運営とするように努めます。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンだけでなく、PCをご持参ください。

【その他の重要事項】

未定ですが、ドイツで日本語を学ぶ学生との交流を考えています。詳細は授業でお知らせします。学外でコンテンツを集めることも想定されるため、フィールドワークを「あり」にしています。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

Students will review the German grammar they have learned so far by using German expressions in practice. Practice group and individual presentations and conversations using video recordings.

【到達目標 (Learning Objectives)】

Students will be able to express themselves in German using the grammatical knowledge they have acquired so far.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria / Policy)】

Active participation 30%

Video shootings 70%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 - I

2017年度以降入学者

伊東 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木 1/Thu.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の発展練習を行います。

【到達目標】

この授業では、1年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化します。これにより、より難しいドイツ語の文章を読んだり聞きとったりできるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに発展的に文法を学んでいきます。応用練習として、ドイツ語圏の文学作品を読んだり、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習をおこないます。

参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	導入	1年時に学習した文法事項の確認
第2回	形容詞	比較級、最上級
第3回	接続法 1	接続法 1 式
第4回	接続法 2	接続法 2 式
第5回	テキスト読解	1課、および音声・映像教材を使用します。
第6回	テキスト読解	2課、および音声・映像教材を使用します。
第7回	テキスト読解	3課、および音声・映像教材を使用します。
第8回	確認テスト	復習としての確認テスト
第9回	テキスト読解	4課、および音声・映像教材を使用します。
第10回	テキスト読解	5課、および音声・映像教材を使用します。
第11回	テキスト読解	6課、および音声・映像教材を使用します。
第12回	確認テスト	復習としての確認テスト
第13回	文法事項の確認	全体的な復習
第14回	期末テスト	テストを行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Susanne Schermann / Ken Aihara, 『Lesebuch Deutsch ドイツ語を読む 改訂版』、朝日出版社

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業への参加(30%)、確認テスト(30%)、期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語で文学作品を読むというと難しく感じるかもしれません。しかし普段自分で手に取らないものに挑戦する良い機会として、積極的に授業に参加してほしいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくること。

【Outline (in English)】

The class is appropriate for intermediate learners.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3-II

2017年度以降入学者

伊東 直美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語の発展練習を行います。

【到達目標】

この授業では、1年間初級文法を学んできた人を対象に、さらに文法の知識や語彙の力を強化します。これにより、より難しいドイツ語の文章を読んだり聞きとったりできるようになることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

文法の基礎事項を再確認しつつ、さらに発展的に文法を学んでいきます。応用練習として、ドイツ語圏の文学作品を読んだり、音声や映像の教材を用いた発音・聞き取りの練習をおこないます。参加者は、必ず辞書を用意し、宿題・予習をして授業にのぞんで下さい。確認テストと期末テストをおこないます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	文法の復習	学習した文法事項の確認
第2回	テキスト読解	7課、および音声・映像教材を使用します。
第3回	テキスト読解	8課、および音声・映像教材を使用します。
第4回	テキスト読解	9課、および音声・映像教材を使用します。
第5回	確認テスト	復習としての確認テスト
第6回	テキスト読解	10課、および音声・映像教材を使用します。
第7回	テキスト読解	11課、および音声・映像教材を使用します。
第8回	テキスト読解	12課、および音声・映像教材を使用します。
第9回	テキスト読解	ことわざについて、および音声・映像教材を使用します。
第10回	テキスト読解	ドイツ語の文学作品を読む①
第11回	テキスト読解	ドイツ語の文学作品を読む②
第12回	テキスト読解	ドイツ語の文学作品を読む③
第13回	文法事項の確認	全体的な復習
第14回	期末テスト	テストを行います。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Susanne Schermann / Ken Aihara, 『Lesebuch Deutsch ドイツ語を読む 改訂版』、朝日出版社

【参考書】

書名：『必携ドイツ文法総まとめ(改訂版)』

著者：中島悠爾／平尾浩三／朝倉巧共著

出版社：白水社

ISBN：978-4-560-00492-0

【成績評価の方法と基準】

授業への参加(30%)、確認テスト(30%)、期末テスト(40%)

【学生の意見等からの気づき】

ドイツ語で文学作品を読むというと難しく感じるかもしれませんが。しかし普段自分で手に取らないものに挑戦する良い機会として、積極的に授業に参加してほしいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

独和辞書を必ず用意し、毎回持ってくること。

【Outline (in English)】

The class is appropriate for intermediate learners.

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語 3 - I

2017年度以降入学者

平松 英人

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語初級文法を一通り学習し終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることが目標となる。

【到達目標】

1年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験(独検)3級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は12課からなり、各課とも導入、会話、聞き取り、読解、文法問題、発音から構成されている。語彙や文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、ドイツ語文章の読解や会話の練習を行う。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 1 Ich hatte Fieber 1	イントロダクション 過去形①
2	Lektion 1 Ich hatte Fieber 2	名詞の2格と2格支配の前置詞
3	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 1	定冠詞類 副詞的4格
4	Lektion 2 Welcher Anzug gefällt Ihnen? 2	使役動詞 知覚動詞
5	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 1	過去形②
6	Lektion 3 Früher gab es hier eine Apotheke 2	zu不定詞 um zu, statt zu, ohne zu不定詞(句)
7	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 1	確認テスト 方向・場所を表す前置詞
8	Lektion 4 Gestern habe ich ferngesehen 2	現在完了形
9	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 1	再帰代名詞
10	Lektion 5 Ich wasche mir die Hände 2	再帰動詞

11	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 1	命令形 接続法2式
12	Lektion 6 Könnten Sie mir helfen? 2	複合名詞
13	まとめと補足	春学期のまとめと補足
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュピッツェ! 2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版社) ISBN978-4-255-25439-5 ¥2,700 + 税

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を60%、平常点を40%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進度については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

Course outline: In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

Learning Objectives: At the end of this course students develop advanced communication skills to reach A2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語3-II

2017年度以降入学者

平松 英人

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語初級文法を一通り終えた学生が対象となる。基本文法と基礎的な語彙を復習しながら、新たな文法規則や語彙を習得する。さらにドイツ語を読み、理解するだけでなく、ドイツ語を聞く、話す力を含む基礎的なコミュニケーション能力を身につけ、独検にも対応できるドイツ語能力を得ることが目標となる。

【到達目標】

1年間の授業を通じて初級文法を復習しつつ、文法規則に関する習熟度や語彙力を発展させながら、場面や状況に即した基本的なドイツ語コミュニケーション能力を養う。ドイツ語技能検定試験(独検)3級に合格できる語学力を身につけることが、この授業の到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業は演習形式で行う。使用する教科書は12課からなり、各課とも文法、練習問題、会話文、読章から構成されている。文法の説明をしながら、練習問題に取り組み、文法事項を習得した上で、会話文や読章を読む。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 1	従属の接続詞と副文①
2	Lektion 7 Ich lerne Fremdsprachen, weil ich eine Weltreise machen möchte 2	従属の接続詞と副文②
3	Lektion 8 Ich schencke ihr einen roten Rock 1	形容詞
4	Lektion 8 Ich schencke ihr einen roten Rock 2	序数
5	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 1	比較級
6	Lektion 9 Welcher Koffer ist schwerer? 2	最上級
7	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 1	確認テスト 関係代名詞①

8	Lektion 10 Wer ist der junge Mann, der Kaffee trinkt? 2	関係代名詞②
9	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 1	受動態
10	Lektion 11 Ein Roman wird von ihm geschrieben 2	分詞
11	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 1	接続法2式
12	Lektion 12 Wenn das Wetter schön wäre, könnten wir einen Spaziergang machen 2	接続法1式
13	まとめと補足	まとめと補足
14	期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

与えられた課題に取り組んだ上で授業にのぞむこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

新倉真矢子・正木晶子・中野有希子『シュビッツェ! 2 コミュニケーションで学ぶドイツ語』(朝日出版社) ISBN978-4-255-25439-5 ¥2,700+税

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

中間の確認テストと期末テストの得点を60%、平常点を40%の合計点で評価する。平常点は、会話文や読章の和訳、練習問題に的確に解答あるいは提出すること。提出された課題は次の授業の冒頭で解説し、間違いやすいポイントや発展的な内容について説明を加える。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進捗については、学生たちの理解度に応じて、柔軟に対応する。

【Outline (in English)】

In this course, we use a textbook for advanced learners and aim to acquire the ability to read, write, listen and speak German. In addition, we cultivate a view of intercultural understanding through a comparison of German and other languages.

Learning Objectives: At the end of this course students develop advanced communication skills to reach A2 level.

Learning activities outside of classroom: Students are expected to spend 1 hour to review the last lesson as well as prepare for the next lesson.

Grading Criteria: Overall grade in this course will be decided based on the following:

Homework and performance in class: 40%

Midterm and final exams: 60%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語コミュニケーション I 2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力 (聞く、話す、読む、書く) を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション 自己紹介 (簡単な表現・会話)	Einführung Zur Person (einfache Redemittel, Übungen)
②	自己紹介 (ほかの表現・練習)	Zur Person (weitere Redemittel, Übungen)
③	趣味 (簡単な表現・会話)	Hobbys (einfache Redemittel, Übungen)
④	趣味 (ほかの表現・練習)	Hobbys (weitere Redemittel, Übungen)
⑤	家族	Familie
⑥	食べ物・飲み物 (簡単な表現・会話)	Essen & Trinken (einfache Redemittel, Übungen)
⑦	食べ物・飲み物 (ほかの表現・練習)	Essen & Trinken (weitere Redemittel, Übungen)
⑧	総復習	Wiederholung (Wortschatz, Grammatik, Redemittel)
⑨	住居	Wohnung
⑩	時刻と日付 (簡単な表現・会話)	Uhrzeit und Datum (einfache Redemittel, Übungen)

⑪	時刻と日付 (ほかの表現・練習)	Uhrzeit und Datum (weitere Redemittel, Übungen)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	練習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

文法・語彙などの復習 & 課題 (ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題)
本授業の準備・復習時間は、計1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

配布資料

【参考書】

独和辞典 (詳細は一回目の授業時に話します)

【成績評価の方法と基準】

テスト/レポート 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合にはZoomで接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者

JENS OSTWALD

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力 (聞く、話す、読む、書く) を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身に付け、さらに語彙を拡大する。

単語や文法の説明は基本的に日本語で行います。

【到達目標】

ドイツ語の基礎的知識を習得することを目的とする。同時に、既存のイメージに対し新しい視点からドイツ事情を学び、異文化理解力と実用的なドイツ語を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

さまざまなシチュエーションを想定した対話やテキストを題材に、基礎的な語彙・文法をわかりやすく説明する。

課題等の提出・フィードバックは授業内あるいは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	オリエンテーション	Einführung
②	春学期の復習	Wiederholung
③	旅行のためのドイツ語 1 道を尋ねる (簡単な表現)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - einfache Redemittel)
④	旅行のためのドイツ語 2 道を尋ねる (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Wegbeschreibung - weitere Redemittel, Übungen)
⑤	旅行のためのドイツ語 3 ホテルで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Hotel - einfache Redemittel)
⑥	旅行のためのドイツ語 4 ホテルで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Hotel - weitere Redemittel, Übungen)
⑦	旅行のためのドイツ語 5 レストランで (簡単な表現)	Reisedeutsch (Im Restaurant - einfache Redemittel)

⑧	旅行のためのドイツ語 6 レストランで (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Im Restaurant - weitere Redemittel, Übungen)
⑨	旅行のためのドイツ語 7 駅にて (簡単な表現)	Reisedeutsch (Verkehr - einfache Redemittel)
⑩	旅行のためのドイツ語 8 駅にて (ほかの表現・会話の練習)	Reisedeutsch (Verkehr - weitere Redemittel, Übungen)
⑪	旅行のためのドイツ語 9	Reisedeutsch (Reiseziele)
⑫	文法のまとめ・補足	Grammatik: Zusammenfassung und Ergänzungen
⑬	復習	Übungen zur Wiederholung
⑭	全体のまとめとテスト	Zusammenfassung Test

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

文法・語彙などの復習 & 課題 (ワークブック・プリント・インターネット上の練習問題)

本授業の準備・復習時間は、計 1 時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

配布資料

【参考書】

独和辞典 (詳細は一回目の授業時に話します)

【成績評価の方法と基準】

テスト/レポート 50%

平常点 50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業に転換になる場合には Zoom で接続可能な機器が必要です。

【Outline (in English)】

Course outline:

German language course (basic grammar and syntax, speech patterns and expressions for daily life; introduction to German culture and society)

Learning Objectives:

The purpose of this course is to acquire practical German language skills and cross-cultural understanding.

Learning activities outside of classroom:

Students will be expected to do homework and review the lessons. The study time will be more than one hour per week.

Grading Criteria /Policy: Term-end examination/report: 50%, in-class contribution 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語表現法 I

2017年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで。

基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うならば是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書ける。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともあります、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Erste Schritte: Persönliche Angaben machen Sich selbst vorstellen	自己紹介を書く I 辞書の使い方 I
2.	Länder, Städte, Zahlen	自分の出身を紹介する 人を紹介する
3.	Meine Stadt beschreiben	方位と場所
4.	Mein Alltag	日常 時間を表す
5.	Tagesablauf	助動詞
6.	Hobby und Freizeit	分離動詞

7.	Freizeitangebote in der Stadt	場所と時間を表す
8.	Liebblingsdinge beschreiben	好きな「もの」を紹介する 冠詞と代名詞
9.	作文作成 2	発表
10.	Essen und Trinken	食生活についてと好み
11.	Im Restaurant	レストランのメニューと注文
12.	Süßigkeiten in Deutschland und Japan	日本のお菓子について書く
13.	Vor den Ferien I	不規則動詞 話法の助動詞
14.	Vor den Ferien II	休暇中の予定

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト (教科書)】

初回授業で案内します。

【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう!』清野智明

白水社

ISBN : 9784560064177

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度 (50%)
提出してもらったドイツ語の作文 (50%)
を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要です。電子辞書可。

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進捗により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this course students will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They will also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50%) and written homework (50%).

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語表現法 II

2017年度以降入学者

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制 (20)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ドイツ語を書いてみましょう：一言の文からまとまったテキストまで基礎文法を含むテキストを用い、授業を通じて「読む」「書く」「聞く」「話す」の四技能を総合的に体得することが目標ですが、書くことを重点的に練習します。身近なテーマや興味のある領域について、簡単な表現でまとまった内容を伝えることを習います。会話は苦手でも、ドイツ語で表現してみたいと思うなら是非トライしてみてください。ドイツ語圏の日常生活や文化に触れる機会も数多く設けたいと思います。

【到達目標】

受講者は以下のことができるようになります。

- 1) 発音のルールを知って、初見の単語や文章も発音できる。
- 2) 基本的な文法事項を習得する。
- 3) 辞書を使い、初級のテキストが理解できる。
- 4) 自分の経験や出来事を説明し、夢や希望、目標について述べるができる。
- 5) 自己紹介をはじめ、実用的な手紙、メール、コメントなどを書く。
- 6) 想定された場面における基本的な口語表現が聞き取れる。
- 7) 想定された場面における基本的な口語表現を用いて簡単な会話ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業ではドイツ語圏の日常と文化について、テキストを読み、書くために必要な単語を学び、自分のことを説明したり、コメントしたり、または日本の事情を紹介します。一人で書くこともあります、パートナーと又はグループで力を合わせてテキストや物語を作成することもあります。

作文は必ず添削して返却されます。課題等の提出・フィードバックは授業内または「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	Nach den Ferien	現在完了形
2.	Postkarte	Postkarte schreiben 手紙を書く
3.	Wohnen	前置詞
4.	Mein Traumhaus	住まいについて書く
5.	Wohnen in der Stadt oder auf dem Land?	理由を表す
6.	Jahreskalender	年間行事
	Datum und Monate	招待状を書く
	Feiertage	
7.	Feste feiern	複文
8.	An der Universität	大学について書く

9.	Meine Universität 1	グループワーク：大学紹介を書く
10.	Meine Universität 2	グループワーク発表
11.	Eine Reise planen	旅行計画
12.	Sehenswürdigkeiten vorstellen	観光名所の紹介文を書く
13.	Erlebnisse und Erfahrungen 1	過去形 私の人生
14.	Erlebnisse und Erfahrungen 2	プレゼンテーション発表

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とします。

予習は特に必要ありませんが、授業で学習した内容の復習は必須です。特に単語は必ず覚えてください。宿題としては家で作文を書く、完成させる、修正することがあります。

【テキスト (教科書)】

初回授業で案内します。

【参考書】

『ドイツ語を書いてみよう!』清野智明

白水社

ISBN : 9784560064177

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度 (50%)

提出してもらうドイツ語の作文 (50%)

を総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

和独辞典が必要。電子辞書可。

【その他の重要事項】

「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。

【Outline (in English)】

In this class we will focus on writing short texts, beginning with a self-introduction, e-mails or essays on every-day life topics. We will use a beginner textbook including all four areas of language skills, so that students can review and practice basic grammar and vocabulary. They also have a chance to learn about cultural life in German speaking countries.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be about one hour for a class.

Grading will be decided based on class participation (50 %) and written homework (50 %)

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語視聴覚 I

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

グリム童話とその映画・アニメ化作品で学ぶドイツ語
グリム童話を初級者にも読めるよう書き改めた、初級から中級への橋渡しのためのテキストとともに平易なドイツの動画を視聴しながらバランスよくオーセンティックなドイツ語と現代ドイツ視聴文化の多様さについて学んでいきます。

【到達目標】

- ドイツ語の読解力やリスニング力などを向上させる。
- 動画視聴を通して、現代ドイツ視聴文化について多様な情報や知識を得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	扱うテキストと動画の紹介
2	Brüder Grimm: DIE GESCHICHTE VOM FISCHER UND SEINER FRAU (1)	アニメを視聴し、内容を正確に理解する。(1)
3	Brüder Grimm: DIE GESCHICHTE VOM FISCHER UND SEINER FRAU (2)	アニメを視聴し、内容を正確に理解する。(2)
4	Brüder Grimm: DIE GESCHICHTE VOM FISCHER UND SEINER FRAU(3)	Nacherzählung (リライトしたもの)を読み、和訳する。(1)
5	Brüder Grimm: DIE GESCHICHTE VOM FISCHER UND SEINER FRAU (4)	Nacherzählung (リライトしたもの)を読み、和訳する。(2)

6	Brüder Grimm: DIE GESCHICHTE VOM FISCHER UND SEINER FRAU (5)	実写映画を視聴し、選んだ台詞を和訳する。(1)
7	Brüder Grimm: DIE GESCHICHTE VOM FISCHER UND SEINER FRAU (6)	実写映画を視聴し、選んだ台詞を和訳する。(2)
8	Brüder Grimm: HÄNSEL UND GRETEL (1)	アニメを視聴し、内容を正確に理解する。(1)
9	Brüder Grimm: HÄNSEL UND GRETEL (2)	アニメを視聴し、内容を正確に理解する。(2)
10	Brüder Grimm: HÄNSEL UND GRETEL (3)	Nacherzählung (リライトしたもの)を読み、和訳する。(1)
11	Brüder Grimm: HÄNSEL UND GRETEL (4)	Nacherzählung (リライトしたもの)を読み、和訳する。(2)
12	Brüder Grimm: HÄNSEL UND GRETEL (5)	実写映画を視聴し、選んだ台詞を和訳する。(1)
13	Brüder Grimm: HÄNSEL UND GRETEL (6)	実写映画を視聴し、選んだ台詞を和訳する。(2)
14	まとめ	秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で扱われたムービーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。」

【テキスト (教科書)】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指定する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組む態度：50%

課題提出：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppi学習支援システムを利用するので、情報機器 (パソコン、プリンター)などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、wifiを利用して下さい。

【Outline (in English)】

The Grimm's Fairy Tales have been rewritten so that even beginners can read them, and while watching videos in plain German along with text to bridge the gap between beginner and intermediate level, learn about balanced and authentic German and the diversity of modern German audio visual culture.

.....

○ Improve your reading and listening skills in German.

○ By watching videos, you can gain a variety of information and knowledge about the diversity of contemporary German viewing culture.

.....

Individuals are encouraged to study on their own using the movies covered in class.

The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

.....

Attitude towards tackling assignments in class: 50%

Assignment submission: 50%

LANd200LA (ドイツ語 / German language education 200)

ドイツ語視聴覚Ⅱ

2017年度以降入学者

D. ハイデンライヒ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

短い物語とそのアニメ化作品で学ぶドイツ語『ミュンヒハウゼン男爵の冒険』の逸話から、ヴォルフ・エアルブルッフの名作絵本まで、様々な文学小品とそのアニメ化作品を視聴しながらバランスよくオーセンティックなドイツ語と現代ドイツ視聴文化の多様さについて学んでいきます。

【到達目標】

- ドイツ語の読解力やリスニング力などを向上させる。
- 動画視聴を通して、現代ドイツ視聴文化について多様な情報や知識を得ることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ドイツ語のテキストをさまざまな形で教材化したものを読み、問題を解きます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	扱うテキストと動画を紹介する
2	Kästner: MÜNCHHAUSEN	ケストナーのNacherzählung (リライトしたもの)を読み、和訳する。
3	Bürger: MÜNCHHAUSEN	ビュルガーの原作を読み、ケストナー版と比較する。
4	(Film) MÜNCHHAUSEN	三つの映画化作品を比較する。
5	Fontane: BALLADEN UND GEDICHTE (1)	「ハーフェルラントのリベック村のフォン・リベック氏」を和訳する。
6	Fontane: BALLADEN UND GEDICHTE (2)	「ハーフェルラントのリベック村のフォン・リベック氏」のアニメと曲を視聴し、ドイツ語特有の音声変換やリズムに慣れ親しむ。
7	Morgenstern: BALLADEN UND GEDICHTE	モルゲンシュテルンの諧謔詩集「絞首台の歌」を読み、修辞や思想を探る。
8	Lessing/Kafka: TIERFABELN (1)	動物寓話のアニメを視聴し、原作と比較する。(1)
9	Lessing/Kafka: TIERFABELN (2)	動物寓話のアニメを視聴し、原作と比較する。(2)
10	Lessing/Kafka: TIERFABELN (3)	動物寓話のアニメを視聴し、原作と比較する。(3)
11	Erlbruch: BILDERBUCH (1)	アニメ化された絵本を視聴し、内容を理解する。
12	Erlbruch: BILDERBUCH (2)	原作を読み、和訳する。
13	Erlbruch: BILDERBUCH (3)	Nacherzählung (リライトしたもの)を和訳する。

14 まとめ

秋学期に学んだ内容を確認する。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で扱われたムビーなどを用いて個人で自己学習を進めることが望まれます。

「本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。」

【テキスト (教科書)】

テキストは使わず、学習支援システムに事前に授業資料をアップします。各自プリントアウトして授業に持参してください。

【参考書】

教室で指定する。

【成績評価の方法と基準】

授業中の課題に取り組み態度：50%

課題提出：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【学生が準備すべき機器他】

Hoppi学習支援システムを利用するので、情報機器 (パソコン、プリンター) などを準備して下さい。これらの環境を整えることが難しい場合は、大学のPCやプリンター、wifiを利用して下さい。

【Outline (in English)】

From the anecdote of *The Adventures of Baron Munchausen* to the masterpiece picture book of Wolf Erlbruch, you will learn about a balanced and authentic German language and the diversity of modern German viewing culture while watching various literary short stories and their animated works.

.....
○ Improve your reading and listening skills in German.

○ By watching videos, you can gain a variety of information and knowledge about the diversity of contemporary German viewing culture.

.....

Individuals are encouraged to study on their own using the movies covered in class.

The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

.....

Attitude towards tackling assignments in class: 50%

Assignment submission: 50%

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

入門ドイツ語(SS1) I

2017年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】

一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

2回の授業で1つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。

小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppiiを通して通知します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	発音の原則	アルファベットと発音の基本。数字の練習。
2	第1課 動詞の現在人称変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	第1課 動詞の現在人称変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
4	第2課 名詞の性と数と格/冠詞類/人称代名詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	第2課 名詞の性と数と格/冠詞類/人称代名詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
6	第3課 動詞の不規則変化/命令形	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	第3課 動詞の不規則変化/命令形	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
8	第4課 冠詞類/時刻の表現	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	第4課 冠詞類/時刻の表現	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
10	第5課 前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	第5課 前置詞/ja, nein, doch/数詞	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。
12	第6課 形容詞の格変化	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	第6課 形容詞の格変化	会話文の発音練習と会話のシミュレーション。

14 試験、まとめと解説 春学期のまとめと試験をします。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

文法説明を読み、疑問点を整理しておくこと。復習は文法に関する問題を解答し提出すること。

【テキスト (教科書)】

特定のテキストは使用しない。毎回プリントを配布するので、これをテキストと同等のものと考えてください。

【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢40% (主に出席と発音の習熟度で評価する)、数回の文法理解の小テストの平均60%。

【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器を用意しておいてください。

【Outline (in English)】

The aim is to understand elementary grammar, to practice pronunciation and simple daily conversation, and to become familiar with German. Understand German culture and Japanese culture while comparing it.

Students will understand how German works and aim to be able to speak, speak, write, and so on.

Students should read grammar explanations and organize their questions. Review should be to answer and submit grammar questions. Preparation and review time is required for at least 1 hour in total per lesson.

No specific texts are used in this class. Students distribute prints every time, so think of this as equivalent to text.

In this class, students' attitudes in class are mainly evaluated by attendance and proficiency in pronunciation, 40% of the evaluation is included in grades, and 60% of the average scores of several grammar comprehension tests are included in the grades.

LANd100LA (ドイツ語 / German language education 100)

入門ドイツ語(SS1) II

2017年度以降入学者

梶谷 雄二

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級文法を理解して、発音練習や簡単な日常会話の練習をして、ドイツ語に親しむことを目的とする。ドイツの文化と日本の文化も比較しながら理解する。

【到達目標】

一通りドイツ語の仕組みを理解し、読むこと、話すこと、書くことなど、ドイツ語に何らかの対応ができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

2回の授業で1つの課を学ぶ。テキストの各課は文法説明と会話文、練習問題に分かれている。1回目の授業では会話文を解説しながら文法の説明を行い、練習問題の一部を解いて、文法の理解を目指します。2回目の授業では会話文の発音練習をして、会話のシミュレーションを行います。

小テストなどの課題の提出を求めた場合、その結果は直接返却するか、または、hoppiiを通して通知します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	話法の助動詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
2	話法の助動詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
3	分離・非分離動詞 I ／接続詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
4	分離・非分離動詞 II ／接続詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
5	再帰代名詞・再帰動詞/zu不定詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
6	再帰代名詞・再帰動詞/zu不定詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
7	動詞の3基本形/過去形・現在完了形 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
8	動詞の3基本形/過去形・現在完了形 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
9	受動態/比較表現 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
10	受動態/比較表現 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
11	関係代名詞/関係副詞 I	会話文の解説と文法説明。練習問題。
12	関係代名詞/関係副詞 II	会話文の解説と文法説明。練習問題。
13	接続法	会話文の解説と文法説明。練習問題。
14	試験、まとめと解説	秋学期のまとめ都市圏をします。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。その週の授業で学んだ表現を繰り返し発音して、暗記すること。

【テキスト (教科書)】

プリントをテキストとして配布する

【参考書】

独和辞典はもちろんだが、そのほかの参考書については授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加姿勢40% (主に出席と練習問題への取り組み、発音の習熟度で評価する)、文法理解度チェックのための小テストの平均60%。

【学生の意見等からの気づき】

授業の方針や授業の目的を受講生によく理解してもらうように丁寧に説明する。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業になったときのために、パソコン、または、モバイル機器の用意をお願いします。

【Outline (in English)】

The aim is to understand elementary grammar, to practice pronunciation and simple daily conversation, and to become familiar with German. Understand German culture and Japanese culture while comparing it.

Students will understand how German works and aim to be able to speak, speak, write, and so on.

Students should read grammar explanations and organize their questions. Review should be to answer and submit grammar questions. Preparation and review time is required for at least 1 hour in total per lesson.

No specific texts are used in this class. Students distribute prints every time, so think of this as equivalent to text.

In this class, students' attitudes in class are mainly evaluated by attendance and proficiency in pronunciation, 40% of the evaluation is included in grades, and 60% of the average scores of several grammar comprehension tests are included in the grades.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツ語の世界 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt Ute

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。(履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。)

【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	オリエンテーション	授業の概説 ドイツ語圏クイズ
2.	ドイツ語圏の世界 1	地理,言語,文化~政治,経済まで 発表の内容の取り決め
3.	ドイツ語圏の世界 2	ドイツ語圏の映画史入門
4.	文学	ドイツ文学と言えばゲーテ? 映画:ゲーテの恋 ~君に捧ぐ 「若きウエルテルの悩み」 Goethe! (2010) ディスカッション
5.	音楽	クラシック音楽の世界 Amadeusからクララ・シューマンまで
6.	オーストリア	Sissiとミュージカル「エリザベート」 サウンド・オブ・ミュージック
7.	スイスと日本	映画:ハイジ アルプスの物語 Heidi (2015) ハイジ in Japan
8.	映画鑑賞	作品未定

9.	戦争映画 I 第一次世界大戦	西部戦線異状なし(1930) 戦場のアリア (2005) ディスカッション
10.	ドイツと日本	ベートーヴェンの「第九」 プレゼンテーション 映画:バルトの楽園 (2006)
11.	映画の中のヒトラー I	ヒトラーと女性 ドキュメンタリー映画 レニ Die Macht der Bilder: Leni Riefenstahl 1993
12.	映画の中のヒトラー II	ヒトラー ~最期の12日間~ (2004)
13.	映画鑑賞	作品未定
14.	まとめ	ディスカッション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・文献を事前に読む。(資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語)
 - ・映画鑑賞
 - ・自分担当のプレゼンテーションの準備とレジュメ作成
- 本授業の準備学習・復習時間は、計4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

テキストを配布

【参考書】

- ・森井 裕一 (著, 編) 『ドイツの歴史を知るための50章』(エリア・スタディーズ 151)
- ・宮田真治・島山寛・濱中春 (編著) 『ドイツ文化55のキーワード』
- ・新野守広・飯田道子・梅田紅子 (編) 『知ってほしい国 ドイツ』
- ・スイス文学研究会 (編) 『スイスを知るための60章』(エリア・スタディーズ 128)
- ・広瀬 佳一編著, 今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための57章【第2版】(エリア・スタディーズ 19)

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%

授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません。「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。
ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society.

The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read reference material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツ語の世界 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

Schmidt Ute

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画や文献を用いてドイツ語圏の歴史、社会、文化を探っていきます。各授業は講義で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行います。プレゼンテーションは映画の背景となった歴史や文化に関する発表をしてもらいます。(履修者の人数によってはグループでのプレゼンテーションになります。)

【到達目標】

- ・ドイツ語圏の生活、文化、社会、歴史など多様なテーマに関する理解を深める。
- ・各時代の思想的・文化的背景を理解する。
- ・映画の解釈方法を身につける。
- ・異文化理解能力を高める。
- ・テーマに応じた資料を収集し、読解する方法を身につける。
- ・プレゼンテーション技術をアップする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテーマへの導入、情報収集で始まり、映画鑑賞、プレゼンテーション、ディスカッションという流れで行う。課題等の提出・フィードバックは「学習支援システム」を通じて行う予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1.	戦後ドイツ	サッカーを通してみる戦後ドイツ： ベルンの奇跡(2003)
2.	60年代の東西ドイツ	ベルリンの壁ができるまで 映画：トンネル Der Tunnel (2001)
3.	70年代の西ドイツ	極左のテロリズム バーダー・マインホフ/理想の果てに Der Baader Meinhof Komplex (2008)
4.	東ドイツ	東ドイツの秘密警察 (Stasi) 映画： 善き人のためのソナタ Das Leben der Anderen (2006) グンダーマン 優しき裏切り者の歌 Gundermann (2018)

5.	ドイツ統一	ベルリンの壁崩壊 映画：グッバイ、レーニン! Good Bye Lenin (2003) プレゼンテーション ディスカッション
6.	芸術	Pina/ピナ・バウシュ 踊り続けるいのち
7.	青春	児童文学の映画化 映画：50年後のボクたちは Tschick (2016) プレゼンテーション ディスカッション
8.	ヒトラーについて笑っているのか？	ヒトラーについて笑っているのか？ 映画：帰ってきたヒトラー Er ist wieder da! (2015) プレゼンテーション ディスカッション
9.	ドイツ極右組織	ドイツ極右組織NSU 映画：女は二度決断する Aus dem Nichts (2017)
10.	ドイツ極右組織	プレゼンテーション ディスカッション 映画鑑賞
11.	ドイツ以外のドイツ語圏の映画	スイス映画・オーストリア映画と映画祭
12.	移民国ドイツ	難民問題
13.	移民国ドイツ	映画：初めてのおもてなし Willkommen bei Hartmanns (2016) プレゼンテーション ディスカッション
14.	まとめ	プレゼンテーション ディスカッション 映画鑑賞

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・文献を事前に読む (資料の言語は主に日本語、履修者のレベルに応じて英語、ドイツ語)
 - ・映画鑑賞
- 本授業の準備学習・復習時間は、計4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

テキストを配布

【参考書】

- ・森井裕一(著,編集)『ドイツの歴史を知るための50章』(エリア・スタディーズ 151)
- ・宮田眞治・島山寛・濱中春(編著)『ドイツ文化55のキーワード』
- ・新野守広・飯田道子・梅田紅子(編)『知ってほしい国 ドイツ』
- ・スイス文学研究会(編)『スイスを知るための60章』(エリア・スタディーズ 128)
- ・広瀬 佳一編著, 今井 顕編著他 ウィーン・オーストリアを知るための57章【第2版】(エリア・スタディーズ 19)

【成績評価の方法と基準】

プレゼンテーションとレジュメ：50%
授業中のディスカッション参加とリアクションペーパー：50%

【学生の意見等からの気づき】

特にありません

【その他の重要事項】

ドイツ語の知識やドイツ語学習歴の有無は問いません。「授業計画」は、授業の進度により変更する可能性があります。質問・相談などは授業の前後、または以下の連絡先をお願いします。
ute.schmidt.yw@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

The core material used in this course will be recent German-language films. The content of the film will be used as the starting point to look into German history and society.

The goals of the course are getting a deeper understanding of daily life, culture, society, and history in German-speaking countries. Besides students will learn how to interpret movies, how to collect and read materials and improve presentation skills.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting (watching movies, research and read material etc.). Your study time will be about four hours for a class.

The Students' final grades will be based on presentation (50%) and active participation in class (50%)

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツの文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

小川 敦

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「ドイツ」や「ドイツ語圏」と聞いて、みなさんは何を思い浮かべるでしょうか？

本授業ではドイツやドイツ語圏についてトピックをとりあげ、少し深く考えてみたいと思います。

ドイツ語の学習は前提としません。

【到達目標】

ドイツ語圏に関する様々なテーマを見ることで、社会や歴史について理解し、今後探求していく糸口を見つけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業の最初に、前回の授業で提出されたリアクションペーパーに反応したいと思います。また、授業中に受講生のみなさんにこちらから問いかけたり、受講生同士で話し合っていたりすることもありますが、積極的な参加を期待します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ドイツとドイツ語圏について。
第2回	ドイツ語の歴史と多様性	ドイツ語が成立した歴史や地域的な違いを見ます。英語の知識が役に立つかもしれません。
第3回	ビール	ビールの歴史と現状について。
第4回	ドイツの環境政策	ドイツの環境政策について。
第5回	ドイツの交通政策	トラムや電気自動車、アウトバーンなど交通政策について。
第6回	ドイツの鉄道	ドイツの鉄道の歴史と現在について。
第7回	自動車産業から見るドイツ経済	ドイツ経済について、自動車産業から。
第8回	ドイツの教育制度	マイスター制度など、日本とは異なる教育制度について。
第9回	東ドイツ	かつて存在した東ドイツ (ドイツ民主共和国) やベルリンの壁について。
第10回	ドイツの歴史教育	過去をどう扱うのかについて。
第11回	多様化するドイツ	移民の歴史と現在、統合政策について。
第12回	オーストリアとウィーン	カフェ文化など独自の文化を形成するオーストリアの首都ウィーンについて。

第13回 日本の中のドイツ、ドイツの中の日本 ハリボー、バウムクーヘン、アニメ文化等、日本にあるドイツ語やドイツ語圏の文化、ドイツ(語圏)にある日本の文化について。

第14回 まとめ これまでの話題について補足しながら振り返ります。期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

予習：次回のテーマについて、思いつくことをいくつかメモしておいてください。

復習：ハンドアウトを読み直し、気になるテーマについては図書館で本を探してみてください。

【テキスト (教科書)】

教科書は指定しません。ハンドアウトを配布し、スライドを用いて授業します。

【参考書】

授業ごとに提示します。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパーを含めた授業への積極的な参加40%、期末レポート60%

【学生の意見等からの気づき】

受講生が意見を述べやすいようにつとめます。

【学生が準備すべき機器他】

授業資料 (ハンドアウト) はLMSなどを通じて配布します。スマートフォン以外にPCやタブレットなどがあると便利です。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期は独立して履修できます。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

This course introduces and explores topics about Germany and the German-speaking world.

Students do not need to learn German to take this course.

【到達目標 (Learning Objectives)】

Students will develop an understanding of the society, culture and history of the German-speaking world.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policy)】

Active participation 40%

Final report 60%

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ドイツの文化と社会 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル:

小川 敦

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月4/Mon.4

単位数: 2単位

定員制 (30)

その他属性: 〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、ドイツ語が／ドイツ語も使われる／使われた地域の歴史や文化について扱います。言語の話も出ますが、ドイツ語の知識は不要です。

【到達目標】

ドイツ語圏の文化や社会、人々の多様性について理解を深めます。日本社会への気づきにもつなげます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で行います。授業の最初に、前回の授業で提出されたリアクションペーパーに反応したいと思います。また、授業中に受講生のみなさんにこちらから問いかけたり、受講生同士で話し合っていたいただくこともあるかと思えます。積極的な参加を期待します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業で扱うテーマについて概観します。
第2回	オーストリアの歴史	オーストリアの現代史を中心に扱います。ハプスブルク帝国に遡ることもあります。
第3回	オーストリアの現在	現在のオーストリアの社会や文化を扱います。
第4回	スイスの歴史	多言語国家であり永世中立国であるスイスがどのように成立したのかを見ます。
第5回	スイスの現在	現在のスイス社会を考えます。
第6回	ベルギーの歴史	ベルギーの歴史を扱います (ベルギーには小さなドイツ語共同体があります)。
第7回	ベルギーの現在	EUの中心地でありながら今日でも言語問題でゆれるベルギーの今を考えます。
第8回	ルクセンブルク	GDPが世界トップクラスである小国ルクセンブルクの歴史と現代的課題を扱います。
第9回	アルザス・ロレーヌ	ドイツなのかフランスなのか、帰属をめぐってゆれたフランス東部のアルザス地方・ロレーヌ地方の歴史について扱います。
第10回	ドイツのソルブ人	ドイツ国内のスラブ系少数民族であるソルブ人と生活地域を扱います。
第11回	膠州湾と東アフリカ	かつてドイツが植民地にした中国の膠州湾地域と東アフリカを扱います。
第12回	ドイツ騎士団と東プロイセン	かつて東に移住したドイツ系住民の歴史を扱います。

第13回 アメリカ合衆国のドイツ系住民 かつて、ドイツ語圏からは多くの人々がアメリカに移住しました。今日にも残る移民の歴史を扱います。

第14回 まとめ これまでの話題について補足しながら振り返ります。期末レポートの書き方について確認します。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

予習: 次回のテーマについて、思いつくことをいくつかメモしたり、インターネット等で検索してください。

復習: ハンドアウトを読み直し、気になるテーマについては図書館で本を探してみてください。

【テキスト (教科書)】

教科書は指定しません。ハンドアウトを配布し、スライドを用いて授業します。

【参考書】

授業ごとに提示します。

【成績評価の方法と基準】

リアクションペーパーを含めた授業への積極的な参加40%、期末レポート60%

【学生の意見等からの気づき】

講師が意見を述べやすいようにつとめます。

【学生が準備すべき機器他】

授業資料 (ハンドアウト) はLMSなどを通じて配布します。スマートフォン以外にPCやタブレットなどがあると便利です。

【その他の重要事項】

春学期と秋学期は独立して履修できます。春学期に履修した人も履修しなかった人も積極的な参加を期待します。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

This course focuses on the history and culture of the regions where German is also used or where it was used.

【到達目標 (Learning Objectives)】

In this course, students deepen their understanding of the diversity of cultures, societies and people in German-speaking areas.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Active participation 40%

Final report 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合えるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiなどを活用する場合もある。

このテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	LEÇONS 1	(教科書の演習問題)
第2回	LEÇONS 2	(教科書の演習問題)
第3回	LEÇONS 3	(教科書の演習問題 - 会話)
第4回	LEÇONS 4	(教科書の演習問題)
第5回	LEÇONS 5	(教科書の演習問題)
第6回	LEÇONS 6	(教科書の演習問題 - 会話)
第7回	LEÇONS 7	(教科書の演習問題)
第8回	LEÇONS 8	(教科書の演習問題 - 会話)
第9回	LEÇONS 9	(教科書の演習問題)
第10回	LEÇONS 10	(教科書の演習問題 - 会話)
第11回	LEÇONS 11	(教科書の演習問題)
第12回	LEÇONS 12	(教科書の演習問題 - 会話)
第13回	レッスン1~12の復習	レッスン1~12の復習
第14回	まとめ / 試験 その他 : 課題 / 補講	まとめ / 試験 その他 : 課題 / 補講

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト (教科書)】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度新規科目につきアンケートを実施していません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合えるようになる。

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

のテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiなどを活用する場合もある。

毎週の宿題です。宿題は授業の始めに添削します。授業中や「Hoppii」での質問も可能です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon 13	(教科書の演習問題)
第2回	Leçon 14	(教科書の演習問題)
第3回	Leçon 15	(教科書の演習問題 - 会話)
第4回	Leçon 16	(教科書の演習問題)
第5回	Leçon 17	(教科書の演習問題)
第6回	Leçon 18	(教科書の演習問題 - 会話)
第7回	Leçon 19	(教科書の演習問題)
第8回	Leçon 20	(教科書の演習問題)
第9回	Leçon 21	(教科書の演習問題 - 会話)
第10回	Leçon 22	(教科書の演習問題)
第11回	Leçon 23	(教科書の演習問題)
第12回	Leçon 24	(教科書の演習問題 - 会話)
第13回	レッスン13~24の復習	レッスン13~24の復習
第14回	まとめ / 試験 その他 : 課題 / 補講	まとめ / 試験 その他 : 課題 / 補講

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト (教科書)】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANF200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

各章のテーマに対して、映像を見ながらフランス語のインタビューを聞き取り、フランス語で書かれた文章を正確に読み取り、テーマの内容について考察を行う授業です。テーマについてはクラス内で話し合いと発表を行い、フランスのZ世代の今を理解します。

【到達目標】

フランス語のニュースやスピーチの内容をおおまかに把握できるようになること、さらに、単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な新聞記事などを自力で読み解き意見をまとめることができるようになることを目標にしています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

3回の授業で、6ページ構成の1レッスンを終える速度で進みます。まずは、インタビューの聞き取りから内容把握や語彙の習得を行います。聞き取りに使用したスクリプトを読みながら確認も行います。次に、文法事項を確認しながら練習問題を解きます。インタビューを参考にテーマについての質問をクラス全体で作成し、グループで質問に答える形で話し合いをします。その結果はグループごとにまとめて教室内で発表します。日本語だけではなく、フランス語でも簡単に自分の意見が言えるように練習しましょう。授業内を行う文法練習問題はその場で答え合わせをします。ウェブ上または教室で書いて提出する自分の意見を簡単にまとめた課題については、ウェブ上のものはプリントアウト後採点したものを教室で返却、紙媒体でその場で提出されたものは採点后に次の日に返却する予定です。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon 0「授業の進め方」	グループ分け、音読練習
2回目	Leçon 1「ソーシャル・ワーキング」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
3回目	Leçon 1「300万人のフォロー」	仏文和訳、文法確認(疑問文、代名動詞)、ディスカッション
4回目	Leçon 2「住宅事情」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
5回目	Leçon 2「君のところに招待してくれる?」	仏文和訳、文法確認(関係代名詞)、ディスカッション
6回目	Révision et Exposé「L1 et L2」	文法復習、グループごとの発表
7回目	Leçon 3「エコロジー」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
8回目	Leçon 3「エコな若者たち」	仏文和訳、文法確認(比較級と最上級)、ディスカッション
9回目	Leçon 4「オーディオ・ビジュアル」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
10回目	Leçon 4「恋するシャンソン」	仏文和訳、文法確認(補語人称代名詞、中性代名詞)、ディスカッション
11回目	Révision et Exposé「L3 et L4」	文法復習、グループごとの発表
12回目	Leçon 5「お財布事情」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
13回目	Leçon 5「月末はつらいよ」	仏文和訳、文法確認(複合過去、半過去)、ディスカッション
14回目	試験とまとめ	口頭・筆記試験

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて約1時間を標準とします。
予習: ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約30分)
復習: 授業時に学習した文法事項を確認して、簡単な作文ができるようにしておく。(約30分)グループディスカッションの回には、クラスで作成した質問にフランス語で答える文章を作成してクラスウェブ上またはレポートとして作成し提出する。(約30分)

【テキスト(教科書)】

『クワ・ドゥ・ヌフ? Z世代のリアル・フランス』レナ・ジュンタ、清岡智比古、オリヴィア・ボワセル著(白水社)

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

成績評価:

平常点(授業への参加、ディスカッションと発表) 50%

学期末テスト(授業最終日に実施される口頭・筆記試験)50%

試験方法:

学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。試験実施方法は事情により変更される場合もあります。その際は都度お知らせいたします。

【学生の意見等からの気づき】

みんなの協力で出来上がった訳文は資料としてウェブに残します。

【学生が準備すべき機器他】

ディスカッションの回には意見をまとめ発表するためのPC等があると便利です。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

In this class, students listen to interviews in French while watching videos, accurately read sentences written in French, and consider the content of each chapter. We will discuss and present the topic in class to understand the current situation of Generation Z in France. Attainment target: Students will be able to roughly understand the content of news and speeches in French. And by looking up the meanings of words, they will be able to read and form opinions on simple newspaper articles written in French. Class progress and methods: The course progresses at the speed of completing one six-page lesson in three lessons. First, listen to the interview to understand the content and acquire vocabulary. We also check the script used for the interview while reading it. Next, solve the practice problems while checking the grammar points. The whole class will create questions about the theme based on the interviews, and then have a discussion in groups by answering the questions. The results will be summarized by group and presented in the classroom. Let's practice expressing our opinions easily not only in Japanese but also in French. Answers to grammar practice questions given in class will be checked on the spot. For assignments that are simple summaries of your opinions written and submitted on the web or in class, those on the web will be printed out and then returned to the classroom with a grade, while those submitted on paper on the spot will be graded and then returned. (I plan to return it next time.) Learning outside of class hours: The standard preparation and review time for this class is approximately 1 hour in total. Preparation: Practice reading aloud using downloaded audio, look up vocabulary in a dictionary, etc., and translate. (about 30 minutes) Review: Check the grammar points learned in class and be able to write simple compositions. (Approximately 30 minutes) During the group discussion, students will write answers in French to the questions created in class and submit them on the class website or as a report. (about 30 minutes) Performance evaluation: Normal score (participation in class, discussion and presentation) 50%, Final exam (oral/written exam held on the last day of class) 50% Test method: The final exam will be held during class hours on the last day of regular classes, not during the exam period.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

各章のテーマに対して、映像を見ながらフランス語のインタビューを聞き取り、フランス語で書かれた文章を正確に読み取り、テーマの内容について考察を行う授業です。テーマについてはクラス内で話し合いと発表を行い、フランスのZ世代の今を理解します。

【到達目標】

フランス語のニュースやスピーチの内容をおおまかに把握できるようになること、さらに、単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な新聞記事などを自力で読み解き意見をまとめることができるようになることを目標にしています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

3回の授業で、6ページ構成の1レッスンを終える速度で進みます。まずは、インタビューの聞き取りから内容把握や語彙の習得を行います。聞き取りに使用したスクリプトを読みながら確認も行います。次に、文法事項を確認しながら練習問題を解きます。インタビューを参考にテーマについての質問をクラス全体で作成し、グループで質問に答える形で話し合いをします。その結果はグループごとにまとめて教室内で発表します。日本語だけではなく、フランス語でも簡単に自分の意見が言えるように練習しましょう。授業内を行う文法練習問題はそのまま場で答え合わせをします。ウェブ上または教室で書いて提出する自分の意見を簡単にまとめた課題については、ウェブ上のものはプリントアウト後採点したものを教室で返却、紙媒体でその場で提出されたものは採点后に次の日に返却する予定です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon 6「差別」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
2回目	Leçon 6「告発せよ」	仏文和訳、文法確認(受動態)、ディスカッション
3回目	Révision et Exposé 「L5 et L6」	文法復習、グループごとの発表
4回目	Leçon 7「余暇」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
5回目	Leçon 7「今晚何する?」	仏文和訳、文法確認(現在分詞とジェロンディフ)、ディスカッション
6回目	Leçon 8「ファッション」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
7回目	Leçon 8「ファッションの犠牲者たち」	仏文和訳、文法確認(単純未来、強調構文)、ディスカッション
8回目	Révision et Exposé 「L7 et L8」	文法復習、グループごとの発表
9回目	Leçon 9「恋愛事情」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
10回目	Leçon 9「恋に落ちるとき」	仏文和訳、文法確認(条件法、中性代名詞)、ディスカッション
11回目	Leçon 10「仕事探し」	インタビュー聞き取り、内容確認、音読練習
12回目	Leçon 10「メトロ、仕事、ねんね」	仏文和訳、文法確認(指示代名詞、接続法)、ディスカッション
13回目	Révision et Exposé 「L9 et L10」	文法復習、グループごとの発表
14回目	試験とまとめ	口頭・筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて約1時間を標準とします。
予習: ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約30分)

復習: 授業時に学習した文法事項を確認して、簡単な作文ができるようにしておく。(約30分)グループディスカッションの回には、クラスで作成した質問にフランス語で答える文章を作成してクラスウェブ上またはレポートとして作成し提出する。(約30分)

【テキスト (教科書)】

『クゥ・ドゥ・ヌフ? Z世代のリアル・フランス』レナ・ジュンタ、清岡智比古、オリヴィア・ボワセル著 (白水社)

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

成績評価:

平常点 (授業への参加、ディスカッションと発表) 50%

学期末テスト (授業最終日に実施される口頭・筆記試験)50%

試験方法:

学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。試験実施方法は事情により変更される場合もあります。その際は都度お知らせいたします。

【学生の意見等からの気づき】

みんなの協力で出来上がった訳文は資料としてウェブに残します。

【学生が準備すべき機器他】

ディスカッションの回には意見をまとめ発表するためのPC等があると便利です。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

In this class, students listen to interviews in French while watching videos, accurately read sentences written in French, and consider the content of each chapter. We will discuss and present the topic in class to understand the current situation of Generation Z in France. Attainment target: Students will be able to roughly understand the content of news and speeches in French. And by looking up the meanings of words, they will be able to read and form opinions on simple newspaper articles written in French. Class progress and methods: The course progresses at the speed of completing one six-page lesson in three lessons. First, listen to the interview to understand the content and acquire vocabulary. We also check the script used for the interview while reading it. Next, solve the practice problems while checking the grammar points. The whole class will create questions about the theme based on the interviews, and then have a discussion in groups by answering the questions. The results will be summarized by group and presented in the classroom. Let's practice expressing our opinions easily not only in Japanese but also in French. Answers to grammar practice questions given in class will be checked on the spot. For assignments that are simple summaries of your opinions written and submitted on the web or in class, those on the web will be printed out and then returned to the classroom with a grade, while those submitted on paper on the spot will be graded and then returned. (I plan to return it next time.) Learning outside of class hours: The standard preparation and review time for this class is approximately 1 hour in total. Preparation: Practice reading aloud using downloaded audio, look up vocabulary in a dictionary, etc., and translate. (about 30 minutes) Review: Check the grammar points learned in class and be able to write simple compositions. (Approximately 30 minutes) During the group discussion, students will write answers in French to the questions created in class and submit them on the class website or as a report. (about 30 minutes) Performance evaluation: Normal score (participation in class, discussion and presentation) 50%, Final exam (oral/written exam held on the last day of class) 50% Test method: The final exam will be held during class hours on the last day of regular classes, not during the exam period.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 I

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に着けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	第1課(講読)	エムバベ、ジダン、プラチニ、コパ
第2回	第1課(文法)	中性代名詞
第3回	第2課(講読)	シモーヌ・ヴェイユ
第4回	第2課(文法)	直説法単純未来、前未来
第5回	復習；綴り字の読み方	発音練習
第6回	まとめ	第一回小テスト(予定)
第7回	第3課(講読)	ジョセフィン・バイカー
第8回	第3課(文法)	直説法複合過去
第9回	第4課(講読)	マリー・キュリー
第10回	第4課(文法)	条件法
第11回	第5課(講読)	ウジェーヌ・プーベル
第12回	まとめ	第二回小テスト(予定)
第13回	第5課(文法)	接続法
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

『フランス史のなかの「異人」たち』(朝日出版社)

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点満点でつけます。この点数にいわゆる平常点(出席点ではない)を加算して、最終評価を下します。詳細は第1回の授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞典は毎回必ず持参してください。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework (1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests(25/150x2), final teste (100/150)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、簡単なフランス語のテキストを訳読していきます。特に自署の使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身につけることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習1 第6課（講読）	春学期のまとめ ナポレオン
第2回	第6課(文法)	非人称構文
第3回	第7課（講読）	オランプ・ド・グージュ
第4回	第7課（文法）	指示代名詞 強調構文
第5回	第8課（講読）	トゥッサン・ルーヴェルチュール
第6回	復習2	第一回小テスト（予定）
第7回	第8課（文法）	比較級・最上級
第8回	第9課（講読）	モリエール
第9回	第9課（文法）	受動態 不定代名詞 不定形容詞
第10回	第10課（講読）	ベルナール・パリシー
第11回	第10課（文法）	現在分詞・ジェロンディフ
第12回	復習3	第二回小テスト（予定）
第13回	第11、12課（文法）	関係代名詞 目的語人称代名詞
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は特に必要ありません。簡単な宿題が毎回です。必ずやってきて下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『フランス史のなかの「異人」たち』（朝日出版社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加味して最終評価を下します。

【学生の意見等からの気づき】

「気づき」ではなく「気づいたこと」と表記してほしい。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework(1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests (25/150x2), final test (100/150)

LANF200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、フランス語1に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に着ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力(会話力)、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解説したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話(発話)などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを利用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1年次に終了した文法事項等の確認
第2回	1課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第3回	1課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第4回	2課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞qui, que
第5回	2課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第6回 3課
バルシー・ヴィラー
ジュを訪れる

会話実践
会話文の音読と和訳
文法の復習
関係代名詞dout,ou

第7回 3課
バルシー・ヴィラー
ジュ

文法の練習問題
文章読解

第8回 4課
ルイ・ヴィトン財団
美術館を訪れる

会話文の音読と和訳
文法の復習
疑問代名詞

第9回 4課
ルイ・ヴィトン財団
美術館

文法の練習問題
文章読解

第10回 5課
電話をかける

会話実践
会話文の音読と和訳
文法の復習
条件法

第11回 5課 フランスの電
話事情

文法の練習問題
文章読解

第12回 仏検4級をめざして1

会話実践
文章読解

第13回 仏検4級をめざして2

仏検4級の練習問題を解く

第14回 試験と総括

まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト(教科書)】

パリ・ブルゴーニュ(朝日出版社、2500円)
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします。

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)他
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語1で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%
期末試験の成績(60%)により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANF200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、フランス語1に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力(会話力)、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解説したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話(発話)などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを利用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課 デジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習
第2回	第6課 電車に乗る	代名動詞の複合過去 文法の練習問題 文章読解
第3回	第7課 デジョンの街を散歩する	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 半過去
第4回	第7課 世界文化遺産の街 デジョン	文法の練習問題 文章読解
第5回	第8課 ブルゴーニュの名物 料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第6回	第8課 ブルゴーニュの名物 料理	文法の練習問題 文章読解
第7回	第9課 ポーヌに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第8回	第9課 世界文化遺産の街 ポーヌ	文法の練習問題 文章読解
第9回	第10課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第10回	第10課 ワインの試飲	文法の練習問題 文章読解
第11回	4級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第12回	4級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第13回	4級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第14回	試験と総括	まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト(教科書)】

パリ・ブルゴーニュ(朝日出版社、2500円)(フランス語3Iの教科書を継続使用)
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)他
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語1で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%
期末試験の成績(60%)により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったので、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 I

2017年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】

フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の概要の説明など
第2回	第1課 vousにする? tuにする?	vousとtuの使い分けについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第3回	第1課 文法の復習	所有形容詞や疑問形の復習と、練習問題
第4回	第2課 biseは何回?	フランス人の挨拶について書かれたフランス語の文章を訳読する
第5回	第2課 文法の復習	非人称構文などの復習と、練習問題
第6回	第3課 迷信を信じますか	迷信について書かれたフランス語の文章を訳読する
第7回	第3課 文法の復習	半過去などの復習と、練習問題
第8回	第4課 不人気なのに止められないサマータイム	サマータイムについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第9回	第4課 文法の復習	複合過去などの復習と、練習問題
第10回	第5課 エイプリルフールは背中に注意	エイプリルフールについて書かれたフランス語の文章を訳読する。
第11回	第5課 文法の復習	代名動詞などの復習と、練習問題
第12回	第6課 動物から学ぼう	動物について書かれたフランス語の文章を訳読する。
第13回	第6課 文法の復習	単純未来などの復習と、練習問題
第14回	全体の復習	最後のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

きちんと予習をして、授業に臨む。予習復習時間は各2時間以上を標準とする。

【テキスト (教科書)】

『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著 朝日出版社 1900円

【参考書】

一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業での発表など) を50%、学期末テストの点数を50%とし、それぞれの点数を合算して60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語を機械的に学んでいっただけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline (in English)】

Course outline

While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

Learning objectives

The goal is to be able to read long French sentences.

Learning activities outside of classroom

Students prepare for about two hours and participate in the class.

Grading criteria

The normal score is 50 points, and the final exam is 50 points.

In total, 60 points or more will pass.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

山口 雅敏

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しながら、簡単なフランス語の文章を読んでいく。フランス語の読解力を養うことを目的とする。

【到達目標】

フランス語の、特に読解の面に絞ってレベル・アップを図る。履修した学生は、まじめに学習していけば、フランス語の平易な文章が読めるようになるはず。そのレベルまで、フランス語の力を伸ばすことを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、出席者に、フランス語の文章を発音、訳読してもらう。そして、正しく訳せているか検討を加える。また、練習問題を出席者にやってもらい、答え合わせをしながら、文法的な解説をする。授業内容に関する質問は、授業内に随時受け付ける。また、メールでも質問を受け付ける。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第7課 ロボットはどこまで進化するか	ロボットについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第2回	第7課 文法の復習	前未来などの復習と、練習問題
第3回	第8課 君もフランコフォニーの一員	フランコフォニーについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第4回	第8課 文法の復習	受動態などの復習と、練習問題
第5回	第9課 左利きにも優しい社会	左利きについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第6回	第9課 文法の復習	条件法現在などの復習と、練習問題
第7回	第10課 食品ロスを解決するには	食品ロスについて書かれたフランス語の文章を訳読する
第8回	第10課 文法の復習	疑問形容詞などの復習と、練習問題
第9回	第11課 簿記を学んだフランス王	フランス王について書かれたフランス語の文章を訳読する
第10回	第11課 文法の復習	大過去などの復習と、練習問題
第11回	第12課 熊は友達	熊について書かれたフランス語の文章を訳読する
第12回	第12課 文法の復習	強調構文などの復習と、練習問題
第13回	第13課 漫画が市民権を得るまで	漫画について書かれたフランス語の文章を訳読する

第14回 全体の復習

最後のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

きちんと予習をして授業に臨む。予習復習時間は各2時間以上を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『読んで学ぶフランス語』久保田剛史ほか編著 朝日出版社 1900円

【参考書】

一年次の文法テキストを参照してほしい。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業での発表など）を50%、学期末テストの点数を50%とし、それぞれの点数を合算して60点以上を合格とする。

【学生の意見等からの気づき】

フランス語を機械的に学んでいくだけだと、どうしても脱落してしまう学生がいるようなので、フランス語の学習を通じて、もっとフランスの社会や文化に興味を持ってもらえるように工夫していきたい。

【Outline (in English)】

Course outline

While reviewing French beginner grammar, we read simple French sentences. It aims to cultivate French reading comprehension ability.

Learning objectives

The goal is to be able to read long French sentences.

Learning activities outside of classroom

Students prepare for about two hours and participate in the class.

Grading criteria

The normal score is 50 points, and the final exam is 50 points.

In total, 60 points or more will pass.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 I

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語の初級文法を復習しつつ、フランス語で書かれた簡単な文章を講読します。特に辞書の有効な使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身に着けることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第一回	第1課 (講読)	La passion du sport
第2回	第1課 (文法)	直説法複合過去と半過去
第3回	第2課 (講読)	La lutte contre le gaspillage
第4回	第2課 (文法)	人称代名詞、強勢形
第5回	復習；綴り字の読み方	発音練習
第6回	まとめ	第一回小テスト (予定)
第7回	第3課 (講読)	L'égalité femmes-hommes
第8回	第3課 (文法)	代名動詞
第9回	第4課 (講読)	Pour ou contre les devoirs
第10回	第4課 (文法)	中性代名詞
第11回	第5課 (講読)	Les bonnes manières à table
第12回	まとめ	第二回小テスト (予定)
第13回	第5課 (文法)	関係代名詞
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習の必要は特にありません。簡単な宿題が毎回出ます。必ずやって来てください。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『ヴレマン?』[第2版] (三修社)

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点満点でつけます。この点数にいわゆる平常点 (出席点ではない) を加算して、最終評価を下します。詳細は第1回の授業で説明します。

【学生の意見等からの気づき】

毎回指摘しているが、「気づき」という日本語は正確とは言えないし、何よりも美しくないと思います。せめて「気づいたこと」とすべきだと強く訴えます。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞典は毎回必ず持参してください。

【Outline (in English)】

Course outline: review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary.

Learning objectives; understanding of French texts.

Learning activity outside of classroom; homework (1hour)

Grading Criteria; 2 mini-tests(25/150x2), final teste (100/150)

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

稲垣 正久

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語の初級文法を復習しつつ、簡単なフランス語のテキストを訳読していきます。特に辞書の使い方を徹底的に指導します。

【到達目標】

仏和辞典さえあれば、ある程度の文章は訳せるレベルの語学力を身につけることを目標にします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

下記教科書をおおむね二回の授業で一課進みます。

小テストや宿題などの提出物は添削後に返却し、解説を加えます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習1	春学期のまとめ
第2回	第6課（講読） 第6課（文法）	Vivement les vacances ! 直説法単純未来 命令法
第3回	第7課（講読）	Les petits noms amoureux
第4回	第7課（文法）	大過去、条件法
第5回	第8課（講読）	La philosophie pour tous
第6回	復習2	第一回小テスト（予定）
第7回	第8課（文法）	疑問詞
第8回	第9課（講読）	Les nouvelles familles
第9回	第9課（文法）	現在分詞、ジェロンディフ
第10回	第10課（講読）	La politique environnementale
第11回	第10課（文法）	接続法
第12回	復習3	第二回小テスト（予定）
第13回	第11課（講読）	Le bricolage
第14回	総括	期末試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は特に必要ありません。簡単な宿題が毎回です。必ずやってきて下さい。本授業の準備学習・復習時間は、併せて一時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ヴレマン?』[第2版]（三修社）

【参考書】

授業中に指示します。

【成績評価の方法と基準】

期末試験が100点、二回の小テストが各25点、合計150点でつけます。この点数にいわゆる平常点（出席点ではない）を加味して最終評価を下します。

【学生の意見等からの気づき】

「気づき」ではなく「気づいたこと」と表記してほしい。

【Outline (in English)】

Course outline; review of basic grammar, lecture of simple texts and how to use the dictionary

Learning objectives; understanding of french texts

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語で書かれた文章を読解し、フランス人のインタビュー動画を視聴することで、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

【到達目標】

- 1.日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
- 2.簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
- 3.簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う (しかし、感染症拡大状況により、授業開始後に授業形態に変更が生じる可能性もある。その場合は学習支援システム上に通知する)。教科書に沿って進める。また、1年次に使用した教科書を使って文法項目を適宜学習する。客観的に把握できるように小テストを適宜行う。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 一年生の復習	授業方針を説明 基本的なフランス語の決まり事 を確認 自己紹介
第2回	『Ma grammaire』 Leçon 14,17,18,20	さまざまな時制の復習 接続法
第3回	『Ma grammaire』 Leçon 21	条件法
第4回	接続法と条件法のまとめ	・接続法と条件法に関する小テストおよび復習
第5回	『Quoi de neuf?』第1課	・インタビュー動画視聴 ・代名動詞の復習 (『Ma grammaire』 Leçon 16)
第6回	『Quoi de neuf?』第1課	テキスト講読
第7回	『Quoi de neuf?』第2課	・インタビュー動画視聴 ・関係代名詞 (『Ma grammaire』 Leçon 15)
第8回	『Quoi de neuf?』第2課	テキスト講読
第9回	『Quoi de neuf?』第3課	・インタビュー動画視聴 ・比較の復習 (『Ma grammaire』 Leçon 10)
第10回	『Quoi de neuf?』第3課	テキスト読解

第11回	『Quoi de neuf?』第4課	インタビュー動画視聴 ・代名詞の復習 (『Ma grammaire』 Leçon 13・17)
第12回	『Quoi de neuf?』第4課	テキスト読解
第13回	まとめ	重要事項の確認と復習
第14回	試験	試験とその解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CDも聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけでなく、メールでも24時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『Quoi de neuf?』 Léa GIUNTA, Tomohiko KIYOOKA, Olivia BOISSEL, 白水社。

『Ma grammaire』 小野ゆり子、村松マリ＝エマニュエル、白水社。

【参考書】

『動詞宝典308 初・中級編』 久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典466 中・上級編』 久松健一著、駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で50%、学期末テスト50%。

学期内で小テストは2回か中間テストを1回、行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書のwebページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following : term-end examination: 50%, Examinations in class: 30%, in-class contribution: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語で書かれた文章を読解し、フランス人のインタビュー動画を視聴することで、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。教科書に沿って進めるが、1年次に使用した教科書を使って文法項目を適宜学習する。学生各位が自らの実力を客観的に把握できるように小テストを適宜行う。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	『Quoi de neuf?』第5課	動画視聴 1 過去の表現の復習
第2回	『Quoi de neuf?』第5課	動画視聴 2 テキスト講読
第3回	『Quoi de neuf?』第6課	動画視聴 1 受動態の復習
第4回	『Quoi de neuf?』第6課	動画視聴 2 テキスト講読
第5回	『Quoi de neuf?』第7課	動画視聴 1 現在分詞とジェロンディフの復習
第6回	『Quoi de neuf?』第7課	動画視聴 2 テキスト読解
第7回	『Quoi de neuf?』第8課	動画視聴 1 単純未来と強調構文の復習
第8回	『Quoi de neuf?』第8課	動画視聴 2 テキスト読解
第9回	『Quoi de neuf?』第9課	動画視聴 1 条件法と代名詞の復習
第10回	『Quoi de neuf?』第9課	動画視聴 2 テキスト読解
第11回	『Quoi de neuf?』第10課	動画視聴 1 指示代名詞と接続法の復習
第12回	『Quoi de neuf?』第10課	動画視聴 2 テキスト読解
第13回	まとめと復習	重要事項の確認と復習
第14回	試験と解説	試験とその解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業の予習として、各課の対話をわからない単語を辞書で調べながら読み、CDも聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけではなく、メールでも24時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『Quoi de neuf?』 Léa GIUNTA, Tomohiko KIYOOKA, Olivia BOISSEL, 白水社。

『Ma grammaire』 小野ゆり子、村松マリ＝エマニュエル、白水社。

【参考書】

『動詞宝典308 初・中級編』 久松健一著、駿河台出版社

『動詞宝典466 中・上級編』 久松健一著、駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

小テストと平常点で50%、学期末テスト50%。

学期内で小テストは2回か中間テストを1回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書のwebページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, examinations in class: 30%, in-class contribution: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 I

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

原則として対面で行う。授業は原則として教科書に沿って進める。また、客観的に把握できるように小テストを適宜行う。テスト返却時に解説を必ず行い、学生各位の理解を促進する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 『Maestro 2』第1課	授業方針を説明 基本的なフランス語の決まり事を確認
第2回	『Maestro 2』第1課	・不規則動詞の復習 ・人称代名詞の復習 ・疑問文の復習と否定疑問文
第3回	『Maestro 2』第2課	・第一群規則動詞の復習
第4回	『Maestro 2』第2課	・感嘆文 ・数字の復習 ・序数詞
第5回	『Maestro 2』第3課	・過去の表現 (1)
第6回	『Maestro 2』第3課	・過去の表現 (2)
第7回	中間テスト	中間テストの実施 テスト解説
第8回	『Maestro 2』第4課	・単純未来
第9回	まとめと復習	ここまでの重要事項を復習する。
第10回	『Maestro 2』第5課	・目的補語人称代名詞 (1)
第11回	『Maestro 2』第5課	・目的補語人称代名詞 (2)
第12回	『Maestro 2』第6課	グループワーク
第13回	Bilan	重要事項の確認と復習
第14回	授業時試験	試験とその解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業の予習として、各課の対話文をわからない単語を辞書で調べながら読み、CDも聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけでなく、メールでも24時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『Maestro 2』北村亜矢子、Durrenberger Vincent 著、朝日出版社

【参考書】

一年次に使用した教科書

【成績評価の方法と基準】

中間テストと平常点で50%、学期末テスト50%。
学期内で小テストは2回行う予定です。適宜、単語テストや動詞活用テストも行います。

【学生の意見等からの気づき】

学生の苦手とする箇所を重点的に補うようにする。テストの回数が多いことで勉強する機会が増えたという意見をふまえて、重要ポイントは必ずテストを行って学生諸氏が自身の理解の度合いを客観的に理解できるようにする。

【学生が準備すべき機器他】

仏和と和仏の辞書を持っていることが望ましい。また、学習支援システムや教科書のwebページを利用するために、パソコン、タブレット、スマートフォン等の電子機器を持っていることが望ましい。

【その他の重要事項】

この授業についての質問は西川 (junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp) までお願いします。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 50%, examinations in class: 30%, in-class contribution: 20%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

西川 純子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期と同様に、フランス語の四技能を高めて今後のフランス語学習の基礎となる礎を完成させる。

【到達目標】

1. 日常生活で使用される簡単なフランス語の文を読むことができるようになる。
2. 簡単なコミュニケーションをフランス語でスムーズに行うことができるようになる。
3. 簡単なフランス語をスムーズに書けるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進めます。必要に応じてプリントを配布します。中間テストを行い、期間内に受講者が理解度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	『Maestro 2』第7課	・中性代名詞
第2回	『Maestro 2』第7課	・感情を表す表現
第3回	『Maestro 2』第8課	・命令文
第4回	『Maestro 2』第8課	・関係代名詞（1）
第5回	『Maestro 2』第9課	・関係代名詞（2）
第6回	復習	これまで学習した重要事項を復習する。
第7回	中間テスト	ここまでの復習を行う
第8回	『Maestro 2』第10課	・条件法現在（1）
第9回	『Maestro 2』第10課	・条件法現在（2）
第10回	『Maestro 2』第11課	・条件法現在（3）
第11回	『Maestro 2』第12課	・グループワーク（1）
第12回	『Maestro 2』第12課	・グループワーク（2）
第13回	『Maestro 2』第12課	復習
第14回	試験	試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の予習として、各課の対話をわからない単語を辞書で調べながら読み、CDも聞いておくこと。復習として、授業中に出された課題を行うこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。とくに重要な項目を学習した後は小テストを行います。復習の際には、疑問点を残さないようにしてください。質問は授業の前後だけでなく、メールでも24時間受け付けます。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『Maestro 2』北村亜矢子、Durrenberger Vincent著、朝日出版社

【参考書】

久松健一編 『動詞宝典 308 初・中級編』駿河台出版社

【成績評価の方法と基準】

期末試験（50%）、中間テストと単語・動詞活用テスト（40%）、授業態度（10%）を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の弱点を補えるよう、理解が徹底していない箇所を繰り返して学習するようにします。

【学生が準備すべき機器他】

教科書のWEBページを参照できるように、パソコン、スマートフォン等の電子機器を用意していることが望ましい。

【その他の重要事項】

質問等があれば、西川（junko.nishikawa.54@hosei.ac.jp）までメールをください。

【Outline (in English)】

Extension of basic skills of communication in French language. The goals of this course are to be able to understand short text quite well. Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 50%、Examinations in class: 30%、in-class contribution: 20%.

LANF200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3 I

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、フランス語1に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力(会話力)、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解読したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話(発話)などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを利用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	今後の授業の進め方 1年次に終了した文法事項等の確認
第2回	1課 写真学校に入る	会話文の音読と和訳 文法の復習 受動態
第3回	1課 フランスと写真術	文法の練習問題 文章読解
第4回	2課 エッフェル等と自由の女神を見に行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 最上級 関係代名詞qui, que
第5回	2課 エッフェル等と自由の女神	文法の練習問題 文章読解

第6回 3課
バルシー・ヴィラー
ジュを訪れる

会話実践
会話文の音読と和訳
文法の復習
関係代名詞dout,ou

第7回 3課
バルシー・ヴィラー
ジュ

文法の練習問題
文章読解

第8回 4課
ルイ・ヴィトン財団
美術館を訪れる

会話文の音読と和訳
文法の復習
疑問代名詞

第9回 4課
ルイ・ヴィトン財団
美術館

文法の練習問題
文章読解

第10回 5課
電話をかける

会話実践
会話文の音読と和訳
文法の復習
条件法

第11回 5課 フランスの電
話事情

文法の練習問題
文章読解

第12回 仏検4級をめざして1

会話実践
文章読解

第13回 仏検4級をめざして2

仏検4級の練習問題を解く

第14回 試験と総括

まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト(教科書)】

パリ・ブルゴーニュ(朝日出版社、2500円)
副教材として用いるプリントは教員が配布いたします。

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)他
文法事項の確認の為に、一年次にフランス語1で使用した教科書を参考にしてください。
また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%
期末試験の成績(60%)により、評価します。
期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったため、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。
疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。
連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANF200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

柴田 恵美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、フランス語1に引き続き、文法知識を深め、書く・読む・発音するといったフランス語の基礎的運用能力を身に付ける事を目的としています。文法事項を理解し、練習問題をこなした上で、自分自身で簡単なフランス語の文章を書き、それをフランス語で発話する力(会話力)、ひいては、副教材のプリントを用いつつ、フランスやフランス文化について書かれた文章を日本語で読み解く力をつけてゆくののです。

また、聞き取りや会話力の向上の為に、DVDやCDも活用します。

【到達目標】

- (1) フランス語の綴り字と発音の関係を理解し、ほぼ正確に発音できるようにする
- (2) 初級で学んだ文法知識に対する理解を深める
- (3) 辞書を片手に、フランス語で書かれた比較的平易な文章を解説したり、また、簡単な和文仏訳を行ったり、フランス人の話す簡単な会話を理解したりすることが出来る
- (4) フランス文化についての基礎的な知識の一端を知る

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の文法事項に関しては、説明とその理解度を確認する問題を解き、解説を加えていくことが中心となりますが、仏作文、会話(発話)などに関しては特に、一方的な講義形式ではなく、学生参加型の授業を行います。

課題が出た場合は、基本的に次回授業時に解答・解説を行います。基本的に授業時間内にフィードバックを行います。LMSなどを利用する場合もあります。

疑問点や理解しきれない点などが生じたら、ためらわずに質問してください。そして、分かることの喜びを実感しながら、一緒に楽しく勉強していきましょう。

また、時間が許せば、フランス語やフランス文化に関連した話題、映像などにも触れたいと考えています。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課 デジョンに到着する	会話文の音読と和訳 文法の復習
第2回	第6課 電車に乗る	代名動詞の複合過去 文法の練習問題
第3回	第7課 デジョンの街を散歩する	文章読解 会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習
第4回	第7課 世界文化遺産の街 デジョン	半過去 文法の練習問題 文章読解
第5回	第8課 ブルゴーニュの名物 料理を食べる	会話文の音読と和訳 文法の復習 接続法現在

第6回	第8課 ブルゴーニュの名物 料理	文法の練習問題 文章読解
第7回	第9課 ポーヌに行く	会話実践 会話文の音読と和訳 文法の復習 勧誘表現
第8回	第9課 世界文化遺産の街 ポーヌ	文法の練習問題 文章読解
第9回	第10課 ワインを試飲する	文法の練習問題 文章読解
第10回	第10課 ワインの試飲	文法の練習問題 文章読解
第11回	4級の過去問を解く	会話実践 文章読解
第12回	4級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第13回	4級の過去問を解く	補助教材 過去問の解答・解説
第14回	試験と総括	まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。事前学習としては、次回授業時に進む課の進出単語の意味と読み方を確認しておく、課題として出された練習問題を解いておく、事後学修としては、前回授業の内容を復習し、文章読解に関しては文章構造、言い回しをまとめ、記憶しておく等が挙げられます。

【テキスト(教科書)】

パリ・ブルゴーニュ(朝日出版社、2500円)(フランス語3Iの教科書を継続使用)

副教材として用いるプリントは教員が配布いたします

【参考書】

辞書としては、「プチ・ロワヤル仏和辞典」「ロワイヤル仏和中辞典」(旺文社)他

文法事項の確認の為に、一年次にフランス語1で使用した教科書を参考にしてください。

また、仏検の受験を希望する学生には、別に、参考書・問題集などを紹介致します。

【成績評価の方法と基準】

平常点及び会話実践40%

期末試験の成績(60%)により、評価します。

期末試験の方法、内容については、授業中に教員が指示をします。

【学生の意見等からの気づき】

「発音指導に重きを置き、シャドーイングを繰り返し練習することで、発音や意味、文法事項なども次第に定着する実感がありました」という意見が多かったので、来年度も今回の指導方法を続けていこうと思います。

【学生が準備すべき機器他】

教科書は勿論ですが、辞書は必須です

【その他の重要事項】

失敗を恐れず、明るく楽しく授業に参加してください。

疑問や分からないことがある場合は、すぐに質問してください。

連絡先としての教員メールは、emi.shibata.78@hosei.ac.jpです。

【Outline (in English)】

Further deepen and ascertain the acquired knowledge on the basis of grammatical concepts learned over the past 1 year. We will improve reading and speaking skills through reading comprehensions written in plain French and listening practice using DVDs/CDs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 60%, in-class contribution and conversation test: 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 I

2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、フランス語2に引き続き、自分の生活について話せることを目指しています。日常会話でよく使う題材を中心に学習を進めていきます。聞く・話す・書く・読むを勉強し、実践的な能力を強化する授業です。

【到達目標】

このクラスの目標は日常生活に必要な表現と会話力を身につけることです。また、フランス文化なども紹介し、その知識を養うことも目指します。

資格は筆記試験(フランス語検定4～5級)と口頭試験(DELFF* A1レベル)に対応しています。*フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

1. 発音の説明 2. 構文を確認した後、学生はペア練習する 3. 学生は日本語からフランス語に訳す練習問題をする 4. 学習したフランス語を使用して、クラスメイトとコミュニケーションをとる 5. リスニング練習 6. 対話文作成 7. 復習学習

フランスの文化の紹介の練習は 1. ビデオを見ながら聞き取れた単語を書く 2. 理解したことを授業で共有する・感想を言う 3. 文章を書く・ロールプレイを行う。

基本的に授業時間内にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Orientation Leçon 1 Éléments de base	授業の紹介 フランス語の発音、数字など フランス語の基礎
2	Leçon 2 Premières présentations	自己紹介 s'appeler動詞、国籍、学年
3	Leçon 3 Dire Où on habite	habiter 動詞、être de+出身地 今住んでいるところ について話す
4	Leçon 4. Parler des transports	交通手段について話す venir 動詞、疑問詞 (comment, où...)
5	Leçon 5 Parler des petits boulots	バイトについて話す travailler 動詞、"J'aimerais+不定詞"
6	Leçon 6 Panorama 1	総復習 1 名前、国籍、学部、学年、出身地、住んでいるところ、交通手段、アルバイト
7	Leçon 7 Parler de ses animaux	ペットについて話す avoir 動詞、不定詞、 「Qu'est-ce que」疑問詞

8	Leçon 8 Parler de sa famille	家族について話す 所有形容詞、数字60まで、性格を表す形容詞
9	Leçon 9 Parler des tâches ménagères	家事について話す faire 動詞、aimer beaucoupなど「好き」好きの程度を言う
10	Leçon 10 Parler de ce qu'on mange	食べ物について話す 不定冠詞/部分冠詞、manger 動詞
11	Leçon 11 Sortir à Paris	パリで遊ぶ 時間を表す単語、「deから...àまで...」の表現、Tu aimerais...誘う表現
12	Leçon 12 Panorama 2	総復習 2 (1) avoir, faire, aimer, manger 動詞
13	Leçon 12 Panorama 2	総復習 2 (2) 文法の復習、リスニングなど
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

宿題 (復習のために家でリスニングと書く練習する) 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

題名 Moi, je ... コミュニケーション A1
筆者 Bruno Vannieuwenhyuse 他
出版社 Alma Publishing/アルマ出版
ISBN 978-4-905343-33-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

小テスト 33% 期末試験 34%、平常点(授業中の発言、学習態度等) 33%で評価します。5回以上欠席する者は評価の対象としないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランスの文化やフランス人の生活について詳しく話します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン・スマートフォンで音声ダウンロードができます。

【Outline (in English)】

In this class, we study French conversation at a beginner level. This class prepares to the conversation part of DELF A1. The goal of this course is to learn French conversation. Before and after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:
term-end examination: 33%、mid-Term examination: 34%、in-class contribution: 33%. To receive a credit, you must not be absent more than 4 times.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ

2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木1/Thu.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、フランス語2に引き続き、自分の生活について話せることを目指しています。日常会話でよく使う題材を中心に学習を進めていきます。聞く・話す・書く・読むを勉強し、実践的な能力を強化する授業です。

【到達目標】

このクラスの目標は日常生活に必要な表現と会話力を身につけることです。また、フランス文化なども紹介し、その知識を養うことも目指します。

資格は筆記試験(フランス語検定4~5級)と口頭試験(DELFF* A1レベル)に対応しています。*フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

1. 発音の説明 2. 構文を確認した後、学生はペア練習する 3. 学生は日本語からフランス語に訳す練習問題をする 4. 学習したフランス語を使用して、クラスメイトとコミュニケーションをとる 5. リスニング練習 6. 対話文作成 7. 復習学習

フランスの文化の紹介の練習は 1. ビデオを見ながら聞き取れた単語を書く 2. 理解したことを授業で共有する・感想を言う 3. 文章を書く・ロールプレイを行う。

基本的に授業時間内にフィードバックを行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 13 Parler des matières et des profs	aimer, préférer, trouver 動詞、定冠詞 科目・先生について話す
2	Leçon 14 Parler des loisirs	faire+部分冠詞、"être membre du club de"の表現 クラブ活動について話す
3	Leçon 15 Parler du quotidien	時間を言う、代名動詞
4	Leçon 16 Parler du week-end	aller 動詞、近接未来 週末の過ごし方について話す
5	Leçon 17 Parler de ses goûts	頻度に関する質問と答え、代名詞 y と en の使い方 好みについて話す
6	Leçon 18 Panorama 3	13~17課までの文法の復習 総復習3
7	Leçon 19 Parler des vacances	複合過去、半過去 休暇中の活動について話す
8	Leçon 20 Parler de ses expériences	複合過去+déjà/jamais quand+複合過去形/半過去形 経験について話す

9	Leçon 21 Parler de la géographie et de la gastronomie	都市の位置を説明する、地方の名物 地理と食文化について話す
10	Leçon 22 Parler du temps	天気を表す語彙、疑問形容詞 quel, quelle 天気について話す
11	Leçon 23 Planifier un voyage en France	il y a, 形容詞前置修飾、形容詞後置修飾 フランスへの旅を計画する
12	Leçon 24 Panorama 4	19-23課までの文法の復習 総復習4 (1)
13	Leçon 24 Panorama 4	既習事項を使った対話文 総復習4 (2)
14	期末試験	まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

宿題。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

題名 Moi, je... コミュニケーションA1

筆者 Bruno Vannieuwenhuyse 他

出版社 Alma Publishing/アルマ出版

ISDN 978-4-905343-33-2

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

小テスト33% 期末試験34%、平常点(授業中の発言など)33%で評価します。5回以上欠席する者は評価の対象としないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランスの文化やフランス人の生活について詳しく話します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコンで音声ダウンロードができます。

【Outline (in English)】

In this class, we study French conversation at a beginner level. This class prepares to DELF A1 or Futsuken level 5 or 4. The goal of this course is to learn French conversation. Before and after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 33%, mid-term examination: 34%, in-class contribution: 33%. To receive a credit, you must not be absent more than 4 times.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3 I (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・辞書を引きながらフランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3級レベル、DELFI A1~A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 1 Vous ou tu?	直説法現在、所有形容詞、疑問文
2	Texte 1 Vous ou tu?	長文読解と問題
3	Texte 2 La bise, facile comme boujour?	非人称構文、関係代名詞、比較級と最上級
4	Texte 2 La bise, facile comme boujour?	長文読解と問題
5	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	半過去、指示形容詞、目的格の人称代名詞
6	Texte 3 Croire ou ne pas croire, telle est la question	長文読解と問題
7	Texte 4 À la bonne heure!	助動詞、複合過去、中性代名詞
8	Texte 4 À la bonne heure!	長文読解と問題
9	Texte 5 Premier avril!	代名動詞、指示代名詞
10	Texte 5 Premier avril!	長文読解と問題
11	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	単純未来、所有代名詞

12	Texte 6 La vérité sort de la bouche des animaux	長文読解と問題
13	Texte 7 Un robot venu du futur	長文と読解
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声を聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 - 初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年 (1900円+税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内容が単調にならないよう、しばしば視聴覚映像を取り入れたが、難易度が適切でないものもあった。短時間の使用であっても、資料をより吟味するようにしたい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【その他の重要事項】

「フランス語 3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語 3」にかえることはできませんが、こちらの方が (「フランス語 3 インテンシブ」の方が) 進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3Ⅱ (インテンシブ) 2017年度以降入学者

近江屋 志穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語を一年程度学習した経験があり、さらに高度なフランス語力を身につける意欲をもつ学生を対象とします。モチベーションが高い学習者向けです。

これまで習得した文法の知識を確認しながら総合的なフランス語能力を向上させることを目的とします。

【到達目標】

- ・フランス語の文章が読めるようになること。
- ・初級文法の知識を固めること。
- ・フランス語を正しく発音できるようになること。
- ・実用フランス語技能検定試験 (仏検) 3級～準2級レベル、DELF A2レベルに到達すること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストの各課は、課題文、長文の内容に関する質問、文法事項の確認、文法練習問題で構成されています。文法の復習をしながら、長文の訳読と音読を行います。

進度は授業計画に記載した通りですが、受講者の習熟度を見ながら調整します。

課題や試験へのフィードバックは授業内および学習支援システムを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	受動態、前置詞 + 関係代名詞
2	Texte 8 Le français, une langue qui rassemble plusieurs pays	長文読解と問題
3	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	条件法現在、中性代名詞
4	Texte 9 Je suis gaucher, mais pas maladroit	長文読解と問題
5	Texte 10 Tout n'est pas perdu	疑問形容詞、関係代名詞
6	Texte 10 Tout n'est pas perdu	長文読解と問題
7	Texte 11 Un roi calculateur	大過去、条件法過去
8	Texte 11 Un roi calculateur	長文読解と問題
9	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	現在分詞、関係代名詞、強調構文

10	Texte 12 Il ne faut pas vendre la peau de l'ours avant de l'avoir tué	長文読解と問題
11	Texte 13 Génération manga	近接未来・近接過去、ジェロン ディフ、感嘆文
12	Texte 13 Génération manga	長文読解と問題
13	Texte 14 L'alphabet sur le bout des doigts	接続法現在、長文読解と問題
14	期末テスト	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習・復習 (宿題として指示します) を怠らないようにしてください。

インテンシブの授業ですので、宿題を行っていることを前提としますが、どうしても勉強する時間がないときでも、教科書で学んだ文章の音声聞き、発音練習をするようにしてください。

本授業の準備・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

久保田剛史、他『読んで学ぶフランス語 一初級文法総仕上げ Culture & Actualité - Découvrons la France!』朝日出版社、2018年 (1900円+税)

【参考書】

森本英夫・三野博司『新・リュミエール フランス文法参考書』駿河台出版社、2008年

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内容が単調にならないよう、視聴覚映像や教科書以外の練習問題を取り入れた。春学期よりはそうした教材を効果的に使用することができたが、教科書が終わらなかった。学習者にとって、一冊の教科書を終えることは達成感につながるため、次年度はその点に注意したい。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【その他の重要事項】

「フランス語3 インテンシブ」はクラス授業の必修「フランス語3」にかえることはできませんが、こちらの方が (「フランス語3 インテンシブ」の方が) 進度が早く、より積極的に授業に参加することが受講者に求められます。

【Outline (in English)】

Intensive French course; developing the skills of listening, speaking, reading, and writing French in a cultural context.

The goal of this course is to obtain the level A1-A2 of CEFR.

Before each class, students will be expected to spend at least one hour to read the relevant chapter from the text.

The overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 I

2017年度以降入学者

廣松 勲

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「フランス語圏 (フランコフォニー)」をテーマにしたテキストを用いて、中級に向けたフランス語文法を学びつつ、簡単なフランス語の文章を読めるようになります。また、新しい文法事項を学ぶだけでなく、これまでに学習した文法事項を確りと記憶に定着させ、簡単な会話・文章を生産できるようになります。

【到達目標】

これまでに学習した文法事項を記憶に定着させ、仏検4級～3級レベルの文法事項の習得を目指します。

世界のフランス語圏 (フランコフォニー) に関する基礎的な知識を習得し、簡単にフランス語で説明できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書『フランコフォニーへの旅 (改訂版)』を用いて、既習事項の確認を行いつつ、新しい文法事項を学びます。同時に、簡単なフランス語の文章を読むことを通じて、少しずつ発音と読解の方法を身に付けられるようにします。

2回の授業で1つの課を終えることを目標とします (10課 + a)。授業中に触れられなかった練習問題などは「ミニ課題」として提出してもらいます。フィードバックとして、次回の授業までに添削した上で返却し、必要な箇所については授業内でも振り返りの解説をします。

最後の授業では、期末テストを行い、理解度・習熟度を測ります。同時に、授業全体の総括を行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 0	・既習事項の確認 ・綴りと発音の関係、リズムとイントネーションの確認 ・フランス語圏 (フランコフォニー) の概説
2	Leçon 1 Des villes francophones	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (名詞の性数、冠詞、提示の表現など)
3	Leçon 1 Les francophones dans le monde	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (よく使う疑問詞と前置詞など)
4	Leçon 2 Nous sommes étudiants	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (主語人称代名詞、être / avoir など)
5	Leçon 2 Les langues de France	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (形容詞、強勢形など)
6	Leçon 3 Elles travaillent beaucoup!	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (ER動詞、命令法など)

7	Leçon 3 Le français en Europe	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (疑問文・否定文、所有形容詞など)
8	Leçon 4 Qu'est-ce qu'on fait ce week-end ?	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (IR動詞、不規則動詞、部分冠詞、縮約など)
9	Leçon 4 Le français en Amérique du Nord ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (指示形容詞、近接未来・過去など)
10	Leçon 4 Le français en Amérique du Nord ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (既習の時制の確認、今後の時制との関係など)
11	Leçon 5 Quel pays francophone visiter ?	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (不規則動詞、助動詞の疑問文・否定形など)
12	Leçon 5 Le français dans les Caraïbes ①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (比較級と最上級など)
13	Leçon 5 Le français dans les Caraïbes ②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (特殊な比較級と最上級など)
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

- ・教科書・配布資料の文章は、確りと読み込むこと。
- ・教科書・配布資料の問題は、必ず予習・復習しておくこと。
- ・意味や発音の分からない単語などは、必ず辞書で調べておくこと。

【テキスト (教科書)】

- ・小松祐子、ジル・デルメール著、『フランコフォニーへの旅 (改訂版)』、駿河台出版社、2019年。
- ・以下の出版社サイトを介して、音声を開くこともできる。
<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00927-2>

【参考書】

- ・これまでに用いた教科書
- ・久松健一著、『ケータイ「万能」フランス語文法』、駿河台出版社、2000年。
- ・森本英夫他著、『増補改訂版 新リュミエール』、駿河台出版社、2013年。
- ・曾我祐典著、『フランス語がわかる』、白水社、1995年。
- ・久保田剛史著、『フランス語動詞60』、朝日出版社、2015年。
- ・『ディコ仏和辞典』、白水社。

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末テストに基づいて、総合的に評価する。

- ①平常点 (ミニ課題など) : 30%
- ②期末テスト : 70%

【学生の意見等からの気づき】

- ・フランス語の発音についても、しっかりと確認できるように、発話してもらった時間を増やしたい。
- ・動詞の活用については、教科書の順序ではなく少し早めに取り上げ始めることで、復習の時間を多くとってもらえるようにしたい。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who has already learned French language for one year at least. They will enhance their communication skills by reading rather easy texts and doing exercises while using a manual which deals with the French speaking regions (francophonie) around the world. This course focuses on reading and writing without neglecting listening or speaking.

The goals of this course are to understanding the intermediate French language and expressing in spoken and written language what they want to say.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant chapter(s) and documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:
in class contributions (mini-exercise, etc.): 30%, term-end test: 70%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 II

2017年度以降入学者

廣松 勲

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

「フランス語4 I」に引き続き、「フランス語圏 (フランコフォニー)」をテーマにしたテキストを用いて、中級に向けたフランス語文法を学びつつ、簡単なフランス語の文章を読めるようになります。また、新しい文法事項を学ぶだけでなく、これまでに学習した文法事項を確りと記憶に定着させ、簡単な会話・文章を生産できるようになります。

【到達目標】

これまでに学習した文法事項を記憶に定着させ、仏検4級～3級レベルの文法事項の習得を目指します。

世界のフランス語圏 (フランコフォニー) に関する基礎知識を習得し、簡単にフランス語で説明できるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「フランス語4 I」に引き続き、教科書『フランコフォニーへの旅 (改訂版)』を用いて、既習事項の確認を行いつつ、新しい文法事項を学びます。同時に、簡単なフランス語の文章を読むことを通じて、少しずつ発音と読解の方法を身に付けられるようにします。

2回の授業で1つの課を終えることを目標とします (10課 + a)。授業中に触れられなかった練習問題などは「ミニ課題」として提出してもらいます。フィードバックとして、次回の授業までに添削した上で返却し、必要な箇所については授業内でも振り返りの解説をします。

最後の授業では、期末テストを行い、理解度・習熟度を測ります。同時に、授業全体の総括を行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Leçon 1-5の総括	・春学期の学習事項の復習 ・秋学期の学習事項の紹介
2	Leçon 6 Un week-end à Bruxelles	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (代名動詞、不規則動詞など)
3	Leçon 6 Le français au Maghreb	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (Il faut、2つの人称代名詞など)
4	Leçon 7 Les grandes vacances	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (複合過去、過去分詞形など)
5	Leçon 7 Le français en Afrique noire	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (受動態、否定の多様性など)
6	Leçon 8 Je n'habite pas en France	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (半過去、使役・放任動詞など)
7	Leçon 8 Le français en Asie du Sud-Est	文章の読解・発音 文法事項の補足説明 (関係代名詞など)

8	Leçon 9 J'irai dans un pays africain	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (単純未来、前未来など)
9	Leçon 9 Le français dans le Pacifique①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (ジェロンディフ、現在分詞など)
10	Leçon 9 Le français dans le Pacifique②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (中生代名詞など)
11	Leçon 10 Les voyages forment la jeunesse	会話文の読解・発音 文法事項の説明 (条件法現在と過去など)
12	Leçon 10 Les institutions de la Francophonie①	文章の読解・発音 文法事項の補足説明① (接続法現在と過去など)
13	Leçon 10 Les institutions de la Francophonie②	文章の読解・発音 文法事項の補足説明② (感嘆文など)
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

- ・教科書・配布資料の文章は、確りと読み込むこと。
- ・教科書・配布資料の問題は、必ず予習・復習しておくこと。
- ・意味や発音の分からない単語などは、必ず辞書で調べておくこと。

【テキスト (教科書)】

- ・小松祐子、ジル・デルメール著、『フランコフォニーへの旅 (改訂版)』、駿河台出版社、2019年。
- ・以下の出版社サイトを介して、音声を聞くこともできる。
<https://www.e-surugadai.com/books/isbn978-4-411-00927-2>

【参考書】

- ・これまでに用いた教科書
- ・久松健一著、『ケータイ「万能」フランス語文法』、駿河台出版社、2000年。
- ・森本英夫他著、『増補改訂版 新リュミエール』、駿河台出版社、2013年。
- ・曾我祐典著、『フランス語がわかる』、白水社、1995年。
- ・久保田剛史著、『フランス語動詞60』、朝日出版社、2015年。
- ・『ディコ仏和辞典』、白水社。

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末テストに基づいて、総合的に評価する。

- ①平常点 (ミニ課題など) : 30%
- ②期末テスト : 70%

【学生の意見等からの気づき】

- ・フランス語の発音についても、しっかりと確認できるように、発話してもらう時間を増やしたい。
- ・動詞の活用については、教科書の順序ではなく少し早めに取り上げ始めることで、復習の時間を多くとってもらえるようにしたい。

【Outline (in English)】

This course is designed for students who has already learned French language for one year at least. They will enhance their communication skills by reading rather easy texts and doing exercises while using a manual which deals with the French speaking regions (francophonie) around the world. This course focuses on reading and writing without neglecting listening or speaking.

The goals of this course are to understanding the intermediate French language and expressing in spoken and written language what they want to say.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant chapter(s) and documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (mini-exercise, etc.): 30%, term-end test: 70%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 5 I

2017年度以降入学者

村松 マリ=エマニュエル

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

既に基礎が学んだがまだ初級レベルにある学生として、フランス語学習の土台を固める。特に発音やコミュニケーションに重点を置く

【到達目標】

DELF A1 (フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格) レベルの到達を目指す。It is a course to prepare DELF A1.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を使わず、プリント、ビデオなどを使う。会話のモデルを練習してから、学生同士で応用練習をする。また基本的に授業時間内に課題のフィードバックを行うが、メールなどを活用する場合もある

You will learn a model of conversation and practice with the other students.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
回1	自己紹介 Introducing yourself	自己紹介、連絡先を言う Introducing yourself, telling your adress フランス語圏の国々
回2	第三者について Talking about persons	フランスのシャンソン歌手エディット・ピアフ Edith Piaf, a French singer
回3	好きなアーティスト Present an artist	発表：好きなアーティストを紹介する Presentation: an artist that you like
回4	道案内 Indicating the way	駅からあなたの家までの道を説明する Indicating the way from the station to your house.
回5	あなたの家 Your house	家のの間取りを説明する Talking about rooms and floors
回6	日付と時間 date and time	電車のチケットを買う Buying a train ticket.
回7	いつ、どこ、何をなどを説明する telling when, where, what	仕事状況について話す。 Talking about your work
回8	趣味 Your hobbies	趣味について話す Telling your hobbies.
回9	あなたのリラックスする方法 Your relaxation way	スポーツ選手の時間割とリラックスする方法。 The schedule and relaxation way of a sport champion and
回10	食事 Food	あなたの食生活について話す。 Telling what you eat.

回11	過去の出来事 A passed event	過去の出来事について話す・意見を言う Talking about passed events, telling your opinion.
回12	パリ際、クリスマスなど Bastille days celebrations, Christmas ...	フランスの伝統的な祭りを説明する Talking about traditional festivals.
回13	日本の祭り Japanese festivals	発表：日本の祭りの紹介を発表する。 Presentation : Present a Japanese festival.
回14	前期のまとめ Summary	前期で習ったことについてのクイズ Quiz

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。復習として発音練習を行うことと宿題を必ず行うこと

You will have to make revisions of the lesson studied in the class and do some writing exercises.

【テキスト (教科書)】

教科書使わず、毎回プリントを配る。No text book, only prints.

【参考書】

特になし None

【成績評価の方法と基準】

平常点 60% + 提出する課題 40% Average in the class 60% + average of the submitted work 40%

【学生の意見等からの気づき】

アンケートで特別な事はなかったです。授業中気になる事があるときすぐに聴けるようになってますからだと思います。今年度もそうしましょう。

【学生が準備すべき機器他】

配られたプリントをしまうためのファイル Folder to file the prints

【その他の重要事項】

必要に応じて、上記のプログラムを少し変えることがある。I may change the program, in case of necessity.

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【None】

None

【Outline (in English)】

You are not a complete beginner, but you want to speak French. This class is a conversation class. You will do exercise for hearing, speaking and learning.

It is a course to prepare DELF A1.

You will need about one hour for preparation and revision.

Average in the class 60% + average of the submitted work 40%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 5 II

2017年度以降入学者

村松 マリ=エマニュエル

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春期に続いて、オーラル・コミュニケーションに重点を置いて、日常の生活の中でよくする話を練習する。

【到達目標】

DELFL A1 (フランス国民教育省が認定した公式フランス語資格) レベルの到達を目指す。It is a class to prepare the DELFL A1.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を使わず、プリントを配る。No text book, only prints. また基本的に授業時間内に課題のフィードバックを行うが、メールなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
回 1	禁止 Interdictions	禁止する、許可する Prohibit and authorize フランス社会のルールについてのクイズ
回 2	可能性、能力など Possibility, capacity, etc.	可能性、能力、意志、義務を言う Expressing possibility, capacity, will and duty
回 3	提案する Proposition	提案する Suggesting something
回 4	就職活動 Looking for a job	就職活動のアドバイス Advise before going to a work interview フランスの就活システム
回 5	あなたのレジャー Your leisure	レジャーについて話す Talking about your leisure フランス人のレジャー
回 6	利点と難点 Advantages and disadvantages	様々のライフスタイルの利点と難点をいう。Telling the advantages and disadvantages of your lifestyle.
回 7	比較する Compare	習慣を比較する。Comparing habits.
回 8	夏休み Summer vacation	あなたの理想な夏休みを説明する。Telling the vacations you like the much.
回 9	子供の頃 Childhood	思い出話や子供の頃の話をする。Talking about your childhood.
回 10	過去の事項 A passed accident	事故について話す。Talking about an accident.
回 11	初めてした体験 A first experience	初めてした体験 (愛、一人旅、など) を説明する。Telling a first experience.
回 12	予定 Projects	予定を立てる。Telling your projects.

回 13	条件 Conditions	条件を言う。Telling conditions.
回 14	後期のまとめ Summary	後期で習ったことについてのクイズ Quiz

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。復習として発音練習を行うことと宿題を必ず行うこと
You will have to make revisions of the lesson studied in the class and do some writing exercises.

【テキスト (教科書)】

教科書使わず、プリントを配る。No text book, only prints.

【参考書】

特になし None

【成績評価の方法と基準】

平常点 60 %+ 提出する課題の平均点 40 %
Average in the class 60 %+ submitted exercises 40 %

【学生の意見等からの気づき】

アンケートで特別な事はなかったです。授業中気になる事があるときすぐに聴けるようになってますからだと思います。今年度もそうしましょう。

【学生が準備すべき機器他】

配られたプリントをしまうためのファイル folder to file your prints

【その他の重要事項】

必要に応じて、上記のプログラムを多少変えることがある。I may change a little the above program, in case of nessecity.

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【None】
None

【Outline (in English)】
It is a class of oral communication following the class "French 2 I". You will learn in daily situations.
It is a class to prepare the DELFL A1.
You will need about one hour for preparation and revision.
Average in the class 60 %+ submitted exercises 40 %.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 I

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランス語で書かれた文章の正確な理解と内容についての考察を行う授業です。フランス語の文章を和訳しながら読んだあと、本文に含まれている文法事項を復習します。次に、関連事項をクラスで話し合い発表します。

【到達目標】

1年間でフランス語検定4級レベルの文法を復習することができます。単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な新聞記事などを自力で読み解き、意見をまとめることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回の授業で、4ページ構成の1レッスンを終える速度で進みます。授業1回目は、語彙とコラムを参考にフランス語文を和訳しながら内容を理解します。授業2回目は、文法事項を確認しながら練習問題を解き、右ページにあるキーワードや短い質問を使ってグループで話し合いその結果を発表します。日本語だけではなく、フランス語でも簡単に自分の意見が言えるように練習しましょう。みんなで協力して作成した日本語訳はクラスウェブで確認できます。文法問題は授業時に答え合わせをします。グループで話し合った内容はリアクションペーパーにまとめ、授業内に口答で発表したあと提出します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon 0「授業の進め方」	グループ分け、発表順、音読練習
2回目	Leçon 1「何も無駄にしない」	音読練習、仏文和訳と解説
3回目	Leçon 1「複合過去」	文法説明と練習問題、ディスカッション
4回目	Leçon 2「服を着る」	音読練習、仏文和訳と解説
5回目	Leçon 2「代名動詞1」	文法説明と練習問題、ディスカッション
6回目	Leçon 3「修復する」	音読練習、仏文和訳と解説
7回目	Leçon 3「半過去」	文法説明と練習問題、ディスカッション
8回目	Leçon 4「視られる」	音読練習、仏文和訳と解説
9回目	Leçon 4「比較級と最上級」	文法説明と練習問題、ディスカッション
10回目	Leçon 5「別の視点から世界を見る」	音読練習、仏文和訳と解説
11回目	Leçon 5「条件法現在」	文法説明と練習問題、ディスカッション
12回目	Leçon 6「ありのままの自分を受け入れる」	音読練習、仏文和訳と解説
13回目	Leçon 6「関係代名詞」	文法説明と練習問題、ディスカッション
14回目	試験とまとめ	筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。
予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約30分)
復習：授業時に学習した文法事項を確認して、簡単な作文ができるようにしておく。(約30分)

【テキスト (教科書)】

『これ、どう思う? 語りあうための中級フランス語読本』福田美雪、ジョルジュ・ヴェスイエール著 (朝日出版社)

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業への参加、ディスカッションと発表) 50%

学期末テスト (授業最終日に実施される筆記試験) 50%

試験方法：

学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。試験実施方法は事情により変更される場合もあります。その際は都度お知らせいたします。

【学生の意見等からの気づき】

グループで検索したり話し合った内容は授業時間中に発表してもらいます。みんなの協力で出来上がった訳文は資料としてウェブに残します。

【学生が準備すべき機器他】

グループ発表を担当する際には、Zoomでの共有ができるPC等が必要です。(スマートフォンでも可)

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is a class for students to accurately understand sentences written in French and consider their content. After reading the French text while translating it into Japanese, review the grammatical items included in the text. Then, discuss and present relevant matters in class. Attainment target: You can review the grammar for level 4 of the French Proficiency Test in one year. By looking up the meanings of words, you will be able to decipher simple sentences written in French on your own and form an opinion. Class progress and methods: The course progresses at the speed of completing one four-page lesson in two lessons. In the first class, students will understand the content while translating French sentences into Japanese using the vocabulary and columns as reference. In the second class, students solve practice problems while checking grammar points, discuss in groups using the keywords and short questions on the right page, and present their results. Let's practice expressing our opinions easily not only in Japanese but also in French. You can check the Japanese translations created by everyone on the class web. Grammar questions will be answered during class. The content discussed in the group will be summarized in a reaction paper, which will be presented orally in class and then submitted. Learning outside of class hours: Preparation: Practice reading aloud using downloaded audio, look up vocabulary in a dictionary, etc., and translate. (about 30 minutes) Review: Check the grammar points learned in class and be able to write simple compositions. (about 30 minutes) Performance evaluation: Normal score (participation in class, discussion and presentation) 50% Final test (written test held on the last day of class) 50% Test method: The final exam will be held during class hours on the last day of regular classes, not during the exam period.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 II

2017年度以降入学者

中村 美緒

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

フランス語で書かれた文章の正確な理解と内容についての考察を行う授業です。フランス語の文章を和訳しながら読んだあと、本文に含まれている文法事項を復習します。次に、関連事項をクラスで話し合い発表します。授業内に行う小テストはその場で答え合わせをします。ウェブ上に提出する課題については、プリントアウト後採点したものを教室で返却する予定です。

【到達目標】

1年間でフランス語検定4級レベルの文法を復習することができます。単語の意味を調べれば、フランス語で書かれた簡単な文章を自力で読み解き、意見をまとめることができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

2回の授業で、4ページ構成の1レッスンを終える速度で進みます。授業1回目は、語彙とコラムを参考にフランス語文を和訳しながら内容を理解します。授業2回目は、文法事項を確認しながら練習問題を解き、右ページにあるキーワードや短い質問を使ってグループで話し合いその結果を発表します。日本語だけではなく、フランス語でも簡単に自分の意見が言えるように練習しましょう。みんなで協力して作成した日本語訳はクラスウェブで確認できます。文法問題は授業時に答え合わせをします。グループで話し合った内容はリアクションペーパーにまとめ、授業内に口答で発表したあと提出します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	Leçon 7「音を聴く」	音読練習、仏文和訳と解説
2回目	Leçon 7「使役動詞と放任動詞」	文法説明と練習問題、ディスカッション
3回目	Leçon 8「アルチュール・ランボー」	音読練習、仏文和訳と解説
4回目	Leçon 8「現在分詞とジェロンディフ」	文法説明と練習問題、ディスカッション
5回目	Leçon 9「他者とわかりあう」	音読練習、仏文和訳と解説
6回目	Leçon 9「直接話法と間接話法」	文法説明と練習問題、ディスカッション
7回目	Leçon 10「自分のリズムで生きる」	音読練習、仏文和訳と解説
8回目	Leçon 10「中性代名詞」	文法説明と練習問題、ディスカッション
9回目	Leçon 11「働く」	音読練習、仏文和訳と解説
10回目	Leçon 11「接続法」	文法説明と練習問題、ディスカッション
11回目	Leçon 12「つながる」	音読練習、仏文和訳と解説
12回目	Leçon 12「代名動詞2」	文法説明と練習問題、ディスカッション
13回目	オリジナルテキスト(プリント)	音読練習、仏文和訳と解説
14回目	試験とまとめ	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。予習：ダウンロード音声による音読練習、辞書等で語彙を調べて訳しておく。(約30分)

復習：授業時に学習した文法事項を確認して、簡単な作文ができるようにしておく。(約30分)

【テキスト（教科書）】

『これ、どう思う？ 語りあうための中級フランス語読本』福田美雪、ジョルジュ・ヴェスイエール著（朝日出版社）

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。(ネット上の翻訳機能も単語レベルでの使用可)

【成績評価の方法と基準】

成績評価：

平常点（授業への参加、ディスカッションと発表）50%

学期末テスト（授業最終日に実施される筆記試験）50%

試験方法：

学期末試験は「試験期間中」ではなく、通常授業の最終日の授業時間内に実施します。試験実施方法は事情により変更される場合があります。その際は都度お知らせいたします。

【学生の意見等からの気づき】

グループで検索したり話し合った内容は授業時間中に発表してもらいます。みんなの協力で出来上がった訳文は資料としてウェブに残します。

【学生が準備すべき機器他】

グループ発表を担当する際には、Zoomでの共有ができるPC等が必要です。(スマートフォンでも可)

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is a class for students to accurately understand sentences written in French and consider their content. After reading the French text while translating it into Japanese, review the grammatical items included in the text. Then, discuss and present relevant matters in class. Attainment target: You can review the grammar for level 4 of the French Proficiency Test in one year. By looking up the meanings of words, you will be able to decipher simple sentences written in French on your own and form an opinion. Class progress and methods: The course progresses at the speed of completing one four-page lesson in two lessons. In the first class, students will understand the content while translating French sentences into Japanese using the vocabulary and columns as reference. In the second class, students solve practice problems while checking grammar points, discuss in groups using the keywords and short questions on the right page, and present their results. Let's practice expressing our opinions easily not only in Japanese but also in French. You can check the Japanese translations created by everyone on the class web. Grammar questions will be answered during class. The content discussed in the group will be summarized in a reaction paper, which will be presented orally in class and then submitted. Learning outside of class hours: Preparation: Practice reading aloud using downloaded audio, look up vocabulary in a dictionary, etc., and translate. (about 30 minutes) Review: Check the grammar points learned in class and be able to write simple compositions. (about 30 minutes) Performance evaluation: Normal score (participation in class, discussion and presentation) 50% Final test (written test held on the last day of class) 50% Test method: The final exam will be held during class hours on the last day of regular classes, not during the exam period.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 I

2017年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業の目的は、フランスとフランス語圏の時事紹介文を読んで翻訳することにより、その歴史・社会・文化の教養を身につけながら、初級文法の復習、中級文法や語彙の学習をおこなうことです。

【到達目標】

フランス時事についての文章を読み、簡単な文章が理解できるようになること。フランス語検定3級レベル程度の達成を目指します。また可能な範囲でフランス語圏の社会や歴史に関する教養も身につけます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、フランス文化や社会の側面が紹介された文章を読みます。意味を確認し、音読をします。主に宿題のかたちで各課ごとの練習問題を解きます。宿題に関してはhoppiiや授業で正答を示したり解説をしたりしフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	シラバスの説明
	フランス語文法の復習	関係代名詞 綴り字と発音
第2回	「1章 光の都市」前半	半過去形 強調構文
第3回	「1章 光の都市」後半	受動態
第4回	「2章 Z世代」前半	複合過去①
第5回	「2章 Z世代」後半	複合過去②
第6回	「4章 貧困と富裕」前半	直接話法/間接話法①
第7回	「4章 貧困と富裕」後半	直接話法/間接話法②
第8回	「6章 コーヒー」前半	部分冠詞
第9回	「6章 コーヒー」後半	中性代名詞 en
第10回	「8章 フランスにおける漫画」前半	形容詞 certains
第11回	「8章 フランスにおける漫画」後半	de 複数形容詞 名詞
第12回	「9章 トランスアイデンティティ」前半	changer de bien/mal
第13回	「9章 トランスアイデンティティ」後半	中性代名詞
第14回	期末試験	-期末試験の実施 -答え合わせ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に文章を読み、単語を辞書で調べること。CDを聴き、音読すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2023年度版 (À la page 2023)』朝日出版社、定価2090円

【参考書】

電子辞書

【成績評価の方法と基準】

平常点 (宿題や小テストも含む) 50% + 期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で答え合わせをしなかった宿題に関しては、hoppiiを通じて正答を示します。

【その他の重要事項】

初回出席を受講資格とみなすので初回到欠席しないこと。

【Outline (in English)】

【Course outline】 Students will be asked to read and translate texts about French culture.

【Learning Objectives】 By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. Reading abilities
- B. Increase of vocabulary
- C. Review of the elementary grammar
- D. Acquisition of the intermediate grammar

【Learning activities outside of classroom】 Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

【Grading Criteria /Policy】 Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 4 II

2017年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業の目的は、フランスとフランス語圏の時事紹介文を読んで翻訳することにより、その歴史・社会・文化の教養を身につけながら、中級文法や語彙の学習をおこなうことです。

【到達目標】

フランス語の簡単な文章が理解できるようになること。フランス語検定3級レベル程度に達成することを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、フランス文化や社会の側面が紹介された文章を読みます。意味や文法を確認し、音読をします。主に宿題のかたちで各課の練習問題を解きます。宿題に関してはhoppiiで正答を示したり解説をしたりしフィードバックします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	「10章 文学賞」前半	ラテン語の成句 疑問詞を使った疑問文
第2回	「10章 文学賞」後半	単純未来
第3回	「13章 ジョゼフィ ン・ペーカー」前半	現在分詞
第4回	「13章 ジョゼフィ ン・ペーカー」後 半	ジェロンディフ
第5回	「15章 狩猟」前半	分数
第6回	「15章 狩猟」後半	条件法
第7回	「17章 マルティニー ク」前半	前置詞jusque
第8回	「17章 マルティニー ク」後半	指示代名詞 数詞
第9回	「19章 鳥類と生物多 様性」前半	中性代名詞yとen
第10回	「19章 鳥類と生物多 様性」後半	de 数量
第11回	「20章 ペール＝ラ シェーズ墓地」前半	名詞の前後で意味が変わる形容 詞
第12回	「20章 ペール＝ラ シェーズ墓地」後半	lequel, laquelle, lesquels
第13回	補習	単純過去
第14回	期末試験	-試験の実施と答えあわせ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

事前に文章を読み、単語を辞書で調べること。CDを聴き、音読すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

石井洋二郎、ミシェル・サガズ『時事フランス語 2023年版 (À la plage 2023)』(朝日出版社、定価2090円)

【参考書】

電子辞書

【成績評価の方法と基準】

平常点 (宿題や小テストも含む) 50% + 期末試験 50%

【学生の意見等からの気づき】

授業内で答え合わせをしなかった宿題に関しては、hoppiiを通じて正答を示すようにします。

【その他の重要事項】

フランス語4 I (岡村)を受講していることが望ましいが、フランス語4 IIのみを受講することもできます。

【Outline (in English)】

【Course outline】The student will be asked to read and translate texts about French culture.

【Learning Objectives】By the end of the course, students should be able to do the followings:

- A. Reading abilities
- B. Increase of vocabulary
- C. Review of the elementary grammar
- D. Acquisition of the intermediate grammar

【Learning activities outside of classroom】Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content

【Grading Criteria /Policy】Term-end examination: 50%, in-class contribution: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語(3) I

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合うことができるようになる

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiなどを活用する場合もある。

このテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	LEÇONS 1	(教科書の演習問題) Se présenter
第2回	LEÇONS 2	(教科書の演習問題) Les pronoms personnels
第3回	LEÇONS 3	(教科書の演習問題 - 会話) Présent de l'indicatif 1
第4回	LEÇONS 4	(教科書の演習問題) Présent de l'indicatif 2
第5回	LEÇONS 5	(教科書の演習問題) Les pronoms définis/indéfinis
第6回	LEÇONS 6	(教科書の演習問題 - 会話) Pronoms possessifs
第7回	LEÇONS 7	(教科書の演習問題) Les pronoms interrogatifs
第8回	LEÇONS 8	(教科書の演習問題 - 会話) Localisation 1
第9回	LEÇONS 9	(教科書の演習問題) Localisation 2
第10回	LEÇONS 10	(教科書の演習問題 - 会話) Prépositions devant les noms de pays 1
第11回	LEÇONS 11	(教科書の演習問題) Prépositions devant les noms de pays
第12回	LEÇONS 12	(教科書の演習問題 - 会話) Les verbes être, avoir et faire
第13回	レッスン1～12の復習	レッスン1～12の復習 Révisions
第14回	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講	まとめ / 試験 その他：課題 / 補講

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト (教科書)】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL :

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION :

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorise new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA :

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 (3) II

2017年度以降入学者

コリンヌ ヴァリエヌヌ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【到達目標】

自然な会話ができ、簡単な質問に答え、日常の話題について話し合えるようになる。

この授業では、話す・聞く・書く・読むを目指します。教科書は基本的な文法のポイント、コミュニケーションに役立つ語彙、そしてモデルとなる文の構造を中心に構成されています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

のテキストの中から、日常生活やフランス文化に関する資料を選び、聞き取り、質疑応答、意見交換、文法の練習などの様々な練習問題に取り組みます。

基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、Hoppiiなどを活用する場合もある。

毎週の宿題です。宿題は授業の始めに添削します。授業中や「Hoppii」での質問も可能です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	Leçon 13	(教科書の演習問題) La spatialisation
第2回	Leçon 14	(教科書の演習問題) Les différentes interrogations
第3回	Leçon 15	(教科書の演習問題 - 会話) Les heures
第4回	Leçon 16	(教科書の演習問題) Les verbes pronominaux 1
第5回	Leçon 17	(教科書の演習問題) Les verbes pronominaux «
第6回	Leçon 18	(教科書の演習問題 - 会話) Le passé composé avec “avoir”
第7回	Leçon 19	(教科書の演習問題) Le passé composé avec «
第8回	Leçon 20	(教科書の演習問題) Les verbes pronominaux au passé composé
第9回	Leçon 21	(教科書の演習問題 - 会話) La comparaison 1
第10回	Leçon 22	(教科書の演習問題) La comparaison 2
第11回	Leçon 23	(教科書の演習問題) L'imparfait 1
第12回	Leçon 24	(教科書の演習問題 - 会話) L'imparfait 2
第13回	レッスン13~24の復習	レッスン13~24の復習

第14回 まとめ / 試験 その他 : 課題 / 補講 : 課題 / 補講

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。各レッスン終了後に文法と語彙のポイントを復習します。

【テキスト (教科書)】

Maestro 1

Kitamura Ayako - Durrenberger Vincent

Editions Asahi

ISBN : 978-4-255-35307-4

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点40点、期末テスト60点

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません

【Outline (in English)】

This course is designed for false beginners and intermediate levels. Students will share the same textbook with a Japanese teacher. In this class, you will learn mainly simple conversation.

GOAL:

Students will be able to read example sentences of conversation and then practice in pairs. The focus is on communication between students. Listening, reading, speaking, and writing skills are also practiced while doing exercises from the textbook.

PREPARATION:

Homework. The standard preparation and review time for this class is one hour combined. You have to learn and memorize new vocabulary and grammar point studied during the lesson.

GRADING CRITERIA:

Normal score: 40% (presence, participation and homework), final exam: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語Ⅶ

2017年度以降入学者

岡村 民夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

4名の教員で同じテキストを使い、フランス語の総合力を強化します。秋学期からの留学を控えた学生を対象とします。この授業では、文法に重心を置きます。可能な範囲でフラン語圏の歴史や文化も学びます。

【到達目標】

教科書『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われている文法事項を確実に理解し運用できるようにします。

『Le Nouveau Taxi 1!』で扱われない文法事項は『フランス語トレーニングコース』を用いて学び、基礎文法全体の学習を終えるようにします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

共通教科書『Le Nouveau Taxi 1!』の進度に沿い、『フランス語トレーニングコース』を用いて文法を体系的に説明します。その後、練習問題を解きます。適宜小テストも行います。

小テストのフィードバックは講義内で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Unité 6 Leçon 23	-補語人称代名詞
2	Unité 6 Leçon 25	-中性代名詞 y, en
3	Unité 7 Leçon 26	-中性代名詞 le -所有代名詞
4	Unité 7 Leçon 27	-代名動詞の現在形/複合過去形
5	Unité 8 Leçon 29	-半過去形① -近接過去
6	Unité 8 Leçon 29	-関係代名詞①
7	Unité 8 Leçon 30	-半過去形②
8	Unité 8 Leçon 30	-受動態 -関係代名詞②
9	Unité 8 Leçon 31	-Situer dans le temps -過去分詞 -現在分詞
10	Unité 9 Leçon 31	-現在分詞
	文法補足	-ジェロンディフ
11	Unité 9 Leçon 33	-単純未来形
12	Unité 9 Leçon 33	-前未来形
	文法補足	
13	期末試験	-筆記試験の実施
14	補習	-期末試験の返却と答えあわせ -不足箇所の補習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業準備の時間は各回1時間以上を標準とします。

授業で扱った練習問題の復習、および教科書の各授業前に文法事項をしっかりと予習をしておいてください。

【テキスト (教科書)】

『Le Nouveau Taxi 1!』, Hachette, 2009年

・斎藤昌三『3段階チェック式フランス語トレーニング・コース』、白水社、2011年

【参考書】

適宜指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点50%、期末試験50%

【学生の意見等からの気づき】

宿題の正答を hoppii で示すようにします。

【学生が準備すべき機器他】

仏和辞書

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course is designed for beginners who are learning basic French grammar.

【Learning Objectives】

Especially at the end of this course, students are expected to a good reading of the French text.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your study time will be more than four hours for a class.

【Grading Criteria】

Your overall grade in the class will be based on the following: term-examination :50% and in-class contribution:50%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 8

2017年度以降入学者

ルルー 清野 ブレندان

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

秋学期からの留学を控えた学生を対象とするこの授業は「ヨーロッパ共通参照枠組み」に準拠した最も易しいレベル(A1)の達成を目指すための総合的フランス語入門コースの続きです。4名の教員で同じテキストを使い、フランス語の総合力を強化します。相手にフランス語を実践的に応用する、コミュニケーション重視の授業です。

【到達目標】

SAアンジェに備え、自分自身の日常生活や身近なテーマについて、簡単なフランス語で、相互に働きかけ合うことを目標とします。4つの能力を総合的に練習し、「ヨーロッパ共通参照枠組み」で定められているA1レベルを目指します。つまり、最低限必要なことを行うための、よく使われる日常的表現やごく簡単な言い回しを理解し、用いることができるようになることを目指します。自分や他人を紹介することができ、個人的な事柄(住んでいる場所、知り合い、持ち物など)について質問をしたり、答えたりできるようになります。相手がゆっくり、はっきり話し、協力的であれば、簡単なやりとりができるようになります。

留学への出発までにはフランス語実用技能検定試験(仏検)3級、DELF A1合格に相当する語学力の習得をめざします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

フランス語母語話者の教員や他の学生との対話等を通じて、フランス語を自発的かつ気軽に話せるように、発音練習を交えたオーラル・コミュニケーションが主になる授業です。言語というものは、他の科目と違い、教科書や他人のメモを見るだけで覚えられないもので、欠席すると大変なことになってしまいます。フランス語は自分で聞いて理解し、自分で口にし、はじめて身に付くものなので、毎回授業に積極的に参加し、質問をしたり質問に答えたり会話を作ったりすることは最も重要なことで成功への鍵です。

この授業では、作文やリーディングマラソン(フランス語多読)のような課題も課せられますので、そのつもりでいて下さい。宿題や小テストに関するフィードバックは基本的に授業時間内に行いますが、Hoppiiを通じて行う場合も考えられます。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	授業の紹介 学生による自己評価	TCF
②	Unité 7 L25 Enquête	趣味、頻度、程度
③	Unité 7 L26 Quitter Paris	意見、異議
④	Unité 7 L27 Vivement les vacances!	休暇、趣味、助言
⑤	Unité 7 L28 Les Français en vacances	フランス人のバカンス 作文1：日本人の休暇
⑥	Unité 8 L29 Enfant de la ville	近接過去、過去における状態・習慣

⑦	Unité 8 L30 Fait divers	過去の出来事、過去における状況
⑧	Unité 8 L31 Ma première histoire d'amour	時間の表現、目的の表現
⑨	Unité 8 L32 La 2CV	フランスの象徴 作文2：初映画の思い出
⑩	Unité 9 L33 Beau fixe	予報(未来)、可能性、確実さ
⑪	Unité 9 L34 Projets d'avenir	計画(未来)
⑫	Unité 9 L35 Envie de changement	条件、意図と計画
⑬	Unité 9 L36 Le pain, mangez-en!	未来における結果 作文3：留学の計画
⑭	まとめ	復習とDELFの練習問題

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

当然ながら、授業の内容を次の授業までに復習すること。復習・語彙・書き取り(Dictée)の小テストを頻繁に行います。本授業の準備・復習時間は、2時間を標準とします。また、耳をできるだけ早くフランス語の音に慣れさせるために教科書についている音源等を各自聴くこと。音源をスマホなどに入れ、(長い)通学時間を賢く利用しましょう!

【テキスト(教科書)】

LE NOUVEAU TAXI 1, Robert Menand, Hachette

【参考書】

留学の際、仏和辞典が必携のアイテムになりますので、できるだけ早く入手しましょう。紙のものでも、電子辞書でも、スマホのアプリでも大丈夫です。

【成績評価の方法と基準】

・宿題、書き取り(Dictée)、その他の小テスト:約40%
・リーディングマラソン(フランス語多読):約20%
・作文:約20%
・出席点:約20%。尚、出席点に関しては減点方式をとり、4回目の欠席で不合格となります。遅刻は2回で欠席扱いとなり、遅延証明は2回まで認めます。

【学生の意見等からの気づき】

学生からの意見等は時にありませんでした。

【None】

none

【Outline (in English)】

French for beginners (3rd semester). This course focuses on developing mainly basic oral (and written) communication skills in French. Its main target is students motivated/selected for the Study Abroad program in France. It also prepares to the A1 level of French proficiency tests.

Depending on the tasks, revision and/or homework will require from one to three hours.

The grading criteria are as follows:

・Homework, short tests, etc.: 40%
・Reading marathon (Extensive reading):20%
・Short essays:20%
・Attendance:20%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-I

2017年度以降入学者

竹本 研史

開講時期:春学期授業/Spring | 曜日・時限:月4/Mon.4

単位数:1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

人間環境学部2年 G-L 組の学生を対象にして、2年次以降の専門科目の学習に資するような、サステナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テキストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

【到達目標】

人間環境学部の学生が、各人の関心に応じたサステナビリティ研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

サステナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テキストを読んだり、音声を聴いたり、映像を見たりする。

指定箇所の宿題 → 音読練習や聴解練習 → 学生が試訳や文法・語法事項、あるいは文化・社会に関する知識について発表 → 教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。

学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業についての説明
第2回	読解演習 (1)	サステナビリティに関わる文献精読 (1)
第3回	読解演習 (2)	サステナビリティに関わる文献精読 (2)
第4回	聴解演習 (1)	サステナビリティに関わる聴解の訓練 (1)
第5回	聴解演習 (2)	サステナビリティに関わる聴解の訓練 (2)
第6回	映像分析演習 (1)	サステナビリティに関わる映像の分析訓練 (1)
第7回	映像分析演習 (2)	サステナビリティに関わる映像の分析訓練 (2)
第8回	第2-7回のまとめ	第2-7回の文法・語法事項やリスニングなどの復習
第9回	読解演習 (3)	サステナビリティに関わる文献精読 (3)
第10回	読解演習 (4)	サステナビリティに関わる文献精読 (4)
第11回	映像分析演習 (3)	サステナビリティに関わる映像の分析訓練 (3)
第12回	第9-11回のまとめ	第9-11回の文法・語法事項やリスニングなどの復習
第13回	音読・聴き取り練習	・音読試験 ・聴き取り練習

第14回 春学期のまとめ

・期末試験

・期末試験の解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

準備学習・復習・宿題は当然必要。

準備学習と宿題には1時間、復習にも1時間必要であろう。

〈準備学習〉毎回教科書を熟読したうえで、各課の文法事項の説明を通じて疑問点を洗い出し、単語の意味を事前に調べておくこと。また、音声教材を利用しながら教科書に出てくるフランス語表現を繰り返し音読し発音を確認しておくこと。

〈復習・宿題〉教科書と音声教材を利用してその日に学んだ文法事項とフランス語表現の発音を定着させたいので、教員がその日に指定した宿題を必ずおこなうこと。

〈学外で〉何よりもまず、現場に赴き、何かがそこで生起している場面に立ち会うことが重要である。各人が積極的に出かけて、読書 (BDも含め)、映画、美術、音楽、演劇、ダンス、バレエ、料理、スポーツ、ファッションなどを通じて、フランス語およびフランス語圏文化に親しむ機会をつくること。そのための一助として、「フランス語の世界 LA」、「フランスの文化と社会 LA」、「フランス生活文化論 LA」などの履修を推奨する。

【テキスト (教科書)】

なし。今年度についてはプリントを用いる。

【参考書】

*1年次に用いていた「フランス語1」の教科書

*仏和辞典

【成績評価の方法と基準】

「音読試験 [40%] + 筆記試験 [60%]」

ただし、授業中に指名するにあたってに、単語調べなどの予習をやっていない場合は、授業進行の妨害とみなし、その都度1点ずつ減点する。

教科書、辞書を入手しない学生は評価の対象外とする。

【学生の意見等からの気づき】

・学生の理解度に差が生じるため、その点に留意しながら授業を進める。

・文法事項にとどまらず、発音・アクセントについても重視する。

【その他の重要事項】

もちろん、この「フランス語3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILACのリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目のフランス語系の先生方主宰の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to read books and newspaper articles, to watch TV and to listen to the radio etc. in simple French on Sustainability.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to translate the text before each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Reading test: 40%

Term-end examination: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-II

2017年度以降入学者

竹本 研史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

人間環境学部2年 G-L 組の学生を対象にして、2年次以降の専門科目の学習に資するような、サステナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についてのフランス語圏テキストの読解演習および聴解演習、発音演習を行う。

【到達目標】

人間環境学部の学生が、各人の関心に応じたサステナビリティ研究を行うにあたって、簡単な内容のフランス語文献や新聞、雑誌記事を利用できるフランス語読解力をつけること、ならびに簡単な内容のテレビ、ラジオ、ネット動画などを視聴できる視聴能力を身につけることが目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

サステナビリティを中心とした現代フランス語圏社会の諸問題についての初歩的なフランス語テキストを読んだり、音声を聴いたり、映像を見たりする。

指定箇所の宿題 → 音読練習や聴解練習 → 学生が試訳や文法・語法事項、あるいは文化・社会に関する知識について発表 → 教員が既習文法事項を振り返りながら、内容を含め、関連画像・映像などを交え解説。

学生からの質問・意見や、提出物に対しては、基本的に授業時間内にフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業についての説明
第2回	読解演習 (1)	サステナビリティに関わる文献精読 (1)
第3回	読解演習 (2)	サステナビリティに関わる文献精読 (2)
第4回	聴解演習 (1)	サステナビリティに関わる聴解の訓練 (1)
第5回	聴解演習 (2)	サステナビリティに関わる聴解の訓練 (2)
第6回	映像分析演習 (1)	サステナビリティに関わる映像の分析訓練 (1)
第7回	映像分析演習 (2)	サステナビリティに関わる映像の分析訓練 (2)
第8回	第2-7回のまとめ	第2-7回の文法・語法事項やリスニングなどの復習
第9回	読解演習 (3)	サステナビリティに関わる文献精読 (3)
第10回	読解演習 (4)	サステナビリティに関わる文献精読 (4)
第11回	映像分析演習 (3)	サステナビリティに関わる映像の分析訓練 (3)
第12回	第9-11回のまとめ	第9-11回の文法・語法事項やリスニングなどの復習
第13回	音読・聴き取り練習	・音読試験 ・聴き取り練習

第14回 秋学期のまとめ

・期末試験

・期末試験の解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

準備学習・復習・宿題は当然必要。

準備学習と宿題には1時間、復習にも1時間必要であろう。

〈準備学習〉毎回教科書を熟読したうえで、各課の文法事項の説明を通じて疑問点を洗い出し、単語の意味を事前に調べておくこと。また、音声教材を利用しながら教科書に出てくるフランス語表現を繰り返し音読し発音を確認しておくこと。

〈復習・宿題〉教科書と音声教材を利用してその日に学んだ文法事項とフランス語表現の発音を定着させたいので、教員がその日に指定した宿題を必ずおこなうこと。

〈学外で〉何よりもまず、現場に赴き、何かがそこで生起している場面に立ち会うことが重要である。各人が積極的に出かけて、読書 (BDも含め)、映画、美術、音楽、演劇、ダンス、バレエ、料理、スポーツ、ファッションなどを通じて、フランス語およびフランス語圏文化に親しむ機会をつくること。そのための一助として、「フランス語の世界 LB」、「フランスの文化と社会 LB」、「フランス生活文化論 LB」などの履修を推奨する。

【テキスト (教科書)】

なし。今年度についてはプリントを用いる。

【参考書】

*1年次に用いていた「フランス語1」の教科書

*仏和辞典

【成績評価の方法と基準】

「音読試験 [40%] + 筆記試験 [60%]」

ただし、授業中に指名するにあたってに、単語調べなどの予習をやっていない場合は、授業進行の妨害とみなし、その都度1点ずつ減点する。

教科書、辞書を入手しない学生は評価の対象外とする。

【学生の意見等からの気づき】

・学生の理解度に差が生じるため、その点に留意しながら授業を進める。

・文法事項にとどまらず、発音・アクセントについても重視する。

【その他の重要事項】

もちろん、この「フランス語3」の授業だけでは、フランス語の運用能力を十全に身につけることは非常に困難である。本格的にフランス語の勉強を志すのであれば、選択外国語科目や総合科目のフランス語諸科目を積極的に受講してほしい。語学は筋トレである。

併せて、フランス語圏地域文化を学ぶために、ILACのリベラルアーツ科目のフランス語圏文化に関する科目や、総合科目のフランス語系の先生方主宰の「教養ゼミ」、それから国際文化学部のフランス語圏に関する他学部聴講科目をぜひ受講していただけたら幸いである。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This course introduces the foundations of the reading books and newspaper articles in French on Sustainability to students taking this course.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to read books and newspaper articles, to watch TV and to listen to the radio etc. in simple French on Sustainability.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to translate the text before each class meeting. Your study time will be more than two hours for a class.

【Grading Criteria /Policy】

Reading test: 40%

Term-end examination: 60%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語3-I

2017年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じ、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検3級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

最初の7回は文法を復習し、さらに未習箇所を勉強します(昨年の文法の教科書を持参してください)。それぞれの文法事項について、まず教師が説明し、その後学生が練習問題を解き、それについて教師が解説する、という形で授業を進めます。8回目からは講読の授業です。指名された学生が音読・和訳し、それを教師が修正・解説します。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション。	授業の進め方。補語人称代名詞、文法(1)。中性代名詞。
第2回	文法(2)。	複合過去、半過去。
第3回	文法(3)。	関係代名詞。
第4回	文法(4)。	受動態、現在分詞、ジェロンディフ。
第5回	文法(5)。	単純未来、代名動詞。
第6回	文法(6)。	条件法現在。
第7回	文法(7)。	接続法現在。
第8回	講読(1)。	テキスト「第1課/モン=サン=ミッシェル 世紀の大潮」を読む。
第9回	講読(2)。	テキスト「第1課/モン=サン=ミッシェル 世紀の大潮」を読む。
第10回	講読(3)。	テキスト「第2課/チュニジアの過去と現在」を読む。
第11回	講読(4)。	テキスト「第2課/チュニジアの過去と現在」を読む。
第12回	講読(5)。	テキスト「第4課/サロン・デュ・ショコラ」を読む(第3課は飛ばす)。
第13回	講読(6)。	テキスト「第4課/サロン・デュ・ショコラ」を読む。
第14回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

「文法と文化で学ぶ基礎フランス語」(昨年の教科書)

「アンフォ vol.5 フランス語でニュースを読む」、井上他著、駿河台出版社、1,600円+税

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50点、平常点50点の合計点で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業用資料をより理解しやすいように修正しました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができます。また、TOEICのスコアも975点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, Short reports: 25%, in-class contribution: 25%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語 3-II

2017年度以降入学者

柴崎 秀穂

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

フランスの時事についての平易なエッセイを読むことを通じて、フランス語の文法、語彙、構文の理解を深めます。

【到達目標】

フランス語の基本文法の理解を完成し、辞書を引きつつ、平易な文章を読めるようになること。また、仏検3級レベルへの早期の到達を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

あらかじめ発表者を指名し、指名された学生がテキストの該当箇所を音読し、和訳します。それをもとに教師が修正・説明・和訳し、文法を再確認したり、構文を分析したりしながら、テキストを読み進めていきます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	講読 (1)。	テキスト「第5課/エッフェル塔の著作権」を読む。
第2回	講読 (2)。	テキスト「第5課/エッフェル塔の著作権」を読む。
第3回	講読 (3)。	テキスト「第6課/ワートルローの戦い二百周年」を読む。
第4回	講読 (4)。	テキスト「第6課/ワートルローの戦い二百周年」を読む。
第5回	講読 (5)。	テキスト「第7課/カレーのジャングル」を読む。
第6回	講読 (6)。	テキスト「第8課/ラグビーと国籍」を読む。
第7回	講読 (7)。	テキスト「第9課/逸脱した、ある抗議行動」を読む。
第8回	講読 (8)。	テキスト「第10課/ルーブル美術館を走る？」を読む。
第9回	講読 (9)。	テキスト「第11課/観光の女王フランス」を読む。
第10回	講読 (10)。	テキスト「第12課/ブレグジットとは？」を読む。
第11回	講読 (11)。	テキスト「第13課/ニースのテロ事件」を読む。
第12回	講読 (12)。	テキスト「第14課/カマンベール・・・ただしノルマンディーの」を読む。
第13回	講読 (13)。	テキスト「第15課/フランスの家族と出生率」を読む。
第14回	期末テスト。	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

指名された学生は、しっかりと準備してくる。それ以外の学生も、最低限、単語だけは調べてきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

「アンフォ vol.5 フランス語でニュースを読む」、井上他著、駿河台出版社、1,600円+税

【参考書】

仏和辞典は必ず持参すること。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50点、平常点50点の合計点で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業用資料をより理解しやすいように修正しました。

【その他の重要事項】

若いころ短期間ですが、日仏会館日本事務所に勤務していました。仕事で使うフランス語および外国語一般について、アドバイスができます。また、TOEICのスコアも975点を持っていますので、英語との比較でフランス語を解説します。

【Outline (in English)】

・ Course outline

Reading easy essays about current affairs in France, you will improve your knowledge of French grammar and vocabulary.

・ Learning objectives

At the end of the course, students are expected to understand easy French books.

・ Lecture/Exercise

Before each class meeting, students will be expected to spend an hour to prepare for the course content.

・ Grading Criteria /Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

term-end examination: 50%, Short reports: 25%, in-class contribution: 25%

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス語の世界 L A

2017年度以降入学者

サブタイトル:

廣松 勲

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 2単位

定員制 (40)

その他属性: 〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、世界に広がる「フランス語圏 (フランコフォニー)」を知ることを主たる目的とします。そのような (フランス共和国を含めた) 広い地域をも対象としつつ、各地域にどのような地理・歴史的背景、社会状況、各種の文化 (言語、芸術、習慣、食生活など) が存在するのかについて検討する。

「フランス的なるもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、春学期は主にフランス共和国本土にある「地域圏」を中心として、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー (フランス語圏) の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なるもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

授業ではコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

提出されたコメントシートについて、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国及びフランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	① Île-de-France	・イル＝ド＝フランス地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
3	② Bretagne	・ブルターニュ地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など

4	③ Normandie	・ノルマンディー地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
5	④ Hauts-de-France	・オー＝ド＝フランス地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
6	⑤ Grand-Est	・グラン＝テスト地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
7	⑥ Pays de la Loire	・ペイ＝ド＝ラ＝ロワール地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
8	⑦ Centre-Val de Loire	・サントル＝ヴァル＝ド＝ロワール地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
9	⑧ Bourgogne-Franche Comté	・ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
10	⑨ Nouvelle-Aquitaine	・ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
11	⑩ Auvergne-Rhône-Alpes	・オーヴェルニュ＝ロース＝アルプ地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
12	⑪ Occitanie	・オクシタニー地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
13	⑫ Provence-Alpes-Côte d'Azur (PACA)	・プロヴァンス＝アルプ＝コート＝ダジュール地域圏 (PACA) に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
14	⑬ Corse まとめ	・コルス地方公共団体に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など ・春学期授業のまとめ ・秋学期授業の予告: 世界のフランコフォニー

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文 (場合によっては各地域圏サイト) を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
 - 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
 - 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい (或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため)。
 - 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点 (特に引用の仕方、参考文献の書き方) について確りと学習しておいて欲しい。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

- I. 以下の4冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
 - 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018年。本体2600円＋税
 - 2) ジャック・レヴィ編 (土居佳代子訳)『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018年。本体2800円＋税
 - 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・パロウ著 (立花英裕監修・中尾ゆかり訳)『フランス語のはなし: もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008年。本体2400円＋税
 - 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語: フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012年。本体3400円＋税
- II. 以下の2冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。
 - 5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France (フランス、地方を巡る旅)』駿河台出版社、2017年。本体1900円＋税

6) 小松祐子, Gilles Delmaire 著『Destination francophonie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅：改訂版)』駿河台出版社, 2019年. 本体2300円+税

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。

- ①平常点 (コメントシートなど) : 30%
- ②期末レポート : 70%

【学生の意見等からの気づき】

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】

・受講に当たって、フランス語に関する予備知識は必要ない。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of the French speaking world (la Francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) languages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to understanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc.): 30%,
term-end report: 70%.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル:

廣松 勲

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水4/Wed.4

単位数: 2単位

定員制 (40)

その他属性: 〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、世界に広がる「フランス語圏 (フランコフォニー)」を知ることを主たる目的とします。そのような (フランス共和国を含めた) 広い地域をも対象としつつ、各地域にどのような地理・歴史的背景、社会状況、各種の文化 (言語、芸術、習慣、食生活など) が存在するのかについて検討する。

「フランス的なもの」がどのような要素で成り立っているのかを広く紹介しながら、新たな視点から「フランス語の世界」を把握できるようにすることを目指す。

なお、秋学期はフランス共和国本土以外の「地域圏」、そしてフランス共和国以外の「フランコフォニー」について扱い、それぞれの地域の特性について紹介・解説する。

【到達目標】

- 1) フランス共和国の各地域の紹介を介して、その差異と共通性の大枠を理解できる。
- 2) フランコフォニー (フランス語圏) の紹介を介して、フランス語の世界的拡がりについて理解できる。
- 3) 「フランス的なもの」が現在どのような要素によって成り立っているのかについて、簡単に説明ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業については、主に講義形式で進める。各回において一つの地域または国の歴史・地理・文化を概説しながら、フランス語の世界の多様性・複雑性を解説する。また、講義形式に加えて、映像資料や音楽の視聴も取り入れることで、少しでも具体的に各地域・国を想像できるように授業を進める。

毎回の授業において学生にはコメントシートを提出してもらうことで、予習・復習のきっかけとしてもらう。期末レポートでは一つの地域または国について、選択したテーマから調査結果をまとめてもらうが、そのためにできるだけ参考資料の提示に努める。

毎回の授業においてコメントシートを執筆・提出してもらい、できるだけ次回以降の授業に反映させる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	・本授業の流れについて説明 ・フランス共和国外にある県・地域圏について簡単に紹介
	フランス共和国外にある地域圏、フランコフォニーの成立経緯	・フランコフォニーの地理・歴史について簡単に紹介
2	カリブ海域の地域圏 Martinique et Guadeloupe	・カリブ海域の地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など

3	南米大陸の地域圏 Guyane française	・南米大陸の地域圏に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
4	インド洋の地域圏 Réunion et Mayotte	・インド洋の地域研に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
5	太平洋の海外領土 Nouvelle-Calédonie	・太平洋の海外領土に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
6	北米大陸のフランス語圏① Québec (Canada)	・北米大陸カナダにおけるフランコフォニーに関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
7	北米大陸のフランス語圏② Louisiane	・北米大陸アメリカ合衆国におけるフランコフォニーに関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
8	北アフリカのフランス語圏① Algérie	・マダガスカル中央部のフランコフォニーに関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
9	北アフリカのフランス語圏② Maroc et Tunisie	・マダガスカル西部および東部のフランコフォニーに関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
10	サハラ以南のフランス語圏① Sénégal	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧仏領) に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
11	サハラ以南のフランス語圏② Congo-Kinshasa et Congo-Brazzaville	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧仏領およびベルギー領) に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
12	サハラ以南のフランス語圏③ Rwanda	・サハラ以南アフリカのフランコフォニー (旧ベルギー領) に関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
13	ヨーロッパのフランス語圏① Belgique	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
14	ヨーロッパのフランス語圏② Suisse	・西ヨーロッパのフランコフォニーに関する解説: 地理・歴史・言語・諸文化など
	まとめ	・秋学期授業のまとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1) 各地域圏に関する情報を、主に学術書や論文 (場合によっては各地域圏サイト) を参照しつつ、予習・復習を行って欲しい。
 - 2) 映像資料については、多くの場合、授業内で全てを見ることができないわけではないため、できるだけ個人的に視聴して欲しい。
 - 3) 期末レポートの執筆に向けて、各地域圏を調べる際の「きっかけ」となる「テーマや関心領域」を早めに決定して欲しい (或る程度、自分の「テーマや関心領域」を特定しないと、レポート執筆だけでなく、その準備も難しいと思われるため)。
 - 4) 期末レポートの執筆に向けて、レポート執筆の方法・手続き・注意点 (特に引用の仕方、参考文献の書き方) について確りと学習しておいて欲しい。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合計4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

- ・教科書は、特になし
- ・原則、各回において資料を配布する予定

【参考書】

1. 以下の4冊の参考書は、フランス共和国やフランコフォニーについて基礎知識が得られるため、簡単にでも参照するようにしてほしい。
- 1) 剣持久木編著『よくわかるフランス近現代史』ミネルヴァ書房、2018年。本体2600円+税
- 2) ジャック・レヴィ編 (土居佳代子訳)『地図で見るフランスハンドブック』原書房、2018年。本体2800円+税
- 3) ジャン＝ブノワ・ナドー、ジュリー・パーロウ著 (立花英裕監修・中尾ゆかり訳)『フランス語のはなし: もうひとつの国際共通語』大修館書店、2008年。本体2400円+税
- 4) 鳥羽美鈴著『多様性の中のフランス語: フランコフォニーについて考える』関西学院大学出版会、2012年。本体3400円+税

II. 以下の2冊の参考書はフランス語教科書であるが、比較的情報が充実しているため、フランス語学習者は参照してみたい。

5) Fabienne Guillemin 著『Tour de France (フランス、地方を巡る旅)』駿河台出版社, 2017年. 本体1900円+税

6) 小松祐子, Gilles Delmaire 著『Destination francophonie: nouvelle édition (フランコフォニーへの旅: 改訂版)』駿河台出版社, 2019年. 本体2300円+税

【成績評価の方法と基準】

・平常点と期末レポートに基づき、総合的に評価する。

①平常点(コメントシート等)：30%

②期末レポート：70%

【学生の意見等からの気づき】

・歴史的要素の説明が多くなりがちであるため、もう少し他の社会文化的要素の説明にも時間をさけるように心がけたい。

【その他の重要事項】

・受講に当たって、フランス語に関する予備知識は必要ない。

【Outline (in English)】

This course introduces the foundations of the French speaking world (la Francophonie) including the French republic. Students taking this course become able to understand in summary the situations of geography, history, (regional) languages and various cultures in each region or country.

The goals of this course are to understanding and explaining the socio-cultural situation of each French regions.

Before and after each class meeting, students will be expected to spend four hours to read the relevant documents.

Your overall grade in the class will be decided based on the followings:

in class contributions (discussion, reaction paper, etc.): 30%,
term-end report: 70%.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語コミュニケーション(初級) I 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Se présenter	自己紹介
2	Présenter quelqu'un	第三者の紹介
3	Parler des choses que l'on possède ; parler des animaux domestiques	持っている物について話す。 ペットについて話す。
4	「J'adore ça !」 ; les petits plaisirs de la vie	aimer動詞を使い、好き嫌いについて話す。
5	「Je pense que les Français sont ...」 Les stéréotypes sur les Français	フランス人のステレオタイプ
6	「Vous avez des frères et sœurs ?」	兄弟がいますか。家族について話す
7	Que faites-vous le week-end ? Verbes aller et faire.	週末の過ごし方(ビデオ)
8	À la boulangerie	パン屋で (ビデオ)
9	「Je me lève à 7 heures.」	日常生活を話す
10	Décrire quelqu'un : apparence physique et vêtements	人を描写する。外見、服装
11	Un café français	フランスのカフェ (ビデオ)

12	Présentation de la France	フランスの簡単な紹介 (ビデオ)
13	「Où voudriez-vous partir en vacances ?」	「バカンスでどこに行きたいですか。」夏休みしたいことを言う。
14	révisions	復習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

教科書は不要です。

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

平常点100% (授業中の発言50%及び宿題の提出50%)。この授業は5回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランス人の生活の話をもっとします。

【Outline (in English)】

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goal of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better knowledge of everyday life in France. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

- In-class contribution and participation: 50%
- Homework: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

フランス語コミュニケーション(初級) II 2017年度以降入学者

ニコラ ガイヤール

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初心者向けの会話の授業です。フランス人の日常生活に触れながら、フランス語のコミュニケーションの基礎を学ぶことができます。

【到達目標】

この授業の目的はフランス語でのベーシックコミュニケーション能力とフランスに対する好奇心や興味を高めることです。日常生活に必要な表現を取得することができます。その上、フランス語圏の文化や社会の面白いテーマを取り上げます。聞く、読む、話す、書くの4つの能力も鍛えます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音声で聞き取りをし、文法の練習問題を行います。その後、ペアになり会話のロールプレーをします。また、フランス文化に関するテーマについてディスカッションをし、フランス語で文章をまとめます。基本的に授業時間内にフィードバックを行うが、LMSなどを活用する場合もある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Qu'est-ce que vous avez fait pendant les vacances ?	ヴァカンスの時したことを言う。(ビデオ)
2	Chez le boucher	肉屋で (ビデオ)
3	Parler de son petit boulot	バイトについて話す (ビデオ)
4	Protester	クレームを言う (音声)
5	Parler de sa chambre	自分の部屋について話す。(ビデオ)
6	Acheter des vêtements	服を買う会話 (ビデオ)
7	C'est comment chez vous ?	自分の住んでいる家について話す (ビデオ)
8	Parler de son quartier	自分の住んでいる町を話す。(ビデオ)
9	「J'ai déjà fait de la plongée.」	スキューバダイビングをやったことある」経験・したことを話す
10	Présentation de Paris	パリの紹介のビデオ
11	Parler de sa ville	自分の住んでいる市町村について話す。(ビデオ)
12	Noël en France	フランス人のクリスマスの過ごし方
13	Parler de ses bonnes résolutions	新年の抱負を言う
14	Révision	復習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前の授業の勉強したことを生かし会話を書いて、提出します。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

教科書は不要です。

【参考書】

仏和・和仏の辞書があると便利です。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業中の発言50%や宿題の提出50%)。この授業は5回以上欠席する者は評価の対象外になりますので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

フランス人の生活をもっと話します。

【Outline (in English)】

This course introduces French conversation and culture to students taking this course at a beginner level. Students will improve their speaking, listening and writing skills. The goal of this course is to practice French conversation at beginner level and help students have a better knowledge of everyday life in France. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Your overall grade in the class will be decided based on the following:

- In class contribution and participation: 50%

- Homework: 50%

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

時事フランス語 I

2017年度以降入学者

大中 一彌

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉〈ダ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この科目「時事フランス語 I」の目的は、あなたのフランス語を、できる限り専門的な学びに近づけ、就職など実社会で役立てていくための、いわば基礎体力を作ることにあります。毎週、フランス語圏の公共放送のニュースサイト (TV5Monde や Radio France Internationale) で提供されている無料の教材に、皆で取り組みます。やさしい内容から始まりますので、1年生でも心配はいりません。この授業のテーマを紹介するショート動画をご覧ください <https://youtube.com/shorts/0NmZ4iyvSQ?feature=shared>

【到達目標】

リスニング力や語彙 (ごい) 力を増すことが「時事フランス語」科目の全体としての目標です。ただし、スタート地点が、人により異なりますので、ゴールとして目指すべき到達目標も人により異なります。次のA～Cのカテゴリー分けを参考に、あなた自身の到達目標を設定しましょう。

・カテゴリーA (大学で初めてフランス語を学んだ人の場合)：「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1. 1、「実用フランス語技能検定試験」4級～5級にあたるリスニング力や語彙 (ごい) 力をもっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第1言語 (日本で主に学校教育を受けた人なら日本語) であれば、言語表現としておおむね適切なやりとりをすることができる。

・カテゴリーB (フランス語の既習者の場合)：「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の2科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベルA1～B2、「実用フランス語技能検定試験」準1級～3級にあたるリスニング力や語彙 (ごい) 力をもっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、フランス語で、その人の語学レベルに見合ったやりとりをすることができる。

・カテゴリーC (中学や高校における教育を主にフランス語圏で受けてきた学生や、フランス語圏からの留学生の場合)：「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の2科目を履修し終えた時点で、教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、フランス語で、言語表現として適切な形で組み立てられた論評 (commentaire) を述べるることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】で示した2つのニュースサイトに掲載されている教材に、皆で取り組みます。外国人向けに「やさしいフランス語 français facile」で制作された番組にもとづく、実践的な教材が多いです。聞き取り (リスニング) やシャドーイング、内容面の理解 (時事問題に関する知識) を確認しながら、授業は進みます。この授業では、わからない、知らないからという理由で怒られたり、馬鹿にされたりすることはありません。質問するのが恥ずかしいという受け身の学校文化から、フランス語で分からないこと、できないことを1つずつ減らしていこうという積極的な方向に意識を変えるのが、この授業の狙いです。この授業は基本的に対面ですが、体調不良等を理由とするリアルタイム・オンラインでの参加に積極的に対応します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	世界を知るためのもう1つの視点	パリ18区に住む小学3年 (CE2) 生たちのなぞなぞから見える世界
Séance 2	現代フランスの生活風景	結婚のプロポーズ (同性婚) やスクワット (空き住居の不法占拠) など
Séance 3	フランス移住の第一歩は共和主義の理解から	国歌ラ・マルセイエーズが歌えるのは、フランスではポイント高いです。
Séance 4	グローバル化 (mondialisation) に対するフランス的見方 = ものづくりの衰退	フランスの伝統的な産品を知っているアジアからの留学生がいたら、フランスの人は喜ぶでしょう。
Séance 5	グアドループ：中南米のカリブ海に浮かぶフランスの海外県	クレオール語に代表される文化の混雑で有名。1980年代には「ワールド・ミュージック」としてグアドループ発信のズークが流行
Séance 6	デモやストライキ	ストライキになると色々不便だと怒る人もいる一方、ストライキは労働者の重要な権利とみなされてもいます。
Séance 7	フランス語で炎暑は canicule といいます	毎夏、山火事や40度を超える高温が南ヨーロッパを中心に伝えられるようになりました。
Séance 8	カンヌ映画祭	この季節に毎年開かれる有名文化イベント。娯楽作よりも芸術性の高い作品が受賞する傾向があり、日本人の活躍が目立ちます。
Séance 9	ラップとユーチューバー	さまざまな国や地域の出身者が、フランス語ラップのYouTube動画を制作
Séance 10	男女平等の理想と現実	女性の就業率が比較的高いフランスだが、男女の賃金格差など課題も残る。女性の権利への関心は高い。
Séance 11	ツール・ド・フランス	この季節に毎年開かれる有名スポーツイベント。7月の3週間、フランスや隣接国の路上を自転車レースが駆け抜ける。
Séance 12	格差社会アメリカの批判	大企業の経営者たちとその従業員の給与格差が大きすぎるというのも、フランス語圏のメディアではありがちな話題
Séance 13	環境問題の語彙 (ごい)・表現①	絶滅危惧種を守ることをめぐる外交。「フカヒレ」や「象牙」が登場します。
Séance 14	環境問題の語彙 (ごい)・表現②	コンゴ民主共和国 (RDC) はフランス語圏ニュースではよく登場する国です。内戦などの要因で安全を脅かされる国立公園職員たちの話題

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・「時事フランス語 I」のような科目では、1回の授業につき、1時間以上、授業時間外に学習をおこなうことが、法政大学では標準になっています。

・「毎回授業内容表 Tableau de bord / Dashboard」等に教材へのリンクが置いてあります。

・(ア) 音声ファイルの内容でシャドーイングできる範囲を、1単語→1文→複数の文、のように広げていくことや、(イ) 番組内でひんぱんに使われる語彙 (ごい) を分野ごとに整理して覚えるといったことに取り組むと、実践的な語学力が向上します。

・「毎回授業内容表」は次のリンクから閲覧してください <https://docs.google.com/spreadsheets/d/13mVYBE9PZHL3Bx5cPerl8-TLmgnDYe1pshhEHCELDQ/edit?usp=sharing> (学内生のみ、要統合認証)

【テキスト (教科書)】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>

2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>

※フランス語圏の公共放送が提供し、無料、かつ全世界のフランス語学習者が用いている教材です。

【参考書】

仏和辞典が必要です。持っていない人は、法政大学図書館オンラインデータベース上で『ボケプロ仏和』『ロベール仏和』が利用できます (自宅など学外からもアクセス可)。

【成績評価の方法と基準】

1. 授業への毎週の参加 (50%)
 2. 授業への貢献の量と質、到達目標の達成に向けた努力 (50%)
 3. 実用フランス語技能検定試験 (仏検) や DELF や TCF を受検したか、また合格したか (100%の枠外で5~20%程度の加点をします)
- ※期末試験、期末レポートはありません。

【学生の意見等からの気づき】

・フランスに留学して、リスニング力や語彙 (ごい) の不足を痛感したという声をよく耳にします。その一方で、リスニング力や語彙を伸ばす目的で、TV5Monde や Radio France Internationale (RFI) を留学先で勉強したという経験談も聞きます。TV5Monde や RFI は、日本でも視聴できますが、フランス語圏に詳しくない人が独りで学ぼうとしても、ニュースの内容がよく理解できない場合があります。この「時事フランス語 I」を履修すれば、日本語によるニュースや表現の解説を、あなたのフランス語発音に対する指導とともに、学ぶことができます。

・努力を続けるにはモチベーションが必要です。モチベーションを高めるには、じっさいに手の届きそうな目標をもつとよいでしょう。下記のリンク先にある資料が、目標やモチベーションについて考えるための、参考となればさいわいです <http://bit.ly/3UKWrRw>

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンやタブレット、ノートパソコン等の情報端末が必要です。

【その他の重要事項】

「時事フランス語」って怖いのかな、自分に向いているのかどうか...と迷っている方は、次のリンク先にあるプレイズメント・テストをお試し受験してみてください。問題文は英語とフランス語で書かれています。「Commencer」と書かれたボタンをクリックすると問題が表示されます。 <https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1>

もし半分ぐらい正答できるようなら、この授業を履修するのにちょうど良いレベルではないかと思います。

【Outline (in English)】

【Outline and objectives】

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

【Goal】

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyû.

** Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

【Method(s)】

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

The language of instruction in the classroom is primarily French, while administrative information will be provided in Japanese via LMS and e-mail.

[Work to be done outside of class (preparation, etc.)]

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo.

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

【References】

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)

2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)

3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)

4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)

5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

【Grading criteria】

Your final grade in this seminar will be decided on the following:

1. Quantity and quality of "summary comments" = 50%
2. In-class activity participation and various contributions to the class = 50%

【Equipment student needs to prepare】

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

【Others】

1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.

2) The above schedule is still subject to change.

LANf200LA (フランス語 / French language education 200)

時事フランス語 II

2017年度以降入学者

大中 一彌

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火3/Tue.3

単位数: 1 単位

定員制 (30)

その他属性: 〈他〉〈優〉〈S〉〈ダ〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この科目「時事フランス語 II」の目的は、あなたのフランス語を、できる限り専門的な学びに近づけ、就職など実社会で役立てていくための、いわば基礎体力を作ることにあります。毎週、フランス語圏の公共放送のニュースサイト (TV5Monde や Radio France Internationale) で提供されている無料の教材に、皆で取り組みます。やさしい内容から始まりますので、1年生でも心配はいりません。この授業のテーマを紹介するショート動画をご覧ください <https://youtube.com/shorts/RQtay4cmhW8?feature=shared>

【到達目標】

リスニング力や語彙 (ごい) 力を増すことが「時事フランス語」科目の全体としての目標です。ただし、スタート地点が、人により異なりますので、ゴールとして目指すべき到達目標も人により異なります。次の A~C のカテゴリー分けを参考に、あなた自身の到達目標を設定しましょう。

・カテゴリー A (大学で初めてフランス語を学んだ人の場合): 「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の 2 科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベル A 1. 1、「実用フランス語技能検定試験」4 級~5 級にあたるリスニング力や語彙 (ごい) 力をもっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、第 1 言語 (日本で主に学校教育を受けた人なら日本語) であれば、言語表現としておおむね適切なやりとりをすることができる。

・カテゴリー B (フランス語の既習者の場合): 「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の 2 科目を履修し終えた時点で、ヨーロッパ言語共通参照枠のレベル A 1~B 2、「実用フランス語技能検定試験」準 1 級~3 級にあたるリスニング力や語彙 (ごい) 力をもっている。教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、フランス語で、その人の語学レベルに見合ったやりとりをすることができる。

・カテゴリー C (中学や高校における教育を主にフランス語圏で受けてきた学生や、フランス語圏からの留学生の場合): 「時事フランス語 I」「時事フランス語 II」の 2 科目を履修し終えた時点で、教材でとりあげられた時事問題の内容に関し、フランス語で、言語表現として適切な形で組み立てられた論評 (commentaire) を述べるることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】で示した 2 つのニュースサイトに掲載されている教材に、皆で取り組みます。外国人向けに「やさしいフランス語 français facile」で制作された番組にもとづく、実践的な教材が多いです。聞き取り (リスニング) やシャドーイング、内容面の理解 (時事問題に関する知識) を確認しながら、授業は進みます。この授業では、わからない、知らないからという理由で怒られたり、馬鹿にされたりすることはありません。質問するのが恥ずかしいという受け身の学校文化から、フランス語で分からないこと、できないことを 1 つずつ減らしていこうという積極的な方向に意識を変えるのが、この授業の狙いです。この授業は基本的に対面ですが、体調不良等を理由とするリアルタイム・オンラインでの参加に積極的に対応します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
Séance 1	多様性と出会うためのもう 1 つの入り口	フレキシタリアン・ダイエットのフランスの駄菓子 (食文化から近づいてみる)
Séance 2	気が早いですがクリスマスの話題	宗教を信じる・信じない、家族のあり方、消費社会について考えます。
Séance 3	移民の気持ちを (教員の補助付きで) 疑似体験してみる。	移民を念頭にいたフランス語検定試験の例題に取り組む。
Séance 4	職業と平等	職業名の女性形を認めさせるといふフェミニズムのかたち
Séance 5	デパートの歴史	19 世紀のパリの文化的影響力は大きく、鉄筋とガラスで作られたデパートは最先端の建築やファッションの舞台だった
Séance 6	フランスの「サラメシ」	フランスの会社員たちは昼食に何をどんな風に食べているのか?
Séance 7	モナ・リザを一言でたとえるなら?	ポルトレ・シノワについて学びます。
Séance 8	ある日のニュースのヘッドライン	年金問題やローマ教皇が登場
Séance 9	少子化問題	2010 年を越えたあたりから出生率が低下傾向のフランス。その原因は?
Séance 10	コートジボワールから見た世界	起業家の女性が訪れたいと夢見る国は?
Séance 11	ブルキナファソから見た世界	外からの支援ではなく、地元で根差した住宅の改善とは?
Séance 12	アフリカやアジアからヨーロッパを目指す多くの避難民を渡航させる業者たち	どんな国にでも行けるパスポートは、あなたを含めた世界の握りの人しかもっていない。
Séance 13	ボーヴォワール	« On ne naît pas femme, on le devient. » という文を知っておきましょう。
Séance 14	エメ・セゼール	ネグリチユードとは?

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

・「時事フランス語 II」のような科目では、1 回の授業につき、1 時間以上、授業時間外に学習をおこなうことが、法政大学では標準になっています。

・「毎回授業内容表 Tableau de bord / Dashboard」等に教材へのリンクが置いてあります。

・(ア) 音声ファイルの内容でシャドーイングできる範囲を、1 単語 → 1 文 → 複数の文、のように広げていくことや、(イ) 番組内でひんぱんに使われる語彙 (ごい) を分野ごとに整理して覚えるといったことに取り組むと、実践的な語学力が向上します。

・「毎回授業内容表」は次のリンクから閲覧してください <https://docs.google.com/spreadsheets/d/13mVYBEm9PZHL3Bx5cPerl8-TLmgndYe1pshhEHCeLDQ/edit?usp=sharing> (学内生のみ、要統合認証)

【テキスト (教科書)】

1. Radio France Internationale - RFI Savoirs <https://savoirs.rfi.fr/fr>
2. TV5Monde - Apprendre le français <https://apprendre.tv5monde.com/fr>

※フランス語圏の公共放送が提供し、無料、かつ全世界のフランス語学習者が用いている教材です。

【参考書】

仏和辞典が必要です。持っていない人は、法政大学図書館オンラインデータベース上で『ポケプロ仏和』『ロベール仏和』が利用できます (自宅など学外からもアクセス可)。

【成績評価の方法と基準】

1. 授業への毎週の参加 (50%)

2. 授業への貢献の量と質、到達目標の達成に向けた努力（50%）
3. 実用フランス語技能検定試験（仏検）やDELFLやTCFを受検したか、また合格したか（100%の枠外で5～20%程度の加点をします）※期末試験、期末レポートはありません。

[学生の意見等からの気づき]

・フランスに留学して、リスニング力や語彙（ごい）の不足を痛感したという声をよく耳にします。その一方で、リスニング力や語彙を伸ばす目的で、TV5MondeやRadio France Internationale (RFI)を留学先で勉強したという経験談も聞きます。TV5MondeやRFIは、日本でも視聴できますが、フランス語圏に詳しくない人が一人で学ぼうとしても、ニュースの内容がよく理解できない場合があります。この「時事フランス語 I」を履修すれば、日本語によるニュースや表現の解説を、あなたのフランス語発音に対する指導とともに、学ぶことができます。

・努力を続けるにはモチベーションが必要です。モチベーションを高めるには、じっさいに手の届きそうな目標をもつとよいでしょう。下記のリンク先にある資料が、目標やモチベーションについて考えるための、参考となれば幸いです。 <https://bit.ly/42ZK1ax>

[学生が準備すべき機器他]

音声ファイルやストーリーミング動画をWifiのある環境で視聴したり、学習支援システム-HoppiiやGoogle Classroomを閲覧するために、タブレットやノートパソコン等の情報端末が必要です。

[その他の重要事項]

「時事フランス語」って怖いかな、自分に向いているのかどうか…と迷っている方は、次のリンク先にあるプレイズメント・テストをお試し受験してみてください。問題文は英語とフランス語で書かれています。「Commencer」と書かれたボタンをクリックすると問題が表示されます。<https://savoirs.rfi.fr/fr/apprendre-enseigner/langue-francaise/test-de-placement-a1/1>

もし半分ぐらい正答できるようなら、この授業を履修するのにちょうど良いレベルではないかと思います。

[Outline (in English)]

[Outline and objectives]

This course aims to promote students' understanding of French society, politics, and news media. An emphasis is placed on oral communication and using specialized vocabulary. By participating in proposed activities, students will become familiar with French-speaking news websites.

[Goal]

The goals to be achieved differ according to the starting level of the student.

* Learning objective for false beginners and intermediate learners: the student will be able to acquire, at the end of the two semesters of "Jiji-Furansugo", a linguistic ability equivalent to level A2 of the European Framework of Reference for Languages or to Futsuken jun 2 kyū.

** Pedagogical goal for those who already have a more or less good command of the French language (learners at the higher level as well as French-speaking international students): the student will be able to formulate relevant comments that demonstrate a solid understanding of local and global issues covered by the French-speaking media.

[Method(s)]

In each class session, the teacher will suggest materials available on the Internet. Learners will be asked to identify the essential elements. To do so, they are allowed to consult books and dictionaries written in their respective first language (the "mother tongue"). However, all participants are expected to express themselves in French, and to contribute to the discussion on what is said in the material.

The language of instruction in the classroom is primarily French, while administrative information will be provided in Japanese via LMS and e-mail.

[Work to be done outside of class (preparation, etc.)]

1) Try to make use of the learning materials yourself. The URLs for these materials are already listed in the Dashboard for Jiji-Furansugo.

2) According to the Standards for the Establishment of Universities, the minimum time of preparation and review required to earn two credits for a lecture or seminar is four hours per session.

[References]

1. Nexis Unis (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
2. PressReader (Hosei University Library - E Database : Overseas Newspapers)
3. Cairn.info (Hosei University Library - E Database : Overseas articles)
4. Encyclopædia Universalis (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias)
5. Shogakukan Robert Grand Dictionnaire Français-Japonais (Hosei University Library - E Database : Dictionaries/Encyclopedias - « JapanKnowledge »)

Note: Off-campus access to these databases requires a connection through a Virtual Private Network ("VPN"). See the Hosei Network System Service website for information on how to connect to the university VPN. URL <https://netsys.hosei.ac.jp/>

[Grading criteria]

Your final grade in this seminar will be decided on the following:

1. Quantity and quality of "summary comments" = 50%
2. In-class activity participation and various contributions to the class = 50%

[Equipment student needs to prepare]

A stable and unlimited internet connection as well as a personalized IT device such as a computer, tablet or smartphone are required. Two LMS platforms are used, of which (1) Google Classroom is mainly used to share documents and (2) learners can consult some notes on the Hoppii website. In case of remote courses, video conferencing systems such as Zoom or Google Meet will be used to ensure the educational continuity.

[Others]

- 1) If you are uncertain of your language level, try taking a "placement test" at the A1 level on the RFI website <https://savoirs.rfi.fr/en/apprendre-enseigner/langue-fran%C3%A7aise/test-de-placement-a1/1> Enroll in this course if you can answer more than half of the questions correctly.
- 2) The above schedule is still subject to change.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランスの文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

石川 典子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、映画を通して、フランスの文化と社会の様々な側面について考えます。他国の異なる文化や社会を知ることによって自国を俯瞰的に見る視点を身につけましょう。今学期は、主に「移民」をテーマに設定します。フランス映画に関する歴史についての理解を深め、作品から見て取った諸問題をどのようなアプローチによって論じうるのかといった理論的な側面についても扱う予定です。

フランスの文化を中心に学びますが、フランス語を学習している必要はありません。様々な知識を吸収して視野を広げたいという意欲を受講生には求めます。

【到達目標】

本授業では、他国の異なる文化や社会を知ることによって、自国を俯瞰的に見る視点を身につけることを目指します。また、受講生各自が多様な文化や社会のあり方について幅広い知識と、学習したことについて自分の言葉で表現する表現力を習得することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

主に「移民」をテーマとした作品を取り上げ、その中で表象された諸問題について考えます。授業内で扱う作品は必ずしも「面白い」ものではありませんが、映像を「読む」とはどういうことか、考えてみましょう。

各回の授業では、映画を見ながらワークシートに回答していただきます。詳しい授業の進め方については、初回授業時にガイダンスを行います。学生からの質問には、授業時間内、または授業支援システムを通じてフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	ハリウッド製作『ヒューゴの不思議な発明』(2011)を通して、フランス映画史を概観する。
2	フランス映画の歴史 (1)	『工場の出口』(1895)や『月世界旅行』(1902)などといった作品を通じて、音と映像とが融合していく映画の技術＝芸術史を確認する。
3	フランス映画の歴史 (2)	『勝手にしやがれ』(1960)を通して、ヌーヴェル・ヴァーグとは何かを確認する。
4	作品分析 (1)	『憎しみ』(1995)を通して、論点を見出す。
5	映画理論概論	映画作品を科学的に分析する諸アプローチを概観する。

6	作品分析 (2)	『憎しみ』(1995)を通して見出した論点を、映画理論の諸アプローチから深める。
7	作品分析 (3)	『最高の花婿』(2014)を通して、現代フランス社会における移民の問題を概観する。
8	フランスという「国」の成立	「自由・平等・友愛」という「共和国」という理念について確認する。
9	作品分析 (4)	『パリ20区僕たちのクラス』(2008)を通して、論点を見出す。
10	現代フランスの諸問題	現代社会における移民問題や、「ライシテ」という考えについて理解を深める。
11	作品分析 (5)	『パリ20区僕たちのクラス』(2008)を通して見出した論点を、映画理論の諸アプローチから深める。
12	作品分析の実践演習 (1)	『レ・ミゼラブル』(フランス映画、2019)を通して、最終課題に向けた論点を見出す。
13	作品分析の実践演習 (2)	『レ・ミゼラブル』(フランス映画、2019)を通して、最終課題に向けた論点を深める。
14	期末試験	これまでの学習の理解の確認。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。取り上げる映画作品は授業内で全て見ることが出来ない可能性があるため、興味のある方はAVライブラリなどで借りて全体を観ておくとうまいかと思えます。

授業内で様々な参考文献を紹介しますが、期末試験の準備のためには、できるだけ多くの参考文献にあたることを推奨します。

【テキスト (教科書)】

指定する教科書はありません。

【参考書】

中条省平『フランス映画史の誘惑』集英社新書
朝比奈美知子／横山安由美編著『フランス文化 55のキーワード』ミネルヴァ書房
三浦信／西山教行編著『現代フランス社会を知るための62章』明石書店
岩本憲児／波多野哲朗編『映画理論集成』フィルムアート社
岩本憲児／武田潔／斉藤綾子編『新』映画理論集成1(歴史／人種／ジェンダー)』フィルムアート社
その他、授業中にも適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業各回でのワークシートへの取り組み50%、期末試験：50%で総合的に評価します。受講生各位の積極的な意見の表明を期待します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】

扱う予定の作品は変更になる可能性があります。期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に則って申告された場合のみ対応します。

【Outline (in English)】

This course deals with various aspects of lives in France with the aid of movies.

The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, as well as to reflect on various problems in the French society.

The students are expected to see a whole film, which we can see only partially during the class, and to make some researches on subjects concerning social or historical backgrounds of the film. After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

Grading will be decided based on in-class contribution (50%) and term-end examination(50%).

This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランスの文化と社会 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル:

石川 典子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 木2/Thu.2

単位数: 2単位

定員制 (30)

その他属性: 〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に続いて、この授業では映画を通して、フランスの文化と社会の様々な側面について考えます。他国の異なる文化や社会を知ることによって自国を俯瞰的に見る視点を身につけましょう。今学期は、主に「女性という性 (ジェンダー)」をテーマに設定します。フランス映画に関する歴史についての理解を深め、作品から見て取った諸問題をどのようなアプローチによって論じようのかといった理論的な側面についても扱う予定です。

フランスの文化を中心に学びますが、フランス語を学習している必要はありません。様々な知識を吸収して視野を広げたいという意欲を受講生には求めます。

【到達目標】

本授業では、他国の異なる文化や社会を知ること、自国を俯瞰的に見る視点を身につけることを目指します。また、受講生各自が多様な文化や社会のあり方について幅広い知識と、学習したことについて自分の言葉で表現する表現力を習得することを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

主に「女性 (ジェンダー)」をテーマとした作品を取り上げ、その中で表象された諸問題について考えます。授業内で扱う作品は必ずしも「面白い」ものではありませんが、映像を「読む」とはどういうことか、考えてみましょう。

各回の授業では、映画を見ながらワークシートに答えていただきます。詳しい授業の進め方については、初回授業時にガイダンスを行います。学生からの質問には、授業時間内、または授業支援システムを通じてフィードバックしていきます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	アカデミー賞受賞作『アーティスト』(2011)を通して、フランス映画史を概観する。
2	フランス映画の歴史 (1)	『ロシュフォールの恋人たち』(1967)を通じて、音と映像とが融合していく映画の技術=芸術史を確認する。
3	フランス映画の歴史 (2)	『去年マリエンバードで』(1961)を通して、「左岸派」とは何かを確認する。
4	作品分析 (1)	『アデル、ブルーは熱い色』(2013)を通して、論点を見出す。
5	映画理論概論	映画作品を科学的に分析する諸アプローチを概観する。

6	作品分析 (2)	『アデル、ブルーは熱い色』(2013)を通して見出した論点を、映画理論の諸アプローチから深める。
7	作品分析 (3)	『ココ・アヴァン・シャネル』(2009)を通して、社会における女性性の問題を概観する。
8	フランスという「国」の成立	近代国家が形成される過程で、ジャンヌ・ダルクという人物像が果たした役割について考える。
9	作品分析 (4)	『あのこと』(2021)、『シモーヌ フランスに最も愛された政治家』(2021)を通して、論点を見出す。
10	現代フランスの諸問題	現代社会における女性問題や、「ジェンダー」という考えについて理解を深める。
11	作品分析 (5)	『あのこと』(2021)、『シモーヌ フランスに最も愛された政治家』(2021)を通して見出した論点を、映画理論の諸アプローチから深める。
12	作品分析の実践演習 (1)	『燃ゆる女の肖像』(2019)を通して、最終課題に向けた論点を見出す。
13	作品分析の実践演習 (2)	『燃ゆる女の肖像』(2019)を通して、最終課題に向けた論点を深める。
14	期末試験	これまでの学習の理解の確認。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。取り上げる映画作品は授業内で全て見ることが出来ない可能性があるため、興味のある方はAVライブラリなどで借りて全体を観ておくとうまいかと思えます。

授業内で様々な参考文献を紹介します。全てを読む必要はありませんが、期末試験の準備のためには、できるだけ多くの参考文献にあたることを推奨します。

【テキスト (教科書)】

指定する教科書はありません。

【参考書】

中条省平『フランス映画史の誘惑』集英社新書
朝比奈美知子/横山安由美編著『フランス文化 55のキーワード』ミネルヴァ書房
三浦信/西山教行編著『現代フランス社会を知るための62章』明石書店
岩本憲児/波多野哲朗編『映画理論集成』フィルムアート社
岩本憲児/武田潔/斉藤綾子編『「新」映画理論集成1 (歴史/人種/ジェンダー)』フィルムアート社
その他、授業中にも適宜紹介します。

【成績評価の方法と基準】

授業各回でのワークシートへの取り組み50%、期末試験: 50%で総合的に評価します。

授業内での受講生各位の積極的な意見の表明を期待します。

【学生の意見等からの気づき】

本年度授業担当者変更によりフィードバックできません。

【その他の重要事項】

扱う予定の作品は変更になる可能性があります。期末試験のやむを得ない事情による未受験については、学内の規定に則って申告された場合のみ対応します。

【Outline (in English)】

This course deals with various aspects of lives in France with the aide of movies. The goals of this course are to get knowledge about French films and to analyze differences between them and films of other countries, as well as to reflect on various problems in the French society.

The students are expected to see a whole film, which we can see only partially during the class, and to make some researches on subjects concerning social or historical backgrounds of the film. After each film, the students must submit an assignment. This work will require two hours for each class.

Grading will be decided based on in-class contribution (50%) and term-end examination(50%).

This course is designed for all students who are interested in France; the knowledge of the French language is not indispensable.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス生活文化論 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル:

梶谷 彩子

開講時期: 春学期授業/Spring | 曜日・時限: 火4/Tue.4

単位数: 2単位

定員制 (40)

その他属性: 〈他〉〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、19世紀～20世紀フランスの食文化を中心に、そのあり方を学びます。「フランスの食文化」という表現から、どのようなことをイメージするでしょうか。「華やか・おしゃれ」、あるいは「特別な日の料理」など様々な印象があると思いますが、実は、現代の私たちがフランス料理に対して持つイメージのルーツの多くは、近代のフランスにあります。空腹を満たす以上の価値を自国の食に見出していったフランス。なぜそうなったのか？ その背景を知って、フランス文化への理解を深めていきましょう。

【到達目標】

フランスの食文化について、歴史の流れとともに理解できるようになること。また、意見の記述や発表を通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ画像を用意して進めていきます。映像資料も見ると予定です。

原著の資料を見ることもありますが、解説をしますのでフランス語の知識はなくても大丈夫です。

毎回授業後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。

また、受講する皆さんのフランスの食や文化に関する興味関心を共有していただく発表の機会も設けます。授業とは異なる視点に触れることも目的としていますので、大枠のテーマを逸脱していなければ広く様々なテーマを歓迎します。

最終課題は、期末レポートの作成です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介。日本においてフランスの食文化はどのように紹介されているかについても解説。
第2回	テーブルに「映える」料理	テーブルに「映える」料理はなぜ必要だったか? / 宮廷料理について
第3回	「華やかな食卓」の特徴の変遷	「映える」料理から「味で魅せる」料理へ / 18世紀までの価値観と、19世紀からの価値観
第4回	美食を支える背景	パリの美食を支えた市場 / 給仕の変化
第5回	「美食」は誰のものか: レストラン	「おいしい」が皆のものになる時代: レストラン興隆史

第6回	「美食」は誰のものか: 「おいしい」の基準の誕生	「おいしい」を評価するということ: ガストロノミー(前編)
第7回	「美食」は誰のものか: 「おいしい」の評価の変遷: ガストロノミー(後編)	情報が生み出すトロンミー(後編)
第8回	資料で見るフランスの美食	フランスの美食についての映像資料を視聴します。コメントカードを通して、感想や考察をまとめてください。
第9回	高級料理の変遷	ヌーヴェル・キュイジーヌの誕生と、その後
第10回	文化としての「郷土料理」	フランスにおける郷土料理の位置 / 郷土料理 = 文化的遺産という視点の原点
第11回	報告会①	フランスの食や文化にまつわる興味関心を発表しあいましょう。授業とは異なる視点に触れることが目的です。
第12回	報告会② 郷土料理でめぐるフランス	報告会の予備日です。ほか、フランスの代表的な地方の位置の確認・その土地に根差した郷土料理を網羅的に見ていきます。
第13回	映像資料で見るフランスの美食その2	映像資料の視聴(第2回)その後感想や意見を書く時間を設けます。資料の尺によっては前半と後半に分け、第14回にまたぐことがあります。
第14回	まとめ・レポート作成の手引き	現代から見た、近代フランスの食文化の重要性 / レポートの書き方案内

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。下記参考書のうち、①を読み切ること。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用せず、資料配布を行いません。資料はすべてHoppiiを通じての配信となります。授業中に使いますので、各自手元に用意の上出席してください。

【参考書】

- ①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013年。
- ②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017年。
- ③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008年。

【成績評価の方法と基準】

平常点(コメントカード、発表等の受講態度全般)60%、期末レポート40%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

講義形式であるため、授業中はどうしても教員から伝えることが多くなってしまいますが、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。今年度も継続していきたいと思いますので、コメントカードは、ぜひ存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードしたPC、タブレット端末等を持参すること。原則として教室内での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が41人を超えてしまった場合、定員が40人の授業であるため、履修者を抽選とします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to study the gastronomic culture of modern France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution (60%) and term-end report (40%).

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

フランス生活文化論 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

梶谷 彩子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉〈S〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では、フランスの食文化史を学びます。「美食の国」として名高いフランスはどのようにその食生活を営んできたのでしょうか。古代からの料理術の変遷を中心に、歴史の動きと連動させながら学びます。後半には、日本がフランスの食に与えた影響についても触れてゆきます。

【到達目標】

フランスの食文化について理解を深めること。また、意見の記述やディスカッションを通して資料を自分なりに考察し、知見をまとめることができるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式。イメージを描きやすいようできるだけ図像を用意して進めていきます。

原著の資料を見ることもありますが、解説をしますのでフランス語の知識はなくても大丈夫です。

毎回最後にコメントカードを提出していただき、そこで出た質問には次回の授業でできる限りフィードバックします。小さなことだと思っても、気づきはぜひ言葉にして表現してみましょう。

最終回の前には、簡単な発表の機会を設けます。授業とは異なる視点に触れる機会でもありますので、(授業テーマを逸脱しない範囲とはなりますが)様々な話題を歓迎します。

最終課題は、期末レポートの作成です。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方、参考資料の紹介／現在のフランス食文化の最前線についての解説
第2回	古代から中世まで	何をどのように食べてきたのか／香辛料について
第3回	中世とルネサンス	マナーの確立／イタリアとの関わり
第4回	17世紀	グランド・キュイジーヌの誕生／「過剰」からの脱却と洗練
第5回	18世紀	宮廷料理の最盛期／「豪華な料理」とは？
第6回	フランス革命～19世紀初頭	「レストラン」とは何か／「ガストロノミー」の誕生／「スターシェフ」の出現
第7回	19世紀後半～19世紀末	19世紀後半～世紀末のレストラン／現代フランス料理の基礎の時代
第8回	20世紀初頭	第一次世界大戦とフランスの食文化／新しい「ガストロノミー」

第9回	20世紀半ば	全国的美食を求めて—ガストロノミーとツーリズム／「美食ガイドブック」の誕生
第10回	20世紀半ば～20世紀末	ヌーヴェル・キュイジーヌ—健康と美食
第11回	日本食文化のフランス食文化への影響	美しさを求めるということ／日本的味覚の広がり
第12回	フランス食文化の日本食文化への影響	「洋食」誕生物語
第13回	発表会①	レポートの構想、授業を通しての自分なりのまとめなど、いくつかのトピックの中から1つを選び、発表しましょう。
第14回	発表会② まとめ・レポート作成の手引き	発表会の予備日です。主に「美食の国 フランス」のイメージはいかにして形成されたか、授業全体のまとめを行ないます。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。参考書のうち②を授業期間中に読み切ること。授業中にも、おすすめの図書を紹介します。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しませんが、適宜、資料を主にHoppiiを通じて配信します。授業開始までに、各自手元に用意してきてください。

【参考書】

- ①池上俊一『お菓子でたどるフランス史』、岩波書店、岩波ジュニア新書、2013年。
- ②ジャン・ピエール＝プーラン、エドモン・ネランク『フランス料理の歴史』、山内秀文訳・解説、角川ソフィア文庫、2017年。
- ③北山晴一『世界の食文化⑩ フランス』、農村漁村文化協会、2008年。

【成績評価の方法と基準】

平常点(コメントカード、発表など受講態度全般)60%、期末レポート40%の総合評価

【学生の意見等からの気づき】

講義形式であるため、どうしても教員から伝えることが多くなってしましますが、可能な限り皆さんからのご質問にお答えすることを心掛けてきました。今年度も継続してまいりますので、ぜひ、コメントカードを存分に活用してください。

【学生が準備すべき機器他】

資料は配信による事前配布が主となりますので、授業開始までに各自対応してください。印刷した資料か、資料をダウンロードしたPC、タブレット等を持参すること。原則として教室での紙媒体配布はいたしません。

【その他の重要事項】

履修申請者が41名を超えてしまった場合、定員が40人の授業であるため、履修者を抽選とします。

【Outline (in English)】

The purpose of this course is to learn the historical background of the gastronomic culture of France. The goals of this course are to understand this culture and have own view through studying and discussion.

Students will be expected to read the references as below. Your study time will be more than 2 hours for a class.

Final grade will be calculated according to the following process:

in-class contribution (60%) and term-end report (40%).

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 3 I

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法の学習を継続する (具体的には、動詞の完了体と完了体、関係代名詞および関係副詞)。その上で、標準的なロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、動詞の「体」(完了体と完了体)、関係代名詞と関係副詞です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	名詞の性・数・格、動詞の時制、運動の動詞など
2	第12課：動詞の体のペア	ペア (完了体と完了体) の3パターン
3	第12課：動詞の体の意味	完了体の意味 (動作の事実、継続・進行、反復、同時性など) / 完了体の意味 (動作の完了・結果、一回性・具体性、連続性など)
4	第12課：動詞の体と時制	完了体の過去形・現在形・未来形 / 完了体の過去形・未来形 (非過去形)
5	第12課：動詞の体のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳 (翻訳)
6	第12課：動詞の体の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第12課：動詞の体のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第13課：関係代名詞の変化 (性・数・格)	関係代名詞の変化 = 形容詞の硬変化A
9	第13課：関係代名詞の用法	二つの文の結合の仕方 (主節と従属節の形成)
10	第13課：関係副詞	疑問詞から派生する関係副詞、二つの文の結合の仕方 (守拙と従属節の形成)

11	第13課：関係代名詞・関係副詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳
12	第13課：関係代名詞・関係副詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
13	第13課：関係代名詞・関係副詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
14	期末試験	文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は2時間を標準とします。ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト (教科書)】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』(2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可)。辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法 (改訂版)』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (課題、小テスト) 20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です (1年次に学習した名詞の性・数・格を理解していないと、関係代名詞が分からない等)。一歩一歩確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳 (翻訳) の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part1).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to learn the rest of the introductory grammar (perfective and imperfective verbs, relative pronoun and relative adverb), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3Ⅱ

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法を一通り終える (具体的には、数詞の用法、比較級と最上級、仮定法)。その上で、ロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、数詞の表現 (個数・時間・年月日・年齢・値段)、形容詞・副詞の比較級と最上級、仮定法 (過去・現在・未来) です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「ロシア語3Ⅱ」(春学期)の復習	動詞の完了体・完了体、関係代名詞・関係副詞
2	第14課: 個数詞と名詞の結合	個数詞一覧、個数詞 (主格) と名詞の結合 (1 + 単数主格 / 2 ~ 4 + 単数生格 / 5 ~ + 複数生格)
3	第14課: 時間の表現、年月日の表現	「何時 (に) ?」・「どのくらいの時間?」、「何日 (に) ?」・「何月 (に) ?」・「何年 (に) ?」・「何年何月何日 (に) ?」
4	第14課: 年齢の表現、値段の表現	「何歳?」、「いくら?」
5	第14課: 数詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳 (翻訳)
6	第14課: 数詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第14課: 数詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第15課: 形容詞・副詞の比較級	合成比較級、単一比較級、比較の対象の表わし方
9	第15課: 形容詞・副詞の最上級	合成最上級、単一最上級、比較級を利用した最上級
10	第15課: 仮定法	仮定法 = 過去形 + б ы
11	第15課: 形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳 (翻訳)
12	第15課: 形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法の会話	会話文の音読・読解・暗唱

13 第15課: 形容詞・副詞の比較級と最上級

および仮定法のロシア語作文

14 期末試験

文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は2時間を標準とします。

ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト (教科書)】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』(2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可)。

辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法 (改訂版)』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (課題、小テスト) 20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です (名詞や形容詞の性・数・格を覚えていないと、数詞の表現や比較級・最上級は理解できない)。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳 (翻訳) の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part2).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to finish learning the elementary grammar (use of numerals, the comparative and the superlative, subjunctive mood), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3 I

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次にロシア語を学んだ学生を対象とする授業です。ロシア語1と2で学んだ文法事項を復習してから、教科書にそって未習の文法事項を学びます。基礎文法をひととおり学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	既習文法の確認と復習
2	動詞の体の用法①	動詞の不完了体、完了体の練習
3	動詞の体の用法②	動詞の体を意識したテキストの読解
4	関係代名詞	関係代名詞の説明と練習
5	関係副詞	関係代名詞、関係副詞が含まれるテキストの読解
6	数詞を含む表現①	数詞と名詞の結びつきの説明、時間の表現
7	数詞を含む表現②	年齢と年月日の表現の練習
8	数詞を含む表現③	数詞が含まれるテキストの読解
9	形容詞、副詞の比較級	形容詞、副詞の比較級の用法
10	形容詞、副詞の最上級	形容詞・副詞の最上級の用法
11	仮定法	仮定法の説明と用法
12	形容詞・副詞のまとめ	形容詞、副詞関連の総復習
13	まとめと練習	既習事項のまとめと練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は予習・復習が大切です。事前に新出単語を調べ、授業で学んだことを復習しましょう。格変化形は格変化表を繰り返し見て覚えるようにしましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編 [2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』(改訂版)白水社
露和辞典 (博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等)

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む) 40%、期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%, in class contribution: 40% the foundations for reading and understanding Russian texts.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3Ⅱ

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。ロシア語の文章を構文を把握しながらじっくりと読んでいきます。その過程で、これまでに学んだ文法事項を確認し、さらに未習の文法事項を学びます。語彙を増やし読解力を身につけることによって、自分の力でロシア語の情報を得られるようになることを目指します。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明や練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。また知識の定着や習熟度の確認のために、定期的に課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合もあります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期に学んだことの復習
2	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（格変化の復習）
3	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（関係代名詞の復習）
4	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（時間表現の復習）
5	運動の動詞の復習	文法解説と練習
6	運動の動詞と接頭辞	文法説明と練習
7	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（運動の動詞と接頭辞の復習）
8	副動詞、動詞の体の用法の復習	文法解説と練習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（能動形動詞の復習）
11	被動形動詞	文法解説と練習
12	ロシア語文の読解	配布テキストの日本語訳のチェックと文法解説（被動形動詞の復習）
13	総復習	これまでに学んだことの確認と復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化の形は何度も復習して定着させましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級ロシア語』（法政大学ロシア語教員編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）40%、期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goal of this course is to increase vocabulary and reading skills in order to get information in Russian by ourselves.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 60%、in class contribution: 40%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3 I

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ロシア語の基本的な文法の学習を終え、かんたんなロシア語テキストの講読を行う。

【到達目標】

新聞やネットなどのロシア語短文にも挑戦できる力をつける。辞書を用いて読解できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストを通じロシア語を読み、書き、そして簡単な会話ができるように、音読に力を入れます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習1	これまでの復習 (運動の動詞、名詞の前置格、対格、生格)
2	復習2	これまでの復習 (名詞の与格と造格)
3	第12課 動詞の完了体、不完了体	完了体と不完了体の文法説明
4	第12課 動詞の体と時制	第12課の「体と時制」、テキストの読解と文法説明
5	第12課	会話の読解と練習問題の答え合わせ、文法の復習
6	第13課 関係代名詞、関係副詞	関係代名詞と関係副詞の文法説明
7	第13課	テキストと会話の読解
8	第14課 数詞と時間	文法：数詞と名詞の結びつき、個数詞と順序数詞を覚える
9	第14課 数詞と時間	年月日の表現、年齢の表現などの文法説明、テキストの読解の表現など
10	第14課 会話と練習問題	会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
11	第15課 比較級、最上級、仮定法の文法	比較級、最上級、仮定法の文法説明
12	第15課 テキスト、会話、練習問題	テキスト、会話の読解、練習問題の答え合わせ、文法説明
13	春期の総復習	春期に学んだ範囲の総復習
14	春学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

ネットなどを用いてロシア語に関する新聞・雑誌等の記事を読み、ロシア語だけでなく、ロシアのことに関心を持ちましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『初級ロシア語』法政大学ロシア語担当教員編 [2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等) 40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire the basics of Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read simple Russian texts.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria / Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3Ⅱ

2017年度以降入学者

小西 昌隆

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基本的な文法を終えたので、配布するテキストの講読に入ります。今まで学んだ文法を復習しつつ、より高度な文法事項を学びます。

【到達目標】

新しい単語や文法の学習。会話にも慣れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

辞書を用いてテキストの読みと訳を確実にできるようにするため、多くのテキストを精読していきます。適宜小テストを行い、採点の上、次回授業で返却します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習1	春学期の復習（12課～13課）数詞と順序数詞の復習
2	復習2	春学期の復習（14課～15課）数詞と順序数詞の復習・暗記
3	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法のまとめ
4	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。形容詞短語尾形について
5	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。形動詞について
6	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。能動形動詞現在と過去
7	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞の現在と過去
8	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。被動形動詞過去単語尾形について
9	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。副動詞について
10	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の総まとめ
11	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の確認
12	ロシア語文の読解	配布テキストの読みと訳 文法解説。既習文法の練習
13	秋学期の総復習	もう一度困難な文章などを復習する
14	秋学期試験	教場試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語に関する新聞・雑誌等の記事に慣れ親しむ。ロシアのニュースや文化に関心を持つ。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリントを配布します。

【参考書】

『入門ロシア語文法』和久利誓一著、白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、予習、復習、課題提出、小テスト等）40%、学期末試験60%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんが積極的に参加できる授業にしたいと思います。

【Outline (in English)】

Course Outline

The aim of this course is to help students acquire advanced Russian grammar.

Learning Objectives

At the end of the course, students are expected to acquire Russian words, grammar and expressions dealt in the textbook, and to read various Russian texts.

Learning Activities Outside of Classroom

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

Grading Criteria / Policies

Your overall grade in the class will be decided based on the following:

Term-end examination: 60%; standard score (short tests, in-class contribution, etc.): 40%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語4 I

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

既習の初級文法を全面的に復習し、加えて未習の文法事項を学習する。名詞・形容詞・所有代名詞の単数形および複数形の前置格・対格・生格を自由に作り出すことができるよう反復練習を行い(例えば, *новый журнал, моя машина, русское слово* の単数形および複数形の前置格・対格・生格を即座に言えるようにする)、また、標準的なロシア語の文章を読解する能力を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で理解を定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業となります

学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	動詞の現在形、名詞の複数形、形容詞の性・数変化	動詞の現在形(第1変化)、男性名詞・女性名詞・中性名詞の規則的な複数形と不規則な複数形、形容詞の性・数変化の6パターン(硬変化A・硬変化B・軟変化/混合変化A・混合変化B・混合変化C)
2	名詞の前置格	名詞の前置格のパターン(単数形・複数形)、名詞の前置格の用法
3	形容詞・所有代名詞の前置格	形容詞・所有代名詞の前置格のパターン(単数形・複数形)
4	名詞・形容詞・所有代名詞の前置格	様々な形容詞・所有代名詞の前置格と様々な名詞の前置格の結合
5	動詞の現在形、名詞の対格	動詞の現在形(第2変化)、名詞の対格のパターン(単数形・複数形)、名詞の対格の用法
6	形容詞・所有代名詞の対格	形容詞・所有代名詞の対格のパターン(単数形・複数形)
7	名詞・形容詞・所有代名詞の対格	様々な形容詞・所有代名詞の対格と様々な名詞の対格の結合
8	名詞の生格	名詞の生格のパターン(単数形・複数形)、名詞の生格の用法
9	形容詞・所有代名詞の生格	形容詞・所有代名詞の生格のパターン(単数形・複数形)
10	名詞・形容詞・所有代名詞の生格	様々な形容詞・所有代名詞の生格と様々な名詞の生格の結合

11	с я 動詞、動詞の過去形、形容詞の短語尾形	с я 動詞の現在形、動詞(с я 動詞も含む)の過去形、形容詞の短語尾形の作り方と用法
12	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞(単数形・主格)の(単数形・複数形)前置格・対格・生格への変化
13	所有代名詞と名詞の格変化	所有代名詞と名詞(単数形・主格)の(単数形・複数形)前置格・対格・生格への変化
14	期末試験	文法問題、ロシア語テキストの日本語訳、それらの解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、1回につき2時間を標準とする。練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。

テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳(翻訳)を各自で提出しなければならない。

【テキスト(教科書)】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編(2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可)。また、格変化の反復練習用等、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、文法の知識と読解力を問う期末テスト80%。平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。日本語訳(翻訳)の作成を課する。授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part1).

The aim of this course is to review, in a short term, the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, repetitive practice to be able to freely produce the prepositional, accusative, and genitive cases of singular and plural nouns, adjectives, and possessive pronouns) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content. Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語4Ⅱ

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水3/Wed.3

単位数: 1単位

その他属性: 〈他〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

既習の初級文法の復習を継続し、加えて未習の文法事項を学習する。名詞・形容詞・所有代名詞の単数形および複数形の与格・造格を自由に作り出すことができるよう反復練習を行い(例えば、новый журнал, моя машина, русское словоの単数形および複数形の与格・造格を即座に言えるようにする)、また、標準的なロシア語の文章を読解する能力を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。書籍、新聞や雑誌、ネット上の文章から、最低限の情報を得ることができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

文法事項を解説し練習問題で定着させ、またテキストを読解し翻訳する、実習型の授業になります。

学習支援システムで課題を提示したり、授業時間内に小テストを実施したりします。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	形容詞と名詞の格変化(復習)	形容詞と名詞(単数形・主格)の(単数形・複数形)前置格・対格・生格への変化
2	所有代名詞と名詞の格変化(復習)	所有代名詞と名詞(単数形・主格)の(単数形・複数形)前置格・対格・生格への変化
3	名詞の与格	名詞の与格のパターン(単数形・複数形)、名詞の与格の用法
4	形容詞・所有代名詞の与格	形容詞・所有代名詞の与格のパターン(単数形・複数形)
5	名詞・形容詞・所有代名詞の与格	様々な形容詞・所有代名詞の与格と様々な名詞の与格の結合
6	動詞の未来形、無人称文	動詞の合成未来形の作り方、無人称文の特徴、無人称文の現在形・過去形・未来形
7	動詞の命令形、否定の表現	動詞の命令形の3パターン、否定生格、「何も～ない」
8	名詞の造格	名詞の造格のパターン(単数形・複数形)、名詞の造格の用法
9	形容詞・所有代名詞の造格	形容詞・所有代名詞の造格のパターン(単数形・複数形)
10	名詞・形容詞・所有代名詞の造格	様々な形容詞・所有代名詞の造格と様々な名詞の造格の結合
11	形容詞と名詞の格変化	形容詞と名詞(単数形・主格)の(単数形・複数形)与格・造格への変化

12	所有代名詞と名詞の格変化	所有代名詞と名詞(単数形・複数形)の(単数形・複数形)与格・造格への変化
13	形容詞・所有代名詞と名詞の格変化	形容詞・所有代名詞と名詞(単数形・主格)の(単数形・複数形)前置格・対格・生格・与格・造格への変化
14	期末試験	文法問題、ロシア語テキストの日本語訳、それらの解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は2時間を標準とする。練習問題については、授業前に解答を用意し、授業中に答えなければならない、また、授業後に復習し、小テストに備えなければならない。テキスト読解に関しては、自分で辞書を引き、文法的な事項を勘案しながら、文章の意味を正確に理解し、日本語訳(翻訳)を各自で提出しなければならない。

【テキスト(教科書)】

『ロシア語初級』法政大学ロシア語教員編(2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可)。また、格変化の反復練習用等、別のテキストをプリントで配布する。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点20%、文法の知識と読解力を問う期末テスト80%。平常点は課題の提出、小テストの評価。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。日本語訳(翻訳)の作成を課する。授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 4 (Extra lesson) (Part2).

The aim of this course is to review the elementary grammar totally, and to learn the unlearned grammar (especially, repetitive practice to be able to freely produce the dative and instrumental cases of singular and plural nouns, adjectives, and possessive pronouns) and also to develop further ability to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Befor/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 4 I

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次のロシア語学習を終えた学生を対象とする授業です。既習の文法事項を復習してから、教科書やプリント教材を用いて、未習の文法事項を学びます。基礎文法をひとつおひと学習し、その定着をはかりながら、ロシア語の文章の読解に必要な力を養います。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】

学んだ文法事項を正確に理解し、運用できるようになること。比較的平易なロシア語の文章を読解し、日本語に訳せるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書やプリント教材を用いて、文法事項の解説、練習問題の答え合せと解説、テキストや対話の読解と解説、というかたちで授業を進めます。また、知識の定着や習熟度の確認のために、適宜、課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習 (1)	格変化の復習 (主格、生格)
2	既習文法の復習 (2)	格変化の復習 (与格、対格)
3	既習文法の復習 (3)	格変化の復習 (造格、前置格)
4	既習文法の復習 (4)	格変化の復習 (人称代名詞)
5	動詞 (1)	動詞関連の文法事項の復習
6	動詞 (2)	動詞の完了体、不完了体の用法の説明と練習
7	動詞 (3)	動詞の完了体、不完了体の用法の説明と練習
8	複文 (1)	関係代名詞の説明と練習
9	複文 (2)	関係代名詞を含む複文の読解
10	複文 (3)	接続詞を含む複文の読解
11	数詞 (1)	数詞と名詞の結合の説明と練習
12	数詞 (2)	数詞と名詞の結合の説明と練習
13	数詞 (3)	時間表現の説明と練習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

新出単語は事前に辞書で意味を確認し、授業で学んだことは復習しましょう。格変化形や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『初級 ロシア語』(法政大学ロシア語担当教員 編) [2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可]

その他、適宜プリント教材を配布します。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』(改訂版) 白水社

露和辞典 (博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等)

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む) 50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

個々の学生の習熟度を念頭においた授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進度によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who finished learning Russian for the first grade. The aim of this course is to finish basic grammar. And also strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to acquire basic grammar and strengthen the foundations for reading and understanding Russian texts.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語4Ⅱ

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

基礎文法の学習を終えた学生を対象とした授業です。さまざまなテーマのテキストの読解を通して、既習の文法事項を復習しながら、未習の文法事項を学びます。ロシア語の文章に慣れ親しみ、基礎文法の応用レベルでの定着を目指します。また、視聴覚教材を用いて、生のロシア語に触れる機会を作ります。要望があれば、ロシア語能力検定試験に対応する勉強も行います。

【到達目標】

辞書を用いて文章を読解し、日本語に翻訳する作業を通して、ロシア語の文章に慣れ親しむこと。また、語彙を増やし、構文を正確に把握できるようになること。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリント教材を用いて、文章読解、文法解説、というかたちで授業を進めますが、未習の文法事項についてはあらかじめ説明と練習を行います。各自の日本語訳をチェックするので、事前準備が必要となります。視聴覚教材を用いる場合は、音読、書き取り、リスニングなどを行います。また、知識の定着や習熟度の確認のために、適宜、課題や小テストを課します。添削したものは、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	数詞 (4)	数詞と名詞の結合、時間表現の復習
2	数詞 (5)	年月日の表現
3	数詞 (6)	年齢の表現、値段の表現
4	数詞 (7)	テキストの音読と読解
5	数詞 (8)	リスニング
6	比較級、最上級、仮定法 (1)	文法解説と練習
7	比較級、最上級、仮定法 (2)	テキストの音読と読解
8	運動の動詞と接頭辞 (1)	文法解説と練習
9	運動の動詞と接頭辞 (2)	テキストの音読と読解
10	運動の動詞と接頭辞 (3)	スキットのセリフを聞き取る
11	文章読解 (1)	ロシアの文化に関するテキストを読む
12	文章読解 (2)	ロシアの歴史に関するテキストを読む
13	文章読解 (3)	ロシアの時事問題に関するテキストを読む
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業内で示される課題（日本語訳等）は必ずやってくる。格変化や動詞の活用は意識して覚えましょう。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を授業で配布します。

『初級 ロシア語』（法政大学ロシア語担当教員 編）[2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』（改訂版）白水社
露和辞典（博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等）

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む）50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. We read Russian texts carefully, understanding the syntax. Through reading comprehension, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to get used to Russian texts with various themes and master Russian basic grammar.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria / Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 5 I

2017年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、授業時や学習支援システム経由で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	紹介：名前、出身、職業	リスニング、会話練習
2	家族の話	リスニング、会話練習
3	趣味	リスニング、会話練習
4	一日の流れ	リスニング、会話練習
5	一日の流れ (続き)	リスニング、会話練習
6	時間、スケジュール	リスニング、会話練習
7	国、言語、国籍	リスニング、会話練習
8	天気、季節	リスニング、会話練習
9	行ったことがある所	リスニング、会話練習
10	休暇の過ごし方	リスニング、会話練習
11	週の予定	リスニング、会話練習
12	好きな事、好きなものの	リスニング、会話練習
13	春学期の復習	リスニング、会話練習
14	春学期末テスト	聴解・筆記と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

学習支援システムにてプリント教材を配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

【参考書】

『初級ロシア語』法政大学

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50%、複数小テスト 30%、宿題 20%

【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和訳解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末 (PCやタブレットなど)、Zoom授業になる場合には、Wi-Fi通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更することがあります。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

(Learning activities outside of classroom)

There is homework for every lesson. Memorization of vocabulary is also required. The standard preparation and revision time for this class is one hour.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination 50%, Word tests 30%, Homework 20%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語5Ⅱ

2017年度以降入学者

エレナ 三神

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：〈他〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

日常的に使われるロシア語を場面ごとに学び、ロシア語のコミュニケーション能力を高める授業です。ロシア語の文法知識を口頭表現、聴解、作文などの練習をとおして実践的な能力として定着させます。

【到達目標】

日常場面においてロシア語の簡単な会話ができることを目指します。ロシア旅行などの場合にロシア語を使って、ロシア人とのコミュニケーションをとれることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

一年に通じて日常的なコミュニケーションに使う文型・語彙・表現を学びます。テキストのもとで表現を学習し、聞き取り練習と会話の実践を行います。ロシア語を使うことによって単語、表現、文法も覚えます。

宿題提出や単語学習などのために学習支援システムと各オンライン学習アプリケーションを使います。課題などに対する教員のフィードバックは、課題内容によって授業時や学習支援システム経由や提出した課題につけたコメントのリンク送信などの方法で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	モスクワを歩く	リスニング、会話練習
2	私の街	リスニング、会話練習
3	お買い物	リスニング、会話練習
4	食べ物、お食事	リスニング、会話練習
5	家と部屋	リスニング、会話練習
6	映画	リスニング、会話練習
7	いつも通うところ	リスニング、会話練習
8	乗り物で行く	リスニング、会話練習
9	空港で	リスニング、会話練習
10	ロシアの年行事	リスニング、会話練習
11	ToDoリスト	リスニング、会話練習
12	電話、メール	リスニング、会話練習
13	秋学期の復習	リスニング、会話練習
14	秋学期末テスト	聴解・筆記と解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回宿題があります。単語の暗記も必要です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時および学習支援システムにてプリントを配布します。プリント教材はロシア語のみですが、その和訳文も別紙で配布します。

【参考書】

『初級ロシア語』法政大学

【成績評価の方法と基準】

学期末テスト 50%、複数小テスト 30%、宿題 20%

【学生の意見等からの気づき】

ロシア語のみの教材に和文解説をつけるようになりました。

【学生が準備すべき機器他】

学習支援システムにアクセスできる端末 (PCやタブレットなど)、Zoom授業になる場合には、Wi-Fi通信環境が必要になります。

【その他の重要事項】

実際の授業状況や履修者の能力に応じて授業のペースやスケジュールは変更することがあります。ご質問などは elena.mikami.66@hosei.ac.jp までお問い合わせください。

【Outline (in English)】

(Course outline)

The main objective of the course is to enable students to develop the basic ability to communicate in Russian in everyday situations. The students will develop an understanding of practical Russian grammar and widely improve their Russian listening and conversation skills.

(Learning Objectives)

At the end of the course, students are expected to be able to carry out simple conversations in Russian in everyday situations or when traveling in Russia.

(Learning activities outside of classroom)

There is homework for every lesson. Memorization of vocabulary is also required. The standard preparation and revision time for this class is one hour.

(Grading Criteria /Policy)

Term-end examination 50%, Word tests 30%, Homework 20%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語7

2017年度以降入学者

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次に学んだロシア語文法を復習しながら、新たな文法事項(数詞、比較級・最上級、形動詞・副動詞)を学んでいき、ロシア語文法の基礎をひとつおりの完成させることになります。

【到達目標】

辞書があればロシア語の文章を読めるようになるレベルを目指すべく長文を読む機会を多くも受け、文法の基礎力の充実と語彙力の増大に努めます。コミュニケーションの上でも、文法力と語彙力は不可欠です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まだ学習していないロシア語文法のいくつかの事項を練習問題を重ねつつ、学んでいきます。その後、ロシアの生活習慣や行事、文化をテーマとした長文の読解に入っていきます。ロシア語の文法、文章の構造を確認しながら読み進め、同時に、ロシアの文化についても知識を得て、読解の楽しみを味わいましょう。課題と小テストのフィードバックは次週の授業で行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスとロシア語文法の復習	既習文法の復習を練習問題を通して行う。
第2回	数詞を使った表現	時間の表現、年月日の表現など数詞の使い方を学ぶ。練習問題とテキスト読解。
第3回	数詞、比較級	数詞の表現の復習。比較級の暗記、比較級を使った表現について。練習問題。
第4回	最上級、仮定法	比較級の復習。最上級と仮定法の概説。テキスト読解と練習問題。
第5回	副動詞	副動詞(不完了体・完了体)の説明。練習問題。
第6回	副動詞と形動詞	副動詞の復習。形動詞(能動形動詞・現在、過去)の説明。
第7回	形動詞(受動形動詞現在)	能動形動詞(現在、過去)の復習。受動形動詞(現在)の説明。
第8回	形動詞(受動形動詞過去)	受動形動詞現在の練習問題と復習。受動形動詞過去の説明。
第9回	形動詞のまとめ	受動形動詞過去の確認と練習問題。
第10回	長文読解：ロシアの祝日について(1)	ロシアの国民の祝日や宗教行事について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら丁寧に読んでいく。
第11回	長文読解：ロシアの祝日について(2)	行事について知る文章の続き。副動詞、形動詞に着目して読む。
第12回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について(1)	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら読んでいく。

第13回	長文読解：ロシア人のマナーや慣習について(2)	ロシア人のマナーや慣習について知る文章を文法、文の構造、語彙に留意しながら読んでいく。
第14回	学期末試験	ロシア語文法の総復習をかねて、試験を行う。まとめと解説。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

配付プリントの予習。適宜、課題も出すので必ず提出してください。また、長文読解に際しては、辞書を引く労を惜しまずに「自分の単語帳」を作って語彙力の増大に励んで下さい。本授業の予習・復習時間は、1回につき1.5時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

『初級 ロシア語』(法政大学ロシア語教員 編) その他、教場で配付、もしくは学習支援システムを介してプリントを配付します。

【参考書】

和久利誓一 『入門ロシア語文法』(改訂版)白水社

【成績評価の方法と基準】

平常点(50%)、期末試験(25%)、小テスト(25%)。この成績評価をもとに本授業の到達目標の60%以上を達成した学生を合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

習得に困難な文法事項を学び、文法の総仕上げをする授業となりますが、平易に教えるよう努めます。

【Outline (in English)】

●Cources outline

This course proceeds in close contact with course: Russian 8. In this course, we will acquire basics of Russian grammar: numbers, comparatives, superb, and participles.

●Learning objectives

With a dictionary, you will be able to read some level of Russian text. Improve the basics of grammar and increase vocabulary.

●Learning activities outside of classroom

Preparation for the next lesson takes about 1.5 hours.

●Grading Criteria/ Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance (50%), term-end exam(25%) and quizzes(25%). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語 8

2017年度以降入学者

上野 理恵

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ロシア語の基礎文法の学習を終えた人を対象にした授業です。練習問題を解きながら、これまでに学んだ文法事項を復習し、知識の定着をはかります。さらに基礎文法では学ばなかった文法事項の説明と練習も行います。また、そうした学習と同時に、最重要単語の習得も目指します。

【到達目標】

ロシア語の基礎文法だけでなく、基礎文法を学ぶ際には採り上げられることが少ない、細かい文法事項も習得すること。最重要単語を覚えること。文法に関しては、ロシア語能力検定試験の4級・3級レベルを軽くこなせる力をつけましょう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で単語テストを行います。授業は、基本的に、単語テスト、練習問題の答え合せと解説、あるいは未習の文法事項の説明と練習、というかたちで行います。また必要に応じて課題を課します。添削した単語テストや課題は、次回の授業時に返却しますが、「学習支援システム」を通して返却する場合があります。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	格の用法 (1)	格の用法と形の復習
2	格の用法 (2)	格の用法と形の復習
3	形容詞と副詞	形容詞と副詞、比較級、最上級の復習
4	運動の動詞	定向動詞・不定向動詞の復習
5	運動の動詞と接頭辞 (1)	文法説明と練習
6	運動の動詞と接頭辞 (2)	文法説明と練習
7	動詞の体の用法	動詞の完了体、不完了体の用法の復習
8	関係代名詞、関係副詞	関係代名詞、関係副詞の復習
9	能動形動詞	文法解説と練習
10	被動形動詞	文法解説と練習
11	被動形動詞短語尾形、副動詞	文法解説と練習
12	数詞を伴う表現	数詞を伴う表現の復習
13	時間表現	時間表現の復習
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

単語テストの範囲については前の週の授業で指定するので、覚えておくようにしてください。授業内で提示される課題は必ずやっておくください。本授業の準備学習・復習時間は、各1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

プリント教材を授業で配布します。

『初級 ロシア語』(法政大学ロシア語担当教員 編) [2020/2021年度版、2018/2019年度版 いずれでも可] を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法』(改訂版) 白水社
露和辞典 (博友社ロシア語辞典、コンサイス露和辞典等)

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業参加態度、小テスト、課題提出などを含む) 50%、期末試験50%の総合評価。

【学生の意見等からの気づき】

皆さんが質問や発言をしやすい授業を心がけます。

【その他の重要事項】

授業計画は、授業の進捗によって若干の変更があり得ます。

【Outline (in English)】**【Course outline】**

This is a course for students who have completed learning basic grammar of Russian. Through answering Russian practice exercises, we review what we have learned so far and learn grammar that we haven't learned yet.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to master Russian basic grammar and increase vocabulary.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, in class contribution: 50%

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3-I 2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法の学習を継続する (具体的には、動詞の完了体と完了体、関係代名詞および関係副詞)。その上で、標準的なロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、動詞の「体」(完了体と完了体)、関係代名詞と関係副詞です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	既習文法の復習	名詞の性・数・格、動詞の時制、運動の動詞など
2	第12課：動詞の体のペア	ペア (完了体と完了体) の3パターン
3	第12課：動詞の体の意味	完了体の意味 (動作の事実、継続・進行、反復、同時性など) / 完了体の意味 (動作の完了・結果、一回性・具体性、連続性など)
4	第12課：動詞の体と時制	完了体の過去形・現在形・未来形 / 完了体の過去形・未来形 (非過去形)
5	第12課：動詞の体のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳 (翻訳)
6	第12課：動詞の体の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第12課：動詞の体のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第13課：関係代名詞の変化 (性・数・格変化)	関係代名詞の変化 = 形容詞の硬変化A
9	第13課：関係代名詞の用法	二つの文の結合の仕方 (主節と従属節の形成)
10	第13課：関係副詞	疑問詞から派生する関係副詞、二つの文の結合の仕方 (守拙と従属節の形成)
11	第13課：関係代名詞・関係副詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳

12	第13課：関係代名詞・関係副詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
13	第13課：関係代名詞・関係副詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
14	期末試験	文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は2時間を標準とします。ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト (教科書)】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』(2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可)。辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法 (改訂版)』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (課題、小テスト) 20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です (1年次に学習した名詞の性・数・格を理解していないと、関係代名詞が分からない等)。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。日本語訳 (翻訳) の作成を課する。授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part1).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to learn the rest of the introductory grammar (perfective and imperfective verbs, relative pronoun and relative adverb), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Befor/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

ロシア語3-II

2017年度以降入学者

木部 敬

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学習した文法事項を前提としつつ、基本的な文法を一通り終える (具体的には、数詞の用法、比較級と最上級、仮定法)。その上で、ロシア語の文章を読解する基礎を養う。

【到達目標】

学習した文法事項を的確に運用することによって、やや複雑な構造のロシア語の文章を理解し、正しい日本語に訳せる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

文法学習のポイントとなるのは、数詞の表現 (個数・時間・年月日・年齢・値段)、形容詞・副詞の比較級と最上級、仮定法 (過去・現在・未来) です。

文法事項を解説し、練習問題で理解を定着させる実習型の授業となります。

学習支援システムで課題を提示し、授業時間内に小テストを行います。また、これらの答案を採点の上返却したり、解説を加えながら正解を示したりすることによって、各自で自身の理解の程度を確認できるようにします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	「ロシア語3 I」(春学期)の復習	動詞の完了体・完了体、関係代名詞・関係副詞
2	第14課: 個数詞と名詞の結合	個数詞一覧、個数詞 (主格) と名詞の結合 (1 + 単数主格 / 2 ~ 4 + 単数生格 / 5 ~ + 複数生格)
3	第14課: 時間の表現、年月日の表現	「何時 (に) ?」・「どのくらいの時間?」、 「何日 (に) ?」・「何月 (に) ?」・「何年 (に) ?」・「何年何月何日 (に) ?」
4	第14課: 年齢の表現、値段の表現	「何歳?」、 「いくら?」
5	第14課: 数詞のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳 (翻訳)
6	第14課: 数詞の会話	会話文の音読・読解・暗唱
7	第14課: 数詞のロシア語作文	日本語文のロシア語訳
8	第15課: 形容詞・副詞の比較級	合成比較級、単一比較級、比較の対象の表わし方
9	第15課: 形容詞・副詞の最上級	合成最上級、単一最上級、比較級を利用した最上級
10	第15課: 仮定法	仮定法 = 過去形 + б ы
11	第15課: 形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法のテキスト	テキストの音読・読解・日本語訳 (翻訳)
12	第15課: 形容詞・副詞の比較級と最上級および仮定法の会話	会話文の音読・読解・暗唱

13 第15課: 形容詞・副詞の比較級と最上級

および仮定法のロシア語作文

14 期末試験

文法問題、ロシア語文の日本語訳、日本語文のロシア語訳、それらの解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は2時間を標準とします。

ロシア語を声に出す準備学習と復習に加えて、辞書で単語を引き、ロシア語の文章の意味を自分の力で理解する練習をしましょう。

【テキスト (教科書)】

『初級ロシア語 法政大学ロシア語担当教員編』(2020/2021年度版、2018/2019年度版、両者の内容は同じなので、どちらでも可)。

辞書を持参すること。

【参考書】

和久利誓一『入門ロシア語文法 (改訂版)』白水社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (課題、小テスト) 20%、期末試験80%。適宜、既習の内容を復習するための課題の提示や小テストを行います。期末試験はこれら課題や小テストを総括するテストです。

ロシア語は、文法学習の積み上げが特に大事な言語です (名詞や形容詞の性・数・格を覚えていないと、数詞の表現や比較級・最上級は理解できない)。一步一步確実にマスターしながら前進することが高い評価につながります。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材をより一層利用するよう努める。

日本語訳 (翻訳) の作成を課する。

授業外の準備学習や復習に学習支援システムからの課題提出を活用する。

【Outline (in English)】

Elementary Russian 3 (Part2).

This is a course for students who mastered the Russian elementary grammar for the first grade. The purpose of this course is to finish learning the elementary grammar (use of numerals, the comparative and the superlative, subjunctive mood), and also to develop the basics to read standard Russian texts.

At the end of this course, students should be able to understand and translate into Japanese slightly complicated Russian texts. Before/after each class meeting, students will be expected to spend 2 hours to understand and master the course content.

Final grade will be decided based on the following: short tests 20%, term-end examination 80%.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ロシア語の世界 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

木部 敬

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ロシアの歴史および文化 (言語、民族、宗教、文学、思想など) を概観し、ロシアという国がどのような国なのか、その特質を理解する。それによって、ロシア語の背景をなす「レアリア」の基本を獲得する。

ロシア語を履修していなくても受講可能。

【到達目標】

一般の日本人にとっては理解しにくいロシアという国について、明確なイメージを持つことができる。

また、そうしたロシアの歴史や文化に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義型の授業となる。

毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。

学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	9世紀半ばから13世紀の歴史	建国伝説、「キエフ・ルーシ」
第2回	13世紀から16世紀の歴史	「タタールの軛」、モスクワ大公国から「ロシア」へ (イヴァン3世とイヴァン4世)
第3回	17世紀の歴史	「動乱」、ロマノフ朝の成立
第4回	18世紀前半の歴史	ピョートル1世、「ロシア帝国」
第5回	18世紀後半の歴史	エカチェリーナ2世、ポーランド分割、「新ロシア」とクリミア半島、ウクライナ
第6回	19世紀初めの歴史	アレクサンドル1世、ナポレオン戦争、デカブリストの乱
第7回	19世紀半ばの歴史	ニコライ1世、クリミア戦争、アレクサンドル2世、農奴解放
第8回	19世紀終わりの歴史	アレクサンドル3世、産業革命
第9回	20世紀初めの歴史 (0年代～20年代)	ニコライ2世、第1革命、第1次世界大戦、ロシア革命、「ソ連」、レーニン
第10回	20世紀半ばの歴史 (30年代～40年代)	スターリン、第2次世界大戦
第11回	20世紀半ばの歴史 (50年代～60年代)	冷戦、フルシチョフ
第12回	20世紀終わりの歴史 (70年代～80年代)	停滞からベレストロイカへ、ゴルバチョフ

第13回 20世紀末の歴史 (90年代) ソ連崩壊、「ロシア連邦」、エリツィン

第14回 21世紀初めの歴史 プーチン、ウクライナ戦争

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

【テキスト (教科書)】

プリントを配布する。

【参考書】

『新版世界各国史22ロシア史』山川出版社、2002年。

『新版ロシアを知る事典』平凡社、2004年。

『ロシア文化事典』丸善出版、2019年。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (感想や質問の提出) 40%、期末レポート60%。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発言や発表の機会をより増やす。

毎授業の途中や最後に、授業内容に関する復習問題に取り組む。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to survey history and culture (languages, nations religions, literature, thought etc.) of Russia, as the background of Russian language. We will understand what kind of country Russia is and its special characteristics

Students will be expected to have written a short report after every class work. Your study time will be more than two hours for a class.

Your final grade will be decided based on the following. Term-end report(40%), Short reports(40%), and in-class contribution(20%).

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ロシア語の世界 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

木部 敬

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中・東欧、ロシア、およびそれらの周辺国 (旧ソ連圏の国々など) の歴史および文化 (言語、民族、宗教など) を概観することによって、ロシア語の背景をなす「レリア」を獲得する。より広い視野においてロシアという国を理解する。

ロシア語を履修していなくても受講可能。

【到達目標】

一般の日本人にとってなじみのない中・東欧、ロシア、およびそれらの周辺地域について明確なイメージを持ち、これらの国や地域の持つ世界史的な意義を理解できる。

また、そうした国や地域の歴史や文化に関する理解を背景知識として利用することで、ロシア語の学習をより効果的に進めることができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義型の授業となる。

毎回授業に関する感想や質問を提出してもらい、それらに対しては学習支援システムを通じて回答したり、授業中にテーマとして取り上げたりする。

学期末に、授業で取り上げたテーマに関するレポートを作成する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	ロシアの周辺国 (現在の国境)、スラヴ諸族と現在の国家
第2回	ロシアの周辺国の歴史 (その1)	北欧の歴史—デンマーク・スウェーデン・ノルウェー・フィンランド
第3回	ロシアの周辺国の歴史 (その2)	バルト三国の歴史—エストニア・ラトヴィア・リトアニア
第4回	ロシアの周辺国の歴史 (その3)	ポーランドの歴史 (前半：17世紀半ばまで)
第5回	ロシアの周辺国の歴史 (その4)	ポーランドの歴史 (後半：17世紀半ば以降)
第6回	ロシアの周辺国の歴史 (その5)	ウクライナの歴史 (前半：13世紀まで)
第7回	ロシアの周辺国の歴史 (その6)	ウクライナの歴史 (後半：13世紀以降)
第8回	ロシアの周辺国の歴史 (その7)	中央アジア五国の歴史—カザフスタン・ウズベキスタン・トルクメニスタン・キルギスタン・タジキスタン
第9回	ロシアの周辺国の歴史 (その8)	コーカサス三国の歴史—ジョージア・アルメニア・アゼルバイジャン

第10回	ロシアの周辺国の歴史 (その9)	トルコの歴史 (前半：16世紀まで)
第11回	ロシアの周辺国の歴史 (その10)	トルコの歴史 (後半：16世紀以降)
第12回	東ローマ帝国 (ビザンツ帝国) とスラヴ民族	東ローマ帝国と南スラヴ族、東ローマ帝国の継承者としてのロシア
第13回	ゲルマン民族とスラヴ民族	ゲルマン民族と西スラヴ族、ポーランドとリトアニア、ロシア、スロヴェニア、クロアチア
第14回	スラヴ民族と周辺諸民族	ルーマニア、アルバニア、ユダヤ人、ジプシーなど

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

参考文献を事前に読む。授業後数日以内に感想や質問を書く。

学期末には、授業で取り上げたテーマに関するレポートを準備する。

【テキスト (教科書)】

プリントを配布する。

【参考書】

『民族の世界史10 スラヴ民族と東欧ロシア』山川出版社。

森安達也『ビザンツとロシア・東欧』講談社。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (感想や質問の提出) 40%、期末レポート 60%。

【学生の意見等からの気づき】

学生の発言や発表の機会をより増やす。

毎授業の途中や最後に、授業内容に関する復習問題に取り組む。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to survey history and culture (languages, nations, religions) of Central and Eastern Europe, Russia and their surrounding areas (countries of the former Soviet Union area etc.), as the background of Russian language. We will understand the specifics of Russia from a broader perspective.

Students will be expected to have written a short report after every class work. Your study time will be more than two hours for a class.

Your final grade will be decided based on the following. Term-end report(40%), Short reports(40%), and in-class contribution(20%).

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ロシアの文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 千登勢

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ロシアに興味をもつ学生であれば、ロシア語を学習していなくても履修できます。なお、SAエストニア (SAロシア代替) の事前学習も兼ねるので、SAエストニアの2年生は必ず履修してください。ロシアは、峻厳で美しい自然、深くて豊かな芸術 (文学、音楽、美術、映画、アニメ、演劇、バレエ、建築など) に満ちた国、また、繊細で優美、神秘的でありながら素朴でパワフルという両極端な感覚に引き裂かれた、なんとも魅力溢れる国です。また、アジアとヨーロッパの文化的融合、社会主義から資本主義へのイデオロギー的・体制的移行、多民族の共生など、複雑で多面的な様相も興味深いものです。こうしたロシアのさまざまな側面を映像・レジュメ資料・概説を通して紹介していくのがこの授業ですが、これら多様な側面を統合して、ロシアの像を結んでいく作業を行うのはみなさん一人ひとりです。

【到達目標】

この授業は、受動的に講義を聴いたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導くこと、そして教員が提起した問題に対して意見を短時間のうちに適切な文章でまとめる力をコメントシートを通して養うことも目的としています。つねに問題意識や批判的観点を抱きながら、授業に臨んでほしいと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス：ロシアについて	ガイダンス。今日のロシア社会、地理的環境、歴史的キーワード、ソ連・ロシアの国歌を通してロシアの概略を示す。
第2回	モスクワ観光スポット (美術館、博物館、教会、劇場、世界遺産)	ロシアの首都モスクワ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、地下鉄、美術館、建築、観光スポットを紹介。
第3回	サンクト・ペテルブルクの名所 (美術館、劇場、博物館、教会)	ロシア第2の都市サンクト・ペテルブルグ。歴史、地理を概観するとともに、世界遺産や街並み、美術館、観光スポットを紹介。

第4回	民俗文化とロシア正教、国民の祝日	ロシア正教を国教とするロシア。その影響力は政治と結びついて大きなものとなっているが、キリスト教受容以前の異教との習合現象としての二重信仰の伝統もロシアに独特の文化を育ててきた。異教、正教、社会主義というイデオロギーなど常に信仰の対象を抱き続ける信心深いロシア人の民俗文化やこれに基づく祝祭、宗教的行事、祝日について紹介。
第5回	ロシア・バレエの世界1	バレエ・リュスからソ連時代のバレエ史に名を残すダンサー、そして現代の国際的ダンサーまで、ロシア・バレエの粋を紹介すると同時に、政治的に抑圧を受けたバレエ界の事象、亡命したダンサーについて概観。
第6回	ロシア・バレエの世界2	前回の授業を踏まえて、政治とバレエの問題を考える。
第7回	ロシアの音楽1：グリニカ、チャイコフスキー、ムソルグスキー	ロシア・クラシック音楽の歴史を概観。グリニカからムソルグスキーまでの音楽を、指揮者ゲルゴエフ、現代ロシアのソリストのパフォーマンスを通して紹介。
第8回	ロシアの音楽2：政治と音楽 (ショスタコーヴィチ、ラフマニノフ)	19世紀末からロシア革命時の音楽を概観。また、ショスタコーヴィチ、ストラヴィンスキー、ラフマニノフらを通して音楽と政治の問題を考える。
第9回	ロシアの音楽3：政治と音楽 (テルミン、肋骨レコード)	反体制派と呼ばれたソリスト、抑圧された音楽について。
第10回	ロシア文学1：イーゴリ軍記から19世紀前半	『イーゴリ軍記』における異教性、カラムジンの感傷主義、プーシキンのロマン主義とリアリズムの融合について。《余計者》の確立。
第11回	ロシア文学2：19世紀半ば～ (ゴーゴリ、ドストエフスキー)	ゴーゴリのグロテスクな手法、《小さな人間》について、ドストエフスキーの超人思想、神人について。
第12回	ロシア文学3：19世紀後半～20世紀 (トルストイ、チェーホフ、アヴァンギャルド、フォルマリズム)	トルストイの「性愛・肉欲の否定」と聖愚者の賞揚。チェーホフの創作方法について。《異化》の概念について。政治と文学について。
第13回	ロシア文学4：亡命作家から現代 (ソルジェニツィン、プロツキー、ペレーヴィン) / 日本文学との影響関係	亡命作家を通して政治と文学の問題。検閲から自由になった現代作家の営みを概観。ロシア文学と日本文学との影響関係について。
第14回	民族問題とナショナリズムの歴史と現代の民族問題	ロシアの領土拡大とオリエンタリズムについて。ソ連時代の民族統合が現代に残した問題。チェチェン紛争、グルジア紛争、現代ロシアのナショナリズム。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の鑑賞に際しては、AVライブラリーの活用を勧めます。期末レポートの作成には1週間程度の時間が必要となります。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しません。教場で教員が作成する資料を配付します。

【参考書】

参考文献については教場もしくは学習支援システムで、随時、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (25%)、コメントシート (25%)、期末レポート (50%) として総合的に判断します。本授業の到達目標の60%以上を達成した学生は合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

みなさんとロシアの多様な側面を新たに発見するような気持ちで、時事的な話題も含めながら講義を進めたいと思います。

【Outline (in English)】**● Course outline**

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Tourist spots Moscow and Saint Peter's burg, Russian ballet, music and literature.

● Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should to attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

● Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet / Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

● Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %),Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

ロシアの文化と社会 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

佐藤 千登勢

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：2単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

ロシアの歴史、映画、アニメ、美術の領域からロシアの文化の多様性を見ていきます。本講義では映像資料を多用して概説を行います。多くの情報を統合してロシアの像をまとめていく作業は学生のみなさん一人ひとりが行うことになります。

【到達目標】

この授業は、受動的に講義を受けたり映像を鑑賞するのではなく、多数の情報から自身の感想や見解を導き、教員が提起した問題に対して能動的に意見や主張をまとめる力を養うことを目標としています。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教場で資料を配付し、随時、映像資料を共有しながら講義を行います。コメントシートについては、興味深い視点を示したものを選択して次週の授業でみなさんと共有し、教員からコメントを加えるかたちでフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス/ロシアの歴史1：キエフルーシ、タタールの	ロシアの歴史：キエフルーシ、タタールの
第2回	ロシアの歴史2	ヴォートル大帝、エカテリーナ女帝、大黒屋光太夫、祖国戦争について映像資料を交えて概観。
第3回	ロシアの歴史3	農奴解放、近代化、テロリズム、日露戦争について映像資料を交えて概観。
第4回	ロシアの歴史4	ロマノフ王朝の崩壊、ロシア革命、スターリニズムについて映像資料を交えて概観。
第5回	ロシアの歴史5	雪解けから停滞へ、ペレストロイカ、チェルノブイリ原発事故、ソ連邦崩壊、新生ロシアまでを映像資料を交えて概観。
第6回	ソ連映画1	映画黎明期からモンタージュ派(エイゼンシュテイン、ヴェルトフ)、文芸映画を鑑賞しつつ、とりわけ政治的背景と映画の手法について着目する。
第7回	ソ連映画2	雪解け期から停滞の時代までに制作された文芸映画を、社会的背景、政治的体制、手法の観点から見ていく。

第8回 ソ連映画3

反体制の烙印を押された監督の作家性、手法、映像美を堪能する。また、SF映画を概観するとともに、ペレストロイカ期に多く制作された不条理作品、諷刺コメディを通して、政治と映画の問題を確認する。

第9回 ロシア映画4

検閲から自由になった映画として、芸術性と映像実験を重ねるソクーロフの作品、また、大国ロシアを再び謳い上げる戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状を概観する。

第10回 ロシア映画5

前回に引き続き、戦争映画、エンターテインメント、社会派ドラマと多様化する映画界の現状と傾向を概観する。

第11回 ロシア・アニメ1

黎明期からプロバガンダ・アニメ、児童アニメ(タレーヴィチ、アタマノフ、ヒトルーク、カチャーノフ)の概説と作品の鑑賞。

第12回 ロシア・アニメ2

アート・アニメ(ノルシュテイン、ペトロフらの作品)の概説と作品鑑賞。

第13回 ロシア美術1

イコン(聖像画)の機能について、移動派の活動、パトロンの役割について。

第14回 ロシア美術2

マレーヴィチ、カンディンスキー、シャガールの絵画について。ロシア・アヴァンギャルド期の建築について紹介。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業でとりあげたテーマについて、ネットや文献、映像資料、映画などを通して調べましょう。ソ連・ロシア映画の視聴には、AVライブラリーの利用を勧めます。期末レポートの作成には1週間程度の時間を要することになります。

【テキスト (教科書)】

教科書は使用しません。教員が作成した資料を教場で配付するか、もしくは学習支援システムにアップします。

【参考書】

教場や学習支援システムで適宜、紹介します。

【成績評価の方法と基準】

平常点(25%)、コメントシート(25%)、期末レポート(50%)として、総合的に判断します。本授業の到達目標の60%以上を達成した学生が合格となります。

【学生の意見等からの気づき】

今学期はロシアの歴史、映画が中心となりますが、時事的な話題もとりこみながら講義をおこないます。

【Outline (in English)】**● Course outline**

In this course, students will know about the culture and arts of Russia through the lecture and visual materials. Themes of this lecture: Russian history, and films, pictures and animations.

● Learning Objectives

While watching videos about Russia and Eastern Europe, students will be expected to develop the ability to put together appropriate sentences in a short time on the problems raised by the teacher. Students should to attend classes with an awareness of problems and a critical perspective.

● Learning activities outside of classroom

Find out about the themes covered in class through the internet, literature, video materials, and movies. When watching Soviet / Russian movies, we recommend using the AV library. Students should spend a week preparing the term-end report.

● Grading Criteria /Policy

Final grade will be calculated according to the following process: Usual performance score(25 %),Short reports(25 %) and term-end reports(50 %). To pass, students must earn at least 60 points out of 100.

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

検定のロシア語A

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級ロシア語を履修し終え中級以上を目指す学生のためのクラスです。資格として履歴書に書けるロシア語能力検定試験3級の合格を目指す。(3級はCEFR A2レベルの「文法・読解・聴解・会話・作文」力に相当します。)

【到達目標】

毎年5月と10月に実施されるロシア語能力検定試験に合格するために、以下の目標を達成する。1) 基礎文法を習得し確実に自身のものとする。2) テキストの内容を的確に把握し検定試験問題が解ける。3) 様々なテキストを和訳できる。4) ロシア語のリスニング問題が解ける、5) テキストを早く美しく音読できる。6) ロシア語の実践会話の習得、7) 語彙を増やし和訳や露訳の力を向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語能力検定試験3級の合格を目指し、基礎文法の習得を完成させ、対策問題や過去問などを解いていく。視聴覚教材で生きたロシア語に触れ、リスニングし、美しい発音でのリーディング練習を行う。単語や熟語のミニテストを適時行い、語彙力を強化していく。課題等に対するフィードバックは、授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、基礎文法の復習	オリエンテーション、既習の教科書での基礎文法の復習
第2回	名詞と人称代名詞	名詞の性別と複数形、人称代名詞、名詞の格変化
第3回	形容詞、所有代名詞と指示代名詞	形容詞、所有代名詞と指示代名詞、その格変化
第4回	動詞（時制の表現）	動詞（現在人称変化、過去形、未来形、完了体）
第5回	副詞、無人称文、テキスト読解	副詞、無人称文、テキスト読解
第6回	時制を表す表現、疑問詞	時制を表す表現、疑問詞とその返答
第7回	運動の動詞	1) 運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）2) 「(歩いて・乗り物で) 運ぶ」「連れて行く」
第8回	動詞の命令形	3パターン命令形（完了体・不完了体含む）
第9回	比較級	主に単一比較級
第10回	関係代名詞	関係代名詞、関係副詞、接続詞
第11回	数詞（主格・対格）	数詞（数詞と名詞の変化）
第12回	リーディング	リーディング練習（アクセント記号の付いていないテキスト）
第13回	リスニング	リスニング（過去問を時間内で解く練習）
第14回	和文露訳	和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語学習の成果としてロシア語能力検定試験合格を目指した準備を進めて下さい。基礎文法を復習し、過去問題と対策問題に取り組んでいきましょう。授業で指定されたテキストや練習問題は事前に準備を済ませてから授業に臨んでください。随時、課題を出す予定ですが、課題は期限までに必ず提出してください。本科目は毎回2時間の予習・復習を目安とします。また、NHKロシア語講座（テレビとラジオ）やインターネットなどでロシア関連のニュースを聴くなど、日頃からロシア語に触れてみましょう。

【テキスト（教科書）】

テキストは、適時プリントを配布します。

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

【参考書】

佐藤純一『NHK新ロシア語入門』NHK出版、2001年

『大学のロシア語1』沼野恭子著、東京外国語大学出版会、2013年、¥3520

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み、単語ミニテスト）50%、提出物の評価（課題や宿題等の提出）50%で評価します。課題は、文法の練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声提出してもらい、その評価も加味する予定です。

【学生の意見等からの気づき】

新規授業のため、次年度以降に記載されます。

【その他の重要事項】

ロシア語既習者が対象です。

「検定」は、東京ロシア語学院主催のロシア語能力検定試験（毎年5月10日実施）を想定しておりますが、ロシア連邦教育科学省認定ロシア語検定試験（ТРКИ - テ・エル・カ・イ）受験の希望者が多い場合は、そちらに標準を合わせる予定です。

また、ロシア語能力検定試験4級受験希望者が多数の場合も4級対策を多めに行う予定です。

いずれかの検定試験を受験し、合格を目指してください。

なお、受講生の習熟度や社会情勢等により授業計画およびその進度は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

This course is for students who have completed Beginner Russian and are aiming for intermediate level or higher. Aiming to pass Level 3 of the Russian Language Proficiency Test, which can be written on your resume as a qualification. (Level 3 is equivalent to the CEFR A2 level of "grammar, reading comprehension, listening comprehension, conversation, and writing" ability.) Work to be done outside of class : students review basic grammar and work on past exam questions and preparation questions. Students prepare the textbooks and practice questions assigned in class in advance before attending class. Grading criteria : The evaluation will be based on 50% of the normal score (participation in class, study efforts such as preparation and review, vocabulary mini-test) and 50% of the evaluation of submitted materials (submission of assignments, homework, etc.).

LANr200LA (ロシア語 / Russian language education 200)

検定のロシア語B

2017年度以降入学者

佐藤 裕子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級ロシア語を履修し終え中級以上を目指す学生のためのクラスです。資格として履歴書に書けるロシア語能力検定試験3級の合格を目指す。(3級はCEFR A2レベルの「文法・読解・聴解・会話・作文」力に相当します。)

春学期「検定のロシア語A」からの継続受講も可能です。

【到達目標】

毎年5月と10月に実施されるロシア語能力検定試験に合格するために、以下の目標を達成する。1) 基礎文法を習得し確実に自身のものとする。2) テキストの内容を的確に把握し検定試験問題が解ける。3) 様々なテキストを和訳できる。4) ロシア語のリスニング問題が解ける、5) テキストを早く美しく音読できる。6) ロシア語の実践会話の習得、7) 語彙を増やし和訳や露訳の力を向上させる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

ロシア語能力検定試験3級の合格を目指し、基礎文法の習得を完成させ、対策問題や過去問などを解いていく。視聴覚教材で生きたロシア語に触れ、リスニングし、美しい発音でのリーディング練習を行う。単語や熟語のミニテストを適時行い、語彙力を強化していく。課題等に対するフィードバックは、授業内で行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション、基礎文法の復習	オリエンテーション、既習の教科書での基礎文法の復習
第2回	名詞と人称代名詞	名詞の性別と複数形、人称代名詞、名詞の格変化
第3回	形容詞、所有代名詞と指示代名詞	形容詞、所有代名詞と指示代名詞、その格変化
第4回	動詞（時制の表現）	動詞（現在人称変化、過去形、未来形、完了体）
第5回	副詞、無人称文、テキスト読解	副詞、無人称文、テキスト読解
第6回	時制を表す表現、疑問詞	時制を表す表現、疑問詞とその返答
第7回	運動の動詞	1) 運動の動詞（定向動詞と不定向動詞）2) 「(歩いて・乗り物で) 運ぶ」「連れて行く」
第8回	動詞の命令形	3) パターンの命令形（完了体・不完了体含む）
第9回	比較級	主に単一比較級
第10回	関係代名詞	関係代名詞、関係副詞、接続詞
第11回	数詞（主格・対格）	数詞（数詞と名詞の変化）
第12回	リーディング	リーディング練習（アクセント記号の付いていないテキスト）
第13回	リスニング	リスニング（過去問を時間内で解く練習）

第14回 和文露訳

和文露訳

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

ロシア語学習の成果としてロシア語能力検定試験合格を目指した準備を進めて下さい。基礎文法を復習し、過去問題と対策問題に取り組んでいきましょう。授業で指定されたテキストや練習問題は事前に準備を済ませてから授業に臨んでください。随時、課題を出す予定ですが、課題は期限までに必ず提出してください。

本科目は毎回2時間の予習・復習を目安とします。また、NHKロシア語講座（テレビとラジオ）やインターネットなどでロシア関連のニュースを聴くなど、日頃からロシア語に触れてみましょう。

【テキスト（教科書）】

テキストは、適時プリントを配布します。

露和辞典（博友社ロシア語辞典（1995年、¥6291）が望ましい）

【参考書】

佐藤純一『NHK 新ロシア語入門』NHK出版、2001年

『大学のロシア語1』沼野恭子著、東京外国語大学出版会、2013年、¥3520

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業への参加度、予習復習などの学習への取り組み、単語ミニテスト）50%、提出物の評価（課題や宿題等の提出）50%で評価します。課題は、文法の練習問題、和訳、露訳などです。また、記憶を定着させるための暗唱や音読などの音声を提出してもらい、その評価も加味する予定です。

【学生の意見等からの気づき】

新規授業のため、次年度以降に記載されます。

【その他の重要事項】

ロシア語既習者が対象です。

「検定」は、東京ロシア語学院主催のロシア語能力検定試験（毎年5月10月実施）を想定しておりますが、ロシア連邦教育科学省認定ロシア語検定試験（ТРКИ - テ・エル・カ・イ）受験の希望者が多い場合は、そちらに標準を合わせる予定です。

また、ロシア語能力検定試験4級受験希望者が多数の場合も4級対策を多めに行う予定です。

いずれかの検定試験を受験し、合格を目指してください。

なお、受講生の習熟度や社会情勢等により授業計画およびその進度は変更される可能性があります。

【Outline (in English)】

This course is for students who have completed Beginner Russian and are aiming for intermediate level or higher. Aiming to pass Level 3 of the Russian Language Proficiency Test, which can be written on your resume as a qualification. (Level 3 is equivalent to the CEFR A2 level of "grammar, reading comprehension, listening comprehension, conversation, and writing" ability.) Work to be done outside of class ; students review basic grammar and work on past exam questions and preparation questions. Students prepare the textbooks and practice questions assigned in class in advance before attending class. Grading criteria : The evaluation will be based on 50% of the normal score (participation in class, study efforts such as preparation and review, vocabulary mini-test) and 50% of the evaluation of submitted materials (submission of assignments, homework, etc.).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級(中国語1と中国語2)で習った内容を定着させる。
- ・ピンインを頼りにせずに中国語を読む習慣を身につける。
- ・短い文章を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・中国文化・風習への理解を深める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムHoppiiでその都度知らせる。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業の計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習、文法の復習と練習
第2回	第一課 自我介绍	・ウォーミングアップ ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞+動詞」を活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・読解練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・ウォーミングアップ ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・ウォーミングアップ ・一連の動作の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・仮定表現「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語+動詞+得+形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过?
第8回	第四課 许芳的苦恼	・ウォーミングアップ ・復習：動詞+方向補語(来/去) ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・読解練習 ・実践会話：「你有苦恼吗?」
第10回	第五課 我们是去年认识的	・ウォーミングアップ ・復習：「是……的」構文 ・「因为……所以……」の活用 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我和我的朋友
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・ウォーミングアップ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・助数詞(量詞)の概観 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・本文 ・読解練習 ・実践会話：比赛
第14回	期末試験	・筆記試験

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト(教科書)】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社(2200円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087)

【参考書】

- ・中国語辞書(電子辞書可)
 - ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同享社(2500円+税)
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社(2200円+税)
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店(2900円+税)
- ※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点(課題・小テスト・授業への参加度)50%を総合して評価する。

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

出欠について

・無断欠席の場合、平常点から3点減点/回。

・4回以上無断欠席の場合は成績評価できません。

・1時間以上の遅刻は出席と扱われません。

課題の提出について

・課題未提出の場合、平常点から5点減点/回。

・締め切り後1週間以内の提出は、平常点から2点減点/回。

・1週間以上遅れて提出した場合は成績評価しません。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はコミュニケーション・ディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

(授業時間外 予習・復習用) 音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- Express their opinions and experiences in Chinese.
- Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語1～中国語3 Iで習った内容を定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたなどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・会話練習 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・読解練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・単語の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・読解練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么?
第7回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・読解練習 ・「动漫」について ・実践会話：我想告诉大家的日本文化
第9回	第十一課 北京欢迎你	・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現 ・本文 ・読解練習 ・実践会話：东京的魅力
第10回	第十二課 饮食与中国	・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・読解練習 ・実践会話：日本の美食 ・「这个词中文怎么说?」
第12回	第十三課 中国的民族	・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文&練習
第13回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節
第14回	期末試験	・筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト (教科書)】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (2200円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087)

【参考書】

- ・中国語辞書 (電子辞書可)
 - ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社 (2500円+税)
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社 (2200円+税)
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店 (2900円+税)
- ※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点 (課題・小テスト・授業への参加度) 50%を総合して評価する。

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

出欠について

・無断欠席の場合、平常点から3点減点/回。

・4回以上無断欠席の場合は成績評価できません。

・1時間以上の遅刻は出席と扱われません。

課題の提出について

・課題未提出の場合、平常点から5点減点/回。

・締め切り後1週間以内の提出は、平常点から2点減点/回。

・1週間以上遅れて提出した場合は成績評価しません。

【学生の意見等からの気づき】

単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

(授業時間外 予習・復習用) 音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- Express their opinions and experiences in Chinese.
- Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語1、中国語2で学習した内容を基礎とし中国語1、次のステップへ進む。

Class outline

Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, go to the next step in Chinese 1.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業も行う。進度として1課を2回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テスト(約25分) 2) テキストの学習(約40分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など(約35分)。外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせる展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明及び発音の復習
2	第一課 『北京に到着』 連動文	1 原因、結果の表現 2 動詞句主語 3 数字に関して
3	第一課 『北京に到着』 本文暗唱	文法問題の演習

4	第二課 『道を尋ねる』 疑問文の使い方	1 動詞の完了表現 2 反復疑問文
5	第二課 『道を尋ねる』 本文暗唱	文法問題の演習/会話
6	第三課 『買い物』 数量補語	形容詞と比較の表現に関して
7	第三課 『買い物』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課 『バスに乗る』 1 名詞の修飾語 2 副詞に関して	1 結果補語 2 人民元に関して
10	第四課 『バスに乗る』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
11	第五課 『新しい友達』 様態補語	1 完了の「了」に関して 2 変化の「了」に関して
12	第五課 『新しい友達』 本文の暗唱	文法問題の演習/会話
13	第六課 『外食』 1 経験に関する助詞 2 依頼に関する動詞	1 主述述語文 2 能願動詞
14	第六課 『外食』 本文暗唱	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト (教科書)】

『2年生のコミュニケーション中国語』
塚本慶一 劉穎 著
白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること (電子辞書可)
『ポイント学習中国語初級』東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語1、中国語2で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。
Based on what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.
- ・You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・Foster interest in Chinese history and culture. 中国の歴史、文化に対する関心を養う。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業をも行う。進度として1課を2回の授業で進めていく。単語などの小テストを行う。新出単語・文法事項を確認しながら、本文の和訳、中訳、発音練習などを行う。毎回会話練習をする。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『約束』	「可～了」に関して 伝聞に関する動詞 能願動詞：打算
3	第七課 『約束』	文法、表現、語彙に関する練習/ 本文の暗唱 会話
4	第八課 『友達に電話する』	使役文、兼語 方向補語
5	第八課 『友達に電話する』	文法、表現、語彙に関する練習/ 本文の暗唱 会話
6	第九課 『郵便局』	方向補語の「到」 慣用句： 「如果～」

7	第九課 『郵便局』	文法、表現、語彙に関する練習/ 本文の暗唱 会話
8	まとめ、復習	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課 『医者に行く』	1 能願動詞の「要」 2 一～就 1 「有一点」に関して
10	第十課 『医者に行く』	文法、表現、語彙に関する練習/ 本文の暗唱 会話
11	第十一課 『家庭訪問』	「就是」の使い方 1 助動詞「用」 2 進行形
12	第十一課 『家庭訪問』	文法、表現、語彙に関する練習/ 本文の暗唱 会話
13	第十二課 『謝恩会』	1 変化を表す「了」 可能補語 2 「就要～了」
14	第十二課 『謝恩会』	第七課～第十二課の復習、勉強した内容の確認 本文の暗唱

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・付属のCDを繰り返して聴く。
- ・単語の意味を必ず事前に調べる。
- ・本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト (教科書)】

『二年生のコミュニケーション中国語』
塚本慶一 劉穎 著
白水社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること (電子辞書可)
『ポイント学習中国語初級』東方書店

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるため、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題提出 授業への参加度 30% 期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第7課	文法・本文
3	第7課	応用練習
4	第8課	文法・本文
5	第8課	応用練習
6	第9課	文法・本文
7	第9課	応用練習
8	第10課	文法・本文
9	第10課	応用練習
10	第11課	文法・本文
11	第11課	応用練習
12	第12課	文法・本文
13	第12課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題、授業への参加度30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。

【到達目標】

一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定4級およびHSK3級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。

- ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力
- ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力
- ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力
- ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け2週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。

- ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項 (ポイント) の解説 → ③練習問題の実施と解説 (指名して回答してもらいます) → ④本文の解説と音読練習
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。
- ・指示された課題は必ず取り組んでください。
- ・課題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などを説明します。中国語リテラシーについてもお話しします。
2	第12課 你是什么人? 候回来的? Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	強調構文、様態補語、疑問詞の不定・任意用法など
3	第12課 你是什么人? 候回来的? Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の不定・任意用法、本文のリスニングと解釈

4	第13課 我正在写告呢 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	結果補語、動作の進行、連勝修飾語「地」など
5	第13課 我正在写告呢 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の結果補語、本文のリスニングと解釈
6	第14課 下雨了 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	無主語文、動作・状態の持続、複合方向補語など
7	第14課 下雨了 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「不能不～」・「除了～以外……」、本文のリスニングと解釈
8	第15課 我来了及看 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	兼語文(1)、可能補語、禁止文など
9	第15課 我来了及看 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	その他の可能補語、本文のリスニングと解釈
10	第16課 把以前的考做一 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	形容詞の重ね形、完了の「了」、処置文など
11	第16課 把以前的考做一做 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「越～越……」、「不管～」、本文のリスニングと解釈
12	第17課 小心! 后面来了 Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習	存現文、疑問詞の呼応など
13	第17課 小心! 后面来了 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習	「差(一)点儿」、積極性を示す「来」と「去」、本文のリスニングと解釈
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。

【予習】

「Quizlet」によって単語、例文をあらかじめ確認し、練習問題を解いて授業中の指名に回答できるようにしておく。

・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。

【復習】

「Quizlet」によって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させたうえでテストに取り組む。これは課題となります。

【テキスト (教科書)】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』(早稲田中国語教育研究会編著、三修社)。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。
一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%、課題の達成度+平常点（予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題+平常点=70%に変更し総合的に判断することとします）

提出課題についての注意：

オンラインドリル（Quizlet）以外に提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

- ①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。
- ②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い=成績の低評価につながります。
- ③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。
- ④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。
- ⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。
- ・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。
- ・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【その他の重要事項】

受講において考慮すべきことがあれば遠慮なくご相談ください。

【Outline (in English)】

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, homework and in class contribution: 50%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

柴崎 公美子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎文法を復習しながら、「読む、話す、書く、訳す」という四技能の向上をはかり、より実践的な語学力を身に付けつけることを目的とします。

【到達目標】

一年次の中国語学習において習得した内容を基盤として、以下の点を伸ばしていく。修了後には中国語検定4級およびHSK3級を取得可能なレベルに到達することを目標とする。

- ・「漢字」に頼らない正確な中国語読解力
- ・「ピンイン」に頼らない中国語発音能力
- ・より幅広い語彙、文法を使いこなす表現能力
- ・やや複雑な表現も聞き取ることができるリスニング能力

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容について、ひとつの課を二部に分け2週にわたって学習します。進行の方法は以下の通り。

- ①単語の解説と音読 → ②その課の文法事項 (ポイント) の解説 → ③練習問題の実施と解説 (指名して回答してもらいます) → ④本文の解説と音読練習
- ・新出単語、補充単語、本文は予習、復習において何度も音読練習してください。
- ・練習問題は授業時間内に実施、解説します。
- ・指示された課題は必ず取り組んでください。
- ・課題等のフィードバックは授業時間またはHoppiiを通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第18課 他的自行☒ 被人撞坏了	受身文、意味上の受身文など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
2	第18課 他的自行☒ 被人撞坏了	「比」と様態補語、結果補語の「☒」「成」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
3	第19課 “☒☒”和“打工”的性☒不同	「算」、複合方向補語の派生義など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習

4	第19課 “☒☒”和“打工”的性☒不同	「不但～而且……」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
5	第20課 有人告☒我他生病了	兼語文(2)、「只有～才……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
6	第20課 有人告☒我他生病了	「有的～有的……」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
7	第21課 “胡同”像迷☒一☒	さまざまな可能補語、「既然～就……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
8	第21課 “胡同”像迷☒一☒	「比」と動詞フレーズ、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
9	第22課 春☒的☒票既不便宜又不好☒	「就是/即使～也……」、「既～又……」など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
10	第22課 春☒的☒票既不便宜又不好☒	「并不」、「白」、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
11	第23課 学分没有白修的	復習(その1)動詞述語文・形容詞述語文など Step1の単語・文法学習 Step2の会話・音読演習
12	第23課 学分没有白修的	復習(その2)疑問文・アスペクト、本文のリスニングと解釈 Step3の単語・文法学習 Step4の長文読解・音読演習
13	第24課 下次再会	復習(その3)補語・さまざまな文型など Step1の単語・文法学習 Step3の単語・文法学習
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は予習・復習が習得の鍵です。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。その具体的な内容は以下の通り。

【予習】「Quizlet」によって単語、例文をあらかじめ確認し、練習問題を解いて授業中の指名に回答できるようにしておく。

・会話および長文は、付属音声聴いて教科書本文を確認する。

【復習】「Quizlet」によって単語、例文、練習問題を復習し、知識を定着させようとしてテストに取り組む。これは課題となります。

【テキスト（教科書）】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社）

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）

【成績評価の方法と基準】

対面授業の場合、期末試験50%、課題の達成度+平常点（小テスト、予習の完成度、授業への参加意欲など）の合計50%の割合で総合的に評価します。

（もしオンライン授業となった場合は上記の割合を試験30%、課題+平常点=70%に変更し総合的に判断することとします）

提出課題についての注意：

オンラインドリル（Quizlet）以外に、提出課題を課すこともあります。その際は以下の点に注意してください。

- ①期限日までに必ず提出すること。締切日に遅れた場合、課題提出はできなくなり、評価材料にもなりません。
- ②なるべく完成度の高い回答を提出してください。課題の評価が低い=成績の低評価につながります。
- ③何の断りもなく締切日が過ぎた課題を他の課題と一緒に提出されても、評価はしません。
- ④フィードバック後の修正再提出は大歓迎です。評価ももちろん修正します。あらかじめ、ご連絡をくだされば再提出期限を設定します。
- ⑤オンラインドリルは授業終了後速やかに取り組むこと。積み残しすればするほど大変な思いをすることになります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・スライド画面については多様性を鑑み、ユニバーサルデザインを心がけます。
- ・説明を簡潔に、わかりやすくするよういたします。
- ・受講について、こちらで考慮すべきご事情があれば遠慮せずご相談ください。できる限りお力になれるよういたします。

【学生が準備すべき機器他】

「Quizlet」というオンライン学習システムを使用しますので、各自でパソコンおよびスマートフォンなどインターネット学習ができる環境を整えておいてください。

【Outline (in English)】

Based on the basic skills acquired in the first year, the course aims to improve the basic grammar, listening, speaking, and writing skills of the Chinese language.

Two hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%、homework and in class contribution: 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めていきます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動(2)私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする (2) 応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現 (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現 (2) 応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す (2) 応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 35%

期末テスト[筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにするべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実践活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	• チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることに。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 35%

期末テスト[筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

*上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

*評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	発音と基礎文法の復習
2	第1課	文法・本文・ドリル
3	第2課	文法・本文・ドリル・会話
4	第3課	文法・本文・ドリル・会話
5	第4課	文法・本文・ドリル・会話
6	第5課	文法・本文・ドリル・会話
7	中間復習	中間テスト・会話の発表等
8	第6課	文法・本文・ドリル・会話
9	第7課	文法・本文・ドリル・会話
10	第8課	文法・本文・ドリル・会話
11	第9課	文法・本文・ドリル・会話
12	第10課	文法・本文・ドリル・会話
13	授業の総まとめと期末試験（1）	口頭試験
14	授業の総まとめと期末試験（2）	筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語20回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表等の課題や授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term examination(20%), Short tests(20%), in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期末試験の総括・既習の内容の復習
2	第11課	文法・本文・ドリル
3	第12課	文法・本文・ドリル・会話
4	第13課	文法・本文・ドリル・会話
5	第14課	文法・本文・ドリル・会話
6	第15課	文法・本文・ドリル・会話
7	中間復習	中間小テスト 会話の発表等
8	第16課	文法・本文・ドリル・会話
9	第17課	文法・本文・ドリル・会話
10	第18課	文法・本文・ドリル・会話
11	第19課	文法・本文・ドリル・会話
12	第20課	文法・本文・ドリル・会話
13	授業の総まとめと期末試験（1）	口頭試験
14	授業の総まとめと期末試験（2）	筆記試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについての音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「大学生のための中級中国語20回」杉野元子・黄漢青著 白帝社
2019年 2400円＋税

【参考書】

授業内で指示

【成績評価の方法と基準】

中間テストと期末テストを50%、会話の発表等の課題や授業の参加度を50%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいと考えます。

【学生が準備すべき機器他】

万が一の状況に備え、オンライン授業を受講するための通信環境・PC等を準備してください。

【Outline (in English)】

This is a semi-intermediate Chinese course. We will learn highly practical Chinese in various situations of student life and daily life.

The aim of this course is to strengthen the basics of Chinese, and acquire daily conversation ability, and deepen understanding of Chinese culture and customs.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(50%), Mid-term

examination(20%), Short tests(20%),

in-class contribution(10%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使っての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動(2)私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする (2) 応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現 (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現 (2) 応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す (2) 応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 35%

期末テスト[筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにするべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実践活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めていきます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	• チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることに。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチャⅡ』

楊凱榮・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 35%

期末テスト[筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

*上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

*評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合があります。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

桑島 道夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級（～中級）の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。大学生にとって興味のある話題や身近に起こる出来事を通して、現代中国への理解を深めます。

【到達目標】

- ・初級（～中級）の文法事項の理解
- ・中国語の日常会話や常用表現の習得

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・発音練習
- ・新出単語の確認
- ・文法事項の確認
- ・教科書に載っている日常会話・常用表現を使った応答練習
- ・教科書の表現を使った応用練習
- ・授業時の課題は、皆さんから課題提出のあった次の授業でご返答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンスとウォーミングアップ	初級の履修状況の確認と復習
第2回	自我介绍	1 “是～的”の文
第3回	(自己紹介)	2 比較の表現 / 3 逆接を表す“不☒”
第4回	校园生活	1 前置詞 / 2 “又～又…” “～であり…である”
第5回	(キャンパスライフ)	3 “除了～以外…” “～を除いて…”
第6回	梅雨和紫阳花	1 “就要～了” “快(要)～了” “要～了” “まもなく～する”
第7回	(梅雨とアジサイ)	2 “一～就…” “～するとすぐに…” / 3 原因、理由を表す“因☒”
第8回	☒合☒☒	第3課までのまとめ
第9回	(総合練習)	第3課までの確認と復習
第10回	☒外活☒	1 時間の長さ、動作の回数を表す語の位置 / 2 離合する動詞
第11回	(課外活動)	3 逆接を表す“虽然～但是…” “～であるが、しかし…”
第12回	☒合☒☒	第5課までのまとめ
第13回	(総合練習)	第5課までの確認と復習
第14回	試験	・単語 ・中国語→日本語の翻訳 ・日本語→中国語の作文 ・ヒアリング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

渋谷裕子ほか編『さくら大学で中国語 初・中級ブリッジ』、好文出版、ISBN: 978-4-87220-172-7

【参考書】

辞書: 小学館中日辞典第3版、ISBN-13: 978-4095156040 (格安スマートフォン用アプリもあります)、参考書: 守屋宏則著『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』東方書店、ISBN-13: 978-4497219183 (参考書は必須ではありません)

【成績評価の方法と基準】

期末試験60% + 平常点 (小テスト) 40%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の反省を踏まえて、まずは初級を復習するところから始めたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

辞書はできればお買い求めください。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This course introduces Chinese Conversation.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand elementary grammar matters and to learn daily Chinese conversation and common expressions.

【Learning activities outside of the classroom】

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%, in-class contribution: 40%.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

桑島 道夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級（～中級）の文法事項を押さえながら、中国語の日常会話や常用表現を身につけます。大学生にとって興味のある話題や身近に起こる出来事を通して、現代中国への理解を深めます。

【到達目標】

- ・初級（～中級）の文法事項の理解
- ・中国語の日常会話や常用表現の習得

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- ・発音練習
- ・新出単語の確認
- ・文法事項の確認
- ・教科書に載っている日常会話・常用表現を使った応答練習
- ・教科書の表現を使った応用練習
- ・授業時の課題は、皆さんから課題提出のあった次の授業でご返答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ウォーミングアップ	前期の履修内容の確認と復習
第2回	暑假的回	1 三つのde → “的”“地”“得” / 2 “不但～而且…” 「～ばかりでなく…だ」
第3回	（夏休みの思い出）	3 仮定を表す“如果～（的）”、（就）… 「もし～ならば…する」
第4回	周末	1 方向補語の目的語の位置
第5回	（週末）	2 “把”構文 / 3 “ちょっと”のいろいろ
第6回	☑合☑☑（総合練習）	第7課までのまとめ、確認と復習
第7回	我的留学生活	1 可能補語 「～することができる／できない」
第8回	（私の留学生活）	2 “越来越”と“越～越…” / 3 “一☑（几）～一☑（几）…” 「～しながら…する」
第9回	期末考	1 使役の表現「～に…をさせる」
第10回	（期末試験）	2 受け身の表現「～に…される」 / 3 “只有～才能…” 「～してこそはじめて…」
第11回	找工作	1 “要”の用法
第12回	（仕事探し）	2 学習した助動詞のまとめ
第13回	☑合☑☑（総合練習）	第11課までのまとめ、確認と復習
第14回	試験	・単語 ・中国語→日本語の翻訳 ・日本語→中国語の作文 ・ヒアリング

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

渋谷裕子ほか編『さくら大学で中国語 初・中級ブリッジ』、好文出版、ISBN: 978-4-87220-172-7

【参考書】

辞書: 小学館中日辞典第3版、ISBN-13: 978-4095156040（格安スマートフォン用アプリもあります）、参考書: 守屋宏則著『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』東方書店、ISBN-13: 978-4497219183（参考書は必須ではありません）

【成績評価の方法と基準】

期末試験60% + 平常点（小テスト）40%

【学生の意見等からの気づき】

昨年度の反省を踏まえて、まずは初級を復習するところから始めたいと思っています。

【学生が準備すべき機器他】

辞書はできればお買い求めください。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This course introduces Chinese Conversation.

【Learning Objectives】

The goals of this course are to understand elementary grammar matters and to learn daily Chinese conversation and common expressions.

【Learning activities outside of the classroom】

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policies】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 60%, in-class contribution: 40%.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

張 玉萍

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

- ①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。
- ②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。
- ③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、成績評価の基準、履修上の注意事項などについての説明。中国語レベルの確認
2	第1課 初次☒面 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①名詞の前の“的” ②前置詞“☒” ③“多”+動詞の重ね型 ◆練習問題を完成・確認する。
3	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
4	第2課 家庭 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①比較用法 ②“每～都…” ③動詞・形容詞の前の“地” ◆練習問題を完成・確認する。
5	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
6	第3課 互☒网 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“除了～以外、…” ②疑問詞の呼応表現 ③“一点儿也不/没～” ◆練習問題を完成・確認する。
7	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。

8	第4課 逛街 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①使役同士“☒” ②助詞“着” ③複合方向補語 ◆練習問題を完成・確認する。
9	◆総合練習1 会話練習、表現練習	◆総合練習1を完成・確認する。 質疑応答
10	第5課 温泉旅行 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“是～的” ②“因☒～所以…” ③結果補語 ◆練習問題を完成・確認する。
11	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
12	第6課 我的☒好 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“什么的” ②“一～就…” ③可能補語(1) ④“只要～就…” ◆練習問題を完成・確認する。
13	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
14	まとめ、到達度 チェック *授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%+期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total. Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50% + final exam (speech presentation) 50%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

張 玉萍

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

- ①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。
- ②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。
- ③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 交朋友 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①数量補語 ②副詞“才” ③様態補語 ◆練習問題を完成・確認する。
2	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
3	第8課 聚餐 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①疑問詞の不定用法 ②“无☒～都…” ③“☒～都…” ④可能補語(2) ◆練習問題を完成・確認する。
4	◆総合練習2 会話練習、表現練習	◆総合練習2を完成・確認する。 質疑応答
5	第9課 ☒☒ 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“不是～就是…” ②反語文“不是～☒” ③“再也～了” ④助動詞“会” ◆練習問題を完成・確認する。
6	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。

7	第10課 打工 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“虽然～但是…” ②“不但～而且…” ③離合詞 ④“有”の兼語文 ◆練習問題を完成・確認する。
8	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
9	第11課 寒假 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“就要～了” ②副詞“就” ③副詞“都” ◆練習問題を完成・確認する。
10	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
11	第12課 留学 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①助動詞“要” ②“把”構文 ③“☒～来☒” ④“有”の連動文 ◆練習問題を完成・確認する。
12	◆総合練習3 会話練習、表現練習	◆総合練習3を完成・確認する。 質疑応答
13	質疑応答、まとめ、 到達度チェック	スピーチ発表などにより判定
14	まとめ、到達度 チェック *授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%+期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50% + final exam (speech presentation) 50%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語 1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課（助動詞、主述語文の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第1課（トレーニング1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第2課（”的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第2課（トレーニング2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第3課（連動文、”是～的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第3課（トレーニング3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第1課～第3課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第8回	第4課（”了”の3つの用法、副詞”就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第4課（トレーニング4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第5課（様態補語、推量の表現、「仮定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第5課（トレーニング5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第1課～第3課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第4課、第5課）	期末試験に向けた復習と練習。
第14回	授業内試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200円+税

【参考書】

『中国語さらなる一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200円+税

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、授業への参加度60%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

4群, 200番台、選択外国語科目2年~

中国語コミュニケーション初級I・II,

火・2限 周 重雷

資格中国語初級I・II

水・4限 青木 正子

300番台 総合科目 2年~

中国語コミュニケーション中級A・B 火・3限 周 重雷

資格中国語中級A・B 月・3限 渡辺 昭太

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語Ⅰ」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課（結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。（1）、副詞“有点”の用法）
第2回	第6課（トレーニング6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第7課（存現文、主述句の主語、二つの了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第7課（トレーニング7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第8課（状態の持続を表す“着”、副詞“再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第8課（トレーニング8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第6課～第8課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第8回	第9課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第9課（トレーニング9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第10課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第10課（トレーニング10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第6課～第8課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第9課、第10課）	期末試験に向けた復習と練習。

第14回 試験・まとめ

朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度60%、期末試験40%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

4群、200番台、選択外国語科目2年～

中国語コミュニケーション初級Ⅰ・Ⅱ、

火・2限 周 重雷

資格中国語初級Ⅰ・Ⅱ

水・4限 青木 正子

300番台 総合科目 2年～

中国語コミュニケーション中級A・B 火・3限 周 重雷

資格中国語中級A・B 月・3限 渡辺 昭太

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

・ To review important point of Chinese grammar.

・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.

・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級（中国語1と中国語2）で習った内容を定着させる。
- ・ピンインを頼りにせずに中国語を読む習慣を身につける。
- ・短い文章を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・中国文化・風習への理解を深める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムHoppiiでその都度知らせる。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業の計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習、文法の復習と練習
第2回	第一課 自我介绍	・ウォーミングアップ ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞+動詞」を活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・読解練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・ウォーミングアップ ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・ウォーミングアップ ・一連の動作の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・仮定表現「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語+動詞+得+形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过?
第8回	第四課 许芳的苦恼	・ウォーミングアップ ・復習：動詞+方向補語（来/去） ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・読解練習 ・実践会話：「你有苦恼吗？」
第10回	第五課 我们是去年认识的	・ウォーミングアップ ・復習：「是……的」構文 ・「因为……所以……」の活用 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我和我的朋友
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・ウォーミングアップ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・助数詞（量詞）の概観 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・本文 ・読解練習 ・実践会話：比赛
第14回	期末試験	・筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト（教科書）】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社（2200円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087）

【参考書】

- ・中国語辞書（電子辞書可）
 - ・相原茂・石田知子・戸沼子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同享社（2500円+税）
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社（2200円+税）
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店（2900円+税）
- ※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点（課題・小テスト・授業への参加度）50%を総合して評価する。

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

出欠について

- ・無断欠席の場合、平常点から3点減点/回。
- ・4回以上無断欠席の場合は成績評価できません。
- ・1時間以上の遅刻は出席と扱われません。

課題の提出について

- ・課題未提出の場合、平常点から5点減点/回。
- ・締め切り後1週間以内の提出は、平常点から2点減点/回。
- ・1週間以上遅れて提出した場合は成績評価しません。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はコミュニケーション・ディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

（授業時間外 予習・復習用）音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- Express their opinions and experiences in Chinese.
- Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語1～中国語3 Iで習った内容を定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・会話練習 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・読解練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・単語の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・読解練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么?
第7回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・読解練習 ・「动漫」について ・実践会話：我想告诉大家的日本文化
第9回	第十一課 北京欢迎你	・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現 ・本文 ・読解練習 ・実践会話：东京的魅力
第10回	第十二課 饮食与中国	・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・読解練習 ・実践会話：日本の美食 ・「这个词中文怎么说?」
第12回	第十三課 中国的民族	・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文&練習
第13回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・筆記試験
第14回	期末試験	

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト (教科書)】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (2200円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087)

【参考書】

- ・中国語辞書 (電子辞書可)
 - ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社 (2500円+税)
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社 (2200円+税)
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店 (2900円+税)
- ※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点 (課題・小テスト・授業への参加度) 50%を総合して評価する。

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

出欠について

・無断欠席の場合、平常点から3点減点/回。

・4回以上無断欠席の場合は成績評価できません。

・1時間以上の遅刻は出席と扱われません。

課題の提出について

・課題未提出の場合、平常点から5点減点/回。

・締め切り後1週間以内の提出は、平常点から2点減点/回。

・1週間以上遅れて提出した場合は成績評価しません。

【学生の意見等からの気づき】

単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

(授業時間外 予習・復習用) 音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- Express their opinions and experiences in Chinese.
- Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、「中国語1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、文法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールなどで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課（助動詞、主述語文の用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第2回	第1課（トレーニング1）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第2課（“的”の用法、「原因・理由」の表現、文末助詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第2課（トレーニング2）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第3課（連動文、“是～的”の文、疑問詞）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第3課（トレーニング3）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第1課～第3課の復習	日文中訳・中文日訳の練習。
第8回	第4課（“了”の3つの用法、副詞“就”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第4課（トレーニング4）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第5課（様態補語、推量の表現、「仮定」の表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第5課（トレーニング5）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第1課～第3課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第4課、第5課）	期末試験に向けた復習と練習。
第14回	授業内試験・まとめ	朗読試験、ヒヤリング・筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しおこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200円+税

【参考書】

『中国語さらなる一步』尹景春・竹島毅 白水社
2200円+税

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、授業への参加度60%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化し到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

4群, 200番台、選択外国語科目2年~

中国語コミュニケーション初級I・II,

火・2限 周 重雷

資格中国語初級I・II

水・4限 青木 正子

300番台 総合科目 2年~

中国語コミュニケーション中級A・B 火・3限 周 重雷

資格中国語中級A・B 月・3限 渡辺 昭太

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

- ・ To review important point of Chinese grammar.
- ・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.
- ・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.
- ・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.
- ・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

木村 佳代子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、引き続き、「中国語1」で学修した基礎文法の要点を復習しながら、より実践的な語学力を身に付けつけます。「読む、話す、書く、訳す」技術の向上と、ことばの背景にある中国文化、中国事情の知識を深めることで、発信力と受信力を蓄えてゆきます。

【到達目標】

1. 中国語の中級レベルの語彙、その用法を学修し、運用することができる。
2. ことばの背景にある中国文化、中国事情について学び、自国との比較を通じて、正しく日中対訳ができる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中国社会を反映した全12課のテキストを使用し、一つの課を複数回に分け、本文の発音練習、訳文練習、会話練習、作文練習、テキスト内の練習問題の解答を行います。課題等へのフィードバックは授業中またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第6課（結果補語）	新出単語、本文音読練習、訳文。（1）、副詞“有点”の用法）
第2回	第6課（トレーニング6）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第3回	第7課（存現文、主述句の主語、二つの了”）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第4回	第7課（トレーニング7）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第5回	第8課（状態の持続を表す“着”、副詞“再”、疑問詞の不定用法）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第6回	第8課（トレーニング8）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第7回	第6課～第8課の復習	日文中訳、中文日訳を中心とした練習
第8回	第9課（方向補語、使役表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第9回	第9課（トレーニング9）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第10回	第10課（可能補語、強調表現）	新出単語、本文音読練習、訳文。
第11回	第10課（トレーニング10）	文法、構文の解説、作文、会話練習、練習問題の解答。
第12回	総合練習（第6課～第8課）	期末試験に向けた復習と練習。
第13回	総合練習（第9課、第10課）	期末試験に向けた復習と練習。

第14回 試験・まとめ

朗読試験、ヒヤリング、筆記試験。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。事前学修、事後学修は、付属のCDを活用し、発音練習や書き取り練習を繰り返しておこなってください。

【テキスト（教科書）】

『中国語つぎへの一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【参考書】

『中国語さらなる一歩』尹景春・竹島毅 白水社
2200円＋税

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度60%、期末試験40%を総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

授業では、学生の個別指導を強化して到達度チェックを図ってゆきます。

【学生が準備すべき機器他】

情報機器

【その他の重要事項】

関連科目

4群、200番台、選択外国語科目2年～

中国語コミュニケーション初級Ⅰ・Ⅱ、

火・2限 周 重雷

資格中国語初級Ⅰ・Ⅱ

水・4限 青木 正子

300番台 総合科目 2年～

中国語コミュニケーション中級A・B 火・3限 周 重雷

資格中国語中級A・B 月・3限 渡辺 昭太

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【None.】

None.

【Outline (in English)】

This course is continued from Spring semester.

・ To review important point of Chinese grammar.

・ Improve reading, speaking, writing, and translating skills.

・ Learning Chinese cultures and social changes to enable to express thoughts and opinions in Chinese.

・ Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

・ Term-end examination: 40%, in class contribution: 60%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動 (1)	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動 (2)	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動(2)私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動 (3)	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする (2) 応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現 (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現 (2) 応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す (1) 基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す (2) 応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 35%

期末テスト[筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してこること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてこること。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実践活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにするべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実践活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めていきます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実践活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	• チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで～する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「～しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることに。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 35%

期末テスト[筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

*上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

*評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下のようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第一課	初級の復習 (1)
2回	第一課	初級の復習 (2)
3回	第二課	初級の復習 (1)
4回	第二課	初級の復習 (2)
5回	第三課	ある動作を行う目的や方法を説明する表現
6回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7回	復習	第一課～第四課の復習
8回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9回	第六課	能力と可能性の表現
10回	第七課	動作の結果を説明する表現
11回	第八課	動作の方向を説明する表現
12回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13回	第十課	使役の表現
14回	復習	I期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属のCDとDVDを活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF版無償提供。

各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめ25%と口語テスト15%）40%、最終課題60%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験4級合格者：I期終了時合格は15点プラス。

検定試験3級合格者：I期終了時合格は100点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属CD・DVDも授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けして回答します。
- (3) 個別相談等は shin.yaku.56@hosei.ac.jp で随時受け付けして回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	総括	I 期期末試験の解説
2回	復習	春学期の復習
3回	第十一課	受身の表現
4回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7回	復習	第十一課～第十四課の復習
8回	第十五課	仮定の表現
9回	第十六課	因果関係を表す表現
10回	第十七課	逆接関係を表す表現
11回	第十八課	付け加えの表現
12回	第十九課	除外の表現
13回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14回	復習	II 期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属のCDとDVDを活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF版無償提供

各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめ25%と口語テスト15%）40%、最終課題60%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属CD・DVDも授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火 1/Tue.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章で書かれた中国語を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的にレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を高める。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
- 2、聞き取りの練習
- 3、発音練習

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	諸事情の確認	シラバスの配布、注意事項の伝達、及び簡単な自己紹介
2	第1課 発音	ピンインの復習
3	日常用語	あいさつなどの日常用語を練習する
4	第2課 人称代名詞と指示代名詞	人称代名詞と指示代名詞を確認する
5	第3課 述語	動詞と形容詞
6	第4課 受け答え	「是」その他
7	第5課 場所と方位	在と有
8	第6課 数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語について勉強する
9	第7課 疑問文	ものの尋ね方
10	第8課 連用修飾語	副詞と時間詞
11	第9課 完了と変化	「了」の様々を知る
12	第10課 助動詞と前置詞構造	助動詞と前置詞構造
13	第11課 三量補語	数量、時量、動量補語
14	まとめ	第1～11課の筆記テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の練習問題を解く。
毎週1時間を用途に予習・復習をする。

【テキスト（教科書）】

教室にて配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末試験：60%

小テスト：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

小テストをたまに行う

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

比較的平易な文章を通じて、聞く、読む、訳す、書くなど総合的な能力を高めると同時に、中国語及び中国事情を知る。より高度な語学力を身に付けるために段階的なレベルアップを図る。

【到達目標】

- ・中国語の発音と聞き取りの能力を向上させる。
- ・文法をきちんと理解し、中国語の文章を自然な日本語に訳せるようにする。
- ・簡単な会話と作文ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1、文法の確認
- 2、聞き取りの練習
- 3、発音練習

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1 2 課 持続態と進行形	持続態と進行形について勉強する
2	第1 3 課 程度補語	程度補語（様態補語）
3	第1 4 課 比較と連動	比較文と連動文
4	第1 5 課 構文分析	構文と助動詞の補説
5	第1 6 課 強調と重複	強調構文と重複表現
6	第1 7 課 方向補語	方向補語の用法
7	第1 8 課 複合方向補語	複合方向補語の派生的用法
8	第1 9 課 結果補語	結果補語の説明
9	第2 0 課 可能補語	可能補語の説明
10	第2 1 課 使役と受身	使役と受身を確認し、比較する
11	第2 2 課 処置と倒置	処置文と倒置文
12	第2 3 課 複文一	複文について勉強する
13	第2 4 課 複文二	接続詞を確認する
14	まとめ	第1 2～2 4 課の筆記テスト・解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

各課の練習問題を解く。
毎週1時間を用途に予習・復習する。

【テキスト（教科書）】

教室にて教材を配布する

【参考書】

日中・中日辞書（電子辞書も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

小テスト：40%
term-end test:60%
presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

小テストをたまに行う

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese.

We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

We should prepare and review about one hour a week.

term-end test:60%

little test:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

張 玉萍

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

- ①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。
- ②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。
- ③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、成績評価の基準、履修上の注意事項などについての説明。中国語レベルの確認
2	第1課 初次☒面 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①名詞の前の“的” ②前置詞“☒” ③“多”+動詞の重ね型 ◆練習問題を完成・確認する。
3	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
4	第2課 家庭 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①比較用法 ②“每～都…” ③動詞・形容詞の前の“地” ◆練習問題を完成・確認する。
5	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
6	第3課 互☒网 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“除了～以外、…” ②疑問詞の呼応表現 ③“一点儿也不/没～” ◆練習問題を完成・確認する。
7	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。

8	第4課 逛街 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①使役同士“☒” ②助詞“着” ③複合方向補語 ◆練習問題を完成・確認する。
9	◆総合練習1 会話練習、表現練習	◆総合練習1を完成・確認する。 質疑応答
10	第5課 温泉旅行 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“是～的” ②“因☒～所以…” ③結果補語 ◆練習問題を完成・確認する。
11	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
12	第6課 我的☒好 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“什么的” ②“一～就…” ③可能補語(1) ④“只要～就…” ◆練習問題を完成・確認する。
13	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なう たうえて、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
14	まとめ、到達度 チェック *授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50%+期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese. The standard time for preparation and review for this class is one hour in total. Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50% + final exam (speech presentation) 50%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

張 玉萍

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を終えた学習者を対象に、1年間学んだ中国語を復習しながら、徐々にレベルアップしていく。学んだことを実践的に使えるようになるため、「読む」「聞く」「話す」「書く」という四技能を総合的に訓練する。それにより中国語コミュニケーション能力を向上させ、日常レベルのことを表現して中国語話者と交流できるようにする。

【到達目標】

現在の中国や日本での生活に密着した実用的な題材や表現を学習し、身近な話題や日常的な会話を練習して、自分の考えを中国語でスムーズに表現できることを到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

三段階に分ける。

- ①教科書各課の新出単語、ポイント、会話本文を学習し、練習問題で確認作業を行なう。
- ②ペアやグループで表現練習・応用練習をし、その課のポイントを生かしてスピーチ原稿を作成してもらう。
- ③そのスピーチ原稿を皆の前で発表してもらう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課 交朋友 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①数量補語 ②副詞“才” ③様態補語 ◆練習問題を完成・確認する。
2	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
3	第8課 聚餐 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①疑問詞の不定用法 ②“无☒～都…” ③“☒～都…” ④可能補語(2) ◆練習問題を完成・確認する。
4	◆総合練習2 会話練習、表現練習	◆総合練習2を完成・確認する。 質疑応答
5	第9課 ☒☒ 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“不是～就是…” ②反語文“不是～☒” ③“再也～了” ④助動詞“会” ◆練習問題を完成・確認する。
6	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。

7	第10課 打工 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“虽然～但是…” ②“不但～而且…” ③離合詞 ④“有”の兼語文 ◆練習問題を完成・確認する。
8	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	◆総合練習1 ①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
9	第11課 寒假 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①“就要～了” ②副詞“就” ③副詞“都” ◆練習問題を完成・確認する。
10	会話練習、表現練習 スピーチ原稿の作成 スピーチ発表	①会話練習・表現練習を行なったうえで、スピーチ原稿を作成する。 ②スピーチ原稿を発表する。
11	第12課 留学 新出単語の学習 ポイントの学習 会話本文の練習	①助動詞“要” ②“把”構文 ③“☒～来☒” ④“有”の連動文 ◆練習問題を完成・確認する。
12	◆総合練習3 会話練習、表現練習	◆総合練習3を完成・確認する。 質疑応答
13	質疑応答、まとめ、 到達度チェック	スピーチ発表などにより判定
14	まとめ、到達度 チェック *授業の進行具合によって、授業の内容や進度が多少変更となる場合がある。	スピーチ発表などにより判定

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

劉穎・柴森・杉野元子・小澤正人著『2冊めの中国語 会話クラス』白水社、2024年。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点(各課の表現練習、スピーチ発表など)50% + 期末試験(スピーチ発表)50%

【学生の意見等からの気づき】

今年度から担当。

【その他の重要事項】

授業中の私語は禁止する。教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【Outline (in English)】

The course is designed for learners who have completed the basics of Chinese and will review the Chinese they have learned over the past year, gradually improving their level of Chinese. To be able to use what they have learned practically, students will be comprehensively trained in the four skills of reading, listening, speaking, and writing. This will improve their Chinese communication skills and enable them to express and interact with Chinese speakers on an everyday level. Students will learn practical subjects and expressions closely related to current life in China and Japan, practice familiar topics and daily conversation, and achieve the goal of being able to express their thoughts smoothly in Chinese.

The standard time for preparation and review for this class is one hour in total.

Class participation (including expression practice, speech presentation, etc.) 50% + final exam (speech presentation) 50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級(中国語1と中国語2)で習った内容を定着させる。
- ・ピンインを頼りにせずに中国語を読む習慣を身につける。
- ・短い文章を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・中国文化・風習への理解を深める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムHoppiiでその都度知らせる。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業の計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習、文法の復習と練習
第2回	第一課 自我介绍	・ウォーミングアップ ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞+動詞」を活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・読解練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・ウォーミングアップ ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・ウォーミングアップ ・一連の動作の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・仮定表現「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語+動詞+得+形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过?
第8回	第四課 许芳的苦恼	・ウォーミングアップ ・復習：動詞+方向補語(来/去) ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・読解練習 ・実践会話：「你有苦恼吗?」
第10回	第五課 我们是去年认识的	・ウォーミングアップ ・復習：「是……的」構文 ・「因为……所以……」の活用 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我和我的朋友
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・ウォーミングアップ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・助数詞(量詞)の概観 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・本文 ・読解練習 ・実践会話：比赛
第14回	期末試験	・筆記試験

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト(教科書)】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社(2200円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087)

【参考書】

- ・中国語辞書(電子辞書可)
 - ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同享社(2500円+税)
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社(2200円+税)
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店(2900円+税)
- ※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点(課題・小テスト・授業への参加度)50%を総合して評価する。

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

出欠について

・無断欠席の場合、平常点から3点減点/回。

・4回以上無断欠席の場合は成績評価できません。

・1時間以上の遅刻は出席と扱われません。

課題の提出について

・課題未提出の場合、平常点から5点減点/回。

・締め切り後1週間以内の提出は、平常点から2点減点/回。

・1週間以上遅れて提出した場合は成績評価しません。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はコミュニケーション・ディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

(授業時間外 予習・復習用) 音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- Express their opinions and experiences in Chinese.
- Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語1～中国語3 Iで習った内容を定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・会話練習 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・読解練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・単語の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・読解練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么?
第7回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・読解練習 ・「动漫」について ・実践会話：我想告诉大家的日本文化
第9回	第十一課 北京欢迎你	・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現 ・本文 ・読解練習 ・実践会話：东京的魅力
第10回	第十二課 饮食与中国	・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・読解練習 ・実践会話：日本の美食 ・「这个词中文怎么说？」
第12回	第十三課 中国的民族	・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文&練習
第13回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節 ・筆記試験
第14回	期末試験	・筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト (教科書)】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (2200円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087)

【参考書】

- ・中国語辞書 (電子辞書可)
 - ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社 (2500円+税)
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社 (2200円+税)
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語 初級 改訂版』東方書店 (2900円+税)
- ※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点 (課題・小テスト・授業への参加度) 50%を総合して評価する。

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

出欠について

・無断欠席の場合、平常点から3点減点/回。

・4回以上無断欠席の場合は成績評価できません。

・1時間以上の遅刻は出席と扱われません。

課題の提出について

・課題未提出の場合、平常点から5点減点/回。

・締め切り後1週間以内の提出は、平常点から2点減点/回。

・1週間以上遅れて提出した場合は成績評価しません。

【学生の意見等からの気づき】

単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

(授業時間外 予習・復習用) 音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- Express their opinions and experiences in Chinese.
- Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年次の既習内容をベースにして、さらに基礎を固め、コミュニケーションに必要な語彙を増やし、レベルアップにつながる読解力、表現力などを培うことを目的とする。

【到達目標】

基礎的な文法に関するスキルを身に付ける。
一般的な会話ができる。
簡単な文章の内容を理解できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせてつづ、内容への理解をチェックしながら授業を進める。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	一年次に習った主な文法事項などの復習
②	第1課	新出単語・ポイント 除了～以外、様態補語、 一～就…、否定～疑問詞、要是～(的話),(就)…
③	第1課	第1課の本文・練習問題
④	第2課	新出単語・ポイント 可不是嘛、不但～而且…、難到～嗎? 比起～来、A是A～、不過…
⑤	第2課	第2課の本文・練習問題
⑥	第3課	新出単語・ポイント 使役文—讓、是～的、省得～、 疑問詞+都/也、 該/應該
⑦	第3課	第3課の本文・練習問題
⑧	第4課	新出単語・ポイント 会～的、結果補語、根据～、以～為…、只要～(就)…
⑨	第4課	第4課の本文・練習問題
⑩	第5課	新出単語・ポイント 連～都/也、不是～嗎? 不是～就是…、跟～不一樣、再～也…
⑪	第5課	第5課の本文・練習問題
⑫	第6課	新出単語・ポイント 既～也(又)…、不僅～而且…、 不管～都/也…、助動詞“得”、na能～
⑬	第6課	第6課の本文・練習問題
⑭	復習、試験、まとめ	第1～6課の復習と確認

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。

毎日最低20分ほどテキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

王慧琴・植村麻紀子著 『中国語口語コンプリート』 朝日出版社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の学生のご意見やご要望が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Based on what you have learned in the first year, the purpose is to further solidify the basics and cultivate reading comprehension, expressiveness, etc. that will lead to level up.

Acquire basic grammar skills.

You can have a general conversation.

Can understand the contents of simple sentences.

Be sure to review and prepare before going to class. Make sure to remember the new words and points of each lesson and check if you understand them. Practice pronunciation while listening to the text CD for at least 20 minutes each day.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.). Based on this grade evaluation method, those who have achieved 60% or more of the achievement target of this class will be accepted.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法事項の基礎を固めつつ、中国語のさらなるスキルアップを目標とする。

【到達目標】

日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。
読解力や表現力などの更なるスキルアップを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

発音および読解の練習を中心としつつ、徐々に習熟度を高めるよう授業を進めていく。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
①	復習	春学期期末テストの解説と復習
②	第7課	新出単語・ポイント 如果～就…、寧可～也…、可能補語、雖然～但是…、按照～
③	第7課	第7課の本文・練習問題
④	第8課	新出単語・ポイント 一点儿～都/也+否定形、与其～(還)不如…、要不然～、要麼～要麼…、即使～也…
⑤	第8課	第8課の本文・練習問題！
⑥	第9課	新出単語・ポイント 差点儿～、之所以～是因為…、自从～以後、無論如何～(也/都)、据说～
⑦	第9課	第9課の本文・練習問題
⑧	第10課	新出単語・ポイント 有的～有的…、只有～才…、難怪～、無論～都/也…、併不/併没～
⑨	第10課	第10課の本文・練習問題
⑩	第11課	新出単語・ポイント 趁着～、至於～、疑問詞～疑問詞…、靠～、動詞+起來
⑪	第11課	第11課の本文・練習問題
⑫	第12課	新出単語・ポイント 非～不可、对～來說、一方面～另一方面…、除非～否則…、既然～(就)…、由～(來)
⑬	第12課	第12課の本文・練習問題
⑭	復習、試験、まとめ	第7～12課の復習と確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低20分テキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

王慧琴・植村麻紀子 『中国語口語コンプリート』 朝日出版社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト（50％）と平常点（学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など）50％に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

前年度の授業アンケートの結果が反映されるよう更なる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Aim to further improve Chinese skills while solidifying the basics of grammatical matters.

You can have daily conversation.

Can write simple sentences.

Aim to further improve reading comprehension and expressiveness.

Be sure to review and prepare before going to class. Make sure to remember the new words and points of each lesson and check if you understand them. Practice pronunciation while listening to the text CD for at least 20 minutes each day.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.). Based on this grade evaluation method, those who have achieved 60% or more of the achievement target of this class will be accepted.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

葉 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（翻訳練習）・聞き取りテストなどを授業内容とします。また、毎回の授業で5分間の動画で中国のエンターテイメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語(中級)』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課・自己紹介 I ①	動作の目的と方式を表わす表現
第2回	第2課・自己紹介 I ②	好き嫌い・心配を表わす表現
第3回	第3課・自己紹介 I ③	動作程度・状態を表わす表現 (程度・様態補語)
第4回	第4課・自己紹介 I ④	可能・能力を表わす表現
第5回	復習とテスト	第1課～第4課・自己紹介 I ①～④の復習とテスト
第6回	第5課・自己紹介 I ⑤	動作の結果を表わす表現（結果補語）
第7回	第6課・自己紹介 I ⑥	動作の方向を表わす表現（方向補語）
第8回	第7課・自己紹介 I ⑦	動作の結果と方向を表わす表現（可能補語）
第9回	第8課・自己紹介 I ⑧	使役を表わす表現
10回	復習とテスト	第5課～第8課・自己紹介 I ⑤～⑧の復習とテスト
第11回	第9課・自己紹介 I ⑨	受身を表わす表現
第12回	第10課・自己紹介 I ⑩	“把”の構文
第13回	総合復習	第9課～第10課・自己紹介 I ⑨～⑩の復習とテスト
第14回	期末試験	口頭試験：自己紹介 筆記試験：聞き取り50問・翻訳20問

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業の前に自己紹介文を [hoppii](http://hoppii.com) にアップロードします。それを暗記してください。しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要がありません。

【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語(中級)』

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介(15%)と小テストの平常点(15%)、期末試験の成績(70%)などを総合して評価します

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特に必要はありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

葉 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、これまで学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（複文）・聞き取りテストなどを授業内容とします。また、毎回の授業で5分間の動画で中国のエンターテインメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第11課・自己紹介Ⅱ ①	存在と出現を表わす表現（存現文）
第2回	第12課・自己紹介Ⅱ ②	動作の時間順・前後順を表わす表現
第3回	第12課・自己紹介Ⅱ ③	動作の時間順・前後順を表わす表現
第4回	第13課・自己紹介Ⅱ ④	因果関係を表わす表現
第5回	第13課・自己紹介Ⅱ ⑤	因果関係を表わす表現
第6回	復習とテスト	第11課～第13課・自己紹介Ⅱ ①～⑤の復習とテスト
第7回	第14課・自己紹介Ⅱ ⑥	仮定関係を表わす表現
第8回	第14課・自己紹介Ⅱ ⑦	仮定関係を表わす表現
第9回	第15課・自己紹介Ⅱ ⑧	逆接関係を表わす表現
10回	第15課・自己紹介Ⅱ ⑨	逆接関係を表わす表現
第11回	第16課・自己紹介Ⅱ ⑩	累加関係を表わす表現
第12回	第16課・自己紹介Ⅱ ⑩	累加関係を表わす表現
第13回	復習とテスト	第14課～第16課・自己紹介Ⅱ ⑥～⑩の復習とテスト
第14回	期末試験	口頭試験：自己紹介 筆記試験：聞き取り50問・翻訳20問

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業の前に自己紹介文をhoppiiにアップロードします。それを暗記してください。しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要はありません。

【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語（中級）』

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15%）と小テストの平常点（15%）、期末試験の成績（70%）などを総合して評価します

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

康 鴻音

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ中国語基礎を固め、正しい声調で、自然なリズムで話せること、そして中国語の文章が読めることと、簡単な文章が書けることを指導する。

【到達目標】

中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらに中国語のレベルアップを目指す。そして現代中国への理解を深められるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

新しい内容を予習してもらい、授業中にチェックします。必要に応じて授業後の指導もできます。

授業実施に関する変更は学習支援システムでお知らせします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第〇課	一年次の文法の復習
2回	第一課	前置詞、動詞句による連体修飾語、様態補語などの勉強、本文と会話文への読解
3回	第一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4回	第二課	第二課副詞、逆説の表現、数量補語など、本文と会話文への読解
5回	第二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6回	第三課	前置詞、複文など、本文と会話文への読解
7回	第三課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8回	第四課	形容詞句による連体修飾語、仮定条件文など、本文と会話文への読解
9回	第四課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10回	第五課	結果補語、可能補語など、本文と会話文への読解
11回	第五課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
12回	第六課	因果関係文、追加・排他を表す表現、本文と会話文への読解

13回 第六課 本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。

14回 総復習など いままでの復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習、予習するよう。発音練習をたくさんしてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『学ぶ中国語』初中級編 王亜新 劉素英 朝日出版社 2023年 2200円+税

【参考書】

辞書を用意すること。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、授業時の出来具合、宿題の完成度など（60点）、試験（40点）により総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

しっかりと読解できて、きれいに発音できることを目標にしたい。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PCの準備をしてください。

【その他の重要事項】

中国人の留学生や中国語を母国語にしている皆さんは選択しないでください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 II

2017年度以降入学者

康 鴻音

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎を学んだ学生を対象に、習った文法、文型を復習しながら、さらにレベルアップを目指す。

【到達目標】

中国語の文章を流暢に読むことができること、簡単な文章を書くことができること、教科書の内容についての質問が聞き取れることを目標にする。また、中国についての知識を増やすことによって中国への理解を深めよう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

各課の新出単語をきれいに発音でき、文法を理解して読解を進めて行く。教科書の内容について聞き取りの練習をし、練習問題を解いて、着実に力をつけていけるようにする。そして習った文法で簡単な文章が書けるように指導する。

授業実施に関する変更は学習支援システムでお知らせします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	復習	前期内容に対する復習、会話の練習とリスニングの練習
2回	第七課	“是…的”の構文、動詞+“着”の用法など、本文と会話文への読解
3回	第七課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
4回	第八課	使役の表現、複文など、本文と会話文への読解
5回	第八課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
6回	第九課	疑問詞+副詞、慣用型など、本文と会話文への読解
7回	第九課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
8回	第十課	助動詞、副詞など、本文と会話文への読解
9回	第十課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
10回	第十一課	受動表現、反語表現など、本文と会話文への読解
11回	第十一課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。

12回	第十二課	引用を表す表現、目的実現を表す言葉など、本文と会話文への読解
13回	第十二課	本文と会話文への読みチェック、リスニングの訓練。練習問題の解答。
14回	総復習	後期習った内容への復習・期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず復習・予習してくること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『学ぶ中国語』（朝日出版社）初中級編 王亜新 劉素英

【参考書】

辞書を用意すること。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、授業時の出来具合、宿題の完成度など（60点）、試験（40点）により総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

しっかりと読解でき、きれいに発音できることを目標にしたい。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PCの準備をしてください。

【その他の重要事項】

中国人の留学生や中国語を母国語にしている皆さんは選択しないでください。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語初級レベルの知識を踏まえ、中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・初級(中国語1と中国語2)で習った内容を定着させる。
- ・ピンインを頼りにせずに中国語を読む習慣を身につける。
- ・短い文章を聴く・話す・読む能力を高める。
- ・中国文化・風習への理解を深める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システムHoppiiでその都度知らせる。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス 発音復習・練習	・授業の計画と進め方、成績評価の方法と基準などの説明 ・中国語発音の練習、文法の復習と練習
第2回	第一課 自我介绍	・ウォーミングアップ ・自己紹介の表現 ・前置詞「在」、「跟」 ・「動詞+動詞」を活用
第3回	第一課 自我介绍	・本文 ・読解練習 ・実践会話：自我介绍
第4回	第二課 李军有很多爱好	・ウォーミングアップ ・趣味に関する表現 ・「比如」の使い方 ・「打算」の使い方 ・前置詞「对」、「从」
第5回	第二課 李军有很多爱好	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的兴趣爱好
第6回	第三課 赵大妈的一天	・ウォーミングアップ ・一連の動作の表現 「先」「然后」「再」「完」の活用 ・副詞「就」の使い方 ・仮定表現「要是……就……」 ・程度補語の活用 「主語+動詞+得+形容詞」

第7回	第三課 赵大妈的一天	・本文 ・読解練習 ・実践会話：周末怎么过?
第8回	第四課 许芳的苦恼	・ウォーミングアップ ・復習：動詞+方向補語(来/去) ・副詞「又」「挺」 ・前置詞「给」
第9回	第四課 许芳的苦恼	・本文 ・読解練習 ・実践会話：「你有苦恼吗?」
第10回	第五課 我们是去年认识的	・ウォーミングアップ ・復習：「是……的」構文 ・「因为……所以……」の活用 ・副詞「总是」の使い方 ・動詞「成」の使い方
第11回	第五課 我们是去年认识的	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我和我的朋友
第12回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・ウォーミングアップ ・復習：「快要……了」 ・前置詞「由」の使い方 ・助数詞(量詞)の概観 ・接続詞「可是」の活用 ・助動詞「要」の使い方
第13回	第六課 你知道“汉语桥”吗?	・本文 ・読解練習 ・実践会話：比赛
第14回	期末試験	・筆記試験

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト(教科書)】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社(2200円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087)

【参考書】

- ・中国語辞書(電子辞書可)
 - ・相原茂・石田知子・戸沼子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同享社(2500円+税)
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社(2200円+税)
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店(2900円+税)
- ※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点(課題・小テスト・授業への参加度)50%を総合して評価する。

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

出欠について

- ・無断欠席の場合、平常点から3点減点/回。
- ・4回以上無断欠席の場合は成績評価できません。
- ・1時間以上の遅刻は出席と扱われません。

課題の提出について

- ・課題未提出の場合、平常点から5点減点/回。
- ・締め切り後1週間以内の提出は、平常点から2点減点/回。
- ・1週間以上遅れて提出した場合は成績評価しません。

【学生の意見等からの気づき】

レジュメがわかりやすく、単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はコミュニケーション・ディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

(授業時間外 予習・復習用) 音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- Express their opinions and experiences in Chinese.
- Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 II

2017年度以降入学者

陳 瀟瀟

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月 4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中級レベルの語彙、文法、表現を学び、中国文化、中国事情及び中国人の考え方を理解した上、中国語の運用能力を向上させることを目的とする。

【到達目標】

- ・中国語1～中国語3 Iで習った内容を定着させる。
- ・中国語を読む習慣を身につける。
- ・聴く・話す・読む能力を高める。
- ・身の回りのことを積極的に中国語で表現できる。
- ・中国語で日常会話のコミュニケーションができる。
- ・中国文化・慣習について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストの内容を中心に、各課ごとに単語→文型→本文→練習問題の順で進めてゆく。

グループでの会話練習・ディスカッションがある。

課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行う。

※対面授業。授業形態に変更がある場合は大学の方針が確定された後、学習支援システム Hoppii でその都度知らせる。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期内容の復習 第七課 汉语中的外来語	・前期内容を復習 ・会話練習 ・中国語における外来語 ・助動詞「得」の発音・使い方 ・「些」の使い方
第2回	第七課 汉语中的外来語	・本文 ・読解練習 ・日本語と中国語の外来語
第3回	第八課 大学就是一个小社会	・接続詞「或」「由于」 ・助動詞「可以」 ・「除了……以外」 ・中国大学の寮生活
第4回	第八課 大学就是一个小社会	・本文 ・読解練習 ・実践会話：我的大学生活
第5回	第九課 年轻人追求时尚	・単語の説明 ・助動詞「会」 ・前置詞「为了」 ・「不仅……而且」構文
第6回	第九課 年轻人追求时尚	・本文 ・読解練習 ・中国の若者文化 ・実践会話：你喜欢什么?
第7回	第十課 日本动漫的影响力	・前置詞「通过」 ・「欢迎」と「受欢迎」 ・「越来越……」 ・接続詞「并且」

第8回	第十課 日本动漫的影响力	・本文 ・読解練習 ・「动漫」について ・実践会話：我想告诉大家的日本文化
第9回	第十一課 北京欢迎你	・「既……又……」構文 ・復習&補充：使役表現 ・本文 ・読解練習 ・実践会話：东京的魅力
第10回	第十二課 饮食与中国	・中国の食文化 ・接続詞「不过」 ・「不管……还是……」 ・復習&補充：比較表現「比」 ・復習&補充：受身表現「被」
第11回	第十二課 饮食与中国	・本文 ・読解練習 ・実践会話：日本の美食 ・「这个词中文怎么说？」
第12回	第十三課 中国的民族	・「动词+着」構文 ・復習&補充：「把」構文 ・「动词+一下」の使い方 ・本文&練習
第13回	第十四課 过春节	・「一边……一边……」構文 ・「有的……有的……」構文 ・中国の春節
第14回	期末試験	・筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の予習・復習・宿題時間は、1回につき3時間を標準とする。

【予習】ウォーミングアップ、単語、本文の予習が必要

【復習】単語文型、構文練習、読解練習、翻訳練習など

【課題】翻訳・読解・練習

【テキスト (教科書)】

王安・楊川・王欣・孫樹林著『標準中国語 読解力UP編』朝日出版社 (2200円+税、ISBN978-4-255-45215-9C1087)

【参考書】

- ・中国語辞書 (電子辞書可)
 - ・相原茂・石田知子・戸沼市子著『WHY?にこたえるはじめての中国語の文法書』同学社 (2500円+税)
 - ・尹景春・竹島毅著『中国語つぎへの一歩』白水社 (2200円+税)
 - ・大石智良・凌志偉・曾士才・千野明日香他著『ポイント学習中国語初級 改訂版』東方書店 (2900円+税)
- ※その他の資料は必要に応じて授業で提示する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験50%、平常点 (課題・小テスト・授業への参加度) 50%を総合して評価する。

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となります。

出欠について

・無断欠席の場合、平常点から3点減点/回。

・4回以上無断欠席の場合は成績評価できません。

・1時間以上の遅刻は出席と扱われません。

課題の提出について

・課題未提出の場合、平常点から5点減点/回。

・締め切り後1週間以内の提出は、平常点から2点減点/回。

・1週間以上遅れて提出した場合は成績評価しません。

【学生の意見等からの気づき】

単語と文法だけでなく中国文化などの知識の解説も大変興味深かったとの評価を頂きまして、とても嬉しく思います。今後はディスカッションの機会を増やし、中国語の会話力を伸ばすように工夫していきたいです。

【学生が準備すべき機器他】

(授業時間外 予習・復習用) 音声教材のCD再生できる機器が必要。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、xiaoxiao.chen.77@hosei.ac.jpまでご連絡ください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese Course for intermediate learners. The goals of this Course are to help learners to improve their listening, reading, speaking and writing skills in Chinese, as well as their communication skills in Chinese.

【Learning Objectives】

- Help students to approach an intermediate level in Chinese.
- Express their opinions and experiences in Chinese.
- Having a better understanding of Chinese culture, things and Chinese ways of thinking through this course.

【Learning activities outside of classroom】

Before and after each lesson, students are expected to have 3 hours to preview, review and practice.

【Grading Criteria /Policy】

Term-end exam:50%

In-class contribution:50%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

葉 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（翻訳練習）・聞き取りテストなどを授業内容とします。また、毎回の授業で5分間の動画で中国のエンターテイメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語(中級)』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第1課・自己紹介 I ①	動作の目的と方式を表わす表現
第2回	第2課・自己紹介 I ②	好き嫌い・心配を表わす表現
第3回	第3課・自己紹介 I ③	動作程度・状態を表わす表現 (程度・様態補語)
第4回	第4課・自己紹介 I ④	可能・能力を表わす表現
第5回	復習とテスト	第1課～第4課・自己紹介 I ①～④の復習とテスト
第6回	第5課・自己紹介 I ⑤	動作の結果を表わす表現（結果補語）
第7回	第6課・自己紹介 I ⑥	動作の方向を表わす表現（方向補語）
第8回	第7課・自己紹介 I ⑦	動作の結果と方向を表わす表現（可能補語）
第9回	第8課・自己紹介 I ⑧	使役を表わす表現
10回	復習とテスト	第5課～第8課・自己紹介 I ⑤～⑧の復習とテスト
第11回	第9課・自己紹介 I ⑨	受身を表わす表現
第12回	第10課・自己紹介 I ⑩	“把”の構文
第13回	総合復習	第9課～第10課・自己紹介 I ⑨～⑩の復習とテスト
第14回	期末試験	口頭試験：自己紹介 筆記試験：聞き取り50問・翻訳20問

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業の前に自己紹介文を [hoppii](#) にアップロードします。それを暗記してください。しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要がありません。

【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語(中級)』

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介(15%)と小テストの平常点(15%)、期末試験の成績(70%)などを総合して評価します

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【学生が準備すべき機器他】

特に必要はありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

葉 会

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用し、これまで学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。自己紹介の発表（発音矯正）・文法理解（複文）・聞き取りテストなどを授業内容とします。また、毎回の授業で5分間の動画で中国のエンターテインメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

自作テキスト『中国語（中級）』を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表と聞き取りテスト（翻訳練習と日常用語）などを行います。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第11課・自己紹介Ⅱ ①	存在と出現を表わす表現（存現文）
第2回	第12課・自己紹介Ⅱ ②	動作の時間順・前後順を表わす表現
第3回	第12課・自己紹介Ⅱ ③	動作の時間順・前後順を表わす表現
第4回	第13課・自己紹介Ⅱ ④	因果関係を表わす表現
第5回	第13課・自己紹介Ⅱ ⑤	因果関係を表わす表現
第6回	復習とテスト	第11課～第13課・自己紹介Ⅱ ①～⑤の復習とテスト
第7回	第14課・自己紹介Ⅱ ⑥	仮定関係を表わす表現
第8回	第14課・自己紹介Ⅱ ⑦	仮定関係を表わす表現
第9回	第15課・自己紹介Ⅱ ⑧	逆接関係を表わす表現
10回	第15課・自己紹介Ⅱ ⑨	逆接関係を表わす表現
第11回	第16課・自己紹介Ⅱ ⑩	累加関係を表わす表現
第12回	第16課・自己紹介Ⅱ ⑩	累加関係を表わす表現
第13回	復習とテスト	第14課～第16課・自己紹介Ⅱ ⑥～⑩の復習とテスト
第14回	期末試験	口頭試験：自己紹介 筆記試験：聞き取り50問・翻訳20問

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回授業の前に自己紹介文をhoppiiにアップロードします。それを暗記してください。しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要はありません。

【テキスト（教科書）】

自作テキスト『中国語（中級）』

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介（15%）と小テストの平常点（15%）、期末試験の成績（70%）などを総合して評価します

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ基礎知識を織り交ぜてそれを復習しながら中級の学習を進めて行く。

「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。

たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、様々な場面を想定して実戦活動を行い、学んだ知識のアウトプットによる円滑なコミュニケーションを行えることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めて行きます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

具体的に授業は以下の進め方と方法で行うものとする。

授業は、教科書を使っての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回はレベルチェックテストを行い、その結果に応じて、初級で学んだ基礎知識の復習・練習を、最初の3回にわたって行なう。4回目以後教科書を使っての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に言葉の学習と文法の解説や練習・応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。

課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容とシチュエーションの実践活動として、グループまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。活動中に能動的且つ積極的に参加し、自己表現することを望む。

【課題】

教科書の学習とリンクする形で、学期毎に課題を一回課す。

春学期の課題は自由作文。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーションという流れで行なう。

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題に関して、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、状況に応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション レベルチェックテスト	①授業目標、教材、授業の進め方、スケジュール、履修上の注意事項などについて説明。 ②授業用語と挨拶の確認・復習 ③授業アンケート ④レベルチェックテスト
第2回	初級基礎復習 I コミュニケーション活動（1）	①初級基礎知識点検・復習・練習 I ②活動(1)私、そして、私の家族
第3回	初級基礎復習 II コミュニケーション活動（2）	①チェックテスト【初級復習 I】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 II ③活動(2)私の一日、あなたの一日
第4回	初級基礎復習 III コミュニケーション活動（3）	①チェックテスト【初級復習 II】 ②初級基礎知識点検・復習・練習 III ③活動(3)趣味について ④語彙導入【1課】
第5回	声をかける・挨拶をする（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【初級復習 III・1課語彙】 ②■方位詞 ■動作・行為の同伴者 ■動詞の重ね型
第6回	声をかける・挨拶をする（2）応用活動	①チェックテスト【1課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③語彙導入【2課】
第7回	初対面の自己表現（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【2課語彙】 ②■推測・判断 ■行為の積極性 ■様態補語
第8回	初対面の自己表現（2）応用活動	①チェックテスト【2課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(4)声をかける・自己紹介する ④語彙導入【3課】
第9回	伝聞による話題について話す（1）基本語彙と表現	①チェックテスト【3課語彙】 ②■伝聞 ■全否定 ■結果補語
第10回	伝聞による話題について話す（2）応用活動	①チェックテスト【3課文法】 ②可能補語 ③既習文型応用・実戦練習 ④課題作文について説明
第11回	「伝聞」の応用活動 課題：作文	①コミュニケーション活動(5)伝聞による話題について話す ②課題作文：テーマ決め・ストーリー作り ③語彙導入【4課】
第12回	買物について話す：基本語彙と表現	①チェックテスト【4課語彙】 ②■動詞文：現在進行形 ■目的を表現する ■原因・理由についての訊ね方 ③課題作文提出
第13回	買物について話す：応用活動	①チェックテスト【4課文法】 ②既習文型応用・実戦練習 ③コミュニケーション活動(6)買物情報を交換する
第14回	春学期の総まとめ・期末試験【筆記】	①課題作文リライト提出 ②期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課毎に、言葉クイズ、文法クイズを行う。
授業で学習した内容をしっかりと復習・予習することが必須。
復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。

授業外の課題を課された場合、作業時間は授業時間外になるが、きちんと締め切りを守って提出する。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2023年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、APPの何れも可。電子辞書を推奨する]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業貢献度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 35%

期末テスト[筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

※上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

※評価方法は、受講者の学習状況、授業の実施形態などに応じて、教員によって微調整し、変更する場合がある。

【学生の意見等からの気づき】

■授業では口頭練習と活動がたくさん行われるが、どうしても耳だけでは不安で随一板書して欲しいとの学生からの意見があった。今後の授業では、口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

教科書を持参せずの受講は欠席と見なし、必ず教科書、授業関連資料を持って授業に臨むこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してこること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてこること。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

Interweaving the basic knowledge you have learned in elementary level and reviewing progress and advance intermediate level learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Work to be done outside of class (preparation, etc.)】

A word quiz and a grammar quiz will be given for each lesson. It is essential to thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

If you are assigned an assignment outside of class, the work time will be outside of class, but you must meet the deadline and submit it.

■ 【Grading criteria】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class contribution and participation attitude.

Quiz [vocabulary / grammar] 35%

Final test [speaking + writing] 25%

Activity / oral expression 20%

Tasks 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the instructor depending on the learning situation of the students and the embodiment of the lesson.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

李 維涛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級と中級前半で学んだ基礎知識を織り交ぜて復習しながら中上級を目指して学習を進めて行く。「聞く」「読む」「話す」「書く」の四つのスキルのバランスを考慮し、実戦活動などを通して、中国語によるコミュニケーション能力の向上を図る。

【到達目標】

初級と中級前半で学んだ、基礎となる知識を、ただ「知っている」のではなく、「使える」ものにすべく、中級後半の学習項目に織り交ぜて復習しながら授業を進めて行く。たくさん学ぶのではなく、少しでも学んだ知識を活かして応用できるように、学んだ知識のアウトプットを重視し、様々な場面を想定して実戦活動を行なう。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の進め方と方法については、基本的に、教室にて対面形式で授業を行うことを想定して、具体的に下記通りの行い方で進めていきます。

*状況によってオンライン形式で行うことを余儀なくされる場合、状況に即して具体的に対応し、授業内容によって資料配信・オンデマンド動画配信・双方向同時型と複数の授業形式を使い分けて行うことにする。具体的な行い方とスケジュールなどは事前に、「授業支援システム」を利用して提示し、周知する。

授業は、教科書を使つての勉強、コミュニケーション活動、課題と、3つのブロックに分けて行なう。

【教科書】

初回は初級と中級前半で学んだ知識をチェックするテストを行い、その結果に応じて、既習基礎知識の復習・練習を、最初の2回にわたって行なう。3回目以後教材を使つての学習に入る。

基本的に1課を2回に分けて、1回目は主に文法の解説や練習や応用などを、2回目は本文の会話文の学習をベースに、シナリオプレイ・ロールプレイなどの応用・実戦活動を行い、既習文型を活かしての実際のコミュニケーション能力の向上を目指して、授業を進めて行く。課毎に、語彙・文法テストを行う。

予習・復習は必須。

【コミュニケーション活動】

教科書で学習した内容・テーマ・シチュエーションに応じて、授業では、グループワークまたはペアワークによるコミュニケーション活動を行なう。

活動中には能動的に参加し、積極的に中国語による自己表現をすることを望む。

【課題】

秋学期の課題は二つ。作文と当該年度の中国語の新語・流行語のリサーチレポート。

何れも下記の流れで行なう。

テーマ決め→執筆→提出→リライト→プレゼンテーション

課題等へのフィードバックについて

フィードバックが必要な課題は、課題が実施した直後の授業時間内か、添削が必要な場合は、添削後の返却時に授業時間内か、授業支援システムなどのツールを利用して行う。

授業スケジュールは、受講者の学習状況、授業実施形態などに応じて、変更する場合がある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期学習内容を確認・復習	①中級春学期学習内容チェックテスト ②秋学期授業内容・進め方・スケジュールなどについて説明 ③活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[前半]
第2回	■春学期学習内容を確認・復習。後期学習への準備。 ■コミュニケーション活動で新学期のウォームアップをする。	• チェックテストを返却・FB ①春学期学習内容を総括・復習 ②活動(1)絵と言葉で表現する私の夏休み[後半] ③語彙導入[5課]
第3回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課語彙] ②■確認 ■比較[否定] ■能願動詞:可能性や見込み
第4回	天気について話す[5課]	①チェックテスト[5課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(2):天気について話す ④語彙導入[6課]
第5回	初めての経験について話す[6課]	①チェックテスト[6課語彙] ②■感想・考え・意見を述べる表現 ■能願動詞:「喜んで〜する」
第6回	初めての経験について話す[6課]	③課題(1)課題作文について説明 ①チェックテスト[6課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③活動(3)カフェでおしゃべり ④語彙導入[7課]
第7回	買物について話す[7課]	①チェックテスト[7課語彙] ②■選択:二者択一 ■能願動詞:「〜しなければならない」
第8回	買物について話す[7課]	③課題(1)提出 ①チェックテスト[7課文法] ②既習文型を復習・応用・練習 ③課題(1)を返却・FB
第9回	書いた物を、声に出して表現する。	①課題(2)課題(1)をプレゼンテーション ②語彙導入[8課]
第10回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課語彙] ②■全否定/全肯定 ■例外の表し方 ■既定条件
第11回	会食をプランニングする[8課]	①チェックテスト[8課文法] ②能願動詞:総括・復習 既習文型の応用練習
第12回	日常生活における食事の場面でのコミュニケーションを学ぶ。	①活動(4):食事の誘い、食事をする ②語彙導入[9課] ③課題(3)中国語の新語・流行語をリサーチ
第13回	二つのものを比べて表現する[9課]	①チェックテスト[9課語彙] ②■動詞文:持続形 ■推測・判断[肯定] ③課題(3)ピア活動
第14回	■期末テスト前復習・質疑応答 ■期末テスト[筆記]	①授業アンケート ②期末テスト前復習・質疑応答 ③期末テスト[筆記]

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

課毎に言葉クイズ・文法クイズを行う。

授業で学習した内容をしっかりと復習・予習すること。

復習と予習はそれぞれ1-1.5時間を要する。
課題などの準備は授業時間外の作業となるが、提出締切など時間を守ることに。

【テキスト（教科書）】

『中国語へのアプローチャⅡ』

楊凱栄・張麗群 著

朝日出版社 2010年

ISBN978-4-255-45142-8

【参考書】

- 中日・日中辞典類[紙媒体、電子辞書、Appの何れも可。電子辞書を奨める]
- 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書』 相原茂など 同 学社
- 『中国語生活図解辞典』 遠藤雅裕 小学館

【成績評価の方法と基準】

授業参加度・参加態度なども考慮しながら、主にテスト・活動・課題によって評価する。

チェックテスト[語彙・文法] 35%

期末テスト[筆記+口述] 25%

活動・口頭表現 20%

課題 10%

授業貢献度・学習態度など 10%

*上記テストについて、授業形式が遠隔になった場合、オンラインテストか課題に切り替えることにする。

*評価方法は、教員によって微調整し、変更する場合があります。

【学生の意見等からの気づき】

■授業中に、コミュニケーション活動など、口頭表現する活動が多く行われて来た。学生から、口頭表現の内容を板書して提示して欲しいとの要望があった。今後の授業では、これらの口頭活動の内容を、板書かスクリーンを利用して可能な限り文字資料でも提示するように心掛ける。

■授業課題はHoppiiを利用して行うことがある。Hoppiiの使い方や、音声課題の場合のレコーディング方法などの、技術的な問題が出ており、今後該当する課題がある場合、授業では具体的に操作方法を提示して共有する。

【学生が準備すべき機器他】

学習内容に応じて、教室に備えてある機器、またはPCなどを使う。また、学内授業支援システムなどを利用して、学生とのコミュニケーションを図る。

【その他の重要事項】

授業中、学習用具類以外、机上に置かないこと。

携帯電話の使用を許可するが、辞書など学習のためのアプリの使用に限る。

教材[教科書、授業関連資料]を持参せずの受講は欠席と見なすこと。

【授業に臨む心構え】

其の一 勉強する意欲と意識を高く持つこと

其の二 しっかり予習・復習してくること。

其の二 教科書は勿論のこと、ノート、筆記具、辞書も必ず持つてくこと。

【Outline (in English)】

[auto translated]

■ 【Outline and objectives】

While interwoven with the basic knowledge learned in the first half and intermediate class, we review progress and aim for middle advanced class while going forward with learning.

Considering the balance of the four skills "listen" "read" "talk" "write", improve communication skills by Chinese through actual battle activities etc.

■ 【Learning activities outside of classroom】

Give a word quiz and a grammar quiz for each lesson.

Thoroughly review and prepare for what you have learned in class.

Review and preparation each take 1-1.5 hours.

Preparations such as assignments will be done outside of class hours, but be sure to keep time such as submission deadlines.

■ 【Grading Criteria /Policy】

Evaluation is mainly based on tests, activities, and tasks, taking into consideration the degree of class participation and participation attitude.

Check test [vocabulary / grammar] 35%

Final test [written + dictation] 25%

Activity / oral expression 20%

Challenge 10%

Class contribution, learning attitude, etc. 10%

* Regarding the above test, if the lesson format becomes remote, we will switch to the online test or assignment.

* The evaluation method may be fine-tuned and changed by the faculty member.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・ 反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・ 中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・ 中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題(リスニングを含む)をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方・方針・約束事などを説明、併せて初級事項の定着度テストを行う。
2	第12課 你是什么□ 候回来的? Step1	強調構文・程度補語・疑問詞の不定詞用法など
3	第12課 你是什么□ 候回来的? Step2	リスニングと解釈
4	第12課 你是什么□ 候回来的? Step3	その他の疑問詞の不定詞用法など
5	第12課 你是什么□ 候回来的? Step4	本文の読解と解説
6	第12課 你是什么□ 候回来的? 練習問題	第12課全体の練習問題「After Dig」の解説
7	第13課 我正在写□ 告呢 Step1	結果補語・動作の進行・連勝修飾語「地」など
8	第13課 我正在写□ 告呢 Step2	リスニングと解釈
9	第13課 我正在写□ 告呢 Step3	その他の結果補語など
10	第13課 我正在写□ 告呢 Step4	本文の読解と解説
11	第14課 下雨了 Step1	持続形「着」・複合方向補語など
12	第14課 下雨了 Step2	リスニングと解釈
13	第14課 下雨了 Step3	「不能不～」・「除了～以外……」など
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属CDを何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』(早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700円+税)。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級(改訂版)』(東方書店)を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること(どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする)。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業内小テスト) 20%

期末試験 80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total.

The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

後藤 淳一

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を再確認しつつ、新たな単語・文法事項の学習を通して、各自の中国語運用能力を中級レベルに向上させる。

【到達目標】

- ・反復練習を通して、初級中国語の学習内容をしっかり定着させる。
- ・中国語のヒアリング能力を高める。
- ・ピンインに頼らずに中国語を読む習慣を身につけ、文章読解能力を高める。
- ・中国の文化について理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

指定テキストの内容に沿って授業を進める。多くの練習問題（リスニングを含む）をこなすことを通じて、各単語及び文法事項の運用パターンを身に付けてもらう。課題等へのフィードバックは授業時間を通じて行う。また、折に触れて授業内小テストを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第14課 下雨了	本文の読解と解説
	Step4	
2	第15課 我☒☒来得及看☒	使役文・可能補語など
	Step1	
3	第15課 我☒☒来得及看☒	リスニングと解釈
	Step2	
4	第15課 我☒☒来得及看☒	その他の可能補語・本文の読解と解説など
	Step3・4	
5	第16課 把以前的考☒做一做	形容詞の重ね型・「把」を用いた処置文など
	Step1	
6	第16課 把以前的考☒做一做	リスニングと解釈
	Step2	
7	第16課 把以前的考☒做一做	「越～越……」・「不管～」など
	Step3	
8	第16課 把以前的考☒做一做	本文の読解と解説
	Step4	
9	第17課 小心！后面来了一☒☒	存現文・疑問詞の呼応など
	Step1	
10	第17課 小心！后面来了一☒☒	リスニングと解釈
	Step2	
11	第17課 小心！后面来了一☒☒	「差(一)点儿」・積極性を示す「来」と「去」・本文の読解と解説など
	Step3・4	
12	第18課 他的自行☒被人撞坏了	受身文など
	Step1	
13	第18課 他的自行☒被人撞坏了	リスニングと解釈
	Step2	
14	授業の総まとめと期末試験	授業の総まとめと筆記試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習は必須。毎回、各課に出て来る単語・課文・例文の意味を、事前に調べておく。また、宿題として課される練習問題は付属CDを何度も聴いて事前にやっておく。その際に未習の単語が出て来た場合は、必ず各漢字のピンインも調べて記しておく。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『4技能対応 ベーシック・チャイニーズ②』（早稲田中国語教育研究会編著、三修社、2018、2700円+税）。また、一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（どこの出版社のものでも良い。電子辞書も可とする）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業内小テスト）20%
期末試験80%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Preparation is required. Before each lesson, check the meaning of the words, sentences, and example sentences that appear in each lesson. Also, listen to the attached CD many times and do the practice problems assigned as homework in advance. If you come across an unlearned word, be sure to look up the pinyin for each kanji and write it down. The standard time for preparation and review for this class is 2 hours in total. The method and criteria for grade evaluation are 20% for normal scores (mini tests) and 80% for final exams.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 I

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第1課	文法・本文
3	第1課	応用練習
4	第2課	文法・本文
5	第2課	応用練習
6	第3課	文法・本文
7	第3課	応用練習
8	第4課	文法・本文
9	第4課	応用練習
10	第5課	文法・本文
11	第5課	応用練習
12	第6課	文法・本文
13	第6課	応用練習
14	授業の総まとめとテスト	授業の総まとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題提出 授業への参加度 30% 期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

教科書には、会話体の文章が集められています。これらの文章を読解しながら、初級文法の復習を行うとともに、中級レベルより高度な文法と語彙を学習します。更に中国への関心と理解も深めるために、教科書で触れているトピックスに関連させながら中国の社会や文化についても紹介を行います。

【到達目標】

学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

音読、ヒアリング、会話、暗唱などの練習を繰り返し行い、中国語によるコミュニケーション能力を磨きます。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	授業イントロダクション
2	第7課	文法・本文
3	第7課	応用練習
4	第8課	文法・本文
5	第8課	応用練習
6	第9課	文法・本文
7	第9課	応用練習
8	第10課	文法・本文
9	第10課	応用練習
10	第11課	文法・本文
11	第11課	応用練習
12	第12課	文法・本文
13	第12課	応用練習
14	授業のまとめとテスト	授業のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

「もっと話そう 異文化おもしろ体験 中級中国語」 陳淑梅・胡興智・劉湯水
(朝日出版社)

【参考書】

必要に応じて指示する。

【成績評価の方法と基準】

課題、授業への参加度30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

Textbooks are a collection of conversational texts. While reading these sentences, you will review beginner grammar and learn more advanced grammar and vocabulary than the intermediate level. In order to deepen interest and understanding in China, we will also introduce Chinese society and culture in relation to the topics mentioned in the textbook. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】

テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、日常会話に必要な基礎を身につけることを目標とする。また、発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができ、文章が読めるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは基本的には授業中に行うが、オンライン授業時などはメール、Hoppiiなども活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	一年時の復習	本授業の授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。
第2回	第一課	発音の総復習と、簡単に初級中国語文法を復習する。
第3回	第一課	ドリル、発音練習を中心に学習する。
第4回	第二課	助動詞“会”，動詞の重ね型，使役文について学習する。
第5回	第三課	近い未来，助動詞“應該”，“既～又…”について学習する。
第6回	第三課	ポイント（方位詞「上」など）の説明と本文の読解、発音練習。
第7回	第四課	時間量補語，“一点儿”+“也／都”+否定形，“一～就…”について学習する。
第8回	第五課	状態補語、前置詞“为了”，連用修飾語を作る“地”について学習する。
第9回	第六課	助動詞“可以”，“只要～，就…”，結果補語について学習する。
第10回	第七課	進の“在”“正”“正在”“无…～是…，都～”，疑問詞の不定用法について学習する。
第11回	第八課	助動詞“要”，前置詞“离”，100以上の数，金額の言い方について学習する。

第12回	第九課	持続の“着”，単純方向補，複合方向補，方向補語の派生的用法について学習する。
第13回	第十課	受け身文，“一边（儿）～，一边（儿）…”，“先～，然後ろ…”，“由于～，所以…”について学習する。
第14回	前期の総まとめ・試験	総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの「新出語句」などを用い、分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、音声も聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。各課の練習問題について、授業時間内に問題を解く時間をあまり取りませんので、基本的には予習してきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語』

著者：杉野元子・黄漢青

出版社：白帝社 2021年3月第3版

【参考書】

必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。授業中の私語、不要なスマートフォンの使用など受講にふさわしくない行動を繰り返す場合は平常点を減点します。（期末テスト70%、平常点（小テスト含む）30%）となります。また、各学期ごとに欠席が6回以上になった場合、期末テストを受けることができません。やむを得ない事情がある場合は、必ず申し出て下さい。オンライン授業となった場合は、毎回の課題の実施状況、小テストの成績によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

アンケートの結果では、学生の皆さんに授業内容をしっかり理解していただけているようでした。今年度も引き続き分かりやすい授業ができるよう心掛けていきたいと思っております。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate level. By reading the textbooks and composition exercise and so on, we aim to acquire the intermediate communication skills of Chinese.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

渡部 れい子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年時に学習した中国語から一歩進んで、教科書の本文の読解、練習問題を通じ、中級レベルの中国語を身につける。また、学習した内容に基づいて、自分について紹介したり、会話をする訓練を行う。

【到達目標】

テキストを学習することにより、中国語の語彙を増やし、文法事項の理解を一年時より深め、中級レベルの文章を正しく理解でき、また、自分の考えを中国語で伝えられるようになることを目標とする。発音は、単語レベルではなく、正しい発音で会話ができるようになることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本文を文法的にしっかり理解する。この時、一年時に学習した事項に関しても適宜復習する。次にテキストの問題を通じて中国語による表現の練習をし、学習した内容に基づいた会話練習、自己紹介などを行う。会話文の聴き取り練習も行う予定。

課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業中、またはメールなどで行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	前期の総復習。	前期の学習事項の総復習を行う。
第2回	第10課	会話文と異なる長文の読み方の復習、長文読解による文法事項の復習。
第3回	第11課	本文についての練習問題、聴き取り、夏休みの過ごし方を紹介する。
第4回	第12課	比較(1)、比較(2)、可能補語について学習する。
第5回	第13課	“A是A、就是～”、“有点儿”と“一点儿”、処置文について学習する。
第6回	第14課	“要么～、要么…”、助動詞“得”、“不管～、都…”について学習する。
第7回	第15課	副詞“又”、副詞“就”と“才”、“除了～以外”、“～什么的”について学習する。
第8回	第16課	疑問詞+“都/也”、“要是/如果～的话、就…”離合動詞について学習する。
第9回	第17課	本文についての練習問題、聴き取り、会話の練習。
第10回	第18課	副詞“难怪”、存現文、存現文で表す自然現象について学習する。
第11回	第19課	疑問詞の呼応用法、反語の表現“哪能～”について学習し、補語について総復習する。

第12回 第20課

“对～来”，“连～都/也…”，“之所以～，是因为…”，“既然～，就…”，“不是～，而是…”について学習する。

第13回 第20課

会話文と異なる長文の読み方、長文読解による文法事項の復習を行う。

第14回 総復習

総復習・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

テキストの「新出語句」などを用い、分からない単語などは調べて授業に臨んでください。定期的に小テストを行いますので、音声を聴いて本文を書き取るなど、授業内容を毎回復習してください。各課の練習問題について、授業時間内に問題を解く時間をあまり取りませんので、基本的には予習してきてください。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語 20回』

著者名：杉野元子 黄漢青 著

出版社名：白帝社 2021年3月 第3版発行

【参考書】

必要に応じて授業内で指示します。

【成績評価の方法と基準】

各期末テストに加え、授業内での小テスト、平常点（積極的に発言しているか、熱心に課題に取り組んでいるか、など）を総合的に判断し、評価します。授業中の私語、不用なスマートフォンの使用など受講にふさわしくない行動を繰り返す場合は平常点を減点します。また、各学期ごとに欠席が6回以上になった場合、期末テストを受けることができません。やむを得ない事情がある場合は、必ず申し出て下さい。

オンライン授業となった場合は、毎回の課題の実施状況、小テストの成績によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

アンケートの結果では、学生の皆さんに授業内容をしっかり理解していただけているようでした。今年度も引き続き分かりやすい授業ができるよう心掛けていきたいと思えます。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for beginners. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

One hour is required for each lesson for preparation (researching the meaning of newly appeared word, etc.) and review (practicing listening to Chinese conversation, etc.) of this class.

Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term quiz(30%), term-end examination (70%), and in-class contribution.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎中国語で学習した事項とともに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習し、より複雑な表現を理解する。その上で中級以上の中国語に取り組む際に必要な構文や新しい語彙を習得する。

【到達目標】

春学期終了時には、文法・ヒアリングにおいてHSK3級、中国語検定4級程度の能力を確実に習得し運用できること、少し複雑な構文を正確な文法を用いて表現できることを到達目標とする。また、新語の検索をピンイン入力などで実際に行い、実践的な中国語運用の方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この授業は対面で進みます。進行や課題は学習支援システムHoppiiでも伝達します。初回については基礎で学んだ事項について復習する。毎回、授業の始めに簡単な発音練習を行い本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳、の順序で進める。その後、練習問題を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎で学習したことの復習①特に4文型	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第2回	基礎で学習したことの復習②特に補語表現	基礎文法事項の練習。学んだ常用表現を使い、実際に口頭練習する。
第3回	マナー用語	①為了②对③跟（介詞についての復習）④按照⑤的の用例1つめ⑥会(的)
第4回	買い物やレストランで順番を待つ	①要②目的語が主述句なる場合③使役表現④太⑤地⑥越～越～
第5回	生活で使われるカードやお金のこと	①除了～以外②恐怕③是～的④只⑤由于⑥又～又～（基本的な構文を学習する）
第6回	第1課から第3課の本文の内容の復習	新しく学習した文例を用い、自分の生活について簡単な作文を作成し述べる。
第7回	第1課と第3課の復習と進捗の調整 到達度の確認	暗誦行い、併せて練習問題や小テストを行う。
第8回	運動や趣味について	①包括②受③常見④也⑤所以⑥并+否定⑦一辺～一辺～
第9回	インターネットに関連する話題	①被②就是③絶対④想到⑤出于⑥通過～
第10回	ネット環境に関する話題	第4課、第5課の内容復習し、練習問題を行う。
第11回	携帯電話とネットにかんする現状	①随着②只要～就～③有的④造成⑤着⑥導致

第12回	学習した中級構文についてのまとめ	第5課、第6課のヒアリングと作文を行う。
第13回	第4から第6課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第4課から第6課の造句部分の復習。
第14回	期末試験・春学期の文法事項全体の復習	春学期進行分の到達度の確認と復習。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。【予習】授業時に分担して回答してもらうので5のディスカッション問題には各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『音読で身につく中国語 中級』 崎原麗霞・丁雷著
朝日出版社 2200円（税別） ISBN978-4-255-45323-1-C1087
また随時、プリントを配布

【参考書】

進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30%（課題提出や暗誦、HSK模擬試験20%・授業への参加度10%）を総合して評価する。また、春学期においてはHSK3・4級、中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。点数や合格級数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

外部試験（中国語検定・HSK）を少しでも実施できたのは良かったようです。個別の発音チェックの時間が十分にたれなかった点が改善点です。去年とは教科書が違いますが、多くの会話や造句の機会が得られるように練習を増やししながら授業を進行する予定でいます。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材をダウンロードできる機器

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria / Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%). Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

文法に関しては中級レベルで書かれた文章の正確な読解を助ける、やや難しい構文を中心に学習する。また造句の練習を通じ、より難度の高い実践的な中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、HSKや中国語検定試験に対応する能力と上級に進む上で必要な基礎力を養成する。

【到達目標】

より複雑な文法・構文を理解し、並行して新しい語彙を習得することで、自分の生活に関すること、自身の考えや生活の中で起こりうる事柄を明瞭に話せるようになる。文法に関してはHSK3級から4級レベル、中国語検定3級程度の能力を習得することを最終的な到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が若干速めになる。基本的には春学期の授業進行と同様の順番だが、途中で応用問題を行う時間をとる。また、複雑な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。本授業の準備・復習時間は各1時間半を標準とする。【課題へのフィードバック】造句は授業内で回収し添削し特に文法に関しては授業時間に回答で誤りが多かった問題から解説する。発音に関しては各回の授業開始時に頻度の高いフレーズを練習する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第2回	世界遺産と孔子	①于②与③的の用法のまとめ④即便⑤給の用法⑥依然
第3回	特に「給」に関して整理とまとめ	第7課の内容を理解し、ヒアリング・造句・練習問題を行う。
第4回	中国と日本の色に対するイメージの相違点	①根据②特別③却④用…来⑤只有⑥只有…才能⑦難得
第5回	基本的な構文のまとめ	第1回から4回までの練習と簡単な文章の暗誦。
第6回	多民族国家について	①不是…而是②不得不③也就是④「有」の用法の整理⑤一直⑥快于⑦越来越…
第7回	口語表現と書面語の違いについて	第9課で学んだ例文を参考に造句してみる。
第8回	第7課から第9課までの全体的な復習と到達度の確認	暗誦、検定試験問題や小テストを行う。
第9回	訪日する観光客との会話	② ①把…作為②不僅僅③与…有美④雖然…但是…⑤還是⑥值得⑦与…相比
第10回	「把」構文に関するまとめ	第10課の内容を踏まえて造句してみる。

第11回	交通問題に関して時制の表現と助動詞のまとめ	①経過②甚至③受到④因此⑤逐漸⑥期待
第12回	第11課まで学習した構文を使った表現練習	時制の表現と組み合わせて何かの交通手段を使って観光に行く、あるいは行ったことを書いてみる。
第13回	国際化に伴う問題と必要とされる人材について	①「能」の用法のまとめ②應該③具有④才⑤不僅…而且⑥等同于⑦如果⑧一定
第14回	期末試験 応用表現の総合復習	秋学期の学習到達度の確認。 第7課から第12課までを中心に、日常よく使われる表現の暗誦。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

秋学期は内容も難しくなるので、音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵のDVDを観るなど、幅広く興味を持ってほしい。

【予習】授業時に分担して回答してもらおうので5のディスカッション問題には各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた外部試験問題を行う。

【テキスト（教科書）】

『音読で身につく中国語 中級』 崎原麗霞・丁雷著
朝日出版社 2200円（税別） ISBN978-4-255-45323-1-C1087
また随時、プリントを配布

【参考書】

授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30%（課題提出や暗誦20%・授業への参加度10%）を総合して評価する。またHSK3・4級・中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。中国語検定試験3級・HSK4級以上の合格者は期末試験を免除し評価をSとする。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は余裕のある学生には若干物足りない内容だったかと思いません。今年度は教科書も変更しました。進行が順調な学生には問題を追加し予備練習を効率よく行いたいと考えています。昨年度は学習到達度も大変良好でしたので実践的な練習の機会を増やすべきであったと認識しています。

【学生が準備すべき機器他】

音声ダウンロードできる機器

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one and a half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3 I

2017年度以降入学者

王安

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語初級～中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣における基本知識を理解する。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりにすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級中国語を終えた学習者を対象に、初級中国語の内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	ガイダンス	発音の復習、中国語初級文法、構文などの復習
2回	第1課 自我紹介	①自己紹介に関する重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞“在、跟”などの用法、動詞の重ね型。
3回	第1課 自我紹介	実践練習：自己紹介の仕方(自分の名前、故郷、家族構成、専攻、など)
4回	第2課 李有很多好	①趣味を紹介する際に使う重要表現、言い方を学習する。 ②重要文法項目：前置詞“对”“从”の用法、助動詞“打算”の用法。
5回	第2課 李有很多好	実践練習：様々な趣味の中国語の言い方を身につけ、自分や友人の趣味を人に紹介する。
6回	第3課 大的一天	①一日の行動を述べる際の構文、表現を学ぶ。 ②重要文法項目：連動文、様態補語、時間副詞の用法。
7回	第3課 大的一天	実践練習：連動文や時間副詞を用いて、自分の一日の行動を中国語で表現する。

8回	第4課 芳的	①人の性格、特徴や仕事に関する言い方、表現を学習する。 ②重要文法項目：助動詞“能”の用法、方向補語、中国語の感情動詞など。
9回	第4課 芳的	実践練習：中国語で自分の友人の性格、特徴などを紹介する。
10回	第5課 我是去年	①過去の出来事を述べる際に使用する表現、構文などを学ぶ。 ②重要文法項目：“是…的”構文、因果関係の複文、中国語の離合動詞。
11回	第5課 我是去年	実践練習：中国語の“是…的”構文の機能、使い方を正しく理解し、“是…的”構文を使えるように練習する。
12回	第6課 你知道	①情報や知識を人に伝える際に使う表現、構文を学ぶ ②重要文法項目：前置詞、逆接続詞の使い方、“快要…了”の使い方、助動詞“要”の用法
13回	第6課 你知道	実践練習：中国語である情報やニュースまたは知識を人に紹介する。
14回	期末試験	筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
 - 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
 - 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。
- 本授業の準備学習・復習時間は各4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『標準中国語読解力UP編』王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版 2200円+税

ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500円 (同社)
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (課題45%) + 中間・期末テスト (55%) = 100点で評価します。

注意点：①課題の未提出は8点減点/一回
②課題提出の遅れは4点減点/一回
(提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません)

【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気明るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさん用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思えます。
また、今後は学生同士の交流やコミュニケーションの機会を増やし、授業中のディスカッションがより活発にできるように工夫していきたい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を日常的に聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jp まで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition. (Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 4 hours previewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

- assignments: 45%
- middle-test and final test: 55%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3Ⅱ

2017年度以降入学者

王安

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

前期に引き続き、中国語中級レベルに必要な語彙・文法・表現を総合的に習得し、中国の文化・習慣への理解を深める。授業では、各課の内容を巡って、グループで会話をしたり、重要文法項目について作文をしたり、様々な練習問題をしたりすることによって、学んだ知識を確実に身につけていく。

【到達目標】

初級～中級中国語を終えた学習者を対象に、これまで学んできた内容を実際に運用できるように練習し、中級中国語の語彙、文法、構文を身につけることを目標とする。読解力のみならず、「話す」「聞く」「書く」などの能力もバランスよく訓練し、中国語総合能力の向上を目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業では先生と一緒に単語と本文を音読し、中国語の正しい発音を覚えていく。また、重要単語の意味と用法、文法項目及び関連知識を学習し、作文練習や補足練習を通して確実に身につける。さらに、各課のトピックに合わせて、グループで会話練習を行う。このように、授業は中国語の総合能力の向上を意識して進めていく。課題などに対するフィードバックは授業時間内で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第7課	①前期復習 ②中国語の外来語 ③重要表現、文法の説明
2回	第7課	実践練習： 中国語の外来語や日中両言語の表記体系、外来語の相違を紹介する。
3回	第8課	①中国の大学や大学生の生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明
4回	第8課	実践練習： 中国語で自分の大学や大学生活を紹介する。
5回	第9課	①中国の若者文化、若者の生活に関する中国語表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
6回	第9課	実践練習： 中国の若者言葉を紹介し、日本語や日本の文化が中国の若者に与えた影響を紹介する。
7回	第10課	①日本の“動漫”に関する中国語表現を学ぶ ②重要文法項目の説明。
8回	第10課	実践練習： 日本の“動漫”が中国に与えた影響を紹介し、映画やアニメに関する中国語表現を紹介する。

9回	第11課	①北京に関する知識、北京生活に関する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
10回	第11課	実践練習： 北京の言葉、生活、文化などに関連する中国語表現を練習する。
11回	第12課	①中国の飲食文化を紹介し、それに関連する表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
12回	第12課 第13課	①飲食に関する中国語表現を用いて練習する。 ②中国の民族に関連する知識を紹介する
13回	第14課	①中国の旧正月に関する知識、表現を学ぶ。 ②重要文法項目の説明。
14回	期末試験	③まとめ 筆記試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- 1、事前に教科書を音読し、「warming up」を予習してください。
- 2、授業で補足された内容を必ずメモし、授業後整理してください。
- 3、授業後、復習を通してその日の語彙と構文を知識として定着させる。

本授業の準備学習・復習時間は各4時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『標準中国語読解力UP編』王安・楊川・王欣・孫樹林 朝日出版
2200円+税
ISBN978-4-255-45215-9C1087

【参考書】

『WHY? にこたえるはじめての中国語の文法書』相原茂・石田知子・戸沼市子著 2,500円 (同社)
その他の資料は授業で随時紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (課題45%) + 中間・期末テスト (55%) = 100点で評価します。

- 注意点：①課題の未提出は8点減点/一回
②課題提出の遅れは4点減点/一回
(提出が締め切りより遅れた場合、期間は締め切り日から一週間以内と限定します。一週間過ぎてからの提出は成績評価しません)

【学生の意見等からの気づき】

授業の雰囲気明るく、文法の説明が分かりやすいとの評価を頂いてうれしいです。今後もたくさんの用例を提示しながら丁寧に文法項目を説明し、様々な工夫をして学習効果を確実に上げていきたいと思えます。
また、今後は学生同士の交流やコミュニケーションの機会を増やし、授業中のディスカッションがより活発にできるように工夫していきたい。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材を聴くことができる機器が必要です。

【その他の重要事項】

質問がある場合は、annwang@hosei.ac.jpまで連絡してください。

【Outline (in English)】

This is a Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire intermediate-level communication skills in Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading, and writing by studying pronunciation, grammar, conversation, and composition.

(Learning Objectives)

Comprehensive training in "speaking", "listening", "writing", and "reading" in order to improve Chinese comprehensive ability.

(Learning activities outside of classroom)

Before/after each class, students will be expected to spend 4 hours reviewing the course content.

(Grading Criteria /Policy)

Overall grade in the class will be decided based on the following parts:

- assignments: 45%
- middle-test and final test: 55%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 I

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期は中国語の基礎を集中的に復習し定着させる。中国語検定試験4級・HSK3級に照準をあてて「話す」・「読解できる」・「聴き取れる」の中国語中級への基礎事項の習得を目指す。

【到達目標】

春学期は中国語検定試験4級の合格レベル (6月末) HSK3級同程度の中国語文法を確実に運用できる。また、春学期終了時には基本的な文法を正確に使い、中国と日本の文化の違いについて読解でき、自分の生活や習慣・文化などについても具体的に話すことができるのが到達目標である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

学ぶべき例文と文法の解説後、読解、発音練習を行う。毎回の授業では、一人ずつ発音をチェックしたうえでその後、学習した文法を使いながら本文に関した表現を反復練習する。最後に中心となる文法を使用して簡潔な作文を作成する。【課題へのフィードバック】文法に関しては授業時間に回答を例に挙げて解説する。各自が自由に書く課題については添削する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎文法と発音 (ピンイン) の復習	プリントで基礎文法事項を含んだ例文を確認。
第2回	「談家庭」今まで学習した家族に関して使われる表現を把握する。	「都」と「也」、語気助詞の復習。併せて数字に関する表現の確認をする。
第3回	「談家庭」中国の家族に関して使われる表現を閲読する。	語気助詞、副詞の練習問題を行い、確認する。
第4回	「談方位」存在を表す動詞と方向の表現を理解する。	伝聞の表現と「既～又～」「除～」の構文について学習する。
第5回	「談方位」中国の大学に関する文章を位置関係を正しく理解しながら閲読する。	「既～又～」の書き換え問題や伝聞の表現を用いた作文をする。
第6回	到達点の確認。前半の学習事項の総合復習。	各課の始めにある例文を復習し、学習した内容を使つての口頭表現の練習。
第7回	「談時間」時間に関連する表現を確認し、新しい表現を学習する。	離合詞・結果補語の確認と「了」を用いる場合の確認。
第8回	「談時間」待ち合わせや、スケジュールについて表現する。	「不但～而且～」「一～就～」「先～然后～」の構文を練習問題を行い、確認する。

第9回	「談愛好」趣味や過去に好んで行っていたことの表現を学ぶ。	動量補語・時量補語・様態補語の基礎的文法の確認をする。
第10回	「談愛好」趣味について書かれた文章を読解し回答する。	動量補語・時量補語・様態補語の実践練習を行う。
第11回	第3課・第4課の総合復習と到達点の確認。	存現文の復習「着」・出現の「了」・消失の「了」を学ぶ。
第12回	「談天気」天候や気象状況に関する表現を学ぶ	動詞の重ね型の確認と「因～～所以～」「只有～才～」などの構文を練習する。
第13回	「談天気」中国の都市の気候を閲読する。	学習した構文の復習と練習を行う。簡単なヒアリング問題を行う。
第14回	試験と総合復習。	春学期の到達点の確認。構文のまとめと4種類の疑問文についての解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

【予習】練習問題でピンインがふられていないところをよく確認する。授業時に分担して翻訳してもらうので、教科書の本文・例文の翻訳は各自で行うこと。また作文も担当をあらかじめ決める回があるので、担当者は準備すること。

【復習】文法上での疑問点を確認すること。音声教材をよく聴いて発音を練習すること。【課題】簡単な作文は授業内で行い授業終了後回収する。時間をみてヒアリング問題や音声ファイルの提出も行う。

【テキスト (教科書)】

『現代中国アラカルト』楊曉安著 ISBN978-4-261-01869-1 C1087 郁文堂 2500 + 税

【参考書】

授業開始時にスマートフォンでも使用できる辞典についても詳しく紹介するので、辞典などの購入は説明後に検討してほしい。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30% (課題提出や暗誦、HSK模擬試験20%・授業への参加度10%)を総合して評価する。また、春学期においてはHSK3・4級・中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。3分の1以上の欠席がある場合は単位取得は困難である。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度から頻出する簡潔なフレーズが例文で載っている教科書にした。口頭で表現する機会をできるだけ設けたが、定員の30名近い履修者があり、十分な時間が確保できたとはいえない。発音練習に関しては今年度は更に工夫をしたいと考えている。造句に関しては授業内で回収し添削して返却できたことは良かった点である。対面では発音練習に時間がかかるので、数回に一度は課題にするなどの効率よくできる方法を工夫したい。

【学生が準備すべき機器他】

各自が便利な方法で辞典が利用できることと、付属の音声教材を日常的にヒアリングできる機器を準備して欲しい。

【その他の重要事項】

第1回の開講時に履修者を決めることになるので、秋学期のみ履修希望であっても初回は必ず参加するように。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process
term-end examination (40%), mid-term examination (30%),
and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese
Proficiency or HSK.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 II

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中級の文法の確立と応用練習を行う。中国語検定試験3級/HSK3～4級に照準をあてて春学期よりも長めの文章を読解し、そのテーマに関する会話文を聴き取り、簡単な質疑応答ができる能力を養成する。また、現代中国の文化や日常に関する比較的短い読解も並行して行う。

【到達目標】

秋学期終了時には中国語検定試験3級の合格(11月末)、あるいはHSK4級の6割程度の文法を習得し、学習した句型を使い自分の考えを表現することができる。また、テーマに関するヒアリング問題を理解でき、より複雑な時制の表現や構文の習得を到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

始めに発音の練習をしすに学習した例文を確認する。その後、各課の文法を解説し会話文・読解・実践問題と進行する。併せて「検定問題の一部などを使用しながら実践練習を行う。【課題へのフィードバック】造句や読解問題などは授業内で回収し、添削後返却する。文法は各自担当してもらった回答を一覧にし、授業時に解説を行う。発音に関しても音声ファイルの提出などでチェックした不明瞭な部分を授業時に確認する。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習事項の確認とまとめ	中検4級程度の文法とヒアリングの練習問題を行う。また春学期の試験についての解説を行う。
第2回	「談体育」スポーツに関する文章を読解する。	進行・持続態の復習。方向補語・可能補語の新しい表現を学習する。
第3回	「談体育」スポーツの試合や自分が習慣にしている運動のことについて表現する。	可能補語や方向補語を適切に使うための練習。また本文に準じた質問に中国語で回答する。
第4回	「談旅行」旅行に関する話題と名所旧跡にまつわる表現を読解する。	語気助詞と介詞の練習と新しい表現「不如此」「没想到」「或者」を学ぶ。
第5回	「談旅行」の中国十大名所旧跡を読解し内容に準じた質問を行う。	自分自身がしたい旅行や過去の旅行について簡単な作文をする。併せて練習問題を行う。
第6回	「談飲食」中華料理の菜系について読解する。	几と多少の復習。「越来越」「不是～而是～」などを使う表現練習を行う。
第7回	「談飲食」本文を参考に日本食についても話してみる。	自分の好きな料理や中国と日本の味の違いなどを簡潔に口頭で答える練習を行う。

第8回	第8課までの小テストと暗誦。	前半で学習した構文の確認と指定の文章の暗誦を行う。時間があればHSK・中国語検定のヒアリングを行う。
第9回	「談交通」中国と日本の交通事情について把握する。	使役の表現の復習。仮定法について学習する。
第10回	「談交通」旅行先や日常での交通手段について本文を参考に回答。	「就」「才」と「好+動詞」について練習を行う。
第11回	「談看病」身体の不具合や病院での表現を学ぶ。	「只要～就～」「除非～否～」「即～也～」「一来～二来」の構文を使った練習を行う。
第12回	「談購物」ネットショッピングについての本文を読解する。	「的」「得」「地」の復習と確認。介詞の「給」「為」を使った短文を書く。
第13回	「談購物」ネットショッピングについての本文を読解する。	秋学期に学んだ構文表現を整理し練習問題を行う。
第14回	最終到達度の確認。試験の実施と解説。	秋学期に学習した文法事項と聴き取り。時間があれば部分的にHSKや中国語検定の問題を行う。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

夏休みを利用して既習の内容を把握していることが望ましい。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。【予習】授業では翻訳の確認を行うので各自で日訳を作成すること。作文も担当を決めることがあるので、その場合は回答を準備すること。【復習】練習で行った疑問・問題を確認すること。音声教材・またはHSK模擬試験を行う。【課題】教科書の練習問題。

【テキスト(教科書)】

『現代中国アラカルト』楊曉安著 郁文堂 2500円+税 ISBN978-4-261-01869-1 C1087

【参考書】

毎年、HSKや中国語検定の外部試験を受験する学生がいるので、過去の学生から好評だった参考書をできるだけ授業内で紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30%(課題提出や暗誦20%・授業への参加度10%)を総合して評価する。また、春学期においてはHSK3・4級・中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。点数や合格級数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

文法については具体的な誤答例を授業で取り上げて解説できたが、個別の回答の発音練習が十分ではなかった。発音の課題については根本的な改善したいと考えている。この段階になると十分な予習なしでは円滑な進捗が難しくなるので、翻訳部分の担当を決めるなどして聴く・話す・読むをバランス良く練習できる時間を確保するよう努めたいと考えている。

【学生が準備すべき機器他】

各自が一番便利な方法で辞典を参照できるように。また、教科書の音声教材が一番便利に聴くことができる機器を準備すること。

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one and a half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process
term-end examination (40%), mid-term examination (30%),
and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese
Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 I

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

『ポイント学習中国語』で学んできた基本語彙や初級文法を復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。発音の矯正 (自己紹介と単語)・唐詩暗誦・日常用語の暗記・文法理解 (翻訳練習)・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業で5分間の動画で中国のエンターテイメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

【到達目標】

『ポイント学習中国語』で学んできた中国語の基礎を固めた上、より自由自在に「聞ける」「話せる」「読める」ことを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

『ポイント学習中国語』対応の自作プリント「中国語4 I ①～⑤」を使用します。毎回の授業では、自己紹介の発表、唐詩暗誦、聞き取りテスト (翻訳練習と日常用語) などを行ないます。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	自己紹介 I ①・「中国語4 I ①」	「中国語4 I ①」：唐詩・単語20語・日常用語10語・翻訳練習15問
第2回	自己紹介 I ②・「中国語4 I ①」	「中国語4 I ①」：唐詩・単語20語・日常用語10語・翻訳練習15問
第3回	自己紹介 I ③・「中国語4 I ②」	「中国語4 I ②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問
第4回	自己紹介 I ④・「中国語4 I ②」	「中国語4 I ②」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問
第5回	復習とテスト	「中国語4 I ①」と「中国語4 I ②」の復習とテスト
第6回	自己紹介 I ⑤・「中国語4 I ③」	「中国語4 I ③」：唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問
第7回	自己紹介 I ⑥・「中国語4 I ③」	「中国語4 I ③」：唐詩・単語20語。日常用語5語。翻訳練習20文。
第8回	自己紹介 I ⑦・「中国語4 I ④」	「中国語4 I ④」：唐詩・単語20語。日常用語5語。翻訳練習20文。
第9回	自己紹介 I ⑧・「中国語4 I ④」	「中国語4 I ④」：唐詩・単語20語。日常用語5語。翻訳練習20文。
第10回	復習とテスト	「中国語4 I ③」と「中国語4 I ④」の復習とテスト

第11回	自己紹介 I ⑨・「中国語4 I ⑤」	「中国語4 I ⑤」：唐詩・単語20語。日常用語5語。翻訳練習20文。
第12回	自己紹介 I ⑩・「中国語4 I ⑤」	「中国語4 I ⑤」：唐詩・単語20語。日常用語5語。翻訳練習20文。
第13回	総合復習	唐詩5首・日常用語30語・聞き取り50問・翻訳練習50問。
第14回	期末試験	口頭試験：自己紹介・唐詩 筆記試験：聞き取り50問・翻訳25問

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回授業の前に自己紹介文をhoppiiにアップロードします。それを暗記してください。外に唐詩などの暗誦もありますが、しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要がありません。

【テキスト (教科書)】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

自己紹介 (15%) と小テストの平常点 (15%)、期末試験の成績 (70%) などを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【その他の重要事項】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 II

2017年度以降入学者

薬 会

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 火5/Tue.5

単位数: 1単位

定員制 (30)

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

これまで学んできた基本語彙や文法を繰り返し復習して受講者の習得状況を確認しながら授業を進めていきます。発音の矯正 (スピーチ)・唐詩暗誦・日常用語の暗記・文法理解 (複文の翻訳)・聞き取りテストなどを授業内容とします。毎回の授業で5分間の動画で中国のエンターテイメント事情などを紹介し、リアルな中国を理解します。

【到達目標】

これまで学んできた中国語の基礎を固めた上、さらに自由自在に「聞ける」・「話せる」・「読める」中国語の習得を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

自作プリント「中国語4 II①~⑤」を使用します。毎回の授業では、複文中心の自己紹介の発表、唐詩暗誦、聞き取りテスト (翻訳練習と日常用語) などを行ないます。小テストのフィードバックは授業の中で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	自己紹介Ⅱ①・「中国語4 II①」	「中国語4 II①」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解: 累加関係・逆接関係
第2回	自己紹介Ⅱ②・「中国語4 II①」	「中国語4 II①」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習20問 複文理解: 累加関係・逆接関係
第3回	自己紹介Ⅱ③・「中国語4 II②」	「中国語4 II②」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習20問 複文理解: 仮定関係
第4回	自己紹介Ⅱ④・「中国語4 II②」	「中国語4 II②」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解: 仮定関係
第5回	復習とテスト	「中国語4 II①」と「中国語4 II②」の復習とテスト。
第6回	自己紹介Ⅱ⑤・「中国語4 II③」	「中国語4 II③」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解: 譲歩関係
第7回	自己紹介Ⅱ⑥・「中国語4 II③」	「中国語4 II③」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解: 譲歩関係

第8回	自己紹介Ⅱ⑦・「中国語4 II④」	「中国語4 II④」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習20問 複文理解: 因果関係
第9回	自己紹介Ⅱ⑧・「中国語4 II④」	「中国語4 II④」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・俗語5語・翻訳練習20問 複文理解: 因果関係
第10回	復習とテスト	「中国語4 II③」と「中国語4 II④」の復習とテスト。
第11回	自己紹介Ⅱ⑨・「中国語4 II⑤」長文理解 (いろいろの表現)	「中国語4 II⑤」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解: 色々の表現
第12回	自己紹介Ⅱ⑩・「中国語4 II⑤」復習とテスト	「中国語4 II⑤」: 唐詩・単語20語・日常用語5語・翻訳練習20問 複文理解: 色々の表現
第13回	総合復習	唐詩5首・日常用語25語・聞き取り50問・翻訳練習50問・複文表現20パターン
第14回	期末試験	口頭試験: 自己紹介・唐詩・俗語 筆記試験: 聞き取り50問・翻訳25問

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回授業の前に自己紹介文をhoppiiにアップロードします。それを暗記してください。外に唐詩・俗語などの暗誦もありますが、しっかりと授業に参加すれば、それ以外に予習や復習する必要がありません。

【テキスト (教科書)】

オリジナルプリントをテキストとして使用します。

【参考書】

指定しません。

【成績評価の方法と基準】

スピーチテスト (15%) と小テストの平常点 (15%)、期末試験の成績 (70%) などを総合して評価します。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), Speech tests (15%), Short tests(15%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント (「一…就～」など6項目) の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント (「每…都～」など6項目) の説明
4	第2課	「 <input type="checkbox"/> 食 <input type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント (「多/少」+動詞) など6項目) の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント (「兼語“有”」など6項目) の説明
9	第4課	「 <input type="checkbox"/> 数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント (「疑問詞の不定用法」など6項目) の説明
11	第5課	「大学生的打工 <input type="checkbox"/> 状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント (「无 <input type="checkbox"/> …都/也～」など6項目) の説明
13	第6課	「集体生活的好 <input type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト (教科書)】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情 (改訂版・CD付)』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業中の態度や小テスト等) 30%、中間試験30%、期末試験40%。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See “Grading criteria” by instructor’s syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 价 <input checked="" type="checkbox"/> 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 送礼的 <input checked="" type="checkbox"/> 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「 <input checked="" type="checkbox"/> …了」など6項目）の説明
6	第9課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 中国式 <input checked="" type="checkbox"/> 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 双 <input checked="" type="checkbox"/> 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「 <input checked="" type="checkbox"/> 随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 理想 <input checked="" type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%。

※中検準4級・4級とHSK2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 I

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次に学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。毎回、2～3個の基本的な文法を学習し、それが含まれている4行会話を覚え、その会話の置き換え練習や聴き取り練習などを通して、言葉がすんなり口から出てくるよう指導していく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。

【到達目標】

学生の到達目標は次の4点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第1課	会話を学習する 文法を学習する 年月日の言い方 曜日の言い方
2回	第2課	会話を学習する 文法を学習する 人称代名詞 <～の～>
3回	第3課	会話を学習する 文法を学習する 時刻の言い方 変化する言い方
4回	第4課	会話を学習する 文法を学習する 値段の言い方 数量表現 動詞述語文

5回	第5課	会話を学習する 文法を学習する <是>の文 電話番号の言い方
6回	第6課	会話を学習する 文法を学習する 指示代名詞 疑問詞<なに>
7回	第7課	会話を学習する 文法を学習する 選択疑問文 連動文 前置詞<～で>
8回	第8課	会話を学習する 文法を学習する <～が好きだ> <この～>の言い方
9回	第9課	会話を学習する 文法を学習する 形容詞述語文 前置詞<～に>
10回	第10課	会話を学習する 文法を学習する 比較文 <少しも～しない>の言い方
11回	第11課	会話を学習する 文法を学習する 省略疑問文 <来+数量>の言い方
12回	第12課	会話を学習する 文法を学習する 主述述語文
13回	授業内期末筆記テスト	第1課～12課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14回	授業内期末口頭テスト	第1課～12課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、1時間を標準とする。授業の前と後は必ずCDを繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト (教科書)】

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社
2019年 2300円

【参考書】

参考書は授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は100点満点とし、60点以上が合格となる。配分は、毎行なう小テスト (単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など) が30%、期末口頭テストが20%、筆記テストが50%です。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(50%), Term-end oral exam(20%),in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 II

2017年度以降入学者

余 瀾

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年間で学んだ中国語の基礎知識を土台とし、中国語会話の実践力を養成する。基本的な日常会話で構成されるテキストを用い、ネイティブ教師との会話練習を中心に授業を進めていく。「中国語4 I」より少し難度の高い会話文を学ぶ。

授業の流れは「中国語語4 I」と同様で、基本的な文法、4行会話、置き換え練習、聴き取り練習…と学習を進めていく。簡単なフレーズや文を繰り返し練習することによって基本的な表現がしっかり身につくこと、またネイティブ教師の発音をたくさん聞くことによって耳が中国語に慣れることをこの講義の目的とする。中国人との簡単な会話において、相手の言っていることを正確に聴き取り、的確に言葉が返せるレベルにまで到達できるよう指導していく。

【到達目標】

〔到達目標〕

学生の到達目標は次の4点とする。

- ①中国語の常用表現が聞き取れる力を身につけます。
- ②中国語の初級会話において的確な表現ができる力を身につけます。
- ③反応速度を上げる訓練を通し、既習項目に関して、中国語で聞かれたら、すぐに中国語で答えられるようにします。
- ④簡単な日常会話において、中国人と意思疎通ができるような会話力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

演習方式。単語、基本文型、置き換えなど幾つかのパターンを用いて、授業を進める。ロールプレイと寸劇などにより、楽しく会話力を身につけていく。

課題等へのフィードバックは授業内で行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第13課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞<～したい> 存在を現す<有>
2回	第14課	会話を学習する 文法を学習する 存在を現す<在> <有>と<在>の区別
3回	第15課	会話を学習する 文法を学習する 所有を現す<有> 疑問詞<どうですか>
4回	第16課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞<どうやって> <好+動詞>

5回	第17課	会話を学習する 文法を学習する 進行を現す言い方 禁止する言い方
6回	第18課	会話を学習する 文法を学習する 疑問詞<なぜ> 結果補語
7回	第19課	会話を学習する 文法を学習する 完了を現す言い方 前置詞<～から>
8回	第20課	会話を学習する 文法を学習する 経験を現す言い方 <ちょっと>の言い方
9回	第21課	会話を学習する 文法を学習する 方向補語 使役を現す言い方
10回	第22課	会話を学習する 文法を学習する 連体修飾語 助動詞<できる>
11回	第23課	会話を学習する 文法を学習する 様態補語
12回	第24課	会話を学習する 文法を学習する 助動詞<できる> 時量補語 <～するつもりだ>
13回	授業内期末筆記テスト	第13課～24課を範囲に筆記テスト・まとめと解説
14回	授業内期末口頭テスト	試第13課～24課を範囲に口頭テスト・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は1時間を標準とする。授業の前と後は必ずCDを繰り返し聞き、まねして発音を練習すること。

【テキスト (教科書)】

『あなたが主演 演じる入門中国語』余瀾・中桐典子著、朝日出版社

【参考書】

授業中に適宜指示する。

【成績評価の方法と基準】

毎回行なう小テスト (単語テスト、書き取りテスト、会話の発表など) が30%、期末口頭テスト20%、筆記テストが50%。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end written exam(50%), Term-end oral exam(20%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 I

2017年度以降入学者

シヨウ イクテイ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

発音を固める。
読解力を培う。
日常会話ができる。
簡単な文章を書ける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルを確認の上、内容への理解をチェックしながら、効果的に授業を進めていく。
課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	復習	一年次に習った文法を復習する
第2回	第1課	名詞の前に置く“的”、動詞の前に置く“地”、助動詞“要”、連動文
第3回	第1課	第1課のチャレンジ・スキット
第4回	第2課	動態助詞の“了”、語気助詞の“了”、語気助詞の“吗”と“吧”
第5回	第2課	第2課のチャレンジ・スキット
第6回	第3課	経験・経過を表わす“过”、“怎么”の2つの用法、副詞“才”の用法
第7回	第3課	第3課のチャレンジ・スキット
第8回	第4課	動作の進行、動作・状態の持続を表わす“着”、動作を行う時間の長さ・動作の回数、“因为～所以…”
第9回	第4課	第4課のチャレンジ・スキット
第10回	第5課	近い未来“要～了”・“快～了”、反語の表現、副詞“就”の用法、“要是～就…”
第11回	第5課	第5課のチャレンジ・スキット
第12回	第6課	結果補語、感嘆文、副詞“还”の用法、“虽然～但是…”
第13回	第6課	第6課のチャレンジ・スキット
第14回	復習、試験、まとめ	ここまで習った内容を復習、確認する

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業前に必ず復習と予習をすること。
毎課の新出単語と文法事項を確実に理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。
毎日最低20分テキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

本間史・孟広学『2年めの中国語ポイント45』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4Ⅱ

2017年度以降入学者

ショウ イクテイ

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

読解力や、表現力などのさらなるスキルアップを目指す。
日常の中国語のコミュニケーションが取れる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って、履修者のレベルに合わせて、内容への理解をチェックしながら、授業を進める。

課題などへのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	解説と復習	春学期の学習内容の復習
第2回	第7課	様態補語、比較の表現、形容詞の重ね型、“不但～而且…”
第3回	第7課	第7課のチャレンジ・スキット
第4回	第8課	方向補語、複合方向補語、強調表現“连～也…”、“一～就…”
第5回	第8課	第8課のチャレンジ・スキット
第6回	第9課	“把”構文、受身の表現、副詞“再”と“又”、“只要～就…”
第7回	第9課	第9課のチャレンジ・スキット
第8回	第10課	可能補語、“是～的”の構文、“只有～才…”
第9回	第10課	第10課のチャレンジ・スキット
第10回	第11課	“～得了”/“～不了”の可能補語、兼語文、“不是～而是…”
第11回	第11課	第11課のチャレンジ・スキット
第12回	第12課	存現文、同じ疑問詞の呼応、“不管～都…”
第13回	第12課	第12課のチャレンジ・スキット
第14回	復習、まとめ、試験	第7～12課の復習と試験、確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に必ず復習と予習をすること。

毎課の新出単語と文法をしっかり記憶し、理解したかどうかを必ず自己チェックをすること。

毎日最低20分テキストのCDを聞きながら、発音練習を行うこと。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

本間史・孟広学『2年めの中国語ポイント45』白水社

【参考書】

必要なものは授業中に指示する。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト50%と平常点(学習態度、学習意欲、課題や小テストの提出及び完成度など)50%に基づいて、総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

よりよい授業を目指すため、前年度の学生のご意見やご要望が反映されるようさらなる改善を模索していく。

【学生が準備すべき機器他】

電子辞書を用意することを勧める。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

The standard preparatory study / review time for this class is 1 hour in total.

Comprehensive evaluation based on 50% of the final test and 50% of normal points (learning attitude, learning motivation, submission of assignments and quizzes, completeness, etc.).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 I

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語1、中国語2で学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

Class outline

Based on

what you learned in Chinese 1 and Chinese 2, go to the next step in Chinese 1.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語を使って自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業も行う。進度として、1課を2回の授業で進める。毎回の授業は概ねに次のように進める。1) 小テスト(約25分) 2) テキストの学習(約40分) 3) 文法に関する問題演習、会話の練習など(約35分)。 外国語を身につけるために継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を組み合わせる展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業概要の説明
2	第一課 『換銭』	1 慣用句：挺+形容詞+的 2 助動詞：「要」 3 副詞：「点儿」 文法問題の演習/会話
3	第一課 『換銭』	1 「太+形容詞」 慣用句：2 「就是」 「除了 不用」 文法問題の演習

4	第二課 『小学校 内前』 存心文： 所+出/存在	1 「什么的」 2 「等等」 文法問題の演習/会話
5	第二課 『小学校 内前』 家族の称呼に関して： 「奶奶」「姥姥」 「奶奶」「姥姥」	1 「着」：場所+動詞+着 2 「在」：在+動詞 文法問題の演習/会話
6	第三課 『早上的公園』 感嘆文： 「多～啊」	健康についての諺を紹介、説明 文法問題の演習/会話
7	第三課 『早上的公園』 1 「動詞+的」の名詞化 2 「多+形容詞」	1 「数詞+多」 2 「怎么」 文法問題の演習/会話
8	文法問題の演習	第一課～第三課の勉強した内容の復習、確認
9	第四課 『年人的就』 1 「了」：変化を表す 2 「又」：状況、動作の累加	「得」 / 「得」： 人や事物に対する見方 文法問題の演習/会話
10	第四課 『年人的就』 假定を表す表現： 「如果」	部分的な否定を表す慣用句 「不都是」
11	第五課 『相』 1 解釈、説明する語彙：「就是」 2 体験を表す：「听」	1 能願動詞： 「就」 2 推測の表現： 「听」
12	第五課 『相』 慣用句： 「无是～是」	1 「就」の使い方 2 「很」の使い方 文法問題の演習/会話
13	第六課 『外甥的婚房』 1 副詞： 「竟」 2 慣用句：「就要～了」	1 「」の使い方 2 「本」の使い方 3 「支」の使い方 文法問題の演習/会話
14	第六課 『外甥的婚房』 復習	第一課～第六課勉強した内容の復習、文法問題の演習、確認

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかりと身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email

1.

【テキスト (教科書)】

『日中いぶこみ1 2景』相原茂・蘇明 朝日出版社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること (電子辞書可)

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語301句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむ得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 4 II

2017年度以降入学者

祝 振媛

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学習した内容を基礎とし、次のステップへ進む。

Based on what you learned in the spring, proceed to the next step.

【到達目標】

- ・中国語による基本的な日常会話を聞いて理解できる。
- ・基礎的な中国語で自分の意思を伝えることができる。
- ・中国の歴史、文化に対する関心を養う。

Can listen to and understand basic daily conversations in Chinese.

- ・ You can communicate your intentions using basic Chinese.
- ・ Foster interest in Chinese history and culture.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

本講義は授業の形態として、原則には面接授業を実施する。状況に応じて時にはzoomの授業も行う。進度として、1課を2回の授業で進めていく。毎回の授業を概ねに次のように進める。1)小テスト(約25分) 2)テキストの学習(約40分) 3)文法に関する問題演習、会話の練習など(約35分)。外国語を身につけるためには、継続的な学習が必要なので、毎回授業の始めに小テストを設ける。またこの授業は教室の中での学習と自宅での学習を合わせて展開することができる。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。

This lecture is a form of lesson, and in principle, an interview lesson is conducted. A book that sometimes gives zoom lessons depending on the situation. As a progress, one lesson is advanced in two lessons. Each lesson generally proceeds as follows. 1) Quiz (about 25 minutes) 2) Text learning (about 40 minutes) 3) Grammar-related problem exercises, conversation practice, etc. (about 35 minutes). Because continuous learning is required to acquire a foreign language, a quiz will be set up at the beginning of each class. In addition, this lesson can be developed by combining learning in the classroom and learning at home. Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	第一課～第六課の復習
2	第七課 『婆媳关系』	口語的な表現：『照』 不特定の表現：書面的な表現：『按照』 「哪儿～哪儿？」
3	第七課 『婆媳关系』	前置詞： 気持ちを表す語彙： 1 「从」 1 「幸福」 2 「到」 2 「愉快」 3 「心」

4	第八課 『川菜』	1 連詞：「就是」 慣用句： 2 複合方向補語： 1 「既～又」 「出来」と「去」 2 「是…啊」
5	第八課 『川菜』	語彙の説明： 量詞： 「排出去」の使い方 「家」の使う場合
6	第九課 『中…医』	1 比較と選択の表現： 慣用句： 「是～是」 「在～之中」 2 否定の表現： 「没有」
7	第九課 『中…医』	解 析： 仮定の表現： 1 「只是」 「…的」 2 「…是」
8	文法のまとめ	第七課～第九課の復習、勉強した内容の確認
9	第十課 『九九重阳』	副詞： 1 「将」の使い方 1 前置詞「…」の使 2 「尽快」の意味 い方 2 慣用句「跟…一起」
10	第十課 『九九重阳』	常用副詞のまとめ 1 「或者」 2 「早就」 1 「三世同堂」の意味 3 「尽快」 2 「孝」の語彙に 3 「尽快」 に内在する意味
11	第十一課 『旅游』	仮定の表現： 1 副詞の「…」につ 「如果…的…」の使い方 いて 2 慣用句の「…～都」 について
12	第十一課 『旅游』	パソコン関係の語彙 1 動詞の重ね「看看」 1 「…」 2 慣用句「是…的」 2 「网址」 3 「短信」
13	第十二課 『除夕夜』	1 疑問詞の「怎么」 お祝いの言葉に関する 2 前置詞としての「…」 紹介、説明
14	第十二課 『除夕夜』	「年夜饭」に関する説明 1 副詞「才」 第七課～第十二課の復習、勉強 2 慣用句としての した内容の確認 「有的」 文法に関するまとめ、 演習

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学は復習が重要なので、授業後は音声を聞いたり、単語帳を作ったりするなど既習した内容をしっかり復習してほしい。また、付属の教材CDや<http://fic.xsrv.jp/hosei/>を活用し、習った内容をしっかり身につけるように努めてほしい。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。課題等へのフィードバックは授業時間またはメールをも通じて行う。Since review is important for language learning, I would like you to thoroughly review what you have already learned, such as listening to audio and making vocabulary books after class. Also, please make use of the attached teaching material CD and <http://fic.xsrv.jp/hosei/> and try to acquire what you have learned. The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

Feedback on assignments, etc. will be given through class hours or email.

【テキスト (教科書)】

『日中いぶこみ12景』相原茂・蘇明 朝日出版社

【参考書】

中国語辞書を必ず1冊用意すること (電子辞書可)

『ポイント学習中国語初級』東方書店

康玉華 『漢語301句』北京言語大学出版社

佐藤富士雄 『中国語初級テキスト 緑さんの留学生活』白帝社

【成績評価の方法と基準】

毎回授業の最初に行う小テスト及び授業の参加度は成績評価の60%とし、中間と期末の試験はそれぞれ成績の20%とします。平均点数が60点以上の人を合格とする。

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively. Those with an average score of 60 or more are considered to pass.

【学生の意見等からの気づき】

学生とコミュニケーションを取りながら授業を展開することが評価されたので、今後も続けて行く。

It was highly evaluated that the lessons were developed while communicating with the students, so I will continue to do so in the future.

【学生が準備すべき機器他】

中国語の発音を聞く必要があるので、PCやCDを用意してほしい。

【その他の重要事項】

本講義は面接授業、あるいはzoomの授業を実施しますので、全回の出席が成績評価の前提である。出席率の70%に達していない者、課題を提出しない者に関しては、Eと判定します。やむを得ない事情（健康不良など）があれば、各種の証明書の提出など、各自で然るべき対応を取ること。尚、毎回の授業の最初に小テストをするので、遅刻は厳禁。

Since this lecture will be an interview class or a zoom class, attendance at all times is a prerequisite for grade evaluation. Those who have not reached 70% of the attendance rate and those who do not submit the assignment will be judged as E. If there are unavoidable circumstances (such as poor health), take appropriate measures such as submitting various certificates. In addition, since a quiz is given at the beginning of each class, it is strictly forbidden to be late.

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the upper intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

[Learning activities outside of classroom]

The standard preparatory study / review time for this class is one hour in total.

[Grading Criteria]

The quiz and class participation at the beginning of each lesson will be 60% of the grades, and the mid-term and final exams will be 20% of the grades respectively.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4 I

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	新出単語とポイント (「一…就～」など6項目)の説明
2	第1課	「大学生的周末」本文の解説と練習問題
3	第2課	新出単語とポイント (「每…都～」など6項目)の説明
4	第2課	「食」本文の解説と練習問題
5	第3課	新出単語とポイント (「多/少」+動詞)など6項目)の説明
6	第3課	「北京的交通」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第1課～第3課の内容の定着度チェック
8	第4課	新出単語とポイント (「兼語“有”」など6項目)の説明
9	第4課	「数字的喜好」本文の解説と練習問題
10	第5課	新出単語とポイント (「疑問詞の不定用法」など6項目)の説明
11	第5課	「大学生的打工状」本文の解説と練習問題
12	第6課	新出単語とポイント (「无…都/也～」など6項目)の説明
13	第6課	「集体生活的好」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第4課～第6課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト (教科書)】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情 (改訂版・CD付)』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業中の態度や小テスト等) 30%、中間試験30%、期末試験40%。

※中検準4級・4級とHSK 2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語4Ⅱ

2017年度以降入学者

渋井 君也

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で学んだ中国語から一歩進んで、教科書に沿って重要なポイントをくり返し練習しながら、自分のことや日本のことを中国語で伝えられるようになるための訓練をします。教科書の内容を通して、中国とそこに住む人たちの生活や文化等についても学習します。

【到達目標】

準中級から中級レベルの中国語能力を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業で中国語による文法表現を反復練習し、テキストの日本語訳や中国語の文法・語彙について、全員に発言を求めます。課題や小テスト、定期試験などのフィードバックは授業の中またはメールなどで行います。

※履修者数や授業の進み具合によってスケジュールを調整する場合もある。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第7課	新出単語とポイント（「只要…就～」など6項目）の説明
2	第7課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 价 <input checked="" type="checkbox"/> 价」本文の解説と練習問題
3	第8課	新出単語とポイント（「疑問詞の連用」など6項目）の説明
4	第8課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 送礼的 <input checked="" type="checkbox"/> 究」本文の解説と練習問題
5	第9課	新出単語とポイント（「 <input checked="" type="checkbox"/> …了」など6項目）の説明
6	第9課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 中国式 <input checked="" type="checkbox"/> 婚」本文の解説と練習問題
7	中間試験	第7課～第9課の内容の定着度チェック
8	第10課	新出単語とポイント（「好在」など6項目）の説明
9	第10課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 双 <input checked="" type="checkbox"/> 工家庭」本文の解説と練習問題
10	第11課	新出単語とポイント（「不是…而是～」など6項目）の説明
11	第11課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 中国人的称呼」本文の解説と練習問題
12	第12課	新出単語とポイント（「 <input checked="" type="checkbox"/> 随着～」など6項目）の説明
13	第12課	「 <input checked="" type="checkbox"/> 理想 <input checked="" type="checkbox"/> 」本文の解説と練習問題
14	期末試験	第10課～第12課の内容の定着度チェック

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。語学は予習復習が大事です。授業後は単語帳など各自合ったやり方でピンインとともに単語と本文を覚えるようにしてください。

【テキスト（教科書）】

吉田泰謙・相原里美・葛婧『知っておきたい中国事情（改訂版・CD付）』、白水社

【参考書】

教場で指示します。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の態度や小テスト等）30%、中間試験30%、期末試験40%。

※中検準4級・4級とHSK2級・3級・4級の合格者に対して加点し、評価を上げますので、中国語語学試験を積極的に受けてください。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for middle-level learner. The aim of this course is to acquire the basic communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) I

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・復習	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などの説明、一年次に学んだ発音・文法の復習
2	第1課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第2課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第3課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第4課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第5課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第1課～第5課のテスト
8	第6課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第7課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第8課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第9課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第10課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	授業の総まとめ (1)	第6課～第10課の復習
14	授業の総まとめ (2)	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著、白帝社。

【参考書】

『中国語文法の基礎』守屋宏則著 東方書店

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表等の課題や授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination:50%, quiz:20%, homework:20%, in class contribution:10%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) II

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出ている身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出ている語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の総括・復習	春学期末試験の解説・既習内容の復習
2	第11課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第12課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第13課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第14課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第15課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第11課～15課のテスト
8	第16課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第17課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第18課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第19課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第20課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	授業の総まとめ (1)	第16課～第20課の復習
14	授業の総まとめ (2)	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについての音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著、白帝社。

【参考書】

「中国語文法の基礎」守屋宏則著 東方書店

【成績評価の方法と基準】

中間テストと期末テストを50%、会話の発表等課題や授業の参加度を50%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3) I

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション・復習	授業の進め方・課題の取り組み方・評価の仕方・受講における決まり事などの説明、一年次に学んだ発音・文法の復習
2	第1課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第2課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第3課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第4課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第5課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第1課～第5課のテスト
8	第6課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第7課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第8課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第9課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第10課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	授業の総まとめ (1)	第6課～第10課の復習
14	授業の総まとめ (2)	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについている音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著、白帝社。

【参考書】

『中国語文法の基礎』守屋宏則著 東方書店

【成績評価の方法と基準】

期末テストを50%、中間テストを20%、会話の発表等の課題や授業の参加度を30%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination:50%, quiz:20%, homework:20%, in class contribution:10%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

取 函

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業では、一年次に学んだ中国語の基礎を復習しながら、学生生活や日常生活の様々な場面における実用性の高い中国語を学ぶと同時に、中国の文化や習慣などについて理解を深めることを目的とします。

【到達目標】

テキストに出てくる身の回りの様々な場面の会話の学習と練習を通して、中国語の語彙を増やすとともに、文法の仕組みを理解し、また、学習した文法・文型を使った会話をするにより、中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的に毎回1課ずつ進めていきます。本文に出てくる語彙や文法・文型の学習、音読や聞き取りの練習のほかに、復習のために、学習した文法と文型を使った応用会話も取り入れます。なお、課題等のフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の総括・復習	春学期末試験の解説・既習内容の復習
2	第11課	新出語句・文法・本文・ドリル
3	第12課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
4	第13課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
5	第14課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
6	第15課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
7	中間まとめ	第11課～15課のテスト
8	第16課	新出語句・文法・本文・ドリル
9	第17課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
10	第18課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
11	第19課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
12	第20課	会話・新出語句・文法・本文・ドリル
13	授業の総まとめ（1）	第16課～第20課の復習
14	授業の総まとめ（2）	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業は会話を中心に学ぶため、テキストについての音声ファイルを携帯電話にダウンロードし、十分に活用し、通学時間にも音楽の代わりにヘッドホンステレオで何度も聴くなどの努力を重ね、例文・会話文の音読・暗記・暗唱を行い、フレーズが自然に口について出てくるくらいになることが望ましいです。また、与えられた課題についても真面目に取り込んでほしいです。なお、本授業の予習と復習の時間は合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『大学生のための中級中国語20回』杉野元子・黄漢青著、白帝社。

【参考書】

「中国語文法の基礎」守屋宏則著 東方書店

【成績評価の方法と基準】

中間テストと期末テストを50%、会話の発表等課題や授業の参加度を50%にしたうえ、総合的に評価します。

【学生の意見等からの気づき】

学生の学習意欲を引き出し、使える中国語の習得を目指して様々な工夫を重ねていきたいです。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. One hour is required for each lesson for preparation and review of this class. Your overall grade in the class will be decided based on the following: term-end examination: 50%, quiz: 20%, homework: 20%, in class contribution: 10%

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語7

2017年度以降入学者

張 勝蘭

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語1～6で習得したことに基づき、中国語の読解力と聴解力をバランスよく向上させる。

【到達目標】

上海外国語大学での授業についていけることを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

SAでの授業を念頭に置き、素材の対話文、長文だけでなく、解説もすべて中国語の音声教材を用いる。教材の内容は中国の社会、歴史、民族、文化、風俗習慣、故事来歴など多岐にわたる。毎回の授業で中国語の音読練習、語句の使い方の説明と練習、日本語への翻訳を行う。授業の進め方の詳細について、初回の授業で具体的に説明する。

課題等へのフィードバックは授業時間またはHoppiiの掲示板を通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	イントロダクション	授業の進め方と準備学習の説明、WEB版教材を紹介する。
第2回	教材1 (1)	「上海的小吃」を用いる。3日前までに51行目まで聞き取りを行う。授業で字幕の音読と翻訳を練習する。
第3回	教材1 (2)	「上海的小吃」の52行目から101行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。
第4回	教材1 (3)	「上海的小吃」の102行目から157行目事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。
第5回	教材2 (1)	「高考」を用いる。この日までに59行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。
第6回	教材2 (2)	「高考」の60行目から117行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。
第7回	教材2 (3)	「高考」の118行目から163行目までの内容を事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。
第8回	教材3 (1)	「中秋的」を用いる。この日までに54行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。
第9回	教材3 (2)	「中秋的」の55行目から97行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。

第10回 教材3 (3)

「中秋的」の98行目から142行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。

第11回 教材4 (1)

「不怕慢，就怕站」を用いる。この日までに41行目まで聞き取りを行う。授業で字幕を日本語に翻訳する。

第12回 教材4 (2)

「不怕慢，就怕站」の42行目から79行目まで事前に聞き取りを行い、授業で翻訳する。最後に全文を最初から再度聞き取りを行う。

第13回 期末テスト

読解力テスト（中文日訳）を実施する。範囲は既習の4つのテキストである。

第14回 テストの解説

詳細は事前に伝える。期末テストを返却し、解説を行う。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて2～3時間を標準とする。詳細は初回授業で説明する。

【テキスト（教科書）】

愛漢語播客2010年集（iMandarin Pod.com）からセレクトした音声教材

【参考書】

各自使い慣れている辞書と文法書。

【成績評価の方法と基準】

準備学習（20%）と期末に行う翻訳テスト（80%）によって評価する。この成績評価の方法をもとに、本授業の到達目標の60%以上を達成した者を合格とする。出席は成績評価の大前提である。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help participants improve both reading and listening skills in Chinese, based on what you learned in Chinese 1-6.

【Learning Objectives】

At the end of the course, participants should be able to enhance the development of Chinese skill in reading and listening.

【Learning activities outside of classroom】

Before each class meeting, participants will be expected to make audio materials into text and translate it to Japanese. After each class meeting, participants will be expected to check the text created by myself based on the translation example presented by the teacher. Your study time will be two or three hours.

【Grading Criteria/Policy】

Final grade will be calculated according to the following process: Learning activities outside of classroom (20%) and reading comprehension test conducted at the end of the semester (80%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 8

2017年度以降入学者

鈴木 靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSKのリスニング問題のディクテーションと過去問の練習を通じて、4級合格に必要な1200語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につけていく。

また、過去問のシミュレーターによる模擬試験によって、HSKの問題形式に慣れ、確実な合格をめざす。

【到達目標】

HSK4級の合格に必要な1200語の語彙力と語法知識、リスニング力を身につける。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、自宅でのe-Learningによる予習と教室での授業を組み合わせたブレンド型学習によって行う。具体的な授業の進め方は次のとおり。

【授業前の事前学習】

授業前にパソコンまたはスマートフォンを使い、HSKのリスニング問題のディクテーションを行う

【授業の進め方と方法】

- ①小テスト（前回の学習内容の復習テスト）
- ②リスニング問題と読解問題の解説
- ③過去問を使った模擬試験（期間中2回実施）

課題等に対するフィードバックの方法としては、受講生全員が参加するLINEのグループを用意し、これを通じて全員または個別に指導を行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	はじめに	授業の目標と学習方法の解説
第2回	HSK3級リスニング対策①	HSK3級リスニング問題の第一部分の解説と過去問の練習
第3回	HSK3級リスニング対策②	HSK3級リスニング問題の第二部分の解説と過去問の練習
第4回	HSK3級リスニング対策③	HSK3級リスニング問題の第三部分の解説と過去問の練習
第5回	HSK3級リスニング対策④	HSK3級リスニング問題の第四部分（前半）の解説と過去問の練習
第6回	HSK3級リスニング対策⑤	HSK3級リスニング問題の第四部分（後半）の解説と過去問の練習
第7回	HSK3級リスニング対策⑥	HSK3級模擬試験
第8回	HSK4級リスニング対策①	HSK4級リスニング問題の第一部分（前半）の解説と過去問の練習
第9回	HSK4級リスニング対策②	HSK4級リスニング問題の第一部分（後半）の解説と過去問の練習
第10回	HSK4級リスニング対策③	HSK4級リスニング問題の第二部分（前半）の解説と過去問の練習

第11回	HSK4級リスニング対策④	HSK4級リスニング問題の第二部分（後半）の解説と過去問の練習
第12回	HSK4級リスニング対策⑤	HSK4級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と過去問の練習
第13回	HSK4級リスニング対策⑥	HSK4級リスニング問題の第三部分（後半）の解説と過去問の練習
第14回	HSK4級リスニング対策⑦	HSK4級模擬テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業の前に下記の事前学習を行うこと。
パソコンまたはスマートフォンを使い、HSKリスニング問題のディクテーションを行う。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

文部科学省平成24年度グローバル人材育成推進事業の補助を受け開発したe-Learning教材とHSK（漢語水平考試）の過去問データを使用する。

【参考書】

・劉月華ほか『实用現代漢語語法』（外語教学与研究出版社）

【成績評価の方法と基準】

- ①ディクテーション教材による宿題の実施状況（60%）
- ②3級および4級の模擬試験の成績（40%）

【学生の意見等からの気づき】

自宅にパソコンがない学生のため、スマートフォンでも利用できるよう教材を修正した。

HSKの必修単語を覚えるのが難しいという声が多く寄せられたため、単語とフレーズを記憶するためのe-Learningを新たに開発した。

【Outline (in English)】

〔Course outline〕

Chinese 8 is a Chinese course designed specifically for the students who are going to study abroad in China in the next semester.

In this course, students will develop their language abilities in the following:

Vocabulary: We will learn 1200 words required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Grammar: We will learn the elementary grammar required for the HSK, Chinese Proficiency Test, level 4.

Students will improve their language skills by:

Expanding their vocabulary and improving their listening skills through the use of e-Learning and past exams.

〔Learning Objectives〕

The goal of this course is to develop the students' ability to understand and use the Chinese language at the level of HSK4.〔Learning activities outside of the classroom〕

Students will be expected to have completed the required assignments before each class. These assignments are expected to require an hour or more for students to complete.

〔Grading Criteria /Policy〕

Grading will be decided based on short class examinations(60%) and class assignments(40%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-I

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語(文語)の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認→課文(音読・訳)→解説の手がかり(文法の確認)→練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにもなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション・ガイダンス	一年間の授業の進め方の説明。 テキスト・辞書の説明。
	第一課 アメリカのコインにアジア人が初登場	第一課(発音練習・訳)
第2回	第一課 アメリカのコインにアジア人が初登場	第一課(発音練習・訳)
第3回	第二課 洪水に見舞われた涿州の書店と倉庫	第二課(発音練習・訳)
第4回	練習(第一課・第二課)	文法の確認・応用問題
第5回	第三課 北京中軸線を世界遺産に	第三課(発音練習・訳)
第6回	第四課 輸出の「新・三種の神器」が大人気	第四課(発音練習・訳)
第7回	練習(第三課・第四課)	文法の確認・応用問題
第8回	第五課 中国の農村に巻き起こる「村BA」旋風	第五課(発音練習・訳)
第9回	第六課 現代の「孔乙己」になるな!	第六課(発音練習・訳)
第10回	練習(第五課・第六課)	文法の確認・応用問題

第11回 第七課 世界初の海上養殖船 第七課(発音練習・訳)

第12回 第八課 都市こぼれ話 第八課(発音練習・訳)

第13回 練習(第七課・第八課) 文法の確認・応用問題

第14回 授業の総まとめと期末試験 筆記・ヒアリング試験まとめと解説

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳してから授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を繰り返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、時間を合わせて4時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

『時事中国語の教科書 2024年度版』(三瀧正道・陳祖蓓・古屋順子著、朝日出版社、1900円+税)。

※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級(改訂版)』(東方書店)を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること(電子辞書も可)。

【成績評価の方法と基準】

平常点(授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト) 30%
期末試験 70%

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを6~7月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

日原 傳

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年次に学んだ初級中国語の基礎を固めつつ、中国語能力を中級レベルに向上させる。中国語の時事資料を読み、現代中国に対する理解を深める。

【到達目標】

- ・初級中国語の基礎をしっかりと定着させる。
- ・少し長めの中国語の文章に慣れる。
- ・中国語の書面語（文語）の表現に慣れる。
- ・中国語の文章を独力で読みこなす力をつける。
- ・時事資料の読解を通して、現代中国への理解を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って授業を進める。各課ごとに、単語の確認→課文（音読・訳）→解説の手がかり（文法の確認）→練習問題の順で進めてゆく。

※対面授業を基本にし、状況によってオンライン授業を組み合わせる。それにもなう各回の授業計画の変更については、学習支援システムでその都度提示する。

※課題等へのフィードバックは授業時間または「学習支援システム」を通じて行なう。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	第九課 「託児所難」 が少子化対策のネックに	第九課(発音練習・訳)
第2回	第十課 100歳の キッシンジャーが中 国訪問	第十課(発音練習・訳)
第3回	練習（第九課・第十 課）	文法の確認・応用問題
第4回	第十一課 伝統的な 村に文化的価値を	第十一課(発音練習・訳)
第5回	第十二課 教室を掃 除するのは誰？	第十二課(発音練習・訳)
第6回	練習（第十一課・第 十二課）	文法の確認・応用問題
第7回	第十三課 防砂問題、 待ったなし	第十三課(発音練習・訳)
第8回	第十四課 老人仲間 に入り込む若者たち	第十四課(発音練習・訳)
第9回	第十五課 重慶の医 師、国境を越えて南 太平洋へ	第十五課(発音練習・訳)
第10回	練習（第十三課・第 十四課・第十五課）	文法の確認・応用問題
第11回	プリント教材①	中国の環境問題（水の汚染・水不足）
第12回	プリント教材②	中国の環境問題（大気汚染）
第13回	プリント教材③	中国の環境問題（砂漠化・森林消失）

第14回 授業の総まとめと期 筆記・ヒアリング試験 まと
末試験 めと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・予習は必須です。分からない単語は辞書で調べ、テキストの本文と文法の例文を訳して授業に臨んでください。
- ・テキストの「リスニング・トレーナー」アプリを使って各課の音声を繰り返し聴く。
- ・テキストの本文をスラスラ読めるまで音読の練習を繰り返す。
- ・本授業の準備・復習時間は、合わせて4時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『時事中国語の教科書 2024年度版』（三浦正道・陳祖蓓・古屋順子著、朝日出版社、1900円＋税）
※一年時に使用した『ポイント学習中国語初級（改訂版）』（東方書店）を必ず授業時に持参すること。

【参考書】

中日辞典を必ず用意すること（電子辞書も可）。

【成績評価の方法と基準】

平常点（授業中の取り組み姿勢・発音チェックテスト）30％
期末試験 70％

【学生の意見等からの気づき】

発音チェックテストを11～12月に行ない、成績評価の基礎点に加えることにした。

【Outline (in English)】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition. Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-I

2017年度以降入学者

大江 千晶

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業は、中国語1と中国語2を一通り終えた学生を対象にする授業です。

中国のことわざを中心とした処世術やものの考え方を学びながら、中国語の技能を総合的に伸ばし、中国語でのコミュニケーションに必要な基礎力をつけます。

教科書だけでなく、中国語の時事ニュース等を教材にしながら語彙力・表現力を伸ばします。

【到達目標】

発音に重点を置き、基礎的文法を使った会話練習を行います。毎回の授業でテキストの音読を行い、正しい発音を繰り返し練習し身につけます。ペアワーク・グループワークを通じて自分の意見を表現する力を養います。

Focus on pronunciation and practice speaking using basic grammar. To acquire correct pronunciation, students will repeatedly practice reading aloud the text in each class. Develop ability to express one's opinion through pair work and group work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業の進め方：

1. 中国語の時事ニュースを見ながら日本語訳をする初見翻訳練習
2. 教科書の会話を音読
3. 文法項目の確認・応用練習
4. 授業当日にテーマを決め、簡単な作文・発音練習

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	オリエンテーション レベルチェック	本授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明し、使用教科書を紹介する。
2回目	第1課	「五百年前是一家 (五百年前は同じ先祖だ)」(会話、文法、閲読)
3回目	第2課	「不怕慢, 就怕站 (遅くても止まるよりはましだ)」(会話、文法、閲読)
4回目	第3課	「笑一笑, 少一少 (笑えばその分若くなる)」(会話、文法、閲読)
5回目	第4課	「君子☒口不☒手 (君子たる者、論は戦わずが手は出さない)」(会話、文法、閲読)
6回目	第5課	「天生我材必有用 (天が与えた我が才能は、必ず世の役に立つ)」(会話、文法、閲読)
7回目	第6課	「☒磨☒, 不快也光 (戦いの直前に槍を磨けば、鋭くなくても光はする)」(会話、文法、閲読)

8回目	第7課	「在家靠父母, 出門靠朋友 (家にいる時は親を頼りにし、家を離れてからは友達を頼りにする)」(会話、文法、閲読)
9回目	第8課	「病从口入, ☒从口出 (病は口から入り、禍は口から出る)」(会話、文法、閲読)
10回目	第9課	「台上一分☒, 台下十年功 (舞台上の1分間の演技でも、舞台裏では10年もの下積みが必要である)」(会話、文法、閲読)
11回目	第10課	「人有隔夜之智 (一晩寝て、頭を冷やして考えてみる)」(会話、文法、閲読)
12回目	第11課	「旧的不去, 新的不来 (古いものが去らなければ、新しいものはやって来ない)」(会話、文法、閲読)
13回目	第12課	「好借好☒, 再借不☒ (借りたものを約束通りに返せば、また借りられる)」(会話、文法、閲読)
14回目	春学期のまとめ、期末試験	授業内筆記・口述試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとても重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important. If you enjoy the process, you will be able to improve quickly. On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

【テキスト (教科書)】

『中国の智慧 ことわざで学ぶ初中級中国語』相原茂・蘇紅著 朝日出版社 2022年 2,200円+税10%

【参考書】

授業時に紹介します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。平常点60%で、期末試験40%。平常点には、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。期末試験の40%内訳は、口頭試験20%、筆記試験20%。Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 60% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 40% includes oral examinations 20% and paper examination 20%.

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォン、タブレット、パソコン等の通信機器

【その他の重要事項】

「中国語1」及び「中国語2」が履修済であること。中国語母語話者は履修してはならない。2/3以上出席をしていない場合は、成績評価の対象としない。

【Outline (in English)】

This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. Comprehensively improve Chinese language skills and acquire the basic skills necessary for communication in Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

大江 千晶

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本授業は、中国語3 Iの続きです。

中国のことわざを中心とした処世術やものの考え方を学びながら、中国語の技能を総合的に伸ばし、中国語でのコミュニケーションに必要な基礎力をつけます。

教科書だけでなく、中国語の時事ニュース等を教材にしながら語彙力・表現力を伸ばします。

【到達目標】

発音に重点を置き、基礎的文法を使った会話練習を行います。毎回の授業でテキストの音読を行い、正しい発音を繰り返し練習し身につけます。ペアワーク・グループワークを通じて自分の意見を表現する力を養います。

Focus on pronunciation and practice speaking using basic grammar. To acquire correct pronunciation, students will repeatedly practice reading aloud the text in each class. Develop ability to express one's opinion through pair work and group work.

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

毎回の授業の進め方：

1. 中国語の時事ニュースを見ながら日本語訳をする初見翻訳練習
2. 教科書の会話を音読
3. 文法項目の確認・応用練習
4. 授業当日にテーマを決め、簡単な作文・発音練習

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	オリエンテーション レベルチェック	秋学期の授業の目標・内容、授業の進め方、成績評価の方法などについて説明する。
2回目	第13課	「大☒不死，必有后福（大変な災難に遭っても生き延びたのだから、将来必ず幸せが待っている）」（会話、文法、閲読）
3回目	第14課	「☒ト白菜，各有所☒（蓼食う虫も好き好き）」（会話、文法、閲読）
4回目	第15課	「春捂秋☒（春には厚着に、秋には薄着に）」（会話、文法、閲読）
5回目	第16課	「年☒不☒人（年齢は人を許さない）」（会話、文法、閲読）
6回目	第17課	「一分☒，一分☒（値段相応）」（会話、文法、閲読）
7回目	第18課	「好花不常开，好景不常在（好調な時期は長く続くものではない）」（会話、文法、閲読）
8回目	第19課	「塞翁失☒，焉知非福？（人間万事塞翁が馬）」（会話、文法、閲読）

9回目	第20課	「☒划赶不上☒化（計画は変化に追いつけない）」（会話、文法、閲読）
10回目	第21課	「人怕出名猪怕壮（出る杭は打たれる）」（会話、文法、閲読）
11回目	第22課	「女大不由娘（娘は大きくなると母親の言うことを聞かなくなる）」（会話、文法、閲読）
12回目	第23課	「多一事不如少一事（触らぬ神にたたり無し）」（会話、文法、閲読）
13回目	第24課	「好死不如☒活着（死んで花実が咲くものか）」（会話、文法、閲読）
14回目	秋学期のまとめ 期末試験	授業内筆記・口述試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎回の授業内容と宿題をしっかりと練習しましょう。

特に外国語の勉強にとっては、音読練習はとて重要なので、楽しく練習すれば、上手になります。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

Make sure to review after each class and do your homework. In learning a foreign language, reading aloud is very important.

If you enjoy the process, you will be able to improve quickly.

On average, it should take about 1 hour to prepare and review each class.

【テキスト（教科書）】

『中国の智慧 ことわざで学ぶ初・中級中国語』相原茂・蘇紅著 朝日出版社 2022年 2,200円+税10%

【参考書】

授業時に指示します。

【成績評価の方法と基準】

成績評価は、平常点と期末試験の点数により構成されます。

平常点60%、期末試験40%。

平常点には、小テスト、課題の完成度、口頭試問等を含みます。

期末試験40%の内訳は、口頭試験20%、筆記試験20%。

Grading criteria consists of participation points and a final exam. Participation points share 60% and final exam share 70% of the grade. Participation points include class attendance in each class, quizzes, level of completion of assignments, and oral tests. The final exam 40% includes oral examinations 20% and paper examination 20%.

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォン、タブレット、パソコン等の通信機器

【その他の重要事項】

「中国語1」及び「中国語2」が履修済であること。

中国語母語話者は履修してはならない。

2/3以上出席をしていない場合は、成績評価の対象としない。

【Outline (in English)】

This course is Chinese 1 of III which is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners. This course is for the Chinese lesson 1 and Chinese lesson 2 learners to acquire the basic grammar and to learn how to use Chinese by the Book of "Friendly Business Chinese. The aim of this course We will improve the Chinese basic speaking, writing and applying ability.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-I

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語の発音の基礎と基本文型、初級レベルの文法を復習しながら、文法項目の更なる基礎固めを行う。基礎中国語で学習した事項をもとに、聞く・話す・読む・書くをバランスよく練習し、より複雑な表現を理解する。その上で中級以上の中国語に取り組む際に必要な構文や新しい語彙を習得する。

【到達目標】

春学期終了時には、文法・ヒアリングにおいてHSK3級、中国語検定4級程度の能力を確実に習得し運用できること、少し複雑な構文を正確な文法を用いて表現できることを到達目標とする。また、新語の検索をピンイン入力などで実際に行い、実践的な中国語運用の方法を習得する。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

対面での進行です。進行や課題は学習支援システムHoppiiでも伝達します。初回については基礎で学んだ事項について復習です。毎回、授業の始めに簡単な発音練習を行い本文へ進む。教科書は、文法の解説、発音練習、本文の訳、の順序で進める。その後、練習問題を行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	基礎で学習したことの復習①特に4文型	自己紹介。特に発音の確認と練習。
第2回	基礎で学習したことの復習②特に補語表現	基礎文法事項の練習。学んだ常用表現を使い、実際に口頭練習する。
第3回	マナー用語	①為了②対③跟 (介詞についての復習) ④按照⑤的の用例1つめ⑥会(的)
第4回	買い物やレストランで順番を待つ	①要②目的語が主述句なる場合③使役表現④太⑤地⑥越～越～
第5回	生活で使われるカードやお金のこと	①除了～以外②恐怕③是～的④只⑤由于⑥又～又～ (基本的な構文を学習する)
第6回	第1課から第3課の本文の内容の復習	新しく学習した文例を用い、自分の生活について簡単な作文を作成し述べる。
第7回	第1課と第3課の復習と進度の調整 到達度の確認	暗誦行い、併せて練習問題や小テストを行う。
第8回	運動や趣味について	①包括②受③常見④也⑤所以⑥并+否定⑦一边～一边～
第9回	インターネットに関連する話題	①被②就是③絶対④想到⑤出于⑥通過～
第10回	ネット環境に関する話題	第4課、第5課の内容復習し、練習問題を行う。
第11回	携帯電話とネットにかんする現状	①随着②只要～就～③有的④造成⑤着⑥導致
第12回	学習した中級構文についてのまとめ	第5課、第6課のヒアリングと作文を行う。

第13回	第4から第6課までのヒアリングと発音の復習と暗誦	第4課から第6課の造句部分の復習。
第14回	期末試験・春学期の文法事項全体の復習	春学期進行分の到達度の確認と復習。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

時間のないときは音声教材だけでもよく聴いてくること。本授業の準備・復習時間は各1時間を標準とする。【予習】授業時に分担して回答してもらうので5のディスカッション問題には各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた問題を行う。

【テキスト (教科書)】

『音読で身につく中国語 中級』 崎原麗霞・丁雷著
朝日出版社 2200円 (税別) ISBN978-4-255-45323-1-C1087
また随時、プリントを配布

【参考書】

進度に合わせて適宜、辞典や参考書について詳しく紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30% (課題提出や暗誦、HSK模擬試験20%・授業への参加度10%)を総合して評価する。また、春学期においてはHSK3・4級、中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。点数や合格級数が極めて良好な場合は期末試験の一部を免除する。

【学生の意見等からの気づき】

外部試験 (HSK) を少しでも練習できたのは良かったが、個別の発音チェックの時間が十分にとれなかったことが改善しなくてはならない点である。また小テストについての要望があったので出題形式・範囲を変更するなどして確認ができるようにしたいと考えている。昨年度とは教科書が違うが、多くの会話や造句の機会が得られるように授業を進行する予定でいる。

【学生が準備すべき機器他】

音声教材をダウンロードできる機器

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text.

Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria / Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%). Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

三田村 圭子

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水5/Wed.5

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

文法に関しては中級レベルで書かれた文章の正確な読解を助ける、やや難しい構文を中心に学習する。また造句の練習を通じ、より難度の高い実践的な中国語の表現を身につける。また、実際に作文や口頭の練習を行うことによって、**HSK**や中国語検定試験に対応する能力と上級に進む上で必要な基礎力を養成する。

【到達目標】

より複雑な文法・構文を理解し、並行して新しい語彙を習得することで、自分の生活に関すること、自身の考えや生活の中で起こりうる事柄を明瞭に話せるようになる。文法に関しては**HSK**3級から4級レベル、中国語検定3級程度の能力を習得することを最終的な到達目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部: DP2

【授業の進め方と方法】

春学期よりも授業進行が若干速めになる。基本的には春学期の授業進行と同様の順番だが、途中で応用問題を行う時間をとる。また、複雑な文法事項についてはプリントを使用しながら学習する。本授業の準備・復習時間は各1時間半を標準とする。【課題へのフィードバック】造句は授業内で回収し添削し特に文法に関しては授業時間に回答で誤りが多かった問題から解説する。発音に関しては各回の授業開始時に頻度の高いフレーズを練習する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	春学期の復習と発音練習	本文の発音練習をしながら、前半学習した文法事項を総復習する。
第2回	世界遺産と孔子	①于②与③的の用法のまとめ④即便⑤給の用法⑥依然
第3回	特に「給」に関して整理とまとめ	第7課の内容を理解し、ヒアリング・造句・練習問題を行う。
第4回	中国と日本の色に対するイメージの相違点	①根据②特別③却④用…来⑤只有⑥只有…才能⑦難得
第5回	基本的な構文のまとめ	第1回から4回までの練習と簡単な文章の暗誦。
第6回	多民族国家について	①不是…而是②不得不③也就是④「有」の用法の整理⑤一直⑥快于⑦越来越…
第7回	口語表現と書面語の違いについて	第9課で学んだ例文を参考に造句してみる。
第8回	第7課から第9課までの全体的な復習と到達度の確認	暗誦、検定試験問題や小テストを行う。
第9回	訪日する観光客との会話	①把…作為②不僅僅③与…有美④雖然…但是…⑤還是⑥值得⑦与…相比
第10回	「把」構文に関するまとめ	第10課の内容を踏まえて造句してみる。

第11回	交通問題に関して時制の表現と助動詞のまとめ	①経過②甚至③受到④因此⑤逐漸⑥期待
第12回	第11課まで学習した構文を使った表現練習	時制の表現と組み合わせて何かの交通手段を使って観光に行く、あるいは行ったことを書いてみる。
第13回	国際化に伴う問題と必要とされる人材について	①「能」の用法のまとめ②應該③具有④才⑤不僅…而且⑥等同于⑦如果⑧一定
第14回	期末試験 応用表現の総合復習	秋学期の学習到達度の確認。 第7課から第12課までを中心に、日常よく使われる表現の暗誦。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

秋学期は内容も難しくなるので、音声教材を授業以外の時間にもよく聴くこと。また授業以外でも大学所蔵のDVDを観るなど、幅広く興味を持ってほしい。

【予習】授業時に分担して回答してもらおうので5のディスカッション問題には各自でピンインを付け音読できるようにしておくこと。また自分の状況に合わせて答える問題は事前に文章を作成しておくこと。【復習】文法での疑問や誤答をした部分の確認。その回の音声教材をよく聴くこと。【課題】音声教材のヒアリングの問題や進行状況に合わせた外部試験問題を行う。

【テキスト (教科書)】

『音読で身につく中国語 中級』 崎原麗霞・丁雷著
朝日出版社 2200円 (税別) ISBN978-4-255-45323-1-C1087
また随時、プリントを配布

【参考書】

授業の進行に合わせて再度、辞典や参考書について紹介する。

【成績評価の方法と基準】

期末試験40%、小テスト30%、平常点30% (課題提出や暗誦20%・授業への参加度10%)を総合して評価する。また**HSK**3・4級・中国語検定試験4級合格者には10%を上限として加点をする。中国語検定試験3級・**HSK**4級以上の合格者は期末試験を免除し評価をSとする。

【学生の意見等からの気づき】

昨年度は余裕のある学生には若干物足りない内容だったかと思う。今年度は教科書も変更した。1年生の3クラスが1クラスとなり40名前後になると、口頭練習に時間が取られ退屈してしまう学生がいる。発音練習を効率良く進行できるよう改善したいと考えている。また順調な学生には問題を追加し予備練習を準備している。

【学生が準備すべき機器他】

音声ダウンロードできる機器

【Outline (in English)】

【Course outline/Learning Objectives】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning activities outside of classroom】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting.

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapters from the text. Your required study time is at least one and a half hour for each class meeting.

【Grading Criteria /Policy】

Final grade will be calculated according to the following process term-end examination (40%), mid-term examination (30%), and in-class contribution (30%).

Points will be added if the student has passed Test of Chinese Proficiency or HSK.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語 3 - I

2017年度以降入学者

薬 進

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返し返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	第一課	初級の復習 (1)
2回	第一課	初級の復習 (2)
3回	第二課	初級の復習 (1)
4回	第二課	初級の復習 (2)
5回	第三課	ある動作を行う目的や方式を説明する表現
6回	第四課	好き嫌い・心配の表現
7回	復習	第一課～第四課の復習
8回	第五課	動作の程度・状態を説明する表現
9回	第六課	能力と可能性の表現
10回	第七課	動作の結果を説明する表現
11回	第八課	動作の方向を説明する表現
12回	第九課	動作の結果と方向の可能性を表す表現
13回	第十課	使役の表現
14回	復習	I期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属のCDとDVDを活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF版無償提供。

各授業日に使用される文字、音声、映像資料は『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。

あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめ25%と口語テスト15%）40%、最終課題60%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

検定試験4級合格者：I期終了時合格は15点プラス。

検定試験3級合格者：I期終了時合格は100点プラス。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属CD・DVDも授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語3-II

2017年度以降入学者

薬進

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

一年生で習った初級をしっかりと復習しながら、日常をコミュニケーションできる中級レベルの中国語を目指しましょう。

【到達目標】

基礎段階を終えた学習者を対象に、より複雑な中国語の表現で日常の生活における交流場面に対応できるように、読む・聞く・話す・書く能力を身につけることを目標とする。到達レベルは、中国語検定試験の3級合格可能な程度である。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

この授業の目的は、架空の中国生活ではなく、日本での日常について質問し、答えられるようにすることです。中国語のコミュニケーションは、他のコミュニケーションと同様に、送受信＝質問と答えのやり取りを基本としている。問いと答えを繰り返せば必ず話せるようになる。一年生で発音の基礎と基本的な表現を習得した学習者が、複文や接続詞などより複雑な表現を学び、日常の生活における交流場面に対応する、比較的高度な中国語のコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。

授業形態は対面授業となります。対面授業では、課題の要点解説や文法事項の詳細な解釈及び質疑応答を行います。オンラインで予習・復習ができるように、『学習支援システム』において、各授業日における学習内容（テキスト及び説明（音声、ビデオ））は、『課題』フォルダで授業日別に提示し、学習終了後に課題を提出するための資料をアップロードしています。

課題等へのフィードバックは以下ようになります。

- (1) 対面授業時に説明します。
- (2) 「授業内掲示板」で随時受け付けて回答します。
- (3) 個別相談等はshin.yaku.56@hosei.ac.jpで随時受け付けて回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	総括	I 期期末試験の解説
2回	復習	春学期の復習
3回	第十一課	受身の表現
4回	第十二課	存在と出現を説明する表現
5回	第十三課	対象への処理・処分を表す表現
6回	第十四課	二つの動作の前後順・時間順の表現
7回	復習	第十一課～第十四課の復習
8回	第十五課	仮定の表現
9回	第十六課	因果関係を表す表現
10回	第十七課	逆接関係を表す表現
11回	第十八課	付け加えの表現
12回	第十九課	除外の表現
13回	第二十課	何でもどこでも誰でも
14回	復習	II期のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

語学力は短期間で身につけられない。日々の積み重ねこそ大切である。初級に比べより高度な内容となるので、放課後の予習・復習を怠らないこと。付属のCDとDVDを活用して、また初級復習用に配布したプリントに基づく問答ができるよう（試験範囲内）、練習を繰り返し行い、毎回授業の初めに聞かれる質問に即答できるようにしていただきたい。

【テキスト（教科書）】

『日常のコミュニケーションができる中国語中級』株式会社シーエスピー出版部、PDF版無償提供

各授業日に使用されるテキストは『課題』の授業日別フォルダに記載または添付します。あるいは授業内容を提示する文中においてリンクを貼る。

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

評価基準は、平常評価（中間のまとめ25%と口語テスト15%）40%、最終課題60%とする。

無断欠席・遅刻は回数分に応じて減点される。

【学生の意見等からの気づき】

書く練習をより多くしたいとの要望に応じていきたい。

【学生が準備すべき機器他】

PDF版テキストは、授業支援システムより各自ダウンロードし、印刷する必要があります。

附属CD・DVDも授業支援システムにて提供されます。

【Outline (in English)】

【Course outline】

This is the Chinese course for intermediate learners. The aim of this course is to acquire the intermediate level communication skills of Chinese. We will improve the skills of listening, speaking, reading and writing through studying pronunciation, grammar, conversation and composition.

【Learning Objectives】

The goal is for learners who have completed the basic stage to acquire the ability to respond to interaction situations in daily life with more complicated Chinese expressions.

【Learning activities outside of classroom】

This class will practice questions and answers in Chinese about what you have already learned at the beginning of each lesson. Learners need preparation so that they can answer immediately.

【Grading Criteria /Policy】

The term-end evaluation is 40% for normal points and 60% for final assignments.

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語コミュニケーション初級 I 2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国語の発音及び基礎的な文法事項を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

構文をしっかりと覚える。

発音を正確にする。

日常会話ができるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教材を使って文法の勉強をする。また履修者のレベルを確認した上、様々な会話パターンを作って練習していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	ガイダンス	シラバスの配布と説明
第2回	発音	ピンインの復習
第3回	あいさつ	あいさつなどの日常用語の練習をする
第4回	人称代名詞と指示代名詞 会話 (1)	文法を確認したのち、自己紹介の練習をする
第5回	述語 授業内発表 (1)	文法を確認したのち、自己紹介を発表する
第6回	受け答え	「是」その他
第7回	場所と方位	在と有
第8回	数量詞と連体修飾語	数量詞と連体修飾語を学ぶ
第9回	疑問文 会話 (2)	ものの尋ね方 レストランでの会話を作成する
第10回	連用修飾語 授業内発表 (2)	副詞と時間詞を学ぶ 講師と一対一またはグループでレストランでの会話をする
第11回	完了と変化 会話 (3)	「了」の様々な知る 買い物する時の会話パターンを作成する
第12回	助動詞と前置詞構造 授業内発表 (3)	文法を確認したのち、講師と一対一またはグループで買い物のシミュレーションをする
第13回	三量補語	三量補語と離合詞
第14回	まとめ	口頭テストを行う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

宿題や発表の準備など、毎回1時間ほどの予習・復習をする。

また、HSKや中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト (教科書)】

教員による教材配布

【参考書】

日中・中日辞書 (電子機器も可)

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

発表：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

受講者それぞれのレベルの差に配慮をする。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should talk the Chinese language by accurate pronunciation,

and talk the Chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

Presentation:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語コミュニケーション初級Ⅱ 2017年度以降入学者

周 重雷

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国語の基礎的な文法事項の基礎を固めつつ、中国語のコミュニケーションに必要な知識を養成する。

【到達目標】

「読む、書く、聞く、話す」を全体的にスキルアップを図る。
日常の中国語のコミュニケーションが取れるようにする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

履修者のレベルに合わせて、文法を復習しつつ、会話の練習を強化していく。

課題などのフィードバックは授業時間に、もしくはメールにて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	持続態と進行形 作文	持続態と進行形を確認したのち、「私の夏休み」を作成する
第2回	程度補語 作文の添削	程度補語を確認したのち、作文の添削をする
第3回	比較と連動	比較文と連動文
第4回	構文分析	構文分析と助動詞の補説
第5回	強調と重複 会話（1）	強調文と重複表現 待ち合わせの会話を作る
第6回	方向補語 授業内発表（1）	方向補語の用法 待ち合わせの会話の発表
第7回	複合方向補語の用法	複合方向補語の派生的用法
第8回	結果補語	結果補語の説明
第9回	可能補語 会話（2）	可能補語の説明 道を尋ねる・教える会話の作成
第10回	使役と受身 授業内発表（2）	使役と受身の確認と比較 道を尋ねる・教える会話の発表
第11回	処置と倒置	処置文と倒置文
第12回	複文一	複文の様々を知る
第13回	複文二	複文の後半
第14回	まとめ	口頭による試験を行う まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

毎週1時間を目途に予習・復習する。

単語を調べて、オリジナルの長文及び会話文を作る。

また、HSKや中国語検定の受験も推奨される。

【テキスト（教科書）】

教員による教材配布

【参考書】

日中・中日辞書（電子機器も可）

【成績評価の方法と基準】

期末テスト：60%

発表：40%

term-end test:60%

presentation:40%

【学生の意見等からの気づき】

受講者それぞれのレベルの差に配慮する。

【学生が準備すべき機器他】

スマートフォンは必須

【その他の重要事項】

特になし。

【Outline (in English)】

This is the Chinese conversation course for intermediate learners. The aim of this course is to master intermediate level conversation skill. We will study basic vocabulary and grammar, and improve Chinese speaking skill.

We should do the exercise of reading, writing, listening and talking.

We should talk the chinese daily conversation well.

We should prepare and review about one hour a week.

It is better to take the test of HSK.

Term-end test:60%

presentation:40%

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語作文初級 I

2017年度以降入学者

康 鴻音

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金 4/Fri.4

単位数：1単位

定員制 (15)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。そして正しい声調で、自然なリズムで発音できるようにも指導します。

【到達目標】

中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解でき、翻訳ができる段階まで力を付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリントを事前に配り、予習してもらいます。授業中にチェックします。必要に応じて授業後の指導もできます。

授業実施に関する変更は学習支援システムでお知らせします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	オリエンテーション	レベルチェック
2回	数字の使い方（一）	例文解説
3回	数詞の使い方（二）	翻訳の練習
4回	「是」の使い方（一）	例文解説
5回	「是」の使い方（二）、 一日の行動	翻訳の練習
6回	連体修飾語+的+被 修飾語	例文解説、翻訳の練習
7回	「有」構文、「在」構文	例文解説、翻訳の練習
8回	疑問詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
9回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11回	程度補語の使い方	例文解説、翻訳の練習
12回	アスペクト（一）	例文解説
13回	アスペクト（二）	翻訳の練習
14回	総復習	補足説明・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

授業にてプリント配布

【参考書】

辞書を必ず用意すること。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、授業時の出来具合、宿題の完成度など（60点）、試験（40点）により総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

読解力と翻訳力を高めると共に発音も指導する方法を続けてやります。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PCの準備をしてください。

【その他の重要事項】

中国人の留学生や中国語を母国語にしている皆さんは選択しないでください

【Outline (in English)】

In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語作文初級Ⅱ

2017年度以降入学者

康 鴻音

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

定員制 (15)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

本講義は初級で学んだ中国語の基礎を固め、読解力や翻訳力の向上を図ります。

【到達目標】

中国語の基礎文法を一通り学ぶことによって一応の文章も読解でき、翻訳できる段階まで力を付けることを目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

まず中国語作文の基礎を理解してもらい、基本的な文法事項や重要な文型について詳しく説明します。それを基に、単文を中心とした練習問題を解くことによって基礎的な作文能力を高めていきます。必要に応じて授業後の指導もできます。

授業実施に関する変更は学習支援システムでお知らせします。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	能願動詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
2回	方向補語	例文解説、翻訳の練習
3回	結果補語	例文解説、翻訳の練習
4回	可能補語	例文解説、翻訳の練習
5回	兼語文	例文解説、翻訳の練習
6回	受身文	例文解説、翻訳の練習
7回	「是……的」構文	例文解説、翻訳の練習
8回	存現文	例文解説、翻訳の練習
9回	介詞の使い方	例文解説、翻訳の練習
10回	「比較」の表現	例文解説、翻訳の練習
11回	「把」構文	例文解説、翻訳の練習
12回	動量補語・時量補語	例文解説、翻訳の練習
13回	複文・「了」の使い方	例文解説、翻訳の練習
14回	総復習	補足説明・期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

必ず予習すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント添付

【参考書】

辞書を必ず用意すること。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、授業時の出来具合、宿題の完成度など（60点）、試験（40点）により総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

読解力と翻訳力を高めると共に発音も指導する方法を続けてやります。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講する場合、通信環境・PCの準備をしてください。

【その他の重要事項】

中国人の留学生や中国語を母国語にしている皆さんは選択しないでください

【Outline (in English)】

In this course, we will improve the writing skill of Chinese through reviewing the basic grammar.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(40%), in-class contribution(60%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語視聴覚初級 I

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (35)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

【到達目標】

1年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

本授業はハイブリッド（オンラインと対面を併用）で行います。授業についての詳細は学習支援システムでお知らせします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業内容に関するガイダンス
2	第1課	文法理解と応用
3	第1課	会話と応用
4	第1課	読解文の理解と応用
5	第2課	文法理解と応用
6	第2課	会話と応用
7	第2課	読解文の理解と応用
8	第3課	文法理解と応用
9	第3課	会話と応用
10	第3課	読解文の理解と応用
11	第4課	文法理解と応用
12	第4課	会話と応用
13	第4課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVDで学ぶ中国文化～』金星堂

【参考書】

授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、課題30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【学生が準備すべき機器他】

オンライン授業を受講するための通信環境、PC等を準備して下さい。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

中国語視聴覚初級Ⅱ

2017年度以降入学者

劉 湯水

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：1単位

定員制 (35)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

中国の様子を紹介する映像を見ながら、会話文や読解文を学習します。聞き取り・書き取り練習を通して、リスニング力を鍛えることを目的とします。同時に、中国文化への理解も深めます。

【到達目標】

1年生で学んだ基礎的な中国語運用能力を伸ばし、とくに中国語の「音」に慣れ、リスニング力を向上させることが目標です。中検3級を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

単語を習得し、文法を理解する。

DVD教材を観ながら、聞き取り・書き取り練習を行う。

簡単な中国語作文・会話練習を行う。

課題等へのフィードバックは授業時間またはメールを通じて行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス復習	授業内容に関するガイダンスと復習
2	第5課	文法理解と応用
3	第5課	会話と応用
4	第5課	読解文の理解と応用
5	第6課	文法理解と応用
6	第6課	会話と応用
7	第6課	読解文の理解と応用
8	第7課	文法理解と応用
9	第7課	会話と応用
10	第7課	読解文の理解と応用
11	第8課	文法理解と応用
12	第8課	会話と応用
13	第8課	読解文の理解と応用
14	授業の総まとめと試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業前に単語の意味を調べる。教材の予習復習をする。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

洪潔清著『チャイニーズアドベンチャー～DVDで学ぶ中国文化～』金星堂

【参考書】

授業中に指示。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度、課題30%、試験70%。

【学生の意見等からの気づき】

特に無し。

【その他の重要事項】

授業形態は大学の方針に従い変更する場合があります。

【Outline (in English)】

In this course, we will use the basic audio-visual materials and improve the listening skill of Chinese.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Term-end examination(70%), in-class contribution(30%).

LANc200LA (中国語 / Chinese language education 200)

資格中国語初級 I

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

HSK (☑☑水平考☑) 1級～3級合格レベルの中国語を身につけることが、この授業の目的です。春学期中に2級、秋学期中に3級に合格できるよう指導します。

ただ、HSKのリスニングは難しいので、中国検定準4級程度からトレーニングを始めていきます。

向上心のある学生の参加を歓迎します。単位のためだけの履修は向きません。

中国語を1年以上履修していることが望ましいです。

中国語が好きな人が集まりますので、情報交換もできて、いつも楽しいクラスです。

【到達目標】

春学期はHSK 2級に合格できるリスニング力と読解力を身につけてもらいます。

秋学期はHSK3-4級合格を目指します。

昨年の秋学期には11人が3級に合格しました。平均点は247点でした。内訳は、聴力78点、閲読86点、写作83点でした。日本人が苦手な聴力の得点も良好で、閲読では4人が100点(満点)でした。

また4級には4人合格しました。

履修者は2年生が最も多いですが、3年生も多く、就活を終えた4年生もいます。

そのほか、1年生のとき使用した教科書ポイント学習を復習しながら、初級中国語の基礎文法のしくみを解説します。必ずレベルアップを感じていただけたと思います。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

HSKの過去問プリントを使って学習します。必要な単語と文法を学び、実際の過去問を解いて実践力を養います。

単語帳のテキストを使って、単語テストを行い、語彙力を高めてもらいます。

また、ポイント学習の教科書を使って初級中国語の文法の構造を把握し理解してもらいます。

フィードバックは授業内に行います。

緊急時はメールで対応します。

qingm@live.jp

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	レベルチェックテスト	メンバーのレベルをチェックします。
2	HSK 1級単語	HSK 1級単語を学びます。リスニング練習をします。
3	HSK 1級単語復習	HSK 1級単語リスニングテスト
4	HSK 1級単語	HSK 1級単語を学びます。リスニング練習をします。
5	HSK 1級単語復習	HSK 1級単語リスニングテスト

6	HSK 1級過去問	HSK 1級過去問を解きます。
7	HSK 1級過去問	HSK 1級過去問を解きます。
8	HSK 2級単語	HSK 2級単語を学びます。
9	HSK 2級単語	HSK 2級単語リスニングテスト。
10	HSK 2級	HSK 2級単語を学びます。
11	HSK 2級単語	HSK 2級単語リスニングテスト
12	HSK 2級単語	HSK2級単語を学びます
13	HSK 2級単語	HSK 2級単語リスニングテスト
14	春学期復習	復習テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

良く復習すること。覚えた単語は忘れないようにすること。
本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

過去問はプリントを配布します。法政大学のHSK合格講座のサイトも活用します。

また以下のテキストを使用します。

履修を決めてから購入してください。

HSK/中検対応

『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室 (編著) 朝日出版社

そのほか、ポイント学習中国語を毎回持参してください。

【参考書】

HSK過去問、HSK公式アプリ単語、法政大学HSK合格講座

【成績評価の方法と基準】

平常点 (小テストなど) 80%と期末テスト20%で評価します。

【学生の意見等からの気づき】

単語帳テキストを使って、単語テストを実施し、語彙力を高めます。同時にリスニングのトレーニングを多く行います。

文法がもっとわかるようになりたいという要望が多いので、ポイント学習中国語を使って解説します。文法の基礎や構造を理解していただけるように工夫します。

【学生が準備すべき機器他】

パソコン、スマホ

【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

LANe200LA (中国語 / Chinese language education 200)

資格中国語初級Ⅱ

2017年度以降入学者

青木 正子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

HSK 3級合格レベルの中国語を身につけることが目的です。

この授業は春学期から継続しています。秋学期からの参加も歓迎しますが、春学期のシラバスを読んで、初回の授業に出てから履修を決めてください。

中国語が好きな、意欲的な学生の参加を歓迎します。

【到達目標】

HSK 3-4級合格以上を目指します。

昨年は3級は11人、4級は4人合格しました。詳細は春学期のシラバスをご覧ください。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

プリント教材を使って、HSK 3級の単語と文法を学びます。リスニング練習を重視します。そのほか単語帳とポイント学習中国語の教科書で初級文法の構造を解説します。

フィードバックは授業内に行います。

緊急時はメールで対応します。

qingm@live.jp

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問を中心に
2	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
3	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
4	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
5	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
6	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
7	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
8	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
9	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
10	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
11	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
12	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
13	HSK 3級過去問	HSK 3級過去問
14	授業の総まとめと期末テスト	期末テスト

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で学んだことを忘れないように、よく復習すること。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

プリント教材を配布します。

プリント以外に、以下の単語帳テキストを使用します。

大学生協から購入すると大きな割引があるので、大学生協からの購入をおすすめします。

『中国語基本単語帳』 早稲田大学商学部中国語教室（編著）朝日出版社

そのほか毎回ポイント学習中国語を持参してください。

【参考書】

HSK3級過去問、単語集

法政大学 HSK 合格講座

【成績評価の方法と基準】

平常点（小テストなど）80%、期末テスト20%で評価します。

HSK 3級以上合格者はSランクで評価します。

【学生の意見等からの気づき】

今年度から単語帳テキストを使用します。

またリスニング教材をより一層充実させ、総合的な力がつくように工夫します。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to pass 1st~2nd grade of HSK (Hanyu Shuiping Kaoshi) test. To achieve this aim, we will review the basic Chinese grammar and vocabulary, and do past HSK questions.

One hour is required for each lesson for preparation and review of this class.

The method and criteria for grade evaluation will be decided by each instructor. See "Grading criteria" by instructor's syllabus.

ARSe200LA (地域研究 (東アジア) / Area studies(East Asia) 200)

中国の文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：台湾の文化と社会

山本 律

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

近年、台湾は日本人の旅行先として人気となっています。
日本と台湾は長い歴史の中で深いかわりを持っています。
本授業では映像資料を用いて日本と台湾の文化的関係についてみていきます。

【到達目標】

日本と台湾との文化的関係についての理解を深めます。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

講義形式で授業を行います。

毎回コメントペーパーを出してもらいます。

最終回には教場レポートを提出してもらいます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方について
第2回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』(第1回) 教員による解説・講義
第3回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』(第2回) 教員による解説・講義
第4回	映画で学ぶ中国の文化と社会1	映画『あの頃、君を追いかけた』(第3回) 教員による解説・講義
第5回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』(第1回) 教員による解説・講義
第6回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』(第2回) 教員による解説・講義
第7回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『私の少女時代』(第3回) 教員による解説・講義
第8回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』(第1回) 教員による解説・講義
第9回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』(第2回) 教員による解説・講義
第10回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『海角七号』(第3回) 教員による解説・講義
第11回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『KANO』(第1回) 教員による解説・講義
第12回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『KANO』(第2回) 教員による解説・講義

第13回 映画で学ぶ中国の文化と社会4 映画『KANO』(第3回)
教員による解説・講義

第14回 授業の総まとめとレポート 授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて3時間を標準とします。
映画は各自で観てください。

【テキスト (教科書)】

使用しない。

必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席、授業態度、コメントペーパー) 60%、レポート40%

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese culture and society by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following

Report(40%), in-class contribution(60%).

ARSe200LA (地域研究 (東アジア) / Area studies(East Asia) 200)

中国の文化と社会 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：香港の文化と社会

山本 律

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木2/Thu.2

単位数：2単位

定員制 (60)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

中国の文化と社会について、中国映画や中国の映像資料を用い学んでいきます。

映画は、その国の文化と社会を映し出します。

今期では、2008年に公開されて以降、人気を博しシリーズ化されたカンフーアクション映画を軸として香港の社会と文化についてみていきます。

【到達目標】

中国香港の文化と社会についての理解を深めます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回講義形式で行います。

毎回課題としてコメントペーパーを出してもらいます。

最終回にはレポートを提出してもらいます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	オリエンテーション	授業の進め方について
第2回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』(第1回) 教員による解説・講義
第3回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』(第2回) 教員による解説・講義
第4回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 序章』(第3回) 教員による解説・講義
第5回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』(第1回) 教員による解説・講義
第6回	レポート映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』(第2回) 教員による解説・講義
第7回	映画で学ぶ中国の文化と社会2	映画『イップマン 葉問』(第3回) 教員による解説・講義
第8回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』(第1回) 教員による解説・講義
第9回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』(第2回) 教員による解説・講義
第10回	映画で学ぶ中国の文化と社会3	映画『イップマン 継承』(第3回) 教員による解説・講義

第11回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』(第1回) 教員による解説・講義
第12回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』(第2回) 教員による解説・講義
第13回	映画で学ぶ中国の文化と社会4	映画『イップマン 外伝』(第3回) 教員による解説・講義
第14回	授業の総まとめと試験	授業の総まとめと試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて3時間を標準とします。映画は各自で観てきてください。

【テキスト (教科書)】

使用しない。

必要に応じて資料を配布する。

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (出席、毎回のコメントペーパー) 60%、レポート40%。

【学生の意見等からの気づき】

特になし。

【Outline (in English)】

In this course, we will learn about Chinese society and culture by using various materials such as movies.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following Report(40%), in-class contribution(60%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在規則動詞 動詞 ser, estar, tener, ir, hacer, salir	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在規則活用、及び動詞 ser, estar, tener, ir, hacer, salir の活用と用法復習 (テキスト：第1課)
2	語幹母音変化動詞 再帰動詞	直説法現在の語幹母音変化動詞、及び再帰動詞の復習 (テキスト：第1課)
3	動詞 conocer, saber, ver, poner, venir, oír 不定詞表現	動詞 conocer, saber, ver, poner, venir, oír の活用と用法、及び不定詞表現の復習 (テキスト：第1課)
4	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que, donde	現在分詞、及び関係詞 que と donde の復習 (テキスト：第2課)
5	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞の復習 (テキスト：第3課)
6	動詞 gustar gustar 型動詞	gustar 型動詞の復習 (テキスト：第3課)
7	中間試験 所有形容詞	中間試験 所有形容詞の復習 (テキスト：第3課)
8	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト：第4課)
9	直説法点過去	直説法点過去 (規則活用及び不規則活用) の復習 (テキスト：第4課)

10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト：第4課)
11	過去分詞 過去分詞の用法	過去分詞の復習 (テキスト：第5課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去完了の復習 (テキスト：第5課)
13	感嘆文 春学期の復習	感嘆文 (テキスト：第5課) 期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。

上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。

<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
 - Preterite past tense
 - Past perfect tense
- Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:
- In-class contribution (30%)
 - Mid-term exam (30%)
 - Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 土2/Sat.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までには、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第6課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第6課)
3	接続法現在規則動詞	接続法概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第7課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第7課)
5	接続法現在の名詞節における用法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第7課、第8課)
6	関係節における接続法	関係節 (形容詞節) での接続法現在の使い方 (テキスト: 第9課)
7	中間試験 副詞節における接続法	中間試験 副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第9課)
8	独立文における接続法	独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第8課)
9	不定語・否定語	主な不定語と否定語の種類と用法 (テキスト: 第8課)
10	2人称に対する命令形	2人称単数または複数に対する命令文の作り方 (テキスト: 第6課)

11	2人称以外に対する命令形 命令表現での代名詞の位置	2人称以外に対する命令文の作り方 命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第6課、第11課)
12	命令形の練習	命令形を用いた会話練習 (テキスト: 第11課)
13	数 (1から1千万) 秋学期の復習	1から1千万までの数詞 (テキスト: 第12課) 期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	イントロダクション	アルファベット、母音、子音、発音とアクセント
2	動詞（規則活用）	主格人称代名詞、動詞（規則活用）現在形
3	動詞（不規則活用）	動詞（不規則活用）、否定文
4	動詞 ser, estar, hay 現在形	ser, estar, hay の使い方
5	形容詞の基本	母音で終わる形容詞、子音で終わる形容詞の語形変化、語尾が脱落する形容詞の語形変化など
6	形容詞の応用	所有詞、指示詞
7	疑問文と疑問詞	疑問文の基本と様々な疑問詞
8	動詞（不規則活用2）	基本動詞に多い不規則活用動詞と1人称単数が不規則な形
9	目的格人称代名詞	直接目的格および間接目的格人称代名詞の使い方
10	動詞（不規則活用）3、時刻表現	複合型不規則動詞と時刻の表現
11	過去分詞、現在完了	現在完了の作り方とその用法
12	gustar 構文、前置詞	gustar 型動詞の使い方とその種類
13	再帰動詞	再帰動詞の基本的な考え方とその使い方
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）

【参考書】

『西和辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria / Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語の初級文法を復習しながら、中級レベルの文法へのステップアップを目指し、構文などの応用的な表現を学んでいく。

【到達目標】

初級から一歩進んだ文法を習得し、読み書きのレベルを高めていく。また語学だけでなく、スペイン語圏諸国の歴史、文化などの理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

スペイン語の基礎を終えた学生を対象とし、基本的にはテキストに添って文法事項などを説明しながら進める。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

本授業は原則として対面で行うが、大学の行動方針レベルが2となった場合、オンラインで行う。詳細は学習支援システムで周知する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法点過去	直説法点過去の活用と用法
2	直説法線過去	直説法線過去 点過去と線過去の違いと使い方
3	不定語・否定語、現在分詞	現在分詞の形と使い方、分詞構文および、否定語・不定語を用いた文の構造
4	直説法未来形	直説法未来形の活用と使い方
5	関係詞	関係代名詞の種類と使い方
6	接続法現在形	接続法の考え方と動詞の活用、名詞節における使い方
7	接続法現在形2	接続法現在形のその他の種類、形容詞節と副詞節
8	命令形、感嘆文	命令形における接続法現在形の応用
9	直説法過去完了形	直説法過去完了形の活用と、その使い方
10	比較表現	比較形の作り方と使い方
11	関係詞2	関係形容詞、関係副詞の種類と使い方
12	直説法過去未来形	直説法過去未来形の活用とその使い方
13	接続法過去形	接続法過去形の活用とその使い方
14	試験・まとめと解説	筆記試験とその解説を実施し、今学期の学習内容のまとめ

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

『これでわかる！ スペイン語の初級』 長谷川信弥他著、朝日出版社、2000円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』 西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価する。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は欠席とみなす。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。

【その他の重要事項】

学習障害等、何らかの配慮を希望する場合は、遠慮なくその旨申し出てください。

【Outline (in English)】

【Course outline】

Basic and intermediate Spanish grammar and conversation.

【Learning Objectives】

By the end of the semester, students should be able to write, speak, and understand intermediate Spanish, in the present, past, preterite, imperfect tense and subjunctive mood.

【Learning activities outside of classroom】

Preparation and review are necessary. Students should review lesson vocabulary and use a dictionary. Preparatory study and review time for this class are 1 hour.

【Grading Criteria /Policy】

Students evaluations are based on class participation (40%) and the final exam (60%). Participation and attitude will factor in the final grade.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土 1/Sat.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法のうちで学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	1~7 まとめで兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros) に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ て学ぶ
対面/face to face	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
対面/face to face	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
対面/face to face	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
対面/face to face	練習問題 (接続法過 去、仮定法ほか)	授業内演習
対面/face to face	文書読解 (ニュース サイト)	最新のニュースなど
対面/face to face	文書読解 (SNS)	SNSで見られるスペイン語の紹 介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
オンライ ン/online	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar 動詞、er/ir 動詞のそれぞれの用法のうちで学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語の will, may に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語の would, might に近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	1~7 まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文 (tu/vosotros) に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点 35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木4/Thu.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ て学ぶ
対面/face to face	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
対面/face to face	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
対面/face to face	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
対面/face to face	練習問題（接続法過 去、仮定法ほか）	授業内演習
対面/face to face	文書読解（ニュース サイト）	最新のニュースなど
対面/face to face	文書読解（SNS）	SNSで見られるスペイン語の紹 介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
オンライ ン/online	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7回	私の地区	過去の習慣について話す。
8回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9回	休みの過ごし方	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11回	昔の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13回	飲み物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

- ・努めて語彙を増やしていくこと。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

いいね! スペイン語2 朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, assignments and 70% of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4回	パーティーに来ませんか。	パーティーで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7回	海外旅行	スペイン語圏から来たばかりの留学生のためのガイドブックを作る。
8回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9回	イスマノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12回	学年が終わる。	学期中に行ったことについて、質問する、話す。
13回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。

14回 復習と口頭試験 復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
 - ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
 - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
 - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
 - ・努めて語彙を増やしていくこと。
 - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2
朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15+課題と学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典
電子辞書OK
スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation + assignments and 70% of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3 I

2017年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】

文法をひととおり習得し、語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏諸国の地理・歴史・社会・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合はZoomによるリアルタイム双方向式で行う。

教員が文法事項を説明し、履修生はテキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループアクティビティを行う。

アクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 第1課	スペイン語で自己紹介、授業の進め方や学習方法の説明、既修文法の確認
2	第1課	直説法現在、点過去1、命令1、世界のスペイン語
3	第2課	線過去1、動詞 ser, tener, llevar、友人
4	第2課	点過去2、関係詞1、家族
5	第3課	線過去2、点過去3、以前の生活と今の生活
6	第3課	命令2、関係詞2、私の町
7	中間試験、ふりかえり	春学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
8	第4課	時を表す表現1、点過去4、自由時間
9	第4課	現在分詞、勧誘、映画
10	第5課	点過去5、命令3
11	第5課	直接目的語と間接目的語、旅行
12	第6課	現在完了、ya と todavia、スペイン語圏フェア
13	第6課	過去完了、食習慣
14	期末試験、総括	春学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習：テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、例文が訳せるようにしておく。地名は地図で位置を確認し、その特徴なども調べる。

復習：新しく学んだ語彙・文法をノートにまとめて復習し、テキストの音声やビデオを視聴し発音練習を繰り返す。

宿題：練習問題

標準学習時間：計2時間

【テキスト (教科書)】

ファン・カルロス・モヤノ・ロベス／カルロス・ガルシア・ルイス・カステイージョ／廣康好美『いいね！ スペイン語2 コンパクト版』朝日出版社、2023年

【参考書】

1年次のスペイン語1、2で使用していた教科書

小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会

西川喬『わかるスペイン語文法』同学社

その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点 (50%)、中間試験 (25%)、期末試験 (25%) から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるよう促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声とビデオが視聴できる機器 (パソコン、スマートフォン等) とインターネット環境。

【その他の重要事項】

紙媒体の辞書を使って学習することをお勧めします。

西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のもの。

自動翻訳機や生成AIの使用厳禁。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and deepen your knowledge of Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

杉下 由紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語のコミュニケーション能力を高める

【到達目標】

文法をひととおり習得し、語彙を強化して、読む・書く・聴く・話す力を高める。スペイン語圏諸国の地理・歴史・社会・文化等に関する知識を深める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

すべて対面で行う。対面が不可になった場合はZoomによるリアルタイム双方向式で行う。

教員が文法事項を説明し、履修生はテキスト記載のスペイン語文の和訳、練習問題、グループアクティビティを行う。アクティビティや試験返却時に講評・解説をする。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	夏休みの思い出
2	第7課	未来、条件節si
3	第7課	接続法現在1、仕事
4	第8課	過去未来、命令4、忠告と希望
5	第8課	接続法現在2,3、誕生日会
6	第9課	接続法現在4,5、意見
7	第9課	命令5、無人称表現、大学生活
8	中間試験、ふりかえり	秋学期前半の学習事項に関する試験とふりかえり
9	第10課	接続法現在6、大きな数字、派生語
10	第10課	関係詞3、社会変化
11	第11課	スポーツ
12	第12課	一年間の思い出
13	復習	時制のまとめ
14	期末試験、総括	秋学期後半の学習事項に関する試験とふりかえり

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習：テキストに出てくる不明な単語や熟語は必ずあらかじめ辞書で調べ、例文が訳せるようにしておく。地名は地図で位置を確認し、その特徴なども調べる。

復習：新しく学んだ語彙・文法をノートにまとめて復習し、テキストの音声やビデオを視聴し発音練習を繰り返す。

宿題：練習問題

標準学習時間：計2時間

【テキスト（教科書）】

ファン・カルロス・モヤノ・ロベス／カルロス・ガルシア・ルイス・カステージョ／廣康好美『いいね！スペイン語2 コンパクト版』朝日出版社、2023年

【参考書】

1年次のスペイン語1、2で使用していた教科書

小林一宏・清水憲男ほか『詳解スペイン語』上智大学出版会

西川喬『わかるスペイン語文法』同学社

その他、授業中に適宜紹介。

【成績評価の方法と基準】

平常点（50%）、中間試験（25%）、期末試験（25%）から総合的に評価。

【学生の意見等からの気づき】

グループワークを取り入れ、学生が主体的に学び積極的に発言できるように促したいと思います。

【学生が準備すべき機器他】

テキストの音声とビデオが視聴できる機器（パソコン、スマートフォン等）とインターネット環境。

【その他の重要事項】

紙媒体の辞書を使って学習することをお勧めします。

西和辞典は白水社、三省堂、小学館、研究社など、和西辞典は白水社、三省堂などから出版されている中規模以上のもの。

自動翻訳機や生成AIの使用厳禁。

【Outline (in English)】

The aim of this course is to help students improve the communication skill of Spanish.

The goals are to master Spanish grammar and improve reading, writing, listening and speaking skills and deepen your knowledge of Spanish-speaking countries.

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process;

in class contribution 50%, mid-term examination 25%, term-end examination 25%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在規則動詞 動詞ser, estar, tener, ir, hacer, salir	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在規則活用、及び動詞ser, estar, tener, ir, hacer, salirの活用と用法復習 (テキスト：第1課)
2	語幹母音変化動詞 再帰動詞	直説法現在の語幹母音変化動詞、及び再帰動詞の復習 (テキスト：第1課)
3	動詞conocer, saber, ver, poner, venir, oír 不定詞表現	動詞conocer, saber, ver, poner, venir, oírの活用と用法、及び不定詞表現の復習 (テキスト：第1課)
4	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞que, donde	現在分詞、及び関係詞queとdondeの復習 (テキスト：第2課)
5	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞の復習 (テキスト：第3課)
6	動詞gustar gustar型動詞	gustar型動詞の復習 (テキスト：第3課)
7	中間試験 所有形容詞	中間試験 所有形容詞の復習 (テキスト：第3課)
8	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト：第4課)
9	直説法点過去	直説法点過去 (規則活用及び不規則活用) の復習 (テキスト：第4課)

10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト：第4課)
11	過去分詞 過去分詞の用法	過去分詞の復習 (テキスト：第5課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去完了の復習 (テキスト：第5課)
13	感嘆文 春学期の復習	感嘆文 (テキスト：第5課) 期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
 - Preterite past tense
 - Past perfect tense
- Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:
- In-class contribution (30%)
 - Mid-term exam (30%)
 - Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 金2/Fri.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時までには、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第6課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第6課)
3	接続法現在規則動詞	接続法概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第7課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第7課)
5	接続法現在の名詞節における用法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第7課、第8課)
6	関係節における接続法	関係節 (形容詞節) での接続法現在の使い方 (テキスト: 第9課)
7	中間試験 副詞節における接続法	中間試験 副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第9課)
8	独立文における接続法	独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第8課)
9	不定語・否定語	主な不定語と否定語の種類と用法 (テキスト: 第8課)
10	2人称に対する命令形	2人称単数または複数に対する命令文の作り方 (テキスト: 第6課)

11	2人称以外に対する命令形 命令表現での代名詞の位置	2人称以外に対する命令文の作り方 命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第6課、第11課)
12	命令形の練習	命令形を用いた会話練習 (テキスト: 第11課)
13	数 (1から1千万) 秋学期の復習	1から1千万までの数詞 (テキスト: 第12課) 期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3 I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar動詞、er/ir動詞のそれぞれの用法のうちて学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語のwill, mayに近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語のwould, mightに近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	1~7まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文(tu/vosotros)に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ て学ぶ
対面/face to face	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
対面/face to face	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
対面/face to face	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
対面/face to face	練習問題 (接続法過 去、仮定法ほか)	授業内演習
対面/face to face	文書読解 (ニュース サイト)	最新のニュースなど
対面/face to face	文書読解 (SNS)	SNSで見られるスペイン語の紹 介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
オンライ ン/online	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達出来る様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	新年度	自己紹介する、クラスメートについて知る。
2回	昨年度	スペイン語を学習への興味、目的、学習方法について話す。
3回	私の家族。	家族や友達のような人間関係について話す。
4回	私の友人。	ある人が昔どのような人だったか記述する。
5回	私の町。	大学生活と以前の生活に比べて、その違いについて話す。 過去の習慣について話す。
6回	私の地区	ある場所の位置とそこへの行き方について、質問する、尋ねる。
7回	私の地区	過去の習慣について話す。
8回	休みの時	過去に行った事柄について話す、質問する。
9回	休みの過ごし方	過去の記述をする、原因や結果について表現する。
10回	前の旅行。	過去の旅行について、質問をする、話す。
11回	昔の旅行。	旅行した時の色々な状況について話す、場所について記述する。 旅行に関して人に何かを進める。
12回	食物	食習慣について話す。 近い過去の経験や行為について質問する、話す。
13回	飲み物	料理の材料について話すそして人に勧める。
14回	復習と口頭試験	復習と口頭試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
- ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
- ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
- ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。

- ・努めて語彙を増やしていくこと。
- ・スペイン語圏のニュースに注意している。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

いいね! スペイン語2 朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15%+学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典

電子辞書OK

スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation, assignments and 70% of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

コルメナ ロメロ ロベルト

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

同講義の目的は、会話を通じてスペイン語圏の人々と簡単な意思の伝達ができる様に学んでいくと同時に、前年度から更に進んだ複雑な文章の構成、ヒアリングのレベルアップを図ります。

【到達目標】

この授業では、前年度に学んだポイントの復習も兼ねて、一段階上のレベルの表現が出来る様に教科書に従ってダイアログ・単語を学びながら文化についても習得していきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の最初に会話の意図を説明した上で、文法や文脈を解説し、実際に会話を行います。提出や課題等に対するフィードバック方法はHoppiiで行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回	大学を卒業後、仕事をし始めるでしょう。	将来何をしたいか、どうなりたかについて話す。
2回	大学を卒業後、新生活をし始めるでしょう。	仕事についての意見交換する。
3回	家に来ませんか。	希望を述べる、相手にアドバイスをする。
4回	パーティーに来ませんか。	パーティで会話する。社会の出来事や社会生活について質問する、話す。
5回	海外留学	希望や好みを述べる、意見を言う、人に何かを進める。
6回	海外旅行	ある国でやるべきではないことや、その国の習慣について、質問する、話す。
7回	海外旅行	スペイン語圏から来たばかりの留学生のためのガイドブックを作る。
8回	スペインの社会変化。	重要な社会の変化や問題点について質問する、答える。
9回	イスパノアメリカの社会変化。	解決方法を提案する。
10回	スポーツ	様々な種類のスポーツやスポーツ選手について、質問する、答える。
11回	スポーツ選手	過去の出来事や行為について感情を示す評価判断を表現する。現在あるいは未来で、可能性の低いあるいは全くない条件を使って話す。
12回	学年が終わる。	学期中に行ったことについて、質問する、話す。
13回	大学が終わる。	クラスメートに別れの挨拶のメッセージを書く。

14回 復習と口頭試験 復習と口頭試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

- ・一年次で学んだことをかならずしっかり復習しておく。
 - ・単語の意味調べを行い、授業に出る。
 - ・授業中に出る宿題を必ず行うこと。
 - ・毎回学んだことを確実にし復習しておくこと。
 - ・努めて語彙を増やしていくこと。
 - ・スペイン語圏のニュースに注意している。
- 本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

いいね！ スペイン語2
朝日出版

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点15%・授業参加15+課題と学期口頭末試験70%で総合評価します。

【学生の意見等からの気づき】

なるべく生徒の意見を授業に取り入れる

【学生が準備すべき機器他】

西和和西辞典
電子辞書OK
スマートフォンのグーグル翻訳なし。

【Outline (in English)】

The objective of this class is to communicate simple intentions to Spanish-speaking people. And, at the same time, try to improve the composition of more complicated sentences and improve the level of listening comprehension of the previous course.

In this class, you will also review the points you learned in the previous year and learn about culture while learning dialogue and words according to the textbook so that you can express at a higher level.

After explaining the intention of the conversation at the beginning of the lesson, we will decipher the grammar and context and then have a conversation. We will use Hoppii to provide feedback on submissions and assignments.

Be sure to review what you learned in the first year. Look up the meaning of the words and go to class. Be sure to do your homework. Make sure you review what you have learned each class. Strive to increase your vocabulary. Watch out for Spanish-speaking news. In total one hour of the standard preparatory study / review time for this class is preferably required.

Grading will be decided based on the following: Comprehensive evaluation with 15% of normal points, 15% of class participation + assignments and 70% of oral final exams.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3 I

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次の初級文法学習した現在形や点過去形を復習するとともに、未修だった直説法線過去形、現在完了形、現在進行形を学習する。学習した文法知識を用いて、聴き取り、読解、作文など、実用的なスペイン語を運用する能力の習得を目指す。

【到達目標】

直説法現在形の動詞の活用と用法に習熟する。現在完了形、点過去形、線過去形を用いて、過去の出来事について複雑な描写ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。ただし、授業で必ず扱うのは、各課の最初の4ページで、残りの2ページは時間に余裕があるときのみ学習する。教員が文法の解説を行ったあとに、受講生が練習問題に答え、長文テキストの訳読を行う。

また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次回の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 第1課(1)	本シラバスを用いた授業の説明。 直説法現在形不規則動詞(1)。
2	第1課(2)	再帰動詞。
3	第2課(1)	直説法現在形不規則動詞(2)。
4	第2課(2)	Gustar型動詞。
5	第3課(1)	比較級、最上級。
6	第3課(2)	現在分詞、関係代名詞。
7	理解度確認	中間試験を実施。
8	第4課(1)	直説法点過去規則動詞。
9	第4課(2)	直説法点過去不規則動詞、数 1-2000。
10	第5課(1)	直説法線過去。
11	第5課(2)	点過去と線過去。
12	第6課(1)	過去分詞、直説法現在完了。
13	第6課(2)	過去完了。
14	理解度確認	期末試験を実施。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習、復習を必ずする。予習としては、少なくとも分からない単語の意味を辞書で調べておく。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

齋藤華子他『新スペイン語のリズムで2』(2024)同学社。

ISBN: 978-4-8102-0444-5

【参考書】

西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加30%、中間試験30%、期末試験40%とし、総合的に評価する。大幅な遅刻は欠席と見なす。欠席回数が5回に達すると、単位認定資格を失う。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言(質問・問いかけに対する応答)を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を行うと、成績評価に際して減点の材料となりうるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this class, we will review the present tense and simple past tense that we learned in the elementary grammar, and also we will learn the indicative imperfect past tense, past perfect tense, and present progressive, which we did not study in the first year. We aim to acquire the ability to use practical Spanish such as listening comprehension, reading, and writing using the learned grammar knowledge.

Students will be able to use the preterit and imperfect past tenses to describe complex past events.

Finally, students will be able to use the subjunctive past tense to untrue state assumptions and consequences.

Students should read the grammatical explanations in the textbook, work on conversations and exercises, and listen to the sound files to familiarize themselves with the rhythm and sounds of Spanish. The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following process; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

長谷川 悦夫

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月5/Mon.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級文法で得た知識の復習に加えて、接続法を重点的に学ぶ。初級よりも、より複雑な内容の読解、聞き取り、作文など、実用的なスペイン語を運用する能力を習得することを目指す。

【到達目標】

この授業で、接続法をはじめ、発展的な文法事項をあらたに学習することによって、作文や会話でさらに幅広い表現ができるようになる。くわえて、DELE、B1レベルの文法・語彙の試験で70%以上得点できる実力を身につける。聴き取り能力の向上も目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書に沿って進める。ただし、授業で必ず扱うのは、各課の最初の4ページで、残りの2ページは時間に余裕があるときのみ学習する。教員が文法の解説を行ったあとに、受講生が練習問題に答え、長文テキストの訳読を行う。

また、毎回Hoppiiで課題の提出を求める。課題は、毎回の授業への質問・感想である。それについては、次回の授業でフィードバックを行う。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 第7課(1)	本シラバスを用いて授業について説明。 直説法未来。
2	第7課(2)	直説法過去未来。
3	第8課(1)	接続法現在形規則動詞。
4	第8課(2)	接続法現在不規則動詞、独立文における接続法。
5	第9課(1)	名詞節における接続法(1)。
6	第9課(2)	名詞節における接続法(2)、序数。
7	理解度確認	中間試験を実施。
8	第10課(1)	関係詞節における接続法。
9	第10課(2)	副詞節における接続法。
10	第11課(1)	命令表現。
11	第11課(2)	命令表現での代名詞の位置。
12	第12課(1)	接続法現在完了。
13	第12課(2)	接続法過去。
14	理解度確認	期末試験を実施。

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

予習・復習は必須。少なくとも、授業の前に意味の分からない単語を辞書で調べておくこと。本授業の準備・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト（教科書）】

齋藤華子他『新スペイン語のリズムで2』（2024）同学社。

ISBN: 978-4-8102-0444-5

【参考書】

西和辞書は必携。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加を30%、中間試験を30%、期末試験を40%とし、総合的に評価する。

欠席回数が5回に達すると、単位認定資格を失う。

授業への積極的な参加は成績評価に際して加点材料とする。

欠席、遅刻は減点材料とする。また「その他の重要事項」で列挙した事項など、授業の妨げとなる行為、学習意欲の欠如の表れとみられる行為は減点材料となり得る。

【学生の意見等からの気づき】

丁寧な解説を心がける。受講生と双方向のコミュニケーションを心がける。

【その他の重要事項】

授業での積極的な発言（質問・問いかけに対する応答）を評価する。授業中、以下の行為は慎むこと。これらの行為を行うと、成績評価に際して減点の材料となりうるので注意すること。

- ・無断で教室を出る。
- ・飲食をする。
- ・過度な私語をする。
- ・授業と関係がない目的で携帯電話などの電子機器を使用する。
- ・居眠りをする。

教員のメールアドレスは以下。

etsuo.hasegawa.ye@hosei.ac.jp

【Outline (in English)】

In this class, students will be able to use a broader range of expressions in writing and conversation by learning new grammatical items, such as the subjunctive. In addition, the students will acquire the ability to score 70% or more on the B1 level grammar and vocabulary tests of DELE. It also aims to improve listening skills. We will learn about the culture of Spanish-speaking world as well.

The standard preparation and review time for this class is one hour in total.

The final grade will be calculated according to the following process; mid-term exam 30%, final exam 40%, class contribution 30%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	スペイン語	南米にスペイン語を話す国々
2	スペイン語で自己紹介	目的人称代名詞、再帰代名詞
3	生活習慣、スペイン語圏の家族	現在進行形 / 現在分詞のその他の用法
4	人一生 / 家族	復習:直説法点過去。過去を表す副詞句。
5	中南米諸国への日本人移民	関係詞I：関係詞代名詞
6	町で	SER. ESTAR. HABER. TENER 直説法線過去:活用 / -menteで終わる副詞
7	昔と今	直説法線過去の用法 / 品質形容詞
8	旅行	直説法点過去と線過去 / 旅行：活動と携行品
9	天候	色々な副詞節
10	余暇活動	過去分詞 / 直説法現在完了：活用 / 余暇生活 / 勧誘表現
11	社会生活	直説法現在完了の用法 / 過去分詞のその他用法
12	未来を表す副詞	直説法未来：活用 / 直説法未来の用法
13	推測	直説法未来完了：活用と用法
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Entre amigos 2, 2a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版- Editorial Asahi

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	家具	家具と調度品 / 直説法過去完了 : 活用と用法
2	調度品	直説法の時制 : まとめ/関係詞Ⅱ
3	命令形	命令形Ⅰ: tu / vosotros に対する肯定命令 / 命令形の用法命令形と目的人称代名詞 / 再帰代名詞
4	食べ物/スポーツ	無人称表現 / 直説法過去未来の用法Ⅱ
5	意見	接続法現在 : 活用 / 接続法の用法Ⅰ:名詞節過去形Ⅱ : usted/ustedes に対する肯定命令
6	命令	否定命令 / 願望、依頼、命令表す表現
7	数	接続法の用法Ⅱ : 副詞節
8	環境問題	接続法の用法Ⅲ:形容詞節/
9	自然と人間	接続法現在完了 : 活用と用法
10	願望表現	接続法の用法Ⅳ : 独立文 / 接続法過去 : 活用
11	スペイン語国々の映画	接続法過去 / 条件文Ⅰ
12	会話で用いられる表現	接続法過去完了:活用 / 接続法過去完了の用法 / 直説法過去未来完了:活用と用法
13	後悔	条件文Ⅱ
14	まとめ	期末テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Entre amigos 2, 2a. edición. 総合スペイン語コース中級 - 改訂版-

Editorial Asahi

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土1/Sat.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の直説法点過去形、線過去形、および過去完了形の文を理解し、また作文ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法現在規則動詞 動詞ser, estar, tener, ir, hacer, salir	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法現在規則活用、及び動詞ser, estar, tener, ir, hacer, salirの活用と用法復習 (テキスト：第1課)
2	語幹母音変化動詞 再帰動詞	直説法現在の語幹母音変化動詞、及び再帰動詞の復習 (テキスト：第1課)
3	動詞conocer, saber, ver, poner, venir, oír 不定詞表現	動詞conocer, saber, ver, poner, venir, oírの活用と用法、及び不定詞表現の復習 (テキスト：第1課)
4	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞que, donde	現在分詞、及び関係詞queとdondeの復習 (テキスト：第2課)
5	目的格人称代名詞	目的格人称代名詞の復習 (テキスト：第3課)
6	動詞gustar gustar型動詞	gustar型動詞の復習 (テキスト：第3課)
7	中間試験 所有形容詞	中間試験 所有形容詞の復習 (テキスト：第3課)
8	比較級 最上級	比較表現の復習 (テキスト：第4課)
9	直説法点過去	直説法点過去 (規則活用及び不規則活用) の復習 (テキスト：第4課)

10	直説法線過去 点過去と線過去	直説法線過去の復習 点過去と線過去の使い分け復習 (テキスト：第4課)
11	過去分詞 過去分詞の用法	過去分詞の復習 (テキスト：第5課)
12	直説法現在完了 直説法過去完了	直説法現在完了及び直説法過去完了の復習 (テキスト：第5課)
13	感嘆文 春学期の復習	感嘆文 (テキスト：第5課) 期末試験に備えた春学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・ブラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。

上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探すことができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Indefinite past tense
 - Preterite past tense
 - Past perfect tense
- Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content. Final grade will be calculated according to the following process:
- In-class contribution (30%)
 - Mid-term exam (30%)
 - Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

若林 大我

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 土1/Sat.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

本授業では、1年次の学習内容を踏まえ、中級のスペイン語文法を学んでいく。

【到達目標】

履修生は今学期終了時まで、スペイン語の接続法現在形の文及び命令文を理解し、また作文できるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

受講生各自による復習と予習を踏まえ、所定のテキストに基づいて、毎週の講義で少しずつスペイン語の文法構造を学んでいく。講義のあと、学んだことの確認、および会話の練習のため、口頭での質疑応答も行なう。授業はできる限りゆっくり、かつ丁寧に進行するよう心がけるが、効果的な学習のためには各自の予習と復習、特に後者が必須である。このため学期の途中で一度、理解度の確認のための中間テストを行う。ただし初回の授業は予習の必要はない。受講にあたっては、下記のテキストの他、西和辞典も持参すること。課題が出題された場合は、学習支援システムを通じて提出するものとする。課題に対するフィードバックも、学習支援システムを通じて行う。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス 直説法未来	授業の形態、進め方、評価方法の説明 直説法未来の活用と用法 (テキスト: 第6課)
2	直説法過去未来	直説法過去未来の活用と用法 (テキスト: 第6課)
3	接続法現在規則動詞	接続法概念 接続法現在規則活用 (テキスト: 第7課)
4	接続法現在不規則動詞	接続法現在不規則活用 (テキスト: 第7課)
5	接続法現在の名詞節における用法	名詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第7課、第8課)
6	関係節における接続法	関係節 (形容詞節) での接続法現在の使い方 (テキスト: 第9課)
7	中間試験 副詞節における接続法	中間試験 副詞節での接続法現在の使い方 (テキスト: 第9課)
8	独立文における接続法	独立文での接続法現在の使い方 (テキスト: 第8課)
9	不定語・否定語	主な不定語と否定語の種類と用法 (テキスト: 第8課)
10	2人称に対する命令形	2人称単数または複数に対する命令文の作り方 (テキスト: 第6課)

11	2人称以外に対する命令形 命令表現での代名詞の位置	2人称以外に対する命令文の作り方 命令文における目的格代名詞・再帰代名詞の位置 (テキスト: 第6課、第11課)
12	命令形の練習	命令形を用いた会話練習 (テキスト: 第11課)
13	数 (1から1千万) 秋学期の復習	1から1千万までの数詞 (テキスト: 第12課) 期末試験に備えた秋学期の学習内容の振り返り
14	授業内期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

語学学習の性質上、自宅での予習や復習が必要となる。特に授業で言及した単語については、辞書を用いて各自反復学習すること。また時間の都合上、授業中に教科書内の全ての練習問題に取り組むことはできない。このため、授業の進行に合わせて各自が自主的に問題に取り組み、理解度を把握することが必須となる。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治『イメージ・スペイン語2 (Español en imágenes 2)』(朝日出版)、2,500円+税

【参考書】

外国語学習にあたっては、辞書が不可欠の要素である。本授業では特定の西和辞典の購入を義務付けないが、単語の正確な理解のためには『西和中辞典』(小学館)をお勧めする。真剣にスペイン語を身に付けたい受講生は、和西辞典も併用すると効果的である。また単語をスピーディに検索するには電子辞書も有用である。上記以外の西和辞典は、下記のウェブサイトでも探することができる。
<http://gaikoku.info/spanish/dictionary.htm>

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、中間テスト30%、期末テスト40%として総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

履修生諸君の理解度に合わせ、上記の授業計画は多少変更される可能性がある。

【Outline (in English)】

This course deals with the intermediate grammar of Spanish. By the end of the course, students should be able to understand and make Spanish sentences that include the following grammatical features:

- Present tense of the subjunctive mood
- Imperative mood

Before/after each class meeting, students will be expected to spend two hours in total to understand the course content.

Final grade will be calculated according to the following process:

- In-class contribution (30%)
- Mid-term exam (30%)
- Term-end exam (40%)

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3 I

2017年度以降入学者

敦賀 公子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語世界を理解するための中級文法と表現を習得しよう。

【到達目標】

スペイン語世界の社会や文化に関するやさしい長文テキストが理解できることを目的とします。そのために、1年次で学習したスペイン語文法と表現を復習しながら、さらに発展した文法を学び、より実践的な語彙力、読解力、表現力を習得できることを目標とします。

言語の学習だけでなく、スペイン語世界の社会や文化についての理解と興味を深めることもめざしていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は、原則的に講義・演習方式で進めます。知識の定着のために、課題(宿題)や練習問題をこなしながら進めます。それらのフィードバックは授業終了前もしくは翌週の授業で理解度を確認しながら行います。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと1年次の文法復習	簡単な日常表現を使って1年次の復習を行う。
2	Lección1 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
3	Lección1 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
4	Lección2 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
5	Lección2 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
6	Lección3 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
7	Lección3 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
8	中間試験	知識の確認
9	Lección4 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
10	Lección4 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
11	Lección5 文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
12	Lección5 長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
13	Lección5 までのまとめ	文法復習・練習問題
14	期末試験	知識の確認

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

宿題や課題、毎回の授業の予習は必須です。授業の準備・復習時間は各回2時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

『愛でる! スペイン語』福嶋教隆 著、朝日出版社、2022年、2750円(税込み)

【参考書】

西和辞書、1年次の文法テキスト

【成績評価の方法と基準】

平常点(宿題や予習、授業への積極参加など)30%、中間・期末試験、小テスト 70%

【学生の意見等からの気づき】

1年次で習得した知識をもとにより発展したスペイン語を学びますが、なるべく身近な話題を取り上げて、スペイン語やスペイン語世界により興味をもてるような授業をめざします。

【Outline (in English)】

Course outline : This course introduces the intermediate grammar and expressions to understand the Spanish World for students taking this course. It also enhances understanding and interest in the diverse cultures of the world.

Learning Objectives: The goals of this course are to become familiar with more vocabulary and sentences used in daily life by utilizing basic and intermediate grammar and also be able to understand longer sentences.

Learning activities outside of classroom: : Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies: Examinations: 70%, in class contribution: 30%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3Ⅱ

2017年度以降入学者

敦賀 公子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

スペイン語世界を理解するための中級文法と表現を習得しよう。

【到達目標】

今学期も引き続きスペイン語世界の社会や文化に関する長文テキストが理解できることを目標とします。より実践的な長文読解のため、接続法などの発展的文法を学び、さらに語彙力、表現力を高めることをめざします。

言語の学習だけでなく、スペイン語世界の社会や文化についての理解と興味を深めていきます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業は原則的に講義・演習方式で行います。知識の定着のために課題（宿題）や練習問題をこなしながら進めます。それらのフィードバックは授業終了前もしくは翌週の授業で理解度を確認しながら行います。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンスと文法復習	春学期の復習と確認
2	Lección7文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
3	Lección7長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
4	Lección10文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
5	Lección10長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
6	Lección11文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
7	Lección11長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
8	中間試験	知識の確認
9	Lección12文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
10	Lección12長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
11	Lección13文法ポイント	文法復習・練習問題 長文読解と表現
12	Lección13長文読解	文法復習・練習問題 長文読解と表現
13	Lección15文法と長文読解	こ文法復習・練習問題 長文読解と表現
14	期末試験	知識の確認

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

宿題や課題、毎回の授業の予習は必須です。

授業の準備・復習時間は各回2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『愛でる！スペイン語』福嶋教隆 著、朝日出版社、2022年、2750円（税込み）

【参考書】

西和辞書、1年次の文法テキスト

【成績評価の方法と基準】

平常点（宿題や予習、授業への積極参加など）30%、中間・期末試験、小テスト 70%

【学生の意見等からの気づき】

より発展したスペイン語を学びますが、なるべく身近な話題を取り上げて、スペイン語やスペイン語世界により興味をもてるような授業をめざします。

【Outline (in English)】

Course outline : This course introduces the intermediate grammar and expressions to understand the Spanish World for students taking this course. It also enhances understanding and interest in the diverse cultures of the world.

Learning Objectives: The goals of this course are to become familiar with more practical vocabulary and sentences by utilizing basic and intermediate grammar and also be able to understand longer sentences.

Learning activities outside of classroom: : Before/after each class meeting, students will be expected to spend at least one hour to understand the course content.

Grading Criteria /Policies: Examinations: 70%, in class contribution: 30%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Introducción al curso	スペイン語で紹介、挨拶、授業の説明
2	Elena se prepara para ir a verle	再帰動詞・代名詞
3	Elena se prepara para ir a verle	日常生活、習慣、日課
4	Ya ha llegado a Valencia	現在完了形・頻度を表す副詞
5	Ya ha llegado a Valencia	近い過去・習慣について話す
6	Iremos a Peñíscola	未来形、関係代名詞、副詞
7	Iremos a Peñíscola	友人を紹介する、仮定の話をする、他
8	El partido de fútbol. ¿Qué está pasando?	比較級と最上級、現在進行形
9	El partido de fútbol. ¿Qué está pasando?	アドバイス、同時進行する言動、今行っていることを話す
10	Antes todo era diferente	線過去、旅行しながら過去を思い出す
11	Antes todo era diferente	過去の状態、行動、日常について述べる
12	El año pasado fui a...	点過去、時を表す副詞
13	El año pasado fui a...	過去のある時点での出来事、過去の重要事項について話す
14	期末テスト	まとめ、試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Te Veo,nivel intermedio. Editorial DTP

楽しく覚えるスペイン語「改訂版」

スペイン語中級

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 II

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	¿ Dónde nos conocimos?	時を表す語句とそれに合った3つの過去 (現在完了形・線過去・点過去)
2	¿ Dónde nos conocimos?	歴史上の出来事と伝記、レシピ、料理
3	La paella. Enseñame	命令法
4	La paella. Enseñame	命令・アドバイス・指示の仕方、待ち合わせをする、他
5	Ya había estado aquí.	過去完了形、時を表す副詞
6	Ya había estado aquí.	過去・大過去の出来事について話す、時の表現の復習
7	映像	ラテンアメリカの映画
8	Quiero que venga mucha gente	接続法現在
9	Quiero que venga mucha gente	願望・要求・許可・禁止
10	Un regalo para mi madre. ¿ Qué le comprarías?	過去未来形、接続法過去形
11	Un regalo para mi madre. ¿ Qué le comprarías?	願い・憧れ・夢について話す、洋服・プレゼントを買う
12	La fiesta. Dice que saques unas cervezas!	間接語法、金言・名言集
13	La fiesta. Dice que saques unas cervezas!	他者の言葉を再現する、他者のメッセージを伝える
14	期末テスト	まとめ、試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Te Veo. Nivel intermedio. Editorial DTP

スペイン語中級

楽しく覚えるスペイン語

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 I

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って実習形式で進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、基本的には学生が会話をしたり、練習問題を解いたりして積極的に授業に参加することが期待される。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Planteamiento del curso	イントロダクション/授業の説明/自己紹介 南米にスペイン語を話す国々
2	Lectura: El día a día de mi vida en Madrid	復習:直接法現在
3	Lectura: El día a día de mi vida en Madrid	規則動詞/不規則動詞
4	Diálogo: Presentarse	動詞 conocer, saber, poner, venir 不定詞表現 Las perífrasis
5	Diálogo: Hablar de sí mismo	現在分詞 現在分詞の用法 関係詞 que, donde
6	Diálogo: en una zapatería	目的格人称代名詞 動詞 gustar, otros verbos del grupo de gustar
7	Diálogo: En una farmacia	所有形容詞
8	Lectura: Mi vida en Madrid	比較級/最上級 直説法点過去
9	Lectura: Mi vida en Madrid	直説法点過去と直説法線過去
10	Diálogo: en una terraza	過去分詞/ 過去分詞の用法
11	Diálogo: en una terraza	直説法現在完了 直説法過去完了
12	Lectura: Nuestra vida en el futuro	直説法未来 直説法過去未来
13	Lectura: Nuestra vida en el futuro	命令表現 (1) /命令表現での代名詞位置
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習をしっかりとやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Español en imágenes2 イメージ・スペイン語2

Editorial Asahi

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規の担当科目のため、学生からの意見は今後授業改善に反映する。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 II

2017年度以降入学者

OSNO I DE SASAKUBO H

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では初級スペイン語を終了した学生が、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのスキルを通してスペイン語でコミュニケーションすることを学ぶ。また、スペイン語圏の文化や社会の現状を踏まえた会話の上達を目指す。

【到達目標】

自分の住環境、学習環境、労働環境について、評価または願望などをスペイン語で述べるができるようになります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

授業はテキストに沿って進められる。必要に応じて教員が説明を行うが、会話練習や練習問題への取り組みが主要な時間を占める。毎回の授業開始時に、課題やリアクションペーパーへのフィードバックを行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Diálogo: La fiesta de Año nuevo	接続法現在：規則動詞/不規則動詞
2	Diálogo: La fiesta de Año nuevo	名詞節における接続法
3	Diálogo: ¡ A los tiempos!	独立文における接続法 名詞節における接続法と直説法
4	Diálogo: ¡ A los tiempos!	不定語・否定語
5	Diálogo: Nuestros sueños	関係節における接続法
6	Diálogo: Nuestros sueños	副詞節における接続法
7	Lectura: Visita a Madrid y sus alrededores	接続法現在完了
8	Lectura: Visita a Madrid y sus alrededores	接続法過去
9	Lectura: Consejos para ser feliz	命令表現 (2)
10	Lectura: Consejos para ser feliz	命令表現での代名詞の位置
11	Proyección de una película hispanoamericana	スペイン語圏の映画
12	Lectura: Visita al norte de España	現在の非現実的的条件文 (1)
13	Lectura: Visita al norte de España	直説法未来完了
14	まとめ	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習をしっかりやること、十分な準備をすること。本授業の準備・復習時間は、あわせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Español en imágenes 2 イメージ・スペイン語2

Editorial Asahi

【参考書】

-SHOGAKUKAN DICCIONARIO ESPAÑOL-JAPONÉS Segunda edición

-スペイン語文法ハンドブック、上田博人

【成績評価の方法と基準】

授業内での口頭試験50%

小テスト20%、期末試験の結果30%

毎回、新しい事を学び、それらは連続しているので欠席することは致命的となる。原則として遅刻は認めない。

【学生の意見等からの気づき】

新規担当科目のため、学生からの意見は今後反映させる。

【Outline (in English)】

In this lesson, students who have finished Spanish for beginners learn to communicate in Spanish through speaking, listening, reading, and writing skills. In addition, our goal is to improve conversation based on the current state of culture and society in the Spanish-speaking world.

At the end of this course, students will be able to express their desires or aspirations in Spanish, and they will also evaluate their learning to project the Spanish language as a work tool in their future.

The standard preparation and review time for this class is 1 hour.

Grading will be decided based on exams (50%) and the active class participation of students (50%).

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 I 2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	1 課前半	1年で学んだ文法の復習。 ser, estar, hayの使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ (スペイン) について知る。
3	1 課後半	1年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ (スペイン) について知る。
4	2 課前半	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ (スペイン) について知る。
5	2 課後半	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ (スペイン) について知る。
6	3 課前半	現在分詞、進行形。ハバナ (キューバ) について知る。
7	3 課後半	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ (キューバ) について知る。
8	4 課前半	過去分詞、受動態。テオティワカン (メキシコ) について知る。
9	4 課後半	結果状態、点過去。テオティワカン (メキシコ) について知る。
10	5 課前半	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル (グアテマラ) について知る。

11	5 課後半	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル (グアテマラ) について知る。
12	6 課前半	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ (ペルー) について知る。
13	6 課後半	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ (ペルー) について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『クラウン西和辞典』(小学館)
『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』(同学社)

【成績評価の方法と基準】

試験 (60%) 平常点 (40%)。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は2回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1. Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn intermediary Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 4 II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

基本的は対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 (1課～3課)	春学期に学んだ教科書1課から3課までの復習
2	復習 (4課～6課)	春学期に学んだ教科書4課から6課までの復習
3	7課前半	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市 (メキシコ)
4	7課後半	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市 (メキシコ)
5	8課前半	直説法未来完了。クスコ (ペルー) について知る。
6	8課後半	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ (ペルー) について知る。
7	9課前半	接続法現在の活用。ポトシ (ボリビア) について知る。
8	9課後半	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ (ボリビア) について知る。
9	10課前半	命令文 (肯定命令)。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ (パラグアイ) について知る。
10	10課後半	命令文 (否定命令)、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ (パラグアイ) について知る。
11	11課前半	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島 (エクアドル) について知る。

12	11課後半	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島 (エクアドル) について知る。
13	12課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラバ・ヌイ国立公園 (チリ) を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『中級スペイン語文法』 山田善郎著 白水社

『プログレッシブスペイン語辞典』 小学館

『クラウン西和辞典』 三省堂

『プエルタ新スペイン語辞典』 研究社

紙媒体の辞書必携

【成績評価の方法と基準】

試験60%、平常点40%。

携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書

【Outline (in English)】

1. Learn intermediary grammars and carry on practices which are in the textbook. 2. In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation. 3. Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting. 4. Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3) I 2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業を行う。社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援システムを確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	一年を通じてどのように授業を進めていくのか、授業の紹介、スペイン語の導入。
2	1 課前半	1年で学んだ文法の復習。ser,estar,hayの使い分けおよび直説法現在の動詞の活用。グラナダ(スペイン)について知る。
3	1 課後半	1年で学んだ直説法現在の用法、指示形容詞、指示代名詞を学び、この、その、あの、これ、それ、あれ、という言い方の復習。グラナダ(スペイン)について知る。
4	2 課前半	再帰動詞、目的格人称代名詞。セビーヤ(スペイン)について知る。
5	2 課後半	不定詞と「弱い代名詞」。セビーヤ(スペイン)について知る。
6	3 課前半	現在分詞、進行形。ハバナ(キューバ)について知る。
7	3 課後半	現在分詞を用いた分詞構文、所有形容詞。ハバナ(キューバ)について知る。
8	4 課前半	過去分詞、受動態。テオティワカン(メキシコ)について知る。
9	4 課後半	結果状態、点過去。テオティワカン(メキシコ)について知る。
10	5 課前半	線過去、点過去と線過去の使い分け。ティカル(グアテマラ)について知る。
11	5 課後半	時間の経過を示す、比較表現、絶対最上級。ティカル(グアテマラ)について知る。

12	6 課前半	直説法現在完了、直説法過去完了。マチュ・ピチュ(ペルー)について知る。
13	6 課後半	不定語と否定語、無人称表現。マチュ・ピチュ(ペルー)について知る。
14	期末試験	春学期に学んだことの確認として期末テストを行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición 初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『プログレッシブスペイン語辞典』(小学館) 紙媒体の辞書必携
『フェルタ新スペイン語辞典』(研究社)
『わかるスペイン語』西川喬 (同学社)

【成績評価の方法と基準】

試験(60%)平常点(40%)。携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜リアクションペーパーを配布し、学生からの質問や要望に応える方針。質問したい単元や確認したい文法について記入してください。授業内で復習するなど質問に対する対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書(1年生で用いていた辞書を持ってきてください) インターネットを用いた翻訳機能を利用することは禁止。

【その他の重要事項】

初回よりテキストを使用するので、前もって購入しておくこと

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediate Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年生で学んだスペイン語の復習とさらに進んだ文法の習得とならんで、スペイン語圏の文化について、各国の文化遺産を通して学ぶ。初級、中級の文法を使って、「話す」「聞く」「理解する」「書く」ことを目標とする。

【到達目標】

スペイン語を用いて自分の意見を表現することを目標とする。スペイン語読解能力を伸ばしていくこと。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会状況に応じてオンライン授業に切り替わる可能性もあるので学習支援を確認すること。テキストを使用して文法の学びを基本とし、練習問題を解いていくことでスペイン語を身につける。同時にスペイン語圏の文化についての理解を深める。リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習(1課～3課)	春学期に学んだ教科書1課から3課までの復習
2	復習(4課～6課)	春学期に学んだ教科書4課から6課までの復習
3	7課前半	直説法未来、直説法過去未来。メキシコ市(メキシコ)
4	7課後半	直説法未来・過去未来の不規則活用。関係詞。メキシコ市(メキシコ)
5	8課前半	直説法未来完了。クスコ(ペルー)について知る。
6	8課後半	直説法過去未来完了、間接話法。クスコ(ペルー)について知る。
7	9課前半	接続法現在の活用。ポトシ(ボリビア)について知る。
8	9課後半	接続法の用法：独立分、知覚、使役の表現。ポトシ(ボリビア)について知る。
9	10課前半	命令文(肯定命令)。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ(パラグアイ)について知る。
10	10課後半	命令文(否定命令)、再帰前置詞各人称代名詞。ラ・サンティシマ・トリニダードとヘスス・デ・タバランゲ(パラグアイ)について知る。
11	11課前半	接続法の用法：名詞節。ガラパゴス諸島(エクアドル)について知る。

12	11課後半	接続法の用法：形容詞節、接続法の用法：副詞節。ガラパゴス諸島(エクアドル)について知る。
13	12課	接続法過去の活用と用法、条件文。ラバ・ヌイ国立公園(チリ)を知る
14	期末試験	秋学期に学んだことを確認。

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト(教科書)】

Conociendo el Patrimonio de la Humanidad Segunda edición
初級～中級スペイン語世界遺産を訪ねて 改訂版 朝日出版社

【参考書】

『中級スペイン語文法』山田善郎著 白水社 紙媒体の辞書必携
『プログレッシブスペイン語辞典』小学館
『プエルタ新スペイン語辞典』研究社

【成績評価の方法と基準】

試験60%、平常点40%。
携帯電話の使用は減点の対象とする。欠席は3回まで。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。期末テストでは60%取得しないと単位は取れない。

【学生の意見等からの気づき】

適宜配布するリアクションペーパーに疑問点、要望などがあれば対応。質問したい単元や確認したい文法があれば記入してください。授業内で復習するなど対応します。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書 インターネットにある翻訳機能の利用は禁止。

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn intermediate Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 (3) I

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

**【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】**

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがあると思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足してもらえような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。

・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	点過去形規則活用	ar動詞、er/ir動詞のそれぞれの用法のうちで学ぶ
2	点過去系不規則活用	不規則活用の種類について把握する
3	線過去形	線過去形の文法の紹介、用法について学ぶ
4	点過去・線過去の違い	これまでやってきた点過去、線過去について、比較をしながら復習する
5	未来形	未来形(英語のwill, mayに近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
6	過去未来形	未来形(英語のwould, mightに近いもの)の文法の紹介、用法について学ぶ
7	さまざまな時制の完了形	現在完了／過去完了／未来完了／過去未来完了 などそれぞれの文法を学ぶ
8	練習問題	1~7まとめを兼ねた練習問題を実施する
9	命令形	肯定文(tu/vosotros)に対しての命令形
10	疑問詞	疑問詞の作り方、使い方
11	関係詞	関係詞の作り方、使い方
12	仮定法 si	仮定法の基本的な作り方、使い方
13	テスト前確認・質疑応答	春学期講義の復習に充てる
14	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、今学期の学習内容のまとめを行う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習は不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。

また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what you studied in classroom. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on the following. Term-end examination: 65%, and in-class contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語(3)Ⅱ

2017年度以降入学者

塩崎 公靖

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：土2/Sat.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語初級文法の完成。応用力をつけること。
スペイン語圏の文化に親しむこと。

【到達目標】

スペイン語の基礎的な会話の習得。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示された
どの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針
に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

これまでの授業で使ってきた教科書、および進度にばらつきがある
と思うので、まずはそれを確認し、できるだけ多数の学生に満足し
てもらえるような方法をとりたい。

その他、授業を通じてスペイン語圏の文化を紹介する。

授業形態については、基本的には対面形式で行う予定ですが、
状況に応じてオンライン形式に切り替えるなども適宜検討します。
・フィードバックの方法

毎回授業内でリアクションペーパーを配布し提出してもらいます。
その中で要望や質問などがあれば次の回の授業において回答します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
対面/face to face	接続法現在	「接続法」という日本語にはない 新たな文法の紹介、用法につ いて学ぶ
対面/face to face	接続法現在規則活用	接続法現在の規則活用の文法の 紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在不規則活 用	接続法現在の不規則活用の文法 の紹介、用法について学ぶ
対面/face to face	接続法現在完了	接続法現在完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	練習問題	授業内演習
対面/face to face	接続法過去	接続法過去の文法の紹介、用法 について学ぶ
対面/face to face	接続法過去完了	接続法過去完了の文法の紹介、 用法について学ぶ
対面/face to face	仮定法 si(2) 接続法 使用	仮定法の文法、用法について学 ぶ
対面/face to face	接続法文法 応用	接続法について、実際の文章の 中での使われ方について学ぶ
対面/face to face	練習問題 (接続法過 去、仮定法ほか)	授業内演習
対面/face to face	文書読解 (ニュース サイト)	最新のニュースなど
対面/face to face	文書読解 (SNS)	SNSで見られるスペイン語の紹 介
対面/face to face	テスト前、質疑応答	秋学期授業復習
オンライ ン/online	試験・まとめと解説	試験の実施と、その解説を行い、 今学期の学習内容のまとめを行 う

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

予習不要。復習をしっかりと。本授業の準備学習・復習時間は、合
わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

各単元についてまとめたレジュメを元に進めるため、指定の教科書
は特になし

【参考書】

特になし。

【成績評価の方法と基準】

期末テスト 65%、平常点35% で判定。

【学生の意見等からの気づき】

会話やメールなど、実際のコミュニケーションで使用できる表現を、
自身の経験も結びつけながら逐次紹介したい。
また、練習問題を多く取り入れることも検討する。

【Outline (in English)】

【Course Outline】

The aim of this course is to help students acquire basic-
intermediate grammar of Spanish.

【Learning Objectives】

Master basic-intermediate grammar of Spanish. Practical skill
is required.

【Learning activities outside of classroom】

Students don't have to prepare for next class but review what
you studied in classroom. Your required study time is at least
one hour for each class meeting.

【Grading Criteria/Policy】

Your overall grade in the class will be decided based on
the following. Term-end examination: 65%, and in-class
contribution: 35%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語7

2017年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、SAに参加する2年生を対象とする授業である。1年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

【到達目標】

長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

初回授業時に指示する。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(40%)、期末試験(60%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【Outline (in English)】

This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%

in class contribution:40%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語8

2017年度以降入学者

佐々木 直美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金3/Fri.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語基礎文法の学習を終え、SA出発に向けて準備を進める。1年次に使用した教科書と新たに購入する講読テキストを併用しつつ、スペイン語読解力の向上とスペイン語を用いての討論に慣れることを目指す。

【到達目標】

スペイン語文法の「総仕上げ」を行う。スペイン語初級文法の内容について一通りの知識を身につける。特にスペイン語の過去未来の用法と接続法の用法について理解し、使用することができるようになることを目指す。

また、スペイン語圏の文化について広く関心をひろげ、「祭り」を通じて文化の多様性を知りさまざまな価値観を尊重する心を培うことを目標とする。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

中文読解の演習形式で行う。受講生はあらかじめテキストの日本語訳を準備し、全員で訳を確認しながら、適宜担当者が文法事項と文化的事象について解説を行う。

また、受講生が各自で選んだテーマについてPPTを活用しながらスペイン語でプレゼンテーションを行う。プレゼン内容については、クラス内でスペイン語による質疑応答も実施する。授業期間内に一人1回はスペイン語でのプレゼンテーションをすることが必須となる。

課題へのフィードバックや質問は基本的に授業内で行うが、適宜Hoppiiも活用する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	授業方法についての説明と1年次の復習 1年次の教科書「プラサ・マヨール」を準備すること。
2	聖週間	スペイン語圏でひろく祝われる聖週間の儀式と祭りについて
3	パティオ祭り	コルドバのパティオ祭りについて
4	インティ・ライミ	1. ベルーの太陽の祭りについて 2. 学生によるプレゼン①
5	サン・フェルミン	1. スペインの牛追い祭りについて 2. 学生によるプレゼン②
6	花祭り	1. コロンビアの花祭りについて 2. 学生によるプレゼン③
7	独立記念日	1. メキシコの独立記念祭について 2. 学生によるプレゼン④
8	民族の日	1. コロンブスがアメリカ大陸に到着した日に関する記念について 2. 学生によるプレゼン⑤

9	死者の日	1. メキシコの死者の日について 2. 学生によるプレゼン⑥
10	クリスマス	スペイン語圏のクリスマスについて
11	主の御公現の祝日	三賢者の日の祝祭について
12	カーニバル	ボリビアのオルロのカーニバルについて
13	期末試験	期末試験
14	ブドウ収穫祭	アルゼンチンにおけるブドウ収穫祭について

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

文法については、予習・復習をしっかりと行うこと。講読については、あらかじめ下訳を準備しておくこと。ディスカッションについては、各回のテーマについて各自で調べて臨むこと。なお、この授業の準備・復習時間は1回につき1時間以上である。

【テキスト (教科書)】

村上陽子・ナカガワ・マルガリータ『フィエスタ! フィエスタ! - 解きながら読むスペイン語圏の12ヶ月』、朝日出版。
『レベル別スペイン語文法ドリル オレンジ版』
(1年次から使用している問題集)

【参考書】

必要に応じて授業内で指示する。

【成績評価の方法と基準】

授業内課題や授業への貢献度40%と期末課題60%によって評価します。

【学生の意見等からの気づき】

視聴覚資料を積極的に用いる。

【その他の重要事項】

授業には「3分の2以上」の出席がなければ、評価の対象にはなりません。

【Outline (in English)】

We will finish learning basic Spanish grammar. As preparations for participating in the SA program, practice reading and do discussion in Spanish.

< Learning Objectives >

By the end of the course, students should be able to do the followings:

Understand the Subjunctive Mood in Spanish.

Express your opinions about familiar topics in Spanish.

< Learning outside of classroom >

Before each class meeting, students will be expected to have read the relevant chapter from the text. Your required study time is at least one hour for each class meeting.

< Grading Criteria/ Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following

Term-end examination: 50%, Short reports : 40%, in class contribution: 10%.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語 3-I

2017年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業は、基礎レベルのスペイン語を学び終えた2年生を対象とする授業である。1年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

【到達目標】

長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形 (不規則)	直説法現在形 (不規則) を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法 (独立用法) を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

初回授業時に指示する。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(40%)、期末試験(60%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【Outline (in English)】

This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%

in class contribution:40%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-II

2017年度以降入学者

大西 亮

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

この授業は、春学期にひきつづき、すでに基礎レベルのスペイン語を学び終えた2年生の学生を対象とする授業である。1年次に学んだスペイン語文法の知識を生かしながら、長文読解や作文、リスニング、スピーキングなどの技能の習得をめざす。また、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。

【到達目標】

長文読解では、おもにスペインの新聞記事や小説など、さまざまなジャンルの読み物に挑戦し、文章理解力の向上に努める。そのほか、複雑な時制を含む和文西訳や、視聴覚教材を用いたリスニングなどにも取り組む。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

あらかじめ配布された講読資料をもとに、内容について詳しく見ていく。指名された学生は、スペイン語の文章の和訳を行なう。それについて、討議などを通じて全員で議論し、内容理解に努める。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	直説法現在形	直説法現在形を用いた文章の読解を行なう。
2	直説法現在形（不規則）	直説法現在形（不規則）を用いた文章の読解を行なう。
3	直説法点過去	直説法点過去を用いた文章の読解を行なう。
4	直説法線過去	直説法線過去を用いた文章の読解を行なう。
5	直説法現在完了	直説法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
6	直説法未来形	直説法未来形を用いた文章の読解を行なう。
7	直説法過去未来形	直説法過去未来形を用いた文章の読解を行なう。
8	直説法過去完了	直説法過去完了形を用いた文章の読解を行なう。
9	接続法現在	接続法現在形を用いた文章の読解を行なう。
10	接続法現在完了	接続法現在完了形を用いた文章の読解を行なう。
11	接続法過去	接続法過去形を用いた文章の読解を行なう。
12	仮定法	仮定法を用いた文章の読解を行なう。
13	接続法独立用法	接続法（独立用法）を用いた文章の読解を行なう。
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

授業で用いる教材について予習と復習の励行に努めること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

初回授業時に指示する。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点(40%)、期末試験(60%)を総合的に勘案して評価する。

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【Outline (in English)】

This course is intended for second-year students to participate in SA program. We will aim to improve students' reading, writing, listening and speaking skills in Spanish, by making the most of grammar they learned in their previous year. A further goal is to increase students' awareness and understanding of Spanish vocabulary and sentence-patterns, by reading newspaper-accounts, novels and other sundry books of all kinds.

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

Your overall grade in the class will be decided based on the following;

Term-end examination: 60%

in class contribution:40%

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-I 2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、平易な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

基本的には対面授業だが、社会情勢によってオンライン授業に切り替わる可能性があるため、学習支援を確認すること。テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーションおよび第1課	授業方針の説明とアルファベットの等、スペイン語の初歩的事柄の解説
2	第2課	名詞の性・数
3	第2課	冠詞、主格人称代名詞
4	第4課	ser動詞の活用と用法
5	第5課	形容詞の性と数、疑問文と否定文
6	第4課	estar動詞、hay + 名詞
7	第4課	serとestarの比較、estarとhayの比較、指示形容詞
8	第5課	規則動詞-ar動詞の活用と現在形
9	第5課	疑問詞の用法、間接・直接目的語に付く前置詞a
10	第6課	規則動詞-er動詞、-ir動詞の活用

11	第6課	所有形容詞 (前置形、後置形)
12	第7課	目的格人称代名詞
13	第7課	gustar型動詞の用法
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

わからない単語を事前に辞書で調べておくこと。語学学習の秘訣は復習である。授業後の復習を必ず行い、反復練習に励むこと。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

『ブラサ・マヨールI 改訂ソフト版 ーベーシック・スペイン語ー』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹 ほか (著)、朝日出版社、1,900円 (+税)

【参考書】

『西和中辞典』(小学館)
『わかるスペイン語』西川喬 (同学社)
授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度40%、試験60%を基本とし、総合的に評価するが、試験は60点以上を獲得しないと単位は与えられない。また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加えることがある。反対に消極的態度は減点の対象となることがある。授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけでなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書 インターネットにある翻訳機能の使用は禁止

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語3-II

2017年度以降入学者

宮田 絵津子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木1/Thu.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初めてスペイン語に接する学生を対象に、スペイン語の基本的文法と簡単な会話の習得を目指す。

【到達目標】

本科目の終了時には、基礎的な文章の読解および会話ができるようになることを目標とする。また語学だけでなく、スペイン語圏文化への理解も深める。

リアクションペーパーの配布を毎回ではないが配布し、質問や感想などを取り入れて授業を進める。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

春学期のスペイン語1-Iから連続する。基本的に対面授業だが、社会情勢に応じてオンライン授業に切り替わる可能性があるため、学習支援を確認すること。

テキストに沿って、文法の解説や文章の音読、問題演習などを行い、ステップバイステップでスペイン語の理解を深めていく。

また、映像などを用い、スペイン語圏文化の紹介も可能な限り行っていく。

状況により、学生の理解度を考慮し、授業進度を調整する可能性がある。

適宜リアクションペーパーを配布し、学生各自の質問・感想を受け付け授業の中でフィードバックする。

授業では、辞書を必ず持参すること。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課前半	不規則動詞、語幹母音変化動詞の活用
2	第8課後半	quererとpoderの活用と様々な用法
3	第9課	不規則動詞の活用、hacerの様々な用法
4	第10課前半	再帰動詞の活用と用法
5	第10課後半	再帰動詞の用法、感嘆文
6	第11課前半	過去分詞、現在分詞
7	第11課後半	現在完了の活用と用法
8	第12課前半	点過去規則活用と点過去の用法
9	第12課後半	不定語と否定語、比較表現
10	第13課前半	点過去（不規則）1
11	第13課後半	点過去（不規則）2
12	第14課前半	再帰動詞の点過去
13	第14課後半	線過去
14	試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

わからない単語を辞書で調べておくこと。必ず復習すること。

特に復習に時間を割くこと。語学の習得においては、復習と反復練習が何よりも重要である。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

『ブラサ・マヨールI ソフト版 『ベーシック・スペイン語-』、青砥清一、パロマ・トレナド、高松秀樹（ほか）（著）、朝日出版社、1,900円（+税）

【参考書】

『西和中辞典』（小学館）

『わかるスペイン語』西川喬（同学社）

授業中の携帯電話およびノートパソコンを使用しているオンライン辞書の利用は認められない。

【成績評価の方法と基準】

授業への参加度など平常点40%、試験60%とし、総合的に評価するが試験は60点以上獲得しないと単位は取得できない。

また、授業に積極的に取り組む姿勢も評価に加える。反対に、授業中の消極的態度は減点の対象となることがある。

授業中の携帯電話の使用は減点の対象とみなす。

欠席は3回までとする。3回欠席した学生は単位を取得できないので注意すること。

【学生の意見等からの気づき】

授業理解度を考慮し、丁寧な解説だけではなく、必要に応じ授業進度のスピードアップも図っていく。配布されるリアクションペーパーには質問や確認したい事項を記入すること。質問などについては授業内で復習するなどの対応をします。

【学生が準備すべき機器他】

紙媒体の辞書 インターネットにある翻訳機能の使用は禁止

【Outline (in English)】

1.Learn basic grammars and carry on practices which are in the textbook. 2.In order to be able to learn basic Spanish, it is aimed to learn grammatical interpretation.3.Learning activities outside of classroom aiming to restudy what is learned in the class is required. Your required study time is at least one hour for each class meeting.4.Grading criteria: 40% is presence and participation, attitude during class and 60% is the exam points. In the exams, more than 60 points is required to obtain the credit.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語コミュニケーション I 2017年度以降入学者

瓜谷 アウロラ

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水2/Wed.2

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期はオンライン授業と対面授業のハイブリッド (半数以上の授業は対面を実施される) での開講となる。対面以外の授業はZOOMを使ってリアルタイムで行う。授業の形式はその都度 Hoppii を通じて発表する。ZOOMに滞りなく参加ができるように機器環境を整えること。

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】

身近な話題について文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、仲間と練習する。次に暗記した表現をベースにしてモデル文章を書き換えて発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。毎回暗記しなければいけない短文の数は8個程度である。

2回で一つのテーマが終わると課題として自分について書いた文章をHoppiiで提出する。受け取ったFeedbackをよく読み、文書を暗記して、仲間に発表する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Mi nombre 1	自己紹介の方法を学ぶ。(1)
2	Mi nombre 2	自己紹介の方法を学ぶ。(2)
3	Mi familia 1	自分の家族を説明する方法を学ぶ (1)
4	Mi familia 2	自分の家族を説明する方法を学ぶ (2)
5	Mi ciudad 1	自分の街を説明する方法を学ぶ (1)
6	Mi ciudad 2	自分の街を説明する方法を学ぶ (2)
7	Mi universidad 1	自分の大学を説明する方法を学ぶ (1)
8	Mi universidad 2	自分の大学を説明する方法を学ぶ (2)
9	Un día normal 1	自分の平均的な1日を説明する方法を学ぶ (1)
10	Un día normal 2	自分の平均的な1日を説明する方法を学ぶ (2)
11	Descripciones 1	人物の一般的な描写方法を学ぶ (1)

12	Descripciones 2	人物の一般的な描写方法を学ぶ (2)
13	春学期の総復習	春学期の総復習
14	春学期の理解度の確認	春学期の理解度の確認

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

前の週の復習から始まる。履修者はペアで練習を行うので、予習をしっかりと行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した8個程度の短文を次回の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次回の授業で確認を行う。学習の目安は毎回60分程度である。

【テキスト (教科書)】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点及び課題と期末試験から判断する。

平常点評価:30%

授業内で指された時の返事に基づく点数。又、授業での態度や積極的な参加度など。平常点は積み重ねていくので、欠席があればその日の平常点はゼロになる。

課題:30%

期末口頭試験:40%

【学生の意見等からの気づき】

対面可能な授業になるので、口頭試験を行うことにする。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

The spring semester will be a hybrid of online and face-to-face classes (more than half of the classes will be conducted face-to-face). Classes other than face-to-face will be conducted in real time using ZOOM. The format of the classes will be announced via Hoppii on a case-by-case basis. You need to prepare the equipment environment so that participation in ZOOM is possible without delay.

In this course students will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examination.

Regular point evaluation: 30%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Assignments: 30%.

Final oral exam: 40%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture. The number of short sentences to be memorized each time is about 8.

After two sessions on a single topic, the students will submit a piece of writing about themselves in Hoppii as an assignment. Read the Feedback you receive carefully, memorize the document, and present it to your pears.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pair, so they are expected to prepare well and actively participate in class. Students are required to understand the model sentences and their Japanese translations well in advance of each class. For post-lesson study, students are expected to check about 8 short sentences memorized in the lecture and memorize them perfectly by the next lecture. Confirmation will be done in the next class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

スペイン語コミュニケーションⅡ 2017年度以降入学者

瓜谷 アウロラ

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 水2/Wed.2

単位数: 1単位

定員制 (30)

その他属性: 〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

秋学期はオンライン授業と対面授業のハイブリッド(半数以上の授業は対面で実施される)での開講となる。対面以外の授業はZOOMを使ってリアルタイムで行う。授業の形式はその都度 Hoppiiを通じて発表する。ZOOMに滞りなく参加できるように機器環境を整えること。

身近な話題を相手に伝える練習をする。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。モデル文章を元に表現を置き換えて、自分の文章を書けるようになるのが目標である。

【到達目標】

自分について、身近なテーマについて、文章で書き表し、それをベースに簡単なプレゼンテーションができるようになることを目指す。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか(該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1、人間環境学部: DP2、キャリアデザイン学部: DP1

【授業の進め方と方法】

この講座では身近な話題を相手に伝える練習を行う。モデル文章を作って重要な表現解説と作文練習も行う。その後、学んだ表現を暗記し、仲間と練習する。次に暗記した表現をベースにしてモデル文章を書き換えて発表する。学習した内容は次週の講義の最初に何人かに聞いて確認を行う。毎回暗記しなければいけない短文の数は8個程度である。

2回で一つのテーマが終わると課題として自分について書いた文章をHoppiiで提出する。受け取ったFeedbackをよく読み、文書を暗記して、仲間に発表する。

【アクティブラーニング(グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク(学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	Mi mejor viaje 1	自分が経験した旅行について説明する方法を学ぶ(1)
2	Mi mejor viaje 2	自分が経験した旅行について説明する方法を学ぶ(2)
3	Mis gustos 1	自分の趣味を説明する方法を学ぶ(1)
4	Mis gustos 2	自分の趣味を説明する方法を学ぶ(2)
5	Mi mejor regalo 1	お気に入りのプレゼントを説明する方法を学ぶ(1)
6	Mi mejor regalo 2	お気に入りのプレゼントを説明する方法を学ぶ(2)
7	Mi personaje preferido 1	尊敬している有名人について説明する方法を学ぶ(1)
8	Mi personaje preferido 2	尊敬している有名人について説明する方法を学ぶ(2)
9	Después de mi graduación 1	自分の将来の夢を語る方法を学ぶ(1)
10	Después de mi graduación 2	自分の将来の夢を語る方法を学ぶ(2)

11	Navidad 1	日本のクリスマスを説明する方法を学ぶ(1)
12	Navidad 2	日本のクリスマスを説明する方法を学ぶ(2)
13	秋学期の総合復習	秋学期の総合復習
14	秋学期の理解度の確認	秋学期の理解度の確認

【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】

毎回前の週の復習から始まる。履修者はペアで練習を行うので、予習をしっかり行い、積極的に授業に参加することが求められる。事前学習として毎回送られてくるモデル文章とその日本語訳をよく理解しておくこと。事後学習は講義で暗記した8個程度の短文を次の講義までに確認し、完璧に暗記すること。次の授業で確認を行う。学習の目安は毎回60分程度である。

【テキスト(教科書)】

なし

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点及び課題と期末試験から判断する。

平常点評価:30%

授業内で指された時の返事に基づく点数。又、授業での態度や積極的な参加度など。平常点は積み重ねていくので、欠席があればその日の平常点はゼロになる。

課題:30%

期末口頭試験:40%

【学生の意見等からの気づき】

対面可能な授業になるので、口頭試験を行うことにする。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

なし

【Outline (in English)】

The fall semester will be a hybrid of online and face-to-face classes (more than half of the classes will be conducted face-to-face). Classes other than face-to-face will be conducted in real time using ZOOM. The format of the classes will be announced via Hoppii on a case-by-case basis. You need to prepare the equipment environment so that participation in ZOOM is possible without delay.

We will practice communicating familiar topics to others. Model sentences will be created to explain important expressions and practice replacing them. The goal is to be able to write your own sentences by replacing expressions based on the model sentences.

Grading criteria

Students will be judged on the basis of regular scores, assignments and final examination.

Regular point evaluation: 30%.

A score based on the student's response when pointed out in class. Also, your attitude and active participation in class. Regular points will be accumulated, so if a student is absent, the regular points for that day will be zero.

Assignments: 30%.

Final oral exam: 40%.

In this course, students will practice communicating familiar topics to others. After replacing model sentences and memorize the expressions you have learned, you will practice them with your pairs. Next, rewrite the model sentences using the memorized expressions and present them. I will confirm what you have learned by asking some of you at the beginning of the next week's lecture. The number of short sentences to be memorized each time is about 8.

After two sessions on a single topic, the students will submit a piece of writing about themselves in Hoppii as an assignment. Read the Feedback you receive carefully, memorize the document, and present it to your pears.

Every week begins with a review of the previous week. Students will practice in pair, so they are expected to prepare well and actively participate in class. Students are required to understand the model sentences and their Japanese translations well in advance of each class. For post-lesson study, students are expected to check about 8 short sentences memorized in the lecture and memorize them perfectly by the next lecture. Confirmation will be done in the next class. The estimated study time is about 60 minutes for each class.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

現代のスペイン語 I

2017年度以降入学者

大西 亮

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2021年度までに「時事スペイン語 I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級の授業で習ったスペイン語文法の知識を生かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を身につけることを目的とする。随時、初級文法の復習をおこなっていき、また、この授業では、スペイン語圏の文化や社会にも光をあてつつ、その歴史と現状について学んでゆく。スペイン語初級をすでに受講したことのある学生が対象となる。

【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書の内容に沿って、文法事項の復習を中心に見ていく。随時小テストを行なうことによって、学生の理解度の把握に努める。採点済みの答案用紙は返却し、答え合わせをしながら基本的な文法事項のふりかえりに努める。質問や提出された課題に関するフィードバックは次回授業のなかで行なう。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	春学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	初級文法の復習	過年度までにスペイン語初級の各クラスで学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法現在	直説法現在を使った文章を読解する。
4	再帰動詞	再帰動詞を使った文章を読解する。
5	現在分詞および進行形	現在分詞と進行形を使った文章を読解する。
6	過去分詞および点過去	過去分詞と点過去を使った文章を読解する。
7	線過去	線過去を使った文章を読解する。
8	直説法現在完了および過去完了	直説法現在完了と直説法過去完了を使ったペルーの古代遺跡マチュ・ピチュに関する文章を読解する。
9	指示詞と所有詞の復習	指示詞と所有詞を使った文章を読解する。
10	受動表現の復習	受動表現を使った文章を読解する。
11	比較表現の復習	比較表現を使った文章を読解する。
12	無人称表現の復習	無人称表現を使った文章を読解する。

13 春学期のまとめ 春学期に学んだ文法事項の復習を行う。

14 期末試験 試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業で用いるテキストの予習と復習は必須である。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

初回授業時に指示する。

【参考書】

初回授業時に指示する。

【成績評価の方法と基準】

平常点30%、期末試験50%、随時行う小テスト20%

【学生の意見等からの気づき】

学生参加型の授業を心がける。

【Outline (in English)】

A further goal is for students to improve their reading-ability, by enjoying rather long books through the use of their grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

LANs200LA (スペイン語 / Spanish language education 200)

現代のスペイン語Ⅱ

2017年度以降入学者

久木 正雄

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2021年度までに「時事スペイン語Ⅱ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

スペイン語の初級クラスを履修済みの学生を対象として、すでに身につけている文法知識を活かしながら、まとまった長さの文章が読める程度の読解力を養うことを目的とする。特に、この授業では、現代のスペイン語圏の文化や社会といった諸相について、その歴史も踏まえながら学んでいく。

【到達目標】

スペイン語圏の文化や社会に関する文章を、辞書を引きながら読解することのできるレベルをめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教員が各回のテーマに関する概説と文法事項に関する解説を行いながら、順番に指名された受講生が訳読を行う。課題等に対するフィードバックは授業内で行い、必要に応じて「学習支援システム」も活用する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	ガイダンス	秋学期の授業の進め方に関する説明を行う。
2	春学期の文法の復習	春学期で学んだ文法事項の復習を行う。
3	直説法未来	直説法未来を使った文章を読解する。
4	直接法過去未来	直接法過去未来を使った文章を読解する。
5	直説法未来完了と直説法過去未来完了	直説法未来完了と直説法過去未来完了を使った文章を読解する。
6	接続法現在 (名詞節)	接続法現在 (名詞節) を使った文章を読解する。
7	接続法現在 (形容詞節・副詞節)	接続法現在 (形容詞節・副詞節) を使った文章を読解する。
8	命令法	命令法を使った文章を読解する。
9	接続法過去	接続法過去を使った文章を読解する。
10	間接話法	間接話法を使った文章を読解する。
11	知覚・使役の表現	知覚・使役の表現を使った文章を読解する。
12	時制の復習	さまざまな時制を網羅的に使った文章を読解する。
13	法の復習	直説法と接続法を対比的に使った文章を読解する。
14	試験・まとめと解説	学期末試験を実施し、今学期の学習事項のまとめと解説を行う。

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

テキストの指定範囲の準備学習と復習とともに、提出・非提出の別を問わず宿題に取り組むこと。なお、本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とする。

【テキスト (教科書)】

高松朋子ほか『行ってきます!』朝日出版社、2007年、ISBN9784255550220、本体価格2,100円。

【参考書】

授業内で適宜紹介する。

【成績評価の方法と基準】

平常点：50%、学期末試験：50%。

【学生の意見等からの気づき】

学習事項の着実な修得のために、受講者一人ひとりの理解度をこまめに確認する。

【学生が準備すべき機器他】

特になし。

【その他の重要事項】

- 履修予定者は、秋学期の初回授業の前々日までに「学習支援システム」で仮登録を行っておくこと。仮登録者数が定員を超過した場合は初回授業で選抜を行うこととし、その旨と選抜方法を前日のうちに同システムで通知する。

- この授業は春学期の「現代のスペイン語Ⅰ」(授業コード：R8303、担当教員：大西亮)からの連続性を持つため、ⅠとⅡの両方を履修することが望ましい。

- 辞書の活用を怠らないこと。

【Outline (in English)】

《Course outline》

This course will focus on various current topics in Spanish-speaking countries, by enjoying rather long Spanish texts through the use of your grammatical knowledge. This course is, therefore, designed for students who have completed elementary Spanish class.

《Learning Objectives》

Students will improve the reading ability in Spanish.

《Learning activities outside of classroom》

Students will be expected to have completed the required assignments before and after each class meeting. Your study time will be more than one hour for a class.

《Grading Criteria /Policy》

Your overall grade in the class will be decided based on the following: Usual performance score (50%), and term-end examination (50%).

ARSa200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

スペイン語の世界 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

大貫 良史

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

世界のスペイン語圏の国々に関する理解を深める。スペイン語圏の地域がどのようなものかを知り、当該地域に全く知識がない学生でも興味を持ち、将来旅してみたいと思えるような授業を目指す。

【到達目標】

スペイン語圏諸国、とりわけラテン・アメリカ地域における国や地域の社会と文化の多様性について理解を深めることで、広い視野を持って関連するトピックについて議論できるようになることを目標とする。

スペイン語圏、特にラテン・アメリカ地域の自然や歴史、文化全般を概観することを通じて、この地域における「独自性」と「多様性」、それに基づく文化的アイデンティティーについての知識の蓄積と理解を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

このクラスでは、教員による講義と受講生の発表とを組み合わせで行う。

講義はこの地域に関する基礎知識について、主にパワーポイントを用いて解説を行う。

その後、受講生が各自興味を持つテーマや地域について発表を行い、その内容に基づきディスカッションする。

どのようなテーマを扱っていくかについては、受講者と相談の上、なるべく意向に沿えるように調整したい。

また、スペイン語圏文化の理解を深めるため、映画や動画等も積極的に利用していく。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の方針や扱うテーマなどについての相談
2	基礎講義：スペイン概説	スペインの地理・歴史
3	基礎講義：スペインの文化	スペインの暮らし、食べ物、風習
4	基礎講義：ラテン・アメリカ概説	ラテン・アメリカの自然環境、各地域の特徴
5	基礎講義：ラテン・アメリカの古代文明	先スペイン期のラテンアメリカの様子
6	基礎講義：ラテン・アメリカの文化	ラテン・アメリカの暮らし、食文化
7	担当者によるプレゼンテーション1	具体的なテーマは学生と協議の上決定する

8	担当者によるプレゼンテーション2	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
9	担当者によるプレゼンテーション3	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
10	担当者によるプレゼンテーション4	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
11	担当者によるプレゼンテーション5	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
12	担当者によるプレゼンテーション6	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
13	担当者によるプレゼンテーション7	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
14	総括	これまでの内容の総括と討論

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

指示された書籍があればそれに目を通しておく。展覧会などの課外活動を指示することもある。本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必須のテキストは特にないが、参考書にあげるものを参照のこと。

【参考書】

ラテンアメリカ文化事典編集委員会 (編集) 『ラテンアメリカ文化事典』丸善出版 (2021/1)

【成績評価の方法と基準】

授業内プレゼンテーションを必ず一回は行うこと。その上で、プレゼンテーションの内容(50%)とリアクションペーパーと授業参加度(発言など)(50%)で総合評価する。重要なのは自分の発表だけではなく、人の発表をよく聞き発言することである。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【その他の重要事項】

初回授業でどの地域や事柄に興味があるのか、ある程度の説明ができるよう考えておくことが望ましいが、まったく予備知識のない飛び込みも歓迎。

【Outline (in English)】

Basic knowledge of history, culture and society of the Spanish speaking countries and regions, especially Latin America.

ARSA200LA (地域研究 (ヨーロッパ) / Area studies(Europe) 200)

スペイン語の世界 L B 2017年度以降入学者

サブタイトル：

大貫 良史

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (40)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

世界のスペイン語圏の国々に関する理解を深める。スペイン語圏の地域がどのようなものかを知り、当該地域に全く知識がない学生でも興味を持ち、将来旅してみたいと思えるような授業を目指す。

【到達目標】

スペイン語圏諸国、とりわけラテン・アメリカ地域における国や地域の社会と文化の多様性について理解を深めることで、広い視野を持って関連するトピックについて議論できるようになることを目標とする。

スペイン語圏、特にラテン・アメリカ地域の自然や歴史、文化全般を概観することを通じて、この地域における「独自性」と「多様性」、それに基づく文化的アイデンティティーについての知識の蓄積と理解を図る。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

このクラスでは、教員による講義と受講生の発表とを組み合わせで行う。

講義はこの地域に関する基礎知識について、主にパワーポイントを用いて解説を行う。

その後、受講生が各自興味を持つテーマや地域について発表を行い、その内容に基づきディスカッションする。

どのようなテーマを扱っていくかについては、受講者と相談の上、なるべく意向に沿えるように調整したい。

また、スペイン語圏文化の理解を深めるため、映画や動画等も積極的に利用していく。

<課題に対するフィードバックの方法>

リアクションペーパーの質問や重要な意見に対し、次回授業で解説・講評を行う

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

あり / Yes

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	授業の方針や扱うテーマなどについての相談
2	基礎講義：産業と伝統	ラテン・アメリカの製糖業と文化
3	担当者によるプレゼンテーション1	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
4	基礎講義：キューバ	キューバの歴史と暮らし
5	担当者によるプレゼンテーション2	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
6	基礎講義：アルゼンチン	アルゼンチンの歴史と暮らし
7	担当者によるプレゼンテーション3	具体的なテーマは学生と協議の上決定する

8	基礎講義：熱帯アマゾン地域	熱帯アマゾンの環境と様々な人々
9	担当者によるプレゼンテーション4	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
10	基礎講義：ラテン・アメリカと日本	移民、デカセギなど、日本とラテン・アメリカの関係を考える。
11	担当者によるプレゼンテーション5	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
12	担当者によるプレゼンテーション6	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
13	担当者によるプレゼンテーション7	具体的なテーマは学生と協議の上決定する
14	総括	これまでの内容の総括と討論

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

指示された書籍があればそれに目を通しておく。

展覧会などの課外活動を指示することもある。

本授業の準備学習・復習時間は、各2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

必須のテキストは特にないが、参考書にあげるものを参照のこと。

【参考書】

ラテンアメリカ文化事典編集委員会 (編集) 『ラテンアメリカ文化事典』丸善出版 (2021/1)

【成績評価の方法と基準】

授業内プレゼンテーションを必ず一回は行うこと。

その上で、プレゼンテーションの内容(50%)とリアクションペーパーと授業参加度(発言など)(50%)で総合評価する。

重要なのは自分の発表だけではなく、人の発表をよく聞き発言することである。

【学生の意見等からの気づき】

特になし

【その他の重要事項】

初回授業でどの地域や事柄に興味があるのか、ある程度の説明ができるよう考えておくことが望ましいが、まったく予備知識のない飛込みも歓迎。

【Outline (in English)】

Basic knowledge of history, culture and society of the Spanish speaking countries and regions, especially Latin America.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)		7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語3A I 2017年度以降入学者		8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつかの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
梁 禮先		9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形 (大過去形), 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：月1/Mon.1 単位数：1単位 その他属性：		10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。 【到達目標】 授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。 【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち, 以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4, 法学部・政治学科：DP1, 文学部：DP1, 経営学部：DP1 【授業の進め方と方法】 「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。 【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】 なし/No 【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし/No 【授業計画】 授業形態：対面/face to face		11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ, 指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
回 テーマ 内容		12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
1	第1課	13	第8課	間接話法 (引用形)・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
2	第1課	14	テスト	テスト
3	第2課	【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも, 恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが, ことばを覚えることにもなり, 「話す」第一歩となるのです。 本授業の準備・復習時間は, 合計1時間以上を標準とします。		
4	第2課	【テキスト (教科書)】 内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社		
5	第3課	【参考書】 教科書によって文法の説明方式が異なるので, 指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。		
6	第3課			

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LAnk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3AⅡ

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月1/Mon.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7 第12課

「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8 第13課

態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」

9 第13課

漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」

11 第14課

婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか

12 第15課

動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形
用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお勧めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでしたでしたが、進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)		7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語3A I 2017年度以降入学者		8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつかの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
梁 禮先		9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形 (大過去形), 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火5/Tue.5 単位数：1単位 その他属性：		10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。		11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ, 指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
【到達目標】 授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。		12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」か, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち, 以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4, 法学部・政治学科：DP1, 文学部：DP1, 経営学部：DP1		13	第8課	間接話法 (引用形)・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
【授業の進め方と方法】 「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。		14	テスト	テスト
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】 なし/No		【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも, 恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが, ことばを覚えることにもなり, 「話す」第一歩となるのです。 本授業の準備・復習時間は, 合計1時間以上を標準とします。		
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし/No		【テキスト (教科書)】 内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		【参考書】 教科書によって文法の説明方式が異なるので, 指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。		
回	テーマ	内容		
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法		
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙譲形, 「なる」の用法・その1		
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形 (勧誘と命令の否定形), 長い不可能形		
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2		
5	第3課	文中の疑問形「～する(の)か, ～(の)か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ		
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」		

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。が、進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですが。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LAnk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 A II

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火5/Tue.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
10	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
11	第14課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形
12	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
13	第15課	テスト
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお勧めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)		7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾
朝鮮語3A I 2017年度以降入学者		8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつかの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入
梁 禮先		9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形 (大過去形), 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金5/Fri.5 単位数：1単位 その他属性：		10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】 1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む, 書く, 聞く, 話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。		11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ, 指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」
【到達目標】 授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。		12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】 各学部のディプロマ・ポリシーのうち, 以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4, 法学部・政治学科：DP1, 文学部：DP1, 経営学部：DP1		13	第8課	間接話法 (引用形)・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
【授業の進め方と方法】 「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。		14	テスト	テスト
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】 なし/No		【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】 復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも, 恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが, ことばを覚えることにもなり, 「話す」第一歩となるのです。 本授業の準備・復習時間は, 合計1時間以上を標準とします。		
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】 なし/No		【テキスト (教科書)】 内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社		
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		【参考書】 教科書によって文法の説明方式が異なるので, 指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。		
回	テーマ	内容		
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法		
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙譲形, 「なる」の用法・その1		
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形 (勧誘と命令の否定形), 長い不可能形		
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2		
5	第3課	文中の疑問形「～する(の)か, ～(の)か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ		
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」		

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。が、進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 A II

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金5/Fri.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のためほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」
10	第14課	副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
11	第14課	婉曲をあらわす形のためほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
12	第15課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形
13	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお勧めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

※30%以上の欠席の場合は不合格とします。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはありません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月 1/Mon.1

単位数：1 単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker (韓国人留学生) と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習	第1 自己紹介 課 文型・会話練習
2	第1課	第1課 ましょうか・ください 文型・会話練習
3	第1・2課	第1・2課 ましょう・たい、たがる・から、 歌 てくて
4	第2課	第2課 小試験
5	文型・会話練習 第2課	ウ不規則活用・できない ことにする・電話番号
6	文型・会話練習 第3課	第3課 ば、たら、と
7	文型・会話練習 第3課	第3課 てみる・ますね、ですね
8	文型・会話練習 第3・4課	第3・4課 連体形
9	文型・会話練習 第4課	第4課 小試験
10	文型・会話練習 第4課	第4課 ようと・ばいい でしょうか、ましようか・んで すよ
11	韓国人留学生との会 話	ネイティブと会話
12	文型・会話練習 第4課	第4課 たあと・ますよ、ますからね
13	文型・会話練習 第5課	第5課 ビウップ不規則活用・んですが
14	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト (教科書)】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300円+税

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70% (小試験、期末試験)、課題10%、平常点20% (参加度、積極性など)

期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。

欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので、留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月1/Mon.1

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speakerと簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオツ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ (推測)・そうだ (伝聞)
7	第7課 文型・会話練習	ますか (意志)・くなる
8	第7・8課 読解 文型・会話練習	中間試験 仕方を知っている・したことがある・ティグツ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから (意思)・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと100分会話する
11	第8課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第9課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第9課 文型・会話練習	ので・ている、とてもいい、ますが
14	ドラマ 期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト (教科書)】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト70% (小試験、期末試験)、課題10%、平常点20%
期末試験が50点以下の場合単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning objectives】

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B I

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ朝鮮語の基礎の定着を図りつつ、それを活用して会話に導いていきます。また、発音にも力をいれて、きれいな発音で自信を持って会話ができるように反復します。

【到達目標】

ハングル検定4級のレベルに合わせて、文法、単語、会話に力を入れます。身近な会話ができることが学習到達目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

復習と作文。

読む練習と発音練習。

文法説明。

会話。

練習問題。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	授業の進め方について	授業の進め方についての説明
2回目	韓国語上手になりましたか?	読むと文型について。
3回目	韓国語上手になりましたか?	練習問題について。
4回目	今日の授業は何限までありますか?	読む、文型について。
5回目	今日の授業は何限までありますか?	練習問題について。
6回目	趣味は何ですか?	読む、文型について。
7回目	趣味は何ですか?	文型について。
8回目	趣味は何ですか?	練習問題について。
9回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	読む、文型について。
10回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	文型について。
11回目	今日韓国へ来てから一年になりますよね?	練習問題について。
12回目	家族は日本にいらっしゃいますよね?	読む、文型について。
13回目	家族は日本にいらっしゃいますよね?	練習問題について。
14回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

課題。

韓国文化など韓国についての知識。

韓国ドラマやK-POPを活用する。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室用教材「中級韓国語－ハングル4級基準」 梁禮先

【参考書】

韓日・日韓辞典

【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60点以上が合格点です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など30%、期末試験70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

発音と会話をもっとやることなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業の内容は変わることがある。

【Outline (in English)】

< Course outline > We will make sure to establish a foundation on the content covered in the first year as well as using it to guide the conversation in Korean. We will also pay close attention to pronunciation to be able to confidently have a conversation with correct pronunciation through repetition.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to read naturally and have simple daily conversations with correct pronunciation.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

梁 禮先

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に続き、朝鮮語1・2で学んだ知識を利用し、実践的な練習を繰り返すことで朝鮮語を確実に身に付けることを目標にします。朝鮮語の会話をもっと自信を持って話すことができます。

【到達目標】

できれば、希望者はハングル検定4級に合格することも目標にしていきます。また、日常の簡単な会話ができることです。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

秋学期も春学期と同じ方法で、発音練習、作文練習、会話練習、読む練習などを毎回繰り返しながら授業を進めていきますが、もっと会話に力を入れます。

フィードバックなどは、学習支援システムなどを利用します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】
あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1回目	秋学期授業の進め方などについて	春学期の復習と本文の説明。
2回目	電話について	本文を読んで説明
3回目	電話について	文法の詳しい説明
4回目	電話について	会話と練習問題
5回目	夏休みには日本へ帰りますか?	本文を読んで説明
6回目	夏休みには日本へ帰りますか?	文法の詳しい説明
7回目	夏休みには日本へ帰りますか?	会話と練習問題
8回目	語学研修に行こうかと思えます	本文を読んで説明。
9回目	語学研修に行こうかと思えます	文法の詳しい説明
10回目	語学研修に行こうかと思えます	会話練習と練習問題
11回目	この頃天気がいいですね	本文を読んで説明
12回目	この頃天気がいいですね	文法の詳しい説明
13回目	この頃天気がいいですね	会話と練習問題
14回目	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

作文・会話・ヒアリングの練習など。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

教室用教材『中級朝鮮語－ハングル検定4級基準』（梁禮先）

【参考書】

「朝鮮語辞書」－朝鮮語の辞書ならどちらのものでも良し。

【成績評価の方法と基準】

総合評価の成績によります（100%）。60点以上が合格点です。（詳細は、平常点・小テスト・課題など30%、期末試験70%。）また、三分の一以上の欠席時は、成績評価基準にかかわらず、不合格になることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

会話練習をもっとやりたいなど。

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業内容は変わることがあります。

【Outline (in English)】

< Course outline > Following the spring semester, We aim to use the knowledge learned in Korean 1 and 2 to make sure to acquire solid Korean language skills through practice. It is important to have Korean conversations with confidence.

< Learning Objectives >

The goal is to be able to speak everyday conversations naturally. In addition, it is to pass the Hangul Nouryoku Kentei test level 4.

< Learning activities outside of classroom >

I will give you an assignment every time. Repeat reading practice and so on. The students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria /Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第3課	文中の疑問形、強調表現
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課	いくつかの助詞、「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiに登録してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金1/Fri.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第6課	疑問詞の不定詞的用法他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～しながら」、指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第8課	移動をあらわす合成動詞、用言の「である」形
8	第8課	間接話法1、反語表現
9	第9課	ハンダ体、間接話法2
10	第9課	「～しはじめる」、受身形
11	第10課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基
12	第10課	「～について」、「～しやすい/しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiに登録してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙の基礎を確実に定着させ、その上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

到達目標としてTOPIK（韓国語能力試験）Iレベルの合格を目指します。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を習得します。

課題や試験の勉強に取り組むことで、平易な小説が読めるようになります。

また到達目標としてTOPIK（韓国語能力試験）Iレベルの合格を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

小テストを実施します。

授業では教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取り、作文、発表をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	「～しながら」
2	第1課	「～している」
3	第2課	「～なので」
4	第2課	「～ようになる」
5	第3課	動詞・存在詞の現在連体形
6	第3課	「～ようだ」
7	第4課	形容詞・指定詞の現在連体形
8	第4課	「～と思っていた」「～とは知らなかった」
9	第5課	動詞の過去連体形
10	第5課	「～したことがある」
11	第6課	形容詞・指定詞・存在詞の過去連体形
12	第6課	「～ではありませんか」
13	第7課	用言の未来連体形、「～かもしれない」
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習時間は1回につき1時間以上が標準となります。

【テキスト（教科書）】

李美賢・李貞旼『楽しく学べる韓国語2』白水社2400円+税

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

【成績評価の方法と基準】

小テスト：30%

期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

ダウンロード音声の活用

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

Students aim to pass TOPIK (Korean Language Proficiency Test) I level as an achievement goal.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

到達目標としてTOPIK（韓国語能力試験）Iレベルの合格を目指します。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）を習得します。

課題や試験の勉強に取り組むことで、平易な小説が読めるようになります。

また到達目標としてTOPIK（韓国語能力試験）Iレベルの合格を目指します。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

小テストを実施します。

授業では教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取り、作文、発表をおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課	「～だが」「～けれど」
2	第8課	変則用言
3	第9課	「～のために」「～するために」
4	第9課	「～で有名だ」
5	第10課	「～すると」「～したら」
6	第10課	「～し始める」
7	第11課	「～するほど」「～であるほど」
8	第11課	「～くなる」
9	第12課	「～しようと」
10	第12課	「～してしまう」
11	第13課	「～して以来」
12	第13課	「～なのでしょいか」
13	第14課	ハンダ体
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

復習時間は1回につき1時間以上が標準となります。

【テキスト（教科書）】

李美賢・李貞旼『楽しく学べる韓国語2』白水社2400円+税

【参考書】

『朝鮮語辞典』小学館

【成績評価の方法と基準】

小テスト：30%

期末試験：70%

【学生の意見等からの気づき】

ダウンロード音声の活用

【学生が準備すべき機器他】

特にありません。

【Outline (in English)】

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

Students aim to pass TOPIK (Korean Language Proficiency Test) I level as an achievement goal.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B I

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。発音の不規則変化、文法の例外的用法、話し言葉と書き言葉で用いられる文体の規則性を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。文法を理解した後に練習問題で定着をはかります。毎回の授業で前回授業の単語と文型の小テストを実施して進めます。必要な場合はプリントを配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	初級の復習	基本単語、文型の確認、『しくみで学ぶ初級朝鮮語』本文の読み合わせ
2	第1課	希望表現・連体形・未来連体形を用いる語
3	第1課	希望表現と連体形の練習問題と作文、過去連体形と完了連体形
4	第2課	話し言葉「です・ます体」敬意体と非敬意体
5	第2課	書き言葉「だ・である体」平叙形・疑問形・勧誘形・命令形
6	第3課	引用文 指定詞・指定詞以外
7	第3課	引用文 引用接続形、
8	第3課	引用文 省略形、平叙文・疑問文・勧誘文・命令文の省略形
9	第4課	依頼表現
10	第4課	授受表現「あげる・やる・もらう・くれる」
11	第4課	敬語を用いた授受表現「下さる・いたす」、名詞・助詞の敬語
12	第5課	終声の活用変化、語基別の変化の整理とまとめ
13	まとめと総括	「だ・である体」の読解文
14	試験	学期内で学んだことの試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

よく復習してください。教科書の例文と本文を何度も読み、音声を聴き、書くことで身につけていきます。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭『はばだけ韓国語2』朝日出版社、2018年、2,400円

【参考書】

特にありません。補足プリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を50点に換算して、期末試験を50点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。ただし、欠席回数が多い場合は減点になります。欠席は学則に則って、基準を超過した場合は試験が受けられなくなるので注意してください。授業は公的なものなので他の用事よりも優先されるものだと考えてください。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業を欠席しないように心がけてください。欠席した100分授業の学習内容が抜け落ちた状態で授業に出ても連続性を保つことは困難です。欠席すると朝鮮語への関心も薄れてしまいますので、毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。

【Outline (in English)】

This course will stabilize the Korean sentence structure and basic vocabulary learned in the beginner's level, and improve application skills.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期までに学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。発音の不規則変化、文法の例外的用法、話し言葉と書き言葉で用いられる文体の規則性を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。文法を理解した後に練習問題で定着をはかります。毎回の授業で前回授業の単語と文型の小テストを実施して進めます。必要な場合はプリントを配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	春学期の復習	春学期の例文・文法項目の確認、本文読み合わせ
2	第5課	許可表現
3	第5課	いろいろな接続形 動作の先行・並立
4	第6課	提案表現・受け身
5	第6課	当為表現・推量
6	第7課	後悔と反省表現・帰結
7	第7課	使役表現
8	第7課	印象描写の表現
9	第8課	書き言葉の文章読解
10	第8課	結果状態の継続
11	第9課	受け身2
12	第9課	自動詞と他動詞
13	まとめと総括	「だ・である体の読解文」
14	試験	学期内で学んだことの試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

よく復習してください。教科書の例文と本文を何度も読み、音声を聴き、書くことで身につけていきます。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭『はばたけ韓国語2』朝日出版社、2018年、2,400円

【参考書】

特にありません。補足プリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を50点に換算して、期末試験を50点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。ただし、欠席回数が多い場合は減点になります。欠席は学則に則って、基準を超過した場合は試験が受けられなくなるので注意してください。授業は公的なものなので他の用事よりも優先されるものだと考えてください。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業を欠席しないように心がけてください。欠席した100分授業の学習内容が抜け落ちた状態で授業に出ても連続性を保つことは困難です。欠席すると朝鮮語への関心も薄れてしまいますので、毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。

【Outline (in English)】

This course will stabilize the Korean sentence structure and basic vocabulary learned up to the spring semester, and improve application skills.

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker (韓国人留学生) と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習	第1 自己紹介課
		文型・会話練習
2	第1課	ましょうか・ください
		文型・会話練習
3	第1・2課	ましょう・たい、たがる・から、歌
4	第2課	小試験
		文型・会話練習
5	第2課	ウ不規則活用・できない
		文型・会話練習
6	第3課	ことにする・電話番号
		文型・会話練習
7	第3課	ば、たら、と
		文型・会話練習
8	第3・4課	てみる・ますね、ですね
		文型・会話練習
9	第4課	連体形
		文型・会話練習
10	第4課	小試験
		文型・会話練習
11	第4課	ようと・ばいい
		文型・会話練習
12	第4課	でしょうか、ましょうか・んで
		文型・会話練習
13	第5課	すよ
		文型・会話練習
14	第5課	ネイティブと会話
		文型・会話練習
15	第5課	たあと・ますよ、ますからね
		文型・会話練習
16	第5課	ビウップ不規則活用・んですが
		文型・会話練習
17	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト (教科書)】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300円+税

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70% (小試験、期末試験)、課題10%、平常点20% (参加度、積極性など)

期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。

欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので、留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

その他属性:

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speakerと簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオツ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ (推測)・そうだ (伝聞)
7	第7課 文型・会話練習	ますか (意志)・くなる
8	第7・8課 読解 文型・会話練習	中間試験 仕方を知っている・したことがある・ティグツ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから(意思)・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと100分会話する
11	第8課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第9課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第9課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、とてもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。

辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は1時間を要する。

【テキスト (教科書)】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト70% (小試験、期末試験)、課題10%、平常点20%
期末試験が50点以下の場合単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning objectives】

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第3課	文中の疑問形、強調表現
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課	いくつかの助詞、「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト (教科書)】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月3/Mon.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第6課	疑問詞の不定詞的用法他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～しながら」、指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第8課	移動をあらわす合成動詞、用言の「である」形
8	第8課	間接話法1、反語表現
9	第9課	ハンダ体、間接話法2
10	第9課	「～しはじめる」、受身形
11	第10課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基
12	第10課	「～について」、「～しやすい/しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiに登録してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (= 言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第3課	文中の疑問形、強調表現
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課	いくつかの助詞、「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト (教科書)】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』, 内山政春著, 白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』, 内山政春著, 白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiiに登録してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第6課	疑問詞の不定詞的用法他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～しながら」、指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第8課	移動をあらわす合成動詞、用言の「である」形
8	第8課	間接話法1、反語表現
9	第9課	ハンダ体、間接話法2
10	第9課	「～しはじめる」、受身形
11	第10課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基
12	第10課	「～について」、「～しやすい/しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiに登録してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3B I

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	語基の復習他
2	第1課	語基の復習他
3	第1課	語基の復習他
4	第2課	「～している」の2つの形、禁止形
5	第2課	長い不可能形、助詞「～に」の用法
6	中間試験	中間試験
7	第3課	文中の疑問形、強調表現
8	第3課	存在詞と語尾の組み合わせ、方向をあらわす動詞
9	第4課	もうひとつの意思・推量形、シオッ不規則用言
10	第4課	動詞のこそあどことば、副詞をつくる方法
11	第5課	用言の名詞形、「～することはする」
12	第5課	いくつかの助詞、「～という」の短縮形
13	春学期のまとめ	春学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。その他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiに登録してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

It aims to comprehensively improve each ability of "reading, writing, listening, talking" on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力（＝言いたいことが言える力）をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業の初めに毎回小テストを実施します。

教科書の語彙と文法の説明の後で各自練習問題を解き、音読と聞き取りをおこないます。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第6課	疑問詞の不定詞的用法他
2	第6課	大過去形他
3	第6課	へヨ体の命令形他
4	第7課	「～して」をあらわすふたつの形
5	第7課	「～しながら」、指定詞の第Ⅲ語基
6	中間試験	中間試験
7	第8課	移動をあらわす合成動詞、用言の「である」形
8	第8課	間接話法1、反語表現
9	第9課	ハンダ体、間接話法2
10	第9課	「～しはじめる」、受身形
11	第10課	概数の表現、間接話法と第Ⅲ語基
12	第10課	「～について」、「～しやすい/しにくい」
13	秋学期のまとめ	秋学期のまとめ
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

小テストのための復習には標準30分以上は必要です。この他、課の終わりにある作文練習などの課題に取り組む時間と中間試験、期末試験の準備の時間が別途必要です。

【テキスト（教科書）】

『しくみで学ぶ中級朝鮮語』、内山政春著、白水社。

初回の授業から使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社。

1年で使用した教科書です。授業時に持参して参照してください。

【成績評価の方法と基準】

小テスト20%

中間試験40%

期末試験40%

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・教科書は初回から使用しますので、必ず持参してください。

・授業開始前にHoppiに登録してください。

・シラバスは状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, it aims to comprehensively improve each ability of "Reading, Writing, Listening, Talking".

< Learning Objectives >

The goal is for students to be able to read and write the sentences they learned in class, to be able to say them out loud, and to gradually acquire the ability to create sentences on their own (= the ability to say what they want to say).

< Learning activities outside of classroom >

It usually takes at least 30 minutes to review for a quiz. In addition, you will need additional time to work on assignments such as writing practice at the end of the lesson, and time to prepare for midterm and final exams.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 20%

Midterm exam 40%

Final exam 40%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B I

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級で学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。発音の不規則変化、文法の例外的用法、話し言葉と書き言葉で用いられる文体の規則性を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。文法を理解した後に練習問題で定着をはかります。毎回の授業で前回授業の単語と文型の小テストを実施して進めます。必要な場合はプリントを配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし / No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	初級の復習	希望表現と連体形の練習問題と作文、過去連体形と完了連体形
2	第1課	話し言葉「です・ます体」敬意体と非敬意体
3	第1課	書き言葉「だ・である体」平叙形・疑問形・勧誘形・命令形
4	第2課	話し言葉「です・ます体」敬意体と非敬意体
5	第2課	書き言葉「だ・である体」平叙形・疑問形・勧誘形・命令形
6	第3課	引用文 指定詞・指定詞以外
7	第3課	引用文 引用接続形
8	第3課	引用文 平叙文・疑問文・勧誘文・命令文の省略形
9	第4課	依頼表現
10	第4課	授受表現「あげる・やる・もらう・くれる」
11	第4課	敬語を用いた授受表現「下さる・いたす」、名詞・助詞の敬語
12	第5課	終声の活用変化、語基別の変化の整理とまとめ
13	まとめと総括	「だ・である体」の読解文
14	試験	学期内で学んだことの試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

よく復習してください。教科書の例文と本文を何度も読み、音声を聴き、書くことで身につけていきます。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭『はばたけ韓国語2』朝日出版社、2018年、2,400円

【参考書】

特にありません。補足プリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を50点に換算して、期末試験を50点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。ただし、欠席回数が多い場合は減点になります。欠席は学則に則って、基準を超過した場合は試験が受けられなくなるので注意してください。授業は公的なものなので他の用事よりも優先されるものだと考えてください。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業を欠席しないように心がけてください。欠席した100分授業の学習内容が抜け落ちた状態で授業に出ても連続性を保つことは困難です。欠席すると朝鮮語への関心も薄れてしまいますので、毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。

【Outline (in English)】

This course will stabilize the Korean sentence structure and basic vocabulary learned in the beginner's level, and improve application skills.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

河合 紀子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水3/Wed.3

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

春学期までに学んだ朝鮮語の文の構造と基本的語彙の定着を深め、応用力を高めます。

【到達目標】

初級で学習した文章より長く難解な文章を読めるようになることが目標です。発音の不規則変化、文法の例外的用法、話し言葉と書き言葉で用いられる文体の規則性を学びます。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

教科書を中心に進めます。文法を理解した後に練習問題で定着をはかります。毎回の授業で前回授業の単語と文型の小テストを実施して進めます。必要な場合はプリントを配布します。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

なし/No

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習	春学期の例文・文法項目の確認、本文読み合わせ
2	第5課	許可表現
3	第5課	いろいろな接続形 動作の先行・並立
4	第6課	提案表現・受け身
5	第6課	当為表現・推量
6	第7課	後悔と反省表現・帰結
7	第7課	使役表現
8	第7課	印象描写の表現
9	第8課	書き言葉の文章読解
10	第8課	結果状態の継続
11	第9課	受け身2
12	第9課	自動詞と他動詞
13	まとめと総括	「だ・である体の読解文」
14	試験	学期内で学んだことの試験

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

よく復習してください。教科書の例文と本文を何度も読み、音声を聴き、書くことで身につけていきます。

【テキスト（教科書）】

野間秀樹・金珍娥・高権旭『はばたけ韓国語2』朝日出版社、2018年、2,400円

【参考書】

特にありません。補足プリントを配布します。

【成績評価の方法と基準】

毎回の小テストを12回(初回と最終回は実施されません)を50点に換算して、期末試験を50点とします。合計点数100点が満点で、60点以上で合格になります。ただし、欠席回数が多い場合は減点になります。欠席は学則に則って、基準を超過した場合は試験が受けられなくなるので注意してください。授業は公的なものなので他の用事よりも優先されるものだと考えてください。

【学生の意見等からの気づき】

特にありません。

【その他の重要事項】

授業を欠席しないように心がけてください。欠席した100分授業の学習内容が抜け落ちた状態で授業に出ても連続性を保つことは困難です。欠席すると朝鮮語への関心も薄れてしまいますので、毎回の授業に積極的に取り組んでほしいと思います。毎時間の授業の後でよく復習して、理解できていないところがあったら次回授業で質問してください。

【Outline (in English)】

This course will stabilize the Korean sentence structure and basic vocabulary learned up to the spring semester, and improve application skills.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)		7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾	
朝鮮語4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：金4/Fri.4					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】		8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつかの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入	
【到達目標】					
授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】		9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形 (大過去形), 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, ヘヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1	
各学部のディプロマ・ポリシーのうち, 以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2					
【授業の進め方と方法】					
「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】		10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」	
なし / No					
【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ, 指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」	
回	テーマ	内容			
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法	12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
2	第1課	ピウプ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙譲形, 「なる」の用法・その1	13	第8課	間接話法 (引用形)・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形 (勧誘と命令の否定形), 長い不可能形	14	テスト	テスト
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2	【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】		
5	第3課	文中の疑問形「～する(の)か, ～(の)か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ	復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも, 恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが, ことばを覚えることにもなり, 「話す」第一歩となるのです。		
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」	本授業の準備・復習時間は, 合計1時間以上を標準とします。		
		【テキスト (教科書)】			
		内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社			
		【参考書】			
		教科書によって文法の説明方式が異なるので, 指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。			

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですが。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LAnk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 A II

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：金4/Fri.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7 第12課

「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8 第13課

態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」

9 第13課

漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」

11 第14課

婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか

12 第15課

動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形

13 第15課

用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお勧めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が高いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)		7	第4課	意思, 推量をあらわすもう1つの形, 接続形「～すると, ～したら」, ショット不規則用言, 接続形「～していて」, 接続形「～してこそ」, 形容詞から動詞をつくる・その1, 動詞のこそあどことば, 「～したあとに, ～してから」, やわらかい疑問詞疑問文, 「～してしまう」, 副詞をつくる語尾	
朝鮮語4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：木5/Thu.5					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】		8	第5課	用言の体言形・その1, 「～することはする, ～するにはする」, 「～することにする」, 「～しようと思う」, 「～という」の短縮形, 変化をあらわす助詞「～に」, いくつかの助詞, 「～する方だ」, 「～な方だ」, 「～に比べて, ～に比べると」, 長い否定形, 長い不可能形の助詞挿入	
【到達目標】					
授業で学んだ文の読み書きができ, 声に出して言えるほか, 自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】		9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば, 「～したりする, ～だったりする」, 「～に行く」と「～にくる」, 疑問詞の不定詞的用法, 「～という」の後半省略形, 用言のこそあどことばの用法, 根拠をもった推量「～するようだ, ～のようだ」, 過去形の過去形 (大過去形), 推量をあらわす「～するはずだが」, 助詞「～と」の話しことば, へヨ体の命令形, 合成語の濃音化・その1	
各学部のディプロマ・ポリシーのうち, 以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4, 法学部・政治学科：DP1, 文学部：DP1, 経営学部：DP1, 人間環境学部：DP2					
【授業の進め方と方法】					
「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が, 後者は日本語を母語とする教員が, それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい, 授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】		10	第7課	もう1つの疑問形, 確認や同意をあらわす形, 「～して」をあらわす2つの形・その1, 接続詞「～ながら」, 「～くなる, ～するよう／～することになる」	
なし / No					
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ, 指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形, 用言の体言形を用いた表現・その1, 助詞「～から」の用法, 勧誘形「～しよう」	
回	テーマ	内容			
1	第1課	語基の復習, 話しことばと書きことば, 接続形「～するから」, こそあどことばの用法			
2	第1課	ピウ不規則用言, 「くださる」と「さしあげる」, 「～してくださる」と「～してさしあげる」, よく用いられる謙譲形, 「なる」の用法・その1	12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」, 指定詞の否定形を用いた接続形, 価格などをあらわす助詞「～で」, 「～のもの」と濃音化, 疑問形「～するの」, 命令形「～しろ, ～せよ」, 平叙形「～する, ～である」
3	第2課	動作終了後の「～している」, 禁止形 (勧誘と命令の否定形), 長い不可能形			
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」, 勧誘, 命令をあらわすていねいな形, 漢数字の粒読み, 選択をあらわす助詞「～に」, 「なる」の用法・その2	13	第8課	間接話法 (引用形)・その1, 否定形の反語的用法, 「～しそうだ」, 「～でたまらない」
5	第3課	文中の疑問形「～する(の)か, ～(の)か」, 強調の表現「～のだ」, 接続形「～するように」, 存在詞と語尾の組み合わせ	14	テスト	テスト
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形, 方向をあらわす動詞, 意思, 推量をあらわす「～するつもりだから, ～するはずだから」, 助詞「～で, ～に」			
【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】					
復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも, 恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが, ことばを覚えることにもなり, 「話す」第一歩となるのです。					
本授業の準備・復習時間は, 合計1時間以上を標準とします。					
【テキスト (教科書)】					
内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社					
【参考書】					
教科書によって文法の説明方式が異なるので, 指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も活用してください。					

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですが。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LAnk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 4 A II

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木5/Thu.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」
9	第13課	漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」、「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」
11	第14課	婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
12	第15課	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形
13	第15課	用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお勧めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が高いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですよ。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)		7	第4課	意思、推量をあらわすもう1つの形、接続形「～すると、～したら」、シオッ不規則用言、接続形「～していて」、接続形「～してこそ」、形容詞から動詞をつくる・その1、動詞のこそあどことば、「～したあとに、～してから」、やわらかい疑問詞疑問文、「～してしまう」、副詞をつくる語尾	
朝鮮語4 A I					
2017年度以降入学者					
内山 政春					
開講時期：春学期授業/Spring 曜日・時限：火1/Tue.1					
単位数：1単位					
その他属性：					
【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】		8	第5課	用言の体言形・その1、「～することはする、～するにはする」、「～することにする」、「～しようと思う」、「～という」の短縮形、変化をあらわす助詞「～に」、いくつかの助詞、「～する方だ」、「～な方だ」、「～に比べて、～に比べると」、長い否定形、長い不可能形の助詞挿入	
【到達目標】					
授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。					
【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】		9	第6課	「～しようと思う」と「～という」の話しことば、「～したりする、～だったりする」、「～に行く」と「～にくる」、疑問詞の不定詞的用法、「～という」の後半省略形、用言のこそあどことばの用法、根拠をもった推量「～するようだ、～のようだ」、過去形の過去形 (大過去形)、推量をあらわす「～するはずだが」、助詞「～と」の話しことば、へヨ体の命令形、合成語の濃音化・その1	
各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2					
【授業の進め方と方法】					
「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。					
【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施)】		10	第7課	もう1つの疑問形、確認や同意をあらわす形、「～して」をあらわす2つの形・その1、接続詞「～ながら」、「～くなる、～するよう／～することになる」	
なし / No					
【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】					
なし / No					
【授業計画】 授業形態：対面/face to face		11	第7課	指定詞の第Ⅲ語基のまとめ、指定詞の第Ⅲ語基のもう1つの形、用言の体言形を用いた表現・その1、助詞「～から」の用法、勧誘形「～しよう」	
回	テーマ	内容			
1	第1課	語基の復習、話しことばと書きことば、接続形「～するから」、こそあどことばの用法	12	第8課	合成動詞「～していく」と「～してくる」、指定詞の否定形を用いた接続形、価格などをあらわす助詞「～で」、「～のもの」と濃音化、疑問形「～するの?」、命令形「～しろ、～せよ」、平叙形「～する、～である」
2	第1課	ピウ不規則用言、「くださる」と「さしあげる」、「～してください」と「～してさしあげる」、よく用いられる謙譲形、「なる」の用法・その1	13	第8課	間接話法 (引用形)・その1、否定形の反語的用法、「～しそうだ」、「～でたまらない」
3	第2課	動作終了後の「～している」、禁止形 (勧誘と命令の否定形)、長い不可能形	14	テスト	テスト
4	第2課	他動詞と用いられる助詞「～に」、勧誘、命令をあらわすていねいな形、漢数字の粒読み、選択をあらわす助詞「～に」、「なる」の用法・その2			
5	第3課	文中の疑問形「～する(の)か、～(の)か」、強調の表現「～のだ」、接続形「～するように」、存在詞と語尾の組み合わせ			
6	第3課	感嘆をあらわすもう1つの形、方向をあらわす動詞、意思、推量をあらわす「～するつもりだから、～するはずだから」、助詞「～で、～に」			
【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】					
復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。					
本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。					
【テキスト (教科書)】					
内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社					
【参考書】					
教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお薦めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。					

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60 点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習(準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が早いと思う受講者は必要に応じて次回の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずですが。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語 3 A」と「朝鮮語 4 A」はそれぞれ 3 クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the first year.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LAnk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4 A II

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火1/Tue.1

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

【到達目標】

授業で学んだ文の読み書きができ、声に出して言えるほか、自分で文を作り出す力 (=言いたいことが言える力) をだんだんと身につけていくことが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語3 A」と「朝鮮語4 A」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。前者は朝鮮語を母語とする教員が、後者は日本語を母語とする教員が、それぞれの特徴を生かした授業を行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅で作ってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。またそれぞれの授業で必要に応じて独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第9課	ハンダ体、間接話法 (引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」
2	第9課	態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基
4	第10課	特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思ふ」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2
6	第11課	漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

7 第12課

「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」

8 第13課

態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」

9 第13課

漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」

11 第14課

婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか

12 第15課

動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形

13 第15課

用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をとともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方

14 テスト

テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習の時間を多く取ってください。与えられた課題はかならずやるようにしてください。授業中でも家での復習でも、恥ずかしがらずに声を出して読んでみるのが、ことばを覚えることにもなり、「話す」第一歩となるのです。

本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。辞書は小学館の『朝鮮語辞典 (韓日辞典)』をお勧めします。参考書として昨年度用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』も活用してください。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります (100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、上記の成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

・上の【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】では予習については触れませんでした。進度が高いと思う受講者は必要に応じて次の項目に一通り目を通したり、練習問題の覚えていない単語を調べておくなり、各自努力をして授業の進度に合わせるようにしてください。

・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。

・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。上の【成績評価の方法と基準】に書いたとおり成績は期末テストによるとはいえ、ふだん授業に出ないで期末テストだけを受ける、というような非常識な行動はやめてください。

【その他の重要事項】

「朝鮮語3A」と「朝鮮語4A」はそれぞれ3クラスあります。リレー授業を行ないますので、指定された組み合わせどおりに履修してください。また受講者のレベルによって授業の進め方や進度に多少変更がありうることをご了承ください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This class aims to comprehensively improve each ability of reading, writing, listening and talking, on the basis of grammar and vocabulary learned in the spring semester.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be expected to master more complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination (100%)

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語(3) I

2017年度以降入学者

李 英美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

このクラスでは中級レベルの基本文型の例文を増やし、それにとりまなう新しい単語を習得することによって語彙力を養成します。また口頭による発音の直接伝授を繰り返して行います。

【到達目標】

朝鮮語の中級レベルの文法と語彙を確かなものにし、新しい語彙について正確な発音を身につけることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法法学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って進みますが、本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。

各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし / No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	自己紹介	連体形と時制
第2回	出会い	用言の縮約形、－してから、－になる、－だろう(か)・だよ・なさい
第3回	外国語	－くなる、－すること、－であること
第4回	学籍番号	数字の読み方と発音、－から・ので、－しても・でも。－する・するよ
第5回	食べ物	－みたいだ・ようだ、－くて・なので、－できない
第6回	学生生活	－けれど(も)・から・のに・ね・か、－できる・できない、－する
第7回	小テスト	「語彙力の確認」
第8回	タクシー	－ねばならない、－かも知れない、－するか?・だろうか?
第9回	遅刻	－ようだ・そうだ・みたいだ・－していて・する途中で、－し(て)・で
第10回	コーヒーショップ	－か?・かな?・かい?。－からだ・ならば、－するが・だが
第11回	これまでの復習	「連体形と不規則用言のまとめ」
第12回	招待	－したところ。したと思ったら・だったが、－する、－だ、－すると・だと・からといって
第13回	礼儀	－したらずぐ・するままに、－するように・く・に、－してはじめて・してこそ・しなければ
第14回	まとめとテスト	これまでに学習してきたことのまとめと期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習に重点をおいて毎課の単語をその都度暗記すること。

テキスト付属のCDを毎日15分ずつ聞くこと。

【テキスト (教科書)】

高島淑郎『書いて覚える中級朝鮮語』白水社

【参考書】

随時必要な資料を配布

辞書は授業中に紹介

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業に対する態度・小テスト) 50%・期末試験50%を総合して評価

【学生の意見等からの気づき】

板書をきれいにすること

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

・授業を3分の1以上欠席すると、原則として期末試験は受けられないものとする。

・期末試験を受けないと、単位はとれない。

・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM情報は授業開始の前週までにHOPPIでお知らせします。

・第2回目以降の授業形態については、第1回目の際に伝えます。

・期末テストは最後の授業日に対面で実施します。

【Outline (in English)】

【授業概要 (Course outline)】

The aim of this course is to help students acquire intermediate-level vocabulary through the acquisition of new words and sentence patterns.

【到達目標 (Learning Objectives)】

The goals of this course are to ensure intermediate level grammar, vocabulary and correct pronunciation.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policies)】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, Short reports: 20%, in class contribution: 30%

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語(3) II

2017年度以降入学者

李 英美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火2/Tue.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に続き秋学期を通しては、初級に続き、主に漢数詞と固有数詞・助詞などの品詞の使い方、用言の語尾の基本的変化（現在と過去、普通語と敬語、意志・推量・控え目と命令）について学びます。

【到達目標】

以上の授業内容を用いた基本文型をマスターし、簡単な文が作れることと基礎会話ができることを授業目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法文学部・国際政治学科：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストに沿って毎回1課ずつ進みます。本文内容の理解を助けるために韓国の文化などを紹介する映像を適宜用います。

各課の「テーマ」を表現するために、「内容」にある文型を学んでいきます。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	露天街	- く見える、- とは・なんて、 - いたす
第2回	植民地時代	- だろうよ・と思うよ、- として
第3回	仲直り	- ことで・で、- するならば・ ならば。- しようかと思う・だ ろうかという
第4回	寝不足	- するのかと・のかと、- しよう うってば
第5回	ぞんざいな言葉	- するのか・なのか、- よ・さ・ なの?・なのか?
第6回	占い	- することは~する・であるこ とは~である、- することがで きる・できない、- であり得 る・であり得ない、- するっ て・だって
第7回	俗語	- ね・な、- しに
第8回	小テスト	「語彙力のテスト」
第9回	思い出	- よ・ね・だったよ・だったね、 - して・で
第10回	ベトナム	- しろって (さ)・するからって (さ)・かって (さ)・しようって (さ)
第11回	準備	- でも、- するつもりだから・ だろうから・するはずだから・ するから
第12回	軍隊	- するのか・なのか、- するこ とになる・になる
第13回	日記	短い文の日本語訳、朗読
第14回	まとめとテスト	変速用言のまとめと期末テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

復習に重点をおいて毎課の単語をその都度暗記すること

テキスト付属のCDを毎日15分ずつ聞くこと

【テキスト (教科書)】

高島淑郎『書いて覚える中級朝鮮語』白水社

【参考書】

随時必要な資料を配布

辞書は授業中に紹介

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業に対する態度・小テスト) 50%、期末試験50%を総合して評価

【学生の意見等からの気づき】

板書をきれいにすること

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

・授業を3分の1以上欠席すると、原則として期末試験は受けられないものとする。

・期末試験を受けないと、単位はとれない。

・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM情報は授業開始の前週までにHOPPIでお知らせします。

・第2回目以降の授業形態については、第1回目の際に伝えます。

・期末テストは最後の授業日に対面で実施します。

【Outline (in English)】**【授業概要 (Course outline)】**

The aim of this course is to help students acquire intermediate-level vocabulary through the acquisition of new words and sentence patterns.

【到達目標 (Learning Objectives)】

The goals of this course are to ensure intermediate level grammar, vocabulary and correct pronunciation.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Before/after each class meeting, students will be expected to spend four hours to understand the course content.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policies)】

Your overall grade in the class will be decided based on the following Term-end examination: 50%, Short reports: 20%, in class contribution: 30%

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語7

2017年度以降入学者

内山 政春

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

2年次秋学期のS Aに備えます。

【到達目標】

S Aに通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3級」に編入できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語7」「朝鮮語8」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。それぞれの授業で必要に応じ独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします。
2	第9課	ハンダ体、間接話法(引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」、態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基、特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2、漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

6	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」、漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
9	第14課	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
10	口頭練習	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形、用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
11	第15課	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
12	口頭練習	既習の文法・語彙知識を用いてある程度の長さの文章を読む練習を行ないます。
13	よみもの	テスト
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

ボアソナードタワー20階の国際文化学部資料室には検定試験の問題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので活用してみましょう。

本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

共通テキスト：内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。昨年春学期に用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も参考書として活用してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典(旧：朝鮮語辞典)』、語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお薦めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！評価が90パーセントに満たないところ(たとえばHave fun Japanなど)はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります(100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか?」ということを考える習慣をつけましょう。
- ・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。
- ・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be able to learn complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hours to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination(100%)

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 8

2017年度以降入学者

高柳 俊男

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：金2/Fri.2

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

1年次で学んだ文法と語彙の基礎の上に、「読む、書く、聞く、話す」の各能力を総合的に向上させることを目的とします。

2年次秋学期のS Aに備えます。

【到達目標】

S Aに通用する語学力の習得、具体的には韓国外国語大「韓国語文化教育センター」の「3級」に編入できることを目標とします。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

「朝鮮語7」「朝鮮語8」「朝鮮語コミュニケーションⅢ」は共通教材を軸にリレー方式で行ないます。各課の学習事項が盛り込まれた作文練習は自宅でやってきてもらい、授業で答え合わせするのを原則とします。それぞれの授業で必要に応じ独自の教材も併用します。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】

なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	導入	前学期の復習と今学期の方針の説明をします。
2	第9課	ハンダ体、間接話法(引用形)・その2、第Ⅲ語基と合成動詞、「～しはじめる」、書きことばでの接続形「～し」、態と受身形、助詞「～の」、話し手の主張をあらわす形、母音「エ」の省略
3	第10課	数量の強調や概数などをあらわす助詞、「～してから」、間接話法と第Ⅲ語基、特別な否定形をもつ用言の反語、疑問詞と「～も」、「～だと思う」、「～について、～に関して」、もう1つの過去連体形・その1、用言の体言形を用いた表現・その2
4	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
5	第11課	手段、状況をあらわす「～して」、「～そうにみえる」、「～のため、～のせい」、合成語の濃音化・その2、漢字語の濃音化、「～ようだ」、意向をたずねる話しことば、タメグチ疑問形の話しことば、「～してから」

6	第12課	「～する考え、～するつもり」、「～と考える、～と思う」、「～のため」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その1、「～して」の話しことば、親族名称とその尊敬形、助詞の尊敬形、「くれる、～してくれる」の間接話法、間接話法の話しことばと省略形、ハンダ体平叙形の用法、遠回しな希望の表現、「～とおりに、～するとおりに」
7	口頭練習	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
8	第13課	態と使役形、2ケタの固有数字、「～わけだ、～ようなものだ」、漢字の音読みと訓読み、形容詞から動詞をつくる・その2、疑問詞につく「～か」、もう1つの過去連体形・その2、助詞「～から」、接続形「～するやいなや」「～することになる」、副詞形を作る「～して」、「～通って」、他動詞に用いられる「～して」、動作の経過をあらわす「～していく、～してくる」、「～のあいだ、～するあいだ」、婉曲をあらわす形のそのほかの意味・その2、単位とともに用いられる漢数字と固有数字、「～にあたいする」、体験をあらわす形・その1、否定の表現いくつか
9	第14課	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
10	口頭練習	動作の完了を強調する形、「～しようかと思う」、体験をあらわす形・その2、「～だけだ」、「～しなければならない」の短縮形、用言の体言形・その2、選択をあらわす「～するか～する、～したり～する」、合成動詞と接続形の「～して」をともに用いる動詞、「する」の第Ⅲ語基の書きことば、年月日と週の言い方
11	第15課	復習を兼ねた口頭練習を行ないます。
12	口頭練習	既習の文法・語彙知識を用いてある程度の長さの文章を読む練習を行ないます。
13	よみもの	テスト
14	テスト	テスト

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

ボアソナードタワー20階の国際文化学部資料室には検定試験の問題集や韓国で出版されている各大学の語学テキストなどを多数取り揃えていますので活用してみましょう。

本授業の準備・復習時間は、合計1時間以上を標準とします。

【テキスト (教科書)】

共通テキスト：内山政春『しくみで学ぶ中級朝鮮語』白水社

【参考書】

教科書によって文法の説明方式が異なるので、指定のテキストに集中してください。昨年春学期に用いた『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』も参考書として活用してください。辞書は中辞典として小学館の『韓日辞典(旧：朝鮮語辞典)』、語彙数は少ないが文法・発音説明が充実しているものとして白水社の『コスモス朝和辞典』をお勧めします。後者は版元品切ですが、アマゾンで中古品を購入することができます。ただし悪徳業者に注意！評価が90パーセントに満たないところ(たとえばHave fun Japanなど)はすべて詐欺と断定してかまいません。在庫がないのに注文を受け、安いところから買って転売する、それができない場合向こうからキャンセルしてくるという手口です。

本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【成績評価の方法と基準】

期末テストの成績によります(100%)。60点以上が合格です。なお、あまりに欠席が多い場合には、この成績評価基準にかかわらず不合格とすることがあります。

【学生の意見等からの気づき】

- ・語学の勉強は授業時間内だけで完結するものではありません。日常生活のなかで「朝鮮語ではどう表現するのか?」ということを考える習慣をつけましょう。
- ・作文練習をはじめとする練習問題の朝鮮語文はすべて出版社のサイトからダウンロードできる音声データに録音されています。解答をまとめて配布することはしません。音声データを聞き取って自分で解答を作るぐらいの意気込みで学びましょう。結果的に聞き取りの力も上達するはずです。
- ・やむを得ない事情以外での欠席を避けてください。

【Outline (in English)】

< Course outline >

In this class, we continue to learn basic grammar and vocabulary in detail on the premise what you learned in the spring semester have been mastered enough.

< Learning Objectives >

By the end of this course, students will be able to learn complicated expressions in Korean.

< Learning activities outside of classroom >

After each class meeting, students will be expected to spend one hours to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Term-end examination(100%)

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 - I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

テキストに出てくる約1200語の単語をもとに、初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「話す、聞く、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

【到達目標】

学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけること、聞き取り能力の向上を図ることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習や翻訳する練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課 文法の説明、練習 問題 読解、会話	逆接「～けれど」並列、順序 「～して」、根拠「～なんです」、 意図・計画「～しようと」
2	第2課 文法の説明、練習問 題	理由・前提動作「～ので、～の ために」
3	第2課 読解、会話	決心「～することにする」、不可 能「～できない」
4	第3課 文法の説明、練習問 題	仮定「～すれば」、目的「～しに」
5	第3課 読解、会話	「～してあげる、くれる」、助詞 「～や、でも」
6	第4課 文法の説明、練習問 題	確認・同意「～でしょうか」、 「～じゃないですか」
7	第4課 読解、会話	パンマル (へ体)、感嘆・発見 「～ですね、ますね」、変則用言
8	第5課 文法の説明、練習問 題	意志「～する(?)します(か)」、 「～く、ように」、～するようにな る」
9	第5課 読解、会話	禁止「～しない」、願望「～だっ たらいいな」
10	第6課 文法の説明、練習問 題	状態「～している、していらっ しゃる」、意志・約束「～します よ、しますから」
11	第6課 読解、会話	試行「～してみる」、勧誘「～し よう」
12	第7課 文法の説明、練習問 題	強い意志「～しなければ、～し なくちゃ」、譲歩「～しても」

13 第7課 可能・不可能「～できる・でき
ない」、強い条件「～してこそ、
～しなければならない」

14 期末試験 試験、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

金京子著『読んでみよう韓国語-中級読解コース』白水社

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストの音読練習を繰り返すことと言葉のリズムやイントネーションに慣れましょう。そうした練習を積み重ねつつ、話す・聞く・読む・書く能力をつけていきます。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

Based on approximately 1,200 words in the text, students will steadily learn basic grammar at the late beginner to intermediate level, aiming to improve their overall ability in speaking, listening, reading, and writing.

【到達目標 (Learning Objectives)】

This class aims to be able to speak simple conversational Korean using acquired knowledge and contents, to write compositions, to equip for reading ability, and listening comprehension.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3-II

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに出てくる約1200語の単語をもとに、初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「話す、聞く、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

【到達目標】

春学期に使用したテキストの後半部分を進めていきます。学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけること、聞き取り能力の向上を図ることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課 文法の説明、練習問題 読解、会話	復習 許可の表現、「～して」の類似表現の比較
2	第9課 文法の説明、練習問題	話し手の意志、推量、理由と契機 本文、単語の確認
3	第9課 読解、会話	提案の表現、受け身（1）
4	第10課 文法の説明、練習問題	当為の表現「～しなければならない」 本文、単語の確認
5	第10課 読解、会話	後悔と反省の表現、帰結の表現 「～するようになる」
6	第11課 文法の説明、練習問題	使役の表現、印象描写「～みたいた」
7	第11課 読解、会話	接続形語尾の復習 本文、単語の確認
8	第12課 文法の説明、練習問題	書き言葉の文章を読む（1）、漢字語について（1）
9	第12課 読解、会話	結果状態の継続 本文、単語の確認
10	第13課 文法の説明、練習問題	ソウル言葉や方言について概観する
11	第13課 読解、会話	ソウル言葉や方言について概観する
12	第14課 文法の説明、練習問題	書き言葉の文章を読む（2）、受け身（2）、漢字語について（2）

13	第14課 読解、会話	本文、単語の確認 総まとめ
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

金子子著『読んでみよう韓国語-中級読解コース』白水社

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストの音読練習を繰り返し行うことで言葉のリズムやイントネーションに慣れましょう。そうした練習を積み重ねつつ、話す・聞く・読む・書く能力をつけていきます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Based on approximately 1,200 words in the text, students will steadily learn basic grammar at the late beginner to intermediate level, aiming to improve their overall ability in speaking, listening, reading, and writing.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to be able to speak simple conversational Korean using acquired knowledge and contents, to write compositions, to equip for reading ability, and listening comprehension.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 - I

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書く能力を総合的に向上させる。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker (韓国人留学生) と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、翻訳などの課題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等) の実施】

あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等) の実施】

なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	一年次の復習 第1課	自己紹介
	文型・会話練習	
2	第1課	ましょうか・ください
	文型・会話練習	
3	第1・2課	ましょう・たい、たがる・から、歌
4	第2課	小試験
	文型・会話練習	ウ不規則活用・できない
5	第2課	ことにする・電話番号
	文型・会話練習	
6	第3課	ば、たら、と
	文型・会話練習	
7	第3課	てみる・ますね、ですね
	文型・会話練習	
8	第3・4課	連体形
	文型・会話練習	
9	第4課	小試験
	文型・会話練習	ようと・ばいい
10	第4課	でしょうか、ましょうか・んで
	文型・会話練習	すよ
11	韓国人留学生との会話	ネイティブと会話
12	第4課	たあと・ますよ、ますからね
	文型・会話練習	
13	第5課	ピウップ不規則活用・んですが
	文型・会話練習	
14	期末試験	期末試験 まとめ

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。
本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト (教科書)】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300円+税

【参考書】

韓日辞典 小学館

【成績評価の方法と基準】

テスト70% (小試験、期末試験)、課題10%、平常点20% (参加度、積極性など)

期末試験が50点以下の場合は単位が出ない。

欠席4回以上で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力を得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

[Course outline and learning objectives]

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

[Learning activities outside of classroom]

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

[Grading criteria /policy]

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3-II

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水5/Wed.5

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

初級後半から中級の語彙・文型を学び、話し・読み・聞き・書けるようにする。

【到達目標】

語彙・文型の知識が増強できる。
正しい発音ができるようになる。
native speaker と簡単な会話ができるようになる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。人間環境学部：DP2

【授業の進め方と方法】

- 1 単語と文型を予習する。
- 2 文型練習をする。
- 3 会話練習をする。
- 4 自宅で作文、暗誦、読解の宿題をする。
- 5 小テスト。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	復習 第5課 文型・会話練習	夏休みの話 が、けれども・シオッ不規則活用
2	第5課 読解 文型・会話練習	ことができる・しない
3	第6課 文型・会話練習	するつもりです・でも
4	第6課 歌	ながら・まだしていな・にくい
5	第6課 文型・会話練習	するようだ・しそうだ
6	第7課 文型・会話練習	いようだ（推測）・そうだ（伝聞）
7	第7課 文型・会話練習	ますか（意志）・くなる
8	第7・8課 読解 文型・会話練習	中間試験 仕方を知っている・したことがある・ティグッ不規則活用
9	第8課 文型・会話練習	するから（意思）・ばいと思う
10	韓国人留学生との会話	ネイティブと100分会話する
11	第8課 文型・会話練習	ていて、する途中で
12	第9課 文型・会話練習	なければならない・てはいけない
13	第9課 文型・会話練習 ドラマ	ので・ている、てもいい、ますが
14	期末試験	試験・まとめ解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

教科書に出てくる語彙・文の意味を授業の前に調べておくこと。
辞書を使って読解プリントを訳してくること。

本文の暗記・発音・作文の練習をすること。
本授業の準備・復習時間は合計2時間を要する。

【テキスト（教科書）】

『韓国語を学ぼう 中級』李昌圭 朝日出版社 2300+税

【参考書】

韓日辞典 小学館 等

【成績評価の方法と基準】

テスト70%（小試験、期末試験）、課題10%、平常点20%
期末試験が50点以下の場合単位が出ない。
欠席4回以上で単位は出ない

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られれば行う予定です。

【Outline (in English)】

【Course outline and learning objectives】

This class is designed for lower intermediate Korean learners. Students study grammar and vocabulary. The purpose of this class is to enhance overall Korean.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 1 hour at home for assignments and quizzes.

【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments10%, Exam70%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4B I (視聴覚)

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国の小説・ドラマ・歌・アナウンスなどの聞き取りを通じ、音から朝鮮語を理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・暗唱を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 小説・ドラマの一場面を聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 語彙、文型を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 サランバンのお客さんとおモニ ①② シークレットガーデン1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	サランバンのお客さんとおモニ ③④ 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	サランバンのお客さんとおモニ ⑤⑥ シークレットガーデン2	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	サランバンのお客さんとおモニ ⑦⑧ アナウンス	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	サランバンのお客さんとおモニ ⑨⑩ シークレットガーデン3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	サランバンのお客さんとおモニ ⑪⑫	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	サランバンのお客さんとおモニ ⑬⑭ シークレットガーデン4	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
8	中間試験	単語 暗誦

9	サランバンのお客さんとおモニ ⑮⑯ シークレットガーデン5	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
10	サランバンのお客さんとおモニ ⑰⑱ 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	サランバンのお客さんとおモニ ⑲⑳ シークレットガーデン6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	サランバンのお客さんとおモニ 最終回 シークレットガーデン7	スクリプト聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎週、聞き取り・読解・暗記等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は各2時間を要する。

【テキスト (教科書)】

プリント配布

【参考書】

川口義一監修『耳から入る韓国語1』学研
 シークレットガーデン DVD

【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40%、テスト 60%
 単語テストが50点以下の場合単位が出ない。
 4回以上の欠席で単位は出ない。

【学生の意見等からの気づき】

韓国人留学生との会話が大変有意義だったという意見が多かったため、留学生の協力が得られればネイティブとの会話の時間を設けます。

【その他の重要事項】

課題が多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。聞き取りとスクリプト翻訳がメインになるため朝鮮語の一定のレベルが要求されます。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**【Course outline and learning objectives】**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 2hours at home for assignments and quizzes.

【Grading criteria /policy】

Participation20%, Assignments20%, Exam60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4BⅡ (視聴覚)

2017年度以降入学者

新谷 あゆり

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：木3/Thu.3

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

さまざまな映像・音声を通じ、聞く能力を向上させる。
 スクリプトの翻訳を通して読解力を向上させ語彙を増強する。
 韓国人留学生との会話も行う予定。

【到達目標】

- 1 韓国のドラマ・歌・アナウンス・スピーチなどの聞き取りを通じ、音から理解することに慣れる。
- 2 スクリプトの翻訳を通じ、語彙・文型・表現の知識を増強する。
- 3 発音練習・音読を行うことで自然で美しい発音をめざす。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

- 1 ドラマ・ニュースなどを聞き、日本語訳する。
- 2 スクリプトを読み、日本語訳する。
- 3 文型・表現を学び、発音練習をする。
- 4 翻訳・暗唱等の課題をする。
- 5 単語と暗唱の小テストをする。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	会話 自己紹介 華麗なる遺産1	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
2	華麗なる遺産2 歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
3	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
4	華麗なる遺産3	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
5	華麗なる遺産4 スピーチ	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
6	アナウンスなど	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
7	中間試験	単語 暗唱
8	華麗なる遺産6	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
9	歌など	小テスト 聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習

10	華麗なる遺産7 会話練習	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
11	留学生との会話	韓国人留学生と会話
12	華麗なる遺産8 小テスト	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
13	歌	聞き取り スクリプト読解 文型・表現・発音練習
14	期末試験	期末試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

スクリプト翻訳・単語暗記・音読・暗唱等の課題を行うこと。
 本授業の準備・復習時間は合計4時間を要する。

【テキスト (教科書)】

プリント配布

【参考書】

なし

【成績評価の方法と基準】

平常点 (参加度、積極性、課題) 40%、テスト60%
 単語テストが50点以下の場合は、単位が出ない。
 4回欠席の場合、単位が出ない。

【学生の意見等からの気づき】

留学生との会話が有意義だったという意見が多かったので今学期も会話の時間を設ける予定です。

【その他の重要事項】

2年生～4年生が履修可能なクラスのため、朝鮮語3より受講生のレベルが高くなる傾向があります。課題も多いのでやる気のある学生の受講を希望します。
 定員制のため履修希望者が多い場合は抽選をします。初回の授業には必ず出席してください。

【Outline (in English)】**【Course outline and learning objectives】**

This class is designed for intermediate Korean learners. Students watch videos, listen to CDs, and translate scripts. The purpose of this class is to improve listening comprehension skills and increase vocabulary.

【Learning activities outside of classroom】

Students are expected to study 2 hours at home for assignments and quizzes.

【Grading criteria /policy】

Participation, Assignments 40%, Exam 60%

※ Students who miss 4 or more times each class will not be eligible for the credit on this course.

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 A I (講読)

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「日韓の狭間での対馬の苦悩」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
3	「江戸時代の朝鮮通詞」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	「韓医学」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	「書芸」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	「韓国人の宗教」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	「ソウルという名称」	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

9	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
10	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	小説を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	小説を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	小説を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいきながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標 (Learning Objectives)】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 A II (講読)

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：水4/Wed.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

新聞記事やエッセイ、小説などを読み、韓国の文化や社会への理解を深めていくとともに読解力のさらなる向上をはかります。

【到達目標】

様々なジャンルの文章を読むことによって、さらなる語彙力の向上と読解力の強化を図ります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語等は調べて授業にのぞんでください。授業ではテキストの内容について翻訳・発表をしてもらい、文法事項の補足や参考訳、内容についての説明をします。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方 ・レベルチェック ・自己紹介
2	韓国近代文学について	・作家と作品紹介
3	小説を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
4	小説を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
5	小説を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
6	小説を読む(4)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
7	小説を読む(5)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
8	小説を読む(6)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説

9	随筆を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
10	随筆を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
11	随筆を読む(3)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
12	詩を読む(1)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
13	詩を読む(2)	・語彙、文法 ・翻訳 ・内容理解 ・説明と解説
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

ある程度長い文章を読んでいきながら語感を磨き、原語で文章を味わう楽しさを感じてほしいと思います。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて内容を若干変更する場合があります。

【Outline (in English)】

【授業の概要 (Course outline)】

By reading newspaper articles, essays, novels, etc., this class aims to deepen students' understanding of Korean culture and society and to improve their further reading comprehension.

【到達目標 (Learning Objectives)】

This class aims to improve students' further vocabulary and reading comprehension by reading texts in a variety of genres.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria/Policy)】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANK200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 5 B I (表現法) 2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。

韓国の時事ニュースに触れ、時事単語、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。学生のレベルに合わせて、導入用に朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読み、伝統文化への理解も深めたりする。中級向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

本授業の基本的な流れは、以下の通りである。毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をすることで、話すことに慣れていく。慣れてきたら、PPTを作成してプレゼンテーションの練習も随時していきたい。後半は昔話や時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	「おひさまおつきさま」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	「トラと干し柿」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 BTS、KPOP再燃なるか。	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	『時事韓国語』 韓国映画1000万人、	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	『時事韓国語』 正月番組特集	会話、リスニング、リーディング、内容理解
7	『時事韓国語』 南北合同チーム初登場	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 「シェアハウス人気」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 「無人化加速」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

10	『時事韓国語』 「小1保護者10時出勤」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 「二つの母国語」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 「高齢者10人に1人認知症」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 「変わる採用試験場」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	学習のまとめ	プレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、読み物課題を予習・復習すること。知らない単語を確認しておく。毎回、身近な話題について韓国語で話しますので、話題を準備すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせて、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution:80%.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語5BⅡ (表現法)

2017年度以降入学者

神谷 丹路

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火4/Tue.4

単位数：1単位

定員制 (30)

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語で「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」の伸長を目指す。これまで学習してきた文法や語彙の定着を図り、簡単な日常会話がスムーズにできるように練習をする。朝鮮韓国の昔話など簡単な読み物を読みながら、伝統文化についての理解を深めたり、時事ニュースに触れ、リスニング力、漢字語の力をつける。中級レベルの新しい語彙、表現を増やし、会話の幅を広げる。中級レベル向けの授業である。

【到達目標】

実際にコミュニケーションの手段として使える朝鮮語の「聞く力」「話す力」を獲得し、また身のまわりの出来事を書いたりできるようにする。自らの体験や考えを朝鮮語で発表できるようにする。言語の背景に広がる文化的社会的な理解も深めていく。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

毎回、ウォーミングアップとして、授業のはじめに、身の回りの出来事について、簡単な日常会話を交わす練習をする。言葉がすぐ出てくるよう、とにかく話すことに慣れること。その後は、時事ニュースのテキストに沿って、聞く力の伸長、読む力、語彙力のアップを図り、隣国への幅広い理解へとつなげていく。質問は授業内、掲示板で対応し、発表については授業内で講評する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】あり / Yes

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	オリエンテーション 『時事韓国語』 11「政府、原発新設 白紙化問題」	・授業の進め方の説明 ・レベルチェック ・自己紹介
2	『時事韓国語』 12「はじめて呼ぶお 父さん、お母さん」、 13「国政の安定化、 協力と統合」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
3	『時事韓国語』 14「南北65年ぶり終 戦宣言」 15「気候変動とウミ ガメ」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
4	『時事韓国語』 16「日本の公衆ト イレ」 17「米朝70年の対立 に終止符」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
5	18「監視カメラ」 19「5G先取り競争」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
6	20「気象ニュース」 21「ヨイドの桜」	会話、リスニング、リーディング、内容理解

7	22「珍道犬」 23「仮想通貨」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
8	『時事韓国語』 24「変わる採用試験 現場」 25「不動産事情、ソ ウル、地方」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
9	『時事韓国語』 26「経済成長と就業 者の増加」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
10	『時事韓国語』 31「ワールドカップ 韓国サッカー旋風」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
11	『時事韓国語』 32「野球ニュース ロッテ5連勝中」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
12	『時事韓国語』 33「ニュース解説、 巨大な壁を打ち破っ た英雄」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
13	『時事韓国語』 34「ドラマの名所ソ ウル桂洞」 35「蚊を追い払う方 法、ご存知？」	会話、リスニング、リーディング、内容理解
14	36「そば粉パスタ、干 しだらのカルグクス」 ●学習のまとめ	内容理解、プレゼンテーション

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

毎回、身近な話題について、簡単な会話をしますので、話題を準備をしておくこと。毎回、課題の復習を十分すること。本授業の準備学習・復習時間は、合わせて1時間を標準とします。

【テキスト (教科書)】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

小学館『朝鮮語辞典・日韓辞典』など。

【成績評価の方法と基準】

平常点80%、プレゼンテーション20%。

【学生の意見等からの気づき】

話すことに抵抗感がなくなるように、簡単な単語を駆使して伝える技術を身に付けられるようにします。

【その他の重要事項】

学生のレベルに合わせ、順序や内容に若干の変更のある場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

This course deals with Korean intermediate level.

< Learning Objectives >

At the end of the course, students are expected to enhance the development of the skill in reading, writing, listening and talking.

< Learning activities outside of classroom >

Before/after each class meeting, students will be expected to spend one hour to understand the course content.

< Grading Criteria/Policy >

Your overall grade in the class will be decided based on the following.

Presentation : 20%, in class contribution: 80%.

ARSe200LA (地域研究 (東アジア) / Area studies(East Asia) 200)

朝鮮の文化と社会 L A 2017年度以降入学者

サブタイトル：

李 英美

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では韓国の映画をとおして朝鮮・韓国の文化と社会について学ぶ。

韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

【到達目標】

様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には「授業計画」の順に沿った形で進める。ひとつのテーマについて2週連続で講義と映像の鑑賞といった形で進める。毎回のリアクションペーパーと2週に一度の感想文を提出する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の目標と進め方の説明	授業の目的と進め方について説明し、テキストや参考書の使い方について説明する。
第2回	解説と映画鑑賞①— 朝鮮半島の南北分断について	南北対立から理解へ— 南北分断のリアルDMZ
第3回	解説と映画鑑賞②— 朝鮮半島の南北分断について	新しい観点から南北分断を想像する— 南北兵士の心理描写
第4回	韓国映画史— 時代区分と特徴	韓国映画史について、全体的な流れと時代別の特徴を概観する。
第5回	解説と映画鑑賞③— 激動の韓国現代史を生きる	激動の韓国現代史を個人史で綴る— 「最も平凡な父の最も偉大な話」
第6回	解説と映画鑑賞④— 激動の韓国現代史を生きる	「産業化世代」— 朝鮮戦争後の韓国再建の主役であった家族愛の父親
第7回	韓国近現代史と映画— 日本統治下の韓国・朝鮮	韓国近現代史における日本統治時代を抜きにして韓国映画史を語ることはできない。韓国映画の創成期に当たる当時について解説する。
第8回	解説と映画鑑賞⑤— 日本統治下の韓国・朝鮮	上海、京城 (現ソウル) を舞台にした朝鮮人の朝鮮人暗殺を描く— 親日派暗殺作戦
第9回	解説と映画鑑賞⑥— 日本統治下の韓国・朝鮮	当時の街並み、ファッション、経済活動、居住空間、社交場など「モダン」の再現

- 第10回 最近の韓国の若者の恋愛観・結婚観と映画
時代の変化を反映する若者の恋愛観・結婚観を垣間見て、日本の若者との間の比較をとおして、韓国社会と日本社会の比較を試みる。
- 第11回 解説と映画鑑賞⑦— 青春の思い出
初恋のロマンス、青春の思い出
- 第12回 解説と映画鑑賞⑧— 青春の思い出
青春の多様な感情の描写、現代韓国社会の中で大人に成長していく過程を描写
- 第13回 映画と講義について
映画は学習手段のひとつとして有効か— 韓国の文化、社会、歴史上の事象、特に抽象的な事柄を、より明確に理解可能なものにしてくれる。
- 第14回 春学期のまとめと期末レポートの提示
期末レポートの提示

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】
指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。

【テキスト (教科書)】
韓国映画100選、韓国映像資料院・編、桑畑優香・訳、CUON、2019年、3500円

【参考書】
韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、2015年、3680円

【成績評価の方法と基準】
平常点 (授業に対する態度、リアクションペーパー、感想文など) 50%、期末レポート50%をもって総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】
授業の進む順番が前後する場合がある。

【学生が準備すべき機器他】
なし

【その他の重要事項】
・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM情報は授業開始の前週までにHOPPIでお知らせします。
・第2回目以降の授業の実施形態については第1回目の授業の際にお知らせします。

【Outline (in English)】
【授業概要 (Course outline)】
This course introduces Korean culture, Korean society and Korean films to students taking this course.
【到達目標 (Learning Objectives)】
At the end of the course, students are expected to develop insight and understanding of the characteristics and process of changes of Korean society and culture.
【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】
Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.
【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)】
Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (50%), term-end report (50%), and in-class contribution.

ARSe200LA (地域研究 (東アジア) / Area studies(East Asia) 200)

朝鮮の文化と社会 L B

2017年度以降入学者

サブタイトル：

李 英美

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：火3/Tue.3

単位数：2単位

定員制 (30)

その他属性：〈他〉〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

この授業では韓国の映画をとおりて朝鮮・韓国の文化と社会全般について学ぶ。

韓国の映画に描かれている韓国社会の特徴や変化を通じて、韓国の文化と社会に対する理解を深めることが授業の目的である。

【到達目標】

様々なテーマを取り扱う韓国映画から韓国・朝鮮の文化と社会について何を読み取るか、その力を養うことが本授業の目標となる。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1、人間環境学部：DP2、キャリアデザイン学部：DP1

【授業の進め方と方法】

基本的には「授業計画」の順に沿った形で進める。

ひとつのテーマについて2週連続で講義と映像の鑑賞といった形で進める。毎回のリアクションペーパーと2週に一度の感想文を提出する。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
第1回	授業の進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方に関する説明。	授業の目的と進め方に関する説明、テキストや参考書の使い方について説明。
第2回	解説と映画鑑賞①ー外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人物を韓国人から人類へ究極な状態に置かれた人々の動き
第3回	解説と映画鑑賞②ー外国原作の小説・漫画の韓国映画化	映画の中の人類における各差と不平等、階級化をとおりて韓国社会をみる
第4回	現代韓国社会と映画ー高齢化	現代韓国社会の特徴のひとつである高齢化社会をどのように描くか
第5回	解説と映画鑑賞③ー老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴ー老いをどのように受け入れるか、どのように生きるか
第6回	解説と映画鑑賞④ー老いに対する考え方	現代韓国社会の諸特徴ー家族の愛情と世代間の価値観のギャップ
第7回	現代韓国社会と映画ー犯罪被害者を描く	神に罪を告白し、許しを得た殺人犯についてー被害者の家族は救われない。宗教、法、人間の関係を映画に投影する。
第8回	解説と映画鑑賞⑤ー最高の価値は人間愛	人間愛は最高の価値ー人間は人間を救うことができる。子供殺人被害者の母親。

第9回	解説と映画鑑賞⑥ー宗教とは何か、人間とは何かー宗教とは	宗教とは何か、人間とは何かー人間を救えない残酷な神の姿。神の許しとは。
第10回	映画に移る国家像	国家の危機管理能力についてー2010年代韓国政府を実例に
第11回	解説と映画鑑賞⑦ードキュメンタリー映画	国家とは何か。国家の存在理由ー国民の生命・財産の保護。
第12回	解説と映画鑑賞⑧ードキュメンタリー映画	真実究明と記者・言論の役割と力
第13回	韓国映画史を振り返るー100年史	創成期〜ルネサンス期まで
第14回	秋学期のまとめとレポートの提示	レポートの提示

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

指定されたテキストと参考書を事前に読んでおくこと。

【テキスト (教科書)】

韓国映画100選、韓国映像資料院・編、桑畑優香・訳、CUON、2019年、3500円

【参考書】

韓国映画で学ぶ韓国の社会と歴史、秋月望、キネマ旬報ムック、2015年、3680円

【成績評価の方法と基準】

平常点 (授業に対する態度、リアクションペーパー、感想文など) 50%、期末レポート50%をもって総合的に評価する。

【学生の意見等からの気づき】

授業の進む順番が前後する場合がある。

【学生が準備すべき機器他】

なし

【その他の重要事項】

・第1回目の授業はオンラインで実施します。ZOOM情報は授業開始の前週までにHOPPIでお知らせします。

・第2回目以降の授業の実施形態については第1回目の授業の際にお知らせします。

【Outline (in English)】

【授業概要 (Course outline)】

This course introduces Korean culture, Korean society and Korean films to students taking this course.

【到達目標 (Learning Objectives)】

At the end of the course, students are expected to develop insight and understanding of the characteristics and process of changes of Korean society and culture.

【授業時間外の学習 (Learning activities outside of classroom)】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. Your study time will be more than four hours for a class.

【成績評価の方法と基準 (Grading Criteria /Policies)】

Final grade will be calculated according to the following process
Mid-term report (50%), term-end report (50%), and in-class contribution.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4C I (コミュニケーション) 2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月2/Mon.2

単位数：1単位

定員制 (30)

2022年度までに「朝鮮語3C I」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性：〈優〉

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

朝鮮語1・2で学んだ文法の知識を生かして、自分の言いたいことを朝鮮語で口頭発表できるようにすることがこの授業の目的です。そのために語彙を増やし、教科書にある会話文を正確な発音で言えるようにします。

【到達目標】

まず教科書にある会話文を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、法学部・国際政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1、国際文化学部：DP1

【授業の進め方と方法】

授業開始時に筆記と口述の小テストを実施します。それから教科書の文法事項と語句を学び、次回的小テストに備えて会話文の発音の練習を行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課	理由を表す語尾①
2	第2課	形容詞・指定詞の連体形
3	第3課	動詞・存在詞の連体形
4	第4課	逆接を表す語尾
5	第5課	未来連体形
6	第1課～第5課の復習	第1課～第5課の復習
7	第6課	「～したことがある」 「～することにする」
8	第7課	理由を表す語尾②
9	第8課	婉曲を表す語尾
10	第9課	「～し始める」 「～するなり」
11	第10課	「～しましょうか」
12	第6課～第10課の復習	第6課～第10課の復習
13	期末試験	筆記試験
14	期末試験	口述試験

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業では毎回筆記と口述の小テストを実施しますので、必ず復習してください。

授業の復習に要する時間は40分を標準としていますが、期末試験の口述試験のための原稿作成、筆記試験の準備には別途時間を要します。

【テキスト (教科書)】

『基礎から学ぶ韓国語講座中級改訂版』木内明著、国書刊行会、2015年
※初回の授業で使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語 改訂版』、内山政春著、白水社

【成績評価の方法と基準】

小テスト 30%

期末試験 70%

※小テスト、期末試験共に口述試験だけでは緊張してしまう人もいることを考慮し、それぞれ筆記試験も実施します。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・第1回の授業までにHoppiiに登録してください。お知らせやプリントを配布しますので、Hoppiiはこまめにチェックしてください。
・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時(欠席した翌週)の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5回の欠席で評価対象外とします。3回の遅刻で1回欠席としてカウントします。

・感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

The purpose of this class is to make use of the knowledge of grammar learned in Korean 1 and 2 to be able to verbally present what you want to say in Korean. For that purpose, we will increase our vocabulary so that we can say the conversational sentences in the textbook with accurate pronunciation.

< Learning Objectives >

The goal is to first understand the grammar of the conversations in the textbook, then to be able to speak them with correct pronunciation and to be able to replace them with what you want to say.

< Learning activities outside of classroom >

There will be written and oral quizzes every class, so be sure to review them.

The standard time required for reviewing classes is 40 minutes, but extra time is required to prepare manuscripts for the oral examination of the final exam and to prepare for the written examination.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 30%

Final exam 70%

* Considering that some students may get nervous just by taking the oral exam for both the quiz and the final exam, we will also conduct a written exam for each.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語4CⅡ (コミュニケーション) 2017年度以降入学者

富所 明秀

開講時期: 秋学期授業/Fall | 曜日・時限: 月2/Mon.2

単位数: 1単位

定員制 (30)

2022年度までに「朝鮮語3CⅡ」の単位を修得済みの場合、履修不可

その他属性: <優>

【授業の概要と目的 (何を学ぶか)】

春学期に引き続き、朝鮮語1・2で学んだ文法の知識を生かして、自分の言いたいことを朝鮮語で口頭発表できるようにすることがこの授業の目的です。そのために語彙を増やし、教科書にある会話文を正確な発音で言えるようにします。

【到達目標】

まず教科書にある会話文を文法的に理解したうえで、これを正確な発音で話すことができ、また自分の言いたいことに置き換えることができるようにすることが目標となります。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか (該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連)】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科: DP3・DP4、法学部・政治学科: DP1、法学部・国際政治学科: DP1、文学部: DP1、経営学部: DP1、国際文化学部: DP1

【授業の進め方と方法】

授業開始時に筆記と口述の小テストを実施します。それから教科書の文法事項と語句を学び、次回的小テストに備えて会話文の発音の練習を行います。

【アクティブラーニング (グループディスカッション、ディベート等)の実施】
なし/No

【フィールドワーク (学外での実習等)の実施】
なし/No

【授業計画】 授業形態: 対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第11課	「～したらいいんだけど」 「～のために」
2	第12課	「～するとき」 「～したとき」
3	第13課	「～したと」 「～するように」
4	第14課	「～くなる」 「～すれば～するほど」
5	第15課	「～して以来」 「～なんですよ」
6	第11課～第15課の復習	復習
7	第16課	「～ように見える」「～するようだ」
8	第17課	「～なのか」 「～そうです」
9	第18課	「～してから」 「～しておく」
10	第19課	「～しろと言う」 「～するなと言う」
11	第20課	「～するなりすぐ」 「～するつもりだから」
12	第16課～第20課の復習	復習
13	期末試験 筆記	期末試験 筆記
14	期末試験 口述	期末試験 口述

【授業時間外の学習 (準備学習・復習・宿題等)】

授業では毎回筆記と口述の小テストを実施しますので、必ず復習してください。

授業の復習に要する時間は40分を標準としていますが、期末試験の口述試験のための原稿作成、筆記試験の準備には別途時間を要します。

【テキスト (教科書)】

『基礎から学ぶ韓国語講座中級改訂版』木内明著、国書刊行会、2015年
※教科書は初回の授業で使用しますので、必ず購入してください。

【参考書】

『しくみで学ぶ初級朝鮮語改訂版』、内山政春著、白水社

【成績評価の方法と基準】

小テスト 30%

期末試験 70%

※小テスト、期末試験共に口述試験だけでは緊張してしまう人もいることを考慮し、それぞれ筆記試験も実施します。

【学生の意見等からの気づき】

音声教材の活用

【その他の重要事項】

・第1回の授業までにHoppiiに登録してください、お知らせやプリントを配布しますので、Hoppiiはこまめにチェックしてください。

・感染症や忌引きで小テストを受けられない場合は欠席した翌週に追試を受けられます。登校時(欠席した翌週)の授業開始前に証明書を提出のうえ追試を申し出てください。

・5回の欠席で評価対象外とします。3回の遅刻で1回欠席としてカウントします。

感染症などの公欠はこれに該当しません。

・シラバスは進捗状況によって変更される場合があります。

【Outline (in English)】

< Course outline >

Continuing from the spring semester, the purpose of this class is to make use of the knowledge of grammar learned in Korean 1 and 2 to be able to verbally present what you want to say in Korean. For that purpose, we will increase our vocabulary so that we can say the conversational sentences in the textbook with accurate pronunciation.

< Learning Objectives >

The goal is to first understand the grammar of the conversations in the textbook, then to be able to speak them with correct pronunciation and to be able to replace them with what you want to say.

< Learning activities outside of classroom >

There will be written and oral quizzes every class, so be sure to review them.

The standard time required for reviewing classes is 40 minutes, but extra time is required to prepare manuscripts for the oral examination of the final exam and to prepare for the written examination.

< Grading Criteria /Policy >

Quiz 30%

Final exam 70%

* Considering that some students may get nervous just by taking the oral exam for both the quiz and the final exam, we will also conduct a written exam for each.

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語 3 B I

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：春学期授業/Spring | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに出てくる約1200語の単語をもとに、初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「話す、聞く、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

【到達目標】

学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけること、聞き取り能力の向上を図ることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習や翻訳する練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】

あり/Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】

なし/No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第1課 文法の説明、練習 問題 読解、会話	逆接「～けれど」並列、順序 「～して」、根拠「～なんです」、 意図・計画「～しようと」
2	第2課 文法の説明、練習問 題	理由・前提動作「～ので、～の ために」
3	第2課 読解、会話	決心「～することにする」、不可 能「～できない」
4	第3課 文法の説明、練習問 題	仮定「～すれば」、目的「～しに」
5	第3課 読解、会話	「～してあげる、くれる」、助詞 「～や、でも」
6	第4課 文法の説明、練習問 題	確認・同意「～でしょう?」、 「～じゃないですか」
7	第4課 読解、会話	パンマル（へ体）、感嘆・発見 「～ですね、ますね」、変則用言
8	第5課 文法の説明、練習問 題	意志「～する(?)します(か)」、 「～く、ように」、「～するよう になる」
9	第5課 読解、会話	禁止「～しない」、願望「～だっ たらいいな」
10	第6課 文法の説明、練習問 題	状態「～している、してい らっしゃる」、意志・約束「～し ますよ、しますから」
11	第6課 読解、会話	試行「～してみる」、勧誘「～し よう」
12	第7課 文法の説明、練習問 題	強い意志「～しなければ、～し なくちゃ」、譲歩「～しても」

13 第7課 可能・不可能「～できる・でき
ない」、強い条件「～してこそ、
～しなければならない」

14 期末試験 試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

金京子著『読んでみよう韓国語-中級読解コース』白水社

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストの音読練習を繰り返すことと言葉のリズムやイントネーションに慣れましょう。そうした練習を積み重ねつつ、話す・聞く・読む・書く能力をつけていきます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Based on approximately 1,200 words in the text, students will steadily learn basic grammar at the late beginner to intermediate level, aiming to improve their overall ability in speaking, listening, reading, and writing.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to be able to speak simple conversational Korean using acquired knowledge and contents, to write compositions, to equip for reading ability, and listening comprehension.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

LANk200LA (朝鮮語 / Korean language education 200)

朝鮮語3BⅡ

2017年度以降入学者

荻野 優子

開講時期：秋学期授業/Fall | 曜日・時限：月4/Mon.4

単位数：1単位

その他属性：

【授業の概要と目的（何を学ぶか）】

テキストに出てくる約1200語の単語をもとに、初級後半から中級レベルの基礎文法を着実に学び、「話す、聞く、読む、書く」能力の総合的な実力向上を目指します。

【到達目標】

春学期に使用したテキストの後半部分を進めていきます。学んだ内容を使って簡単な会話ができるようになること、作文が書けるようになること、読む力をつけること、聞き取り能力の向上を図ることが目標です。

【この授業を履修することで学部等のディプロマポリシーに示されたどの能力を習得することができるか（該当授業科目と学位授与方針に明示された学習成果との関連）】

各学部のディプロマ・ポリシーのうち、以下に関連している。法学部・法律学科：DP3・DP4、法学部・政治学科：DP1、文学部：DP1、経営学部：DP1

【授業の進め方と方法】

テキストにそって授業を進めます。わからない単語は調べて授業にのぞんでください。習った表現を使って会話練習をしたり、作文練習をしたりします。テキストの練習問題等は課題とし、授業内で答え合わせと解説をします。

【アクティブラーニング（グループディスカッション、ディベート等）の実施】あり / Yes

【フィールドワーク（学外での実習等）の実施】なし / No

【授業計画】 授業形態：対面/face to face

回	テーマ	内容
1	第8課 文法の説明、練習問題 読解、会話	復習 許可の表現、「～して」の類似表現の比較
2	第9課 文法の説明、練習問題	話し手の意志、推量、理由と契機 本文、単語の確認
3	第9課 読解、会話	提案の表現、受け身（1）
4	第10課 文法の説明、練習問題	当為の表現「～しなければなら ない」 本文、単語の確認
5	第10課 読解、会話	後悔と反省の表現、帰結の表現 「～するようになる」
6	第11課 文法の説明、練習問題	使役の表現、印象描写「～みた いだ」
7	第11課 読解、会話	接続形語尾の復習 本文、単語の確認
8	第12課 文法の説明、練習問題	書き言葉の文章を読む（1）、漢 字語について（1）
9	第12課 読解、会話	結果状態の継続 本文、単語の確認
10	第13課 文法の説明、練習問題	ソウル言葉や方言について概観 する
11	第13課 読解、会話	ソウル言葉や方言について概観 する
12	第14課 文法の説明、練習問題	書き言葉の文章を読む（2）、受 け身（2）、漢字語について（2）

13	第14課 読解、会話	本文、単語の確認 総まとめ
14	期末試験	試験、まとめと解説

【授業時間外の学習（準備学習・復習・宿題等）】

本授業の準備・復習時間は、合わせて2時間を標準とします。

【テキスト（教科書）】

金京子著『読んでみよう韓国語-中級読解コース』白水社

【参考書】

「韓日辞典」小学館など

【成績評価の方法と基準】

平常点：20%

課題、小テスト等：20%

期末試験：60%

出席が2/3に満たない場合は評価対象となりません。

【学生の意見等からの気づき】

テキストの音読練習を繰り返し行うことで言葉のリズムやイントネーションに慣れましょう。そうした練習を積み重ねつつ、話す・聞く・読む・書く能力をつけていきます。

【Outline (in English)】

【授業の概要（Course outline）】

Based on approximately 1,200 words in the text, students will steadily learn basic grammar at the late beginner to intermediate level, aiming to improve their overall ability in speaking, listening, reading, and writing.

【到達目標（Learning Objectives）】

This class aims to be able to speak simple conversational Korean using acquired knowledge and contents, to write compositions, to equip for reading ability, and listening comprehension.

【授業時間外の学習（Learning activities outside of classroom）】

Students will be expected to have completed the required assignments after each class meeting. It is recommended strongly to study more than two hours per a week for a class.

【成績評価の方法と基準（Grading Criteria/Policy）】

Completing all required components of the course is necessary to pass the course. Final grade will be calculated according to the following process: Mid-term report (20%), term-end examination (60%), and in-class contribution (20%).

